

# 国立国語研究所学術情報リポジトリ

## 南琉球宮古語多良間方言辞典

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2021-02-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 渡久山, 春英, セリック, ケナン, Tokuyama, Shunei, Celik, Kenan メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.15084/00003108">https://doi.org/10.15084/00003108</a>

# 南琉球宮古語多良間方言辞典

渡久山春英  
セリック・ケナン



## 刊行に寄せて

この度の渡久山春英先生の『多良間方言辞書』の出版を多良間島のみなさん、宮古島の皆さん、琉球諸島すべてのみなさんとともに喜びたいと思います。多良間方言に関してはすでに下地賀代子さんの『たらまふつ辞典－多良間方言基礎語彙』が出版されていますが、下地さんの辞書が基本語を中心とした用法辞典であるのに対して、渡久山先生のこの辞書は収録語数1万5千以上という本格的な辞書であると言えます。これは宮古語の辞書としては、富浜定吉先生の『伊良部方言辞典』に匹敵するものと言えます。下地さんの辞書が多く例文を含み比較的若い世代の話者が基本的な用法を学ぶのに適したものとなるのに対して、この辞書は多良間の言語文化総体が詰まったものと考えられるかと思えます。両者は相補って使われて、その本領が発揮されるでしょう。

編者の渡久山先生とは宮古島で一度、京都大学で一度お目にかかりました。最初にお会いしたのは京都大学大学院言語学講座の私の指導学生だったセリック・ケナン君の多良間方言の調査に同席させてもらったときです。すでに80を超えておられたと思われる先生はすばらしい語感の持ち主で、セリック君のややこしい質問に的確に答え、彼のいう込み入った共通語を多良間方言に直し、また、文法や語法の難しい質問に次々に答えていらっしまったのが印象的でした。京都大学では、博士課程を出たばかりの若手の研究者のためのファカルティ・ディベロップメント（教授訓練）の模擬授業の際で、セリック君の言語学の調査のための話者として来ていただきました。この時もかくしゃくとして、多良間方言の物語を朗々と語り、セリック君のコンサルタント役を務めてくださっていました。

方言の調査は相談する母語話者によってその成功が決まると言われています。母語話者の方で

くんどう 渡久山春英先生が『多良間方言辞典』  
ゆ ムまらす くとー 多良間島、宮古島、琉球ぬ  
すまづま ぐしゆーとー 御衆様とう まーつき ぶからしゃ しゆ  
てーいー うめー ぶり。多良間方言うばー きし  
やから 下地加代子さんが『たらまふつ辞典－  
多良間方言基礎語彙』ぬどう んでーいー ぶりが  
が、下地さんが 辞典や ゆー つくー むぬげー  
う うしや 収みたりぬ 対してーいー、渡久山先生が  
辞典や 1万5千語 余りぬ やぐみむぬてーいー  
うまーいり。くれー 宮古語辞典とう してーいー  
や 富浜定吉先生が『伊良部方言辞典』とう ゆ  
ぬんーしゃばかり。下地さんが 辞典や、例文ぬ  
がーつふえー あとぅい 若者ぬ ムめぬ なるー  
用 ありぬが、くぬ 辞典や 多良間ぬ 言語文化  
ぬどう つみらいー ぶりてーいー うまーいり。あ  
んしゃりー 二つぬ 辞典ゆ まーつき つくー  
ばどう じゃうしゃりー てーいー うめー ぶり。  
かギペーぬ 渡久山先生とー 宮古島ん 一度、  
京都大学ん 一度 いじゃうたり。初みてい い  
じゃうたりら、京都大学大学院言語学講座ぬ あ  
が ならーしー ぶり 生徒ぬ セリック・ケナン  
が 多良間方言う しらびーたり とうぎどう あ  
たり。うんーかまい 80歳ゆ くいー わーりー  
たりてーいー うまーいりぬが、セリック・ケナン  
が ふか問題んけー がふてーいー きたいー、うり  
が 難す日本語う 多良間語にー げーなう  
しー、文法ぬ ふか問題んけーまい ぬーしゃ ね  
ーんしゃく きたいー わーりーたり くとー ば  
っすいらいん。京都大学んや、博士課程ゆ すま  
いたり 若者ぬ 研究者ぬ ムめぬ たみぬ 授業  
訓練ぬ 模擬授業ぬ とうぎんどう セリック・ケ  
ナンが 言語調査ぬ たみん 多良間語う ならー  
すが わーりたり。うんまい みぐとうん ばなす  
上手う しい、セリック・ケナンが たみん 多良  
間語うばー 務みー わーりたりばゆ。  
方言ぬ しらびぐとうてーいーや ばなすペーん  
ゆりーどう きまりがやう。ばなすペー あらば

も教養があり、教師としての経験も長い方は、ご自分の規範にとらわれたり、共通語の影響が過ぎたり、言葉そのものよりも文化的なものに関心が向く方も多く、必ずしも言葉のコンサルタントとしては向いていない方もおられます。渡久山先生のように教養のある方で、語感がすぐれ、しかも、客観的にことばそのものを見る能力がある方は非常にまれであると言えます。この多良間方言辞典は収録語彙の多さのみならず、ほとんどの語彙に対して、先生の録音がなされ、しかもアクセント（トーン）が付されています。近年の琉球諸語の研究においては、アクセントは非常に重要で、それがあって初めて琉球諸語の古い形、ひいては日琉祖語の形に迫れると言われています。この辞典が琉球諸語の歴史的研究、日琉祖語研究の発展に寄与するところ大です。これもこの困難な事業に地道に取り組まれた渡久山先生の努力のたまものであり、日本の言語学の発展の寄与された先生に感謝申し上げます。

長年にわたり、渡久山先生を助け、辞書の完成と出版にこぎつけたセリック・ケナン君に対しても、その労を多としたいと思います。彼の根気と語学力、コンピュータの知識なくしては、短時間で渡久山先生の膨大な知識をこのような形にすることは不可能であったと思います。

渡久山先生、セリック君、ご苦労様でした。ありがとうございます

ム うむくとうぬ ありー、先生<sup>しんしー</sup> うながい とうみーぬ ピとー、どうーが かんがいん かたゆり ばー まい あり、やまとうふつぬ 影響ぬ ちゅーしゃーり ばー まい あり、くとうばゆりらーまい 文化ぬ ばなすてーかん なり ばーまい ありば、あんだき くとうばぬ かしーんや ならん ピとうまい ぶりどうす。渡久山先生<sup>しんしー</sup> ーだかりーぬ ピとうぬ すぐりばなす、うぬ ういん どうーかんがいしー くとうぼう みつきり 力<sup>つから</sup>ぬ あり ピとー ぶらーんていー うまーい づ。くぬ 多良間方言辞典や 収<sup>うしや</sup>みたり くと ばぬ 多<sup>うー</sup>しゃてーなー あらん。くとうぼうばームーな 先生<sup>しんしー</sup>が ふぎくみー わーり、また、アクセント（トーン）まい つきらいー ぶり。なまぐるぬ 琉球語ぬ 研究ていーや、アクセントぬ どう でーん 大切<sup>たいしつ</sup>どー。あんしゃりー 琉球諸語ぬ んけーんぬ かたつてーかー あらんぐとう、日琉祖語ぬ くとうばまい しゃじゃきらいりていー うまーい づ。くぬ 辞典<sup>じていん</sup>や 琉球諸語ぬ 歴史ぬ 研究、日琉祖語ぬ 研究う しゃかいすみーいぎ くとうん なりぐまた。くれー、むずかす ぐとうー とうくつとう しー わーりたり 渡久山先生<sup>しんしー</sup>が つとうみていーどう うむー。日本ぬ 言語学ぬ ゆかりくとうん 難儀<sup>なんぎ</sup>う しー わーり 先生<sup>しんしー</sup>んけー すでいがぶーゆ っさいずー。

うながいが まーす、渡久山先生<sup>しんしー</sup>ゆ たすきー、辞典ぬ ムまりりけ ギばりたり セリック・ケナンーけーまい 難儀<sup>なんぎ</sup>ぬ うぶしゃーりるー ぶみていー うめー ぶり。かりが 根気<sup>こんぎ</sup>とう 語学ぬ 力<sup>つから</sup>とう コンピューターぬ うむくとうぬ ねーだからー なまていーんや 渡久山先生<sup>しんしー</sup>が かぶぎぬ うむくとうまい かんしーぬ 形<sup>かたつ</sup>んや なりー うかんどー。

渡久山先生、セリック・ケナン、ゆーどう ギばりー うぎ。すでいがぶー。

2020年1月  
日本言語学会会長  
大学共同利用機関法人・人間文化研究機構  
国立国語研究所長  
田窪行則

## 刊行に寄せて

『多良間方言辞典』の刊行、おめでとうございます。ここからお慶び申し上げます。

私は2010年に国立国語研究所に赴任し、各地のことばを記録する仕事をしています。

研究所では、主に、ユネスコが発表した「消滅の危機にある言語」の調査を担当しています。ご存じのように、沖縄県のほとんどのことばがユネスコの「消滅の危機にある言語」に入っています。多良間のことばもそうです。そのほか、鹿児島県の奄美諸島のことば、東京都の八丈のことば、北海道のアイヌのことばが「消滅の危機にある言語」に入っています。それで、私は沖縄や奄美、八丈へ調査や録音に行くことが多いのですが、最近、東北の青森県のことばも記録しています。

これらの調査で必ず経験することがあります。それは、どの地域にも、地域のことばをノートにこつこつと書きとどめている人がいるということです。ただ、このようなノートの多くは、他の人に読まれることがないまま、どこかへいってしまうことが多いです。なかには、自費で方言集を出版する人もいますが、本来なら、国や自治体が出版すべきであって、個人がお金を出すようなものではありません。

私は以前から、このような方言資料を何とか世の中に出すお手伝いができないかと考えてきました。それで、今回、国立国語研究所非常勤研究員のセリック・ケナンさんから相談を受けたときも、ぜひ、協力したいと思いました。

『多良間方言辞典』ぬ ムまりたりぐとー、ぷからしやん ならん。ギむから ぷからしやう っさいずー。

あんや 2010年一 国立国語研究所ぬ 職んつき一、うまかまぬ くとうぼう かぎするす ぐとー しー ぶり。

研究所んや、主ん ユネスコぬ 発表 すたり「消滅の危機にある言語」う しらびーりぐなんなりー ぶり。ムーなが っすいー わーり ねーん、沖縄県ぬ んだぬ くとうばまい ユネスコぬ「消滅の危機にある言語」んけー くまりー ぶり。たらまふつまい あんしーどー。うりが ぶか、鹿児島ぬ 奄美ぬ すまづまぬ くとうば、東京都ぬ 八丈語、北海道ぬ あいぬふつぬどう 「消滅の危機にある言語」んけー くまりー ぶり。あんしゃりー、あんや うぎなー 奄美、八丈んけー くとうばぬ しらびぐとー すーが いギば一ぬ ゆー ありるが、くぬーれー、東北ぬ 青森県ぬ くとうぼうまい しらびー かぎすぐとー しー ぶり。

くぬ しらびぐとーん かねーらず いじゃうくとうぬ あり。うれー、んだぬ すまんまい、うぬ すまぬ くとうぼう 帳面一 とうくつとーかぎとーみーり ぴとうぬ ぶり。ただらー、くんしーぬ 帳面や ゆしゆぬ ぴとーん ゆまりんぐとーなな、んだがらーんけー ねーん なりー とうび ばーぬ ゆー ありだーら。なかんや、どーが 金しー 方言集ゆ んだす ぴとーまいぶりるが、本当 あたからー、国とーか 自治体ぬ どう んだすぐまた。どーたうかーが 金ゆ んだす ぐまたぬ すぐとー あらん。

あんや まいから、かんしーぬ 方言資料ゆ ぬばしーまい ゆぬなかんけー んだす かしーぬ しらいまんげーらいていー かんげー ぶたり。あんしゃりー、くんどー 国立国語研究所非常勤研究員ぬ セリック・ケナンが 談合う しー ギたり とうぎんまい、是非 かしー しゆーていー う

この辞典は、地元の人が読んで楽しめるだけでなく、専門的なことばの研究にも使えるような内容になっています。特に、アクセントは地域による違いが大きいので、その情報が付いている辞典は、本当に貴重です。この辞典が、多良間の方々にとっては地元のことばをもう一度見直すきっかけとなり、研究者にとっては研究に新しい視点を与えてくれるきっかけとなることを願っています。

むーたり。

くぬ <sup>じていん</sup>辞典や、すまぬ ピとうぬ ゆみー たぬ  
すムてーなー あらん、専門的な くとうばぬ 研  
究んまい つかーいりやうん なりー ぶり。く  
とうん、アクセントー すまん ゆりー つがいるば、  
うぬ アクセントぬ つぎー ぶり <sup>じていん</sup>辞典や まー  
んていーぬ たからどー。くぬ <sup>じていん</sup>辞典や 多良間ぬ  
ピとうぬ ムめん とうりーや ムまりずまぬ く  
とうぼう ムめ ピとうん みなうす ばーん な  
りー、研究者ん とうりーまい なまがめー ねー  
だたり 視点ゆ あたい っふいり ぐまたていー  
にげー ぶり。

2020年1月末日

大学共同利用機関法人・人間文化研究機構

国立国語研究教授・副所長

木部暢子

## 刊行に寄せて

渡久山春英先生、セリック・ケナンさん、この度は大著の完成、誠におめでとうございます。心からの祝福を込めて、『多良間方言辞典』の刊行へと繋がったひとつの出会いについて触れさせていただきます。

本協会が主催する「鳴りとうゆんみや〜く方言大会」の第22回大会のチャンピオンで、「すまふつボランティア養成講座」の講師も務めていただいていたセリック・ケナンさんから「多良間語を学びたいので話者を紹介してほしい」と頼まれました。2014年10月のことです。それを受けて真っ先に思い浮かんだ方が渡久山春英先生でした。渡久山先生は多良間や多良間語について地元紙に度々投稿されており、郷土への愛と誇りに溢れたその文章を私は常々興味深く拝読していました。感動のあまり、面識のない渡久山先生にお電話を差し上げたこともあります。多良間や多良間語への深い思いを持っていらっしゃる渡久山先生ならセリックさんの調査に協力して下さるのではないかと、また、セリックさんは音声も収録したいとのことでしたので、滑舌も良く声量もあり、豊かな知識を併せ持った渡久山先生こそ相応しい方だと確信しました。後日、改めて渡久山先生にお話を伺ったところ、ご自身でも多良間語を纏めていらっしゃるとのこと、お二人の出会いから広がる世界に期待が膨らみました。

その後、お二人は辞典刊行に向けて資力的に作業を進められ、時には文化協会事務所が入っている建物の廊下の一角で、時には働く女性の家でと収録場所を転々としながら、時間を惜しむように取り組んでおられました。偶々作業に没頭してい

渡久山春英先生、セリック・ケナンさん、今度ぬ 辞典ぬ ムまりたり くとー やぐみぶからしやどー。ギむくくるから よーいう くみー、『多良間方言辞典』ぬ ムまりたり くとうんけー つながりたり 一つぬ いじやいぬ ばなすう かきー みーていー うめー ぶり。

文化協会ぬ すかきり 「鳴りとうゆんみや〜く方言大会」ぬ 22回ん 一番ん なりー、「すまふつボランティア養成講座」ぬ 先生まい 務みー わーりたり セリック・ケナンから「多良間語うなるーぶすしゃーりるが、ばなすべーうとうみー つふいー わーらんぬ」ていー 頼まいたり。2014年10月ぬ とうぎどう あたり。あんていー、でーん しゃだりーや 渡久山春英先生がどう うむづつかりたり。渡久山先生や 多良間語ぬ くとうー 宮古ぬ 新聞ー ゆー かきー ゆくしーたりば、ムまりずまんけーぬ かなすぶからすくとうぬ んーぬ うぬ かぎむぬー あんや ゆどうまんぐとう 読ム拝みー ぶたり。あていかぎしゃーりば いじやいーや みーん 渡久山先生んけー 電話う すたり ばーまい あり。多良間語んけー でーん 心ー むていー わーり 渡久山先生 あたからー、セリック・ケナンが しらびぐとうんや かしー しゃー わーらんげーらいていー、また、セリック・ケナンや くいまい うしやみていー ぶたりば、大声しー ふつゆムまいギギやっさ、また、うぶぎぬ うむくとうまい あり 渡久山先生どう ますていー きみたり。あとうから 改たみー 渡久山先生んけー うかぐー ばどう どうーまい 多良間語う まとうみー わーりていムだら。ふたーりが いじやいから むぬぬ 広がりがまたう まつんかにー ぶたり。

うぬ あとー、ふたーりら いずんでいー 辞典ゆ ムまらす すぐとうー しゃー、とうぎんや 文化協会ぬ かたふたん、とうぎんや 「働く女性の家」ん 取り所 う かいがつな、時間ゆ あたらかていー とうりくみー わーりたり。たまん ぶ

るお二人の御姿を拝見した時、生まれた場所も年齢も違えど、魂が呼応し、次元を超えて1つのことを成し遂げるために再会した同志のように見え、崇高なものを感じました。

渡久山先生の「変若水によってすでた」ような若々しい情熱とその地域の言葉を調査する際に言葉の背景にあるものを深く理解しようと努めるセリックさんの姿勢が、約1万5千語を収めたこの大著を生み出したと思っています。セリックさんの「多良間語を学びたい」という言葉から、あるいは彼のそれまでの様々な言動から、単なる言語学的な見地からの調査ではなく、その土地で暮らす人々の精神性、慣習なども丸ごと受け止めながら言葉が包含するあらゆるものを吸収していきたいという思いが伝わってきて、私も彼の研究姿勢に心動かされた1人です。ご自身の知的欲求、感動、関心に忠実に従い研究を重ねているように見えるセリックさん、泉の源頭から水を汲むような仕事をした先に、彼はどのような景色をみるのでしょうか。

最後に、この辞典が多くの研究の為に活用されることを願うと同時に、多良間の皆さん、あるいは出身者、島に関心を持つ多くの方々が、島の宝であり、財産であるこの辞典を開くことにより、改めて島を思い、多良間に対する誇りと愛着が深まることを願ってお祝いの言葉といたします。

たーリが すぐとうー みーうがムぼどう ムまり  
ずままい とうすまい つげー ぶりるが、たま  
すエー <sup>びてい</sup>一つん なりとうい、次元ゆ <sup>びてい</sup>くいー、  
一つぬ くとうー ムまらず たみん またまい い  
じゃうたり<sup>り</sup> どうすがまんーしー みーらい、や  
ぐみむぬていー うまーいたり<sup>り</sup>ばゆ。

渡久山先生<sup>しんしー</sup>が「若水<sup>わかみず</sup>ん すでいー ぶり<sup>り</sup>」んー  
だかりーぬ 青年<sup>しーにん</sup>がまぬ いずとう、うぬ すまぬ  
くとうぼう しらび<sup>り</sup>とうけん、くとうばぬ し  
やしゃいん あり<sup>り</sup> むぬー ちゅーく ならーずー  
ていー つとうみ<sup>り</sup>セリック・ケナンが 研究ぬ  
すーかたぬどう 1万5千語<sup>ご</sup>う うしゃみたり<sup>り</sup>く  
ぬ <sup>じていん</sup>辞典ゆ ムまらずたり<sup>り</sup>ていー うめー ぶり。セ  
リックが「多良間語<sup>ご</sup>う ならーずー」ていー イ  
ー くとうばから、また、かり<sup>り</sup>が なまがみぬ た  
ていでていぬ うくないからー、言語学的な み  
ーかたからてーかぬ しらびぐとー あらんぐと  
う、うぬ すまん くらす ピとうぬ ムめぬ ギ  
む、なりまい ムーな うきとうみがつな、くとう  
ばん ふくまい<sup>り</sup>ぬばしーぬ むぬまい うしゃ  
みー いかずーていーぬ うむいぬ つたいー き  
ー、あんまい かり<sup>り</sup>が しらびすがたん うどうる  
かしゃいたり<sup>り</sup> たうけーどー。どーが 知的欲  
求、感動、関心ー まくとうん すたがいー しら  
びぐとうー かしゃにーり<sup>り</sup>ていー みーらい<sup>り</sup>セ  
リック・ケナン、かーぬ むとうから みずう ム  
ーやうな すぐとうぬ しゃぎんや かれー、ぬば  
しーぬ ムにう みーずーげーらなー。

すまいん、くぬ <sup>じていん</sup>辞典ぬ がーつふえーぬ 研究  
ぬ たみん つかーい<sup>り</sup>くとうー にぐー。また、  
多良間ぬ 御衆<sup>くしゅーよー</sup>様、すまどうすぬ ムめ、すまう  
うむー びとうぬ ムめん とうりー、すまぬ た  
から、財産<sup>ぜん</sup>ん なりーり<sup>り</sup>くぬ <sup>じていん</sup>辞典ゆ ぷらギく  
とうん ゆりー、ムめびまい すまう うむいー、  
多良間んけーぬ ぶからしゃとう なしやきぬ ふ  
かまり<sup>り</sup>くとうー にぐーとうりー 嘉例<sup>かり</sup>ゆ っさ  
いずー。

2020年2月1日

(一社)宮古島市文化協会会長

大城裕子

## まえがき／しゃだてい

著者の幼少の頃の多良間島には標準語で会話をする人はいなかったような気がする。家庭はもちろん、道路を歩き交う人々、農作業の人々、集会所や伝統行事の人だかりの場所はどこにも、島ことばで終日賑わっていた。

文明のいたずらか、1950年代になると海上航路の船の大型化、航空機の運航などにもとない、島人は生活の糧を求めて島外へ出かけるようになった。この頃から孤島の多良間島の存在は薄らいでいくのである。何よりも、言語に大きな異変が目立つようになった。「ことばは変化する」といわれることが現に起きている。また「ことばは消滅する」ということも如実に物語っている。これらのことは都会と孤島の交流のもたらす現象でしかない。つまり、島ことばがおろそかになってしまったのである。このことはユネスコに消滅危機言語として取り上げられ、琉球諸島の言語にも警鐘を鳴らすようになった。

沖縄県宮古郡多良間村は行政上の位置づけであり、多良間島と水納島の2島から成っている。多良間島は沖縄本島から400キロメートルの地点にあり、宮古島と石垣島のほぼ中間に位置している。なお、字仲筋・字塩川・字水納の行政区があり、多少の言語のちがいがあがる。島には高等学校はないため、義務教育を了えた少年たちは宮古島や沖縄本島へ進学している。また、就職のために日本本土へ渡航するのが現状である。これらの人たちが帰省するまでには数10年を要し、前述のような島ことばの異変が見られるのである。単語を忘れてたり、発音が乱れたり、ふるさとの母語を身につけて育った少年たちの悲しい現実である。

2009年にユネスコは世界の言語の調査の結果を発表した。「消滅危機」「極めて深刻」「重大な危機」「危険」「脆弱」などに分類した。日本でも、アイヌ語をはじめとして琉球諸島の言語も「消滅危機言語」に分類された。

かギベーぬ やらびしゃーりけー 多良間島<sup>ずま</sup>んや 大和語<sup>やまとうぶつ</sup>う つくー ピとー ぶらーだたム。家<sup>や</sup>んかまい、道<sup>みち</sup>んまい、畑<sup>はら</sup>んまい、うぐなーりじやーんまい、まつりじやーんまい すまふつう つけー、一日<sup>ひつち</sup>が まーす たぬすムたり。

ゆーぬ かーりー、1950年ばかりからー 船<sup>ふに</sup>まい うぼーぶ なり、飛行機<sup>ひこうき</sup>まい かゆーば すまピとー 金儲<sup>じんまう</sup>きが たびんけー いぎたり。くぬ くるからー 離島<sup>はなりずま</sup>がまていーや うまーいだたム。でーん すまふつぬどう かーりー ねーん。「ことばは変化する」ていーぬ くとー なまどう っさいり。「ことばは消滅する」ていーまい まーんていーぬ ばなすどー。くぬ くとー 都会<sup>とukai</sup>どういなかぬ つきあいぬ しゅーくていーどう うまーいり。すまふつエー ばっすいらいー ねーん。くぬ くとー ユネスコ<sup>ゆにすこ</sup>まい だいずなくとていー かつらーとてい 「琉球諸語」う まむらだかー ならんていー 鐘<sup>かね</sup>う ならしー ぶり。

沖縄県宮古郡多良間村や 多良間島<sup>ずま</sup>とう 水納島<sup>ずま</sup>ぬ 二つぬ すまからどう なりーり。多良間島<sup>ずま</sup>ー 沖縄<sup>うき</sup>からー 400キロメートル ばなりーぬ とうくまん あり。宮古島<sup>みやこ</sup>とう 石垣島<sup>いしがき</sup>とうぬ ムなかんどう あり。仲筋<sup>なかつ</sup>・塩川<sup>しゆが</sup>・水納<sup>みな</sup>ぬ 三つぬ しゃとうぬ あり。くとうばまい いびーちゃーつがいーり。すまんや 高等学校<sup>こうとうがく</sup>や ねーん。義務教育<sup>りくぎう</sup>ー すまいたり ばかしーにんがまぬ ムめー宮古<sup>みやこ</sup>、沖縄<sup>うき</sup>んけーどう すムゆムが いぎ。またらー、金儲<sup>じんまう</sup>きが やまとうんけー いぎ。くぬ ピとうぬ ムめぬ すまんけー むどうりら 10年<sup>とうてい</sup>あまりどうす。うぬ 間<sup>あい</sup>んや すまふつう ばっすいー ねーんしゃー。んだらーしゃん ならん。

2009年や ユネスコ<sup>ゆにすこ</sup>まい 世界<sup>せかい</sup>ぬ くとうぼうしらびー 「消滅危機」「極めて深刻」「重大な危機」「危険」「脆弱」ていー ばきー ぶり。日本<sup>にっぽん</sup>ーまい、あいぬふつからー 琉球<sup>るーちゆー</sup>ぬ すまづまぬ くとうばまい 「消滅危機言語」ていー ばきら

沖縄県は9月18日を「しまくとぅばの日」に制定した。学校や地域に於いても話者を中心に方言の復活啓発に盛り上がりを見せている。なお、沖縄県は琉球諸語継承事業として、「書いて残そう島々の言葉」を県民に呼びかけて、島ことばによる作文や音声のCD化を目指している。私は2011年に応募して採用され、方言辞典の発刊を決意した。

国の文化庁は「危機的方言サミット」を主催し、北海道・八丈島・奄美大島・那覇・国頭・宮古島・石垣島・与那国島の8つの地区を持ち回りで開催している。私は宮古島市文化協会の大城裕子会長の推薦によって、2017年に那覇大会、2018年に宮古島大会に出場した。

2014年10月20日には京都大学大学院博士課程の言語学を研究するフランス人のセリック・ケナン氏に多良間方言のお手伝いの依頼を大城裕子会長から受け、現在に至っている。国境を越えて多良間方言を研究していることに敬服している。

いたり。

沖縄県や9月18日「しまとぅばの日」んしゃだみーうぎ。学校まいばなすべーからすまふつなれーぶり。また、沖縄県や琉球諸語継承事業ていー「書いて残そう島々言葉」うかかぎとぅい、すまふつにーぬかぎむぬーうながしー、また、くいゆまいCDんなしーくばりーり。あんや2011年いらばいたり。うんから<sup>じていん</sup>辞典ゆつつぶあていーきみたり。

国ぬ文化庁や「危機的方言サミット」まいすかきー、北海道・八丈島・奄美大島・那覇・国頭・宮古島・石垣島・与那国うむつまーりーり。あんや、宮古島市文化協会ぬ会長大城裕子さんから<sup>う</sup>推しゃいー、2017年や那覇大会、2018年や宮古島大会んけーんでいーたらまふつうばなすたり。

2014年10月20日んや京都大学大学院博士課程ぬ言語学ゆ研究しーぶり°フランス人ぬセリック・ケナンとうばずみていーいじやうたり。くりまい大城裕子さんがどういじやうすみたり。多良間語うならーしーなまなりーぶり。国境ゆくいー多良間語<sup>ふつ</sup>う研究しーわーりーり°セリック・ケナンんけーや「やぐみすでいがぶー」ていーくくるからうめーぶり。

2020年1月30日

渡久山春英

## 目次

刊行に寄せて（田窪行則）	i
刊行に寄せて（木部暢子）	iii
刊行に寄せて（大城裕子）	v
まえがき／しゃだてい	vii
本文編	1
概説	3
凡例	25
本文	29
あ	29
い	62
う	79
え	111
お	113
か	114
き	146
く	159
け	179
こ	182
さ	184
し	186
す	222
そ	241
た	242
ち	264
つ	271
て	289
と	298
な	316
に	335
ぬ	345
ね	356

の	357
は	358
ひ	389
ふ	414
へ	445
ほ	448
ま	450
み	466
む	482
め	502
も	504
や	505
ゆ	520
よ	533
ら	535
り	536
る	537
れ	538
ろ	539
わ	540
ん	544
付録	549
雨ニモマケズ	551
あとがき	553

# 本文編



## 概説

### 1. はじめに

南琉球宮古語多良間諸方言は沖縄県宮古郡多良間村で伝統的に話されていることばである。多良間島の仲筋<sup>なかすじ</sup>および塩川<sup>しおかわ</sup>集落で話されている仲筋方言<sup>なかすじほうげん</sup>と塩川方言<sup>しおかわほうげん</sup>（合わせて「多良間方言」または「多良間島方言」）と、かつては水納島<sup>みななしま</sup>で、現在は宮古島の高野集落で話されている水納島方言<sup>みななしまほうげん</sup>から成る。多良間村を構成する多良間島と水納島は宮古島と石垣島の上に位置しており、宮古島から約 67 キロメートル、石垣島から約 35 キロメートル離れている（図 1）。石垣島の方に近いが、仲宗根<sup>なかすね</sup>豊見親<sup>とよみち</sup>の古い時代から宮古の文化圏に入っており、多良間は宮古に属しているという意識が現在まで続いている。

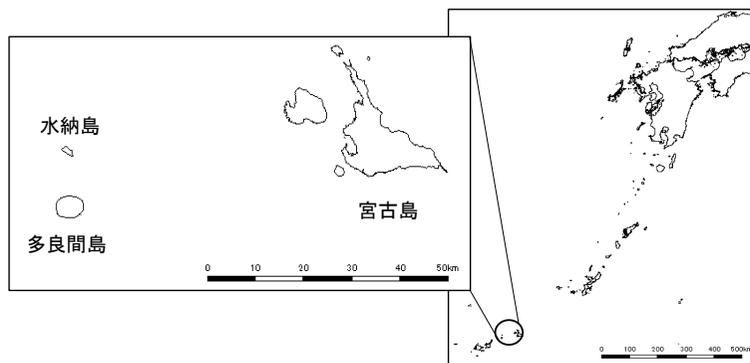


図 1 多良間島の位置 (KenMap92 を使用して作成)

ことばの系統についても八重山諸方言より宮古島やその周りの離島で話されている方言の方が近いとされており、図 2 に示す最新の研究の結果によると多良間諸方言が宮古語に分類されている (ローレンス 2003, Pellard 2009)。さらに宮古語、八重山語、与那国語は琉球列島で話される琉球諸語の中で「南琉球語派」と呼ばれる一つの系統的なグループを成しており、「南琉球祖語」または「先島祖語」と呼ばれる同一の祖語に遡ると考えられている。

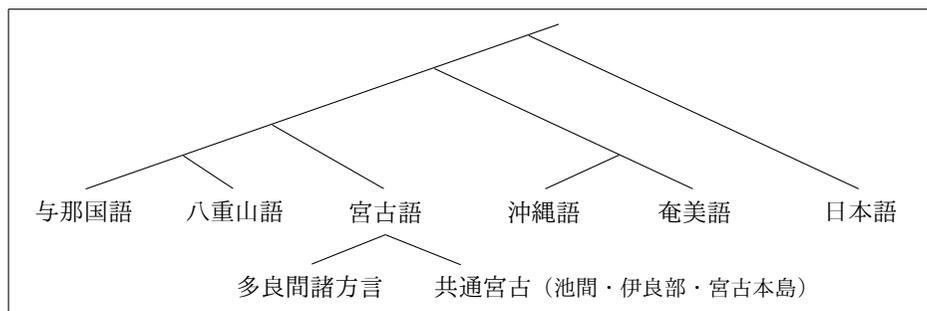


図 2 宮古語多良間方言の系統関係 (Pellard 2009)

多良間諸方言を構成する仲筋方言、塩川方言、水納島方言は相互理解を妨げない程度の方言差が認められる。本辞典は仲筋方言を収録したものである。

## 2. 語彙に関する先行研究

多良間諸方言の語彙を対象とした研究はこれまで多くの成果が蓄積されてきた。まず、ロシア人の言語学者ニコライ・ネフスキーが戦前まとめた調査ノートの中に多良間方言の単語が500語以上含まれている(Nevskiy (2005) と Jarosz (2015) に収録)。戦後以降は、約800語を収録した琉球大学沖縄文化研究所(1968)、約4000語を収録した平山(1983)、約8000語を収録した高橋(1993, 1994, 1995)と約4000語を収録した下地(2017)の研究が出ている。水納島方言の語彙研究については約230語を収録した崎山(1963)と約1200語を収録したセリック(2020)がある。本辞典がさらに加わるこれらの研究は被調査者の世代、使用された調査票や調査方法、調査結果の編集方針など、たくさんの点において異なる特徴を示しており、その内容が合い補っているところが多い。従って、ここで言及した全ての先行研究を本辞典と合わせて参照することで、多良間方言の語彙の全体像がはじめて見えてくるのではないかと考えられる。

## 3. アクセント

多良間方言はa型、b型、c型と呼ばれる3種類のアクセント型を区別している。これらのアクセント型は「低核」、すなわち、必ず低く発音される拍の有無と位置によって区別されている(青井 2019)。それに加えて、アクセントの実現を正しく記述するために、「韻律語」という単位を想定する必要もある。今のところ、韻律語は2拍以上の語根または助詞、およびそれらに接辞や1拍助詞が付いた単位によって形成されると考えられている(五十嵐 2015, 2016)。この単位を用いて多良間方言のアクセント型を次のように記述することができる。a型は無核で、b型は二番目の韻律語の末尾拍に、c型は一番目の韻律語の末尾拍に低核がある。a型の〈ぶとう〉「夫」、b型の〈みどうム〉「女性」、c型の〈うや〉「父」を例に挙げて(1)に示す(低核は下線を引き、「<sup>1</sup>」はピッチの下降、「<sup>↑</sup>」はピッチの上昇を表し、韻律語の境界を「( )」で示す)。

- (1) a型：(ぶとう) (まい) (ぶ<sup>1</sup>り) 「夫もいる」  
b型：(み<sup>1</sup>どうム) (ま<sup>↑</sup>い) (ぶ<sup>1</sup>り) 「女性もいる」  
c型：(う<sup>1</sup>や) (まい) (ぶ<sup>1</sup>り) 「お父さんもいる」

なお、多良間方言のアクセントは低核の前におけるピッチの下降、または、その後におけるピッチの上昇によって実現する(青井 2018)。これは低核を含む語が続くときに特に明瞭に現れる。下の(2)にc型の〈うや〉「父」と〈あんな〉「母」を例に挙げる。

- (2) (う<sup>1</sup>や) (まい) (あ<sup>1</sup>んな) (ま<sup>↑</sup>い) (ぶ<sup>1</sup>り)  
「お父さんもお母さんもいる」

## 4. 動詞の活用

動詞は2種類の規則的な活用類、I類とII類に分かれる。I類に属する動詞は「書く」「読む」のように日本語の五段動詞に対応しており、命令形が〈い〉に終わり、否定形において〈あ〉が現れる。II類に属する動詞は「見る」「起きる」のように一段動詞に対応しており、命令形が〈くる〉に終わり、否定形において〈あ〉が現れない。それに加えて、混合型の動詞〈すに<sup>1</sup>り〉「死ぬ」と不規則な活用を示す変則型の動詞〈すー〉「する」と〈ギー〉「来る」がある。表1にそれぞれの活用類の代表的な例を示す。

表2-9では、表1に掲げた動詞の終止諸活用形と中止諸活用形を載せる。終止諸活用形は**基本形**(す

る)、使役形 (させる)、受身可能形 (される・することができる)、m 語尾形 (するよ)、焦点形 (しぞ  
する)、疑問形 (するか)、否定形 (しない)、進行融合形 (している)、命令形 (しなさい)、命令 2 形  
(しなさい)、勧誘形 (しよう)、禁止形 (するな)、未来形 (するべきだ)、意思形 (するよ)、意思 2 形  
(するよ)、意思否定形 (しないよ)、反語形 (するわけない)、反語 2 形 (するわけない)、希求形 (す  
ればよいのに)、希求 2 形 (すればよいのに)、過去形 (した)、過去 2 形 (した)、過去 m 語尾形 (し  
たよ)、過去焦点形 (しぞした)、過去否定形 (しなかった)、過去否定 m 語尾形 (しなかったよ)、完  
了形 (した) の形を載せる。

中止諸活用形は 接続形 (して)、接続否定形 (しないで)、継起形 (してから)、付帯形 (していて)、  
理由形 (するので)、理由否定形 (しないので)、逆接形 (するが)、逆接否定形 (しないが)、譲歩形  
(しても)、譲歩否定形 (しなくても)、確定条件形 (したら)、条件形 (すれば)、条件否定形 (しなけれ  
ば)、意思理由形 (するので)、意思否定理由形 (しないので)、意思逆接形 (するが)、過去理由形 (し  
たので)、過去否定理由形 (しなかったので)、過去確定条件形 (したのならば)、過去否定確定条件形  
(しなかったのならば)、過去譲歩形 (したとしても)、過去否定譲歩形 (しなかったとしても) の形を  
載せる。

表1 活用類の代表的な例

活用類	動詞例	基本形	命令形	否定形
I 類	かギ「書く」	かギ	かき	かかん
	くギ「漕ぐ」	くギ	くぎ	くがん
	とうビ「飛ぶ」	とうビ	とうび	とうばん
	ゆム「読む」	ゆム	ゆみ	ゆまん
	まつ「待つ」	まつ	まてい	またん
	なす「成す」	なす	なし	なしゃん
	なり「成る」	なり	なり	ならん
	っふイ「降る」	っふイ	っふい	っふあん
	ヴヅイ「売る」	ヴヅイ	ヴヅい	ヴヅあん
	うつつー「移る」	うつつー	うっち	うっちゃん
	ゆっずー「寄る」	ゆっずー	ゆっじ	ゆっじゃん
	ギー「切る」	ギー	ギすい	ギさん
	イー「言う」	イー	イズい	イズあん
	かう「買う」	かう	かい	かーん
	ふー「食べる」	ふー	ふあい	ふあーん
	うむー「思う」	うむー	うむい	うまーん
I 類 (変則)	ムべう「堪える」	ムべう	ムばいる	ムばーん
	あり「ある」	あり	ー	ねーん
	あり「である」	あり	ー	あらん
	ぶり「居る」	ぶり	ぶり	ぶら (ー) ん
II 類	みーリ「見る」	みーリ	みーる	みーん
	うきリ「起きる」	うきリ	うきる	うきん
	ゆいリ「もらう」	ゆいリ	ゆいる	ゆいん
II 類 (変則)	ににリ「寝る」	ににリ	ににる / ににる	ににん
混合型	すにリ (死ぬ)	すにリ	すにる	すなん
変則型	すー「する」	すー	しる	しゅん
	ギー「来る」	ギー	くー	くん

表 2a I 類動詞の終止活用形（「書く」「漕ぐ」「読む」「待つ」）

活用形	「書く」	「漕ぐ」	「読む」	「待つ」
基本	かギ	くギ	ゆム	まつ
使役	かかす	くがす	ゆます	またす
受身・可能	かかりヅ	くがりヅ	ゆまりヅ	またりヅ
	かかいヅ	くがいヅ	ゆまいヅ	またいヅ
m 語尾	かギム	くギム	ゆミム	むつム
焦点	かギどうす	くギどうす	ゆムどうす	まつどうす
疑問	かギば	くギば	ゆムば	まつば
否定	かかん	くがん	ゆまん	またん
進行融合	かきーヅ	くぎーヅ	ゆみーヅ	まていーヅ
命令	かき	くぎ	ゆみ	まてい
命令 2	かかだ	くがだ	ゆまだ	まただ
勧誘	かか	くが	ゆま	また
禁止	かギな	くギな	ゆムな	まつな
未来	かギぐむた	くギぐまた	ゆムぐまた	まつぐまた
意思	かかずー	くがずー	ゆまずー	またずー
意思 2	かかんー	くがんー	ゆまんー	またんー
意思否定	かかまん	くがまん	ゆままん	またまん
反語	かかっじーば	くがっじーば	ゆまっじーば	またっじーば
反語 2	かギムまー	くギムまー	ゆミムまー	まつムまー
希求	かかばやー	くがばやー	ゆまばやー	またばやー
希求 2	かかます	くがます	ゆまます	またます
過去	かギたリ	くギたリ	ゆムたリ	まつたリ
過去 m 語尾	かギたム	くギたム	ゆムたム	まつたム
過去 2	かきー	くぎー	ゆみー	まていー
過去焦点	かギどうすたリ	くギどうすたリ	ゆムどうすたリ	まつどうすたリ
過去否定	かかだたリ	くがだたリ	ゆまだたリ	まただたリ
過去否定 m 語尾	かかだたム	くがだたム	ゆまだたム	まただたム
完了	かぎった	くぎった	ゆみった	まていった

表 2b I 類動詞の中止活用形（「書く」「漕ぐ」「読む」「待つ」）

活用形	「書く」	「漕ぐ」	「読む」	「待つ」
接続	かきー	くぎー	ゆみー	まていー
接続否定	かかんぐとう	くがんぐとう	ゆまんぐとう	またんぐとう
継起	かきっていー	くぎっていー	ゆみっていー	まていっていー
付帯	かぎとうい	くぎとうい	ゆムとうい	まつとうい
	かぎとうりー	くぎとうりー	ゆムとうりー	まつとうりー
理由	かぎば	くぎば	ゆムば	まつば
理由否定	かかんにば	くがんにば	ゆまんにば	またんにば
	かかんにー	くがんにー	ゆまんにー	またんにー
逆接	かぎすうが	くぎすうが	ゆムしゆが	まつしゆが
逆接否定	かかんしゆが	くがんしゆが	ゆまんしゆが	またんしゆが
譲歩	かぎばム	くぎばム	ゆムばム	まつばム
	かぎばまい	くぎばまい	ゆムばまい	まつばまい
	かかばム	くがばム	ゆまばム	またばム
	かかばまい	くがばまい	ゆまばまい	またばまい
譲歩否定	かかんねーまい	くがんねーまい	ゆまんねーまい	またんねーまい
	かかばムねーまい	くがばムねーまい	ゆまばムねーまい	またばムねーまい
確定条件	かかば	くがば	ゆまば	またば
条件	かぎたか（ら）ー	くぎたか（ら）ー	ゆムたか（ら）ー	まつたか（ら）ー
	かぎていか（ら）ー	くぎていか（ら）ー	ゆムていか（ら）ー	まつていか（ら）ー
条件否定	かかだか（ら）ー	くがだか（ら）ー	ゆまだか（ら）ー	まただか（ら）ー
意思理由	かかっじば	くがっじば	ゆまっじば	またっじば
	かかっじゃー	くがっじゃー	ゆまっじゃー	またっじゃー
	かかっじー	くがっじー	ゆまっじー	またっじー
意思否定理由	かかまんには	くがまんには	ゆままんには	またまんには
	かかまんには	くがまんには	ゆままんには	またまんには
意思逆接	かかっじゆが	くがっじゆが	ゆまっじゆが	またっじゆが
過去理由	かぎたりば	くぎたりば	ゆムたりば	まつたりば
	かぎたりー	くぎたりー	ゆムたりー	まつたりー
過去否定理由	かかだたりば	くがだたりば	ゆまだたりば	まただたりば
	かかだたりー	くがだたりー	ゆまだたりー	まただたりー
過去確定条件	かぎたらばー	くぎたらばー	ゆムたらばー	まつたらばー
過去否定確定条件	かかだたらばー	くがだたらばー	ゆまだたらばー	まただたらばー
過去譲歩	かぎたりばまい	くぎたりばまい	ゆムたりばまい	まつたりばまい
過去否定譲歩	かかだたりばまい	くがだたりばまい	ゆまだたりばまい	まただたりばまい

表 3a I 類動詞の終止活用形（「成す」「成る」「降る」「売る」）

活用形	「成す」	「成る」	「降る」	「売る」
基本	なす	なり	っふい	ヴヴィ
使役	なしゃす	ならず	っふあす	ヴヴァす
受身・可能	なしゃり	なり	っふあり	ヴヴァり
	なしゃい	なり	っふあい	ヴヴァい
m 語尾	なすム	なりム	っふイム	ヴヴィム
焦点	なすどうす	なりどうす	っふいどうす	ヴヴィどうす
疑問	なすば	なりば	っふいば	ヴヴィば
否定	なしゃん	ならん	っふあん	ヴヴァん
進行融合	なしー	なりー	っふいー	ヴヴァいー
命令	なし	なり	っふい	ヴヴィ
命令 2	なしゃだ	ならだ	っふあだ	ヴヴァだ
勧誘	なしゃ	なら	っふあ	ヴヴァ
禁止	なすな	なりな	っふいな	ヴヴィな
未来	なすぐまた	なりぐまた	っふいぐまた	ヴヴィぐまた
意思	なしゃずー	ならずー	っふあずー	ヴヴァずー
意思 2	なしゃんー	ならんー	っふあんー	ヴヴァんー
意思否定	なしゃまん	ならまん	っふあまん	ヴヴァまん
反語	なしゃっじーば	ならっじーば	っふあっじーば	ヴヴァっじーば
反語 2	なすムまー	なりムまー	っふイムまー	ヴヴィムまー
希求	なしゃばやー	ならばやー	っふあばやー	ヴヴァばやー
希求 2	なしゃます	ならます	っふあます	ヴヴァます
過去	なすたり	なりたり	っふいたり	ヴヴィたり
過去 m 語尾	なすたム	なりたム	っふいたム	ヴヴィたム
過去 2	なしー	なりー	っふいー	ヴヴァいー
過去焦点	なすどうすたり	なりどうすたり	っふいどうすたり	ヴヴィどうすたり
過去否定	なしゃだたり	ならだたり	っふあだたり	ヴヴァだたり
過去否定 m 語尾	なしゃだたム	ならだたム	っふあだたム	ヴヴァだたム
完了	なした	なり	っふいた	ヴヴィ

表 3b I 類動詞の中止活用形（「成す」「成る」「降る」「売る」）

活用形	「成す」	「成る」	「降る」	「売る」
接続	なしー	なりー	っふいー	ヴヴいー
接続否定	なしやんぐとう	ならんぐとう	っふあんぐとう	ヴヴあんぐとう
継起	なしっていー	なりっていー	っふいっていー	ヴヴいっていー
付帯	なすとうい	なりとうい	っふいとうい	ヴヴいとうい
	なすとうりー	なりとうりー	っふいとうりー	ヴヴいとうりー
理由	なすば	なりば	っふいば	ヴヴいば
理由否定	なしやんにば	ならんにば	っふあんにば	ヴヴあんにば
	なしやんにー	ならんにー	っふあんにー	ヴヴあんにー
逆接	なすしゅが	なりるが／なりしゅが	っふいしゅが	ヴヴいしゅが
逆接否定	なしやしゅが	ならんしゅが	っふあんしゅが	ヴヴあんしゅが
譲歩	なすばム	なりばム	っふいばム	ヴヴいばム
	なすばまい	なりばまい	っふいばまい	ヴヴいばまい
	なしやばム	ならばム	っふあばム	ヴヴあばム
	なしやばまい	ならばまい	っふあばまい	ヴヴあばまい
譲歩否定	なしやんねーまい	ならんねーまい	っふあんねーまい	ヴヴあんねーまい
	なしやばムねーまい	ならばムねーまい	っふあばムねーまい	ヴヴあばムねーまい
確定条件	なしやば	ならば	っふあば	ヴヴあば
条件	なすたか（ら）ー	なりたか（ら）ー	っふいたか（ら）ー	ヴヴいたか（ら）ー
	なすていか（ら）ー	なりていか（ら）ー	っふいていか（ら）ー	ヴヴいていか（ら）ー
条件否定	なしやだか（ら）ー	ならだか（ら）ー	っふあだか（ら）ー	ヴヴあだか（ら）ー
意思理由	なしやっじば	ならっじば	っふあっじば	ヴヴあっじば
	なしやっじやー	ならっじやー	っふあっじやー	ヴヴあっじやー
	なしやっじー	ならっじー	っふあっじー	ヴヴあっじー
意思否定理由	なしやまんには	ならまんには	っふあまんには	ヴヴあまんには
	なしやまんにー	ならまんにー	っふあまんにー	ヴヴあまんにー
意思逆接	なしやっじゅが	ならっじゅが	っふあっじゅが	ヴヴあっじゅが
過去理由	なすたりば	なりたりば	っふいたりば	ヴヴいたりば
	なすたりー	なりたりー	っふいたりー	ヴヴいたりー
過去否定理由	なしやだたりば	ならだたりば	っふあだたりば	ヴヴあだたりば
	なしやだたりー	ならだたりー	っふあだたりー	ヴヴあだたりー
過去確定条件	なすたらばー	なりたらばー	っふいたらばー	ヴヴいたらばー
過去否定確定条件	なしやだたらばー	ならだたらばー	っふあだたらばー	ヴヴあだたらばー
過去譲歩	なすたりばまい	なりたりばまい	っふいたりばまい	ヴヴいたりばまい
過去否定譲歩	なしやだたりばまい	ならだたりばまい	っふあだたりばまい	ヴヴあだたりばまい

表 4a I 類動詞の終止活用形（「移る」「寄る」「切る」「言う」）

活用形	「移る」	「寄る」	「切る」	「言う」
基本	うつー	ゆっずー	ギー	イー
使役	うっちゃす	ゆっじゃす	ギさす	イズあす
受身・可能	うっちゃりり	ゆっじゃりり	ギさりり	イズありり
	うっちゃいり	ゆっじゃいり	ギさいり	イズあいり
m 語尾	うつーム	ゆっずーム	ギーム	イーム
焦点	うつーどうす	ゆっずーどうす	ギーどうす	イーどうす
疑問	うつーば	ゆっずーば	ギーば	イーば
否定	うっちゃん	ゆっじゃん	ギさん	イズあん
進行融合	うっちーり	ゆっじーり	ギすいーり	イズいーり
命令	うっち	ゆっじ	ギすい	イズい
命令 2	うっちゃだ	ゆっじゃだ	ギさだ	イズあだ
勧誘	うっちゃ	ゆっじゃ	ギさ	イズあ
禁止	うつーな	ゆっずーな	ギーな	イーな
未来	うつーぐまた	ゆっずーぐまた	ギーぐまた	イーぐまた
意思	うっちゃずー	ゆっじゃずー	ギさずー	イズあずー
意思 2	うっちゃんー	ゆっじゃんー	ギさんー	イズあんー
意思否定	うっちゃん	ゆっじゃまん	ギさん	イズあまん
反語	うっちゃっじーば	ゆっじゃっじーば	ギさっじーば	イズあっじーば
反語 2	うつームまー	ゆっずームまー	ギームまー	イームまー
希求	うっチャばやー	ゆっじゃばやー	ギさばやー	イズあばやー
希求 2	うっチャます	ゆっじゃます	ギさます	イズあます
過去	うつーたり	ゆっずーたり	ギーたり	イーたり
過去 m 語尾	うつーたム	ゆっずーたム	ギーたム	イーたム
過去 2	うっちー	ゆっじー	ギすいー	イズいー
過去焦点	うつーどうすたり	ゆっずーどうすたり	ギーどうすたり	イーどうすたり
過去否定	うっチャだたり	ゆっじゃだたり	ギさだたり	イズあだたり
過去否定 m 語尾	うっチャだたム	ゆっじゃだたム	ギさだたム	イズあだたム
完了	うっちった	ゆっじった	ギすいった	イズいった

表 4b I 類動詞の中止活用形（「移る」「寄る」「切る」「言う」）

活用形	「移る」	「寄る」	「切る」	「言う」
接続	うっちー	ゆっじー	ぎすいー	イズいー
接続否定	うっちゃんぐとぅ	ゆっじゃんぐとぅ	ぎさんぐとぅ	イズあんぐとぅ
継起	うっちっていー	ゆっじっていー	ぎすいっていー	イズいっていー
付帯	うっつーとぅい	ゆっずーとぅい	ギーとぅい	イーとぅい
	うっつーとぅりー	ゆっずーとぅりー	ギーとぅりー	イーとぅりー
理由	うっつーば	ゆっずーば	ギーば	イーば
理由否定	うっちゃんにば	ゆっじゃんにば	ぎさんにば	イズあんにば
	うっちゃんにー	ゆっじゃんにー	ぎさんにー	イズあんにー
逆接	うっつーしゅが	ゆっずーしゅが	ギーしゅが	イーしゅが
逆接否定	うっちゃんしゅが	ゆっじゃんしゅが	ぎさんしゅが	イズあんしゅが
譲歩	うっつーばム	ゆっずーばム	ギーばム	イーばム
	うっつーばまい	ゆっずーばまい	ギーばまい	イーばまい
	うっちゃばム	ゆっじゃばム	ぎさばム	イズあばム
	うっちゃばまい	ゆっじゃばまい	ぎさばまい	イズあばまい
譲歩否定	うっちゃんねーまい	ゆっじゃんねーまい	ぎさんねーまい	イズあんねーまい
	うっちゃばムねーまい	ゆっじゃばムねーまい	ぎさばムねーまい	イズあばムねーまい
確定条件	うっちゃば	ゆっじゃば	ぎさば	イズあば
条件	うっつーたか（ら）ー	ゆっずーたか（ら）ー	ギーたか（ら）ー	イーたか（ら）ー
	うっつーていか（ら）ー	ゆっずーていか（ら）ー	ギーていか（ら）ー	イーていか（ら）ー
条件否定	うっちゃだか（ら）ー	ゆっじゃだか（ら）ー	ぎさだか（ら）ー	イズあだか（ら）ー
意思理由	うっちゃっじば	ゆっじゃっじば	ぎさっじば	イズあっじば
	うっちゃっじゃー	ゆっじゃっじゃー	ぎさっじゃー	イズあっじゃー
	うっちゃっじー	ゆっじゃっじー	ぎさっじー	イズあっじー
意思否定理由	うっちゃまんにば	ゆっじゃまんにば	ぎさまんにば	イズあまんにば
	うっちゃまんにー	ゆっじゃまんにー	ぎさまんにー	イズあまんにー
意思逆接	うっちゃっじゅが	ゆっじゃっじゅが	ぎさっじゅが	イズあっじゅが
過去理由	うっつーたげば	ゆっずーたげば	ギーたげば	イーたげば
	うっつーたりー	ゆっずーたりー	ギーたりー	イーたりー
過去否定理由	うっちゃだたげば	ゆっじゃだたげば	ぎさだたげば	イズあだたげば
	うっちゃだたりー	ゆっじゃだたりー	ぎさだたりー	イズあだたりー
過去確定条件	うっつーたらばー	ゆっずーたらばー	ギーたらばー	イーたらばー
過去否定確定条件	うっちゃだたらばー	ゆっじゃだたらばー	ぎさだたらばー	イズあだたらばー
過去譲歩	うっつーたげばまい	ゆっずーたげばまい	ギーたげばまい	イーたげばまい
過去否定譲歩	うっちゃだたげばまい	ゆっじゃだたげばまい	ぎさだたげばまい	イズあだたげばまい

表 5a I 類動詞の終止活用形（「買う」「食べる」「思う」「堪える」）

活用形	「買う」	「食べる」	「思う」	「堪える」
基本	かう	ふー	うむー	ムべう
使役	かーす	ふあーす	うまーす	ムばーす
受身・可能	かーりり かーいり	ふあーりり ふあーいり	うまーりり うまーいり	ムばーりり ムばーいり
m 語尾	かうム	ふーム	うむーム	ムべうム
焦点	かうどうす	ふーどうす	うむーどうす	ムべうどうす
疑問	かうば	ふーば	うむーば	ムべうば
否定	かーん	ふあーん	うまーん	ムばーん
進行融合	けーり	ふえーり	うめーり	ムべーり
命令	かい	ふあい	うむい	ムばいる
命令 2	かーだ	ふあーだ	うまーだ	ムばーだ
勧誘	かー	ふあー	うまー	ムばー
禁止	かうな	ふーな	うむーな	ムべうな
未来	かうぐまた	ふーぐまた	うむーぐまた	ムべうぐまた
意思	かーずー	ふあーずー	うまーずー	ムばーずー
意思 2	かーんー	ふあーんー	うまーんー	ムばーんー
意思否定	かーまん	ふあーまん	うまーまん	ムばーまん
反語	かーっじーば	ふあーっじーば	うまーっじーば	ムばーっじーば
反語 2	かうムまー	ふームまー	うむームまー	ムべうムまー
希求	かーばやー	ふあーばやー	うまーばやー	ムばーばやー
希求 2	かーます	ふあーます	うまーます	ムばーます
過去	かうたり	ふーたり	うむーたり	ムべうたり
過去 m 語尾	かうたム	ふーたム	うむーたム	ムべうたム
過去 2	けー	ふえー	うめー／うむいー	ムべー／ムばいー
過去焦点	かうどうすたり	ふーどうすたり	うむーどうすたり	ムべうどうすたり
過去否定	かーだたり	ふあーだたり	うまーだたり	ムばーだたり
過去否定 m 語尾	かーだたム	ふあーだたム	うまーだたム	ムばーだたム
完了	けーった	ふえーった	うめーった	ムべーった／ムばいった

表 5b I 類動詞の中止活用形（「買う」「食べる」「思う」「堪える」）

活用形	「買う」	「食べる」	「思う」	「堪える」
接続	けー	ふえー	うめー／うむいー	ムベー／ムばいー
接続否定	かーんぐとう	ふあーんぐとう	うまーんぐとう	ムばーんぐとう
継起	けーっていー	ふえーっていー	うめーっていー	ムベーっていー
付帯	かうとうい	ふーとうい	うむーとうい	ムべうとうい
	かうとうりー	ふーとうりー	うむーとうりー	ムべうとうりー
理由	かうば	ふーば	うむーば	ムべうば
理由否定	かーんにば	ふあーんにば	うまーんにば	ムばーんにば
	かーんにー	ふあーんにー	うまーんにー	ムばーんにー
逆接	かうしゅが	ふーしゅが	うむーしゅが	ムべうしゅが
逆接否定	かーんしゅが	ふあーんしゅが	うまーんしゅが	ムばーんしゅが
譲歩	かうばム	ふーばム	うむーばム	ムべうばム
	かうばまい	ふーばまい	うむーばまい	ムべうばまい
	かーばム	ふあーばム	うまーばム	ムばーばム
	かーばまい	ふあーばまい	うまーばまい	ムばーばまい
譲歩否定	かーんねーまい	ふあーんねーまい	うまーんねーまい	ムばーんねーまい
	かーばムねーまい	ふあーばムねーまい	うまーばムねーまい	ムばーばムねーまい
確定条件	かーば	ふあーば	うまーば	ムばーば
条件	かうたか（ら）ー	ふーたか（ら）ー	うむーたか（ら）ー	ムべうたか（ら）ー
	かうていか（ら）ー	ふーていか（ら）ー	うむーていか（ら）ー	ムべうていか（ら）ー
条件否定	かーだか（ら）ー	ふあーだか（ら）ー	うまーだか（ら）ー	ムばーだか（ら）ー
意思理由	かーっじば	ふあーっじば	うまーっじば	ムばーっじば
	かーっじゃー	ふあーっじゃー	うまーっじゃー	ムばーっじゃー
	かーっじー	ふあーっじー	うまーっじー	ムばーっじー
意思否定理由	かーまんにば	ふあーまんにば	うまーまんにば	ムばーまんにば
	かーまんにー	ふあーまんにー	うまーまんにー	ムばーまんにー
意思逆接	かーっじゅが	ふあーっじゅが	うまーっじゅが	ムばーっじゅが
過去理由	かうたげば	ふーたげば	うむーたげば	ムべうたげば
	かうたりー	ふーたりー	うむーたりー	ムべうたりー
過去否定理由	かーだたげば	ふあーだたげば	うまーだたげば	ムばーだたげば
	かーだたりー	ふあーだたりー	うまーだたりー	ムばーだたりー
過去確定条件	かうたらばー	ふーたらばー	うむーたらばー	ムべうたらばー
過去否定確定条件	かーだたらばー	ふあーだたらばー	うまーだたらばー	ムばーだたらばー
過去譲歩	かうたげばまい	ふーたげばまい	うむーたげばまい	ムべうたげばまい
過去否定譲歩	かーだたげばまい	ふあーだたげばまい	うまーだたげばまい	ムばーだたげばまい

表 6a I 類 (変則) 動詞の終止活用形 (「ある」「である」「居る」)

活用形	「ある」	「である」	「居る」
基本	あ <sup>リ</sup>	あ <sup>リ</sup>	ぶ <sup>リ</sup>
使役	あ <sup>ら</sup> す	—	ぶ <sup>ら</sup> す
受身・可能	あ <sup>ら</sup> り <sup>リ</sup> あ <sup>ら</sup> い <sup>リ</sup>	—	ぶ <sup>ら</sup> り <sup>リ</sup> ぶ <sup>ら</sup> い <sup>リ</sup>
m 語尾	あ <sup>ム</sup>	あ <sup>ム</sup>	ぶ <sup>ム</sup>
焦点	あ <sup>リ</sup> ど <sup>う</sup> す	ど <sup>う</sup> あ <sup>リ</sup>	ぶ <sup>リ</sup> ど <sup>う</sup> す
疑問	あ <sup>リ</sup> ば	あ <sup>リ</sup> ば	ぶ <sup>リ</sup> ば
否定	ねー <sup>ん</sup>	あ <sup>ら</sup> ん	ぶ <sup>ら</sup> (一) <sup>ん</sup>
進行融合	あ <sup>り</sup> ー <sup>リ</sup>	—	ぶ <sup>り</sup> ー <sup>リ</sup>
命令	—	—	ぶ <sup>り</sup>
命令 2	—	—	ぶ <sup>ら</sup> だ
勧誘	—	—	ぶ <sup>ら</sup>
禁止	—	—	ぶ <sup>リ</sup> な
未来	あ <sup>リ</sup> ぐ <sup>ま</sup> た	あ <sup>リ</sup> ぐ <sup>ま</sup> た	ぶ <sup>リ</sup> ぐ <sup>ま</sup> た
意思	あ <sup>ら</sup> ずー	あ <sup>ら</sup> ずー	ぶ <sup>ら</sup> ずー
意思 2	あ <sup>ら</sup> んー	あ <sup>ら</sup> んー	ぶ <sup>ら</sup> んー
意思否定	あ <sup>ら</sup> ま <sup>ん</sup>	あ <sup>ら</sup> ま <sup>ん</sup>	ぶ <sup>ら</sup> ま <sup>ん</sup>
反語	あ <sup>ら</sup> っ <sup>じ</sup> ー <sup>ば</sup>	あ <sup>ら</sup> っ <sup>じ</sup> ー <sup>ば</sup>	ぶ <sup>ら</sup> っ <sup>じ</sup> ー <sup>ば</sup>
反語 2	あ <sup>ム</sup> まー	あ <sup>ム</sup> まー	ぶ <sup>ム</sup> まー
希求	あ <sup>ら</sup> ば <sup>や</sup> ー	あ <sup>ら</sup> ば <sup>や</sup> ー	ぶ <sup>ら</sup> ば <sup>や</sup> ー
希求 2	あ <sup>ら</sup> ま <sup>す</sup>	あ <sup>ら</sup> ま <sup>す</sup>	ぶ <sup>ら</sup> ま <sup>す</sup>
過去	あ <sup>た</sup> り	あ <sup>た</sup> り	ぶ <sup>た</sup> り
過去 m 語尾	あ <sup>た</sup> ム	あ <sup>た</sup> ム	ぶ <sup>た</sup> ム
過去 2	あ <sup>り</sup> ー	—	ぶ <sup>り</sup> ー
過去焦点	あ <sup>リ</sup> ど <sup>う</sup> す <sup>た</sup> り	ど <sup>う</sup> あ <sup>た</sup> り	ぶ <sup>リ</sup> ど <sup>う</sup> す <sup>た</sup> り
過去否定	ねー <sup>だ</sup> た <sup>り</sup>	あ <sup>ら</sup> だ <sup>た</sup> り	ぶ <sup>ら</sup> (一) <sup>だ</sup> た <sup>り</sup>
過去否定 m 語尾	ねー <sup>だ</sup> た <sup>ム</sup>	あ <sup>ら</sup> だ <sup>た</sup> ム	ぶ <sup>ら</sup> (一) <sup>だ</sup> た <sup>ム</sup>
完了	あ <sup>り</sup> っ <sup>た</sup>	—	ぶ <sup>り</sup> っ <sup>た</sup>

表 6b I 類 (変則) 動詞の中止活用形 (「ある」「である」「居る」)

活用形	「ある」	「である」	「居る」
接続	ありー	ー	ぶりー
接続否定	ねーんぐとう	あらんぐとう	ぶらんぐとう
継起	ありっていー	ー	ぶりっていー
付帯	あとうい	ー	ぶとうい
	あとうりー	ー	ぶとうりー
理由	あざば	あざば	ぶざば
理由否定	ねーんにば	あらんにば	ぶらんにば
	ねーんにー	あらんにー	ぶらんにー
逆接	あざるが／あざしゆが	あざるが／あざしゆが	ぶざるが／ぶざしゆが
逆接否定	ねーんしゆが	あらんしゆが	ぶら (一) んしゆが
譲歩	あざばム	あざばム	ぶざばム
	あざばまい	あざばまい	ぶざばまい
	あざばム	あざばム	ぶらばム
	あざばまい	あざばまい	ぶらばまい
譲歩否定	ねーんねーまい	あらんねーまい	ぶらんねーまい
	あざばムねーまい	あざばムねーまい	ぶらばムねーまい
確定条件	あざば	あざば	ぶらば
条件	あたか (ら) ー	あたか (ら) ー	ぶたか (ら) ー
	あていか (ら) ー	あていか (ら) ー	ぶていか (ら) ー
条件否定	ねーだか (ら) ー	あらだか (ら) ー	ぶらだか (ら) ー
意思理由	あらっじば	ー	ぶらっじば
	あらっじゃー	ー	ぶらっじゃー
	あらっじー	ー	ぶらっじー
意思否定理由	あらまんにば	ー	ぶらまんにば
	あらまんにー	ー	ぶらまんにー
意思逆接	あらっじゆが	ー	ぶらっじゆが
過去理由	あたりば	あたりば	ぶたりば
	あたりー	あたりー	ぶたりー
過去否定理由	ねーだたりば	あらだたりば	ぶらだたりば
	ねーだたりー	あらだたりー	ぶらだたりー
過去確定条件	あたらばー	あたらばー	ぶたらばー
過去否定確定条件	ねーだたらばー	あらだたらばー	ぶらだたらばー
過去譲歩	あたりばまい	あたりばまい	ぶたりばまい
過去否定譲歩	ねーだたりばまい	あらだたりばまい	ぶらだたりばまい

表 7a II 類動詞の終止活用形（「見る」「起きる」「もらう」）

活用形	「見る」	「起きる」	「もらう」
基本	みーゾ	うきゾ	ゆいゾ
使役	みーすみゾ	うきすみゾ	ゆいすみゾ
受身・可能	みーらりゾ みーらいゾ	うきらりゾ うきらいゾ	ゆいらりゾ ゆいらいゾ
m 語尾	みーゾ／みーるム	うきゾム／うきるム	ゆいゾム／ゆいるム
焦点	みーどうす	うきどうす	ゆいどうす
疑問	みーゾば／みーるば	うきゾば／うきるば	ゆいゾば／ゆいるば
否定	みーん	うきん	ゆいん
進行融合	ー	うきーゾ	ゆいーゾ
命令	みーる	うきる	ゆいる
命令 2	みーだ	うきだ	ゆいだ
勧誘	みー	うき	ゆい
禁止	みーゾな／みーんな	うきゾな／うきんな	ゆいゾな／ゆいんな
未来	みーぐまた	うきぐまた	ゆいぐまた
意思	みーずー	うきずー	ゆいずー
意思 2	みーんー	うきんー	ゆいんー
意思否定	みーまん	うきまん	ゆいまん
反語	みーっじーば	うきっじーば	ゆいっじーば
反語 2	みー（ゾ）ムまー	うき（ゾ）ムまー	ゆい（ゾ）ムまー
希求	みーばやー	うきばやー	ゆいばやー
希求 2	みーます	うきます	ゆいます
過去	みーたゾ	うきたゾ	ゆいたゾ
過去 m 語尾	みーたム	うきたム	ゆいたム
過去 2	みー	うきー	いえー／ゆいー
過去焦点	みーどうすたゾ	うきどうすたゾ	ゆいどうすたゾ
過去否定	みーだたゾ	うきだたゾ	ゆいだたゾ
過去否定 m 語尾	みーだたム	うきだたム	ゆいだたム
完了	みーった	うきった	いえーった／ゆいった

表 7b II 類動詞の中止活用形（「見る」「起きる」「もらう」）

活用形	「見る」	「起きる」	「もらう」
接続	みー	うきー	ゆいー／いえー
接続否定	みーんぐとう	うきんぐとう	ゆいんぐとう
継起	みーっていー	うきっていー	ゆいっていー／いえーっていー
付帯	みーとうい	うきとうい	ゆいとうい
	みーとうりー	うきとうりー	ゆいとうりー
理由	みーげば	うきげば	ゆいげば
理由否定	みーんにば	うきんにば	ゆいんにば
	みーんにー	うきんにー	ゆいんにー
逆接	みーげるが／みーげしゅが	うきげるが／うきげしゅが	ゆいげるが／ゆいげしゅが
逆接否定	みーんしゅが	うきんしゅが	ゆいんしゅが
譲歩	みーげばム	うきげばム	ゆいげばム
	みーげばまい	うきげばまい	ゆいげばまい
	みーばム	うきばム	ゆいばム
	みーばまい	うきばまい	ゆいばまい
譲歩否定	みーんねーまい	うきんねーまい	ゆいんねーまい
	みーばムねーまい	うきばムねーまい	ゆいばムねーまい
確定条件	みーば	うきば	ゆいば
条件	みーたか（ら）ー	うきたか（ら）ー	ゆいたか（ら）ー
	みーていか（ら）ー	うきていか（ら）ー	ゆいていか（ら）ー
条件否定	みーだか（ら）ー	うきだか（ら）ー	ゆいだか（ら）ー
意思理由	みーっじば	うきっじば	ゆいっじば
	みーっじゃー	うきっじゃー	ゆいっじゃー
	みーっじー	うきっじー	ゆいっじー
意思否定理由	みーまんにば	うきまんにば	ゆいまんにば
	みーまんにー	うきまんにー	ゆいまんにー
意思逆接	みーっじゅが	うきっじゅが	ゆいっじゅが
過去理由	みーたげば	うきたげば	ゆいたげば
	みーたりー	うきたりー	ゆいたりー
過去否定理由	みーだたげば	うきだたげば	ゆいだたげば
	みーだたりー	うきだたりー	ゆいだたりー
過去確定条件	みーたらばー	うきたらばー	ゆいたらばー
過去否定確定条件	みーだたらばー	うきだたらばー	ゆいだたらばー
過去譲歩	みーたげばまい	うきたげばまい	ゆいたげばまい
過去否定譲歩	みーだたげばまい	うきだたげばまい	ゆいだたげばまい

表 8a II 類変則型と混合型動詞の終止活用形（「寝る」「死ぬ」）

活用形	「寝る」	「死ぬ」
基本	ににり	すにり
使役	ににっす	すなす
受身可能	ににらりり／にんらりり ににらいり／にんらいり	すにらりり すにらいり
m 語尾	ににりム／ににるム	すにりム／すにるム
焦点	ににどうす／にんどうす	すんどうす／すにどうす
疑問	ににりば／ににるば／にんるば	—
否定	ににん	すなん
進行融合	ににーり	すにーり
命令	ににる／ににる	すにる
命令 2	ににだ	すなだ／すにだ
勧誘	にに	すな
禁止	ににりな／ににんな	すにりな／すにんな
未来	ににぐまた／にんぐまた	すんぐまた／すにぐまた
意思	ににずー／にんずー	すなずー／すんずー／すにずー
意思 2	ににんー	すなんー／すにんー
意思否定	ににまん	すなまん／すんまん／すにまん
反語	ににっじーば	すなっじーば／すんっじーば／すにっじーば
反語 2	ににりムまー	すなムまー／すにりムまー／すにるムまー
希求	ににばやー	すなばやー／すにばやー
希求 2	ににます／にんます	すなます／すんます／すにます
過去	ににたりり／にんたりり	すんたりり／すにたりり
過去 2	ににー	すにー
過去 m 語尾	ににたム／にんたム	すんたム／すにたム
過去焦点	ににどうすたりり／にんどうすたりり	すんどうすたりり／すにどうすたりり
過去否定	ににだたりり／にんだたりり	すなだたりり／すにだたりり
過去否定 m 語尾	ににだたム／にんだたム	すなだたム／すにだたム
完了	ににった	すにった

表 8b II 類変則型と混合型動詞の中止活用形 (「寝る」「死ぬ」「もらう」)

活用形	「寝る」	「死ぬ」
接続	ににー	すにー
接続否定	ににんぐとう	すなんぐとう／すにんぐとう
継起	ににっていー	すにっていー
付帯	ににとぅい／にんとぅい ににとぅりー／にんとぅりー	ー ー
理由	ににげば	すにげば
理由否定	ににんにば ににんにー	すなんにば／すにんにば すなんにー／すにんにー
逆接	ににげるが／ににげしゅが	すにげるが／すにげしゅが
逆接否定	ににんしゅが	すなんしゅが／すにんしゅが
譲歩	ににげばム ににげばまい／ににるばまい ににばム ににばまい	すにげばム すにげばまい すなばム／すにばム すなばまい／すにばまい
譲歩否定	ににんねーまい ににばムねーまい	すなんねーまい／すにんねーまい すなばムねーまい／すにばムねーまい
確定条件	ににば	すなば／すにば
条件	ににたか(ら)ー／にんたか(ら)ー ににていか(ら)ー／にんていか(ら)ー	すんたか(ら)ー すんていか(ら)ー
条件否定	ににだか(ら)ー／にんだか(ら)ー	すなだか(ら)ー／すにだか(ら)ー
意思理由	ににっじば ににっじゃー ににっじー	すなっじば／すにっじば すなっじゃー／すにっじゃー すなっじー／すにっじー
意思否定理由	ににまんにば ににまんにー	すなまんにば／すにまんにば すなまんにー／すにまんにー
意思逆接	ににっじゅが	すなっじゅが／すにっじゅが
過去理由	ににたりば／にんたりば ににたりー／にんたりー	すんたりば／すにたりば すんたりー／すにたりー
過去否定理由	ににだたりば／にんだたりば ににだたりー／にんだたりー	すなだたりば／すにだたりば すなだたりー／すにだたりー
過去確定条件	ににたらばー／にんたらばー	すんたらばー／すにたらばー
過去否定確定条件	ににだたらばー／にんだたらばー	すなだたらばー／すにだたらばー
過去譲歩	ににたりばまい／にんたりばまい	すんたりばまい／すにたりばまい
過去否定譲歩	ににだたりばまい／にんだたりばまい	すなだたりばまい／すにだたりばまい

表 9a 変則型動詞の終止活用形 (「する」「来る」)

活用形	「する」	「来る」
基本	すー	ギー
使役	すみヰ	くしやす
受身・可能	しらりヰ しらいヰ	くらりヰ くらいヰ
m 語尾	すム	ギム
焦点	すーどうす	ギーどうす
疑問	すーば	ギーば
否定	しゅん	くん
進行融合	しーヰ	きーヰ
命令	しる	くー
命令 2	しゅだ	くだ
勧誘	しゅー	くー
禁止	すな	ギな
未来	すーぐまた	ギーぐまた
意思	しゅーずー	くーずー
意思 2	しゅーんー	くーんー
意思否定	しゅーまん	くーまん
反語	しゅ (一) っじーば	く (一) っじーば
反語 2	すムまー	ギムまー
希求	しゅばやー	くばやー
希求 2	しゅーます	くーます
過去	すたヰ	ギたヰ
過去 m 語尾	すたム	ギたム
過去 2	しー	きー
過去焦点	すーどうすたヰ	ギーどうすたヰ
過去否定	しゅだたヰ	くだたヰ
過去否定 m 語尾	しゅだたム	くだたム
完了	し (一) った	き (一) った

表 9b 変則型動詞の中止活用形（「する」「来る」）

活用形	「する」	「来る」
接続	しー	きー
接続否定	しゅんぐとう	くんぐとう
継起	しっていー	きっていー
付帯	すとうい	ギとうい
	すとうりー	ギとうりー
理由	す（一）ば	ギ（一）ば
理由否定	しゅんにば	くんにば
	しゅんにー	くんにー
逆接	すーしゅが	ギーしゅが
逆接否定	しゅんしゅが	くんしゅが
譲歩	す（一）ばム	ギ（一）ばム
	す（一）ばまい	ギ（一）ばまい
	しゅばム	くばム
	しゅばまい	くばまい
譲歩否定	しゅんねーまい	くんねーまい
	しゅばムねーまい	くばムねーまい
確定条件	しゅば	くば
条件	すたか（ら）ー	ギたか（ら）ー
	すていか（ら）ー	ギていか（ら）ー
条件否定	しゅだか（ら）ー	くだか（ら）ー
意思理由	しゅ（一）っじば	く（一）っじば
	しゅ（一）っじゃー	く（一）っじゃー
	しゅ（一）っじー	く（一）っじー
意思否定理由	しゅーまんにば	くーまんにば
	しゅーまんにー	くーまんにー
意思逆接	しゅ（一）っじゅが	く（一）っじゅが
過去理由	すたげば	ギたげば
	すたりー	ギたりー
過去否定理由	しゅだたげば	くだたげば
	しゅだたりー	くだたりー
過去確定条件	すたらばー	ギたらばー
過去否定確定条件	しゅだたらばー	くだたらばー
過去譲歩	すたげばまい	ギたげばまい
過去否定譲歩	しゅだたげばまい	くだたげばまい

## 参考文献

- 青井隼人 (2018) 「南琉球宮古多良間方言におけるピッチ上昇: 複数の韻律句が連続する場合のピッチパターンの記述」 『国立国語研究所論集』 (14), pp. 1-27.
- 青井隼人 (2019) 「南琉球宮古多良間方言の欠性的低音調」 『音韻研究』 **22**, pp. 3-10.
- 五十嵐陽介 (2015) 「南琉球宮古語多良間方言のアクセント型の記述」 『比較日本文化学研究』 (8), pp. 1-42.
- 五十嵐陽介 (2016) 「南琉球宮古語池間方言・多良間方言の韻律構造」 『言語研究』 (150), pp. 33-57.
- 沖縄県対米請求権事業協会 (2012) 『第2部「書いて残そう島々の言葉」: 琉球諸語継承事業』 沖縄・提案: 百選事業 (第6回) 沖縄県対米請求権事業協会.
- 沖縄古語大辞典編集委員会 (1995) 『沖縄古語大辞典』 角川書店.
- 国立国語研究所 (1963) 『沖縄語辞典』 国立国語研究所資料集 (5) 大蔵省印刷局.
- 崎山理 (1963) 「琉球・宮古方言比較音韻論」 『国語学』 (54).
- 下地賀代子 (2017) 『つかえるたらまふつ辞典: 多良間方言基礎語彙』 多良間村教育委員会.
- セリック・ケナン (2020) 「南琉球宮古語水納島方言のアクセント体系と基礎語彙」 『琉球の方言』 **45**, pp. 243-281.
- 高橋俊三 (1993) 「多良間方言の語彙 (中間報告)」 『多良間島調査報告書 (1)』 沖縄国際大学南島文化研究所.
- 高橋俊三 (1994) 「多良間方言の語彙 (中間報告2)」 『多良間島調査報告書 (2)』 沖縄国際大学南島文化研究所.
- 高橋俊三 (1995) 「多良間方言の語彙 (中間報告3)」 『多良間島調査報告書 (3)』 沖縄国際大学南島文化研究所.
- 多良間村誌編纂委員会 (1973) 『村史たらま島 (孤島の民俗と歴史)』 新星図書.
- 多良間村史編集委員会 (1986) 『王国時代の記録』 多良間村史 (第2巻資料編1) 多良間村.
- 多良間村史編集委員会 (1989) 『芸能』 多良間村史 (第5巻資料編4) 多良間村.
- 多良間村史編集委員会 (1993) 『民俗』 多良間村史 (第4巻資料編3) 多良間村.
- 多良間村史編集委員会 (2000) 『島のあゆみ』 多良間村史 (第1巻通史編) 多良間村.
- 多良間村史編集委員会 (2005) 『近現代の社会と生活』 多良間村史 (第3巻資料編2) 多良間村.
- 富浜定吉 (2013) 『宮古伊良部方言辞典』 沖縄タイムス社.
- Nevskiy, N. A. (2005) 『宮古方言ノート: 複写本』 平良市教育委員会.
- 平山輝男 (1983) 『琉球宮古諸島方言基礎語彙の総合的研究』 桜楓社.
- Pellard, T. (2009). Ōgami: Éléments de description d'un parler du sud des Ryūkyū. Unpublished doctoral dissertation, Ecole des Hautes Etudes en Sciences Sociales (EHESS).
- Pellard, T. (2015). The linguistic archeology of the ryukyu islands. In H. Patrick, M. Shinsho, & S. Michinori (Eds.), *Handbook of the Ryukyuan languages: History, structure, and use.*: De Gruyter Mouton. pp. 13-37.
- 桃原薫・下地賀代子 (2019) 『シュダツズマンパイル: たらまふつ副読本』 多良間村教育委員会.
- Jarosz, A. (2015). Nikolay Nevskiy's Miyakoan dictionary: reconstruction from the manuscript and its ethnolinguistic analysis. Unpublished doctoral dissertation, Adam Mickiewicz Univer-

sity.

与那国方言辞典編集委員会・米城恵・沖縄県与那国町教育委員会 (2019) 『どうなんむぬい辞典』 与那国町役場.

琉球大学沖縄文化研究所 (1968) 『宮古諸島学術調査研究報告 (言語・文学編)』 琉球大学沖縄文化研究所.

ローレンス・ウエイン (2003) 「多良間方言の系統的位置」 沖縄研究国際シンポジウム / 沖縄文化協会 (編) 『世界に拓く沖縄研究』 第4回「沖縄研究国際シンポジウム」実行委員会.

## 凡例

### 1. 収録語

本辞典に収録されている語は第一著者、南琉球宮古語多良間仲筋方言の母語話者である渡久山春英（昭和11年生仲筋出身）の内省に基づく。文献や先行研究を参照したこともあるが、第一著者が知っている語に限定して収録した。全部で約15800項目を収録したが、発音の揺れを別々の項目に立てるなどしているため、異なり語の実際の数は一万語程度である。

### 2. 見出し項目

見出し項目はかな表記、IPA（国際音声記号）表記、品詞名、カテゴリー、活用、アクセント、意味記述、用例、発音の揺れ、類似語から構成されている。

### 3. 配列

項目は仮名表記を元に五十音に準じて並べた。従って、〈イ°〉から始まる語は〈い〉から始まる語と同じところにあり、また、〈ム〉から始まり語は〈む〉から始まる語と同じところにある。なお、仮名表記が同じである場合、品詞を基準とし、接頭辞、接尾辞、助詞、終助詞、助数詞、連体詞、名詞、動詞、形容詞、副詞、重複形、擬態語・擬音語、感動詞、接続詞、連語、諺の順で項目を並べた。

### 4. 仮名表記

仮名表記は宮古語を書くのに当たって優れた表記体系を成しているため、富浜定吉著の『伊良部方言辞典』で使用されている表記を踏襲した。ただ、次の点について変更を施した。対応するひらがなの区別を視覚的に強調するために摩擦母音を含む〈ミ〉〈キ〉に「°」を加えた。同様の理由で両唇鼻音を〈ム〉と記した。なお、摩擦音子音始まりの音節を表す〈ザ〉を〈ズぁ〉に改めた。

### 5. IPA表記

音韻的な解釈に基づき、IPA（国際音声記号）の適切な記号を選び、使用した。ただし、宮古語に関する研究の習慣を踏襲して、「摩擦母音」などと記述されている母音をIPAに含まれていない「ɺ」で表した。母音の無声化は音声的な特徴と考え、表記していない。

### 6. 品詞

見出し語に対し次のような品詞を設定し、括弧の中にある略号を用いて示した：助詞（助）、終助詞（終）、助数詞（助数）、連体詞（連体）、名詞（名）、動詞（動）、形容詞（形）、副詞（副）、重複形（重複）、擬態語・擬音語（擬）、感動詞（感）、接続詞（接続）。なお、接頭辞（接頭）、接尾辞（接尾）、連語（連語）、諺（諺）の範疇も設けた。

### 7. カテゴリー

一部の語に対して次の意味分類のカテゴリーを設けて示した：代名詞（代）、疑問詞（疑）、指示詞（指）、海の生物、蟹、魚、貝、海藻、海草、漁、植物、昆虫、虫、鳥、病気（病）、井戸、地名（地）、干支、罵声、料理。

## 8. 活用

動詞は活用類（I類、II類、変則型）を示した上、接続形（～して）と否定形（～しない）の活用形を掲載した。

## 9. アクセント

名詞、動詞、形容詞、擬態語の約98%の項目に対してアクセント情報を示した。動詞は低核がないものを「a型」、低核があるものを「c型」のように所属する型を示した。ただし、アクセントが2単位に分かれる動詞の複合語は調査したアクセント資料そのものを掲載した。名詞、形容詞、擬態語は実際調査したアクセント資料を提示し、ピッチの下降を「↓」、ピッチの上昇を「↑」で示した。

## 10. 意味記述

意味は対応する共通語で示したが、適当な対応語がない場合は適宜説明を加えた。なお、多義語の場合はそれぞれの意味を別の項目に立てた。

## 11. 用例

収録語の意味の理解を助けるために約4000項目に対して【例】で導入される簡単な用例を加えた。

## 12. 発音の揺れ

日本語の「おととい」・「おとつい」のように同じ語に対して複数の発音が許容される場合、それぞれの発音を別の項目に立て、それぞれの項目の中に異なる発音を【同】で示し、掲載した。特に、仲筋方言の〈あう〉の母音の連続に対して塩川方言の〈おー〉が対応しているため、〈あう〉を含む語に対して塩川方言で予測される発音も載せた。

## 13. 類似語

見出し語と同様の意味を持つ語は【類】で示し、掲載した。

仮名・発音記号一覧

あ	[a]	い	[i]	イ°	[ɪ]	う	[u]	え	[e]	お	[o]	エ	[ə]
か	[ka]	き	[ki]	キ°	[kɪ]	く	[ku]	け	[ke]	こ	[ko]	ギエ	[kə]
が	[ga]	ぎ	[gi]	ギ	[gɪ]	ぐ	[gu]	げ	[ge]	ご	[go]	ギエ	[gə]
きゃ	[kja]					きゅ	[kju]			きょ	[kjo]		
ぎゃ	[gja]					ぎゅ	[gju]			ぎょ	[gjo]		
さ	[sa]	すい	[si]	す	[sɪ]	すう	[su]	せ	[se]	そ	[so]	すエ	[sə]
ざ	[dza]			ず	[dzɪ]	ずう	[dzu]	ぜ	[dze]	ぞ	[dzo]	ずエ	[dzə]
しゃ	[ɕa]	し	[ɕi]			しゅ	[ɕu]	しえ	[ɕe]	しよ	[ɕo]		
じゃ	[dʒa]	じ	[dʒi]			じゅ	[dʒu]	じえ	[dʒe]	じよ	[dʒo]		
ズあ	[za]	ズい	[zi]			ズう	[zu]	ズえ	[ze]	ズお	[zo]		
た	[ta]	てい	[ti]			とう	[tu]	て	[te]	と	[to]		
だ	[da]	でい	[di]			どう	[du]	で	[de]	ど	[do]		
ちゃ	[tɕa]	ち	[tɕi]	つ	[tsɪ]	ちゅ	[tɕu]	ちえ	[tɕe]	ちよ	[tɕo]	つエ	[tsə]
な	[na]	に	[ni]			ぬ	[nu]	ね	[ne]	の	[no]		
にゃ	[nja]					にゅ	[nju]			によ	[njo]		
は	[ha]	ひ	[hi]			ほう	[hu]	へ	[he]	ほ	[ho]		
ば	[ba]	び	[bi]	ビ	[bɪ]	ぶ	[bu]	べ	[be]	ぼ	[bo]	ビエ	[bə]
ぱ	[pa]	ぴ	[pi]	ピ	[pɪ]	ぷ	[pu]	ぺ	[pe]	ぽ	[po]	ピエ	[pə]
ひゃ	[hja]					ひゅ	[hju]			ひよ	[hjo]		
びゃ	[bjja]					びゅ	[bjju]			びよ	[bjjo]		
ぴゃ	[pjja]					ぴゅ	[pjju]			ぴよ	[pjjo]		
ふあ	[fa]	ふい	[fi]	ふイ°	[fɪ]	ふ	[fu]	ふえ	[fe]	ふお	[fo]	ふエ	[fə]
ヴァあ	[va]	ヴァい	[vi]	ヴァイ°	[vɪ]	ヴァう	[vu]	ヴァえ	[ve]	ヴァお	[vo]	ヴァエ	[və]
ま	[ma]	み	[mi]	ミ°	[mɪ]	む	[mu]	め	[me]	も	[mo]	ミエ	[mə]
みゃ	[mja]					みゅ	[mju]			みよ	[mjo]		
や	[ja]					ゆ	[ju]	いえ	[je]	よ	[jo]		
ら	[ra]	り	[ri]			る	[ru]	れ	[re]	ろ	[ro]		
りゃ	[rja]					りゅ	[rju]			りよ	[rjo]		
わ	[va]									を	[vo]		
ん	[n]	ム	[m]	ヴ	[v]	リ°	[ɹ]						
ー	[:]	っ (子音を重ねる)											



## — あ —

あ [a] [助]～は。主題を表わす。【例】あばー しゅーまん (私はやらない)。きゅうからー ぱちゅがつぶどうり (今日からは八月おどり)。とぅりら みだ なかん (鳥はまだ鳴かない)。ヴぁー とぅび (君は行きなさい)。【同】「や」。

あ [a] [名] [代] 私。この形式は格助詞の〈が〉(～が～の)とのみ使われる。【例】あが (私が。私の)。あが むぬ (私の物。私の所有物)。あが やー (私の家。私の住まい)。あが ならーすムどー (私が教えてやるよ)。【類】「ば」。

あ [a] [感] 話題が吉凶を問わず、とっさの出来事に発する。【例】あ、したい (よいことだ)。あ、んだらーしゃ (かわいそうに)。

あー [a:] [名] [植] [あーま<sup>1</sup>い...] 粟。畑に栽培する。収穫した種子は〈ゆに〉ともいう。昔の五穀の一つ。1950年頃まで盛んに栽培された。〈ゆに〉の項参照。

あー [a:] [名] [あーま<sup>1</sup>い...] 泡。石けんの泡。吹かす泡。酒作りのもろみの泡。〈シートーヤー〉の鍋の泡。口角泡。【類】「あーぶく」。

あー [a:] [擬] [あーまい...] 幼児に食べ物を与えるとき、口を開けさせる。医師が診察するときも発する。

あー [a:] [感] 困ったときや考えこむときに発する。【例】あー ムめどー (あれ、どうしたか)。あー やっかいなむぬ (めんどうなことよ)。

あー ムめどー [a: mmedo:] [連語] どうしたらよいだろう。どうしよう。【例】やらびん まきー ねーん、あー ムめどー (子供に負けてしまったよ、どうしよう)。

あーい [a:i] [感] いいえ。否定するときや軽く聞き流すときに用いる。

あーう [au] [擬] 猫の鳴き声。猫の鳴き声の真似。幼児語。

あーうばん [a:uban] [名] [あーうば<sup>1</sup>んまい...] 粟の飯。【例】あーうばんゆ すきる (粟ご飯を仏壇に供えなさい)。

あーかつ [a:katsɯ] [名] [あーか<sup>1</sup>つまい...] 粟の脱穀をする作業。まわし棒(くるり棒)で行う。【例】あーかつめどう ぴっちー かかりたげ(粟の脱穀は一日中かかった)。

あーかり [a:ka] [名] [あーか<sup>1</sup>りまい...] 粟の収穫。立った姿勢で穂を刈り取る。【例】えーぐー すかちえーん あーう かり (歌を歌いながら粟の穂を刈り取る)。

あーぐる [a:guru] [名] [あーぐ<sup>1</sup>るまい...] 粟の穂を刈り取った後の茎のこと。馬の飼料にする。

あーしゃ [a:ɕa] [名] [海藻] [あー<sup>1</sup>しゃまい...] あおさ。冬の風物詩。【例】あーしゃずる (あおさ汁)。あーしゃずろー しゃまりぐりどー (あおさ汁は冷めにくいよ)。

あーしゃかぎ [a:ɕakakɯ] [名] あおさ採り。【例】しゅーや ぴーったりー あーしゃかぎが (潮は引いたのであおさ採りだ)。【類】「あーしゃむぎ」。

あーしゃじゅー [a:ɕadzu:] [名] [あー<sup>1</sup>しゃじゅーまい...] あおさの煮汁。あおさの味噌汁。【例】あーしゃじゅーゆ ふーぼどう ぬふまり (あおさ汁を食べると体温まる)。

あーしゃむぎ [a:ɕamukɯ] [名] [あー<sup>1</sup>しゃむぎまい...] あおさ採り。【例】きうや ぴーしゃ ねーんにば あーしゃむぎが (今日は寒くないからあおさ採りだ)。【類】「あーしゃかぎ」。

あーじょーぬー [a:dzo:nu:] [名] [あーじょーぬーまい...] 粟上納。人頭税のこと。ニコライ・ネフスキーによると、てりはぼくの葉に納めた俵の量を記したとある。

あーす [a:sɯ] [動I類c型] [あーしー、あーしゃん] 合わせる。加える。リズムに合わせる。合致させる。【例】ぼーあーす (棒合わせ)。あーし (合わせよ。リズムに合わせよ。合致させよ)。ぱぎう あーしー ありき (足を合わせて歩きなさい)。ふたーつう あーす (二つを加える)。ときーゆ あーす (時計を合わせる)。くいゆ あーす (声を合わせる)。

あーす [a:sɯ] [動I類c型] [あーしー、あーしゃん] 会わせる。面会させる。遭わせる。逢わせる。対面させる。【例】あーし (会わせよ。面会させよ。遭わせよ。逢わせよ。対面させよ)。ムまがう しゃーりー きー うムまん あーし (孫を連れて来ておばあさんに会わせなさい)。

あーす [a:sɯ] [動I類c型] [あーしー、あーしゃん] 混ぜる。練り混ぜる。粉を練り混ぜる。

あーす [a:sɯ] [動I類c型] [あーしー、あーしゃん] 喧嘩させる。議論させる。鶏や山羊の喧嘩にもいう。【例】びんだあーす (鬪山羊)。とうりあーす (鬪鶏)。あーし (喧嘩させよ。議論、質議をさせよ)。とうりあーすエー うむっし (鶏のけんかはおもしろい)。

あーすぎん [a:sɯgɯn] [名] [あーすぎんまい...] 冬物の裕せ衣。綿入れの着物。【類】「わたいり」。

あーすみり [a:sɯmi] [動II類c型] [あーすみー、あーすみん] 合わせる。【例】ふた一つぬ いたう あーすみり (二つの板を合わせる)。

あーすみり [a:sɯmi] [動II類c型] [あーすみー、あーすみん] 会わせる。面会させる。対面させる。引き合わせる。【例】ぱつムまがう あーすみる (初孫を会わせなさい)。うどうるとう みがう あーすみり (うどうるとみがを対面させる)。

あーすみり [a:sɯmi] [動II類c型] [あーすみー、あーすみん] 喧嘩させる。【例】うぶびんだでーな あーすみり (大きな山羊どうし喧嘩させる)。

あーだーら [a:da:ra] [名] [あーだーらまい...] 粟の俵。収穫した粟を俵にしたもの。【例】やーんかー あーだーらぬ やま (家の中は粟俵の山だ)。

あーだに [a:da:ni] [名] [あーだにまい...] 粟の種子。来年の播種用の種子。

あーぬ イー [a:nu i:] [名] [あーぬイーまい...] 粟のご飯。粟のおにぎり。

あーぬ ぶー [a:nu pu:] [名] [あーぬぶーまい...] 粟の穂。スツウプナカの〈やっか〉は粟の穂が八束程に実るという意味である。

あーぬ ふしゃ [a:nu fu:ʃa] [名] [あーぬふしゃ

まい...] 粟の草。粟の畑の雑草。

あーぬ ふしゃとうり [a:nu fu:ʃatu] [名] [あーぬふしゃとうりまい...] 粟の畑の雑草を取ること。除草。篋を使用する。膝を曲げた姿勢で取る。二度・三度取る。

あーぬ ゆー [a:nu ju:] [名] [あーぬゆーまい...] 粟の粥。【例】あーぬ ゆーゆばー ふきー しゃまらしーから ふあい (粟の粥は吹いて冷ましてから食べなさい)。

あーぷーり [a:pu:] [名] [あーぷーりまい...] 粟穂礼。粟の収穫祭り。感謝祭。来年への祈願祭。村史参照。

あーぶき [a:buki] [名] [あーぶきまい...] 粟の粃殻。

あーぶく [a:buku] [名] [あーぶくまい...] あぶく。泡。煮炊き鍋に発生する泡。口角の泡。きび汁の泡。潮の満つとき干瀬に打ち寄せる泡。

あーみす [a:misɯ] [名] [あーみすまい...] 粟で造る神酒。

あーム [a:m] [名] [あームまい...] 欠伸。あくび。【例】ににふたしゃんどう あームゆ しーぶり (ねむたいので欠伸をしている)。

あーむつー [a:mutsɯ:] [名] [あーむつーまい...] 粟餅。粟の粉で作った餅。

あーむり [a:mu] [名] [あーむりまい...] 泡のように豊かに盛りあがること。泡盛。普通は「泡盛」という酒の一種を指さないが、歌謡の「たらまゆー」に泡盛酒の一節がある。

あい [aɪ] [名] [魚] [あいまい...] あいご。あいごの仲間。

あい [aɪ] [名] [あいまい...] 藍。藍色。染料。【例】あいじゅみ (藍染め)。

あい [ai] [名] [あいまい...] 間。合間。その間。【例】うぬ あい (その間)。うぬ あいんどう ゆくー (その合い間に休む)。

あい [ai] [名] [あいまい...] こぼれ。

あい [ai] [名] [あいまい...] 和え。(粉を) こねること。【例】あいまぬ (和えもの)。

あい [ai] [感] あらどうしたか。不思議なことなどに言う。

あいいる [a:iru] [名] [あいいるまい...] 藍色。

あいがみ [ajgami] [名] [あいが<sup>1</sup>みまい...] 藍用のかめ。

あいじゅー [aidzu:] [名] [あいじゅ<sup>1</sup>ーまい...] 野菜の和えもの。和え采。野菜を味噌や酢で和えた料理。

あいず [aidzɯ] [名] [あいずま<sup>1</sup>い...] 合図。伝えること。信号。手を上げる、口笛を鳴らすなどして、合図すること。【例】きてきぬ なりーりいでいふにぬあいず (汽笛が鳴るから出船の合図だ)。

あいだ [aida] [名] [あい<sup>1</sup>だまい...] 間。共通語と同じ。【例】うぬ あいだ (その間)。

あいだり [aidari] [名] [あいだりまい...] 切れはし。食べ物の残りもの。ゴミ。【例】とうりら あいだりう ピせー ぶり (鶏は残飯を拾っている)。【類】「あいら」。

あいてい [aiti] [名] [あいて<sup>1</sup>いまい...] 相手。相棒。対抗する人。一緒に仕事をする人。

あいま [aima] [名] [あい<sup>1</sup>ままい...] 合間。【例】うぬ あいまん (その合間に)。っふあぬ ににー ぶり うぬ あいま (子が寝ているその間)。

あいまき [aimaki] [名] [あいま<sup>1</sup>きまい...] 根負け。言い負け。てこずること。強情。【例】ヴヴあんや あいまきどうす (君には根負けするよ)。

あいむぬ [aimunu] [名] [あいむぬまい...] 和えもの。和えもの料理。

あいら [aira] [名] [あいらまい...] 選び残りもの。不要物。【例】ムーぬ あいら (いもの選び残り)。【類】「あいだり」。

あいり [aiɾi] [動II類a型] [あいー、あいん] こぼれる。袋やざるからこぼれる。手からこぼれる。【例】えーり (こぼれている。漏れている)。ふくるぬ みーから あいり (袋の破れ目からこぼれる)。ふくるからまいぬ あいり (袋から米がこぼれる)。

あいり [aiɾi] [動II類a型] [あいー、あいん] 膿が出る。乳が出る。【例】ムまぎつーぬ あいり (おいしそうな乳が出ている)。ムーこー あいった (膿が出た)。

あいり [aiɾi] [動II類a型] [あいー、あいん] 和

える。こねる。野菜を味噌や酢で和える。【例】ムしゅにー あいり (味噌で和える)。くーゆ あいー むつーう つっふい (粉をこねて餅を作る)。

あいり [aiɾi] [動II類c型] [あいー、あいん] 混ぜる。練り混ぜる。粉を練り混ぜる。

あいろん [airon] [名] [あいろ<sup>1</sup>んまい...] アイロン。

あう [au] [名] [あ<sup>1</sup>うまい...] 青。青色。【例】あうぎん (青衣着物)。【同】「おー」。

あう [au] [動I類c型] [えー、あーん] 合う。リズムに合う。合致する。【例】えーぐとう しゃんしムや あうぐまた (歌と三味線は合うべきだ)。【同】「おー」。

あう [au] [動I類c型] [えー、あーん] 会う。出会う。遭う。逢う。【例】あうぐまたぬ ぴかず (会うべき日取)。【同】「おー」。

あう [au] [動I類c型] [えー、あーん] 喧嘩すること。議論。討論。【例】えー ぶり (喧嘩している)。あうな (喧嘩はよせ。論争するな)。ムめ あーまんよー (もう喧嘩はしないよ)。あうやーう しーり (論争している)。【同】「おー」。

あうあー [aua:] [名] [植] [あうあ<sup>1</sup>ーまい...] 青粟。【同】「おーあー」。

あういらふつ [aurafutsɯ] [名] [魚] [あういらふ<sup>1</sup>つまい...] なんようぶだい。サンゴをがりがりかじる。

あういる [auru] [名] [あうい<sup>1</sup>るまい...] 青色。【例】ていんぬ あういる (空の青色)。【同】「おーいる」。

あヴヴあ [avva] [名] [あヴヴあま<sup>1</sup>い...] 油。脂。脂肪。石油。椿油。菜種油。樹脂。【例】あヴヴあなび (油揚げする鍋)。ばたあヴヴあ (腹の脂肪)。

あヴヴあーあヴヴあ [avva:avva] [重複] 脂肪の濃い食べ物。

あヴヴああし [avvaaci] [名] [あヴヴああ<sup>1</sup>しまい...] あぶら汗。【例】あヴヴああしぬ ぱりけすつきらいー ねーん (油汗が出るまでしごかれた)。

あうーあう [au:au] [重複] まっ青。とてもきれ

いな青。【同】「おーおー」。

あヴヴあかす [avvakasʲ] [名] [あヴヴあか<sup>1</sup>すまい...] 油粕。豚の脂肪を熱を加えて取った粕のこと。油粕は油味噌にして食した。

あヴヴあかだ [avvakada] [名] [あヴヴあか<sup>1</sup>だまい...] 油のにおい。脂肪を扱う仕事をする人のにおい。

あヴヴあす [avvasʲ] [動I類c型] [あヴヴあしー、あヴヴあしやん] 炙らせる。

あヴヴあずきり [avvadzʲki] [名] [あヴヴあずき<sup>1</sup>りまい...] 油つぼ。油を入れる竹筒。

あヴヴあだり [avvada] [名] [あヴヴあだ<sup>1</sup>りまい...] 面倒くさい。うるさい。煩わしい。【例】っしやなあヴヴあだりむぬ（いやなうるさい奴）。

あヴヴあだり [avvadari] [名] [あヴヴあだ<sup>1</sup>りまい...] 油よごれ。手や服が油で汚れること。【例】きかんしゃー あヴヴあだり（機関者は油で汚れている）。

あヴヴあつぶ [avvatsʲbu] [名] [あヴヴあつ<sup>1</sup>ぶまい...] ぼんじり。鶏のしっぽの付け根にある脂肪の部分。この脂肪で羽毛を雨から守る。

あヴヴあつぶ [avvatsʲbu] [名] [あヴヴあつ<sup>1</sup>ぶまい...] 油の入ったつぼ。

あヴヴあていー [avvadi:] [名] [あヴヴあてい<sup>1</sup>ーまい...] 油でよごれた手。機械の修理で手が汚れる。

あヴヴあなび [avvanabi] [名] [あヴヴあな<sup>1</sup>びまい...] 油鍋。油の揚げ物の料理をする鍋。【例】あヴヴあなびぬ まいんけー いギな（油鍋のところに行くな）。

あヴヴあピカリ [avvapʲka] [名] [あヴヴあピか<sup>1</sup>りまい...] 油光り。つやつやしている。【例】あかぬ あヴヴあピカリ（髪が油で光っている）。

あヴヴあふつ [avvafutsʲ] [名] [あヴヴあふ<sup>1</sup>つまい...] おしゃべりな人。必要以上にほめ言葉を言う人。

あヴヴあムしゆ [avvamʲɕu] [名] [あヴヴあム<sup>1</sup>しゆまい...] 油味噌。豚肉などを味噌と油で炒めた料理。遠足のとき芋と油味噌のおかずをよるこんだ。

あヴヴあむぬ [avvamunu] [名] [あヴヴあむ<sup>1</sup>ぬまい...] 油っこい食べもの。

あヴヴイ [avvʲ] [動I類c型] [あヴヴいー、あヴヴあん] 炙る。ちょっと火に当てる。干物をちょっと火に当てて食べる。寝小便で濡れた下着を火に当てて乾かす。

あヴヴうり [avvu] [名] [魚] [あヴヴう<sup>1</sup>りまい...] べらの仲間の総称。見釣りで釣れる。夏休みに男子の釣る魚。

あヴヴうり [avvu] [名] [あヴヴう<sup>1</sup>りまい...] 網を繕う道具。

あヴヴうりずー [avvu[dzʲ:] [名] [あヴヴうりずーまい...] べら釣り。

あヴヴえム [avvem] [名] [漁] [あヴヴえ<sup>1</sup>ムまい...] 細い目の網で捕獲する漁法。棒で海底を突いて追いこむ。雑多な小魚がとれる。魚にも言う。

あヴヴえムあム [avvem.am] [名] [あヴヴえ<sup>1</sup>ムあムまい...] 浅い潮溜まりで小魚を追い込んで取る、細い目の網。

あうが [auga] [連語] 喧嘩しに行く。昔の子ども風習。【例】きうや あうが（今日は喧嘩しにだ）。【同】「おーが」。

あうがーみ [auga:mi] [名] [昆虫] [あうがーみまい...] あおどうがね。さとうきびの害虫。【同】「おーがーみ」。

あうかだ [aukada] [名] [あうか<sup>1</sup>だまい...] 生ぐさいにおい。【例】イズうぬ あうかだ（魚の生臭いにおい）。【同】「おーかだ」。

あうかつふい ねーん [aukaffi ne:n] [連語] 見てすぐにでもわかること。【例】うれー ヴヴあが むぬ、あうかつふいねーん（それは君のものだ、見てすぐ分かる）。【同】「おーかつふいねーん」。

あうがま [augama] [名] [あうが<sup>1</sup>ままい...] 八月おどりの組踊りの女傑役の姉妹の姉。妹はくいがま。八月おどり参照。【同】「おーがま」。

あうギ [augʲ] [名] [あう<sup>1</sup>ギまい...] 扇。扇子。びろうの葉で作る。【同】「おーギ」。【類】「くばぬばーあうギ」。

あうギ [augʲ] [動I類c型] [あうぎー、あうが

ん) 扇ぐ。【例】あうが(扇であおごう。幼児に対して母が行う)。あんなが あうが(お母さんが扇ごう)。あうぎーらん(あおいでない)。あうぎー わーり(あおいで下さい)。【同】「おーギ」。

あうぎヅ [augi] [動II類a型] [あうぎー、あうぎん] こぼす。水をこぼす。ざるや箱のものをこぼす。【例】あうぎる(こぼしなさい)。ゆぐりみずう あうぎる(汚れ水をこぼしなさい)。まるびー あうぎー(転んでこぼしてしまった)。【同】「おーぎヅ」。

あうく [auku] [名] [あうくま<sup>1</sup>い...] 棒。天平棒。担ぐ棒。【同】「おーく」。

あうしゃ [auça] [名] [あう<sup>1</sup>しゃまい...] 青さ。青色。青っばい。【同】「おーしゃ」。

あうしゃーヅ [auça:] [形] [あう<sup>1</sup>しゃまい...] 青い。青色の。【同】「おーしゃーヅ」。

あうしゃーヅ [auça:] [形] [あう<sup>1</sup>しゃまい...] 未熟。青物。作物が収穫期ではない。【例】あうしゃーヅば みだ ムまん(青いうちはまだ熟しない)。【同】「おーしゃーヅ」。

あうしゃが なぎ [auçaga nagi] [連語] 未永く。いつまでも。緑の島のある限り。【例】すまぬあうしゃがなぎ(島の緑のある限り)。【同】「おーしゃがなぎ」。

あうじゅー [audzu:] [名] [あうじゅ<sup>1</sup>ーまい...] 葉野菜。【類】「あうばじゅー」。

あうだ [auda] [名] [あう<sup>1</sup>だまい...] もっこ。畚。荷物の運搬用具。【同】「おーだ」。

あうだき [audaki] [名] [あうだ<sup>1</sup>きまい...] 青竹。昔、若者を指導するのに用いられた。八月おどりの練習には師匠たちは青竹を持っていた。【同】「おーだき」。

あうだり [audari] [名] [あうだりまい...] こぼれもの。不用のもの。食べ残りもの。【例】あうだりう ぬーまん ふあーし(残飯を馬に与えなさい)。【同】「あいだり」。「おーだり」。

あうなば [aunaba] [名] [あうな<sup>1</sup>ばまい...] こけ。停滞水に発生する。日光に当たっている水がめに発生する。【同】「おーなば」。

あうにしゃい [auniçai] [名] [あうにしゃ<sup>1</sup>いま

い...] 青二才。若者。若輩者。若者は未熟であること。【同】「おーにしゃい」。

あうぬず [aunudz] [名] [あうぬずまい...] 蛇の一種。青大将。【同】「おーぬず」。

あうぬり [aunu] [名] [海藻] [あうぬりまい...] 青のり。あおさに似ているが食用にならない。【同】「おーぬり」。

あうば [aupā] [名] [あう<sup>1</sup>ばまい...] 青い葉。青い野菜。葉野菜。【例】あうばがーぎ(野菜湯き。野菜を食べたい)。【同】「おーば」。

あうばイ [aubai] [名] [昆虫] [あうばイまい...] 青蝇。銀蝇。金蝇。【同】「おーばイ」。

あうばじゅー [aupadzu:] [名] [あう<sup>1</sup>ばじゅーまい...] 葉野菜。青い野菜。青い山菜。【同】「おーばじゅー」。【類】「あうじゅー」。

あうぱとう [aupatu] [名] [鳥] [あ<sup>1</sup>うぱとう<sup>1</sup>まい...] 青鳩。ずあかあおぱと。【同】「おーぱとう」。

あうばな [aupana] [名] [あうばなまい...] 青い鼻垂れ。【同】「おーばな」。【類】「あうばんだり」。

あうばんだり [aupanda] [名] [あうばんだ<sup>1</sup>りまい...] 青い鼻垂れ。【同】「おーばんだり」。【類】「あうばな」。

あうふしゃり [aufuçari] [名] [あうふしゃ<sup>1</sup>りまい...] 青くさい。生臭い。【同】「おーふしゃり」。

あうべーヅ [aube:] [動II類a型] [あうべーりー、あうべーりん] 青ざめる。【同】「おーべーヅ」。

あうべーり [auberi] [名] [あうべー<sup>1</sup>りまい...] 晴天。【同】「おーべーり」。

あうまたぎ [aumatagi] [名] [魚] [あうまたぎまい...] べらの仲間。【同】「おーまたぎ」。

あうまだらく [aumadaraku] [名] [魚] [あうまだらくまい...] すずめだいの仲間。みどりいしさんごに住んでいる。【同】「おーまだらく」。

あうまみ [aumami] [名] [あうま<sup>1</sup>みまい...] 緑豆。たらまみ。もやしには最も適している。【同】「おーまみ」。【類】「たらまみ」。

あうみー [aumi:] [名] [あ<sup>1</sup>うみー<sup>1</sup>まい...] 青い目。さしばの若鳥。【例】あうみーたか(青い目

のさしば。さしばの若鳥)。【同】「おーみー」。

あうみギ [aumikɯ] [動I類c型] [あうみきー、あうみかん] 青めく。真っ青になる。【同】「おーみギ」。

あうみしゃーり [aumiɕa:] [形] [あうみしゃまい...] おそれ。臆病。【例】あうみぬーま (臆病馬)。【同】「おーみ」。

あうみむぬ [aumimunu] [名] [あうみむぬまい...] 臆病者。【同】「おーみむぬ」。

あうム [aum] [動I類c型] [あうみー、あうまん] 青くなる。青みをあびる。青ざめる。顔が青ざめる。【例】やまー あうみった (山は青くなった)。あうみー ぶり (青くなっている)。【同】「おーム」。

あうむす [aumusɯ] [名] [昆虫] [あうむ<sup>1</sup>すまい...] 青虫。もんしろちょうの幼虫。【同】「おーむす」。

あうむぬ [aumunu] [名] [あうむ<sup>1</sup>ぬまい...] 青い物。果物の熟しない実のこと。【同】「おーむぬ」。

あうムベーり [aumbe:] [動I類c型] [あうムベーりー、あうムベーらん] 顔色が青くなる。顔色がさえない。青白い顔。長い病気で顔色がすぐれない。【例】やみーどう あうムベーりーぶり (病気に顔色がさえない)。【同】「おームベーり」。

あうめー [aume:] [名] [あうめ<sup>1</sup>ーまい...] けんか勝負。【例】とうりぬ あうめー (鶏の闘い勝負)。ぴんだぬ あうめー (山羊の喧嘩勝負)。【同】「おーめー」。

あうやー [auja:] [名] [あうや<sup>1</sup>ーまい...] 喧嘩勝負。口喧嘩。論争。議会の質疑応答。【同】「おーやー」。

あうやしやい [aujaɕai] [名] [植] [あうやしや<sup>1</sup>いまい...] 青野菜。【同】「おーやしやい」。

あうり [au] [動I類c型] [あうりー、あうらん] 煽る。煽導する。【例】あうりー あーす (扇動して喧嘩をさせる)。【同】「おーり」。

あうり [au] [動I類c型] [あうりー、あうらん] あおる。精げる。穀物の種子を箕(み)であおる。ゴミを飛ばす。選別する。【例】かでいぬど

う あうり (風によってあおられる)。【同】「おーり」。

あうり [au] [動I類c型] [あうりー、あうらん] あおる。コップ酒を一気に飲みほすこと。上戸。【例】しゃきう あうり (酒を一気に飲む)。【同】「おーり」。

あうる [auru] [名] [地] [あうるまい...] 多良間島の〈とうぶり〉の名前。村史参照。

あか [aka] [接頭] たった。ほんの。付く語の意味を強調する。【例】あかうすか (たったそれだけ)。あかなま (たった今)。あかばだか (まるはだか)。あかムま (いやだ)。

あか [aka] [名] [あかまい...] 赤。赤色。【例】あかぎー (赤い髪)。あかしゃなギ (赤い布で作ったふんどし)。

あか [aka] [名] [あ<sup>1</sup>かまい...] 船湯。船の底にたまる海水。航海中に船員が「あか汲み」をしていた。【類】「ゆー」。

あか [aka] [名] [あ<sup>1</sup>かまい...] 頭髮。【例】あかしゅり (散発する)。あかう すギ (髪をすく)。あかう かギ (髪を搔く)。

あが [aga] [連語] 「あん」に助詞の「が」の付いた形。私が。私の。吾が。吾の。我が。我の。ぼくが。ぼくの。【例】くれー あがむてい (これは私の分だ)。くれー あがむぬ (これはぼくのものだ)。あが やーんけーまい わーり (ぼくの家にも来てください)。

あが みどうム [aga midum] [連語] 吾が女。吾が妻。わが妻。【類】「とうず」。

あがー [aga:] [感] 体のどこか痛いときに発する。沖縄県人の表現といわれる。

あがー あがー [aga: aga:] [連語] 痛くてたまらないときに発する。

あかあー [akaa:] [名] [植] [あかあーまい...] 赤粟。

あかーあか [aka:aka] [重複] 真っ赤。とても赤い色。【例】あかーあかぬ イズう (真っ赤な魚)。

あがーい [agai] [感] しまったと思うときに発する。注意していたのに失敗するときに発する。

あかあけーず [akaake:dzɯ] [名] [あかあけー<sup>1</sup>ずまい...] 赤とんぼ。あきあかね。

あがい [agai] [感] あら。おや。どうしたのか。突然の出来ごとにおどろくとき発する。【例】あがい、くれーぬーぐとうが（おや、これは何事か）。

あがいがま [agaigama] [感] とても。感動したときに発する。すばらしい出来映えを見たとき。【例】あがいがま、きちぎいー（とてもきれいな絵）。

あがいたんでい [agaitandi] [感] 良いときも悪いときもびっくりしたことに感情を表わす。励ましの言葉。叱咤激励をする。【例】あがいたんでいがま、うんしーがまぬ すぐとう（なんだ、これしかの仕事か）。【類】「あがいたんでいがま」。

あかいる [akairu] [名] [あかいるまい...] 赤色。暖色。【例】ていだうばー あかいるにー かき（太陽を赤色で描け）。

あかヴヴァ [akavva] [名] [あかヴヴァまい...] 赤子。乳のみ子。

あかうギー [akauki:] [名] [あかうギーまい...] 赤く燃えているすみ。

あかうぎー [akaugi:] [名] [植] [あかうぎーまい...] あこうの木。【同】「あこーぎー」。

あかうきん [akaukin] [名] [植] [あかうきんまい...] 赤ウコン。ウコンの一種。

あかうすか [akauska] [副] たったそれだけ。【例】あが むてー あかうすかがま（私の分け前はたったそれだけ）。【類】「あかうすかがま」。

あかうぶに [akaupuni] [名] [植] [あかうぶにまい...] 人參。〈ギでーくに〉は別種類。

あかうむとう [akaumutu] [名] [植] [あかうむとうまい...] むらさきおもと。村史。

あかうめーしゅー [akaume:ɕu:] [名] [あかうめーしゅーまい...] 多良間の歴史上の人物。人頭税の不正取り立てを首里王府に直訴した四人のうちの一人。

あかがーら [akagara] [名] [あかがーらまい...] 赤瓦。瓦屋根に使用する。【類】「かーら」。

あかがーらやー [akagaraja:] [名] [あかがーらやーまい...] 赤瓦の家。昔、沖縄県の建築文化。【類】「かーらやー」。

あかがギ [akagak] [名] [あかが<sup>1</sup>ギまい...] 困ったときに髪をかくこと。【例】かぬ ピとー あかがギふしぬどう あり（あの人は頭髪を搔くくせがある）。

あかがき [akagaki] [名] [あ<sup>1</sup>かがきまい...] 抜け落ちた髪の毛。

あかがしゃ [akagaɕa] [名] [病] [あかがしゃまい...] 麻疹。幼児の病気。

あかがに [akagani] [名] [あかがにまい...] 赤銅。しんちゅう。【例】ていだん ぷしゃいー あかがにん なり（太陽の下で働くと赤銅色になる）。

あかかビ [akakabi] [名] [あかかビまい...] 赤紙。日本軍の召集令状。

あかがム [akagam] [動 I 類 a 型] [あかがみー、あかがまん] 明るくなる。夜が明ける。

あかがリ [akaga:] [動 I 類 a 型] [あかがりー、あかがらん] 明るくなる。夜が明ける。

あかがり [akagari] [名] [あかがりまい...] 赤く枯れること。木や作物が枯れること。日照り続きのさとうきび畑は赤色に染まる。

あかがりリ [akagari:] [動 II 類 a 型] [あかがりー、あかがりん] 東の空が白くなる。夜明け。あかつき。【例】あかがりった、ペーペー うきる（東の空は白くなった、早く起きよ）。

あかギ [akagi] [名] [あかギまい...] 赤木。

あかぎー [akagi:] [名] [あかぎーまい...] 鹿毛（かげ）。馬の毛色の茶色のこと。

あかぎー [akagi:] [名] [あかぎーまい...] 頭髪の赤色の人。金髪の人。ヨーロッパの人の総称。漁師の頭髪にも言う。【類】「あかぶー」。

あかぎーぬーま [akagi:nu:ma] [名] [あかぎーぬー<sup>1</sup>まい...] 鹿毛の馬。

あかぎぎー [akagigi:] [名] [植] [あかぎぎーまい...] あかぎ。木の肌が赤い高木。

あかぐい [akagui] [名] [あかぐいまい...] 甲高い声。普通の人の声より高い音声。【類】「えーぐい」。

あかぐー [akagu:] [名] [あかぐーまい...] 食紅。祝いの事や神事ときに赤飯・かまぼこなどに染める。十五夜には女の子は顔に染めていた。

あかくがり [akakuga] [名] [鳥] [あか<sup>1</sup>くがり<sup>1</sup>まい...] あかしょうびん。

あかごームー [akago:mm] [名] [植] [あかご<sup>1</sup>ームーまい...] さつま芋の品種。

あかしゃ [akaça] [名] [あか<sup>1</sup>しゃまい...] 私生児。

あかしゃ [akaça] [名] [あかしゃまい...] 明るさ。

あかしゃーり [akaça:] [形] 赤い。赤色の。

あかしゃーり [akaça:] [形] [あかしゃまい...] 明るい。【例】あかしゃ なりった (明るくなった)。

あかしゃなギ [akaçanagı] [名] [あかしゃなギまい...] 赤いふんどし。

あかしゅり [akaçu] [名] [あ<sup>1</sup>かしゅり<sup>1</sup>まい...] 散髪。【例】うやが あかしゅりら しゅりまてーん (父の散髪は切り残しが多い)。

あかしゅりやー [akaçuja:] [名] [あかしゅ<sup>1</sup>りやーまい...] 散髪屋。

あかじょー [akadzo:] [感] ざまみろ。子どもが言いつけを守らないで失敗するときに言う。

あかじん [akadzın] [名] [魚] [あかじんまい...] すじあら。はたの仲間。【類】「あかじんにばり」。

あかじんにばり [akadzinniba] [名] [魚] [あかじん<sup>1</sup>にば<sup>1</sup>りまい...] すじあら。はたの仲間。【類】「あかじん」。

あかす [akası] [動I類 a型] [あかしー、あかしゃん] 灯す。明かりを点ける。

あかす [akası] [動I類 a型] [あかしー、あかしゃん] 夜を明かす。シートヤーの見張り番をして夜を明かす。【例】あかし (夜を明かしなさい)。ゆーゆ あかしー あすびたり (徹夜して遊んだ)。

あかす [akası] [動I類 a型] [あかしー、あかしゃん] 当てる。占う。明らかにする。言い当てる。予言する。なぞを解く。【例】あかし (当てて見よ)。あが くとうー あかす (ぼくのことを言い当てる)。

あかずーす [akadzı:sı] [名] [あかずーすまい...] 赤肉。肉の (脂気の少ない) 赤身。

あかすみり [akasımı] [動II類 c型] [あかすみ

り、あかすみん) 徹夜をさせる。【例】あかすみり (徹夜をさせよ)。しーとーやーん あかすみり (製糖小屋で徹夜させよ)。

あかすみり [akasımı] [動II類 c型] [あかすみー、あかすみん] 当てさせる。【例】あかすみり (当てさせよ)。むぬすーん あかすみり (占い師にあてさせよ)。

あかすむぬ [akasımunu] [名] [あかすむ<sup>1</sup>ぬまい...] なぞかけ。なぞなぞ。

あかすむぬがたり [akasımunugata] [名] [あかすむぬがた<sup>1</sup>りまい...] なぞなぞ。なぞかけ。

あがた [agata] [名] [あがたんまい...] 遠方。【例】あがたぬ ぼる (遠い畑)。ムめび あがた (もっと遠くだ)。

あがたまーり [agatama:] [名] [あがたまーりまい...] 遠回り。迂回。

あかつー [akatsı:] [名] [あかつーまい...] 血液。血。動物の体内に酸素や栄養分を供給する。また、老廃物を運び去る。【例】つーや ねーんピとう (血も涙もない人・薄情な人)。

あかつーだり [akatsı:dari] [名] [あかつーだりまい...] 血がつくこと。手や衣服に血がつくこと。法律の規制のなかった時代に屠殺者の衣服は血でまみれていた。

あかつーむム [akatsı:mum] [名] [あかつーむムまい...] 肉や内臓を血と混ぜて炒める料理。【類】「つーいりぎ」。

あかつぎ [akatsıgı] [名] [あかつぎまい...] 暁。夜明け。明け方。【類】「しえーか」。

あかつぎしえーか [akatsıgıçe:ka] [名] 早朝。

あかつぎにがイ [akatsıgı:nigaı] [名] [あかつぎにが<sup>1</sup>イまい...] 暁願い。スツウプナカの最終日の早朝の儀式。

あかつく [akatsıku] [名] [あかつくまい...] 卵の黄身。

あかとうぶぎ [akatubuki] [名] [あかとうぶ<sup>1</sup>ぎまい...] 暁。【類】「あかつぎ」。

あかとうぶぎぶす [akatubukibusı] [名] [あかとうぶぎぶすまい...] 明けの明星。【類】「しえーかぶす」。

あかとうり [akatu] [名] [あ<sup>1</sup>かとうり<sup>1</sup>まい...]

船底にたまる海水を汲み取ること。その道具。  
【類】「ゆーとうり」。

あかな [akana] [名] [植] [あかなまい...] しそ。  
風味がよいので、刺身の具になる。

あかな [akana] [名] [魚] [あかなまい...] ぱら  
ふえだい。中毒をおこすものもいる。

あかないずギ [akanaidzŋkŋ] [名] [植] [あかない  
ず<sup>1</sup>ギまい...] かたばみ。

あかなま [akanama] [副] 今すぐに。【例】あか  
なま くー (今すぐに来なさい)。あかなま ぱ  
りー くー (今すぐ走って来なさい)。

あかにばり [akanibaŋ] [名] [魚] [あかにば<sup>1</sup>りま  
い...] あおもんはた。

あかぬがす [akanugasŋ] [動 I 類] [あかぬがしー、  
あかぬがしやん] [あ<sup>1</sup>かぬがしー「ぶり」] はか  
どらせる。仕事を順調に進ませる。

あかぬギ [akanugŋ] [動 I 類] [あかぬぎー、あか  
ぬがん] [あ<sup>1</sup>かぬぎー「ぶり」] はかどる。仕事  
が順調に進む。

あかぱが [akapaga] [名] [あ<sup>1</sup>かぱが「まい...」] 頭  
髪の禿げた人。

あかぱぎむぬ [akapagimunu] [名] [あ<sup>1</sup>かぱぎむ  
ぬまい...] 頭髪の禿げた人。

あかばたうーヴヴうり [akabatau:vvu] [名] [植]  
[あかばたうーヴヴうりまい...] 西瓜(すいか)。

あかばだか [akapadaka] [名] [あかばだかまい...]  
まる裸。男児が雨降りに裸ではしゃぐ。

あかばな [akabana] [名] [あかばなまい...] 赤い  
鼻の人。飲酒のときの症状。

あかばな [akabana] [名] [植] [あかばなまい...]  
仏桑華。

あかばなぎー [akabanagi:] [名] [あかばなぎーま  
い...] ブツウゲの木。

あかばんだま [akapandama] [名] [植] [あかば  
んだ<sup>1</sup>まい...] すいぜんじな。葉菜。

あかふ なり [akafu naŋ] [連語] 明け方になる。夜  
明けの頃になる。

あかぶー [akabu:] [名] [あかぶーまい...] 頭髮  
の赤色の人。金髪の人。【類】「あかぎー」。

あかぶーがなまり [akabu:ganamaŋ] [名] [あかぶ  
ーがなまりまい...] 赤毛の頭。

あかふぐり [akafuguŋ] [名] [あかふぐりまい...]  
老人の陰のう。男性をおもしろおかしく言う。  
睾丸は誤り。

あかふしゅ [akafuŋ] [感] いやだ。断るときに  
言う。【例】あかふしゅ ヴヴあが しる (いや  
だ、君がやれ)。

あかぶた [akabuta] [名] [あかぶたまい...] 雄鶏。  
曙の鶏。一番に鳴く鶏。

あかふちき [akafuŋki] [名] [あ<sup>1</sup>かふちきまい...]  
抜け落ちた髪の毛。

あかふつ [akafutsŋ] [名] [あかふつまい...] 赤い  
口。女性の赤いくちびる。

あかぺー [akape:] [名] [鳥] [あ<sup>1</sup>かぺー「まい...」]  
ちょうげんぼう。

あかまイ [akamaŋ] [名] [あかまイまい...] 赤飯。  
食紅で炊いたごはん。めでたい日のご飯。おこ  
わ。

あかまみ [akamami] [名] [植] [あかまみまい...]  
あずき。小豆、また、その種子。宮古民謡の「豆  
が花」の主題。

あかまみぬ イー [akamaminu ŋ:] [名] [あかまみ  
ぬイ<sup>1</sup>ーまい...] 小豆ご飯。赤飯。

あかみー [akami:] [名] [あかみーまい...] 充血  
した目。二日酔いの人の目。目の病気の人。

あかみーあまム [akami:amam] [名] [蟹] [あか  
みーあま<sup>1</sup>ムまい...] いわおうぎがに。

あかみギ [akamikŋ] [動 I 類 c 型] [あかみきー、  
あかみかん] 赤めく。真っ赤になる。

あかみばな [akamipana] [名] [あかみばなまい...]  
赤面。赤い顔。飲酒のときの顔。恥じて赤くな  
る顔。【例】しゃきぬめぬ あかみばな (飲酒し  
ている人の顔色)。

あがみり [agamiŋ] [動 II 類 a 型] [あがみー、あ  
がみん] 拝める。敬う。

あかみんな [akaminna] [名] [植] [あかみんな  
まい...] すべりひゆ。雑草であるが食用として  
和え物にする。茎も葉も多肉。

あかみんなじゅー [akaminnadzu:] [名] [植] [あ  
かみんなじゅーまい...] すべりひゆ。【類】「あ  
かみんな」。

あかム [akam] [動 I 類 a 型] [あかみー、あかま

ん) 赤くなる。実が熟する。【例】まんじゅーや  
あかみった (パイヤは赤くなった。熟した)。  
あかムー [akamm] [名] [あ<sup>1</sup>かムーまい...] 船底  
にたまった海水を汲み取ること。【類】「ゆーと  
うり」。

あかムしゅ [akamçu] [名] [あかムしゅまい...]  
古い味噌。醗酵が進んでいる味噌。【類】「がば  
ムしゅ」。

あかムた [akamta] [名] [あかムたまい...] 赤い  
土。鉄分を多く含んだ粘土質の土。

あかむっとう [akamuttu] [副] 全く。全然。とて  
も。【例】あめー あかむっとう ふらん (雨は  
全く降らない)。ぬーまい あかむっとう ねー  
ん (何も全くない)。

あかムま [akamma] [感] いやだ。「あか」は強調  
語。

あがや [agaja] [感] いいなあ。でかしたぞ。【例】  
あがや、ごーがくどー (でかしたぞ、合格だ)。

あかやき [akajaki] [名] [あかや<sup>1</sup>きまい...] 空が  
赤くなる様。夕焼け。台風の前兆。

あかゆ [akaju] [名] [魚] [あかゆまい...] はなえ  
びす。夜の干瀬の穴で釣る・夜釣の魚。

あからす [akaras] [動I類 a型] [あからしー、  
あからしゃん] 明るくする。

あかり [aka] [名] [昆虫] [あかりまい...] 蟻。

あかり [aka] [名] [あかりまい...] 明り。明りを  
灯すもの。ランプ。電灯。灯台。

あかり [aka] [動I類 a型] [あかりー、あからん]  
晴れる。雨あがり。日照り。【例】あみぬ あか  
りけー まてい (雨の晴れるまで待ちなさい)。

あかり [aka] [動I類 a型] [あかりー、あから  
ん] 灯る。明りが点く。

あがり [aga] [名] [あがりまい...] 東。東の方。  
【例】あがりぬばかどうんどう あり (東の方の  
角にある)。【類】「あがりぬば」。

あがり [aga] [動I類 a型] [あがりー、あがら  
ん] 上がる。風が上がる。舞い上がる。【例】ム  
たぶきぬ あがり (土ほこりが舞い上がる)。

あがり [aga] [動I類 a型] [あがりー、あがら  
ん] 昇る。太陽が昇る。【例】ていだー あがり  
った (太陽は昇った)。

あがり [aga] [動I類 a型] [あがりー、あがら  
ん] 揚がる。旗が揚がる。【例】がっこーぬ ば  
たー あがりった (校旗は揚がった)。

あがり [aga] [動I類 a型] [あがりー、あがら  
ん] 上がる。成績が上がる。【例】まいゆーりら  
ー ゆーどう あがりーり (前よりずっと向上  
した)。

あがり [aga] [動I類 a型] [あがりー、あがら  
ん] 終わる。仕事が終わる。打ち上げ。【例】す  
ぐとー あがりった (仕事は終了した)。

あがりあかだん [aga[akadan] [名] [地] [あがり  
あかだんまい...] 多良間島の〈とうぶり〉の名  
前。村史参照。

あかりがた [aka[gata] [名] [あかりがたまい...]  
明け方。あける頃。夜明けが近い頃。

あがりかでい [aga[kadi] [名] [あがりかでいま  
い...] 東風。こち。東の方から吹く風。

あがりたかーな [aga[takana] [名] [地] [あがり  
たかーなまい...] 多良間島の〈とうぶり〉の名  
前。村史参照。

あがりていだ [aga[tida] [名] [あがりていだま  
い...] 朝日。昇る朝日。

あかりでいんぎ [aka[dink] [名] [あかりでいん  
ぎまい...] 明るい天気。良い天気。晴天。【類】  
「かぎわーつぎ」。

あがりぬば [aga[nupa] [名] [あがりぬばまい...]  
東の方。【類】「あがり」。

あがりばる [aga[baru] [名] [地] [あがりばる「  
まい...] 多良間島の〈とうぶり〉の名前。村史  
参照。

あがりばる [aga[baru] [名] [地] [あがりばる「  
まい...] 東の方の畑・土地。

あがりピだ [aga[pida] [名] [地] [あがりピだま  
い...] 水納島の〈とうぶり〉の名前。村史参照。

あがりむてい [aga[muti] [名] [あがりむていま  
い...] 東の里。東の集落。【例】あがりむていば  
る (東の方の畑)。

あがりむていいム [aga[mutiim] [名] [地] [あが  
りむていいムまい...] 東の海。

あがりむら [aga[mura] [名] [地] [あがりむらま  
い...] 東の方の集落。

あがりむらピとう [aga[murapɪtu] [名] [あがりむらピとうまい...] 東の方の集落の人。

あがりむらふつ [aga[murafutsɯ] [名] [あがりむらふつまい...] 東の方の集落の入り口。

あかりらーり [aka[ra:] [形] [あかりらまい...] 明るい。光源が充分である。

あがんねー [aganne:] [名] [あがんねーまい...] 東隣りの家。

あぎ [akɯ] [名] [あぎまい...] 秋。秋の季節。秋の頃。【類】「っさむす」。

あぎ [akɯ] [動Ⅰ類 a 型] [あぎー、あかん] 開く。【例】ていーしー あぎどうす (手で開けられる)。

あぎ [akɯ] [動Ⅰ類 a 型] [あぎー、あかん] 空く。【例】あぎやー (空き家)。あぎー ぶり (空いている)。いすぬ あぎ (椅子が空く)。

あぎ [akɯ] [動Ⅰ類 a 型] [あぎー、あかん] 飽きる。【例】あぎぱていり (飽き果てる)。

あき [aki] [名] [あきまい...] 開け。【例】やどあき (戸が開く)。あなあき (穴開け)。

あき [aki] [名] [あきまい...] 明け。夜明け。年明け。【例】ゆーぬ あき (夜明け)。とうすあき (年明け、新年)。

あき [aki] [名] [あきまい...] 空き。【例】あきやー (空き家)。

あぎ [agɪ] [名] [あぎまい...] 口蓋。

あぎ [agi] [名] [あぎまい...] 上げ。【例】あぎしゅ (潮が満つ)。ていーあぎ (手を上げる)。

あぎ [agi] [名] [あぎまい...] 揚げ。

あぎあヴヴあ [agiavva] [名] 揚げ油。揚げもの料理用の油。揚げものをしてる油。

あぎいし [agiiçi] [名] [あぎいしまい...] 揚げ石。持ち石。力くらべをするための石。

あぎうるす [agiurusɯ] [動Ⅰ類] [あぎうるしー、あぎうるしゃん] [あぎうるすまい...] 上げ下ろしをする。【例】にーゆ あぎうるす (荷を上げ下ろしする)。

あぎがム [agigam] [名] [あぎがムまい...] 偶蹄類の反芻のこと。一度飲み込んだ食べ物を再び口に戻して嚙む。

あぎがり [agiga] [名] [あぎがりまい...] 喉彦。

口蓋垂。

あぎくヴヴあ [agikuvva] [名] [あぎくヴヴあまい...] 反ったふくら脛。

あぎくだす [agikudasɯ] [動Ⅰ類 c 型] [あぎくだしー、あぎくだしゃん] 吐いたり下げたりすること。【例】ばたずめー ねーん あぎくだす (腹の調子がよくないので吐いたり下げたり)。

【類】「あぎしやぎ」。

あきしみ [akiçimi] [名] [あきしみまい...] 開け閉め。【例】まくぬ あきしみ (幕の開け閉め)。

あぎしやぎ [agiçagi] [名] [あぎしやぎまい...] 釣り竿を上げたり下げたりする様子。

あぎしやぎ [agiçagi] [名] [あぎしやぎまい...] 吐いたり下したりすること。【類】「あぎくだす」。

あきしやみ [akiçami] [感] 困ったことだ。どうしよう。【例】あきしやみ、ぬー すたり くとうが (困った、どういうことか)。【同】「あきちやみ」。

あきしやる [akiçaru] [名] [あきしやるまい...] 早朝。日が昇る頃。夜明け頃。宮古民謡の「豆が花」の一節。

あぎしゅ [agiçɯ] [名] [あぎしゅまい...] 上げ潮。満潮へ向かう潮のこと。

あぎだうふ [agidaufu] [名] [あぎだうふまい...] 揚げ豆腐。【同】「あぎどーふ」。

あきちやみ [akitçami] [感] どうしよう。しまった。失敗したときに言う。【例】あきちやみ、イズー びんがしー ねーん (しまった。魚を逃してしまった)。

【同】「あきしやみ」。

あぎどーふ [agido:fu] [名] [あぎどーふまい...] 揚げ豆腐。【同】「あぎだうふ」。

あぎない [akɯnai] [名] [あぎないまい...] 商い。商売。【例】しゃきぬめんや あぎないや しらいん (酒飲む者には商売はできない)。

あぎないピとう [akɯnaipɪtu] [名] [あぎないピとうまい...] 商人。商売人。

あぎばく [akɯbaku] [名] [あぎばくまい...] 空き箱。中身のない箱。

あぎばだき [akɯpadaki] [名] [あぎばだきまい...]

開け放し。戸に鍵をかけないこと。

あぎばだきり [akɪpadaki] [動 II 類 c 型] [あぎばだきー、あぎばだきん] 開け放す。戸に鍵をかけない。【例】あっちゃーりば あぎばだきる (暑いから戸を開け放しなさい)。

あぎばらい [akɪbaraɪ] [名] [あぎばら<sup>1</sup>イまい...] 厄払い。秋払い。立秋の日に豚の骨を左縄につけてポーチに吊す。【類】「すまふしやら」。

あぎすうぎ [akɪsɯgi] [名] [あぎすうぎまい...] 荒地を開墾すること。【類】「あらすあき」。

あぎまーす [agima:sɯ] [動 I 類 a 型] [あぎまーしー、あぎまーしゃん] 急せる。あわてさせる。【例】いでいふにんや あぎまーす (船の出港のときには急がせる)。

あぎむぬ [agimunu] [名] [あぎむぬまい...] 揚げもの。揚げもの料理。

あぎやー [akɪja:] [名] [あぎやーまい...] 空き家。人の住んでいない家屋。

あぎやー [agija:] [名] [漁] [あぎや<sup>1</sup>ーまい...] 追い込み漁。網を張って魚を追い込む漁。

あぎやすぎ [akɪjasɪkɪ] [名] [あぎやすぎまい...] 空き屋敷。人の住居のない屋敷。

あきらみ [akirami] [名] [あきら<sup>1</sup>みまい...] あきらめ。あきらめること。

あきらみり [akirami] [動 II 類 c 型] [あきらみー、あきらみん] あきらめる。断念する。【例】あきらみんぐとう さーてい しる (あきらめないでうんと頑張れ)。べんきよーゆ あきらみり (学問をあきらめる)。

あきり [aki] [動 II 類 a 型] [あきー、あきん] 開ける。目を開ける。戸を開ける。蓋を開ける。開業する。開墾する。【例】やどうー あきり (戸を開ける)。

あきり [aki] [動 II 類 a 型] [あきー、あきん] 明ける。夜が明ける。【例】とうすぬ あきり (年が明ける)。ゆーぬ あきりけ ばたらぎ (徹夜して働く)。

あきり [aki] [動 II 類 a 型] [あきー、あきん] 飽きる。【例】すぐとうー あきり (仕事は嫌だ)。

あぎり [agi] [動 II 類 a 型] [あぎー、あぎん] 上

げる。揚げる。【例】あぎる (上げよ)。ていんゆ あぎる (成績を上げよ)。かびとうりる あぎり (凧を揚げる)。ぱたう あぎり (旗を揚げる)。

あぎり [agi] [動 II 類 a 型] [あぎー、あぎん] (油で) 揚げる。【例】あヴヴあん あぎり (油に揚げる)。ばんびムゆ あぎり (天ぶらを揚げる)。

あぎり [agi] [動 II 類 a 型] [あぎー、あぎん] 吐く。嘔吐する。

あく [aku] [名] [あ<sup>1</sup>くまい...] 悪。悪人。悪用。よこしま。

あく [aku] [名] [あくま<sup>1</sup>い...] 灰汁。鍋の汁の灰汁。

あぐ [agu] [名] [あぐま<sup>1</sup>い...] あご。おとがい。下あご。【類】「うとうがい」。

あぐ [agu] [名] [あ<sup>1</sup>ぐまい...] 吾子。同級生。同年輩。友人。同窓。朋友。連れ。半呂。仲間。同士。

あぐーい [agui] [感] 何度言っても理解しない人に発する。【例】あぐーい まーんめーた (どうしたか、ものわがりの悪いことよ)。

あぐが ばな [aguga pana] [連語] 級友の頂点。優れ者。クラスで成績の良い子。

あくずん [akudzɯn] [名] [あくず<sup>1</sup>んまい...] 悪人。悪い心持ち。【類】「あくにん」。

あぐでーな [agude:na] [連語] 友人同士。友だちだけで。【同】「あぐでーん」。

あぐでーん [agude:n] [連語] 友人同士。友だちだけで。【同】「あぐでーな」。

あくび [akubi] [名] [あく<sup>1</sup>びまい...] 悪日。暦による「凶」とされる日。

あぐびぎ [agupɪgi] [名] [あぐび<sup>1</sup>ぎまい...] あごひげ。【例】にのみやきんじろーんや あぐびげー ねーん (二宮金次郎にはあごひげはない)。

あくまがま [akumagama] [名] [あくまが<sup>1</sup>ままい...] 生れて間もなくして死ぬりのこと。

あくゆく [akujuku] [名] [あくゆ<sup>1</sup>くまい...] 悪欲。欲張り。

あくらす [akurasɪ] [動 I 類 a 型] [あくらしー、あくらしゃん] 騒がせる。我がままにさせる。悪く育てる。放任しながら育てる。親の指導不

足。

あくりり [akuri] [動II類a型] [あくりー、あくりん] 騒ぐ。あらくれる。我がままに振舞う。育ちが悪い。

あけーず [ake:dz] [名] [昆虫] [あけー<sup>1</sup>ずまい...] とんぼの総称。赤とんぼ。ぎんやんま。古語の「あきず」と同じ。

あけおだ [akeoda] [名] [あけお<sup>1</sup>だまい...] 商人 (あきんど)。仲買人。行商人。

あこーぎー [ako:gi:] [名] [植] [あこーぎーまい...] あこう木。

あこーでいぬムー [ako:dinum] [名] [あこーでいぬム<sup>1</sup>まい...] 掘り残った芋。ほお被りした女性が他人のいも畑の「ふしやぬムー」を拾っていた。【類】「ふしやぬムー」。

あこーめーしゅー [ako:me:ɕu:] [名] [あこーめーしゅーまい...] 人名。人頭税を直訴した人。村史参照。

あざ [adza] [名] [あざまい...] 字。地域。地区。仲筋字。塩川字。水納字。

あし [aɕi] [名] [あしまい...] 汗。【例】あしかぎ (汗をかく)。あしう ぬぐー (汗を拭く)。

あしー [aɕi:] [名] [あし<sup>1</sup>ーまい...] 朝餉。朝食。【例】あしーゆ ふえーすかきる (朝ご飯を食べる働きなさい)。【類】「あしやむぬ」。

あしー [aɕi:] [接続] だから。【例】あしー すな (だからするな)。【類】「あんしゃりー」。

あしーずぶん [aɕi:dz] [名] [あし<sup>1</sup>ーずぶんまい...] 朝食時間。

あしだく [aɕidaku] [名] [あしだく<sup>1</sup>ーまい...] 汗だく。汗びっしょり。

あしだら [aɕidara] [名] [あしだ<sup>1</sup>らまい...] 汗まみれな人。【同】「あしだれ」。

あしだり [aɕida] [名] [あしだ<sup>1</sup>りまい...] 汗だれ。汗だく。

あしだり [aɕidari] [名] [あしだ<sup>1</sup>りまい...] 汗でぬれる。汗で汚れる。【例】ギんや あしだり (衣服は汗で汚れた)。

あしだれ [aɕidare] [名] [あしだ<sup>1</sup>れまい...] 汗まみれな人。【同】「あしだら」。

あしぬ ぱり [aɕinu pa] [連語] 汗が出る。【例】

あしぬ ぱりけ ぱり (汗が出るまで走れ)。

あしば [aɕiba] [接続] だから。そうだから。【例】あしば ならーしゃなー (そうだから教えてあげよう)。【類】「あんしゃりー」。

あしばどう [aɕibadu] [接続] だからどうしたのか。【例】あしばどう ギギぶっしーり (だからどういふことか聞きたい)。

あしふしやり [aɕifuɕari] [名] [あしふしや<sup>1</sup>りまい...] 汗くさい。【例】あしふしやりふく (汗のにおいのする洋服)。

あじみ [adzimi] [名] [あじ<sup>1</sup>みまい...] 味見。試しに少し口にして味を調べる。味の具合。味きき。

あしみず [aɕimidz] [名] [あしみ<sup>1</sup>ずまい...] 汗水。汗を流して働くことに例える。沖縄民謡の「汗水節」のこと。

あしム [aɕim] [名] [あしムまい...] あせも。ひどく汗をかいたときに出来る湿疹。子どもに多い。

あしや [aɕa] [名] [あ<sup>1</sup>しやまい...] 父。父親。

あじゃ [adza] [名] [あ<sup>1</sup>じゃまい...] 兄。兄弟の上の人。先輩の男に言う。

あしやーあしや [aɕa:aɕa] [重複] とても浅い。浅いことを強調する。

あしやーら [aɕa:ra] [名] [あしやーらまい...] 浅い所。浅瀬。【例】あしやーらん ういぎ (浅い所に泳ぎなさい)。

あしやかぎしーり [aɕakagica:] [形] [あしやかぎしやまい...] 早朝である。朝の涼しい時である。【例】あしやかぎぬ ふしやかり (早朝の草刈)。あしやかぎしーりけ ふしやかりがいぎ (早朝のうちに草を刈りに行く)。

あじゃがま [adzagama] [名] [あじゃが<sup>1</sup>まい...] 末兄。季兄。兄弟の末の兄への愛称。

あしやかんがい [aɕakangai] [名] [あしやかんが<sup>1</sup>まい...] 未熟な考え。浅はか。思慮の足りない様。浅薄な考え。

あしやぎ [aɕagi] [名] [あしや<sup>1</sup>ぎまい...] 同じ家敷内に建てた離れ。次男以下の家族が住む。

あしやきず [aɕakidz] [名] [あしやき<sup>1</sup>ずまい...] 浅い傷。軽傷。

あしやし [açaçi] [名] [あしや<sup>1</sup>しまい...] 浅瀬。遠浅。【例】心にう あしやしん ぬーし (船を浅瀬に乗せ上げた)。

あしやしーり [açaçari] [形] [あしやしやまい...] 浅い。水深が浅い。思考が浅い。月日が充分経っていない。

あしやしゆ [açaçu] [名] [あしや<sup>1</sup>しゆまい...] 朝の潮。朝の漁。

あしやつヴ [açatsv] [名] [あしやつ<sup>1</sup>ヴまい...] 朝露。朝降りる霧。【例】ふしやぬ あしやつヴん ムにリ (草が朝霧にぬれる)。

あしやどり [açaduri] [名] [あしや<sup>1</sup>どりまい...] 朝凧。朝の風の止むこと。陸と海の気圧配置によって起きる現象。

あしやに [açani] [名] [あしや<sup>1</sup>にまい...] 朝寝。朝遅くまで寝ていること。

あしやにがら [açanigara] [名] [あしやにが<sup>1</sup>らまい...] 早起き者。元気者。働き者。

あしやぶん [açabun] [名] [あしやぶ<sup>1</sup>んまい...] 朝の料理。

あしやむぬ [açamunu] [名] [あしやむ<sup>1</sup>ぬまい...] 朝食。朝餉。【例】あしやむのー ピとういぬつから (朝食はその日のエネルギーだ)。【類】「あしー」。

あしやムま [açamma] [名] [あ<sup>1</sup>しやムま<sup>1</sup>まい...] 父母。両親。父と母。

あしややき [açajaki] [名] [あしやや<sup>1</sup>きまい...] 朝焼け。日の出のとき東の空が赤く見えること。【類】「すとうむていやき」。

あしやリ [açali] [名] [あしや<sup>1</sup>リまい...] 貝の総称。

あしやリ [açali] [名] [あしや<sup>1</sup>リまい...] 潮干狩。農閑期の楽しい一時を潮干狩で過ごす。

あしやリ [açali] [動I類c型] [あしやりー、あしやらん] 探る。食べ物を求めて歩く。探し廻る。【例】なびう あしやリ (鍋の中を探る)。

あじゃんギ [adzanki] [動I類a型] [あじゃんきー、あじゃんかん] なだめる。あやす。機嫌を取る。

あしゆが [açuga] [接続] しかし。けれども。そうだが。そうであっても。【例】あしゆが うぬ

かんがいや だみどー (しかし、その考えはよくないよ)。

あしゆがどう [açugadu] [連語] それでも。しかし。ところが。

あしゆがどうらー [açugadura:] [連語] しかしね。

あしゆがまい [açugamai] [連語] そうであっても。【例】あしゆがまい わーり (そうであっても来て下さい)。

あしゆがらー [açugara:] [連語] しかしね。

あしリ [açi] [動II類a型] [あしー、あしん] 焦る。いらだつ。【例】あしリな (焦るな)。ギむぬ あしリ (気が焦る)。

あす [as] [接尾] ~させる。動詞の他動詞形や使役形を派生させる。【例】かーす (買わせる)。あらーす (洗わせる)。かかす (書かせる)。

あす [as] [名] [あすま<sup>1</sup>い...] 足。足元。手綱を踏んでいる馬に〈あす〉と言うと足をあげるほど飼主と心が通い合った。

あず [adz] [名] [あ<sup>1</sup>ずまい...] 按司。首長。大将。琉球王朝時代の高位の位階名。

あず [adz] [名] [あ<sup>1</sup>ずまい...] 味。舌でとらえる味覚。味わい。

あずーあず [adz:adz] [重複] とてもおいしい。おいしいことを強調する。

あすエー ピさん [asə: pi: san] [連語] 足は拾わない。女踊りの摺り足のこと。足の裏で畳を摺るように歩くこと。

あずかぎん [adz:kagin] [名] [あずかぎ<sup>1</sup>んまい...] 味加減。

あずかり [adz:kali] [名] [貝] [あずかりま<sup>1</sup>い...] しゃこがいの一種。海底の砂を移動する種類。【類】「しゃんしゆふ」。

あずかり [adz:kali] [動I類c型] [あずかりー、あずからん] 預かる。【例】じんゆ あずかり (金を預かる)。つふあう あずかり (子を預かる)。

あずかりぐー [adz:kali:gu:] [名] [貝] [あずかりぐ<sup>1</sup>ーまい...] しゃこ貝の殻。

あずかりでいまー [adz:kali:dima:] [名] [あずかりでいま<sup>1</sup>ーまい...] 預かり賃。手間賃。子を預かる場合は賃金はない。

あずかりむぬ [adz:kali:munu] [名] [あずかりむ<sup>1</sup>

ぬまい...) 預かり物。預かった物。

あずきり [adzɯki] [動 II 類 c 型] [あずきー、あずきん] 預ける。【例】じんゆ あずきり (預金する)。つふあう あずきり (子を預ける)。

あずくず [adzɯkudzɯ] [名] [あずく<sup>1</sup>ずまい...] 味。【例】あずくずまい ねーん (味もない。まずすぎる)。

あすだ [asɯda] [名] [あす<sup>1</sup>だまい...] 下駄。【例】たかあすだ (高下駄・差し下駄)。あすだう ムー (下駄を履く)。

あずつき [adzɯtsɯki] [名] [あずつ<sup>1</sup>きまい...] 味つけ。【例】まねーん あず つきる (しっかり味を整えよ)。

あすとう [asɯtu] [名] [あす<sup>1</sup>とうまい...] あさつて。明後日。

あすとうが しえーか [asɯtuga ʃe:ka] [名] [あすとう<sup>1</sup>がしえーかん<sup>1</sup>まい...] 明後日の明け方。

あすとうが すとうむてい [asɯtuga sɯtumuti] [名] [あすとう<sup>1</sup>がすとうむていん<sup>1</sup>まい...] 明後日の朝。

あすとうが ピーま [asɯtuga pi:ma] [名] [あすとう<sup>1</sup>がピーまんまい...] 明後日の午後。

あすとうが ゆー [asɯtuga ju:] [名] [あすとう<sup>1</sup>がゆーん<sup>1</sup>まい...] 明後日の夜。

あすとうが ゆしゃらび [asɯtuga juʃarabi] [名] [あすとう<sup>1</sup>がゆしゃらびん<sup>1</sup>まい...] 明後日の夕方。

あすとうが ゆなか [asɯtuga junaka] [名] [あすとう<sup>1</sup>がゆなかまい...。あすとう<sup>1</sup>がゆなかん<sup>1</sup>まい...] 明後日の夜中。

あすとうが ゆねーん [asɯtuga ju:ne:n] [名] [あすとう<sup>1</sup>がゆねーん<sup>1</sup>まい...] 明後日の夜。

あすばす [asɯbasɯ] [動 I 類 a 型] [あすばしー、あすばしゃん] 遊ばせる。【例】ヴヴあが やーん あすばし (君の家に遊ばせ)。

あすび [asɯbi] [動 I 類 a 型] [あすびー、あすばん] 遊ぶ。【例】きうや あすばまん (今日は遊ばない)。あすびな (遊ぶな)。か?とー あすびな (彼とは遊ぶな)。あすびかちえーん しる (遊びながらしなさい)。やらべー あすびぐまた (子どもは遊ぶべきだ)。

あすびあぐ [asɯbijagu] [名] [あすびあ<sup>1</sup>ぐまい...] 遊び友だち。親しい友だち。【類】「あすびどうす」。

あすびぐとう [asɯbijutu] [名] [あすびぐとうまい...] 趣味。【同】「あすびすぐとう」。

あすびじゃー [asɯbidʒa:] [名] [あすびじゃー<sup>1</sup>まい...] 遊ぶ所。場所。四辻。広場。「じゃー」は座。

あすびじん [asɯbidʒin] [名] [あすびじん<sup>1</sup>まい...] 遊ぶためのお金。遊興費。

あすびすかま [asɯbisɯkama] [名] [あすびすか<sup>1</sup>まい...] 軽い仕事。簡単な仕事。【類】「あすびわじゃ」。

あすびすぐとう [asɯbisɯgutu] [名] [あすびすぐとうまい...] 遊び仕事。趣味。【同】「あすびぐとう」。

あすびだう [asɯbidau] [名] [あすびだうまい...] 遊び用の道具。おもちゃ。【同】「あすびどー」。

あすびどうす [asɯbidusɯ] [名] [あすびどうすまい...] 遊び友だち。【類】「あすびあぐ」。

あすびどー [asɯbido:] [名] [あすびどー<sup>1</sup>まい...] 遊び用の道具。おもちゃ。【同】「あすびだう」。

あすびばんず [asɯbibandzɯ] [名] [あすびばんずまい...] 遊び興じる年頃。【例】なまどう あすびばんず (今、遊び盛りの年頃だ)。

あすびふし [asɯbifuʃi] [名] [あすびふ<sup>1</sup>しまい...] 遊ぶくせ。なまけぐせ。

あすびぶり [asɯbiburi] [名] [あすびぶりまい...] 遊びに夢中になること。遊びにふけること。

あすびわじゃ [asɯbiwadʒa] [名] [あすびわ<sup>1</sup>じゃまい...] 軽い仕事。簡単な仕事。【類】「あすびすかま」。

あずまーあずま [adzɯma:adzɯma] [重複] とても甘い味。甘い味を強調する。

あずまかだ [adzɯmakada] [名] [あずまか<sup>1</sup>だまい...] 製糖工場において。【例】しゃたぬ あずまかだ (砂糖の甘いにおいて)。

あずましや [adzɯmaʃa] [名] [あずま<sup>1</sup>しやまい...] 甘さ。味の甘さ。

あずましやーリ [adzɯmaʃa:li] [形] [あずま<sup>1</sup>しやまい...] 甘い。甘さ。甘い味。【例】あずましや

ぬ (とても甘い。甘いなあ)。ふぬーぬ あずま  
 しゃぬ (みかんの甘いことよ)。あずましゃん  
 ならん (甘くてたまらない。とてもおいしい)。  
 あずまあず (甘い味)。【類】「あましゃーり」。  
 あずまむぬ [adzɯmamunu] [名] [あずまむ<sup>1</sup>ぬま  
 い...] 甘い食べもの。  
 あずみ [adzɯmi] [名] [あず<sup>1</sup>みまい...] 味見。味  
 を確かめる。  
 あた [ata] [接頭] とつぴに。急。【例】あててい  
 ー うむいでいー (急に思い出した)。  
 あた [ata] [名] [あたま<sup>1</sup>い...] 明日。あした。【例】  
 あたがみ (明日まで)。あたがみ いだすぐまた  
 (明日までの提出物だ)。あてていー (明日だそ  
 うだよ)。うぐなーりら あてていー (集会は明  
 日だそうだ)。あたまい くだ (明日も来なさい)。  
 あだ [ada] [名] [あ<sup>1</sup>だまい...] 仇。恨みをもっ  
 ている相手。  
 あだ [ada] [名] [あだま<sup>1</sup>い...] 痣・皮ふにできる  
 斑紋。ほくろ。【例】みばなぬ あだ (顔の痣)。  
 あたあすとう [ataasɯtu] [名] [あたあす<sup>1</sup>とうま  
 い...] 明日か明後日。  
 あた一ま [ata:ma] [副] 短い時間のこと。しば  
 らく。少しの間。ちょっと。【例】あた一ま か  
 しーう する (ちょっと手伝ってくれ)。  
 あた一まがま [ata:magama] [副] とても短い  
 時間。【例】あた一まがま まてい (ちょっとだ  
 け待て)。  
 あたい [atai] [名] それぐらいのこと。それほど  
 のこと。【例】うぬ あたい (それぐらい)。  
 あたうどうるギ [ataudurukɯ] [動 I 類] [あたう  
 どうるきー、あたうどうるかん] [あたうどう  
 るギまい...] 急におどろく。突然の出来事にお  
 どろく。  
 あたが しえーか [ataga ɕe:ka] [名] [あた<sup>1</sup>がし  
 えーかん<sup>1</sup>まい...] 明日の明け方。明日の早朝。  
 あたが すとうむてい [ataga sɯtumuti] [名] [あ  
 た<sup>1</sup>がすとうむてい<sup>1</sup>まい...] 明日の朝。  
 あたが ピーま [ataga pi:ma] [名] [あた<sup>1</sup>がピー  
 ままい...] 明日の午後。  
 あたが ゆー [ataga ju:] [名] [あた<sup>1</sup>がゆー<sup>1</sup>ま

い...] 明日の夜。  
 あたが ゆしゃらび [ataga juɕarabi] [名] [あた<sup>1</sup>  
 がゆしゃらび<sup>1</sup>まい...] 明日の夕方。  
 あたが ゆなか [ataga junaka] [名] [あた<sup>1</sup>がゆな  
 かん<sup>1</sup>まい...] 明日の夜中。  
 あたが ゆねーん [ataga ju:ne:n] [名] [あた<sup>1</sup>がゆ  
 ねーん<sup>1</sup>まい...] 明日の夜。  
 あたかー [ataka:] [接続] そうしたならば。そん  
 なら。それでは。【例】あたかーま ねーんてい  
 ー とうみる (そんならしっかり探しなさい)。  
 【同】「あていかー」。  
 あたかー [ataka:] [連語] あるならば。【例】じん  
 ぬ あたかー (お金があれば)。【同】「あたから  
 ー」。「あていかー」。「あていからー」。  
 あたからー [atakara:] [連語] あるならば。【例】  
 じんぬ あたからー (お金があれば)。【同】「あ  
 たかー」。「あていかー」。「あていからー」。  
 あたすとうむてい [atasɯtumuti] [名] [あたすと  
 うむ<sup>1</sup>ていまい...] 明日の朝。  
 あたずん [atadzɯn] [名] [あたずんまい...] 急死。  
 あただます [atadamasɯ] [副] 突然。とつぴに。  
 【例】あただますん あびらいー (とつぴに呼ば  
 れた)。  
 あてていー [atati:] [副] 急に。突然。不意に。【例】  
 あてていー たうりー (急に倒れた)。  
 あだなー [adana:] [名] 渾名。本名以外の名前。  
 あたなぎ [atanagi] [名] [あたな<sup>1</sup>ぎまい...] 明日  
 あたり。明日頃。【例】あめー あたなぎ (雨は  
 明日頃だ)。  
 あだなす [adanasɯ] [名] [植] [あだな<sup>1</sup>すまい...]  
 あだんの気根。あだん木を支える脚。〈あだん〉  
 と〈あす〉の複合語。  
 あだなすあうだ [adanasɯauda] [名] [あだな<sup>1</sup>すあ  
 うだまい...] あだなすで作ったもっこのこと。  
 あだなすしゃば [adanasɯɕaba] [名] [あだな<sup>1</sup>すし  
 しゃばまい...] あだなすで作ったぞうりのこと。  
 あだなすんな [adanasɯnna] [名] [あだな<sup>1</sup>すんな  
 まい...] あだなすで作った縄のこと。  
 あたばかーり [atabaka:] [副] 少しの間。しばら  
 く。ちょっとの間。【同】「あたばかり」。  
 あたばかり [atabaka] [副] 少しの間。しばらく。

ちよっとの間。【例】あたばかり までい (しばらく待て)。【同】「あたばかり」。

あたばかり [atabaka] [副] 明日頃。【例】あたばかり なすどうす (明日頃生れるよ)。

あたらか [ataraka] [名] [あたら<sup>1</sup>かまい...] もったいないこと。惜しいこと。【例】あたらかぬ じん (もったいないお金)。

あたらかしやーり [atarakaça:] [形] [あたらか<sup>1</sup>しゃまい...] 大切。もったいない。

あたらかぬ むぬ [atarakanu munu] [名] [あたらか<sup>1</sup>ぬむぬ<sup>1</sup>まい...] 大切な物。もったいない物。

あたらかむぬ [atarakamunu] [名] [あたらか<sup>1</sup>むぬまい...] 大切な物。もったいない物。【類】「あたらかぬむぬ」。

あたらしゃーり [ataraca:] [形] [あたら<sup>1</sup>しゃまい...] 新しい。【例】あたらすしゃば (新しいぞうり)。あたらすしんしー (新しい先生)。

あたらす [ataras] [動I類 a 型] [あたらしー、あたらしゃん] 当たらせる。【例】まとうん あたらす (的に当たらせる)。

あたらすむぬ [atarasmunu] [名] [あたらすむ<sup>1</sup>ぬまい...] 新品。初物。

あたらん [ataran] [連語] まちがい。不正解。【例】くたいや あたらん (答えは不正解)。

あたり [ata] [名] [あた<sup>1</sup>りまい...] 屋敷内にある菜園のこと。

あたり [ata] [動I類 a 型] [あたりー、あたらん] 当たる。的に当たる。くじに当たる。【例】まとうん あたりー (的に当たった)。ふずんや あたりどうす (くじには当るよ)。ふずん あたりー (くじに当たった)。ふずエー あたらん (くじに当たらない)。

あたり [ata] [動I類 a 型] [あたりー、あたらん] 正解する。【例】くたいや あたりー (答えは当たった)。

あたり [ata] [動I類 a 型] [あたりー、あたらん] 食べ物に中毒する。

あたり [ata] [動I類 a 型] [あたりー、あたらん] 魚が釣り針にくいつく。

あたり [ata] [連語] だった。であった。そうで

あった。コンピュータの過去形。【例】あんしーどう あたり (そういうことであった)。ムにどう あたり (夢だった)。

あたり [atari] [連語] 正解。明解。正答。【例】イー くとー あたり (言うことは当たっている)。

あたりがふ [ata[gafu] [副] どんぴしゃり・ぴったり。ちょうどよい。きっちり。

あたりなうり [ata[nau] [動I類 a 型] [あたりなうりー、あたりなうらん] 運よく直る。運よく当る。対義語は〈あたりやヴヴィ〉。【例】びーどうくなん あたりなうりー (よい座席がとれた)。【同】「あたりの一り」。

あたりやヴヴィ [ata[javv] [動I類 a 型] [あたりやヴヴィー、あたりやヴヴィあん] 運悪くはずれる。対義語は〈あたりなうり〉。

あたりらーり [ata[ra:] [形] [あたり<sup>1</sup>らまい...] 大切。【類】「あたりらしゃーり」。

あたりらしゃーり [ata[raça:] [形] [あたり<sup>1</sup>しゃまい...] 大切。【類】「あたりらーり」。

あだん [adan] [名] [植] [あだ<sup>1</sup>んまい...] あだん。あだんの木。

あだんぎー [adangi:] [名] [植] [あだ<sup>1</sup>んぎーまい...] あだんの木。たこの木。あだなすやあだん葉を採る。【例】あだんぎーぬ すたん ゆくー (あだん木の下に休む)。【類】「んぎ」。

あだんぎーやま [adangi:jama] [名] [植] [あだ<sup>1</sup>んぎーやまい...] あだんの林。

あたんけー [atanke:] [連語] 明日にも。明日にでも。【例】あたんけー くー (明日にでも来なさい)。

あだんしゃば [adancaba] [名] [あだ<sup>1</sup>んしゃばまい...] あだん木の葉で作ったぞうり。【例】あだんしゃばう ムみー がっこーんけー (あだん葉ぞうりを履いて学校へ)。

あだんぬ なり [adannu na] [名] [あだん<sup>1</sup>ぬなり<sup>1</sup>まい...] あだん木の実 (果実)。やしがにの好物。渋い味がする。

あだんぬ ばー [adannu pa:] [名] [あだん<sup>1</sup>ぬばー<sup>1</sup>まい...] あだん木の葉。〈まだに〉 (風車)、むしろなどを作る。枯れ葉はたきものとして最適。

あだんぬ みム [adannu mim] [名] [あだん<sup>1</sup>ぬみム「まい...」きのこ。

あだんばら [adanbara] [名] [あだ<sup>1</sup>んばらまい...] あだん木の柱。家の柱にする。畑の番小屋に使用した。

あだんぶら [adanbura] [名] [あだ<sup>1</sup>んぶらまい...] あだん木の枯死したもの。人間の役立たずにもたとえる。

あだんや ならん [adan.ja naran] [連語] 仇にはならない。

あだんやぬ あず [adan.janu adzɯ] [名] [あだんや<sup>1</sup>ぬあず「まい...」多良間民謡。住宅建築の歌。村史参照。

あだんやま [adan.jama] [名] [あだ<sup>1</sup>んやままい...] あだん木の茂っている所。あだん木の木陰はいこいの場であった。【類】「んぎやま」。

あつ [aʔ] [擬] おどろく様。息をのむ様。

あつーあつ [atsɯːatsɯ] [重複] 熱いことを強調する。蒸したばかりのいもの熱いこと。

あつく [akku] [名] [あつ<sup>1</sup>くまい...] 悪口。悪口を言うこと。

あつじゃ [addʒa] [名] [あつじゃま<sup>1</sup>い...] 畔。畑の脇の溝。道端。側溝。

あつじゃぎ [addʒagi] [名] [あつじゃぎまい...] 畑の側溝を耕すこと。

あつちや [attɕa] [名] [あつ<sup>1</sup>ちやまい...] 暑いこと。気温の高いこと。日光の強いこと。

あつちや [attɕa] [名] [あつ<sup>1</sup>ちやまい...] 熱いこと。湯の温度の高いこと。

あつちやー [atsɯtɕaː] [名] [あつちやーまい... あつちや<sup>1</sup>ーまい...] 熱いお茶。湯加減のまずいお茶。【例】あつちやーん ふつう ゆでいらいり (熱いお茶にくちびるをゆでられる)。

あつちやーり [attɕaːi] [形] [あつ<sup>1</sup>ちやまい...] 厚い。厚紙。

あつちやーり [attɕaːi] [形] [あつ<sup>1</sup>ちやまい...] 熱い。暑い。【例】あつちやぬ (熱いなあ・暑いなあ)。ちやーぬ あつちやぬ (お茶の熱いことよ)。あつちやん ならん (熱くてたまらない)。くぬ ちやーや あつちやーり (このお茶は熱い)。ピーていりら あつちやーり (日照りの

場所は暑い)。かでー ねーんにー あつちやぬ (風がないから暑いよ)。

あつちやいむぬ [attɕaimunu] [名] [あつちやいむ<sup>1</sup>ぬまい...] 託するもの。託される物品。

あつちやいり [attɕai] [動II類c型] [あつちやいー、あつちやいん] あつらえる。注文して作ること。【例】ふくー あつちやいり (洋服を注文して仕立てる)。

あつちやいり [attɕai] [動II類c型] [あつちやいー、あつちやいん] 託する。出港する船の船員に物品を託す。

あつちやす [attɕasɯ] [動I類c型] [あつちやしー、あつちやしやん] 温める。食べものを火でぬくめる。【例】あつちやしー くー (温めて来なさい)。するー あつちやす (汁を温める)。

あつちやむいむぬ [attɕamuimunu] [名] [あつ<sup>1</sup>ちやむいむぬまい...] 暑さに弱い人。【類】「あつちやむや」。

あつちやむや [attɕamuja] [名] [あつ<sup>1</sup>ちやむや<sup>1</sup>まい...] 暑さに弱い人。【類】「あつちやむいむぬ」。

あつどうくま [atsɯdukuma] [名] [あつどうくまい...] 暑い所。日なた。

あつふいだき [affidaki] [名] [あつふいだ<sup>1</sup>きまい...] 弾力性がなくなった竹。固くなった竹。

あつふいり [affi] [動II類c型] [あつふいー、あつふいん] (竹が) 弾力性がなくなる。固くなる。

あつぶみぎ [atsɯpumikɯ] [動I類c型] [あつぶみきー、あつぶみかん] 無風の状態で暑い。【類】「かがま」。

あつまり [atsɯma] [動I類c型] [あつまりー、あつまらん] 集まる。集会。集う。【例】あつまりが (集会に行く)。

あつみず [atsɯmidzɯ] [名] [あつみずまい...] 熱い水。お湯。【例】あつみずう ぬみ (お湯を飲みなさい)。

あつみり [atsɯmi] [動II類c型] [あつみー、あつみん] 集める。【例】にんじゅー あつみり (人々を集める)。

あつむぬ [atsɯmunu] [名] [あつむぬまい...] 厚

物。厚い着物。厚紙。

あつむぬ [atsjmunu] [名] [あつむぬまい...] 熱いもの。熱い食べ物。【例】くれー あつむぬしゃいく (これは熱い食べ物ですなあ)。

あつゆー [atsju:] [名] [あつゆーまい...] 熱湯。やけどするほどのお湯。

あてい [ati] [名] [あていまい...] 当て。目当て。目標。頼り。【例】あていん すな (当てにするな)。

あてい [ati] [副] とても。あまり。【例】あていぶからす (とてもうれしい)。

あていかー [atika:] [接続] そんなら。それならば。それでは。【例】あていかー しー みーだ (そんならやってみよ)。【同】「あたかー」。

あていかー [atika:] [連語] あるならば。【例】じんぬ あていかー (お金があれば)。【同】「あたかー」。「あたからー」。「あていからー」。

あていからー [atikara:] [連語] あるならば。【例】じんぬ あていからー (お金があれば)。【同】「あたかー」。「あたからー」。「あていからー」。

あでいく [adiku] [名] [魚] [あでい<sup>1</sup>くまい...] 蜻の巣のこと。巣穴。【同】「あでいふ」。

あていくとう [atikutu] [副] あまり。あんまり。【例】あていくとう ふーな (あまり食べるな)。

あていすー [atisj:] [名] [あていすーまい...] 充分知ること。

あていずーしゃーり [atidzj:ca:] [形] [あていずーしゃまい...] 知り尽くしていること。知らないふりをしていること。

あていどう [atidu] [副] とても。【例】あていどう ふえー ぶり (あまりにも食べている)。

あでいとうり [aditu:] [名] [あでいとう<sup>1</sup>りまい...] あやとり遊び。

あていなくとう [atinakutu] [副] あまりにもひどいこと。度が過ぎること。【例】ヴヴあー あていなくとう (君はひどすぎる)。

あていはまり [atihama:] [動I類c型] [あていはまりー、あていはまらん] 当てはまる。ちょうどよい長さ・大きさ・太さ。

あでいまー [adima:] [名] [あでいま<sup>1</sup>ーまい...] 石臼を乗せる十字の木材。木材を十字に組んだ

もの。

あでいまー [adima:] [名] [あでいま<sup>1</sup>ーまい...] たすき。十字の形のもの。和服の袖を十字にかける。

あでいまー [adima:] [名] [魚] [あでいま<sup>1</sup>ーまい...] ひとで。

あていり [ati:] [動II類a型] [あていー、あていん] なぐる。弱者を強者が思い切って殴る。

あていり [ati:] [動II類a型] [あていー、あていん] 当てる。的に当てる。答えを当てる。【例】くたいゆ あていり (答えを当てる)。

あでいり [adi:] [動II類c型] [あでいー、あでいん] 紐や縄を十字にかける。たすきをかける。【例】んなーう あでいり (縄を十字にかける)。

あていんぎ [atinkj] [動I類a型] [あていんきー、あていんかん] やっつける。【例】すまうとうりー あていんぎ (相撲でやっつける)。

あていんぎ [atinkj] [動I類] [あていんきー、あていんかん] 腹いっぱい食べる。【例】ばたムつけ あていんぎ (腹いっぱい食べる)。

あてー ねーん [ate: ne:n] [連語] 当てがない。目標がない。

あてー ねーん [ate: ne:n] [連語] 突然の出来ごと。とっぴなこと。【例】あてー ねーん まるびー (突然転んだ)。

あとう [atu] [名] [あとう<sup>1</sup>んまい...] 後。後方。【例】あとう まかしー うき (後はまかしておけ)。あとうんや ピとー ぶらーん (後には人はいない)。ピとうぬ あとうん なりな (人の後になるな)。

あとう [atu] [名] [あ<sup>1</sup>とうまい...] 跡。痕跡。足跡。傷痕。弾痕。【例】いなぬ ぱぎあとう (犬の足跡)。

あどう [adu] [名] [あ<sup>1</sup>どうまい...] かかと。きびす。【類】「あどうばり」。

あとううい [atuui] [名] [あ<sup>1</sup>とううまい...] 後植え。おくれて植えること。時期おくれの作物。

あとううす [atuusj] [名] [あ<sup>1</sup>とううすまい...] 後押し。後援。援助。【例】かーむぬんけー あとううす (貧困の人に後押しする)。

あとうや [atuja] [名] [あ<sup>1</sup>とうやまい...] 後父。継父。義父。母の再婚によって父となる人。

あとうがイ [atuga] [名] [あとうが<sup>1</sup>イまい...] 下あご。あご。

あとうかた [atukata] [名] [あ<sup>1</sup>とうかたまい...] 跡形。後に残る形。しるし。【例】しゅーぬーりぬ あとうかた (津波の跡形)。

あとうかたずき [atukatadzki] [名] [あとうかたず<sup>1</sup>きまい...] 後片づけ。後の整理。立つ鳥跡をにごさず。

あとうがみ [atugami] [連語] 後まで。最後まで。【例】あとうがみ ぬくりー (最後まで残った)。

あとうから [atukara] [連語] 後から。後ほど。【例】あとうから っさいずー (後ほど申し上げます)。

あとうぐる [aduguru] [名] [あとうぐ<sup>1</sup>るまい...] かかどで踏みつけることの強いしつけ。そのたとえ。

あとうぐんぎ [atugunk] [名] [あ<sup>1</sup>とうぐんぎまい...] 後根気。体力の続き具合。精神力。最後までものを成し遂げる精神力。

あとうしゅ [atuçu] [名] [あとう<sup>1</sup>しゅまい...] 後潮。夕方の潮。

あとうだま [atudama] [名] [あ<sup>1</sup>とうだままい...] 分け前を後にもらうこと。

あとうだまどう うーだま [atudamadu u:dama] [諺] 分け前は後からの方が大きな徳がある。

あとうつぎ [atutsugi] [動I類] [あとうつぎー、あとうつがん] [あ<sup>1</sup>とうつぎまい...] 後継ぎ。【例】しゅーふー あとうつぎ (大工を後継ぎする)。

あとうとうず [atutudz] [名] [あとうとう<sup>1</sup>ずまい...] 後妻。後添い。

あとうどうみ [atudumi] [名] [あとうどう<sup>1</sup>みまい...] 後妻。後添い。

あとうとうり [atutu] [名] [あ<sup>1</sup>とうとうりまい...] 後取り。後継者。

あとうとうれ [atuture] [名] [あ<sup>1</sup>とうとうれ<sup>1</sup>まい...] 後取り。後継者。

あとうぬ ゆー [atunu ju:] [名] [あとう<sup>1</sup>ぬゆー<sup>1</sup>まい...] 後世。行く末。

あとうばらイ [atubara] [名] [あ<sup>1</sup>とうばらイまい...] 後払い。賃金や買い物の後払い。

あどうぱり [adupa] [名] [あどうぱりまい...] かかど。きびす。【類】「あどう」。

あどうぱりぶに [adupa[buni] [名] [あどうぱりぶにまい...] かかとの骨。

あとうピすいり [atupisi] [名] [あとうピすい<sup>1</sup>りまい...] 昼過ぎてからの食事。

あどうふあーす [adufa:s] [動I類c型] [あどうふあーしー、あどうふあーしゃん] かかどで踏みつける。厳しいしつけのこと。

あとうまーす [atuma:s] [名] [あとうまー<sup>1</sup>すまい...] 後まわし。順番をおくらせる。

あとうましゃり [atumaça] [連語] 遅れてもいいからチャンスを待て。【例】あとうましゃりどうしゅらましゃり (後の徳は前の徳よりよい)。

あとうみどうム [atumidum] [名] [あ<sup>1</sup>とうみどうムまい...] 後妻。後添え。

あとうむどうり [atumudu] [名] [あ<sup>1</sup>とうむどうりまい...] 後戻り。

あとうムま [atumba] [名] [あ<sup>1</sup>とうムままい...] 継母。ままはは。

あとうん なり [atun na] [連語] 後方になる。後方に立つ。【例】あとうん なり (後方に並べ)。

あとうんけー [atunke:] [連語] 後へ。後ほど。【例】あとうんけー ゆっじ (後へ下がれ)。

あとうねーん [ato: nem] [連語] あっさりしていること。寛容である。寛容な人に言う。

あな [ana] [名] [あなまい...] 穴。防空壕。【例】ぱりぬ あな (針の穴)。あなんけー くり (穴に入れ)。

あなうみ [anaumi] [名] [あなう<sup>1</sup>みまい...] 穴埋め。穴を埋める。補充する。

あなぎな [anagina] [副] そのまま。ただで。無料で。【例】かまんぐとう あなぎな ぬみ (嘔まないでそのまま呑みなさい)。

あなぎな [anagina] [副] 手ぶらで。【例】あなぎな くー (手ぶらで来なさい)。【同】「あなぎな」。

あなぐまり [anaguma] [名] [あなぐまりまい...] 穴籠り。穴にこもること。穴に生活する。外出

しないこと。世間知らずの人にたとえる。

あなどうり [anadu] [動I類a型] [あなどうり一、あなどうらん] あなどる。あぎける。みくびる。軽んじる。馬鹿にする。【例】ピとうーあなどうりな (人を軽く見るな)。

あなふつ [anafuts] [名] [あなふつまい...] 穴口。穴の入り口。【例】ペるまぬ あなふつ (すながにの穴の入り口)。

あなぶり [anabu] [名] [あなぶりまい...] くぼみ。水たまり。排水を溜めるくぼみ。蚊の発生源。

あなぶり [anapu] [名] [あなぶりまい...] 穴掘り。穴を掘ること。【例】ヴえーだぬ あなぶり (ねずみの穴掘り)。

あなみり [anami] [動II類c型] [あなみ一、あなみん] ねだる。請求する。欲しがる。【例】じんゆあ なみり (お金をねだる)。

あなりー [anari:] [名] 奴。野郎。【例】あなりーぬ むぬ (この野郎)。

あに [ani] [名] [あにまい...] 兄。兄弟の年上の男の人。【類】「あじゃ」。

あに [ani] [名] [あにまい...] 姉。兄弟の年上の女の人。【類】「あなが」。

あに [ani] [名] [あにまい...] 守り姉。【例】あがむりあに (ぼくを守り育てたお姉さん)。【類】「むりあに」。

あにー [ani:] [副] そんなに。そのように。その通りに。【例】あにー イーな (そのように言うな)。あにーぬ ばなす (そのような話だ)。

あにーがみ イー [ani:gami i:] [連語] そんなことまで言う。慎みのない言葉。

あにーていーしゃー [ani:ti:ça:] [連語] その通りか。聞き返すことば。人のうわさ話を確かめる。

あにうっとう [aniuttu] [名] [あにうっとうまい...] 兄と弟。姉と妹。兄弟姉妹。

あにしゅじゃ [aniçudza] [名] [あにしゅじゃまい...] 長男。

あにっすう [anissu] [名] [あにっすうまい...] 年上。男女の区別はない。先輩。【例】かれー ヴヴあゆーげらー あにっすうどー (彼は君より年上だぞ)。

あにっすうっふあ [anissuffa] [名] [あにっすうっ<sup>1</sup>ふあまい...] 年上の兄弟。

あにっすうびきヴヴあ [anissubikivva] [名] [あにっすうびきヴヴあまい...] 年上の男の兄弟。

あにっすうみどうムヴヴあ [anissumidumvva] [名] [あにっすうみどうムヴヴあまい...] 年上の女性の兄弟。

あにみどうム [animidum] [名] [あにみどうムまい...] 長女。

あにゆみ [anijumi] [名] [あにゆみまい...] 兄の妻。兄嫁。

あぬ ゆー [anu ju:] [連語] あの世。後世。

あぬ んじゃ [anu ndza] [連語] [指] あいつ。

あぬー [anu:] [連語] [代] 私を。ぼくを。我を。一人称の対格の形。【例】あぬー うべー わーげムべーム (私を覚えていらっしゃいますか)。あぬーばー っさんがやう (私をば知らないらしい)。あぬーまい しゅいる (私をも添えてほしい)。【類】「ばぬー」。

あねーら [anera] [副] たかが。取るに足りないこと。【例】あねーら うすかぬ むぬ (たかがそれしかのもの)。

あば [aba] [感] あれ。おどろくこと。【例】あばくれーぬーが (あれ、これは何だ)。

あば [apa] [名] [魚] [あ<sup>1</sup>ばまい...] おこぜの仲間。

あはー [aha:] [感] ああ。なるほど。納得したときに発する。【例】あはー っさいった (なるほどわかったぞ)。

あばー [aba:] [連語] [代] 私は。ぼくは。我は。一人称の主題形。【例】あばー ばらまん (私は走らない)。あばー いかまん (私は行かない)。

あばーあば [apa:apa] [重複] とてもうす味。

あばか [abaka] [名] [あば<sup>1</sup>かまい...] 船が来ることを知らせるために揚げる「くば」の葉。

あばがま [abagama] [名] [あばが<sup>1</sup>まい...] (両親より若い) おば。

あばギ [abaki] [動I類c型] [あばき一、あばかん] 疲れる。まいった。【例】あっちゃん あばきー (暑さにまいった)。

あばしや [abaça] [名] [あば<sup>1</sup>しやまい...] おし

やべりの人。でしゃばりの人。自分の低能をさらけ出している人。

あばしや [abaça] [名] [魚] [あば<sup>1</sup>しゃまい...] はりせんぼん。

あばしやーり [apaça:] [形] [あば<sup>1</sup>しゃまい...] 味が薄い。【例】あばあず (塩のうすいこと)。

あばしやずる [abaçadzıru] [名] [あば<sup>1</sup>しゃずるまい...] はりせんぼんの煮汁。

あばちきな [apatçikina] [名] [あばちき<sup>1</sup>なまい...] おかずのない食事。昔の一汁一菜。【例】ピすいりんや ムーとう ムしゆとう あばちきな ふーたり (昼食はいもと味噌だけの食事だった)。

あばなかく [apanakş] [動I類 a 型] [あばなかしー、あばなかしやん] 仰向けにする。寝かせる。【例】ぱなつーゆばー あばなかくどうす (鼻血のときは仰向けにする)。

あばなギ [apanak] [動I類] [あばなきー、あばなかん] [あばなギまい...] ~やがる。動詞について、軽蔑・罵声の意味を加える。子どもをしつけるときにも使う。命令形で使われることが多い。【例】んなりあばなき (消えやがれ)。ふーあばなき (たべやがれ)。

あばなギ [apanak] [動I類 a 型] [あばなきー、あばなかん] 仰向けになる。寝る。【例】あばなギばどう ぱなつーや とうまり (仰向けにすると鼻血は止まる)。

あばなギにん [apanaknin] [名] [あばなギにんまい...] 仰向けに寝ること。仰臥すること。【例】あばなギにんゆ しー いしやん みーらいり (仰向けに寝て医者に診られる)。

あばふつ [apafuts] [名] [あばふ<sup>1</sup>つまい...] うす味を好む人。

あばらが [aparaga] [名] [あばら<sup>1</sup>がまい...] 美人。容貌のきれいな人。人間にのみ言う。

あばらぎあじゃ [aparagiadza] [名] [あばらぎあ<sup>1</sup>じゃまい...] きれいな兄さん。イケメン。ハンサム。

あばらぎあんが [aparagianga] [名] [あばらぎあん<sup>1</sup>がまい...] きれいな姉さん。美人。

あばらぎしやーり [aparagiça:] [形] [あばらぎ<sup>1</sup>しゃまい...] きれい。美しい。人間にのみ用い

る。【例】あばらぎピとう (美人)。

あばらぎつふあ [aparagiffa] [名] [あばらぎつふあまい...] 眉目のうるわしい子。男児・女児に言う。

あばらぎにしやい [aparaginica:] [名] [あばらぎにしやいまい...] きれいな青年。容姿が美しい男性。イケメン。ハンサム。

あばらぎピとう [aparagiptu] [名] [あばらぎピとうまい...] きれいな人。容姿のきれいな人。男女に言う。

あばらぎみどうム [aparagimidum] [名] [あばらぎみどう<sup>1</sup>ムまい...] きれいな女。美人。容姿たのれいな女。

あばらぎムまり [aparagimmari] [名] [あばらぎムまりまい...] 生まれた時から顔だちのよいこと。生れつきの美しい顔だち。

あばらす [abaras] [動I類 a 型] [あばらしー、あばらしやん] 荒れさせる。畑が荒れるまで放っておく。荒れ放題。【例】ぱるー あばらす (畑を荒れさせる)。

あばらぶに [abarabuni] [名] [あばらぶ<sup>1</sup>にまい...] 肋骨。【類】「しやうきぶに」。「しょーきぶに」。「やかたぶに」。

あばりずー [abarıdzı:] [名] [あばりずーまい...] 荒れた畑。荒地。

あばりぬーま [abarinu:ma] [名] [あばりぬーままい...] 暴れ馬。人にも言う。

あばりピとう [abariptu] [名] [あばりピとうまい...] 暴漢。乱暴者。

あばりま [aparima] [名] [地] [あばり<sup>1</sup>ままい...] 多良間島の〈とうぶり〉の名前。村史参照。

あばりむぬ [abarimunu] [名] [あばりむぬまい...] 暴れ者。乱暴者。暴漢。

あばりやー [abarija:] [名] [あばりやーまい...] 人の住んでいない家。無人の家。荒れた屋敷。

あばりやすギ [abarijasık] [名] [あばりやすギまい...] 住人のいない家敷。【例】くぬーれー あばりやすギぬ ゆー あり (近ごろは人のいない屋敷が多い)。

あばりり [abari] [動II類 a 型] [あばりー、あばりん] 荒れる。畑が荒れる。【例】ゆつふあ

一すむぬぬ ずーや あばりり (なまけ者の畑は荒れる)。

あばりり [abari] [動II類a型] [あばりー、あばりん] 暴れる。馬が騒ぎ暴れる。酒座で暴れる。【例】ぬーまぬ あばりり (馬が暴れる)。

あびぎ [abik] [動I類c型] [あびきー、あびかん] あえぐ。苦しそうに息をする。【例】ぱりー ギばどう あびきーり (走って来たので喘いでいる)。

あびり [abi] [動I類c型] [あびりー、あびらん] 呼ぶ。呼び寄せる。連絡する。【例】けいーかーいんや そんちよーゆ まい あびり (敬老会には村長も呼びなさい)。かーらーばー あびりぐまた (彼をば呼ぶべきだ)。

あびりべー [abi|be:] [名] [あびりべーまい...] 呼ぶ係。連絡係。

あふ [afu] [名] [あふまい...] 食品。ふくらし粉の入った食品。

あぶ [abu] [名] [昆虫] [あぶまい...] 虻。牛馬や人から血を吸う。

あぶ [abu] [名] [あぶまい...] 穴。深くくぼんだ所。洞。【例】あぶんけー ゆばいるムどー (穴に引き込まれるぞ)。

あふが [afuga] [名] [あふがまい...] わがまま。わがまま育ちの子。【類】「あふがつふあ」。

あふがしゅだつ [afugaçudats] [名] [あふがしゅだつまい...] わがままに育つこと。

あふがしゅだてい [afugaçudati] [名] [あふがしゅだていまい...] わがままに育てること。

あふがつふあ [afugaffa] [名] [あふがつふあまい...] わがままな子。わがまま育ちの子。【類】「あふが」。

あふがムまり [afugammari] [名] [あふがムまりまい...] わがままな性格を持つこと。その人。

あぶく [abuku] [名] [あぶくまい...] 泡。気泡。【例】ムチャがりんや あぶくぬ ゆり (満潮へ向うと泡がゆれる)。【同】「あーぶく」。

あふた [afuta] [名] [あふたまい...] あくた (芥)。ちり。ごみ。

あぶなしゃーり [abunaça:] [形] [あぶなしゃーりまい...] 危ない。危険。

あぶム [abum] [名] [あぶムまい...] あぶみ。馬の鞍の両脇にとりつけて足を踏み掛けるもの。

あふらす [afuras] [動I類c型] [あふらしー、あふらしゃん] あふれさせる。こぼす。鍋から沸き出ださせる。【例】なびぬ ふたう あきー あふらすな (鍋のふたを開けてあふれさせるな)。

あふりり [afuri] [動II類c型] [あふりー、あふりん] あふれる。鍋から沸き出る。こぼれる。【例】ぐきん あふりりけ みずう イズいる (桶にあふれるまで水を入れなさい)。

あべー [ape:] [名] [あべーまい...] 子を産ませるための雌の家畜。繁殖用の家畜。主として豚に言う。

あべーわー [ape:va:] [名] [あべーわーまい...] 繁殖用の雌の豚。

あまーあま [ama:ama] [重複] 甘いことを強調する。

あまーらす [amaras] [動I類c型] [あまーらしー、あまーらしゃん] 子どもをわがままに育てる。甘やかす。【例】あまらーしー ねーん (あまやかしてしまった)。

あまーらす [amaras] [動I類c型] [あまーらしー、あまーらしゃん] 放牧する。畜舎から外へ出すこと。【例】ぬーんか あまーらす (原野に放牧する)。

あまーり [ama:] [動I類c型] [あまーりー、あまーらん] 放たれる。自由の身になる。【例】あまーりぬーま (飼い主から逃げた馬)。

あまーりむぬ [ama:|munu] [名] [あまーりむぬまい...] 身勝手な者。わがままな人。だだをこねる子。

あまいっす [amaiss] [動I類a型] [あまいっしー、あまいっしゃん] 甘えさせる。

あまいぬー [amainu:] [名] [あまいぬーまい...] 竜巻。【類】「いぬー」「いぬーぬまら」。

あまいり [amai] [動II類a型] [あまいー、あまいん] 甘える。ねだる。わがまま。だだをこねる。【例】あまいてーん (甘えてばかり)。

あまいり [amai] [動II類a型] [あまいー、あまいん] 笑う。ほほえむ。【例】ぷからしゃん あまいー ぶり (うれしさに笑っている)。【類】

「ばるー」。

あまがー [amaga:] [名] [あ<sup>1</sup>まがーまい...] 天川。天川部落の水源。洞穴泉。

あまがーとうまばら [amaga:tumbara] [名] [あ<sup>1</sup>まがーとうまばらまい...] 土原豊見親が牛と格闘したとされる岩。

あまがーむら [amaga:mura] [名] [あ<sup>1</sup>まがーむらまい...] 土原豊見親の本拠地。

あまがーゆまた [amaga:jumata] [名] [あ<sup>1</sup>まがーゆまたまい...] 人頭税を集積した四辻。

あまがしゃ [amagaça] [名] [あまが<sup>1</sup>しゃまい...] 雨傘。こうもり傘。【同】「あみがしゃ」。【類】「らんがしゃ」。

あまかてい [amakadi] [名] [あまか<sup>1</sup>ていまい...] 雨降り続き。長雨。【例】あまかていんや ぷにゆくー (長雨のときは骨休み)。【同】「あみかてい」。

あまかわ [amakawa] [名] [あまか<sup>1</sup>わまい...] 天川。天川支部のこと。仲寅。とら支部。

あまぐい [amagui] [名] [あまぐ<sup>1</sup>いまい...] 雨乞い。雨乞いの神事。仲筋は「いすみにだー」、塩川は「たーばたゆまた」で住民こぞってクイチャーを舞った。

あまぐいえーぐ [amaguie:gu] [名] [あまぐ<sup>1</sup>いえーぐまい...] 雨乞い歌。

あまくま [amakuma] [連語] あちらこちら。どこもかも。【例】あまくまん すけーりー ぶり (あちらこちらに散らかっている)。

あまぐり [amaguri] [名] [あまぐりまい...] 雨雲。いま降りそうな雲。黒雲。

あましゃ [amaça] [名] [あま<sup>1</sup>しゃまい...] 甘さ。甘い味。【類】「あずましゃ」。

あましゃーり [amaça:] [形] [あま<sup>1</sup>しゃまい...] 甘い。【例】あまみず (さとう水)。しゃたみずぬ あましゃん ならん (砂糖水の甘いことよ)。【類】「あずましゃーり」。

あましゃーり [amaça:] [形] 味が薄い。【例】あまざる (うす味の汁)。

あましゃーり [amaça:] [形] [あま<sup>1</sup>しゃまい...] 網の目があらい。【例】あましゃん ならん (とても粗い目のこと)。あまみーあム (目のあら

い網)。

あまじゆ [amadzu] [名] [あまじゆまい...] 敷居。戸の通りを良くするための横木。

あます [amas] [動I類c型] [あましー、あましゃん] 余す。余らせる。【例】ふーあます (食べ残す)。

あます [amas] [動I類c型] [あましー、あましゃん] やり切れない。できない。不可能である。【例】とうみあましー (探しきれない)。きうやすぐとうーどう すーあましー ねーん (今日は仕事をやりきれなかった)。

あます [amas] [動I類c型] [あましー、あましゃん] 編ませる。

あまだら [amadara] [名] [あまだ<sup>1</sup>らまい...] 怠け者。【同】「あまだれ」。【類】「あまだりむぬ」。「なまだりむぬ」。

あまだり [amada] [名] [あまだ<sup>1</sup>りまい...] 雨端。のきした。ひさし。【例】あまだりあみ (ひさしから流れ落ちる水)。

あまだりー まーり [amadari: ma:] [連語] 雨だれに濡れて歩く。転じて怠けものの歩き。

あまだりすた [amada:sjta] [名] [あまだ<sup>1</sup>りすたまい...] 軒下。

あまだりみず [amada[midz] [名] [あまだ<sup>1</sup>りみずまい...] 雨だれ。ひさしから落ちる雨水。【例】あまだりみずう たみー うき (雨だれを溜めておきなさい)。

あまだりむす [amada[mus] [名] [虫] [あまだ<sup>1</sup>りむすまい...] やすで。【類】「むすぱー」。

あまだりむぬ [amada[munu] [名] [あまだ<sup>1</sup>りむぬまい...] 怠け者。【類】「あまだら」。「あまだれ」。「なまだりむぬ」。

あまだれ [amadare] [名] [あまだ<sup>1</sup>れまい...] 怠け者。【同】「あまだら」。【類】「あまだりむぬ」。「なまだりむぬ」。

あまどう [amadu] [名] [あまどうまい...] 雨戸。台風を防ぐ。

あまみず [amamis] [名] [あまみ<sup>1</sup>すまい...] 甘酒。お神酒。神専用の神酒。【類】「みす」。

あまみり [amami] [動II類c型] [あまみー、あまみん] (酒や食べものを) いただく。食べ物

を少しだけ口にする。【例】とうすう とうりつたりー しゃきうばー あまみん (年を取っているの、酒を飲まない)。

あまム [amam] [名] [蟹] [あま<sup>1</sup>ムまい...] かに類の総称。甲殻類 (えび類は含まれない)。

あまム [amam] [名] [貝] [あま<sup>1</sup>ムまい...] やどかり。やどかりの総称。

あまムぐー [amamgu:] [名] [あま<sup>1</sup>ムぐーまい...] やどかりの抜け殻。雑多な貝殻がある。

あまムぶに [amambuni] [名] [あま<sup>1</sup>ムぶにまい...] 蹠 (くるぶし)。

あまむ<sup>1</sup> [amamu] [名] [あまむ<sup>1</sup>まい...] 雨漏り。雨漏れする。家の雨漏れ。

あまやかす [amajakas] [動I類c型] [あまやかしー、あまやかしゃん] 甘やかす。わがままに育てる。しつけが甘い。【例】あまやかしー しゅだてい<sup>1</sup> (甘やかして育てる)。

あまらす [amaras] [動I類c型] [あまらしー、あまらしゃん] 余らせる。残らせる。買う人に余分にあげる。店の商品が売れ残る。

あま<sup>1</sup> [ama] [動I類c型] [あまりー、あまらん] 余る。残る。余分。【例】あま<sup>1</sup>むぬ (余分のもの、残りもの、弁当の余り)。ふーむのーゆーどう あま<sup>1</sup>ー ぶ<sup>1</sup> (食べものはたくさん余っている)。

あま<sup>1</sup>うむくとう [ama[umukutu] [名] [あま<sup>1</sup>うむく<sup>1</sup>とうまい...] 学問以外の知識。社会常識。社会通念。

あま<sup>1</sup>くがり [ama[kugari] [名] [あま<sup>1</sup>くが<sup>1</sup>りまい...] 余計な思いこみ。思い焦れること。取り起し苦労。【例】あま<sup>1</sup>くがり すな (余計な心配をするな)。【類】「あま<sup>1</sup>しが<sup>1</sup>り」。「あま<sup>1</sup>しわ」。

あま<sup>1</sup>しが<sup>1</sup>り [ama[çigari] [名] [あま<sup>1</sup>しが<sup>1</sup>りまい...] 余計な思いこみ。思い焦れること。取り起し苦労。【例】あま<sup>1</sup>しが<sup>1</sup>りんな (取り起し苦労するな)。【類】「あま<sup>1</sup>くが<sup>1</sup>り」。「あま<sup>1</sup>しわ」。

あま<sup>1</sup>しわ [ama[çiva] [名] [あま<sup>1</sup>し<sup>1</sup>わまい...] 余計な思いこみ。思い焦れること。取り起し苦労。【類】「あま<sup>1</sup>くが<sup>1</sup>り」。「あま<sup>1</sup>しが<sup>1</sup>り」。

あま<sup>1</sup>ず<sup>1</sup>ぎ [ama[dzɨkɨ] [名] [あま<sup>1</sup>ず<sup>1</sup>ぎまい...] 余り月。閏月。同じ月が二回ある。新暦では四年に一度二月を29日までとする。【類】「ゆ<sup>1</sup>ず<sup>1</sup>ぎ」。

あま<sup>1</sup>り<sup>1</sup>なん<sup>1</sup>ぎ [ama[nangɨ] [名] [あま<sup>1</sup>り<sup>1</sup>なん<sup>1</sup>ぎまい...] 余計な難儀。無駄骨折り。

あま<sup>1</sup>り<sup>1</sup>む<sup>1</sup>ぬ [ama[munu] [名] [あま<sup>1</sup>り<sup>1</sup>む<sup>1</sup>ぬまい...] 余り物。残り物。余計なもの。

あま<sup>1</sup>り<sup>1</sup>む<sup>1</sup>ぬ<sup>1</sup>ゆ<sup>1</sup>ム [ama[munujum] [名] [あま<sup>1</sup>り<sup>1</sup>む<sup>1</sup>ぬ<sup>1</sup>ゆ<sup>1</sup>ムまい...] 余計なおしゃべり。必要以上におしゃべりすること。

あみ [ami] [名] [あみまい...] 飴。飴玉。お菓子。

あみ [ami] [名] [あ<sup>1</sup>みまい...] 雨。【例】あみうば<sup>1</sup>らす (雨の止むのを待つ)。ていんーや あめー ねーんがやう (天には雨はないのかなあ)。あみう たすきー わーり (雨を降らせて下さい)。

あみ [ami] [名] [あみまい...] 浴び。水浴び。水を浴びること。

あみあが<sup>1</sup>り [amiaga] [動I類c型] [あみあがりー、あみあがらん] 雨があがる。晴れる。雨が止む。【例】あめー あがりつた (雨は止んだ)。

あみあとう [amiatu] [名] [あみあ<sup>1</sup>とうまい...] 雨降り後。雨後。【例】あみあとうんや ぬ<sup>1</sup>じゅとう<sup>1</sup>りが (雨の後はねんじゅもを採りに行こう)。

あみうが<sup>1</sup>ん [amiugan] [名] [あみうが<sup>1</sup>んまい...] 雨の祈願。長い日照りのときに雨を乞う願い。

あみか<sup>1</sup>ヴ<sup>1</sup>い [amikavv] [動I類c型] [あみか<sup>1</sup>ヴ<sup>1</sup>いー、あみか<sup>1</sup>ヴ<sup>1</sup>あん] 頭から水をかける。ずぶぬれ。ひっかぶる。負債や責任を負かされる。責任を負う。

あみが<sup>1</sup>しゃ [amigaça] [名] [あみが<sup>1</sup>しゃまい...] 雨傘。こうもり傘。【同】「あまが<sup>1</sup>しゃ」。【類】「らんが<sup>1</sup>しゃ」。

あみが<sup>1</sup>た [amigata] [名] [あみが<sup>1</sup>たまい...] 雨が近いこと。空模様を見て言う。【例】あみが<sup>1</sup>たどー (雨は近いぞ)。【類】「あみば<sup>1</sup>た」。

あみが<sup>1</sup>たか [amigataka] [名] [あみが<sup>1</sup>た<sup>1</sup>かまい...] 雨除けの場所。雨をささげるもの。【例】あみが<sup>1</sup>たかう つっふい (雨除けを作る)。

あみかでい [amikadi] [名] [あみか<sup>1</sup>でいまい...]  
雨風。長雨のこと。雨の長降り。【例】あみか  
でいんや ぶにゆくー (雨降り続きは骨休みだ)。  
【同】「あまかでい」。

あみがなす [amiganas] [名] [あみがな<sup>1</sup>すまい...]  
雨を敬った言葉。

あみがま [amigama] [名] [あみが<sup>1</sup>ままい...] 小  
雨。小降りの雨。

あみぎしゅイ [amigjɕu] [名] [あみぎしゅ<sup>1</sup>イま  
い...] 雨競い。雨との勝負。雨の降らないうち  
に仕事を終える。

あみぎすい [amigjsi] [名] [あみぎ<sup>1</sup>すまい...]  
雨が止むこと。大雨がちよっと止むこと。

あみぐま<sup>1</sup> [amiguma] [名] [あみぐま<sup>1</sup>まい...]  
雨ごもり。雨のために家の中で過ごす。

あみじやた [amidzata] [名] [あみじゃ<sup>1</sup>たまい...]  
飴砂糖。

あみじやら [amidzara] [名] [あみじゃ<sup>1</sup>らまい...]  
雨続き。雨が続けている状態。

あみじやらどうぎ [amidzaradukj] [名] [あみじ  
や<sup>1</sup>らどうぎまい...] 雨降り続く時期。

あみしゅい [amiɕui] [名] [あみしゅ<sup>1</sup>いまい...]  
雨をともなう。台風に雨をともなう。【例】あ  
みしゅいかでい (雨をともなう風)。

あみすず [amisɰdzj] [名] [あみす<sup>1</sup>ずまい...] 小  
雨。降り始めの小雨。雨粒。【例】あみすずぬ  
どう あい<sup>1</sup> (雨粒が落ちる)。

あみだま [amidama] [名] [あみだ<sup>1</sup>ままい...] あ  
めだま。お菓子。

あみっす [amissj] [動I類a型] [あみっしー、あ  
みっしゃん] 浴びさせる。【例】ぬーまう あみ  
っす (馬に水浴びさせる)。やらびう あみっす  
(子どもを水浴びさせる)。

あみでいんぎ [amidinkj] [名] [あみでいん<sup>1</sup>ぎま  
い...] 雨天気。雨模様の空。

あみとうとうみ [amitutumi] [副] 雨にぬれたま  
ま。雨にぬれながら。【例】あみとうとうみぬ  
すぐとう (雨にぬれながらの仕事)。

あみのののー [amino:no:] [擬] 子どもが雨にぬ  
れて遊ぶこと。

あみばた [amibata] [名] [あみば<sup>1</sup>たまい...] 雨

が近いこと。空模様を見て言う。【類】「あみが  
た」。

あみばらす [amiparas] [名] [あみばら<sup>1</sup>すまい...]  
雨やどり。【例】あみばらすどうくな (雨やど  
り所)。

あみびー [amibi:] [名] [あみび<sup>1</sup>ーまい...] 水ぐ  
され。作物が長雨のためにくされる。【類】「み  
ずびー」。

あみふり [amifu] [名] [あみふ<sup>1</sup>りまい...] 雨降  
り。降雨。【例】あみふりていんぎ (雨降り天  
気)。あみふりんや つーすが (雨降りのときは  
釣りがいい)。

あみみず [amimidzj] [名] [あみみ<sup>1</sup>ずまい...] 雨  
水。天水。【例】あみみずう たみる (雨水を溜  
めなさい)。

あみみず [amimidzj] [名] [あみみずまい...] 浴  
びる水。清潔な水。浴びるために用意してある  
水。

あみむゆー [amimuju:] [名] [あみむゆ<sup>1</sup>ーまい...]  
雨模様。天を仰いで言う。【例】あみむゆーぬ  
ていんぎ (雨模様の天気)。

あみ<sup>1</sup> [ami] [動II類a型] [あみー、あみん]  
浴びる。水浴びする。行水。【例】みずう あみ  
<sup>1</sup> (水浴びをする)。

あみわ一つぎ [amiva:tsjkj] [名] [あみわ一つ<sup>1</sup>ぎ  
まい...] 雨天。雨模様の天気。【例】あみわ一つ  
ぎん なりった (雨模様の空になった)。

あみん たたかす [amin tatakasj] [連語] 雨に打  
たせる。汚れのひどい衣服を雨に打たせる。

あみん わーりー [amin vari:] [連語] 仕事の途  
中に雨に降られる。雨に降られて小走りする。

あム [am] [名] [あムま<sup>1</sup>い...] 網。漁網。【例】あ  
ムゆ つっふー (網を繕う)。

あム [am] [動I類c型] [あみー、あまん] 編む。  
【例】ていーあム (手編みする)。てい<sup>1</sup>る あ  
ム (ざるを作る)。しゃばう あム (ぞうりを作  
る)。あムゆ あム (網を編む)。

あムかき [amkaki] [名] [あムか<sup>1</sup>きまい...] 網  
かけ。網を仕掛ける。魚を追いこんで捕る仕掛  
け。

あムがきびー [amgakibi:] [名] [あムが<sup>1</sup>きびー

- まい...) あぐらをかくこと。あぐらを組んで座ること。座り方の一つ。
- あみがきびーり [amgakibi:] [動II類] [あみがきびー、あみがきびーん] [あみが<sup>1</sup>きびーぶり] 胡坐をかく。
- あんだま [amdama] [名] [あんだ<sup>1</sup>ままい...] 網主への分け前。網を所有している人への分け前。
- あみつくー [amtsuku:] [名] [あみつく<sup>1</sup>ーまい...] 網で漁をする。四つ手網や追い込み用の網で漁をすること。
- あんでいり [amdi:] [名] [あんでい<sup>1</sup>りまい...] 編み籠。編み袋。物入れ。農作業用の小道具を入れる袋(籠)。
- あんな [amna] [名] [あんなまい...] 網漁のよい場所。網を仕掛けるのに良い場所。
- あんなかだ [amnakada] [名] [あんなか<sup>1</sup>だまい...] 網の内側。魚を囲った内側。【類】「あムぬうつ」。
- あムぬ うつ [amnu utsu] [名] [あムぬう<sup>1</sup>つまい...] 網の内側。魚を囲った内側。【類】「あムなかだ」。
- あムぬ しゅでい [amnu çudi] [名] [あムぬしゅ<sup>1</sup>でいまい...] 網の両端。
- あムぬ ぶか [amnu puka] [名] [あムぬぶ<sup>1</sup>かまい...] 網の外。仲間はずれのたとえ。
- あムばい [amba:] [名] [昆虫] [あムばいまい...] 蠅。あぶの仲間。海岸に多い。
- あムばい [ambai] [名] [あムば<sup>1</sup>いまい...] 味加減。塩梅。【類】「あずかぎん」。
- あムばぎ [ambak:] [名] [あムばぎまい...] 網の脇。【類】「あムぬしゅでい」。
- あムまーしゃーり [amma:ça:] [形] [あムまー<sup>1</sup>しゃまい...] 苦しい。息ぐるしい。気分が悪い。胸がむかつく。【例】あムまーすあっちゃ(苦しい暑さ)。
- あムむ [ammu] [名] [あム<sup>1</sup>むまい...] 糸。細い糸。【例】ぱなぶーあムむ(凧の鼻緒の糸)。
- あムむぬ [ammunu] [名] [あムむ<sup>1</sup>ぬまい...] 編み物。編み物に使う道具にも言う。
- あもー [amo:] [名] [あもーまい...] 雨具。雨がっぱ。【例】びヴヴうりがっさぬどう あもー
- あたり (くわずいもの葉を雨具にした)。
- あや [aja] [名] [あやまい... あやま<sup>1</sup>い...] 綾柄。模様。色合。【同】「えー」。
- あやがまちや [ajagamatça] [名] [魚] [あやがま<sup>1</sup>ちやまい...] べらの仲間。
- あやかり [ajaka] [動I類] [あやかりー、あやからん] [あ<sup>1</sup>やかりまい...] 肖る。他人の幸福を得る。
- あやかり [ajaka] [連語] 肖り。長生きの肖り。【例】しゅーが あやう かり(長寿者の肖りをする)。あやかりが(肖りに行くこと。めでたい所に行つて肖りする)。
- あやぐ [ajagu] [名] [あや<sup>1</sup>ぐまい...] 履き物が左右ちがっていること。履き物の片方がないこと。ちぐはぐ。
- あやぐい [ajagui] [名] [あやぐ<sup>1</sup>いまい...] 綾声。思春期の声。
- あやす [ajasu] [動I類c型] [あやしー、あやしやん] なだめる。機嫌をとる。【例】おんぶーしー あやすたり(おんぶしてあやした)。
- あやとうり [ajatu] [名] [あやとう<sup>1</sup>りまい...] 綾取り。糸取り遊び。
- あやまき [ajamaki] [名] [あやま<sup>1</sup>きまい...] わがまま。【同】「えーまき」。
- あやまきむぬ [ajamakimunu] [名] [あやまきむ<sup>1</sup>ぬまい...] わがまま者。【同】「えーまきむぬ」。
- あやまち [ajamatçi] [名] [あやま<sup>1</sup>ちまい...] やりそこない。しくじり。失敗。詫びる時に言う。
- あやまり [ajama] [動I類c型] [あやまりー、あやまらん] あやまる。反省する。詫びる。【例】あやまりぐまた(あやまるべきだ、深く反省する)。
- あら [ara] [接尾] ~方。~側。【例】かたーら(側)。ゆかーら(側)。わーら(上の方)。すたーら(下の方)。
- あら [ara] [名] [あらまい...] 穀物を精げた残りの不用のもの。
- あら [ara] [名] [あらまい...] 欠点。落ち度。【例】ピとうぬ あらとうみ(他人のあら探し)。
- あら [ara] [名] [あ<sup>1</sup>らまい...] 魚の肉を取り除いたもの。粗(あら)。

あら [ara] [副] そんなら。じゃあ。それでは。【例】  
 あら みしる (じゃー見せよ)。あら くだ (そ  
 んなら来なさい)。  
 あら ムめ [ara mme] [連語] それならば。それ  
 では。「さようなら」の意味もある。【例】あら  
 ムめ あた (それではまた明日)。  
 あらー [ara:] [名] [あらー<sup>1</sup>んまい...] 外。戸外。  
 家の外。表。【例】あらーんけー いでいる (外  
 に出なさい)。  
 あらーから [ara:kara] [連語] 正直に。【例】あら  
 ーから イズい (正直に言いなさい)。  
 あらーす [ara:sɯ] [動I類 a 型] [あらーしー、あ  
 らーしゃん] 洗わせる。  
 あらーふつ [ara:futsɯ] [名] [あらーふ<sup>1</sup>つまい...]  
 かくし事のない言葉。つつしみのない言葉。品  
 のない言葉。また、その人。  
 あらあム [araam] [名] [あらあ<sup>1</sup>ムまい...] 目の  
 粗い網。  
 あらいギ [araiɣ] [名] [あらい<sup>1</sup>ギまい...] 荒い  
 呼吸。乱れた呼吸。  
 あらいぐみ [aragumi] [名] [あらいぐみまい...]  
 洗い米。水に浸して仏前に供える米。  
 あらいず [araidzɯ] [名] [あらい<sup>1</sup>ずまい...] 休憩  
 後の意地。気力。ファイト。新しい気力。  
 あらいばな [arajbana] [名] [あらいばなまい...]  
 洗い米。仏前に供える米。【類】「あらいぐみ」。  
 あらいム [araim] [名] [あらい<sup>1</sup>ムまい...] 荒海。  
 波浪の高い海。【例】あらいム ありー めーく  
 から ふねー くん (荒海だから宮古から船は  
 来ない)。  
 あらいん [arain] [連語] 所有できない。自分のも  
 のにならない。  
 あらがう [aragau] [動I類 c 型] [あらげー、あ  
 らがーん] 争う。抗う。政治に対して反抗する。  
 【同】「あらごー」。【類】「あらしゅー」。  
 あらがなム [araganam] [名] [植] [あらがなム  
 まい...] ぎだちはまぐるま。村史。  
 あらきつずー [arakiddzɯ:] [名] [あらきつずーま  
 い...] 粗けずり。木材を大まかに削る。  
 あらぐすく [aragusɣku] [名] [あらぐす<sup>1</sup>くまい...]  
 新城。城辺の新城区。

あらしや [araɕa] [名] [あらしやまい...] 荒さ。粗  
 さ。  
 あらしやーり [araɕa:] [形] [あらしやまい...] 荒  
 い。粗い。おおざっぱ。粗雑。【例】あらかなム  
 (荒波)。あらでいー (粗末な仕事ぶり)。なムぬ  
 あらしやーり (波が荒い)。  
 あらしやーり [araɕa:] [形] [あらしやまい...] 新  
 しい。新品。初めの。【例】あらぎん (新しい  
 衣服)。あらすぐとう (新しい仕事)。あらやー  
 (新築の家)。  
 あらしゅ [araɕu] [名] [あらしゅまい...] 新潮。  
 旧暦の月初めの潮。【例】あらしゅぬ イズうー  
 とうりー きー すきり (月の早い潮時の魚を  
 仏壇に供える)。  
 あらしゅー [araɕu:] [動I類 c 型] [あらしゅー、  
 あらしやーん] 争う。競争する。競技する。論  
 争する。【類】「あらがう」。「あらごー」。  
 あらす [arasɯ] [名] [あらすまい...] 開墾したば  
 かりの新しい畑。【例】あらすあき (荒れ地を  
 開墾する)。あらすぬ ムー (開墾したばかりの  
 いも)。あらすう あきり (荒れ地を開けて畑に  
 成す)。  
 あらす [arasɯ] [名] [あらすまい... あら<sup>1</sup>すま  
 い...] 嵐。台風。冬の季節風。時化。【例】きう  
 ぬ いムや あらすどー (今日の海は時化てい  
 るぞ)。  
 あらす [arasɯ] [動I類] [あらしー、あらしやん]  
 [あらすまい...] 荒らせる。  
 あらすあき [arasɣaki] [名] [あらすあ<sup>1</sup>きまい...]  
 新地開け。開墾。  
 あらずー [aradzɯ:] [名] [あらずーまい...] 開墾  
 したばかりの新しい畑。肥料の三要素がたっぷ  
 りあるから作物の出来が良い。【類】「あらす」。  
 あらすぐとう [arasɣgutu] [名] [あらすぐとうま  
 い...] 粗雑な仕事。手荒な仕事。  
 あらだていり [aradati] [動II類 a 型] [あらだて  
 いー、あらだていん] 騒ぎを大きくする。【例】く  
 とうー あらだていんな (事を騒ぎ立てるな)。  
 あらだとう [aradatu] [名] [地] [あらだ<sup>1</sup>とうま  
 い...] 多良間島のくとうぶり)の名前。村史参  
 照。

あらたビ [aratabi] [名] [あらたビまい...] 初めての旅。初旅。【例】めーくんけー あらたビ (宮古島へ初旅)。

あらたま [aratama] [名] [あらた<sup>1</sup>まい...] 新玉。新年を祝うことば。新玉の年。

あらたまぬ とうす [aratamanu tusu] [名] [あらたま<sup>1</sup>ぬとうす<sup>1</sup>まい...] 新玉の年。新年。

あらたみり [aratami] [動 II 類 c 型] [あらたみー、あらたみん] 改める。改善する。【例】がーゆ あらたみん (自我の意見を改めない)。くくるー あらたみり (心を改める)。かんがいゆ あらたみり (考えを改める)。

あらてい [arati] [名] [あらていまい...] 手が荒い人。仕事の荒い人。作業が粗雑な人。

あらでいー [aradi:] [名] [あらでいーまい...] 荒手。粗雑な仕事。【例】っしやなあらでい (みにくい仕事ぶり)。

あらていーしゃーり [arati:ca:] [形] [あらていーしゃまい...] 手が荒い。仕事が荒い。作業が粗雑である。

あらとう [aratu] [名] [あらとうまい...] 荒砥。砥石の粗いもの。刃物を研ぐとき、先に荒砥を使用する。砥石は農民の命である。

あらどうくな [aradukuna] [名] [あらどうくなまい...] 荒所。おそれられている場所。多良間には聞き覚えがない。

あらなム [aranam] [名] [あらなムまい...] 荒波。時化の波。【例】あらなムぬ イズうとうり (荒波に負けない釣り)。あらなムー むまいり (荒波にもまれる)。

あらなり [arana] [名] [あらなりまい...] 初生子。作物の初めの実り。果実の初生子。【類】「ぱつなり」。

あらぬー [aranu:] [名] [あらぬーまい...] 荒縫い。仮縫い。下縫い。衣服を仕立てるとき、体に合うか仮に縫うこと。

あらぬーま [aranu:ma] [名] [あらぬーままい...] 暴れ馬。【例】びぎっじやりぬーま (雌馬を見て暴れる雄馬)。【類】「あばりぬーま」。

あらば [arapa] [名] [あらばまい...] 風の吹き荒れる所。風上の所。荒波の立つ所。荒廃した所

にも言う。【類】「ぶかびし」。

あらばずみ [arapadzumi] [名] [あらばずみまい...] もっとも初めのこと。最初。「新」と「初」の複合語。【類】「あらばな」。

あらばな [arapana] [名] [あらば<sup>1</sup>なまい...] 最初。一番初め。【類】「あらばずみ」。

あらビー [arabi:] [名] [あらビーまい...] 最初の日。祭りの初日。八月おどりの仲筋の正日。

あらビギ [arabiki] [名] [あらビギまい...] 粗ひき。穀物を最初粗い状態にひくこと。

あらふ [arafu] [名] [あらふまい...] 目の粗い入れ物。天井から吊す。ねずみの害から考えられた。

あらふしゃ [arafuša] [名] [あらふ<sup>1</sup>しゃまい...] 種播きの後に最初の草取りのこと。

あらふた [arafuta] [名] [あらふたまい...] あくた。ちり。ごみ。【例】あらふたう ピせー している (ごみを拾って捨てなさい)。【同】「ありふた」。

あらふつ [arafutsu] [名] [あらふ<sup>1</sup>つまい...] 言葉の荒い人。下品な口調。その人。【例】かりが あらふつうばー ギかまん (彼の下品なことばは聞かない)。

あらみーあム [arami:am] [名] [あらみー<sup>1</sup>あムまい...] 目が荒い網。

あらむぬ [aramunu] [名] [あらむぬまい...] 初もの。初めて収穫する農産物。新しい物。新品。【類】「ぱつむぬ」。

あらむぬ [aramunu] [名] [あらむぬまい...] 粗物。粗末なもの。目の細かくない編み物。粗雑なもの。平面がなめらかでないもの。

あらむぬ [aramunu] [名] [あらむぬまい...] 行動の荒い人。暴力的な人。

あらら [arara] [感] [罵声] 相手を罵ることば。【例】あらら、うれーとうム しらいんな (こら、それさえもできないのか)。【同】「あららー」。

あらら [arara] [感] 汚いものや汚い言葉を聞いたときに発する。

あらら [arara] [感] もっとがんばれと励ますときに言う。【類】「あららがま」。

あららー [arara:] [感] [罵声] 相手を罵ることば。

【同】「あらら」。

あららがま [araragama] [名] [あららが<sup>1</sup>まい...] 争う気持ちの表われることば。励ましの言葉。何くそ。決意の意味がある。【同】「ありがま」。

あらわ伊 [arawa] [名] [あらわ伊まい...] 大食い。豪快に食べること。

あらん [aran] [副] 否定。あらぬ。ちがう。そうでない。【例】あんしーや あらん (そうではない)。

あらん くとう [aran kutu] [名] [あら<sup>1</sup>んくとう「まい...」] あらぬこと。ないこと。【例】あらん くとうー イーな (あらぬことを言うな)。

あらん ふーり [aran fu:] [名] [あら<sup>1</sup>んふーりまい...] そうでないふり。しらばくれる。【例】かりが みばなー あらんふーり (彼の顔はしらばくれている)。

あらん むぬ [aran munu] [名] [あら<sup>1</sup>んむぬまい...] にせもの。

あらんぱにがた [aranpanigata] [名] [昆虫] [あらんぱにがたまい...] ばった。いなご。せすじつちいなご。たいわんつちいなご。さとうきびの害虫。

あり [a] [動I類c型] [ありー、ねーん] 有る。【例】ありどうす (有るよ)。くまんどう あり (ここに有る)。しえんえん ありしゃ (千円持っているだろう)。ヴヴあが むていぬ むぬぬ ありば くー (君の分の物があるから来なさい)。

あり [a] [動I類c型] [ありー、ねーん] 金持ちである。財産家である。【例】ありやー (金持ちの家)。

あり [a] [動I類] [ありー、あらん] ~だ。コピュラ (繫辞)。

ありあま [aama] [動I類c型] [ありあまー、ありあまらん] 有り余る。【同】「ありあま」。

ありあま [ariam] [動I類c型] [ありあまー、ありあまらん] 有り余る。【例】ふーむのー ありあまーり (食べ物には有り余っている)。

ありー [ari:] [接続] だから。そうだから。【例】ありー しゃーりー くー (だから連れて来な

さい)。

ありーや みーん [arija mi:n] [連語] あったことのない。見たことのない。めったにないこと。特別なこと。【例】ありーや みーん すぐりむぬ (めったにない秀才)。

ありが まま [alga mama] [連語] 有るがまま。そのまま。全部。【例】ありが まま ばなし (全部隠さず話せ)。

ありが [a] [動I類c型] [ありがー、ありがん] 歩く。歩行する。【例】ありがまた (歩くべきだ)。きーぬ みーゆ ありがー くー (林の中を歩いて来なさい)。ぱがやみー ぶたかー ありがな (足が痛いなら歩くな)。

ありずー [aridz:] [名] [ありずーまい...] 荒地。荒れた畑。荒廃した土地・畑。【類】「ありぬー」「ふしゃぼー」。

ありだき [a[daki] [連語] 有るだけ。【例】ありだきムーな むていー くー (有るだけ全部持って来い)。

ありぬー [arinu:] [名] [ありぬーまい...] 畑が荒れ放題のこと。荒野。荒廃した畑。【類】「ありずー」「ふしゃぼー」。

ありぬーか [arinu:kadi] [名] [ありぬーか<sup>1</sup>でまい...] 荒れた畑を耕す。開墾する。荒廃した畑を耕作地に変えること。

ありぬーやま [arinu:jama] [名] [植] [ありぬーや<sup>1</sup>まい...] 荒れ野原。荒れ地を強調する言い方。

ありば [a] [接続] であるから。【例】くまん ありば きー とうり (ここにあるから来て取りなさい)。あんしー ありば (そうであるから)。

ありふた [arifuta] [名] [ありふたまい...] ちりあくた。塵埃。ちりほこり。人の役立たずにも言う。【同】「あらふた」。

ありやー [alja:] [名] [あ<sup>1</sup>りやー「まい...」] 財産家。金持。裕福。

ありら [a] [感] あれ。思い通りでないこと。【例】ありら みだ すまいんな (あれ、まだ終わらないか)。

ありら [a] [感] よーし。やる気を奮い起こす

ときに言う。

あづらがま [aʃʃagama] [名] [あづらが<sup>1</sup>まい...]  
何くそ。気持を奮いたたせる。【同】「あづらが  
ま」。

ありり [ari] [動II類a型] [ありー、ありん] (人  
や馬が) 暴れる。酒座が乱れる。話し合いが荒  
れる。

ありり [ari] [動II類a型] [ありー、ありん] 荒  
れる。海が荒れる。畑が荒れる。

あるー [aru:] [動I類a型] [あれー、あらーん]  
洗う。洗濯する。水を流して清掃する。【例】あ  
たまい きーっじば あるーな (明日も着るか  
ら洗うな)。どうーしー あり (自分で洗いな  
さい)。あれーった (洗った。洗濯が終わった)。  
あれー ぷす (洗って干す。洗濯物を干す)。あ  
れー みーる (洗って見よ)。あれー しゃぎり  
(洗って下げる。洗って干す)。みばなう ある  
ー (洗顔する)。あるーがつなぬ むぬゆム (洗  
いながらのよもやまばなし)。くぬふこー ある  
ーぐまたどー (この服は洗うべきものだよ)。

あるーぎん [aru:gin] [名] [あるーぎんまい...] 洗  
った着物。洗濯もの。【例】あるーぎんや しゅ  
るみきー ぶり (洗濯した服は清潔感がある)。

あるーぐな [aru:guna] [名] [あるーぐ<sup>1</sup>まい...]  
洗う係。昔はお母さんの仕事であった。今は洗  
濯機。

あるーずる [aru:dʒru] [名] [あるーずるまい...]  
あるーず<sup>1</sup>るまい...] 米のとぎ汁。今は米を主  
食とするから普通に見られる米のとぎ汁。昔の  
多良間は米のとぎ汁は知らなかった。

あるーみず [aru:midʒ] [名] [あるーみずまい...]  
洗水。洗った後の水。洗うための水。

あるーむぬ [aru:munu] [名] [あるーむぬまい...]  
洗いもの。洗濯物。洗濯したもの。洗濯すべき  
もの。

あるーぐなー [aruguna:] [名] [あるーぐな<sup>1</sup>まい...]  
朝食の食材を朝になって畑から取ること。昨日  
の多忙のせいだった。

あるず [arudʒ] [名] [ある<sup>1</sup>ずまい...] 主人。亭  
主。

あれーき [are:ki] [名] [あれーきまい...] 塩川の

農業用水溜池。スツウブナカの祭場。語源は  
「新池」か。

あれーびぎ [are:bjk] [名] [地] [あれーび<sup>1</sup>ぎま  
い...] 島で一番低い所。

あわたす [avatasʃ] [動I類a型] [あわたしー、あ  
わたしゃん] あわてさせる。こわがらせる。急  
いで学校に行かせる。無知ほど怖いものはない  
ことを教える。

あわたす [avatasʃ] [動I類a型] [あわたしー、あ  
わたしゃん] 急かせる。【例】あわたすな (急か  
せるな)。いでいふにどーていー あわたす (船  
が出るぞと急かせる)。

あわていかーてい [avatika:ti] [連語] あわてふた  
めく様。【例】あわていかーてい ぷすむぬー  
イズいり (あわてふためいて干し物を入れる)。

あわていじゃま [avatidzama] [名] [あわていじ  
やまい...。あわていじゃ<sup>1</sup>まい...] あわてぎ  
ま。大急ぎ。【例】あわていじゃまん ぱりー  
ぎたり (大急ぎで走って来た)。

あわていむぬ [avatimunu] [名] [あわていむぬま  
い...] あわてもの。落ちつかない者。

あわていり [avati] [動II類a型] [あわていー、  
あわていん] 焦る。慌てる。急ぐ。【例】あみ  
ぬ つふあんけ あわていり (雨の降らないう  
ちに急ぐ)。うりーんや ぱるんけー あわてい  
る (湿りのよい日は畑仕事を急げ)。まきばま  
い あわていんな (負けても焦ることはない)。

あわり [avari] [名] [あわりまい...] 哀れ。苦勞。  
辛苦。みじめ。気の毒。【例】あわりぬ だんだ  
ん (苦勞の数々)。

あわりぎ なりー [avarigi nari:] [連語] 哀れな身  
なり。みじめな姿。

あわりくがり [avarikugari] [名] [あわりくが<sup>1</sup>り  
まい...] 哀れ苦しみ。重複語。

あわりぬ かずかず [avarinu kadʒkadʒ] [連語]  
あわれの数々。たくさんの苦勞。

あわれー っさん [avare:ssan] [連語] 苦勞を知ら  
ない。難儀をしたことない。【例】うやぬ あ  
われー っさん (親の苦勞を知らない)。

あん [an] [名] [代] [あ<sup>1</sup>んまい...] 私。ぼく。わ  
れ。一人称の代名詞。【例】あんや ぱるんけー

(私は畑に行く)。あんー つぶいる (私に下さい)。あんー むたしー わーり (私に持たせて下さい)。あんまい まーつき いかずー (私も一緒に行こう)。あんや いかまん (私は行かない)。あんや うすか (私はそれだけ)。【類】「ぼん」。

あん [an] [名] [あ<sup>1</sup>んまい...] 案。考え。計画。【例】あんゆ いだし (考えを言いなさい)。

あん [an] [名] [あ<sup>1</sup>んまい...] 餡。あんこ。【例】あんむつー (餡餅)。

あんが [anga] [名] [あん<sup>1</sup>がまい...] 姉。年上の女の人。

あんかー [anka:] [名] [あんかーま<sup>1</sup>い...] 錨。アンカー。船の出港のときは錨を上げるといよいよ宮古島への旅立ちだ。英語の「anchor」から。【例】あんかーう あぎる (錨を上げよ)。【類】「いかり」。「かなぐー」。

あんかーぬすビ [anka:nu:sɸj] [名] [あんかーぬすびまい...] アンカー結び。紐やロープの縛り方の一種。海軍結び。

あんががま [angagama] [名] 末の女の子。【類】「いみあんが」。

あんぎな [angina] [副] 手ぶら。不漁。取るものがない。【例】きうや あんぎなどう わーり (今日は収穫なしにいらっしゃる)。【同】「あなぎな」。

あんきゅ [ankju] [名] [あん<sup>1</sup>きゅまい...] 暗渠。排水用の施設。1935年建設の農業用溜池〈げんば〉に見られる。

あんしー [ançi:] [副] [指] そうだ。その通りだ。そのように。【例】あんしーや あらん (そうではない)。あんしー ぶり (そうしていなさい)。あんしー あたかー (そうであるなら。そうだったら)。あんしー あらだかー (そうではなければ)。あんしー だらーなー (その通りだよ)。あんしー すぐまた (そのようにするべきだ)。あんしー すたり (そのようにやった)。あんしー すな (そのようにするな)。かんげー みーたかー あんしーどう あたり (考えて見ればそうであった)。ヴヴあが イーねーん あんしーどう なり (君の言う通りだ)。あんしーなー

(そうだよなあ)。あんしーな ばーれ (そうか良い子だ)。あんしーどー (そうだよ。その通りだ)。あんしーどーらー (それでよいのだ)。

あんしー あたかー [ançi: ataka:] [連語] そうであるなら。

あんしーがま [ançi:gama] [副] [指] たったそれだけ。【例】あんしーがまぬ ばなす (たったそれだけの話)。

あんしーかんしー [ançi:känçi:] [連語] [指] あんなにこんなに。【例】あんしーかんしーぬ ばなす (あんな話、こんな話)。

あんしーな [ançi:na] [連語] そのように。【例】あんしーな しる (そのようにしなさい)。

あんしーぬ [ançi:nu] [連語] [指] そんな。そのような。それに似た。

あんしーまい [ançi:mai] [接続] そうであっても。【例】あんしーまい うれー ならん (そうであってもそれはいけないことだ)。

あんしゃりー [ançari:] [接続] そうであるから。【例】あんしゃりー ムめ ピとうん (そうであるからもう一度)。【同】「あんしゃりば」。

あんしゃりば [ançaba] [接続] そうであるから。【同】「あなしゃりー」。

あんしよー [anço:] [名] [あんしよーま<sup>1</sup>い...] 重そう。ふくらし粉。重炭酸ナトリウム。

あんすたかー [ansɰtaka:] [接続] そうでしたら。そうだったら。そうであるなら。【例】あんすたかー あたんけー くー (そうであるなら明日来なさい)。

あんた [anta] [名] [代] [あん<sup>1</sup>たまい...] 私たち。ぼくたち。聞き手を含まない一人称の複数形。【例】あんたが やーんけー くだ (うちの家に来なさい)。しえんしゅんけーや あんたー あらん (選手には私たちではない)。

あんだき [andaki] [副] それ程。【例】あんだきうぶしゃ ねーん (それほど大きくない)。

あんちきな [antçikina] [副] そのまま。ただで。あんていー [anti:] [接続] そして。そうして。【例】あんていー くれー たーが むぬが (そしてこれは誰のものか)。

あんな [anna] [名] [あん<sup>1</sup>なまい...] 母。母親。

お母さん。おふくろ。【例】あんなん しゅだて  
いらいたげ (おかあさんに育てられた)。

あんない [annai] [名] [あんな<sup>1</sup>いまい...] 案内。  
通知。予告。招待。【例】がっこーからぬ あん  
ない (学校からの通知)。

あんなが やー [annaga ja:] [連語] 母の実家。【類】  
「うまやー」。

あんなかた [annakata] [名] [あんなか<sup>1</sup>たまい...]  
母方。【類】「ムまかた」。

あんなやーがー [annaja:ga:] [名] [井戸] [あんな<sup>1</sup>  
なやーがーまい...] 井戸の名。人工井戸。

あんなやーゆまた [annaja:jumata] [名] [地] [あ  
んな<sup>1</sup>なやーゆまたまい...] 塩川にある四辻。

あんま [anna] [名] [あんな<sup>1</sup>ままい...] 按摩。もむ  
こと。もみほぐすこと。もみ治療。【例】かた  
う あんま しる (肩を揉みなさい)。

あんまーこーやく [anna:ko:jaku] [名] [あんな<sup>1</sup>  
まーこーやくまい...] 貼りぐすり。

あんむつー [anmutsɯ:] [名] [あんな<sup>1</sup>むつ<sup>1</sup>まい...]  
餡餅。

## — い —

い [i] [接頭] どのぐらい。どれほど。大きさや量を表す名詞に付き、疑問詞を作る。【例】いぶぎ(どれほど大きい)。いだき(どれぐらい高い)。

い [i] [助数] 重。重ねることを数える助数詞。【例】ピとぅい(一重)。いふい(幾重)。ピとぅいみーぬ かー(一重まぶた)。

イー [i:] [名] [イーま<sup>1</sup>い...] 飯。食事。【例】イーふーが(飯食いに)。ムーぬ イー(いもの飯)。

イー [i:] [動I類 a型] [イズいー、イズあん] 言う。話す。会話する。【例】イーぐまた(言うべき)。かりんけーや イーな(彼には言うな)。イーぶっさねーん(言いたくない)。

イー [i:] [動I類 a型] [イズいー、イズあん] 叱る。説教する。【例】イーばム ギかん(叱っても聞かない)。

イー [i:] [動I類 a型] [イズいー、イズあん] 入る。(太陽が)沈む。(海に)潜る。【例】うるずムんけー イー(若夏の時期に入る)。ふかりんけー イー(深い所に入る)。【類】「すみイー」。

いー [i:] [接頭] 良い。【例】いーしょーがつ(良い正月)。いーピとぅ(善人)。

いー [i:] [名] [いーま<sup>1</sup>い...] 絵。絵画。【例】すたふじゃーぬ いーぬ かぎしゃ(支度座の絵のきれいなこと)。

いー [i:] [名] [いーま<sup>1</sup>い...] 胃。胃袋。【類】「うぶがい」。「ばた」。

いー [i:] [名] [魚] [いーま<sup>1</sup>い...] えい。

いー [i:] [感] はい。目下に対する返事。【例】いー、っすいった(よく分った)。

いーあみ [i:ami] [名] [い<sup>1</sup>ーあみまい...] 待ちかねた雨。良い雨。

いーかーぎ [i:ka:gi] [名] [い<sup>1</sup>ーかーぎまい...] 美人。良い顔つき。【類】「じゃうかーぎ」。

イーかいす [i:kais] [動I類 c型] [イーかいしー、

イーかいしゃん] 言い返す。口答える。反抗する。

いーかぎん [i:kagin] [名] [い<sup>1</sup>ーかぎんまい...] いい加減。【例】いーかぎん すまいる(いい加減に終りなさい)。

いーかけ [i:kake] [名] [いーか<sup>1</sup>けまい...] 画家。絵の上手な人。

イーがしゃ [i:ga:ʃa] [名] [病] [イーがしゃまい...] はしか。

いーかんがい [i:kangai] [名] [い<sup>1</sup>ーかんがいまい...] 良い考え。名案。思いつきの良いこと。

いーくとう [i:kutu] [名] [い<sup>1</sup>ーくとうまい...] 良い事。良い知らせ。めでたいこと。

いーくとうどう ありー わーリ [i:kutudu ari: va:] [連語] めでたいときの挨拶。

いーくとうば [i:kutuba] [名] [い<sup>1</sup>ーくとうばまい...] 良い言葉。ためになる言葉。聞く価値のある言葉。耳寄りな話。

イーくや [i:kuja] [名] [イーく<sup>1</sup>やまい...] 乞食。いーしゃ [i:ʃa] [名] [い<sup>1</sup>ーしゃまい...] 唾者。おし。

いーしゃうがつ [i:ʃaugats] [名] [い<sup>1</sup>ーしゃうがつ<sup>1</sup>まい...] 良い正月。新年の挨拶。【同】「いーしょーがつ」。

いーしょーがつ [i:ʃo:gats] [名] [い<sup>1</sup>ーしょーがつまい...] 良い正月。新年の挨拶。【同】「いーしゃうがつ」。

いーずぶん [i:dʒibun] [名] [い<sup>1</sup>ーずぶんまい...] 良い時分。良い頃合。ちょうどよい時間。

イーつきり [i:tsuki] [動II類 a型] [イーつきー、イーつきん] 言い付ける。命令する。指導する。

いーていー [i:ti:] [名] [い<sup>1</sup>ーていーまい...] 仕事为上出来であること。器用。上手。【例】かぬしえーふおー いーていー(あの大工さんは仕事が上手だ)。

イーていだ [i:tida] [名] [イーてい<sup>1</sup>だまい...] 入日。西へ傾いていく太陽。【同】「いりていだ」。

イーなうす [i:naus] [動I類 a型] [イーなうしー、イーなうしゃん] 言い直す。【同】「イーのーす」。

いーなか [i:naka] [名] [い<sup>1</sup>ーなかまい...] 良い

- 仲。親しい仲。友だち。親友。
- いーなずき [i:nadzɯki] [名] [いーなず<sup>1</sup>きまい...] いいなずけ。許婚者。
- イーのーす [ɯ:ɲo:sɯ] [動I類 a 型] [イーのーしー、イーのーしゃん] 言い直す。【同】「イーなうす」。
- いーばー [i:ba:] [副] 都合の良いこと。良い機会。いい具合。運の良いこと。
- いーばー [i:ba:] [感] ざまを見ろ。他人の失敗をけなしたりするとき言う。【例】いーばー ヴヴあんけーや イーた<sup>1</sup>リ (ざまを見ろ君には言ったじゃないか)。
- いーピとう [i:pɯtu] [名] [い<sup>1</sup>ーピとうまい...] 良い人。善人。
- イーふつ [ɯ:futsɯ] [名] [イーふつまい...] 入り口。船の入り口。戸口。むらふつ。
- イーふっずー [ɯ:fuddzɯ:] [動I類 a 型] [イーふっじー、イーふっじゃん] 言いくじる。さんざん叱る。叱りとばす。【例】うでい<sup>1</sup>だ<sup>1</sup>リむぬーばー イーふっずーどうす (なまけ者をば叱りとばす)。
- イーぶん [ɯ:bun] [名] [イーぶ<sup>1</sup>んまい...] 言い分。主張する。言いたい事柄。
- イーまーす [ɯ:ma:sɯ] [動I類 a 型] [イーまーしー、イーまーしゃん] 言いまわす。言い表わす。表現する。
- イーまか<sup>1</sup>リ [ɯ:maka] [名] [イーまか<sup>1</sup>リまい...] 飯椀。
- イーム [ɯ:m] [名] [イームまい...] 使いで。【例】イームや ねーん (使いでがな)。
- イーむく [ɯ:muku] [名] [イーむくまい...] 入り婿。妻の家に入って婿となる人。
- いーむぬ [i:munu] [名] [い<sup>1</sup>ーむぬまい...] 良いもの。
- いームまり [i:mmari] [名] [い<sup>1</sup>ームまりまい...] 良い生れ。健康な生れ。元気者。かしこい人。
- イーめー [ɯ:me:] [名] [イーめーまい...] 言い合い。口喧嘩。言い争い。
- いヴヴい<sup>1</sup>リ [ivvi] [動II類 a 型] [いヴヴいー、いヴヴいん] 怖がる。怯える。恐れる。【例】やらべー むすう いヴヴい<sup>1</sup>リ (子どもは虫を怖がる)。
- 【同】「うヴヴい<sup>1</sup>リ」。
- いヴヴうしゃー<sup>1</sup>リ [ivvuɕa:] [形] [いヴヴうしゃまい...] 重い。【同】「いふしゃー<sup>1</sup>リ」。
- いヴヴうむぬ [ivvumunu] [名] [いヴヴうむぬまい...] 重いもの。鉄のかたまり。砂の入った袋。砂糖樽。重量感のあるもの。
- いか [ika] [名] [魚] [いかまい...] いか。
- いかーす [ika:sɯ] [動I類 a 型] [いかーしー、いかーしゃん] 交わす。出くわす。出会う。
- いかーまい [ika:mai] [副] 何倍も。ずっと。
- いかう [ikau] [名] [魚] [いか<sup>1</sup>うまい...] おきなわめぎす。【同】「いこー」。
- いかう [ikau] [動I類 a 型] [いけー、いかーん] 道路で人と出会う。
- いかう [ikau] [動I類 a 型] [いけー、いかーん] 届く。【例】かるー いかい (あれを届きなさい)。いすん めー<sup>1</sup>りー いかー<sup>1</sup>いった (椅子に上がって届いた)。あてい たかしゃん いかー<sup>1</sup>いん (高すぎて届かない)。【同】「いくー」。
- いかヴヴい [ikavvi] [動I類 a 型] [いかヴヴいー、いかヴヴあん] 水を頭から被る。暑い日に井戸水を頭からひっ被る。
- いかがらしゃー<sup>1</sup>リ [ikagaraɕa:] [形] [いかがら<sup>1</sup>しゃまい...] いかかわしい。とんでもない。【例】いかがらばなすう ギきー (好ましくない話を聞いた)。
- いかす [ikasɯ] [動I類 a 型] [いかしー、いかしゃん] 行かせる。学校へ行かせる。釣りに行かせる。旅に行かせる。希望を果たさせる。【例】いかすな (行かせるな。風邪のため学校へ行かせるな)。
- いかす [ikasɯ] [動I類 c 型] [いかしー、いかしゃん] 生かせる。生育の良い作物を残す。悪いものは間引する。【例】いかすな (生かせるな。生かしておくな)。
- いかずる [ikadzɯru] [名] [いかずるまい...] いかの煮汁。いかの墨汁。
- いかだ [ikada] [名] [いか<sup>1</sup>だまい...] 筏。竹を材料にして組み合わせたもの。水上に浮かべて木材や人を運ぶもの。
- いかだき [ikadaki] [名] [いかだきまい...] いか

ほど。数量を表わす。

いがな [igana] [感] よろしい。承諾する語。【同】「んがな」。

いかぬ つふい [ikanu ffi] [名] [いかぬっ<sup>1</sup>ふいまい...] いかの墨。いかの墨汁。

いかぬ てい [ikanu ti:] [名] [いかぬてい<sup>1</sup>まい...] いかの手。下足。

いかぬ ながてい [ikanu nagati] [名] [いかぬなが<sup>1</sup>ていまい...] いかの触手。長い手。

いかばな [ikabana] [名] [いかばなまい...] いかとりの場所。場所取りは夜中に木の枝を決まった所に立て協議して決めた。

いかピギ [ikapigi] [名] [いかピギまい...] いかとりのこと。竿の先に塩漬けの魚を付けておびき寄せ、鉞で突き刺して獲る。

いかびどう [ikabidu] [名] [いかび<sup>1</sup>どうまい...] いかとり用に生魚を塩漬けにしたもの。

いかり [ika] [名] [いかりまい...] 錨。船の停留に用いる。【類】「あんかー」。「かなぐー」。

いかり [ika] [動I類c型] [いかりー、いからん] 怒る。悪い。【例】いかりやム (悪い病気)。

いかりかでい [ikaljadi] [名] [いかりか<sup>1</sup>でいまい...] 悪い風邪。【類】「いかりばなすぎ」。

いかりばなすぎ [ikalpanasugi] [名] [いかりばなす<sup>1</sup>ぎまい...] 悪い風邪。【類】「いかりかでい」。

いかりやム [ikaljam] [名] [いかりや<sup>1</sup>ムまい...] 悪い病気。

いギ [ik] [名] 生き。【例】いギでい<sup>1</sup> (生きる)。あみぬ ふりばどう むずふりら いギでい<sup>1</sup> (雨が降れば作物は生きる)。

いギ [ik] [名] [い<sup>1</sup>ギまい...] 息。呼吸。【例】いギふギ (呼吸が乱れる)。

いギ [ik] [動I類a型] [いきー、いかん] 行く。【例】ばるんけー いギ (畑へ行く)。がっこーんけー いき (学校に行け)。ふしゃかりがー いかまん (草刈には行かない)。いかんーな (行こうか)。いかだ (行きなさい。行けよ)。ペーペー いかだ (早く行け)。いかだかー ならん (行かねばならない)。めーくんけー いかっじば (宮古へ行くからなあ)。あんや ムめ やーんけー いかなー (ぼくはもう家に帰ろうな

あ)。かまんけー いか (向こうへ行こう)。いかずー (行こう。行くことを決意する)。いきーや ギーギー (行ったり来たり、右往左往)。いきっていー ギーギー (行ってまた来たり、右往左往)。やーんけー ーいギかちえーん (家に帰りながら)。あなぶ<sup>1</sup>りぬ あ<sup>1</sup>りば いギな (どぶがあるから行くな)。

いき [iki] [名] [いきまい...] 池。農業用水の溜池。

いギあばなギ [ikjapanaki] [動I類a型] [罵声] [いギあばなきー、いギあばなかん] 行っちまう。消えちまう。【例】いギあばなき (行ってしまえ。消えろ)。

いギがーしゃー<sup>1</sup> [ikga:ca:] [形] [いギがー<sup>1</sup>しゃまい...] 息苦しい。胸が圧迫されるようで息ぐるしい。

いギぐム [ikgum] [動I類c型] [いギぐみー、いギぐまん] 息を止める。息苦しい。【例】きふすんかー いギぐムどうす (煙の中は息苦しい)。【類】「いギぐりしゃー<sup>1</sup>」。

いギぐりしゃー<sup>1</sup> [ikgurica:] [形] [いギぐり<sup>1</sup>しゃまい...] 生きにくい。元気がないこと。動物・植物に言う。生き抜く環境のこと。

いギぐりしゃー<sup>1</sup> [ikgurica:] [形] [い<sup>1</sup>ギぐりしゃまい...] 息がしにくい。【類】「いギぐム」。

いギぐりしゃー<sup>1</sup> [ikgurica:] [形] [いギぐりしゃまい...] 行きにくい。【例】かぬ やーんけーや いギぐり (あの家には行きにくい)。

いギじゅーしゃー<sup>1</sup> [ikdzu:ca:] [形] [い<sup>1</sup>ギじゅーしゃまい...] 息を止めて長いこといられる人。子どもの頃に息を止めて時間を計った。

いギだす [ikqdas] [動I類c型] [いギだしー、いギだしゃん] 生き出す。生き返らせる。よみがえらせる。動植物に言う。【同】「いギんだす」。

いギでい<sup>1</sup> [ikqdi] [動II類c型] [いギでいー、いギでいん] 生き出る。生き返る。よみがえる。動植物に言う。【同】「いギんでい<sup>1</sup>」。

いギとうくな [ikqtukuna] [名] [いギとうくなまい...] 行く所。目的地。【類】「いギとうくま」。「いギとうくら」。

いギとうくま [ikqtukuma] [名] [いギとうくま

- い...] 行く所。目的地。【類】「いぎとうくな」。「いぎとうくら」。
- いぎとうくら [ikɯtukura] [名] [いぎとうくらまい...] 行く所。目的地。【類】「いぎとうくま」。「いぎとうくな」。
- いぎどうり [ikɯdu] [動I類c型] [いぎどうりー、いぎどうらん] 生け捕る。
- いきぬ みず [ikinū midzɯ] [名] [いきぬみ<sup>1</sup>ずまい...] 池の静かな水面。鏡のような池の水。
- いぎぬくり [ikɯnuku] [名] [いぎぬく<sup>1</sup>りまい...] 生き残り。生存。動物・植物にも言う。生き抜く環境のこと。
- いきぬばたゆまた [ikinupatajumata] [名][地] [いきぬば<sup>1</sup>たゆまたまい...] 仲筋にある四辻。人頭税の滞納者をここで罰した(村史)。
- いぎばかり [ikɯbaka:] [名] [いぎばかり<sup>1</sup>りまい...] 生き別れ。親族が他国へ行くこと。【類】「いきわかり」。
- いぎばっばい [ikɯbappai] [名] [いぎばっばいまい...] 行きちがい。目的地を間違えること。
- いぎばてい [ikɯpati] [名] [いぎばていまい...] 行き果て。終点。
- いきま [ikima] [名] [いきままい...] 池間。池間島。
- いきまづま [ikimadzɯma] [名] [いきまづ<sup>1</sup>ままい...] 池間島。池間大橋が有名。
- いぎむす [ikɯmusɯ] [名] [いぎむすまい...] 生き物。生物。動物に言う。
- いぎむどうり [ikɯmudu] [名] [いぎむどうりまい...] 行き戻り。往復。行ってから用件を済ませないで戻ること。
- いきらかしゃーり [ikirakaɕa:] [形] [いきらか<sup>1</sup>しゃまい...] 少ない。少量。【例】いきらかしゃーり(少ない量のもの)。【類】「いきらしゃーり」。
- いぎらギーら [ikɯrakɯ:ra] [名] [いぎらギー<sup>1</sup>らまい...] 行ったり来たりすること。往復。
- いきらしゃーり [ikiraɕa:] [形] [いきら<sup>1</sup>しゃまい...] 少ない。少量。【例】いきらむぬ(少しのもの)。いきらにんじゅ(少しの人数)。あがむてー いきらしゃーり(ぼくの分少ないよ)。
- 【類】「いきらかしゃーり」。
- いきらむぬ [ikiramunu] [名] [いきらむぬまい...] 少しのもの。なくなったら困るものに言う。
- いきり [iki] [動II類c型] [いきー、いきん] 活ける。【例】ばなう いきり(仏壇に花を活ける)。ばなー みだ いきん(仏壇に花はまだ活けていない)。
- いきり [iki] [動II類c型] [いきー、いきん] 生きる。【例】みずう かきんにば いきんやー(水をかけないから生きないだろう)。いきりけ みずう かきる(生き返るまで水をかけなさい)。
- いきわかり [ikivakari] [名] [いきわか<sup>1</sup>りまい...] 生き別れ。八月おどりの〈おーがま〉・〈くーいがま〉と「父母」との生き別れ。【類】「いぎばかり」。
- いきん [ikin] [名] [いき<sup>1</sup>んまい...] 意見。自分の持っている考え。
- いぎんだす [ikɯndasɯ] [動I類c型] [いぎんだしー、いぎんだしやん] 生き出す。(人間・動物や植物などを)生きかえらせる。【同】「いぎだす」。
- いぎんでいり [ikɯndi] [動II類c型] [いぎんでいー、いぎんでいん] 生き出る。(人間・動物や植物などが)生きかえる。【例】あみぬ ふりばどう いぎんでいり(雨が降るから生きかえる)。【同】「いぎでいり」。
- いくー [iku:] [動I類a型] [いけー、いかーん] 行き合う。出くわす。出会う。
- いくー [iku:] [動I類a型] [いけー、いかーん] 届く。高い所に手が届く。【同】「いかう」。
- いくつ [ikutsɯ] [名] [いく<sup>1</sup>つまい...] 遺骨。
- いぐム [igum] [名] [いぐ<sup>1</sup>ムまい...] 鉈。魚を突く道具。【類】「まばり」。「やりずぎ」。
- いぐムとうーななつ [igumtu:nanatsɯ] [名] [いぐ<sup>1</sup>ムとうー<sup>1</sup>ななつまい...] 伝説の人物。ふたつがー村の大將。村史参照。
- いぐムまーり [igumma:] [名] [いぐ<sup>1</sup>ムまーりまい...] 鉈を持って漁をすること。水中めがねをかけて浅い所の魚貝を獲る。
- いぐん [igun] [名] [いぐ<sup>1</sup>んまい...] 遺言。【同】「ゆいぐん」。

いけーす [ike:sʌ] [動 I 類 a 型] [いけーしー、いけーしゃん] こぼす。【例】あるーみずう いけーす (洗いを水をこぼす)。

いし [içi] [名] [いしまい...] 石。石ころ。岩。岩盤。【同】「いす」。

いしう きり [içi ki] [連語] 石を蹴る。つまづく。【例】いしう きりばどう ういびぬ やみー (石を蹴ると指が痛くなった)。

いしうす [içiusʌ] [名] [いしうすまい...] 石臼。豆腐造りや製粉に使われる。

いしがギ [içigakʌ] [名] [いしがギまい...] 石垣。石積み。

いしがき [içigaki] [名] [いしがきまい...] 瀬がかり。釣針が瀬にひっかかること。

いしがなまり [içiganama] [名] [いしがなまりまい...] 石頭。融通がきかないこと。またはその人。頑固者。

いしがなまれ [içiganamare] [名] [いしがなまれまい...] 融通のきかない人。頑固者。

いしがんとー [içiganto:] [名] [いしがんとーまい...] 石敢當。道路のつきあたりに立てる魔除けの石。

いしぐー [içigu:] [名] [いしぐーまい...] 石粉。石ころ。畑の岩盤。

いしぐーずー [içigu:dzɪ:] [名] [いしぐーずーまい...] 石ころの多い畑。

いしぐーみ [içigu:mi] [名] [い<sup>1</sup>しぐーみまい...] 小石を隠してそれを見つける遊び。

いしじえーふ [içidze:fu] [名] [いしじえーふまい...] 石大工。石工。

いしじやら [içidzara] [名] [いしじやらまい...] 石砂利。【同】「いしじやり」。

いしじやらみつ [içidzaramitsʌ] [名] [いしじやらみつまい...] 石ころの多い道。【同】「いしじやりみつ」。

いしじやり [içidzari] [名] [いしじやりまい...] 石砂利。【同】「いしじやら」。

いしずム [içidzɪm] [名] [いしずムまい...] 石積み。石垣。石が積まれたもの。

いしどうまり [içiduma] [名] [地] [いしどうまりまい...] 水納島の〈とうぶり〉の名前。村史

参照。

いしぬム [içinum] [名] [いしぬムまい...] 石鑿。石大工の使う鑿。

いしばイ [içibaɪ] [名] [いしばイまい...] 石灰。石を焼いて作った石灰。水酸化したカルシウム。硝石灰。きび汁を中和するのに用いる。消毒に用いる。

いしばな [içibana] [名] [いしばなまい...] 断崖。海岸の断崖のこと。

いします [içimasʌ] [名] [いしますまい...] 石升。畑の囲いを石積みしたもの。石囲い。

いじみり [idzimi] [動 II 類 a 型] [いじみー、いじみん] いじめる。弱い者につらい思いをさせる。自分のからだを痛める。練習でからだを鍛える。

いしむり [içimu] [名] [いしむりまい...] 石の盛り上がっているところ。

いしゃ [iça] [名] [いしゃまい...] 医者。医師。【例】いしゃん みしる (医者に診察してもらいなさい。診てもらおう)。

いじゃイ [idzɪ] [名] [いじゃイま<sup>1</sup>い...] 出合い。出会うこと。再会。

いじゃう [idzau] [動 I 類 c 型] [いじゃえー、いじゃーん] 出会う。【例】あぐとう いじゃう (同級生と出会う)。じゅーねんぶりんどう いじゃえー (十年ぶりに再会した)。

いしゃがかり [içagaka] [名] [いしゃがかりまい...] 病院通い。通院。

いしゃがっこー [içagakko:] [名] [いしゃがっこーまい...] 医学部。

いしゃがゆー [içagaju:] [名] [いしゃがゆーまい...] 医者通い。通院。病院通い。

いしやギ [içijakʌ] [名] [いしやギまい...] 石灰石を焼いて石灰を造ること。【類】「ばイやギ」。

いしやギがま [içijakʌgama] [名] [いしやギが<sup>1</sup>まい...] 石灰石を焼く窯。【類】「ばイやギがま」。

いしやぐつく [içagukku] [名] [いしやぐつ<sup>1</sup>くまい...] 医者ごっこ。

いしやぬ ふつ [içanu futsʌ] [名] [いしやぬふ<sup>1</sup>つまい...] 医者の言葉。診察。

いしやぬ やー [içanu ja:] [名] [いしやぬや<sup>1</sup>ー

まい...) 病院のこと。医者<sup>1</sup>の住宅。

いしやまい にんぎん [içamai ningin] [連語] 医者も人間だ。

いしやリ [içija] [名] [いしやリまい...] 石を投げる遊び。

いしやリめー [içija[me:]] [名] [いしやリめーまい...] 石の投げ勝負。

いしゆ [içu] [名] [いしゆまい...] 磯。漁をすること。魚・貝・海藻などをとること。【例】いしゆんけー (磯に行く。漁に行く。釣りに行く)。

いしゆがす [içugas] [動I類c型] [いしゆがしー、いしゆがしやん] 急がす。急かせる。【例】いでいふにていー いしゆがす (船が出るからといって急がせる)。

いしゆがすしゃーリ [içugasçə:] [形] [いしゆがす<sup>1</sup>しゃまい...] 忙しい。

いしゆギ [içug] [動I類c型] [いしゆぎー、いしゆがん] 急ぐ。【例】いしゆギぐまたぬ くとうぬ あり (急ぐべき用件がある)。まーん めーた いしゆがだ (何をしているか、急ぎなさい)。いしゆがまん (急がない)。いしゆぎーくー (急いで来なさい。早く来なさい)。

いしゆにがイ [içuniga] [名] [いしゆにが<sup>1</sup>イまい...] 漁の願ひ。スツブナカの三日前に行く。

いしゆぱぎ [içupagi] [名] [いしゆぱぎまい...] 不漁。主に魚釣りの場合に言う。

いす [is] [名] [い<sup>1</sup>すまい...] 椅子。腰掛け。

いす [is] [名] 石。主に複合語で使われ、単独では〈いし〉をよく使う。【同】「いし」。

いず [idz] [名] [いずまい...] 意地。勇気。気力。

イズあ [iza] [名] [イ<sup>1</sup>ズあまい...] えな。胎盤。

イズあ [iza] [名] [イ<sup>1</sup>ズあまい...] 父。父親。

イズあいリ [izai] [動II類a型] [イズあいー、イズあいん] 叱られる。おこられる。説教される。【例】うやん イズあいー ねーん (父に叱られてしまった)。イズあいー くる (叱られて来い。説教されて来なさい)。イズあいーてーん (叱られてばかり。説教されてばかり)。ふしゃう かりたりー イズあいまん (草刈をしたから叱られるまい)。イズあいー みーる (叱られてみよ。説教されてみよ)。イズあいる (叱

られよ。説教されなさい)。

イズあく [izaku] [名] [イズあ<sup>1</sup>くまい...] 櫂。小船を漕ぐ道具。しゃばにを漕ぐ道具。【同】「かい」。

イズあす [izas] [動I類a型] [イズあしー、イズあしやん] 言わせる。話させる。意見を述べさせる。【例】かりんや イズあすな (彼には言わせるな)。イズあしー みーる (他人に言わせてみなさい)。あんーまい イズあしー わーり (ぼくにも言わせて下さい)。

イズあす [izas] [動I類a型] [イズあしー、イズあしやん] 取り入れる。外から家の中に入れること。雨模様だから干し物を家の中に入れる。【例】あめー ふうらんにば イズあすな (雨は降らないから家の中に取り入れるな)。イズあし (取り入れよ。洗濯物を取り入れることに言う)。イズあしー うき (干し物を取り入れておきなさい)。

イズあすみリ [izasumi] [動II類a型] [イズあすみー、イズあすみん] 言わせる。話させる。【例】かりが いきんゆ イズあすみる (彼の意見を述べさせなさい)。

イズあつふあ [izaffa] [名] 父子。父と子。

イズあら [izara] [名] [イズあ<sup>1</sup>らまい...] 鎌。草刈り鎌。

イズあわー [izava:] [名] [イ<sup>1</sup>ズあわーまい...] 雄の種豚。

イズいがら [izigara] [名] [イズいが<sup>1</sup>らまい...] 入れ髪。添え髪。かもじ。

イズいぐ [izigu] [名] [イズい<sup>1</sup>ぐまい...] 植え替え。発芽の悪い苗を取り替えて植えること。さとうきびの苗に多く行われる。

イズいつふあ [iziffa] [名] [イズいつ<sup>1</sup>ふあまい...] もらい子。得子の意。

イズいばー [izipa:] [名] [イズいば<sup>1</sup>ーまい...] 入れ歯。

イズいリ [izi] [動II類a型] [イズいー、イズいん] 入れる。器の中に物を入れる。注ぐ。

イズう [izu] [名] [魚] [イズうまい...] 魚。魚の総称。【例】イズうー けー わーり (魚を買って下さい)。

イズうしゆに [ɯzuçuni] [名] [イズうしゆにまい...。イズうしゆ<sup>1</sup>にまい...] 漁場。魚のたくさんいる瀬。

イズうすにびらふ [ɯzusɯnibirafu] [名] [イズうすにびら<sup>1</sup>ふまい...] 魚が死ぬほどの寒さ。

イズうとうり [ɯzutu] [名] [イズうとう<sup>1</sup>りまい...] 魚とり。漁のこと。

イズうとうれ [ɯzutare] [名] [イズうとう<sup>1</sup>れまい...] 大漁をする人。漁の名人。

イズうなます [ɯzunamasɯ] [名] [イズうなますまい...] 魚のさしみ。

イズうぬ ぶに [ɯzunu puni] [名] [イズうぬぶ<sup>1</sup>にまい...] 魚の骨。魚の小骨。

イズうぬ みー [ɯzunu mi:] [名] [イズうぬみ<sup>1</sup>ーまい...] 足の裏にできる丸いかたまり。うおの目。

イズうばっじゅー [ɯzubaddzɯ:] [名] [イズうばっじゅーまい...] 魚をこしらえること。さばくこと。

イズうふしゃしゃーり [ɯzufuçaçai:] [形] [イズうふしゃ<sup>1</sup>しゃまい...] 魚くさい。魚のくさいにおい。生の魚の匂い。

イズうムすー [ɯzumsɯ:] [名] [イズうムす<sup>1</sup>ーまい...] 魚の煮汁。魚汁。

イズうやギ [ɯzujakɯ] [名] [イズうや<sup>1</sup>ギまい...] 魚を焼くこと。燃えきった薪の炭火で焼く。

イズうやギだむぬ [ɯzujakɯdamunu] [名] [イズうやギだむ<sup>1</sup>ぬまい...] 魚を焼くための薪。

イズうん びーり [ɯzun bi:] [連語] 魚に中毒する。

いすか [isɯka] [名] [疑] [いすかまい...] 幾らか。どれぐらいか。量や値段に言う。【例】くれーいすかが (これの値段はいくらか)。【同】「いすけ」。

いすかまい [isɯkamai] [副] いくらでも。【例】いすかまい かーずー (いくらでも買う)。

いすけ [isɯke] [名] [疑] [いすけまい...] 幾らか。どれぐらいか。量や値段に言う。【同】「いすか」。

いずしえー [idzɯçe:] [名] [いずしえーまい...] 意地の強い人。働き者。勇敢な人。早起きする人。

いずじゅーしゃーり [idzɯdzɯçai:] [形] [いずじゅーしゃまい...] 意地が強い。忍耐力がある。

いすずみ [isɯdzɯmi] [名] [いすずみまい...] 石爪。石のように固い爪。

いすムにだー [isɯmnida:] [名] [いすム<sup>1</sup>にだーまい...] 広い四辻。雨乞いクイチャーをやった。

いずむぬ [idzɯmunu] [名] [いずむぬまい...] 意地の強い人。早起きする人に言う。

いずんだす [idzɯndasɯ] [連語] 意地を出させる。激励する。【例】しえんしゅー いずんだす (選手を激励する)。

いずんでいり [idzɯndi] [連語] 意地が出る。元気になる。【例】いずんでいる (意地を強く出しなさい)。ゆけーったりー いずぬ んでいり (休んだから元気がでる)。

いた [ita] [名] [いたまい...] 板。木の板。鉄板。トタン板。

いだ [ida] [名] [疑] [いだんまい...] どこ。場所のこと。【例】いだぬ まっちゃんが ありば (どこの店にあるか)。ムまがー いだがー (孫はどこかなあ)。くまー いだが (ここはどこか?)。ヴヴあー いだんけーが (君はどこへ行くのか?)。たらまー いだが (多良間島はどこか)。【同】「んだ」。

いだ [ida] [名] [い<sup>1</sup>だまい...] 兄。自分より年上の男の人。【類】「いだっすう」。

いだーとうム [ida:tum] [連語] [疑] どこも全く。【同】「んだーとうム」。

いだうっとう [idauttu] [名] [い<sup>1</sup>だうっとう<sup>1</sup>まい...] 兄と弟。男性に言う。

いだかー [idaka:] [名] [疑] どれぐらいの高さか。どの高さか。どのぐらい高いか。【例】やーまどうめー いだかーが ありがー (八重山遠見はどれぐらいの高さかなあ)。【同】「いだきー」。「いだけー」。

いだがらー [idagara:] [名] [いだがらーんまい...] どこか。あるところ。【例】いだがらーらぬ ピとう (どこか知らない所の人)。【同】「んだがらー」。

いだきー [idaki:] [名] [疑] [い<sup>1</sup>だきー<sup>1</sup>まい...] どれぐらいの高さか。どの高さか。どのぐらい

高いか。【例】やーまどうめー いだきーが ありがー (八重山遠見はどれぐらいの高さかなあ)。【同】「いだかー」。「いだけー」。

いたくび [itakubi] [名] [いたく<sup>1</sup>びまい...] 板の壁。

いだくま [idakuma] [副] どこもかも。どこもかしこも。あちらこちら。【例】いだくま とうみー (どこもかも探したよ)。【同】「んだくま」。

いだけー [idake:] [名] [疑] [い<sup>1</sup>だけー「まい...」] どの高さ。【例】やーまどうめー いだけーが ありがー (八重山遠見はどれぐらいの高さかなあ)。【同】「いだかー」。「いだきー」。

いだす [idasʌ] [動 I 類 c 型] [いだしー、いだしゃん] 出す。出航する。出演する。宿題を出す。模合金を出す。【例】ペーふ いだし (早く出しなさい)。いだしー みーりばどう っさいり (出してみてわかることだ)。【同】「んだす」。

いだすみー [idasʌmi:] [名] [いだすみ<sup>1</sup>ーまい...] 出し前。模合金の出し前。

いだすみり [idasʌmi] [動 II 類 c 型] [いだすみー、いだすみん] 出させる。出し合いさせる。【例】むやいじんゆ いだすみり (模合の金を出させる)。

いだた [idata] [名] [疑] [いだたんまい...] どころ。どころ辺。【例】いだたんが ありば (どこにあるか)。【同】「んだた」。

いただぎ [itadakʌ] [動 I 類 c 型] [いただきー、いただかん] 頂く。頂戴する。

いだたなぎ [idatanagi] [名] [疑] [い<sup>1</sup>だ<sup>1</sup>たなぎんまい...] どころ。どころ辺。【同】「んだたなぎ」。

いだたばーき [idataba:ki] [連語] [疑] どこまでも。【同】「んだたばーき」。

いだたまい [idatamai] [連語] [疑] どこも。どこでも。【同】「んだたまん」。

いだたムーな [idatammna] [名] [疑] [い<sup>1</sup>だ<sup>1</sup>たムーなんまい...] どころへん。【同】「んだたムーな」。

いたっじゃ [itaddza] [名] [いたっじゃまい...] ただもの。無料。【例】いたっじゃ ゆいー (ただでもらった)。

いだっすう [idassu] [名] [い<sup>1</sup>だっすうまい...] 年上の人。年輩。先輩。男女に言う。

いだっすうヴヴあ [idassuvva] [名] [い<sup>1</sup>だっすうヴ<sup>1</sup>ヴあまい...] 兄弟の一番上の子。

いだっすうびきヴヴあ [idassubikivva] [名] [い<sup>1</sup>だっすうびきヴ<sup>1</sup>ヴあまい...] 兄弟の一番上の男の子。長男。

いだっすうみどうム [idassumidum] [名] [い<sup>1</sup>だっすうみどう<sup>1</sup>ムまい...] 兄弟の一番上の女の子。長女。

いだっすうみどうムヴヴあ [idassumidumvva] [名] [い<sup>1</sup>だっすうみどうムヴ<sup>1</sup>ヴあまい...] 兄弟の一番上の女の子。長女。

いたていり [itati] [動 II 類 a 型] [いたていー、いたていん] こぼす。水をこぼす。袋からこぼす。

いだなぎ [idanagi] [名] [疑] [い<sup>1</sup>だなぎんまい...] どの辺。どちら辺。どのあたり。【例】いだなぎんどう あすびたりー (どの辺に遊んだか)。【同】「んだなぎ」。【類】「いだムーな」。

いだばーき [idaba:ki] [連語] [疑] どこまでも。【同】「んだばーき」。

いだまい [idamai] [連語] [疑] どこも。【同】「い<sup>1</sup>だまい」。

いたム [itam] [名] [いた<sup>1</sup>ムまい...] 女性の腰巻。下着。

いだムーな [idammna] [名] [疑] [い<sup>1</sup>だムーなまい...] どの辺か。どのあたりか。【例】ヴヴあが やーや いだムーなが (君の家はどの辺か)。【同】「んだムーな」。【類】「いだなぎ」。「んだなぎ」。

いだやー [idaja:] [名] [疑] [い<sup>1</sup>だやーまい...] どの家。どこの家の子供。【例】い<sup>1</sup>だやーぬ っふあが (どこの家の子供か)。【同】「んだやー」。

い<sup>1</sup>だやーぬ ピとう [idaja:nu pɪtu] [名] [疑] [い<sup>1</sup>だやーぬ「ピとうまい...」] どの家の人。どこの家の子供。【同】「んだやーぬピとう」。

い<sup>1</sup>だり [ida] [名] [い<sup>1</sup>だりまい...] 漁り (いざり)。枯れすすきで松明 (たいまつ) を作り漁をすること。今は電灯を用いる。

いちがつ [itɕigatsʌ] [名] [い<sup>1</sup>ちがつ「まい...」] 一

月。正月。暁月。小寒・大寒の季節。  
 いちゃふ [itʃafu] [名] [いちゃ<sup>1</sup>ふまい...] 従兄弟。いとこ。  
 いちゃふぶだ [itʃafubuda] [名] [いちゃふぶ<sup>1</sup>だまい...] 父母のいとこ (男)。いとこおじさん。  
 いちゃふぶば [itʃafububa] [名] [いちゃふぶ<sup>1</sup>ばまい...] 父母のいとこ (女)。いとこおばさん。  
 いちゃふみうイ [itʃafumiuj] [名] [いちゃふみう<sup>1</sup>イまい...] いとこの子。  
 いつ [itsʃ] [名] [疑] [いつまい...] いつ。時間を問う疑問詞。【例】いつ くーずーが (いつ来るべきか)。くぬ やーや いつからげーら (この家は何年経っていますか)。いつから ギたりば (いつの間に来たのか)。  
 いつ [itsʃ] [名] 五。五つ。  
 いつ やらばまい [itsʃ jarabamai] [連語] いつでも。いつでも良いから。【例】いつやらばまい あすびが くー (いつでもいいから遊びに来なさい)。  
 いつヴヴうリ [itsʃvvu] [名] [魚] [いつヴヴうリまい...] うなぎの仲間。  
 いつか [itsʃka] [名] [いつかまい...] 五日。五日間。  
 いつがみ [itsʃgami] [連語] いつまで。【例】いつがみが ぶらずー (いつまで居るべきか)。  
 いつがみまい [itsʃgamimai] [連語] いつまでも。【例】いつがみまい ぱりん あみ (いつまでも止まない雨)。  
 いつから [itsʃkara] [名] [いつか<sup>1</sup>らまい...] 五ひき。人間以外の動物に言う。  
 いつから [itsʃkara] [連語] 何時 (いつ) から。【例】いつからまい ゆるむぬ (いつからでもよい)。  
 いつからが ぶげば (いつからいるの?)。  
 いつがらー [itsʃgara:] [名] [いつがらー<sup>1</sup>まい...] いつか。いつの日か。そのうちに。【例】いつがらー いじゃー (いつの日にか会おう)。  
 いっしゅ [iʃʃu] [名] [いっ<sup>1</sup>しゅまい...] 一升。一合の十倍。  
 いっしゅびん [iʃʃubin] [名] [いっしゅび<sup>1</sup>んまい...] 一升瓶。  
 いっすん [issʃn] [名] [いっすんまい...] 一寸。約

3センチ。人差指の第一関節から第二関節の間の長さ。  
 いつたーリ [itsʃta:] [名] [いつたー<sup>1</sup>りまい...] 五人。  
 いつだいで [itsʃdaidzɪ] [名] [いつだいで<sup>1</sup>ずまい...] 一大事。  
 いつつ [itsʃtsʃ] [名] [いつ<sup>1</sup>つまい...] 五つ。五歳。五個。五本。五冊。  
 いったい [itti] [名] [いったい<sup>1</sup>まい...] 五十年。【例】いったいまい (五十年前)。  
 いったい [itsʃti] [名] [いつ<sup>1</sup>ていまい...] 五年。【例】いったいまい (五年前)。  
 いっとう [ittu] [名] [いっ<sup>1</sup>とうまい...] 一斗。一升の十倍。  
 いっとうが やー [ittuga ja:] [名] [いっとう<sup>1</sup>がやー<sup>1</sup>まい...] 昔のおはじき遊び。さざえのふたで遊ぶ。  
 いっとうがたちゅが [ittugatattʃuga] [名] [いっとう<sup>1</sup>がたちゅが<sup>1</sup>まい...] 丸座になって歌いながら遊ぶこと。  
 いっとうがみ [ittugami] [名] [いっとうが<sup>1</sup>みまい...] 一斗入れのかめ。  
 いっとうギ [ittukɟ] [副] 一時。片時。しばらく。【例】いっとうギ まてい (しばらく待て)。  
 いっとうばかす [ittubakasʃ] [名] [いっとうばか<sup>1</sup>すまい...] 一斗いれのつぼ。  
 いつなぎ [itsʃnagi] [名] [疑] [いつな<sup>1</sup>ぎまい...] いつ頃。【例】いつなぎんが まどー ありが (いつ頃暇になるか)。  
 いつなんどうギ [itsʃnandukɟ] [副] いつ何時。【例】いつなんどうギ ないぬ あらずーがげーら (いつ何時地震が起こるか)。  
 いっぱい [ippai] [副] たくさん。あふれる様。【例】いっぱいぬ ピとう (たくさんの人)。  
 いっぱい [ippai] [副] 一杯。コップ一杯。  
 いっぱん [itsʃban] [名] [いっば<sup>1</sup>んまい...] 一番。一番目。先頭。トップ。  
 いっぱんじゃー [itsʃbandʒa:] [名] [いっばんじゃ<sup>1</sup>ーまい...] 一番座。主人の寝る部屋。普通東側にある。【同】「くだすぎ」。  
 いっぱんどうす [itsʃbandusʃ] [名] [いっばんど

う<sup>1</sup>すまい...) 最も親しい友。

いつばんとうり [itsɯbantɯ] [名] [いつばんとう<sup>1</sup>りまい...] 一番鶏。夜明けを告げる鶏のこと。

いつばんなび [itsɯbannabi] [名] [いつばんな<sup>1</sup>びまい...] 製糖工場 (シートヤー) の一番目の鍋のこと。

いつばんぶす [itsɯbanbusɯ] [名] [いつばんぶ<sup>1</sup>すまい...] 一番星。日没後に西の空に輝く星。宵の明星。金星のこと。

いつばんむぬ [itsɯbanmunu] [名] [いつばんむ<sup>1</sup>ぬまい...] 一番物。最高級の品物。

いつばんむぬ [itsɯbanmunu] [名] [いつばんむ<sup>1</sup>ぬまい...] 初物。初めの収穫物。

いつばんわーぎ [itsɯbanwa:gɯ] [名] [いつばんわー<sup>1</sup>ぎまい...] 晴れ着。

いつまい [itsɯmai] [副] いつも。いつでも。【例】いつまい ゆるむぬ (いつでもいいよ)。

いつまた [itsɯmata] [名] [海の生物] [いつま<sup>1</sup>たまい...] ひとで。

いつむん [itsɯmun] [名] [いつむ<sup>1</sup>んまい...] 一門。親族。

いつむんじゆるー [itsɯmundzuru:] [名] [いつむんじゆる<sup>1</sup>ーまい...] 一門揃い。一門の集い。

いつむんばか [itsɯmunbaka] [名] [いつむんば<sup>1</sup>かまい...] 一門の墓。

いでい [idi] [名] [いでいま<sup>1</sup>い...] いで。出ること。【例】いでいずぶん (出番だ)。【同】「んでい」。

いでい [idi] [名] [疑] [いでいまい...] どれ。【例】いでいが (どれか)。あが むのー いでいが (ぼくのものどれか)。いでい みしー みーる (どれか見せてみよ)。【同】「んでい」。

いでいぐりしゃーり [idiguri:ɕa:] [形] [いでいぐり<sup>1</sup>しゃまい...] 出にくい。【例】めーんけーや いでいぐりしゃーり (集会には出にくい)。

いでいしゅがり [idicuga:] [名] [いでいしゅが<sup>1</sup>りまい...] 外出の支度。身支度。正装すること。

いでいしゅるー [idicuru:] [動I類] [いでいしゅれー、いでいしゅらーん] [いでいしゅる<sup>1</sup>ーまい...] 出揃う。【例】うぐなーりんや いでいしゅるー (集会に出揃う)。

いでいた [idita] [名] [疑] [いでい<sup>1</sup>たまい...] どれら。【例】すまピとー いでいたが (島人はどれたちか)。【同】「んでいた」。【類】「いでいたがムめ」。「んでいたがムめ」。

いでいたが ムめ [iditaga mme] [名] [疑] [いでいた<sup>1</sup>がムめ<sup>1</sup>まい...] どれら。【例】すまピとー いでいたが ムめ (島人はどれだちか)。ぱりー ぶりろー いでいたが ムめ (走っているのはどれたちか)。【同】「んでいたがムめ」。【類】「いでいた」。「んでいた」。

いでいつー [iditsɯ:] [名] [いでいつ<sup>1</sup>ーまい...] よく出る乳。

いでいばい [idipai] [名] [いでいば<sup>1</sup>いまい...] 分家すること。結婚して独立すること。出て行く運命。

いでいばイでい [idipaɪdi] [名] [い<sup>1</sup>でいばイでいまい...] 出入りすること。【同】「んでいばイでい」。

いでいばいやー [idipaija:] [名] [いでいば<sup>1</sup>いやーまい...] 分家した人の家。

いでいばずまり [idipadzɯma:] [動I類a型] [いでいばずまりー、いでいばずまらん] 出始める。【例】なまどう まんごーや いでいばずまり (今マンゴーは出始めだ)。【同】「んでいばずまり」。

いでいばん [idiban] [名] [いでいば<sup>1</sup>んまい...] 出番。【例】いでいばんゆ まつ (出番を待つ)。【同】「んでいばん」。

いでいふつ [idifutsɯ] [名] [いでいふ<sup>1</sup>つまい...] 出口。【同】「んでいふつ」。

いでいふに [idifuni] [名] [いでいふ<sup>1</sup>にまい...] 出船。出航。

いでいふにギしゅイ [idifunigɕu:] [名] [いでいふにギしゅ<sup>1</sup>イまい...] 出船競い。出船に間に合わせる。船の出港時間に急かせる。

いでいまーり [idima:] [動I類c型] [いでいまーりー、いでいまーらん] 出廻る。物が流行する。家におちつきがなく外へ出歩く。

いでいまい [idimai] [名] [いでいま<sup>1</sup>いまい...] 出し前。支出。

いでいまい [idimai] [連語] どれも。誰も。どち

らも。どっちも。【例】いでいまい ゆるむぬ  
(どれもいいよ)。

いでいみー [idimi:] [名] [いでいみ<sup>1</sup>ーまい...] 出し前。金の出し前。

いでいむぬ [idimunu] [名] [いでいむ<sup>1</sup>ぬまい...] 吹きでもの。おでき。【類】「にぶとう」。

いでいり [idi:] [動II類c型] [いでいー、いでいん] 出る。卒業する。芽が出る。太陽が雲から出る。出席する。船が出る。給料が出る。【例】いでいる (出よ。出席せよ。外出せよ)。うでーりんけー いでいー くー (作業に出席しなさい)。ぱちゅがつぶどうりんや いでいー する (八月おどりには出演しなさい)。うやが かーりん いでいずー (親の代理として出るよ)。いでいー つぎう みーる (出て月を見なさい)。【同】「んでいり」。

いとう [itu] [名] [い<sup>1</sup>とうまい...] 糸。細い糸。釣り糸。縫い糸。風の鼻緒の糸。【例】いとうーとうーす (糸を通す。針の穴に糸を通す。視力の基準として世間に言われる)。

いとうばしょー [itubaço:] [名] [植] [いとうばしょ<sup>1</sup>ーまい...] 糸芭蕉。

いとうま [ituma] [名] [いとう<sup>1</sup>ままい...] いとま。休暇。

いとうまぎ [itumaki] [名] [いとうま<sup>1</sup>ぎまい...] 糸を巻くこと。またその道具。

いな [ina] [名] [いなまい...] 犬。

いなう [inau] [名] [いなうまい...] 礁湖。礁地。内海。【同】「いぬー」「いのー」。

いなか [inaka] [名] [いなかまい...] 田舎。都会に対する。

いながい [inagai] [副] 長いこと。長い時間。時間の経過について言う。【例】いながい みーん (長いこと見ない)。

いなかむぬ [inakamunu] [名] [いなかむぬまい...] 田舎者。

いなぐ [inagu] [名] [いなぐまい...] 女性のこと。【類】「ぶなぐ」「ぶなぐ」。

いぬ ぶん [inu bun] [連語] [疑] どれほど。どれぐらい。【例】いぬぶんが うむくとうぬ ありが (どれほど頭がいいの?)。

いぬー [inu:] [名] [いぬーまい...] 礁湖。礁地。内海。【同】「いなう」「いのー」。

いぬー [inu:] [名] [いぬーまい...] 竜巻。【類】「あまいぬー」「いぬーぬまら」。

いぬーじみ [inu:dzimi] [名] [いぬーじみまい...] 礁湖での追い込み漁のこと。いわし漁。

いぬーぬ まら [inu:nu mara] [名] [いぬー<sup>1</sup>ぬまら「まい...」 竜巻。【類】「あまいぬー」「いぬー」。

いばい [ipai] [名] [いばいまい...] 位牌。霊位。

いばいむつ [ipaimutsu] [名] [いばいむつまい...] 位牌を継ぐ係。

いばしゃーり [ibaça:] [形] [いば<sup>1</sup>しゃまい...] 狭い。窮屈。思うように動きが取れない。【同】「しばしゃーり」。

いばみつ [ibamitsu] [名] [いばみ<sup>1</sup>つまい...] 狭い道。小さい道。細い道。【同】「しばみつ」。

いばやー [ibaja:] [名] [いばや<sup>1</sup>ーまい...] 狭い家。小さい家。【同】「しばやー」。

いばら [ibara] [名] [いば<sup>1</sup>らまい...] 威張る奴。威張る人。【例】かれー いばら (彼は威張る人だ)。

いばり [iba:] [動I類c型] [いばりー、いばらん] 威張る。【例】いばりむぬイー (威張って言う)。いばりぱなす (えらそうな話)。いつまい いばりーてーん (いつも威張ってばかり)。

いび [ibi] [名] [魚] [いびまい...] えび。主として伊勢えびのこと。

いび [ibi] [名] [い<sup>1</sup>びまい...] 拜所。香炉。ほこら。船の航海安全を祈願する拜所。

いびーちゃ [ipi:ča] [副] 少し。容量の少ないこと。【例】いびーちゃ つぎ (少し注ぎなさい)。【同】「いびっちゃ」「びーちゃ」「びっちゃ」。【類】「てんく」。

いびす [ibisu] [名] [いびすまい...] 辺地。狭い所。【例】いびすん びーり (狭い所に座る)。

いびっちゃ [ipitča] [副] 少し。容量の少ないこと。【同】「いびーちゃ」「びーちゃ」「びっちゃ」。【類】「てんく」。

いびら [ibira] [名] [いび<sup>1</sup>らまい...] 飯籠。煮た芋をつぶす道具。しゃもじの大きい物。

いびり [ibi:] [動 I 類 c 型] [いびりー、いびらん] いびる。

いびり [ibi:] [動 II 類 c 型] [いびー、いびん] いびる。意地悪をする。

いふ [ifu] [接頭] [疑] いく～。幾～。助数詞と結語して数を問う疑問詞を形成する。【例】いふか(幾日)。いふゆー(幾夜)。いふてい(幾年・何年)。

いふか [ifuka] [名] [疑] [いふかまい...] 何日。幾日。日数を数える単位。【例】いふかまい まていー ぶたリ(何日も待っていた)。いふかーならん(何日も経っていない。それほど日数は経っていない)。

いふから [ifukara] [名] [疑] [いふからまい...] 何匹。幾匹。動物を数える単位。人には言わない。【例】ぴんだー いふからが(山羊は何匹いるか)。

いぶぎー [ipugi:] [名] [疑] [い<sup>1</sup>ぶぎー「まい...」] どの大きさ。どのぐらい大きい。どの広さ。どのぐらい広い。【例】いぶぎーぬ まっチャが(どのぐらい広い店か)。

いふけーり [ifuke:ri] [名] [疑] [いふけーりまい...] 何回。幾回。【例】いふけーりが かゆーば(何回通ったのか)。

いふげーり [ifuge:] [名] [疑] [いふげーりまい...] 何歳違い。【例】ヴヴあたー いふげーリ ありば(あなたたちは何歳違いなの?)。

いふしゃ [ifuça] [名] [いふしゃまい...] いくさ。戦争。【例】うぶいふしゃ(第二次世界大戦)。

いふしゃ [ifuça] [名] 重さ。

いふしゃーリ [ifuça:li] [形] [いふしゃまい...] 重い。【例】ゆーどう いふしゃーリ(とても重い)。いふしゃ ねーん(重くない)。【同】「いヴヴうしゃーリ」。

いふたーリ [ifuta:] [名] [疑] [いふたーリまい...] いくたり。何人。何名。【例】いふたーリぬ にんじゅが(何人の人員か)。

いふたてい [ifutati] [名] [疑] [いふたていまい...] いく種類。幾種類。何種類。【例】いふたていどう すこーりば(何種類のを準備すればよいか)。

いふつ [ifuts:] [名] [疑] [いふつまい...] いくつ。幾つ。何歳。【例】ヴヴあー いふつが なり(君は何歳か)。

いふつが ゆイ [ifuts:ga ju:] [名] [疑] [いふつ<sup>1</sup>がゆイ「まい...」] いくつ違い。何歳ちがい。

いふつギ [ifuts:kj] [名] [疑] [いふつぎまい...] いく月。何月。【例】あめー いふつギ ふらんにーば(雨は幾月降らないのか)。

いふつみー [ifuts:mi:] [名] [疑] [いふつみーまい...] いくつ違い。何歳ちがい。【例】ヴヴあたー いふつみー ありば(あなたたちはいくつ違い?)。

いふてい [ifuti] [名] [疑] [いふていまい...] いく年。幾年。何年。【例】しゅーが まーりーわーりーから いふていが なり(祖父が亡くなってから何年経ったか)。

いふゆー [ifuju:] [名] [疑] [いふゆーまい...] いく夜。幾夜。【例】いムじゃーや いふゆーがとうまりー わーリげーら(海人座は幾夜お泊りですか)。

いふん [ifun] [名] [疑] [いふんまい...] いく回。幾回。何回。何べん。【例】いふんが ならーすば(何回教えるか)。

いふんまい [ifunmai] [連語] いく回も。何回も。【例】いふんまい みーらいどうす(何回でも見られるよ)。

いペー [ipe:] [副] 少し。少しは。ちょっとは。【例】いペー ばきー わーり(少し分けてちょうだい)。

いま [ima] [接頭] 生。なま。【例】いまイズう(生の魚)。

いみ [imi] [名] [い<sup>1</sup>みまい...] 意味。わけ。

いみ [imi] [名] [い<sup>1</sup>みまい...] 忌み。喪中であること。【例】いみぱり(忌みがあけること)。

いみあい [imiai] [名] [いみあ<sup>1</sup>いまい...] 意味合い。話の前後の意味の内容。

いみあじゃ [imiadzã] [名] [いみあじゃまい...] 末の男の子。兄弟の年下の男の子。【類】「あじゃがま」。

いみあみ [imiami] [名] [いみあみまい...] 小雨。小降り。

いみあんが [imianga] [名] [いみあんがまい...] 末の女の子。兄弟の年下の女の子。【類】「あんががま」。

いみーか [imi:ka] [副] 小さく。【例】いみーかつつふい (小さく作れ)。【類】「いみーちゃ」。

いみーちゃ [imi:tɕa] [副] 小さく。大きさを表す。【例】いみーちゃぬ やー (小さい家)。【類】「いみーか」。

いみかでい [imikadi] [名] [いみかでいまい...] 小さい風。微風。そよ風。

いみぎー [imigi:] [名] [いみぎーまい...] 小さい木。小木。若い木。

いみぎむ [imigimu] [名] [いみぎむまい...] 小心。小心者。臆病。気が小さいこと。

いみぐい [imigui] [名] [いみぐいまい...] 小さい声。小声。【例】いみぐいにー イズい (小さい声で言いなさい)。

いみしや [imiɕa] [名] [いみ<sup>1</sup>しやまい...] 小ささ。

いみしや みー [imiɕa mi:] [連語] 小さく見る。見下す。馬鹿にする。他人を小さく見る。【例】いらいぎ なりー いみしやみー すー (偉いふりして見下している)。

いみしやーり [imiɕa:] [形] [いみ<sup>1</sup>しやまい...] 小さい。狭い。幼い。大きさ・広さ・太さなどの意味に使う。【例】いみやー (小さい家)。いみピとう (小さい人)。くれー いみしやーり (これは小さい)。

いみしやうがつ [imiɕaugatsɕ] [名] [いみしや<sup>1</sup>うがつまい...] 小さい正月。冬至の日。小さな正月として家庭内で和え物を食べた。【同】「いみしよーがつ」。【類】「とうんじー」。

いみしやばな [imiɕabana] [名] [いみ<sup>1</sup>しやばなまい...] 小さい頃。子どもの頃。

いみしよーがつ [imiɕo:gatsɕ] [名] [いみしよ<sup>1</sup>ーがつまい...] 小さい正月。冬至の日。小さな正月として家庭内で和え物を食べた。【同】「いみしやうがつ」。【類】「とうんじー」。

いみずー [imidzɕ:] [名] [いみずーまい...] 小さい乳。貧乳。

いみすま [imisɕma] [名] [いみすままい...] 小

い島。小島。離島。

いみっちゃ [imittɕa] [副] 小さく。ちょっと。【例】いみっちゃ ゆいずー (少しもらうよ)。

いみぱり [imipari] [名] [い<sup>1</sup>みぱりまい...] 忌み明け。

いみピとう [imipɕtu] [名] [いみピとうまい...] 小さい人。体の小さいこと。小柄な人。

いみふに [imifuni] [名] [いみふにまい...] 小船。小型船。大きい船に比べて言う。

いみみつ [imimitsɕ] [名] [いみみつまい...] 小道。細道。横道。わき道。

いみむぬ [imimunu] [名] [いみむぬまい...] 小さいもの。小物。大きいものに比べて言う。

いみムまり [imimmari] [名] [いみムまりまい...] 生まれたときの小さいこと。

いみやー [imija:] [名] [いみやーまい...] 小さい家。こじんまりした家。

いみり [imi] [動II類c型] [いみー、いみん] 忌む。喪中にある。

いム [im] [名] [い<sup>1</sup>ムまい...] 海。海浜。海辺。大海。大洋。

いム [im] [動I類c型] [いみー、いまん] 忌む。喪中である。

いムうぶなか [im.upunaka] [名] [い<sup>1</sup>ムうぶなまい...] 海神祭。

いムうり [im.uri] [名] [い<sup>1</sup>ムうりまい...] 海下り。海へ下りる行事。漁に行くこと。潮干狩。

いムかがム [imkagam] [名] [い<sup>1</sup>ムかがムまい...] 水中眼鏡。

いムがギな [imgagɕna] [名] [植] [い<sup>1</sup>ムがギなまい...] くろいわざき。

いムかでい [imkadi] [名] 海風。海から吹く風。夏の海から陸地へ吹く風。

いムしえー [imɕe:] [名] [い<sup>1</sup>ムしえーまい...] 漁の名人。海士。

いムしどう [imɕidu] [名] [い<sup>1</sup>ムしどうまい...] 海勢頭。スツウプナカの海座の座長。

いムじゃー [imdza:] [名] [い<sup>1</sup>ムじゃーまい...] 海座。スツウプナカの漁の係の集う所。

いムしやず [imɕadzɕ] [名] [鳥] [い<sup>1</sup>ムしやずまい...] 海鳥の総称。

いムしゃず [imçadzɯ] [名] [い<sup>1</sup>ムしゃずまい...] 漁や潮干狩を日課にする人。

いムしゅがヅ [imçuga] [名] [い<sup>1</sup>ムしゅがヅまい...] 海への支度。釣りや潮干狩の支度。

いムずま [imdzɯma] [名] [い<sup>1</sup>ムずままい...] 海島。漁業で生活を営む里。

いムつどうヅ [imtsɯdu] [名] [い<sup>1</sup>ムつどうヅまい...] 浜千鳥。【類】「つどうヅ」。

いムどうヅ [imdu] [名] [い<sup>1</sup>ムどうヅまい...] 海鳥。千鳥。かもめ。かつおどり。あじさし。【類】「つどうヅ」。

いムなヅ [imna] [名] [い<sup>1</sup>ムなヅまい...] 海鳴り。台風の前兆といわれる。

いムぬーま [imnu:ma] [名] [魚] [い<sup>1</sup>ムぬーままい...] 海馬。竜のおとしご。

いムばた [imbata] [名] [いムば<sup>1</sup>たまい...] 海端。海の近く。【例】いムばたぬ ぼる (海に近い畑)。

いムばたらギ [impatarakɯ] [名] [い<sup>1</sup>ムばたらギまい...] 海働き。海の仕事をする。漁をすること。

いムピとう [impɯtu] [名] [い<sup>1</sup>ムピとうまい...] 海人。海士。漁師。スツウブナカの海人。

いムふしゃ [imfuça] [名] [い<sup>1</sup>ムふしゃまい...] 海草。ジュゴンの食草。【類】「じゃんふしゃ」。

いムぶり [imburi] [名] [い<sup>1</sup>ムぶりまい...] 漁に熱中すること。またその人。釣り馬鹿。

いムぶりむぬ [imburimunu] [名] [い<sup>1</sup>ムぶりむぬまい...] 漁に熱中する人。釣り馬鹿。【類】「いムぼー」。

いムぼー [imbo:] [名] [い<sup>1</sup>ムぼーまい...] 漁が好きな人。漁業専業者ではない。【類】「いムぶりむぬ」。

いムまーヅ [imma:] [名] [い<sup>1</sup>ムまーヅまい...] 海廻り。海浜へ出かける人。漂流物を探す目的の人。戦時中は軍の物資が流れ着いた。

いムまつ [immatsɯ] [名] [い<sup>1</sup>ムまつまい...] さんご。りゅうきゅういそばな。

いムまらだに [immaradani] [名] [い<sup>1</sup>ムまらだにまい...] りんば腺のはれ。

いムみがに [immigani] [名] [い<sup>1</sup>ムみがにまい...]

海めがね。水中めがね。旧式のめがね。ゴーグルも言う。

いムムーぎー [im.mmgɯi:] [名] [植] [い<sup>1</sup>ムムーぎーまい...] ぐんばいひるがお。

いムわじゃ [imvadza] [名] [い<sup>1</sup>ムわじゃまい...] 海仕事。海に関係する仕事。

いら [ira] [名] [いらまい...] えら。魚の呼吸器官。

いら [ira] [名] [海の生物] [いらまい...] はぶくらげ。

いらい [irai] [名] [いらいま<sup>1</sup>い...] 答え。応答。

いらい [irai] [形] [いら<sup>1</sup>いまい...] 偉い。優れる。立派。秀でる。子供を褒めるときにも言う。【類】「いらいしゃーヅ」。

いらいしゃーヅ [iraicɯ:] [形] [いらい<sup>1</sup>しゃまい...] 偉い。かっこいい。優れる。【類】「いらい」。

いらいピとう [iraipɯtu] [名] [いら<sup>1</sup>いピとうまい...] 偉い人。優れ人。立派な人。学者。

いらいふ なヅ [iraifu na] [連語] 偉くなる。偉そうに振舞う人にも言う。

いらいヅ [irai] [動 II 類 c 型] [いらいー、いらいん] 答える。返答する。返事する。

いらう [irau] [名] [いらうんま<sup>1</sup>い...] 伊良部。伊良部島のこと。

いらううなギ [iraunagi] [名] [魚] [いらううな<sup>1</sup>ギまい...] えらぶうみへび。肺呼吸。爬虫類。魚類は誤り。

いらうずま [iraudzɯma] [名] [いらうず<sup>1</sup>まい...] 伊良部島。

いらうたうがに [irautaugani] [名] [いらうたうが<sup>1</sup>にまい...] 伊良部島の民謡。【同】「いらうとーがに」。

いらうとーがに [irauto:gani] [名] [いらうとーが<sup>1</sup>にまい...] 伊良部島の民謡。【同】「いらうたうがに」。

いらうばし [iraubaçi] [名] [いらうば<sup>1</sup>しまい...] 伊良部海峡。伊良部島と宮古島の間。

いらうばす [iraubasɯ] [名] [いらうば<sup>1</sup>すまい...] 伊良部大橋。2015年1月31日開通。3540メートル。

いらうゆー たらまゆー [irauju: taramaju:] [連

語] 伊良部の世、多良間の世。伊良部島と多良間島が様々な点において似ているところがあることの表現。昔、多良間の役人が佐和田（伊良部）との交流もあり、現在は方言も御嶽の神事も海上交通も自然や生活様式も似ている。

いらばす [irabasʝ] [動 I 類 c 型] [いらばしー、いらばしゃん] 選ばせる。本人の意思で選ばせる。

いらび [irabʝ] [動 I 類 c 型] [いらびー、いらばん] 選ぶ。気に入るものを選ぶ。好きな人を選ぶ。投票する。

いらびぬくʝ [irabʝnukuʝ] [名] [いらびぬくʝい...] 選び残り。選別した残り。

いらびやヴヴイ [irabʝjavvʝ] [動 I 類 c 型] [いらびやヴヴいー、いらびやヴヴあん] 選び損ねる。

いらふつ [irafutsʝ] [名] [魚] [いらふつまい...] ぶだいの仲間。

いらん くとう [iran kutu] [名] [いらんくとう「まい...」] 不必要なこと。つまらない事。【例】いらん くとうー イーな（不要なことを言うな）。

いらんむぬイー [iranmunuʝi] [名] [いらんむぬイーまい...] 余計なおしゃべり。【類】「ちよーんぬーらんむぬイー」。

いり [iʝ] [接尾] ~れる。受身接尾辞。【例】かかいり（書かれる）。ばらーいり（笑われる）。【同】「りり」。

いり [iʝ] [名] [いりまい...] 錐。穴をあける道具の名。

いり [iʝ] [名] [いりまい...] 西。西の方角。【類】「いりぬば」。

いり [iʝ] [動 I 類 c 型] [いりー、いらん] 射る。射つ。子どもがゴムカン遊びをした。【例】ばとー いりな（鳩をうつな）。

いり [iʝ] [動 I 類 c 型] [いりー、いらん] 要る。必要。【例】いらん（要らない）。いらんにば くていー いき（要らないから持って行け）。うまつめーすんや ちぎぎぬどう いり（火を燃やすのにはマッチが要るよ）。

いり [iri] [名] [いりまい...] 着物の襟。

いりあかだん [iʝakadan] [名] [地] [いりあかだ

んまい...] 多良間島の〈とうぶり〉の名前。村史参照。

いりか [iʝka] [名] [いりかま<sup>1</sup>い...] いらか。家の上。家の頂。

いりかい [irikai] [名] [いりかまい...] 入れ替え。

いりかいり [irikaiʝ] [動 II 類 a 型] [いりかいいー、いりかいいん] 入れ替える。【例】チャーウ いりかいり（お茶を入れ替える）。

いりかでい [iʝkadi] [名] [いりかでいまい...] 西風。西の方から吹く風。

いりかでいまーり [iʝkadima:ʝ] [名] [いりかでいまーりまい...] 三月頃に吹く気まぐれの西風。空模様が急変する。

いりぎ [iʝkʝ] [動 I 類 c 型] [いりぎいー、いりかかん] 炒める。水分を少し入れて炒める料理。【例】つーいりぎ（豚の血を混ぜて炒めた料理）。

いりぎ [iʝki] [名] [いりぎま<sup>1</sup>い...] うろこ。魚のうろこ。

いりぎ [iʝki] [名] [いりぎまい...] 皮膚のただれ。ふけ。

いりぎふむ [iʝkifumu] [名] [いりぎふ<sup>1</sup>むまい...] うろこ雲。

いりぎまみ [iʝkʝmami] [名] [いりぎま<sup>1</sup>みまい...] 炒めた豆。大豆を炒めたもの。

いりぎむぬ [iʝkʝmunu] [名] [いりぎむ<sup>1</sup>ぬまい...] 炒めた食べもの。水分を少し入れて炒めた料理。チャーハンの類。

いりずみ [iridzʝmi] [名] [いりず<sup>1</sup>みまい...] 刺青。

いりたかーな [iʝtaka:na] [名] [地] [いりたかーなまい...] 多良間島の〈とうぶり〉の名前。村史参照。

いりっふり [iriffu] [名] [いりっふりまい...] わがまま。好き嫌いのほげしいこと。だだをこねる。

いりていだ [iʝtida] [名] [いりてい<sup>1</sup>だまい...] 入日。西へ傾いていく太陽。【同】「イーていだ」。

いりぬ いム [iʝnu im] [名] [いりぬい<sup>1</sup>ムまい...] 西の海。石垣島に見える海。

いりぬ ていん [iʝnu tin] [名] [いりぬてい<sup>1</sup>んま

い...] 西の天。西の空。【例】いりぬ ていんぬ  
っふあがムたかー あみどー (西の空が黒くな  
ったら雨だぞ)。  
いりぬば [iɾnupa] [名] [い<sup>1</sup>りぬばまい...] 西。西  
の方角。【類】「いり」。  
いりぱいでい [iripaɪdi] [名] [い<sup>1</sup>りぱいでいま  
い...] 出入り。家の中へ入ったり出たりするこ  
と。  
いりばる [iɾbaru] [名] [いりば<sup>1</sup>るまい...] 西の  
方の畑・土地。  
いりみ [irimi] [名] [いりみまい...] 必要な品物。  
神事のときの買うもの。  
いりみピギ [irimipiki] [名] [いりみピ<sup>1</sup>ギまい...]  
要目引き。結納。男性が婚約者の家へ物品を持  
参する。  
いりむてい [iɾmuti] [名] [いりむていまい...] 西  
の方。西の地区。【例】いりむていばる (西の  
方の畑)。  
いりむていム [iɾmutiim] [名] [いりむていム  
まい...] 西の海。  
いりむら [iɾmura] [名] [いりむらまい...] 西の  
方の集落。  
いりむらピとう [iɾmurapitu] [名] [いりむらピと  
うまい...] 西の方の集落の人。  
いりむらふつ [iɾmurafutsu] [名] [いりむらふつ  
まい...] 西の方の集落の入り口。  
いりゆー [iriju:] [名] [いりゆーまい...] 入り用。  
必要。必要とするもの。  
いりわーり [iriva:] [名] [い<sup>1</sup>りわーりまい...] 口  
喧嘩。論争。  
いりわい [irivaɪ] [名] [い<sup>1</sup>りわいまい...] 小競り  
合い。議論。もめごと。  
いる [iru] [名] [い<sup>1</sup>るまい...] 色。色彩。顔色。  
クレヨン。【例】いるぬ ねーん (顔色が悪い)。  
いるにー かギ (クレヨンで描く)。  
いるいる [iruiru] [副] いろいろ。さまざま。八  
月おどりの演目の多いこと。  
いるがーり [iruga:] [名] [い<sup>1</sup>るがーりまい...] 色  
変わり。変色。【例】たくぬ いるがーり (蝸の  
色変わり)。  
いるかぎしゃーり [irukagisa:] [形] [いるかぎ<sup>1</sup>

しゃまい...] 色白。肌の白いこと。きれいな肌  
の人。  
いるつや [irutsja] [名] [いるつ<sup>1</sup>やまい...] 色つ  
や。顔色。【例】いるつやぬ あり (顔色が健康  
的だ)。  
いるぬ ねーん [irunu ne:n] [連語] 色が無い。顔  
色が悪いこと。  
いるばな [irupana] [名] [いるば<sup>1</sup>なまい...] 色  
ついた花。葬式に作る。  
いるみがーり [irumiga:] [名] [いる<sup>1</sup>みがーりま  
い...] 色変り。嘘をつく顔が赤くなること。  
いるむぬ [irumunu] [名] [いるむ<sup>1</sup>ぬまい...] 色  
もの。色彩の豊かなもの。【例】ぎんぬ いるむ  
ぬ (衣服の色もの)。  
いわり [ivari] [名] [いわりま<sup>1</sup>い...] いわれ。由  
来。わけ。  
いん [in] [名] [干支] [い<sup>1</sup>んまい...] 戌。十二支  
の十一番目。戌年。いんどうい。犬。  
いん [in] [名] [い<sup>1</sup>んまい...] 印。はんこ。  
いん [in] [名] [い<sup>1</sup>んまい...] 縁。ゆかり。えに  
し。  
いんがなしゃーり [inganasa:] [形] [いんがな<sup>1</sup>  
しゃまい...] かわいい。可愛がられること。性  
格の良いこと。【例】いんがなすやらび (かわ  
い子ども)。  
いんぐみ [ingumi] [名] [いんぐ<sup>1</sup>みまい...] 縁組。  
夫婦の関係を結ぶこと。  
いんたう [intau] [名] [いんたうまい...] 遠島。島  
流し。流刑。【同】「いんとー」。  
いんだき [indaki] [名] [疑] [いんだ<sup>1</sup>きまい...]  
どれだけ。いくら。【例】いんだきぬ むぬが  
(どれだけの値段か)。  
いんだん [indan] [名] [いんだ<sup>1</sup>んまい...] 縁談。  
夫婦の縁組の相談。  
いんちき [intçiki] [名] [いんち<sup>1</sup>きまい...] 偽物。  
いんどうい [indui] [名] [干支] [いんどう<sup>1</sup>いま  
い...] 戌年。戌年生れ。  
いんとー [into:] [名] [いんとーまい...] 遠島。島  
流し。流刑。琉球王朝に謀反を起した人の罪。  
【同】「いんたう」。  
いんぬ ばーぬ ぬム [innu pa:nu num] [連語] 犬

の歯の蚤。めったにないこと。めったにあり得ないことのたとえ。

いんぬイ [innu] [名] [干支] [いんぬイまい...] 戌の日。

いんぬイぬ ピー [innuɲu pi:] [名] [干支] [いんぬイ<sup>1</sup>ぬピーまい...] 戌の日。

いんぬイムまり [innuɲmmari] [名] [干支] [いんぬイムま<sup>1</sup>りまい...] 戌の日生まれ。戌の日に生まれた人。

いんぬてい [innuti] [名] [干支] [いんぬ<sup>1</sup>ていまい...] 戌の年。

いんねー [inne:] [名] [いんね<sup>1</sup>ーまい...] 西隣りの家。【類】「いんねーやー」。

いんねー あがんねー [inne: aganne:] [名] [いんね<sup>1</sup>ーあがんねーまい...] 西隣・東隣。西と東の両隣。

いんねーぱー [inne:pa:] [名] [昆虫] [いんね<sup>1</sup>ーぱーまい...] てんとうむし。

いんねーやー [inne:ja:] [名] [いんね<sup>1</sup>ーやーまい...] 西隣の家。【類】「いんねー」。

いんばい [inbai] [名] [いんばいまい...] あばずれ女。

いんぴつ [inpits] [名] [いんぴ<sup>1</sup>つまい...] 鉛筆。

いんぷ<sup>1</sup> [inpu] [名] [いんぷ<sup>1</sup>りまい...] 印作り。はんこ作り。

いんぷりぎー [inpu:gi:] [名] [植] [いんぷりぎ<sup>1</sup>ーまい...] げっきつ。

いんる [inru] [名] [いん<sup>1</sup>るまい...] 遠慮。

## — う —

う [u] [助] を。対格の助詞。【例】かるー (あれを)。あぬー (私を)。ぱなすう (話を)。うい  
う (上を)。【同】「ゆ」。

う [u] [名] [干支] [う<sup>1</sup>ーまい...] 卯。十二支の  
四番目。卯年。卯年生れ。うどうい。東。兎。

うイ [uɪ] [名] [う<sup>1</sup>イまい...] 負。【例】うイかみ  
(出し前)。

うい [ui] [名] 初。【例】ういが (初産)。

うい [ui] [名] [ういまい...] 上。上司。上座。【例】  
ういぬ ピとう (上司)。ういんけー わーり  
(上座にどうぞいらっしやい)。

うい [ui] [名] [ういまい...] 上。陸。

うい [ui] [名] [ういまい...] 植え。植えること。  
【例】なつうい (夏植え)。ペーうい (早植え)。

うい [ui] [名] [う<sup>1</sup>いまい...] 老い。老いること。  
【例】ういピとう (老人)。

ういか [uika] [名] [ういかまい...] 火の玉。悪い  
ことの前兆。【類】「ピだま」。

ういが [uiga] [名] [ういがまい...] 初産。初子。  
【類】「ばつヴヱあ」。

ういがしー [uigaçi:] [名] [ういがし<sup>1</sup>ーまい...]  
植え加勢。植える手伝い。作物の植え付けの手  
伝い。

ういがす [uigasɯ] [動 I 類 c 型] [ういがしー、う  
いがしゃん] 泳がす。【例】いムー ういがし  
(海に泳がしなさい)。ういがしー あすびたり  
(泳がせて遊んだ)。ういがすばどう ちゅーり  
(泳がすことが体は丈夫になる)。

ういがすみり° [uigasɯmi:] [動 II 類 c 型] [ういが  
すみー、ういがすみん] 泳がす。【例】どうー  
とーかーしー ういがすみり° (自分一人で泳が  
せる)。

ういかでい [uikadi] [名] [ういかでいまい...] 追  
い風。順風。

ういギ [uikɣ] [動 I 類 c 型] [ういきー、ういか  
ん] 動く。働く。【例】ういかん (動かない。不  
動)。ていーぬ ういギ (手がじっとしていな  
い)。【類】「むいギ」。

ういギ [uigɣ] [動 I 類 c 型] [ういぎー、ういが  
ん] 泳ぐ。水かき。【例】ういギなるー (泳ぐ練  
習)。かだーがみ ういギ (遠くまで泳ぐ)。

ういギピとう [uikɣpɪtu] [名] [ういギピ<sup>1</sup>とうま  
い...] 働き者。

ういギむぬ [uikɣmunu] [名] [ういギむ<sup>1</sup>ぬまい...]  
働き者。

ういきょー [uikjo:] [名] [植] [う<sup>1</sup>いきょー「ま  
い...」 茴香。

うイクす [uɪkusɯ] [動 I 類 a 型] [うイクしー、う  
イクしゃん] 追い越す。乗り越える。【例】う  
やう ういくす (親を追い越す)。

ういぐすくかんどうぬ [uigusɯkukandunu] [名]  
[ういぐす<sup>1</sup>くかんどうぬまい...] 伝説上の人物。  
村史参照。

ういしゃ [uiɕa] [名] [ういしゃまい...] うわさ。  
うわさ話。

ういじゃん [uidʒan] [名] [ういじゃんまい...] 初  
産。初めてのお産。【類】「ばつじゃん」。

ういず [uidʒɪ] [名] [ういずまい...] 上地。上地  
集落。下地地区の名。

ういずー [uidʒɪ:] [名] [ういずーまい...] 上の畑。  
遠くの畑。

ういずー [uidʒɪ:] [名] 植えるための整地された  
畑。作付けする畑。

ういすば [uisɯba] [名] [ういすばまい...] 上唇。

うイだす [uɪdasɯ] [動 I 類 a 型] [うイだしー、う  
イだしゃん] 追い出す。追い払う。中から外へ  
追い出す。【例】ヴえーだう ういだし (ねずみ  
を追い出せ)。

ういつき [uitsɯki] [名] 植え付け。作付け。

ういっふえーま [uiffe:ma] [名] [地] [ういっふ  
えーまい...] 多良間島の〈とうぶり〉の名前。  
村史参照。

うイつみり° [uɪtsɯmi:] [動 II 類 a 型] [うイつみ  
ー、うイつみん] 追い詰める。捕獲する。網に  
魚を追い込む。【例】ぴんだう ういつみり° (山

羊を捕獲する)。  
 うイでいリ [uɪdi] [動Ⅱ類c型] [うイでいー、うイでいん] 追い出す。家の中から蚊や蠅を追出す。  
 ういなうす [uinaus] [動Ⅰ類a型] [ういなうしー、ういなうしゃん] 植え直す。植えた後に雨が降るときに言う。【例】ういなうしーなー (植えてよかったなあ)。【同】「ういの一す」。  
 ういぬ うだみ [uinu udami] [名] [ういぬうだ<sup>1</sup>みまい...] 多良間神社の神事。新暦一月一日。初興し。村民安泰を祈願する。村史参照。  
 ういぬ すま [uinu sɯma] [名] [ういぬす<sup>1</sup>ままい...] 上の島。都会。沖縄本島。  
 ういぬ たピ [uinu tabi] [名] [ういぬた<sup>1</sup>ピまい...] 役人の旅。出張。  
 ういぬ ばる [uinu paru] [名] [ういぬば<sup>1</sup>るまい...] 上の畑。集落に近いところの畑。【類】「ういばる」。  
 ういねーつず [uine:tsɯdzɯ] [名] [う<sup>1</sup>いねー<sup>1</sup>つずまい...] 多良間島の北側の高い嶺。  
 ういの一す [uino:sɯ] [動Ⅰ類a型] [ういの一しー、ういの一しゃん] 植え直す。植えた後に雨が降るときに言う。【例】ういの一しーなー (植えてよかったなあ)。【同】「ういなうす」。  
 ういばる [uibu:ru] [名] [ういば<sup>1</sup>るまい...] 上畑。集落に近いところの畑。【類】「ういぬばる」。  
 うイばるー [uɪparu:] [動Ⅰ類a型] [うイばるー、うイばらん] 追い払う。おっばらう。  
 ういび [uibi] [名] [うい<sup>1</sup>びまい...] 指。くうぶピとう) (親指)。くたーピとう) (人差指)。くたかましゃれ) (中指)。くじんふて) (薬指)。くこーるがま) (小指)。  
 ういびがき [uibigaki] [名] [ういびが<sup>1</sup>きまい...] 約束ごとの意味を表わす。指掛げんまん。指相撲。  
 ういびがに [uibigani] [名] [ういびが<sup>1</sup>にまい...] 指輪。さしばの爪を組み合わせて作る。女の子の遊びだった。  
 ういびじゃす [uibidzasɯ] [名] [ういびじゃ<sup>1</sup>すまい...] 指で指すこと。  
 ういびじゃん [uibidzan] [名] [ういびじゃ<sup>1</sup>んま

い...] 指算。指で計算すること。指折り数える。【類】「ういびぶり」。  
 ういびずギ [uibidzɯki] [名] [ういびず<sup>1</sup>ギまい...] 指で指す。【例】ういびずギうばー しゅん (指で指すことはするな)。  
 ういピとう [uipɪtu] [名] [ういピとうまい...] 老人。高齢者。  
 ういピとうじゃー [uipɪtudzɑ:] [名] [ういピとうじゃ<sup>1</sup>ーまい...] 老人座。スツウプナカの組織。  
 ういピとうじゃまー ねーん [uipɪtudzama: nen] [連語] 老人が若者のように働くときに言う。  
 ういピとうしゅー [uipɪtuɕu:] [名] [ういピとうしゅ<sup>1</sup>ーまい...] 老人の男性。  
 ういピとうぷーギ [uipɪtupu:gi] [名] [ういピとうぷー<sup>1</sup>ギまい...] 老人めいたしぐさ。  
 ういピとうむぬゆム [uipɪtumunujum] [名] [ういピとうむぬゆムまい...] 老人めいた話しこぼ。  
 ういピとうムま [uipɪtumma] [名] [ういピとうム<sup>1</sup>ままい...] 老人の女性。  
 ういびぬ しゃギ [uibinu ɕaki] [名] [ういび<sup>1</sup>ぬしゃギ<sup>1</sup>まい...] 指の先。【類】「ういびぬしゅら」。  
 ういびぬ しゅら [uibinu ɕura] [名] [ういび<sup>1</sup>ぬしゅら<sup>1</sup>まい...] 指の先。【例】ういびぬ しゅらうどう ギすいーねーん (指先を切ってしまった)。【類】「ういびぬしゃギ」。  
 ういびばん [uibiban] [名] [ういびば<sup>1</sup>んまい...] 指判。母印。  
 ういびふくム [uibifukum] [名] 指をくわえること。乳児が無意識に指をくわえること。  
 ういびぶり [uibibu] [名] 指折り。指計算をすること。【例】ういびう ぶりー まつ (指折り待つ)。  
 ういふつ [uifutsɯ] [名] [ういふつまい...] 植え口。植え初めの所。作物を最初に植える所。  
 うイまーす [uɪma:sɯ] [動Ⅰ類a型] [うイまーしー、うイまーしゃん] 追い回す。追い回して一ヶ所に集める。牧場の家畜を一ヶ所に集める。【例】ぴんだぬ っふあう うイまーす (山羊の子たちを追い回して一箇所に集める)。

ういまーす [uima:s] [動I類 a型] [ういまーしー、ういまーしゃん] 植え廻す。植え終わる。作付が終了する。【例】すっじゃう ういまーしー (さとうきびを植え終わった)。

ういまーり [uima:] [動I類 a型] [ういまーりー、ういまーらん] 植え廻る。植え巡る。いくつもの畑に作付けする。【例】うまかまぬ ぱるー ういまーり (あちこちの畑を植え廻る)。

ういまーる [uima:ru] [名] [ういまーるまい...] 植え順番。順番よく作付けする。グループで順番を決めて作物を植えること。

ういやーじゅに [uija:dzuni] [名] [う<sup>1</sup>いやー<sup>1</sup>じゅにまい...] スツブナカの祭祀の組織。

ういやヴヴィ [uijavv] [動I類 a型] [ういやヴヴィー、ういやヴヴィあん] 植え損る。生育の悪いこと。発芽の悪いこと。

ういやまがらす [uijamagaras] [動I類 a型] [ういやまがらしー、ういやまがらしゃん] 追っ払う。

ういり [ui] [動II類] [ういー、ういん] [ういまい...] 植える。作付する。【例】ムーゆばー ういまん (さつまいもは作らない)。ういった (植え終わった)。ういたムドー (植えたぞ)。くぬないゆどう ういずー (この苗を植えるべきだ)。すっじゃういが (さとうきびを植えにだ)。

ういり [ui] [動II類] [ういー、ういん] [ういまい...] 老いる。年を取る。年寄りになる。【例】ういーどう ぶり (老いている)。

ういり [ui] [動II類 a型] [ういー、ういん] 男根の勃起 (ぼっき)。起り立つ。【例】ういん (男根が勃起しない)。

ういんぎ [uink] [動I類 c型] [ういんきー、ういんかん] 追い込む。

うー [u:] [動I類 a型] [わいー、わーん] 追う。追い払う。追いかける。目標に向かって進む。追放する。【例】ヴえー ぶり (追っかけている)。ちびう ヴえー ぶり (後を追っている)。ちびう わーいん (後を追いつけられない)。ヴえー ぶり (追い払っている)。ぱイう ヴえー ぶり (蠅を追い払っている)。

うー [u:] [動I類 c型] [わいー、わーん] 負う。

背負う。心の重荷を身に受ける。責任を負う。

ヴヴァ [vva] [名] [代] [ヴヴァまい...] 君。あんた。おまえ。二人称の代名詞。【例】ヴヴァー (君は)。ヴヴァう シャーリー くーていームドー (君を連れて来るようにとのことだよ)。ヴヴァあが えーぐー する (君が歌いなさい)。ヴヴァあとう ばんとう ふたーり (君とぼくと二人)。ヴヴァまい あが ちびから くー (君もぼくの後について来い)。ヴヴァあんど うっふいずー (君にくれるよ)。ヴヴァあな (君は大変だ。おまえは大変だ。不正なことをやったときに言う)。ヴヴァあどう やり (君は大変だ)。

ヴヴァー くぬ がぎ [vva: kunu gak] [連語] [代] おいこの野郎。この餓鬼。子どもを叱るときに言う。

ヴヴァあが しゃく [vvaga çaku] [連語] [代] この野郎。【例】ヴヴァあが しゃこー くまんけー ギな (この野郎、ここに来るな)。

ヴヴァあがたーぬ むぬ [vvagata:nu munu] [名][代] [ヴヴァあがたー<sup>1</sup>ぬむぬ<sup>1</sup>まい...] お前の馬鹿。

ヴヴァあがたーぬ ムめ [vvagata:nu mme] [名][代] [ヴヴァあがたー<sup>1</sup>ぬムめまい...] お前達の馬鹿ども。

ヴヴァあた [vvata] [名] [代] [ヴヴァあたまい...] 君たち。おまえたち。二人称の複数形。【例】ヴヴァあたーあとうから くー (君たちは後から来なさい)。

ヴヴァあたが ムめ [vvataga mme] [名] [代] [ヴヴァあたがム<sup>1</sup>めまい...] あなたたち。

ヴヴァあつすうまい [vvatssumai] [連語] [代] 君とあろう者までも。【例】ヴヴァあつすうまい まーつきどう あたりな (君とあろう者までも一緒だったのか)。

うーあみ [u:ami] [名] [うーあみまい...] 大雨。どしゃぶり。

うーあり [u:ari] [名] [うーありまい...] 大荒れ。暴風。荒波。台風。話し合いが荒れること。

うーあわてい [u:avati] [名] [うーあわ<sup>1</sup>ていまい...] 大あわて。大急ぎ。

ヴヴィ [vv] [動I類 a型] [ヴヴィー、ヴヴィあん] 売る。【例】ヴヴァいん (売れない)。くぬ う

すう ヴヴァあずー (この牛を売るべきだ)。  
 ヴヴァイぬくり<sup>°</sup> [vɔvɔnuku] [名] [ヴヴァイぬくり<sup>°</sup>まい...] 売れ残り。売れ余り。残りもの。  
 うヴヴァいり [uvvi] [動 II 類 a 型] [うヴヴァいー、うヴヴァいん] 怯える。恐れる。【例】ないぬ ばーすんや うヴヴァいどうす (地震のときは怯える)。【同】「いヴヴァいり」。  
 うーヴヴァうり<sup>°</sup> [u:vvu] [名] [植] [うーヴヴァうりまい...] 瓜。まくわうり。  
 うーヴヴァうりつず [u:vvu[tsɔdzɔ] [名] [う<sup>°</sup>ーヴヴァうり<sup>°</sup>つずまい...] 大立嶺の按司が中国から着いた場所とされる。  
 うーがき [u:gaki] [名] [うーがきまい...] 大掛け。大きな仕掛け。大きな賭け。  
 うーかた [u:kata] [名] [うーかたまい...] 大方。大部分。  
 うーがた [u:gata] [名] [うーがたまい...] 大型。大型工場。大型車。  
 うーがら [u:gara] [名] 大柄。大きな模様。体格の大きい人。  
 うーき [u:ki] [名] [うー<sup>°</sup>きまい...] 大桶。シートヤーのきび汁を入れる桶。  
 うーぐとう [u:gutɔ] [名] [うーぐとうまい...] 大ごと。重大事件。  
 うーさー [u:sa:] [名] [うーさーまい...] 大差。身長差の差。値段の差額。昔の船と今の船の速度の差。天と地の差。  
 うーじかき [u:dzikaki] [名] [うーじかきまい...] 大仕掛け。大きな計画。【類】「うーがき」。  
 うーしき [u:ɕiki] [名] [うーしきまい...] 大時化。台風。大荒れ。  
 うーしゃ [u:ɕa] [名] [うーしゃまい...] 大きさ。【例】うーしゃめー (大きさ比べ)。  
 うーしゃーり<sup>°</sup> [u:ɕa:] [形] [うーしゃまい...] 大。大きい。【例】うーあみ (大雨)。うーや (父母の兄)。あがどう うーしゃーり<sup>°</sup> (ぼくの方が大きいよ)。【同】「うぷしゃーり<sup>°</sup>」。  
 うーしゃめー [u:ɕame:] [名] [うーしゃめーまい...] 大きさ比べ。背比べ。広さ比べ。高さ比べ。  
 うーしゃわぎ [u:ɕavagi] [名] [うーしゃわ<sup>°</sup>ぎま

い...] 大騒ぎ。危機が迫ってくる時の民衆の騒ぎ。特別な人物の出現に騒ぐこと。  
 うーしゆ [u:ɕu] [名] [うーしゆまい...] 大潮。干満の差が大きいこと。旧暦の1日前後と15日前後の潮。  
 うーしゆん [u:ɕun] [名] [うーしゆ<sup>°</sup>んまい...] 大損。賭けごとの損。  
 うーじり [u:dzi] [動 II 類 a 型] [うーじー、うーじん] 応じる。承諾する。納得する。  
 うーしわ [u:ɕiva] [名] [うーしわまい...] 大きな心配。大きな思い焦れ。  
 うーす [u:sɔ] [動 I 類 c 型] [うーしー、うーしゃん] 積む。乗せる。運ぶ。負わず。【例】くるまん うーす (車に乗せる)。ばしゃん うーしーくー (馬車に乗せて来なさい)。  
 うーず [u:dzɔ] [助数] さとうきびの本数の呼び方。【例】ピとうーず (一本)。  
 うーすぐとう [u:sgutu] [名] [うーすぐとうまい...] 大きな仕事。公的な大事業。  
 うーすでいまー [u:ɕdima:] [名] 運び賃。手間賃。馬車賃。  
 うーすにー [u:ɕni:] [名] [うーすに<sup>°</sup>まい...] 運び荷物。積み荷。  
 うーずる [u:dzɔru] [名] [うーずるまい...] 大弦。三味線の一弦のこと。  
 うーだすかり<sup>°</sup> [u:dasɕka] [名] [うーだすかり<sup>°</sup>まい...] 大助かり。子どもたちの手伝い加勢には大助かりだ。  
 うーつつ [u:tsɔtsɔ] [名] [うーつつまい...] 大錠。建築の土台を造営する道具。金属の大槌は杭を打ち込むのに使用する。大ハンマー。  
 うーっふいり [u:ffi] [動 II 類 c 型] [うーっふいー、うーっふいん] おぼれる。水泳中におぼれる。酒におぼれる。身を持ち崩す。  
 うーつる [u:tsɔru] [名] [うーつるまい...] 大型の鍋。〈しーとーやー〉の大きな鍋。  
 うーていがら [u:tigara] [名] [うーていがらまい...] 大手柄。大きな功績。目覚しい働き。  
 うーでいき [u:diki] [名] [うーでいきまい...] 上出来。成績優秀。作物の出来のすばらしいこと。

うーでいき [u:diki] [名] [うーでいきまい...] 大漁。豊漁。豊作。満作。

うーにんじゅ [u:nindzu] [名] [うーにん<sup>1</sup>じゅまい...] 大人数。大所帯。工事の人夫の多いこと。大勢。

うーぱば [u:paba] [名] [うーぱばまい...] 大幅。【同】「うぶぱば」。

うーぱんた [u:panta] [形] [うーぱんたまい...] 大繁多。大忙し。多忙。猫の手も借りたい忙しさ。

うーぶば [u:buba] [名] [うーぶばまい...] 両親より年上のおば。両親より年上の女の人。

うーまうき [u:mauki] [名] [うーまうきまい...] 大儲け。【同】「うーもーき」。

うーまき [u:maki] [名] [うーまきまい...] 大負け。賭けに負けること。

うーまく [u:maku] [名] [うーまくまい...] やんちゃ坊。腕白坊主。生意気な子。

うーむとう [u:mutu] [名] [うーむとうまい...] 大元。本家。一門一族の中心的家筋。

うーむぬ [u:munu] [名] [うーむぬまい...] 大物。偉人。寛大な人。スケールの大きい人。

うームまい [u:mmai] [名] [うームま<sup>1</sup>まい...] 鬼ごっこ。

うーもーき [u:mo:ki] [名] [うーもーきまい...] 大儲け。大金を手にする。【同】「うーまうき」。

うーや [u:ja] [名] [うーやまい...] 大父。父母の兄。伯父。【類】「うぶうや」。

ヴえー [ve:] [感] [指] ほら。こら。近くにある物を指すときに言う。【例】ヴえー みーだ (ほら見てごらん)。

ヴえー いギ [ve: iki] [連語] 追って行く。

ヴえー ギー [ve: ki:] [連語] 追って来る。【例】ちびう ヴえー ギー (後を追って来る)。

ヴえー とうばす [ve: tubas:] [連語] 追い払う。追い行かせる。【例】やまにかう ヴえー とうばす (野良猫を追っ払う)。

ヴえーがり [ve:ga] [動 I 類 a 型] [ヴえーがりー、ヴえーがらん] 成長する。心身ともに成長する。成人になる。作物が生長する。家畜の体が大きくなる。

ヴえーき [ve:ki] [名] [ヴえー<sup>1</sup>きまい...] 金持ち。【同】「うやき」。

ヴえーきやー [ve:kija:] [名] [ヴえー<sup>1</sup>きやーまい...] 金持ちの家。財産家。【同】「うやきやー」。

ヴえーぐ [ve:gu] [名] [ヴえーぐまい...] 上座。座敷の奥の方。年長者の座する場所。【例】ヴえーぐんけー うとうむー しらいー わーり (上座にいらしゃってください)。【類】「ヴえーぐにー」。

ヴえーぐにー [ve:guni:] [名] [ヴえーぐにーまい...] 上座。座敷の奥の方。年長者の座する場所。【例】ヴえーぐにーんけー うとうむしる (上座に案内しなさい)。【類】「ヴえーぐ」。

ヴえーしむぬ [ve:šimunu] [名] [ヴえーしむぬまい...。ヴえーしむ<sup>1</sup>ぬまい...] 供えもの。仏壇に供えたもの。

ヴえーしり [ve:ši:] [動 II 類 a 型] [ヴえーしー、ヴえーしん] 供える。仏壇や御嶽に供えものをする。差し上げる。年長者に物を差し上げる。

ヴえーだ [ve:da] [名] [ヴえー<sup>1</sup>だまい...] ねずみ。

ヴえーだぬ じゅーふしや [ve:danu džū:fuša] [名] [植] [ヴえーだ<sup>1</sup>ぬじゅー<sup>1</sup>ふしやまい...] おおぼこ。

ヴえーだまり [ve:dama:] [名] [地] [ヴえー<sup>1</sup>だまりまい...] 多良間島の〈とうぶり〉の名前。村史参照。

ヴえーだやま [ve:dajama] [名] [ヴえー<sup>1</sup>だやまい...] 鼠捕り器。

ヴえームま [ve:mma] [名] [ヴえーム<sup>1</sup>まい...] 現地妻。役人の相手をする女。多良間しゅんかに参照。

ヴえームましゃーり [ve:mmā:ši:] [形] [ヴえームま<sup>1</sup>しゃまい...] うらやましい。【例】ヴえーましゃん なん (うらやましくてたまらない)。かりが すっじゃぬ ヴえームますむぬ (彼のさとうきびはうらやましい)。

ヴえがった [ve:gatta] [名] [指] [ヴえがっ<sup>1</sup>たまい...] この奴。こいつ。

ヴえぬ [venu] [連体] [指] この。【例】ヴえぬ むのー んない (ほらこの人は退きなさい)。【同】

「えぬ」。

ヴえま [vema] [名] [指] [ヴえ<sup>1</sup>まん<sup>1</sup>まい...] ここ。【例】ヴえまから くー (ここから来なさい)。【同】「えま」。

ヴえまた [vemata] [名] [指] こちら。こちら辺。【同】「えまた」。

ヴえまたムーな [vematammna] [名] [指] [ヴえ<sup>1</sup>また<sup>1</sup>ムーなまい...] こちら辺。【同】「えまたムーな」。

ヴえまムーな [vemammna] [名] [指] [ヴえ<sup>1</sup>ま<sup>1</sup>ムーなまい...] ここ辺り。こちら辺。この辺り。【同】「えまムーな」。

ヴえまんか [vemanka] [連語] [指] この中に。この中。【同】「えまんか」。

ヴえムぱら [vempara] [名] [指] [ヴえ<sup>1</sup>ムぱらまい...] こちら側。【例】ヴえムぱらから あげき (こちら側から歩きなさい)。【同】「えムぱら」。

ヴえリ [ve] [名] [指] [ヴえ<sup>1</sup>リ<sup>1</sup>まい...] これ。この人。【例】ヴえリどう あが むぬ (これがぼくのもの)。ヴえれー たうが (この人は誰か)。ヴえリが むてい (この人の分だ)。【同】「えリ」。

ヴえリた [velta] [名] [指] [ヴえ<sup>1</sup>リ<sup>1</sup>た<sup>1</sup>まい...] これら。これたち。【例】ヴえリたが ぱる (これらの畑)。【同】「えリた」。

ヴえんぎた [venkɪta] [名] [指] [ヴえん<sup>1</sup>ぎ<sup>1</sup>たまい...] これら。これたち。【例】ヴえんぎたが ぱる (これらの畑)。【同】「えんぎた」。

ヴえんぎたが ムめ [venkɪtaga mme] [名] [指] [ヴえん<sup>1</sup>ぎ<sup>1</sup>たがム<sup>1</sup>めまい...] これら。これたち。【同】「えんぎたがムめ」。

ヴえんけ [venke] [名] [指] [ヴえん<sup>1</sup>けまい...] これら。これたち。【例】ヴえんけが ぱる (これらの畑)。【同】「えんけ」。

ヴえんけが ムめ [venkega mme] [名] [指] [ヴえん<sup>1</sup>け<sup>1</sup>がムめ<sup>1</sup>まい...] これら。これたち。【同】「えんけがムめ」。

ヴえんしー [venci:] [副] [指] こんなに。【例】ヴえんしー する (こんなにしなさい)。【同】「えんしー」。

ヴえム [vom] [擬] 急に立ち上がる様。勢いよく

立つこと。

うが [uga] [連体] それほどの。大変。【例】うが たかしゃぬ むぬ (そんなに高価なもの)。

うかーすしゃーリ<sup>1</sup> [uka:sɯɕa:] [形] [うかーす<sup>1</sup>しゃまい...] ひどい。おそろしい。すばらしい。【例】うかーすピとう (すばらしい人)。

うかーすむぬ [uka:sɯmunu] [名] [うかーす<sup>1</sup>むぬまい...] 立派なもの。上等物。すばらしいもの。おそろしいもの。ひどいもの。学問の優れていること。体力の強いこと。社会的に有名なこと。

うかう [ukau] [名] [うか<sup>1</sup>うまい...] 線香。【同】「うこー」。

うかがう [ukagau] [動I類 a型] [うかげー、うかがーん] 伺がう。尋ねる。【同】「うかぐー」。「うかごー」。

うかがリ [ukaga] [動I類 a型] [うかがりー、うかがらん] 浮き上がる。

うかぎ [ukagi] [名] [うか<sup>1</sup>ぎまい...] おかげ。加護。恩恵。【例】みどうムぬ うかぎ (妻のお加護)。

うかぐー [ukagu:] [動I類 a型] [うかげー、うかがーん] 伺がう。尋ねる。【例】うかぐーぬ ばりら ねーん (質問して悪いことはない)。【同】「うがかう」。「うかごー」。

うかごー [ukago:] [動I類 a型] [うかげー、うかがーん] 伺がう。尋ねる。【同】「うがかう」。「うかぐー」。

うかず [ukadzɯ] [名] [うか<sup>1</sup>ずまい...] おかず。副食物。

うがった [ugatta] [名] [指] [う<sup>1</sup>が<sup>1</sup>った<sup>1</sup>まい...] そ奴。こ奴。この野郎。【例】うが<sup>1</sup>った<sup>1</sup>うばーしゅいんな (そいつをば仲間にするな)。

うかつとう [ukattu] [副] うっかり。軽率に。簡単に。不注意に。迂闊。【例】うかつとうん かんがいーや ならんどー (軽く考えてはいけないうぞ)。

うかつぱ [ukappa] [名] [うかつ<sup>1</sup>ぱまい...] 女の子の髪型。

うかば [ukaba] [名] [地] [うか<sup>1</sup>ばまい...] 多良間島の〈とうぶり〉の名前。村史参照。

うかばいん [ukabain] [連語] 供養が足りない。うかばれない。報われない。

うかばぎー [ukabagi:] [名] [植] [うか<sup>1</sup>ばぎーまい...] くるよな。

うかばやま [ukabajama] [名] [うか<sup>1</sup>ばやままい...] 地名。くるよなの木がたくさん生えている所。

うかびり [ukabi] [動I類 a型] [うかびりー、うかびらん] 受け取る。なくした物を拾った人から受け取る。魂を呼び戻す。

うかま [ukama] [名] [うか<sup>1</sup>ままい...] かまど。台所。

うかまいし [ukamaiçi] [名] [うかまい<sup>1</sup>しまい...] 鍋を乗せるための急ごしらえの三個の石。【同】「うかまいす」。

うかまいす [ukamais] [名] [うかまい<sup>1</sup>すまい...] 鍋を乗せるための急ごしらえの三個の石。【同】「うかまいし」。

うがまいり [ugamai] [動II類 c型] [うがまいー、うがまいん] 尊敬される。【例】ムたばるとうゆめー うがまいり (土原豊見親は崇められる)。

うかまがム [ukamagam] [名] [うかまが<sup>1</sup>ムまい...] かまどの神。火の神。台所の神。

うがます [ugamas] [動I類 c型] [うがましー、うがましやん] 拝ませる。手を合わせる。崇めさせる。崇拜させる。

うがム [ugam] [名] [地] [うがム<sup>1</sup>ーまい...] 大神。大神島。【類】「うがムずま」。

うがム [ugam] [名] [うが<sup>1</sup>ムまい...] 拝み。祈願。神事。神事を行うこと。

うがム [ugam] [動I類 c型] [うがみー、うがまん] 拝む。崇める。祀る。祈願する。神仏に手を合わす。【例】うがみ (拝め。手を合わしなさい)。うがみー わーり (手を合わせて下さい)。

うがム [ugam] [動I類 c型] [うがみー、うがまん] いただく。神に供えたものをいただく。目上の人からものをいただく。食べ物を食べる (謙譲語)。

うがム [ugam] [動I類 c型] [うがみー、うがま

ん] お目にかかる。目上の人に会う。老人・先輩に久しぶりに出会う。【例】きうがみしーど うがム (やっと今日お会いする)。

うがムがまゆーじゅ [ugamgamaju:dzu] [名] [うがムが<sup>1</sup>まゆーじゅまい...] むらたかび。

うがムじゅーしゃーり [ugamdzu:ça:] [形] [うがムじゅー<sup>1</sup>しゃまい...] 久しぶりである。めったに合えない。【例】うがムじゅーむぬ (拝見できない)。

うがムずま [ugamdzu:ma] [名] [地] [うが<sup>1</sup>ムずままい...] 大神島。【類】「うがム」。

うがムばていらいん [ugampatirain] [連語] 身分の高い人とは相手ができないこと。

うかり [uka] [動I類 c型] [うかりー、うからん] 受かる。合格する。

うかりやー [ukalja:] [名] [うか<sup>1</sup>りやーまい...] 御飯屋。役所。

うかりよーい [ukaljo:] [名] [うかりよー<sup>1</sup>まい...] 合格祝い。

うかん [ukan] [名] [うか<sup>1</sup>んまい...] 熱いこと。食べ物の冷えないこと。【例】うかんぬ ありけ (食べものが冷えないうちに)。

うがん [ugan] [名] [うが<sup>1</sup>んまい...] 御願。拝所。神事を執り行うところ。

うがんじゅ [ugandzu] [名] [うがん<sup>1</sup>じゅまい...] 御願所。拝所。神社。【類】「うたき」。

うがんしゅー [ugançu:] [名] [うがんしゅー<sup>1</sup>まい...] 御願書のこと。豊見親組の船出の場面に読みあげる。八月おどり参照。

うがんぶとうき [uganputuki] [名] [うが<sup>1</sup>んぶとうき<sup>1</sup>まい...] 御願解。旧暦9月に行われる神事。

うギ [uk] [動I類 c型] [うきー、うかん] 置く。【例】うまん うギな (そこに置くな)。【類】「うつぎ」。

うギ [uk] [動I類] [うきー、うかん] 動詞の接続形に続いて、「～しておく」の意味を表す。【例】びーるー ピぐらしー うき (ビールを冷やしておきなさい)。

うギ [uk] [動I類] [うきー、うかん] 動詞の接続形に続いて、反事実的な意味を表わす。【例】

あめりかぐんぬ じょーりくーしー ぶたかー  
だいずどう ありー うギ (アメリカ軍が上陸  
していたら大変だったはず)。  
うギ [ukɯ] [動I類] [うき一、うかん] 動詞の接  
続形に続いて、間接的証拠を表わす。【例】あみ  
ぬどう つふいー うギ (雨が降ったようだ)。  
うギ [ukɯ] [動I類c型] [うき一、うかん] 浮く。  
水に浮く。宙に浮く。【例】みずん うかん (水  
に浮かない。泳げないこと)。あーぬ うギ (泡  
が浮く)。  
うき [uki] [名] [う<sup>1</sup>きまい...] 沖。大海。大洋。  
【例】うきんけー (沖へ。沖釣り)。【類】「ぶか  
いム」。  
うき [uki] [名] [う<sup>1</sup>きまい...] 浮き。釣り用具。  
釣りの目印になるもの。  
うき [uki] [名] [う<sup>1</sup>きまい...] 受け。請け。受け  
ること。請けること。【例】うきつき (受け付  
け)。うきおい (請け負い)。  
うき [uki] [名] [うきま<sup>1</sup>い...] 起き。起きるこ  
と。【例】ペーうき (早起き)。  
うギー [ukɯ:] [名] [うギーまい...] 燠。炭火。種  
子火。  
うきうい [ukiui] [名] [うきう<sup>1</sup>いまい...] 請け負  
い。請け負い業。  
うきがた [ukigata] [名] [うきが<sup>1</sup>たまい...] 起き  
る頃。目が覚める時分。  
うききたい [ukikutai] [名] [うききた<sup>1</sup>いまい...]  
受け答え。応答。【例】うききたいゆ ましやげ  
ーん しる (応答は正しくやれ)。  
うきぐム [ukigum] [動I類c型] [うきぐみ一、  
うきぐまん] 理解する。納得する。話の内容を  
飲み込むことがはやい。  
うきぐムじゅーしゃーり [ukigumdzu:ɕa:] [形]  
[うきぐムじゅー<sup>1</sup>しゃまい...] 理解が早い。話  
の内容を飲み込むことがはやい。  
うぎすぎー [ugisɯgi:] [名] [植] [うぎすぎ<sup>1</sup>ーま  
い...] もくたちばな。【同】「うぐすぎー」。  
うきすぐとう [ukisɯgutu] [名] [うきすぐ<sup>1</sup>とうま  
い...] 請け仕事。請け負い仕事。  
うきずぶん [ukidzɯbun] [名] [うきずぶ<sup>1</sup>んまい...]  
起きる時分。赤ちゃんの目覚めを言う。

うきつき [ukitsɯki] [名] [うきつ<sup>1</sup>きまい...] 受付。  
受け付ける人。  
うきとうみり [ukitumi] [動II類c型] [うきと  
うみ一、うきとうみん] 受けとめる。ボールを  
受け止める。納得する。事態を自分の中に取り  
込む。  
うギとうり [ukɯtu] [名] [うギとうりまい...] 燠  
取り。たばこぼん。炭火入れ。  
うきどうり [ukiduru] [動I類c型] [うきどうり  
一、うきどうらん] 受け取る。渡されるものを  
手に取る。人の話の意味を解釈する。  
うきどうり [ukiduri] [名] [うきどうりまい...] 沖  
の凧ぐこと。沖の波が静かなこと。  
うギなー [ukɯna:] [名] [うギな<sup>1</sup>ーまい...] 沖縄。  
沖縄県のこと。沖縄本島とその周辺にも言う。  
【例】うギなーんけー (沖縄本島へ)。うギなー  
みーが (沖縄本島へ旅する)。  
うギなーたビ [ukɯna:tabɯ] [名] [うギなーた<sup>1</sup>ビ  
まい...] 沖縄本島への旅。沖縄旅。  
うギなーふつ [ukɯna:futsɯ] [名] [うギなーふ<sup>1</sup>つ  
まい...] 沖縄の言葉。沖縄語。沖縄県の方言。  
うギないり [ugɯnai] [動II類c型] [うギない一、  
うギないん] 集める。収集する。【例】ふしゃう  
うギないり (刈った草を集める)。しゃしんゆ  
うギないり (写真を収集する)。【同】「うぐな  
いり」。  
うギなう [ugɯnau] [動I類c型] [うギね一、う  
ギなーん] 補う。補充する。不足したものを満  
たす。【類】「たらーす」。  
うギぬ なム [ukɯnu nam] [名] [うギ<sup>1</sup>ぬなム<sup>1</sup>ま  
い...] 沖の波。沖の波を注意深く見る人がいた。  
その人は運搬船の船員たちであった。  
うギビ [ukɯbi] [名] [うギ<sup>1</sup>びまい...] 凶日。  
うきむつ [ukimutsɯ] [名] [うきむ<sup>1</sup>つまい...] 受  
け持ち。分担。担任の先生。担当。  
うきり [uki] [動II類c型] [うき一、うきん] 起  
きる。起床する。【例】みだ うきん (まだ起  
きない)。るくじどー、うきだ (6時だぞ、起  
きろ)。うが ペーしゃ うきまん (そんなに早  
く起きないよ)。つふあぬ うきんけー かーうり  
(子どもが起きないうちに水汲みだ)。あが う

きんけー 心ーな (ぼくが起きないうちは食べるな)。  
 うきり [uki] [動II類c型] [うきー、うきん] 請ける。受ける。受験する。【例】すぐとうー うきり (仕事を請ける)。しきんゆ うきり (受験する)。  
 うきん [ukin] [名] [植] [うき<sup>1</sup>んまい...] うこん。  
 うく [uku] [名] [うく<sup>1</sup>んまい...] 奥。奥の方。奥の座。山の奥。  
 うくしゃん [ukušan] [名] [うくしゃ<sup>1</sup>んまい...] 奥さん。妻。家内。  
 うくす [ukusʃ] [動I類c型] [うくしー、うくしゃん] 起こす。【例】うくしー つーう ふあーし (起こして乳をあげなさい)。あたー ペーし うくし (明日は早く起こしてよ)。うくしゃまんにば どうーしー うきる (起こさないから自分で起きろ)。みだ うくしゃん (まだ起こしていない)。なまー うくすな (今は起こすな)。  
 うくす [ukusʃ] [動I類c型] [うくしー、うくしゃん] 包丁で魚の身をさばく。魚を三枚下ろしにする。【例】イズうぬ ながにう うくす (魚の身をさばく)。  
 うくす [ukusʃ] [動I類c型] [うくしー、うくしゃん] へらや鍬で畑を耕す。  
 うくす [ukusʃ] [動I類c型] [うくしー、うくしゃん] 肥料を家畜小屋から出す。【例】びんだだつから つふあいゆ うくす (山羊の小屋から肥料を出す)。  
 うぐすがとうりがま [ugusʃgatu|gama] [名] [うぐす<sup>1</sup>がとうりがま<sup>1</sup>まい...] 遊びの一つ。二人の人が後ろ向きになって、片足を掛け、片足でジャンプする。歌を伴う。  
 うぐすぎー [ugusʃgi:] [名] [植] [うぐすぎ<sup>1</sup>ーまい...] もくたちばな。【同】「うぎすぎー」。  
 うくたり [ukuta] [動I類a型] [うくたりー、うくたらん] 怠る。なまける。  
 うぐなーらす [uguna:rasʃ] [動I類c型] [うぐなーらしー、うぐなーらしゃん] 集める。集合させる。  
 うぐなーり [uguna:] [動I類c型] [うぐなーり

ー、うぐなーらん] 集まる。集会する。【例】うくばんけー うぐなーり (役場に集会だ)。うぐなーりー わーり (集まって下さい)。ういピと うぬ うぐなーり (老人の集会)。  
 うくない [ukunai] [名] [うくな<sup>1</sup>いまい...] 行い。言動。行動。  
 うぐない [ugunai] [名] [うぐないまい<sup>1</sup>い...] 拾い。拾うこと。集め。集めること。ごみ拾いのこと。【例】うぐないむぬ (集めたもの)。  
 うぐないり [ugunai] [動II類c型] [うぐないー、うぐないん] 拾う。集める。ごみ拾いをする。【例】たむぬー うぐないる (薪を集めなさい)。うぐねー くー (拾ってきなさい)。【同】「うぎないり」。  
 うくぬ ていー [ukunu ti:] [名] [うく<sup>1</sup>ぬていー<sup>1</sup>まい...] 奥の手。秘策。  
 うくばー [ukuba:] [名] [うくば<sup>1</sup>ーまい...] 奥歯。臼歯。  
 うくべう [ukubeu] [名] [うくべうまい...] 臆病。  
 うくら [ukura] [名] [植] [うくらまい...] おくら。  
 うくらす [ukurasʃ] [動I類a型] [うくらしー、うくらしゃん] 送らす。見送らせる。【例】うくらし (送らせよ)。  
 うくらす [ukurasʃ] [動I類a型] [うくらしー、うくらしゃん] 遅らす。遅らせる。【例】うくらし (遅らせよ)。じかんゆ うくらし (時間を遅らせよ)。  
 うくり [uku] [動I類a型] [うくりー、うくらん] 送る。【例】うくり (送りなさい)。ていが りう うくり (手紙を送りなさい)。ふにから うくりたム (船から送った)。うくら (送ろう。見送りしよう)。  
 うくり [uku] [動I類c型] [うくりー、うくらん] 起こる。物事が起きる。勃発する。  
 うくり [uku] [動I類c型] [うくりー、うくらん] 興る。  
 うくり [ukuri] [名] [うくりまい<sup>1</sup>い...] 遅れ。遅れること。【例】とうきーぬ うくり (時計がおくっていた)。  
 うぐり [ugu] [動I類c型] [うぐりー、うぐら

ん) おごる。食事をおごる。  
 うぐり [ugu] [動 I 類 c 型] [うぐりー、うぐらん] おごる。驕る。いい気になる。  
 うくりじん [uku[dzin] [名] [うくりじ<sup>1</sup>まい...] おくり膳。おくり前。模合の金のおくり前。祝い事に招待客が欠席したとき、その家に馳走を届けること。【類】「うくりまい」。  
 うくりにつ [uku[nitsɯ] [名] [うくりに<sup>1</sup>つまい...] ひきつけ。病気のこと。  
 うくりまい [uku[mai] [名] [うくりま<sup>1</sup>まい...] 模合のおくり前のこと。【類】「うくりじん」。  
 うくりムかい [uku[mkai] [名] [うくりムか<sup>1</sup>まい...] 送り迎え。送迎。  
 うくりり [ukuri] [動 II 類 a 型] [うくりー、うくりん] 遅れる。【例】うくりー ギー (遅れて来る)。  
 うぐりり [uguri] [動 II 類 c 型] [うぐりー、うぐりん] 怒る。叱る。  
 うこー [uko:] [名] [うこ<sup>1</sup>まい...] 線香。【同】「うかう」。  
 うさぎ [usagi] [名] [うさぎまい...] 兎。昔はいなかった。  
 うさぎぬ みー [usaginu mi:] [名] [うさぎぬみ<sup>1</sup>まい...] 兎の目。目の赤いこと。  
 うさぎぬ みム [usaginu mim] [名] [うさぎぬみ<sup>1</sup>ムまい...] 兎の耳。耳の長いこと。  
 うさぎぬ やー [usaginu ja:] [名] [うさぎぬや<sup>1</sup>まい...] 兎小屋。  
 うじ [udzi] [名] [う<sup>1</sup>じまい...] おじ。おじさんのこと。【類】「ぶだ」。  
 うしあばなギ [uɕiapanakɯ] [動 I 類 a 型] [罵声] [うしあばなきー、うしあばなかん] 行ってしまふ。帰っていく。【例】うしあばなき (行ってしまえ)。  
 うしいり [uɕiiri] [名] [うしい<sup>1</sup>りまい...] 押し入れ。  
 うしゃい [uɕai] [名] [うしゃいまい...] 肴。酒の肴のこと。  
 うしゃいつギ [uɕaitsɯkɯ] [動 I 類 a 型] [うしゃいつきー、うしゃいつかん] 押さえつける。動きを止めるために押える。

うしゃいらいり [uɕairai] [動 II 類 a 型] [うしゃいらいー、うしゃいらいん] 押さえられる。【例】うしゃいらりー (押さえつけられた)。  
 うしゃいらりり [uɕairari] [動 II 類 a 型] [うしゃいらりー、うしゃいらりん] いじめられる。馬鹿にされる。侮辱される。  
 うしゃいり [uɕai] [動 II 類 a 型] [うしゃいー、うしゃいん] いじめる。つらい思いをさせる。虐待する。  
 うしゃいり [uɕai] [動 II 類 a 型] [うしゃいー、うしゃいん] 押さえる。抑える。押さえつける。抑止する。【例】いきんゆ うしゃいり (意見を押しつける)。  
 うしゃがり [uɕaga] [名] [うしゃが<sup>1</sup>りまい...] お下がり。兄弟の上から下へゆずる服のこと。  
 うしゃがりり [uɕagari] [動 I 類 c 型] [うしゃがりー、うしゃがらん] 雨が晴れる。  
 うしゃがり [uɕaga] [動 I 類 c 型] [うしゃがりー、うしゃがらん] 仏壇から供えたものを下げる。いただくの意もある。  
 うしゃぎ [uɕagi] [名] [うしゃぎまい...] 風呂敷。女性が頭に被る風呂敷のこと。  
 うしゃぎ [uɕagi] [名] [うしゃぎまい...] 捧げ。捧げること。献上すること。贈呈すること。仏壇に供えること。  
 うしゃぎ [uɕagi] [名] [うしゃぎまい...] 見送り。見送ること。【例】ふなうしゃぎ (船を見送る)。  
 うしゃぎ [uɕagi] [名] [うしゃぎまい...] お盆の最終日に先祖を見送る。【類】「うくり」。  
 うしゃぎむぬ [uɕagimunu] [名] [うしゃぎむ<sup>1</sup>ぬまい...] 贈呈するもの。御嶽に供える物。献上物。上納物。  
 うしゃぎり [uɕagi] [動 II 類 a 型] [うしゃぎー、うしゃぎん] 見送る。【例】どうすう うしゃぎり (友だちを見送る)。  
 うしゃぎり [uɕagi] [動 II 類 a 型] [うしゃぎー、うしゃぎん] 捧げる。献上する。贈呈する。仏壇に供える。【例】しゃきう うしゃぎり (酒を供える)。  
 うしゃばらす [uɕabararasɯ] [名] [うしゃばら<sup>1</sup>すまい...] うさばらし。

うしゃまり [uçama] [動I類c型] [うしゃまり一、うしゃまらん] 治まる。仲直りする。

うしゃまり [uçama] [動I類c型] [うしゃまり一、うしゃまらん] 納まる。死ぬ。

うしゃみ [uçami] [名] [うしゃみま<sup>1</sup>い...] 治め。治めること。

うしゃみ [uçami] [名] [うしゃみま<sup>1</sup>い...] 納め。納めること。

うしゃみり [uçami] [動II類c型] [うしゃみ一、うしゃみん] 治める。政治を司る。【例】くにう うしゃみり (国を治める)。

うしゃみり [uçami] [動II類c型] [うしゃみ一、うしゃみん] 納める。奉納する。納税。【例】じんゆ うしゃみり (金を納める)。

うしゃム [uçam] [名] [うしゃムまい...] 四つ手網。主に女性が使って小魚を獲る。「押し網」の転か。【類】「ふぐりあム」。

うしゃり [uçari] [名] [うしゃ<sup>1</sup>りまい...] おしゃれ。着飾ること。外出のために着飾ること。

うしゃん [uçan] [名] [うしゃ<sup>1</sup>んまい...] お産。【類】「しら」。

うしゃんだい [uçandai] [名] [うしゃんだ<sup>1</sup>いまい...] 仏壇から下げた供え物。

うしゆいり [uçui] [動II類a型] [うしゆい一、うしゆいん] 消す。水で火を消す。

うしゆ一 [uçu:] [名] [うしゆ<sup>1</sup>一まい...] 御主。国王。【例】うしゆ一がなす (国王様)。

うしゆ一 [uçu:] [動I類a型] [うしえ一、うしや一ん] おそう。覆う。被せるこ。覆いをする。かくす。【例】かっさに一 うしゆ一 (木の葉で覆う)。

うしゆ一がなす [uçu:ganas] [名] [うしゆ一がな<sup>1</sup>すまい...] 国王様。琉球国王のこと。

うしゆ一みず [uçu:midz] [名] [うしゆ一み<sup>1</sup>ずまい...] 紙銭を焼いた後の消すための水。

うしゆぐむつ [uçugumuts] [名] [うしゆぐむ<sup>1</sup>つまい...] 御主供物。上納物。人頭税のこと。

うしゆないむぬ [uçunaimunu] [名] [うしゆないむ<sup>1</sup>ぬまい...] お供え物。

うしゆふぎ [uçufuk] [動I類a型] [うしゆふき一、うしゆふかん] 前かがむ。前かがみの姿勢

を取る。

うしゆふぎがいり [uçufukigai] [動I類a型] [うしゆふぎがいり一、うしゆふぎがいらん] 前に倒れる。ひっくり返る。

うしゆふぎだつ [uçufukidats] [動I類c型] [うしゆふぎき一、うしゆふぎかん] 前かがみに立つ。

うしゆます [uçumas] [動I類a型] [うしゆまし一、うしゆましやん] 前かがみにさせる。

うしゆム [uçum] [動I類a型] [うしゆみ一、うしゆまん] 前かがみになる。伏せる。病気で寝る。【例】うしゆみ一 ぶり (前かがみにしていなさい。かがんでいなさい)。

うしゆムばら [uçumbara] [名] [うしゆムば<sup>1</sup>らまい...] 腰を曲げて仕事をしたために腰が痛いこと。

うしゆら一すしゃーり [uçura:sjca:] [形] [うしゆら一す<sup>1</sup>しゃまい...] 恐ろしい。すごい。普通でない。

うしゆら一すむぬ [uçura:sjmunu] [名] [うしゆら一すむ<sup>1</sup>ぬまい...] おそろしいもの。すごいもの。すごい作品。普通でないもの。

うしゆり [uçuri] [名] [うしゆりまい...] 恐れ。恐れること。

うしゆりり [uçuri] [動II類c型] [うしゆり一、うしゆりん] 恐れる。【例】うやう うしゆりり (親を恐れる)。

うしり [uçi] [動II類c型] [うし一、うしん] 失せる。いなくなる。消え去る。【例】うしる (失せる。どこか行け)。

うしるい [uçirui] [名] [うしる<sup>1</sup>いまい...] おしろい。化粧品。

うじん [udzin] [名] [うじ<sup>1</sup>んまい...] お膳。料理を乗せる台。

うす [us] [名] [干支] [うすまい...] 丑。丑年。丑年生れ。十二支の二番目。うすどうい。牛。

うす [us] [名] [うすまい...] 牛。

うす [us] [名] [う<sup>1</sup>すまい...] 白。木白。石白。

うす [us] [動I類a型] [うし一、うしゃん] 押す。あと押しする。【例】うすめ一 (押し合い)。くすぶにう うす (背中を押す)。くるまう う

し(車を押しなさい)。  
 うす [usɯ] [動I類 a型] [うしー、うしゃん] 押しつける。責任逃れをする。  
 うす [usɯ] [動I類 a型] [うしー、うしゃん] 推す。推選する。【例】かるー うすぐまた(彼に投票する)。  
 うず [udzɯ] [名] [魚] [うずまい...] うつぼ。  
 うず [udzɯ] [名] [うずまい...] 渦。渦巻。【類】「びしゅ」。  
 うず [udzɯ] [名] [うずまい...] 氏。家系を表わす名称。家柄。  
 うすあーす [usɯa:sɯ] [名] [うすあー<sup>1</sup>すまい...] 鬮牛。  
 うすあずぎ<sup>り</sup> [usɯadzɯki] [動II類 a型] [うすあずぎー、うすあずきん] 押しつけて持たせる。  
 うすい [usɯi] [名] [うす<sup>1</sup>いまい...] 雨水。二十四節気の一つ。2月19日頃。  
 うすヴヴあい [usɯvɯvai] [名] [うすヴヴあ<sup>1</sup>いまい...] 牛小屋から出た肥料。  
 うすか [usɯka] [名] [指] それだけ。そんなにたくさん。【例】うすかどう ありどー(それだけしかないよ)。うすかなーぬ かーす(たくさんのお菓子)。うすかばーき あが むてい(そんなにたくさんぼくの分け前か)。うすかばかーりていーどう うまーい<sup>り</sup>(それぐらいのことだと思われる)。【同】「うすけ」。  
 うすかいらす [usɯkairasɯ] [動I類 a型] [うすかいらしー、うすかいらしゃん] 押し転がす。押し倒す。【例】どひょーぬ ぶかんけー うすかいらす(土俵の外へ押し転がす)。【同】「うすけーらす」。  
 うすかがま [usɯkagama] [名] [指] [うすかが<sup>1</sup>まい...] たったそれだけ。【例】うすかがまぬ ふーむぬ(たったそれだけの食料)。【同】「うすけがま」。  
 うすか<sup>1</sup>でい [usɯkadi] [名] [うすか<sup>1</sup>でいまい...] 押し風。強い風。  
 うすかぬ むぬ [usɯkanu munu] [名] [指] [うすか<sup>1</sup>ぬむぬ<sup>1</sup>まい...] そんなにたくさん。人にも言う。【同】「うすけぬむぬ」。  
 うすかムーな [usɯkammna] [名] [指] そんなに

たくさん。【例】うすかムーなぬ つつとう(そんなにたくさんのお土産)。【同】「うすけムーな」。  
 うすくム [usɯkum] [動I類 a型] [うすくみー、うすくまん] 押し込む。【例】あなんけー うすくム(穴に押し込む)。  
 うすくムだ<sup>1</sup>な [usɯkumdana] [名] [うすくムだ<sup>1</sup>なまい...] 押し込み棚。引き出しのある棚。  
 うすけ [usɯke] [名] [指] [うす<sup>1</sup>けまい...] それだけ。そんなにたくさん。【例】うすけぬ むぬ(そんなにたくさんのも)。【同】「うすか」。  
 うすけーらす [usɯke:rasɯ] [動I類 a型] [うすけーらしー、うすけーらしゃん] 押し転がす。押し倒す。【例】どひょーぬ すたんけー うすけーらす(土俵の下に押し倒す)。【同】「うすかいらす」。  
 うすけがま [usɯkegama] [名] [指] [うすけが<sup>1</sup>まい...] たったそれだけ。【例】うすけがまぬ ふーむぬ(たったそれだけの食料)。【同】「うすかがま」。  
 うすけムーな [usɯkemmna] [名] [指] [うす<sup>1</sup>けムーなまい...] そんなにたくさん。【例】うすけムーなぬ ふーむぬ(そんなにたくさんのお食料)。【同】「うすかムーな」。  
 うすしゃー<sup>り</sup> [usɯɕa:] [形] [うすしゃまい...] 薄い。味が薄い。厚みのないこと。  
 うすたうす [usɯtausɯ] [動I類 a型] [うすたうしー、うすたうしゃん] 押し倒す。【例】かりぎーゆ うすたうす(枯れ木を押し倒す)。【同】「うすとーす」。  
 うすだつ [usɯdatsɯ] [名] [うすだつまい...] 畜舎。牛小屋。馬小屋。山羊小屋。  
 うすたてい<sup>り</sup> [usɯtati] [動II類 a型] [うすたていー、うすたていん] 押し立てる。推薦する。【例】あざちょーんけー うすたてい<sup>り</sup>(字長に押し立てる)。  
 うすつかぬー [usɯtsɯkanu:] [名] [うすつかぬ<sup>1</sup>まい...] 牛を飼うこと。  
 うすつかねー [usɯtsɯkane:] [名] [うすつかね<sup>1</sup>まい...] 牛を飼う人。  
 うすつぎ [usɯtsɯkɯ] [名] [うすつ<sup>1</sup>ぎまい...] 白搗

- き。白を搗くこと。餅つき。粟つき。【例】うさぎぬ うすつき (兎の白つき)。
- うすつきり [usʌtsʌki] [動 II 類 a 型] [うすつき一、うすつきん] 押し付ける。転嫁する。
- うすでいがー [usʌdiga:] [名] [井戸] [うすでいが<sup>1</sup>ーまい...] 井戸の名。人口井戸。
- うすどうい [usʌdui] [名] [干支] [うすどういまい...] 丑年の人。丑年生れ。
- うすとーす [usʌto:sʌ] [動 I 類 a 型] [うすとーし一、うすとーしゃん] 押し倒す。【同】「うすたうす」。
- うすにく [usʌniku] [名] [うすにくまい...] 牛肉。
- うすぬ つぬ [usʌnu tsʌnu] [名] [うすぬつ<sup>1</sup>ぬまい...] 牛の角。【同】「うすぬんぬ」。
- うすぬ ピさぐー [usʌnu pʌsagu:] [名] [貝] [うすぬピ<sup>1</sup>さぐーまい...] あまおぶねがい。村史参照。
- うすぬ ふぐり [usʌnu fugu] [名] [うすぬふぐ<sup>1</sup>りまい...] 牛の陰のう。睾丸は誤り。
- うすぬ ふぐりぎー [usʌnu fuguʌgi:] [名] [植] [うすぬふぐ<sup>1</sup>りぎーまい...] はりつるまさき。【類】「まっこー」。
- うすぬ ふしゃ [usʌnu fuʌa] [名] [うすぬふ<sup>1</sup>しゃまい...] 牛の草。牛の飼料。
- うすぬ ふしゆ [usʌnu fuʌu] [名] [うすぬふ<sup>1</sup>しゆまい...] 牛ふん。
- うすぬ みー [usʌnu mi:] [名] [うすぬみ<sup>1</sup>ーまい...] 牛の目。可愛いことの例え。
- うすぬ むてい [usʌnu muti] [名] [うすぬむ<sup>1</sup>ていまい...] 牛の分の飼料。
- うすぬ んぬ [usʌnu nnu] [名] [うすぬん<sup>1</sup>ぬまい...] 牛の角。【同】「うすぬつぬ」。
- うすぬイ [usʌnuɪ] [名] [干支] [うすぬイまい...] 丑の日。
- うすぬイぬ ピー [usʌnuɪnu pi:] [名] [干支] [うすぬイぬピーまい...] 丑の日。
- うすぬイムまり [usʌnuɪmmari] [名] [干支] [うすぬイムまりまい...] 丑の日生まれ。丑の日に生まれた人。
- うすぬー [usʌnu:] [動 I 類 a 型] [うすぬ一、うすぬーん] 失う。
- うすぬーま [usʌnu:ma] [名] [うすぬーまい...] 牛や馬のこと。農作業に重宝だった。大切な家畜という意味がある。
- うすぬかー [usʌnuka:] [名] [うすぬか<sup>1</sup>ーまい...] 牛の井戸。しゅがーがーに二つある洞の一つ。
- うすばー [usʌba:] [名] [うすば<sup>1</sup>ーまい...] 白歯。奥歯。
- うすばイ [usʌpaɪ] [名] [うすば<sup>1</sup>イまい...] 牛にたかる蠅。
- うすばく [usʌbaku] [名] [うすばくまい...。うすば<sup>1</sup>くまい...] 家畜商人。
- うすびら [usʌbira] [名] [うすびらまい...] 牛の肩甲骨で作った脱穀用具。主に高さびの脱穀をした。
- うすまーす [usʌma:sʌ] [動 I 類 a 型] [うすまーし一、うすまーしゃん] 追い回して一ヶ所に集める。草を束ねるときに揃える。【例】ぴんだぬっふあう うすまーす (山羊の子たちを追い回して一箇所に集める)。ふしやう うすまーしー たばり (草を揃えて束ねる)。
- うずまぎ [udzʌmakʌ] [名] [うずま<sup>1</sup>ぎまい...] 渦巻き。【同】「びしゆまぎ」。
- うずます [udzʌmasʌ] [動 I 類 a 型] [うずまし一、うずましやん] 埋めさせる。【例】つふあいゆうずます (肥料を埋めさせる)。
- うずまり [udzʌma] [動 I 類 c 型] [うずまり一、うずまらん] 埋まる。うもれる。【例】あなか うずまりーり (穴に埋まっている)。
- うすみっす [usʌmissʌ] [動 I 類 a 型] [うすみっし一、うすみっしやん] 薄くさせる。味を薄くさせる。【例】しゃきう うすみっす (酒を水割りする)。
- うすみり [usʌmi] [動 II 類 a 型] [うすみ一、うすみん] 薄める。水割りする。味を薄める。酒を薄める。
- うずみり [udzʌmi] [動 II 類 a 型] [うずみ一、うずみん] 埋める。【例】あなう ぷりー うずみり (穴を掘って埋める)。【類】「うずム」。
- うすム [usʌm] [動 I 類 a 型] [うすみ一、うすまん] 薄くなる。薄まる。【例】うすみった (薄くなった)。

うずム [udzɯm] [動I類a型] [うずみー、うずまん] 埋める。【例】っふあいゆ うずみ (肥料を埋めなさい)。【類】「うずみり」。

うずむす [udzɯmusɯ] [名] [昆虫] [うずむ<sup>1</sup>すまい...] うじ虫。

うすむどうす [usɯmudusɯ] [動I類a型] [うすむどうしー、うすむどうしゃん] 押し戻す。押し返す。【例】めーくんけー うすむどうす (宮古島へ押し返す)。

うずムばらやー [udzɯmbaraja:] [名] [うずムばらやーまい...] 掘って立て小屋。あだんの木を柱にした粗末な家。

うすめー [usɯme:] [名] [うすめーまい...] 押し合い。その競争。相撲の技に似ている。

うすやま [usɯjama] [名] [うすや<sup>1</sup>ままい...] 畑を耕す馬や牛に引かせる農具。人が操作する。

うすんぎ [usɯnkɯ] [動I類a型] [うすんきー、うすんかん] 押し込む。【例】たむぬー うすんぎ (薪を釜の中へ押し込む)。

うすんてい [usɯntei] [名] [干支] [うすんていまい...] 丑年。

うた [uta] [名] [う<sup>1</sup>たまい...] 歌。古謡のこと。〈ニリ〉。組踊の女役の唱えもの。【類】「にり」。

うだー [uda:] [名] [指] [うだ<sup>1</sup>ーまい...] 遠い所。遠方。【例】うだーぱる (遠い所の畑)。うだーがみ (遠いところまで)。

うだーす [uda:sɯ] [動I類a型] [うだーしー、うだーしゃん] 叱る。大声を出して叱る。【例】やらびう うだーす (子どもを叱る)。うだーしーから とうーずきる (叱ってから教えよ)。

うだーす [uda:sɯ] [動I類c型] [うだーしー、うだーしゃん] 太らせる。【例】うだーし (太らせよ)。わーう うだーし (豚を太らせよ)。うだーしーから (太らせてから)。うだーしーから かーずー (太らせてから買うよ)。うだーしーみーる (太らせてみよ)。

うだーな [uda:na] [名] [指] [うだ<sup>1</sup>ーなまい...] 遠い所。遠方。【例】うだーながみ (遠いところまで)。

うだーまーり [uda:ma:ri] [動I類] [うだーまーりー、うだーまーらん] [うだ<sup>1</sup>ーまーりー ぶり]

遠回る。遠回りをする。

うだームーな [uda:mmna] [名] [指] [うだ<sup>1</sup>ームーなまい...] 遠い所。遠方。【例】うだームーなぬ ぱる (遠い所にある畑)。

うたい [utai] [名] [うたいま<sup>1</sup>い...] 唱え。唱えること。組踊の台詞。

うだい [udai] [名] [うだいま<sup>1</sup>い...] 太った。大きい。太ること。【例】うだいピとう (太った人)。

うだいしゃーり [udaiɕa:ri] [名] [うだいしゃーりまい...] 危ない。

うだいピとう [udaiɸitu] [名] [うだいピ<sup>1</sup>とうまい...] 太い人。太った人。大きい人。

うたいり [utai] [動II類c型] [うたいー、うたいん] 唱える。組踊の台詞を唱える。

うだいら [udai] [動II類c型] [うだいらー、うだいらん] 太くなる。太る。【例】ふーばまい うだいらん (食べても太らない)。

うたう [utau] [動I類c型] [うてー、うたーん] 台詞を唱える。暗唱する。【同】「うとー」。

うたがい [utagai] [名] [うたが<sup>1</sup>いまい...] 疑い。疑念。不審。

うたがい [utagai] [副] お互い。【例】うたがいギばら (お互いにかんばろう)。

うたき [utaki] [名] [うた<sup>1</sup>きまい...] 御嶽。拝所。【類】「うがんじゅ」。

うだき [udaki] [名] [指] [うだ<sup>1</sup>きまい...] ととも高い。そんなに高く。【例】うだきぬ きー (とても高い木)。うだきぬ ピとう (身長のととも高い人)。

うだきだい [udakidai] [名] [指] [うだきだ<sup>1</sup>いまい...] ととも高い値段。【例】うだきだいのうす (とても値段の高い牛)。

うたきぬーり [utakinu:ri] [名] [うた<sup>1</sup>きぬーりまい...] 御嶽参り。【例】きゅーや うたきぬーり (今日は御嶽の参拝だ)。

うだきムーな [udakimmna] [名] [指] [うだ<sup>1</sup>きムーなまい...] ととも高いこと。積荷。物の値段の高いこと。【例】うだきムーなぬ にー (高く積まれた荷物)。うだきムーなぬ にだん (とても高い値段)。

うたぐー [utagu:] [動I類 a型] [うたげー、うたがーん] 疑う。疑念を持つ。【例】かるーどううたぐー (彼を疑う)。うたげー ぶり (疑っている)。

うだぐー [udagu:] [名] [うだぐーまい...] 太っている人 (罵り語)。

うだしゃーり [udaça:] [形] [うだしゃまい...] 太い。厚い。【例】うだピとう (太い人)。うだかピ (厚紙)。

うだしゃーり [udaça:] [形] [うだしゃまい...] 太っている。肥満である。

うたす [utas:] [動I類 c型] [うたしー、うたしゅん] 落とす。持ち物をなくすことにも言う。【例】うたすむぬ (落とし物)。【同】「うとうす」。

うだつ [udats:] [名] [うだ<sup>1</sup>つまい...] 税。家の梁 (はり) の上に乗せる短い柱のこと。【例】うだつエー あがらん (税が上がらない)。

うだていり [udati:] [動II類 c型] [うだていー、うだていん] おだてる。

うたむつ [utamuts:] [名] [う<sup>1</sup>たむつ<sup>1</sup>まい...] 歌持。三味線の前奏。

うちくム [utçikum] [動I類 c型] [うちくみー、うちくまん] 打ち込む。釣針を海底に打ち込む。ボールを打ち込む。仕事に打ち込む。

うちどう [utçidu] [名] [うち<sup>1</sup>どうまい...] 落ち度。

うちゃーす [utça:s:] [動I類 c型] [うちゃーしー、うちゃーしゅん] 打ち合わせる。話し合う。打ち合いする。

うちゃんぐ [utçanagu] [名] [うちゃん<sup>1</sup>ぐまい...] 三段餅。正月に仏壇に供えた。

うちゃんにーまぬ かなしや [utçani:manu kanaça] [名] [うちゃんにーま<sup>1</sup>ぬかなしや<sup>1</sup>まい...] 歌謡の名。【類】「んにつぎえーぐ」。

うちゃム [utçam] [名] [うちゃ<sup>1</sup>ムまい...] 打ち網。投網。投げ網のこと。漁の方法。

うつ [uts:] [名] [うつまい...] 血族。親戚。

うつ [uts:] [名] [う<sup>1</sup>つまい...。うつんけ<sup>1</sup>ー...] 内。奥。屋内。【例】やーぬ うつ (家の奥)。あみ ありば うつんけー わーり (雨だから、奥の方へいらっしやい)。

うつ [uts:] [動I類 c型] [うていー、うたん] 打つ。たたく。なぐる。棒で打つ。【同】「ふつ」。

うつーうつ [uts:uts:] [重複] 血の濃い者。親戚一同。【例】かれー あんとう うつーうつ (彼は私の親戚だ)。

うっか [ukka] [名] [うっ<sup>1</sup>かまい...] 負債。

うっかかヴヴィ [ukkakavv:] [名] [うっか<sup>1</sup>かヴヴィ<sup>1</sup>まい...] 借金を負うこと。

うっかきり [ukkaki:] [動II類 c型] [うっかきー、うっかきん] 仕事を始める。開始する。

うつかた [uts:kata] [名] [うつかたまい...] 奥の方。家の中の奥の方。

うつかた [uts:kata] [名] [うつかたまい...] 内方。親戚。

うっかばり [ukkabari] [名] [うっかば<sup>1</sup>りまい...] 借金を返済する。

うつかピ [uts:kabi] [名] [うつか<sup>1</sup>ピまい...] 打ち紙。紙銭のこと。【類】「やギかピ」。

うつギ [uts:k:] [動I類 c型] [うつぎー、うつかん] 置く。持っているものを置く。台の上に置く。中にしまっておく。長い時間置いておく。【例】うまん うつき (そこに置きなさい)。

うつき [uts:ki] [名] [うつ<sup>1</sup>きまい...] 内気。内気な性格。

うっじゃ [uddza] [名] [鳥] [うっじゃまい...] うずら。

うつしゃーり [uts:ça:] [形] [うつしゃまい...] 親戚である。血族である。【例】かれー ヴヴあとうつしゃーり (彼はあなたと親戚だ)。

うっじゃが ムま [uddzaga mma] [名] [うっじゃ<sup>1</sup>がムま<sup>1</sup>まい...] うずらの歌。わらべ歌。

うっすう [ussu] [名] [うっ<sup>1</sup>すうまい...] 後頭部。

うったーていー [utta:ti:] [副] わざわざ。計画的に。【例】うったーていー すぐとう しる (計画を立てて仕事をしなさい)。

うったいぐとう [uttaigutu] [名] [うったいぐ<sup>1</sup>とうまい...] 訴訟。

うったいり [uttai:] [動II類 c型] [うったいー、うったいん] 訴える。告訴する。

うっちゃきり [uttçaki:] [動II類 a型] [うっちゃきー、うっちゃきん] 押さえて手に取る。【例】う

っじゃう うっちゃきり(うずらを手で取る)。  
 うっちゃす [uttças] [動I類c型] [うっちゃしー、うっちゃしゃん] 移す。移転させる。  
 うっちゃす [uttças] [動I類c型] [うっちゃしー、うっちゃしゃん] 写す。映す。【例】あんまい うっちー ぶり(私も写っている)。  
 うっちゃみ [uttçami] [名] [うっちゃ<sup>1</sup>みまい...] 打ち雨。窓から入る雨。  
 うつつー [uttç:] [動I類c型] [うっちー、うっちゃん] 移る。転居する。移動する。【例】かまんけー うっちゃだ(向こうへ移りなさい)。  
 【同】「ふつつー」。  
 うつつー [uttç:] [動I類c型] [うっちー、うっちゃん] 写る。映る。水に映る。【同】「ふつつー」。  
 うっとう [uttu] [名] [うっ<sup>1</sup>とうまい...] 弟。妹。年下。  
 うっとうきびヴヴァ [uttukibivva] [名] [うっとうきびヴヴァまい...] 弟。  
 うっとうミーが [uttum:ga] [名] [うっとうミーがまい...] 1年以内に次の子が生まれるために育ちが悪いこと。  
 うっとうミーがっふあ [uttum:gaffa] [名] [うっとうミーがっふあまい...] 1年以内に次の子が生まれるために育ちが悪いこと。  
 うっとうミーがやらび [uttum:gajarabi] [名] [うっとうミーがやらびまい...] 1年以内に次の子が生まれるために育ちが悪いこと。  
 うっとうみーまき [uttumi:maki] [名] [うっとうみーま<sup>1</sup>きまい...] 弟や妹が早生れすると自分の発育が弱いこと。  
 うっとうみどうム [uttumidum] [名] [うっとうみどうムまい...] 次女。  
 うっとうみどうムヴヴァ [uttumidumvva] [名] [うっとうみどうムヴヴァまい...] 妹。  
 うっとうむく [uttumuku] [名] [うっとうむ<sup>1</sup>くまい...] 妹婿。妹のだんな。  
 うっとうゆみ [uttujumi] [名] [うっとうゆ<sup>1</sup>みまい...] 弟の妻。  
 うつばる [utsbaru] [名] [うつば<sup>1</sup>るまい...] 内原。土原豊見親の住居跡。金志川豊見親を祭る

拝所。

うつばるうがん [utsbaruugan] [名] [うつば<sup>1</sup>るうがんまい...] 金志川豊見親を祭る拝所。  
 うつぶり [utsbu] [動I類c型] [うつぶりー、うつぶらん] 殴り飛ばす。叩く。【類】「ふつぶり」。  
 うつぶり [utsbu] [動I類c型] [うつぶりー、うつぶらん] 打ち払う。棒や石などで追っ払う。【同】「ふつぶり」。  
 うつむぬ [utsmunu] [名] [うつむぬまい...] 親戚。血族。  
 うでい [udi] [名] [うでいま<sup>1</sup>まい...] 腕。【類】「かいな」。  
 うでいがき [udigaki] [名] [うでいが<sup>1</sup>きまい...] 腕相撲。  
 うていがた [utigata] [名] [うていが<sup>1</sup>たまい...] さとうきびの煮汁を移す頃合。黒糖のできる頃合。  
 うでいくム [udikum] [名] [うでいく<sup>1</sup>ムまい...] 腕組む。腕を組むこと。腕組み。  
 うていしゅ [utiçu] [名] [うてい<sup>1</sup>しゅまい...] 早朝に網で漁をすること。前夜に網を仕掛けて置く。  
 うていだか [utidaka] [名] [うていだ<sup>1</sup>かまい...] 落ち鷹。はぐれ鷹。はぐれたさしぼのこと。【類】「すまばんだか」。「びっびーだか」。「ゆらりだか」。  
 うでいだみす [udidamis] [名] [うでいだ<sup>1</sup>みすまい...] 腕だめし。自分の実力を高めること。  
 うでいだら [udidara] [名] [うでいだ<sup>1</sup>らまい...] なまけ者。【同】「うでいだれ」。  
 うでいだり [udida] [名] [うでいだ<sup>1</sup>りまい...] なまけること。怠慢。  
 うでいだりむぬ [udida[munu] [名] [うでいだ<sup>1</sup>りむぬまい...] なまけ者。  
 うでいだれ [udidare] [名] [うでいだ<sup>1</sup>れまい...] なまけ者。【同】「うでいだら」。  
 うていつかす [utitskas] [動I類c型] [うていつかしー、うていつかしゃん] 落ちつかせる。【例】しえんしゅー うていつかす(選手を落ちつかせる)。

うでいつから [uditsɰkara] [名] [うでいつか<sup>1</sup>ら  
まい...] 腕力。力持ち。相手を自分の意思に従  
わせる。【類】「うでいでー」。

うていつギ [utitsɰkɰ] [動I類c型] [うていつき  
ー、うていつかん] 落ちつく。【例】うていつ  
ギ ねーん (目に落ちつきがない)。

うでいでー [uide:] [名] [うでいで<sup>1</sup>ーまい...] 腕  
力。力持ち。【類】「うでいつから」。

うでいとうきー [udituki:] [名] [うでいとうき<sup>1</sup>  
ーまい...] 腕時計。

うでいぶに [udipuni] [名] [うでいぶ<sup>1</sup>にまい...]  
腕骨。上腕骨。尺骨。

うでいまい [udimai] [名] [うでいま<sup>1</sup>いまい...]  
腕前。手腕。力量。身についた技術。

うでいまっふあ [udimaffa] [名] [うでいまっ<sup>1</sup>ふ  
あまい...] 腕枕。自分の腕を枕代りに寝ること。

うていり [uti] [動II類c型] [うていー、うて  
いん] シートナーの鍋の炊き汁を他の鍋に移  
す。【例】なびから うていり (鍋から移す)。

うていり [uti] [動II類c型] [うていー、うて  
いん] 落ちる。落下する。落雷する。品質が下  
がる。試験に失敗する。【例】うていがた (落ち  
そうだ。落ちようとしている。落下直前)。ふ  
にから うていがた (船から落ちようとしてい  
る)。ぬーまから うていがた (馬から落ちよう  
としている)。しきんー うていり (試験に不合  
格だ)。

うていんかす [utinkasɰ] [動I類c型] [うていん  
かしー、うていんかしゃん] 落としてしまう。  
落ち込ませる。深い所に突き落とす。

うていんギ [utinkɰ] [動I類c型] [うていんき  
ー、うていんかん] 落ちてしまう。深い所に落  
ちる。

うでーり [ude:] [名] [うでー<sup>1</sup>りまい...] 集団作  
業。字民の作業。部落の作業。

うとう [utu] [名] [う<sup>1</sup>とうまい...] 音。鳴。響  
き。どよめき。【例】うとうー ギギ (音を聞  
く)。【類】「なり」。

うどうい [udui] [名] [干支] [うどう<sup>1</sup>いまい...]  
卯年生まれ。

うとうーり [utu:] [名] [うとうー<sup>1</sup>りまい...] 酒  
の回し飲み。宮古の酒座の習慣。

うとうが [utuga] [名] [うとう<sup>1</sup>がまい...] 末っ  
子。兄弟姉妹のうちの末の子。

うとうがイ [utugaɰ] [名] [うとうが<sup>1</sup>イまい...] お  
とがい。あご。下あご。

うとうがっふあ [utugaffa] [名] [うとう<sup>1</sup>がっふ  
あまい...] 末っ子。

うとうがみどうムヴヴあ [utugamidumvva] [名]  
[うとう<sup>1</sup>がみどうムヴヴあまい...] 末の娘。女  
の末っ子。

うどうき [uduki] [名] [うどうきま<sup>1</sup>い...] 失敗。  
欠損。

うどうきり [uduki] [動II類c型] [うどうきー、  
うどうきん] 失敗する。欠損する。ほろびる。

うとうす [utusɰ] [動I類c型] [うとうしー、う  
とうしゃん] 落とす。持ち物をなくすことにも  
言う。【例】うとうすあな (落とし穴)。【同】「う  
たす」。

うどうす [udusɰ] [動I類c型] [うどうしー、う  
どうしゃん] 脅す。強迫する。

うとうすむぬ [utusɰmunu] [名] [うとうすむ<sup>1</sup>ぬ  
まい...] 落とし物。拾い物。

うとうすんギ [utusɰnkɰ] [動I類c型] [うとうす  
んきー、うとうすんかん] 落とし込む。

うとうだ [utuda] [名] [うとう<sup>1</sup>だまい...] 親戚。  
親類。一門。親族。姻族。

うとうだうぐなーり [utudauguna:] [名] [うと  
う<sup>1</sup>だうぐなーりまい...] 親戚の集まり。親族会  
議。

うとうだかしゃーり [utudakaca:] [形] [うとう  
だか<sup>1</sup>しゃまい...] 音が高い。音程の高いこと。  
騒がしい音。大きい音。

うとうだぬ ムめ [utudanu mme] [名] [うとう  
だ<sup>1</sup>ぬムめ<sup>1</sup>まい...] 親戚の者たち。親戚同士。

うとうだら [utudara] [名] [う<sup>1</sup>とうだらまい...]  
兄弟姉妹。

うとうだらあう [utudaraau] [名] [う<sup>1</sup>とうだら  
あうまい...] 兄弟喧嘩。子どもの特権。

うとうっすう [utussu] [名] [うとうっすうま<sup>1</sup>  
い...] 年下。年下の者。年上の人から見て言う。

うとうっすうヴヴァ [utussuvva] [名] [うとうっすうヴ<sup>1</sup>ヴァあまい...] 下の子。きょうだいのうちで二番目以下の子。男の子にも女の子にも言う。

うとうっすうびきヴヴァ [utussubikivva] [名] [うとうっすうびきヴ<sup>1</sup>ヴァあまい...] 次男以降のきょうだい。

うとうっすうみどうムヴヴァ [utussumidumvva] [名] [うとうっすうみどうムヴ<sup>1</sup>ヴァあまい...] 次女以降のきょうだい。

うとうなすしゃーヅ [utunasɕa:] [形] [うとうなす<sup>1</sup>しゃまい...] おとなしい。【例】うとうなすつふあ (おとなしい子)。

うとうむ [utumumu] [名] [うとう<sup>1</sup>むまい...] お供すること。招待すること。案内すること。【例】しゅーゆ うとうむしる (おじいさまを連れてきなさい)。

うどうム [udumu] [動I類c型] [うどうみー、うどうまん] 夜中に目が覚める。【例】すばヅすがうどうム (トイレに行くために目が覚める)。

うとうヅ [utu:] [動I類c型] [うとうりー、うとうらん] 劣る。前回より出来が悪くなる。【例】しーしきぬ うとうヅ (前回より成績が劣る)。

うとうヅちゅーばー [utu[tɕu:ba:] [名] [うとうヅちゅーば<sup>1</sup>ーまい...] おそろしく強い人。

うとうヅばなす [utupanas] [名] [うとうヅばな<sup>1</sup>すまい...] 恐ろしい話。

うとうヅピとう [utupitu] [名] [うとうヅピ<sup>1</sup>とうまい...] 恐ろしい人。

うとうヅらーヅ [utu[ra:] [形] [うとうヅ<sup>1</sup>らまい...] 怖い。恐ろしい。【例】うとうヅばなす (怖い話)。うとうヅらーヅ (怖いよ)。くぬ みつエー うとうヅらーヅ (この道は怖いよ)。

うどうる [uduru] [名] [うどう<sup>1</sup>るまい...] 土原豊見親の幼名。うどうる少年のこと。

うどうるかす [udurukas] [動I類c型] [うどうるかしー、うどうるかしゃん] 怖がらせる。おどろかす。

うどうるギ [udurukɰ] [名] [うどうる<sup>1</sup>ギまい...] 魚の心臓。

うどうるギ [udurukɰ] [動I類c型] [うどうるき

ー、うどうるかん] 驚く。びっくりする。【例】うどうるきー (おどろいた)。うどうるきった (おどろいた)。うどうるギな (おどろくな)。うどうるきー ねーん (おどろいてしまった)。

うどうるギがま [udurukɰgama] [名] [うどうるギが<sup>1</sup>まい...] 魚の心臓。

うどうるすぐとう [uturusɰgutu] [名] [うどうるすぐ<sup>1</sup>とうまい...] おそろしいこと。大変な出来事。

うどうるすしゃーヅ [uturusɕa:] [形] [うどうるす<sup>1</sup>しゃまい...] 恐ろしい。怖い。

うどうるすむぬ [uturusɰmunu] [名] [うどうるすむ<sup>1</sup>ぬまい...] 恐ろしい出来事。心にひびくほどの大変なこと。

うどうるばま [udurupama] [名] [地] [うどう<sup>1</sup>るばま<sup>1</sup>まい...] 多良間島の〈とうぶり〉の名前。土原豊見親が通ったと言われる。村史参照。【類】「とうがヅら」。

うとー [uto:] [動I類c型] [うてー、うたーん] 台詞を唱える。暗唱する。【同】「うたう」。

うながい [unagai] [名] [指] [うなが<sup>1</sup>いまい...] 長い時間。そんなに長い時間。【例】うながいあすビ (長いこと遊ぶ)。

うながどうーしゃ [unagadu:ɕa] [連語] [指] こんなにも永く。【例】うながどうーしゃ みーん (長いこと見ない)。

うながムーな [unagammna] [名] [指] [うな<sup>1</sup>がムーなまい...] そんなに長く。物の長さと言う。思っていたより長いもの。【例】うながムーなゆいまん (そんなに長くもらわない)。

うながり [unagari] [名] [うなが<sup>1</sup>りまい...] 供え物を皆で食べること。またその料理。

うなぎ [unagi] [名] [魚] [うな<sup>1</sup>ぎまい...] うなぎ。うなぎの総称。

うなぎ [unagi] [名] [指] [うな<sup>1</sup>ぎまい...] 長さを強調するとき言う。【例】うなぎぬ うなぎ (とても長いうなぎ)。

うなぎー [unagi:] [名] [指] [うなぎ<sup>1</sup>ーまい...] この長さ。手で示すほどの長さ。

うなぎぬ ばなす [unaginu panas] [連語] [指] 長話。電話の長話。井戸端会議。

うなぎぬ むぬ [unaginu munu] [連語] [指] とても長いもの。さとうきびの長く生長したものの。綱引きの長い綱。蛇の大きさを強調するときなどに言う。

うなぎムーな [unagimmna] [名] [指] [うな<sup>1</sup>ぎムーなまい...] そんなにも長く。【例】うなぎムーなぬ すっじゃ (そんなにも長いさとうきび)。

うに [uni] [名] [うにまい...] 鬼。想像上のおそろしい怪物。

うに [uni] [名] [うにまい...] 畝 (うね)。高い所が「うに」。低い所が「まに」。さとうきびの植え付けの高い所。

うにあぎ [uniagi] [名] [うにあぎまい...] 畝立て。さとうきびを植えるための畝作り。

うにがい [unigai] [名] [うにが<sup>1</sup>いまい...] お願い。他人に頼みごとをする。

うにとうら [unitura] [名] [うにとうらまい...] 鬼虎。八月おどり参照。【同】「うんとうら」。

うぬ [unu] [連語] [指] その。【例】うぬ ふんゆむていー くー (その本を持って来なさい)。

うぬ あーき [unu a:ki] [連語] [指] そのまま。それきり。【例】うぬ あーき くん (それきり来ない)。

うぬ あい [unu ai] [連語] [指] その間。【例】うぬ あい ゆけー ぶり (その間休んでいなさい)。

うぬ あたい [unu atai] [連語] [指] それ程。それくらい。【例】うぬ あたいがまう (それくらいのことで)。

うぬ あとう [unu atu] [連語] [指] その後。【例】うぬ あとうから (その後から)。

うぬ うい [unu ui] [連語] [指] その上。さらに。それ以上。【例】うぬ ういぬ くとー っさん (その上のことは知らない)。

うぬ うつ [unu uts] [連語] [指] そのうち。近いうち。【例】うぬ うつん いじゃー (近いうちに会おう)。

うぬ がギ [unu gak] [名] [指] [うぬが<sup>1</sup>ギまい...] その餓鬼。そいつ。その野郎。

うぬ くらいぬ むぬ [unu kurainu munu] [名]

[指] [うぬくらい<sup>1</sup>ぬむぬ<sup>1</sup>まい...] それしきのもの。その程度のもの。

うぬ とうギ [unu tuk] [連語] [指] その時。【例】うぬ とうギんや ぶりーどー (その時は無礼したなあ)。

うぬ なり [unu nari] [連語] [指] その慣れ。いつもの通りの意味。【例】ちこく すーや うぬなり (遅刻はいつもの通りだ)。

うぬ ばー [unu ba:] [連語] [指] その場合。【例】うぬ ばーんや ゆるしゃずー (その場合は許してあげよう)。【同】「うぬばーす」。

うぬ ばーす [unu ba:s] [連語] [指] その場合。【同】「うぬばー」。

うぬ ぶん [unu bun] [連語] [指] その分。それ相当。それほど。【例】うぬ ぶんゆ ゆいる (それ相当にもらいなさい)。

うぬ まま [unu mama] [連語] [指] そのまま。【例】うぬ まま むていーり (そのまま持っていなさい)。

うぬ むてい [unu muti] [連語] [指] 特別に。そんなにまで。

うぬ んじゃ [unu ndza] [名] [指] [うぬん<sup>1</sup>じやまい...] そいつ。その餓鬼。

うぬ んじゃぬ ムめ [unu ndzanu mme] [名] [指] [うぬんじゃ<sup>1</sup>ぬムめまい...] そいつら。その餓鬼ら。

うぬイ [unu] [名] [干支] [うぬ<sup>1</sup>イまい...] 卯の日。

うぬイぬ ピー [unuynu pi:] [名] [干支] [うぬイ<sup>1</sup>ぬピーまい...] 卯の日。

うぬイムまり [unuymmari] [名] [干支] [うぬイムま<sup>1</sup>りまい...] 卯の日生まれ。卯の日に生まれた人。

うぬぎた [unugita] [名] [魚] [うぬぎ<sup>1</sup>たまい...] こんごうぶぐ。

うぬちゃ [unutca] [名] [指] [うぬ<sup>1</sup>ちゃまい...] そいつ。

うぬちゃ [unutca] [連語] [指] それほど。【例】うぬ ちゃがまぬ ぱりかた (それっぽちの走り方)。

うぬちゃぬ ムめ [unutcanu mme] [名] [指] [う

ぬちやぬム<sup>1</sup>めまい... そいつら。  
 うぬてい [unuti] [名] [干支] [うぬ<sup>1</sup>ていまい...] 卯年。  
 うぬば [unuba] [連語] [指] その場。【例】うぬばん ぶたり<sup>1</sup> (その場に居た)。  
 うぬぶりり [unuburi] [動II類c型] [うぬぶりー、うぬぶりん] うぬぼれる。自慢する。【例】てーぬ あげていー うぬぶりり (力が強いとって自慢する)。  
 うばーじゃ [upa:dza] [名] [うばー<sup>1</sup>じゃまい...] 長兄。一番上の兄。【同】「うぶあじゃ」。  
 うばーに [upa:ni] [名] [うばー<sup>1</sup>にまい...] 長姉。一番上の姉。【同】「うぶあに」。  
 うばーんが [upa:nga] [名] [うばーん<sup>1</sup>がまい...] 長姉。一番上の姉。【同】「うぶあんが」。  
 うばーんな [upa:nna] [名] [うばーん<sup>1</sup>なまい...] 大母。伯母。父母より年上の伯母。【同】「うぶあんな」。  
 うばい [ubai] [感] 感動。あら。【例】うばい でいきなー (あら大漁だなあ)。  
 うばいがうばい [ubaigaubai] [感] おどろきを強調する。  
 うばいしゃーり [ubaica:] [形] [うばい<sup>1</sup>しゃまい...] 見事であること。偉くて畏れ多い。  
 うばいしゃーり [ubaica:] [形] [うばい<sup>1</sup>しゃまい...] 信用できない。用心を必要とする。  
 うばつ [upatsj] [名] [うば<sup>1</sup>つまい...] お初。初物。供え物を下げるときにいただくもの。  
 うばな [upana] [名] [うば<sup>1</sup>なまい...] お初。初物。収穫物を最初に供えるのに言う。供え物を紙で包んだ穀物。【類】「ばな」。  
 うばなゆに [upanajuni] [名] [うばなゆ<sup>1</sup>にまい...] 粟のお初。粟の初物。水に濡らして供える。  
 うばん [uban] [名] [うば<sup>1</sup>んまい...] ご飯。粟・米のご飯に言う。【同】「うばん」。  
 うばん [upan] [名] ご飯。粟・米のご飯に言う。【同】「うばん」。  
 うピー [ubj:] [名] [うピー<sup>1</sup>まい...] たが。桶や樽のたが。【類】「ていふ」。  
 うぶ [ubu] [名] [う<sup>1</sup>ぶまい...] 泳いで漁をするときに魚や貝を入れる袋を浮かす仕掛け。

うぶあじゃ [upuadza] [名] [うぶあ<sup>1</sup>じゃまい...] 長兄。一番上の兄。【同】「うばーじゃ」。  
 うぶあに [upuani] [名] [うぶあ<sup>1</sup>にまい...] 長姉。一番上の姉。【同】「うばーに」。  
 うぶあばなギ [upuapanakj] [動I類a型] [うぶあばなきー、うぶあばなかん] ぼんやりする。他人と協調しない。【例】うぶあばなギむぬんや かむーな (協調しない人にはかまうな)。  
 うぶあみ [upuami] [名] [うぶあ<sup>1</sup>みまい...] 大雨。大降り。豪雨。土砂降り。  
 うぶあんが [upuanga] [名] [うぶあん<sup>1</sup>がまい...] 長姉。一番上の姉。【同】「うばーんが」。  
 うぶあんな [upuanna] [名] [うぶあん<sup>1</sup>なまい...] 大母。伯母。父母より年上の伯母。【同】「うばーんな」。  
 うぶい [ubui] [名] [うぶい<sup>1</sup>まい...] 覚え。記憶。【例】うぶいや ねーん (覚えはない)。  
 うぶい [upui] [名] [地] [うぶ<sup>1</sup>いまい...] 水納島の〈とうぶり〉の名前。村史参照。【類】「しゅーあるーみつ」。  
 うぶいギ [upuikj] [名] [うぶい<sup>1</sup>ギまい...] 大きな息。大きな呼吸。ため息。  
 うぶいぐりしゃーり [ubuigurica:] [形] [うぶいぐり<sup>1</sup>しゃまい...] 覚えにくい。むずかしい。【例】たらまふつエー うぶいぐりしゃーり (多良間方言は覚えにくい)。  
 うぶいし [upuiçi] [名] [うぶい<sup>1</sup>しまい...] 大きな石。大きな岩。【同】「うぶいす」。  
 うぶいしゃ [upuiça] [名] [うぶい<sup>1</sup>しゃまい...] 名医。有名な医者。  
 うぶいしゅ [upuiçu] [名] [うぶい<sup>1</sup>しゅまい...] 大漁。  
 うぶいす [upuisj] [名] [うぶい<sup>1</sup>すまい...] 大きな石。大きな岩。【同】「うぶいし」。  
 うぶイズあ [upuizaa] [名] [うぶイ<sup>1</sup>ズあまい...] 両親の一番上の兄。  
 うぶいっす [ubuisj] [動I類c型] [うぶいっしー、うぶいっしゃん] 覚えさせる。記憶させる。教える。【例】ふつゆムゆ うぶいっす (口上を覚えさせる)。  
 うぶいな [upuina] [名] [地] [うぶい<sup>1</sup>なまい...]

水納島の〈とうぶり〉の名前。村史参照。

うぶいふしや [upuifuça] [名] [うぶいふ<sup>1</sup>しやまい...] 大きな戦争。太平洋戦争のこと。(1941~1945)。

うぶいム [upuim] [名] [うぶい<sup>1</sup>ムまい...] 大海。大海原。大洋。沖。

うぶいリ [ubui] [動II類c型] [うぶいー、うぶいん] 覚える。【例】うぶいらいん (覚えられない)。ふつゆムゆ うぶいリ (口上を覚える)。

うぶういび [upuuibibi] [名] [うぶうい<sup>1</sup>びまい...] 親指。拇指。機嫌のいいときに立てる。【類】「うぶピとう」。

うぶうす [upuus] [名] [うぶう<sup>1</sup>すまい...] 大きな牛。種牛。【類】「ばふうす」。

うぶうや [upuuja] [名] [うぶう<sup>1</sup>やまい...] 伯父。父母の一番上の兄。【類】「うぶイズあ」。

うぶうやき [upuujaki] [名] [うぶうや<sup>1</sup>きまい...] 大金持ち。富裕。財産があって生活の豊かなこと。

うぶが [upuga] [名] [指] [うぶがま<sup>1</sup>い...] 大きさを示すときに言う。これくらい (大きい場合)。両手を広げて見せる。驚きの表情で言う。【例】うぶがぬ うなギ (とても大きいうなぎ)。

うぶが一 [upuga:] [名] [指] [う<sup>1</sup>ぶが一「まい...] 大きさを示すとき言う。これくらい (小さい場合)。指を差し出して見せる。【例】うぶが一ぬ たくどう あたり (これくらいの蛸であった)。

うぶが一がま [upuga:gama] [名] [指] 大きさを示すとき言う。これくらい (とても小さい場合)。【例】うぶが一がまぬ ぴんだ (とても小さい山羊)。

うぶがム [upuga:m] [名] [う<sup>1</sup>ぶがム「まい...] おんぶ。背負うこと。子供を負んぶすること。

うぶがムしゅぶギ [upuga:mçupugi] [名] [う<sup>1</sup>ぶがム「しゅぶギまい...] おんぶするための帯。

うぶがイ [upuga:] [名] [うぶが<sup>1</sup>イまい...] 胃袋。【同】「うぶがい」。【類】「ばた」。

うぶがい [upugai] [名] [うぶが<sup>1</sup>いまい...] 胃袋。【同】「うぶがい」。【類】「ばた」。

うぶがき [upugaki] [名] [うぶが<sup>1</sup>きまい...] 大

きく耕すこと。大きな目標。

うぶがき [upugaki] [名] [うぶが<sup>1</sup>きまい...] 大きな賭け。

うぶかでい [upukadi] [名] [うぶか<sup>1</sup>でいまい...] 大風。台風。あらし。宮古島台風 (サラ 1959年、64メートル。コラ 1966年、85メートル。デラ 1968、79メートル)。【類】「ちゅーかでい」。

うぶがな [upugana] [名] [うぶが<sup>1</sup>なまい...] 鉞。ちょうな。大工用具。材木を削る鉋。平斧。【類】「まいつ」。

うぶがなまり [upuganama] [名] [うぶがなま<sup>1</sup>りまい...] 大きな頭の人。知識や理論の豊富な人。

うぶがなまれ [upuganamare] [名] [うぶがなま<sup>1</sup>れまい...] 知ったふり。威張る人。相手を小ばかにして言う。

うぶがふつ [upugafuts] [名] [うぶがふ<sup>1</sup>つまい...] 大きな屋敷。

うぶがムーな [upugammna] [名] [指] [うぶがムー<sup>1</sup>なまい...] とても大きい。【例】うぶがムーな ういった (広い面積に植え付けた)。

うぶき [ubuki] [名] [うぶ<sup>1</sup>きまい...] おかげ。

うぶき [upuki] [名] [うぶ<sup>1</sup>きまい...] 大木。大木部落。

うぶぎ [upugi] [名] [指] [うぶぎま<sup>1</sup>い...] これくらいの大きさ。手で示して見せる。【例】うぶぎなーや ねーん (そんなに大きくない)。

うぶぎー [upugi:] [名] [うぶぎ<sup>1</sup>ーまい...] 大きな木。大木。【例】うぶぎーぬ すたん うぐなーり (大木の下に集まれ)。

うぶぎーがま [upugi:gama] [名] [指] [う<sup>1</sup>ぶぎー「が<sup>1</sup>ままい...] たったこれだけの大きさ。

うぶぎしやがー [upugicaga:] [名] [井戸] [うぶぎ<sup>1</sup>しやがーまい...] 井戸の名。人口井戸。

うぶぎむ [upugimu] [名] [うぶぎ<sup>1</sup>むまい...] 大きな肝。大胆な人。心の広い人。

うぶぎムーな [upugimmna] [名] [指] [うぶぎムー<sup>1</sup>なまい...] とても大きく。とても広く。【例】うぶぎムーなー ねーん (そんなに広くない)。

うぶく [ubuku] [名] [うぶ<sup>1</sup>くまい...] 神に供え

る御飯。

うぶぐい [upugui] [名] [うぶぐ<sup>1</sup>いまい...] 大声。  
【例】うぶぐいしんしー (大きな声の先生)。

うぶげー [upuge:] [名] [指] [う<sup>1</sup>ぶげー<sup>1</sup>まい...]  
それほど。

うぶげーム [upuge:m] [名] [植] [うぶげー<sup>1</sup>ムまい...] 唐黍。高黍。もろこし。

うぶげームむつー [upuge:mmuts:] [名] [うぶげー<sup>1</sup>ムむつーまい...] 高黍の餅。

うぶじー [upudzi:] [名] [うぶじ<sup>1</sup>ーまい...] 大きな瀬。大きな干瀬。【類】「うぶびし」。

うぶしゃ [upuca] [名] [うぶ<sup>1</sup>しゃまい...] 大きさ。広さ。太さ。長さ。高さ。

うぶしゃーリ [upuca:li] [形] [うぶ<sup>1</sup>しゃまい...] 大きいこと。太いこと。長いこと。高いこと。  
【例】うぶきー (大木)。

うぶじゃう [ubudzau] [名] [う<sup>1</sup>ぶじゃうまい...] 捕った魚や貝を浮きに通すための竿。【同】「うぶじょー」。

うぶしゃうがつ [upucaugats:] [名] [うぶしゃ<sup>1</sup>うがつまい...] 旧暦の正月。たらま正月。昔は旧暦の正月を盛大に祝った。【同】「うぶしよーがつ」。

うぶじゃふな [upudzafuna] [名] [植] [うぶじゃふ<sup>1</sup>なまい...] ぼたんぼうふう。村史参照。

うぶしゃめー [upuçame:] [名] [うぶ<sup>1</sup>しゃめーまい...] 大きさ比べ。

うぶしゆ [upuçu] [名] [うぶ<sup>1</sup>しゆまい...] 海水。潮水。【例】うぶしゆムー (海水を汲む)。

うぶしゆー [upuçu:] [名] [うぶしゆ<sup>1</sup>ーまい...] 曾祖父。【類】「うぶず」。

うぶしゆー [upuçu:] [名] [うぶしゆ<sup>1</sup>ーまい...] 祖父の一番上の兄。

うぶしゆーかう [upuçu:kau] [名] [うぶしゆー<sup>1</sup>かうまい...] 大焼香。大法要。三十三忌。【同】「うぶしゆーこー」。

うぶしゆーこー [upuçu:ko:] [名] [うぶしゆー<sup>1</sup>こーまい...] 大焼香。大法要。三十三忌。【同】「うぶしゆーかう」。

うぶしゆがみ [upuçugami] [名] [うぶ<sup>1</sup>しゆがみまい...] 塩水を貯えるかめ。

うぶしゆぬム [upuçunum] [名] [うぶ<sup>1</sup>しゆぬム<sup>1</sup>まい...] 海水を飲むこと。泳いでいてたまに海水を飲むこと。

うぶしゆふつ [upuçufuts:] [名] [うぶ<sup>1</sup>しゆふつ<sup>1</sup>まい...] 海水を打つ。豆腐作りに海水を入れること。海水でたんぱく質が固まる。

うぶしゆふつ [upuçufuts:] [名] [うぶしゆふ<sup>1</sup>つまい...] 大干潮。大潮時。潮時のよい時期。旧暦の1日前後と15日前後。【類】「ましゆふつ」。

うぶしゆムー [upuçumm] [名] [うぶ<sup>1</sup>しゆムーまい...] 海水を汲む。豆腐づくり、製塩のために海水を汲むこと。

うぶじょー [ubudzo:] [名] [う<sup>1</sup>ぶじょーまい...] 捕った魚や貝を浮きに通すための竿。【同】「うぶじゃう」。

うぶしよーがつ [upuço:gats:] [名] [うぶしよ<sup>1</sup>ーがつまい...] 旧暦の正月。たらま正月。【同】「うぶしやうがつ」。

うぶじん [upudzin] [名] [うぶじ<sup>1</sup>んまい...] 大金。

うぶず [upudz:] [名] [うぶ<sup>1</sup>ずまい...] 曾祖父。【類】「うぶしゆー」。

うぶずー [upudz:] [名] [うぶず<sup>1</sup>ーまい...] 大きな土地。大きな畑。

うぶずかム [upudz:kam] [名] [うぶずか<sup>1</sup>ムまい...] 大掴み。手のいっぱい掴むこと。

うぶすず [upus:dz:] [名] [うぶす<sup>1</sup>ずまい...] 大きな茎。

うぶすず [upus:dz:] [名] [うぶす<sup>1</sup>ずまい...] 大粒。穀類の大きな粒。【例】うぶすずまみ (大粒の豆)。うぶすずあみ (大粒の雨)。

うぶすずすっじゃ [upus:dz:sjddza] [名] [うぶす<sup>1</sup>ずすっじゃまい...] 大きな茎のさとうきび。

うぶずびんだ [upudz:pinda] [名] [うぶ<sup>1</sup>ずびんだまい...] 種山羊。繁殖用の山羊。大きい雄山羊。

うぶずま [upudz:ma] [名] [うぶず<sup>1</sup>ままい...] 大きな島。水納島の人が多良間島のことを言う。

うぶだがー [upudaga:] [名] [井戸] [うぶ<sup>1</sup>だがーまい...] 井戸の名。人口井戸。

うぶだてい [ubudati] [名] [う<sup>1</sup>ぶだていまい...]

- 頼りになる人。責任者。リーダー。【例】ヴヴァう うぶだていう しーどう みつあきぐまた (あなたを先頭にして道を開けるべきだ)。  
うぶだてい [upudati] [名] [うぶだ<sup>1</sup>ていまい...] 33年忌。  
うぶだていヅ [ubudati] [動II類] [うぶだていー、うぶだていん] [う<sup>1</sup>ぶだていー「ぶヅ」] 頼る。責任者を立てる。  
うぶだゆまた [upudajumata] [名] [地] [うぶ<sup>1</sup>だゆまたまい...] 四辻の名前。  
うぶだらか [upudaraka] [名] [うぶだら<sup>1</sup>かまい...] 大うそ。うそつき。  
うぶちび [uputçibi] [名] [うぶち<sup>1</sup>びまい...] 大きな尻。母が赤ちゃんの尻を撫でて言う。  
うぶちみ [uputçimi] [名] [うぶち<sup>1</sup>みまい...] 大きな爪。蟹の大きな爪。ヤシガニの大きな爪。  
うぶつー [uputs:] [名] [うぶつ<sup>1</sup>ーまい...] 大きな乳。巨乳。  
うぶつかしゃ [uputs:kça] [名] [うぶつか<sup>1</sup>しゃまい...] 大司。最高の神役。  
うぶっじゆき [upuddzuki] [名] [植] [うぶっじゆ<sup>1</sup>きまい...] もんぱのき。海辺に見られる。  
うぶっとう [uputtu] [名] [うぶっとうまい...] 家の柱を乗せる石。礎石。【類】「びさし」。  
うぶっとう [uputtu] [名] [うぶっとうまい...] 大鎚。大きなハンマー。  
うぶでい [upudi] [名] [うぶでいまい...] 大方。大部分。大半。【例】うぶでい すまいった (大方終った)。  
うぶでいー [upudi:] [名] [うぶでい<sup>1</sup>ーまい...] 大きな手 (掌)。小さいことにこだわらない人をたとえる。けちけちなしい人。  
うぶていふすしやーヅ [uputifusçai:] [形] [うぶていふす<sup>1</sup>しやまい...] 粗雑。仕事が粗い。  
うぶでー [upude:] [名] [う<sup>1</sup>ぶでー「まい...」] 大力。  
うぶでーがー [upude:ga:] [名] [井戸] [うぶでーがーまい...] 井戸の名。人口井戸。  
うぶてーむぬ [upute:munu] [名] [うぶてーむ<sup>1</sup>ぬまい...] 力持ち。大力者。  
うぶでーむぬ [upude:munu] [名] [うぶで<sup>1</sup>ーむぬ「まい...」] 大力の人。力持ち。  
うぶとう [uputu] [名] [うぶとうま<sup>1</sup>い...] 大沖。大海。大洋。沖合。【類】「とうー」。  
うぶどうー [upudu:] [名] [地] [うぶどう<sup>1</sup>ーまい...] 多良間島の〈とうぶり〉の名前。村史参照。  
うぶどうー [upudu:] [名] [うぶどう<sup>1</sup>ーまい...] 大胴。大きな体格。体のこと。  
うぶとうぬ [uputunu] [名] [うぶとう<sup>1</sup>ぬまい...] 大殿。支配者。役人。権力者。  
うぶどうまり [upuduma] [名] [地] [うぶどうま<sup>1</sup>りまい...] 多良間島の〈とうぶり〉の名前。村史参照。  
うぶなー [ubuna:] [名] [う<sup>1</sup>ぶなーまい...] 漁をするとき獲れた魚や貝を引っばる縄のこと。  
うぶなー [upuna:] [名] [うぶな<sup>1</sup>ーまい...] 大きな縄。大きな綱。ロープ。  
うぶない [upunai] [名] [うぶな<sup>1</sup>いまい...] 大地震。1771年の明和の大地震は大津波を起した。  
うぶなか [upunaka] [名] [うぶな<sup>1</sup>かまい...] 祭り。神事。【類】「すつうぶなか」。  
うぶなぎ [upunagi] [名] [うぶな<sup>1</sup>ぎまい...] 大風。静かな海のこと。風のないこと。  
うぶなぐい [upunagui] [名] [うぶなぐ<sup>1</sup>いまい...] 大波。大きなうねり。台風の余波。  
うぶなム [upunam] [名] [うぶな<sup>1</sup>ムまい...] 大波。波浪。  
うぶに [upuni] [名] [植] [うぶ<sup>1</sup>にまい...] 大根。根菜。  
うぶにがイ [upuniga:] [名] [うぶにが<sup>1</sup>イまい...] 大きな願い事。家庭内の神事。  
うぶにしゃい [upuniçai] [名] [うぶにしゃ<sup>1</sup>いまい...] 青年男子。若者を讃えて言う。  
うぶにしゃい [upuniçai] [名] [うぶにしゃ<sup>1</sup>いまい...] 八月おどりの大人の笠踊りのこと。  
うぶにぬ ばー [upuninu pa:] [名] [うぶに<sup>1</sup>ぬばー「まい...」] 大根の葉。和えものに利用する。  
うぶにんギ [upunink:] [名] [うぶにん<sup>1</sup>ギまい...] 三十三年忌。  
うぶぬす [upunus:] [名] [うぶぬ<sup>1</sup>すまい...] 大主。王者。大将。ヒーロー。組踊の主人公。口

ひげ・あごひげの威厳が特徴。  
 うぶぬすどう [upunusɽdu] [名] [うぶぬす<sup>1</sup>どう  
 まい...] 大どろぼう。大盗人。  
 うぶぬぬじじょーぬー [upununudzidzo:nu:] [名]  
 [うぶぬぬ<sup>1</sup>じじょーぬーまい...] 布上納。上布  
 の人頭税。【同】「うぶぬぬじゃうぬー」。  
 うぶぬぬじゃうぬー [upununudzaunu:] [名] [う  
 ぶぬ<sup>1</sup>ぬじゃうぬーまい...] 布上納。上布の人  
 頭税。【同】「うぶぬぬじょーぬー」。  
 うぶばーき [upuba:ki] [名] [うぶばー<sup>1</sup>きまい...]  
 大きなざる。【類】「むいじょーき」。  
 うぶばう [upubau] [名] [うぶば<sup>1</sup>うまい...] 大人  
 の棒踊り。【同】「うぶばー」。  
 うぶばうちゃ [ububautɕa] [名] スツウプナカの  
 料理の責任者。【同】「うぶばーちゃ」。  
 うぶばかり [upubaka] [名] [うぶばか<sup>1</sup>りまい...]  
 大きな秤。はかり。棒秤。おもりを移動して釣  
 り合いをとる。  
 うぶばた [upubata] [名] [うぶば<sup>1</sup>たまい...] 大き  
 な腹。妊娠していること。【類】「ばらムばた」。  
 うぶばた [upubata] [名] [うぶば<sup>1</sup>たまい...] 大  
 腸。大きな腹の人。  
 うぶばたむぬ [upubatamunu] [名] [うぶば<sup>1</sup>たむ  
 ぬまい...] たくさん食べる人。大食いの人。  
 うぶばたむぬ [upubatamunu] [名] [うぶば<sup>1</sup>たむ  
 ぬまい...] 大きな腹の人。腹のでっぱった人。  
 妊娠している人。  
 うぶばば [upupaba] [名] [うぶば<sup>1</sup>ばまい...] 大  
 幅。【同】「うーばば」。  
 うぶばんまい [upubanmai] [名] [うぶばんまい  
 まい...] 主食。昔は芋、今は米。  
 うぶびきどうム [upubikidum] [名] [うぶびきど  
 う<sup>1</sup>ムまい...] 大男。大きな体格の男。成人の  
 男。  
 うぶびし [upubiɕi] [名] [うぶび<sup>1</sup>しまい...] 大き  
 な干瀬。  
 うぶびし [upupiɕi] [名] [うぶび<sup>1</sup>しまい...] 大き  
 な瀬。大きな干瀬。【類】「うぶじー」。  
 うぶピとう [upupɽtu] [名] [うぶピ<sup>1</sup>とうまい...]  
 大きな人。成人。知識の豊富な人。親指。  
 うぶぶかむぬ [ubupukamunu] [名] [う<sup>1</sup>ぶぶか

むぬまい...] ひも (うぶ) に通さない魚のこと。  
 スツウプナカに捕った魚をひもに通さない。  
 うぶふぐり [upufugu] [名] [うぶふぐ<sup>1</sup>りまい...]  
 大きな金玉。大きな陰のう。睾丸は誤り。  
 うぶふしゆ [upufuɕu] [名] [うぶふ<sup>1</sup>しゆまい...]  
 大きなくそ。  
 うぶふたい [upufutai] [名] [うぶふた<sup>1</sup>いまい...]  
 大きな額。その人。  
 うぶふつ [upufutsɽ] [名] [うぶふ<sup>1</sup>つまい...] 大  
 きな口。  
 うぶふつがみ [upufutsɽgami] [名] [うぶふ<sup>1</sup>つが  
 みまい...] 大きな口のかめ (入れ物)。  
 うぶふつつー [upufuttsɽ:] [名] [うぶふつつ<sup>1</sup>ーま  
 い...] 前泊港の北側の干瀬の割れ目。  
 うぶふに [upufuni] [名] [うぶふ<sup>1</sup>にまい...] 大き  
 な船。昔の小型船に対して今の「フェリーたら  
 まゆー」のこと。  
 うぶぼー [upubo:] [名] [うぶぼ<sup>1</sup>ーまい...] 大人  
 の棒踊り。【同】「うぶばう」。  
 うぶぼーちゃ [ububo:tɕa] [名] [う<sup>1</sup>ぶぼーちゃま  
 い...] スツウプナカの料理の責任者。【同】「う  
 ぶばうちゃ」。  
 うぶまい [upumaɽ] [名] 大舞い。たくさんのお  
 しゃべりが空を舞うこと。【同】「うぶもー」。  
 うぶまた [upumata] [名] [うぶま<sup>1</sup>たまい...] 大  
 股。歩幅の大きいこと。  
 うぶまっちゃ [upumattɕa] [名] [うぶまっ<sup>1</sup>ちゃ  
 まい...] 大きな店。スーパー。  
 うぶまどう [upumadu] [名] [うぶま<sup>1</sup>どうまい...]  
 大きな休み。暇がありすぎる。仕事のない  
 こと。  
 うぶまどう [upumadu] [名] [うぶま<sup>1</sup>どうまい...]  
 大きな窓。  
 うぶまみ [upumami] [名] [植] [うぶま<sup>1</sup>みまい...]  
 ふじまめ。  
 うぶまら [upumara] [名] [うぶま<sup>1</sup>らまい...] 大  
 きな男根。その人。  
 うぶみー [upumi:] [名] [うぶみ<sup>1</sup>ーまい...] 大き  
 な目の人。  
 うぶみーあムでいり [upumi:amdi] [名] [うぶみ  
<sup>1</sup>ーあムでいりまい...] 目の荒い籠。農具や漁具

- の小物入れ。
- うぶみくム [upumikum] [名] [うぶみく<sup>1</sup>ムまい...] 大見込み。大きな計画。大きな目標。
- うぶみす [upumis] [名] [うぶみ<sup>1</sup>すまい...] スツブナカの七日神酒。【類】「なんかみす」。
- うぶみつ [upumits] [名] [うぶみ<sup>1</sup>つまい...] 大きな道。大道部落のこと。
- うぶみばな [upumipana] [名] [うぶみば<sup>1</sup>なまい...] 大きな顔の人。大きな面構えの人。恥を知らない人。
- うぶみム [upumim] [名] [うぶみ<sup>1</sup>ムまい...] 大きな耳の人。福耳の人。外耳の大きいこと。
- うぶみんたま [upumintama] [名] [うぶみんた<sup>1</sup>ままい...] 大きな目の人。眼光のするどい人。洞察力のある人。
- うぶむギ [upumugi] [名] [植] [うぶむ<sup>1</sup>ギまい...] 大麦。
- うぶムな [upumna] [名] [植] [うぶム<sup>1</sup>なまい...] のぐさ。山菜。のがんぞう。食用に供する。
- うぶムなふしゆ [upumnafuçu] [名] [うぶムなふ<sup>1</sup>しゅまい...] 大うそ。うそつき。
- うぶむぬ [upumunu] [名] [うぶむ<sup>1</sup>ぬまい...] 偉人。強い人。
- うぶむぬ [upumunu] [名] [うぶむ<sup>1</sup>ぬまい...] 大物。大きいもの。すべての物に言う。
- うぶむぬゆム [upumunujum] [名] [うぶむぬゆ<sup>1</sup>ムまい...] ほらふきの人。大げさに言う人。実力をとまなわない人。【類】「ふつがーリ」。
- うぶムま [upumma] [名] [うぶム<sup>1</sup>ままい...] 大母。祖母の姉。
- うぶもー [upumo:] [名] [うぶも<sup>1</sup>ーまい...] 大舞い。たくさんのさしばが空を舞うこと。【同】「うぶまイ」。
- うぶやー [upuja:] [名] [うぶや<sup>1</sup>ーまい...] 母家。大きな家。大きな住まい。
- うぶやーでい [upuja:di] [名] [うぶや<sup>1</sup>ーでいまい...] 大家族。
- うぶやム [upujam] [名] [うぶや<sup>1</sup>ムまい...] 大病。重病。
- うぶゆイ [upujun] [名] [うぶゆ<sup>1</sup>イまい...] 大きく結ぶこと。
- うぶゆー [ubuju:] [名] [う<sup>1</sup>ぶゆーまい...] 産湯。子供が生まれる時に浴びせるお湯。
- うぶゆー [ubuju:] [名] [う<sup>1</sup>ぶゆーまい...] 産婦にあげるお粥。出産のとき炊くお粥。
- うぶゆー [upuju:] [名] [うぶゆ<sup>1</sup>ーまい...] 大世。この世。世界。
- うぶゆーまーるぬ する [ubuju:ma:runu sru] [名] [う<sup>1</sup>ぶゆーまーるぬするまい...] 出産四日目に浜の石とにらを入れた汁。
- うぶゆく [upujuku] [名] [うぶゆ<sup>1</sup>くまい...] 大きな欲。欲ばり。
- うぶゆくむぬ [upujukumunu] [名] [うぶゆ<sup>1</sup>くむぬまい...] 大欲者。欲張り。
- うぶゆだ [upujuda] [名] [うぶゆ<sup>1</sup>だまい...] 大きな枝。
- うぶゆまた [upujumata] [名] [うぶゆま<sup>1</sup>たまい...] 大きな四辻。
- うぶゆめ [upujume] [名] [うぶゆ<sup>1</sup>めまい...] ほらふき。
- うぶゆリ [upuju] [名] [うぶゆ<sup>1</sup>リまい...] 大きな篩（ふるい）。穀物をふる分けける道具。
- うぶゆリ [upuju] [名] [うぶゆ<sup>1</sup>リまい...] 大揺れ。大きな揺れ。大波。大きな波。大きなうねり。台風後の波浪。
- うぶゆリ [upuju] [名] [うぶゆ<sup>1</sup>リまい...] 大きな結び。
- うぶよーイ [upujo:] [名] [うぶよー<sup>1</sup>イまい...] 大きな祝い。家庭内の祝いのこと。
- うぶら [upura] [名] [地] [うぶ<sup>1</sup>らまい...] 大浦部落。宮古島の地名。
- うぶらーすしゃーリ<sup>o</sup> [upura:sja:] [形] [うぶらーす<sup>1</sup>しゃまい...] のん気者であること。気楽。【例】うぶらーすびきどうム（のん気者の男）。
- うぶり [upuri] [名] [うぶ<sup>1</sup>りまい...] 大払。啓蟄の時期に虫払いをする行事。【同】「うるずムしゃうず」。「うるずムしよーず」。
- うぶりリ [uburi] [動II類c型] [うぶりー、うぶりん] おぼれる。水におぼれる。酒におぼれる。
- うぶん [ubun] [名] [うぶ<sup>1</sup>んまい...] お盆。旧暦7月13日から15日。【類】「すとうがつ」。

うぶん [ubun] [名] [うぶ<sup>1</sup>んまい...] お盆。食器を乗せて運ぶお盆のこと。

うぶんじゅー [ubundzu:] [名] [うぶ<sup>1</sup>んじゅーまい...] 和え物の一種の食べ物。

うぶんなー [ubunna:] [名] [植] [うぶ<sup>1</sup>んなーまい...] 和え物用の野菜。

うペーガー [upe:ga:] [名] [井戸] [うペー<sup>1</sup>がーまい...] 井戸の名。人口井戸。

うぼーぶ [upo:pu] [重複] 大きく。立派に。【例】うぼーぶぬ かぶちゃ (大きなかぶちゃ)。うやん ましやリー うぼーぶ なり (親より立派に育て)。

うま [uma] [名] [指] [う<sup>1</sup>ままい...] そこ。そこら。そっち。近い所。背中をかいてもらうときに〈うまどー うま〉(そこだよー) などと言う。【例】うまな (そこか。そちらか)。うまにー (そちらで)。うまー あらん (そこではない。そっちではない)。うまうばー (そこをば。そっちをば)。

うまーす [uma:sj] [動I類c型] [うまーしー、うまーしゃん] 思わせる。

うまかま [umakama] [連語] [指] そっちもこっちも。【例】うまかま とうみー (そっちもこっちも探したよ)。

うまがま [umagama] [名] [指] [うまが<sup>1</sup>ままい...] すぐ近い所。【例】うまがまぬ ばる (すぐ近い畑)。

うまくま [umakuma] [連語] [指] そこここ。そっちこっち。【例】うまくま あげきった (そこここ歩いた)。

うまた [umata] [名] [指] [うま<sup>1</sup>たまい...] そこら辺。【例】うまたん うつぎな (そこら辺に置くな)。

うまたムーな [umatammna] [名] [指] [うま<sup>1</sup>たムーなまい...] そこら辺。【例】うまたムーなうとうみる (そこら辺を探しなさい)。【類】「うまムーな」。

うまつ [umatsj] [名] [うま<sup>1</sup>つまい...] 火。薪の燃える火。枯葉の燃える火。コンロの火。

うまつたつき [umatsjtatsjki] [名] [うま<sup>1</sup>つたつきまい...] 火熾し。火をおこすこと。畑に火を

起こすときは風向きに注意する。

うまつムたビ [umatsjmtabj] [名] [うま<sup>1</sup>つムたビまい...] 火あそび。

うまつめーす [umatsjme:sj] [名] [うま<sup>1</sup>つめーすまい...] 火を燃やすこと。昔、火を燃やさせて男性の評価をした。

うまな かまな [umana kamana] [連語] [指] こっちかあっちか。【例】うまなかまなていー とうみー ぶり (あちこち探している)。

うまふきかまふき [umafukikamafuki] [連語] こっちへ来たりあっちへ行ったり。落ちつきのないこと。

うまふきかまふきめーらび [umafukikamafukime:rabi] [名] [うまふきかまふきめーら<sup>1</sup>びまい...] 杼 (ひ)。織機の道具。【類】「びずぎ」。

うまムーな [umammna] [名] [指] [う<sup>1</sup>まムーなまい...] そこ辺り。そこら辺。その辺り。【類】「うまたムーな」。

うまり<sup>o</sup> [uma] [動I類c型] [うまりー、うまらん] 埋まる。穴が埋まる。会場が満席になる。

うまんか [umanka] [連語] [指] その中に。その中。

うみあーす [umia:sj] [動I類c型] [うみあーしー、うみあーしゃん] 埋め合わせる。【例】うすう ヴヴいー しゃっきんゆ うみあーす (牛を売って借金を埋め合わせる)。

うみギ [umikj] [名] [うみ<sup>1</sup>ギまい...] お神酒。

うみたていり<sup>o</sup> [umitati] [動II類c型] [うみたていー、うみたていん] 埋め立てること。【例】いムゆ うみたていり (海を埋め立てる)。

うみり<sup>o</sup> [umil] [動II類c型] [うみー、うみん] 埋める。【例】つぶあいゆ うみり (肥料を埋める)。

うむイ [umu] [名] [うむイま<sup>1</sup>い...] 思い。願い。【例】うむイぬ ふかしゃ (思いが深いこと)。

うむイギー [umuŋkj:] [動I類c型] [うむイギすいー、うむイギさん] 思い切る。決断する。

うむイくがりり<sup>o</sup> [umuŋkugari] [動II類c型] [うむイくがりー、うむイくがりん] 思いこがれる。思い苦しむ。思い悩む。

うむイだす [umuɪdasɯ] [動I類c型] [うむイだしー、うむイだしゃん] 思い出す。【例】いふしゃぬ くとうー うむイだす (戦争のことを思い出す)。

うむイちがい [umuɪtɕigai] [名] [うむイちが<sup>1</sup>いまい...] 思いちがい。勘ちがい。

うむイでいり [umuɪdi] [動II類c型] [うむイでいー、うむイでいん] 思い出る。思い出す。【例】やらびばなう うむイでいり (子どもの頃を思い出す)。

うむイぬ かぬー [umuɪnu kanu:] [連語] 思いが叶う。計画通りになる。

うむー [umu:] [動I類c型] [うめー、うまーん] 思う。感じる。想像する。【例】うむーたムていー (思ってみたって)。うめーっていーまい (思ってみても)。うめー ぶり (思っている)。

うむーが ねーん [umu:ga ne:n] [連語] 思いのままに。自由に。【例】うむーがねーん ばなし (思いのままに話せ)。

うむーとー かなーん [umu:to: kana:n] [連語] 思い通りにならない。考えていた通りには叶えられない。【例】にがーばまい うむーとー かなーん (願ってみても思うようにならない)。

うむがい [umugai] [名] [うむが<sup>1</sup>いまい...] 面繋 (おもがい)。馬の顔につける道具。

うむかぎ [umukagi] [名] [うむか<sup>1</sup>ぎまい...] 面影。思い出の人、道。【例】かながいぬ みつぬ うむかげー ねーん (昔の道路の面影はない)。

うむくとう [umukutu] [名] [うむく<sup>1</sup>とうまい...] 知識。知恵。学問。思慮。

うむくとうだみす [umukutudamisɯ] [名] [うむく<sup>1</sup>とうだみすまい...] 知恵試し。

うむくとうまき [umukutumaki] [名] [うむく<sup>1</sup>とうまきまい...] 知恵負け。

うむくとうむぬ [umukutumunu] [名] [うむく<sup>1</sup>とうむぬまい...] 知識者。ものしり。

うむくとうんでい [umukutundi] [名] [うむく<sup>1</sup>とうんでい<sup>1</sup>まい...] 知識の出ること。【例】うむくとうんでいばなす (知恵の出る話)。

うむっしぱなす [umuɕcipanasɯ] [名] [うむっ<sup>1</sup>しぱなすまい...] おもしろい話。笑い話。ために

なる話。【類】「ゆがいなばなす」。

うむっしぴとう [umuɕcipɪtu] [名] [うむっし<sup>1</sup>ぴとうまい...] おもしろい人。愉快な人。滑稽な人。冗談を言う人。

うむっしやーり [umuɕɕa:] [形] [うむっ<sup>1</sup>しやまい...] おもしろい。おかしい。楽しい。【例】うむっしくとう (おもしろい事)。かれー うむっしぎ (あの人は面白そうだ)。うむっしやん ならん (とても面白い。とても愉快)。

うむてい [umuti] [名] [うむていま<sup>1</sup>い...] おもて。面。顔。【例】うむていう あぎる (顔を上げよ)。

うむてい [umuti] [名] [うむていま<sup>1</sup>い...] 表。前面。【例】うむていんけー んでいる (表に出なさい)。

うむていがい [umutigai] [名] [うむていがいま<sup>1</sup>い...] 表替え。たたみななどの表替え。

うむていっふム [umutiffum] [連語] 暗い表情。不機嫌な顔つきのこと。【例】うむていっふムむぬ (無愛想な人)。

うむていむき [umutimuki] [名] [うむていむきまい...] 表向き。世間体のためにつくろう。

うむに [umuni] [名] [うむにまい...] 重荷。負担の大きいこと。

うムぱがた [umpagata] [名] [昆虫] [う<sup>1</sup>ムぱがたまい...] きりぎりす。

うムぱら [umpara] [名] [指] [うムぱらんまい...] その方。そちら側。【例】うムぱらう みーだ (そちらを見よ)。

うムま [umma] [名] [うムままい...] あばあさん。祖母。

うムまーしゃ [umma:ɕa] [名] [うムまー<sup>1</sup>しゃ<sup>1</sup>まい...] おばあさん。【類】「うムま」。

うムまがま [ummagama] [名] [うムまが<sup>1</sup>ままい...] 祖父母の妹。

うムまやー [ummaja:] [名] 祖母の家。母の実家。

うムみー [ummi:] [名] [うムみーまい...] 運命。

うむやすしゃーり [umuɕasɕa:] [形] [うむやす<sup>1</sup>しゃまい...] 安心。【例】うむやすくらす (安心して暮らす)。

うむゆ [umuju] [名] [うむゆま<sup>1</sup>い...] おもゆ。病

人食。  
 うむり [umuri] [名] [うむりま<sup>1</sup>い...] 重り。秤のおもり。釣り糸の先のおもり。  
 うめーす [ume:sɯ] [名] [うめ<sup>1</sup>すまい...] 箸。【類】「ばす」。  
 うや [uja] [名] [う<sup>1</sup>やまい...] 父。父母。両親。親。【例】うやまい (父も母も)。うやまい あんなまい (父も母も)。  
 うやあしや [uja:ʃa] [名] [うやあ<sup>1</sup>しゃまい...] 父。父親。主人。  
 うやーす [uja:sɯ] [動I類 a型] [うやーしー、うやーしゃん] まとめる。集める。揃える。人数を揃える。  
 うやーす [uja:sɯ] [動I類 a型] [うやーしー、うやーしゃん] 引き合わせる。寄せ集める。【例】うやーしー まるき (引き合わせて縛りなさい)。  
 うやうしゆり [ujauʃuri] [名] [う<sup>1</sup>やうしゆりまい...] 親恐れ。親を敬うこと。  
 うやうぶず [ujaupudzɯ] [名] [う<sup>1</sup>やうぶずまい...] 祖先。  
 うやがわり [ujagava] [名] 親がわり。【例】うやがわりん ぱたらぎ (親代わりに働く)。  
 うやき [ujaki] [名] [うや<sup>1</sup>きまい...] 金持。富貴。資産家。  
 うやきずま [ujakidzɯma] [名] [うや<sup>1</sup>きずまい...] 豊かな島。住みよい島。  
 うやきつぬじゃら [ujakitsɯndzara] [名] [うや<sup>1</sup>きつぬじゃらまい...] 富をもたらす角皿。  
 うやきばん [ujakiban] [名] [うや<sup>1</sup>きばんまい...] 金持ちの相。  
 うやきはんじょー [ujakihandzɔ:] [名] [うや<sup>1</sup>きはんじょーまい...] 裕福繁盛。金持。  
 うやきみム [ujakimim] [名] [うや<sup>1</sup>きみムまい...] 福耳・果報の兆しのある耳。  
 うやきむぬ [ujakimunu] [名] [う<sup>1</sup>やきむぬまい...] 幸福な人。金持。  
 うやきやー [ujakija:] [名] [うや<sup>1</sup>きやーまい...] 金持の家。  
 うやきゆなうす [ujakijunausɯ] [名] [うやき<sup>1</sup>ゆなうすまい...] 富をもたらす杯。  
 うやきよーだい [ujakjo:dai] [名] [うやきよ<sup>1</sup>ー

だいまい...] 親兄弟。家族。  
 うやぎり [ujagi] [動II類 a型] [うやぎー、うやぎん] 押し上げる。援助する。金品を援助する。【例】くぬ やらびんけー うやぎり (この子どもを援助する)。  
 うやく [ujaku] [名] [うや<sup>1</sup>くまい...] 親子。親戚。  
 うやくーくー [ujaku:ku:] [名] [うやくーく<sup>1</sup>ーまい...] 親孝行。  
 うやぐに [ujaguni] [名] [うやぐ<sup>1</sup>にまい...] 親国。母国。祖国。  
 うやじゃとうがー [ujadzatuɡa:] [名] [井戸] 井戸の名。人口井戸。  
 うやずま [ujadzɯma] [名] [う<sup>1</sup>やずまい...] ふるさと。生まれ島。  
 うやっふあ [ujaffa] [名] [うやっ<sup>1</sup>ふあまい...] 親子。父子。母子。  
 うやぱうぶず [ujapaupudzɯ] [名] [うや<sup>1</sup>ぱうぶずまい...] 先祖。先代。元祖。  
 うやぱっじ [ujapaddzi] [名] 親のいないこと。  
 うやぱっじっふあ [ujapaddziffa] [名] みなし子。親のいない子。  
 うやまい [ujamaɯ] [名] [うやまい<sup>1</sup>い...] 敬い。敬うこと。【例】うやまいぬ ぱなす (敬う話)。  
 うやましやり [ujamaʃa] [名] 親に優ること。親より優れている。  
 うやむー [ujamu:] [動I類 a型] [うやめー、うやまーん] 敬う。尊敬する。  
 うやむとう [ujamutu] [名] [うやむ<sup>1</sup>とうまい...] 親元。親許。【例】うやむとうー ぱなりー (親許を離れた)。  
 うやムま [ujamma] [名] [う<sup>1</sup>やムま<sup>1</sup>まい...] 父母。両親。  
 うやゆずり [ujajudzɯri] [名] 親ゆずり。親から受け継ぐ。  
 うやんなとう [ujannatu] [名] [うやんな<sup>1</sup>とうまい...] 親港。昔の那覇港。  
 うゆび [ujubɯ] [動I類 a型] [うゆびー、うゆばん] 及ぶ。叶う。多く否定の形で使う。【例】うゆばん (及ばない。叶わない)。かりんや うゆばん (彼には及ばない)。

うら [ura] [名] [う<sup>1</sup>らまい...] 裏。裏側。不正。  
 うらうむてい [uraumuti] [名] [うらうむ<sup>1</sup>ていま  
 い...] 裏表。  
 うらかいす [urakais] [動I類] [うらかいしー、  
 うらかいしゃん] [う<sup>1</sup>らかいしー「ぶり」裏返  
 す。ひっくり返す。  
 うらかいり [urakai] [動II類] [うらかいー、う  
 らかいん] [う<sup>1</sup>らかいりー「ぶり」裏返る。ひ  
 っくり返る。【例】ばれー うらかいりー (笑っ  
 てひっくり返った)。  
 うらぎり [uragi] [動I類c型] [うらぎりー、う  
 らぎらん] 裏切る。【例】うらぎりむぬ (裏切  
 り者)。  
 うらじゃ [uradza] [名] [うら<sup>1</sup>じゃまい...] 裏座。  
 奥の部屋。  
 うらじゃう [uradzau] [名] [うらじゃ<sup>1</sup>うまい...]  
 裏の門。【同】「うらじょー」。  
 うらじょー [uradzo:] [名] [うらじょ<sup>1</sup>ーまい...]  
 裏の門。【同】「うらじゃう」。  
 うらす [uras] [動I類c型] [うらしー、うらし  
 しゃん] おろす。下す。荷物を下す。【例】にーゆ  
 うらす (荷を下ろす)。【同】「うるす」。  
 うらす [uras] [動I類c型] [うらしー、うらし  
 しゃん] 織らせる。機織りをさせる。【例】ぬぬ  
 ー うらす (布を織らす)。  
 うらないしゃ [uranaica] [名] [うらない<sup>1</sup>しゃま  
 い...] 占いをする人。  
 うらんだ [uranda] [名] [うらん<sup>1</sup>だまい...] オラ  
 ンダ。昔、ヨーロッパの人をそのように呼ん  
 だ。  
 うらんだぐー [urandagu:] [名] [地] [うらん<sup>1</sup>だ  
 ぐーまい...] オランダ船が座礁した干瀬。  
 うり [u] [名] [指] [うりまい...] それ。【例】う  
 れー (それは)。うれー たーが むぬが (それ  
 は誰のものか)。うるー (それを)。うるー む  
 ていー くー (それを持って来なさい)。うりど  
 ー (それだよ)。うりどう あが むぬ (それが  
 ぼくのものだ)。  
 うり [u] [動I類c型] [うりー、うらん] 織る。  
 機織りする。【例】みどうムぬどう うり (女性  
 が織る)。

うり [uri] [感] [指] ほら。こら。【例】うり ゆ  
 いる (ほらもらいなさい)。  
 うりあい [uriai] [名] [うりあ<sup>1</sup>いまい...] 折り合  
 い。  
 うりー [uri:] [名] [うり<sup>1</sup>ーまい...] お礼。【例】  
 うりーう っさいる (お礼を言いなさい)。  
 うりー [uri:] [名] [うりーま<sup>1</sup>い...] 潤い。湿り  
 け。畑の作付けの良い状態。畑が潤う。  
 うりーぐとう [uri:gu] [名] [うりーぐ<sup>1</sup>とうま  
 い...] 憂え事。心配事。  
 うりがー [uriga:] [名] [うりが<sup>1</sup>ーまい...] 洞井。  
 自然の井戸。  
 うりかいし [urikaici] [名] [うりかい<sup>1</sup>しまい...]  
 折り返し。  
 うりから [u[kara] [連語] それから。その人から。  
 【例】うりから ゆいる (その人からもらいなさい)。  
 うりかり [u[ka] [連語] それあれ。あれこれ。  
 うりしゃか [uriçaka] [名] [うりしゃ<sup>1</sup>かまい...]  
 下り坂。【類】「うりしゃかま」。  
 うりしゃかま [uriçakama] [名] [うりしゃか<sup>1</sup>ま  
 まい...] 下り坂。〈まいどうまづみつがま〉。【類】  
 「うりしゃか」。  
 うりた [u[ta] [名] [指] [うり<sup>1</sup>たまい...] それら。  
 【例】うりたうばー あぐ すな (それらをば仲  
 間にするな)。  
 うりだん [uridan] [名] [うりだ<sup>1</sup>んまい...] 下り  
 段。  
 うりぬーり [urinu:] [名] [う<sup>1</sup>りぬーりまい...] 上  
 り下り。海や畑に行ったり来たりすること。  
 うりふつ [u[futs] [名] [うりふ<sup>1</sup>つまい...] 機織  
 りのはじめの部分。  
 うりふつ [urifuts] [名] [うりふ<sup>1</sup>つまい...] 下り  
 口。下りる入り口。海へ下りる入り口。【類】「と  
 うぶり」。  
 うりみつ [urimits] [名] [うりみ<sup>1</sup>つまい...] 下り  
 道。海へ行く道のこと。通い馴れた海への道。  
 うりみばい [urimibai] [名] [虫] [うりみば<sup>1</sup>いま  
 い...] 果実につく害虫。今は根絶した。  
 うりゆーりらーまい [urju:][a:mai] [連語] [指] そ  
 れ以上に。

うりよー [urijo:] [名] [うりよ<sup>1</sup>ーまい...] 急ぐこと。【例】いでいふにんや うりよー する (出船のときは急ぎなさい)。

うりリ [uri:] [動 II 類 c 型] [うりー、うりん] お茶の葉に湯を注いだとき、味がしみる。

うりリ [uri:] [動 II 類 c 型] [うりー、うりん] 下りる。降りる。海へ行く。【例】きーから うりリ (木からおりる)。うりまん (下りない。海へ行かないこと)。うりんな (下りるな。海へ行くな。下りるな)。

うりん くい [u|n kui] [連語] それを越え。それ以上の。【例】うりんくいぬ むのー ねーん (それ以上のものはない)。

うる [uru] [名] [海藻] [うるまい...] つのまた。

うる [uru] [名] [うるまい...] つのまたを料理して加工したもの。

うるー [uru:] [動 I 類 c 型] [うれー、うらーん、] 潤う。畑が潤おう。【例】ぱるぬ うるーけ あめー っふいー (畑が潤うまで雨は降った)。

うるーがみ [uru:gami] [連語] [指] それだけは。気に入らないときに言う。【例】うるーがみ ずている (それだけは捨てろ)。

うるーどうす [uru:dus:] [名] [うるーどう<sup>1</sup>すまい...] 潤年。旧暦の同じ月が二回ある年のこと。新暦では 4 年に一度 2 月を 29 日までとする年。

うるか [uruka] [名] [地] [うる<sup>1</sup>かまい...] 砂川集落。

うるが ばな [uruga pana] [名] [うるがば<sup>1</sup>なまい...] 珊瑚。主として「みどりいしさんご」のこと。【類】「うるがしや」。

うるがしや [urugaça] [名] [うるがしやまい...] 珊瑚。主として「みどりいしさんご」のこと。【類】「うるがばな」。

うるがん [urugan] [名] [うるがんまい...] オルガン。

うるし [uruçi] [名] [うる<sup>1</sup>しまい...] 漆。

うるす [urus:] [動 I 類 c 型] [うるしー、うるしやん] 下ろす。降ろす。【例】ふにから にーゆ うるす (船から荷を下ろす)。【同】「うらす」。

うるすがに [urus:gani] [名] [うるすが<sup>1</sup>にまい...]

大根をすりおろす用具。【類】「しゃみ」。

うるずム [urudz:m] [名] [うるず<sup>1</sup>ムまい...] おれずも。おれずむ。春の季節。旧暦 3 月の季節。乾季が過ぎて暖かくなり、大地が潤う時季。陽春。

うるずムしゃうず [urudz:mçaudz:] [名] [うるずムしゃう<sup>1</sup>ずまい...] 大払。啓蟄の時期に虫払いをする行事。【同】「うるずムしよーず」。【類】「うぶり」。

うるずムしよーず [urudz:mço:dz:] [名] [うるずムしよー<sup>1</sup>ずまい...] 大払。啓蟄の時期に虫払いをする行事。【同】「うるずムしゃうず」。【類】「うぶり」。

うるム [urum] [動 I 類 c 型] [うるみー、うるまん] 潤む。かすむ。かすんで見える。

うわき [uwaki] [名] [うわきまい...] 浮気。

うわぎ [uwagi] [名] [うわぎまい...] 上着。シャツ。ジバン。

うわぐとう [uwagutu] [名] [うわぐとうまい...] うわごと。たわごと。無意識のことば。

うわらす [uvaras:] [動 I 類 a 型] [うわらしー、うわらしやん] 終わらせる。【例】うわらし (終わらしなさい)。

うわリ [uwa:] [名] [うわリまい...] 終り。終了。完了。終止。

うわリ [uwa:] [動 I 類 a 型] [うわりー、うわらん] 終わる。終了する。完了する。

うん [un] [名] [指] [うんまい...] その時。あの時。【例】うんー しー うかます (その時やっておけばよかったのに)。うんーどう ギたり (そのときに来た)。

うん [un] [名] [うんまい...] 運。運勢。【例】うんや まーりー ギー (運は巡って来る)。

うんあら [un.ara] [名] [うんあ<sup>1</sup>らまい...] 運のある人。運に強い人。幸運な人。【類】「うんあれ」。

うんあり [un.a:] [連語] 運のあること。【例】うんあり ピとう (幸運な人)。

うんあれ [un.are] [名] [うんあ<sup>1</sup>れまい...] 運のある人。運に強い人。幸運な人。【類】「うんあら」。

うんがいす [ungaisj] [名] [うんがい<sup>1</sup>すまい...] 恩返し。【類】「うんぎかいす」。

うんがみ [ungami] [連語] [指] それまで。

うんから [unkara] [連語] [指] それから。あの時から。【例】うんから あすびー (それから遊んだ)。

うんぎ [unkj] [名] [うん<sup>1</sup>ぎまい...] 運。運氣。めぐり合い。【例】うんぎぬ あり (幸運である)。

うんぎ [ungj] [名] [うんぎま<sup>1</sup>い...] 恩義。報わなければならない義理。

うんぎかいす [ungjkaisj] [名] [うんぎかい<sup>1</sup>すまい...] 恩義返し。恩返し。【類】「うんがいす」。

うんぎかヴヴィ° [ungjkavvj] [名] [うんぎかヴ<sup>1</sup>ヴィまい...] 恩義被り。恩義を負うこと。

うんぎた [unkjta] [名] [指] [うんぎ<sup>1</sup>たまい...] それら。それたち。その人たち。【例】くぬ びんだー うんぎたが むぬ (この山羊はそれたちのものだ)。【類】「うんけ」。

うんぎたが ムめ [unkjtaga mme] [名] [指] [うんぎた<sup>1</sup>がムめ<sup>1</sup>まい...] それら。それたち。その人たち。

うんぎばり [ungjbari] [名] [うんぎばりまい...] 恩義晴れ。恩返し。

うんぐー [ungu:] [名] [海の生物] [うんぐーまい...] うに。ながうに。

うんぐすく [ungusjku] [名] [うんぐす<sup>1</sup>くまい...] 運城御嶽のこと。

うんけ [unke] [名] [指] [うん<sup>1</sup>けまい...] それら。それたち。その人たち。【例】くぬ びんだー うんけが むぬ (この山羊はそれたちのものだ)。【類】「うんぎた」。

うんけが ムめ [unkega mme] [名] [指] [うんけ<sup>1</sup>がムめ<sup>1</sup>まい...] それら。それたち。その人たち。

うんけかんけ [unkekanke] [連語] [指] あの人この人。あの人たちこの人たち。

うんしー [unçei:] [副] [指] そのように。そんなに。【例】うんしーぬ ばーどう あたり (そのようなことであった)。

うんしーかんしー [unçei:kancj:] [連語] [指] そんなにこんなに。【例】うんしー かんしー うむ

ー (そんなにこんなに思う)。

うんしえー [unçei:] [名] [うんしえ<sup>1</sup>ーまい...] 運の強いこと。またその人。

うんじゅ [undzju] [名] [代] [うん<sup>1</sup>じゅまい...] あなた。あなた様。【例】うんじゅが むぬ (あなたのもの)。

うんじゅーしゃーリ° [undzju:çaj] [形] [うんじゅー<sup>1</sup>しゃまい...] 運が強い。

うんじゅーむぬ [undzju:munu] [名] [うんじゅーむ<sup>1</sup>ぬまい...] 運の強いこと。またその人。

うんしゆく [unçuku] [副] [指] それほどに。大変。

うんしゆくぬ むぬ [unçukunu munu] [連語] [指] それほどのもの。大変な人。信頼できない者。

うんしゆくばーき [unçukuba:kj] [連語] [指] それほどにたくさん。そんなに大げさに。【例】うんしゆくばーき ぱなす (そんなに大げさに話す)。

うんだき [undaki] [名] [指] [うんだ<sup>1</sup>きまい...] それだけ。【例】うんだきどう あり (あるものはそれだけだ)。

うんだきがま [undakigama] [名] [指] [うんだきが<sup>1</sup>まい...] たったそれだけ。【例】あんーや うんだきがま (ぼくにはたったそれだけ)。

うんだきムーな [undakimna] [名] [指] [うんだ<sup>1</sup>きムーなまい...] こんなにたくさん。【例】あんや うんだきムーな (ぼくはこんなにたくさん)。

うんつん [untsjn] [名] [うんつんまい...] 運賃。

うんていん [untin] [名] [うんてい<sup>1</sup>んまい...] 運転。

うんどーれ [undure] [副] [指] そんなに遅く。【例】うんどーれ まーリ°な (そんなに遅く歩くな)。

うんとうら [untura] [名] [うんとうらまい...] 鬼虎。八月おどり参照。【同】「うにとうら」。

うんどー [undo:] [名] [うんどー<sup>1</sup>まい...] 運動。

うんどーかい [undokai] [名] [指] [うんどーか<sup>1</sup>いまい...] 運動会。

うんな [unna] [名] [指] [うんな<sup>1</sup>が むていむてい] めいめい。各自。【例】うんなが むてい

(めいめいの分)。

うんながめーめー [unnaga me:me:] [名] [うんな<sup>1</sup>がめー「めーまい...」人それぞれ。各自。めいめい。

うんなぎ [unnagi] [名] [指] [うんな<sup>1</sup>ぎまい...] その頃。あの頃。【例】うんなぎぬ ばなす (あの頃の話)。

うんぬ [unnu] [連体] [指] その。その時の。その場の。【例】うんぬ ピーや あみどう あたり (その日は雨だった)。

うんぬ すとうむてい [unnu sɯtumuti] [名] [指] [うんぬすとうむ<sup>1</sup>ていまい...] その日の朝。

うんぬ ながた [unnu nagata] [名] [指] [うんぬながたまい...] その翌日。

うんぬ ピー [unnu pi:] [名] [指] [うんぬピーまい...] その日。

うんぬ ゆー [unnu ju:] [名] [指] [うんぬゆーまい...] あの夜。その夜。【例】うんぬ ゆーぬかぎつぎ (あの夜のきれいな月)。

うんぱん [unpan] [名] [うんぱ<sup>1</sup>んまい...] 運搬。

うんぶ [unbu] [名] [うん<sup>1</sup>ぶまい...] おんぶ。子どもを背負うこと。

うんまかす [unmakasɯ] [名] 運任せ。運にまかすこと。

うんよーしゃーり° [un.jo:ɕa:] [形] [うんよー<sup>1</sup>しゃまい...] 運が弱い。運が悪い。【類】「ふずぐばしゃーり°」。

うんよーむぬ [un.jo:munu] [名] [うんよーむ<sup>1</sup>ぬまい...] 運が弱い者。運が悪い者。【類】「ふずぐばむぬ」。

うんーか [unnka] [連語] [指] その時。あの時。【例】うんーか かりたり° じん (あの時借りたお金)。

## — え —

えー [e:] [名] [えーまい...] 綾。柄。模様。色合。  
【同】「あや」。

えーい [ei:] [感] 返事するときの言葉。目下の者  
へ返事するときを使う。

えーぎ<sup>ろ</sup> [egi:] [動Ⅱ類 a 型] [えーぎー、えー  
ぎん] 縛る。吊り下げる。【例】うでいう えー  
ぎ<sup>ろ</sup> (腕を縛る)。しゅでいう えーぎ<sup>ろ</sup> (袖を  
縛ってまとめる)。

えーぐ [e:gu] [名] [えー<sup>ろ</sup>ぐまい...] 歌。歌謡。  
【例】たらまえーぐ (多良間の古謡・民謡・村  
歌)。しゃんしむや えーぐぬ ぎす (三線は歌  
の下司)。

えーぐ すー [e:gu sɯ:] [連語] 歌う。【例】ずーに  
んぬ えーぐ すー (地謡の歌)。

えーぐい [e:gui] [名] [えーぐ<sup>ろ</sup>いまい...] 甲高い  
声。変声期の声。

えーす [e:sɯ] [動Ⅰ類 a 型] [えーしー、えーしゃ  
ん] こぼす。散らかす。車から落とすこと。【例】  
えーしー (こぼした)。

えーす [e:sɯ] [動Ⅰ類 a 型] [えーしー、えーしゃ  
ん] 膿を出す。【例】えーしー (膿を出した)。

えーす [e:sɯ] [動Ⅰ類 a 型] [えーしー、えーしゃ  
ん] 穀物を精げる。〈ふりまぼう〉(くるり棒)  
を用いる。脱穀する、畑や庭にむしろを敷いて  
その上に精げる。

えーす [e:sɯ] [動Ⅰ類 a 型] [えーしー、えーしゃ  
ん] 殴る。こらしめる。【例】えーしー (殴っ  
た)。

えーすんぎ [e:sɯnkɯ] [動Ⅰ類 a 型] [えーすんき  
ー、えーすんかん] なぐりつける。こらしめる。  
【例】えーすんきー ならーし (嚴重にしつけ  
よ)。【類】「すつきり」。

えーつていー [e:ttɯ:] [副] [指] このように。こ  
んなに。こうして。【例】あんしーや あらん、

えーつていー する (そうじゃない、こうだ)。  
えーつとう [e:ttu] [名] [えーつ<sup>ろ</sup>とうまい...] 槌。  
物をたたく道具。【例】えーつとうにー くいゆ  
ふつ (槌で杭を打つ)。【類】「ぎんのー」。「げ  
んのー」。

えーつび [e:tsɯbi] [名] [えーつ<sup>ろ</sup>びまい...] 泡。口  
から出る泡。口角泡を飛ばす。泡吹。気泡。暑  
い日にどろ沼から発生するメタンガスの泡。

えーぬム [e:nu] [名] [虫] [えーぬ<sup>ろ</sup>ムまい...]  
なんきんむし。床の隔間に住み、夜のうちに這  
い出して人の皮ふから血を吸う。

えーび [e:bi] [名] [貝] [えーびまい...] あわび。  
みみがい。常節 (とこぶし) の仲間。

えーびぐー [e:bi:gu:] [名] [えーびぐ<sup>ろ</sup>ーまい...]  
あわびの殻。

えーまき [e:maki] [名] [えーま<sup>ろ</sup>きまい...] わが  
まま。【同】「あやまき」。

えーまぎ [e:magi] [名] [えーま<sup>ろ</sup>ぎまい...] 両手。  
両肩。両側。両方。夫婦の実家。

えーまきむぬ [e:makimunu] [名] [えーまきむ<sup>ろ</sup>  
ぬまい...] わがまま者。【同】「あやまきむぬ」。

えーム [e:m] [名] [えームま<sup>ろ</sup>い...] 暗いこと。闇。  
【例】っふあえーム (まっ暗闇)。

えームばイ [e:mbaɯ] [名] [えームばイまい...] タ  
方遅くまで畑仕事をする事。

えームぶー [e:mbu:] [名] [昆虫] [えームぶーま  
い...] 蛾の仲間。すずめが。

えームゆー [e:m:ju:] [名] [えームゆーまい...] 闇  
夜。何も見えない夜。月もなく真っ暗な夜。

えーり [e:] [動Ⅰ類 a 型] [えーりー、えーらん]  
こぼれる。もれる。散る。抜ける。【例】えーり  
ーり (こぼれている)。

えげー [ege:] [感] 失敗したときに発する。

えぬ [enu] [連体] [指] この。物や人に対して言  
う。【例】えぬ ピとう (この人)。えぬ やー  
(この家)。【同】「ヴえぬ」。

えぬ むぬ [enu munu] [名] [指] [えぬむぬま  
い...] この人。この物。【同】「ヴえぬむぬ」。

えま [ema] [名] [指] [え<sup>ろ</sup>ま<sup>ろ</sup>まい...] ここ。【例】  
えまん ぶり (ここにいなさい)。【同】「ヴえ  
ま」。

えまた [emata] [名] [指] [えま<sup>1</sup>た<sup>1</sup>まい...] こ  
こら。ここちら。【例】えまたう どうみる (こ  
こらを探しなさい)。【同】「ヴェまた」。

えまたムーな [ematammna] [名] [指] [えま<sup>1</sup>た<sup>1</sup>  
ムーなまい...] ここら。ここちら。【例】えまた  
ムーなう どうみる (ここちらを探しなさい)。  
【同】「ヴェまたムーな」。

えまムーな [emammna] [名] [指] [え<sup>1</sup>ま<sup>1</sup>ムーな  
まい...] ここ辺り。ここちら。この辺り。【例】  
えまムーなう どうみる (ここ辺りを探しなさい)。  
【同】「ヴェまムーな」。

えまんか [emanka] [連語] [指] この中に。ここ  
の中。【同】「ヴェまんか」。

えムぱら [empara] [名] [指] [え<sup>1</sup>ムぱらまい...]  
こちら。ここちら側。【例】えムぱらう みーる  
(ここちらを見なさい)。【同】「ヴェんぱら」。

えリ [el] [名] [指] [え<sup>1</sup>リまい...] これ。この人。  
【例】えリが むぬ (この人のものだ)。【同】「ヴェ  
えリ」。

えリた [el<sup>1</sup>ta] [名] [指] [えリ<sup>1</sup>た<sup>1</sup>まい...] これ  
ら。これたち。【同】「ヴェえリた」。

えんギた [enk<sup>1</sup>ta] [名] [指] [えんギ<sup>1</sup>た<sup>1</sup>まい...]  
これら。これたち。【同】「ヴェんギた」。

えんギたが ムめ [enk<sup>1</sup>taga mme] [名] [指] [え  
んギた<sup>1</sup>がムめ<sup>1</sup>まい...] これら。これたち。【同】  
「ヴェんギたがムめ」。

えんけ [enke] [名] [指] [えん<sup>1</sup>け<sup>1</sup>まい...] これ  
ら。これたち。【同】「ヴェんけ」。

えんけが ムめ [enkega mme] [名] [指] [えん<sup>1</sup>  
け<sup>1</sup>がムめ<sup>1</sup>まい...] これら。これたち。【同】「ヴェ  
えんけがムめ」。

えんしー [enci:] [副] [指] このように。【例】え  
んしー する (このようにしなさい)。【同】「ヴェ  
えんしー」。

## — お —

おー [o:] [感] はい。先輩や目上の人への返事。  
【例】おー までいー わーり (はい待って下さい)。

おーあー [o:a:] [名] [植] [おーあ<sup>1</sup>ーまい...] 青粟。【同】「あうあー」。

おーい [o:i] [感] おーい。遠くの人を呼ぶ。

おーがた [o:gata] [名] [お<sup>1</sup>ーがたまい...] O型。血液型。

おーかつふい ねーん [o:kaffi ne:n] [連語] それとはっきり分かること。偽れないこと。間違いないこと。見てすぐ分かるときに言う。

おーがま [o:gama] [名] [おーが<sup>1</sup>ままい...] 組踊の姉妹の姉の役。くいがまは妹の役。【同】「あうがま」。

おーき [o:ki] [名] [おー<sup>1</sup>きまい...] 大木。大木部落のこと。【同】「うぷき」。【類】「ムましぶ」。

おーギ [o:gi] [名] [おー<sup>1</sup>ぎまい...] 扇。【同】「あうぎ」。

おーギ [o:gi] [動I類c型] [おーぎー、おーがん] 扇ぐ。【同】「あうぎ」。

おーぎり [o:gi] [動II類a型] [おーぎー、おーぎん] こぼす。【例】おーぎる (こぼせ)。ぱくー おーぎる (箱を空にしてしまえ)。おーぎー ねーん (こぼしてしまった)。【同】「あうぎり」。

おーく [o:ku] [名] [おー<sup>1</sup>くまい...] 棒。【同】「あうく」。

おーさーらー [o:sara:] [名] [おーさーら<sup>1</sup>ーまい...] お手玉。

おーしん [o:cin] [名] [おーし<sup>1</sup>んまい...] 往診。

おーだ [o:da] [名] [おー<sup>1</sup>だまい...] もっこ。畚。荷物の運搬用具。【同】「あうだ」。

おーだん [o:dan] [名] [おーだんまい...] 黄疸。

おーちゃく [o:ɕaku] [名] [おーちゃくまい...] 横着。横着者。

おーぬず [o:nudz] [名] [おーぬずまい...] 青大将。蛇の一種。【同】「あうぬず」。

おーばイ [o:baɪ] [名] [昆虫] 青蠅。銀蠅。金蠅。【同】「あうばイ」。

おーばく [o:baku] [名] [植] [おーばくまい...] おおばこ。【類】「ヴえーだぬじゅーふしや」。

おーべーり [o:be:ri] [名] [おーべーりまい...] 晴天。【同】「あうべーり」。

おーべーり [o:be:ri] [名] 青ざめ。顔色のさえないこと。病後の人の顔。【同】「あうべーり」。

おーまみ [o:mami] [名] [おーま<sup>1</sup>みまい...] 緑豆。たらまみ。もやしに最も適している。【同】「あうまみ」。【類】「たらまみ」。

おーみち [o:mitçi] [名] [おーみ<sup>1</sup>ちまい...] 大道。大道部落のこと。寅支部。塩寅。

おーム [o:m] [動I類c型] [おーみー、おーまん] 青くなる。【例】うるずムんや ふしやきぬ おーム (春には草木が青くなる)。【同】「あうム」。

おーむ [o:mu] [名] [鳥] [おー<sup>1</sup>むまい...] おうむ。飼い鳥。

おーむす [o:mus] [名] [おーむ<sup>1</sup>すまい...] 青虫。もんしろちょうの幼虫。【同】「あうむす」。

おームべーり [o:mbe:ri] [動I類c型] [おームべーりー、おームべーらん] 青ざめる。【例】みばなぬ おームべーりーり (顔色が青白くなっている)。【同】「あうムべーり」。

おーむり [o:mu] [名] [魚] [おーむりまい...] あまみふえふき。

おーり [o:] [動I類c型] [おーりー、おーらん] あおる。穀物を箕であおる。精げる。【同】「あうり」。

おつ [ots] [名] [お<sup>1</sup>つまい...] 乙。十干の二番目。昔、成績の二番目の人。

## — か —

か [ka] [助数] 日。日数を数える。【例】ふつか (二日)。ミーカー (三日)。

が [ga] [助] ～が。～の。主格・属格を表わす。【例】うやが ならーしー ぶり (父が教えている)。うやが むぬ (父のもの)。あが むてい (私の分)。きゅーが ゆー (今日の夜)。

かー [ka:] [名] [かーまい...] 井戸。泉。村史参照。【例】ながしがー (井戸名)。あまがー (井戸名)。ふたつがー (井戸名)。しゅがーがー (井戸名)。

かー [ka:] [名] [かーまい...] 皮。樹皮。果実の皮。動物の皮。

がー [ga:] [名] [がーまい...] 我。我を張ること。自我自尊。我田引水。自己主張。

かーう ぱぎ [ka:u pagi] [連語] 皮をはぐ。【例】つふびぬ かーう ぱぎ (かわはぎの皮を剥ぐ)。

かーう むギ [ka:u muk] [連語] 皮をむく。【例】ふぬーぬ かーう むギ (みかんの皮をむく)。

かーうり [ka:uri] [名] [かーう<sup>1</sup>りまい...] 水汲み。井戸に下りる。

がーがー [ga:ga:] [擬] やがましい。うるさい。騒がしい。

かーかす [ka:kas] [動 I 類 c 型] [かーかしー、かーかしゃん] 飢えさせる。食事を与えない。【例】うぶりんや ぬーまう かーかす (うぶりには馬に草を与えない)。

かーかす [ka:kas] [動 I 類 c 型] [かーかしー、かーかしゃん] 魚や蛸やいかを燻製にする。【例】たくー かーかす (蛸を燻製にする)。

かーかム [ka:kam] [動 I 類 c 型] [かーかみー、かーかまん] 金や物を惜しむ。けちる。こうかつである。

かーかムむぬ [ka:kammunu] [名] [かーかムむ<sup>1</sup>ぬまい...] けちんぼ。自分の持ち物を他人に見

せない人。

かーかめ [ka:kame] [名] [かーか<sup>1</sup>めまい...] けちんぼ。けちけちする人。

かーき [ka:ki] [名] [かー<sup>1</sup>きまい...] 渴き。飢える。ひもじい。空腹。

かーぎ [ka:gi] [名] [かー<sup>1</sup>ぎまい...] 容貌。顔だち。顔のつくり。目鼻立ち。整った顔。

かーきずに [ka:kidzɯni] [名] [かーきず<sup>1</sup>にまい...] 餓死。【同】「かーきずん」。

かーきずん [ka:kidzɯn] [名] [かーきず<sup>1</sup>んまい...] 飢え死に。餓死。【同】「かーきずに」。

かーきだく [ka:kidaku] [名] [かーきだ<sup>1</sup>くまい...] 燻製した蛸。干し蛸。

かーきない [ka:kinai] [名] [かーきな<sup>1</sup>いまい...] 貧乏家庭。【類】「かーやー」。

かーきむぬ [ka:kimunu] [名] [かーきむ<sup>1</sup>ぬまい...] 飢えた人。食事にありつけない人。

かーきり [ka:ki] [動 II 類 c 型] [かーきー、かーきん] 飢える。渴く。【例】かーきりばどう かーやーぬ くとー すー (飢えて貧乏家庭のことはわかる)。

かーきり [ka:ki] [動 II 類 c 型] [かーきー、かーきん] 乾く。洗濯物が乾く。【類】「かーらぎ」。

かーきり [ka:ki] [動 II 類 c 型] [かーきー、かーきん] 燻製になる。【例】かーきりけー ふーな (燻製できるまでは食べるな)。

かーきんギ [ka:kink] [動 I 類 c 型] [かーきんきー、かーきんかん] 非常に飢える。三度の食事にありつけないこと。

かーぐつ [ka:guts] [名] [かーぐ<sup>1</sup>つまい...] 革靴。

かーくらす [ka:kuras] [名] [かーくら<sup>1</sup>すまい...] 貧乏暮らし。

かーしゃ [ka:ɕa] [名] [かー<sup>1</sup>しゃまい...] 疲れ。疲労。

かーしゃーり [ka:ɕa:] [形] [かー<sup>1</sup>しゃまい...] 疲れる。苦しい。【例】かーしゃぬ (疲れた)。かーしゃん ならん (疲れてたまらない)。かーしゃ ねーん (疲れていない)。すっじゃういや かーむぬ (さとうきびの植え付けは疲れる)。

かーしゃーり [ka:ɕa:] [形] [かー<sup>1</sup>しゃまい...] 貧

乏。貧しい。【例】かーやー（貧しい家庭）。  
 かーしゃうず [ka:ɕaudzɯ] [名] [かーしゃうずまい...] 井戸の掃除。【同】「かーしよーず」。  
 かーしゃらい [ka:ɕarai] [名] [かーしゃらいまい...] 井戸さらえ。井戸の掃除。  
 がーじゅーしゃーり [ga:dʒu:ɕa:] [形] [がーじゅーしゃまい...] 我の強い人。強情人。【類】「ふつじゅーしゃーり」。  
 がーじゅーむぬ [ga:dʒu:munu] [名] [がーじゅーむぬまい...] 我が強い人。口の強い者。口答えの強い者。【類】「ふつじゅーむぬ」。  
 かーじゅく [ka:dʒuku] [名] [かーじゅくまい...] 水たまり。くぼ地。沼。  
 かーしゅぶぎ [ka:ɕupugi] [名] [かーしゅぶぎまい...] 皮の帯。ベルト。  
 かーしよーず [ka:ɕo:dʒɯ] [名] [かーしよーずまい...] 井戸の掃除。【同】「かーしゃうず」。  
 かーす [ka:sɯ] [名] [かー<sup>1</sup>すまい...] 菓子。子どもの間食として食べる。和菓子・洋菓子。  
 かーす [ka:sɯ] [動I類c型] [かーしー、かーしゃん] 交わす。  
 かーす [ka:sɯ] [動I類a型] [かーしー、かーしゃん] 買わせる。売る。【例】かーすな（買わせるな）。まっちゃから かーす（店のものを買わす）。かーしー わーり（売って下さい）。しゃきう かーしー わーり（酒を売って下さい）。  
 かーすー [ka:sɯ:] [名] [地] [かーすーまい...] 海域の名。  
 がーすー [ga:sɯ:] [連語] 我を張る。主張する。【例】がーしる（我を張れ）。がーすな（我を張るな）。うとうりがーすー（ひどく我を張る）。  
 がーすーめー [ga:sɯ:me:] [名] [がーすーめーまい...] 口げんか。口論。我の張り合い。  
 かーすかたり [ka:sɯkatali] [動I類c型] [かーすかたりー、かーすかたらん] 皮ふがただれる。しわだらけ。老人の皮ふ。  
 かーすめーが [ka:sɯme:ga] [名] [かー<sup>1</sup>すめーが「まい...」] 子供の遊び。「かすみかくもか」を歌いながら二人向き合って手をつなぎ胴上げする遊び。  
 かーすやー [ka:sɯja:] [名] [かー<sup>1</sup>すやーまい...]

菓子屋。菓子をつくる所。菓子店。  
 かーた [ka:ta] [名] [かーたんまい...] 彼方。遠い所。外国のことも言う。【同】「かだー」。  
 かーたり [ka:tali] [動I類c型] [かーたりー、かーたらん] 汚れる。衣服がよれよれの状態のこと。【類】「すかたり」。  
 かーつー [ka:tsɯ:] [名] [かーつ<sup>1</sup>ーまい...] 夏至。二十四節気の一つ。6月21日頃。  
 かーつーばい [ka:tsɯ:bai] [名] [かーつ<sup>1</sup>ーばいまい...] 夏至の頃の南風。はえ。白南風。黒南風。【類】「ばいかでい」。  
 がーっふいー [ga:ffi:] [副] たくさん。人・動物・物の数に言う。【例】しゃたう がーっふいーイズいんな（砂糖をたくさん入れるな）。がーっふいーぬ ピとう（たくさんの人）。がーっふいーぬ むぬ（たくさんのも）。【同】「がーっふえー」。「ごーっふいー」。「ごーっふえー」。  
 がーっふえー [ga:ffe:] [副] たくさん。人・動物・物の数に言う。【例】しゃたう がーっふえーイズいんな（砂糖をたくさん入れるな）。がーっふえーぬ ピとう（たくさんの人）。がーっふえーぬ むぬ（たくさんのも）。【同】「がーっふいー」。「ごーっふいー」。「ごーっふえー」。  
 かーでいぎー [ka:digi:] [名] [植] [かー<sup>1</sup>でいぎーまい...] こぼていし。ももたまな。  
 かーとうり [ka:tu:] [名] [鳥] [かーとうりまい...] かも。  
 がーな [ga:na] [名] [鳥] [がー<sup>1</sup>なまい...] あひる。家禽。  
 かーにームー [ka:ni:mm] [名] [かーに<sup>1</sup>ームーまい...] 皮のついたまま煮た芋。  
 かーぬ かム [ka:nu kam] [名] [かーぬか<sup>1</sup>ムまい...] 井戸の神。  
 かーぬ みず [ka:nu midzɯ] [名] [かーぬみ<sup>1</sup>ずまい...] 井戸の水。静かさを意味する。海の風を井戸の水にたとえる。  
 がーぬぎぎー [ga:nukigi:] [名] [植] [がーぬ<sup>1</sup>ぎぎーまい...] 桑の木。桑の実（なっじゃ）。【類】「ばんぎぎー」。  
 がーぬぎぬ なり [ga:mukɯnu na] [名] [がーぬぎ<sup>1</sup>ぬなり「まい...」] 桑の実。【類】「なっじゃ」。

かーばギ [ka:paŋi] [名] [かーば<sup>1</sup>ギまい...] 皮剥ぎ。皮を剥ぐこと。

かーぱり [ka:pa] [動I類c型] [かーぱりー、かーぱらん] 耐える。がんばる。自分にできる限りの力を出す。【例】みーだ、かーぱりー ぶり (見よ、がんばっている)。

がーぱり [ga:pa] [動I類c型] [がーぱりー、がーぱらん] 我を張る。だだをこねる。【例】がーぱりー あんなが ちびん ぶり (だだをこねて母の後にいる)。

かーピギたり [ka:piki:ta] [動I類c型] [かーピギたりー、かーピギたらん] しわだらけ。手の甲の皮ふを引っ張ると分かる。

かーふしゃ [ka:fu:ʃa] [名] [植] [かーふしゃまい...] せいろんべんけい。

かーふなた [ka:funata] [名] [かーふなたまい...] 蛙。元々多良間には蛙はいなかった。1956年に宮古島からおたまじゃくしが旅行者によって入った。

かーぷや [ka:puja] [名] [か<sup>1</sup>ーぷや<sup>1</sup>まい...] 凧の種類。最も小形の子ども用の凧。

かーぷり [ka:pu] [名] [かーぶ<sup>1</sup>りまい...] 井戸掘り。

かーまら [ka:mara] [名] [かーまらまい...] 包莖。男根のこと。

かーみ [ka:mi] [名] [かー<sup>1</sup>みまい...] 人名。

かーみうとう [ka:miutu] [名] [かーみう<sup>1</sup>とうまい...] 貧乏夫婦。【同】「かーみうとうら」。

かーみうとうら [ka:miutura] [名] [かーみ<sup>1</sup>うとうらまい...] 貧乏夫婦。【同】「かーみうとう」。

かーむギ [ka:muki] [名] [かーむ<sup>1</sup>ギまい...] 皮を剥くこと。みかんの皮を剥く。はぐ。

かーむぬ [ka:munu] [名] [かーむ<sup>1</sup>ぬまい...] 疲れ。

かーむぬ [ka:munu] [名] [かーむ<sup>1</sup>ぬまい...] 貧乏者。【類】「きばんむぬ」。

かーやー [ka:ja:] [名] [かーや<sup>1</sup>ーまい...] 貧乏家庭。【類】「かーきない」。

かーよーイ [ka:jo:i] [名] [かーよー<sup>1</sup>イまい...] 井戸の神へ感謝する祭り。

かーら [ka:ra] [名] [かー<sup>1</sup>らまい...] 瓦。かわら

屋根の瓦。【類】「あかがーら」。

かーら [ka:ra] [名] [かー<sup>1</sup>らまい...] 破片。シーターの鍋の側面に付く板状の黒糖。【類】「なびがーら」。

がーら [ga:ra] [名] [魚] [がー<sup>1</sup>らまい...] あじの仲間。

がーらがーら [ga:ragara] [擬] [がーらがーらていー...] 下駄を置いて歩いた時の音。

かーらかす [karakas] [動I類a型] [かーらかしー、かーらかしやん] 乾かす。【例】あしうかーらかし (汗を乾かしなさい)。しんたくむぬー かーらかし (洗濯物を乾かせ)。

かーらギ [karaki] [動I類a型] [かーらきー、かーらかん] 乾く。【例】かーらきった (乾いた)。ピーていりん ぷすぼどう かーらギ (太陽に当てれば乾く)。【同】「からーギ」。

かーらす [karas] [動I類a型] [かーらしー、かーらしやん] 違える。他人の物と違える。

がーらみかす [ga:ramikas] [動I類c型] [がーらみかしー、がーらみかしやん] 下駄の音を立てる。

がーらみギ [ga:ramiki] [動I類c型] [がーらみきー、がーらみかん] 下駄の音がする。

かーらやー [karaja:] [名] [かー<sup>1</sup>らやーまい...] かわらぶきの家。【類】「あかがーらやー」。

かーり [ka:] [名] [かー<sup>1</sup>りまい...] 代理人。代りの人。【例】あが かーりん いき (私のかわりに行け)。

かーり [ka:] [名] [かー<sup>1</sup>りまい...] 楔。くさび。【類】「ふしゃビ」。

かーり [ka:] [動I類a型] [かーりー、かーらん] 変る。変化する。声が変わる。変声する。【例】くいがーり (変声)。ゆぬなかー あていくとうかーりー ぶり (世の中は大変変っている)。

かーり [ka:] [動I類a型] [かーりー、かーらん] 代る。交替する。【例】かーりぐまた (代るべきだ)。しきう かーり (席を替わる、席を移る)。

かーり [ka:] [動I類a型] [かーりー、かーらん] 熟する。果物が熟する。果実が食べ頃になる。子どもが成長する。【例】かーりった (熟した・成長した)。

がーり [ga:] [動 I 類 c 型] [がーりー、がーらん]  
おしゃれをする。【例】がーりぶすしゃーり (お  
しゃれしたい)。がーりぶすむぬ (おしゃれし  
たくてたまらない)。【類】「しゅがり」。

がーり [ga:] [動 I 類 c 型] [がーりー、がーらん]  
自慢する。

かーりがーり [ka:ga:] [副] 代りばんこ。代わり  
代わり。

がーりしょーぶ [ga:ʃo:bu] [名] [がーりしょー  
ぶまい...] おしゃれ勝負。おしゃれを楽しむ。

がーりばなす [ga:pnaʃ] [名] [がーりばな<sup>1</sup>す  
まい...] 自慢話。

がーりピとう [ga:pitu] [名] [がーりピ<sup>1</sup>とうま  
い...] おしゃれする人。着飾る人。【類】「がー  
りむぬ」。

がーりピとう [ga:pitu] [名] [がーりピ<sup>1</sup>とうま  
い...] 自慢する人。ほらふき。【類】「がーりむ  
ぬ」。

かーりむぬ [ka:munu] [名] [かーりむ<sup>1</sup>ぬまい...]  
変わり者。変人。

がーりむぬ [ga:munu] [名] [がーりむ<sup>1</sup>ぬまい...]  
おしゃれをした人。【類】「がーりピとう」。

がーりむぬ [ga:munu] [名] [がーりむ<sup>1</sup>ぬまい...]  
自慢する人。ほらふき。【類】「がーりピとう」。

がーりむぬイー [ga:munu:i] [名] [がーりむぬイ  
<sup>1</sup>ーまい...] 自慢話。

かーわじゃ [ka:vadzʌ] [名] [かーわ<sup>1</sup>じゃまい...]  
きつい仕事。重労働。

かーんギ [ka:ŋkɿ] [動 I 類 c 型] [かーんきー、か  
ーんかん] 非常に飢える。

かい [kaɿ] [名] [かいま<sup>1</sup>い...] 貝。貝の仲間。巻  
貝。二枚貝。

かい [kai] [名] [かいまい...] 会。会合。学芸会。  
学会。

かい [kai] [名] [かいまい...] 甲斐。【例】かいぬ  
あり (やりがいがある)。ぱたらギかいぬ あり  
(働き甲斐がある)。

かい [kai] [名] [かいまい...] 棺。棺桶。

がい [gai] [名] [がいまい...] 害。虫の害。風の  
害。潮の害。

かいかいり [kaikai] [動 II 類 a 型] [かいかいー、

かいかいん] 買い替える。【例】くるまう かい  
かいら (車を買替える)。

かいかつみり [kaikatsɿmi] [動 II 類 c 型] [かい  
かつみー、かいかつみん] 捕える。つかまえる。  
【例】あばりぬーまう かいかつみり (暴れ馬を  
捕まえる)。

かいき [kaikɿ] [名] [かいき<sup>1</sup>まい...] 快気。病気  
が治る。退院。

かいきよーい [kaikjo:i] [名] [かいき<sup>1</sup>よーいま  
い...] 快気祝い。退院祝い。

かいく [kaiku] [名] [かいく<sup>1</sup>まい...] 蚕。絹  
糸をとるために飼育する蛾の幼虫。

がいくつ [gaikutsɿ] [名] [がいく<sup>1</sup>つまい...] 骸骨。  
体から肉がなくなり、骨だけになったもの。

かいくみり [kaikumi] [動 II 類 c 型] [かいくみ  
ー、かいくみん] 相手にしない。聞く耳を持た  
ない。

かいくム [kaikum] [動 I 類 c 型] [かいくみー、か  
いくまん] 相手にしない。聞く耳を持たない。

かいくん [kaikun] [名] [かいく<sup>1</sup>んまい...] 開墾。  
荒地を耕して畑にする。

かいしき [kaɿki] [名] [かいし<sup>1</sup>きまい...] 会席  
(料理)。一汁三菜。基本のご飯とお汁とお漬  
け物からなり、四角いお盆に盛る。

かいしきじん [kaɿkidʒin] [名] [かいしきじ<sup>1</sup>ん  
まい...] 会席料理を乗せる膳。【類】「かいしき  
ぶん」。

かいしきぶん [kaɿkibun] [名] [かいしきぶ<sup>1</sup>ん  
まい...] 会席料理を乗せる四角いお盆。【類】「か  
いしきじん」。

かいしゅー [kaɿʃu:] [名] [かいしゅーまい...] 海  
秀。多良間中学校同窓会の名称。

かいす [kaisɿ] [動 I 類 c 型] [かいしー、かいし  
ゃん] ひっくり返す。【例】かいしー ぶす (裏  
返して干す)。

かいす [kaisɿ] [動 I 類 c 型] [かいしー、かいし  
ゃん] 返す。返品する。戻す。元の位置に置く。  
【例】かいし (返しなさい)。かいすな (返すな)。

かいす [kaisɿ] [動 I 類 c 型] [かいしー、かいし  
ゃん] 畑の土を反転する。耕す。今は機械化さ  
れた。

かいす [kaisʲ] [動I類c型] [かいしー、かいしゃん] 帰す。家へ帰す。【例】やーんけー かいすな (家へ帰すな)。

がいず [gaidzʲ] [名] [がいずま<sup>1</sup>い...] いたずら。仕事の邪魔をするときに言う。

がいず [gaidzʲ] [名] [がいずま<sup>1</sup>い...] だだ。ぐずること。【例】がいずてーん (ぐずることばかりだ)。

がいず [gaidzʲ] [副] あいにく。【例】がいずていー あみ (あいにくの雨)。

かいすかでい [kaisʲkadi] [名] [かいすか<sup>1</sup>でいまい...] 返し風。台風の返し風。

かいすギ [kaisʲkʲ] [名] [かいす<sup>1</sup>ギまい...] 貝殻の小皿。「なますぬぐー」の歌にある。

かいすま [kaisʲma] [名] [かいす<sup>1</sup>ままい...] 裏返し。衣服の裏返しに言う。

かいすまぎー [kaisʲmagi:] [名] [かいす<sup>1</sup>まぎーまい...] 衣服を裏返しに着ること。

がいずむぬ [gaidzʲmunu] [名] [がいずむ<sup>1</sup>ぬまい...] いたずらっ子。駄々っ子。

かいてい [kaiti] [副] 却って。【例】かいていすでいがぷー (却ってありがとございます)。

かいな [kaina] [名] [かいなま<sup>1</sup>い...] 腕。人の肩から手首までの部分。衣服の袖が覆うところ。

かいなふギ [kainafugʲ] [名] [かいなふ<sup>1</sup>ギまい...] 手首。【類】「ていふギ」。

がいにな [gainin] [名] [がいになまい...] いたずら坊主。やんちゃ坊。

かいのー [kaino:] [名] [かいの<sup>1</sup>ーまい...] 皆納。人頭税を完納したこと。苛酷な制度であった。

かいのーよーい [kaino:jo:] [名] [かいのーよー<sup>1</sup>いまい...] 皆納祝い。八月おどりもその一つ。納税を皆で喜び祝う。

かいらく [kairaku] [名] [かいら<sup>1</sup>くまい...] 偕楽。ともに楽しむ。仲筋字の八月おどりのメニューマ。

かいらす [kairasʲ] [動I類c型] [かいらしー、かいらしゃん] 倒す。ころばす。のめす。【例】かいらし (倒しなさい)。うしー かいらす (押し倒す)。

える。交替する。交換する。【例】しきう かいり (席を変える)。

がいり [gai] [動I類c型] [がいりー、がいらん] すねる。だだをこねる。ぐずる。

かいりり [kairi] [動II類c型] [かいりー、かいりん] 倒れる。ひっくり返る。植物や動物にも言う。

かう [kau] [名] [かうま<sup>1</sup>い...] 香。線香。【同】「こー」。

かう [kau] [動I類a型] [けー、かーん] 買う。【例】まっちゃんけー かうが (店に買いに)。

【同】「こー」。

かヴヴあす [kavvasʲ] [動I類c型] [かヴヴあしー、かヴヴあしゃん] 被らせる。【例】かヴヴあし (被らしなさい)。ぼーしう かヴヴあす (帽子を被らす)。

かヴヴイ [kavvʲ] [動I類c型] [かヴヴいー、かヴヴあん] 借金を負う。恩義を負う。【例】じんゆ かヴヴイ (借金する)。うんぎう かヴヴイ (恩義を負う)。

かヴヴイ [kavvʲ] [動I類c型] [かヴヴいー、かヴヴあん] 被る。【例】かヴヴい (被りなさい)。ぼーしう かヴヴイ (帽子を被る)。

かうきむぬ [kaukimunu] [名] [かうきむ<sup>1</sup>ぬまい...] ひもじくしているもの。食いしんぼう。餓えた者。【同】「こーきむぬ」。

かうきり [kauki] [動II類c型] [かうきー、かうきん] 乞う。ひもじい思いをする。【同】「こーきり」。

かうくー [kauku:] [名] [かうく<sup>1</sup>ーまい...] 香乞う。命日。忌日。【同】「こーくー」。

かうしゃー [kauɕa:] [名] [病] [かうしゃ<sup>1</sup>ーまい...] かいせん。【同】「こーしゃ」。

かうず [kaudzʲ] [名] [かうずま<sup>1</sup>い...] 麴 (こうじ)。味噌造りの麴。【同】「こーず」。

かうず [kaudzʲ] [名] [かうずまい...] 黴 (かび)。植物・食べ物・衣類などにつく菌類 (菌糸)。

【同】「こーず」。

かうずつ [kaudzʲtsʲ] [名] [かうず<sup>1</sup>つまい...] 線香入れ。香筒。【同】「こーずつ」。

かうずふギ [kaudzʲfukʲ] [名] [かうずふ<sup>1</sup>ギまい...]

- 味噌や醤油の麴が醗酵すること。また、かびが発生すること。【同】「こーずふぎ」。
- かうだぎ [kaudakʲ] [動I類c型] [かうだき一、かうだかん] 抱きつく。抱く。【例】かうだき一ばなしゃん (抱きついて離さない)。【同】「こーだぎ」。
- かうどーず [kaudo:dzʲ] [名] [かうどーずまい...] 買い上手。【同】「こーどーず」。
- かうな [kauna] [名] [かう<sup>1</sup>なまい...] さそり。【同】「こーな」。【類】「つーぱしゃム」。
- かうばく [kaubaku] [名] [かうばくまい...] 香箱。線香を入れる箱。【同】「こーばく」。
- かうやヴヴイ<sup>o</sup> [kaujavvʲ] [動I類a型] [かうやヴヴい一、かうやヴヴあん] 買い損ねる。買ってから品物が悪い場合に言う。
- がうら [gaura] [名] [植] [がう<sup>1</sup>らまい...] にがうり。【同】「ごーら」。
- がうり [gau] [動I類c型] [がうり一、がうらん] うんざりする。あきれる。こりごりする。【例】かぬ やらびんや がうりどうす (あの子にはあきれる)。【同】「ごーり」。
- かうる [kauru] [名] [かう<sup>1</sup>るまい...] 香炉。線香立て。【同】「こーる」。
- かかーり<sup>o</sup> [kaka:] [動I類c型] [かかーり一、かかーらん] 関わる。【例】あうやーん かかーり<sup>o</sup> (けんかに関わる)。
- かかかか [kakakaka] [擬] 落ちつきのないこと。
- かかぎり<sup>o</sup> [kakagi] [動II類c型] [かかぎ一、かかぎん] 愛する。
- かかぎり<sup>o</sup> [kakagi] [動II類c型] [かかぎ一、かかぎん] 掲げる。吊るす。ぶら下げる。旗を高く揚げる。
- かかし [kakaʃi] [名] [かか<sup>1</sup>しまい...] 案山子。
- かかす [kakasʲ] [動I類c型] [かかし一、かかしゃん] 書かせる。字を書かせる。
- かかす [kakasʲ] [動I類c型] [かかし一、かかしゃん] 搔かせる。かゆいところを搔かせる。
- かかす [kakasʲ] [動I類c型] [かかし一、かかしゃん] さとうきびの葉をかかせる。葉を剥がせる。
- かかす [kakasʲ] [動I類c型] [かかし一、かかしゃん] 芽をかかせる。芽を取らせる。
- かかす [kakasʲ] [動I類c型] [かかし一、かかしゃん] かけさせる。網をかけさせる。縄をかけさせる。橋をかけさせる。
- かかす [kakasʲ] [動I類c型] [かかし一、かかしゃん] 恥をかかせる。
- かかす [kakasʲ] [動I類c型] [かかし一、かかしゃん] 欠かせる。欠席させる。
- かかすみり<sup>o</sup> [kakasʲmi] [動II類c型] [かかすみ一、かかすみん] 書かせる。字を書かせる。
- かかすみり<sup>o</sup> [kakasʲmi] [動II類c型] [かかすみ一、かかすみん] 搔かせる。痒いところを搔かせる。
- かかすみり<sup>o</sup> [kakasʲmi] [動II類c型] [かかすみ一、かかすみん] 葉をかかせる。葉を剥がせる。
- かかすみり<sup>o</sup> [kakasʲmi] [動II類c型] [かかすみ一、かかすみん] 芽をかかせる。芽を摘ませる。
- かかすみり<sup>o</sup> [kakasʲmi] [動II類c型] [かかすみ一、かかすみん] 掛けさせる。網をかけさせる。縄をかけさせる。橋をかけさせる。
- かかすみり<sup>o</sup> [kakasʲmi] [動II類c型] [かかすみ一、かかすみん] 恥をかかせる。
- かかすみり<sup>o</sup> [kakasʲmi] [動II類c型] [かかすみ一、かかすみん] 欠かせる。欠席させる。
- かかたり<sup>o</sup> [kakata] [動I類c型] [かかたり一、かかたらん] のろのろする。【例】かかたりありぎ (のろのろ歩き)。
- かかたりむぬゆム [kakata[munujum] [名] [かかたりむぬゆ<sup>1</sup>ムまい...] のろのろ話をする。ゆっくりした口調。
- かかっずー [kakaddzʲ:] [動I類c型] [かかっじ一、かかっじゃん] 探る。ごみを引っくり返す。手探る。【例】しなう かかっじー とうり (はまぐりを手探りで獲る)。かきじゃーしー かかっずー (熊手でかき集める)。
- かがった [kagatta] [名] [指] [かが<sup>1</sup>たまい...] あの奴。あいつ。
- かがま [kagama] [名] [かが<sup>1</sup>ままい...] 暑い所。無風状態の所。畑のむんむんして暑い所。

かかみかす [kakamikasʝ] [動 I 類 c 型] [かかみかしー、かかみかしゃん] 騒ぎ乱す。

かかみギ [kakamikʝ] [動 I 類 c 型] [かかみきー、かかみかん] 騒ぎ乱れる。落ち付きがなく慌てふためく。

かかみけ [kakamike] [名] [かかみ<sup>1</sup>けまい...] 落ち着きのない人。騒ぐ人。

かかム [kakam] [名] [かか<sup>1</sup>ムまい...] 女性の袴。

かがム [kagam] [名] [かがムま<sup>1</sup>い...] 鏡。顔や姿を見る道具。模範となる人にもたとえる。

かがム [kagam] [名] [かがムま<sup>1</sup>い...] 鶏のとさか。主として雄鶏に言う。

かがム [kagam] [動 I 類 c 型] [かがみー、かがまん] かがむ。腰を曲げる。【例】ムめび かがムとうい しる (もっと腰を曲げてしなさい)。

かがらーん [kagara:n] [連語] 及ばない。足元にも及ばない。実力の差が大きいこと。

かかリ [kaka] [動 I 類 c 型] [かかりー、かからん] かかる。橋がかかる。時間がかかる。

かかリ [kaka] [動 I 類 c 型] [かかりー、かからん] 引っかかる。魚が釣れる。触れる。【例】ゆだん かかリ (枝に引っかかる)。あムー かかリ (網にかかる)。あんなん かかリ (母に触れる)。

かかリ [kaka] [動 I 類 c 型] [かかりー、かからん] 病気になる。罹患。

かかリ [kaka] [動 I 類 c 型] [かかりー、かからん] 神が乗り移る。【例】かムかかれぬどう かかりーリ (巫女に神の言葉が乗り移っている)。

かかリ [kaka] [動 I 類 c 型] [かかりー、かからん] 計る。

かかリ [kaka] [動 I 類 c 型] [かかりー、かからん] けちんぼである。【例】かかリむのー じんや いだしゃん (けちは金を出さない)。

ががりうす [gagariusʝ] [名] [ががりうすまい...] やせた牛。

かかリすギ [kaka[sʝgʝ] [動 I 類 c 型] [かかリすぎー、かかリすがん] けちる。出し惜しむ。けちけちする。

かかリすギむぬ [kaka[sʝgʝ]munu] [名] [かかリすぎむ<sup>1</sup>ぬまい...] けちな人。けちん坊。【類】「か

かリすげ」。

かかリすげ [kaka[sʝge] [名] [かかリす<sup>1</sup>げまい...] けちな人。けちん坊。【類】「かかリすギむぬ」。

ががりピとう [gagaripitu] [名] [ががりピとうまい...] やせた人。細身の人。

ががりみばな [gagarimipana] [名] [ががりみばなまい...] やせた顔。

ががりリ [gagari] [動 II 類 a 型] [ががりー、ががりん] やせる。身が細くなる。【例】ががりぬーま (やせた馬)。やみー ががりリ (病気でやせる)。

かかー [kakar:] [動 I 類 c 型] [かかれー、かからーん] 関わる。【例】かかれー ぶリ (関わっている)。じきんー かかー (事件に関わる)。

かがるー [kagaru:] [動 I 類 c 型] [かがれー、かからーん] 触れる。接触。【例】いびーちゃどう かがるーたり (少しだけ接触した)。

かかわリ [kakava] [動 I 類 c 型] [かかわりー、かかわらん] 関わる。【例】かかわリな (関わるな)。

かギ [kakʝ] [名] [かギま<sup>1</sup>い...] 垣。囲い。【例】ばるぬ かギ (畑の垣根)。やーぬ かギ (屋敷の囲い)。

かギ [kakʝ] [動 I 類 c 型] [かきー、かかん] 書く。描く。【例】かきー みーる (書いてごらん)。いーゆ かギ (絵を描く)。ずーゆ かギ (字を書く)。

かギ [kakʝ] [動 I 類 c 型] [かきー、かかん] 掻く。痒いところを掻く。

かギ [kakʝ] [動 I 類 c 型] [かきー、かかん] 葉を取る。葉を剥ぐ。【例】すっじゃぬ ぱーかギ (さとうきびの葉を剥ぐ)。

かギ [kakʝ] [動 I 類 c 型] [かきー、かかん] 汗をかく。

かギ [kakʝ] [動 I 類 c 型] [かきー、かかん] 縄をなう。縄を作る。大人数で縄作りをする。

かき [kaki] [名] [かきま<sup>1</sup>い...] 柿。柿の木。柿の実。

かき [kaki] [名] [かきま<sup>1</sup>い...] かけら。にんにくのかげら。【例】ぴりぬ ピとうかき (にんに

- くの一片)。
- かき [kaki] [名] [か<sup>1</sup>きまい...] 賭け。金品を賭けること。
- かぎ [kagi] [名] [か<sup>1</sup>ぎまい...] 影。陰。【例】かぎんけー くー (日陰に来なさい)。
- かぎ [kagi] [名] [か<sup>1</sup>ぎまい...] 鍵。キー。錠前を開けるもの。
- がギ [gak] [名] [が<sup>1</sup>ギまい...] 餓鬼。子どもを卑して言う。【例】くぬ がギ (この聞かんぼ)。
- がギ [gak] [名] [が<sup>1</sup>ギまい...] 食いしんぼう。いつも腹をすかしている人。
- がギ [gag] [名] [が<sup>1</sup>ギまい...] けち。欲ばり。けちん坊の意味もある。
- がギ [gag] [名] [が<sup>1</sup>ギまい...] 鉤。物をひっかけるのに使う。釣針の返し。鋸の先の返しの部分。
- かきあい [kakiai] [名] [かきあ<sup>1</sup>いまい...] 掛け合い。交渉すること。
- かきあう [kakiau] [動I類c型] [かきえー、かきあーん] 掛け合う。交渉する。話し合う。水を掛け合うにも言う。
- かきあす [kakias] [名] [かきあ<sup>1</sup>すまい...] 駆け足。早く走ること。物事が早く進むこと。
- かぎあんが [kagianga] [名] [かぎあん<sup>1</sup>がまい...] きれいな姉さん。容姿がきれいな女性。
- かぎーかぎ [kagi:kagi] [重複] 品性があること。とてもきれいなこと。整っていること。
- かぎーちゃ [kagitça] [副] きれいに。美しく。正しく。大事に。大切に。ていねいに。
- かギーンギ [kak:ng] [動I類c型] [かギーンきー、かギーンかん] 口の中へほうりこむ。欲ばる。自分だけの利益を追求する。【例】やーしゃんや かギーンギ (ひもじいときは口の中へほうりこむ)。どうーんけー かギーンギ (自分の利益ばかりを追求する)。
- かぎうがム [kakugam] [動I類c型] [かぎうがみー、かぎうがまん] 目上の人を書いてくれる。
- かきかた [kakikata] [名] [かきか<sup>1</sup>たまい...] 昔の国語の「書き方」の本。
- かきぐ [kakigu] [名] [かき<sup>1</sup>ぐまい...] 世話をすること。見守ること。保護。管理。保管。【例】
- びんだぬ かきぐぬどう ならん (山羊の管理は大変だ)。
- かぎぐい [kagigui] [名] [かぎぐ<sup>1</sup>いまい...] 美声。台詞の口上のきれいなこと。【類】「きちぎふつゆム」。
- かきじく [kakidziku] [名] [かきじ<sup>1</sup>くまい...] 掛け軸。
- かぎしゃ [kagiça] [名] [かぎ<sup>1</sup>しゃまい...] 美しさ。
- かきじゃー [kakidza:] [名] [かきじゃ<sup>1</sup>ーまい...] 熊手。掻き集める道具。竹製のもの、金属性のものがある。
- かぎしゃーリ [kagiça:] [形] [かぎ<sup>1</sup>しゃまい...] 美しい。きれい。【例】かぎしゃ ねーん (美しくない)。かぎしゃん ならん (美しくてたまらない)。
- がギしゃーリ [gakçai:] [形] [がギ<sup>1</sup>しゃまい...] 食いしん坊である。
- かぎしゃうだん [kagiçaudan] [名] [かぎしゃ<sup>1</sup>うだんまい...] 良い話し合い。めでたい相談。【同】「かぎしょーだん」。
- かぎしゃばな [kagiçabana] [名] [かぎしゃば<sup>1</sup>なまい...] 美しい年頃。若い頃。青少年の男女のこと。
- かきじゃん [kakidzan] [名] [かきじゃ<sup>1</sup>んまい...] 掛け算。九九も含める。
- かぎしゅがリ [kagiçuga] [名] [かぎしゅが<sup>1</sup>りまい...] きれいな装い。外出のための装い。
- かぎしゅるー [kagiçuru:] [名] [かぎしゅる<sup>1</sup>ーまい...] 楽しい集まり。祝い座。めでたい集まり。
- かぎしょーだん [kagiço:dan] [名] [かぎしょーだ<sup>1</sup>んまい...] 良い話し合い。めでたい相談。【同】「かぎしゃうだん」。
- かぎすまい [kagismai] [名] [かぎすま<sup>1</sup>いまい...] めでたく終了。有終の美。
- かぎすまい [kagismai] [名] [かぎすま<sup>1</sup>いまい...] 良い家庭生活。立派な家。
- かぎたビ [kagitab] [名] [かぎた<sup>1</sup>ビまい...] 航海安全。安全航海の旅。〈かりゆし〉旅。
- かきっす [kakiss] [動I類c型] [かきっしー、かきっしゃん] 水をかけさせる。

かきっす [kakissʝ] [動 I 類 c 型] [かきっしー、かきっしゃん] 椅子にかけさせる。

かきっす [kakissʝ] [動 I 類 a 型] [かきっしー、かきっしゃん] 時間をかけさせる。

かきっす [kakissʝ] [動 I 類 c 型] [かきっしー、かきっしゃん] 買い物をかけさせる。掛け買いをさせる。

かぎていー [kagiti:] [名] [かぎてい<sup>1</sup>ーまい...] きれいな手。物作りの良い人。細工の名人。

かぎとうずみ [kagitudzʝmi] [名] [かぎとうず<sup>1</sup>みまい...] 有終の美。仕事が無事に終了すること。

かぎとうり [kakʝtu] [動 I 類 c 型] [かぎとうりー、かぎとうらん] 掻き取る。【例】たばくぬばーゆ かぎとうり (たばこの葉を掻き取る)。

がぎな [gagʝna] [名] [植] [がぎ<sup>1</sup>なまい...] 芝。主に家畜の飼料としての芝の総称。

かぎなび [kakʝnabi] [名] [植] [かぎなびまい...] せんなりほうずき。

かぎならーす [kaginarasʝ] [名] [かぎならー<sup>1</sup>すまい...] 良い教え。優しい教え。立派な教え。教訓。教授。

かぎにがイ [kaginigaʝ] [名] [かぎにが<sup>1</sup>イまい...] 立派な祈願。滞りなく終わる願い。

かぎにしゃい [kaginiʝai] [名] [かぎにしゃ<sup>1</sup>いまい...] 好青年。容姿のきれいな若者 (男)。

かぎにんじゅ [kaginindʝu] [名] [かぎにん<sup>1</sup>じゅまい...] 良い仲間。心の通じ合える仲間 (人数)。

かぎばま [kagipama] [名] [かぎば<sup>1</sup>ままい...] きれいな浜。

かぎピかず [kagipʝkadʝ] [名] [かぎピか<sup>1</sup>ずまい...] 吉日。良き日。佳き日。

かぎふム [kagifum] [名] [か<sup>1</sup>ぎふムまい...] 影踏み遊び。

かぎべー [kakʝbe:] [名] 書き手。著者。

かきまーす [kakimasʝ] [動 I 類 c 型] [かきまーしー、かきまーしゃん] 掻き混ぜる。入れ物中の液体や汁を掻き混ぜる。

かぎみうとう [kagimiutu] [名] [かぎみう<sup>1</sup>とうまい...] 仲の良い夫婦。【同】「かぎみうとうら」。

かぎみうとうら [kagimiutura] [名] [かぎみ<sup>1</sup>う

とうらまい...] 仲の良い夫婦。【同】「かぎみうとう」。

かぎみつ [kagimitsʝ] [名] [かぎみつまい...] きれいな道。舗装された道。ごみのない道。

かきむつ [kakimutsʝ] [名] [かきむ<sup>1</sup>つまい...] かけ持ち。二つ以上の仕事をする事。

かぎむぬ [kakʝmunu] [名] [かぎむ<sup>1</sup>ぬまい...] 書籍。本。書物。文書。文章を書くこと。

かきむぬ [kakimunu] [名] [かきむ<sup>1</sup>ぬまい...] 掛け物。掛け軸。寝るとき体にかけるもの。

かぎむぬ [kagimunu] [名] [かぎむ<sup>1</sup>ぬまい...] 美しい物。きれいな事柄。【例】ぱちゅがつぶどーりら かぎむぬ (八月おどりはきれいだ)。

かぎやー [kagija:] [名] [かぎや<sup>1</sup>ーまい...] きれいな家。立派な住宅。【類】「きちぎやー」。

かきら [kakira] [名] [かき<sup>1</sup>らまい...] かけら。にんにくのかげら。一片。

かきり [kaki] [動 II 類 c 型] [かきー、かきん] 掛ける。架ける。計る。賭ける。足をかける。愛情をかける。苦勞をかける。疑いをかける。時間をかける。手をかける。水をかける。期待をかける。電話をかける。裁判をかける。【例】かきんな (かけるな)。

かきり [kaki] [動 II 類 c 型] [かきー、かきん] 座る。椅子に座る。【例】かきー わーり (座って下さい。お掛け下さい)。

かぎり [kagi] [名] [かぎ<sup>1</sup>りまい...] 限り。限界。締め切り。【例】きうかぎり<sup>1</sup>どー (今日までだぞ)。

かぎわーつギ [kagiva:tsʝkʝ] [名] [かぎわー<sup>1</sup>つギまい...] よい天気。晴天。【類】「あかりていんギ」。

かぎん [kagin] [名] [かぎんまい...] 加減。具合。【例】かぎん しる (加減しなさい。無理するな)。

かぎん なり [kagin na] [連語] 陰になる。頼りになる。【例】たかぎーぬ かぎん なり (高い木の陰となる)。

かく [kaku] [名] [かくまい...] 船員。舵子 (ふながく)。天馬がく。

かく [kaku] [名] [かくま<sup>1</sup>い...] 角。角定規。さ

しがね。角のあるもの。【類】「かどう」。

かく [kaku] [名] [かくまい...] 格。力の差。段階。格差。

かぐ [kagu] [名] [かぐまい...] 籠。箱。入れもの。

がく [gaku] [名] [がくまい...] 学。学問。学のある人。

がぐ [gagu] [名] [が<sup>1</sup>ぐまい...] ちぢれ。【例】がぐばー (バイラス病に患ったさつまいもの葉)。【類】「がぐあか」。

がぐあか [gaguaka] [名] [が<sup>1</sup>ぐあかまい...] ちぢれ髪。生まれつきのちぢれ髪。理容院によってちぢれ髪にする。パーマ。

かくい [kakui] [名] [かくいま<sup>1</sup>い...] 囲い。菜園の囲い。屋敷の囲い。畑の囲い。里の囲い。

かくいり [kakui] [動II類c型] [かくいー、かくいん] 囲いめぐらす。追い込む。取り込む。

かくー [kaku:] [名] [かく<sup>1</sup>ーまい...] 古い布切れ。ぼろ。

かくー [kaku:] [動I類c型] [かけー、かかーん] 囲う。囲いこむ。魚を網で囲い込んで獲る。【例】かくいー くー (囲ってきなさい)。

かくぎん [kakugin] [名] [かくぎ<sup>1</sup>んまい...] 格言。ことわざ。金言。戒めや教訓のこと。

かくぐ [kakugu] [名] [かく<sup>1</sup>ぐまい...] 覚悟。心に決めること。決意。

かくじゃー [kakudza:] [名] [かくじゃーんまい...] 各座。各分担。各受け持ち。スツウブナカ・八月おどり参照。

かくず [kakudz] [名] [かく<sup>1</sup>ずからまい...] 顔だち。顔のつくり。【例】やなかくず (怖そうな顔だち)。

かくとうーり [kakutu:] [名] [かくとうー<sup>1</sup>りまい...] 角灯籠。角ランプ。四方ガラス張りにしたランプ。【類】「しきゆーらんぶ」。

がぐばー [gaguba:] [名] [が<sup>1</sup>ぐばーまい...] ちぢれた葉。さつまいものバイラス病にかかった葉。

かくまーり [kakuma:] [動I類c型] [かくまーりー、かくまーらん] 囲む。【例】あムしー かくまーり (網で囲む)。

がぐまがり [gagumaga] [動I類c型] [がぐまがりー、がぐまがらん] うづくまる。ひぎを曲げて腰を丸める。【例】ぴーしゃん がぐまがり (寒さのためにうづくまる)。

かくまり [kakuma] [動I類c型] [かくまりー、かくまらん] 囲まる。隠す。

かくみり [kakumi] [動II類c型] [かくみー、かくみん] 引っかける。【例】つーしー かくみり (釣り針で引っかける)。

かくム [kakum] [動I類c型] [かくみー、かくまん] 囲む。【例】ぶたいゆ かくム (舞台を囲む)。

がくむん [gakumun] [名] [がくむ<sup>1</sup>んまい...] 学問。勉強。学芸。修業。

かくらんぶ [kakuranpu] [名] [かくらんぶまい...] 角灯籠。石油ランプ。【同】「とうーり」。

かけーす [kake:s] [動I類c型] [かけーしー、かけーしゃん] 混ぜる。混合。【例】かけーし (混ぜなさい)。しみんとう じゃりう かけーす (セメントと砂利を混ぜ合わす)。

かけーすべー [kake:s] [名] [かけーすべー<sup>1</sup>まい...] 混ぜる人。係りの人。混ぜ合わせる人。

がげーりぎー [gage:gi:] [名] [植] [がげー<sup>1</sup>りぎーまい...] りゅうきゅうしぶがき。

かけーりり [kake:ri:] [動II類c型] [かけーりー、かけーりん] もつれる。糸がもつれる。

かし [kaçi] [名] [かしま<sup>1</sup>い...] 罎 (かせ)。織り糸のこと。【例】かしかき (機織)。

かしー [kaçi:] [名] [かし<sup>1</sup>ーまい...] 加勢。手伝い。力を貸して助けること。

かしかき [kaçikaki] [名] [かしか<sup>1</sup>きまい...] かせかき。琉球舞踊の一つ。

かしかき [kaçikaki] [名] [かしか<sup>1</sup>きまい...] 糸を巻き取る作業のこと。「ばふ」に巻き取る。昔は石垣を利用。

かしぎ [kaçigi] [名] [かし<sup>1</sup>ぎまい...] 糸を巻き取る「工」の字の道具。

かじき [kadziki] [名] [魚] [かじきまい...] かじき。

かじぎみ [kadzigimi] [名] [かじぎみまい...] 風邪ぎみ。【類】「ばなピギ」。

かしとうり [kaçitulu] [名] [かしとう<sup>1</sup>りまい...]  
 綾取。女の子の遊び。

かしぱい [kaçipai] [名] [かしぱ<sup>1</sup>いまい...] 染めた糸を引き張る作業。

かじまやー [kadzimaja:] [名] [かじまや<sup>1</sup>ーまい...]  
 97歳の祝い。

かしゃ [kaça] [名] [かしゃうま<sup>1</sup>い...] かさ。分量。数量。

かしゃ [kaça] [名] [病] [かしゃまい...] はしか。瘡。

かしゃ [kaça] [名] [かしゃま<sup>1</sup>い...] 傘。笠。雨傘。日傘。箕の笠。くば笠。【類】「しやな」。

かしゃ [kaça] [擬] 静かな所に「かさ」と音がすること。

かじゃーす [kadza:sɯ] [動I類c型] [かじゃーしー、かじゃーしゃん] 加える。添える。増やす。あるものに加える。【例】かじゃーしー とうらし (増してあげなさい)。

かしゃかしゃ [kaçakaça] [擬] いらいら。【例】ギむかしゃかしゃ (いらいら)。

かしゃかしゃ [kaçakaça] [擬] かさかさ。葉っぱの擦れ合う音。

がしゃがしゃ [gaçagaça] [擬] がさがさ。天井裏にがさがさする音。

がじゃがじゃ [gadzagadza] [擬] 騒がしい様。やかましい様。

かしゃじゃー [kaçadza:] [名] [かしゃじゃーまい...] 笠座。八月おどり二才おどりの座。

かしゃなり [kaçana] [動I類c型] [かしゃなりー、かしゃならん] 重なる。かちあう。ぶつか。例：正月と誕生日が重なる。

かしゃに [kaçani] [名] [かしゃにま<sup>1</sup>い...] 重ね。重ねること。衣服を重ねて着ること。

かしゃにがしゃに [kaçanigaçani] [副] 重ねがさね。くり返すこと。

かしゃにり [kaçani] [動II類c型] [かしゃにー、かしゃにん] 重ねる。【例】ギんゆ かしゃにり (衣服を重ねて着る)。ぱなすう かしゃにり (話をくり返す)。

かしゃばり [kaçaba] [動I類c型] [かしゃばりー、かしゃばらん] かさばる。【例】うぶむの

ー かしゃばりどうす (大きい物は嵩張る)。

かしゃふた [kaçafuta] [名] [かしゃふ<sup>1</sup>たまい...]  
 かさぶた (痂)。皮ふの傷が治るにつれてできる固い皮。

かしゃぶどうり [kaçabudu] [名] [かしゃぶどう<sup>1</sup>りまい...] 笠踊り。二才おどりともいう。

かしゃますしゃーり [kaçamasɯça:] [形] [かしゃます<sup>1</sup>しゃまい...] うるさい。

かしゃますむぬ [kaçamasɯmunu] [名] [かしゃますむ<sup>1</sup>ぬまい...] うるさいこと。いら立つこと。

かしゃみかす [kaçamikasɯ] [動I類c型] [かしゃみかしー、かしゃみかしゃん] かさかささせる。【例】かでー すっじゃう かしゃみかす (風がサトウキビの葉っぱを鳴らしている)。

かしゃみかす [kaçamikasɯ] [動I類c型] [かしゃみかしー、かしゃみかしゃん] 苛立たせる。いらいらさせる。

がじゃみかす [gadzamikasɯ] [動I類c型] [がじゃみかしー、がじゃみかしゃん] 騒がせる。騒がしくさせる。

かしゃみぎ [kaçamikɯ] [動I類c型] [かしゃみきー、かしゃみかん] かさかさする。葉っぱの擦れ合う音がする。

かしゃみぎ [kaçamikɯ] [動I類c型] [かしゃみきー、かしゃみかん] 苛立つ。いらいらする。

がじゃみぎ [gadzamikɯ] [動I類c型] [がじゃみきー、がじゃみかん] がやがやする。騒ぐ。にぎやかな様子。【例】やらびぬ がじゃみぎ (子どもが騒がしい)。

かしゃム [kaçam] [動I類c型] [かしゃみー、かしゃまん] かさむ。嵩む。かさや量が多くなる。【例】かしゃみー ぶり (量が増えている)。かしゃムむぬー ぬーしんな (嵩むものは乗せるな)。

がじゃム [gadzam] [名] [虫] [がじゃ<sup>1</sup>ムまい...]  
 蚊。ぼうふらは蚊の幼虫。昔、蚊は風土病を媒介した。

がじゃムぎー [gadzamgi:] [名] [植] [がじゃ<sup>1</sup>ムぎーまい...] いぼたくさぎ。村史参照。

がじゃムふしゃ [gadzamfuça] [名] [植] [がじゃムふ<sup>1</sup>しゃまい...] はまごう。

かしやらかしやら [kaçarakaçara] [擬] かすかな音。

かじゃり [kadza] [動 I 類 a 型] [かじやりー、かじやらん] 飾る。仏壇に供える。【例】ぶつだんー ぱなう かじゃり (仏壇に花を飾る)。

かじゃりむぬ [kadza[munu] [名] [かじやりむ<sup>1</sup>ぬまい...] 飾りもの。装飾品。仏壇に供えるもの。

かじゅいり [kadzui] [動 II 類 c 型] [かじゅいー、かじゅいん] 数える。【例】にんじゅー かじゅいる (人数を数えなさい)。【類】「ゆム」。

かじゅー [kadzu:] [動 I 類 c 型] [かじえー、かじやーん] 増える。加わる。【例】かじえー ぶり (増えている。多くなっている)。にんじゅぬ かじゅー (人数が増える)。

かしゅぎ [kaçug] [動 I 類 c 型] [かしゅぎー、かしゅがん] さとうきびを収穫する。きび刈りする。【例】かしゅぎでいまー (きび刈りの賃金)。

かしゅぎ [kaçug] [動 I 類 c 型] [かしゅぎー、かしゅがん] 稼ぐ。

かしら [kaçira] [名] [かしらまい...] 頭。演技の主演。【類】「かしらやく」。

かしらやく [kaçirajaku] [名] [かしらやくまい...] 頭役。演技の主演。【類】「かしら」。

がじり [gadzi] [動 II 類 c 型] [がじー、がじん] 交差する。十字に組み合わせる。たすきをかける。【例】んなーう がじり (縄を交差させる)。

かす [kas] [名] [かすまい...] 粕。【例】とーふかす (おから)。

かず [kadzi] [名] [か<sup>1</sup>ずまい...] 数。【例】ゆぬかず (同じ数)。かずエー (数は)。しーとうぬかずエー (生徒の人数は)。

かず [kadzi] [名] [かすまい...] 舵。船の舵のこと。

かず [kadzi] [名] [かすまい...] 鍛冶。鍛冶屋のこと。

がす [gas] [名] [がすまい...] ガス。燃料用のガス。炭酸ガス。毒ガス。濃い霧。おなら。

がす [gas] [動 I 類 c 型] [がしー、がしゃん] 餓死する。飢え死にする。

がす [gas] [擬] ごっそり。ごそっと。【例】しゅ

ーぬ がすていー ぴー ぶり (潮がごそっと引いている)。

かすー [kas:] [動 I 類 a 型] [かりー、からん] こする。掠る。【例】まるびー かすーたり (転んで掠った)。

かすヴヴうり [kasvvu] [名] [かすヴヴうりまい...] 痰 (たん)。咳をするとき気道から分泌される。

かすヴヴうり [kadzıvvu] [名] [かすヴヴうりまい...] 痰。喉につまったたん。

かすか [kaska] [名] [指] [かす<sup>1</sup>かまい...] あれほどの量。たくさん。【例】かすかぬ ピとう (たくさんの人)。

かすがい [kasgai] [名] [かすが<sup>1</sup>まい...] かすがい。鏝。二つの木をつなぎとめるための「コ」の字型の釘。

かすかしやーり [kaskaça:] [形] [かすか<sup>1</sup>しゃまい...] 利口である。

がすがす [gasgas] [擬] さっさと。急かせる。【例】がすがすていー ふあい (急いで食べなさい)。

かすかぬ むぬ [kaskanu munu] [連語] とても量の多いもの。スーパーの商品の多いこと。

かすかム [kadzıkam] [名] [かすかムまい...] 鍛冶屋の神。【類】「かすかムがなす」。

かすかムーな [kasıkamna] [名] [指] [かす<sup>1</sup>かムーなまい...] あれほどの量。たくさん。【例】かすかムがなす [kadzıkamganas] [名] [かすかムがなすまい...] 鍛冶屋の神。【類】「かすかム」。

かすくむぬ [kasıkumunu] [名] [かすくむ<sup>1</sup>ぬまい...] 賢い者。賢者。

かすたかび [kadzıtakabi] [名] [かすたかびまい...] 鍛冶崇拜。鍛冶屋の祭り。ふいご祭り。旧暦の11月。

かすつ [kadzıtsı] [名] [貝] [かす<sup>1</sup>つまい...] しらひげうに。

がすていー [gasıti:] [擬] ごそっと。残らず。全部。【例】がすていー ふえーった (全部食べ終わった)。

がすていー ねーん [gasıti: ne:n] [連語] ごそっと何もないこと。何も残っていないこと。

かすていら [kasʲtira] [名] [かすてい<sup>1</sup>らまい...]  
カステラ。

かずつり [kadzʲtu] [名] [かずつり<sup>1</sup>まい...]  
機嫌を取ること。

かずつり [kadzʲtu] [名] [かずつり<sup>1</sup>まい...]  
船の舵を取ること。船頭。船長。子供のしつけにも言う。

かずつりがーしゃーり [kadzʲtuɡa:ɕa:] [形] [かずつりがー<sup>1</sup>しゃまい...] 舵取りにくい。子どもの機嫌が取りにくい。

かずつりやすしゃーり [kadzʲtujasʲɕa:] [形] [かずつりやす<sup>1</sup>しゃまい...] 舵取りやすい。機嫌が取りやすい。

がずまぎー [gadzʲmagi:] [名] [植] [がず<sup>1</sup>まぎーまい...] がじゅまる。榕樹。【類】「がずまる」。

がずまぎーぬ つー [gadzʲmagi:nu tsʲ:] [名] [がず<sup>1</sup>まぎーぬつー<sup>1</sup>まい...] がじゅまるの樹液。樹液を乾かして「ガム」のように噛んだ。【類】「がずまぬつー」。

がずまぎーぬ みム [gadzʲmagi:nu mim] [名] [がず<sup>1</sup>まぎーぬみム<sup>1</sup>まい...] がじゅまるのきのこ。きくらげ。木耳。【類】「がずまぬみム」。

がずまごーる [gadzʲmago:ru] [名] [地] [がず<sup>1</sup>まごーるまい...] 塩川にある拝所。

がずまぬ つー [gadzʲmanu tsʲ:] [名] [がず<sup>1</sup>まぬつー<sup>1</sup>まい...] がじゅまるの樹液。樹液を乾かして「ガム」のように噛んだ。【類】「がずまぎーぬつー」。

がずまぬ みム [gadzʲmanu mim] [名] [がず<sup>1</sup>まぬみム<sup>1</sup>まい...] がじゅまるのきのこ。きくらげ。木耳。【類】「がずまぎーぬみム」。

かずみり [kadzʲmi] [動II類c型] [かずみー、かずみん] 大切にしまう。【例】あんなが かずみり (母が大切にしまう)。

かすム [kasʲm] [動I類c型] [かすみー、かすまん] かすむ。【例】みーぬかすム (目がかすむ)。

かずやーがー [kadzʲja:ga:] [名] [井戸] [かずやーがーまい...] 井戸の名。人口井戸。

かづらいし [kadzʲraiɕi] [名] [かづらい<sup>1</sup>しまい...] 軒石。飾り石。【同】「かづらいす」。【類】「とーいし」。

かづらいす [kadzʲraisʲ] [名] [かづらい<sup>1</sup>すまい...] 軒石。飾り石。【同】「かづらいし」。【類】「とーいし」。

かすり [kasʲri] [名] [かす<sup>1</sup>りまい...] 緋。反物の一種。織り物の一種。

かそー [kaso:] [名] [かそーまい...] 火葬。

かた [kata] [名] 片。片方。【例】かたうや (片親)。かたう むつ (寄り添う、味方をする)。

かた [kata] [名] [かたまい...] 肩。両肩。【類】「かたむらす」。

かた [kata] [名] [かたま<sup>1</sup>い...] 型。形。【例】かたんけー イズいる (型に入れよ)。ピとうぬかた (人形)。

かた [kata] [名] [かたま<sup>1</sup>い...] 方。方向。方角。辺り。【例】にすかた (北の方)。ぱいかた (南の方)。あがりかた (東の方)。いりかた (西の方)。

かだ [kada] [名] [かだまい...] におい。【例】こーすいぬ かだ (香水のにおい)。

がた [gata] [名] [昆虫] [が<sup>1</sup>たまい...] ばったの総称。農作物の害虫。役場がばった駆除を奨励した。

がた [gata] [名] やがて。しばらく。【例】にーがた (やがて煮られる)。うきがた (やがて起きる)。

かだー [kada:] [名] [指] [かだー<sup>1</sup>んけー...] ずっと遠い所。遠方。【例】かだーばる (遠い畑)。

かたーかた [kata:kata] [重複] とても固いこと。【例】かたーかたぬ かーす (とても固い菓子)。

かたーかた [kata:kata] [重複] とても濃いこと。【例】かたーかたぬ ちゃー (とても濃い茶)。

かたーき [kata:ki] [名] [かたーきま<sup>1</sup>い...] 仕事の分担。係。担任。【例】ヴヴあが かたーき (君の仕事だ)。

かたーき [kata:ki] [名] [かたーきまい...] 親戚。親族。一門。

かだーしゃーり [kada:ɕa:] [形] [かだー<sup>1</sup>しゃまい...] 遠い。遠方である。【例】ほっかいどーやかだーしゃーり (北海道は遠い)。

かだーな [kada:na] [名] [指] [かだーな<sup>1</sup>んけー...] ずっと遠い所。遠方。【例】かだーなんけ

ー いギ (遠い所に行く)。  
 かたーら [katarra] [名] [かたーら<sup>1</sup>んけー...] 傍ら。側。わき。はしっこ。【類】「かたばた」。  
 かたい [katai] [名] [かたいま<sup>1</sup>い...] 姻族。婚姻関係。両家。  
 かたいうぐなーゾ [kataiuguna:] [名] [かたいうぐなーゾまい...] 親族の集い。結婚式の翌日の両家の慰労会。  
 かたいちゃー [kataitça:] [名] [かたいちゃ<sup>1</sup>ーまい...] 新婦側をもてなすこと。  
 かたいビギ [kataibiki] [名] [かたいビ<sup>1</sup>ギまい...] えこひいき。  
 かたう むつ [katau mutsɯ] [連語] 味方する。思いや考えの人を支持する。  
 かたうい [kataui] [名] [かたういまい...] 密に植える。密植。  
 かたうでい [kataudi] [名] [かたう<sup>1</sup>でいまい...] 片腕。補佐役としてもっとも信頼できる人。  
 かたうむイ [kataumuɯ] [名] [かたうむ<sup>1</sup>イまい...] 片思い。一方的に恋心を持つ。  
 かたうや [katauja] [名] [かたう<sup>1</sup>やまい...] 片親。両親のうち的一方。  
 かたか [kataka] [名] [かた<sup>1</sup>かまい...] 風除け。雨除け。日除け。物除。  
 かだか [kadaka] [名] [指] [かだ<sup>1</sup>かまい...] とても高いこと。見上げるほどの高さのこと。【例】かだかぬ きー (とても高い木)。【類】「かだき」。  
 かたがギ [katagakɯ] [名] [かたがギまい...] 肩書き。  
 かたかす [katakasɯ] [名] [魚] [かたかすまい...] ひめじ。おじさん。【類】「やけ」。  
 かたかどう [katakadu] [名] [かたか<sup>1</sup>どうまい...] 片角。【例】とーふぬ かたかどう (豆腐の片角)。  
 かたかな [katakana] [名] [かたかなまい...] 片仮名。  
 かたがらやム [katagarajam] [名] [かたが<sup>1</sup>らやムまい...] 偏頭痛。  
 かたき [kataki] [名] [かたきま<sup>1</sup>い...] 仇。敵。戦う相手。

かだき [kadaki] [名] [指] [かだ<sup>1</sup>きまい...] とても高い。【例】かだきぬ ピとう (とても高い人)。【類】「かだか」。  
 かたギむ [katakɯmu] [名] [かたギ<sup>1</sup>むまい...] 片肝。心に迷いがあること。どっちつかずの人。  
 かだきムーな [kadakimmna] [名] [指] [かだ<sup>1</sup>きムーなまい...] とても高く積むこと。高いビルディング。  
 かたぐ [katagu] [名] [かた<sup>1</sup>ぐまい...] 双児の一人のこと。  
 かたぐ [katagu] [名] [かた<sup>1</sup>ぐまい...] 片方。不揃い。ちぐはぐ。【例】あすだぬ かたぐ (下駄の不揃い)。  
 かたクーゾ [kataku:] [連語] 肩がこること。肩こり。  
 かたくり [katakuɯ] [名] [かたくり<sup>1</sup>まい...] 肩こり。  
 かたくり [katakuri] [名] [植] [かたくり<sup>1</sup>まい...] きゃっさば。【類】「なんよームー」。  
 かたしゃーゾ [kataçã:] [形] [かたしゃまい...] 固い。【例】しゃたーかたむぬ (黒糖は固い)。【類】「くばしゃーゾ」。  
 かたしゃーゾ [kataçã:] [形] [かたしゃまい...] 濃い。【例】かたちゃー (濃いお茶)。ちゃーぬ かたしゃーゾ (お茶が濃い)。  
 かたしゃーゾ [kataçã:] [形] [かたしゃまい...] 密である。【例】かたうい (密植)。かたまギ (密に種子を播くこと)。  
 かたしゅでい [kataçudi] [名] [かたしゅ<sup>1</sup>でいまい...] 片袖。  
 かたしゅば [kataçuba] [名] [かたしゅ<sup>1</sup>ばまい...] 片すみ。すぐ側のこと。くっついていること。【例】だいな かたしゅば (台の片隅)。  
 かたす [katasɯ] [動I類c型] [かたしー、かたしやん] 勝たせる。【例】かたしー わーり (勝たせて下さい)。  
 かたずギ [katadzɯkɯ] [動I類c型] [かたずきー、かたずかん] 片付く。【例】かたずきった (片づいた。終了)。  
 かたずき [katadzɯki] [名] [かたず<sup>1</sup>きまい...] 片付け。後片付け。整頓すること。

かたずきり [katadzɕiki] [動 II 類 c 型] [かたずき一、かたずきん] 片付ける。

かたたたぎ [katatatakɕi] [名] [かたたた<sup>1</sup>ぎまい...] 肩たたき。

かたちび [katatɕibi] [名] [かたち<sup>1</sup>びまい...] 片方の尻。

かたちびぐー [katatɕibigu:] [名] [かたちびぐ<sup>1</sup>ーまい...] 片方の尻。

かたちちゃー [katatɕa:] [名] [かたちちゃーまい...] 濃いお茶。

かたつ [katatsɕi] [名] [かたつまい...] 形。型。形状。【例】ピとうぬ かたつ (人形)。

かたつま [katatsɕima] [名] [かたつ<sup>1</sup>ままい...] 耳の上の髪の毛の生え際のところ。【類】「びんた」。「みムたヴヴァ」。

かたでい [katadi] [名] [かた<sup>1</sup>でいまい...] 片方。履き物の片方。【例】くつぬ かたでい (靴の片方)。

かたでいー [katadi:] [名] [かたでい<sup>1</sup>ーまい...] 片手。片腕。

かたていま [katatima] [名] [かたてい<sup>1</sup>ままい...] 片手間。ちょっとの間。

かたどうー [katadu:] [名] [かたどう<sup>1</sup>ーまい...] 片腕。一人の体という意味。夫婦の一人。

かたとうぎ [katatukɕi] [名] [かたとう<sup>1</sup>ぎまい...] 片時。一時。

かたどうり [kataduɕi] [動 I 類 c 型] [かたどうり一、かたどうらん] 型取る。

かたな [katana] [名] [かた<sup>1</sup>なまい...] 刀。包丁。

かたながに [katanagani] [名] [かたなが<sup>1</sup>にまい...] 背骨を中心にして片方の肉。例えば、魚の片方の肉。魚をさばく時に言う。

かたなぬ ぱー [katananu pa:] [名] [かたな<sup>1</sup>ぬぱー「まい...」 刀の刃。よく切れる刃物にも言う。

かたなばー [katanaba:] [名] [かたなば<sup>1</sup>ーまい...] するどい刃物。ガラスの破片に言う。

かたば [kataba] [名] [かた<sup>1</sup>ばまい...] 片端者。無法者。不具者。半端者。

かたばー [kataba:] [名] [かたば<sup>1</sup>ーまい...] 片刃。片側だけに刃がついている刃物。

かたばぎ [katapagi] [名] [かたば<sup>1</sup>ぎまい...] 片

足。【例】かたばぎに一 ぶどうり (片足でジャンプする)。

かたばしーぐ [katabaɕi:gu] [名] [かたばしー<sup>1</sup>ぐまい...] 片刃の小刀。片側だけに刃のある小刀。

かたばた [katabata] [名] [かたばた<sup>1</sup>んまい...] 片端。傍ら。側。わき。はしっこ。【類】「かたーら」。

かたばば [katapaba] [名] [かたば<sup>1</sup>ばまい...] 肩幅。

かたふかす [katafukasɕi] [動 I 類 c 型] [かたふかし一、かたふかしゃん] 傾ける。【例】かたふかし (傾けなさい)。

かたふぎ [katafukɕi] [動 I 類 c 型] [かたふき一、かたふかん] 傾く。【例】ていだー かたふきった (太陽は南中を過ぎた)。

かたふす [katafusɕi] [名] [かたふすまい...] 目の細かい櫛。

かたふた [katafuta] [名] [かたふた<sup>1</sup>んまい...] 片方。片すみ。すぐ身近なこと。

かたふたあみ [katafutaami] [名] [かたふたあ<sup>1</sup>みまい...] 片降り雨。

かたふたに一 [katafutani:] [名] [かたふたに<sup>1</sup>ーまい...] 半煮。まだ食べられない状態の料理。

かたふたに一 [katafutani:] [名] [かたふたに<sup>1</sup>ーまい...] 片方に寄った荷物。積み荷が片方に寄っていること。

かたふたふり [katafutafuɕi] [名] [かたふたふ<sup>1</sup>りまい...] 片降りの雨。夏の雨。

かたふつ [katafutsɕi] [名] [かたふ<sup>1</sup>つまい...] 一方。片方。片一方。

かたぶつ [katabutsɕi] [名] [かたぶ<sup>1</sup>つまい...] 堅物。気まじめな人。正義感のある人。

かたふっじゃ [katafuddɕa] [名] [かたふっ<sup>1</sup>じゃまい...] 手当たり次第。かたっぱし。

かたぶり [katabuɕi] [名] [かたぶ<sup>1</sup>りまい...] 片降り。【例】なつぬ あめー かたぶり (夏の雨は片降りだ)。

かたぶりあみ [katabuami] [名] [かたぶりあ<sup>1</sup>みまい...] 片降りの雨。

かたまがり [katamagaɕi] [動 I 類 c 型] [かたまがり一、かたまがらん] 肩曲がる。重い物を持つ

ときの肩の様子。

かたまぎ [katamakɯ] [名] [かたまぎまい...] 密に播くこと。種子を密に播く。

かだまき [kadamaki] [名] [かだまきまい...] 風負け。皮膚がかぶれる。

かたまらず [katamarasɯ] [動 I 類 a 型] [かたまらしー、かたまらしゃん] 固まらせる。豆腐を固まらせる。

かたまり [katama] [名] [かたまりまい...] 塊。固まったもの。

かたまり [katama] [動 I 類 a 型] [かたまりー、かたまらん] 固まる。豆腐は海水を入れると固まる。

かたみ [katami] [名] [かた<sup>1</sup>みまい...] 形見。

かたみ [katami] [名] [かたみまい...] 固め。固めること。

かたみ [katami] [名] [かたみまい...] 票の集め。選挙のとき票を固めること。

かたみ [katami] [名] [かたみま<sup>1</sup>い...] 担ぎ。担ぐこと。肩に上げること。

かたみあうく [katamiauku] [名] [かたみあう<sup>1</sup>くまい...] 天平棒。【同】「かたみおーく」。

かたみー [katami:] [名] [かたみ<sup>1</sup>ーまい...] 片目。片方の目。【例】かたみーしー みーる (望遠鏡は片方の目で見る)。

かたみおーく [katamio:ku] [名] [かたみおー<sup>1</sup>くまい...] 天平棒。【同】「かたみあうく」。

かたみつ [katamitsu] [名] [かたみ<sup>1</sup>つまい...] 片道。往く道。

かたみっす [katamissɯ] [動 I 類 c 型] [かたみっしー、かたみっしゃん] 固まらせる。

かたみっす [katamissɯ] [動 I 類 c 型] [かたみっしー、かたみっしゃん] 票を固めさせる。投票をわが方に呼びかける。

かたみっす [katamissɯ] [動 I 類 c 型] [かたみっしー、かたみっしゃん] 担がせる。【例】たーらう かたみっす (俵を担がせる)。

かたみった [katamitta] [名] [かたみっ<sup>1</sup>たまい...] 片方の目が視力を失うこと。またはその人。

かたみったむぬ [katamittamunu] [名] 片方の目が視力を失った人。

かたみでいまー [katamidima:] [名] [かたみでいま<sup>1</sup>ーまい...] 担ぐ手間賃。運び賃。フォークリフトのない時代のこと。

かたみム [katamim] [名] [かたみ<sup>1</sup>ムまい...] 片耳。片方の耳。【例】かたみムしーや ギギな (片耳では聞くな。しっかり両耳で聞く)。

かたみり [katami] [動 II 類 c 型] [かたみー、かたみん] 固める。固くする。【例】たうふおーかたみった (豆腐は固めた)。

かたみり [katami] [動 II 類 c 型] [かたみー、かたみん] 票を固める。【例】かたみった (票を固めた)。

かたみり [katami] [動 II 類 c 型] [かたみー、かたみん] 担ぐ。肩に上げる。【例】たーらーかたみった (俵担ぎは終わった)。

かたむてい [katamuti] [名] [かたむ<sup>1</sup>ていまい...] 一反に足りない面積。土地や畑に言う。

かたむらす [katamurasɯ] [名] [かたむらす<sup>1</sup>んけー...] 肩。両肩。

かたゆー [kataju:] [名] [かたゆーまい...] 硬いお粥。

かたゆり [kataju] [動 I 類 c 型] [かたゆりー、かたゆらん] 片寄る。偏る。【例】ぱなすぬ かたゆり (話が偏る)。

かたらイピとう [katarajipitu] [名] [かたらイピ<sup>1</sup>とうまい...] 許婚。婚約者。【同】「かたるーピとう」。

かたらイふつ [katarajifutsɯ] [名] [かたらイふ<sup>1</sup>つまい...] 相談する相手。

かたリ [kata] [動 I 類 a 型] [かたりー、かたらん] 語る。話す。告げる。

かたリペー [kata[be:]] [名] [かたリペ<sup>1</sup>ーまい...] 話し手。話者。

かたるー [kataru:] [動 I 類 c 型] [かたれー、かたらーん] 語り合う。話し合い。相談する。【例】かたるーぬ かぎしゃ (話し合いは美しい)。

かたるーピとう [kataru:pitu] [名] [かたるーピ<sup>1</sup>とうまい...] 許婚。婚約者。【同】「かたらイピとう」。

かち [katɕi] [名] [かちま<sup>1</sup>い...] 勝ち。勝つこと。【例】ペーたが かち (我々の勝利だ)。

かちえーな [katçe:na] [接尾] ~ながら。~つつ。  
 【例】 心ーかちえーな (食べながら・食べつつ)。  
 【同】 「かちえーら」。【類】 「がつな」。「がつら」。

かちえーら [katçe:ra] [接尾] ~ながら。~つつ。  
 【例】 心ーかちえーら (食べながら・食べつつ)。  
 【同】 「かちえーな」。【類】 「がつな」。「がつら」。

かちえーん [katçe:n] [接尾] ~ながら。~つつ。  
 【例】 心ーかちえーん (食べながら・食べつつ)。  
 【同】 「がちえーん」。【類】 「がつな」。「がつら」。

がちえーん [gatçe:m] [接尾] ~ながら。~つつ。【例】  
 心ーがちえーん (食べながら・食べつつ)。「同」  
 「かちえーん」。【類】 「がつな」。「がつら」。

かちや [katça] [名] [かちやま<sup>1</sup>い...] 蚊帳。【例】  
 かちやう ぱり (蚊帳を張る)。かちやんけー  
 くまり (蚊帳に入る)。

かちやーしー [katça:çi:] [名] [かちやーし<sup>1</sup>ーま  
 い...] 即興。踊り。テンポの速い踊り。本来の  
 意味は掻き混ぜる。

かちゅー [katçu:] [名] [魚] [かちゅーまい...] 鯉  
 (かつお)。

かちゅーしん [katçu:çin] [名] [かちゅーしんま  
 い...] かつお船。

かちゅーだす [katçu:das] [名] [かちゅーだすま  
 い...] かつお節のだし。

かちゅーとうり [katçu:tu] [名] [鳥] [かちゅー  
 とうりまい...] かつお鳥。

かちゅーとうり [katçu:tu] [名] [かちゅーとう<sup>1</sup>  
 りまい...] 鯉獲り。鯉釣り。

かちゅーなます [katçu:namas] [名] [かちゅー  
 なますまい...] かつおの刺身。

かちゅーぶす [katçu:bus] [名] [かちゅーぶすま  
 い...] かつお節。

かつ [kats] [動I類c型] [かていー、かたん] 勝  
 つ。勝利する。【例】 かつぐまた (勝つべきだ)。  
 かてい (勝て)。

かつ [kats] [動I類c型] [かていー、かたん] 精  
 げる。脱穀する。【例】 まみかつ (豆を棒で精  
 げる)。むぎかつ (麦かつ)。かつぐまた (豆か  
 つ、麦かつをやるべきだ)。

がつ [gats] [名] 月。正月。二月など。【例】 な  
 んがつ (何月)。いちがつ (一月)。

かつえーな [katsə:na] [接尾] ~ながら。~つつ。  
 【類】 「かちえーな」。

かつき [kakki] [名] [病] [かつ<sup>1</sup>きまい...] 脚気。  
 かつくム [kakkum] [動I類c型] [かつくみー、  
 かつくまん] 背を丸める。寒さに耐える様。辛  
 抱する。

がっこー [gakko:] [名] [がっこ<sup>1</sup>ーまい...] 学校。  
 小学校。中学校。高等学校。大学。専門学校な  
 ど。

がっこーぎー [gakko:gi:] [名] [がっこ<sup>1</sup>ーぎーま  
 い...] 学校へ行くときの洋服・衣服。【類】 「が  
 っこーぎん」。

がっこーぎん [gakko:gin] [名] [がっこ<sup>1</sup>ーぎんま  
 い...] 学校へ行くときの洋服・衣服。【類】 「が  
 っこーぎー」。

がっこーしーとう [gakko:çi:tu] [名] [がっこ<sup>1</sup>ー  
 しーとうまい...] 学校生徒。【類】 「しーとう」。

がっこーなー [gakko:na:] [名] [がっこ<sup>1</sup>ーなーま  
 い...] 戸籍上の名前。

がっこーぬ しんしー [gakko:nu çinçi:] [名] [が  
 っこーぬしんしー<sup>1</sup>まい...] 学校の先生。教師。

かっさ [kassa] [名] [かつ<sup>1</sup>さまい...] 木の葉の広  
 いもの。主に食べ物を包んだり、食べ物を覆う  
 のに使う。皿の代用にもなる。「かしわ」の訛  
 か。

かっさがばー [kassagapa:] [名] [かっさ<sup>1</sup>がばー  
 ーまい...] 大きな葉っぱ。

かっじゃ [kaddza] [名] [植] [かっじゃま<sup>1</sup>い...]  
 へくそかずら。つる性の木や石垣に巻きつく植  
 物。

かっじゃんがペー [kaddzangape:] [名] [かっじ  
 ゃんがペーまい...] 伝説の人。たらまやからの  
 一人。宇増呂と戦って負けた。村史参照。

がったー [gatta:] [名] [が<sup>1</sup>ったー<sup>1</sup>まい...] あの  
 野郎。【例】 がったーうがみ (あの野郎だけは  
 …)。

がったう [gattau] [連語] あの奴を。【例】 がった  
 うがみ (あの奴だけは)。がったうばー (あの  
 奴をば)。

がつつり [gattsuri] [副] 丁度。ぴったり。ぴしゃ  
 り。ぱっちり。

かっていー [katti:] [名] [かっていーまい...] 勝手。思いのまま。【例】どうーかっていー (自分勝手)。かっていーん すな (勝手にするな)。  
 がっていん [gattin] [名] [がってい<sup>1</sup>んまい...] 合点。承諾。納得。  
 かつな [katsna] [接尾] ~ながら。~つつ。  
 がつな [gatsna] [接尾] ~ながら。~つつ。【例】ふーがつな (食べながら)。すーがつな (やりながら)。  
 がつなしー [gatsnaci:] [連語] ~ながら。~つつ。  
 がつなな [gatsnana] [連語] ~ながら。~つつ。【例】ふーがつなな (食べながら)。  
 がつなな [gatsnana] [連語] ~ながら。~つつ。  
 がつなにー [gatsnani:] [連語] ~ながら。~つつ。  
 がつなん [gatsnan] [連語] ~ながら。~つつ。  
 がつぬ [gatsnu] [名] [魚] [が<sup>1</sup>つぬまい...] あじの仲間。  
 がっぱい [gappai] [名] [が<sup>1</sup>っぱいまい...] 額の大きい人。【類】「がっぱやー」。  
 がっぱやー [gappaja:] [名] [が<sup>1</sup>っぱや<sup>1</sup>まい...] 額の大きい人。【類】「がっぱい」。  
 かつふあす [kaffasj] [動 I 類 c 型] [かつふあしー、かつふあしやん] 隠す。【例】きーぬ みーん かつふあす (林の中に隠す)。  
 かつふいどうーみ [kaffidu:mi] [名] [か<sup>1</sup>つふいどうーみ<sup>1</sup>まい...] 隠れん坊。遊びの一つ。鬼が目隠しをして 100 まで数えたら隠れている者を探しにかかる。  
 かつふいり [kaffi:] [動 II 類 c 型] [かつふいー、かつふいん] 隠れる。【例】やーんか かつふいり (家の中に隠れる)。  
 かつみり [katsmi:] [動 II 類 a 型] [かつみー、かつみん] 届く。高い所に手が届く。【例】かつみった (届いた)。  
 かつみり [katsmi:] [動 II 類 a 型] [かつみー、かつみん] 捕まえる。つかまえる。逮捕する。【例】かつみった (捕まえた)。かつみー わーり (捕まえて下さい)。ぬすどうー かつみり (盗人を捕まえる)。  
 かつム [katsm] [動 I 類 a 型] [かつみー、かつまん] 掴む。手で握る。

かつら [katsra] [接尾] ~ながら。~つつ。  
 がつら [gatsra] [接尾] ~ながら。~つつ。【例】ふーがつら (食べながら)。  
 かつん [katsn] [接尾] ~ながら。~つつ。  
 かでい [kadi] [名] [か<sup>1</sup>でいまい...] 風。【例】にすか<sup>1</sup>でい (北風)。あがりか<sup>1</sup>でい (東風)。いりか<sup>1</sup>でい (西風)。ぱいか<sup>1</sup>でい (南風)。  
 かでい [kadi] [名] [病] [か<sup>1</sup>でいま<sup>1</sup>い...] 風邪。風邪引き。【類】「ばなピギ」。  
 かでい [kadi] [名] [か<sup>1</sup>でいま<sup>1</sup>い...] いも掘り。芋を掘ること。畑を耕すこと。【例】ムーか<sup>1</sup>でい (芋掘り)。  
 か<sup>1</sup>でいあたり [kadiata:] [名] [か<sup>1</sup>でいあたりまい...] 風当たり。非難の多いこと。  
 か<sup>1</sup>でいがしー [kadigaci:] [名] [か<sup>1</sup>でいがし<sup>1</sup>まい...] いも掘りの手伝い。  
 か<sup>1</sup>でいがたか [kadigataka] [名] [か<sup>1</sup>でいがたかまい...] 風除け。防風。防風林。風除けのある所。  
 か<sup>1</sup>でいかり [kadika:] [名] [か<sup>1</sup>でいか<sup>1</sup>りまい...] 伝説の人。伊良部島の佐和田と交流したとされる。  
 か<sup>1</sup>でいかりぬ しゅー [kadika[nu cu:] [名] [か<sup>1</sup>でいか<sup>1</sup>りぬしゅー<sup>1</sup>まい...] 伝説上の人名。  
 か<sup>1</sup>でいかりぬ にり [kadika[nu ni:] [名] [か<sup>1</sup>でいか<sup>1</sup>りぬにり<sup>1</sup>まい...] <か<sup>1</sup>でいか<sup>1</sup>りぬ しゅー> を讃える古謡。<にり> (神歌)。スツウプナカで歌う古謡。  
 か<sup>1</sup>でいくムうぶうや [kadikum.ubuuja] [名] [か<sup>1</sup>でいくムうぶうやまい...] 前泊港の西側に立つ岩のこと。台風の荒波で破壊されて今はない。  
 か<sup>1</sup>でいじゅーしゃーり [kadidzu:ca:] [形] [か<sup>1</sup>でいじゅーしゃまい...] 強風である。【例】か<sup>1</sup>でいじゅーしゃん いムーけーや いかいん (強風には釣りに行けない)。  
 か<sup>1</sup>でいしゅぎ [kadiçug] [動 I 類] [か<sup>1</sup>でいしゅぎー、か<sup>1</sup>でいしゅがん] そよ風が吹く。  
 か<sup>1</sup>でいしゅぎがま [kadiçuggama] [名] [か<sup>1</sup>でいしゅぎが<sup>1</sup>まい...] そよ風。涼しい風。  
 か<sup>1</sup>ですたーでい [kadisqta:di] [名] [か<sup>1</sup>ですたーでいまい...] 風下。【類】「か<sup>1</sup>ですたーら」。

かですたーら [kadiʃtara] [名] [かですたーらまい...] 風下。【類】「かですたーでい」。

かでいどり [kadiduri] [名] [かでいどりまい...] 風。無風状態。風がない状態。

かでいどりり [kadiduri] [動 II 類 a 型] [かでいどりー、かでいどりん] 風がない。風が風ぐ。

かでいぬ みつ [kadinu mitsu] [名] [かでいぬみ<sup>1</sup>つまい...] 風の通り道。木陰の涼しい所。

かでいばなた [kadibanata] [名] [かでいばなたまい...] 風の強く当たる所。風上の方。【同】「かでいばなつ」。

かでいばなつ [kadibanatsu] [名] [かでいばなつまい...] 風の強く当たる所。風上の方。【同】「かでいばなた」。

かでいピギ [kadipɨki] [名] [病] [かでいピ<sup>1</sup>ギまい...] 風邪ひき。【類】「ばなすギ」「ばなピギ」。

かでいふギ [kadifuki] [名] [かでいふギま<sup>1</sup>い...] 風吹き。台風のこと。大風。暴風。

かでいふギム [kadifukim] [名] [かでいふギい<sup>1</sup>ムまい...] 台風時の海。時化の海。荒海。

かでいふつ [kadifutsu] [名] [かでいふ<sup>1</sup>つまい...] 人も掘りの場所。

かでいまーり [kadima:] [名] [かでいまーりまい...] 風廻り。風が吹く向きを変えること。寒冷前線の発生。

かでいまギ [kadimakɨ] [名] [かでいまギまい...] つむじ風。渦を巻く風。

かでいまギ [kadimakɨ] [名] [病] [かでいまギまい...] 風負。子どもにできる皮ふ病。わらじを燃やして、その煙を股の間に通した。

かでいムー [kadimm] [名] [かでいム<sup>1</sup>ーまい...] 掘り取ったいも。収穫したいも。

かでいむギ [kadimuki] [名] [かでいむギまい...] 風向き。人の心がわりにも言う。【例】かでいむギぬ かーり (心がわりが見られる)。

かていむぬ [katimunu] [名] [かていむ<sup>1</sup>ぬまい...] おかず。副食物。糧食。

かていやき [kadijaki] [名] [かていやきまい...] 台風の前ぶれの夕焼け空。

かていり [kadi:] [動 II 類 c 型] [かていー、かて

いん] 人も掘りをする。

かていり [kadi:] [動 II 類 c 型] [かていー、かていん] 畑を耕す。畑を整地する。

かていわーら [kadiva:ra] [名] 風上。【例】かていわーらん たつな (風上に立つな)。

かていん かーらかす [kadin karakasɨ] [連語] 風に乾かす。風に干す。

かて一な [kate:na] [接尾] ~ながら。~つつ。

かどう [kadu] [名] [かどうま<sup>1</sup>い...] 角。交差点。辻。

かどうばら [kadubara] [名] [かどうば<sup>1</sup>らまい...] (茅葺きの家の) 角に建てる柱。

かどうまーり [kaduma:] [名] [かどうまー<sup>1</sup>りまい...] 角廻り。交差点。辻。

かな [kana] [名] [かなまい...] 仮名。仮名文字。

かな [kana] [名] [か<sup>1</sup>なまい...] 人名。

かな [kana] [名] [か<sup>1</sup>なまい...] 猫の別称。猫を呼ぶときに発する。【例】かなう あびり (猫を呼べ)。かなー (猫を呼ぶときに発する)。

かな [kana] [名] [かなま<sup>1</sup>い...] 鉋。大工用鉋。料理用の鉋。かんな。

かなあム [kanaam] [名] [かなあムまい...] 金網。

かなあム [kanaam] [名] [かなあ<sup>1</sup>ムまい...] 金網。鉄条網。

かな一ん [kana:n] [連語] 叶わない。思い通りにならない。勝てない。【例】かりんや かな一ん (彼には勝てない)。

かなイ [kanaɨ] [名] [かな<sup>1</sup>イまい...] 叶い。叶うこと。

かなイむぬ [kanamunu] [名] [かなイむぬま<sup>1</sup>い...] 叶う者。なんでも器用な人。何をさせてもできる人。

かないり [kanai:] [動 II 類 c 型] [かないー、かないん] 叶える。叶えてあげる。

かながい [kanagai] [名] [かなが<sup>1</sup>いから ...] 昔。以前。【類】「むかす」「んけーん」。

かなぎ [kanagi] [名] [指] [かな<sup>1</sup>ぎまい...] とても長いこと。【例】かなぎぬ ぱう (とても長い蛇)。

かなぐ [kanagu] [名] [かなぐまい...] 金具。金属の工具。

かなぐー [kanagu:] [名] [かなぐーまい...] 錨。船の錨。【類】「あんかー」「いかり」。

かなくず [kanakudzɪ] [名] [かなくずまい...] 金くず。【類】「かなぐる」。

かなぐす [kanagusɯ] [名] [かなぐすまい...] いも掘り用の金属の棒。

かなぐる [kanaguru] [名] [かなぐるまい...] 金くず。【類】「かなくず」。

かなぐるぼーし [kanagurubo:ʃi] [名] [かなぐるぼーしまい...] 夏の日除け用の帽子。実際は麦わらで作ったもの。

かなしゃ [kanaʃa] [名] [かなしゃま<sup>1</sup>い...] 愛しさ。愛しい人。妻。【例】ばが かなしゃ (私の妻)。

かなしゃーり [kanaʃa:ɾi] [形] [かなしゃまい...] 愛しい。親しい。【例】かなしゃぬ (愛しいことよ)。

かなしゃーり [kanaʃa:ɾi] [形] [かなしゃまい...] 悲しい。情けなく残念。哀しい。

かなしゃがま [kanaʃagama] [名] [かなしゃが<sup>1</sup>ま<sup>1</sup>まい...] 愛しい人の愛称。

がなす [ganasɯ] [接尾] 加奈志。尊敬の対象につけて敬意を表す。～様。【例】しゅーがなす (王様)。うやがなす (親様)。ていだがなす (お天道様)。

かなずー [kanadzɪ:] [名] [かなずーまい...] かな文字。

かなすぎしゃーり [kanasɯgiʃa:ɾi] [形] [かなすぎしゃまい...] 親しそう。【例】かぬ ふたーりら かなすぎ (あの二人は親しそうだ)。

かなずつ [kanadzɪtsɯ] [名] [かなずつまい...] 金槌。ハンマー。泳げない人にも言う。

かなすむぬ [kanasɯmunu] [名] [かなすむぬまい...] 親しい仲間。恋しい人。

かなぼう [kanabau] [名] [かなぼうまい...] 金棒。【同】「かなぼー」。

かなばま [kanabama] [名] [地] [かなば<sup>1</sup>ままい...] 多良間島の〈とうぶり〉の名前。村史参照。

かなぼー [kanabo:] [名] [かなぼーまい...] 金棒。【同】「かなぼう」。

かなまり [kanamaɽ] [名] [かなま<sup>1</sup>りまい...] 頭。知識人のことも言う。

かなまりぐー [kanamaɽgu:] [名] [かなま<sup>1</sup>りぐーまい...] 頭蓋骨。動物一般に言う。

かなまりぶに [kanamaɽbuni] [名] [かなま<sup>1</sup>りぶにまい...] 頭がい骨。

かなまりやム [kanamaɽjam] [名] [かなま<sup>1</sup>りやムまい...] 頭痛。

かなみ [kanami] [名] [かな<sup>1</sup>みまい...] 要め。重要な位置。重要なポスト。

かなむぬ [kanamunu] [名] [かなむぬまい...] 金物。金属でできた物品。

かなむぬやー [kanamunuja:] [名] [かなむぬやーまい...] 金物商店。

かに [kani] [名] [かにまい...] 金属。金属全般に言う。

かに [kani] [名] [かにまい...] 鐘。【例】かねーならん (鐘は鳴らない)。かねー なりった (鐘は鳴った)。【類】「つぎがに」。

かに [kani] [名] [かにま<sup>1</sup>い...] 兼ね。兼ねること。

かにあい [kaniai] [名] [かにあいま<sup>1</sup>い...] 兼ね合い。

かにうぎー [kaniugi:] [名] [植] [かに<sup>1</sup>うぎーまい...] えびづる。やまぶどう。つる性。【類】「やまぶどう」。

かにうぎーぬ なり [kaniugi:mu naɽ] [名] [かに<sup>1</sup>うぎーぬなり<sup>1</sup>まい...] えびづるの実。【類】「かにうぬなり」。

かにうぬ なり [kaniunu naɽ] [名] [かに<sup>1</sup>うぬなり<sup>1</sup>まい...] えびづるの実。【類】「かにうぎーぬなり」。

かにうビー [kaniubu:] [名] [かにうビーまい...] 金属製のたが。【類】「わーがに」。

かにぐす [kanigusɯ] [名] [かにぐすまい...] 金串。金属でできている串。

かにじゃく [kanidzaku] [名] [かにじゃくまい...] さしがね。L字型の大工用具。【類】「ばんじゅーがに」。

かにしゅるい [kaniʃurui] [名] [かにしゅる<sup>1</sup>まい...] 兼ね揃え。学問と健康を兼ね揃える。

かにしゅるいり [kaniçurui] [動 II 類 c 型] [かにしゅるいー、かにしゅるいん] 兼ね揃える。

かにじん [kanidzin] [名] [かにじんまい...] 硬貨。【類】「くじん」。「ぐまじん」。

かにずー [kanidzɯ:] [名] [かにずーまい...] 空き缶のつるべ。

かにずつ [kanidzɯtsɯ] [名] [かにずつまい...] 金属で出来ているお茶を入れる箱。

かにずつ [kanidzɯtsɯ] [名] [かにずつまい...] 金槌。

かにだう [kanidau] [名] [かにだうまい...] 金道具。金属でできている道具。【同】「かにどー」。

かにだらい [kanidarai] [名] [かにだらいまい...] 金属製のたらい。洗濯用のたらい。

かにてい [kaniti] [副] 兼ねて。以前から。

かにていから [kanitikara] [連語] 以前から。

かにどー [kanido:] [名] [かにどーまい...] 金道具。金属でできている道具。【同】「かにだう」。

かにふぎ [kanifugi] [名] [かにふぎまい...] 金釘。金属の釘。

かにまかり [kanimaka] [名] [かにまかりまい...。かにまか<sup>1</sup>りまい...] 金属の椀。

がにまた [ganimata] [名] [がにま<sup>1</sup>たまい...] 蟹股。O脚。

かにり [kani] [動 II 類] [かにー、かにん] ~かねる。~しづらい。動詞に付いて、「~しかねる」を表す。【例】うむイだすかにー (思い出しかねた)。

かにり [kani] [動 II 類 c 型] [かにー、かにん] 兼ねる。【例】かにずー (兼ねよう。仕事をいくつも受け持つこと)。すぐとうー かにり (仕事を兼ねる)。ふた一つ かにり (二つ兼ねる)。

かにわー [kaniva:] [名] [かにわーまい...] 金属の輪。【同】「わーがに」。

かぬ [kanu] [連体] [指] あの。【例】かぬむぬ (あの物)。かぬ ピとー たうが (あの人は誰か)。

かぬ がぎ [kanu gakɯ] [連語] [指] あの餓鬼。あの野郎。あの奴。

かぬ ぶん [kanu bun] [連語] [指] あの分。あれ相当。あれほど。【例】かぬ ぶん ぱたらきー (あれほど働いた)。

かぬ へー [kanu he:] [連語] [指] あの奴。あの野郎。

かぬ ゆー [kanu ju:] [連語] [指] あの世。死後の世界。

かぬ んじゃ [kanu ndza] [連語] [指] あの奴。あの野郎。

かぬー [kanu:] [動 I 類 c 型] [かねー、かなーん] 叶う。思い通りになる。【例】かないー くー (成功して来なさい)。かないー みーる (成功してみよ。頑張れ)。

かぬじゅ [kanudzu] [名] [指] [かぬ<sup>1</sup>じゅまい...] 彼女。

かぬらー [kanura:] [感] あのね。

かねーらず [kaneradzɯ] [副] 必ず。是非。【例】かねーらず くー (是非とも来なさい)。

かば [kaba] [名] [か<sup>1</sup>ばまい...] 天幕。テント。【同】「かば」。

かば [kapa] [名] [か<sup>1</sup>ばまい...] 天幕。テント。【同】「かば」。

がば [gapa] [擬] 頭をごつんと突く。

がばー [gaba:] [形] [がば<sup>1</sup>ーむぬまい...] 大きい。巨大。社会の全ての物に言う。【例】がばーやー (大きな家)。がばーうす (大きな牛)。

かばう [kabau] [動 I 類 c 型] [かべー、かばーん] 庇う。守ってあげる。

がばうぷず [gabaupudzɯ] [名] [か<sup>1</sup>ばうぷずまい...] 曾祖父。

がばうムま [gabaumma] [名] [か<sup>1</sup>ばうムまい...] 曾祖母。

かばかば [kapakapa] [擬] 乾いたものの音。手ざわり。

がばがば [gapagapa] [擬] 馬の蹄の音。

がばぎー [gabagi:] [名] [か<sup>1</sup>ばぎーまい...] 老木。大木。

がばぎつに [gabagitsɯni] [名] [がばぎつ<sup>1</sup>にまい...] 年とったきつね。悪賢い人。

がばぐい [gabagui] [名] [か<sup>1</sup>ばぐいまい...] 変声期の男の子の声。

かばしゃ [kabaça] [名] [かば<sup>1</sup>しゃまい...] 香ばしさ。

かばしゃーり [kabaça:] [形] [かばしゃまい...]

香ばしい。においの良いこと。【例】かばしゃぬ（香ばしいぞ）。

がばしゃーり [gabaça:] [形] [がば<sup>1</sup>しゃまい...] 古い。人にも動物にも言う。古いこと。【例】がばピとう（老人）。がばむぬ（古い物）。

がばしゅー [gabaçu:] [名] [が<sup>1</sup>ばしゅーまい...] 曾祖父。

かばす [kabaş] [動I類 a 型] [かばしー、かばしゃん] 嗅がせる。

がばす [gabaş] [名] [がば<sup>1</sup>すまい...] 男女の年輩の独身をいやらしく言う。

かばすあヴヴあ [kabaşjavva] [名] [かばすあヴヴあまい...] 香ばしい油。老女の髪につけた油。椿油。

かばすかだ [kabaşkada] [名] [かばすかだまい...] 香ばしいにおい。

かばすぎー [kabaşgi:] [名] [かばすぎーまい...] 香ばしい木。

かばすばな [kabaşbana] [名] [かばすばなまい...] 香ばしい花。

がばぱー [gabapa:] [名] [が<sup>1</sup>ばぱーまい...] 古い葉。たばこの収穫に葉を選び分ける。

がばぱー [gabapa:] [名] [が<sup>1</sup>ばぱーまい...] 曾祖母。

がばまイ [gabama:] [名] [が<sup>1</sup>ばまイまい...] 古米。

がばまみ [gabamami] [名] [が<sup>1</sup>ばまみまい...] 古い豆。

がばみうとう [gabamiutu] [名] [が<sup>1</sup>ばみうとうまい...] 老夫婦。【同】「がばみうとうら」。

がばみうとうら [gabamiutura] [名] [が<sup>1</sup>ばみう<sup>1</sup>とうらまい...] 老夫婦。【同】「がばみうとう」。

がばみかす [gapamikas] [動I類 c 型] [がばみかしー、がばみかしゃん] 頭を叩く。厳しくしつける。

がばみギ [gapamik:] [動I類 c 型] [がばみきー、がばみかん] 下駄で音を立てて歩く。

がばみどうム [gabamidum] [名] [が<sup>1</sup>ばみどうムまい...] 年増の未婚の女。

がばムー [gabamm] [名] [が<sup>1</sup>ばムーまい...] 熟しすぎた芋。

がばムしゅ [gabamçu] [名] [が<sup>1</sup>ばムしゅまい...] 古い味噌。醗酵が進んでいる味噌。【類】「あかムしゅ」。

がばムま [gabamma] [名] [が<sup>1</sup>ばムままい...] 曾祖母。

がばムまり [gabammari] [名] [がばムま<sup>1</sup>りまい...] 四月生れの子。

かばやー [kabaja:] [名] [か<sup>1</sup>ばやーまい...] テント小屋。【同】「かばやー」。

かばやー [kapaja:] [名] [か<sup>1</sup>ばやーまい...] テント小屋。【同】「かばやー」。

がばやー [gabaja:] [名] [が<sup>1</sup>ばやーまい...] 古い民家。

かピ [kab] [名] [かピまい...] 紙。手紙。画用紙。厚紙。色紙。模造紙。学習に使用する紙。

かピ [kab] [動I類 c 型] [かびー、かばん] 嗅ぐ。においを嗅ぐこと。【例】かばだ（嗅いでみよう）。かび（においを嗅ぎなさい）。かびな（嗅ぐな）。

かび [kabi] [名] [かびまい...] カビ。細菌の総称。菌類。

かピぎー [kabgi:] [名] [植] [かピぎーまい...] 雁皮。がんぴの総称。紙の材料。おおがんぴ。こうぞ。【類】「くーず」。

かピじん [kabjdžin] [名] [かピじんまい...] 紙銭。冥銭。仏壇に供える。

かピずつム [kabjdžitsm] [名] [かピずつ<sup>1</sup>ムまい...] 紙包み。

かピとうり [kabtu:] [名] [かピとうりまい...] 凧。紙鳥。〈かーぶや〉。〈まーかピとうり〉。〈とーつム〉。〈こっき〉。旧暦の9月〈まっつー〉の行事として凧揚げもした。

かピばく [kabjaku] [名] [かピばくまい...] 紙箱。

かピばな [kabjana] [名] [かピば<sup>1</sup>なまい...] 紙で作った花。

かピふくる [kabjufuku] [名] [かピふくるまい...] 紙袋。

かピふつ [kabjufuts] [連語] 紙打ち。紙銭にお金の印をつけること。

かピやギ [kabjak] [名] [かピやギまい...] 紙焼

き。紙銭を焼くこと。あの世へのお金。  
 がびょーしゃーり [gabjo:ɕa:] [形] [がびょーしゃまい...] やせている。ひよわである。【同】「がべうしゃーり」。  
 がびょーむぬ [gabjo:munu] [名] [がびょーむぬまい...] やせた人。ひよわな人。動物にも言う。【同】「がべうむぬ」。  
 かぶ [kabu] [名] [植] [かぶまい...] かぶ。野菜。根を食用にする。根は球形。  
 かぶ [kabu] [名] [かぶま<sup>1</sup>い...] 株。一ヶ所に生える数本の草。さとうきびのかぶ。  
 がふ [gafu] [擬] ぴったり。ちょうどよい。正確。  
 がふ [gafu] [擬] 満員。満席。いっぱい。  
 かふー [kafu:] [名] [かふ<sup>1</sup>ーまい...] 果報。運の良いこと。幸せ。  
 かふーむぬ [kafu:munu] [名] [かふーむ<sup>1</sup>ぬまい...] 果報者。しあわせ者。  
 がぶがぶ [gabugabu] [擬] がぶがぶ水を飲むこと。  
 かぶぎ [kapugi] [名] [指] [かぶぎま<sup>1</sup>い...] とても大きい。【例】かぶぎぬ ムー (とても大きな芋)。  
 かぶげー [kapuge:] [名] [指] [か<sup>1</sup>ぶげー「まい...」 あれほど。  
 かふしゃ [kafuɕa] [名] [かふしゃま<sup>1</sup>い...] えさを撒くこと。釣り人の心得である。魚をおびき寄せるために撒くえさのこと。撒餌。  
 かぶす [kabusʃ] [名] [かぶ<sup>1</sup>すまい...] がんしな。頭に物を乗せるとき、クッションの役目をする草の輪。  
 かぶだし [kabudaɕi] [名] [かぶだしまい...] 株出し。さとうきびの株出しのこと。収穫したさとうきびの株から発芽させて育てること。  
 かぶちや [kabutɕa] [名] [植] [かぶ<sup>1</sup>ちやまい...] かぼちや。南瓜。【類】「なんこー」。  
 かふつ [kafutsʃ] [名] [かふつま<sup>1</sup>い...] 屋敷。【類】「やすぎ」。  
 かふつずー [kafutsʃdzɪ:] [名] [かふつず<sup>1</sup>ーまい...] 屋敷の跡地。屋敷跡を畑にした所。  
 がふていー [gafuti:] [副] ちょうど良い具合。満員・満席の様子。隙間のない状態。【例】がふ

ていー うぐなーりー ぶり (集会は満員)。  
 かぶと [kabuto] [名] [かぶ<sup>1</sup>とまい...] かぶと。八月おどりの組踊の戦闘場面に身につける。  
 がぶみぎ [gabumikɪ] [動 I 類 c 型] [がぶみりー、がぶみらん] がぶがぶと水を飲む。  
 かぶりり [kaburi] [動 II 類 c 型] [かぶりー、かぶりん] 皮ふがかぶれる。虫に刺されて皮ふがかぶれる。  
 かぶわき [kabuwaki] [名] [かぶわきまい...] 株分け。作物の株分け。植物を親株から分けて植えること。  
 がべうしゃーり [gabeuɕa:] [形] [がべうしゃまい...] やせている。細身である。体が貧弱である。【同】「がびょーしゃーり」。  
 がべうむぬ [gabeumunu] [名] [がべうむぬまい...] やせた人。細身の人。動物にも言う。【同】「がびょーむぬ」。  
 かべった [kabetta] [名] [魚] [かべっ<sup>1</sup>たまい...] はたたてだい。【類】「ぶーピギかべった」。  
 かま [kama] [名] [指] [かま<sup>1</sup>んけー...] あっちの方。むこう。あちら。あそこ。【例】かまがみ (向うまで)。かまんけー とうび (むこうへ行け)。  
 かま [kama] [名] [か<sup>1</sup>ままい...] 窯。石灰石を焼く窯。今はない。【類】「ばイやギがま」。  
 かま [kama] [名] [かまま<sup>1</sup>い...] かまど。台所の鍋を乗せる所。【類】「うかま」。  
 かま [kama] [名] [か<sup>1</sup>ままい...] 人名。  
 がま [gama] [接尾] 指小辞。愛称。小、細、可憐、少などに使う。軽蔑語としても使う。【例】ヴヴあがま (きさま)。あじゃがま (兄さん)。ふにがま (小型の船)。  
 がま [gama] [名] [がまま<sup>1</sup>い...] 洞窟。ほら穴。自然にできた洞穴。  
 かまい [kamai] [名] [かまいまい...] 構え。家の作り方。剣道の型。  
 かまいー たてい [kamai: tati] [連語] 構えて立て。心構え。心得。  
 かまいり [kamai] [動 II 類 a 型] [かまいー、かまいん] 構える。心得る。  
 かまかた [kamakata] [名] [か<sup>1</sup>まかたまい...] 向

う側。あの方。夫婦のどちらかの方。  
 かまぎり [kamagi] [動I類c型] [かまぎりー、かまぎらん] 持ち上げる。付き上げる。食物の若い芽が土を持ち上げる。  
 がまく [gamaku] [名] [がま<sup>1</sup>くまい...] 腰のくびれた所。脇腹。やわら。【類】「やーら」。  
 かまじーぐー [kamadzi:gu:] [名] [かまじ<sup>1</sup>ーぐーまい...] 穀物や塩や肥料の入った大きな袋。【類】「くちき」。「くちきぐー」。「ぴーばーぐー」。  
 かます [kamas] [名] [かま<sup>1</sup>すまい...] 穀物や塩や肥料の入った大きな袋。  
 かまた [kamata] [名] [指] [かま<sup>1</sup>たまい...] あそこら。あそこら辺。あの辺り。【例】かまたん みーた<sup>1</sup>り (あのあたりに見た)。  
 かまたムーな [kamatammna] [名] [指] [かま<sup>1</sup>たムーなまい...] あそこら辺。  
 かまつ [kamats] [名] [かまつま<sup>1</sup>い...] ほお。ほった。  
 かまつだら [kamats]dara [名] [かまつだ<sup>1</sup>らまい...] 頬が垂れている人。【同】「かまつだれ」。  
 【類】「かまつだ<sup>1</sup>りむぬ」。  
 かまつだ<sup>1</sup>りむぬ [kamats]da[munu] [名] [かまつだ<sup>1</sup>りむ<sup>1</sup>ぬまい...] 頬が垂れている人。【類】「かまつだら」。「かまつだれ」。  
 かまつだれ [kamats]dare [名] [かまつだ<sup>1</sup>れまい...] 頬が垂れている人。【同】「かまつだら」。  
 【類】「かまつだ<sup>1</sup>りむぬ」。  
 かまつぶに [kamats]buni [名] [かまつぶ<sup>1</sup>にまい...] ほお骨。  
 かまつふり [kamaffu] [名] [か<sup>1</sup>まつふり<sup>1</sup>まい...] お盆の送り日に先祖を送る儀式。  
 かまどう [kamadu] [名] [かま<sup>1</sup>どうまい...] 人名。  
 かまどうみが [kamadumiga] [名] [かまどうみ<sup>1</sup>がまい...] 人名。  
 かまぬり [kamanu] [名] [かまぬり<sup>1</sup>まい...] かまど作りのこと。シートヤーのかまど作り。  
 かまばく [kamabaku] [名] [かまばくまい...] かまぼこ。【同】「かまばく」。  
 かまぶく [kamabuku] [名] [かまぶくまい...] か

まぼこ。【同】「かまばく」。  
 かまムーな [kamammna] [名] [指] [か<sup>1</sup>まムーなまい...] あそこ辺り。あそこら辺。あの辺り。  
 かまらしゃ [kamaras]a [名] 悲しさ。悔しさ。残念さ。哀しさ。  
 かまらしゃーり [kamaras]a:ri [形] [かまらしゃまい...] 悲しい。悔しい。哀しい。心が痛む。  
 がまらしゃーり [gamaras]a:ri [形] [がまらしゃまい...] うるさい。やかましい。思うときのことができないときにも言う。自分の力の足りないことにも言う。  
 かまらすむぬ [kamaras]munu [名] [かまらすむ<sup>1</sup>ぬまい...] 悲しいこと。悔しいこと。心が痛むこと。  
 かまり [kama] [動I類a型] [かまりー、かまらん] 飽きる。【例】かまりー ねーん (飽きてしまった)。かまりった (飽きた)。  
 かまんか [kamanka] [連語] [指] あの中に。あそこの中。  
 かみ [kam] [名] [か<sup>1</sup>みまい...] 上。上の方。上の座。【例】かみんけー わーり (上座どうぞ)。  
 【類】「ヴえーぐ」。  
 かみ [kami] [名] [魚] [か<sup>1</sup>みまい...] 亀。陸の亀にも言う。  
 かみ [kami] [名] [か<sup>1</sup>みまい...] 甕 (かめ)。味噌がめ。油がめ。様々な種類がある。【例】かみう かみり (瓶を頭に乘せて運ぶ)。  
 かみ [kami] [名] [かみま<sup>1</sup>い...] 拝み。拝むこと。【例】ていーかみ (手を合やすこと)。  
 かみ [kami] [名] [かみま<sup>1</sup>い...] 頭に乘せること。  
 がみ [gami] [助] ~ばかり。~は。格助詞の後に付き、対比を表す。【例】あんしーがみどう なり (そればかりが出来る)。うすががみどう なり (それしかできない)。  
 がみ [gami] [助] ~まで。【例】かまがみ (向うまで)。うまがみ (そこまで)。やーがみ (家まで)。めーくがみ (宮古まで)。  
 かみすむ [kam]s]mu [名] [かみ<sup>1</sup>すむまい...] 上下。  
 かみつす [kamiss] [動I類c型] [かみつしー、かみつしゅん] 担がせる。負わせる。

かみっす [kamissɯ] [動 I 類] [かみっしー、かみっしゃん] [かみっすま<sup>1</sup>い...] 頭に乗せさせる。  
 かみでいます [kamidimasɯ] [名] [かみでいま<sup>1</sup>すまい...] 神が出る所。地名。うぶりの日に虫を捕獲する所。  
 かみぬ くー [kaminu ku:] [名] [かみぬく<sup>1</sup>ーまい...] 亀の甲。  
 かみぬ くが [kaminu kuga] [名] [かみぬく<sup>1</sup>がまい...] 亀の卵。  
 かみり [kamiɽ] [動 II 類 c 型] [かみー、かみん] 頭に物を乗せる。【例】かみー ありギ (頭に乗せて歩く)。  
 かみり [kamiɽ] [動 II 類 c 型] [かみー、かみん] 拝む。手を合わす。崇拜する。  
 かみ [kam] [名] [かま<sup>1</sup>まい...] 神。神様。  
 かみ [kam] [動 I 類 c 型] [かみー、かまん] 噛む。咀嚼。噛みくたく。【例】かみ (噛め)。  
 かむい [kamui] [名] [かむいまい...] かもい。戸や障子をはめる横木。  
 かむー [kamu:] [動 I 類 a 型] [かめー、かまーん] かまう。関わる。  
 かむうがみ [kam.ugam] [名] [かむうが<sup>1</sup>みまい...] 神を拝む。  
 かむうくり [kam.ukuɽ] [名] [かむうく<sup>1</sup>りまい...] 神を送る。お盆の最終日のこと。送り日。【類】「うくりビー」。  
 かみがヴえー [kamgave:] [名] [かみがヴえ<sup>1</sup>ーまい...] 島を挙げて豊年祈願する行事。神への感謝祭。神事。スツウプナカに行われる。  
 かみかかり [kamkakaɽ] [名] 神に祈りを告げること。  
 かみかかれ [kamkakare] [名] [かみかか<sup>1</sup>れまい...] 巫女 (かんなぎ) のこと。のろ。司祭者。【類】「ふしゃ」。  
 かみがなす [kamganasɯ] [名] [かみがな<sup>1</sup>すまい...] 神加奈志。神様の意。  
 かみがめー [kamgame:] [名] [かみがめ<sup>1</sup>ーまい...] 神様。  
 かみぎ [kamgi] [名] [かみぎま<sup>1</sup>い...] 馬の鬣 (たてがみ)。  
 かみぎん [kamgin] [名] [かみぎん<sup>1</sup>まい...] 神衣。

白衣。白装束。

かみぐとう [kamgutɯ] [名] 神事。神への祭り事。  
 かみじゃり [kamdzaɽ] [動 I 類 c 型] [かみじゃりー、かみじゃらん] 噛みくたく。【同】「かみだり」。  
 かみしんじ [kamɕindzi] [名] [かみしん<sup>1</sup>じまい...] 神信じ。神を崇拜すること。  
 かみすきむぬ [kamsɕkimunu] [名] [かみすきむ<sup>1</sup>ぬまい...] 神に供えたもの。供えるものにも言う。  
 かみだかしゃーり [kamdakaɕa:] [形] [かみだか<sup>1</sup>しゃまい...] 神崇。神への信じ方が強い。  
 かみだとうがみ [kamdatuugan] [名] [かみだ<sup>1</sup>とうがみまい...] 神里御願。拝所の名。  
 かみだな [kamdana] [名] [かみだ<sup>1</sup>なまい...] 神棚。仏壇。  
 かみだり [kamdaɽ] [動 I 類 c 型] [かみだりー、かみだらん] 噛みくたく。【同】「かみじゃり」。  
 かみつかしゃ [kamtsɕkaɕa] [名] [かみつか<sup>1</sup>しゃまい...] 神司。巫女。のろ。  
 かみなり [kamnaɽ] [名] [かみなりまい...] 雷。  
 かみがイ [kamnigaɽ] [名] [かみが<sup>1</sup>イまい...] 神願い。神へお祈りをする。祈願。  
 かみにぐー [kamnigu:] [名] [かみにぐ<sup>1</sup>ーまい...] 神に願う。お祈りのこと。  
 かみぬ じゃー [kamnu dza:] [名] [かみぬじゃ<sup>1</sup>ーまい...] 神の座。神聖な場所。御嶽。  
 かみぬ しゅー [kamnu ɕu:] [名] [かみぬしゅ<sup>1</sup>ーまい...] 神主。神主を神様に見立てて言う。  
 かみぬ つふあ [kamnu ffa] [名] [かみぬつ<sup>1</sup>ふあまい...] 神の子。子どもは皆神の子だという意味。  
 かみぬ ピとう [kamnu piɽu] [名] [かみぬピ<sup>1</sup>とうまい...] 神の人。神につかえる人。巫女。のろ。  
 かみぬ ふつ [kamnu futsɯ] [名] [かみぬふ<sup>1</sup>つまい...] 神の口。神のことば。果報を話す人のことば。  
 かみぬ みーふしゃ [kamnu mi:fuɕa] [名] [植] [かみぬみ<sup>1</sup>ーふしゃまい...] はまぼっす。村史参照。

かムぬ やー [kamnu ja:] [名] [かムぬや<sup>1</sup>ーまい...] 神の家。祠のあるところ。拝所。

かムばく [kambaku] [名] [かムばくま<sup>1</sup>い...] かまぼこ。【同】「かまぼく」。

かムばら [kampara] [名] [指] [かムばらまい...] 向こう側。向こうの方。【例】かムばらう みーる (向こう側を見なさい)。

かムばらー みーん [kampara: mi:n] [連語] ぼんやり者。信頼できないときに言う。【例】びーふしゃりー かんばらー みーん (酔っぱらっていてだめだ)。

がムばり [gamba] [動I類c型] [がんばりー、がんばらん] 頑張る。

がムびつがい [gampitsugai] [名] [がムびつが<sup>1</sup>まい...] 木製の旅行かばん。昔の旅行用の箱。

かムぶとうき [kamputuki] [名] [かムぶとう<sup>1</sup>きまい...] 神仏。泰然自若に構えている人にも言う。

かムぶに [kambuni] [名] [かムぶ<sup>1</sup>にまい...] 軟骨。

かムぶり [kambu] [動I類c型] [かムぶりー、かムぶらん] 噛みくだく。

かムぶり [kamburi] [名] [かムぶ<sup>1</sup>りまい...] 神惚れ。神人。神のような言動をすること。神への信心の強い人。神がかりの人。

がムまがムま [gammagamma] [擬] 削岩機のような音。

がムまみギ [gammamik] [動I類c型] [がムまみきー、がムまみかん] 削岩機のような音がする。

がムまら [gammara] [名] [がムま<sup>1</sup>らまい...] いたずら者。やんちゃ坊。【同】「がムまれ」。

がムまり [gammari] [名] [がムま<sup>1</sup>りまい...] いたずら。【例】やらべー がムまりむぬ (子どもはいたずら者だ)。

がムまれ [gammare] [名] [がムま<sup>1</sup>れまい...] いたずら者。【同】「がムまら」。

かムむつ [kammuts] [名] [かムむ<sup>1</sup>つまい...] 先祖を継ぐこと。

かムむつべー [kammutsbe:] [名] [かムむつべ<sup>1</sup>ーまい...] 先祖の位牌をあずかる係。

がめー [game:] [連語] ~までは。~だけは。【例】あたがめー またいん (明日までは待てない)。

くりがめー なりどうす (これだけは出来る)。

かや [kaja] [名] [病] [かやまい...] 神経痛。リウマチ。

かやーす [kaja:s] [動I類a型] [かやーしー、かやーしゃん] 通わせる。【例】かやーし (通わせ)。みずう むていー かやーす (水を持って通わせる)。

がやら [gajara] [助] そうかも。【例】あんしーがやら っさいん (そうかも知れない)。

かゆー [kaju:] [動I類a型] [かいてー、かやーん] 通う。【例】かやい (通いなさい)。かゆーたり (通った)。かやーいん (通えない)。

かゆーみつ [kaju:mits] [名] [かゆーみ<sup>1</sup>つまい...] 通い道。通学路。

かよー [kajo:] [名] [かよ<sup>1</sup>ーまい...] 火曜日。

から [kara] [助] ~から。【例】んだから (どこから)。かまから (向こうから)。あんしーからどう なり (そうしてからできる)。あんしーからぬ ばなす (そうしてからの話だ)。

から [kara] [助数] ~匹。~頭。~羽。生き物を数える助数詞。人間には言わない。【例】ピとうから (一匹。一頭。一羽)。

から [kara] [名] [からまい...] 殻。【例】すでいがら (孵化した殻)。ぱうぬ すでいがら (蛇のぬけがら)。しゅしゃ ぬすでいがら (蟬のぬけがら)。【類】「ぐる」。

から [kara] [名] [からまい...] 空。からっぽ。【例】からなび (空き鍋)。からびん (空きびん)。【類】「くー」。「ぐー」。

がら [gara] [名] [がらまい...] 柄。模様。布や織物の柄。

からーから [kara:kara] [重複] とても辛いこと。

からーギ [kara:ki] [動I類a型] [からーきー、からーかん] 乾く。【例】からーギギん (乾いた衣服)。ギんや からーきった (着物は乾いた)。

【同】「かーらギ」。

からあぎ [karaagi] [名] [からあ<sup>1</sup>ぎまい...] 唐揚げ。

がらあぎ [garaaki] [動I類a型] [がらあきー、

がらあかん] からっぽである。空席が多い。  
 から一す [kara:sɯ] [動I類a型] [から一しー、から一しゃん] 世話をさせる。看護させる。【類】「かるいっす」。  
 からイ [karaɪ] [名] [から<sup>1</sup>イまい...] 女性の髪結い。髪型。  
 からいず [karaidzɯ] [名] [からいずまい...] から意地。うわべだけの意地。  
 からいばり [karaibaɾi] [名] [からいばりまい...] からいばり。  
 がらかいり [garakaiɾi] [動I類c型] [がらかいりー、がらかいらん] ぶったおれる。転んで横になる。【例】あっちゃん がらかいりー (暑さにぶったおれた)。  
 からかでい [karakadi] [名] [からかでいまい...] からっ風。雨をとまなわない風。  
 からから [karakara] [名] [からか<sup>1</sup>らまい...] 酒器の一種。徳利。  
 からから [karakara] [擬] からから。何も入っていない状態。  
 からから [karakara] [擬] 渴いている様子。【例】ぬどうぬ からからていー ぶり (喉が渴いている)。  
 がらがら [garagara] [擬] 音が鳴りひびく。  
 がらがら [garagara] [擬] 急かせるときに言う。【例】がらがらていー する (急いでやれ)。  
 からぎり [karagiɾi] [動II類c型] [からぎー、からぎん] からげる。裏返しにする。ズボンの裾やスカートをからげる。【例】からぎー ありぎ (からげて歩く)。  
 がらく [garaku] [擬] 倒れるときに言う。ころり。  
 からくー [karaku:] [動I類c型] [からけー、からかーん] からかう。馬鹿にする。  
 からぐるま [karaguruma] [名] [からぐるまい...] 空車。  
 がらしゃ [garaɕa] [名] [鳥] [がら<sup>1</sup>しゃまい...] からす。  
 からしゃーり [karaɕa:ɾi] [形] [から<sup>1</sup>しゃまい...] 辛い。【例】からしゃぬ (辛いぞ)。からしゃ ねーん (辛くない)。  
 からじゃかな [karadzakana] [名] [からじゃかな

まい...] 祝いのときの皿盛り。  
 からじゃき [karadzaki] [名] [からじゃきまい...] つまみのない酒のみ。  
 がらしゃふしゃ [garaɕafuɕa] [名] [植] [がら<sup>1</sup>しゃふしゃまい...] いそまつ。村史参照。  
 からしゆ [karaɕu] [名] [から<sup>1</sup>しゆまい...] 塩辛。魚の塩漬け。小魚やいかの塩辛。  
 からしゆ [karaɕu] [名] [からしゆ<sup>1</sup>んけー...] 小潮。潮の干満の差が小さい。【類】「なましゆ」。  
 からしゆに [karaɕuni] [名] [からしゆにまい...] 向う脛 (すね)。すねの前の部分。【類】「しゆからぶに」。  
 からす [kara:sɯ] [動I類a型] [からしー、からししゃん] 貸す。【例】からし (貸しなさい)。からししゃずー (貸すべきだ)。  
 からす [kara:sɯ] [動I類a型] [からしー、からししゃん] 借らす。借りさせる。  
 からす [kara:sɯ] [動I類a型] [からしー、からししゃん] 枯らす。  
 からす [kara:sɯ] [動I類a型] [からしー、からししゃん] 声が嘎れる。  
 からずー [karadzɯ:] [名] [からずーまい...] 地べた。地面。敷き物のないところ。  
 からすに [kara:sɯni] [名] [からすにまい...] すね。ひざから足首まで。  
 がらすビ [garasɯbi] [名] [昆虫] [が<sup>1</sup>らすビ<sup>1</sup>まい...] いわさきくさぜみ。  
 からすやー [kara:sɯja:] [名] [からすや<sup>1</sup>まい...] 貸し家。貸し間。  
 からた [karata] [名] [から<sup>1</sup>たまい...] 体。肉体。【例】じゃうからた (体格の大きいこと)。  
 からたじゆー [karatadzu:] [副] 体全体。からだ中。  
 からたじゆーしゃーり [karatadzu:ɕa:ɾi] [形] [から<sup>1</sup>たじゆーしゃまい...] 体力が強い。健康である。  
 からちゃー [karatɕa:] [名] [からちゃーまい...] 茶請のないお茶。  
 からっふい [karaffɯi] [動I類c型] [からっふいー、からっふあん] やりくりする。企てる。  
 からっふり [karaffuɾi] [動I類c型] [からっふり

一、からっふるん] たくらむ。【例】からっふるむぬイ (たくらむ言葉)。  
 からてい [karati] [名] [から<sup>1</sup>ていまい...] 空手。沖繩独自に考案されたスポーツ。護身術と言われる。【類】「ていー」。  
 からなび [karanabi] [名] [からなびまい...] 空の鍋。  
 からにー [karani:] [名] [からにーまい...] 空車。車に荷物のないこと。  
 からばイ [karapaɪ] [名] [からばイまい...] 木灰。かまどの灰のこと。  
 からばイぬ すー [karabaɪnu sɯ:] [名] [からばイぬす<sup>1</sup>まい...] 灰のあく。木灰のあく。  
 からばギ [karapagi] [名] [からばギまい...] すね。向う脛。  
 からばギ [karapagi] [名] [からばギまい...] 裸足。【類】「からピさ」「はだし」。  
 からばギぶに [karapagibun] [名] [からばギぶにまい...] 向こう脛。  
 からばしゃ [karabaŋa] [名] [からばしゃまい...] 荷のない馬車。  
 からピさ [karapɪsa] [名] [からピさう...] 裸足。【例】からピさう しー まーりー ぶり (裸足で回っている)。【類】「からばギ」「はだし」。  
 からふギ [karafuki] [名] [からふギまい...] 雨をともなわない風。からっ風。  
 からふギ [karafuki] [名] [からふギまい...] 乾いた布でふくこと。  
 からぶっていり [karaputti] [動II類a型] [からぶっていー、からぶっていん] 渴く。  
 からまーり [karama:] [名] [からまーりまい...] 空まわり。噛み合わないこと。話し合いが決まらないこと。  
 からまギ [karamaki] [動I類c型] [からまきー、からまかん] 糸がからむ。巻きつく。蛇が絡みつく。  
 からます [karamasi] [動I類c型] [からましー、からましゃん] 絡ませる。  
 がらみかす [garamikasɯ] [動I類c型] [がらみかしー、がらみかしゃん] 大きな音をたてる。台所の食器をガラガラ音を立てる。

からみギ [karamiki] [動I類c型] [からみきー、からみかん] 渴く。【例】ぬどうぬ からみきーぶり (喉が渴いている)。  
 がらみギ [garamiki] [動I類c型] [がらみきー、がらみかん] 急ぐ。間に合うように急ぐ。仕事を速くする。【例】がらみかだ (急げ)。  
 がらみギ [garamiki] [動I類c型] [がらみきー、がらみかん] 騒ぐ。どんちゃん騒ぐ。  
 からみり [karami] [動II類c型] [からみー、からみん] もつれさせる。釣り糸をもつれさせる。  
 からみり [karami] [動II類c型] [からみー、からみん] 絡める。しかけさせる。喧嘩させる。  
 からム [karam] [動I類c型] [からみー、からまん] もつれる。糸がもつれる。交差する。十字に掛ける。  
 からム [karam] [動I類c型] [からみー、からまん] 絡む。しかける。喧嘩する。【例】からまん (絡まない)。  
 からむぬ [karamunu] [名] [からむぬま<sup>1</sup>い...] 辛い食べ物。  
 からゆか [karajuka] [名] [からゆかまい...] 敷き物のない床。畳のない床。  
 かり [ka] [名] [指] [かりまい...] 彼。あれ。【例】かれー (彼は。あれは。あの人は)。かりが むぬ (彼のもの)。かりまい あぐ (彼も仲間だ)。  
 かり [ka] [動I類a型] [かりー、からん] 刈る。【例】からまん (刈らない)。かりー くー (草を刈って来なさい)。ふしゃう かりー くー (草を刈って来なさい)。かりー わーり (刈って下さい)。ふしゃー かりった (草は刈った)。かりばている (刈ってしまいなさい)。  
 かり [ka] [動I類a型] [かりー、からん] 借りる。【例】からまん (借りない)。かりー (借りて)。かりー くー (借りて来なさい)。じんゆかりー くー (金を借りて来なさい)。かりー わーり (借りて下さい)。じんや かりった (金は借りた)。  
 かり [kari] [名] [かりまい...] 枯れ。枯れること。  
 がり [ga] [名] [が<sup>1</sup>りまい...] 鉤。返しとも言う。釣針のかえし。鉾のかえし。

かりー [kari:] [名] [かり<sup>1</sup>ーまい...] 嘉例。めでたいこと。幸わせ。

かりーう つきり [kari:u tsuki] [連語] 嘉例をつける。祝う。

かりーつき [kari:tsuki] [名] [かり<sup>1</sup>ーつきまい...] 縁起をつけること。祝うこと。歌や踊りをして祝う。

かりーな むぬ [kari:na munu] [名] [かりーなむぬまい...] 嘉例なもの。縁起のよいもの。

かりうし [kariuci] [名] [かりう<sup>1</sup>しまい...] 嘉例吉。めでたい。【同】「かりゆし」。

かりうす [kariusu] [名] [かりうすまい...] 嘉例吉。めでたい。【同】「かりゆし」。「かりゆす」。

かりが ぶしょー ゆかーらんどー あり [kaɭabuʃo: juka:randu a] [連語] へそ曲がりのこと。

かりがた [karigata] [名] [かりがたまい...] 枯れようとしている。

かりぎー [karigi:] [名] [かりぎーまい...] 枯れ木。朽ち木。

かりぎしゃーり [kaɭgicə:] [形] [かりぎ<sup>1</sup>しゃまい...] 軽そうである。

かりぐい [karigui] [名] [かりぐいまい...] 嘎れ声。かすれ声。

かりじゃき [kaɭdzaki] [名] [かりじゃきまい...] 軽酒。軽く酒を飲むこと。少しだけ酒を飲むこと。

かりじん [kaɭdzin] [名] [かりじんまい...] 借金。

かりずに [karidzɯni] [名] [かりずにまい...] 枯れ死に。植物の立ち枯れのこと。

かりた [kaɭta] [名] [指] [かり<sup>1</sup>たまい...] あれら。彼ら。【例】かりたが むぬ (彼らのもの)。

かりにー [kaɭni:] [名] [かりにーまい...] 軽い荷物。積み荷の少ないこと。

かりぬー [karinu:] [名] [かりぬーまい...] 仮縫い。裁縫の仮縫いのこと。

かりぬー [karinu:] [名] [かりぬーまい...] 枯れ野。草木のない野原。

かりばー [kariba:] [名] [かりばーまい...] 枯れ葉。松やあだんの枯れ葉はたきものとして利用した。

かりふしゃ [kaɭfuʃa] [名] [かりふ<sup>1</sup>しゃまい...]

刈った草。

かりふに [kaɭfuni] [名] [かりふにまい...] 借り船。備船。チャーター船。

かりむぬ [kaɭmunu] [名] [かりむぬまい...] 軽いもの。手に持てるほどのもの。【例】くぬ ふんや かりむぬ (この本は軽い)。

かりむぬ [kaɭmunu] [名] [かりむぬまい...] 借り物。

かりゆし [karijuʃi] [名] [かりゆ<sup>1</sup>しまい...] 嘉例吉。めでたい。航海安全。平和。本来の言い方は「かりゆし」。【同】「かりうす」。「かりゆす」。

かりゆす [karijuʃu] [名] [かりゆ<sup>1</sup>すまい...] 嘉例吉。めでたい。航海安全。平和。【同】「かりうす」。「かりゆし」。

かりゆすたび [karijuʃutabi] [名] [かりゆすた<sup>1</sup>びまい...] 航海安全。心地よい旅。【同】「かりゆしたび」。

かりゆすふに [karijuʃufuni] [名] [かりゆすふ<sup>1</sup>にまい...] 船足の速いこと。楽しい航海をする船。【同】「かりゆしふに」。

かりらーり [kaɭra:] [形] [かりらまい...] 軽い。

かりり [kari] [動 II 類 a 型] [かりー、かりん] 枯れる。【例】きーぬ かりり (木が枯れる)。かりった (枯れた)。かりがた (枯れそうだ)。かりぎー (枯れ木)。

かりり [kari] [動 II 類 a 型] [かりー、かりん] 嘎れる。かすれる。【例】くいぬ かりり (声が嘎れる)。

かりわじゃ [kaɭvadza] [名] [かりわ<sup>1</sup>じゃまい...] 軽い仕事。軽業。

かるいし [karuiʃi] [名] [かるいしまい...] 軽石。浜辺から拾った。海底火山に起因する。金物の錆おとしに使う。【同】「かるいす」。

かるいす [karuisu] [名] [かるいすまい...] 軽石。浜辺から拾った。海底火山に起因する。金物の錆おとしに使う。【同】「かるいし」。

かるいっす [karuisu:] [動 I 類 a 型] [かるいっしー、かるいっしゃん] 世話をさせる。看護させる。【類】「からーす」。

かるいり [karui] [動 II 類 a 型] [かるいー、かるいん] 世話をする。面倒を見る。

かるー [karu:] [動 I 類 a 型] [かれー、からーん] 世話する。看護する。面倒を見る。

かるーんかにり [karu:nkani:] [動 II 類 a 型] [かるーんかにー、かるーんかにん] 世話しかねる。看護しかねる。世話や看護がむずかしい。

かわり [kava:] [動 I 類 a 型] [かわりー、かわらん] 変わる。交替する。

かわりーぬ むぬ [kavari:nu munu] [名] [かわりー<sup>1</sup>ぬむぬ<sup>1</sup>まい...] 人と違った人。人と変わった人。優れ者。

かん [kan] [名] [か<sup>1</sup>んまい...] 缶。【例】しきゆーかん (石油缶)。【類】「しきたんばく」。

かん [kan] [名] [かんまい...] 勘。察知。直感的な能力。

かん [kan] [名] [かんまい...] 官。吏員。役人。

かん [kan] [名] [か<sup>1</sup>んまい...] 蟹の総称。

がん [gan] [名] [が<sup>1</sup>んまい...] 癌。

がん [gan] [名] [がんまい...] 龕 (がん)。興し。棺を入れて運ぶもの。

かんがい [kangai] [名] [かんが<sup>1</sup>いまい...] 考え。思い。思考。考察。

かんがいかた [kangaikata] [名] [かんがいか<sup>1</sup>たまい...] 考え方。方法。

かんがいぐとう [kangaigutu] [名] [かんがいぐ<sup>1</sup>とうまい...] 考え事。思案。アイデア。

かんがいじゅーしゃーり [kangaidzu:ca:] [形] 考えが強い。思いつきがよい。じっくり考えること。深く考えること。

かんがいすぎ [kangais]g:] [動 I 類 c 型] [かんがいすぎー、かんがいすがん] 考え過ぎる。思い過ぎる。

かんがいつぎ [kangaits]k:] [動 I 類 c 型] [かんがいつぎー、かんがいつかん] 考えつく。思いつく。

かんがいなうす [kangainaus:] [動 I 類 c 型] [かんがいなうしー、かんがいなうしゃん] 考え直す。再考する。今までの考えを直す。【同】「かんがいのーす」。

かんがいのーす [kangaino:s:] [動 I 類 c 型] [かんがいのーしー、かんがいのーしゃん] 考え直す。再考する。今までの考えを直す。【同】「か

んがいなうす」。

かんがいふしゆく [kangaiфуçuku] [名] [かんがいふしゆ<sup>1</sup>くまい...] 考え不足。考えの弱いこと。思慮の足りないこと。

かんがいまつがい [kangaimats]gai] [名] [かんがいまつが<sup>1</sup>いまい...] 考えちがい。思いちがい。誤算。

かんがいむぬ [kangaimunu] [名] [かんがいむ<sup>1</sup>ぬまい...] 考えもの。考えごと。思案。思案する必要があること。

かんがいよーしゃーり [kangaijo:ca:] [形] [かんがいよー<sup>1</sup>しゃまい...] 考えが弱い。思いつきが悪い。

かんがいり [kangai] [動 II 類 a 型] [かんがいー、かんがいん] 考える。【例】かんがいー みーば (考えてみて)。かんがいー みーる (考えてみよ)。かんがいんな (考えるな)。かんげーぶり (考えている。思案中)。

かんから [kankara] [名] [かんか<sup>1</sup>らまい...] 空缶。

かんからじゃんしム [kankaradzancim] [名] [かんからじゃんし<sup>1</sup>ムまい...] 缶を使って作った三味線。

かんかん [kankan] [擬] 鐘の音。学校の始業・終業の合図の鐘。

かんかん [kankan] [擬] 日照が続くこと。干ばつ。

かんかん [kankan] [擬] 怒るときの状態。かんかん怒る。

がんがん [gangan] [擬] 耳をつんざく音。やかましいこと。騒がしいことに言う。

かんきー [kanki:] [名] [かんき<sup>1</sup>ーまい...] 関係。つながり。かかわり。

かんぎた [kank]ta] [名] [指] [かんギ<sup>1</sup>たまい...] あれら。あれたち。

かんぎたが ムめ [kank]taga mme] [名] [指] [かんギた<sup>1</sup>がムめ<sup>1</sup>まい...] あれら。あれたち。

かんく [kanku] [名] [かん<sup>1</sup>くまい...] 小指。

がんく [ganku] [形] [がん<sup>1</sup>くまい...] 頑固。頑固者。

かんぐく [kanguku] [名] [かんぐくま<sup>1</sup>い...] 監

獄。刑務所。

かんくビー [kankubɯ:] [名] [かん<sup>1</sup>くビー「まい...」  
糸や紐の結び方の一つ。

かんけ [kanke] [名] [指] [かん<sup>1</sup>けまい...] あの  
人たち。彼等。【類】「かりた」「かんぎた」。

かんけが ムめ [kankega mme] [名] [指] [かん  
け<sup>1</sup>がムめ「まい...」 あれら。あれたち。かれら。  
かれたち。

かんじ [kandzi] [名] [かんじまい...] 漢字。

かんしー [kanɕi:] [副] [指] こんなに。このよ  
うに。【例】かんしーから（このようにしてから）。  
かんしーからどう すー（こうしてからやるの  
だ）。かんしー する（このようにしなさい）。かん  
しー すたかー（このようにすれば）。かんしー  
だら（このようにあるべきだ）。かんしーど  
う あげぐまた（こうあるべきだ）。かんしーま  
い（このようにして）。かんしーまい する（こ  
のようにしなさい）。かんしーや あらん（この  
ようではない）。

かんしーぬ [kanɕi:nu] [連体] [指] このよ  
うなもの。【例】かんしーぬ むぬ（この  
ようなもの）。

かんじゃー [kandza:] [名] [かんじゃーま<sup>1</sup>い...]  
鍛冶屋。

がんじゅー [gandzu:] [名] [がんじゅ<sup>1</sup>ーまい...]  
頑丈。健康。丈夫。体力の強い人。

かんじゅーしゃーり [kandzu:ɕa:] [形] [かんじゅ  
ーしゃまい...] 勤の強い人。勤のはたらく人。

かんしゆく [kanɕuku] [副] [指] あれほど。【例】かん  
しゆく ならーすば（あれほど教えたのに）。

かんしゆくばーき [kanɕukuba:ki] [副] [指] あれ  
ほどたくさん。あまた。【例】かんしゆくばー  
きぬ ーに（あれほどの積み荷）。

かんしゆくムーな [kanɕukumna] [名] [指] あ  
れほどたくさん。あまた。【例】かんしゆくムー  
なぬ ピとう（あれほどの人・たくさんの人）。

かんじんじゃー [kandzindza:] [名] [かんじ<sup>1</sup>んじ  
ゃーまい...] 幹人座。

かんずぎ [kandzɯkɯ] [動I類a型] [かんずきー、  
かんずかん] 気づく。感じる。

かんずみ [kandzɯmi] [名] [かんずみまい...] 缶

詰め。

かんだうふ [kandaufu] [名] [かんだうふまい...]  
蟹の豆腐。主に〈しゃーるあまム〉（けぶかが  
に）を豆腐にしたもの。蟹を木臼につぶして、  
布でこして鍋で煮て作る。【同】「かんどーふ」。

かんだかしゃーり [kandakaɕa:] [形] [かんだか  
しゃまい...] 勤高い。考えがするどい。

かんだき [kandaki] [副] [指] あれほど。【例】かん  
だき ーばまい（あれほど言ったのに）。

かんだきがま [kandakigama] [副] [指] 少しの  
こと。たったあれだけ。【例】かんだきがまど  
う かりー ギー（たったあれだけ草を刈って  
くる）。

がんだばー [gandaba:] [名] [がんだば<sup>1</sup>ーまい...]  
さつま芋の葉。

かんつがい [kantsɯgai] [名] [かんつがいまい...]  
勤ちがい。

かんとく [kantuku] [名] [かんとく<sup>1</sup>まい...]  
監督。

かんどうぬ [kandunu] [名] [かんどう<sup>1</sup>ぬまい...]  
伝説上の人物。村史参照。

かんどーふ [kando:fu] [名] [かんどーふまい...]  
蟹の豆腐。主に〈しゃーるあまム〉（けぶかが  
に）を豆腐にしたもの。蟹を木臼につぶして、  
布でこして鍋で煮て作る。【同】「かんだうふ」。

がんなり [ganna] [動I類c型] [がんなりー、が  
んならん] すねる。だだをこねる。愚図る。【例】  
あんなとう いかていー がんなり（お母さん  
と一緒にいこうと」だだをこねる）。

がんにー [ganni:] [名] 元二。1月2日。

かんばつ [kanbatsɯ] [名] [かんばつま<sup>1</sup>い...] 旱  
魃。日照り続き。【類】「びむ」。

かんびゅー [kanbju:] [名] [かんびゅーまい...] 看  
病。見舞うこと。

かんびゅー [kanpju:] [名] [かんびゅーま<sup>1</sup>い...]  
かんびょう。干し大根。

かんびん [kanbɯn] [名] [かんび<sup>1</sup>んまい...] 銚子。  
徳利。神に供える酒を入れる銚子。

かんぼー [kanbo:] [名] [病] [かんぼーまい...]  
感冒。風邪。

かんぼーやく [kanbo:jaku] [名] [かんぼーや<sup>1</sup>く

まい...] 感冒薬。

がんみかす [ganmikas] [動I類c型] [がんみかしー、がんみかしゃん] がんがん音を立てて騒ぐ。

かんゆう [kan.ju:] [名] [かんゆうまい...] 肝要。大切なこと。大事な時期。

かんらくにいたる [kanrakuniitaru] [連語] 歓楽之。歓楽にいたる。八月おどりの塩川のメインテーマ。

かんりき [kanriki] [名] [かんりきまい...] 還暦。60歳。

かんりきぬよーい [kanrikinujo:] [名] [かんりきぬよーいまい...] 還暦の祝い。

かんるー [kanru:] [名] [かんるーま<sup>1</sup>い...] 寒露。二十四節気の一つ。さしばの季節。10月9日頃。

かんるく [kanruku] [名] [かんる<sup>1</sup>くまい...] 貫禄。

ギ [ki] [助数] ~回。回数を数える助数詞。【例】いふギまい ふがぎう しー (何回も領いた)。いふギまい いじゃう (何回も出会う)。

## — き —

ぎ [gi] [接尾] ～げ。～そうだ。～のように見える。

【例】ぶからすぎ なりー (嬉しそうに)。ムまぎしゃーり (美味しそうだ)。

ギー [ki:] [名] [ギーまい...] 気。性質。気力。

ギー [ki:] [名] [ギーまい...] 霧。【例】ギーっふイ (霧がかかる)。

ギー [ki:] [動I類c型] [ギすいー、ギさん] 切る。【例】きーゆ ギー (木を切る)。ばしゃムにー ギー (鋏で切る)。【類】「ギだム」。

ギー [ki:] [動変則c型] [きー、くん] 来る。【例】くー (来い)。くん (来ない)。くんけ ふーたり (来ないうちに食べた)。ぱりー ギー (走って来る)。むていー ギー (持って来る)。

きー [ki:] [名] [きーまい...] 毛。髪の毛。【例】あかぎー (赤色の頭髮)。

きー [ki:] [名] [きーまい...] 木。【例】きーにー (木の上で)。きーゆ ういり (木を植える)。

ギー [gi:] [名] [ギーまい...] 義理。【同】「ぎり」。

ぎー [gi:] [名] [ぎーまい...] びり。最後尾。

ぎー [gi:] [名] [ぎーまい...] 芸。演芸。【例】ぎーむて (芸の上手な人)。

きーうい [ki:ui] [名] [きーうまい...] 木植え。植樹。

きーうぎとうり [ki:ukitu] [名] [きーうぎとうりまい...] 木の煙草盆。

きーうす [ki:us] [名] [きーうすまい...] 木臼。粟の種子を精げる臼のこと。

ギーかー [ki:ka:] [名] [ギーかまい...] 身につける物。衣類。

きーがギ [ki:gaki] [名] [きーがぎまい...] 木の垣。防風用に植える。畑や屋敷の囲いのこと。

きーかく [ki:kaku] [名] [きーかくまい...] 計画。

きーかくい [ki:kakui] [名] [きーかくまい...] 木の囲い。屋敷の木の囲い。木垣。

きーかムむす [ki:kammusu] [名] [きーかムむすまい...] 材木に住みついで食う虫。

ギーギー [gi:gi:] [擬] [ギーギーていー...] 金属の音。

きーきん [ki:kin] [名] [きーきんまい...] 経験。【例】きーきんぬ ねーん (経験がない)。

きーく [ki:ku] [名] [きーくまい...] 稽古。練習。【例】ぶどうりぬ きーく (八月おどりの稽古)。

きーぐ [ki:gu] [名] [きーぐまい...] 敬語。〈わーり〉は多良間の最高の敬語である。

きーぐ [ki:gu] [名] [きーぐまい...] 締め。終了の意味。八月おどりの演目の締め。区切り。

きーぐー [ki:gu:] [名] [きーぐまい...] 服のお下がり。

きーぐす [ki:gusu] [名] [きーぐすまい...] 木串。木でできている串。

きーぐる [ki:guru] [名] [きーぐるまい...] 木の切れ端。木片。

きーさつ [ki:satsu] [名] [きーさつまい...] 警察署。警官。

きーさん [ki:san] [名] [きーさんまい...] 計算。算術。【例】じんぬ きーさん (お金のことを考える)。

きーしゃら [ki:çara] [名] [きーしゃらまい...] 木の皿。

ギーじゅーしゃーり [ki:dzu:ça:] [形] 気が強い。考えを曲げない。

ギーじゅーしゃーり [gi:dzu:ça:] [形] [ギーじゅーしゃまい...] 義理高い。

きーす [ki:s] [名] [きーすまい...] 罫紙。線の引かれた用紙。罫を作る紙。

きーず [ki:dzi] [名] [きーずまい...] 系図。家系図。

きーずばる [ki:dzibaru] [名] [きーずばるまい...] 仲筋にある地名。

きーずみ [ki:dzimi] [形] [きーずみまい...] 着て心地が良いこと。着心地のよいこと。

きーたうす [ki:taus] [名] 木を倒すこと。木を切り倒すこと。

ギーだり [ki:da] [動I類c型] [ギーだりー、ギーだらん] 気落ちする。がっかりする。

ぎーつがぎーつ [gi:tsɯgagi:tsɯ] [名] [ぎーつ<sup>1</sup>がぎーつまい...] 多人数で円を作って足を伸ばして座り、歌いながら遊ぶ。

きーつギ [ki:tsɯkɯ] [動I類c型] [きーつきー、きーつかん] 気付く。思いつく。

ぎーった [gi:tta] [名] [ぎーっ<sup>1</sup>たまい...] びり。最後尾。

ギーっふイ [kɯ:ffɯ] [動I類c型] [ギーっふいー、ギーっふあん] 霧がかかること。もやがかかること。

きーとう [ki:tu] [名] [きー<sup>1</sup>とうまい...] 生糸。蚕から取る糸。

きーなギ [ki:nagi] [連語] 木薙ぎ。木を伐採すること。木を切り倒すこと。

きーなりリ [ki:nari] [動II類a型] [きーなりー、きーなりん] 着慣れる。【例】ギんゆ きーなりリ (着物を着慣れる)。

きーぬ かー [ki:nu ka:] [名] [きーぬか<sup>1</sup>ーまい...] 木の皮。芭蕉の皮(糸)。雁皮(紙)。

きーぬ かぎ [ki:nu kagi] [名] [きーぬか<sup>1</sup>ぎまい...] 木陰。木の下。日陰。

きーぬ しゅら [ki:nu ʃura] [名] [きーぬしゅ<sup>1</sup>らまい...] 木梢。木の先端。【類】「きーぬばな」。「きーぬばなた」。

きーぬ なリ [ki:nu na] [名] [きーぬな<sup>1</sup>リまい...] 木の実。

きーぬ にー [ki:nu ni:] [名] [きーぬに<sup>1</sup>ーまい...] 木の根。

ギーぬ ねーん [kɯ:nu ne:n] [連語] やる気のないこと。

きーぬ ぱー [ki:nu pa:] [名] [きーぬぱ<sup>1</sup>ーまい...] 木葉。【例】きーぬ ぱーぬ かっさ (木の葉を包み用にする)。

きーぬ ばな [ki:nu pana] [名] [きーぬぱ<sup>1</sup>なまい...] 木梢。木の先端。【類】「きーぬしゅら」。「きーぬばなた」。

きーぬ ぱなた [ki:nu panata] [名] [きーぬぱな<sup>1</sup>たまい...] 木の高い所。木梢。木の先端。【類】「きーぬしゅら」。「きーぬばな」。

きーぬ ふに [ki:nu funi] [名] [きーぬふ<sup>1</sup>にまい...] 木の船。木造船。昔の多良間の運搬船。

きーぬ ぶり [ki:nu buri] [名] [きーぬぶ<sup>1</sup>りまい...] 木片。木の折れたもの。木切れ。

きーぬ また [ki:nu mata] [名] [きーぬま<sup>1</sup>たまい...] 木の二つに分かれた部分。木の股。

きーぬ みー [ki:nu mi:] [名] [きーぬみ<sup>1</sup>ーまい...] 林の中。木の茂った所。【例】きーぬ みーぬ あまムピすうー (林の中のやどかりを探す)。

きーぬ みム [ki:nu mim] [名] [きーぬみ<sup>1</sup>ムまい...] きのこの総称。「木の耳」。

きーぬ ゆだ [ki:nu juda] [名] [きーぬゆ<sup>1</sup>だまい...] 木の枝。

きーぬーリ [ki:nu:] [名] [きーぬー<sup>1</sup>リまい...] 木登り。

ぎーのー [gi:no:] [名] [ぎーの<sup>1</sup>ーまい...] 芸能。八月おどり。

ギーばー [kɯ:ba:] [名] [ギーばーまい...] 牙。犬歯。糸切歯。

きーばギ [ki:bakɯ] [名] [きーば<sup>1</sup>ギまい...] 木を製材すること。鋸で製材する。

きーぱギ [ki:pagi] [名] [きーぱ<sup>1</sup>ギまい...] 竹馬。木馬。

きーぱぎ [ki:pagi] [名] [きーぱ<sup>1</sup>ぎまい...] 毛のないこと。

きーばく [ki:baku] [名] [きーば<sup>1</sup>くまい...] 木の箱。

きーぱずみ [ki:padzɯmi] [名] [きーぱずみまい...] 着初め。はじめて着ること。

きーふギ [ki:fugɯ] [名] [きーふ<sup>1</sup>ギまい...] 木の釘。しゃばに(くり舟)に使用する。

きーぶぎ [ki:buki] [名] [きーぶ<sup>1</sup>きまい...] 木工所のごみ。

きーふくり [ki:fukuri] [名] [きーふく<sup>1</sup>りまい...] 作物の徒長。実はつかない。芋はできない。

ぎーふしゅ [gi:fuʃu] [名] [ぎーふしゅまい...] びり。最後尾。

ギーふつ [kɯ:futsɯ] [名] [ギーふ<sup>1</sup>つまい...] 切り口。

ギーまい [kɯ:mai] [名] [ギーまいまい...] 福德。豊かな徳の現れること。

きーまぐ [ki:magu] [名] [きーま<sup>1</sup>ぐまい...] 木製の小箱。

きーまっふぁ [ki:maffa] [名] [きーまっ<sup>1</sup>ふぁまい...] 木の枕。

ギーみかす [gɪ:mikasɯ] [動 I 類 c 型] [ギーみかしー、ギーみかしゃん] 金属の音を立てる。

ギーみギ [gɪ:mikɯ] [動 I 類 c 型] [ギーみきー、ギーみかん] 金属の音がする。

きーむしゃ [ki:muʃa] [名] [きーむしゃまい...] 毛むくじやら。

ぎーむて [gi:mute] [名] [ぎ<sup>1</sup>ーむて<sup>1</sup>まい...] 芸持。役者。芸能家。

ギーよーしゃーり [kɪ:jo:ʃa:] [形] [ギーよー<sup>1</sup>しゃまい...] 気弱い。臆病。

きーり [ki:] [動 II 類 a 型] [きー、きーん] 着る。【例】ギんゆ きーり (着物を着る)。

ギーる [kɪ:ru] [名] [ギーるまい...] 黄色。

ギーるみギ [kɪ:rumikɯ] [動 I 類 a 型] [ギーるみきー、ギーるみかん] 黄色めく。黄色くなる。

ギーるム [kɪ:rum] [動 I 類 c 型] [ギーるみー、ギーるまん] 黄ばむ。【例】ふぬーぬ ギーるム (みかんが黄ばむ)。

ギーるやム [kɪ:rujam] [名] [病] [ギーるやムまい...] 黄痘。

きーろーかい [ki:ro:kai] [名] [きーろーか<sup>1</sup>いまい...] 敬老会。

ギーんだす [kɪ:ndasɯ] [動 I 類 c 型] [ギーんだしー、ギーんだししゃん] 気出す。気が弾ませる。やる気を起こす。

ギーんでいり [kɪ:ndi:] [動 II 類 c 型] [ギーんでいー、ギーんでいん] 気出る。気が弾む。やる気を出す。

きう [kiu] [名] [きうま<sup>1</sup>い...] 今日。本日。

きう [kiu] [名] [きうま<sup>1</sup>い...] 今日。本日。

きヴヴうり [kivvu:] [助数] 家を数える単位。【例】ピとうきヴヴうり (一軒)。ふたきヴヴうり (二軒)。

きうーか [kiu:ka] [名] [きうー<sup>1</sup>かまい...] 休暇。休み。

きうが しえーか [kiuga ʃe:ka] [名] [きゅー<sup>1</sup>がしえーかんまい...] 今日の明け方。【類】「きうぬしえーか」。

きうが すとうむてい [kiuga sɯtumuti] [名] [き

ゅー<sup>1</sup>がすとうむてい<sup>1</sup>まい...] 今朝。今日の朝。【類】「きうすとうむてい」。「きうぬすとうむてい」。

きうが ピーま [kiuga pi:ma] [名] [きゅー<sup>1</sup>がピーまんまい...] 今日の午後。太陽の南中から後。【類】「きうぬピーま」。

きうが まーす [kiuga ma:sɯ] [副] 今日一日中。終日。

きうが ゆー [kiuga ju:] [名] [きう<sup>1</sup>がゆー<sup>1</sup>まい...] 今夜。今晚。

きうが ゆしゃらび [kiuga juʃarabi] [名] [きゅー<sup>1</sup>がゆしゃらびん<sup>1</sup>まい...] 今日の夕方。【類】「きうぬゆしゃらび」。

きうが ゆなか [kiuga junaka] [名] [きゅー<sup>1</sup>がゆなかんまい...] 今日の夜中。【類】「きうぬゆなか」。

きうが ゆねーん [kiuga junen:] [名] [きゅー<sup>1</sup>がゆねーん<sup>1</sup>まい...] 今日の夜。【類】「きうぬゆねーん」。

きうず [kiudzɯ] [名] [きう<sup>1</sup>ずまい...] 給仕。手伝い。

きうすとうむてい [kiusɯtumuti] [名] [きゅー<sup>1</sup>すとうむ<sup>1</sup>ていまい...] 今朝。今日の朝。【類】「きうがすとうむてい」。「きうぬすとうむてい」。

きうなま [kiunama] [名] [きうな<sup>1</sup>ままい...] 今日いま。いますぐに。急いで。【例】きゅーなまんや しらいん (今すぐ出来ない)。

きが [kiga] [名] [きがまい...] 怪我。

きかい [kikai] [名] [きかいまい...] 機械。エンジン。機関。

きがい [kigai] [名] [きがimai...] 着替え。

きかいしん [kikaiʃin] [名] [きかいしんまい...] 機械船。焼玉エンジンの船のこと。【類】「ぼんぼんしん」。

きかいぼー [kikaibo:] [名] [きかいぼーまい...] 鉄棒。【同】「きかいぼう」。

ギかいり [kɪkai:] [動 II 類 a 型] [ギかいー、ギかいん] 聞こえる。

ギかす [kɪkasɯ] [動 I 類 a 型] [ギかしー、ギかししゃん] 聞かせる。【例】ばなすう しー ギかす (話をして聞かせる)。

ギカす [kɪkasɪ] [動I類c型] [ギかしー、ギかしゃん] 利かせる。【例】くーしゅー ギカす (とうがらしを利かせる)。

キガす [kigasɪ] [動I類a型] [きがしー、きがしゃん] けがす。汚す。【例】みずう きがしー (水を汚した)。【類】「ゆぐす」。

キガす [kigasɪ] [動I類a型] [きがしー、きがしゃん] 騒がせる。【例】やらびう キガす (子供を騒がせる)。

キガずん [kigadzɪn] [名] [きがずんまい...] 怪我で死ぬこと。

キガに [kigani] [名] [きがにまい...] 気兼ね。

キガにん [kiganin] [名] [きがにんまい...] 怪我人。怪我した人。

キガリ [kigari] [名] [きがりまい...] けがれ。汚れ。不正行為。

キガリリ [kigari] [動II類c型] [きがりー、きがりん] けがれる。汚れる。

ギカンふーリ [kɪkanfu:] [名] [ギカンふーりまい...] 聞かんふり。

ギギ [kɪkɪ] [動I類a型] [ギきー、ギかん] 聞く。【例】ぱなすう ギギ (話を聞く)。

ギギ [kɪkɪ] [動I類a型] [ギきー、ギかん] 利く。効く。効果がある。【例】くーしゅぬ ギギ (唐辛子が利く)。ふしゅりぬ ギギ (葉が効く)。

キギ [kigɪ] [動I類a型] [きー、かん] 掻きまわす。鍋の煮物を掻きまわす。

キギ [kigɪ] [動I類a型] [きー、かん] 騒ぐ。【例】きぎーてーな (騒いでばかり)。きぎな (騒ぐな)。やらびぬ キギ (子供が騒ぐ)。

ギギうがム [kɪkɪgugam] [動I類c型] [ギギうがみー、ギギうがまん] 拝聴する。

ギギうぶい [kɪkɪgubui] [名] [ギギうぶいまい...] 聞き覚え。思い出す。いつか聞き覚えがあること。

ギギかいす [kɪkɪkaisɪ] [動I類c型] [ギギかいしー、ギギかいしゃん] 聞き返す。

ギギかまり [kɪkɪkamaɪ] [動I類a型] [ギギかまりー、ギギかまらん] 聞き飽きる。

ギギぐりしゃーリ [kɪkɪguriɕa:] [形] [ギギぐりしゃまい...] 聞きにくい。【例】ぱなすぬ ギギ

ぐりしゃーリ (話が聞きにくい)。

ギギずみ [kɪkɪdzɪmi] [形] [ギギずみまい...] 聞いて心地よいこと。聞きほれる。

ぎぎつぎー [gigitsɪgi:] [名] [植] [ぎぎ<sup>1</sup>つぎーまい...] 月橘 (げっきつ)。印の材料。

ギギどーず [kɪkɪdo:dzɪ] [名] [ギギどーずまい...] 聞き上手。幼児がおとなしく聞くこと。

ギギながす [kɪkɪnagasɪ] [動I類a型] [ギギながしー、ギギながしゃん] 聞き流す。聞いても気にしないこと。

ギギばっばい [kɪkɪbappai] [名] [ギギばっばいまい...] 聞きまちがえ。

ギギぶりリ [kɪkɪburi] [動II類a型] [ギギぶりー、ギギぶりん] 聞きほれる。心を奪われる。【例】しゃんしムゆ ギギぶりリ (三線に聞きほれる)。

ききみ [kikimi] [名] [ききみまい...] 効きめ。効果。【例】ききめー ねーん (効果はない)。

ギギやすしゃーリ [kɪkɪjasɪɕa:] [形] [ギギやすしゃまい...] 聞き易いこと。理解しやすい。わかりやすい。

ギギわき [kɪkɪvaki] [名] [ギギわきまい...] 聞き分ける。話に納得する。

きく [kiku] [名] [植] [きくまい...] 菊。

きく [kiku] [名] [きくまい...] 客。八月おどりの観衆。【例】よーいぬ きく (祝いの招待客)。

きくずかい [kikudzɪkai] [名] [きくずかいまい...] 客を迎えること。

きぐるー [kiguru:] [名] [きぐる<sup>1</sup>まい...] 気苦労。

きげーす [kige:sɪ] [動I類a型] [きげーしー、きげーしゃん] かきまわす。混ぜる。かき混ぜる。攪拌する。【例】なびぬ むぬー きげーし (鍋の煮物をかきまわしなさい)。

きげーす [kige:sɪ] [動I類a型] [きげーしー、きげーしゃん] 乱す。混乱させる。話し合いを混乱する。【例】しゅるーどうくなう きげーす (集会所を乱す)。

きげーリ [kige:] [動I類a型] [きげーりー、きげーらん] 暴れる。【例】ぬーまぬ きげーりーリ (馬が暴れている)。

ギさばきしゃーり [kʲsabakiɕa:] [形] [ギさばき<sup>1</sup>しゃまい...] 清潔。さっぱり。【例】ギさばきぎん (洗濯した着物・衣服)。

ギさばきムまり [kʲsabakimmarɪ] [名] [ギさばきムま<sup>1</sup>りまい...] きれいな人。身なりの清潔な人。

ギさばムまり [kʲsabammari] [名] [ギさ<sup>1</sup>ばムまりまい...] きれい好きな人。

きし [kiɕi] [名] [き<sup>1</sup>しまい...] 釣針の近くにつける小さなおもり。

きじみ [kidzimi] [名] [きじみまい...] けじめ。

きしゃ [kiɕa] [名] [き<sup>1</sup>しゃまい...] さっき。先頃。先刻。先程。【例】きしゃ ギた<sup>1</sup>り (先ほど来た)。

ぎしゃーり [giɕa:] [形] ~そうだ。~ようだ。~のように見える。~の様子である。【例】ぷからすぎしゃーり (うれしそうだ)。ぷすぎしゃーり (欲しそうだ)。

きしゃがた [kiɕagata] [名] [きしゃが<sup>1</sup>たまい...] ついさっき。先刻。【例】きしゃがた いギた<sup>1</sup>り (先ほど行った)。

ギしゅイ [kʲɕu:] [名] [ギしゅ<sup>1</sup>イまい...] 競争。勝負。【例】しゅーギしゅイ (潮は待たない)。

ギしゅー [kʲɕu:] [動 I 類 c 型] [ギしゅー、ギしゅーん] 競う。競争する。勝負する。【例】あみギしゅー (雨の降らないうちに片づける)。しきんゆ ギしゅー (試験を競う)。

きしよー [kiɕo:] [名] [きしよーまい...] 化粧。

きしり [kiɕi] [動 II 類 a 型] [きしー、きしん] 着せる。衣服を手伝って着せる。

きず [kidzɪ] [名] [きずまい...] 傷。【例】まるビきず (転んだ傷)。

ぎす [gisɪ] [名] [ぎ<sup>1</sup>すまい...] 下司。下ばたらき。下級役人。【例】しゃんしムや えーぐぬぎす (三味線は歌の下司)。

ぎず [gidzɪ] [名] [ぎずまい...] 下知。言いつけること。監督すること。【例】ぎず すーかにり (監督がむずかしい)。

きずあと [kidzɪatu] [名] [きずあ<sup>1</sup>とうまい...] 傷跡。

ギすい [kʲsi] [名] [ギすいま<sup>1</sup>い...] 切れ。切れ

はし。一切れ。【例】ぱんびんぬ ピとうギすい (てんぷらの切れはし・てんぷらの一切れ)。

ギすい [kʲsi] [名] 畑の一区切り。【例】ピとうギすい (一区切り)。ぱるぬ ピとうギすい (畑の一区画)。

ギすいぬーま [kʲsinu:ma] [名] [ギすいぬーままい...] 手綱を切って放浪する馬。手綱が切れた馬。飼い主から逃げた馬。

ギすいり [kʲsi] [名] [ギすい<sup>1</sup>りまい...] きせる。煙管。たばこを吸うパイプ。

ギすいり [kʲsi] [動 II 類 c 型] [ギすいー、ギすいん] 切れる。糸が切れる。凧のひもが切れる。釣り糸が切れる。

ギすうす [kʲsusɪ] [動 I 類 c 型] [ギすうしー、ギすうしゃん] 崩す。解体する。潰す。家の解体工事。【例】やーう ギすうす (家を解体する)。

ギすうらす [kʲsurasɪ] [動 I 類 c 型] [ギすうらしー、ギすうらしゃん] 崩させる。解体させる。潰させる。

ギすうりり [kʲsuri] [動 II 類 c 型] [ギすうりー、ギすうりん] 崩れる。倒れる。潰れる。【例】やーや ムめ ギすうりった (家はもう崩れた)。

ぎずエー なん [gidzə:naran] [連語] 下知できない。手に負えないこと。指導できない。【例】かぬ やらべー ぎずエー なん (あの子は手に負えない)。

ぎずがうしゃーり [gidzɪgauɕa:] [形] [ぎずがうしゃまい...] だだをこねる。【例】ぎずがうやらび (だだをこねる子ども)。

きずかす [kidzɪkasɪ] [動 I 類 c 型] [きずかしー、きずかしあん] 気付かせる。思わせる。感じさせる。

きずギ [kidzɪkɪ] [動 I 類 c 型] [きずきー、きずかん] 気付く。思いつく。

きずギ [kidzɪkɪ] [動 I 類 c 型] [きずきー、きずかん] 築く。建築する。出世する。成功する。

きずつギ [kidzɪtsɪkɪ] [動 I 類 c 型] [きずつきー、きずつかん] 傷付く。心を痛める。

きずむぬ [kidzɪmunu] [名] [きずむぬまい...] 疵もの。不用品。商品価値のないもの。

きずり [kidzɪ] [動 I 類 c 型] [きずりー、きずら

- ん) 削る。鉛筆を削る。
- きずりぶす [kidzɹibusʃ] [名] [きずりぶ<sup>1</sup>すまい...]  
けずり節。主としてかつおのけずり節のこと。
- ぎそー [giso:] [名] [ぎそーまい...] 擬装。他の物と紛らわしく装うこと。カムフラージュ。
- きた [kita] [名] [きたま<sup>1</sup>い...] 桁。柱の上に横渡しする材木。
- ぎだ [gida] [名] [ぎ<sup>1</sup>だまい...] くるぶし。踝。
- きたい [kitai] [名] [きたいま<sup>1</sup>い...] 期待。【例】きたいゆ しー わーり (期待して下さい)。
- きたい [kitai] [名] [きたいまい...] 鍛え。鍛えること。
- きたいり [kitai] [動 II 類 c 型] [きたいー、きたいん] 鍛える。【例】どうーゆ きたいり (体を鍛える)。
- きたていなび [kitatinabi] [名] [きたていなびまい...] 別鍋。風邪を引いた人に別に料理を作る。差別の意味ではない。
- きたていピとう [kitatipitu] [名] [きたていピとうまい...] 変人。へそ曲がり。
- きたていむぬ [kitatimunu] [名] [きたていむぬまい...] (人について) 変り者。変人。
- きたていむぬ [kitatimunu] [名] [きたていむぬまい...] 特別なもの。神への供え物など。
- きたていり [kitati] [動 II 類 a 型] [きたていー、きたていん] 別にする。異にする。病人には食べ物も別にする。差別の意味ではない。【例】なびう きたていり (鍋を別にする。料理を別に作る)。
- きだな [kidana] [名] [きだなまい...] 小さな木を編んで床にしたもの。
- きだなゆか [kidanajuka] [名] [きだなゆ<sup>1</sup>かまい...] 小さな丸木の床。
- ぎだま [gidama] [名] [ぎだ<sup>1</sup>ままい...] 魂。度肝。びっくりするとき言う。【例】ぎがまぬ んぎー (魂が抜けた)。
- きたム [kitam] [動 I 類 c 型] [きたみー、きたまん] 減る。弱くなる。資産が弱くなる。失敗する。
- ギだム [kɹdam] [動 I 類] [ギだみー、ギだまん] [ギだムまい...] 刻む。切断する。【例】しゅー
- ゆ ギだム (野菜を刻む)。
- ギだムたばく [kɹdamtabaku] [名] [ギだムたばくまい...] 刻みたばこ。煙管で吸うためにたばこの葉を刻む。
- きだむぬ [kidamunu] [名] [きだむ<sup>1</sup>ぬまい...] 木の薪。たきぎ。
- ギだり [kɹda] [名] [ギだりま<sup>1</sup>い...] 一年中の神事のこと。各家で行う。【類】「ぶりみ」。
- ギだりぬ イー [kɹdaɹnu i:] [名] [ギだりぬイ<sup>1</sup>ーまい...] スツウプナカの時に供える飯。
- きちぎしゃーり [kitɹigɹiɹa:] [形] [きちぎしゃまい...] きれい。立派。美しい。【例】く<sup>1</sup>りがどう きちぎしゃーり (この方がきれいだ)。【同】「きつぎしゃーり」。
- きちぎやー [kitɹigija:] [名] [きちぎや<sup>1</sup>ーまい...] きれいな家。立派な住宅。【同】「きつぎやー」。
- 【類】「かぎやー」。
- きちぎんていー [kitɹiginti:] [副] きれいに。立派に。美しく。【例】ずーうばー きちぎんていー かき (字はきれいに書きなさい)。【同】「きつぎんていー」。
- きつ [kitsʃ] [名] [きつま<sup>1</sup>い...] 垂木。屋根の桁へ渡す材木。
- きつかけ [kikkaki] [名] [きつかけ<sup>1</sup>きまい...] 何かをする機会。チャンス。
- きつき [kitsʃki] [名] [きつき<sup>1</sup>きまい...] 着付け。
- きつぎしゃーり [kitɹigɹiɹa:] [形] [きつぎしゃまい...] きれい。立派。美しい。【同】「きちぎしゃーり」。
- きつぎやー [kitɹigija:] [名] [きつぎやーまい...] きれいな家。立派な住宅。【同】「きちぎやー」。
- きつぎんていー [kitɹiginti:] [副] きれいに。立派に。美しく。【例】きつぎんていー しゅがらす (きれいに着飾らせる)。【同】「きちぎんていー」。
- きつくー [kikkū:] [名] [きつくーな むぬまい...] 結構。【例】きつくーな むぬ (結構なもの)。
- きつけーらす [kikkera:sʃ] [動 I 類 c 型] [きつけーらしー、きつけーらしゃん] 蹴りとばす。蹴散らす。
- ぎっさ [gissa] [名] [ぎつ<sup>1</sup>さまい...] 頭のしらみ

の卵。

きっじゃす [kiddzasʃ] [動I類c型] [きっじゃしー、きっじゃしゃん] 削らせる。【例】えんぴつう きっじゃす (鉛筆を削らせる)。

きっじゃす [kiddzasʃ] [動I類c型] [きっじゃしー、きっじゃしゃん] 髪をすかせる。

きっずー [kiddzɯ:] [動I類c型] [きっじー、きっじゃん] 削る。鉛筆を削る。材木をかんなどで削る。

きっずー [kiddzɯ:] [動I類c型] [きっじー、きっじゃん] 髪をすく。櫛ですく。

ぎったぶどうり [gittabudu] [名] [ぎったぶどう<sup>1</sup>りまい...] 跳びはねてよろこぶ。ジャンプする。

ぎったみギ [gittamikʲ] [動I類c型] [ぎったみきー、ぎったみかん] 驚いて飛び上がる。びっくり仰天する。【例】ぎったみきー (非常に喜んで跳び上がった)。

ぎっちょー [gittɕo:] [名] [ぎ<sup>1</sup>っちょー<sup>1</sup>まい...] 地面に置いた小さな木を棒でたたいて遊ぶこと。またその小物。

ギっとうギっとう [kʲttukʲttu] [擬] [ギっとうギっとうていーまい...] 歯ごたえのよい食べものの状態。豚の耳を食べるときの食感。いかや蛸の食感。

ぎっとうぎっとう [gittugittu] [擬] [ぎっとうぎっとうていーまい...] 魚が釣れるときの手ごたえの感触。【類】「ぎどうぎどう」。

きつにぐつ [kitsʲnigutsʲ] [名] [きつにぐ<sup>1</sup>つまい...] きつね口。シートヤーの歯車の間に危険防止に取りつける金具のこと。きつねの口にそっくりだからその名がある。

きつばー [kitsʲba:] [名] [きつば<sup>1</sup>ーまい...] 厳格な人。【例】きつばーしんしー (厳格な先生)。

きっふあ [kiffa] [擬] くしゃみを表す言い方。

きっふあがり [kiffaga] [動I類c型] [きっふあがりー、きっふあがらん] 煙が充満する。煙が発生する。

きっふあしゃーり [kiffaɕa:] [形] [きっふあしゃまい...] 煙たい。煙が多いときに言う。

きっふあみかす [kiffamikasʲ] [動I類c型] [き

っふあみかしー、きっふあみかしゃん] くしゃみさせる。鼻に刺戟があるときに言う。

きっふあみギ [kiffamikʲ] [動I類c型] [きっふあみきー、きっふあみかん] 何回もくしゃみをやる。

きっふり [kiffu] [名] [きっふ<sup>1</sup>りまい...] ゲップ。胃のガスが口からでるもの。おくび。

きつみり [kitsʲmil] [動II類c型] [きつみー、きつみん] 問いつめる。詰問する。

ぎてい [giti] [名] [ぎていまい...] 技手。指導者。技術者。農業技手のこと。

ギでーくに [kʲde:kuni] [名] [ギでーく<sup>1</sup>にまい...] 人参。黄大根。沖縄の在来種。〈あかうぶに〉は別種。

ぎどうぎどう [gidugidu] [擬] [ぎどうぎどうていーまい...] 魚が釣針を引くときの手の感触。【類】「ぎっとうぎっとう」。

きとうムガー [kitumga:] [名] [きとうムが<sup>1</sup>ーまい...] 井戸の名。人工井戸。

きどうり [kidu] [動I類c型] [きどうりー、きどうらん] 気取る。体裁をつくろう。【例】かれーきどうらん ピとう (彼は気取らない人)。

ギとうるギ [kʲturukʲ] [動I類c型] [ギとうるきー、ギとうるかん] びっくりする。驚く。

きとうるギ [kiturukʲ] [動I類c型] [きとうるきー、きとうるかん] 驚く。びっくりする。

きな [kina] [名] [き<sup>1</sup>なまい...] 杓子。しゃもじ。【例】みすぎな (めし杓子)。するぎな (汁杓子)。

きない [kinai] [名] [き<sup>1</sup>ないまい...] 家内。家庭。所帯。家族。

きないにんじゅ [kinainindzu] [名] [きないにん<sup>1</sup>じゅまい...] 家庭の人数。

きないむつ [kinaimutsʲ] [名] [きないむ<sup>1</sup>つまい...] 家庭を持つこと。結婚すること。

きないむつだうず [kinaimutsʲdaudzʲ] [形] [きないむつだう<sup>1</sup>ずまい...] 家庭を持つ上手。家庭円満のこと。【同】「きないむつどーず」。

きないむつどー [kinaimutsʲdo:] [名] [きないむつど<sup>1</sup>ーまい...] 所帯道具。

きないむつどーず [kinaimutsʲdo:dzʲ] [形] [きないむつど<sup>1</sup>ーずまい...] 家庭を持つ上手。家庭

円満のこと。【同】「きないむつだうず」。

きないやどうゆム [kinaijadujum] [名] [きないやどうゆ<sup>1</sup>ムまい...] 夫婦げんか。家庭内のけんか。

きなす [kinasʃ] [動I類c型] [きなしー、きなしゃん] けなす。貶す。非難する。悪口を言う。【例】かれー きなすばなすうどう すー (彼の話はけなす話だ)。【類】「くしゃす」。

ギぬ どうく [kɲu duku] [連語] 気の毒。

ギぬー [kɲu:] [名] [ギぬ<sup>1</sup>ーまい...] 昨日。【例】ギぬーや ゆくーたり (昨日は休んだ)。

ギぬーが しえーか [kɲu:ga ɕe:ka] [名] [ギぬー<sup>1</sup>がしえーかんまい...] 昨日の明け方。【例】ギぬーが しえーかん うきたり (昨日の明け方に起きた)。

ギぬーが すとうむてい [kɲu:ga sɥtumuti] [名] [ギぬー<sup>1</sup>がすとうむていん<sup>1</sup>まい...] 昨日の朝。【例】ギぬーが すとうめてー ぱりー ぶたり (昨日の朝は走っていた)。

ギぬーが ピーま [kɲu:ga pi:ma] [名] [ギぬー<sup>1</sup>がピーまんまい...] 昨日の午後。

ギぬーが まーす [kɲu:ga ma:sʃ] [副] 昨日一日中。【例】ギぬーがまーす ぱたらきー (昨日は一日中働いた)。

ギぬーが ゆー [kɲu:ga ju:] [名] [ギぬー<sup>1</sup>がゆー<sup>1</sup>まい...] 昨日の夜。夕べ。【例】ギぬーが ゆーや あみどう あたり (夕べは雨だった)。

ギぬーが ゆしゃらび [kɲu:ga juɕarabi] [名] [ギぬー<sup>1</sup>がゆしゃらび<sup>1</sup>まい...] 昨日の夕方。【例】ギぬーが ゆしゃらべー あみどう あたり (昨日の夕方は雨だった)。

ギぬーが ゆなか [kɲu:ga junaka] [名] [ギぬー<sup>1</sup>がゆなかんまい...] 昨日の夜中。【例】ギぬーが ゆなかん うきたり (昨日の夜中に起きた)。

ギぬーが ゆねーん [kɲu:ga ju:ne:n] [名] [ギぬー<sup>1</sup>がゆねーん<sup>1</sup>まい...] 昨日の夕方。昨日の日没後の薄暗い時間帯。

ギぬつギ [kɲutsʃkɲ] [動I類c型] [ギぬつきー、ギぬつかん] 気づく。感じ取る。

ギぱ [gɲpa] [名] [ギ<sup>1</sup>ぱまい...] 簪 (かんざし)。髪に刺す装飾品。茅葺きの家のいらかを固める

木材のことも言う。

きばすしゃーり [kibasʃɕa:] [形] [きばすむぬまい...] みずばらしい。貧しい。【例】きばすピとう (貧しい人。みずばらしい人)。

ギぱり [kɲba] [動I類a型] [ギぱりー、ギぱらん] 気張る。意気こむ。頑張る。働く。

ギぱりむぬ [kɲba[munu] [名] [ギぱりむぬまい...] 働き者。よく働く人。実績・成果の現れるほど働く人。

きばん [kiban] [形] [きばんまい...] 貧乏。貧困。

きばんきない [kibankeinai] [名] [きばんきないまい...] 貧乏家庭。【類】「きばんやー」。

きばんむぬ [kibanmunu] [名] [きばんむぬまい...] 貧乏者。【類】「かーむぬ」。

きばんやー [kiban.ja:] [名] [きばんやーまい...] 貧乏家庭。【類】「きばんきない」。

ギビた [gɲbɪta] [名] [ギビ<sup>1</sup>たまい...] 馬鹿。野郎。役立たず。だらしのない者。

ギビたむぬ [gɲbɪtamunu] [名] [ギビたむ<sup>1</sup>ぬまい...] 馬鹿者。

ぎひん [gihin] [名] [ぎひんてい<sup>1</sup>まい...] 下品。

ギピン [gɲpin] [名] [ギピ<sup>1</sup>んまい...] 下品。

きふがらす [kifugarasʃ] [動I類c型] [きふがらしー、きふがらしゃん] いぶす。蝸やいかをいぶす。

きふしゃ [kifuɕa] [名] [きふしゃまい...] 煙たさ。

きふしゃーり [kifuɕa:] [形] 煙たいこと。けむい。

きふしゃがらす [kifuɕagarasʃ] [動I類c型] [きふしゃがらしー、きふしゃがらしゃん] 煙を多く出す。昔、蚊を追いつぶすために家の中を煙で充満させた。

きふしゃがり [kifuɕaga] [動I類c型] [きふしゃがりー、きふしゃがらん] 煙が充満する。

きふす [kifusʃ] [名] [きふすま<sup>1</sup>まい...] 煙。

きぶん [kibun] [名] [きぶんてい<sup>1</sup>まい...] 気分。

きまり [kima] [動I類c型] [きまりー、きまらん] 決る。決定する。【例】きまらん (決まらん

い。きまりった (決定した)。きまりー ぶり (決っている)。  
 きまり [kimari] [名] [きま<sup>1</sup>りまい...] 決り。規定。規則。決まった事。  
 きまりぐとう [kimalgutu] [名] [きまりぐ<sup>1</sup>とうまい...] 決まりごと。話し合いによって内規を作った。  
 きみり [kimi] [動 II 類 c 型] [きみー、きみん] 決める。【例】きみーから (決めてから)。きみる (決めなさい)。きみんかにり (決めかねる)。  
 ギム [kɪm] [名] [植] [ギムとうり<sup>1</sup>がまい...] 黍 (きび)。五穀の一つ。きびだんごを作る。  
 ギむ [kɪmu] [名] [ギむま<sup>1</sup>い...] 肝。肝臓。心。精神。沖縄の人々の合言葉。〈つむ〉は誤り。  
 ギむ いでいば ていー ピき [kɪmu idiba ti: pɪki] [連語] 気出ずれば手を引け。嶺間御嶽の扁額。〈ていー いでいば ギむ ピき〉と続く。  
 ギむいだす [kɪmuidasɪ] [動 I 類 c 型] [ギむいだしー、ギむいだしゃん] 怒らせる。いじわるする。【例】ギもー いだすな (気は出すな。怒るな)。  
 ギむいでいり [kɪmuidi] [動 II 類 c 型] [ギむいでいー、ギむいでいん] 怒る。【例】ギもー いでいん (気は出ない。怒らない)。  
 ギむー たみり [kɪmu: tami] [連語] 心を矯める。冷静になる。怒りをおさえる。心を落ち着かせる。  
 ギむー ゆるす [kɪmu: jurusɪ] [連語] 心を許す。落ちつく。安心する。  
 ギむがーしゃーり [kɪmuga:ɕa:] [形] 心ぐるしい。つらい。気持ち悪い。吐き気がする。【例】ギむがーむぬ (どっちにしようかと迷う)。  
 ギむがーり [kɪmuga:] [名] [ギむがー<sup>1</sup>りまい...] 心変わり。反省の意味がある。  
 ギむがかり [kɪmugaka] [名] [ギむがか<sup>1</sup>りまい...] 気がかり。心配ごとに言う。  
 ギむかぎしゃーり [kɪmukagica:] [形] [ギむかぎ<sup>1</sup>しゃまい...] 心が良い。品がある。良心的である。  
 ギむがなしゃーり [kɪmugana:ɕa:] [形] [ギむがな<sup>1</sup>しゃまい...] かわいい。無邪気。愛おしい。

【例】やらべー ギむがなしゃーり (子供は愛おしいものだ)。  
 ギむがま [kɪmugama] [名] [ギむが<sup>1</sup>まい...] 小心者。おこりっぽい人。  
 ギむがまししゃーり [kɪmugama:ɕa:] [形] [ギむがま<sup>1</sup>しゃまい...] 小心者である。おこりっぽい。  
 ギむがまらしゃーり [kɪmugamaraca:] [形] [ギむがまらしゃまい...] うるさい。いらいらする。心が落ち着かない。  
 ギむから [kɪmukara] [連語] 心から。【例】ギむから うめー ぶり (心から愛している)。  
 ギむくがり [kɪmukugari] [名] [ギむくが<sup>1</sup>りまい...] 心苦しい。心配。  
 ギむくくる [kɪmukukuru] [名] [ギむくく<sup>1</sup>りまい...] 肝心。情け。情愛。  
 ギむくっじ [kɪmukuddzi] [名] [ギむくっ<sup>1</sup>じまい...] 心が苦しむ。気苦労。  
 ギむぐりしゃーり [kɪmugurica:] [形] [ギむぐり<sup>1</sup>しゃまい...] 気苦しい。心配する。  
 ギむしがり [kɪmuɕiga] [動 II 類 c 型] [ギむしがー、ギむしがん] 悩む。考え苦しむ。  
 ギむしゃびたら [kɪmuɕabɪtara] [名] [ギむしゃびた<sup>1</sup>らまい...] のん気者。何事にもこだわらない。【同】「ギむしゃびたれ」。  
 ギむしゃびた<sup>1</sup>り [kɪmuɕabɪta] [名] [ギむしゃびた<sup>1</sup>りまい...] のん気であること。  
 ギむしゃびた<sup>1</sup>りらーり [kɪmuɕabɪta[ra:] [形] [ギむしゃびた<sup>1</sup>りらまい...] のん気である。【類】「ギむしゃびた<sup>1</sup>りらしゃーり」。  
 ギむしゃびた<sup>1</sup>りらしゃーり [kɪmuɕabɪta[ra:ɕa:] [形] [ギむしゃびた<sup>1</sup>りら<sup>1</sup>しゃまい...] のん気である。【類】「ギむしゃびた<sup>1</sup>りらーり」。  
 ギむしゃびたれ [kɪmuɕabɪtare] [名] [ギむしゃびた<sup>1</sup>れまい...] のん気者。何事にもこだわらない人。【同】「ギむしゃびたら」。  
 ギむじゃわり [kɪmudzawa] [動 I 類 c 型] [ギむじゃわりー、ギむじゃわらん] 気に障る。【例】ギむじゃわり<sup>1</sup>ばなす (気に障る話)。  
 ギむしゆらす [kɪmuɕurasɪ] [動 I 類 c 型] [ギむしゆらしー、ギむしゆらしゃん] 気を晴らす。【例】ギむしゆらす<sup>1</sup>ばなす (気が晴れる話)。

ギむしゅりり [kɥmuɕuri] [動II類c型] [ギむしゅりー、ギむしゅりん] 気が晴れる。心がさわやかになる。

ギむしゅるみかす [kɥmuɕurumikasɥ] [動I類c型] [ギむしゅるみかしー、ギむしゅるみかしゃん] 心をすがすがしくさせる。心をさわやかにさせる。

ギむしゅるみギ [kɥmuɕurumikɥ] [動I類c型] [ギむしゅるみきー、ギむしゅるみかん] 心がすがすがしくなる。心がさわやかになる。

ギむずみしゃーり [kɥmudzɥmɕa:] [形] [ギむずみ<sup>1</sup>しゃまい...] 思う存分。

ギむたがい [kɥmutagai] [名] [ギむたが<sup>1</sup>いまい...] 肝違い。心ちがい。意志のたがうこと。

ギむたかり [kɥmutaka] [動I類c型] [ギむたかりー、ギむたからん] おこりっぽくなる。

ギむだみり [kɥmudami] [動II類c型] [ギむだみー、ギむだみん] 心を落ちつかせる。自制する。

ギむだり [kɥmuda] [動II類] [ギむだりー、ギむだりん] 落胆する。

ギむつ [kɥmutsɥ] [名] [ギむ<sup>1</sup>つまい...] 気持。心持。

ギむつつふー [kɥmutsɥffu:] [動I類c型] [ギむつつふえー、ギむつつふあーん] 心繕う。怒らないように気をつける。一息つくこと。【例】ギむつつふー まどうまい ねーん (心を落ちつかせる暇もない)。

ギむっふあしゃーり [kɥmuffaɕa:] [形] [ギむっふあ<sup>1</sup>しゃまい...] 陰気。明るくない。気持ちがさえない。

ギむでー [kɥmude:] [名] 気の力。気力の強いこと。【例】ギむでーむぬ (気力の強い人)。

ギむとうり [kɥmutu] [連語] 気嫌をとる。子どもにする行動。

ギむぬ しゅく [kɥmunu ɕuku] [名] [ギむぬしゅ<sup>1</sup>くまい...] 心の底。心底。本心。【例】ギむぬしゅくから うむー (本心から思う)。

ギむぬ なうり [kɥmunu nau] [連語] 気嫌よくなる。【同】「ギむぬのーり」。

ギむぬ のーり [kɥmunu no:] [連語] 気嫌よくな

る。【同】「ギむぬなうり」。

ギむぬくり [kɥmunuku] [名] [ギむぬく<sup>1</sup>りまい...] 心残り。未練。

ギむばっじゃーり [kɥmubaddza:] [形] [ギむばっ<sup>1</sup>じゃまい...] いらいらする。

ギむピていつ [kɥmupɥtitsɥ] [連語] 心は一つ。心が通い合うこと。【例】ベーたー ギむピていつ (私たちは心は一つだ)。

ギむぶギ [kɥmupugɥ] [動I類c型] [ギむぶぎー、ギむぶがん] 心が晴れる。満足する。よろこばしい気持ちになる。

ギむふく [kɥmufuku] [名] [ギむふ<sup>1</sup>くまい...] 肝肺。心。精神。愛情。【例】ギむふくぬ あたかー (愛情があるなら)。

ギむふつ [kɥmufutsɥ] [名] [ギむふ<sup>1</sup>つまい...] 肝口。みぞおち。

ギむペーしゃーり [kɥmube:ɕa:] [形] 気が早い。喧嘩が早い。おこりっぽい。

ギむペーむぬ [kɥmube:munu] [名] [ギむペーむ<sup>1</sup>ぬまい...] 気の早い者。喧嘩早い人。怒りっぽい人。

ギむまゆー [kɥmumaju:] [名] [ギむまゆ<sup>1</sup>ーまい...] 気が迷うこと。心の迷い。

ギムみー [kɥmmi:] [名] [ギ<sup>1</sup>んみー<sup>1</sup>まい...] 黄色の目。さしばの成鳥。

ギムむつー [kɥmmutsɥ:] [名] [ギムむつ<sup>1</sup>ーまい...] 黍餅。黍で作った餅。きびだんご。

ギむやヴヴイ [kɥmujavvi] [動I類c型] [ギむやヴヴいー、ギむやヴヴあん] 気分を損ねる。不快になる。

ギむやヴヴいり [kɥmujavvi] [動II類c型] [ギむやヴヴいー、ギむやヴヴいん] 気分が損なえる。怒る。不快になる。【例】かるー みーたかー ギむやヴヴいり (彼を見ると不快になる)。

ギむやすム [kɥmujasɥm] [動I類c型] [ギむやすみー、ギむやすまん] 気休む。安心する。

ギむやばしゃーり [kɥmujapaɕa:] [形] [ギむやば<sup>1</sup>しゃまい...] 心がやさしい。

ギむやます [kɥmujamasɥ] [動I類c型] [ギむやましー、ギむやましゃん] 怒らせる。心を痛ませる。

ギむやム [kɥmujam] [動I類c型] [ギむやみー、ギむやまん] 心病む。心が痛む。心配する。不安になる。

ギむゆるす [kɥmujurusɯ] [動I類c型] [ギむゆるしー、ギむゆるしゃん] 心赦す。安心する。安堵する。

ギむん かかり [kɥmun kaka] [連語] 気にかかる。気になる。心配する。

ギむん すないり [kɥmun snai] [連語] 気に入られる。好かれる。

ギむん とうみり [kɥmun tumi] [連語] 心に留める。

ギめーすしゃーり [kɥme:sɯca:] [形] [ギめーす<sup>1</sup>しゃまい...] 心地よい。快感。

ギめーすむぬ [kɥme:sɥmunu] [名] [ギめーすむ<sup>1</sup>ぬまい...] 心地よいこと。快感であること。

ギもー ねーん [kɥmo:ne:n] [連語] 気はない。落ちついていること。争う気のないことに言う。

ギもー やまん [kɥmo:jaman] [連語] 気は痛まない。心配しない。

きやい [kijai] [名] [きやまい...] 気合い。勇気づけ。

きゅー [kju:] [名] 九。九つ。九歳。【同】「くー」。

きゅー [kju:] [形] [きゅーまい...] 急。【例】きゅーぬ ばなす (急な話)。

きゅーだい [kju:dai] [名] [きゅーだいま<sup>1</sup>い...] 及第。合格。進級。

きゅーり [kju:ri] [名] [植] [きゅー<sup>1</sup>りまい...] きうり。

きゅーり [kju:ri] [名] [きゅー<sup>1</sup>りまい...] 郷里。ふるさと。生まれ島。

きゅーりき [kju:riki] [名] [きゅーりきんまい...] 旧暦。陰暦。月の満ち欠けを基準にした暦。多良間は旧暦の使用が多い。

きゆみ [kijumi] [名] [きゆみまい...] 清め。

きゆみり [kijumi] [動II類c型] [きゆみー、きゆみん] 清める。【例】まーしゅー まきー きゆみり (潮を撒いて清める)。

きよー [kjo:] [名] [きよーまい...] お経。【同】「けう」。

きよーぎん [kjo:gin] [名] [きよーぎ<sup>1</sup>んまい...] 狂言。悪ふざけをして人を笑わす芝居。八月おどり演目の一つ。【同】「けうぎん」。

きよーぎん [kjo:gin] [名] [きよーぎ<sup>1</sup>んまい...] 狂言座。狂言を担当する部所。【同】「けうぎんじやー」。

きよーしつ [kjo:ɕitsɯ] [名] [きよーし<sup>1</sup>つまい...] 教室。主として学校の教室のこと。

きよーだい [kjo:dai] [名] [きよーだいま<sup>1</sup>い...] きょうだい。兄弟のこと。【同】「けうだい」。

きよーちくとー [kjo:ɕikuto:] [名] [植] [きよーちくと<sup>1</sup>まい...] きょうちくとう。有毒。

きよーちやく [kjo:ɕagu] [名] [きよーちやく<sup>1</sup>まい...] 八月おどりの大主の座る椅子。【同】「けうちやく」。

きよーちやくむつ [kjo:ɕagumutsɯ] [名] [きよーちやく<sup>1</sup>むつまい...] きよーちやくを持つ係り。八月おどりの大主。

きよーゆ ゆム [kjo:ju jum] [連語] 経を読む。読経。

ぎよーりつ [gjo:ritsɯ] [名] [ぎよーり<sup>1</sup>つまい...] 行列。【同】「げうりつ」。

ぎよーりん [gjo:rin] [名] [ぎよーり<sup>1</sup>んまい...] 教練。訓練。国民学校で実施された。【同】「げうりん」。

きら [kira] [名] [虫] [き<sup>1</sup>らまい...] けら。こおろぎに似た虫。

きらす [kirasɯ] [動I類c型] [きらしー、きらしゃん] 蹴らす。【例】ぬーまん きらす (馬に蹴らす)。ぼーるー きらす (ボールを蹴らす)。

きらす [kirasɯ] [動I類c型] [きらしー、きらしゃん] 絶やす。切らす。なくなる。【例】たばくー きらしー ねーん (たばこを切らしてしまった)。

きり [ki] [動I類c型] [きりー、きらん] 蹴る。【例】きり (蹴りなさい)。きらいー (蹴られた)。

ぎり [giri] [名] [ぎりまい...] 義理。【同】「ギー」。

きりあがり [kiriagari] [名] [きりあが<sup>1</sup>りまい...] 蹴り上がり。鉄棒の技の一つ。

きりー かいらす [kiri:kairasɯ] [連語] 蹴り倒す。

きりかいり [kirikai] [動II類c型] [きりかいー、きりかいん] 切り替える。【例】どるー きりか

いり (米ドルを日円に切り替える)。  
 きりきず [kirikidzɯ] [名] [きりき<sup>1</sup>ずまい...] 切り傷。  
 ぎりじゅーしゃーり [giridzɯ:ɕa:] [形] [ぎりじゅーしゃまい...] 義理がたい。義理強い。  
 ぎりだてい [giridati] [名] [ぎりだていまい...] 義理立て。義理を守る。  
 きりつみり [kiritsɯmi] [動 II 類 c 型] [きりつみー、きりつみん] 切りつめる。節約する。  
 きりぬぎ [kirinukɯ] [動 I 類 c 型] [きりぬきー、きりぬかん] 切りぬく。克服する。  
 きりまーす [kirima:sɯ] [動 I 類 c 型] [きりまーしー、きりまーしゃん] 切りまわす。切りもりする。  
 きりむぬ [kirimunu] [名] [きりむぬまい...] 切れ者。頭脳明晰な人。  
 きりり [kiri] [動 II 類 c 型] [きりー、きりん] 切れる。考え方のよいこと。知識の豊富なこと。  
 きらく [kiruku] [名] [きらくまい...] 気力。精神力。意地。  
 きらく [kiruku] [名] [きらくまい...] 記録。後に伝えるための書類。  
 ぎろん [girun] [名] [ぎろんまい...] 議論。討論。話し合い。会議。  
 ぎん [kɯn] [名] [ぎんま<sup>1</sup>い...] 着物。和服。衣。  
 きん [kin] [助数] ~間。長さの単位。1間は6尺。  
 きん [kin] [助数] ~斤。重さの単位。1斤は600グラム。  
 きん [kin] [名] [き<sup>1</sup>んまい...] 金。金杯。貴金属。  
 ぎんあるー [kɯn.aru:] [名] [ぎんある<sup>1</sup>ーまい...] 洗濯。衣服の洗濯に言う。  
 ぎんかー [kɯnka:] [名] [ぎんか<sup>1</sup>ーまい...] 着る物。身につける物。衣服。  
 きんがき [kingaki] [名] [きんがきまい...] 斤で計ること。竿秤を使用する。  
 きんがく [kingaku] [名] [きんが<sup>1</sup>くまい...] 見学。  
 ぎんかく [ginkaku] [名] [ぎんか<sup>1</sup>くまい...] 厳格。きびしいこと。  
 ぎんかん [ginkan] [名] [ぎんかんまい...] 玄関。  
 きんく [kinku] [名] [きん<sup>1</sup>くまい...] 金庫。

きんぐ [kingu] [名] [きんぐま<sup>1</sup>い...] 堅固。丈夫。頑丈。  
 ぎんぐーみ [kɯngu:mi] [名] [ギ<sup>1</sup>んぐーみ<sup>1</sup>まい...] 着物で頭を隠してその人の名前を当てる遊び。二つの陣地を作り、着物を被った一人が名前を当てる。冬の軒下に見られた。  
 きんぐしゃーり [kingu:ɕa:] [形] [きんぐしゃまい...] 堅固。丈夫。頑丈。  
 きんさ [kinsa] [名] [きんさまい...] 検査。調査。【同】「きんしゃ」。  
 きんしゃ [kinɕa] [名] [きんしゃまい...] 検査。調査。【同】「きんさ」。  
 きんじゅーしゃーり [kindzɯ:ɕa:] [形] [きんじゅーしゃまい...] 斤強い。見かけより重量が大きい。  
 きんだてい [kindati] [名] [きんだていまい...] 地鎮祭。  
 きんだていのがイ [kindatinigaɯ] [名] [きんだていのが<sup>1</sup>イまい...] 地鎮祭。【同】「きんだていにぐー」。  
 きんだていにくー [kindatinigu:] [名] [きんだていにく<sup>1</sup>ーまい...] 地鎮祭。【同】「きんだていのがイ」。  
 ぎんだに [gindani] [名] [病] [ぎんだ<sup>1</sup>にまい...] りんば腺炎。  
 きんちく [kintɕiku] [名] [き<sup>1</sup>んちくまい...] 金蓄。財布。  
 きんちく [kintɕiku] [名] [きんち<sup>1</sup>くまい...] 建築。  
 きんどう [kindu] [名] [きん<sup>1</sup>どうまい...] 間戸。家の中戸。仕切戸。  
 ぎんどう [gindu] [名] [ぎん<sup>1</sup>どうまい...] 限度。  
 きんとー [kinto:] [名] [きんとーまい...] 見当。見通し。予想。予測。  
 きんなー [kinna:] [名] [きんなーまい...] 間縄。測量に使用する縄のこと。  
 ぎんのー [ginno:] [名] [ぎんの<sup>1</sup>ーまい...] 玄能。金鎚。大工用具。  
 きんばー [kinba:] [名] [きんばーまい...] 金歯。金の入れ歯。  
 ぎんばイ [ginba i] [名] [ぎんばイまい...] 銀蠅。

- きんぱり [kinbaɾi] [名] [きんぱりまい...] 金針。  
鍼灸に使用する。
- きんぴ [kinpi] [名] [きん<sup>1</sup>ぴまい...] 金肥。化学  
肥料。調合肥料。金で買うから。
- きんぶつ [kinbutsʊ] [名] [きんぶ<sup>1</sup>つまい...] 見  
物。見物人。
- ぎんまい [ginmai] [名] [ぎんまいまい...] 玄米。
- きんまんか [kinmanka] [名] [きんまん<sup>1</sup>かまい...]  
金満家。大金持。富豪。
- きんみ [kinmi] [名] [きんみまい...] 斤目。目方。  
秤量。
- ぎんみ [ginmi] [名] [ぎん<sup>1</sup>みまい...] 吟味。協  
議。話し合い。
- ぎんや [gin.ja] [名] [ぎん<sup>1</sup>やまい...] 原野。荒  
地。
- きんやく [kin.jaku] [名] [きんや<sup>1</sup>くまい...] 儉  
約。節約。
- きんよー [kin.jo:] [名] [きんよ<sup>1</sup>ーまい...] 金曜  
日。
- きんり [kinri] [名] [きんりまい...] 金利。
- きんり [kinri] [名] [きんりまい...] 権利。
- ぎんるくしゅでい [ginrukuʃudi] [名] [ぎんるく  
しゅ<sup>1</sup>でいまい...] 元禄袖。

## — く —

ぐ [gu] [名] 五。五つ。【例】ぐにん (五人)。ぐさい (五歳)。

ぐあい [guai] [名] [ぐあいまい...] 具合。気分。調子。様子。今の体の具合。体調。器具や道具などにも言う。

くい [kui] [名] [く<sup>1</sup>いまい...] 声。声変り。大声。泣き声。笑い声。話し声。うわさ。便り。消息。【例】たーが くい (誰の声かなあ)。

くい [kui] [名] [く<sup>1</sup>いまい...] 音。風、雷、雨などの音。【例】くいぬどう ギかいー ぶり (音が聞こえる)。

くい [kui] [名] [く<sup>1</sup>いまい...] 杭。【例】う一つにー くいゆ うつ (大槌で杭を打つ)。くいゆ たていり (杭を立てる)。

くい [kui] [名] [く<sup>1</sup>いまい...] 恋。【例】ふたーりら くいびとうが やうどー (二人は恋人同士のようなだよ)。

くい [kui] [名] [魚] [く<sup>1</sup>いまい...] 鯉。池の鯉。鯉のぼり。

くい [kui] [名] [くいまい...] 悔い。【例】まきばム くいや ねーん (負けても悔いはない)。

くい [kui] [名] [くいまい...] 越え。越えること。苦勞を越えること。父より優れること。垣を飛び越えること。飛び級。

くいはーす [kuia:s] [名] [く<sup>1</sup>いはーすまい...] 声合わせ。同じ言葉や歌を皆で合わせる。【類】「くいちゃー」。

くいー いギ [kui: ik] [連語] 越えて行く。山を越える。親を越えて偉くなる。

くいがーり [kuiga:] [名] [く<sup>1</sup>いがーりまい...] 声変わり。変声期の子ども声変わり。

くいがり [kuigari] [名] [く<sup>1</sup>いがりまい...] 声嘎れ。声が嘎れること。

くいくム [kuikum] [動I類c型] [くいくみー、

くいくまん] 食い込む。中に入り込む。【例】ばんーけー くいくム (圏内に入り込む。当選圏内に入り込む)。

くいたむぬ [kuitamunu] [名] [くいたむぬまい...] 乞食。

くいちゃー [kuitça:] [名] [くいちゃ<sup>1</sup>ーまい...] 声合わせ。宮古の伝統おどり。集団で円陣を作って踊る。

くいつギ [kuitsk] [動I類c型] [くいつきー、くいつかん] 越え着く。山を越えて来る。

くいつギ [kuitsk] [動I類c型] [くいつきー、くいつかん] 食い付く。魚がえさに食い付く。飛び付く。【例】まうきばなすん くいづギ (儲け話に食いつく)。

くいびとう [kuibytu] [名] [くいび<sup>1</sup>とうまい...] 恋人。親しい仲の二人。恋愛の二人。

くいらす [kuiras] [動I類c型] [くいらしー、くいらしゃん] くつつける。結び付ける。糊でくつつける。

くいらす [kuiras] [動I類c型] [くいらしー、くいらしゃん] 結婚させる。二人を結ばせる。

くいり [kui] [動II類a型] [くいー、くいん] 越える。年を越える。またぐ。【例】くいらいん (越えられない)。ににピとうー くいまん (寝ている人をば越えない)。くいー くいー (越えて来なさい。親を越えて偉くなって来なさい)。くいやっさ (越えやすい)。

くいり [kui] [動I類c型] [くいりー、くいらん] くつつく。糊でくつつく。【例】くいりいた (合板)。むつーぬ ていーん くいり (餅が手にくつつく)。まどうん ぱーぬ くいり (窓に葉がくつつく)。【類】「むっちゃり」。

くいり [kui] [動I類c型] [くいりー、くいらん] (男女が) ねちゃねちゃする。求婚する。【同】「くいー」。

くいり [kui] [動II類c型] [くいー、くいん] 乞う。請う。願いをする。願いごとをする。【例】あみう くいり (雨を乞う。雨を願う)。【同】「くいー」。

くー [ku:] [助数] ~個。数える単位。【例】くがぬ ピとうくー (卵が一個)。

くー [ku:] [名] 九。九つ。九歳。【同】「きゅー」。  
【類】「くくぬつ」。

くー [ku:] [名] [くーまい...] 腰。【例】くーぶり  
(腰の曲り)。くーぶに (背中)。

くー [ku:] [名] [くーまい...] 粉。【例】むぎぬ  
くー (麦の粉)。みりきんぐー (メリケン粉)。  
あかぐー (食紅)。

くー [ku:] [名] [くーまい...] 殻。【例】すでい  
ぐー (孵化した殻)。あまムぐー (やどかりの  
ぬけがら)。

くー [ku:] [名] [くーまい...] 甲。甲羅。【例】か  
みぬ くー (亀の甲)。

くー [ku:] [名] [くーまい...] 繕い。修理。修繕。  
【例】ギんぬ くー (衣服の繕い)。やーぬ くー  
(家の修理)。

くー [ku:] [名] [くーまい...] 功。年功。【例】と  
うすぬ くー (年の功)。

くー [ku:] [動I類c型] [けー、かーん] 結婚す  
る。結ばれる。【同】「くいり」。

くー [ku:] [動I類c型] [けー、かーん] 乞う。  
請う。【例】ゆーくーにがイ (世を乞う祈願)。  
【同】「くいり」。

ぐー [gu:] [名] [ぐーまい...] 碁。囲碁。

ぐー [gu:] [名] [ぐーまい...] 干瀬。珊瑚礁。【例】  
ぐーぬ ぱな (干瀬の上)。【類】「びし」。

ぐー [gu:] [名] [ぐーまい...] 岩盤。地中の岩盤。  
【例】ぐーゆ ぱり (岩盤を割る)。

ぐー [gu:] [名] [ぐーまい...] 同類。仲間。【例】  
ゆぬぐー (同じ種類)。ペーたー ぐー (我々は  
仲間)。

ぐー [gu:] [擬] 指で突く動作のこと。

くーあい [ku:ai] [名] [くーあーまい...] 粉和  
え。粉を水に和えること。てんぶらのしたごし  
らえ。

くーあまム [ku:amam] [名] [くーあまームまい...]  
やどかり。

くヴー [kuvu] [名] [く<sup>1</sup>ヴーまい...] 昆布。【例】  
くヴおー まっちゃんどう あり (昆布は店に  
売っている)。【類】「くヴうがー」。

くヴー [kuvu] [名] [虫] [く<sup>1</sup>ヴーまい...] 蜘蛛。

くヴヴァ [kuvva] [名] [く<sup>1</sup>ヴヴァまい...] こむら。

ふくら脛。

くヴヴァあがり [kuvvaaga] [動I類c型] [くヴ  
ヴァあがりー、くヴヴァあがらん] ふくら脛が  
反る。

くヴうがー [kuvuga:] [名] [く<sup>1</sup>ヴうがーまい...]  
昆布。料理する前の昆布。

くヴうがし [kuvugaçi] [名] [く<sup>1</sup>ヴうがしまい...]  
蜘蛛の巣。蜘蛛の糸。

くヴうまギ [kuvumakı] [名] [く<sup>1</sup>ヴうまぎまい...]  
昆布巻き。昆布で巻いて料理する。【同】「くん  
ぶまギ」。

くーがーす [ku:ga:sı] [名] [くーがー<sup>1</sup>すまい...]  
菓子的一种。らくがん。

くーかい [ku:kai] [名] 後悔。【同】「こーかい」。

ぐーぐー [gu:gu:] [擬] 豚の鳴き声。幼児語。

くーしゃ [ku:ça] [名] [くー<sup>1</sup>しゃまい...] 苦しさ。  
困窮。苦勞。

くーしゃーり [ku:ça:ri] [形] [くー<sup>1</sup>しゃまい...] 苦  
しい。【例】くーしゃーり (苦しいよ)。やみー  
くーむぬ (病気をして苦しい)。

くーしゃーり [ku:ça:ri] [形] [くー<sup>1</sup>しゃまい...] 貧  
しい。貧乏である。【例】くーしゃ ねーん (貧  
乏ではない)。

ぐーしゃーり [gu:ça:ri] [形] ~しそうだ。~する様  
子。【例】かつぐーしゃーり (勝ちそうだ)。

くーしゅ [ku:çu] [名] [植] [くーしゅまい...] 唐  
辛子。胡椒の意か。果実も同じ発音。

くーしゅー [ku:çu:] [名] [くーしゅーまい...] 空  
襲。空からの爆撃。

くーしゅく [ku:çuku] [名] [魚] [くーしゅくま  
い...] にじはぎ。くろはぎ。【類】「とうかじゃ」。

くーす [ku:sı] [動I類a型] [くーしー、くーし  
ゃん] 掘り起こす。土の中から根こそぎ掘り起  
こす。【例】きーゆ くーす (木を掘り起こす)。

くーず [ku:dzı] [名] [植] [くー<sup>1</sup>ずまい...] 楮  
(こうぞ)。和紙の原料。【類】「かじぎー」。

くーすーギん [ku:sı:kın] [名] [く<sup>1</sup>ーすー<sup>1</sup>ぎんま  
い...] 繕った着物。

くーすーなび [ku:sı:nabi] [名] [く<sup>1</sup>ーすー<sup>1</sup>なび  
まい...] 修理した鍋。

くーすーふく [ku:sı:fuku] [名] [く<sup>1</sup>ーすー<sup>1</sup>ふく

- まい...) 繕った服。
- くーっふイ [ku:ffi] [動 I 類 c 型] [くーっふいー、くーっふあん] 準備する。支度する。
- くーっふいムー [ku:ffimm] [名] [くーっふいム<sup>1</sup>ーまい...] 水気の少ない芋。飲み込みにくい状態の芋。
- くーっふいリ [ku:ffi] [動 II 類 c 型] [くーっふいー、くーっふいん] 水気が少ない。飲み込みにくい状態にある。
- ぐーてい [gu:ti] [名] [魚] [ぐー<sup>1</sup>ていまい...] はこぶぐ。【類】「くーふた」。
- ぐーてい [gu:ti] [名] [ぐー<sup>1</sup>ていまい...] 煙草刻み用の板。
- ぐーどうーら [gu:du:ra] [名] [ぐー<sup>1</sup>どうーらまい...] 仲間同士。同類。考えの同じ者同士。【同】「ぐーどうーれ」。
- ぐーどうーれ [gu:du:re] [名] [ぐー<sup>1</sup>どうー<sup>1</sup>れまい...] 仲間同士。同類。考えの同じ者同士。【同】「ぐーどうーら」。
- ぐーとうがぐーとう [gu:tugagu:tu] [擬] [ぐーとう<sup>1</sup>がぐーとうまい...] うろうろ。さまよう様。当てもなく歩き回る様。
- ぐーとうがにー [gu:tugani:] [名] 草笛。福木の若葉の表皮を吹いて鳴らす。
- ぐーとうぐーとう [gu:tugu:tu] [擬] 落ち付きのないこと。
- ぐーとうまーリ [gu:tuma:] [名] [ぐー<sup>1</sup>とうまーリまい...] ぐるぐる回ること。うろうろ歩きまわる。同じ所を歩き回ること。
- ぐーとうみギ [gu:tumik] [動 I 類 c 型] [ぐーとうみきー、ぐーとうみかん] 落ち付きがない。右往左往する。
- くーにー [ku:ni:] [名] [くーに<sup>1</sup>ーまい...] 殻のまま煮ること。【例】くーにーくが (半熟卵)。
- ぐーばリ [gu:ba] [名] [ぐー<sup>1</sup>ばリまい...] 畑の岩盤を割ること。畑の整備作業。
- くーピギ [ku:p]k] [名] [くーピ<sup>1</sup>ギまい...] 粉挽き。石臼で麦、豆を挽く。粉にすること。
- くーふしゅリ [ku:fuceu] [名] [くーふしゅ<sup>1</sup>リまい...] 粉薬。
- くーふた [ku:futa] [名] [魚] [くーふ<sup>1</sup>たまい...] はこぶぐ。【類】「ぐーてい」。
- ぐーふつ [gu:futs] [名] [ぐー<sup>1</sup>ふつ<sup>1</sup>まい...] 囲碁を打つ遊び。
- ぐーふつあぐ [gu:futsjagu] [名] [ぐー<sup>1</sup>ふつあぐ<sup>1</sup>まい...] 囲碁仲間。
- くーぶに [ku:buni] [名] [くーぶにまい...] 背骨。背中。
- くーぶり [ku:buri] [名] [くーぶりま<sup>1</sup>い...] 腰の曲がり。猫背。【例】くーぶりピとう (猫背の人)。
- ぐーぶり [gu:buri] [名] [ぐー<sup>1</sup>ぶりまい...] 囲碁に夢中であること。囲碁に凝っていること。
- くーまがリ [ku:maga] [名] [くーまがリまい...] 腰曲がり。腰が曲がること。【例】くーまがリけ ぱたらギ (背がまるがるまで働く)。
- くーむや [ku:muja] [名] [昆虫] [くーむ<sup>1</sup>やまい...] ごきぶり。
- ぐーや ぐー [gu:ja gu:] [連語] 類は類同士。仲間同士。【類】「ぐーでーん」。
- くーやー [ku:ja:] [名] [くーや<sup>1</sup>ーまい...] 貧困の家庭。貧乏家庭。【同】「かうやー」「こーやー」。
- くーやけ [ku:jake] [名] [魚] [くーや<sup>1</sup>けまい...] はりせんぼん。
- くーゆに [ku:juni] [名] [くーゆ<sup>1</sup>にまい...] 皮の粟。まだ精げていない粟。この状態で人頭税として納めた。
- くーリ [ku:] [名] [くーリ<sup>1</sup>まい...] 庫裏。家の奥の部屋。物置。【例】くーリんか かつふいリ (物置に隠れる)。
- くーリ [ku:] [動 I 類 c 型] [くーりー、くーらん] 成熟する。成長する。一人前になる。果実が熟する。
- くーリリ [ku:ri] [動 II 類 c 型] [くーりー、くーりん] 根こそぎ倒れる。崩れる。【例】うぶかでいんや きーや くーリリ (台風には木は根こそぎ倒れる)。
- くーる [ku:ru] [名] [くー<sup>1</sup>るまい...] 独楽。木を輪切りにしたもの。
- くーるギー [ku:rugi:] [名] [くー<sup>1</sup>るギー<sup>1</sup>まい...] 輪切り。大根の輪切り。

くーるぐつ [kurugutsʃ] [名] [植] [くー<sup>1</sup>るぐつ  
まい...] さるとりいばら。つる性。縄の代用にもなる。神事のとき頭に巻く。

くーるまーす [ku:ruma:sʃ] [名] [くー<sup>1</sup>るまーす  
まい...] 独楽回し。道路で両側に向き合って棒で独楽を打つ遊び。

くーれ [ku:re] [名] 程。程の。【例】ヴヴあくー  
れが (君ほどの者が)。

ぐーん [gu:n] [名] [ぐー<sup>1</sup>んまい...] 御恩。

ぐーん なり [gu:n na:] [連語] 仲間になる。同士になる。【例】ぐーん なりー あうやー すー (仲間に入って喧嘩する)。

くが [kuga] [連体] これほどの。【例】くが たか  
しゃぬ むぬがま (こんなに安価なもの)。

くが [kuga] [名] [く<sup>1</sup>がまい...] 卵。卵の総称。  
【例】くがう やギ (卵焼きをする)。くがぬ す  
でい<sup>1</sup> (卵からひながかえる)。

ぐかい [gukai] [名] [ぐかいまい...] 誤解。【例】  
ばなすう ぐかい すー (話を誤解した)。

くがき [kugaki] [名] [くがきまい...] 小掛け。小  
さく耕す。小さく仕掛ける。

くがじゃき [kugadzaki] [名] [く<sup>1</sup>がじゃきまい...]  
卵を酒に混ぜて飲むもの。疲労回復や風邪引き  
に効果がある。

くがす [kugasʃ] [動 I 類 c 型] [くがしー、くがし  
ゃん] 焦がす。煮物を焦がす。【例】むっすうー  
やきー くがし (むしろを焼いて焦がした)。

くがす [kugasʃ] [動 I 類 c 型] [くがしー、くが  
しゃん] 漕がす。船を漕がせる。【例】しゃばに  
う くがしやずー (しゃばにを漕がせよう)。

くがた [kugata] [名] [くがたまい...] 小型。【例】  
くがたエンジン (小型の機械)。くがたぬ しゃ  
ばどう あたり (小さな鮫だった)。

くがつ [kugatsʃ] [名] [くが<sup>1</sup>つまい...] 九月。長  
月。菊月。白露。秋分の季節。「二百十日」は9  
月1日頃。

ぐがつ [gugatsʃ] [名] [ぐが<sup>1</sup>つまい...] 五月。さ  
つき。立夏。小満の季節。沖縄は梅雨に入る。

くがった [kugatta] [名] [指] [く<sup>1</sup>がった「まい...」  
こいつ。この野郎。

くがなす [kuganasʃ] [名] [く<sup>1</sup>がなす「まい...」産

卵。家で飼っている鶏の産卵。【例】まいにつ  
くがなす (毎日産卵する)。

くがに [kugani] [名] [くがにまい...] 黄金。子ど  
ものことを黄金に例える。子どもは宝という意  
味。【例】ばが くがに (私の宝物)。

くがにいる [kuganiiru] [名] [くがにるまい...]  
黄金色。金色。【例】むぎぬ くがにる (麦の  
穂が金色に輝いている)。

くがにしょうかん [kuganiçaukan] [名] [くがに  
しょうかんまい...] 黄金に例える塩。正月に清  
めをする塩。皿の塩を客の手に乗せて清める。  
【同】「くがにしょーかん」。【類】「しょうかん」。  
「しょーかん」。

くがにしょーかん [kuganiçoiikan] [名] [くがに  
しょーかんまい...] 黄金に例える塩。正月に清  
めをする塩。皿の塩を客の手に乗せて清める。  
【同】「くがにしょうかん」。【類】「しょうかん」。  
「しょーかん」。

くがにピー [kuganiibi:] [名] [くがにピーまい...]  
黄金日。めでたい日。吉日。佳日。【例】くが  
にピーゆ いらび (吉日を選びなさい)。きうぬ  
くがにピー (今日の佳吉日)。

くがにふしゅ<sup>1</sup> [kuganifuçu:] [名] [くがにふし  
ゅ<sup>1</sup>まい...。くがにふしゅ<sup>1</sup>まい...] 黄金葉。  
効き目の良い葉。

くがにふぬー [kuganifunu:] [名] [くがにふぬー  
まい...] 在来種のみかん。ひらみれもん。小さ  
くて、とてもすっぱい。大人はよく刺身にかけ  
て食べた。

くがらす [kugarasʃ] [動 I 類 c 型] [くがらしー、  
くがらしゃん] 焦がれさせる。苦しめる。【例】  
やムビとー やーんか うがらす (病人は家  
中を焦がれさせる)。

くからふ [kukarafu] [名] [くから<sup>1</sup>ふまい...] 誕  
生祝い。命名祝い。生後4日目に行われる。朝  
の早い時間に砂浜の「なぐるし」を拾ってきて、  
「にら」を混ぜて塩味の吸い物をつくり、神棚に  
供える。命名は先祖の名前を書いた紙切れをお  
盆に乗せて選ぶ。その時の名前が「やらび名」  
である。【類】「ゆかしやうずばり」。「ゆかしよ  
ーずばり」。

くがりり [kugari] [動 II 類 c 型] [くがりー、くがりん] 焦がれる。苦しむ。【例】うむいくがりり (思い焦がれる)。まつくがりり (待ちくたびれる)。

ぐかん [gukan] [名] [ぐかんまい...] 五貫。10 銭。

くぎ [kugi] [動 I 類 c 型] [くぎー、くがん] 子守りをする。あやす。泣き止まない赤子をあやす。【例】ゆいしゃーう くぎー あやす (ぶらんこを漕いであやす)。

くぎ [kugi] [動 I 類 c 型] [くぎー、くがん] 漕ぐ。船を漕ぐこと。【例】くがいどうす (漕ぐことができる)。くがいり (漕げる)。

ぐき [guki] [名] [ぐきまい...] 桶。水を溜める桶。きび汁を溜める桶。水汲み用の桶。【類】「たぐ」。

くきしゃーり [kukic̣a:] [形] [くきしゃまい...] 気障っぽい。へそまがりである。

くきふーり [kukifu:] [名] [くきふーりまい...] すまし顔。しらん顔。もっともらしい態度。【例】くきふーりやらび (すまし顔の子ども)。

くぎり [kugiri] [動 I 類 c 型] [くぎりー、くぎらん] 区切る。仕切る。【例】すぐとうー くぎり (仕事に区切りをつける)。んなーう ぱりーくぎり (縄を張って区切る)。

くく [kuku] [名] 穀物のこと。粟・麦・豆・黍・高黍。五穀のこと。この五穀は全て多良間に栽培された。人頭税として納められた。

くく [kuku] [名] [くくまい...] 石 (こく)。穀物の量の単位。石高 (こくだか)。【例】いっくく (一石)。

くくー [kuku:] [名] [くくーまい...] 穀雨。二十四節気の一つ。4 月 20 日頃。

くくじゃうぬー [kukudzaunu:] [名] [くくじゃうぬーまい...] 穀上納。人頭税の納税。【類】「くくじょーぬー」。

くくじょーぬー [kukudzo:nu:] [名] [くくじょーぬーまい...] 穀上納。人頭税の納税。【類】「くくじゃうぬー」。

くくつ [kukutsu] [名] [くくつまい...] 器用さ。技の程度。巧み。仕事ぶり。【例】すぐとうぬ く

くつ (仕事の器用さ)。

くくつ [kukutsu] [名] [くく<sup>1</sup>つまい...] 心地。気分。【例】たらまぬ すまくくつ (多良間の住み心地)。

くぐとう [kugutu] [名] [くぐとうまい...] 小言。不平。不満を言うこと。ぶつぶついやみを言うこと。

くくぬ ピとう [kukunu pitu] [名] [くくぬピ<sup>1</sup>とうまい...] 九人。【類】「くにん」。

くくぬか [kukunuka] [名] [くくぬかまい...] 九日。【例】くくぬかみす (九日目の神酒)。【同】「くにつ」。

くくぬかみす [kukunukamis] [名] [くくぬかみすまい...] 九日前から仕込んだ神酒。スツウブナカのくくぬかみす)。

くくぬすてい [kukunuṣti] [名] [くくぬすていまい...] 九十年。九十歳。卒寿。

くくぬつ [kukunutsu] [名] [くくぬ<sup>1</sup>つまい...] 九。九個。九歳。ここのつ。

くくぬてい [kukunuti] [名] [くくぬ<sup>1</sup>ていまい...] 九年。【類】「くにん」。

ぐくらく [gukuraku] [名] [ぐくら<sup>1</sup>くまい...] 極楽。天国。浄土。

くくる [kukuru] [名] [くく<sup>1</sup>るまい...] 心。精神。肝心 (ぎむくくる)。【例】くくるがき (心がけ)。くくるがーり (心変り)。くくるゆるす (心をゆるすこと)。

くくるあたり [kukuruata] [名] [くくるあた<sup>1</sup>りまい...] 心あたり。心に思い当たる。

くくるい [kukurui] [名] [くくる<sup>1</sup>いまい...] 穀類。五穀。「くく」の項目を参照。

くくるい [kukurui] [名] [くくる<sup>1</sup>いまい...] 心得。心がけ。

くくるいり [kukurui] [動 II 類 c 型] [くくるいー、くくるいん] 心得る。心がける。【例】ならーすねーん くくるい (教えたことを心得なさい)。

くくるがーり [kukuruga:] [名] [くくるがー<sup>1</sup>りまい...] 心変わり。心移り。【例】ペーたーくくるがーりら ねーん (私たちは心変りはないぞ)。

くくるがき [kukurugaki] [名] [くくるが<sup>1</sup>きまい...] 心掛け。

くくるがき<sup>1</sup> [kukurugaki] [動 II 類 c 型] [くくるがき一、くくるがきん] 心掛ける。【例】くくるがき<sup>1</sup>る (心掛けよ)。いつまい くくるがき一ぶり (毎日心掛けているよ)。ペーうきう くくるがきず一 (早起きを心掛けよう)。

くくるがまい [kukurugamai] [名] [くくるがま<sup>1</sup>いまい...] 心構え。心の準備。【例】くくるがまいや なりった (心構えは出来た)。

くくるから [kukurukara] [連語] 心から。真心を込めて。心をつくして。【例】くくるから っさい<sup>1</sup> (心から申しあげる)。

くくるぬ なか [kukurunu naka] [連語] 心の中。思っていること。感じていること。

くくるみ [kukurumi] [名] [くくる<sup>1</sup>みまい...] 試み。試し。【類】「たみす」。

くくるみ<sup>1</sup> [kukurumi] [動 II 類 c 型] [くくるみ一、くくるみん] 試みる。試してみる。【類】「たみす」。

くくるむつ [kukurumutsu] [名] [くくるむ<sup>1</sup>つまい...] 心持ち。気だて。性格。心の持ち方。

くくれ一き [kukure:ki] [名] [くくれ一<sup>1</sup>きまい...] 心焼け。胸焼け。【例】なまム一ゆ ふえ一くくれ一きう しい<sup>1</sup> (生いもを食べて胸焼けしている)。

ぐご一 [gugo:] [名] [ぐご一<sup>1</sup>まい...] 五合。1 升の半分。

ぐざ [gudza] [名] [ぐ<sup>1</sup>ざまい...] ござ。むしろ。あだん葉むしろ。【類】「むっすう」。

くしかき [kuçikaki] [名] [くしか<sup>1</sup>きまい...] 腰掛け。【例】くしかきん び一 わ一り (腰掛に座って下さい)。

くしき [kuçiki] [名] [くしきまい...] 戸籍。本籍地の市町村長が管掌する。

くしまき [kuçimaki] [名] [くしまきまい...] 腰巻き。女性の身に着けるもの。

くしゃぎ [kuçagi] [名] [植] [くしゃぎまい...] くさぎ。臭い木。実は染料。【類】「くしゃぎぎ一」。

くしゃぎぎ一 [kuçakigi:] [名] [植] [くしゃぎぎ

<sup>1</sup>一まい...] 植物の一種。

くしゃぎぎ一 [kuçagigi:] [名] [植] [くしゃぎぎ<sup>1</sup>一まい...] くさぎ。臭い木。実は染料。【類】「くしゃぎ」。

ぐしゃく [guçaku] [名] [ぐしゃくまい...] 五尺。尺貫法の長さの単位。一尺は 30 センチメートル。昔の男性の身長は五尺と言われる。

くしゃす [kuças:] [名] [くしゃすまい...] 腰差し。たばこ入れ。【類】「ぶどう一」。

くしゃす [kuças:] [動 I 類 c 型] [くしゃし一、くしゃしゃん] けなす。非難する。欠点ばかりを避難する。【例】ピとう一 くしゃす (他人を非難する)。

くしゃす [kuças:] [動 I 類] [くしゃし一、くしゃしゃん] 来させる。〈ギ一〉 (来る) の使役形。

くしゃてい [kuçati] [名] [くしゃ<sup>1</sup>ていまい...] 後ろの方。【類】「くす」。

くしゃてい [kuçati] [名] [くしゃ<sup>1</sup>ていまい...] 腰の後ろに両手を組むこと。【例】くしゃてい しい ぶりば ムめ ういピとうん なりった (手を後ろに組んでいるから、もう年寄りになった)。

くしゃム [kuçam] [名] [くしゃ<sup>1</sup>ムまい...] くさめ。【類】「ばなピー」。

ぐしゃム [guçam] [名] [ぐしゃ<sup>1</sup>ムまい...] 杖。棒。【例】ぐしゃムつギ (杖を持つ)。

ぐしゃムすっじゃ [guçamsıddza] [名] [ぐしゃ<sup>1</sup>ムすっじゃまい...] 杖さとうきび。お盆の時に仏壇にかざるさとうきび。神様があの世に行くための杖。

くじゃら [kudzara] [名] [くじゃらまい...] 小皿。小さい皿。大皿・中皿に対して言う。

くしゆ [kuçu] [名] [く<sup>1</sup>しゆまい...] 古酒。長い年月熟成させた酒 (泡盛)。

くじゆ [kudzu] [名] [くじゆま<sup>1</sup>い...] こぞ。去年。昨年。

ぐじゆ一 [gudzu:] [名] [ぐじゆ<sup>1</sup>一まい...] 五十。五十歳。【例】ぐじゆ一にん (五十人)。

ぐじゆ一かた [gudzu:kata] [名] [病] [ぐじゆ一か<sup>1</sup>たまい...] 五十肩。

ぐしゆ一よ一 [guçu:jo:] [名] [ぐしゆ<sup>1</sup>一よ一ま

い...) 御衆様。皆様。会合のときの挨拶。【例】  
ぐしゅーよー ムーながみ... (お集まりの皆様...)

くしゅくイ [kuçukur] [名] [くしゅくイまい...]  
腰憩。慰労会。疲れいやしに飲む酒。

ぐじゅぐじゅ [gudzugudzu] [擬] くすぐるとき  
に言う。赤ちゃんをくすぐる。赤ちゃんとのスキ  
ンシップ。

ぐしよー [guço:] [名] [ぐしよーまい...] 後世。あ  
の世。

くじらす [kudziras] [動 I 類 c 型] [くじらしー、  
くじらしゃん] こじらせる。病気をこじらせる。  
【例】ばなピギう くじらしーねーん (風邪をこ  
じらせてしまった)。

くじん [kudzjin] [名] [くじんまい...] 小銭。紙幣  
でないお金。【類】「かにじん」。「ぐまじん」。

ぐしん [guçin] [名] [ぐしんまい...] 女性の陰部。  
【類】「ピー」。

ぐじんぷー [gudzjnpu:] [名] [ぐじんぷーまい...]  
御前風。祝い座に嘉例をつける踊りのこと。主  
として「かぎやでい風節」を演ずる。

くす [kus] [名] [くすまい...] 腰。背中。【例】く  
すぬ やム (腰が痛い)。【類】「くすぶに」。

くす [kus] [名] [くすまい...] 後ろ。【例】やー  
ぐす (家の後ろ)。【類】「くしゃてい」。

くす [kus] [名] [くすまい...] 味方。頼りになる  
者。縁者。親戚の人たち。

くす [kus] [動 I 類 a 型] [くしー、くしゃん] 越  
す。引越す。住宅を変える。移る。移転する。  
転居する。【例】やーくす (住宅を引っ越す)。

くす [kus] [動 I 類 a 型] [くしー、くしゃん] 運  
ぶ。【例】すっじゃう くす (刈り取ったさとう  
きびを運ぶ)。くしー ばしゃん ぬしーり (運  
んで馬車に乗せる)。

くす [kus] [動 I 類 a 型] [くしー、くしゃん] ろ  
過する。不純物をこし取る。いもの澱粉をとる。  
【例】くずう くす (澱粉をとる)。

くず [kudz] [名] [くずまい...] 澱粉。炭水化物。  
植物の光合成によって作られた炭水化物。【例】  
ムーくず (いも澱粉)。

ぐす [gus] [名] [ぐすまい...] 節。竹の節。さと

うきびの節。イネ科の植物にある。【例】なが  
ぐす (節の間の長いこと)。

ぐす [gus] [名] [ぐすまい...] 鞭。棒。木の枝の  
葉を除いたもの。馬を鞭で叩いて走らせる。

ぐす [gus] [名] [ぐすまい...] 串。くぎぐす (木  
の串)。くかにぐす (金属の串)。くたきぐす  
(竹の串)。

ぐず [gudz] [名] [魚] [ぐずまい...] ぶだいの  
仲間。かんむりふだい。

くすあてい [kusjati] [名] [くすあていまい...]  
腰当て。腰当てにするもの。

くすあていり [kusjati] [動 II 類 c 型] [くすあ  
ていー、くすあていん] 腰当てる。腰当てにす  
る。【例】むぎだーらう くすあていり (麦俵を  
腰当てにする)。

くすえーぎ [kusje:gi] [名] [くすえーぎまい...]  
手を腰にしばること。和服の袖を腰にしばること。

くすか [kuska] [名] [指] [くすかまい...] こ  
れだけ。少しのときに言う。残り少ない。【同】  
「くすき」「くすけ」。

くずかい [kudzikai] [名] [くずかいまい...] 小遣  
い。小遣い銭のこと。

くずかい [kudzikai] [名] [くずかいまい...] 小使  
い。用務員のこと。

くずかいしん [kudzikaiçin] [名] [くずかいしん  
まい...] 小遣銭。現代の子どもは小遣い銭をね  
だる。

くずがす [kudzgas] [名] [くずがすまい...] い  
もから澱粉をとった粕。

ぐすがた [gusgata] [名] [ぐすがたまい...] 節  
間が短いこと。さとうきびの茎を言う。

ぐすかたしゃーり [guskataça:] [形] 節が多い。  
イネ科の植物の節の間が短い。さとうきび・す  
すきなどに言う。

くすかムーな [kuskamma] [名] [指] [くすか  
ムーなまい...] こんなにたくさん。【例】くす  
かムーな ゆいり (こんなにたくさんもらう)。

くすき [kuski] [名] [指] [くすきまい...] こ  
れだけ。【同】「くすか」「くすけ」。

くずギ [kudzki] [名] [病] [くずギまい...] ハ

ンセン病。今は禁句。

ぐすく [gusʌku] [名] [ぐす<sup>1</sup>くまい...] 城。首里城。首里城跡。今帰仁城跡。中城城跡。勝連城跡。座喜味城跡。2000年に世界遺産に登録された。【類】「とうぬつ」。

ぐすくべ [gusʌkubɛ] [名] [ぐすくべまい...] 城辺。地名。宮古島市に属する。

くすけ [kusʌkɛ] [名] [指] [くす<sup>1</sup>けまい...] これだけ。【例】くすけどう あげ (これだけしかない)。ヴヴあが むてー くすけ (君の分はこれだけだ)。【同】「くすか」「くすき」。

くすけー [kusʌkɛ:] [感] くしゃみの呪文。

くすじゅーしゃーり [kusʌdʒu:ɕa:] [形] [くすじゅーしゃまい...] うしろ立てが強い。応援者が多い。味方が多い。

くすじゅーむぬ [kusʌdʒu:munu] [名] [くすじゅーむぬまい...] 後援者に恵まれた人。応援者・味方が多い人。【例】くすじゅーむぬのー とーしん (味方の多い者は当選)。

くずちよーき [kudzʌtɕo:ki] [名] [くずちよーきまい...] 芋澱粉のつまみ。

ぐすとうぎ [gusʌtugʌ] [名] [ぐ<sup>1</sup>すとうぎ<sup>1</sup>まい...] 串作り。木・竹を削って串を作る。

くすながに [kusʌnagani] [名] [くすながにまい...] 背中。背骨。【類】「くすぶに」。

ぐずぬ ふたい [gudzʌnu futai] [名] [ぐずぬふたいまい...] おでこ。額が飛び出ていること。〈ぐず〉はぶだいの仲間。

くすぬ やー [kusʌnu ja:] [名] [くすぬや<sup>1</sup>まい...] 後ろの家。後ろの隣家。

くすばだか [kusʌpadaka] [名] [くすばだかまい...] 腰の裸。上半身が裸のこと。【類】「あかばだか」。

くずばんびム [kudzʌpanbim] [名] [くずばんびムまい...] 澱粉のてんぶら。いもの澱粉のてんぶら。

くすぶに [kusʌbuni] [名] [くすぶにまい...] 腰骨。背椎。背中。腰。【例】くすぶにう かき (背中を搔きなさい)。くすぶにぬ やム (腰が痛い)。【類】「くす」「くすムに」「しびら」。

くずま [kudzʌma] [名] [くずま<sup>1</sup>まい...] 小島。群

島の中で小さい島を言う。【類】「すまがま」。

くすまーり [kusʌma:] [名] [くすまーりうまい...] 腰まわり。腹囲。ウエスト。

くすまがり [kusʌmaga:] [名] [くすまがりまい...] 腰曲がり。腰を曲げている状態。

くすまがりぴとう [kusʌmaga:pʌtu] [名] [くすまがりぴ<sup>1</sup>とうまい...] 腰の曲がっている人。猫背。

くずむつー [kudzʌmutsʌ:] [名] [くずむつーまい...] 澱粉で作った餅。

くすむてい [kusʌmuti] [名] [くすむていまい...] 後ろの方角。北の里。

くすむていばる [kusʌmutibarʌ] [名] [くすむていばるまい...] 北の方の畑。

くすムに [kusʌmni] [名] [くすムにまい...] 背中。腰。腰嶺か。【類】「くす」「くすぶに」。

くすムばす [kusʌmbasʌ] [動 I 類 c 型] [くすムばしー、くすムばしゃん] 背伸びする。【例】ていーう あぎー くすムばす (手をあげて背伸びする)。

くすやどうふつ [kusʌjadufutsʌ] [名] [くすやどうふ<sup>1</sup>つまい...] 裏口。家の裏口。

くすやム [kusʌjam] [名] [病] [くすや<sup>1</sup>ムまい...] 腰痛。【例】ばるー かでいー くすやム (畑を耕して腰が痛い)。

くずゆー [kudzʌju:] [名] [くずゆーまい...] 澱粉の粥。澱粉を水に溶かし湯をかけたもの。

くすよーしゃーり [kusʌjo:ɕa:] [形] [くすよーしゃまい...] 後援者が弱い。うしろ立てが少ない。後援者が少ない。味方が少ない。

くすよーむぬ [kusʌjo:munu] [名] [くすよーむぬまい...] 後援者の弱い人。うしろ立ての少ない人。後援者の少ない人。

くずりり [kudzʌri:] [動 II 類 c 型] [くずりー、くずりん] 崩れる。倒れる。潰れる。【例】いしがギぬ くずりり (石垣が崩れる)。

くだ [kuda] [連語] 来い。来なさい。【例】あたままた くだ (明日また来なさい)。

くだー [kuda:] [名] [指] [くだ<sup>1</sup>まい...] 遠い所からこちらへの意味。【例】くだーがみ ギたり (こんなに遠い所まで来た)。くだーやー (こ

んなに遠い所の家)。くだんけー (こんなに遠い所まで)。  
 くだムーな [kuda:mmna] [名] [指] [くだ<sup>1</sup>ムーなまい...] こんなに遠い所あたり。【例】くだムーな あすび (こんな遠い所に遊ぶ)。  
 くだい [kutai] [名] [くだいまい...] 答え。返事。返答。  
 ぐたい [gutai] [名] [ぐたいまい...] 五体。体全体。胴体。体躯。体格。体つき。  
 くだいり [kutai] [動II類a型] [くだいー、くだいん] 耐える。忍耐する。疲れる。精神的に打撃を受ける。身にしみてこたえる。【例】ぴーしゃん くだいり (寒さにこたえる)。  
 くだいり [kutai] [動II類a型] [くだいー、くだいん] 答える。返事する。返答する。【例】くだいだかー ならん (答えなければいけない)。  
 イーくとうん くだいる (言うことに答えなさい)。  
 くだき [kudaki] [名] [指] [くだ<sup>1</sup>きまい...] この丈。この高さ。とても高いことに言う。【例】くだきぬ ぬーま (とても高い馬)。  
 くだきー [kudaki:] [名] [指] [く<sup>1</sup>だきー「まい...] この高さ。【例】くだきーぬ ぴんだ (この高さの山羊)。【同】「くだけー」。  
 くだきーがま [kudaki:gama] [名] [指] [く<sup>1</sup>だきー「が<sup>1</sup>まい...] この丈。この高さ。とても低いことに言う。【同】「くだけーがま」。  
 くだきムーな [kudakimna] [名] [指] [くだ<sup>1</sup>きムーなまい...] とても高いこと。【例】くだきムーなぬ にー (とても高く積まれた荷)。  
 くだきり [kudaki] [動II類a型] [くだきー、くだきん] 腰の帯に鎌などを差す。  
 くだけー [kudake:] [名] [指] [く<sup>1</sup>だけー「まい...] この高さ。【同】「くだきー」。  
 くだけーがま [kudake:gama] [名] [指] [く<sup>1</sup>だけー「が<sup>1</sup>まい...] この丈。この高さ。とても低いことに言う。【同】「くだきーがま」。  
 くだす [kudas] [動I類c型] [病] [くだしー、くだしゃん] 下す。下痢する。  
 くだす [kudas] [動I類c型] [くだしー、くだしゃん] 下す。命令を下す。指示する。指揮を

とる。

くだすぎ [kudas] [名] [くだすぎま<sup>1</sup>い...] 家の一番座。普通、東側にある。主人の寝る部屋。【類】「いつばんじゃー」。  
 くだみぎ [kutami] [動I類c型] [くだみきー、くだみかん] ぐっすり寝る。熟睡する。  
 くだらん [kudaran] [連語] くだらないこと。つまらない。【例】くだらん ばなす (くだらない話)。  
 くだり [kuda] [名] [くだりまい...] 下り。話のくだり。【例】ふつゆムぬ くだり (台詞のくだり)。  
 くだり [kuda] [動I類a型] [くだりー、くだらん] 下りる。降りる。坂を下りる。  
 くだり [kuda] [動I類a型] [くだりー、くだらん] 下る。言い渡される。指示される。  
 くだんそー [kudanso:] [名] [植] [くだんそ<sup>1</sup>まい...] ちしゃの仲間。【類】「ふだんそー」。  
 くだんでいり [kutandi] [動II類c型] [くだんでいー、くだんでいん] へたばる。過労する。仕事がいやになる。疲れる。【例】しゃきう ぬみー くだんでいり (二日酔いしている)。  
 くちき [kutçiki] [名] [くちきまい...] 入れもの。あだなす縄でくばの葉を編んだ袋。【類】「くちきぐー」。  
 くちきぐー [kutçikigu:] [名] [くちきぐ<sup>1</sup>まい...] 入れもの。昆布の入った大きい袋。【類】「かまじーぐー」。「くちき」。「ぴーばーぐー」。  
 くちゃき [kutçaki] [名] [くちゃきまい...] くばの葉で作ったざる。  
 くつ [kuts] [名] [く<sup>1</sup>つまい...] 靴。革靴。サンダル。スニーカー。  
 くつ [kuts] [名] [く<sup>1</sup>つまい...] 骨。遺骨のこと。  
 くつ [kuts] [名] [く<sup>1</sup>つまい...] こつ。要領。【例】すぐとうぬ かつ (仕事の要領)。  
 ぐつ [gu?] [擬] 水を飲みこむこと。幼児語。【例】ぐつていー ぬみ (ぐつと飲みなさい)。  
 くくつ [kukku?] [擬] 鶏の親がひなを呼ぶ様。  
 くっじばら [kuddzibara] [名] [くっじば<sup>1</sup>らまい...] 苦勞のせい。【例】くすやムや くっじばら (腰痛は苦勞のせいだ)。

くっじむぬ [kuddzimunu] [名] [くっじむ<sup>1</sup>ぬまい...] 苦勞者。苦勞人。

くっじゃす [kuddzas] [動I類 a型] [くっじゃしー、くっじゃしゃん] 苦勞させる。【例】っふあぬどう くっじゃす (子どもが苦勞させる)。

くっじり [kuddzi] [動II類] [くっじー、くっじん] 苦勞する。悩む。精神的に苦しむ。

くっずー [kuddz:] [動I類 c型] [くっじー、くっじゃん] 苦しむ。苦勞する。難儀する。【例】くっじーてーん (苦しんでばかり。苦勞ばかり)。

くつぱぎ [kutsipagi] [名] [く<sup>1</sup>つぱぎまい...] 靴ずれ。

ぐつふあ [guffa] [擬] 棒や銚で地面や干瀬を突くこと。蛸漁の人に見られる。【同】「ごつふあ」。

ぐつふあみギ [guffamik] [動I類 c型] [ぐつふあみきー、ぐつふあみかん] 勢よく突く。

くてい [kuti] [名] [くていまい...] 下あご。【類】「くていぶに」。

くでい [kudi] [名] [地] [く<sup>1</sup>でいまい...] 多良間島の〈とうぶり〉の名前。村史参照。

くていぶに [kutibuni] [名] [くていぶにまい...] 下あごの尖っている部分。【類】「くてい」。

くとう [kutu] [終] ~すべき。【例】ヴヴァが すーくとう (君がすべきだ)。

くとう [kutu] [名] [く<sup>1</sup>とうまい...] 事。事柄。物事。出来事。事件。人間の行為。成果。現象。【例】たらまぬ くとう (多良間の事柄)。むぬぐとう (物事)。ぬーぐとうが (何事か)。

くとう [kutu] [名] [く<sup>1</sup>とうまい...] 言。【例】ふたくとう (二言)。くとうば (言葉)。

くとう [kutu] [名] [く<sup>1</sup>とうまい...] 琴。和琴。琉球琴。大正琴。弦楽器。

くとう [kutu] [副] 殊。殊に。特に。特別に。〈くとうん〉の形で使われる。【例】くとうん うーしゃーり (特別大きい)。

ぐとう [gutu] [名] ~ごとく。~のように。【例】たきぬ ぐとうぬ あみ (滝のような雨)。

くどうギ [kuduk] [名] [く<sup>1</sup>どうギまい...] 口説き。琉球舞踊の一つ。上り口説。下り口説。四季口説。波平 (はんじゃ) 口説。

くどうギ [kuduk] [動I類 c型] [く<sup>1</sup>どうきー、く

どうかん] 口説く。説得する。自分の意向に任せようとする。【例】く<sup>1</sup>どうきー とうらす (口説いてやる)。

く<sup>1</sup>どうきり [kudukil] [動II類 a型] [く<sup>1</sup>どうきー、く<sup>1</sup>どうきん] 腰にかける。腰に鎌を差す。

く<sup>1</sup>どうす [kutus] [名] [く<sup>1</sup>どうすまい...] 今年。本年。【例】く<sup>1</sup>どうすぬ しゃうがつ (今年の正月)。く<sup>1</sup>どうすエー にどうす (今年は子年)。

く<sup>1</sup>どうば [kutuba] [名] [く<sup>1</sup>どう<sup>1</sup>ばまい...] 言葉。人間の言語。共通語。方言。外国語。意志・思想・感情を表現する。

ぐ<sup>1</sup>どうば [gutupa] [名] [病] [ぐ<sup>1</sup>どう<sup>1</sup>ばまい...] 疥癬 (かいせん)。

く<sup>1</sup>とうわり [kutuwari] [動I類 c型] [く<sup>1</sup>とうわりー、く<sup>1</sup>とうわらん] 断わる。拒否する。応じられないこと。【例】しゃきぬムゆ く<sup>1</sup>とうわりー (酒飲みを断った)。

く<sup>1</sup>とうん [kutun] [連語] 殊に。特に。特別に。【例】く<sup>1</sup>とうん ぬーまい ねーん (特に何も無い)。

ぐ<sup>1</sup>とうん [gutun] [連語] ~ごとに。~たびに。【例】むぬふーぐ<sup>1</sup>とうん うぐなーり (食事のたびに集まる)。

ぐ<sup>1</sup>どうん [gudun] [形] [ぐ<sup>1</sup>どう<sup>1</sup>んまい...] 愚鈍。思考力の弱いこと。

ぐ<sup>1</sup>どうんむぬ [gudunmunu] [名] [ぐ<sup>1</sup>どう<sup>1</sup>んむぬまい...] 愚鈍者。思考力の弱い人。勉強のできない子ども。

ぐ<sup>1</sup>な [guna] [名] ~する人。~係。~担当。【例】みずムーぐ<sup>1</sup>な (水汲み係)。

く<sup>1</sup>ながしゃギ [kunagaçak] [名] [地] [く<sup>1</sup>ながしゃ<sup>1</sup>ギまい...] 多良間島の〈とうぶり〉の名前。村史参照。

く<sup>1</sup>なぎ [kunagi] [名] [指] [く<sup>1</sup>なぎまい...] この長さ。両手を広げて示す。【例】く<sup>1</sup>なぎぬ ぱうどう あたり (この長さの蛇だった)。【同】「く<sup>1</sup>なげー」。

く<sup>1</sup>なぎー [kunagi:] [名] [指] [く<sup>1</sup>なぎー<sup>1</sup>まい...] この長さ。両手を広げて示す。【同】「く<sup>1</sup>なぎ」。「く<sup>1</sup>なげー」。

く<sup>1</sup>なげー [kunage:] [名] [指] [く<sup>1</sup>なげー<sup>1</sup>まい...] この長さ。両手を広げて示す。【例】く<sup>1</sup>なげー

や ありー うかん (この長さはなかつただろう)。【同】「くなぎ」。

くなす [kunasʃ] [動I類 a型] [くなしー、くなしゃん] 甘える。わがまま。【例】あんなう くなしー (母にわがまましている)。

くなす [kunasʃ] [動I類 c型] [くなしー、くなしゃん] 細かくする。崩す。こね合わせる。砕いて柔らかくする。使いこなす。【例】ムたう みずしー くなす (土を水でこねる)。

ぐなん [gunan] [名] [ぐなんまい...] 五男。五番目の男の子。

くに [kuni] [名] [くにまい...] 国。国家。母国。【例】にふんぬ くに (日本国)。くにぐに (国々)。

くに [kuni] [名] [くにま<sup>1</sup>い...] 捏ね。捏ねること。

くにしゃい [kuniçai] [名] [くにしゃいまい...] 小二才。八月おどりの演目。

くにつ [kunitsʃ] [名] [くにつまい...] 九日。【類】「くくぬか」。

くにり [kuni] [動II類 c型] [くにー、くにん] 捏ねる。粉を捏ねる。メリケン粉を捏ねる。理屈を捏ねる。【例】しみんゆ くにり (セメントを捏ねる)。くーゆ くにり (粉を捏ねる)。りくつう くにり (理屈を捏ねる)。

くにん [kunin] [名] [くにんまい...] 九人。【類】「くくぬピとう」。

くにん [kunin] [名] [くにんまい...] 九年。【類】「くくぬてい」。

ぐにん [gunin] [名] [ぐにんまい...] 五人。五名。

くぬ [kunu] [連体] [指] この。【例】くぬ ぐる (この頃)。くぬ うや あとうい くぬ つふあぬ ムまりり (この親あってこの子あり)。

くぬ がギ [kunu gakʃ] [連語] [指] この餓鬼。この野郎。子どもに対して親しみを込めて言う。【例】ヴヴァー くぬがギ (おい、この餓鬼め)。

くぬ ぐる [kunu guru] [連語] [指] この頃。近頃。最近。【類】「くぬーり」。「くぬーれ」。

くぬ しゃギ [kunu çakʃ] [連語] [指] この先。今後。これから。【例】くぬ しゃギう かんがいる (今後のことを考えよ)。

くぬ しゃく [kunu çaku] [連語] [指] このほど。これぐらい。【例】くぬ しゃく うめー ぶり (これほど思っている)。くぬ しゃくまい ならんな (これほど出来ないのか)。

くぬ じゃま [kunu dzama] [連語] [指] このざま。この状態。悪い状態に言う。【例】ゆだだりむぬぬ わじゃー くぬ じゃま (怠け者の仕事はこのざまだ)。

くぬ ちら [kunu tçira] [連語] [指] この奴ら。こいつら。その場にいる人たちに言う。【例】くぬ ちらぬ ムめ... (こいつ等...)。

くぬ つギ [kunu tsʃkʃ] [連語] [指] この月。今日の月。【例】くぬ つギエー いふかづギが (今日の月は何日の月か)。

くぬ つギ [kunu tsʃkʃ] [連語] [指] 今月。【例】くぬ つギんどう ぶどうりら あり (今月八月おどりはある)。

くぬ ぶん [kunu bun] [連語] [指] この分。これ相当。これほど。【例】くぬ ぶんー じゃうぶん (この分が良い)。

くぬ へー [kunu he:] [連語] [指] こいつ。こ奴。この野郎。子どもに対して言う。

くぬ まい [kunu mai] [連語] [指] この前。以前。先日。【例】くぬまいぬ かりたり じん (この前借りたお金)。くぬ まいや ぐぶりー (この前は御無礼しました)。

くぬ まま [kunu mama] [連語] [指] このまま。そのまま。【例】くぬ まま うつきー うき (このままにして置いておきなさい)。

くぬ ゆー [kunu ju:] [連語] [指] この世。現世。

くぬーり [kunu:] [名] [指] [くぬーりまい...] この頃。近頃。最近。【例】くぬーりぬ やらびた (この頃の子どもたち)。【同】「くぬーれ」。【類】「くぬぐる」。

くぬーれ [kunu:re] [名] [指] [くぬーれまい...] この頃。近頃。最近。【同】「くぬーり」。【類】「くぬぐる」。

くぬちゃ [kunutça] [名] [指] [くぬ<sup>1</sup>ちやまい...] この奴等。こいつ等。

くぬちゃ [kunutça] [名] [指] これほど。【例】くぬちゃぬ むぬ (これほどのもの)。

くぬム [kununu] [動I類c型] [くぬみー、くぬまん] 企てる。もくろむ。考え出す。工夫する。【例】やーにうどう くぬみー ぶり (来年のことを考えている)。【類】「みくム」。

くぬム [kununu] [動I類c型] [くぬみー、くぬまん] 好む。好きになる。【例】かぬ みどうム ゆばー くぬまん (あの女をば好きでない)。

くば [kuba] [名] [植] [くばまい...] 蒲葵。びろう。つぼみを食べる。咲き終わったものは繊維として使用する。【類】「くばぎー」。

くばあうギ [kubaauɡi] [名] [くばあうギまい...] くばあう<sup>1</sup>ギまい... クバの葉で作る扇。【類】「くばぬばーあうギ」。

くばがしゃ [kubagaça] [名] [くばがしゃまい...] 蒲葵傘。くばの葉で作った帽子。

くばがなまら [kupaganamara] [名] [くばがなま<sup>1</sup>らまい...] 頑固者。融通の利かない人。

くばがなま<sup>1</sup>り [kupaganama<sup>1</sup>ri] [名] [くばがなま<sup>1</sup>りまい...] 石頭。頑固者。

くばがなまれ [kupaganamare] [名] [くばがなま<sup>1</sup>れまい...] 頑固者。融通の利かない人。

くばぎー [kubagi:] [名] [くばぎーまい...] 蒲葵木。びろう樹。葉・葉柄・花芽は日常生活に利用された。【類】「くば」。

くばぎー [kupagi:] [名] [くばぎ<sup>1</sup>ーまい...] 固い木。工作しにくい木。

くばぎむぬ [kupagimunu] [名] [くばぎむ<sup>1</sup>ぬまい...] 固そうなもの。見かけの固そうなもの。

くばしゃ [kupaça] [名] [くば<sup>1</sup>しゃまい...] 固さ。固いこと。

くばしゃー<sup>1</sup>り [kupaça:<sup>1</sup>] [形] [くば<sup>1</sup>しゃまい...] 固い。堅い。食べ物や手の感触で固い。【例】くばむぬ (固いもの)。くばピとう (頑固者)。くばしゃん ならん (固くてたまらない)。

くばしゃー<sup>1</sup>り [kupaça:<sup>1</sup>] [形] [くば<sup>1</sup>しゃまい...] 口がかたい。言葉を慎むこと。

くばじゃん [kubadžan] [名] [くばじゃんまい...] 蒲葵の葉柄。うずら獲りの仕掛けに使用する。おもちゃの船を作る。漁の浮きなどにする。

くばじゃんふに [kubadžanfuni] [名] [くばじゃんふにまい...] びろうの葉柄で作る遊び用の舟。

くばずー [kubadzɨ:] [名] [くばずーまい...] 蒲葵の葉で作ったつるべ。

くばずー [kupadzɨ:] [名] [くばず<sup>1</sup>ーまい...] 固い地面。固い畑。日照り続きの畑。

くばぬ ぱー [kubanu pa:] [名] [くばぬぱーまい...] 蒲葵の葉。扇、つるべ、雨具を作ったり、食べ物を乗せたりする。葉心はバツタ獲りの罫にする。

くばぬ ぱーあうギ [kubanu pa:auɡi] [名] [くばぬぱーあうギまい...] 蒲葵の葉で作った扇。

くばぬ ぱーしゃっすい [kubanu pa:çassɨi] [名] [くばぬぱーしゃっすいまい...] くばの葉のひしゃく。くばの葉でできたひしゃく。

くばぬ ぱームぬ [kubanu pa:mnu] [名] [くばぬぱームぬまい...] クバの葉っぱで作った蓑 (みの)。【類】「くばムぬ」。

くばま [kubama] [名] [くばままい...] 小浜。小さい砂浜。小さい浜辺。

くばま [kubama] [名] [地] [くばままい...] 多良間島の〈とうぶり〉の名前。村史参照。

くばマイ [kupamaɨ] [名] [植] [くばま<sup>1</sup>イまい...] シャム米。タイ米。【類】「しゃむマイ」。

くばムぬ [kubamnu] [名] [くばム<sup>1</sup>ぬまい...] クバの葉っぱで作った蓑 (みの)。【類】「くばぬぱームぬ」。

くばむぬ [kupamunu] [名] [くばむ<sup>1</sup>ぬまい...] 固いもの。固い食べもの。割れにくいもの。折れにくいもの。

くばむぬイー [kupamunuɨ:] [名] [くばむぬイ<sup>1</sup>ーまい...] 固い言葉言う。厳格な言葉言うこと。

くばら [kupara] [名] [くば<sup>1</sup>らまい...] 言葉の不自由な人。言葉の下手な人。

くばらす [kupasasɨ] [動I類c型] [くばらしー、くばらしゃん] 固くさせる。固まらせる。凝固させる。【例】くずぬ ゆーん ゆーゆ かきー くばらす (澱粉の液に湯を注いで固まらせる)。

くばり [kubaɨ] [動I類c型] [くばりー、くばらん] 配る。割り当てる。分担する。配布する。配達する。【例】つとー くばりった (お土産は配った)。

くぱり [kupa] [動I類c型] [くぱりー、くぱらん] 固まる。固くなる。【例】くぱりった (固まった。固くなった。凝固した)。

くぱり [kupa] [動I類c型] [くぱりー、くぱらん] 凍える。寒い。【例】びーしゃん くぱり (寒さに凍える)。あみん ムにー くぱりー (雨に濡れて凍えた)。

くぱり [kupa] [動I類c型] [くぱりー、くぱらん] 言葉が詰まる。【例】くぱりむぬゆム (意味のはっきりしない言葉)。

くぱりむぬ [kupa[munu] [名] [くぱりむぬまい...] 配られたもの。配るべきもの。【例】くぱりむのー ねーん (配るものはない)。

くぱりむぬ [kupa[munu] [名] [くぱりむぬまい...] 言葉の不自由な人。どもり。【類】「くぱれ」。

くぱれ [kupare] [名] [くぱれまい...] どもり。吃る人。言葉が滑らかに出来ない人。【類】「くぱりむぬ」。

くぱん [kuban] [名] [くぱんまい...] 料理人。スツウプナカの料理人。

くぱん [kupan] [名] [くぱんまい...] 仏壇に供える酒肴のこと。焼き魚の供え物。

ぐぱん [guban] [名] [ぐぱんまい...] 碁盤。囲碁に使う方形の盤。

くぱんじゃー [kubandza:] [名] [くぱんじゃーまい...] 料理の人たちの部所。スツウプナカの分担。料理全般を担当する。

くび [kubi] [名] [くびまい...] 壁。すすき、竹、板、土石などで作る。

くびあム [kubiam] [名] [くびあムまい...] 壁編み。壁作り。住宅の壁作り。茅葺き屋根はすすきの壁。瓦屋根は板の壁。

くびいた [kubiita] [名] [くびいたまい...] 壁板。住宅の壁に使う板。

くびつ [kubits] [名] [くびつまい...] 区別。分けて置くこと。別々にすること。一緒にしないこと。良いもの、悪いものを分けて置くこと。

くびった [kubitta] [名] [くびつまい...] (すすきで編まれた) 壁のすきま。またはその壁。

くびとう [kubitu] [名] [くびとうまい...] 小人。子どものこと。考えや行動が未熟なこと。

くびり [kubi] [動I類c型] [くびりー、くびらん] 薪をくべる。薪を燃やす。【例】うまつぬけーりんけ くびる (火が消えないうちに薪を入れよ)。

くぶ [kubu] [名] [くぶまい...] こぶ。たんこぶ。

ぐふ [gufu] [擬] [ぐふていー...] 棒や鋸で地面や干瀬を突くこと。

ぐぶ [gubu] [名] [ぐぶまい...] しこり。まめ。【例】っふあつぬ ぐぶ (鋤を使ったためにできるしこり)。

ぐぶ [gubu] [名] [ぐぶまい...] 五分。一寸の半分。長さの単位。【例】ぐぶ あぎる (五分上げよ)。

くふー [kufu:] [名] [くふーまい...] 工夫。考えること。手段や方法を生み出すこと。

くぶが [kupuga] [名] [指] [くぶがまい...] この大きさ。この広さを言う。強調するとき言う。

くぶがー [kupuga:] [名] [指] [くぶがーまい...] この大きさ。この広さを言う。これくらい。【例】くぶがーどう あたり (これくらいの大きさだった)。

くぶがムーな [kupugammna] [名] [指] [くぶがムーなまい...] この大きさ。こんなに大きく。

くぶぎ [kupugi] [名] [指] [くぶぎまい...] この大きさ。この広さを言う。これくらい。【例】くぶぎぬ ぱんびムどう あたり (この大きさのてんぷらだった)。くぶぎなーや ねーん (こんなに大きくない)。

ぐふぐふ [gufugufu] [擬] [ぐふぐふまい...] あちらこちら突くこと。蛸とりの名人は巣穴を見つけると鋸で突いて感触を確かめる。

ぐぶぐぶ [gubugubu] [名] [ぐぶぐぶまい...] 五分五分。半々。同じ程度。

くぶげー [kupuge:] [名] [指] [くぶげーまい...] これほど。

くぶすみ [kubusumi] [名] [魚] [くぶすみまい...] こぶしめ。甲いか。

ぐふていー [gufuti:] [擬] ぼったり会うとき。突然出会うとき。頭を突き合わすとき。

ぐふみかす [gufumikas] [動I類c型] [ぐふみ

かしー、ぐふみかしゃん] 穴を開ける。突き破る。

ぐぶりー [guburi:] [名] [ぐぶり<sup>1</sup>まい...] ご無礼。失礼。先輩に対して言う。

ぐぼー [gubo:] [名] [植] [ぐぼ<sup>1</sup>まい...] ごぼう。根の長いことから深い土を好む。

くま [kuma] [名] [指] [くま<sup>1</sup>んまい...] ここ。こちら。こっち。【例】くまな (ここか。こちらか)。くまにー (こちらで)。くまどー くま (ここだよ・こっちだよ)。くまんどう あり (こっちにある)。

くま [kuma] [名] [植] [くままい...] 粟。「たらまゆー」の歌詞にある。ニコライ・ネフスキーによる。【例】くまつき (粟搗き)。

ぐま [guma] [名] [植] [ぐままい...] 胡麻 (ごま)。胡麻を栽培する人はいなくなった。

ぐまあヴヴァ [gumaavva] [名] [ぐまあヴ<sup>1</sup>ヴァまい...] ごま油。

くまあみ [kumaami] [名] [くまあ<sup>1</sup>みまい...] 小雨。こぬか雨。霧雨。農作業を中止するほどの雨ではない。【類】「ぶきあみ」。

くまあム [kumaam] [名] [くまあ<sup>1</sup>ムまい...] 網の目を小さく編むこと。

くまあム [kumaam] [名] [くまあ<sup>1</sup>ムまい...] 目の小さい網。

くまがま [kumagama] [名] [指] [くまがま<sup>1</sup>んまい...] すぐ近い所。近所。【例】あが やーやくまがま (ぼくの家はすぐ近くだ)。

くまギー [kumagi:] [名] [くまギーまい...] 細かく切ること。短く切ること。【例】くまギー する (細く切りなさい)。

くまギだム [kumakdam] [名] [くまギだムまい...] 細かく刻むこと。【例】たばくー くまギだム (葉たばこを細く刻む)。

くまぐま [kumaguma] [副] こまごま。くわしく。やさしく。ていねいに。【例】くまぐまていーばなす (ていねいに話をする)。

くましゃ [kumaça] [名] [くま<sup>1</sup>しゃまい...] 細さ。細かさ。短さ。

くましゃーり [kumaça:ri] [形] [くま<sup>1</sup>しゃまい...] 細い。細かい。糸状である。網の目が小さい。

【例】くまーくま (とても細い)。いとうぬ くましゃぬ (糸の細いことよ)。

ぐましゃーり [gumaça:ri] [形] [ぐま<sup>1</sup>しゃまい...] 小さい。粒状である。

くましゃギ [kumaçakı] [名] [くましゃ<sup>1</sup>ギまい...] 細かく裂くこと。【例】あだなすう くましゃギ (あだんの気根を細かく裂く)。

ぐまじん [gumadzin] [名] [ぐまじんまい...] 小銭。紙幣でないお金。【類】「かにじん」。「くじん」。

ぐまずー [gumadzı:] [名] [ぐまずーまい...] 細い字。小さい字。【例】ぐまずーや みーらいん (小さい字は読めない)。

くまずかい [kumadzı:kai] [名] [くまずかいまい...] 細使い。お使い。走り使い。小用の使い。

くまた [kumata] [名] [指] [くまた<sup>1</sup>んまい...] こちら。こちら辺。こちら辺。この辺り。

ぐまた [gumata] [接尾] ~べき。未来において、起こる予定のある出来事や確信を以て起こるのであろう出来事を表す。対応している日本語の言い方はないが、宮古諸島で話されている日本語ではよく「~べき」で訳されている。【例】すーぐまた (やるべきだ)。ふーぐまた (食べるべきだ)。ぱりぐまた (走るべきだ)。【同】「ぐむた」。

くまだう [kumadau] [名] [くまだうまい...] 小道具。家庭用の道具。【同】「くまどー」。

くまたムーな [kumatammna] [名] [指] [くま<sup>1</sup>たムーなまい...] こちら辺。【例】くまたムーなう とうみる (こちら辺を探しなさい)。

ぐまつつふイ [gumatsıffı] [名] [ぐまつつふイまい...] 細かい作り。小柄。小さく出来上がったもの。小さいもの。

くまてい [kumati] [名] [くまていまい...] 手が細かい人。仕事がきれいな人。作業が丁寧な人。

くまていーしゃーり [kumati:ça:ri] [形] [くまてい<sup>1</sup>しゃまい...] 手が細かい。仕事がきれい。器用。【例】かれー くまていー (彼は細工ができる)。

くまとう [kumatu] [名] [くまとうまい...] 細かい砥石。刃物の仕上げ用の砥石。

- くまどー [kumado:] [名] [くまどーまい...] 小道具。家庭用の道具。【同】「くまだう」。
- くまなぎ [kumanagi] [名] [指] [くまなぎんまい...] ここら辺。こちら辺。ここいら。この辺り。【例】くまなげー やまどう あたり (ここら辺は山であった)。【類】「くまたなぎ」。
- ぐまみー [gumami:] [名] [ぐまみーまい...。ぐまみーまい...] 細い目。【例】ぐまみーあム (細かい目の網)。【同】「くまみー」。
- ぐまみーあム [gumami:am] [名] [ぐまみーあムまい...] 目が細い網。
- ぐまみーしゃーリ<sup>9</sup> [gumami:ɕa:] [形] [ぐまみーしゃーまい...] 目が細い。編み物に言う。
- くまムーな [kumammna] [名] [指] [くまムーなまい...] ここら辺り。ここら辺。この辺り。
- くまムなぐ [kumamnagu] [名] [くまムなぐまい...] 細かい砂。粒の細かい砂。
- くまむぬ [kumamunu] [名] [くまむぬまい...] 細かいもの。こまごましたもの。小さいもの。
- くまやきしゃーリ<sup>9</sup> [kumajakiɕa:] [形] [くまやきしゃーまい...] 念入れである。丹念である。儉約。ていねい。こまごまと。【例】くまやきピとう (ていねいな人)。
- くまやきむぬ [kumajakimunu] [名] [くまやきむぬまい...] 丁寧に仕事をする人。
- くまやきリ [kumajaki] [動II類a型] [くまやきー、くまやきん] 丁寧にする。丁寧に仕事をこなす。細心の仕事。
- くまらす [kumaras] [動I類c型] [くまらしー、くまらしゃん] 入らせる。入れさせる。中に入れて閉じ込めさせる。穴に入らせる。【例】ゆかすたん くまらしー (床下に入らせた)。
- くまらす [kumaras] [動I類c型] [くまらしー、くまらしゃん] 籠らせる。御嶽に籠らせる。神事のために泊り込む。【同】「くむらす」。
- くまらす [kumaras] [動I類c型] [くまらしー、くまらしゃん] 困らせる。【例】うやう くまらす (親を困らせる)。
- くまらばーあず [kumarapa:adz] [名] [くまらばーあずまい...] 伝説の人。村史参照。
- くまらばぎどうゆめ [kumarapagidujume] [名] [くまらばぎどうゆめまい...] 伝説上の人。
- くまり [kuma] [動I類c型] [くまりー、くまらん] 入る。家の中に入る。穴に入る。【例】くまりー とうみる (中に入って探しなさい)。
- くまり<sup>9</sup> [kuma] [動I類c型] [くまりー、くまらん] 籠る。御嶽にこもる。泊り込んで神事を行う。【同】「くむリ<sup>9</sup>」。
- くまり<sup>9</sup> [kuma] [動I類c型] [くまりー、くまらん] 困る。【例】あんや くまらん (ぼくは困らない)。
- くまんか [kumanka] [連語] [指] この中に。ここの中。
- くミ<sup>9</sup> [kum] [名] [くミ<sup>9</sup>まい...] 組。組踊りのこと。【例】くミエー (組は。組踊りは)。<sup>9</sup>くミエーみだ (組踊りはまだ)。【類】「くミ<sup>9</sup>ぶどうリ<sup>9</sup>」。
- くみ [kumi] [名] [くみまい...] 組。いくつかのものが一そろいになること。学級。
- くみ [kumi] [名] [くみまい...] 米。【例】あらイぐみ (洗い米)。【類】「ゆに」。
- ぐみ [gumi] [名] [ぐみまい...] ごみ。塵。不要になって捨てられたもの。
- くみあい [kumiai] [名] [くみあ<sup>9</sup>まい...] 組合。共同の利益のための組織。農協。漁協。
- くミ<sup>9</sup>じゃー [kumɯdza:] [名] [くミ<sup>9</sup>じゃーまい...] 組踊りの担当。八月おどり。
- くみたてい [kumitati] [名] [くみた<sup>9</sup>ていまい...] 組立て。組み立てること。
- くみたていリ<sup>9</sup> [kumitati] [動II類c型] [くみたていー、くみたていん] 組み立てる。組み合わせる。組み合わせる一つのものまとまったものにする。考えをまとめる。【例】たなう くみたていリ<sup>9</sup> (柵を組み立てる)。
- くミ<sup>9</sup>ぬ よーイ [kumɯnu jo:] [名] [くミ<sup>9</sup>ぬよーイ<sup>9</sup>まい...] 米寿の祝い。
- くミ<sup>9</sup>ぶどうリ<sup>9</sup> [kumɯbudu] [名] [くミ<sup>9</sup>ぶどうリ<sup>9</sup>まい...] 組踊り。八月おどり。【類】「くミ<sup>9</sup>」。
- くみリ<sup>9</sup> [kumi] [動II類c型] [くみー、くみん] 込める。閉じ込める。【例】くみる (込めよ。閉じ込めなさい)。くみんな (込めるな。閉じ込めるな)。
- くみわき [kumivaki] [名] [くみわ<sup>9</sup>きまい...] 組

分け。クラス変え。

ぐみん [gumin] [名] [ぐみんまい...] ご免。あやまること。ていねいに反省すること。

くム [kum] [動I類c型] [くみー、くまん] 混む。混み合う。混雑。

くム [kum] [動I類c型] [くみー、くまん] 組む。組を作る。組み立てる。

ぐむ [gumu] [名] [ぐむまい...] ゴム。【例】けーすぐむ (消しゴム)。

ぐむかん [gumukan] [名] [ぐむかんまい...] ゴム管。ごむの作用で玉を飛ばす遊び道具。

ぐむしゃでいふ [gumuçadifu] [名] [ぐむしゃでいふまい...] ゴム風船。

ぐむしゃば [gumuçaba] [名] [ぐむしゃばまい...] ごむ草履。最近はあるだんばぞうりが見えなくなった。

ぐむた [gumuta] [接尾] ~べき。未来において、起こる予定のある出来事や確信を以て起こるであろう出来事を表す。対応している日本語の言い方はないが、宮古で話されている日本語ではよく「~べき」で訳されている。【同】「ぐまた」。

くむつ [kumutsɯ] [名] [くむつまい...] 貢物。人頭税のこと。献上物。年貢。神に供える物にも言う。

ぐむつとうむ [gumuttumu] [副] 御尤も。ごもつとも。道理に合うこと。

くムぱら [kumpara] [名] [指] [くムぱらんまい...] こっちの方。こちらの方。

くムぱり [kumpa] [動I類c型] [くムぱりー、くムぱらん] 踏ん張る。がんばる。耐える。【例】くムぱりー かたみー ギムどー (頑張って担いで来たよ)。

ぐむまーり [gumuma:] [名] [ぐむまーりまい...] ごむまり。女の子の遊びに用いる。

ぐムまぐムま [gummagumma] [擬] 穴を掘っているような音。重機の音。

くムむぬ [kummunu] [名] [く<sup>1</sup>ムむぬ<sup>1</sup>まい...] 混雑。【例】うぐなーりら くムむぬどー (集会は混むぞ)。

くむらす [kumurasɯ] [動I類c型] [くむらしー、

くむらしゃん] 籠らせる。御嶽に籠らせる。神事のために泊り込む。【同】「くまらす」。

くむり [kumu] [名] [くむ<sup>1</sup>りまい...] 水溜り。礁湖。礁池。潮だまり。【類】「いぬー」。

くむり<sup>2</sup> [kumu] [名] [くむ<sup>1</sup>りまい...] 里の奥まった所。

くむり<sup>3</sup> [kumu] [動I類c型] [くむりー、くむらん] 籠る。御嶽や神社に泊り願い事をする事。

くむりうがム [kumu[ugam] [名] [くむりうが<sup>1</sup>ムまい...] 籠り御願。

くむりうがム [kumu[ugam] [名] [くむりうが<sup>1</sup>ムまい...] こもり御願。こもり御願をする拝所。

くむりにがイ [kumu[nigaɯ] [名] [くむりにが<sup>1</sup>イまい...] 籠り願い。御嶽や神社に泊り、神事を行うこと。

くや [kuja] [感] [指] ほら。こら。そら。元気づけをするときに言う。

くやー [kuja:] [名] [くや<sup>1</sup>ーまい...] かけ声。挨拶。挨拶をすること。合図をすること。【例】くやーう しゅん ピとう (挨拶をしない人)。

くやさー [kujasa:] [感] どうだ。力を自慢するとき言う。

くやまた [kujamata] [感] これでもか。まだ勝負のつかないときに言う。力勝負の掛け声。

くやム [kujam] [動I類a型] [くやみー、くやまん] 悔む。後悔。残念。【例】くやムな (悔やむな)。

くやムばなす [kujampanasɯ] [名] [くやムばなすまい...] 悔み話。【例】くやムばなすう すー (悔やみ話をする)。

くやんちゃ [kujantɕa] [感] ほらきたぞ。それみろ。予想通りの出来事。【例】くやんちゃ ばーれ (それみたことか、良い子だ)。

ぐゆー [guju:] [名] [ぐゆーまい...] 御用。用事。用件。用命。組踊りの台詞にある。

くゆム [kujum] [名] [くゆムまい...] 曆。カレンダー。

くゆり [kuju] [名] [くゆりまい...] こより。和紙をよって糸状にしたもの。紙をつづるのに用いる。

くよー [kujo:] [名] [くよーまい...] 供養。  
 くら [kura] [名] [くらまい...] 蔵。倉。倉庫。  
 ぐら [gura] [名] [ぐ<sup>1</sup>らまい...] のど。気管。空気の肺への通路。【類】「ぐらぶに」。  
 くらい [kurai] [名] [くらいまい...] こらえ。こらえること。  
 くらい [kurai] [名] [くらいまい...] 位。兵士の位。位階。階級。数を表す桁。位取り。  
 くらいり [kurai] [動II類c型] [くらいー、くらいん] こらえる。耐える。涙をこらえる。【例】わいていー くらいる (じっとこらえろ。我慢せよ)。  
 ぐらがー [guraga:] [名] [井戸] [ぐ<sup>1</sup>らがーまい...] 井戸の名。人工井戸。  
 ぐらぐら [guragura] [擬] 置き物が安定しない様。  
 くらす [kuras] [動I類a型] [くらしー、くらしゃん] 暮らす。住む。【例】くらしゃ (暮らそう。住もう)。くらしゃいん (暮らせない。住めない)。くらしゃずー (暮らしたい。住みたい)。くらしゃまん (暮らさない。住まない)。  
 くらすぐりしゃーり [kurasguriça:] [形] [くらすぐり<sup>1</sup>しゃまい...] 暮らしにくい。住みにくい。【例】くらすぐりとうくま (住みにくい所)。  
 くらすやすしゃーり [kurasjasça:] [形] [くらすやす<sup>1</sup>しゃまい...] 暮らしやすい。住みやすい。【例】くらすやすさームな (暮しやすいか)。  
 くらび [kurabi] [名] [くらびまい...] 比べ。比べること。  
 くらびり [kurabi] [動II類c型] [くらびー、くらびん] 比べる。比較する。【例】くらびー みーる (比べてごらんない)。くらびらいん (比べられない)。くらびんぬーまい ゆるむぬ (比べなくてもいいよ)。  
 ぐらぶに [gurabuni] [名] [ぐ<sup>1</sup>らぶにまい...] のど。気管。【類】「ぐら」。  
 くらます [kuramas] [動I類c型] [くらましー、くらましゃん] ごまかす。かくす。【例】どうーゆー くらましー (身をかかした)。  
 ぐらみかす [guramikas] [動I類c型] [ぐらみかしー、ぐらみかしゃん] 揺り動かす。

ぐらみぎ [guramik] [動I類c型] [ぐらみきー、ぐらみかん] 安定しない。積み荷が安定しない。  
 くらむとう [kuramutu] [名] [くらむ<sup>1</sup>とうまい...] 蔵元。琉球王朝の行政庁舎。宮古・八重山に置かれた。  
 くり [ku] [名] [指] [くりまい...] これ。この人。【例】くれー (これは)。くるー (これを)。くりどう あが むぬ (これぞわがもの)。くりが むぬ (この人の持ち物だ)。  
 くり [ku] [動I類c型] [くりー、くらん] 凝る。熱中する。集中する。釣に凝る。【例】ぐーふつん くりな (囲碁に凝るな)。  
 ぐり [guri] [名] [ぐりまい...] 雲。【例】あまぐり (雨雲)。あまぐりぬぬーりー ギー (雨雲が近くなって来た)。  
 くりあぎり [kuriagi] [動II類c型] [くりあぎー、くりあぎん] 繰り上げる。【例】あみありー くりあぎり (雨のために繰り上げる)。  
 ぐりー [guri:] [名] [ぐり<sup>1</sup>まい...] お礼。  
 くりかい [kurikai] [名] [くりか<sup>1</sup>まい...] 繰り替え。繰り替えること。交換すること。  
 くりかいす [kurikais] [動I類c型] [くりかいしー、くりかいしゃん] 繰り返す。【例】くりかいしー なるー (繰り返し習う・練習する)。  
 くりかいり [kurikai] [動II類c型] [くりかいー、くりかいん] 繰り替える。交換する。  
 ぐりぐり [guriguri] [擬] [ぐりぐりまい...] 皮ふを押さえるとぐりぐりするものがある。  
 くりさぎ [kurisagi] [名] [くりさ<sup>1</sup>ぎまい...] 繰り下げ。繰り下げること。【例】ふつかくりさぎ (二日繰り下げ)。  
 くりさぎり [kurisagi] [動II類c型] [くりさぎー、くりさぎん] 繰り下げる。  
 ぐりし [guriçi] [名] [ぐり<sup>1</sup>しまい...] 小石。ぐり石。石垣を積むとき中に入れる小石のこと。石垣の強度をよくする。【類】「ばたいし」。  
 ぐりしゃーり [guriça:] [形] [ぐり<sup>1</sup>しゃまい...] むずかしい。動詞について、「～にくい、～しづらい」を表す。【例】すーぐりしゃーり (やりにくい)。かぎぐりしゃーり (書きにくい)。

くりた [ku[ta] [名] [指] [くり<sup>1</sup>たまい...] これら。この人たち。【例】くりたー あぐ（この人たちは仲間だ）。

くりまーす [kurima:sʃ] [動I類c型] [くりまーしー、くりまーしゃん] やりくりすること。やりくり算段。【例】あんなー くりまーす（母はやりくりをする）。

ぐりむぬ [gurimunu] [名] [ぐりむ<sup>1</sup>ぬまい...] 無法者。非行者。手に負えない者。

くりゆん [kurijun] [名] [くりゆ<sup>1</sup>んまい...] くれよん。

くりら [kurira] [名] [病] [くりらまい...] コレラ。明治12年、大正8年に宮古で大流行した。1852年の子年には飢饉とコレラが大流行。

くりり [kuri] [動II類c型] [くりー、くりん] 交換する。細かくする。お金を小銭に替える。【例】じんゆ くりり（お金を細かくする）。

ぐりり [guri] [動II類c型] [ぐりー、ぐりん] ぐれる。手に負えなくなる。

ぐる [guru] [名] 草や作物の枯れたもの。貝殻にはくぐーという。複合語の形で使う。【例】あーぐる（粟の枯れた茎）。むぎぐる（麦の枯れた茎）。ムーぎーぐる（いもづるの枯れたもの）。

ぐる [guru] [名] 殻。ぬけがら。複合語の形で使う。【例】すでいぐる（孵化した殻）。ぱうぬ すでいぐる（蛇のぬけがら）。

ぐる [guru] [名] [ぐるま<sup>1</sup>い...] 仲間。悪い一味。悪さをする者。その集団。

くるー [kuru:] [名] [くるーまい...] 苦勞。【例】くるーてーん（苦勞ばかりだ）。

くるー [kuru:] [動I類a型] [くれー、くらーん] 狂う。考え方が狂う。まちがう。【例】しゃんみんぬ くるー（考え方が狂う）。ゆていーぬ くるー（予定が狂う）。

くるがり [kuruga] [動I類a型] [くるがりー、くるがらん] 転がる。

くるぎ [kurugi] [名] [くる<sup>1</sup>ぎまい...] 黒毛。馬の黒色の毛。【類】「っぶぎーぬーま」。

くるぎぬーま [kuruginu:ma] [名] [くる<sup>1</sup>ぎぬーままい...] 黒毛の馬。

ぐるくまー [gurukuma:] [名] [魚] [ぐるくま<sup>1</sup>ー

まい...] ぐるくま。

ぐるくん [gurukun] [名] [魚] [ぐるく<sup>1</sup>んまい...] たかさご。沖縄県の県魚。

くるげ [kuruge] [名] [魚] [くる<sup>1</sup>げまい...] きばしすずめだい。おつちすずめだい。

くるす [kurusʃ] [動I類a型] [くるしー、くるしゃん] 殺す。【例】むすう くるすな（虫を殺すな）。

くるず [kurudzʃ] [名] [くる<sup>1</sup>ずまい...] 鍋のこげ。鍋の底にできるこげ。【例】えーびにー くるずう かぎ（あわびの殻でこげを取る）。

ぐるつけ [gurutsʃke] [名] [ぐるつ<sup>1</sup>けまい...] ごろつけ。人をだます奴。

くるとん [kurutun] [名] [植] [くるとん<sup>1</sup>まい...] くるとん。

くるび [kurubʃ] [名] [くる<sup>1</sup>びまい...] (服の) しみ。(鍋の) しみ。

くるび [kurubʃ] [名] [貝] [くる<sup>1</sup>びまい...] あまがい。

くるま [kuruma] [名] [くるままい...。くるままい...い...] 車。歯車。馬車。乗用車。貨物車。トラック。

くるまむつ [kurumamutsʃ] [名] [くるまむ<sup>1</sup>つまい...] 車持ち。運転。運転すること。車夫。運転手。

ぐるみー [gurumi:] [名] [ぐるみ<sup>1</sup>ーまい...] ぎよろ目。目に落ち着きのないこと。【例】ぐるみーう しーぶり（目に落ち着きがない）。

ぐるみぎ [gurumikʃ] [動I類c型] [ぐるみきー、ぐるみかん] ひもじいときの腹の鳴る音。【例】やーしゃんや ばたぬ ぐるみぎ（ひもじいときは腹が鳴る）。

ぐるみぎ [gurumikʃ] [動I類c型] [ぐるみきー、ぐるみかん] 乱暴するときに言う。自分勝手に行動する。【例】ぐるみきー ならん（騒いでどうしようもない）。

くるム [kurum] [動I類c型] [くるみー、くるまん] くるむ。包む。梱包する。

ぐるむぬ [gurumunu] [名] [ぐるむ<sup>1</sup>ぬまい...] 乱暴者。悪い奴。

くんがらがり [kungaraga] [動I類c型] [くんが

- らがり一、くんがらがらん) こんがらがる。混乱。【例】しばいみーピとうぬ くんがらがり一(芝居見る人が混乱した)。
- くんギ [kunkɣ] [名] [くん<sup>1</sup>ぎまい...] 根気。持久力。体力。スタミナ。
- くんギじゅーしゃーり [kunkɣdzu:ɕa:] [形] [くん<sup>1</sup>ギじゅーしゃまい...] 根気強い。粘り強い。持久力がある。トライアスロンに出場するほどである。
- くんギしょーぶ [kunkɣɕo:bu] [名] [くん<sup>1</sup>ギしょーぶまい...] 根気勝負。スタミナ勝負。体力の勝負。長距離走の根気比べ。里の〈かくい〉を走って勝負する。【類】「くんギめー」。
- くんギた [kunkɣta] [名] [指] [くんギ<sup>1</sup>たまい...] この人たち。【例】くんギたー めーくピとう(この人たちは宮古の人だ)。【類】「くんけ」。
- くんギたが ムめ [kunkɣtaga mme] [名] [指] [くんギた<sup>1</sup>がムめ<sup>1</sup>まい...] これら。これたち。
- くんギつギ [kunkɣtsɣkɣ] [動I類] [くんギつき一、くんギつかん] [くん<sup>1</sup>ギつき一「ぶり」 根気づく。根気が付く。
- くんギつき [kunkɣtsɣki] [名] 根気づけ。根気をつけること。栄養を与えること。栄養を補って根気をつけること。栄養価の高いものを食べること。
- くんギつきふーむぬ [kunkɣtsɣkifu:munu] [名] [くん<sup>1</sup>ギつきふーむぬまい...] 根気付け食べ物。根気を与える食べ物。
- くんギつきり [kunkɣtsɣki] [動II類] [くんギつき一、くんギつきん] [くんギ<sup>1</sup>つきり<sup>1</sup>まい...] 根気づける。根気をつける。栄養を与える。
- くんギまき [kunkɣmaki] [名] [くん<sup>1</sup>ギまきまい...] 根気負け。栄養不足。根負け。精神的な負けと体力的な負けがある。
- くんギめー [kunkɣme:] [名] [くん<sup>1</sup>ギめーまい...] 根気勝負。スタミナ勝負。体力の勝負。【類】「くんギしょーぶ」。
- くんギよーしゃーり [kunkɣjo:ɕa:] [形] [くん<sup>1</sup>ギよーしゃまい...] 根気が弱い。頑張りが足りない。精神的に弱い。
- くんギよーむぬ [kunkɣjo:munu] [名] [くん<sup>1</sup>ギよーむぬまい...] 根気の弱いこと。頑張りの弱い人。精神的に弱い人。体力の衰えた人。
- くんぎり [kungi] [動II類c型] [くんぎ一、くんぎん] 運ぶ。背負うこと。持ち逃げる。【例】ばしやう くんぎり (馬が馬車を暴走する)。
- くんくり [kunkuri] [名] [くんく<sup>1</sup>りまい...] コンクリート。セメント。
- くんくりやー [kunkurija:] [名] [くんく<sup>1</sup>りやーまい...] コンクリートの家。沖縄県は台風に耐えられる住宅対策をとった。住宅ローン。【類】「しみんやー」。
- くんくんしー [kunkunɕi:] [名] [くんくんし<sup>1</sup>ーまい...] 工工四。琉球音楽の三線の楽譜。【同】「こーこーしー」。
- くんけ [kunke] [名] [指] [くん<sup>1</sup>けまい...] これら。この人たち。【例】くんけー あぐどー(この人たちは同級生だ)。【類】「くんギた」。
- くんけがムめ [kunkegamme] [名] [指] [くんけ<sup>1</sup>がムめまい...] これら。これたち。
- くんしー [kunɕi:] [副] [指] こんなに。このように。【例】くんしーどう ます(このようにした方が良い)。
- くんじゃう [kundzau] [名] [くんじゃ<sup>1</sup>うまい...] 根性。性質。気力。悪い性格の人に言う。【同】「くんじょー」。
- ぐんじゆ [gundzu] [助数] 一厘。一銭の十分の一。昔の金銭の単位。
- くんしゆく [kunɕuku] [名] [指] [くんしゆ<sup>1</sup>くまい...] こんなにも。こんなにたくさん。これほど。このように。【類】「くんしゆくばーき」。「くんしゆくムーな」。
- くんしゆくムーな [kunɕukummna] [名] [くんしゆ<sup>1</sup>くムーなまい...] こんなにも。こんなにたくさん。これほど。このように。【類】「くんしゆく」。「くんしゆくばーき」。
- くんじょー [kundzo:] [名] [くんじょ<sup>1</sup>ーまい...] 根性。性質。気力。悪い性格の人に言う。【例】やなくんじょー(意地悪な人)。【同】「くんじやう」。
- くんだき [kundaki] [名] [指] [くんだ<sup>1</sup>きまい...] これだけ。残りものをいう。【例】くんだきど

う あり (これしかない)。

くんだきがま [kundakigama] [名] [指] [くんだきが<sup>1</sup>まい...] たったこれだけ。分け前の少ないこと。【例】くんだきがまどう ばきり (たったこれだけの分け前だ)。

くんだきムーな [kundakimmna] [名] [指] [くんだ<sup>1</sup>きムーなまい...] こんなにたくさん。分け前の多いこと。【例】くんだきムーな ゆいー ギー (こんなにたくさんもらって来た)。

ぐんだん [gundan] [名] [ぐんだ<sup>1</sup>んまい...] 懇談。話し合う。主としておしゃべりのこと。

くんどう [kundu] [名] [く<sup>1</sup>んどうまい...] 今度。今年。今回。【例】くんどー ゆがぶー (今年は豊年だ)。くんどー でいきぶーギ (今年のさとうきびは豊作だ)。

くんなん [kunnan] [名] [く<sup>1</sup>んなんまい...] 困難。むずかしいこと。呼吸困難。走行困難。生活に困窮する。

くんぶまギ [kunbumak] [名] [く<sup>1</sup>んぶまギまい...] 昆布巻き。昆布で巻いて料理する。【同】「く<sup>1</sup>ヴうまギ」。

くんぼー [kunpo:] [名] [く<sup>1</sup>んぼーまい...] 梱包。包装すること。荷物を運べるように梱包すること。

くんやく [kun.jaku] [名] [く<sup>1</sup>んや<sup>1</sup>くまい...] こんにやく。

## — け —

け [ke] [接尾] ~程。~程に。(動詞の肯定形に付いて) ~のうち。~の間。~まで。~していたとき。(動詞の否定形に付いて) ~しないうちに。~する前に。【例】 ぱたらきーげ (働いている間)。ぱたらかんけ (働かない間)。かんけが くんけすまいる (彼らが来る前終わらせなさい)。

けいちつ [keitçitsɯ] [名] [けいち<sup>1</sup>つまい...] 啓蟄。二十四節気の一つ。3月6日頃。

けう [keu] [名] [けうまい...] お経。【同】「きょー」。

けうぎん [keugin] [名] [けうぎ<sup>1</sup>んまい...] 狂言。悪ふざけをして人を笑わす芸能。八月おどり演目の一つ。【同】「きょーぎん」。

けうぎんじゃー [keugindzɑ:] [名] [けうぎ<sup>1</sup>んじゃーまい...] 狂言座。狂言を担当する部所。【同】「きょーぎんじゃー」。

けうだい [keudai] [名] [けうだいまい...] きょうだい。兄弟。【同】「きょーだい」。

けうちやぐ [keuçagu] [名] [けうちや<sup>1</sup>ぐまい...] 椅子。八月おどりの大主の座る椅子。【同】「きょーちやぐ」。

げうりつ [geuritsɯ] [名] [げうり<sup>1</sup>つまい...] 行列。【同】「ぎょーりつ」。

けうりん [keurin] [名] [けうり<sup>1</sup>んまい...] 教練。訓練。国民学校で実施された。【同】「きょーりん」。

けー [ke:] [名] [植] [けーま<sup>1</sup>い...] 茅。地茅のこと。【例】 けーう ぬーしげ (家ふきのとき茅を上を上げる)。けーう ぬーすべー (茅を上げる係)。

けー [ke:] [感] [指] ほら。遠くにある物について言う。【例】 けー みーだ (ほら見よ)。

げー [ge:] [名] 反抗。逆らうこと。歯向かうこと。「我」のこと。強情。

げーう [ge:u] [名] 約束すること。子どもが遊ぶの中に「決り」を作ること。【例】 ばらーん げーう (笑わないようにしよう)。

けーぎ [ke:gi] [名] [植] [けーぎまい...] いぬまき。

けーぎが なり [ke:giga na] [名] [植] [けーぎがな<sup>1</sup>りまい...] いぬまきの実。【類】「けーぎぬなり」。

けーぎぎー [ke:gigi:] [名] [植] [けーぎぎーまい...] いぬまきの木。

けーぎぬ なり [ke:ginu na] [名] [植] [けーぎぬな<sup>1</sup>りまい...] いぬまきの実。【類】「けーぎがなり」。

けーぎやま [ke:gijama] [名] [植] [けーぎや<sup>1</sup>まい...] イヌマキの林。

けーしゃり [ke:çal] [名] [地] [けーしゃりまい...] 多良間島の〈とうぶり〉の名前。村史参照。

けーしゅり [ke:çu:] [名] [けーしゅ<sup>1</sup>りまい...] 茅を刈ること。茅ぶき家の茅を刈ること。馬の飼料の茅を刈ること。

けーす [ke:sɯ] [動 I 類 a 型] [けーしー、けーしゃん] 消す。火を消す。黒板の字を消す。けしごむで消す。【例】 けーすな (消すな)。うまつう けーし (火を消しなさい)。

けーすヴヴうり [ke:sɯvu:] [名] [けーすヴヴう<sup>1</sup>りまい...] 咳払い。

けーすぎ [ke:sɯkɯ] [名] [けーす<sup>1</sup>ぎまい...] 茅葺きの材料にするために茅を育てる所。ちがやの栽培をする所。屋根葺き用。

けーすぐむ [ke:sɯgumu] [名] [けーすぐ<sup>1</sup>むまい...] 消しゴム。

けーずつふり [ke:dzɯffu:] [名] [けーずつふ<sup>1</sup>りまい...] 咳払い。

けーすみり [ke:sɯmi:] [動 II 類 a 型] [けーすみー、けーすみん] 消させる。【例】 けーすみる (消させよ)。うまつう けーすみんな (火を消させるな)。

けーな [ke:na] [接尾] ~ながら。~する間に。~つつ。~途中。【例】 ふーけーな (食べながら)。

けーぬー [ke:nu:] [名] [けーぬ<sup>1</sup>ーまい...] 茅の生えている原野。荒地のことという。

げーばつ [ge:batsʃ] [名] [昆虫] [げーばつまい...]  
蜂の総称。すずめばち。ちびあしながばち。〈んがばつ〉、〈やーまげーばつ〉、〈すまげーばつ〉などの種類がある。

げームとう [ge:mtu] [名] [鳥] [げーム<sup>1</sup>とうまい...] せっか。ひばりと間違えられる。

けーやー [ke:ja:] [名] [けーや<sup>1</sup>まい...] 茅ぶき家。

けーやま [ke:jama] [名] [植] [けーや<sup>1</sup>まい...] 茅の林。茅の生い茂っている所。

げーら [ge:ra] [助] ~でしょうか。~だろうか。  
【例】かれー たうげーら (彼は誰だろうか)。

げーらい [ge:rai] [助] ~でしょうか。~だろうか。  
【例】あめー つふイムげーらい (雨は降るだろうか)。【同】「げーらゆ」。

げーらまい っさいん [ge:ramai ssain] [連語] ~かもしれない。【例】あたまい ギーげーらまい っさいん (明日も来るかもしれない)。

げーらゆ [ge:raju] [助] ~かな。~だろうか。塩川の言葉。【同】「げーらい」。

けーり [ke:] [助数] ~回。回数を数える助数詞。  
【例】とうけーり (十回)。【同】「けーり」。「けーん」。

けーり [ke:ri] [助数] ~回。回数を数える助数詞。  
【例】ピとうけーり (一回)。ふたけーり (二回)。ミけーり (三回)。ゆけーり (四回)。いつけーり (五回)。ムけーり (六回)。ななけーり (七回)。やけーり (八回)。くくぬけーり (九回)。とうけーり (十回)。【同】「けーり」。「けーん」。

げーり [ge:] [名] [げー<sup>1</sup>りまい...] 胃からすっぱい胃酸を吐き出す。ゲップの強いもの。

けーりり [ke:ri] [動 II 類 a 型] [けーりー、けーりん] 消える。【例】うまつエー けーりった (火は消えた)。

けーん [ke:n] [接尾] ~ながら。【例】ふーけーん (食べながら)。ありギけーん (歩きながら)。

けーん [ke:n] [助数] ~回。回数を数える助数詞。  
【例】ふたけーん (二回)。とうけーん (十回)。【同】「けーり」。「けーり」。

けーん [ke:n] [名] [植] [けー<sup>1</sup>んまい...] しいのきかざら。縄の代用にもなる。スツウプナカに

は頭に巻く儀式がある。

けーんな [ke:nna] [名] [けーん<sup>1</sup>なまい...] 茅の縄。

けがった [kegatta] [名] [指] [けが<sup>1</sup>たまい...] あの奴。あいつ。

げく [geku] [名] [げ<sup>1</sup>くまい...] 逆。反対の方向。さかさま。逆説。反逆。【例】げくー ありギ (反対方向へ歩く)。

げつよー [getsjo:] [名] [げつよ<sup>1</sup>まい...] 月曜日。

けぬ [kenu] [連体] [指] あの。【例】けぬ ピとー (あの人は)。けぬ しゅーや (あの翁は)。けぬ やらべー (あの子は)。

けぬちゃ [kenutça] [名] [指] [けぬちゃ<sup>1</sup>うまい...] あの奴等。あいつ等。

けま [kema] [名] [指] [けま<sup>1</sup>んまい...] あそこ。  
【例】けまんけー (あそこへ。あちらへ。別の所へ。向こうへ)。けまんけー とうび (あそこへ行きなさい。ここからいなくなる)。

けまた [kemata] [名] [指] [けまた<sup>1</sup>んまい...] あそこら。あそこら辺。

けまたムーな [kematammna] [名] [指] [けま<sup>1</sup>た<sup>1</sup>ムーなまい...] あそこら辺。

けまムーな [kemammna] [名] [指] [け<sup>1</sup>ま<sup>1</sup>ムーなまい...] あそこ辺り。あそこら辺。あの辺り。

けまんか [kemanka] [連語] [指] あの中に。あそこの中。

けり [ke:] [名] [指] [け<sup>1</sup>りまい...] あれ。あの。【例】けりが むぬ (あの人の持ち物だ)。

けりあがり [keriagari] [名] [けりあが<sup>1</sup>りまい...] 蹴り上がり。鉄棒の技。

げんき [genki] [名] [げん<sup>1</sup>きまい...] 元気。健康。

げんきしゃーり [genkiça:] [形] [げんき<sup>1</sup>しゃまい...] 元気である。

けんぎた [kenqta] [名] [指] [けんぎ<sup>1</sup>たまい...] あれら。あれたち。あの人たち。

けんぎたが ムめ [kenqtaga mme] [名] [指] [けんぎ<sup>1</sup>た<sup>1</sup>がムめ<sup>1</sup>まい...] あれら。あれたち。あの人たち。

げんきむぬ [genkimunu] [名] [げんきむ<sup>1</sup>ぬま

い...] 元気者。活発な人。

けんけ [kenke] [名] [指] [けん<sup>1</sup>けまい...] あれら。あれたち。あの人たち。

けんけが ムめ [kenkega mme] [名] [指] [けんけがム<sup>1</sup>めまい...] あれら。あれたち。あの人たち。

けんしー [kençi:] [副] [指] こんなに。このように。【例】けんしー かき（このように書け）。

けんすい [kensui] [名] [けんすいまい...] 懸垂。鉄棒の技。

げんば [genba] [名] [地] [げんばまい...] 多良間島の地名。農業用水池。【例】じゅ、げんばんけー みずあみが（さあ、ゲンバに水を浴びに行こう）。【類】「どて」。

げんまら [genmara] [感] どっこいしょ。飛び降りるときに言う。

## — こ —

こー [ko:] [名] [干支] [こ<sup>1</sup>ーまい...] 甲。十干の一番目。きのえ。昔、成績の優秀な人に甲を与えた。戦時には甲種合格の呼び方もあった。

こー [ko:] [名] [こーまい...] 香。線香。【同】「かう」。

ごー [go:] [名] [ご<sup>1</sup>ーしー...] 合。分量の単位。【例】いちごー (1 升の 10 分の 1)。

こーかい [ko:kai] [名] [こーか<sup>1</sup>いまい...] 後悔。反省。自分のやったことを反省すること。【同】「くーかい」。

ごーかく [go:kaku] [名] [ごーか<sup>1</sup>くまい...] 合格。入学試験に合格する。

ごーかくよーい [go:kakujo:] [名] [ごーか<sup>1</sup>くよーいまい...] 合格祝い。

ごーかず [go:kadz:] [名] [ごーかずまい...] 多数。数々。色々の物があること。

こーかつしゃーり [ko:katsɕa:] [形] [こーかつ<sup>1</sup>しゃまい...] けちである。物惜しみをする。

こーかつむぬ [ko:katsɕmunu] [名] [こーかつむ<sup>1</sup>ぬまい...] けちんぼ。ずるがしこい人。自分よがりの人。

こーきむぬ [ko:kimunu] [名] [こーきむ<sup>1</sup>ぬまい...] ひもじくしているもの。食いしんぼう。餓えた者。貧乏者。【同】「かうきむぬ」。

こーきり [ko:ki:] [動 II 類 c 型] [こーきー、こーきん] 乞う。ひもじいこと。【同】「かうきり」。

こーくー [ko:ku:] [名] [こーく<sup>1</sup>ーまい...] 香乞。忌日。命日。【同】「かうくー」。

こーこー [ko:ko:] [名] [こーこ<sup>1</sup>ーまい...] 孝行。親孝行。

こーこーしー [ko:ko:ɕi:] [名] [こーこーし<sup>1</sup>ーまい...] 三線の楽譜。【同】「くんくんしー」。

こーこーずん [ko:ko:dzɕn] [名] [こーこーず<sup>1</sup>んまい...] 孝行者。

こーしゃー [ko:ɕa:] [名] [病] [こーしゃ<sup>1</sup>ーまい...] 疥癬 (かいせん)。【同】「かうしゃー」。

こーしゃーり [ko:ɕa:] [形] [こー<sup>1</sup>しゃまい...] かゆい。【例】こーしゃぬ (かゆいこと)。【同】「かうしゃーり」。

こーしゃーり [ko:ɕa:] [形] [こー<sup>1</sup>しゃまい...] 貧乏。貧しい。【同】「かーしゃーり」。

こーじゃぬーま [ko:dʒanu:ma] [名] [こー<sup>1</sup>じゃぬーままい...] 毛の色が白と黒の馬。葦毛。

こーじょー [ko:dzo:] [名] [こーじょ<sup>1</sup>ーまい...] 口上。せりふ。唱え。八月おどりの組踊りの口上。〈でいよー ちやる むぬや はんじやうふぬし〉 (まかり出でましたるは波平大主)。

こーじょー [ko:dzo:] [名] [こーじょーまい...] 工場。製糖工場。にんにく工場。

ごーじょー [go:dzo:] [名] [ごーじょーまい...] 強情。強気の人。強情っぱり。

こーず [ko:dz:] [名] [こーずまい...] 麴。味噌づくりの「こうじかび」。米こうじ。麦こうじ。【同】「かうず」。

こーず [ko:dz:] [名] [こーずまい...] 黴。かび。【同】「かうず」。

こーずがみ [ko:dzɕgami] [名] [こーずがみまい...] 麴がめ。麴をしこむかめ。【同】「かうずがみ」。

ごーすたん [go:sɕtan] [名] [ごーすた<sup>1</sup>んまい...] 船が後進すること。

こーずふギ [ko:dzɕfukɕ] [名] [こーずふ<sup>1</sup>ギまい...] 味噌や醤油の麴が醗酵すること。かびが発生すること。【同】「かうずふギ」。

こーちがー [ko:ɕiga:] [名] [井戸] [こー<sup>1</sup>ちがーまい...] 井戸の名。人工井戸。

こーちん [ko:ɕin] [名] [鳥] [こーち<sup>1</sup>んまい...] 鶏。名古屋こーちんのこと。肉用として良い品種の鶏。

ごーっふいー [go:ffi:] [副] たくさん。人・動物・物の数に言う。【同】「がーっふいー」。「がーっふえー」。「ごーっふえー」。

ごーっふえー [go:ffe:] [副] たくさん。人・動物・物の数に言う。【同】「がーっふいー」。「がーっふえー」。「ごーっふいー」。

ごーとー [go:to:] [名] [ごーと<sup>1</sup>ーまい...] 強盗。

こーな [ko:na] [名] [こー<sup>1</sup>なまい...] さそり。【同】「かうな」。

こーばい [ko:bai] [名] 勾配。(屋根)の傾斜の角度の度合い。家を建てるときに用語。【例】こーばいゆ とうり (屋根の傾きの度合いを確かめよ)。

こーばく [ko:baku] [名] [こーばくまい...] 香箱。【同】「かうばく」。

こーピとう [ko:pɪtu] [名] [こーピ<sup>1</sup>とうまい...] 申し出る人。願い出る人。

こーピとう [ko:pɪtu] [名] [こーピ<sup>1</sup>とうまい...] 買う人。金を出して物を買う人。【同】「かうピとう」。

こーむぬ [ko:munu] [名] [こーむ<sup>1</sup>ぬまい...] 乞う者。貧しい人。困窮者。【同】「かうむぬ」。

こーむぬ [ko:munu] [名] [こーむぬまい...] 買うもの。買ったもの。【同】「かうむぬ」。

こーやく [ko:jaku] [名] [こーや<sup>1</sup>くまい...] 膏薬。張り薬。

ごーら [go:ra] [名] [植] [ごー<sup>1</sup>らまい...] にがうり。健康食品として日本全国に広まった。【同】「がうら」。

こーり [ko:ri] [名] [こー<sup>1</sup>りまい...] 行李。旅行かばん。

ごーり [go:] [動I類c型] [ごー<sup>1</sup>りー、ごーらん] うんざりする。あきれる。こりごりする。【例】かぬ やらびんや ごーりどうす (あの子にはあきれる)。【同】「がうり」。

こーりがし [ko:rigaçi] [名] [こー<sup>1</sup>りが<sup>1</sup>しまい...] 高利貸。

こーりまっふあ [ko:rimaffa] [名] [こー<sup>1</sup>りまっふあまい...] 氷枕。

こーる [ko:ru] [名] [こー<sup>1</sup>るまい...] 香炉。線香立て。【同】「かうる」。

こーるがま [ko:rugama] [名] 小指のこと。愛称。

こーわじゃ [ko:vadža] [名] [こーわ<sup>1</sup>じゃまい...] きつい仕事。重労働。【例】ずーかでー こーわじゃ (畑を耕すことは重労働だ)。【同】「かーわじゃ」。

こき [koki] [名] [こ<sup>1</sup>きまい...] 古希。70歳。

ごげーっ [goge:ʔ] [擬] 鶏の鳴く声。鶏の産卵の

終りの声。【類】「ごげーっごっごっ」。

ごげーっごっごっ [goge:gogogoʔ] [擬] 鶏の鳴く声。鶏の産卵の終りの声。【類】「ごげーっ」。

こっき [kokki] [名] [こっ<sup>1</sup>きまい...] 国旗。その国を象徴する旗。

ごっふあ [goffa] [擬] [ごっふあていーまい...] 頭をつき合わすときに言う。赤ちゃんのスキンシップをする。

ごっふあみギ [goffamikɿ] [動I類c型] [ごっふあみきー、ごっふあみかん] 大勢の人が突き当たる。渋滞の状態になる。

ごムま [gomma] [擬] 棒で突くときに使う。棒で突く音。【類】「ごんまごんま」。

ごムまごムま [gommagomma] [擬] [ごんまごんまていー...] 棒で突くときに使う。棒で突く音。【類】「ごんま」。

ごムまみかす [gommamikasɿ] [動I類c型] [ごんまみきー、ごんまみかん] 固いものを割る。激しく動かす。重機の激しく音をたてる。

ごムまみギ [gommamikɿ] [動I類c型] [ごんまみきー、ごんまみかん] 固いものなどが割れる。激しく動く。重機の激しい音がする。

こやまがー [kojamaga:] [名] [井戸] [こや<sup>1</sup>まがーまい...] 井戸の名。人工井戸。

## — さ —

さー [sa:] [名] [さーまい...] 差。ちがひ。ひらき。【例】さーや うーちがひ (大きな差のちがひ)。

さー [sa:] [感] 激励するときに発する。【例】さー やらしー みーる (さあ、やっごらん)。

さーていー [sa:ti:] [副] 懸命に。うんと。【例】さーていー ギぱり (うんと働け)。

さーどー [sa:do:] [連語] それいけ。激励すること。【例】くぬ すぐとー まーつき さーどー (この仕事は一緒にがんばるぞ)。

さいぐ [saigu] [名] [さい<sup>1</sup>ぐまい...] 最後。いちばん後。いちばん終り。【例】さいぐから にばん (最後から二番目)。

ざいさん [dzaisan] [名] [ざいさ<sup>1</sup>んまい...] 財産。資材。個人や団体の所有する土地・家屋・物品など。

さいばん [saiban] [名] [さいば<sup>1</sup>んまい...] 裁判。裁判所が法律に基づいて判断を下すこと。

ざいばん [dzaiban] [名] [ざいば<sup>1</sup>んまい...] 在番。首里の役人。首里王府から派遣された役人。宮古・八重山の蔵元に勤務した。

さいほー [saiho:] [名] [さいほ<sup>1</sup>ーまい...] 裁縫。着物などを縫うこと。

さいほーばく [saiho:baku] [名] [さいほ<sup>1</sup>ーばくまい...] 裁縫箱。裁縫に使う小道具を入れる箱。

ざいむく [dzaimuku] [名] [ざいむ<sup>1</sup>くまい...] 材木。家の建築に使用する木材。

さじ [sadzi] [名] [さじまい...] 匙。スプーン。

さしうしゅい [saçiũci:] [名] [さしうしゅいまい...] 差し押え。差し押さえること。

さしうしゅいり [saçiũci:] [動 II 類 a 型] [さしうしゅいー、さしうしゅいん] 差し押さえる。

さしぎた [saçigita] [名] [さしぎ<sup>1</sup>たまい...] 差し下駄。差し歯のある下駄。高下駄。

さしくム [saçikum] [動 I 類 c 型] [さしくみー、さしくまん] 差し込む。物の間や中に差し込む。【例】かぎう さしくム (鍵を差し込む)。【類】「ぬっふいり」。

さしさーり [saçisa:] [動 I 類 c 型] [さしさーりー、さしさーらん] さし障る。差し支える。【例】さしさーりら ねーん (差し障りはない)。

さしつかい [saçitsukai] [名] [さしつかいまい...] 差し支え。支障。【例】さしつかいどう いでいー (差し支えが出てしまった)。

さしとうみ [saçitumi] [名] [さしとうみまい...] 差し止め。禁止。

さしむぬ [saçimunu] [名] [さしむぬまい...] 指し物。家具。器具。箱・机・筆筒など。

さっていー [satti:] [副] さっと。さっさと。【例】さっていー しゅだ (さっさとしなさい)。

さていむ [satimu] [副] さて。何とまあ。かえすがえすも。【例】さていむ きつぎピとう (何と美人なこと)。

ざぶとうん [dzabutun] [名] [ざぶとう<sup>1</sup>んまい...] 座布団。

さむらい [samurai] [名] [さむらいまい...] 武士。戦国時代の武士。宮古には存在しない。【類】「ぶす」。

さらし [saraçi] [名] [さら<sup>1</sup>しまい...] さらし木綿。布の一種。

ざらみ [dzarami] [名] [ざら<sup>1</sup>みまい...] 白砂糖。黒糖を精製したもの。【類】「ざらみじゃた」。

ざらみじゃた [dzaramidzata] [名] [ざら<sup>1</sup>みじゃたまい...] 白砂糖。黒糖を精製したもの。【類】「ざらみ」。

さりー [sari:] [感] もしもし。他人の家を訪問するときの挨拶。ごめん下さいの意味。今はない。組踊りの一場面にある。

さんがつ [sangats:] [名] [さ<sup>1</sup>んがつまい...] 三月。やよい。啓蟄・春分の季節。

さんさんくどう [sansankudu] [名] [さんさんく<sup>1</sup>どうまい...] 三三九度。

さんしー [sançi:] [名] [さんし<sup>1</sup>ーまい...] 賛成。同意すること。【例】さんしーじきん (賛成事件・村史参照)。

さんじちゃー [sandzitʃa:] [名] [さんじちゃ<sup>1</sup>ー  
まい...] 三時ごろの休憩。またその休憩のとき  
に飲むお茶。

さんしゃぎ [sanʃagi] [名] [さんしゃ<sup>1</sup>ぎまい...]  
三下げ。琉球三味線の三弦を下げること。

さんじゆくー [sandzijuku:] [名] [さんじゆく<sup>1</sup>ー  
まい...] 三時ごろの休憩。

さんずん [sandzɯn] [名] [さんず<sup>1</sup>んまい...] 三  
寸。約9センチ。一寸は3センチ。

さんとー [santo:] [名] [さんと<sup>1</sup>ーまい...] 屋敷  
内に掘った汚水池。

さんどー [sando:] [名] [さんど<sup>1</sup>ーまい...] 参道。  
多良間神社前の道路。うぶめーかが起点。

さんぱ [sanpa] [名] [さん<sup>1</sup>ぱまい...] 産婆。助産  
師。

さんばし [sanbaʃi] [名] [さんば<sup>1</sup>しまい...] 棧橋。  
船着場。荷役をする所。

さんぱつ [sanpatsɯ] [名] [さんば<sup>1</sup>つまい...] 散  
髪。理髪。

さんぱつやー [sanpatsɯja:] [名] [さんば<sup>1</sup>つやー  
まい...] 散髪屋。床屋。

さんぽー [sanpo:] [名] [さんぽ<sup>1</sup>ーまい...] 三方。  
供え物を乗せる台。三方に穴が開いているから  
言う。

さんま [sanma] [名] [魚] [さん<sup>1</sup>ままい...] さん  
ま。秋刀魚。

## — し —

し [çi] [助数] 畝 (せ)。畑の面積の単位。一畝は一反の10分の一。約9.9平方メートル。尺貫法のこと。

しあぎ [çiagi] [名] [しあぎまい...] 仕上げ。

しあぎり [çiagi] [動II類a型] [しあぎ一、しあぎん] 仕上げる。完成させる。し終えること。

しあわし [çiavaçi] [名] [しあわしまい...] 幸わせ。【例】しあわしむぬ (幸せ者)。

しー [çi:] [助] ~で。~を以て。【例】ふでいしーかギ (筆で書く)。たうかーしー むつ (一人で持つ)。

しー [çi:] [名] 四。四つ。四歳。

しー [çi:] [名] [しーまい...] 背。背中。【例】ぬーまぬ しー (馬の背)。

しー [çi:] [名] [しーまい...] 瀬。干瀬。【類】「びし」。

しー [çi:] [擬] 静かにする合図。子どもに対して人差指を口に当てて無声音を出す。

しー [çi:] [感] 家畜や動物を追うときに言う。無声音。

しー [çi:] [感] 幼児に小便を促すときに言う。

じー [dzi:] [名] [病] [じーまい...] 痔。

じー [dzi:] [名] [じーまい...] 税。税金。【類】「じーきん」。「じえいきん」。

しー すていー ねーん [çi: s̺ti: ne:n] [連語] やってしまった。仕事の終わったことをいう。

しー すていり [çi: s̺ti:] [連語] やってしまう。仕事を全部終える。

しー すていり [çi: s̺tiru] [連語] やってしまえ。仕事を残さず終わってしまえ。

しー とうらす [çi: turas̺] [連語] してやる。やり返す。

しー みーり [çi: mi:] [連語] やってみる。試してみる。

しーかつ [çi:kats̺] [名] [しーか<sup>1</sup>つまい...] 生活。暮らし。生計。

しーギー [çi:k̺:] [連語] やって来る。押し寄せて来る。勇ましくやって来る。

しーきつ [çi:kits̺] [名] [しーき<sup>1</sup>つまい...] 清潔。

しーきゅー [çi:kju:] [名] [しーきゅ<sup>1</sup>ーまい...] 請求。【例】じんゆ しーきゅーすー (お金を請求する)。

じーきん [dzi:kin] [名] [じーき<sup>1</sup>んまい...] 税金。国や地方自治体に租税として納める金銭。【類】「じー」。「じえいきん」。

しーぐ [çi:gu] [名] [しー<sup>1</sup>ぐまい...] 小刀。ナイフ。主に鉛筆削りに使う。【例】かたばしーぐ (片歯の小刀)。

しーこー [çi:ko:] [名] [しーこ<sup>1</sup>ーまい...] 成功。成し遂げること。

しーしき [çi:çiki] [名] [しーし<sup>1</sup>きまい...] 成績。できばえ。仕事のできばえ。学業のできばえ。

しーしつ [çi:çits̺] [名] [しーし<sup>1</sup>つまい...] 性質。そのものが持っている特徴。その人の生れつきの性質。

しーしん [çi:çin] [名] [しーし<sup>1</sup>んまい...] 精神。思考や感情をつかさどる心。気力。

しーだい [çi:dai] [形] [しーだいんまい...] 盛大。勢いの盛んなこと。【例】すつうぶなかー しーだい (スツウブナカは盛大だ)。

じーたく [dzi:taku] [名] [じーたくまい...] ぜいたく。【例】じーたくむぬ (金持ちの家に生まれた子)。

しーてい [çi:ti] [副] 強いて。無理して。【例】しーてい ギかまん (強いて聞く必要はない)。

しーていん [çi:tin] [名] [しーていんまい...] 晴天。

しーとう [çi:tu] [名] [しー<sup>1</sup>とうまい...] 生徒。【類】「がっこーしーとう」。

しーとうにがイ [çi:tuniga̺] [名] [しー<sup>1</sup>とうにがイまい...] 生徒願。生徒の健康願。

しーとうむつ [çi:tumuts̺] [名] [しー<sup>1</sup>とうむつまい...] 生徒持ち。学校や大学に行く年頃の子供を養うこと。

しーとうやらび [çi:tujarabi] [名] [しー<sup>1</sup>とうや

らびまい...) 生徒・子供。重複語。児童。学童。  
 しーとー [çi:to:] [名] [しーと<sup>1</sup>ーまい...] 製糖。  
 さとうきびから黒糖を作ること。多良間の経済  
 を支える基幹産業。【類】「ぶーギすぶり」。  
 しーとーあぐ [çi:to:agu] [名] [しーと<sup>1</sup>ーあぐま  
 ーまい...] 製糖の仲間。  
 しーとーぐるま [çi:to:guruma] [名] [しーと<sup>1</sup>ー  
 ぐるままい...] 製糖車。歯車のこと。さとうき  
 びの圧搾をする歯車。  
 しーとーだむぬ [çi:to:damunu] [名] [しーと<sup>1</sup>ー  
 だむぬまい...] 製糖用薪。きび汁を煮つめるた  
 めの薪。  
 しーとーなび [çi:to:nabi] [名] [しーと<sup>1</sup>ーなびま  
 ーまい...] 製糖鍋。きび汁を煮つめる鍋。一番鍋。二  
 番鍋。三番鍋。  
 しーとーにんじゅ [çi:to:nindzu] [名] [しーと<sup>1</sup>ー  
 にんじゅまい...] 製糖人衆。製糖仕事の仲間。  
 普通十人体制。  
 しーとーやー [çi:to:ja:] [名] [しーと<sup>1</sup>ーやーま  
 ーまい...] 製糖小屋。製糖工場。  
 しーとーゆい [çi:to:ju:] [名] [しーと<sup>1</sup>ーゆいま  
 ーまい...] 製糖結い。グループで製糖をすること。  
 しーとーよーい [çi:to:jo:] [名] [しーと<sup>1</sup>ーよーい  
 ーまい...] サトウキビの収穫が終了した慰労会。  
 しーな [çi:na] [名] [しー<sup>1</sup>なまい...] 篩。ふるい。  
 浅い枠の底に目の細かい網を張ったもの。細か  
 いものと粗いものを選び分ける。  
 しーにん [çi:nin] [名] [しーにんまい...] 青年。  
 若者。男性に言う。  
 しーにんしゅじゅ [çi:ninçudzu] [名] [しーにん  
 しゅ<sup>1</sup>じゅまい...] 青年処女。女性の若者に言  
 う。  
 しーにんだん [çi:nindan] [名] [しーにんだ<sup>1</sup>んま  
 ーまい...] 青年団。戦時中は活発な活動をした。  
 しーにんやー [çi:nin.ja:] [名] [しーにんや<sup>1</sup>ーま  
 ーまい...] 青年の家。公民館。集会所。  
 しーのー [çi:no:] [名] [しーの<sup>1</sup>ーまい...] せい  
 ろ。餅を作る道具。  
 しーぶに [çi:buni] [名] [しーぶにまい...] 背骨。  
 背中。【例】ぬーまぬ しーぶに (馬の背中)。  
 しーまき [çi:maki] [名] [しーまきまい...] 背負

け。根負け。相手の根気に負ける。【例】しー  
 まきう しー やーんけー (けんかに負けて家  
 へ行く)。  
 しーみー [çi:mi:] [名] [しーみ<sup>1</sup>ーまい...] 清明。  
 二十四節気の一つ。清明祭り。4月5日頃。  
 しーみーちゃー [çi:mi:çã:] [名] [しーみーちゃ<sup>1</sup>  
 ーまい...] 清明茶。中国産のお茶。各家庭に愛  
 飲された。  
 しーむぬ [çi:munu] [名] [しーむぬまい...] 吸い  
 物。お祝いのごちそう。【例】かムばくぬ しー  
 むぬ (かまぼこの吸い物)。  
 しーむぬまかり [çi:munumaka] [名] [しーむぬ  
 まか<sup>1</sup>りまい...] 吸い物用の椀。【類】「しーむぬ  
 わん」。  
 しーむぬわん [çi:munuvan] [名] [しーむぬわ<sup>1</sup>  
 ーまい...] 吸い物椀。  
 しームビ [çi:mbi] [動I類c型] [しームびー、し  
 ームばん] 背伸びする。畑仕事の途中に背伸び  
 する。老人が背伸びする。  
 しーや [çi:ja] [連語] それだけでは。【例】うんだ  
 きしーや ならん (それだけではいけない)。  
 しーら [çi:ra] [名] [魚] [しーらまい...] しいら。  
 【類】「しゃーら」。「まんびき」。  
 しーら [çi:ra] [名] [しーらまい...] 毒気。後遺  
 症。【例】じくぬ しーらぬ やみーり (事故の  
 後遺症が痛い)。  
 しーらー [çi:ra:] [副] もしものこと。【例】しー  
 らー あみぬ っふあぼどう (もしも雨が降っ  
 たら)。  
 しーり [çi:ri] [名] [しー<sup>1</sup>りまい...] 仕入れ。物  
 品を仕入れること。  
 しーり [çi:ri] [名] [しーりま<sup>1</sup>い...] 整理。乱れ  
 たものをきちんと整えること。  
 しーんぎ [çi:ngi] [名] [しーん<sup>1</sup>ぎまい...] 魚の背  
 びれ。背びれの骨。  
 しえー [çe:] [名] [しえーまい...] 莢 (さや)。豆  
 のさや。【例】しえーう むぎ (莢を開ける)。  
 しえーか [çe:ka] [名] [しえーかまい...] 未明。  
 早朝。暁。黎明。【例】しえーかうき (早起き訓  
 練。学校の教育方針)。  
 しえーかえーム [çe:kæ:m] [名] [しえーかえー

ムーまい...〕未明の暗い頃。  
 しえーかずギ [çe:kadzŋk] [名] [しえーかずギまい...] 未明の月。暁の月。夜が明けるまで残っている月。残月。  
 しえーかぶす [çe:kabus] [名] [しえーかぶすまい...] 未明の星。明けの明星。金星のこと。明け方東の空に見える。  
 しえーかむぬ [çe:kamunu] [名] [しえーかむぬまい...] 普段より早い朝食。  
 しえーがり [çe:ga] [名] 一旦仕事をすること。一日の間に畑に出かけてひと仕事を終わらせて来ること。頑張る者についていう。【例】ピとうしえーがり (一息して頑張る)。すとうむていペーし うきー ピとうしえーがりわじゃう しーギ (朝早く起きて、ひと仕事してくる)。  
 しえーき [çe:ki] [名] [しえーきまい...] 夜明け。明けること。空が明るくなること。東の空が白くなること。  
 しえーきり [çe:ki] [動 II 類 a 型] [しえーき一、しえーきん] 明ける。空が明るくなる。東の空が白くなる。夜明けになる。  
 じえーじえー [dže:dze:] [擬] 喘息。喘息患者の息づかい。  
 しえーふ [çe:fu] [名] [しえーふま<sup>1</sup>い...] 大工。木工、石工。  
 しえーまみ [çe:mami] [名] [しえーま<sup>1</sup>みまい...] 莢豆。莢に入っていて食用になる豆。  
 じえったい [dzettai] [副] 絶対。対立するものがないこと。  
 しえんきよ [çenkjo] [名] [しえん<sup>1</sup>きよまい...] 選挙。投票で人を選ぶこと。  
 じえんざい [dzendzai] [名] [じえんざ<sup>1</sup>いまい...] ぜんざい。「たらまみ」のぜんざいが主である。  
 しえんしえい [çençei] [名] [しえんしえ<sup>1</sup>まい...] 先生。教師。指導者。学識の高い人。【同】「しんしー」。  
 じえんじえん [dzendzen] [副] 全然。全く。否定することの意味に使う。  
 しえんしゅ [çençu] [名] [しえん<sup>1</sup>しゅまい...] 選手。選ばれて競技に出る人。

しえんちよー [çentçø:] [名] [しえんちよ<sup>1</sup>ーまい...] 船長。船の責任者。【同】「しんちよー」。  
 【類】「しんどうー」。  
 しえんでん [çenden] [名] [しえんで<sup>1</sup>んまい...] 宣伝。住民に広く知らせること。  
 じえんぶ [dzenbu] [名] [じえん<sup>1</sup>ぶまい...] 全部。全ての物。  
 しえんむん [çenmun] [名] [しえんむ<sup>1</sup>んまい...] 専門。特定の学問・分野。  
 しおさる [çiosaru] [名] [地] [し<sup>1</sup>おさる<sup>1</sup>まい...] 塩申。塩川申支部。吉川。  
 しおとら [çiotora] [名] [地] [し<sup>1</sup>おとら<sup>1</sup>まい...] 塩寅。塩川寅支部。大道。  
 しおねー [çione:] [名] [地] [し<sup>1</sup>おねー<sup>1</sup>まい...] 塩子。塩川子支部。嶺間。  
 しおムま [çiomma] [名] [地] [し<sup>1</sup>おムま<sup>1</sup>まい...] 塩午。塩川午支部。大木。  
 しか [çika] [名] [しかまい...] 鹿。偶蹄動物。ひづめが二つになっている。山羊も同じ。  
 しかい [çikai] [名] [しかいまい...] 世界。地球上の全ての地域。世間。世の中。自分の及ぶ範囲。  
 しがかり [çigaka] [名] [しがかり<sup>1</sup>まい...] 瀬がかり。釣針が瀬に引っかかること。【類】「いしがき」。「しがき」。  
 しかき [çikaki] [名] [しか<sup>1</sup>きまい...] 仕掛け。からくり。仕事の途中。やりかけ。  
 しがき [çigaki] [名] [しがきまい...] 瀬がけ。釣針が瀬にかかること。【類】「しがかり」。「いしがき」。  
 しかきり [çikaki] [動 II 類 c 型] [しかき一、しかきん] 仕掛ける。  
 しがつ [çigats] [名] [しが<sup>1</sup>つまい...] 四月。卯月。清明・穀雨の季節。  
 じがにまる [dziganimaru] [名] [じがにま<sup>1</sup>るまい...] 治金丸。仲宗根豊見親の刀。首里王府からの贈りもの。  
 しがらす [çigaras] [動 I 類 c 型] [しがらし一、しがらしゃん] 悩ませる。苦勞させる。【例】っふあん しがらしゃいり (子どもに悩まされる)。  
 しがり [çigari] [名] [しがりま<sup>1</sup>い...] 悩み。悩む

- こと。苦しみ。苦しむこと。
- しがりり [çigari] [動II類c型] [しがりー、しがりん] 悩む。苦しむ。【例】くすやみーどうしがりり (腰痛のために悩む)。
- じかんまき [dzikanmaki] [名] [じかんまきまい...] 時間負け。遅刻。
- しき [çiki] [名] [しきまい...] 席。座席。座る場所。見物席。【類】「びーどうくま」。
- しき [çiki] [名] [しきまい...] 式。儀式。入学式。葬式。化学式。方程式。和式。洋式。
- しき [çiki] [名] [しきまい...] 戸籍。【例】しきう イズいり (入籍する)。
- しき [çiki] [名] [しきまい...] 時化。海の荒れ。暴風。台風。【例】きうや じゃうしきどー (今日は強い時化だ)。
- しきあぎ [çikiagi] [名] [しきあぎまい...] 挙式。結婚式を行うこと。
- しきがい [çikigai] [名] [しきがまい...] 席替え。席を移すこと。
- しきくどうぎ [çikikudukı] [名] [しきくどうぎまい...] 四季口説。琉球舞踊の一つ。
- しきくム [çikikum] [動I類c型] [しきくみー、しきくまん] 咳き込む。
- しきくるす [çikikurusı] [動I類a型] [しきくるしー、しきくるしゃん] ひき殺す。
- しきじ [çikidzi] [名] [しきじまい...] 席次。成績の順位。
- しきだい [çikidai] [名] [しきだまい...] 指揮台。指揮する人の立つ台のこと。
- しきたん [çikitan] [名] [しきたんまい...] 石炭。化石燃料。古代の植物が地中にうずもれて炭化したもの。
- しきたんがに [çikitungani] [名] [しきたんがまい...] ブリキ缶を利用して別の用途に使うもの。
- しきたんばく [çikitanbaku] [名] [しきたんばくまい...] ブリキ缶。1斗入れの缶。石油の入った一斗缶。
- しきたんゆー [çikitan.ju:] [名] [しきたんゆーまい...] 石炭油。
- しきどうみ [çikidumi] [名] [しきどうみまい...] 咳止め。薬品。
- しきどうみふしゆり [çikidumifuçulı] [名] [しきどうみふしゆりまい...] 咳止めの薬。
- しきにな [çikinin] [名] [しきになまい...] 責任。【例】どうーしー しきになゆ むてい (自分で責任をとれ)。
- しきばく [çikibaku] [名] [しきばくまい...] ブリキ缶のこと。
- しきばん [çikiban] [名] [しきばんまい...] 石板。黒板の役目をする。石盤とも書く。
- しきひ [çikihı] [名] [しきひまい...] 石碑。いしぶみ。
- しきびつ [çikipitsı] [名] [しきびつまい...] 石筆。石板に書くもの。チョーク。大正時代までの学習道具。
- しきもー [çikimo:] [名] [しきもーまい...] 色盲。色の区別のできない人。
- しきゆー [çikiju:] [名] [しきゆーまい...] 石油。地中から産出される燃料。【例】しきゆーらんぶ (石油ランプ)。
- しきゆーかん [çikiju.kan] [名] [しきゆーかんまい...] 石油缶。石油の入った一斗缶。【類】「しきたんばく」。
- しきゆーらんぶ [çikiju.ranpu] [名] [しきゆーらんぶまい...] 石油ランプ。角ランプ。ほやランプ。灯籠。【類】「とーうり」。
- しきり [çiki] [動I類c型] [しきりー、しきらん] 仕切る。区切る。間に境を作る。【例】しきりー ふた一つん なし (仕切って二つになしなさい)。
- しきり [çiki] [動II類c型] [しきー、しきん] 時化する。天気が悪くなる。
- しきん [çikin] [名] [しきんまい...] 試験。テスト。試すこと。実験すること。
- しきん [çikin] [名] [しきんまい...] 世間。世の中。世の中の人々。【例】しきんー ならい (世間を見習いなさい)。
- じきん [dzikin] [名] [じきんまい...] 事件。世間を騒がせる出来事。
- しきんぎ [çikingı] [動I類] [しきんぎー、しきんがん] [しきんぎまい...] 籍抜く。除籍する。

離婚する。

しきんなみ [çikinnami] [連語] 世間並。【例】しきんなみんどう くらしー ぶり (世間並に暮している)。

しきんなり [çikinnari] [名] [しき<sup>1</sup>んなりまい...] 世間慣れ。馴れ。【例】ムめ しきんなりーどう ぶり (もう世間慣れしている)。

しきんばい [çikinbai] [名] [しき<sup>1</sup>んばいまい...] 世間榮え。【例】かれー しきんばいむぬ (彼は世間からほめられている)。

しきんばなす [çikinbanas] [名] [しき<sup>1</sup>んばなす<sup>1</sup>うまい...] 世間話。世間のことについて気楽におしゃべりすること。雑談。よもやもばなし。

じく [dziku] [名] [じ<sup>1</sup>くまい...] 事故。車の事故。海の事故。空の事故。

じく [dziku] [名] [じ<sup>1</sup>くまい...] 軸。巻物の軸。中心。【例】じくーしーまーり (軸にして回れ)。

じぐく [dziguku] [名] [じぐくまい...] 地獄。

しくじり [çikudzil] [動I類c型] [しくじりー、しくじらん] しくじる。へまをする。【例】くぬーれー しくじりーてーん (近頃はしくじってばかりだ)。

しくり [çikuri] [名] [しくりまい...] しこり。すっきりしないこと。【例】すぐとうぬ しくりぬ あり (仕事のしこりがある)。

じくりゆー [dzikurju:] [名] [じ<sup>1</sup>くりゆーまい...] 自己流。我流。【例】じくりゆーぬ しゃんしム (自己流の三線弾き)。

じじゆ [dzidzu] [名] [じ<sup>1</sup>じゆまい...] 次女。二番目の女。

しじゆーくにつ [çidzu:kunits] [名] [しじゆーくにつまい...] 四十九日。死後七日 (なんか) の七回目の法事。【同】「すじゆーくにつ」。

しずうく [çidzuku] [名] [しずうくまい...] 士族。現在は身分制度はない。【類】「ゆかりピとう」。

したい [çitai] [感] でかした。よかった。しめたものだ。【例】したい、ばーれ (でかしたぞ、いい子だ)。

したいしたい [çitaiçitai] [感] とてもよかったことの表現。孫をほめる言葉。次に「ばーれ」が続く。

しち [çitç] [名] なな。七。七月。七歳。七つ。

しちがーら [çitçigara] [名] [しちがー<sup>1</sup>らまい...] 女性の晴れ着の柄。

しちがつ [çitçigats] [名] [し<sup>1</sup>ちがつ<sup>1</sup>まい...] 七月。文月。七夕月。愛逢月。小暑・大暑の季節。織女星・牽牛星を祭る七夕がある。

しちぶ [çitçibu] [名] [しち<sup>1</sup>ぶまい...] 七分。普通の人より知識のない人。相手をからかうときにも言う。

しちふくじん [çitçifukudzjin] [名] [しちふくじ<sup>1</sup>んまい...] 七福神。

しつ [çits] [名] [し<sup>1</sup>つまい...] 質。品質。人間としての質。内容が充実していること。質実。飾り気のないこと。

じつ [dzits] [名] [じ<sup>1</sup>つまい...] 実。実際。事実。

じっかん [dzikkan] [名] [干支] [じっか<sup>1</sup>んまい...] 十干。甲 (きのえ)、乙 (きのと)、丙 (ひのえ)、丁 (ひのと)、戊 (つちのえ)、己 (つちのと)、庚 (かのえ)、辛 (かのと)、壬 (みずのえ)、癸 (みずのと)。

しっきん [çikkin] [名] [しっき<sup>1</sup>んまい...] 石鯛。

しっとう [çittu] [名] [しっ<sup>1</sup>とうまい...] 嫉妬。ねたむこと。そねむこと。

しつむん [çitsmun] [名] [しつむ<sup>1</sup>んまい...] 質問。問うこと。問いただすこと。【例】しんしーんけー がーつふえー しつむん しる (先生にたくさん質問しなさい)。

しつやく [çitsjaku] [名] [しつや<sup>1</sup>くまい...] 節約。儉約。【例】じんゆ しつやく しる (お金を節約しなさい)。

しつりー [çitsri:] [名] [しつり<sup>1</sup>ーまい...] 失礼。無礼。【例】しつりーな ばなす (失礼な話)。  
【類】「ぶりー」。

じつるく [dzitsruku] [名] [じつる<sup>1</sup>くまい...] 実力。【例】じつるこー ねーん (実力はない)。じつるくー つきる (実力をつけよ)。

していー [çiti:] [名] [してい<sup>1</sup>ーまい...] 使丁。小使い。用務員。

じていん [dzitin] [名] [じてい<sup>1</sup>んまい...] 辞典。字引き。辞書。【例】じていんゆ ぴきー ならい (辞典を引いて勉強しなさい)。

じていんしゃ [dzitinça] [名] [じていん<sup>1</sup>しゃまい...] 自転車。

しどう [çidu] [名] [しどうまい...] 勢頭。宮古上布の織り手の手伝い人。指導員。女の手伝い人。【類】「いムしどう」。

しどう [çidu] [名] [し<sup>1</sup>どうまい...] 勢頭。中心人物。

しどう [çidu] [名] [しどうまい...] 漁の長。海人の長。

しな [çina] [名] [貝] [し<sup>1</sup>なまい...] はまぐり。

しないし [çinaici] [名] [し<sup>1</sup>ないしまい...] 柔らかい石。もろい石。砂岩。石灰岩。

しなギー [çinakı:] [名] [し<sup>1</sup>なギーまい...] 石切り場。採石場。砂岩地層。戦時中に岩石に穴を開けて防空壕として避難生活をした。今はゲートボール場に姿を変えている。

しなぎり [çinagiri] [名] [し<sup>1</sup>なぎりまい...] 品切れ。

しなぐー [çinagu:] [名] [貝] [し<sup>1</sup>なぐーまい...] はまぐりの殻。二枚貝の殻のこと。

じならず [dzinaras:] [動I類c型] [じならしー、じならしゃん] 地均す。畑を整地する。【例】じならしー すっじゃう ういずー (整地してさとうきびを植える)。

しぬぶし [çinubuçi] [名] [しぬぶ<sup>1</sup>しまい...] 仕上世。人頭税を集めて保管する所。

じば [dziba] [接尾] ~するから。~するつもりなので。意志を表す接辞 <~ずー> に理由を表す接辞 <~ば> が付いて融合した形。【例】しゅっじば (するからなあ)。あびらっじば (呼ぶからなあ)。

しばい [çibai] [名] [しば<sup>1</sup>いまい...] 芝居。演劇。昔の村芝居。

しばしゃーり [çibaça:] [形] [しば<sup>1</sup>しゃまい...] 狭い。【例】しばどうくな (狭い所)。しばやー (狭い家)。しばしゃ ねーん (狭くない)。【同】「いばしゃーり」。

しばどうくな [çibadukuna] [名] [しばどうく<sup>1</sup>なまい...] 狭い所。【例】くるまぬ なかー しばどうくな (車の中は狭い所だ)。

しばな [çibana] [名] [しばなまい...] 岸壁の頂

上。【例】しばなん いムどうりぬ すーぬ あり (岸壁に海鳥の巣がある)。【類】「ばなた」。

しばまり [çibama:] [動I類c型] [しばまりー、しばまらん] 狭くなる。【例】やーぬ しばまり (家が狭くなる)。

しばみつ [çibamits:] [名] [しばみ<sup>1</sup>つまい...] 狭い道。小さい道。細い道。【同】「いばみつ」。

しばみり [çibami:] [動II類c型] [しばみー、しばみん] 狭める。【例】みつぬどう やすぎう しばみり (道路が屋敷を狭める)。

しばや [çibaja] [名] [しば<sup>1</sup>やまい...] 芝屋。芝居のこと。

しばやー [çibaja:] [名] [しばや<sup>1</sup>ーまい...] 狭い家。小さい家。【同】「いばやー」。

じばん [dziban] [名] 肌着。シャツ。肌着。

しばら [çibira] [名] [しば<sup>1</sup>らまい...] そびら。背中。【類】「くすぶに」。

しばらぶに [çibirabuni] [名] [しばらぶにまい...] 肩甲骨。

しばり [çibiri] [名] [しばりま<sup>1</sup>い...] しばれ。指のしばれ。足のしばれ。感覚がなくなること。

しばりり [çibiri:] [動II類c型] [しばりー、しばりん] しばれる。長時間ひざを曲げて座ると足がしばれる。【類】「ピキムビー」。

じぶく [dzibuku] [名] [じぶ<sup>1</sup>くまい...] 釣り竿。磯釣りは小さい竹を使用する。大物をねらうときは長い竹竿を使用する。

しぶとう [çibutu] [名] [貝] [しぶ<sup>1</sup>とうまい...] りゅうきゅうますおがいがい。

しぶとうがー [çibutuga:] [名] [井戸] [しぶ<sup>1</sup>とうがーまい...] 井戸の名。人工井戸。

しぶに [çibun:] [名] [しぶにまい...] 背中の骨。背中。背骨。脊柱。【類】「なかぶに」。

じべんとー [dzibento:] [名] [じべんと<sup>1</sup>まい...] 持っていく弁当。

しまい [çimai] [名] [しまいまい...] 終り。終ること。終了。【同】「すまい」。

しまい [çimai] [感] しまった。手遅れ。後悔の意味。【例】しまいどー、むぬばっすいー (しまった、もの忘れをした)。【同】「すまい」。

しまいり [çimai:] [動II類c型] [しまいー、し

まいん] 終わる。終了する。【例】きうぬ すぐとー しまいった (今日の仕事は終わった)。

しまくんじょー [ɕimakundzo:] [名] [しまくんじょーまい...] 島根性。小心。狭い視野で生活する。閉鎖的な考えのこと。

しまつ [ɕimatsɯ] [名] [しまつまい...] 始末。始めと終り。あと片付け。しめくり。決着。

しまながし [ɕimanagaɕi] [名] [しまなが<sup>1</sup>しまい...] 島流し。遠島。流刑。例えば、心海和尚は多良間島へ。平敷屋朝敏の長男は水納島へ、次男は多良間島へ流刑。実話である。

しまり [ɕimal] [動 I 類 c 型] [しまりー、しまらん] 閉じる。【例】やどー しまりった (戸は閉まった)。

しみ [ɕimi] [名] [し<sup>1</sup>みまい...] よごれ。よごれる。顔のしみ。衣服のしみ。

しみー [ɕimi:] [名] [しみ<sup>1</sup>ーまい...] 女性の下着。

しみギー [ɕimiki:] [動 I 類 c 型] [しみギしー、しみギしゃん] 締め切る。決められた時間や定員を打ち切る。

しみギー [ɕimiki:] [動 I 類 c 型] [しみギしー、しみギしゃん] 閉め切る。戸・窓・門などを閉め切る。

しみきり [ɕimiki:] [名] [しみき<sup>1</sup>りまい...] 締め切り。提出物を締め切ること。入場を締め切ること。

しみくます [ɕimikumasɯ] [動 I 類 c 型] [しみくましー、しみくましゃん] 染み込ます。浸みこませる。【例】みずう しみくます (水を浸み込ませる)。

しみくム [ɕimikum] [動 I 類 c 型] [しみくみー、しみくまん] 染み込む。浸み込む。【例】みずぬ ムたん しみくム (水が土に浸み込む)。

しみくらす [ɕimikurasɯ] [動 I 類 c 型] [しみくらしー、しみくらしゃん] 絞め殺す。【例】とうりる しみくらす (鶏を絞め殺す)。

じみしゃーり [dzimɕiɕa:] [形] [じみ<sup>1</sup>しゃまい...] 地味。地味な服。地味な性格。

しみだうふ [ɕimidauɕu] [名] [しみだう<sup>1</sup>ふまい...] 型に入れて作った豆腐。型に入れて固まらせた豆腐。型に入れないものは「ゆどーふ」。【同】

「しみどーふ」。

しみつギ [ɕimitsɯkɯ] [動 I 類 c 型] [しみつきー、しみつかん] 染みつく。よごれる。【例】たばくぬ きふすぬ ギんー しみつギ (たばこの煙が着物に染み付く)。

しみつきり [ɕimitsɯki:] [動 II 類 c 型] [しみつきー、しみつきん] 締めつける。【例】あていなくとー しみつきんな (あまり締め付けるな)。

しみどーふ [ɕimido:ɕu] [名] [しみどー<sup>1</sup>ふまい...] 型に入れて作った豆腐。型に入れて固まらせた豆腐。型に入れないものは「ゆどーふ」。【同】「しみだうふ」。

しみなー [ɕimina:] [名] [しみな<sup>1</sup>ーまい...] 締めつける縄。茅ぶきの家の茅を締めつける縄のこと。

しみり [ɕimi:] [動 II 類 c 型] [しみー、しみん] 締める。閉じる。【例】やどうー しみり (戸を締める)。

しみり [ɕimi:] [動 II 類 c 型] [しみー、しみん] 絞める。【例】にぶいゆ しみり (首を絞める)。

しみり [ɕimi:] [動 II 類 c 型] [しみー、しみん] 占める。【例】やらびぬどう しみり (子どもたちが独占する)。

しみり [ɕimi:] [動 II 類 c 型] [しみー、しみん] 攻める。【例】ていぎう しみり (敵を攻める)。

しみり [ɕimi:] [動 II 類 c 型] [しみー、しみん] 責める。けじめをつける。【例】イズいー しみり (叱って責める)。

しみり [ɕimi:] [動 I 類 c 型] [しみりー、しみらん] 湿る。【例】あみぬ つふいー しみー (雨が降って湿った)。

しみん [ɕimin] [名] [しみ<sup>1</sup>んまい...] セメント。コンクリート。【例】しみんやー (セメントの家)。

しみんがーら [ɕiminga:ra] [名] [しみ<sup>1</sup>んがーらまい...] セメントがわら。

しみんがーらやー [ɕimingaraja:] [名] [しみ<sup>1</sup>んがーらやーまい...] セメントがわらの家。

しみんやー [ɕimin.ja:] [名] [しみ<sup>1</sup>んやーまい...] セメントの家。セメント瓦ぶきの家。コンクリートづくりの家。

しむき [ɕimuki] [名] [しむきま<sup>1</sup>い...] 仕向け。働きかけること。言いつけること。教えること。  
 しむき<sup>1</sup> [ɕimuki] [動 II 類 c 型] [しむき一、しむきん] 仕向ける。働きかける。言いつける。教える。【例】ペーうきう しむき<sup>1</sup> (早起きを言いつける)。  
 しむくム [ɕimkum] [動 I 類 c 型] [しむくみ一、しむくまん] 染み込む。  
 しむじ [ɕimudzi] [名] [しむじんま<sup>1</sup>い...] 下地。宮古島の下地地区。下地島。  
 じむとう [dzimutu] [名] [じむとうんまい...] 地元。現地。【例】じむとうぬ ピとうぬ ムめ (地元の人たち)。  
 しゃ [ɕa] [接尾] ~さ。形容詞に付き、名詞を形成する。【例】ながしゃ (長さ)。かばしゃ (香ばしさ)。かぎしゃ (きれいさ)。とうーしゃ (遠さ)。つかしゃ (近さ)。  
 しゃ [ɕa] [終] そうだ。そうだよ。そうだよなあ。【例】あんしーしゃ (そうだよな)。ヴヴあが むぬしゃ (君のものだよな)。  
 じゃー [dza:] [名] [じゃ<sup>1</sup>ーまい...] 狂った女。女の亡霊。  
 じゃー [dza:] [名] [じゃー<sup>1</sup>んまい...] 座。座敷。人の集まる場所。【例】いつばんじゃー (一番座)。しゃきじゃー (酒屋・酒を飲んでいる所)。くミじゃー (組踊の担当)。  
 しゃーしゃー [ɕa:ɕa:] [擬] 雨が木の葉っぱに落ちる音。水の流れる様。  
 じゃーじゃー [dza:dza:] [擬] どしゃぶり。水の流れる様子。  
 しゃーだごーる [ɕa:dago:ru] [名] [しゃーだごーるまい...] 拝所。  
 しゃーピかす [ɕa:pikas] [動 I 類 a 型] [しゃーピかし一、しゃーピかしゃん] 乾かす。干す。洗濯物を干す。【例】あみん ムにむぬー しゃーピかす (雨に濡れたものを乾かす)。  
 しゃーピギ [ɕa:piki] [動 I 類 a 型] [しゃーピき一、しゃーピかん] 乾く。乾燥する。雨が晴れるときにも言う。  
 しゃーみ [ɕa:mi] [終] きっとそうだ。  
 しゃーみー [ɕa:mi:] [終] ~だよ。~さあ。【例】ヴ

えんしーしゃーみー (こうするんだよ)。あんしーしゃーみー (そういうことだよ)。ばなすねんしーしゃーみー (話し合った通りだよ)。  
 しゃーみギ [ɕa:miki] [動 I 類 a 型] [しゃーみき一、しゃーみかん] 晴れる。【例】あめー しゃーみきった (雨はすっかりと晴れた)。  
 じゃーむて [dza:mute] [名] [じゃ<sup>1</sup>ーむてまい...] 芸達者。芸に長けた人。雰囲気作りのうまい人。  
 じゃーむとう [dza:mutu] [名] [じゃーむ<sup>1</sup>とうまい...] 座元。  
 しゃーら [ɕa:ra] [名] [しゃー<sup>1</sup>らまい...] しいら。万引。【類】「まんびき」。  
 しゃーら [ɕa:ra] [名] たわし。くぼの葉で作る。【類】「ばにん」。  
 じゃーらくーら [dza:rakura] [擬] [じゃーらくー<sup>1</sup>らまい...] めちやくちや。乱雑なこと。【例】やーんかー じゃーらくーら (家の中は散らかっている)。  
 しゃー<sup>1</sup> [ɕa:] [動 I 類 a 型] [しゃー<sup>1</sup>り一、しゃーらん] 連れる。子守りをする。【例】しゃー<sup>1</sup>りー くー (連れて来なさい)。つふあう しゃー<sup>1</sup>り (子守りをする)。  
 しゃーる [ɕa:ru] [名] [しゃー<sup>1</sup>るまい...] 猿。  
 しゃーるあまム [ɕa:ruamam] [名] [しゃー<sup>1</sup>るあまムまい...] けぶかがに。毛深いから言う。くながしゃギびし) に多い。  
 しゃイ [ɕa] [名] [しゃイまい...] くるまえびの仲間。  
 しゃい [ɕai] [名] [しゃいまい...] 才知。はかりごと。策略。才能。【例】しゃいまき (才知に負ける。論争に負ける)。  
 しゃい [ɕai] [名] [しゃいまい...] 酢の和え物。味噌和えにしたもの。  
 じゃい [dzai] [名] [じゃ<sup>1</sup>いまい...] 采。采配に使う道具。言いつける。武士に采配。独楽を回すのに使う道具のことも言う。【例】じゃいゆふ<sup>1</sup> (命令を下す)。  
 しゃいか [ɕaika] [終] ~そうだよ。~そうであるよ。【同】「しゃいく」。  
 しゃいがな [ɕaigana] [名] [しゃいがなまい...]

大根のおろしかんな。【類】「しゃみ」。

しゃいく [çaiku] [終]～そうだよ。～そうであるよ。【同】「しゃいか」。

しゃいじゃら [çaidzara] [名] [しゃいじゃらまい...] 采皿。「うしゃいじゃら」か。酒のつまみ用の皿。肴を盛る皿。

しゃいじゅーしゃーり [çaidzu:çə:] [形] [しゃいじゅーしゃまい...] 才に長ける。才知がある。論争に強い。【類】「がーじゅーしゃーり」。

しゃいよーしゃーり [çaijo:çə:] [形] [しゃいよーしゃまい...] 才に長けていない。才知がない。論争に弱い。

しゃう [çəu] [名] [しゃうまい...] 正。本物。【同】「しょー」。【類】「しょーむぬ」。

しゃう [çəu] [名] [しゃうまい...] 常識。弁え。【例】しゃうや ねーん (常識がない)。【同】「しょー」。

しゃう [çəu] [名] [しゃうまい...] 竿。竹の棒。【例】しゃうん ぶし (竿に干しなさい)。【同】「しょー」。

じゃう [dzəu] [名] [じゃうまい...] 門。入り口。屋敷の出入り口。【同】「じょー」。

じゃヴヴあ [dzavva] [名] [じゃヴヴあまい...] 脳。脳みそ。脳髓。

しゃヴヴイ [çəvvɪ] [動I類c型] [しゃヴヴいー、しゃヴヴあん] 耕す。草取りを行う。【例】びらしゃヴヴイ (籠で草取りをする)。あーぬ ふしゃしゃヴヴイ (粟の草取り)。

しゃヴヴイ [çəvvɪ] [動I類a型] [しゃヴヴいー、しゃヴヴあん] 刃物で突き刺す。【例】しゃヴヴいー すている (刺して捨てよ)。【類】「じゃんぎ」。

じゃうヴえーがり [dzəuve:ga:] [動I類c型] [じゃうヴえーがりー、じゃうヴえーがらん] 立派に成長する。【同】「じょーヴえーがり」。

しゃうか [çəuka] [擬] [しゃうかまい...] 空っぽ。さっぱり。林であったが木がなくなったときに言う。【同】「しょーか」。

しゃうかしゃうか [çəukaçəuka] [擬] [しゃうかしゃうかていー...] さえぎるものがない様。【同】「しょーかしょーか」。

しゃうがつ [çəugatsɯ] [名] [しゃうがつまい...] 正月。新年。【同】「しょーがつ」。【類】「ミーどうす」。

しゃうがつえーぐ [çəugatsɯ:gu] [名] [しゃうがつえーぐまい...] 正月を祝う歌。【同】「しょーがつえーぐ」。

しゃうがつえーむ [çəugatsɯ:m] [名] [しゃうがつえーむまい...] 旧暦の正月の暗い夜。【同】「しょーがつえーむ」。

しゃうがつぎん [çəugatsɯ:gɪn] [名] [しゃうがつぎんまい...] 正月の晴れ着。【同】「しょーがつぎん」。

じゃうかに [dzəukani] [名] [植] [じゃうかにまい...] ぐみ。

しゃうかみかす [çəukamikasɯ] [動I類c型] [しゃうかみかしー、しゃうかみかしあん] 空っぽにする。すがすがしくする。【同】「しょーかみかす」。

しゃうかみぎ [çəukamikɯ] [動I類c型] [しゃうかみぎー、しゃうかみかん] 空っぽになる。すがすがしくなる。【同】「しょーかみぎ」。

しゃうぎ [çəukɯ] [動I類a型] [しゃうぎー、しゃうかん] 手をつないで歩くこと。主に老人と子どもに行う。牛馬の手綱を引くこと。【例】ぬーまう しゃうぎ (馬を引いて歩く)。【同】「しょーぎ」。

しゃうき [çəuki] [名] [しゃうきまい...] 箧。穀物を精げる道具。【同】「しょーき」。

しゃうきぶに [çəukibuni] [名] [しゃうきぶにまい...] 肋骨。あばらぼね。【同】「しょーきぶに」。【類】「やかたぶに」。

じゃうしゃーり [dzəuçə:] [形] [じゃうしゃまい...] 良い。善い。【例】じゃうしゃーむな (元気か。体調はどうか)。【同】「じょーしゃーり」。

しゃうしゃう [çəuçəu] [擬] [しゃうしゃうていー...] くまぜみの鳴き声。

じゃうじゃう [dzəudzəu] [擬] 突き刺す様。尖った棒や鉋で突き刺すさま。

しゃうずぐる [çəudzɯguru] [名] [しゃうずぐまい...] ゴミ。掃除のゴミ。【同】「しょーずぐる」。

じゃうずしゃーゾ [dzauzdʒɕa:] [形] [じゃうず<sup>1</sup>しゃまい...] 上手。出来栄がいい。【同】「じょーずしゃーゾ」。

じゃうずたばく [ɕaudʒɪtabaku] [名] [じゃうず<sup>1</sup>たば<sup>1</sup>くまい...] 供え物としてのたばこ。【同】「しょーずたばく」。

じゃうずんな [ɕaudʒɪnna] [名] [じゃうず<sup>1</sup>なまい...] しめ縄。お産のときに張る縄。【同】「しょーずんな」。

じゃうつギ [ɕautʒɪkɪ] [動 I 類] [じゃうつ<sup>1</sup>きー、じゃうつ<sup>1</sup>かん] [しゃ<sup>1</sup>うつ<sup>1</sup>きー「ぶ<sup>1</sup>り」] 思い知る。さとる。本心に戻る。反省する。猛省する。【同】「しょーつギ」。

じゃうにつ [ɕaunɪtsɪ] [名] [じゃう<sup>1</sup>につ<sup>1</sup>まい...] 正日。本番。八月おどりの仲筋・塩川の正日。【同】「しょーにつ」。

じゃうぬ かム [dzauunu kam] [名] [じゃう<sup>1</sup>ぬか<sup>1</sup>ム「まい...」] 門の神。【同】「じょーぬかム」。

じゃうばかり [ɕaubakaɪ] [名] [じゃう<sup>1</sup>ばか<sup>1</sup>り<sup>1</sup>まい...] 竿ばかり。計量する道具。おもりを釣り合わせて計量する。【同】「しょーばかり」。

じゃうふ [dzauɸu] [名] [じゃう<sup>1</sup>ふ<sup>1</sup>まい...] 上布。等級の上の布。宮古上布。稲石という女性が初めて作り、首里王府に献上した。【同】「じょーふ」。

じゃうふつ [dzauɸutsɪ] [名] [じゃう<sup>1</sup>ふ<sup>1</sup>つ「まい...」] 門。入り口。門戸。【同】「じょーふつ」。【類】「じゃう」。「じょー」。

じゃうぶん [dzauɸun] [名] [じゃう<sup>1</sup>ぶ<sup>1</sup>んまい...] 十分。それでよい。結構。【例】うすかしー じゃうぶん (それだけで十分)。【同】「じょーぶん」。

じゃうみん [ɕaumin] [名] [じゃう<sup>1</sup>み<sup>1</sup>んまい...] 素麺。そうめん。【例】しょーみんゆ かーしーわーり (そうめんを売って下さい)。【同】「しょーみん」。

じゃうみんずる [ɕauminɸɪru] [名] [じゃう<sup>1</sup>み<sup>1</sup>んずる<sup>1</sup>まい...] 素麺汁。そうめん汁。焼き魚を「だし」にするのが一般的だった。【同】「しょーみんずる」。

じゃうみんばく [ɕauminbaku] [名] [じゃう<sup>1</sup>み<sup>1</sup>ん

ばくまい...] 素麺箱。そうめん箱。そうめんの入った箱。製糖時期には箱のまま買った。【同】「しょーみんばく」。

じゃうみんぶつとうる [ɕauminɸutturu] [名] [じゃう<sup>1</sup>み<sup>1</sup>んぶつ<sup>1</sup>とうる<sup>1</sup>まい...] 茹でた素麺を油で炒めたもの。【同】「しょーみんぶつとうる」。【類】「ちゃんぶる」。

じゃうむぬ [ɕaumunu] [名] [じゃう<sup>1</sup>むぬ<sup>1</sup>まい...] 正物。本物。本人。にせものでないもの。【例】くぬ ピとー じゃうむぬ (この人は正に本人だ)。【同】「しょーむぬ」。

じゃうや ねーん [ɕauja ne:n] [連語] 常識がない。分別のつかないこと。またその人。

しゃか [ɕaka] [名] [しゃ<sup>1</sup>か<sup>1</sup>まい...] 坂。坂道。傾斜。【例】とうぶりぬ しゃかう ぬーゾ (トゥブリの坂を上がる)。【類】「しゃかま」。

じゃか [dzaka] [名] [じゃ<sup>1</sup>か<sup>1</sup>まい...] じゃこうねずみ。目が退化したねずみ。母ねずみの尾をくわえ、一列になって移動する。

しゃかイ [ɕakaɪ] [名] [しゃ<sup>1</sup>か<sup>1</sup>イ<sup>1</sup>まい...] 境。境界。【例】ばるぬ しゃかイ (畑の境界)。しゃかイぬ きー (境界の木)。

しゃかい [ɕakai] [名] [しゃ<sup>1</sup>か<sup>1</sup>イ<sup>1</sup>まい...] 栄え。栄えること。繁盛。繁栄。【例】やーぬ しゃかい、すまぬ しゃかい (家の栄え、島の栄え)。

しゃかい [ɕakai] [名] [しゃ<sup>1</sup>か<sup>1</sup>イ<sup>1</sup>まい...] 社会。世間。人の集団。共同生活をする集団。

しゃかイむぬ [ɕakaɪmunu] [名] [しゃ<sup>1</sup>か<sup>1</sup>イ<sup>1</sup>む<sup>1</sup>ぬまい...] 婚約が成立した後に、男方が女方に挨拶に行くこと。

しゃかいゾ [ɕakai] [動 II 類 c 型] [しゃ<sup>1</sup>か<sup>1</sup>い<sup>1</sup>ー、しゃ<sup>1</sup>か<sup>1</sup>いん] 栄える。繁盛する。繁栄する。

しゃかヴヴあ [ɕakavva] [名] [しゃ<sup>1</sup>か<sup>1</sup>ヴヴ<sup>1</sup>あ<sup>1</sup>まい...] 逆子。足から先に生まれる子。

しゃかしゃま [ɕakaɕama] [名] [しゃ<sup>1</sup>か<sup>1</sup>しゃ<sup>1</sup>ま<sup>1</sup>まい...] 逆様。逆の方向。【例】うぬ ふんや しゃかしゃま (その本は逆だ)。

しゃかじゆゾ [ɕakadzɸu] [名] [しゃ<sup>1</sup>か<sup>1</sup>じゆ<sup>1</sup>ゾ<sup>1</sup>まい...] 逆剃り。ひげの剃り方。

しゃかずギ [ɕakadzɪkɪ] [名] [しゃ<sup>1</sup>か<sup>1</sup>ず<sup>1</sup>ギ<sup>1</sup>まい...] 盃。杯。酒を飲むときに使う小さな器。酒を飲

み交わすことにも言う。

しゃかだつ [çakadatsɯ] [名] [しゃかだつまい...] 逆立ち。逆立ちする。両手を地につけて体を支え、両足を上に伸ばすこと。

しゃかま [çakama] [名] [しゃかままい...] 坂。傾斜。【類】「しゃか」。

しゃかまーり [çakama:ɾi] [名] [しゃかまーりまい...] 逆回り。逆の方向から回ること。

しゃかまずー [çakamadzɯ:] [名] [しゃかまずーまい...] 傾斜地。畑や土地が傾斜していること。

しゃかまずーぎ [çakamadzɯ:kɯ] [動I類 a型] [しゃかまずーきー、しゃかまずーかん] 逆様突く。逆様に頭から落ちる。

しゃかまでい [çakamadi] [名] [地] [しゃかま<sup>1</sup>でいまい...] 多良間島の〈とうぶり〉の名前。村史参照。

しゃかまみつ [çakamamitsɯ] [名] [しゃかまみつまい...] 坂道。傾斜道。

しゃかみ [çakami] [名] [しゃかみまい...] 指の爪の半月の部分の皮ふの荒れ。手袋なしに仕事をすることできる。

じゃがムー [dzagamm] [名] じゃが芋。

しゃかムかい [çakamkai] [名] [しゃかムか<sup>1</sup>いまい...] スツブナカの終わりの行事。

しゃがらムー [çagaramm] [名] [しゃが<sup>1</sup>らムーまい...] 芋の一種。

しゃがり [çaga] [名] [しゃがり<sup>1</sup>まい...] がじゅまるの気根。

しゃがり [çaga] [動I類 c型] [しゃがりー、しゃがらん] 下がる。上部から下部へ下がる。成績が下る。

しゃがり [çaga] [動I類 c型] [しゃがりー、しゃがらん] ぶら下がる。【例】きーぬ ゆだん しゃがり (木の枝にぶら下がりなさい)。

しゃがり [çaga] [動I類 c型] [しゃがりー、しゃがらん] 掛け買いをする。【例】しゃがりーけー ギー (掛け買いをして来た)。

しゃがり [çaga] [動I類 c型] [しゃがりー、しゃがらん] 仏壇の供え物を下げる。

しゃがり<sup>1</sup>がきびー [çaga[gakibi:]] [名] [しゃがり<sup>1</sup>がきびーまい...] 家の出入り口の床に足を垂

らして座ること。

しゃがりかた [çaga[kata] [名] [しゃがりか<sup>1</sup>たまい...] 撫で肩。【類】「しゃがりかたむらす」。「しゃがりかたむらす」。

しゃがりかたむらす [çaga[katamurasɯ] [名] [しゃがりかたむら<sup>1</sup>すまい...] 撫で肩。【同】「しゃがりかたむらす」。【類】「しゃがりかた」。

しゃがり<sup>1</sup>がたむらす [çaga[ɡatamurasɯ] [名] [しゃがり<sup>1</sup>がたむら<sup>1</sup>すまい...] 撫で肩。【同】「しゃがりかたむらす」。【類】「しゃがりかた」。

しゃがり<sup>1</sup>どうり [çaga[du] [名] [しゃがり<sup>1</sup>どり<sup>1</sup>まい...] こうもり。哺乳類。鳥のように翼があり、木にぶらさがるから言う。

しゃぎ [çakɯ] [名] [しゃぎまい...] 崎。岬。

しゃぎ [çakɯ] [名] [しゃぎまい...] 先。先端。棒などの先の尖った部分。先頭。【例】いぐムぬ しゃぎ (銛の先)。ういびぬ しゃぎ (指の先)。しゃぎん なり (先に行く)。くぬ しゃぎ (この先)。

しゃぎ [çakɯ] [動I類 c型] [しゃきー、しゃかん] 咲く。【例】しゃぎばずみ (咲きはじめ)。ばなぬ しゃぎ (花が咲く)。

しゃぎ [çakɯ] [動I類 c型] [しゃきー、しゃかん] 裂く。【例】イズうぬ ばたう しゃぎ (魚の腹を裂く)。

しゃき [çaki] [名] [しゃきまい...] 酒。アルコール飲料の総称。

しゃぎ [çagi] [名] [しゃぎま<sup>1</sup>い...] 下げ。下げる。下がること。吊るすこと。ぶら下げる。上から下へ下ろすこと。おさげ髪。

しゃぎ [çagi] [名] [しゃぎま<sup>1</sup>い...] 下痢。

しゃきヴヴあい [çakivvai] [名] [しゃきヴヴあまい...] 酒太り。暴飲暴食の現れ。

しゃきかす [çakikasɯ] [名] [しゃきかすまい...] 酒粕。もろみからアルコールを取った残りの粕。【類】「たりにかす」。

しゃきがみ [çakigami] [名] [しゃきがみまい...] 酒がめ。酒を入れるかめ。酒好きの人にも言う。

しゃきくたんでい [çakikutandi] [名] [しゃきくたん<sup>1</sup>でいまい...] 二日酔い。【類】「しゃきぬつ

ち。「しゃきやム」。

しゃきくたんでいり [çakikutandi] [動 II 類 c 型] [しゃきくたんでいー、しゃきくたんでいん] 二日酔いする。

しゃきじゃう [çakidzau] [名] [しゃきじゃうまい...] 酒の好きな人。酒に強い人。

しゃぎじゃうき [çagidzauki] [名] [しゃぎじゃうきまい...] 吊し箕。〈しょーき〉のこと。ねずみの予防として吊す箕のこと。【同】「しゃぎじょーき」。

しゃきじゅーしゃーり [çakidzu:çai:] [形] [しゃきじゅーしゃまい...] 酒に強い。上戸。豪酒。

しゃぎじょーき [çagidzo:ki] [名] [しゃぎじょーきまい...] 吊し箕。〈しょーき〉のこと。ねずみの予防として吊す箕のこと。【同】「しゃぎじゃうき」。

しゃきじょーぐ [çakidzo:gu] [名] [しゃきじょーぐまい...] 酒上戸。酒好き。豪酒。

しゃきだい [çakidai] [名] [しゃきだいまい...] 酒代金。飲み賃。【例】しゃきだいの ばー (飲み賃を払う)。

しゃきたり [çakitari] [名] [しゃきたりまい...] 酒造り。

しゃきたりやー [çakitarija:] [名] [しゃきたりやーまい...] 酒造工場。【例】しゃきたりやーぬつかふ (酒造工場の近く)。

しゃきだる [çakidaru] [名] [しゃきだるまい...] 酒樽。酒を入れておく樽。

しゃきちやわん [çakitçavan] [名] [しゃきちやわんまい...。しゃきちやわんまい...] 酒飲み用の茶碗。酒コップ。

しゃきちゅーか [çakitçu:ka] [名] [しゃきちゅーかまい...。しゃきちゅーかまい...] 酒を入れる急須。急須を、酒を入れる代用とする。

しゃきちゅーどうく [çakitçu:duku] [名] [しゃきちゅーどうくまい...] 酒中毒。アルコール中毒。アルコール依存症。

しゃぎでいり [çagidi] [名] [しゃぎでいりまい...] 下げざる。食べ物を入れたざるを提げてねずみの害を防ぐ。

しゃぎどうみ [çakidumi] [名] [しゃぎどうみま

い...。しゃぎどうみまい...] 先妻。もとの妻。前妻。以前にその人の妻であった女。

しゃきぬうしゃい [çakinuuçai] [名] [しゃきぬうしゃいまい...] 酒の肴。酒のつまみ。酒座を盛り上げるための歌や踊り。

しゃきぬっち [çakinuttçi] [名] [しゃきぬっちまい...] 二日酔い。【類】「しゃきくたんでい」「しゃきやム」。

しゃきぬっちり [çakinuttçi:] [動 II 類 a 型] [しゃきぬっちー、しゃきぬっちん] 二日酔いする。

しゃきぬム [çakinum] [名] [しゃきぬムまい...] 酒を飲むこと。酒宴。さかもり。

しゃきぬムあぐ [çakinum.agu] [名] [しゃきぬムあぐまい...] 酒飲み友だち。【例】しゃきぬムあごー ぶらーん (酒飲み友だちはいない)。【類】「ぬムあぐ」。

しゃきぬムじゃー [çakinumdza:] [名] [しゃきぬムじゃーまい...] 酒飲み座。酒座。

しゃきぬめ [çakinume] [名] [しゃきぬめまい...] 酒上戸。酒好きな人。豪酒。

しゃきびん [çakibin] [名] [しゃきびんまい...] 酒びん。酒を入れる瓶。五合瓶。一升瓶などがある。

しゃきふえー [çakife:] [名] [しゃきふえーまい...] 酒びたりの人。大酒飲み。のんだくれ。

しゃきふし [çakifuçi] [名] [しゃきふしまい...] 酒くせ。普段と違って酒を飲むとき悪ふざけをする人。

しゃきふしやり [çakifuçari] [名] [しゃきふしやりまい...] 酒のくさいにおい。翌日まで酒のにおいの消えないこと。

しゃきふしやりり [çakifuçari:] [動 II 類 c 型] [しゃきふしやりー、しゃきふしやりん] 酒臭い。酒の臭い匂いがする。

しゃきふつ [çakifuts:] [名] [しゃきふつまい...] 裂け口。裂けた部分。裂け初め。【例】あだなすぬ しゃきふつ (あだなすの裂け口)。

しゃぎぶら [çakçbura] [名] [しゃぎぶらまい...] 先のとがらない鉤 (なた)。「あだんやぬあず」の一節。

しゃきぶん [çakibun] [名] [しゃきぶんまい...] しゃきぶん

酒を乗せる盆。酒瓶やコップや肴を乗せた盆。  
 しゃきまーす [çakimasˤ] [名] [しゃきまーすまい...] 酒回し。コップを回して飲むこと。【類】「うとうーり」。  
 しゃぎむぬ [çakɣmunu] [名] [しゃぎむぬまい...] 先のとがったもの。  
 しゃきやヴヴいむぬ [çakijavvimunu] [名] [しゃきやヴヴいむぬまい...] 酒癖の悪い人。  
 しゃきやム [çakijam] [名] [しゃきやムまい...] 二日酔い。【類】「しゃきくたんでい」。「しゃきぬっち」。  
 しゃきよーしゃーり [çakijo:çɑ:] [形] [しゃきよー<sup>1</sup>しゃまい...] 酒に弱い。  
 しゃきり [çaki] [動II類c型] [しゃき一、しゃきん] 裂ける。  
 しゃぎり [çagi] [動II類c型] [しゃぎ一、しゃぎん] 下げる。ぶら下げる。吊す。垂らす。仏壇から供え物を下げることにも言う。【例】しゃうん しゃぎ一 (竿に吊るした)。しゃぎぐまた (吊るすべきだ)。  
 しゃぎり [çagi] [動II類c型] [しゃぎ一、しゃぎん] 下痢する。くだす。腹を下す。  
 しゃく [çaku] [助数] 勺。一勺 (一合の10分の1)。容量の単位。尺貫法。  
 しゃく [çaku] [助数] 尺。一尺 (10寸。30センチメートル)。長さの単位。尺貫法。  
 しゃく [çaku] [名] [しゃく<sup>1</sup>ぬムめまい...] 奴。野郎。【例】ヴヴあが しゃく (お前の野郎)。  
 しゃく [çaku] [名] 程。【例】うぬ しゃくどううむ一 (それほどに思う)。  
 しゃく [çaku] [名] [しゃくまい...] 酌。酒をつぐこと。【例】しゃく一 す一 (酒をつぐ)。  
 しゃく [çaku] [名] [しゃく<sup>1</sup>まい...] 杓。ひしゃく。水を汲む道具。  
 しゃぐ [çagu] [名] [しゃぐまい...] 歌を歌うときの自己流の装飾音。小節。  
 しゃくぱずり [çakupadzɾi] [名] [しゃくぱずりまい...] 尺外れ。規格はずれ。並でない。抜きん出る。体格が大きすぎて服が合わないこと。  
 しゃぐり [çagu] [動I類a型] [しゃぐり一、しゃぐらん] 探る。探す。様子を調べる。腹を探

る。【例】ぱぎしー しゃぐり (足で探る)。ていーしゃぐり (手探り)。  
 しゃし [çaci] [名] [しゃしまい...] 鍵。錠前。  
 しゃしむ [çaçimu] [名] [魚] [しゃし<sup>1</sup>むまい...] てんぐはぎ。はぎの仲間。  
 じゃじゃーてい [dzadzɑ:ti:] [擬] 一目散に。【例】じゃじゃーてい ぱり (一目散に走る)。  
 しゃしやい [çaçai] [名] [しゃしや<sup>1</sup>まい...] 支え。  
 しゃしやいり [çaçai] [動II類c型] [しゃしやい一、しゃしやいん] 刺される。蜂などに刺される。  
 しゃしやいり [çaçai] [動II類c型] [しゃしやい一、しゃしやいん] 支える。応援する。背景にある。  
 しゃじゃか [çadzaka] [名] [しゃじゃ<sup>1</sup>かまい...] 訳。理由。思い。【例】しゃじゃか一 ねーん (訳のわからない)。  
 しゃしやぎ [çaçagi] [名] [しゃしや<sup>1</sup>ぎまい...] 結婚。結婚式。  
 しゃしやぎゆーじゆ [çaçagijudzu] [名] [しゃしや<sup>1</sup>ぎゆーじゆまい...] 結婚祝い。  
 しゃしやぎよーい [çaçagijorˤ] [名] [しゃしや<sup>1</sup>ぎよーいまい...] 結婚祝い。  
 しゃしやぎり [çaçagi] [動II類c型] [しゃしやぎ一、しゃしやぎん] 捧げる。持ち物を手を上げ相手に渡す。【例】カムがなすんけー しゃしやぎり (神様にささげる)。  
 しゃじゃきり [çadzaki] [動II類c型] [しゃじゃき一、しゃじゃきん] 訪ねる。訪問する。探す。親戚を探す。【例】うとうだう しゃじゃきり (親戚を訪ねる)。  
 じゃじゃみぎ [dzadzamikɣ] [動I類c型] [じゃじゃみき一、じゃじゃみかん] 飛び出して走って行く。【例】じゃじゃみき一 ぴんぎった (飛び出して逃げていった)。  
 しゃじやり [çadzari] [名] [しゃじやりまい...] さざれ。細石。小石。【例】しゃじやりう ぴすう一 (小石を拾う)。  
 しゃしゆい [çaçu] [名] [しゃしゆいまい...] 誘い。誘うこと。

しゃしゆー [çaçu:] [動 I 類 c 型] [しゃしえー、しゃしゃーん] 誘う。【例】ふしゃかりが しゃしゆー (草刈に誘う)。がっこーんけー しゃしゆー (学校へ誘う)。かるー しゃしゆー がっこーんけー (彼を誘って学校へ)。

しゃしん [çaçin] [名] [しゃし<sup>1</sup>んまい...] 写真。

しゃす [ças] [名] [しゃすまい...] 女性の司祭役。つかさ。

しゃす [ças] [動 I 類 c 型] [しゃしー、しゃしゃん] 刺す。突く。光が差す。注射する。【例】いぐムゆ しゃす (鋸を刺す)。ピかりぬ しゃす (光が差す)。ぱりる しゃす (針を射す・注射する)。

しゃす [ças] [動 I 類 c 型] [しゃしー、しゃしゃん] 注ぐ。入れる。挿す。【例】チャーウ しゃす (お茶を注ぐ)。きーぬ ゆだう しゃす (木の枝を挿す)。

しゃす [ças] [動 I 類 c 型] [しゃしー、しゃしゃん] 指す。指で示す。

しゃず [çadz] [名] [しゃ<sup>1</sup>ずまい...] 佐事。島役人。琉球王朝時代の島役人。下級役人。

しゃず [çadz] [名] [しゃ<sup>1</sup>ずまい...] 手ぬぐい。タオル。手を拭くもの。汗を拭くもの。【類】「ていしゃず」。

じゃすぎ [dzas] [名] [じゃす<sup>1</sup>ぎまい...] 座敷。敷き物があり、客を入れる部屋。宴会用の部屋。

じゃすぎあたり [dzas] [名] [じゃす<sup>1</sup>ぎあたり<sup>1</sup>まい...] 座敷当たり。祭りの時の座敷の管理をする係。

しゃずきり [çadzki] [動 II 類 c 型] [しゃずきー、しゃずきん] 授ける。

しゃすくム [ças] [動 I 類 c 型] [しゃすくみー、しゃすくまん] 差し込む。

しゃすくるす [ças] [動 I 類 c 型] [しゃすくるしー、しゃすくるしゃん] 刺し殺す。

しゃすむす [ças] [名] [昆虫] [しゃすむ<sup>1</sup>すまい...] 毛虫。

しゃすむぬじえーふ [ças] [名] [しゃすむぬじえー<sup>1</sup>ふまい...] 差し物大工。

しゃすんぎ [ças] [動 I 類 c 型] [しゃすんき

ー、しゃすんかん] 差し込む。【例】ていだぬピかりぬ しゃすんぎ (太陽の光が差し込む)。

しゃた [çata] [名] [しゃ<sup>1</sup>たまい...] 沙汰。うわさ。【例】ピとうぬ しゃたう すな (人のうわさをするな)。

しゃた [çata] [名] [しゃ<sup>1</sup>たまい...] 砂糖。主に黒糖のこと。【類】「たらまじやた」「つぶじやた」。

しゃたじゃき [çatazaki] [名] [しゃ<sup>1</sup>たじゃきまい...] 砂糖入りの酒。白糖を酒に入れて飲む酒。

しゃたずき [çatazki] [名] [しゃ<sup>1</sup>たずきまい...] 砂糖漬け。砂糖漬けにした食べ物。【例】びりぬ しゃたずき (にんにくの砂糖漬け)。

しゃただる [çatadaru] [名] [しゃ<sup>1</sup>ただるまい...] 砂糖樽。黒糖を入れた樽。60 キロの重さ。検査技師の等位の押印がされた。

しゃたつム [çatatsm] [名] [しゃ<sup>1</sup>たつムまい...] 砂糖を積むこと。馬車や船に積むこと。男の力持ちたちが船に積み込んだ。

しゃだていり [çadati] [動 II 類 a 型] [しゃだていー、しゃだていん] 先に行かせる。先に歩かせる。始める。試してみる。出発させる。【例】やらびう しゃだている (子どもを先に行かせなさい)。【類】「しゃだらす」。

しゃたにー [çatani:] [名] [しゃ<sup>1</sup>たにーまい...] 砂糖煮。砂糖づくり。製糖のこと。きび汁を煮つめること。一番鍋、二番鍋、三番鍋に煮つめる。

しゃたばく [çatabaku] [名] [しゃ<sup>1</sup>たばくまい...] 砂糖箱。砂糖を入れる箱。

しゃたばんびム [çatapanbim] [名] [しゃ<sup>1</sup>たばんびムまい...] 砂糖てんぷら。メリケン粉に黒糖を混ぜて作るてんぷら。

しゃたまみ [çatamami] [名] [しゃ<sup>1</sup>たまみまい...] 緑豆に黒糖を入れたぜんざい。ぜんざい用の豆。

しゃだまり [çadama] [動 I 類 c 型] [しゃだまりー、しゃだまらん] 定まる。決まる。【例】ばなすぬ しゃだまり (話の内容が決まる)。

しゃたみず [çatamidz] [名] [しゃ<sup>1</sup>たみずまい...]

砂糖水。砂糖（黒糖）を水に溶かした飲み物。  
 しゃだみり [çadami] [動II類c型] [しゃだみー、しゃだみん] 定める。決める。【例】ペーペー しゃだみる（早く決めなさい）。  
 しゃたムー [çatamm] [名] [しゃ<sup>1</sup>たムーまい...] 煮た芋に黒砂糖を混ぜて握りにしたもの。  
 しゃたむつー [çatamutsɯ] [名] [しゃ<sup>1</sup>たむつーまい...] 砂糖の入った餅。  
 しゃだらす [çadarasɯ] [動I類a型] [しゃだらしー、しゃだらしゃん] 先に行かせる。【例】しゃだらすばどう まにゆー（先に行かせば間に合う）。【類】「しゃだていり」。  
 しゃだり [çada] [動I類a型] [しゃだりー、しゃだらん] 先に行く。先になって歩く。先になる。【例】あがどう しゃだりぐまた（ぼくが先に行くべきだ）。  
 しゃっすい [çassɯ] [名] [しゃっす<sup>1</sup>いまい...] ひしゃく。柄杓。水を汲む道具。  
 じゃっとう [dzattu] [擬] ざっと。おおざっぱに。簡単に。そうだと思うしないで。手ぶらで。【例】じゃっとうんどう ギたり（そうだと思うしないで来た）。  
 じゃっふあ [dzaffa] [擬] [じゃっふあていー...] 波打ちぎわに寄せる波の状態（音）。  
 じゃっふあ [dzaffa] [擬] [じゃっふあていー...] 鋸や棒で勢いよく突く様。  
 じゃっふあじゃっふあ [dzaffadzaffa] [擬] [じゃっふあじゃっふあていー...] 鋸や棒で勢いよくあちこち突く様。  
 しゃっふあび [çaffabi] [名] [しゃっふあびまい...] しゃっくり。  
 じゃっふあみかす [dzaffamikasɯ] [動I類c型] [じゃっふあみかしー、じゃっふあみかしゃん] 鋸や棒で勢いよく突く。  
 じゃっふあみぎ [dzaffamikɯ] [動I類c型] [じゃっふあみぎー、じゃっふあみかん] 波の寄せる音がする。  
 しゃっぶん [çappun] [名] [しゃっぶんまい...] 石けん。顔を洗う石けん。洗濯する石けん。薬用石けん。  
 しゃでいふ [çadifu] [名] [植] [しゃでい<sup>1</sup>ふま

い...] はまおもと。はまゆう。葉を火に炙って皮ふのできものに貼り付けた。薄い皮の一方を縛り、息を吹き込んで風船を作る。  
 しゃとう [çatu] [名] [しゃ<sup>1</sup>とうまい...] 里。郷。郷里。ふるさと。【類】「ムまりずま」。  
 しゃとうがム [çatuugam] [名] [しゃとうが<sup>1</sup>ムまい...] 里の神の祭り。【類】「むらたかび」。  
 しゃとうじゃとう [çatudzatu] [名] [しゃとうじゃ<sup>1</sup>とうまい...] 里々。村々。  
 しゃとうぬ しーばか [çatunu çibaka] [名] [しゃとうぬし<sup>1</sup>ーばかまい...] 里の子墓。  
 しゃとうり [çatu] [動I類c型] [しゃとうりー、しゃとうらん] 悟る。理解する。認識する。【例】ヴヴァあが ぱなすエー しゃとうりった（君の話はよくわかった）。  
 しゃどうり [çadu] [動I類a型] [しゃどうりー、しゃどうらん] 探る。こそこそさわる。探す。【例】あんなが つーう しゃどうり（母の乳を探る）。  
 しゃな [çana] [名] [しゃ<sup>1</sup>なまい...] 傘。笠。雨傘。日傘。蓑笠。くば笠。【類】「かしや」。  
 しゃなーり [çanari] [名] [しゃなーりまい...] 再来年。明後年。【例】しゃなれー ムまりどうす（再来年は生まれ年だ）。【同】「しゃらーに」。  
 しゃなーりどうす [çana:ridusɯ] [名] [しゃなーりどうすまい...] 再来年。  
 しゃなか [çanaka] [名] [しゃなかまい...] さなか。最中。  
 しゃなかどうーれ [çanakadure] [名] [しゃなかどうーれまい...] 真昼時。  
 しゃなギ [çanagɯ] [名] [しゃな<sup>1</sup>ぎまい...] ふんどし。男性の下着。パンツの代用。老人の愛用品。【類】「あかしやなギ」。  
 しゃなム [çanam] [動I類c型] [しゃなみー、しゃなまん] そねむ。嫉妬する。ねたむ。  
 しゃに [çani] [名] [しゃにまい...] 血統。血筋。一族。【類】「たにすー」。  
 しゃに [çani] [名] [しゃにまい...] 苗。きび苗。いも苗。たばこ苗。苗木。栄養体繁殖作物の苗。さとうきび・さつまいもがある。【例】ぶーギ しゃに（きび苗）。【類】「ない」。

しゃにう [çaniu] [名] [しゃにうまい...] 細い縄。主にあだなす縄のこと。あだん葉むしろに使用した。

しゃにうき [çaniuki] [名] [しゃにう<sup>1</sup>きまい...] 種受け。血統を継ぐこと。血統のよい種(しゅ)を継承すること。作物や家畜にいう。

しゃにうす [çanius] [名] [しゃにう<sup>1</sup>すまい...] 種子牛。繁殖用の牛。

しゃにうらす [çaniuras] [名] [しゃにうら<sup>1</sup>すまい...] 種子下ろし。種蒔きのこと。苗作り。【例】たぶくぬ しゃにうらす(たばこの種子を苗床に播く)。【同】「しゃにうるす」。

しゃにうるす [çaniurus] [名] [しゃにうる<sup>1</sup>すまい...] 種子下ろし。種蒔きのこと。苗作り。【同】「しゃにうらす」。

しゃにがーり [çaniga:] [名] [しゃにがー<sup>1</sup>りまい...] 種変わり。血統ちがい。血統の違いが生じること。突然変異。

しゃにギー [çanik:] [名] [しゃにギ<sup>1</sup>ーまい...] 苗切り。さとうきびの苗切りのこと。

しゃにつ [çanits] [名] [しゃにつまい...] 浜下りのこと。主として旧暦の3月3日の大潮の浜下り遊び。

しゃにぬーま [çaninu:ma] [名] [しゃにぬー<sup>1</sup>まい...] 種馬。種牡馬。繁殖用の馬。

しゃにピギ [çanip:k] [名] [しゃにピ<sup>1</sup>ギまい...] 血統。系統。遺伝。【類】「たにピギ」。

しゃにぴんだ [çanipinda] [名] [しゃにぴん<sup>1</sup>だまい...] 種山羊のこと。繁殖用の山羊。

しゃにぶい [çanibui] [名] [しゃにぶ<sup>1</sup>いまい...] さとうきびの茎をもらうために手伝うこと。さとうきびの収穫をして、賃金の代わりに「苗」をもらうこと。小規模の農家に見られる。

しゃにわー [çaniva:] [名] [しゃにわー<sup>1</sup>まい...] 種豚のこと。繁殖用の豚。

しゃにん [çanin] [名] [植] [しゃにんまい...] 月桃。

しゃにんむつー [çaninmuts:] [名] [しゃにんむつーまい...] 月桃の葉に包んだ餅。

しゃねーふ [çane:fu] [名] [しゃねーふんまい...] 散乱。散らかること。木端微塵。【例】くぬ や

ーや しゃねーふん なりー ぶり(この家は散らかっている)。

しゃば [çaba] [名] [しゃ<sup>1</sup>ばまい...] 草履。主にあだんの葉の草履のこと。

しゃば [çaba] [名] [魚] [しゃばまい...] 鱧(ふか)。鮫(さめ)。

しゃばかき [çabakaki] [名] [しゃ<sup>1</sup>ばかきまい...] 草履を作るときに縄を掛ける仕掛けのこと。

しゃばギ [çabak:] [動 I 類 c 型] [しゃばきー、しゃばかん] 尋問する。聞き取りをする。【例】あんや しゃばかー(ぼくは聞き取りされた)。

しゃばに [çabani] [名] [しゃばにまい...] くり舟。漁業用の小舟。昔は櫂で漕いだ。ハーリー用の小舟。

しゃばらギ [çabarak:] [動 I 類 a 型] [しゃばらきー、しゃばらかん] 片付ける。整える。整地する。

しゃビ [çab] [名] [しゃビまい...] 錆。金属の錆。金属が酸化してできる。

じゃピ [dzap] [名] [じゃピまい...] 蛇皮。琉球三線に使用するニシキヘビの皮。

しゃビしゃーり [çabçai:] [形] [しゃビしゃまい...] 寂しい。【例】たうかーや しゃビしゃーり(一人は寂しい)。

しゃビしゃビ [çabçab] [擬] [しゃビしゃビていー...] のんびりしている様子。

じゃピじゃムしん [dzap:dzəmçin] [名] [じゃピじゃムしんまい...] 蛇皮三線。

しゃビずる [çab:dzru] [名] [しゃビずるまい...] 具のない汁。【類】「ムナムすー」。

しゃビたら [çab:tara] [名] [しゃビた<sup>1</sup>らまい...] のんびりや。楽道家。

しゃビたり [çab:ta] [動 II 類 c 型] [しゃビたー、しゃビたん] のんびりする。

しゃビだり [çab:dari] [名] [しゃビだ<sup>1</sup>りまい...] 錆で汚れること。

しゃビだりり [çab:dari:] [動 II 類 c 型] [しゃビだりー、しゃビだりん] 錆で汚れる。

しゃビたれ [çab:tare] [名] [しゃビた<sup>1</sup>れまい...] のんびりや。楽道家。

しゃびり [çabi:] [動 II 類 c 型] [しゃびー、しゃ

びん) 錆びる。【例】かにぬ しゃびり (金属が錆びる)。

じゃふ [dzafu] [擬] [じゃふていー...] 鋸で突く様。棒で突く様。【例】じゃふていー つぎ (急いで突く)。

しゃふしゃーり° [çafuça:] [形] [しゃふしゃまい...] (食べ物などが) ねばりけがない。【例】しゃふしゃふていーぬ むぬ (ねばりのないもの)。

じゃふじゃふ [dzafudzafu] [擬] [じゃふじゃふていー...] 鋸や棒であちこち突く様。

しゃふな [çafuna] [名] [植] [しゃふなまい...] ぼたんぼうふう。村史参照。

しゃふな [çafuna] [名] [植] [しゃふ<sup>1</sup>なまい...] 長命草。

じゃぶら [dzabura] [擬] [じゃぶらていー...] 水に飛び込む様子。水に入るときの音。

じゃま [dzama] [名] [じゃままい...] 邪魔。妨げること。妨害。

しゃまかいり° [çamakai] [動I類c型] [しゃまかいりー、しゃまかいらん] [しゃ<sup>1</sup>まかいりー「ぶり」] びっくりして仰天する。【例】ぱうゆ みーしゃまかいりー (蛇を見てびっくりした)。

しゃます [çamas] [動I類c型] [しゃましー、しゃましゃん] 覚ます。目を覚ます。目覚めさせる。

しゃます [çamas] [動I類c型] [しゃましー、しゃましゃん] 冷ます。冷やす。熱い食べ物を冷やす。【類】「しゃます」。

しゃまたいり° [çamatai] [動II類c型] [しゃまたいー、しゃまたいん] 抵抗する。反抗する。

しゃまたぎり° [çamatagi] [動I類c型] [しゃまたぎりー、しゃまたぎらん] 妨げる。妨害する。邪魔する。妨げになる。【例】いかしゃまんでいー しゃまたぎり° (行くことを妨げる)。

じゃまどうりり [dzamaduri] [動II類a型] [じゃまどうりー、じゃまどうりん] あれこれ迷う。

しゃまらす [çamaras] [動I類c型] [しゃまらしー、しゃまらしゃん] 冷ます。冷やす。熱い食べ物を冷やす。【類】「しゃます」。

しゃまり° [çama] [動I類c型] [しゃまりー、し

ゃまらん] 冷める。冷える。【例】しゃまりった (熱い食べ物が冷えた)。しゃまらんけ ふあい (冷えないうちに食べなさい)。

しゃみ [çami] [名] [しゃみまい...] いもすり器。いもの澱粉を取る用具。おろし器。【類】「うるすがに」。

しゃみ [çami] [名] [病] [しゃみまい...] 疥せん。しゃみかす [çamikas] [動I類c型] [しゃみかしー、しゃみかしゃん] 下痢がひどい。

じゃみかす [dzamikas] [動I類c型] [じゃみかしー、じゃみかしゃん] 大急ぎで走る。【例】あみん わーいー じゃみかしー (雨に降られて走った)。

じゃみぎ [dzamik] [動I類c型] [じゃみきー、じゃみかん] 勢いよく走る。

しゃみり [çami] [動II類c型] [しゃみー、しゃみん] 覚める。目が覚める。

しゃみり [çami] [動II類c型] [しゃみー、しゃみん] 冷める。冷える。体温が下る。

しゃむ [çamu] [名] [しゃ<sup>1</sup>むまい...] シャム。タイ王国の旧名。

しゃむい [çamui] [名] [しゃむいまい...] 向かい合って指を出し合い競技する遊び。両方の指の数の合計を当て勝負する。

じゃムー [dzamm] [擬] [じゃムーていー...] 早く走る様。

しゃムぱう [çampau] [名] [しゃムぱ<sup>1</sup>うまい...] 四角い供え台の一種。三方が開いていて、残りの一方が閉じている台。【同】「しゃムぺう」。「しゃムぼー」。

しゃムぺう [çampeu] [名] [しゃムぺ<sup>1</sup>うまい...] 四角い供え台の一種。三方が開いていて、残りの一方が閉じている台。【同】「しゃムぱう」。「しゃムぼー」。

しゃムぼー [çampo:] [名] [しゃんぼ<sup>1</sup>ーまい...] 三方。四角い供え台の一種。三方が開いていて、残りの一方が閉じている台。【同】「しゃムぱう」。「しゃムぺう」。

じゃムま [dzamma] [擬] 突くこと。先の尖ったもので突くこと。

しゃむまイ [çamuma] [名] [植] [しゃ<sup>1</sup>むまイ

まい...) シャム米。タイ米。琉球国の時代から泡盛酒造に輸入した。【類】「くばまい」。

じゃムまじゃムま [dzammadzamma] [擬] ガラスを叩き割るような音。シンバルの音のひびき。

じゃムまみかす [dzammamikas] [動 I 類 c 型] [じゃムまみかしー、じゃムまみかしゃん] 突き破る。先の尖ったもので突き刺す。

じゃムみかす [dzammikas] [動 I 類 c 型] [じゃムみかしー、じゃムみかしゃん] 勢いよく走り去る。

しゃもーギ [çamo:g] [動 I 類 a 型] [しゃもーぎー、しゃもーがん] 騒ぐ。取り乱す。【例】しゃかじゃーん しゃもーギ (酒座に騒ぐ)。

しゃら [çara] [名] [しゃらまい...] 皿。【例】くじゃら (小皿)。うーじゃら (大皿)。

しゃら [çara] [擬] [しゃらていー...] 透き通っている様子。

じゃら [dzara] [名] 続いている状態。【例】あみじゃら (雨続き)。ぴむじゃら (日照り続き)。

じゃら [dzara] [擬] [じゃらていー...] 物の割れる音。

しゃらーに [çara:ni] [名] [しゃらーにまい...] 再来年。明後年。【例】しゃらーにどう ムまりどうす (再来年が生まれ年だ)。【同】「しゃなーり」。

しゃらいり [çarai] [動 II 類 c 型] [しゃらいー、しゃらいん] 浚うこと。底にたまった土砂を取り除く。

しゃらがま [çaragama] [名] [しゃらが<sup>1</sup>まい...] おかっぱ。女の子の髪型。

しゃらしゃら [çaraçara] [擬] [しゃらしゃらていー...] 透き通ること。はっきり見えること。【例】いムぬ しゆくがみ しゃらしゃら (海底までもはっきり見える)。

じゃらじゃら [dzaradzara] [擬] [じゃらじゃらていー...] 物の割れる強い音。

しゃらす [çaras] [動 I 類 a 型] [しゃらしー、しゃらしゃん] 乾かす。【例】ていだん しゃらす (太陽に乾かす)。【類】「かーらかす」。

しゃらたてい [çaratati] [名] [しゃらた<sup>1</sup>ていまい...] 子どもの三歳祝い。

しゃらたていよーイ [çaratatijo:] [名] [しゃらたていよー<sup>1</sup>ていまい...] 子どもの三歳祝い。

じゃらみ [dzarami] [名] [じゃら<sup>1</sup>まい...] ざらめ。粗糖。白砂糖。粒の粗いざらざらした砂糖。

しゃらみかす [çaramikas] [動 I 類 c 型] [しゃらみかしー、しゃらみかしゃん] 透明にする。はっきり見えるようにする。

じゃらみかす [dzaramikas] [動 I 類 c 型] [じゃらみかしー、じゃらみかしゃん] たたき割る。粗暴する。【例】やどうゆムゆ しー じゃらみかす (夫婦喧嘩をして家財道具を叩き割る)。

しゃらみぎ [çaramik] [動 I 類 c 型] [しゃらみきー、しゃらみかん] 透き通る。透明である。澄み切って見える。はっきり見える。

じゃらみぎ [dzaramik] [動 I 類 c 型] [じゃらみきー、じゃらみかん] 割れる音がする。物騒な音がする。

しゃり [çal] [名] [干支] [しゃ<sup>1</sup>りまい...] 申。申年。十二支の9番目。〈しゃりどうい〉。猿。

しゃりイズ [çari:zu] [名] [しゃりイズうまい...] 干し魚。いりこ。いわしの稚魚を煮て干したものの。煮干し。

しゃりか [çalka] [名] [植] [しゃりかまい...] さるかけみかん。

しゃりかやま [çalkajama] [名] [植] [しゃりかやまい...] さるかけみかんの林。

しゃりぎー [çarigi:] [名] [しゃりぎーまい...] 枯木。枯れた木。

しゃりだむぬ [çaridamunu] [名] [しゃりだむぬまい...] 乾いた薪。すぐに燃やせる状態の薪。

しゃりどうい [çaldui] [名] [干支] [しゃりどう<sup>1</sup>まい...] 申年。申年生れ。猿年。

しゃりぬい [çalnu:] [名] [干支] [しゃりぬ<sup>1</sup>まい...] 申の日。

しゃりぬいぬ ピー [çalnu:nu pi:] [名] [干支] [しゃ<sup>1</sup>りぬいぬピー<sup>1</sup>まい...] 申の日。

しゃりぬいぬまり [çalnu:mmari] [名] [干支] [しゃり<sup>1</sup>ぬいぬまりまい...] 申の日生まれ。申の日に生まれた人。

しゃりぬば [çalnu:pa] [名] [干支] [しゃり<sup>1</sup>ぬば

んまい...) 申の方角。西。

しゃりぬばでいー [ɕaɫnupadi:] [名] [地] [しゃりぬばでいーんまい...] 申の里。宮良部落。吉川部落。【類】「さるしづ」。

しゃりばー [ɕariba:] [名] [しゃりばーまい...] 乾いた葉。枯れ葉。落葉。【例】まつぬ しゃりばーだむぬ (松の枯れ葉の薪)。

しゃりふーり [ɕarifu:] [名] [しゃりふーりまい...] おしゃれ。おしゃれな人。着飾る人。髪に気をつけて手を当ててばかりいる人。

じゃリズムに [dʒaɫmni] [名] [じゃリズムにまい...] ずぶぬれ。びしょぬれ。衣服だけでなく、体まで濡れること。

しゃりゆだ [ɕarijuda] [名] [しゃりゆだまい...] 枯れ枝。薪としてよい枝。

しゃりり [ɕari:] [動II類 a型] [しゃりー、しゃりん] 乾く。水分がなくなる。【例】しんたくむのー しゃりった (洗濯物は乾いた)。【類】「かーきり」。

しゃりり [ɕari:] [動II類 a型] [しゃりー、しゃりん] 枯れる。木が枯死する。

じゃりり [dʒari:] [動II類 c型] [じゃりー、じゃりん] 戯れる。遊ぶ。【例】いなぬどう あんーけー じゃりり (犬がぼくにじゃれている)。

しゃりんてい [ɕaɫnti] [名] [干支] [しゃりんていまい...。しゃりんていまい...] 申年。猿。

しゃるまた [ɕarumata] [名] [しゃるまたい...] 猿股。下着。男性のパンツ。

しゃれーす [ɕare:sɯ] [感] ごめん下さい。挨拶のことば。訪問するときにする。今はない。

しゃわぎ [ɕavagɯ] [動I類 a型] [しゃわぎー、しゃわがん] 騒ぐ。論戦になる。ざわめく。子供が遊ぶ。

しゃわぎんぎ [ɕavagɯnkɯ] [動I類 c型] [しゃわぎんぎー、しゃわぎんかん] 騒ぎ立てる。激しい論戦になる。〈しゃわぎ〉(騒ぐ)の強調語。

しゃわり [ɕavaɫ] [名] [しゃわりまい...] 障り。差し支え。支障。【例】しゃわりら ねーん やうん しー とうらし (さしさわりがないようにやってあげなさい)。

しゃわり [ɕavaɫ] [動I類 a型] [しゃわりー、し

ゃわりん] 触れる。さわる。【例】あんなが しばなう しゃわり (お母さんの顔をさわる)。

しゃん [ɕan] [名] [しゃんまい...] 封。魔除け。すすきの葉を結んで作る。門に置く。食べ物にも乗せる。〈ふー〉(封)とも言う。

しゃん [ɕan] [名] [しゃんまい...] 棧。戸や障子の骨。戸の骨組み。戸にゆるみのないように使う木材。

しゃん [ɕan] [名] [しゃんまい...] 魚のえら。呼吸器官。食用にならない。

しゃん [ɕan] [名] [しゃんまい...] 丘。岳。崖。嶺。【例】しゃんぬ すー (崖から流れる水)。

じゃん [dʒan] [名] [じゃんまい...] じゅごん。海馬。

しゃんか [ɕanka] [名] [しゃんかまい...] あの世界。

しゃんが いつ [ɕanga itsɯ] [名] [しゃんがいつまい...] 三分の一。

しゃんかく [ɕankaku] [名] [しゃんかくまい...] 三角。

しゃんかくなム [ɕankakunam] [名] [しゃんかくなムまい...] 三角波。沖の波がぶつかって三角形を作ること。

しゃんがつ [ɕangatsɯ] [名] [しゃんがつまい...] 三月。

しゃんがまつ [ɕangamatsɯ] [名] [しゃんがまつまい...] 戸や障子の骨組。戸や掃除を支える材木。

しゃんぎ [ɕangi] [名] [しゃんぎまい...] 鳥肌。【例】びーしゃんどう しゃんぎぬ むいり (寒さに鳥肌が立つ)。

じゃんぎ [dʒankɯ] [名] [じゃんぎまい...] 串さし。串に刺した食べもの。家の建築の棟上げの祝い食。

じゃんぎ [dʒankɯ] [動I類 a型] [じゃんぎー、じゃんかん] 突き刺す。鉾で魚を突く。【例】うぶにう うめーすにー じゃんぎ (大根を箸で刺す)。

じゃんぎん [dʒankin] [名] [じゃんぎんまい...] じゃんけん。【類】「はいやー」。

じゃんぐじゃんぐ [dʒangudʒangu] [擬] [じゃんぐじゃんぐていー...] 三味線を弾く真似。幼児

語。

じゃんぐみかす [dzangumikasʝ] [動 I 類 c 型] [じゃんぐみかしー、じゃんぐみかしゃん] 三味線の弾く真似をする。

しゃんしム [çançim] [名] [しゃんしムまい...] 三線。三味線。琉球三線のこと。三弦の楽器。

じゃんじゃらす [dzandzarasʝ] [動 I 類 c 型] [じゃんじゃらしー、じゃんじゃらしゃん] ばらばらにする。こなごなにする。

じゃんじゃりり [dzandzari:] [動 II 類 a 型] [じゃんじゃりー、じゃんじゃりん] ばらばらになる。こなごなになる。破れる。壊れる。【例】うぶかでいんどう ふにぬ じゃんじゃりー (台風で船が大破した)。

しゃんしゆ [çançu] [名] [植] [しゃんしゆまい...] さんしょう (の木)。

しゃんしゆぎー [çançugi:] [名] [植] [しゃんしゆぎーまい...] さんしょう。

しゃんしゆふ [çançufu] [名] [貝] [しゃんしゆふまい...] しゃこがい的一种。海底の砂を移動する種類。【類】「あずかり」。「かい」。

しゃんしゆふぐー [çançufugu:] [名] [貝] [しゃんしゆふぐーまい...] しゃこ貝。【類】「しゃんしゆふ」。

しゃんすギ [çansʝkʝ] [名] [しゃんすギまい...] やぐら。十五夜遊びの月見棚。八月おどりの地謡棚。

しゃんだい [çandai] [名] [しゃんだいまい...] 供え物。仏壇に供えたお下がり。【例】しゃんだいゆ うがみ (供え物を食べなさい)。

しゃんどう [çandu] [名] [しゃんどうまい...] 人名。男性。

しゃんとうギ [çantukʝ] [名] [しゃんとうギまい...] 午後の三時。畑仕事の休み時間。

しゃんとうギべーり [çantukʝberi] [名] [しゃんとうギべーりまい...] 三時の日照り。一日の最も暑い時間。

しゃんとうギゆくー [çantukʝjuku:] [名] [しゃんとうギゆくーまい...] 三時休み。

じゃんんにん [dzannin] [名] [じゃんんにんまい...] 残念。落胆。心残り。【例】らくしんゆ しー

じゃんんにん (落選して残念だ)。

しゃんぬ すー [çannu sʝ:] [名] [しゃんぬすーまい...] 岩から染み出る水。丘・崖・峰などから流れる水のこと。

じゃんふしゃ [dzanfuça] [名] [海草] [じゃんふしゃまい...] りゆうきゆうすがも。じゅごんの草の意。じゅごんの食草。【類】「いムふしゃ」。

しゃんまい [çanmai] [名] [しゃんまいまい...] 三枚。三枚肉。三枚鍋。

しゃんまいなび [çanmainabi] [名] [しゃんまいなびまい...] 三枚鍋。いもをふかすのに用いる。

しゃんみん [çanmin] [名] [しゃんみんまい...] 計算。思考。思案。【例】しゃんみん しらいん (思案できない)。

しゃんみんじゅーしゃーり [çanmindzʝ:çɑ:] [形] [しゃんみんじゅーしゃーりまい...] 計算力がある。思案にすぐれる。考える能力がある。

しゃんゆム [çan.jum] [動 I 類 c 型] [しゃんゆみー、しゃんゆまん] だだをこねる。

しゆ [çu] [助数] ~升。容量の単位。1 升は 1 合の 10 倍。【例】いっしゆびん (一升瓶)。

じゆ [dzʝ] [感] さあ。いざ。【例】じゆ、かまんけー (さあ、向うへ行こう)。いムーけー じゆ (海へさあ行こう)。

しゆい [çui] [名] [しゆいまい...] 添え。添えること。加え。足し。

しゆいやー [çuija:] [名] [しゆいやーまい...] 添え家。母家につけたして物置きにする所。床板は張らず土間である。

しゆいり [çui:] [動 II 類 a 型] [しゆいー、しゆいん] 添える。加える。足す。【例】しゆいーむたしゃだ (足して持たせなさい)。くるー しゆい (これを添えなさい)。しゆいんな (添えるな)。

しゆー [çu:] [名] [しゆーまい...] 祖父。父母の父。

しゆー [çu:] [名] [しゆーまい...] 年寄りの男性。年を取った男性。

しゆー [çu:] [名] [しゆーまい...] 主。琉球国王。【例】しゆーが ふに (琉球国王の派遣した船)。

【類】「しゅーがなす」。

しゅー [ɕu:] [名] [しゅーま<sup>1</sup>い...] 潮。海水。【類】「うぶしゅ」。

しゅー [ɕu:] [名] [しゅーま<sup>1</sup>い...] 野菜。食用として畑に栽培される植物。〈あうば〉野菜。【類】「やしやい」。

じゅー [dzu:] [接尾] ~中。仕事の最中。【例】すまじゅー (島の中。島いっぱい。島全体)。

じゅー [dzu:] [名] [じゅーま<sup>1</sup>い...] 十。数のこと。

じゅー [dzu:] [名] [じゅー<sup>1</sup>まい...] 重箱。料理を詰める重箱。二段、三段に重ねる器。「重」は重箱の略。

じゅー [dzu:] [名] [じゅーま<sup>1</sup>い...] 尾。しっぽ。【例】じゅーゆ ふり (尾を振る)。にかぬ じゅー (猫の尾)。かビとうりぬ じゅー (凧の尾)。

しゅーあるーみつ [ɕu:aru:mitsɯ] [名] [地] [しゅーあるーみ<sup>1</sup>つまい...] 水納島の〈とうぶり〉の名前。村史参照。【類】「うぶい」。

しゅーい [ɕu:i] [名] [しゅーい<sup>1</sup>んまい...] 周囲。まわり。周辺。辺り一面。【例】ぱるぬ しゅーい (畑の周辺)。【類】「ままーり」。

じゅーいちがつ [dzu:itɕigatsɯ] [名] [じゅーい<sup>1</sup>ちがつまい...] 十一月。霜月。立冬・小雪の季節。

しゅーかう [ɕu:kau] [名] [しゅーかうまい...] 焼香。仏壇に線香を立てて焼香する。【同】「しゅーこー」。

しゅーかうじん [ɕu:kau:dʒin] [名] [しゅーかうじ<sup>1</sup>んまい...] 香典。

じゅーかき [dzu:kaki] [名] [じゅーか<sup>1</sup>きまい...] 馬の尾に紐(ひも)をかける。

じゅーがつ [dzu:gatsɯ] [名] [じゅーが<sup>1</sup>つまい...] 十月。今は新暦の十月。寒露・霜降の季節。さしばの来る季節。

じゅーがつなつがま [dzu:gatsɯnatsɯgama] [名] [じゅーがつなつが<sup>1</sup>ままい...] 旧暦の十月の暖かい日和。小春日和。

しゅーがま [ɕu:gama] [名] [しゅーが<sup>1</sup>ままい...] 祖父の兄弟の末っ子。

しゅーがま [ɕu:gama] [名] [しゅーが<sup>1</sup>ままい...] 野菜の愛称。

しゅーから [ɕu:kara] [名] [しゅーか<sup>1</sup>らまい...] 塩辛。魚の塩漬。

しゅーかりぐい [ɕu:karigui] [名] [しゅー<sup>1</sup>かりぐいまい...] 生まれ付きのかすれ声。

じゅーがりら [dzu:ga[ɹa] [名] [じゅー<sup>1</sup>がりら<sup>1</sup>まい...] 尻尾の短い凧がぐら付く様。

じゅーがりらーり [dzu:ga[ɹa:] [形] [じゅーがり<sup>1</sup>らまい...] 凧の尾が軽いために安定しない様。人の落ちつきのないことにも例える。

しゅーギじゃー [ɕu:ɡɯ:dʒa:] [名] [しゅーギ<sup>1</sup>じゃー<sup>1</sup>まい...] 祝い座。

じゅーギすい [dzu:ɡɯ:si] [名] [じゅーギ<sup>1</sup>すいまい...] 尾が切れること。成功しない意味。苦労すること。

しゅーギふくる [ɕu:ɡɯ:fukuru] [名] [しゅー<sup>1</sup>ギふくるまい...] お祝いの金の封筒。

しゅーく [ɕu:ku] [名] [しゅー<sup>1</sup>くまい...] 証拠。

じゅーぐにつ [dzu:gunitsɯ] [名] [じゅーぐに<sup>1</sup>つまい...] 旧暦の十五日。仏壇に花を活ける。

じゅーぐにつじゅー [dzu:gunitsɯdzu:] [名] [じゅーぐにつじゅー<sup>1</sup>まい...] 十五日の潮。大潮。

じゅーぐや [dzu:ɡu:ja] [名] [じゅーぐ<sup>1</sup>やまい...] 十五夜。旧暦の八月十五夜。十五夜遊びをする。

じゅーぐやあすび [dzu:ɡu:jaasɯbɯ] [名] [じゅーぐ<sup>1</sup>やあすびまい...] 十五夜遊び。ふかぎを持ち寄って遊ぶ。劇も演じる。今はない。

じゅーぐやつぎ [dzu:ɡu:jaɯtsɯɡɯ] [名] [じゅーぐ<sup>1</sup>やつぎまい...] 十五夜の月。

しゅーこー [ɕu:ko:] [名] [しゅーこーまい...] 焼香。【同】「しゅーかう」。

じゅーさんにんぎ [dzu:sanninkɯ] [名] [じゅーさん<sup>1</sup>んにんぎまい...] 死後13年忌。

じゅーし [dzu:ɕi] [名] [じゅー<sup>1</sup>しまい...] 雑炊。雑煮。炊き込みご飯。

じゅーじゅくー [dzu:dʒɯ:kɯ:] [名] [じゅーじゅく<sup>1</sup>ーまい...] 十時頃に休むこと。

しゅーしん [ɕu:ɕin] [名] [しゅーしん<sup>1</sup>ゆまい...] 修身。国民学校時代の教科書。

しゅーず [ɕu:dʒɯ] [名] [しゅー<sup>1</sup>ずまい...] 小路。

横道。

しゅーずき [ɕu:dzɯki] [名] [しゅーず<sup>1</sup>きまい...] 潮漬け。材木を渚に埋めること。

しゅーずきぎー [ɕu:dzɯkigi:] [名] [しゅーずきぎ<sup>1</sup>ーまい...] 渚に埋めた木。潮（海水）に漬けた木。

しゅーつつぎ [ɕu:tsɯtsɯki] [名] [魚] [しゅーつつぎまい...] ぎすの仲間。【類】「ビーガー」。

しゅーてい [ɕu:tei] [名] [しゅーていまい...] 潮流。離岸流。

しゅーにー [ɕu:ni:] [名] [しゅーに<sup>1</sup>ーまい...] 塩煮。塩味で炊くこと。

しゅーにーイズう [ɕu:ni:ɯ] [名] [しゅーに<sup>1</sup>ーイズうまい...] 塩味で炊く魚。

じゅーにがつ [dzu:nigatsɯ] [名] [じゅーにが<sup>1</sup>つまい...] 十二月。師走。大雪・冬至の季節。クリスマス・大晦日などの行事がある。

じゅーにし [dzu:niɕi] [名] [干支] [じゅーに<sup>1</sup>しまい...] 十二支。子（ねずみ）。丑（牛）。寅（虎）。卯（兎）。辰（竜）。巳（蛇）。午（馬）。未（羊）。申（猿）。酉（鶏）。戌（犬）。亥（猪）。

しゅーぬ ぱな [ɕu:nu pana] [名] [しゅーぬぱ<sup>1</sup>なまい...] 海面。波の上。

しゅーぬ ぱな [ɕu:nu pana] [名] [しゅーぬぱ<sup>1</sup>なまい...] 潮だまりにできる泡のこと。潮の泡。

しゅーぬ ぴーり [ɕu:nu pi:] [連語] 潮がひくこと。引き潮。

しゅーぬーり [ɕu:nu:] [名] [しゅーぬー<sup>1</sup>りまい...] 潮上り。津波。

じゅーばく [dzu:baku] [名] [じゅーば<sup>1</sup>くまい...] 重箱。料理を詰める重箱。二段・三段に重ねる器。

じゅーばくじゃかな [dzu:bakudzakana] [名] [じゅーばくじゃか<sup>1</sup>なまい...] 重箱に詰めたご馳走。

しゅーばん [ɕu:ban] [名] [しゅーばんまい...] 週番。学校で一週間当番すること。当番は生徒が勤める。

しゅーぶ [ɕu:bu] [名] [しゅー<sup>1</sup>ぶまい...] 勝負。勝ちと負け。【例】しゅーぶー つきった（勝負はついた）。しゅーぶ すが（喧嘩しに行く）。

しゅーふけ [ɕu:fuke] [名] [貝] [しゅーふ<sup>1</sup>けまい...] 二枚貝の大きなもの。砂にいて移動する。

しゅーぶすがーき [ɕu:pusɯga:ki] [名] [しゅーぶ<sup>1</sup>すがーきまい...] 海の物が欲しいこと。潮の香りのするものが食べたいこと。【類】「しゅーぶっさ」。

しゅーぶすがーきり [ɕu:pusɯga:ki] [動 II 類] [しゅーぶすがーきー、しゅーぶすがーきん] [しゅ<sup>1</sup>ーぶすかーきー ぶり] 海の物が欲しい。潮の香りのするものが食べたい。

しゅーぶすしゃーり [ɕu:pusɯɕa:] [形] [しゅーぶ<sup>1</sup>す<sup>1</sup>しゃまい...] 海の物が欲しい。海の香りが欲しい。

しゅーふつ [ɕu:futsɯ] [名] [しゅーふつ<sup>1</sup>んまい...] 渚。波打ち際。水際。【例】しゅーふつぬ みみずとうり（波打ち際でごかいを取る）。

しゅーぶっさ [ɕu:pusɯsa] [名] [しゅーぶっ<sup>1</sup>さまい...] 海の物が欲しいこと。潮の香りのするものが食べたい。【類】「しゅーぶすがーき」。

じゅーぶに [dzu:buni] [名] [じゅーぶにまい...] 尾骨。豚の尾骨をいう。

しゅーぶん [ɕu:bun] [名] [しゅーぶ<sup>1</sup>んまい...] 秋分。二十四節気の一つ。秋の彼岸。9月23日頃。昼と夜の長さが等しくなる。

じゅーぶん [dzu:bun] [名] [じゅーぶ<sup>1</sup>んまい...] 十分。充分。満ち足りていること。【類】「じゃうぶん」「じょーぶん」。

じゅーまーしえ [dzu:ma:ɕe] [名] [鳥] [じゅーまー<sup>1</sup>しえまい...] せきれい。

しゅーまん [ɕu:man] [名] [しゅーま<sup>1</sup>んまい...] 小満。二十四節気の一つ。5月21日頃。雨の多い時期。

しゅーまんあみ [ɕu:man.ami] [名] [しゅーま<sup>1</sup>んあみまい...] 小満の雨。

しゅーまんぼうしゅ [ɕu:manbauɕu] [名] [しゅーま<sup>1</sup>んぼうしゅまい...] 小満芒種。小満と芒種の季節をまとめた言い方。沖縄では、雨の時期。【同】「しゅーまんぼーしゅ」。

しゅーまんぼうしゅあみ [ɕu:manbauɕuami] [名] [しゅーま<sup>1</sup>んぼうしゅあみまい...] 小満芒種の雨。小満芒種の季節に降る雨。【同】「しゅーま

んぼーしゅあみ。  
 しゅーまんぼーしゅ [çu:manbo:çu] [名] [しゅーま<sup>1</sup>んぼーしゅまい...] 小満芒種。小満と芒種の季節をまとめた言い方。沖縄では、雨の時期。【同】「しゅーまんぼうしゅ」。  
 しゅーまんぼーしゅあみ [çu:manbo:çuami] [名] [しゅーま<sup>1</sup>んぼーしゅあみまい...] 小満芒種の雨。小満芒種の季節に降る雨。【同】「しゅーまんぼうしゅあみ」。  
 しゅーみず [çu:midzɯ] [名] [しゅーみ<sup>1</sup>ずまい...] 潮水。海水。  
 しゅーム [çu:m] [動Ⅰ類c型] [しゅーみー、しゅーまん] 惚れる。好きになる。  
 しゅームつ [çu:mtsɯ] [名] [しゅーム<sup>1</sup>つまい...] 満潮。潮が満つこと。1日2回起こる。  
 しゅーむり [çu:mu] [名] [しゅーむりまい...] 総盛り。麦穂礼の行事に神酒やご馳走をいただくこと。  
 しゅーやー [çu:ja:] [名] [しゅ<sup>1</sup>ーやーまい...] 祖父の家。父方の家。  
 しゅーゆどうム [çu:judum] [名] [しゅーゆどう<sup>1</sup>ムまい...] 潮淀み。潮の流れが止まること。干満の中間の潮のこと。【例】しゅーや ゆどうみった（潮の流れが止まった）。  
 しゅーり [çu:ri] [名] [しゅー<sup>1</sup>りまい...] 修理。修繕。【例】やーぬ しゅーり（家の補修）。  
 しゅーり [çu:ri] [感] 歌のはやし。多良間しゅんかにのはやし。  
 じゅーるくにつ [dzu:rukunitsɯ] [名] [じゅーる<sup>1</sup>くにつまい...] 十六日。旧暦の一月の十六日祭。あの世の正月といわれる。  
 しゅが [çuga] [接尾] ~が。~けれども。しかし。それなのに。逆接。【例】すーしゅが（やるけれども）。ぱらっじゅが（走るけれども）。  
 しゅがー [çuga:] [名] [しゅがーんま<sup>1</sup>い...] 塩川。多良間村字塩川。嶺間・大道・大木・古川の四つの支部がある。  
 しゅがーうたき [çuga:utaki] [名] [しゅがーうたき<sup>1</sup>んまい...] 塩川御嶽。  
 しゅがーがー [çuga:ga:] [名] [しゅがーがー<sup>1</sup>んまい...] 塩川井戸。泉。

しゅがーふつ [çuga:futsɯ] [名] [しゅがーふつ<sup>1</sup>んまい...] 塩川方言。  
 しゅかい [çukai] [名] [しゅかいまい...] 疎開。希望に燃えて新天地へ移住すること。水納島は1961年に宮古島の高野地区へ移住した。  
 しゅがす [çugasɯ] [動Ⅰ類c型] [しゅがしー、しゅがしゃん] そよがせる。風に当てる。風に当たらせる。切り干し大根を風に当てる。  
 しゅがふに [çugafuni] [名] [しゅがふにまい...] 主の船。琉球国王の派遣した船。人頭税を運ぶための船。  
 しゅからあず [çukaraadzɯ] [名] [しゅからあ<sup>1</sup>ずまい...] しよっぱい味。塩分の多いこと。【例】まーしゅにーや しゅからあず（塩炊きのはしよっぱい）。  
 しゅからしゃーり [çukaraça:] [形] [しゅから<sup>1</sup>しゃまい...] 塩辛。しよっぱい。塩分の多い味。しよっぱいの味。【例】しゅからしゃん ならん（しよっぱくてたまらない）。  
 しゅがらす [çugarasɯ] [動Ⅰ類a型] [しゅがらしー、しゅがらしゃん] 着飾らせる。おしやれさせる。【例】すたふじやーや しゅがらすどうくま（支度座は着飾らせる所）。  
 しゅがらす [çugarasɯ] [動Ⅰ類c型] [しゅがらしー、しゅがらしゃん] 準備させる。支度させる。八月おどりの出演準備をさせる。  
 しゅがらす [çugarasɯ] [動Ⅰ類c型] [しゅがらしー、しゅがらしゃん] 風に吹かせる。風を利用して冷やす。【例】あつむぬー しゅがらす（熱いものを風に吹かせる）。【類】「しゅがす」。  
 しゅからばーがぎな [çukaraba:gagɯna] [名] [植] [しゅからば<sup>1</sup>ーがぎなまい...] 草の名。芝の仲間。  
 しゅからふつ [çukarafutsɯ] [名] [しゅからふ<sup>1</sup>つまい...] しよっぱい味を好む人。塩分の多い味を好む人。  
 しゅからぶに [çukarabuni] [名] [しゅからぶ<sup>1</sup>にまい...] 向う脛（すね）。すねの前の部分。空骨か。骨が向き出ているとぶつくと痛い部分。【類】「からしゅに」。  
 しゅからむぬ [çukaramunu] [名] [しゅからむ<sup>1</sup>

ぬまい...) しょっぱいもの。塩味の強いもの。塩辛、塩漬けたもの。

しゅがり [çuga] [名] [しゅが<sup>1</sup>りまい...] 準備。【例】めーくんけーぬ しゅがり (宮古への準備だ)。

しゅがり [çuga] [名] [しゅが<sup>1</sup>りまい...] 着飾り。装い。

しゅがり [çuga] [動 I 類 c 型] [しゅがりー、しゅがらん] 準備する。【例】いしゅぎー しゅがり (急いで準備しなさい)。

しゅがり [çuga] [動 I 類 c 型] [しゅがりー、しゅがらん] 着飾る。【例】たうかーしー しゅがりどうす (一人で着付けできる)。【類】「がーり」。

しゅがりがぎな [çuga[gag]na] [名] [植] [しゅが<sup>1</sup>りがぎなまい...] おひしば。〈ぶなじえー〉の兄妹が津波のときにしがみついたとされる。【類】「にーじゅーがぎな」。

しゅがりぎん [çuga[g]n] [名] [しゅが<sup>1</sup>りぎ<sup>1</sup>んまい...] 外出用の着物や洋服。【例】めーんけーぬ しゅがりぎん (集会場へ着る衣服)。

しゅぎ [çug] [動 I 類 c 型] [しゅぎー、しゅがん] そよぐ。吹く。風が吹く。【例】かでいんきーぬ しゅぎー ぶり (風に木がそよいでいる)。

しゅぎ [çug] [動 I 類 c 型] [しゅぎー、しゅがん] 削ぐ。剥ぎ取る。【類】「かしゅぎ」。

しゆく [çuku] [名] 程。それ程。【例】うんしゅくなー (それほどに)。うんしゅく ぱたらぎ (それほど働き)。

しゆく [çuku] [名] [しゅくまい...] 職。職業。仕事。職務。役目。【例】しゅくぱぎ (職を失う)。しゅくー とうみり (職を求める)。

しゆく [çuku] [名] [しゅくま<sup>1</sup>い...] 底。地底。海底。【例】しゅくずー (低い土地の畑)。いムぬ しゆく (海の底。海底)。

じゅく [dzuku] [名] [じゅくまい...] 俗。俚言。ことわざ。【例】んけーんじゅく (昔のことわざ)。

しゅくがムなり [çukugamna] [名] [しゅくがムなりまい...] 遠い所の雷。遠雷。

しゅくがらす [çukugaras] [名] [しゅくが<sup>1</sup>ら<sup>1</sup>まい...] 塩漬けにしたあいごの稚魚。【同】「しゅふがらす」。

しゅくぎ [çukug] [名] [植] [しゅく<sup>1</sup>ぎまい...] くさぎ。

しゅくぎぎー [çukugigi:] [名] [植] [しゅくぎぎ<sup>1</sup>ーまい...] くさぎの木。

しゅくぎやま [çukugjama] [名] [しゅくぎや<sup>1</sup>ままい...] くさぎの木の林。

しゅくずー [çukudz:] [名] [しゅくずーまい...] しゅくず<sup>1</sup>ーまい... 低い土地。低い所の畑。土地が低くなっていること。

しゅくだい [çukudai] [名] [しゅくだいまい...] 宿題。家庭学習のために出される課題。【例】しゅくだいや すたムな (宿題はやったか)。

しゅくだい [çukudai] [名] [しゅくだいまい...] 食台。飯台。食事に使う台。

しゅくにん [çukunin] [名] [しゅくにんまい...] 職人。専門的な技術を持っている人。たたみ職人。機織職人。大工。庭師。左官。

しゅくぱが [çukupaga] [名] [しゅくぱ<sup>1</sup>がまい...] 失業者。

しゅくぱぎむぬ [çukupagimunu] [名] [しゅくぱぎむ<sup>1</sup>ぬまい...] 失業者。無職者。失職者。

しゅくぱぎり [çukupagi] [動 II 類 c 型] [しゅくぱぎー、しゅくぱぎん] 失業する。職を失う。【例】やみーどう しゅくぱぎたり (病気のために失業した)。

しゅくぼる [çukubaru] [名] [しゅくば<sup>1</sup>るまい...] 低い所の畑。【例】しゅくぼるんや みずたまり (低い所の畑には水がたまる)。

しゅくびー [çukubi:] [名] [しゅくびーまい...] 底冷え。冬の風のない日の寒さ。体のしんまで寒くなること。

しゅくぶみぎ [çukubumik] [動 I 類 a 型] [しゅくぶみきー、しゅくぶみかん] 心の底から暑い。

しゅくまーり [çukuma:] [名] [しゅくまー<sup>1</sup>りまい...] 鋸の一種。木材を丸く切るような歯を持つ鋸。

しゅくまどう [çukumadu] [名] [しゅくま<sup>1</sup>どうまい...] 神事するとき、ひまで仕事をしないこと。

その人。

しゆくゆく [çukujuku] [名] [しゆくゆ<sup>1</sup>くまい...] 食欲。食い気。食べたい欲望。【例】やみーぬあとー しゆくゆくぬ いでい<sup>1</sup>り (病気の後は食欲が出る)。

しゆしつ [çuçits] [名] [しゆし<sup>1</sup>つまい...] 素質。生まれつき持っている性質。特に将来を期待される能力。

しゆしや [çuçā] [名] [昆虫] [しゆ<sup>1</sup>しゃまい...] くまぜみ。

しゆじゃ [çudzā] [名] [しゆ<sup>1</sup>じゃまい...] 兄。年上の男の人。先輩。【類】「あにつすう」「しゆじゃつすう」。

しゆじゃすだい [çudzās̄dai] [名] [しゆ<sup>1</sup>じゃすだいまい...] 先輩次第。年長から順番。【例】しゆじゃすだい すきらいー わーり (先輩から先に召し上がって下さい)。

しゆじゃた [çudzata] [名] [しゆじゃ<sup>1</sup>たまい...] 先輩達。兄達。【例】しゆじゃたが ムめ (先輩の皆様)。ギむかぎしゆじゃた (優しいお兄さんたち)。

しゆじゃつすう [çudzassu] [名] [しゆじゃつすうまい...] 先輩。年上の人。【例】あんゆー<sup>1</sup>りーー じゆしやつすう (ぼくより先輩だ)。

しゆしゆ [çuçū] [名] [しゆしゆまい...] 裾。着物の裾。着物の下の部分。【例】ギんぬ しゆしゆー あぎる (着物の裾を上げなさい)。

しゆじゆ [çudzu] [名] [しゆ<sup>1</sup>じゆまい...] 処女。乙女。小娘。未婚の若い女性。

しゆじゆあんが [çudzuaŋga] [名] [しゆ<sup>1</sup>じゆあんがまい...] 若いお姉さん。

しゆしゆギ [çuçug] [動I類c型] [しゆしゆぎー、しゆしゆがん] 濯ぐ。洗濯の最後に濯ぐこと。

しゆしゆぬかす [çuçunukas] [動I類c型] [しゆしゆぬかしー、しゆしゆぬかしゃん] そそのかす。唆す。おだてる。誘う。【例】しゆしゆぬかしー かーす (そそのかして買わせる)。

しゆしゆ<sup>1</sup>り [çuçū] [動I類c型] [しゆしゆりー、しゆしゆらん] 拭く。台を拭く。床を拭く。【例】あれーつていーから しゆしゆり (洗ってから

拭きなさい)。

しゆす [çus] [動I類c型] [しゆしー、しゆしやん] 差す。持ち上げる。【例】たーらう しゆしー ぬーし<sup>1</sup>り (俵を差し上げて乗せる)。

しゆずき [çudz̄ki] [名] [しゆず<sup>1</sup>きまい...] 塩漬。野菜などを塩漬けにすること。

しゆだー ぶらいん [çuda: burain] [連語] やらないではおられない。

しゆたい [çutai] [名] [しゆたいまい...] 所帯。独立した生活をするための家庭。【類】「きないむつ」。

しゆたいみん [çutaimin] [名] [しゆたいみんまい...] 初対面。初めて顔を会わせること。最初の対面。

しゆたつ [çutats] [名] [植] [しゆたつまい...] そてつ。そてつ地獄。そてつを食料とした。1950年ごろまで苦しい生活があった。

しゆだつ [çudats] [動I類c型] [しゆだていー、しゆだたん] 育つ。成長する。生長する。動物・植物に言う。【例】かぶぎ しゆだつ (あれほど大きく育つ)。  
【類】「ヴえーが<sup>1</sup>り」。

しゆたつぎーやま [çutats̄gi:jama] [名] [植] [しゆたつぎーやままい...] 蘇鉄の木の林。

しゆたつやま [çutats̄jama] [名] [植] [しゆたつや<sup>1</sup>まい...] 蘇鉄林。

しゆだてい [çudati] [名] [しゆだていま<sup>1</sup>い...] 育て。育てること。

しゆだてい [çudati] [名] [しゆだ<sup>1</sup>ていまい...] 添手。熱い鍋をつかむときの添える物。

しゆだてい<sup>1</sup>り [çudati] [動II類c型] [しゆだていー、しゆだていん] 育てる。成長させる。生長させる。【例】しゆだていー ヴえーがらす (手塩にかけて育てる)。  
【類】「ヴえーがらす」。

しゆつ [çu?] [擬] 滑りやすい状態。【例】うなギエー しゆつていー ぴんぎ<sup>1</sup>り (鰻は手から滑って逃げた)。

じゆつ [dzuts] [名] [じゆつまい...] 術。技。技術。奇術。魔術。【例】じゆつう かぎ<sup>1</sup>り (術をかける)。

しゆつげう [çuts̄geu] [名] [しゆつげ<sup>1</sup>うまい...] 卒業。学び終える。学校を去る。【例】しゆつ

げおしき (卒業式)。

しゅつげうしき [cutsʃgeuɕiki] [名] [しゅつげうし<sup>1</sup>きまい...] 卒業式。

しゅった [cutta] [擬] すべる様子。【例】しゅったていー まるびー (すべって転んだ)。【同】「しよった」。

しゅったしゅった [cuttaçutta] [擬] [しゅったしゅったていー...] 滑りやすい状態。アイススケートの床。

しゅったみかす [cuttamikasʃ] [動I類c型] [しゅったみかしー、しゅったみかしゃん] 滑りやすい状態にする。

しゅったみぎ [cuttamikʃ] [動I類c型] [しゅったみぎー、しゅったみかん] 非常に滑りやすい状態である。

しゅっていー [cutti:] [擬] さっと立つ様。

しゅでい [çudi] [名] [しゅでいまい...] 袖。衣服の腕を通す部分。【例】しゅでいう んぎ (袖を通す)。

しゅでいえー [çudie:] [名] [しゅでいえーまい...] たすき。和服の袖をたくしあげるひも。

しゅでいえーぎ [çudie:gi] [名] [しゅでいえーぎまい...] たすき。また、たすきをかけること。

しゅとうぎ [çutukʃ] [名] [しゅとうぎま<sup>1</sup>い...] 潮時。よい機会、チャンス。【例】しゅとうぎぬイズう (漁のよい潮時)。

しゅどうまり [çuduma] [名] [しゅどうま<sup>1</sup>りまい...] 潮止まり。干潮と満潮の中間の潮。

しゅない [çunai] [名] [しゅないま<sup>1</sup>い...] 供え。

しゅない [çunai] [名] [しゅないま<sup>1</sup>い...] 備え。準備。

しゅないむぬ [çunaimunu] [名] [しゅないむ<sup>1</sup>ぬまい...] 供えもの。供えてあるもの。

しゅないり [çunai] [動II類c型] [しゅないー、しゅないん] 供える。【例】しゅないる (供えよ)。かうゆ つきー しゅないる (線香を立てて供えよ)。

しゅないり [çunai] [動II類c型] [しゅないー、しゅないん] 備える。準備する。【例】しゅないる (備えよ)。しゅないー うき (備えておきなさい)。しゅないった (準備した)。

しゅなう [çunau] [動I類c型] [しゅねー、しゅなーん] 備わる。

しゅなかいり [çunakai] [動I類] [しゅなかいりー、しゅなかいらん] [しゅ<sup>1</sup>なかいりー「ぶり」] ぶっ倒れる。仰向けになる。焼いた魚の体が曲がることもいう。【例】ぶがりー しゅなかいり (疲れきってぶっ倒れる)。

しゅなまり [çunama] [動I類a型] [しゅなまりー、しゅなまらん] 支度する。準備する。用意する。【例】ぱるんけー しゅなまり (畑仕事の支度をする)。

しゅなんか [çunanka] [名] [しゅなんかまい...] 初七日。死後7日目。死後7日目の法事。

しゅに [çuni] [名] [しゅにまい...] 海底の盛り上がった所。

しゅに [çuni] [名] [しゅにまい...] 宗根。隣り近所。里。【例】ぱいじゅに (南の里)。しゅにでーんぬ しゃにつ (近所の人たちの浜遊び)。

しゅにんへい [çuninhei] [名] [しゅにんへ<sup>1</sup>まい...] 初年兵。日本の軍国主義時代の兵役のこと。兵役1年目のこと。

しゅぬー [çunu:] [動I類c型] [しゅねー、しゅなーん] 備わる。揃う。

しゅば [çuba] [名] [しゅばま<sup>1</sup>い...] そば。食料のそば。【例】めーくんけー しゅばふーが (宮古へそば食べに)。

しゅば [çuba] [名] [しゅばんま<sup>1</sup>い...] そば。側。横。物の近く。【例】みつぬ しゅば (道の側)。やーぬ しゅば (家の近く)。

しゅばーら [çupa:ra] [副] 腹いっぱい。満腹。【例】しゅばーら ふえーった (いっぱい食べた)。ばたしゅばーら (お腹がいっぱい)。

しゅばだい [çubadai] [名] [しゅばだ<sup>1</sup>まい...] そば賃。そば代金。

しゅばつむぬ [çupatsʃmunu] [名] [しゅばつむぬまい...] 初めて経験をすること。又はその人。八月おどりの出演の初心者に言う。

しゅばみつ [çubamitsʃ] [名] [しゅばみ<sup>1</sup>つまい...] わき道。横道。細道。小路。【類】「いみみつ」。

しゅばや [çubaja] [名] [しゅば<sup>1</sup>やまい...] そば屋。【例】めーくぬ しゅばや (宮古のそば屋)。

いだぬ しゅばやんけー (どこのそば屋に行こうか)。

じゅばん [dzuban] [名] [じゅば<sup>1</sup>んまい...] 女性の下着。和服用の肌着。じばん。

しゅび [çubɯ] [名] [魚] [しゅびまい...] きはだまぐろ。

しゅピさがーき [çupɯsaga:ki] [名] [しゅピ<sup>1</sup>さがーきまい...] 野菜が欲しいこと。年中栽培のない時代に冬の時期に野菜を食べることを切実に望むこと。

しゅふ [çufu] [名] [魚] [しゅふまい...] あいごの稚魚。【例】しゅふがらす (あいごの稚魚の塩漬)。

しゅふがらす [çufugarasɯ] [名] [しゅふがら<sup>1</sup>すまい...] 塩漬けにしたあいごの稚魚。【同】「しゅくがらす」。

しゅぶき [çubuki] [名] [しゅぶ<sup>1</sup>きまい...] 潮吹き。飛沫。台風時の潮吹き。【例】きーぬ ぱーや しゅぶきだり (木の葉は潮吹きで汚れている)。

しゅぶギ [çupugɯ] [名] [しゅぶギまい...] 帯。和服の胴の部分をつめる布。【類】「かーしゅぶギ」。

しゅふすギ [çufusɯkɯ] [名] [しゅふす<sup>1</sup>ギまい...] あいごの稚魚を網で掬うこと。

しゅぷすしゃーり [çupusɯçɑ:] [形] 野菜が欲しい。年中栽培のない時代に冬の時期に野菜を食べたい。

しゅふつ [çufutsɯ] [名] [しゅふ<sup>1</sup>つまい...] 潮時。漁をするのによい時。【例】ましゅふつじゅー (旧暦の15日頃の潮時)。

しゅぶん [çubun] [名] [しゅぶ<sup>1</sup>んまい...] 処分。捨てること。始末すること。【例】やりギんゆ しゅぶん すー (疲れた着物を処分する)。

しゅペーり [çupe:ri] [名] [しゅペー<sup>1</sup>りまい...] 潮のひくこと。干潮。【例】しゅペーりんや イズおー かからん (干潮時には魚は釣れない)。

しゅまり [çuma] [動I類 a 型] [しゅまりー、しゅまらん] 染まる。色が染み込む。悪に染まる。【例】あかぐーぬ しゅまり (食紅が染まる)。

しゅみむぬ [çumimunu] [名] [しゅみむぬまい...]

染めもの。染めたもの。【例】ぺんきにー しゅみむぬ (ペンキで染めたもの)。

しゅみり [çumi] [動II類 a 型] [しゅみー、しゅみん] 染める。【例】かんばくー あかぐーにー しゅみり (かまぼこを食紅で染める)。

しゅム [çum] [動I類 c 型] [しゅみー、しゅまん] 染む。着物などに色がつく。

しゅムたがー [çumtagɑ:] [名] [井戸] [しゅム<sup>1</sup>たがーまい...] 井戸の名。人工井戸。

しゅむつ [çumutsɯ] [名] [しゅむ<sup>1</sup>つまい...] 書物。本。読み物。書籍。【例】しゅむつう ゆム (本を読む)。たーが しゅむつが (誰の本か)。

しゅムぱり [çumpa] [動I類 c 型] [しゅんぱりー、しゅんぱらん] 体を硬直させる。けいれんを起す。【例】ぱぎぬ しゅんぱり (脚がけいれんを起す)。

しゅら [çura] [名] [しゅ<sup>1</sup>らまい...] 梢。草木の先の方。【例】すっじゃぬ しゅら (さとうきびの梢頭部)。

しゅらーす [çura:sɯ] [動I類 c 型] [しゅらーしー、しゅらーしゃん] 集める。集合させる。揃える。【例】やらびう しゅらーす (子どもを集める)。ギすいー ふつう しゅらーす (切り口を揃える)。

しゅらきり [çuraki] [動II類 c 型] [しゅらきー、しゅらきん] 開墾する。整地する。平坦にする。【例】きーゆ しゅらきー ぱるん なす (木を切って畑を作る)。

しゅらす [çurasɯ] [動I類 c 型] [しゅらしー、しゅらしゃん] 元気付ける。励ます。

しゅらす [çurasɯ] [動I類 c 型] [しゅらしー、しゅらしゃん] 目覚めさせる。【例】しゅらしーがっこーんけー いかし (目覚めさせて学校へ行かせなさい)。

しゅらす [çurasɯ] [動I類 c 型] [しゅらしー、しゅらしゃん] 刈らす。切らす。草を刈らせる。【例】きーぬ ゆだう しゅらし (木の枝を切らせなさい)。

しゅらす [çurasɯ] [動I類 c 型] [しゅらしー、しゅらしゃん] 剃らす。ひげを剃らせる。【例】ピぎう しゅらしゃだ (ひげを剃らせなさい)。

しゅらす [çurasʝ] [動I類c型] [しゅらしー、しゅらしゃん] 反らす。反り返らす。【例】くすぶにう しゅらす (背中を反らせる)。

しゅらましやリ [çuramaçal] [名] [しゅらましや<sup>1</sup>リまい...] 先勝。先行。先攻。善は急げ。

しゅリ [çul] [名] [しゅ<sup>1</sup>リまい...] ひげを剃るもの (剃刀)。【例】しゅリる とうギ (剃刀を研ぐ)。

しゅリ [çul] [動I類c型] [しゅりー、しゅらん] 剃る。ひげを剃る。【例】あかしゅリ (散髪する)。ピギしゅリまどうまい ねーん (ひげを剃る時間もない)。

しゅリ [çul] [動I類c型] [しゅりー、しゅらん] 刈る。切る。草を刈る。【例】しゅリ (切りなさい。刈りなさい)。けーしゅリが (茅を刈りに行く)。

しゅリ [çul] [動I類c型] [しゅりー、しゅらん] 反る。反り返る。背伸びする。【例】あばなきー しゅリ (上を向いて背伸びする)。

しゅリ [çuri] [名] [しゅり<sup>1</sup>んまい...] 首里。琉球王府の首都。大都会の行政府。那覇市の首里城の所在地。

じゅリ [dzuri] [名] [じゅりまい...] 尾類。遊女。女郎。

しゅりかいリ [çurikai] [動I類c型] [しゅりかいりー、しゅりかいらん] 反り返る。【例】がべうイズうぬ しゅりかいリ (やせた魚は反り返る)。

しゅりかヴヴィ° [çurikavvɿ] [動I類c型] [しゅりかヴヴィー、しゅりかヴヴィあん] 生き生きしている状態にある。立派である。植物が勢いよく育っている。【例】くぬ いーや しゅりかヴヴィー ぶリ (この絵は立派だ)。

しゅりじゃかな [çuridzakana] [名] [しゅりじゃか<sup>1</sup>なまい...] 酢でもんだ肴 (さかな)。スツウプナカの料理。魚とあきののげしを酢でもんだもの。

しゅりしゅり [çuriçuri] [擬] [しゅりしゅりていー...] 生き生きとしている様子。【例】くぬ ふしゃー あみぬ っふい<sup>1</sup>たリばどう しゅりしゅりていー ぶリ (この草は雨が降ったので青々

している)。

しゅりすば [çurisʝba] [名] [しゅりす<sup>1</sup>ばまい...] 唇が反っていること、またはその人。

しゅりばー [çuriba:] [名] [しゅりば<sup>1</sup>ーまい...] 出っ歯。【類】「ながばー」。

しゅリまー [çulma:] [名] [しゅリま<sup>1</sup>ーまい...] 散髪のやり残し。

しゅリまーがなまリ° [çulma:ganama] [名] [しゅリま<sup>1</sup>ーがなまリまい...] 散髪のやり残しがある頭。下手な髪型の頭。

しゅりみかす [çurimikasʝ] [動I類c型] [しゅりみかしー、しゅりみかしゃん] 生き生きとした状態にする。

しゅりみギ [çurimikɿ] [動I類c型] [しゅりみきー、しゅりみかん] 生き生きとする。【例】あみぬ うかぎんどう しゅりみきー ぶリ (雨のお陰で元気になっている)。

しゅりみム [çurimim] [名] [しゅりみ<sup>1</sup>ムまい...] 耳の反り立つこと。またその人。

しゅリリ [çuri] [動II類a型] [しゅりー、しゅりん] 生き生きする。元気である。【例】しゅりー わーりー ぶムべム (お元気でいらっしやいますか?)。しゅりー ぶムな (元気か。達者でいるか。目下にいう)。しゅりームな (元気か。達者か。目下にいう)。

しゅリリ [çuri] [動II類a型] [しゅりー、しゅりん] 目覚める。【例】しゅリった (目覚めた)。みだ しゅりん (まだ目覚めない)。ぐじんどう しゅリリ (5時に目覚める)。

しゅる [çuru] [助数] 土地の面積の単位。【例】やしゅる (一反)。やしゅるばる (一反畑)。

しゅる [çuru] [名] [植] [しゅるまい...] くろつぐ。【類】「まに」。

しゅる [çuru] [名] [しゅ<sup>1</sup>るまい...] くろつぐの繊維。縄の材料になる。腐れないから水タンクのろ過装置に使用した。

しゅるいリ [çurui] [動II類c型] [しゅるいー、しゅるいん] 揃える。【例】しゅるいー まーなげーん なし (揃えて同じ長さにしなさい)。

しゅるー [çuru:] [動I類c型] [しゅれー、しゅらーん] 集まる。【例】しゅるーどうくな (集

まる所)。しゆれーった (集まった)。しゆらーん (集まらない)。  
 しゆるしゆる [çuruçuru] [擬] [しゆるしゆるていー...] 清潔である状態。  
 しゆるばん [çuruban] [名] [しゆるばんまい...] そろばん。計算器具。  
 しゆるみかす [çurumikas] [動I類c型] [しゆるみかしー、しゆるみかしゃん] 清潔にする。【例】あれー しゆるみかし (洗って清潔にしない)。  
 しゆるみギ [çurumik] [動I類c型] [しゆるみきー、しゆるみかん] 清潔である。【例】しゆるみギギん (清潔な衣服)。  
 しゆるムぬ [çurumnu] [名] [しゆるム<sup>1</sup>ぬまい...] くるつぐの繊維で作った蓑。  
 しゆれーうがん [çure:ugan] [名] [しゆれーうが<sup>1</sup>んまい...] 首里御願。拝所。首里王府の役人が作ったとされる。  
 しゆれーがー [çure:ga:] [名] [しゆれーがー<sup>1</sup>んまい...] 首里井戸。首里の役人が掘らせたとされる。1906年。  
 しゆん [çun] [名] [しゆ<sup>1</sup>んまい...] 損。欠損。損害。【例】しゆんゆ しー ねーん (損をしてしまった)。  
 じゆん [dzun] [名] [じゆんまい...] 純。純粹。【例】じゆんぬ むぬ (純粹なもの)。くぬ しゃけー じゆんすい (この酒は水割りしていない)。  
 じゆん [dzun] [名] [じゆんまい...] 正常。正確。【例】ヴヴあがどう じゆん (君の言うことが正しい)。  
 じゆん [dzun] [名] [じゆ<sup>1</sup>んまい...] 順。順番。順序。【例】ういから じゆん (年上から順)。じゆんー ならび (順に並びなさい)。  
 しゆんかに [çunkani] [名] [しゆんか<sup>1</sup>にまい...] しよんがない。「たらましゆんかに」のこと。多良間民謡。情緒豊か。情愛に富み、別離の歌として名歌に数えられる。  
 しゆんかんまかり [çunkanmaka] [名] [しゆんかんまか<sup>1</sup>りまい...] 素焼きの大きい碗。  
 しゆんぎく [çungiku] [名] [植] [しゆんぎ<sup>1</sup>くまい...] 春菊。

じゆんしゃ [dzunça] [名] [じゆんしゃまい...] 捜査。警察官。  
 じゆんぬ むぬ [dzunnu munu] [名] [じゆんぬむ<sup>1</sup>ぬまい...] 純の物。本物。正しいこと。  
 じゆんばん [dzunban] [名] [じゆんばんまい...] 順番。順序。【例】じゆんばんゆ きみり (順番を決める)。  
 じゆんぷー [dzunpu:] [名] [じゆんぷーまい...] 順風。帆船の進む方向に吹く風のこと。追い風。物事がスムーズに運ぶこと。  
 しゆんぶん [çunbun] [名] [しゆんぶ<sup>1</sup>んまい...] 春分。二十四節気の一つ。春の彼岸の頃。3月21日頃。昼と夜の長さが等しくなる。  
 しょー [ço:] [助数] 反物を数える単位。  
 しょー [ço:] [名] [しょ<sup>1</sup>ーまい...] 性。相性。生れつきの性質。苦労性。心配性。貧乏性。  
 しょー [ço:] [名] [しょーまい...] 正。本物。【例】しょーむぬ (本物)。くれー しょーむぬ (これは本物だ)。【同】「しやう」。  
 しょー [ço:] [名] [しょーまい...。しょ<sup>1</sup>ーにーまい...] 竿。竹の棒。釣り竿。物干し竿。棒高跳の竿。【同】「しやう」。  
 じょー [dzo:] [助数] ~丈。長さの単位。1丈は10尺。  
 じょー [dzo:] [名] [じょ<sup>1</sup>ーまい...] 情。なさけ。真心。【例】じょーぬ ふつつー (良い仲にある。心が通じ合う)。  
 じょー [dzo:] [名] [じょ<sup>1</sup>ーまい...] 門。【例】ながじょー (門から住宅まで長いこと)。【同】「じやう」。【類】「じやうふつ」「じょーふつ」。  
 じょー [dzo:] [感] さあ。【例】じょー ぱずみ (さあはじめよう)。じょー ぱが かたみ (さあばくが担ごう)。  
 じょーいしゃ [dzoiça] [名] [じょーい<sup>1</sup>しゃまい...] 良い医者。診察のていねいな医者。名医。【同】「じやういしゃ」。  
 じょーヴヴあ [dzo:vva] [名] [じょーヴ<sup>1</sup>ヴあまい...] 良い子。かっこいい子ども。利口な子ども。気の利く子ども。【同】「じやうヴヴあ」。  
 じょーヴエーがり [dzo:ve:ga] [動I類c型] [じょーヴエーがりー、じょーヴエーがらん] 立派

に成長する。【同】「じゃうヴェーがリ」。

じょーうりー [dzo:uri:] [名]〔じょーうり<sup>1</sup>ーまい...〕 良い潤い。良い湿り。農業に適した湿り。【同】「じゃうりー」。

しょーか [ɕo:ka] [名]〔しょー<sup>1</sup>かまい...〕 唱歌。国民学校の音楽の教科。

しょーか [ɕo:ka] [擬]〔しょーかまい...〕 空っぽ。さっぱり。林であったが木がなくなったときに言う。さえぎるものがないこと。【例】きーゆギーぼどう しょーかていー なリ (木を切ると空っぽになる)。【同】「しやうか」。

しょーが [ɕo:ga] [名] [植]〔しょー<sup>1</sup>がまい...〕 しょうが。

しょーかしょーか [ɕo:kaɕo:ka] [擬]〔しょーかしょーかていー...〕 さえぎるものがない様。【同】「しやうかしやうか」。

しょーかす [ɕo:kasɿ] [動I類a型]〔しょーかしー、しょーかしゃん〕 縄をつけて引かせる。【例】ぬーまん うすやまう しょーかす (馬に鋤を引かせる)。【同】「しやうかす」。

しょーがつ [ɕo:gatsɿ] [名]〔しょー<sup>1</sup>がつまい...〕 正月。新年。年始。【同】「しやうがつ」。【類】「ミーどうす」。

しょーがつあすだ [ɕo:gatsɿasɿda] [名]〔しょー<sup>1</sup>がつあすだまい...〕 正月用の下駄。正月を迎えて全て新しいものへと心が弾む。【同】「しやうがつあすだ」。

しょーがつあすび [ɕo:gatsɿasɿbi] [名]〔しょー<sup>1</sup>がつあすびまい...〕 正月遊び。男は駒まわし、女はまりつき。【同】「しやうがつあすび」。

しょーがついりみ [ɕo:gatsɿirimi] [名]〔しょー<sup>1</sup>がついりみまい...〕 正月用の費用。準備すべきもの。各家庭の好みによって準備される。【同】「しやうがついりみ」。

しょーがつえーぐ [ɕo:gatsɿe:gu] [名]〔しょー<sup>1</sup>がつえーぐまい...〕 正月を祝う歌。【同】「しやうがつえーぐ」。

しょーがつえーむ [ɕo:gatsɿe:m] [名]〔しょー<sup>1</sup>がつえーむまい...〕 正月の暗い夜。旧正月は新月にあたるから暗い夜である。【同】「しやうがつえーむ」。

しょーがつぎん [ɕo:gatsɿgin] [名]〔しょー<sup>1</sup>がつぎんまい...〕 正月の晴れ着。【同】「しやうがつぎん」。

しょーがっこー [ɕo:gakko:] [名] 小学校。

しょーがっこーがー [ɕo:gakko:ga:] [名] [井戸]〔しょーがっこーがーまい...〕 小学校にある井戸。人工井戸。

しょーかみかす [ɕo:kamikasɿ] [動I類c型]〔しょーかみかしー、しょーかみかしゃん〕 空っぽにする。すがすがしくする。空き地にする。【同】「しやうかみギ」。

しょーかみギ [ɕo:kamikɿ] [動I類c型]〔しょーかみきー、しょーかみかん〕 空っぽになる。すがすがしくなる。空き地になってさえぎる物がなくなる。【同】「しやうかみかす」。

じょーからた [dzo:karata] [名]〔じょーから<sup>1</sup>たまい...〕 立派な体格。【例】うやんーだかりーぬ じょーからた (親に似て大きい体格)。【同】「じゃうからた」。

しょーかん [ɕo:kan] [名]〔しょーかんまい...〕 小寒。二十四節気の一つ。1月6日頃。

しょーかん [ɕo:kan] [名]〔しょーかんまい...〕 新年の清めの塩のこと。【同】「しやうかん」。【類】「くがにしやうかん」。「くがにしよーかん」。

しょーギ [ɕo:kɿ] [動I類a型]〔しょーきー、しょーかん〕 連れる。手を引く。引きずる。手綱を引く。【例】やらびぬ ていーう しょーギ (子どもの手を引く)。【同】「しやうギ」。

しょーき [ɕo:ki] [名]〔しょー<sup>1</sup>きまい...〕 箕。広く浅いざる。穀物を精げたり干したりする。【同】「しやうき」。【類】「むいじよーき」。

じょーギ [dzo:gɿ] [名]〔じょーギま<sup>1</sup>い...。じょーギにーまい...〕 定木。物差し。

じょーぎしゃーり [dzo:gɿɕa:] [形]〔じょーぎ<sup>1</sup>しゃまい...〕 容姿のきれいなこと。美人の相。【例】じょーぎムまり (美人の相)。【同】「じやうぎ、じやうぎしゃ」。

じょーぎピとう [dzo:gɿpitɿu] [名]〔じょーぎピ<sup>1</sup>とうまい...〕 人格や人間性に富んだ人。【同】「じやうぎピとう」。

しょーきぶに [ɕo:kibuni] [名]〔しょーきぶ<sup>1</sup>にま

い...) 肋骨。あばらぼね。【例】しょーきぶにぬたらーん(肋骨の数が足りない)。【同】「しやうきぶに」。【類】「やかたぶに」。

じょーきん [dzo:kin] [名]〔じょーき<sup>1</sup>んまい...〕 雑巾。汚れをふきとるのに用いられる布。

じょーぐ [dzo:gu] [名]〔じょーぐまい...〕 上戸。酒に強い人。【類】「しやきじょーぐ」。

じょーぐ [dzo:gu] [名]〔じょーぐまい...〕 漏斗(ろうと)。容器に液体を注ぎ入れる器具。

しょーじ [çø:dzi] [名]〔しょー<sup>1</sup>じまい...〕 障子。部屋の内と外を仕切る建具。白い和紙を張る。

しょーしき [çø:çiki] [名]〔しょーし<sup>1</sup>きまい...〕 葬式。死者をほうむるための儀式。葬儀。

しょーじき [çø:dziki] [形]〔しょーじ<sup>1</sup>きまい...〕 正直。うそいつわりのないこと。素直であること。

じょーしき [dzo:çiki] [名]〔じょーし<sup>1</sup>きまい...〕 常識。一般人がもっている共通した知識・分別。

しょーじきむぬ [çø:dzikimunu] [名]〔しょーじきむ<sup>1</sup>ぬまい...〕 正直者。正直な人。

じょーしゃ [dzo:çã] [名]〔じょー<sup>1</sup>しゃまい...〕 良さ。善さ。正しさ。よいこと。【同】「じやうしや」。

じょーしゃーり [dzo:çã:] [形]〔じょー<sup>1</sup>しゃまい...〕 良い。正しい。信頼できる。【例】じょーやらび(気だての良い子)。【同】「じやうしゃーり」。

じょーしゅ [dzo:çu] [名]〔じょー<sup>1</sup>しゅまい...〕 上酒。

しょーしゅじゅ [çø:çudzju] [名]〔植〕〔しょーしゅ<sup>1</sup>じゅまい...〕 想思樹。豆科の根粒植物。葉は緑肥にする。【類】「しょーしゅじゅぎー」。

しょーしゅじゅぎー [çø:çudzugi:] [名]〔しょーしゅ<sup>1</sup>じゅぎーまい...〕 想思樹。【類】「しょーしゅじゅ」。

しょーしよ [çø:çø] [名]〔しょー<sup>1</sup>しよまい...〕 小暑。二十四節気の一つ。7月8日頃。

しょーず [çø:dzi] [名]〔しょー<sup>1</sup>ずまい...〕 忌明け。死後の四十九日間。【同】「しやうず」。

しょーず [çø:dzi] [名]〔しょー<sup>1</sup>ずまい...〕 掃除。

ゴミや汚れを取り除くこと。【例】みなかぬしょーず(庭の掃除)。みつぬしょーず(道の掃除)。【同】「しやうず」。

じょーず [dzo:dzi] [名]〔じょー<sup>1</sup>ずまい...〕 上手。手際のよいこと。【例】ずーじょーず(字が上手)。ぱなすじょーず(話し上手)。【同】「じやうず」。

じょーずー [dzo:dzi:] [名]〔じょーず<sup>1</sup>ーまい...〕 良い畑。良い土地。作物がよく育つ畑。【同】「じやうずー」。

じょーすかま [dzo:sçkama] [名]〔じょーすか<sup>1</sup>まい...〕 良い仕事。仕事の出来のよいこと。行き届いた仕事。【同】「じやうすかま」。

しょーずがら [çø:dziçgara] [名]〔しょーずが<sup>1</sup>らまい...〕 掃除のときに出るごみ。芥。【同】「しやうずがら」。

しょーずぐる [çø:dziçguru] [名]〔しょーずぐ<sup>1</sup>らまい...〕 ゴミ。掃除のゴミ。ちりあくた。【同】「しやうずぐる」。

じょーずしゃーり [dzo:dziçã:] [形]〔じょーず<sup>1</sup>しゃまい...〕 上手。【同】「じやうずしゃーり」。

しょーずたばく [çø:dziçtabaku] [名]〔しょーずたば<sup>1</sup>くまい...〕 供え物としてのたばこ。【同】「しやうずたばく」。

しょーずばり [çø:dziçbari] [名]〔しょーずばりまい...〕 忌明け。喪が明けること。【同】「しやうずばり」。

しょーずまーり [çø:dziçma:] [名]〔しょーずまー<sup>1</sup>りまい...〕 掃除回り。掃除の検査。役場職員が検査した。【同】「しやうずまーり」。

しょーずんな [çø:dziçnna] [名]〔しょーずん<sup>1</sup>なまい...〕 しめ縄。お産のときに張る縄。【同】「しやうずんな」。

しょーせつ [çø:setsç] [名]〔しょーせ<sup>1</sup>つまい...〕 小雪。二十四節気の一つ。11月23日頃。

しょーだん [çø:dan] [名]〔しょーだ<sup>1</sup>んまい...〕 相談。【例】むぬしょーだんぬどう あり(大事な相談がある)。【同】「しやうだん」。

しょーつぎ [çø:tsçkç] [動I類]〔しょーつきー、しょーつかん〕〔しょー<sup>1</sup>つきー「ぶり」〕 思い知る。さとる。本心に戻る。反省する。【同】「しやう

つぎ)。  
 じょーていんぎ [dzo:tink] [名] [じょーていん<sup>1</sup>ぎまい...] よい天気。よい日和。【同】「じゃうてうんぎ」。【類】「かぎわ一つぎ」。  
 じょーとうー [dzo:tu:] [形] [じょーとうーまい...] 上等。良いこと。【同】「じゃうとうー」。  
 じょーどうけ [dzo:duke] [名] [じょーどう<sup>1</sup>けまい...] よい日和。晴天。雨降り続きの後に言う。畑仕事のできることを喜ぶ。【同】「じゃうどうけ」。  
 じょーとうす [dzo:tus] [名] [じょーとう<sup>1</sup>すまい...] よい年。豊年。台風の被害のない年。早魃のない年。【同】「じゃうとうす」。  
 じょーどうす [dzo:dus] [名] [じょーどう<sup>1</sup>すまい...] よい友だち。【例】じょーどうすう とうみる (よい友だちを探しなさい)。【同】「じゃうどうす」。  
 じょーどうり [dzo:duri] [名] [じょーどう<sup>1</sup>りまい...] よい風。木の枝も動かないほどの風。【同】「じゃうどうり」。【類】「ピたなぎ」。  
 じょーどうりがま [dzo:durigama] [名] [じょーどうりが<sup>1</sup>ままい...] とても良い風。とてもよい天気。【例】じょーどうりがまんや いだり<sup>1</sup>すー (風の日にはいざりに行く)。【同】「じゃうどうりがま」。  
 しょーなん [ɕo:nan] [名] [しょーな<sup>1</sup>んまい...] 遭難。生死にかかわる危険に遭うこと。【例】ぜんぼまるぬ しょーなん (善宝丸の遭難)。  
 じょーに [dzo:ni] [名] [料理] [じょー<sup>1</sup>にまい...] 雑煮。雑炊。  
 じょーにしゃい [dzo:niçai] [名] [じょーにしゃ<sup>1</sup>いまい...] 好青年。立派な青年。【同】「じゃうにしゃい」。  
 しょーにつ [ɕo:nits] [名] [しょーにつまい...] 正日。本番。八月おどりの仲筋・塩川の正日。【同】「じゃうにつ」。  
 しょーにん [ɕo:nin] [名] [しょーにんまい...] 正人。15歳から50歳までの男性。働き手。  
 じょーぬ かム [dzo:nu kam] [名] [じょー<sup>1</sup>ぬかムまい...] 門の神。【同】「じゃうぬかム」。  
 じょーぬー [dzo:nu:] [名] [じょーぬ<sup>1</sup>ーまい...]

上納。税金。租税。【例】じょーぬーゆ うしゃみり (納税する)。【同】「じゃうぬー」。  
 しょーばかり [ɕo:baka] [名] [しょーばかりまい...]。しょーばかりまい... 秤秤。計量物とおもりとつり合うように支点をおいてはかる計器。【同】「じゃうばかり」。  
 じょーふ [dzo:fu] [名] [じょー<sup>1</sup>ふまい...] 上布。等級の上の布。宮古上布。稲石という女性が初めて作り、首里王府に献上した。【同】「じゃうふ」。  
 じょーぶくる [dzo:bukuru] [名] [じょー<sup>1</sup>ぶくるまい...] 状袋。封筒。書状の袋 (手紙袋) の意。  
 じょーふつ [dzo:futs] [名] [じょー<sup>1</sup>ふつまい...] 門。【同】「じゃうふつ」。  
 じょーぶん [dzo:bun] [名] [じょーぶ<sup>1</sup>んまい...] 十分。それでよい。結構。【例】うすかしー じょーぶん (それだけで十分)。【同】「じゃうぶん」。  
 しょーみん [ɕo:min] [名] [しょーみ<sup>1</sup>んまい...] 素麺。そうめん。【例】しょーみんゆ かーしーわーり (そうめんを売って下さい)。【同】「じゃうみん」。  
 しょーみんずる [ɕo:mindzɹu] [名] [しょーみ<sup>1</sup>んずるまい...] 素麺汁。そうめん汁。焼き魚を「だし」にするのが一般的だった。【同】「じゃうみんずる」。  
 しょーみんばく [ɕo:minbaku] [名] [しょーみ<sup>1</sup>んばくまい...] 素麺箱。そうめん箱。そうめんの入った箱。製糖時には箱のまま買った。【同】「じゃうみんばく」。  
 しょーみんぶつとうる [ɕo:minbutturu] [名] [しょーみ<sup>1</sup>んぶつとうるまい...] 茹でた素麺を油で炒めたもの。【同】「じゃうみんぶつとうる」。【類】「ちゃんぶる」。  
 しょーむぬ [ɕo:munu] [名] [しょーむぬまい...] 正物。本物。本人。にせものでないもの。【例】くぬ ピとー しょーむぬ (この人は正に本人だ)。【同】「じゃうむぬ」。  
 しょーや ねーん [ɕo:ja ne:n] [連語] 常識がない。分別のつかないこと。またその人。忘れものをする。【例】しょーや ねーん むぬ<sup>1</sup>イー (わ

けの分からないことを言う)。【同】「しゃうやねーん」。

しょーゆー [ʃo:ju:] [名] [しょーゆーまい...] 醤油。【例】しょーゆーゆ かうが(醤油を買いに行く)。

しょしょ [ʃoʃo] [名] [しょ'しょまい...] 処暑。二十四節気の一つ。8月24日頃。

しょった [ʃotta] [擬] すべる様子。【例】しょったていー まるびー(しょったと転んだ)。【同】「しゅった」。

しょったしょった [ʃottaʃotta] [擬] [しょったしょったていー...] すべる様子。

しょったみかす [ʃottamikas] [動I類c型] [しょったみかしー、しょったみかしゃん] 滑りやすくする。

しょったみぎ [ʃottamik] [動I類c型] [しょったみぎー、しょったみかん] 滑りやすい。

しょつふあしょつふあ [ʃoffaʃoffa] [擬] 渚の潮の音。潮騒。波打ち際の波の音。

しら [ʃira] [名] [しらまい...] お産。出産。分娩。【類】「うしゃん」。

しらいな [ʃiraina] [名] [しらいなまい...] 子犬を産んだばかりの犬。子犬を連れている親犬。

しらいり [ʃirai] [動II類a型] [しらいー、しらいん] できる。可能である。【例】しらいどうす(できる)。ぬーまい しらいん(何もできない)。【類】「しらいり」。

しらうす [ʃiraus] [名] [しらうすまい...] 子牛を生んだばかりの牛。子牛を連れている親牛。

しらがしゃうみん [ʃiragaʃaumin] [名] [しら'がしゃうみんまい...] しらがそうめん。【同】「しらがしょーみん」。

しらがしょーみん [ʃiragaʃomin] [名] [しら'がしょーみんまい...] しらがそうめん。【同】「しらがしゃうみん」。

しらだむぬ [ʃiradamunu] [名] [しらだむぬまい...] お産のときの産婦を温める薪。〈やらうぎー〉の生の木を準備した。

しらどうり [ʃiradu] [名] [しらどうりまい...] ひなを守る親鶏。ひなを連れている鶏。子連れの鶏。人が近づくと威嚇した。

しらにか [ʃiranika] [名] [しらにかまい...] 子猫を生んだばかりの猫。子猫を連れている親猫。

しらにつ [ʃiranits] [名] [しらにつまい...] 産褥熱。産婦の熱。

しらぬーま [ʃiranu:ma] [名] [しらぬーまい...] 子馬を生んだばかりの馬。子馬を連れている親馬。

しらび [ʃirabi] [名] [しらびまい...] 調べ。【同】「すらび」。

しらびぐとう [ʃirabigutu] [名] 調べ事。調査。【同】「すらびぐとう」。

しらびり [ʃirabi] [動II類c型] [しらびー、しらびん] 調べる。【同】「すらびり」。

しらびんだ [ʃirapinda] [名] [しらびんだまい...] 子山羊を生んだばかりの山羊。子山羊を連れている親山羊。

しらみず [ʃiramidz] [名] [しらみずまい...] 初湯。うぶゆ。湯を沸かして、たらいに入れ、赤ちゃんの頭髪、顔、胴体を洗う。

しらやー [ʃiraja:] [名] [しらやーまい...] お産のある家。

しらやヴヴい [ʃirajavvi] [名] [しらやヴ'ヴいまい...] 赤ちゃんが生まれて間もなく死ぬこと。【例】しらやヴヴいやらび(生まれて間もなく亡くなった赤ちゃん)。

しらゆーじゅ [ʃiraju:dzu] [名] [しらゆーじゅまい...] お産の祝い。誕生祝い。【類】「しらよーイ」。

しらよーイ [ʃirajo:] [名] [しらよーいまい...] 誕生祝い。誕生4日目に行く。朝早く浜の〈なぐらし〉を採り、〈ムな〉(にら)を炊き、吸い物を造る。【類】「くからふ」。「しらゆーじゅ」。「ゆかしゃうざばり」。

しらいり [ʃirari] [動II類a型] [しらいー、しらいん] できる。可能である。【類】「しらいり」。

しらわー [ʃirava:] [名] [しらわーまい...] 子豚を生んだばかりの豚。子豚を連れている親豚。

しる [ʃiru] [名] [しるまい...] 城。首里城。中城城跡。今帰仁城跡。座喜味城跡。勝連城跡。【類】「ぐすく」。

しるムばい [ʃirumbai] [名] [しるムば'まい...]

城奪い。陣取り遊び。二組に分かれて陣地を作り、一人づつ陣地を離れ、その人をまえにかかり、陣地内に入ると負けとする。男の子の遊び。

しろませいあん [ciromaseian] [名] [しろ<sup>1</sup>ませいあんまい...] 城間正安。人頭税廃止運動の中心人物。那覇出身。

しわ [civa] [名] [しわまい...] 世話。世話すること。【例】しわすな（世話をするな。世話の必要ないこと）。やムピとうぬ しわう すー（病人の世話をする。病人を看護する）。

しわ [civa] [名] 心配。不安。【例】しわすな（心配するな）。しわうてーん しー ぶり（心配ばかりしている）。

しわ [civa] [名] [しわまい...] 皮ふのしわ。顔のしわ。布や衣服のしわは「びだ」。

しわ すーや あまり [civa sɔːja ama] [連語] 案ずるほどではない。

しわぐとう [civagutu] [名] [しわぐとうまい...] 心配事。不安になること。

しん [cin] [助数]～銭。お金を数える単位。【例】いっしん（一銭）。なんしん（何銭）。

しん [cin] [名] [しんまい...] 千。【例】しんいん（千円）。しんにん（千人）。しんから（千匹）。なんじんにん（何千人）。

しん [cin] [名] [しんまい...] 舟。船。【例】まーらんしん（やんばる船）。きかいしん（機械船）。ぼんぼんしん（焼玉エンジンの船）。

しん [cin] [名] [しんまい...] 芯。ランプやろうそくの火をつける部分。【例】とうーずム（灯心のランプの芯）。しんゆ つム（芽を摘む）。いんぴつぬ しん（鉛筆の芯）。

しん [cin] [名] [しんまい...] 線。高校生の制服の白線。運動会の白線。【例】かびん しんゆピギ（紙に線を引く）。

しん [cin] [名] [しんまい...] 栓・びんなどの口を密封するのに使用するもの。【例】ビンぬ しん（瓶の栓）。

じん [dzin] [名] [じんまい...] 銭。ぜに。金銭。【例】ぐまじん（小さい金）。かにじん（硬貨）。かびじん（紙幣）。【類】「じんかに」。

じん [dzin] [名] [じんまい...] 膳。料理を乗せる台。またその上の料理。【類】「うじん」。

じん [dzin] [名] [じんまい...] 油。おつゆ鍋に浮かぶ油。【例】ムまイズおー じんゆ ふつどうす（美味しい魚は玉のような油が浮く）。

しんか [cinka] [名] [しん<sup>1</sup>かまい...] 臣下。部下。人夫。仲間。【例】きうぬ しんかー いつたーり（今日の人夫は5人）。【同】「すんか」。

しんかい [cinkai] [名] [しんか<sup>1</sup>まい...] 心海。心海上人のこと。人名。和尚。1695年多良間への流刑。村史参照。

じんかに [dzinkani] [名] [じんか<sup>1</sup>まい...] 銭金。金銭。【例】じんかにう まうきり（お金を儲ける）。

じんかビ [dzinkabi] [名] [じんか<sup>1</sup>びまい...] 銭紙。

じんからす [dzinkarasɔ] [名] [じんから<sup>1</sup>すまい...] 金貸し。金を貸すこと。

じんかり [dzinkaɔ] [名] [じんか<sup>1</sup>りまい...] 借金。借金すること。【例】じんかりが まーり（借金するために歩きまわる）。

しんぎり [cingiri] [名] [しん<sup>1</sup>ぎりまい...] 千切り。大根の千切り。干し大根。

じんぐーる [dzinguru] [名] [じんぐー<sup>1</sup>るまい...] 独楽の一種。糸を巻きつけて投げてまわす。

じんぐーるまーす [dzingu:rumasɔ] [名] [じんぐー<sup>1</sup>るまーすまい...] 陣独楽回し。独楽回し遊び。【同】「ずんぐーるまーす」。

じんぐき [dzinguki] [名] [じんぐ<sup>1</sup>きまい...] 紙銭を焼く桶。

しんくつ [cinkutsɔ] [名] [しんく<sup>1</sup>つまい...] 洗骨。埋葬した後に遺骨を洗い清めること。

じんぐとう [dzingutu] [名] [じんぐとうまい...] じんぐ<sup>1</sup>とうまい... 金にまつわること。金銭問題。

じんぐり [dzinguri] [名] [じんぐ<sup>1</sup>りまい...] 金を細かくすること。金をくずす。両替。【例】いんとう どのぬ じんぐり（円とドルの両替）。

じんざい [dzindzai] [名] [じんざ<sup>1</sup>まい...] ぜんざい。お汁粉。

しんしー [cinçi:] [名] [しんし<sup>1</sup>ーまい...] 先生。

教師。学識の高い人に言う。

しんじくム [çindzikum] [動 I 類 c 型] [しんじくみー、しんじくまん] 信じ込む。【例】ばなすう しんじくム (話を信じ込む)。

しんしつしゃーり [çincitsçea:] [形] [しんしつ<sup>1</sup>しゃまい...] 親切。【例】しんしつな ピとう (親切な人)。しんしつん ならーす (親切に教える)。

しんじむぬ [çindzimunu] [名] [しんじむぬまい...] 信者。宗教を信仰する人。【例】かムしんじむぬ (神を崇める人)。

じんしゃんみん [dzinçanmin] [名] [じんしゃんみ<sup>1</sup>んまい...] 銭勘定。金の計算。

しんじゆ [çindzu] [名] [しん<sup>1</sup>じゆまい...] 先祖。その家の先祖の代々。

しんじゆがなす [çindzugasas] [名] [しんじゆがな<sup>1</sup>すまい...] 先祖様。先祖を敬う言葉。

しんじり [çindzi] [動 II 類 a 型] [しんじー、しんじん] 信じる。疑わない。

しんじり [çindzi] [動 II 類 a 型] [しんじー、しんじん] 煎じる。【例】やとうーふつう しんじー ぬみ (よもぎを煎じて飲みなさい)。

しんず [çindz] [名] [しんずまい...] 煎じ汁。

しんぞー [çindzo:] [名] [しんぞー<sup>1</sup>まい...] 心臓。幼児語としては「うどうるギがま」という。【類】「ばしゃなり」。

じんたうじー [dzintaudzi:] [名] [じんた<sup>1</sup>うじーまい...] 人頭税。1637 年から 1903 年の間、15 歳から 50 歳までに課せられた税。【同】「じんとーじー」。【類】「にんたうじー」。「にんとーじー」。

しんたく [çintaku] [名] [しんた<sup>1</sup>くまい...] 洗濯。【例】たらいんどう しんたくーばー すー (たらいに洗濯をばやる)。【類】「ギんあるー」。

しんたく [çintaku] [名] [しんた<sup>1</sup>くまい...] 選択。二つ以上のものから選ぶこと。【例】いでいうが しんたく しゅーずー (どれを選ぶか)。【類】「いらび」。

しんたくいた [çintakuita] [名] [しんた<sup>1</sup>くいたまい...] 洗濯板。表面にでこぼこのある板。

じんたば [dzintaba] [名] [じんた<sup>1</sup>ばまい...] 銭

束。札束。紙幣の束になったもの。

しんだん [çindan] [名] [植] [しんだ<sup>1</sup>んまい...] せんだん。

しんだんぎー [çindangi:] [名] [植] [しんだ<sup>1</sup>んぎーまい...] せんだんの木。

しんちよー [çintçeo:] [名] [し<sup>1</sup>んちよーまい...] 船長。船頭。【同】「しえんちよー」。【類】「しんどうー」。

しんてい [çinti] [名] [しん<sup>1</sup>ていまい...] 千年。千年間。

じんていまい [dzindima:] [名] [じんていまい<sup>1</sup>まい...] 現金による支払い。手間賃。

しんどうー [çindu:] [名] [しんどう<sup>1</sup>ーまい...] 船頭。

じんとうり [dzintu:] [名] [じんとう<sup>1</sup>りまい...] 陣取り。遊びの一つ。

じんとーじー [dzinto:dzi:] [名] [じんと<sup>1</sup>ーじーまい...] 人頭税。1637 年から 1903 年の間、15 歳から 50 歳までに課せられた税。【同】「じんたうじー」。【類】「にんたうじー」。「にんとーじー」。

じんぬ まーや あり [dzinnu ma:ja a:] [連語] 金の力。高い値段の物は価値がある。

じんぬぬつ [dzinnunuts:] [名] [じんぬぬ<sup>1</sup>つまい...] 銭の命。予算以上の買い物をするときの言い方。

しんびつ [çinbits:] [名] [しんび<sup>1</sup>つまい...] 餞別。旅に行く人に激励する意味の金銭をあげること。

じんふくる [dzinfukuru] [名] [じんふく<sup>1</sup>るまい...] 銭袋。財布。

じんふつ [dzinfuts:] [名] [じんふ<sup>1</sup>つまい...] 魚の煮汁に油が浮かぶこと。高級魚に見られる。

じんふつ [dzinfuts:] [名] [じんふ<sup>1</sup>つまい...] 銭打ち。紙銭を作ること。丸印のついた木を紙銭用紙に打つこと。

じんふて [dzinfute] [名] [じんふ<sup>1</sup>てまい...] 薬指のこと。赤ちゃんをあやすときのことば。「ういび」参照。

じんぶん [dzinbun] [名] [じんぶ<sup>1</sup>んまい...] 知恵。分別。機転。才気。弁えること。

じんまうき [dʒinmauki] [名] [じんまう<sup>1</sup>きまい...]  
金儲け。【例】やまとうんけー じんまうきが  
(日本本土へ出稼ぎ)。【同】「じんもーき」。

じんむつ [dʒinmutsʃ] [名] [じんむつまい...。じ  
んむ<sup>1</sup>つまい...] 金持。

しんむつだい [ʃinmutsʃdai] [名] [しんむつだ<sup>1</sup>い  
まい...。しんむ<sup>1</sup>つだいまい...] 進物台。葬式の  
ときに使われる、茶、塩、香などを乗せるため  
の台。

しんめーなび [ʃinme:nabi] [名] [しんめ<sup>1</sup>ーなび  
まい...] 四枚鍋。大型の鍋。

じんもーき [dʒinmo:ki] [名] [じんもー<sup>1</sup>きまい...]  
金儲け。【同】「じんまうき」。

## — す —

す [sj:] [終] ~ます。丁寧語の終助詞。文末に付き聞き手に対して丁寧を表わす。沖縄語の〈さい〉(~ます)、古語の〈しられ〉(申し上げる)などと同源であると思われる。宮古本島にも昭和初期頃まで使われていた記述がある。現在は全く使わない。母音が発音されず、無声音である。【例】すつうぶなかうばー しえいだいんしー ぶりすだいす (スツウブナカをば星団にしているわけです)。うーあみぬ つふいーどう やなみつん なりー ぶりなーす (大雨が降って悪い道になっていますなあ)。

すいよー [sjijo:] [名] [すいよ<sup>1</sup>ーまい...] 水曜日。

すー [sj:] [名] [すーまい...] 汁。【例】ムすー (味噌汁)。ゆでいずー (茹で汁)。すたムすー (こぼした汁)。

すー [sj:] [名] [すーまい...] 巢。【例】とうりぬすー (鶏の巢)。すーかギ (巢作り)。

すー [sj:] [名] [すーまい...] 酢。【例】すーしょーゆー (酢醤油)。

すー [sj:] [動変則 a 型] [しー、しゅん] する。やる。行う。【例】すーかちえーん (しながら。やりながら)。すーがつな (しながら。やりながら)。すーかちえーな (しながら。やりながら)。ぱるー すーかちえーな (農業をしながら)。すたり (やった。終わった)。あんしー すたり (そのようにやった)。

すー [sj:] [動 I 類 a 型] [っすいー、っさん] 知る。【例】うれーとうム っさんな (それさえ知らないのか)。かぬ しゅーや かながいぬ くとうーばー ムーな っすいーどう わーりーり (あのおじいさんは昔のことを全部しっぺいらっしやる)。

すー [sj:] [動 I 類 c 型] [っすいー、っさん] 磨る。擦る。【例】すーとうギ (皮を擦りむく)。

すー [sj:] [動 I 類 c 型] [っすいー、っさん] 刷る。印刷する。【例】ふんゆ すーぐまた (本を印刷するべきだ)。

ずー [dzj:] [接尾] ~するつもりだ。~するよ。~しよう。意志接辞。【例】いかずー (行くよ)。ゆイうから ふあーず (先に晩ご飯を食べよう)。

ずー [dzj:] [名] [ず<sup>1</sup>ーまい...] 字。文字。文章。【例】ずーゆム (本を読むこと)。ずーかギ (字を書くこと)。かなずー (かな文字)。

ずー [dzj:] [名] [ず<sup>1</sup>ーまい...] 地。土地。地面。地べた。畑。【例】ずーん びーる (地面に座りなさい)。

ずヴ [dzjv] [名] [ず<sup>1</sup>ヴまい...] 髓。中心の部分。大切な部分。脳髓。

ずヴ [dzjv] [名] [ず<sup>1</sup>ヴまい...] 木の芯。そてつの芯は食用になる。中心的な役割。【例】かれーピとうぬ ずヴ (彼は中心人物だ)。

すーあい [sj:ai] [名] [すーあいまい...] 酢和え。酢の和え物。

すーあな [sj:ana] [名] [すーあ<sup>1</sup>なまい...] 巢穴。蛸や魚の住み家。【類】「あでいく」。「あでいふ」。

すヴヴィ [sjvvi] [動 I 類 c 型] [すヴヴィー、すヴヴィあん] ちぢんでいる葉を広げる。【例】あだんぬ ぱーう すヴヴィ (あだんの葉のちぢみを広げる)。

すヴヴィ [sjvvi] [動 I 類 c 型] [すヴヴィー、すヴヴィあん] ながる。たたく。【例】あうだきしー すヴヴィ (青竹でなぐる)。

すヴヴィリ [sjvvi] [動 II 類 c 型] [すヴヴィー、すヴヴィいん] すっぱくなる。

ずーが [dzj:ga] [連語] ~しようか。【例】ぬーゆが しゅーずーが (何をやるうか)。

すーかギ [sj:kakj] [動 I 類 c 型] [すーかきー、すーかかん] 散らかる。【例】すーかギやー (整頓されていない家)。

ずーかギ [dzj:kakj] [名] [ず<sup>1</sup>ーかギまい...] 字書き。字を書くこと。勉強すること。学問をすること。

すーかきリ [sj:kaki] [動 II 類 c 型] [すーかきー、すーかきん] 仕事をやり始める。

ずーかけ [dzɯ:kake] [名] [ず<sup>1</sup>ーかけまい...] 字が得意な人。知識のある人。学問のすぐれた人。

ずーか<sup>1</sup>でい [dzɯ:kadi] [名] [ず<sup>1</sup>ーか<sup>1</sup>でいまい...] 畑を耕すこと。昔、鋤を使った。今はトラクター。

ずーか<sup>1</sup>でいあぐ [dzɯ:kadiagu] [名] [ず<sup>1</sup>ーか<sup>1</sup>でいあぐまい...] 畑を耕す人夫。

ずーか<sup>1</sup>でいぶい [dzɯ:kadibui] [名] [ず<sup>1</sup>ーか<sup>1</sup>でいぶいまい...] 畑を耕して賃金をもらうこと。

すーぐな [sɯ:guna] [名] [すーぐなまい...] やる人。手伝う人。仕事の分担。

すーぐまり [sɯ:gumari] [名] [すーぐま<sup>1</sup>りまい...] 巣籠り。鶏が抱卵すること。鶏の巣ごもりは約20日間で孵化する。

すーぐりしゃーり [sɯ:gurica:] [形] [すーぐり<sup>1</sup>しゃまい...] やりにくい。難しい。仕事の難しいこと。

すヴしゃーり [sɯvca:] [形] [すヴ<sup>1</sup>しゃまい...] すっぱい。【例】ムみぶしぬ すヴしゃぬ (梅干しのすっぱいこと)。

ずーしゃず [dzɯ:ɕadzɯ] [名] [ず<sup>1</sup>ーしゃずまい...] 地佐事。平民から地税を徴集する係。

すーじゅーしゃーり [sɯ:dzɯ:ɕa:] [形] [すーじゅーしゃまい...] 仕事に強い。仕事が達者である。

すーじゅーしゃーり [sɯ:dzɯ:ɕa:] [形] [すーじゅー<sup>1</sup>しゃまい...] 酢強い。(食べ物)は酢が濃い。

すーじょーゆー [sɯ:dzo:ju:] [名] [すーじょーゆ<sup>1</sup>ーまい...] 酢醤油。

すーす [sɯ:sɯ] [名] [すー<sup>1</sup>すまい...] しし。肉(赤身)のこと。

すーす [sɯ:sɯ] [名] [すー<sup>1</sup>すまい...] 獅子。【例】すーすぶーぎ (獅子舞)。

すーずき [sɯ:dzɯki] [名] [すーずきまい...。すーず<sup>1</sup>きまい...] 酢漬け。

ずーすぎ [dzɯ:sɯkɯ] [名] [ず<sup>1</sup>ーすぎまい...] 地鋤。畑を馬耕すること。今はトラクターで鋤く。

ずーすぎでいまー [dzɯ:sɯkɯdima:] [名] [ず<sup>1</sup>ーすぎでいまーまい...] 畑を耕した手間賃。

すーすたム [sɯ:sɯtam] [名] [すーすた<sup>1</sup>ムまい...] 汁を鍋からこぼすこと。いもを煮た汁をこぼすこと。

すーすぬ みー [sɯ:sɯnu mi:] [名] [すーす<sup>1</sup>ぬみー「まい...」獅子舞の演奏曲。

すーすぶーぎ [sɯ:sɯbu:gi] [名] [すー<sup>1</sup>すぶーぎまい...] 獅子舞いを誘導する芸人。

ずーだい [dzɯ:dai] [名] [ず<sup>1</sup>ーだいまい...] 地代金。畑を売買した代金。

すーたり [sɯ:ta:] [動I類c型] [すーたりー、すーたらん] 汁がしたたる。汁がしたたること。

すーたりむぬ [sɯ:tarimunu] [名] [すーたりむ<sup>1</sup>ぬまい...] 汁や水でぬれているもの。

すーつつふい [sɯ:tsɯffɯ] [名] [すーつつ<sup>1</sup>ふいまい...] 巣作り。鳥類の巣作り。

すーとうぎ [sɯ:tugɯ] [動I類c型] [すーとうぎー、すーとうがん] 擦過する。転んで皮ふを擦りむく。【類】「すーばぎ」。

すーなうす [sɯ:nausɯ] [動I類a型] [すーなうしー、すーなうしゃん] やり直す。【同】「すーのーす」。

すーなぎな [sɯ:nagina] [連語] 知っているくせに。【例】すーなぎなまい ならーしゃん (知っているくせに教えない)。

すーにり [sɯ:ni:] [動I類c型] [すーにりー、すーにらん] 擦り練る。練る込む。

ずーにん [dzɯ:nin] [名] [ず<sup>1</sup>ーにん...] 地方。三味線演奏をする人達。八月おどり参照。

ずーにんじゃー [dzɯ:nindza:] [名] [ず<sup>1</sup>ーにんじゃーまい...] 三線座。地謡座。地謡担当。

ずーぬ ぬす [dzɯ:nu nusɯ] [名] [ず<sup>1</sup>ーぬぬす「まい...」地主。土地の所有者。

ずーぬ みー [dzɯ:nu mi:] [名] [ず<sup>1</sup>ーぬみー「まい...」地中。地下。畑の中。【例】ずーぬ みーんかてーん (畑仕事ばかり)。

すーぬくす [sɯ:nukusɯ] [動I類c型] [すーぬくしー、すーぬくしゃん] やり残す。【例】ふしやとうりる すーぬくしー (草取りをやり残した)。

すーぬくり [sɯ:nukuri] [動I類] [すーぬくりー、すーぬくらん] [すーぬくりまい...] やり残る。やるのが残る。【例】ヴヴあが すーぬくり (君のやり残した)。かすかどう すーぬくりたり (あれだけやるのが残った)。

すーのーす [sɯ: no: sɯ] [動I類 a型] [すーのーしー、すーのーしゃん] やり直す。【同】「すーなうす」。

すーぱぎ [sɯ: pa: gi] [動I類 c型] [すーぱぎー、すーぱがん] 擦りむく。【例】まるびー すーぱぎー ねーん (転んで擦りむいてしまった)。【類】「すーとうぎ」。「すーぶぎ」。

ずーぱぎ [dzɯ: pa: gi] [名] [ずーぱ<sup>1</sup>ぎまい...] 畑がやせること。やせた畑になること。【例】かりが ぱろー ずーぱぎー ぶり (彼の畑はやせ地になっている)。【類】「ぱぎずー」。

ずーぱぎり [dzɯ: pa: gi] [動II類 c型] [ずーぱぎー、ずーぱぎん] 頭髪がはげる。

ずーぱぎり [dzɯ: pa: gi] [動II類 c型] [ずーぱぎー、ずーぱぎん] 畑がやせる。やせた畑になる。

すーふかす [sɯ: fu: ka: sɯ] [動I類 c型] [すーふかしー、すーふかしゃん] 知りつくす。何でも分かる。

すーぶぎ [sɯ: pu: gi] [動I類 c型] [すーぶぎー、すーぶがん] 擦りむく。皮ふを擦りむく。【類】「すーとうぎ」。「すーぱぎ」。

すーふしゃがり [sɯ: fu: ŋa: ga] [動I類 c型] [すーふしゃがりー、すーふしゃがらん] 隙間がない。散らかる。足の踏み場もない。

すーぶすしゃーり [sɯ: bu: sɯ: ʃa: ri] [形] [すーぶす<sup>1</sup>しゃまい...] したい。やりたい。やる意欲。【例】すーぶっしゃーり (やりたいなあ)。

すーぶすむぬ [sɯ: bu: sɯ: mu: nu] [名] [すーぶすむ<sup>1</sup>ぬまい...] やりたいもの。【例】すーぶすむのーぬーが (やりたいものは何か)。

すーふつ [sɯ: fu: tsɯ] [名] [すーふつまい...] 仕事をやりかけている所。

すーべー [sɯ: be:] [名] [すーべ<sup>1</sup>ーまい...] 擦る係。墨を擦る人。背中を擦る人。【例】すムゆ すーべー (墨を擦る係)。すりばちん すーべー (すり鉢に擦る係)。

すーべー [sɯ: be:] [名] [すーべーまい...] 仕事の係。仕事人。職人。【例】かたぎう すーべー (片付けの係)。

すーべーしゃーり [sɯ: be: ʃa: ri] [形] [すーべーしゃまい...] 仕事の早い人。手際よい人。【例】ぬー

まい すーべーピとう (何をさせても早い人)。  
すーまーす [sɯ: ma: sɯ] [動I類 a型] [すーまーしー、すーまーしゃん] やり残す。仕事をやり残す。

ずームなか [dzɯ: mu: na: ka] [名] [ずームな<sup>1</sup>かまい...] 土地のまん中。畑のまん中。【例】ずームなかぬ とうムばら (畑のまん中の岩)。

すヴむぬ [sɯ: vu: mu: nu] [名] [すヴむ<sup>1</sup>ぬまい...] すっぱいもの。すっぱい味のもの。【例】なまふぬーや すヴむぬどー (生のみかんはすっぱいよ)。

すーめー [sɯ: me:] [名] [すーめーまい...] やり勝負。何か競争すること。【例】えーぐー すーめー (歌の勝負)。

すーや ねーん [sɯ: ja ne: n] [連語] 潮がない。干潮のこと。瀬が干あがっていること。

すーやヴヴィ [sɯ: ja vu: vi] [動I類 a型] [すーやヴヴィー、すーやヴヴィあん] しそこなう。失敗する。仕損じる。

すーやすしゃーり [sɯ: ja: sɯ: ʃa: ri] [形] [すーやす<sup>1</sup>しゃまい...] やりやすい。簡単。【例】ぶどうりら すーやすどー (踊りは簡単だ)。

すーやすしゃーり [sɯ: ja: sɯ: ʃa: ri] [形] [すーやす<sup>1</sup>しゃまい...] 知りやすい。理解しやすい。【例】すーやすむんだい (分かりやすい問題)。

すーやな [sɯ: ja: na] [名] [すーや<sup>1</sup>なまい...] 雨の長降り。長雨にうんざりするときに言う。【例】まいにつ すーやな ありー すぐとー しらいん (雨ばかり降って仕事はできない)。

すーり [sɯ: ri] [名] [すー<sup>1</sup>りまい...] 排便を溜める所。また、その汚物のこと。水肥。下肥。人糞尿。

すーりかたみ [sɯ: ri: ka: ta: mi] [名] [すー<sup>1</sup>りかたまい...] 水肥 (下肥) を担ぐこと。

すーりたぐ [sɯ: ri: ta: gu] [名] [すー<sup>1</sup>りたぐまい...] 水肥 (下肥) を入れる桶。

すーりだみ [sɯ: ri: da: mi] [名] [すー<sup>1</sup>りだみまい...] 便所の汚物を溜める所。

すーんなす [sɯ: nu: na: sɯ] [動I類 c型] [すーんなしー、すーんなしゃん] こなごなにする。だめになす。無駄なことをやってしまう。【例】だう

ゆ すーん なしー (道具を不用物にしてしまった)。

すかいです [sjkais] [動I類 a型] [すかいしー、すかいしゃん] 仕返す。やり直す。報復する。【例】すかいですな (仕返しをするな)。

すかいつとう [sjkaittu] [副] たっぶり。満腹した時に言う。【例】すかいつとう 心えーった (満足するまで食べた)。

すかいり [sjkai] [動II類 a型] [すかいー、すかいん] くくる。しばる。かける。【例】あでいまーう すかいり (たすきをくくる)。にむつう すかいり (荷物をくくる)。

すかいり [sjkai] [動II類 a型] [すかいー、すかいん] 押し返される。勝負に負けていく。【例】くーるまーすん すかいり (騎回し遊びに押し返される)。【同】「すかりり」。

すかきり [sjkaki] [動II類 a型] [すかきー、すかきん] けんかをしかける。ふっかける。【例】ぴんだー すかきった (山羊はけんかをふっかけた)。

すかきり [sjkaki] [動II類 a型] [すかきー、すかきん] 仕掛ける。仕事を始める。【例】じょー すかきる (さあ、仕事を始めよう)。

すかしやいり [sjkaçai] [動II類 c型] [すかしやいー、すかしやいん] 騙される。【例】すかしやいー ねーん (だまされてしまった)。【同】「すかしやりり」。

すかしやりり [sjkaçari] [動II類 c型] [すかしやりー、すかしやりん] 騙される。【同】「すかしやいり」。

すかす [sjkas] [動I類 c型] [すかしー、すかしやん] だます。【例】すかし (だましなさい)。すかした (だました)。

すかす [sjkas] [動I類 a型] [すかしー、すかしやん] 畑を鋤かす。耕させる。耕してもらう。【例】すかし (鋤かしなさい)。すかした (鋤かせた)。

すかす [sjkas] [動I類 a型] [すかしー、すかしやん] 髪をすかす。梳かす。梳かしてもらう。【例】すかし (梳かしなさい)。すかした (梳かせた)。

すかた [sjkata] [名] [すか<sup>1</sup>たまい...] 仕方。やり方。方法。【例】すかたぬ ばりら (やりかたが悪い)。

すがた [sjgata] [名] [すが<sup>1</sup>たまい...] 姿。容姿。性格。人となり。

すかたー ならん [sjkata: naran] [連語] 仕方ない。しょうがない。【例】ぬーが しらいり、すかたー ならん (何ができようか、仕方ない)。【類】「すかたーねーん」。

すかたー ねーん [sjkata: nem] [連語] 仕方ない。しょうがない。【類】「すかたーならん」。

すかたしゃーり [sjkataçari] [形] [すかた<sup>1</sup>しゃまい...] 不潔。【例】すかたむぬ (不潔者)。

すかたむぬ [sjkatamunu] [名] [すか<sup>1</sup>たむぬまい...] 不潔者。【類】「なばだりむぬ」。「ふきつむぬ」。

すかたり [sjkata] [動I類 c型] [すかたりー、すかたらん] ただれる。皮ふがただれる。皮ふがたるむ。

すかたり [sjkata] [動I類 c型] [すかたりー、すかたらん] だらしない。洋服がだらしない。【例】すかたりふくー きー ぶり (よれよれの服を着ている)。

すかま [sjkama] [名] [すか<sup>1</sup>ままい...] 仕事。【例】すかまー ねーん (仕事がない)。

すかま [sjkama] [名] [すかま<sup>1</sup>んまい...] 昼どき。真昼。【例】きうぬ すかま (今日の昼時)。

すかまぎん [sjkamagin] [名] [すか<sup>1</sup>まぎんまい...] 仕事着。

すかまだーり [sjkamada:ri] [名] [すかまだー<sup>1</sup>りまい...] わずらわしいこと。手間どること。貴重な時間を費やすこと。【類】「すぐとうだーり」。「すくつだーり」。

すかまだーりり [sjkamada:ri] [動II類 c型] [すかまだーりー、すかまだーりん] わずらわしい。手間どる。貴重な時間を費やす。【類】「すぐとうだーりり」。「すくつだーりり」。

すかり [sjka] [動I類 c型] [すかりー、すからん] 縄でしばる。縄をかける。【例】にーゆ すかり (荷に縄をかける)。

すがり [sjga] [動I類 c型] [すがりー、すがら

ん) くってかかる。【例】すがりー えー ぶり  
(くってかかってけんかしている)。

すかりり [sjkari] [動 II 類 a 型] [すかりー、すかりん] 押し返される。勝負に負けていく。【同】「すかいり」。

すぎ [sjk] [動 I 類 c 型] [すきー、すかん] 鋤く。馬耕する。畑を耕す。開墾する。【例】ずーすぎ (畑を耕す)。

すぎ [sjk] [動 I 類 c 型] [すきー、すかん] 押し返す。陣盗り遊びで相手を押し返すこと。【例】すぎぐる (押し返す独楽まわし遊び)。

すぎ [sjk] [動 I 類 c 型] [すきー、すかん] 網で魚を掬い取る。または、手で水を掬い取る。【例】しゅふすぎ (あいごの稚魚を獲る)。

すぎ [sjk] [動 I 類 c 型] [すきー、すかん] 敷く。【例】むっすうー すぎ (むしろを敷く)。ぐざう すぎぐまた (ごぎを敷くべきだ)。

すぎ [sjk] [動 I 類 c 型] [すきー、すかん] 梳く。【例】あかう ふすにー すぎ (髪を櫛で梳く)。

すぎ [sjk] [動 I 類 c 型] [すきー、すかん] 好く。好む。好き。【例】かるー すぎば すムむぬー (彼を好きになればよいものを)。

すぎ [sjg] [動 I 類 c 型] [すぎー、すがん] かじる。ねずみが木をかじる。

すぎ [sjgi] [名] [植] [すぎまい...] すげ。草本。杉ではない。

すぎ [sjgi] [名] 杉。杉板。材木の杉。

すぎー [sjk:] [名] [魚] [すぎーまい...] なまこ。なまこの総称。

すぎー [sjk:] [名] [すぎーまい...] 敷居。

すぎー [sjk:] [名] [すぎーまい...] 敷居。部屋を仕切る戸の通りをよくする溝のある横木のこと。【同】「しきー」。

すぎうくす [sjkukus] [動 I 類 c 型] [すぎうくしー、すぎうくしゃん] 鋤きおこす。【例】とらくたーしー すぎ うくす (トラクターで鋤きおこす)。

すぎぐる [sjkguru:] [名] [すぎぐるまい...] 陣取り遊びの独楽まわし。独楽回しの競争。【類】「くーるまーす」。

すぎくるす [sjkukurus] [動 I 類 a 型] [すぎくる

しー、すぎくるしゃん] ひき殺す。

すぎた [sjkta] [名] [すぎ<sup>1</sup>たまい...] 大人用のおしめ。

すぎた [sjkta] [名] [すぎ<sup>1</sup>たまい...] 鍋の下に敷く丸く作ったもの。

すきなふ [sjkinafu] [名] [すきなふまい...] 手伝い。【例】きうや ギだりぬ すきなふ すが (今日は祭りの手伝いをしに行く)。

すぎなみり [sjknami] [動 II 類 a 型] [すぎなみー、すぎなみん] 敷き並べる。運動場にシートを敷き並べる。

すぎに [sjkni] [名] [すぎにまい...] 敷き寝。畜舎に敷く乾草。

すぎふに [sjkfuni] [名] [すぎふにまい...] くばの葉を船に見立てて乗り、もう一人が引っぱる遊び。

すきぶん [sjkibun] [名] [すきぶ<sup>1</sup>んまい...] 供え盆。仏壇に供える盆。供えるための料理。

すぎまー [sjkma:] [名] [すぎまーまい...] 畑の耕し残った部分。耕し残した所。

すぎまー [sjkma:] [名] [すぎまーまい...] 敷くための余地。敷く間のこと。

すぎむぬ [sjkmu:] [名] [すぎむぬまい...] すぎむ<sup>1</sup>ぬまい... 敷き物。ゴザ。むしろ。シート。昔は広い木の葉。

すぎめー [sjkme:] [名] [すぎめーまい...] 陣地の取り勝負。押しあい。【類】「すぎぐる」。

すきり [sjki] [動 I 類 c 型] [すきりー、すきらん] 仕切る。区切る。【例】じゃーう すきり (部屋を仕切る)。【類】「しきり」。

すきり [sjki] [動 II 類 a 型] [すきー、すきん] 供える。仏壇に供えものをする。【例】あしやぶんゆ すきり (朝の料理を供える)。【類】「ヴえーしり」。

すきり [sjki] [動 II 類 a 型] [すきー、すきん] 年上の人に贈る。年上の人に差し上げる。

すぎり [sjgi] [動 II 類 a 型] [すぎー、すぎん] すげる。取りつける。【例】でいーう すぎり (柄をつける)。

すぎり [sjgi] [動 II 類 c 型] [すぎー、すぎん] 過ぎる。【例】すぎー ねーん (過ぎてしまった)。

ずぎり [dzɟi] [名] [ずぎりまい...] 竹の筒。茶入れ。茶筒。

ずきん [dzɟin] [名] [ずきんまい...] 頭巾。頭の被り物。

すぐ [sɟu] [副] 直ぐ。直ちに。【例】 すぐ くーずー (直ぐに来る)。【類】「あかなま」。

ずぐる [dzɟuru] [名] [ずぐるまい...] 木のコマを地面に回して遊ぶ。

すぐす [sɟusɟ] [動I類c型] [すぐしー、すぐしゃん] 過ごす。【例】 たらまん すぐす (多良間に過ごす)。

すくつ [sɟkutsɟ] [名] [すくつまい...] 仕事。【類】「すかま」。「すぐとう」。

すくつしゃーり [sɟkutsɟɕa:] [形] [すくつしゃまい...] 粗末。粗末なこと。粗末にする。物を大事にしない。【例】 ふーむぬー すくつ すー (食べ物粗末にする)。

すくつだーり [sɟkutsɟda:ri] [名] [すくつだーりまい...] わずらわしいこと。手間どること。貴重な時間を費やすこと。【類】「すかまだーり」。「すぐとうだーり」。

すくつだーり [sɟkutsɟda:ri] [動II類c型] [すくつだーりー、すくつだーりん] わずらわしい。手間どる。貴重な時間を費やす。【類】「すかまだーり」。「すぐとうだーり」。

すぐとう [sɟutu] [名] [すぐとうまい...] 仕事。【例】 すぐとうーばー すぐとうぬどう ならーす (仕事は仕事が教える)。【類】「すかま」。「すくつ」。

すぐとうぎん [sɟutugin] [名] [すぐとうぎんまい...] 仕事着。野良着。

すぐとうだーり [sɟutuda:ri] [名] [すぐとうだーりまい...] わずらわしいこと。手間どること。貴重な時間を費やすこと。【類】「すかまだーり」。「すくつだーり」。

すぐとうだーり [sɟutuda:ri] [動II類c型] [すぐとうだーりー、すぐとうだーりん] わずらわしい。手間どる。貴重な時間を費やす。【類】「すかまだーり」。「すくつだーり」。

すぐなま [sɟunama] [副] 直ちに今。【例】 すぐなま ぱりー くー (直ちに走って来なさい)。

【類】「あかなま」。

すぐまり [sɟguma] [動I類c型] [すぐまりー、すぐまらん] 巢籠る。鶏の抱卵。【同】「すぐむり」。

すくム [sɟkum] [名] [すくムまい...] 予行。八月おどりの予行練習のこと。試行。

すくム [sɟkum] [動I類c型] [すくみー、すくまん] 仕込む。技術を仕込む。味噌を仕込む。【例】 ぶどうりる しくム (踊りを仕込む)。

すぐむり [sɟgumu] [動I類c型] [すぐむりー、すぐむらん] 巢籠る。鶏の抱卵。【同】「すぐまり」。

すぐり [sɟguri] [名] [すぐりまい...] 優れること。優秀であること。【例】 すぐりっふあ (優秀な子)。

すぐりしゃに [sɟguriɕani] [名] [すぐりしゃにまい...] 優れ血統。優れ系統。【類】「すぐりたに」。「すぐりしゃにピギ」。「すぐりピギ」。「すぐりピギたに」。

すぐりしゃにピギ [sɟguriɕanipɟkɟ] [名] [すぐりしゃにピギまい...] 優れ血統。優れ系統。【類】「すぐりたに」。「すぐりたにピギ」。「すぐりしゃに」。「すぐりピギ」。

すぐりたに [sɟguritani] [名] [すぐりたにまい...] すぐりたにまい... 優れ血統。優れ系統。【例】 かぬ やーや すぐりたに (あの家はすぐれ系統だ)。【類】「すぐりしゃに」。「すぐりしゃにピギ」。「すぐりピギ」。「すぐりピギたに」。

すぐりたにピギ [sɟguritanipɟkɟ] [名] [すぐりたにピギまい...] 優れ血統。優れ系統。【類】「すぐりたに」。「すぐりしゃに」。「すぐりしゃにピギ」。「すぐりピギ」。

すぐりつーしゃに [sɟguritsɟɕani] [名] [すぐりつーしゃにまい...] すぐりつーしゃにまい... すぐりつーしゃにまい... 優れ血統。優れ系統。

すぐりつーたに [sɟguritsɟtani] [名] [すぐりつーたにまい...] 優れ血統。優れ系統。

すぐりピギ [sɟguripɟkɟ] [名] [すぐりピギまい...] 優れ血統。優れ系統。【類】「すぐりたに」。「すぐりしゃに」。「すぐりしゃにピギ」。「すぐりピギ」。

ギたに」。

すぐりピとう [sjguripitu] [名] [すぐりピとうまい...。すぐりピ<sup>1</sup>とうまい...] 優れ者。優れた人。優秀な人。【例】たらまんや すぐりピとうぬ たびりー<sup>1</sup> (多良間にはすぐれ者が多い)。【類】「すぐりむぬ」。

すぐりむぬ [sjgurimunu] [名][すぐりむぬまい...。すぐりむ<sup>1</sup>ぬまい...] 優れ者。優秀な者。傑物。【類】「すぐりピとう」。

すぐり<sup>1</sup> [sjguri] [動II類c型] [すぐりー、すぐりん] 優れる。優秀である。秀でる。

すけーす [sjke:sj] [動I類a型] [すけーしー、すけーしゃん] 散らかす。散らす。車の荷を落として散らかす。

すけー<sup>1</sup> [sjke:] [動I類a型] [すけーりー、すけーらん] 散らかる。【例】かでいん ふかいーすけーり<sup>1</sup> (風に吹かれて散らかる)。

すけー<sup>1</sup> [sjke:] [動I類a型] [すけーりー、すけーらん] 騒ぐ。物騒ぎする。【例】つすうイウ しー すけーりー<sup>1</sup> (だだをこねて騒いでいる)。

すこー<sup>1</sup> [sjko:] [動I類a型] [すこーりー、すこーらん] 準備する。用意する。支度する。【例】ヴえーしむぬー すこー<sup>1</sup> (供えものを準備する)。

ずさん [dzjsan] [名] [ずさんまい...] 持参。【例】びんとーずさん (弁当持参)。

すじ [sjdzi] [名] [すじまい...] 条 (すじ)。【例】すじまギ (条を作って種子を播く)。【同】「すず」。

すじまギ [sjdzimakj] [名] [すじま<sup>1</sup>ギまい...] 播種の方法。条を作って播くこと。条播き。【同】「すずまギ」。

すじゅいり [sjdzui] [名] [すじゅい<sup>1</sup>りまい...] 四升入れのかめ。

すじゅーくにつ [sjdzu:kunitsj] [名] [すじゅーくにつまい...] 四十九日。死後七日 (なんか) の七回目の法事。【同】「しじゅーくにつ」。

すす [sjsj] [名] [すすまい...] 煤。鍋の底の黒いよごれ。煙によって家の中にできる黒いよごれ。

すず [sjdzj] [助数] ~筋。繊維の数え方。【例】ぶ

ーゆ ふたすず ピに<sup>1</sup> (麻糸を2本撚る)。

すず [sjdzj] [助数] ~本。本数の数え方。【例】すっじゃぬ ふたすず (さとうきびの二本)。ムーぬ ふたすず (いもづる2本)。

すず [sjdzj] [名] [すずまい...] 粒。米粒。粟粒。穀物の種子を数えるときに言う。【例】あみすず (雨粒。小雨)。

すず [sjdzj] [名] [す<sup>1</sup>ずまい...] 筋。条。【例】すずまギ (条を作って種子を播く)。【同】「すじ」。

すず [sjdzj] [名] [す<sup>1</sup>ずまい...] 茎。つる。【例】ぶーギすず (さとうきびの茎)。ムーぎーぬ すず (いもづる)。

すず [sjdzj] [名] [魚] [すずまい...] だつ。

すず [sjdzj] [名] [すずまい...] 鈴。

すずかしゃー<sup>1</sup> [sjdzjka:sa:] [形] [すずか<sup>1</sup>しゃまい...] 静か。静かな状態。

すずかす [sjdzjkasj] [動I類a型] [すずかしー、すずかしゃん] 沈める。【類】「すずみ<sup>1</sup>」。

すずかむぬ [sjdzjkamunu] [名] [すずかむ<sup>1</sup>ぬまい...] 静かなこと。子供たちが静かにしている光景。【例】ゆーどうりんや すずかむぬ (夕風には静かだ)。

すずギ [sjdzjkj] [動I類c型] [すずきー、すずかん] 退く。

すずギ [sjdzjkj] [動I類c型] [すずきー、すずかん] 沈む。隠れる。【例】すずきー みーらいん (沈んで見えない)。【類】「すずム」。

すずギ [dzjdzjkj] [動I類c型] [すずきー、すずかん] 頭つく。頭をつきあわせる。赤ちゃんと母のスキンシップ。

すずギすい [sjdzjkjsi] [名] [すずギ<sup>1</sup>すまい...] 雨の止むこと。片時の晴れ間。雨あがり。

すずギすい<sup>1</sup> [sjdzjkjsi] [動II類c型] [すずギすいー、すずギすいん] 雨が止む。片時晴れる。雨があがる。

すすだ<sup>1</sup> [sjsjda] [動II類c型] [すすだりー、すすだりん] 鍋のすすで汚れる。鍋のすすで手や顔や衣服が汚れる。【同】「すすだり<sup>1</sup>」。

すすだり [sjsjdari] [名] [すすだりまい...] 鍋のすすで汚れること。鍋のすすで手や顔や衣服が汚れること。

すすだりり [sʲɪd̪ari:] [動 II 類 c 型] [すすだりー、すすだりん] 鍋のすすで汚れる。鍋のすすで手や顔や衣服が汚れる。【同】「すすだり」。

すずにー [sʲɪdz̪ni:] [名] [すずに<sup>1</sup>ーまい...] 芋をそのままの状態ですること。

すずにームー [sʲɪdz̪ni:mm] [名] [すずに<sup>1</sup>ームーまい...] 炊いた芋。

すずまぎ [sʲɪdz̪mak̪] [名] [すずま<sup>1</sup>ぎまい...] 播種の方法。条を作って播くこと。条播き。【同】「すじまぎ」。

すすます [sʲɪs̪mas̪] [動 I 類 c 型] [すすましー、すすましゃん] 進みます。進める。【例】すぐとうーすすます (仕事を進める)。まいんけーすすます (前に進める)。

すずます [sʲɪdz̪mas̪] [動 I 類 a 型] [すずましー、すずましゃん] 沈ませる。沈める。

すずまじ [sʲɪdz̪ma:] [動 I 類 c 型] [すずまりー、すずまらん] 静まる。静かになる。止む。【例】かでーすずまりった (風は止んだ)。かムなりら すずまりー (雷は止んだ)。

すすみり [sʲɪs̪mi:] [動 II 類 c 型] [すすみー、すすみん] 勧める。促す。【例】むぬふーゆすすみり (食事を勧める)。

すずみり [sʲɪdz̪mi:] [動 II 類 c 型] [すずみー、すずみん] しまっておく。大切に片づけること。【例】ふゆむぬーすずみり (冬物を片付ける)。

すずみり [sʲɪdz̪mi:] [動 II 類 a 型] [すずみー、すずみん] 沈める。【例】いしうすずみーうみたていり (石を沈めて埋めさせる)。【類】「すずかす」。

すずム [sʲɪdz̪m] [動 I 類 a 型] [すずみー、すずまん] 沈む。【例】すずまん (沈まない)。すずみーとうび (沈んでいく)。【類】「すずぎ」。

すずむぬ [sʲɪdz̪munu] [名] [すずむぬまい...] 粒物。穀類のこと。【例】すずむぬぬかみ (穀類を入れるかめ)。

すずり [sʲɪdz̪] [名] [すず<sup>1</sup>りまい...] 硯。墨を擦る道具。

すずりぶた [sʲɪdz̪ributa] [名] [すずりぶ<sup>1</sup>たまい...] かまばこ・豆腐・昆布・てんぷらの四種類をスツウプナカの当日神に供える料理。

すた [sʲɪta] [名] [すたまい...] 下。下方。下位。【類】「すたーら」。

すた [sʲɪta] [名] [すたまい...] 舌。

すたあぎ [sʲɪtaagi] [名] [すたあぎまい...] 下あご。

すだーすだ [sʲɪda:sʲɪda] [重複] とても涼しいこと。

すたーでい [sʲɪta:di] [名] [すたーでいまい...] 風下。下方。【例】かでいすたーでいんけーふにうばらすな (風下へ向けて船を走らせるな)。

すたーら [sʲɪta:ra] [名] [すたーらまい...] 下の方。下層。【例】すたーらんうつき (下に置きなさい)。すたーらうみーあき (下を見て歩きなさい)。【類】「すた」。

すたーらぬやー [sʲɪta:ranu ja:] [名] [すたーらぬや<sup>1</sup>ーまい...] 低い所の家。隣の家が低い土地にあること。

すたーらばた [sʲɪta:rabata] [名] [すたーらばたまい...] 下腹部。【例】すたーらばたぬやム (下腹部が痛い)。

すたい [sʲɪtai] [感] ほめことば。できたぞ。すばらしいぞ。【例】すたい、ばーれ (でかしたぞ、よい子だ)。【同】「したい」。

すだい [sʲɪdai] [名] [すだいまい...] 次第。【例】すだいにうぼーぶなり (次第に大きくなる)。

すだいに [sʲɪdai:n] [連語] 次第に。

すたうい [sʲɪtau:i] [名] [すたういまい...] 下上。下も上も。平等。【例】すたういやねーんどー (人の世には下も上もないよ)。

すたうき [sʲɪtauki] [名] [すたうきまい...] 下請け。下請け仕事。下請け工事。

すたがう [sʲɪtagau] [動 I 類 a 型] [すたけげー、すたがーん] 従う。【例】きみりくとうんやすたがうどうす (決めたことには従う)。【同】「すたぐー」「すたごー」。

すだかでい [sʲɪdakadi] [名] [すだかでいまい...] 涼風。【例】きーぬすたぬすだすかでい (木の下での涼しい風)。

すたぎ [sʲɪtagi] [名] [すたぎまい...] 下着。肌着。【例】すたぎうあるー (下着を洗う)。

すたぐー [sʲɪtagu:] [動 I 類 a 型] [すたげー、すたがーん] 従う。

すたぐる [sʏtagukuru] [名] [すたぐるまい...]  
下心。ひそかなもくろみ。野心。【例】かれー  
すたぐるー むていーげ (彼は下心がある)。  
すたじえーふ [sʏtadzɛ:fu] [名] [すたじえーふま  
い...] 大工の見習い。  
すたしゃ [sʏtaʃa] [名] [すた<sup>1</sup>しゃまい...] 夫の  
父。義父。呼称としては言わない。「すとうま」  
参照。【類】「すたしゃうや」。  
すだしゃ [sʏdaʃa] [名] [すだ<sup>1</sup>しゃまい...] 涼し  
さ。  
すたしゃーげ [sʏtaʃa:ɰ] [形] [すたしゃまい...] や  
りたい。したい。希望を表わす。  
すだしゃーげ [sʏdaʃa:ɰ] [形] [すだ<sup>1</sup>しゃまい...]  
涼しい。【例】すだしゃぬ (とても涼しいこと)。  
きーぬ すたー すだーすむぬ (木の下は涼し  
い)。  
すたしゃうや [sʏtaʃauja] [名] [すた<sup>1</sup>しゃうやま  
い...] 夫の父。義父。【類】「すたしゃ」。  
すたしらび [sʏtaʃirabi] [名] [すたしらびまい...]  
下調べ。前もって調査すること。  
すだす [sʏdasʏ] [動I類c型] [すだしー、すだし  
ゃん] 巢出す。ひなをかえす。孵化させる。【例】  
くがう すだす (卵を孵化させる)。  
すだす [sʏdasʏ] [動I類c型] [すだしー、すだし  
ゃん] 脱皮させる。  
すだす [sʏdasʏ] [動I類c型] [すだしー、すだし  
ゃん] 火を消す。電灯を消す。【例】とうーげる  
すだし (ランプを消しなさい)。  
すたづかい [sʏtadzʏkai] [名] [すたづかいまい...  
すたづか<sup>1</sup>まい...] 下使い。下働き。雑事に働  
く人。【例】すたづかいからどう うぶしゃ な  
げ (下働きから成長する)。  
すたづぎ [sʏtadzʏkʏ] [名] [すたづぎまい...。すた  
づ<sup>1</sup>ぎまい...] 下敷。字を書くのに紙の下に敷く  
もの。ざるの下に敷くもの。  
すたすた [sʏtasʏta] [擬] [すたすたていー...] 早  
いこと。仕事の早いことに言う。  
すたすば [sʏtasʏba] [名] [すたす<sup>1</sup>ばまい...。すた  
すばまい...] 下くちびる。【例】すたすばう か  
みー 「ヴ」ゆ イー (下くちびるを噛んで「ヴ」  
の発音をする)。

すたづム [sʏtadzʏm] [名] [すたづムまい...] 下積  
み。能力が認められずに下働きすること。  
すたたか [sʏtataka] [副] したたか。ひどく。強  
く。厳しく。激しく。【例】すたたか イズあい  
ー (ひどく叱られた)。  
すただん [sʏtadan] [名] [すただんまい...] 下司。  
「あだんやぬあず」の一節にある。【例】すただ  
んぬ ばう (下司の女僕)。  
すたっば [sʏtappa] [名] [すたっ<sup>1</sup>ばまい...] 下っ  
端。身分や地位の低いこと。【例】すたっばむ  
ぬ (下働きの)。  
すたていー [sʏtati:] [副] 急いで。【例】すたてい  
ー しゆだ (急いでしなさい)。すたていー ふ  
あい (早く食べなさい)。  
すたていなうす [sʏtatinausʏ] [動I類c型] [すた  
ていなうしー、すたていなうしゃん] 仕立て直  
す。【例】ふくー すたていなうす (洋服を仕立  
て直す)。  
すたていげ [sʏtati] [動II類a型] [すたていー、  
すたていん] こぼす。【例】たらいぬ みずう  
すたていげ (たらいの水をこぼす)。ふーぬく  
げる すたていげ (残飯をこぼして捨てる)。  
すたていげ [sʏtati] [動II類a型] [すたていー、  
すたていん] 仕立てる。【例】ふくー すたてい  
げ (服を仕立てる)。  
すたどうげ [sʏtadu] [名] [すたどうげまい...] 下  
取り。【例】くるまう すたどうげ すみたげ (車  
を下取りさせた)。  
すたなム [sʏtanam] [名] [すたな<sup>1</sup>ムまい...] 舌で  
なめる。舌なめずり。  
すたなムめ [sʏtanamme] [名] [すたなム<sup>1</sup>めま  
い...] 舌をなめるくせの人。  
すたぬ だん [sʏtanu dan] [名] [すたぬだ<sup>1</sup>んま  
い...] 下の段。【例】すたぬ だんがみ うりる  
(下の段まで下りなさい)。  
すたぬげ [sʏtanu] [名] [すたぬげまい...] 下塗  
り。下地を塗ること。【例】ぺんきぬ すたぬげ  
(ペンギの下塗り)。  
すたば [sʏtaba] [名] [すたばまい...] 下葉。下の  
方の葉。【同】「すたばー」。  
すたばー [sʏtaba:] [名] [すたばーまい...] 下の

歯。

すたばー [sɽaba:] [名] [すたばーまい...] 下葉。  
下の方の葉。【例】たばくぬ すたばー (たばこの下葉)。【同】「すたば」。

すたばた [sɽabata] [名] [すたばたまい...] 下腹。  
下腹部。【例】すたばたぬ いでいり (下腹部が出ている)。

すたばたらぎ [sɽabataraki] [名] [すたばたらぎまい...] 下働き。目立たない働き。

すたばらい [sɽabara:] [名] [すたばらゝいまい...]  
白い歯を見せて人を馬鹿にするような笑い方。

すたばるー [sɽabaru:] [名] [すたばるーまい...]  
すたばるゝまい...] うすら笑い。白い歯を見せて人を馬鹿にするような笑い方。

すたふ [sɽafu] [名] [すたゝふまい...] 支度。準備。八月おどりの支度座。おどりの衣装。

すたふぎ [sɽafuki] [動 I 類] [すたふぎ一、すたふかん] [すたふぎまい...] 下向く。うつむく。人に見られたくない負の思考。

すたふぎまーり [sɽafukima:] [名] [すたふぎまーりまい...] 人に見えないようにこそこそ歩きまわる。

すたふぎむぬ [sɽafukimunu] [名] [すたふぎむぬまい...] 自分一人の生活すること。他人と付き合いのない者。

すたふじゃー [sɽafudza:] [名] [すたふじゃーまい...] 八月おどりの身支度の担当。衣装係の座。

すだま [sɽdama] [名] [植] [すだゝまい...] じゅずだま。野生でじゅず玉のような実をつける。実を糸に貫いて女の子が遊ぶ。

すだまぎー [sɽdamagi:] [名] [植] [すだまぎゝまい...] 木の一種。

すだます [sɽdamasɽ] [動 I 類 c 型] [すだましー、すだましゅん] 涼ませる。涼しくする。

すたみ [sɽtami] [名] [すたゝみまい...] 下見。前もって調べること。下検分。【例】しきじょーぬ すたみ (式場の下見)。

すだみ [sɽdami] [名] [すだゝみまい...] 涼み。涼を求めること。【例】みなかん すだみ すー (庭

に涼みをとる)。

すたム [sɽtam] [動 I 類 c 型] [すたみ一、すたまん] こぼす。水や汁をこぼす。【例】ムーぬ すーう すたム (いもの煮汁をこぼす)。

すたム [sɽtam] [感] やった。やるべきことを終わったときに言う。【例】すぐとー すたムどー (仕事はやったぞ)。

すだム [sɽdam] [動 I 類 c 型] [すだみ一、すだまん] 涼む。木の陰に涼む。

すたやく [sɽtajaku] [名] [すたやくまい...] 下役。下級の役人。琉球王朝の島役人。

すたゆだ [sɽtajuda] [名] [すたゆだまい...] 下枝。【例】すたゆだう うらす (下枝を切る)。

すたら [sɽtara] [擬] [すたらていー...] すべて転ぶときの様子。急に倒れる様。すってんころり。

すたらみかす [sɽtaramikasɽ] [動 I 類 c 型] [すたらみかしー、すたらみかしゅん] 滑らして転ばせる。

すたらみぎ [sɽtaramiki] [動 I 類 c 型] [すたらみぎ一、すたらみかん] 滑って転ぶ。

すたり [sɽta] [動 II 類 c 型] [すた一、すたん] 廃れる。【例】なーぬ すたり (名前が廃れる)。  
すまふつぬ すたりにり (島ことばが廃れる)。

すだり [sɽda] [名] [すだゝりまい...] 簾 (すだれ)。

すつ [sɽtsɽ] [名] [すゝつまい...] 節。時節。時期。その頃。【例】しーとーぬ すつ (製糖時期)。

すつうぶなか [sɽtsɽupunaka] [名] [すつうぶなゝかまい...] 豊年祈願祭。節祭り。村史参照。

すつき [sɽtsɽki] [名] [すつきまい...] すつきまゝい...] 躑け。【例】すつきぬ よーしゃーり (躑けが弱い)。

すつきり [sɽtsɽki] [動 II 類 a 型] [すつき一、すつきん] 躑ける。叱る。なぐる。特訓する。【例】すつきる (しつけよ)。くぬ やらべー すつきらいん (この子は手に負えない)。

すつぎんぎ [sɽtsɽkɽnkɽ] [動 I 類 a 型] [すつぎんぎ一、すつぎんかん] いじめる。強くしつける。

すっじゃ [sɽddza] [名] [植] [すゝじゅまい...] さとうきび。イネ科の植物。砂糖の原料。多良間の特産物。【類】「ぶーぎ」。

すっじゃうい [sɯddzau:] [名] [すっ<sup>1</sup>じゃういまい...] さとうきびの植え付け。条を作って節のついた茎を植える。

すっじゃぐる [sɯddzaguru] [名] [すっ<sup>1</sup>じゃぐるまい...] サトウキビの搾りかす。

すっじゃす [sɯddzasɯ] [動I類c型] [すっじゃしー、すっじゃしあん] 煎じる。【例】やとぅーふつう すっじゃす (よもぎを煎じる)。【類】「すっずー」。

すっじゃなギ [sɯddzanagi] [名] [すっ<sup>1</sup>じゃなギまい...] さとうきびの収穫。さとうきびを手刈りする。今はハーベスターも使用する。

すっじゃらす [sɯddzarasɯ] [動I類c型] [すっじゃらしー、すっじゃらしあん] 濡らす。床を濡らすときに言う。

すっじゃり [sɯddza:] [名] [すっじゃ<sup>1</sup>りまい...] 水たまり。湿り。濡れている所。【例】すっじゃりんか ばぎう あるー (水たまりに足を洗う)。

すっじゃり [sɯddza:] [動I類c型] [すっじゃりー、すっじゃらん] ぬれる。【例】すっじゃりった (濡れた)。

すっずー [sɯddzɯ:] [動I類c型] [すっじー、すっじゃん] 煎じる。【例】やとぅーふつう すっずー (よもぎを煎じる)。【類】「すっじゃす」。

すったふり [sɯttafuri] [名] [すったふ<sup>1</sup>りまい...] 知ったかぶり。知らないのに知っているようなふりをする。

すっピー [sɯppɯ:] [動I類c型] [すっピーしー、すっピーしあん] 吸う。液体を吸う。【同】「すピー」。

すっふい [sɯffɯ] [動I類c型] [すっふいー、すっふあん] すくう。網ですくう。手ですくう。

すつみず [sɯtsɯmidzɯ] [名] [すつみ<sup>1</sup>ずまい...] スツウプナカの若水。

すていあム [sɯtiam] [名] [すていあムまい...。すていあ<sup>1</sup>ムまい...] 網を前日にしかけて翌日揚げる漁のこと。

すていー うギ [sɯti: ukɯ] [連語] あきらめる。止める。【例】がくむんや すていー うき (学問は止めなさい)。【類】「すていーうつギ」。

すていー うつギ [sɯti: utsɯkɯ] [連語] あきらめる。

止める。【例】かぬ すぐとぅー すていー うつき (あの仕事はやるな)。【類】「すていーうギ」。

すていかー [sɯtika:] [接続] すると...。したら...。【例】あんしー すていかー だいずどー (そうしたら大変だよ)。

すでいかいり [sɯdikai:] [動I類c型] [すでいかいりー、すでいかいらん] 蛇が脱皮する。若返る。

すでいがぶー [sɯdigapu:] [名] [すでいがぶ<sup>1</sup>ーまい...] ありがと。感謝すること。お礼のことば。【例】やぐみ すでいがぶー (まことに感謝に耐えない)。

すでいがぶー [sɯdigapu:] [名] [すでいがぶ<sup>1</sup>ーまい...] 結婚。女性の家へ男性側が感謝を伝える。

すていがら [sɯtigara] [名] [すていが<sup>1</sup>らまい...] 捨てかす。ゴミ。不用物。

すでいがら [sɯdigara] [名] [すでいが<sup>1</sup>らまい...] 孵化した卵の殻。脱けがら。蛇の抜け殻。【類】「すでいぐー」。

すていじゃん [sɯtidzan] [名] [すていじゃんまい...。すていじゃ<sup>1</sup>んまい...] 物を粗末にすること。ほったらかし。【例】すていじゃんゆ しー ぶどうわーすたり (ほったらかしにして育てた)。

すていずー [sɯtidzɯ:] [名] [すていずーまい...] 捨て釣り。魚の穴に釣針を置いたままにしておく漁のしかた。

すていだい [sɯtidai] [名] [すていだいまい...] 捨て値。安い値段。【例】すていだいにー かうたり (安値で買った)。【類】「やすだい」。

すでいみず [sɯdimidzɯ] [名] [すでいみ<sup>1</sup>ずまい...] 若返り水。スツウプナカの最終日の朝、各家庭で〈にーじゅーがギな〉(力芝)の上に水浴びをする。健康を祈願する。【類】「ばかみず」。

すでいムー [sɯdimmu] [名] [すでいム<sup>1</sup>ーまい...] 長い時間に栄養分がなくなっただいも。食用にならない。炭水化物のないものこと。

すていむぬ [sɯtimunu] [名] [すていむぬまい...] 捨て物。値うちのないもの。価値のないもの。落としもの。遺失物。

すていり [sɯtɪ] [動 II 類 a 型] [すていー、すていん] 捨てる。【例】すていな (捨てるな)。うーばー すている (それは捨てなさい)。

すでいり [sɯdɪ] [動 II 類 c 型] [すでいー、すでいん] 脱皮する。

すでいり [sɯdɪ] [動 II 類 c 型] [すでいー、すでいん] 孵化する。卵からかえる。【例】すでいがた (孵化間近)。すでいった (孵化した)。

すでーがぎ [sɯde:gakɪ] [名] [すでーがぎまい...] 次第書。八月おどりの出演の順番を書いたもの。

すでーり [sɯde:] [動 I 類 c 型] [すでーりー、すでーらん] 鈴なりに実る。たわわに実る。【例】ずまみぬ すでーりり (落花生が鈴なりになっている)。

ずとう [dzɯtu] [名] [ずとうまい...] 地頭。琉球国時代の役人。

すとうや [sɯtuja] [名] [すとうやまい...] 義父。夫や妻の父。

すとうがつ [sɯtugatsɯ] [名] [すとうがつまい...] 旧盆。先祖を迎えて三日間三食を備える行事。村史参照。【類】「うぶん」。

すとうぎ [sɯtugɪ] [動 I 類 c 型] [すとうぎー、すとうがん] なぐる。馬を鞭打つ。人にも言う。【例】ぬーまう すとうぎー ぱらす (馬を鞭打って走らせる)。

すとうとう [sɯtutu] [名] [魚] [すとうとうまい...] はりせんぼん。【類】「あばしゃ」。

すとうとうり [sɯtutu] [名] [鳥] [すとうとうりまい...] 白鳥。しらさぎ。さぎの仲間。

すとうにり [sɯtuni] [動 II 類 c 型] [すとうにー、すとうにん] 仕留める。たたきつける。【例】すまう とうりー すとうにり (相撲をとってたたきつける)。

すとうま [sɯtuma] [名] [すとうままい...] 姑。夫の母。義母。呼称としては言わない。【類】「すとうまあんな」。「すとうまムま」。

すとうまあんな [sɯtumaanna] [名] [すとうまあんなまい...] 姑。夫の母。義母。呼称としては言わない。【類】「すとうま」。「すとうまムま」。

すとうまびらい [sɯtumabiraɪ] [名] [すとうまび

ら<sup>1</sup>イまい... すとう<sup>1</sup>まびらいまい...] 嫁と姑の付き合い。

すとうまムま [sɯtumamma] [名] [すとうまムままい...] 姑。夫の母。義母。呼称としては言わない。【類】「すとうま」。「すとうまあんな」。

すとうム [sɯtum] [名] [すとうムまい...] すだれ。屋根の下地になるすすきを編んだもの。

すとうむてい [sɯtumuti] [名] [すとうむ<sup>1</sup>ていまい...] 朝。夜明け。夜が明けてしばらく。【例】すとうむていゆしゃらび (朝と夕方)。【類】「ゆーあき」。

すとうむていじゆー [sɯtumutidzu:] [名] [すとうむていじゆーまい...] 朝の潮時。月半ばの頃の潮時。【類】「ペーしゆ」。

すとうむていずぎ [sɯtumutidzɯkɪ] [名] [すとうむていずぎまい...] 朝の月。残月。有明の月。【類】「しゃーかずぎ」。「しえーかずぎ」。

すとうむていぬ かず [sɯtumutinu kadzɯ] [連語] 朝ごと。毎朝。【例】すとうむていぬ かず えーぶり (毎朝けんかしている)。

すとうむていペーし [sɯtumutipe:ɕi] [連語] 朝早く。早朝。【例】すとうむていペーし ふしゃかり (朝早く草刈に行く)。

すとうむていやき [sɯtumutijaki] [名] [すとうむていや<sup>1</sup>きまい...] 朝焼け。雨の兆候と言われる。

すとうムま [sɯtumma] [名] [すとうムままい...] 義母。

すとうらす [sɯturasɯ] [動 I 類 c 型] [すとうらしー、すとうらしゃん] 潤す。しめらす。畑を雨が潤す。濡らす。【例】きうぬ あめー すとうらしー (今日の雨は畑を潤した)。

すとうり [sɯtu] [動 I 類 c 型] [すとうりー、すとうらん] 潤う。畑が雨で潤う。畑に入れないほどの潤い。【例】ギんぬ すとうり (衣服がずぶぬれになる)。

すとうりあみ [sɯtuami] [名] [すとうりあ<sup>1</sup>みまい...] 大雨。畑に入れないほどの大雨。豪雨。

すとうりり [sɯturi] [動 II 類 c 型] [すとうりー、すとうりん] 雨にずぶ濡れる。大雨のために畑に入れられない状態になる。

ずどーん [dzɔdo:n] [擬] 射撃の音。地響きするよ  
うな音。【例】ずどーんがずどーんていー なり  
ー ぶたり (しきりにドカンと鳴っていた)。

ずどーん [dzɔdo:n] [擬] 落ちる様。【例】ずど  
ーんていー うていー ねーん (ズドーンと落ち  
てしまった)。

すととーごーととー [sɥtoto:go:ttɔ:] [擬] きじ鳩  
の鳴き声。

すな [sɥna] [名] [す<sup>1</sup>なまい...] 仕草。行い。

すな [sɥna] [名] [す<sup>1</sup>なまい...] 品。品物。【例】  
かぎすなむぬ (きれいな品物)。

すなー ねーん [sɥna:ne:n] [連語] 品位がないこ  
と。出来が悪いこと。

すなーか [sɥna:ka] [名] [すなーかまい...] 静か。  
おとなしい。黙っていること。おとなしくして  
いること。

すなーかす [sɥna:kasɥ] [動I類a型] [すなーかし  
ー、すなーかしゃん] 静かにする。黙る。【例】  
すなーか しー ぶり (だまっている)。

すなーす [sɥna:sɥ] [動I類c型] [すなーしー、す  
なーしゃん] 合わせる。【例】たかしゃう すな  
ーす (高さを合わせる)。ふくー すなーす (服  
を体に合わせる)。

すなーす [sɥna:sɥ] [動I類c型] [すなーしー、す  
なーしゃん] 揃える。準備する。【例】すなー  
し (揃えよ。準備しなさい)。すなーしー うつ  
き (揃えて置きなさい。準備しておきなさい)。  
すなーしー ぶり (揃えていなさい)。すなーし  
ー (揃えた。準備した)。すなーした (揃え  
た。準備した)。

すなう [sɥnau] [動I類c型] [すねー、すなーん]  
つりあう。はまる。ちょうどよい。ぴったり。  
【例】すねーった (ぴったりだ)。【同】「すぬー」。

すなうす [sɥnausɥ] [動I類a型] [すなうしー、す  
なうしゃん] しなおす。やりなおす。【同】「す  
のーす」。

すなかぎしゃーり [sɥnakagica:] [形] [すなかぎ  
<sup>1</sup>しゃまい...] 品位がある。上品。品格がよい。  
きれい。品行がよい。

すなかず [sɥnakadzɥ] [名] [すなかずまい...。す  
なか<sup>1</sup>ずまい...] 品数。品物の種類。

すなさだみ [sɥnasadami] [名] [すなさだ<sup>1</sup>みま  
い...。す<sup>1</sup>なさだみまい...] 品定め。【例】すな  
さだみう しーから かい (品定めをしてから  
買いなさい)。

すなす [sɥnasɥ] [動I類a型] [すなしー、すなし  
ゃん] 死なす。殺す。何げなく発する。悪意は  
ない。【例】すなし (死なせ。殺せ。憎い人に何  
げなく言う)。

すなムずが [sɥnamdzɥga] [名] [すなムず<sup>1</sup>がま  
い...] 品質の悪い物のこと。手仕事のよくない  
人のこと。

すなムずぎしゃーり [sɥnamdzɥgica:] [形] [すな  
ムずぎ<sup>1</sup>しゃまい...] 品質が悪い。仕事の仕上  
がりがよくない。

すなむぬ [sɥnamunu] [名] [すなむ<sup>1</sup>ぬまい...] 品  
物。物品。

ずなん [dzɥnan] [名] [ずなんまい...] 次男。

ずなんあじゃ [dzɥnan.adza] [名] [ずなんあじゃ  
まい...] 次男。

ずなんペーが [dzɥnanpe:ga] [名] [ずなんペーが  
まい...] 兄弟姉妹のうち次男次女は活気があっ  
て自立心の旺盛のこと。次男は大胆不敵である  
ことのたとえ。【類】「ペーが」。

すに [sɥni] [名] [す<sup>1</sup>にまい...] 脛 (すね)。ひざ  
から下の部分。

すにういか [sɥniuika] [名] [すにういかぬどう...]  
火の玉。【例】すにういかぬどう みーらい ぶ  
たり (火の玉が見えていた)。

すにがた [sɥnigata] [名] [すにがたまい...] 死に  
近いこと。【類】「すにばた」。

すにがら [sɥnigara] [名] [すにがらまい...] 死骸。  
死体。

すにばかーり [sɥnibaka:] [名] [すにばかーりま  
い...] 死に別れ。死別。【同】「すんばかーり」。

すにばた [sɥnibata] [名] [すにばたまい...] 死に  
近いこと。【類】「すにがた」。

すにむぬ [sɥnimunu] [名] [すにむぬまい...] 死  
んでいるもの。枯れているもの。

すにり [sɥni] [動混合a型] [すにー、すなん] 死  
ぬ。【例】すにふーり (死んだふり)。すにった  
(死んだ)。やみー すにり (病のため死ぬ)。す

なる(死ぬ。何気なく言う。悪意はない)。す  
 なん(死なない)。  
 すぬー [sɲnu:] [動I類c型] [すぬー、すなーん]  
 合う。はまる。ちょうどよい。【例】すぬー く  
 つエー ねーん(合う靴はない)。【同】「すな  
 う」。  
 すぬギ [sɲnugi] [動I類c型] [すぬぎー、すぬが  
 ん] 凌ぐ。【例】やーしゃう すぬギ(飢えを凌  
 ぐ)。  
 すぬビ [sɲnubi] [動I類c型] [すぬびー、すぬば  
 ん] 忍ぶ。【例】にかぬ すぬビ(猫が忍んでい  
 る)。  
 すぬぶし [sɲnubuɕi] [名] [すぬぶ<sup>1</sup>しまい...] 仕  
 上世。上納物を保管する所。倉庫。多良間は北  
 海岸の仲泊にあった。  
 すぬリ [sɲnu] [名] [海藻] [すぬリまい... すぬ  
 リま<sup>1</sup>い...] もずく。  
 すのーす [sɲno:sɲ] [動I類a型] [すのーしー、す  
 のーしゃん] しなおす。やりなおす。【同】「す  
 なうす」。  
 すば [sɲba] [名] [すばま<sup>1</sup>い...] くちびる。  
 すば [sɲba] [名] [すばま<sup>1</sup>い...] 瓶(かめ)のふ  
 ち。かめの口。  
 すばイ [sɲpaɪ] [名] [昆虫] [すば<sup>1</sup>イまい...] 蠅  
 の小さいもの。腐ったものにたかる。  
 すばしゆら [sɲbaɕura] [名] [すばしゆ<sup>1</sup>らまい...]  
 唇が反りあがっている人。  
 ずばた [dzɲbata] [名] [すば<sup>1</sup>たまい...] 織機。織  
 機の低いもの。  
 すばだら [sɲbadara] [名] [すばだ<sup>1</sup>らまい...] く  
 ちびるが垂れている人。【同】「すばだれ」。  
 すばだりむぬ [sɲbadaɹmunu] [名] [すばだりむ<sup>1</sup>  
 んまい...] くちびるが垂れている人。気嫌の悪  
 い子ども。  
 すばだれ [sɲbadare] [名] [すばだ<sup>1</sup>れまい...] く  
 ちびるが垂れている人。【同】「すばだら」。  
 すばっじゆリ [sɲpaddzu] [動I類c型] [すばっ  
 じゆりー、すばっじゆらん] すべり落ちる。す  
 べり転がる。外れ落ちる。【例】すぶんぬ すば  
 っじゆリ(ズボンがはずれ落ちた)。  
 すばどう [sɲbadu] [連語] したら。するので。【例】

あんしー すばどう(そのようにしたら)。  
 すばどうらがみ [sɲbaduragami] [名] [すばどう<sup>1</sup>  
 らがみまい...] 縁のあるかめ。  
 すばな [sɲpana] [名] [すば<sup>1</sup>なまい...] ねじまわ  
 し。工具。  
 ずばな [dzɲbana] [名] [ずばなまい...] 茅の新芽  
 のこと。刈り取った後の原野から出芽するこ  
 と。  
 ずばぬギ [dzɲbanuki] [動I類c型] [ずばぬきー、  
 ずばぬかん] ずば抜ける。並み外れである。  
 すばぱり [sɲbapa] [動I類c型] [すばぱりー、す  
 ばぱらん] くちびるが荒れる。  
 すぱり [sɲba] [名] [すぱ<sup>1</sup>りまい...] 小便。小水。  
 おしっこ。  
 すぱりぐムヤム [sɲbalgum.jam] [名] [病] [すぱ  
<sup>1</sup>りぐムヤム<sup>1</sup>まい...] 尿つまり病。膀胱炎。  
 すぱりずつム [sɲba[dzɲtsɯm] [名] [すぱ<sup>1</sup>りずつム  
 まい...] 膀胱。  
 すビ [sɲbi] [名] [貝] [すビまい...] ほしだから  
 がい。きいろだから。網のおもりにする。  
 すビ [sɲbi] [動I類a型] [すびー、すばん] 吸う。  
 汁を吸う。ストローで吸う。  
 すビ [sɲbi] [動I類a型] [すびー、すばん] 赤子  
 の漬垂れを母が口で吸い取る。  
 ずピ [dzɲpi] [副] 是非。どうしても。【例】ずピ  
 わーり(是非いらっしやい)。  
 すピー [sɲpi:] [動I類c型] [すピすいー、すピ  
 さん] 口で吸い取る。さとうきびを食べるとき、  
 汁を吸い取る。【例】すとろーしー すピー(ス  
 トローで吸う)。【同】「すっピー」。  
 すピしゃ [sɲpiɕa] [名] [すピ<sup>1</sup>しゃまい...] 耳の  
 聞こえない人。  
 すピすいむぬ [sɲpɕsimunu] [名] [すピすいむ<sup>1</sup>ぬ  
 まい...] 耳の聞こえない人。  
 すピすいリ [sɲpɕsi] [動II類c型] [すピすいー、  
 すピすいん] 耳が遠くなる。聞こえが悪くな  
 る。  
 すピだ [sɲpɪda] [名] [すピだまい...] しぼむこと。  
 しぼむもの。水分のないもの。  
 すピだしえー [sɲpɪdace:] [名] [すピだしえー<sup>1</sup>ま  
 い...] 豆の実の入らないさや。

すぴつぎ [sɯpɪtsɯkɯ] [動I類c型] [すぴつきー、すびつかん] くつつく。幼児が母にくっついて歩くこと。【例】すぴつぎな、ゆっじ(くつつくな、離れなさい)。あんなん すぴつきー ぶり(お母さんにくっついてまわっている)。

すぴつぎり [sɯpɪtsɯki] [動II類c型] [すぴつきー、すびつきん] くつつける。二人をくつつけるときのにも言う。

すぴにしゃーり [sɯpɪnɯɕa:] [形] [すぴに<sup>1</sup>しゃまい...] しなやかさ。

すぴにむぬ [sɯpɪnimunu] [名] [すぴにむ<sup>1</sup>ぬまい...] しなやかなもの。弾力性のあるもの。粘り強い人。

すぴにやム [sɯpɪnijam] [名] [すぴにや<sup>1</sup>ムまい...] 軽い痛み。弱くてしつこい痛み。弱くて永く続く痛み。

すびり [sɯbi] [動I類c型] [すびりー、すびらん] 滑る。落ちる。受験に不合格する。

すぶーてい [sɯpu:ti:] [副] 湿っぽいこと。湿気の多いこと。

すふしゃ [sɯfuɕa] [名] [植] [すふ<sup>1</sup>しゃまい...] ぎしぎし。

すふしゃーり [sɯfuɕa:] [形] [すふしゃまい...] すっぱい。すっぱい味がする。

すぶしゃーり [sɯpuɕa:] [形] [すぶしゃまい...] 湿っぽい。湿気が多い。

すぶた [sɯputa] [名] [すぶたまい...] 水分がなくなつて縮まること。【例】すぶたん なりー かりー ぶり(水分がなくなつて枯れている)。

すぶたら [sɯputara] [名] [すぶた<sup>1</sup>らまい...] 不潔者。【同】「すぶたれ」。

すぶたり [sɯputa] [動II類c型] [すぶたー、すぶたん] 汚れる。【例】すぶたりびとう(汚れて見ぐるしい人)。

すぶたり [sɯputari] [名] [すぶた<sup>1</sup>りまい...] 汚れ。【例】すぶたりむぬ(汚れもの)。

すぶたりむぬ [sɯputa|munu] [名] [すぶたりむ<sup>1</sup>ぬまい...] 不潔者。汚れている人。汚れ物。

すぶたれ [sɯputare] [名] [すぶた<sup>1</sup>れまい...] 不潔者。【同】「すぶたら」。

ずふねーり [dzɯfune:] [名] [ずふねー<sup>1</sup>りまい...] 船を降りても船酔いが治らないこと。地船酔か。

すぶます [sɯbumasɯ] [動I類c型] [すぶましー、すぶましゃん] しぼませる。【例】みずう かきんにー すぶます(水をかけないからしぼませる)。

すぶみり [sɯbumi] [動II類c型] [すぶみー、すぶみん] しぼめる。【例】ペーりん すぶみった(日照りにしぼんでしまった)。

すぶム [sɯbum] [動I類c型] [すぶみー、すぶまん] しぼむ。【例】みずう かきんにー すぶみー ねーん(水をかけないからしぼんでしまった)。

ずぶら [dzɯbura] [名] [ずぶ<sup>1</sup>らまい...] ずぼら。だらしない。いい加減。

すぶり [sɯbu] [名] [植] [すぶ<sup>1</sup>りまい...] 冬瓜。【類】「とーがん」。

すぶり [sɯbu] [動I類c型] [すぶりー、すぶらん] 絞る。搾る。さとうきびを压榨する。タオルを絞る。【例】すぶりー ぷし(絞って干しなさい)。

すぶりかす [sɯbu|kasɯ] [名] [すぶりか<sup>1</sup>すまい...] 搾り粕。さとうきびの搾り粕。【同】「すぶりから」。「すぶりぐる」。

すぶりから [sɯbu|gara] [名] [すぶりが<sup>1</sup>らまい...] 搾り殻。さとうきびの搾り殻。【同】「すぶりかす」。「すぶりぐる」。

すぶりぐる [sɯbu|guru] [名] [すぶりぐ<sup>1</sup>るまい...] 搾り殻。さとうきびの搾り殻。【同】「すぶりから」。「すぶりかす」。

ずぶん [dzɯbun] [名] [ずぶ<sup>1</sup>んまい...] ズボン。

ずぶん [dzɯbun] [名] [ずぶんまい...] 時分。よい頃合。【例】ゆいふーずぶん(夕食時)。

すま [sɯma] [名] [すまんま<sup>1</sup>い...] 島。故郷や集落にも言う。【例】たらますま(多良間島)。みんなすま(水納島)。

すま [sɯma] [名] [すままい...] 村。集落。故郷。国。

すま [sɯma] [名] [すままい...] 相撲。角力。大相撲。宮古角力。腕相撲。

すまい [sɯmai] [名] [すまいまい...] 仕舞。終り。

終了。【同】「とうずみ」。

すまい [sɯmai] [名] [すまいまい...] 住い。住宅。住家。住所。

すまいり [sɯmai] [動 II 類 a 型] [すまいー、すまいん] 終る。終了。閉める。【例】すまいる (終りなさい。閉めなさい)。ムめ すまいる (もう終りなさい)。すまいん (終らない。閉めない)。

みだ すまいん (まだ終らない)。

すまいり [sɯmai] [動 II 類 a 型] [すまいー、すまいん] 住む。住んでいること。居住。【例】くじゅから すまいり (去年から住んでいる)。

すまうーヴヴうり [sɯmau:vvu] [名] [植] 島瓜。まくわうり。

すまかぎ [sɯmakagi] [名] [すまか<sup>1</sup>ぎまい...] 島影。島の形。

すまぐーしゅ [sɯmagu:ɕu] [名] [植] [すまぐー<sup>1</sup>しゅまい...] 島唐辛子。在来の唐辛子。とても辛い。

すまぐに [sɯmaguni] [名] [すまぐ<sup>1</sup>にまい...] 島国。周囲を海に囲まれた国。

すまげーばつ [sɯmage:batsɯ] [名] [昆虫] [すまげーば<sup>1</sup>つまい...] 島蜂。ちびあしながばち。在来のもっとも小さい蜂。人間にもたとえて、小さい体で意地っ張りの人。

すまじゅー [sɯmadzɯ:] [名] [すまじゅーんまい...] 島中。島全体。【例】すまじゅー うーあみ (島中大雨)。

すます [sɯmasɯ] [動 I 類 c 型] [すましー、すましゃん] 済ませる。終わらせる。【例】うっかうすます (借金を返す)。

すます [sɯmasɯ] [動 I 類 c 型] [すましー、すましゃん] 澄ませる。汚れ水を澄ませる。上澄み。【例】すますみず (澄ませた水)。

すまづま [sɯmadzɯma] [名] [すまづま<sup>1</sup>んまい...] 島々。宮古群島は八つの島々からなっている。

すまだてい [sɯmadati] [名] [すまだ<sup>1</sup>ていまい...] 島建て。村建。集落のはじまり。

すまとうなぎ [sɯmatunagi] [副] 島のある限り。この世の限り。島と共に。

すまとうり [sɯmatu] [名] [すまとう<sup>1</sup>りまい...] 相撲をとること。

すまとうれ [sɯmature] [名] [すまとう<sup>1</sup>れまい...] 相撲の強い人。力士。

すまながし [sɯmanagaɕi] [名] [すまなが<sup>1</sup>しまい...] 島流し。流刑。流罪。遠島。多良間には流刑の史実がある。

すまぬ ばん [sɯmanu ban] [名] [すまぬば<sup>1</sup>んまい...] 島の番。島の番をする意味。旅に出ない人のこと。

すまぬ ばんだか [sɯmanu bandaka] [名] [すまぬば<sup>1</sup>んだかまい...] 島の番鷹。落ち鷹。はぐれ鷹。さしばのこと。

すまぬ ピとう [sɯmanu pi:tu] [名] [すまぬピ<sup>1</sup>とうまい...] 島人。平民のこと。昔は士族に対する平民のこと。昔の差別語。

すまぬ ピとう [sɯmanu pi:tu] [名] [すまぬピ<sup>1</sup>とうまい...] 同郷人。同じ島の人。故郷を同じにする人。

すまぬーま [sɯmanu:ma] [名] [すまぬー<sup>1</sup>ままい...] 島馬。宮古馬のこと。

すまばんだか [sɯmabandaka] [名] [すまば<sup>1</sup>んだかまい...] 島番鷹。はぐれ鷹。はぐれたさしばのこと。【類】「うていだか」。「びっびーだか」。「ゆらりだか」。

すまふしやら [sɯmafɯɕara] [名] [す<sup>1</sup>まふしやら<sup>1</sup>まい...] 悪霊の進入を防ぐということでポークに縄を張る行事。その縄には豚の骨を吊す。村史参照。

すまふつ [sɯmafutsɯ] [名] [すまふ<sup>1</sup>つまい...] 島ことば。方言。島の方言。故郷の言葉。

ずまみ [dzɯmami] [名] [植] [ずま<sup>1</sup>みまい...] 落花生。地豆の意。【類】「びーなつ」。

すまやま [sɯmajama] [名] [すまや<sup>1</sup>まい...] 杣山。

すまやまびっさ [sɯmajamapissa] [名] [すまや<sup>1</sup>まびっさまい...] 杣山筆者。琉球王国時代の役人。

すまり [sɯma] [動 I 類 c 型] [すまりー、すまらん] 結わえる。縛る。草を縛る。【例】すまりんなー (縛る縄)。【類】「まるギ」。

すまり [sɯma] [動 I 類 c 型] [すまりー、すまらん] 閉まる。

ずみ [dzɯmi] [名] [ず<sup>1</sup>みまい...] 心地よい。快  
い。上出来。

ずみーずみ [dzɯmi:dzɯmi] [重複] とても心地よ  
い。この上ない快いこと。【類】「ずみ」。

すみくム [sɯmikum] [動I類c型] [すみくみー、  
すみくまん] 住み込む・職業として住み込む。  
【例】まっちゃん すみくム (商店に住み込んで  
働く)。

ずみしゃーり [dzɯmɕa:ɾi] [形] [ずみ<sup>1</sup>しゃまい...]  
気持よい。快適。心地よい。

すみず [sɯmidzɯ] [名] [すみ<sup>1</sup>ずまい...] 弁当。食  
料。畑や海へ持って行くのが普通である。

すみずでいり [sɯmidzɯdi] [名] [すみ<sup>1</sup>ずでいり  
まい...] 弁当籠。竹製のかご。海や畑へ持って  
行く。【同】「すみでいり」。

すみっす [sɯmissɯ] [動I類c型] [すみっしー、す  
みっしゃん] させる。仕事をさせる。勉強させ  
る。

すみっす [sɯmissɯ] [動I類a型] [すみっしー、す  
みっしゃん] 顔を洗わせる。

すみでいり [sɯmidi] [名] [す<sup>1</sup>みでいりまい...] 弁  
当籠。竹製のかご。海や畑へ持って行く。【同】  
「すみずでいり」。

すみり [sɯmi] [動II類c型] [すみー、すみん]  
(顔を)洗う。洗顔する。【例】みばなう すみ  
り (顔を洗う)。

すみり [sɯmi] [動II類a型] [すみー、すみん]  
させる。【例】あんしー すみり (そのようにさ  
せる)。

すム [sɯm] [名] [す<sup>1</sup>ムまい...] 潜ること。水中  
の仕事。【例】すムイー (潜って水中に仕事す  
る)。

すム [sɯm] [名] [す<sup>1</sup>ムまい...] 炭。木炭。炭火。  
【類】「うギー」。

すム [sɯm] [名] [す<sup>1</sup>ムまい...] 墨。習字用墨。い  
かの墨。

すム [sɯm] [名] [す<sup>1</sup>ムまい...] 学問すること。〈す  
ム〉(墨)から。【類】「すムならイ」。

すム [sɯm] [動I類c型] [すみー、すまん] 住む。  
居住する。住まう。【例】くまん すまずー (こ  
こに住みたい)。うまん すムぶすしゃーり (そ

こに住みたい)。

すム [sɯm] [動I類c型] [すみー、すまん] 済む。  
済ませる。返済する。

すム [sɯm] [動I類c型] [すみー、すまん] しみる。  
る。

すむ [sɯmu] [名] [すむんまい...] 下。上座に対  
する下座。また、近い所に対する遠い所。【例】  
すむばる (遠い所にある畑)。

すムイー [sɯmɿ:] [動I類] [すムズイー、すムイ  
ズあん] [す<sup>1</sup>ムズイー ぶり] 潜る。潜り入る。

すムーすム [sɯmmsɯm] [重複] しみること。とて  
もしみること。

すムかギ [sɯmkakɯ] [名] [すムか<sup>1</sup>ギまい...] 墨  
書き。学問する。勉強する。修業する。

すムかギだう [sɯmkakɯdau] [名] [すムかギだ<sup>1</sup>う  
まい...] 学習用具。学問や勉強するために必要  
な道具。【同】「すムかギどー」。

すムかギだうず [sɯmkakɯdaudzɯ] [形] [すムかギ  
だう<sup>1</sup>ずまい...] 勉強のよくできること。学者。  
【同】「すムかギどーず」。

すムかギどー [sɯmkakɯdo:] [名] [すムかギど<sup>1</sup>  
まい...] 学習用具。学問や勉強するために必要  
な道具。【同】「すムかギだう」。

すムかギどーず [sɯmkakɯdo:dzɯ] [形] [すムかギ  
どー<sup>1</sup>ずまい...] 勉強のよくできること。学者。  
【同】「すムかギだうず」。

すムかけ [sɯmkake] [名] [すムか<sup>1</sup>けまい...] 勉  
強にすぐれる人。優等生。学問のできる人。

すむぐり [sɯmugu] [名] [すむぐ<sup>1</sup>りまい...] 素  
潜り。足にひれをつけないで潜ること。

ずムしゃーり [dzɯmɕa:ɾi] [形] [ずム<sup>1</sup>しゃまい...]  
心地よい。【同】「ずみしゃーり」。

ずむす [dzɯmusɯ] [名] [ずむ<sup>1</sup>すまい...] 回虫。ぎ  
ょう虫。【類】「ばたむす」。

すムすれ [sɯmsɯre] [名] [すムす<sup>1</sup>れまい...] 学問  
の優れた人。墨を擦る人。

すムたりむぬー [sɯmtaɾimunu:] [連語] ~すればよ  
かったのに。~済んだのに。【例】ばるーば す  
ムたりむぬー (払えばよかったのに)。

すムつぶ [sɯmtsɯbu] [名] [すムつ<sup>1</sup>ぶまい...] 墨  
つぶ。大工用の道具。

すまな [sɯmna] [名] [植] [すまなまい...。すまなま<sup>1</sup>い...] ねぎ。

すまな<sup>1</sup> [sɯmna:] [名] [すまな<sup>1</sup>まい...] 墨繩。木材に墨つけをする糸のこと。

すまなら<sup>1</sup>す [sɯmnara:sɯ] [名] [すまなら<sup>1</sup>すまい...] 墨習わし。勉強を教える。教授する。

すまならい [sɯmnaraɪ] [名] [すまなら<sup>1</sup>いまい...] 墨習い。勉強。学問。勉強を教えてください。【同】「すまなる<sup>1</sup>」。【類】「すまかぎ」。

すまならい<sup>1</sup>だう [sɯmnaraɪdau] [名] [すまならい<sup>1</sup>だ<sup>1</sup>うまい...] 学習用具。学問や勉強するために必要な道具。【同】「すまならい<sup>1</sup>ど<sup>1</sup>」。

すまならい<sup>1</sup>ど<sup>1</sup> [sɯmnaraɪdo:] [名] [すまならい<sup>1</sup>ど<sup>1</sup>まい...] 学習用具。学問や勉強するために必要な道具。【同】「すまならい<sup>1</sup>だう」。

すまなる<sup>1</sup> [sɯmnaru:] [名] [すまなる<sup>1</sup>まい...] 墨習い。勉強。学問。勉強を教えてください。【同】「すまならい」。【類】「すまかぎ」。

すまなる<sup>1</sup>だう [sɯmnaru:dau] [名] [すまなる<sup>1</sup>だ<sup>1</sup>うまい...] 学習用具。学問や勉強するために必要な道具。【同】「すまなる<sup>1</sup>ど<sup>1</sup>」。

すまなる<sup>1</sup>ど<sup>1</sup> [sɯmnaru:do:] [名] [すまなる<sup>1</sup>ど<sup>1</sup>まい...] 学習用具。学問や勉強するために必要な道具。【同】「すまなる<sup>1</sup>だう」。

すむぬ ぱる [sɯmunu paru] [名] [すむぬぱ<sup>1</sup>るまい...] 下の畑。集落から遠い所の畑。【類】「すむばる」。

すむばたらぎ [sɯmubataraki] [名] [すむばたらぎまい...] 下働き。目立たない仕事。

すむばる [sɯmubaru] [名] [すむば<sup>1</sup>るまい...] 下畑。集落から遠いところの畑。【類】「すむぬぱる」。

すむむぬ<sup>1</sup> [sɯmmunu:] [連語] ~すればよいのに。~済むのに。【例】かんし<sup>1</sup> すば すむむぬ<sup>1</sup> (こうすればよいのに)。

すみやぎ [sɯm.jaki] [名] [すみや<sup>1</sup>ぎまい...] 炭焼き。

すむゆム [sɯm.jum] [名] [すむゆ<sup>1</sup>ムまい...] 墨読み。学問すること。修業。

すむゆムだう [sɯm.jumdau] [名] [すむゆムだ<sup>1</sup>うまい...] 学問や勉強するために必要な道具。

【同】「すむゆムど<sup>1</sup>」。

すむゆムど<sup>1</sup> [sɯm.jumdo:] [名] [すむゆムど<sup>1</sup>まい...] 学問や勉強するために必要な道具。【同】「すむゆムだう」。

すむゆめ [sɯm.jume] [名] [すむゆ<sup>1</sup>めまい...] 墨読み。学問のよくできる人。

すむり<sup>1</sup> [sɯmu:] [動 I 類 c 型] [すむり<sup>1</sup>、すむらん] 巣守る。卵が孵化しない。

すむり<sup>1</sup>くが [sɯmu:kuga] [名] [すむ<sup>1</sup>り<sup>1</sup>くがまい...] 孵化しない卵。

すらす [sɯrasɯ] [動 I 類 c 型] [すらし<sup>1</sup>、すらしゃん] 擦らせる。【例】すむゆ すらす (墨を擦らせる)。

ずらす [dzɯrasɯ] [動 I 類 c 型] [ずらし<sup>1</sup>、ずらしゃん] じらせる。動かす。離す。話を焦らせる。【例】じかんゆ ずらす (時間をずらす)。

すらび [sɯrabi] [名] 調べ。【同】「しらび」。

すらびぐとう [sɯrabigutu] [名] 調べ事。調査。【同】「しらびぐとう」。

すらびり [sɯrabi:] [動 II 類] [しらび<sup>1</sup>、しらびん] 調べる。【同】「しらびり<sup>1</sup>」。

すりくム [sɯrikum] [動 I 類 c 型] [すりくみ<sup>1</sup>、すりくまん] 擦り込む。こすって中にしみ込ませる。【例】てい<sup>1</sup>し<sup>1</sup> すりくム (手ですり込む)。

ずりくム [dzɯrikum] [動 I 類 a 型] [ずりくみ<sup>1</sup>、ずりくまん] ずれこむ。時間がずれ込む。【例】じかんぬ ずれくム (時間がずれ込む)。

すりむぬ [sɯrimunu] [名] [すりむ<sup>1</sup>ぬまい...] 刷り物。印刷物。

すりり [sɯri:] [動 II 類 c 型] [すり<sup>1</sup>、すりん] 擦れる。【例】くつぬ すりり (靴が擦れる)。

ずりり [dzɯri:] [動 II 類 c 型] [ずり<sup>1</sup>、ずりん] ずれる。はずれる。二つのものが合わなくなる。【例】ずりんなてい<sup>1</sup> み<sup>1</sup>る (ずれないか見なさい)。

する [sɯru] [名] [するま<sup>1</sup>い...] 汁。おつゆ。液体。【例】ぶ<sup>1</sup>ぎずる (きび汁)。ぴんだずる (ヤギ汁)。

するがな [sɯrugana] [名] [するが<sup>1</sup>なまい...] おろし器。大根などを擦るための道具。

するぎな [sɻugina] [名] [するぎ<sup>1</sup>なまい...] おつゆ杓子。

ずるきり [dzɻuki] [動 II 類 c 型] [ずるき一、ずるきん] 怠ける。さぼる。【例】すぐとうーずるきり (仕事を怠ける)。

するす [sɻusɻ] [名] [する<sup>1</sup>すまい...] しるし。印。証拠。【例】がんにゅーしゃぬ するす (健康のしるし)。

するす [sɻusɻ] [動 I 類 c 型] [するし一、するしやん] 印す。印しを付ける。

するまかり [sɻrumaka] [名] [するまか<sup>1</sup>りまい...] おつゆ椀。

するみ [sɻrumi] [名] [するみまい...] するめ。

するみ [sɻrumi] [名] [する<sup>1</sup>みまい...] 白身。卵の白身。白身の魚。

ずろーす [dzɻro:sɻ] [名] [ずろー<sup>1</sup>すまい...] 女性用の下着。

すん [sɻn] [助数] ~寸。長さの単位。1寸は1尺の10分の1。

すん [sɻn] [動変則 a 型] [すに一、すにん] 死ぬ。【例】やみーどう すんたり (病気で死んだ)。【類】「みーぬうていり」。

すんあばなき [sɻn.apanaki] [連語] [罵声] 死んでしまえ。憎い人へ言う。

すんか [sɻnka] [名] [すん<sup>1</sup>かまい...] 臣下。仲間。人夫。

すんがた [sɻngata] [名] [すんがたまい...] 死に近いこと。【類】「すんばた」。

ずんぎ [dzɻngi] [名] [ずんぎまい...] 魚の小骨。

ずんぐーるまーす [dzɻngu:ruma:sɻ] [名] [ずんぐー<sup>1</sup>るまーすまい...] 陣独楽回し。独楽回し遊び。【同】「じんぐーるまーす」。

ずんばい [dzɻnbai] [名] [ずんばいまい...] 満載。積み荷の多いこと。

すんばかり [sɻnbaka:] [名] [すんばかりまい...] 死に別れ。死別。【同】「すにばかり」。

すんばた [sɻnbata] [名] [すんばたまい...] 死に近い。【類】「すんがた」。

すんばたらぎ [sɻnpatarakɻ] [名] [すんばたらぎまい...] 死に働き。重労働。一心不乱に働くこと。

すんぱっじゃき [sɻnpaddzaki] [名] [すんぱっじゃきまい...] 死にそこない。いのち拾い。

すんぱっじゃきり [sɻnpaddzaki] [動 II 類 a 型] [すんぱっじゃき一、すんぱっじゃきん] 死に損なう。命拾いする。

すんびー [sɻnbi:] [名] [すんびーまい...] すんび<sup>1</sup>ーまい... 泥酔。死に酔い。【例】かれーすんびーう しーり (彼は泥酔だ)。

すんぴとう [sɻnpitu] [名] [すんぴとうまい...] すんぴ<sup>1</sup>とうまい... 死人。【例】すんぴとうぬ みばな (死に顔)。

すんぶり [sɻnburi] [名] [すんぶりまい...] 死に惚れ。死ぬほど惚れる。べた惚れ。【類】「まーぶり」。

すんぼー [sɻnpo:] [名] [すんぼ<sup>1</sup>ーまい...] 寸法。長さを計測すること。

すんみばな [sɻnmipana] [名] [すんみばなまい...] すんみば<sup>1</sup>なまい... 死に顔。

すんやム [sɻn.jam] [名] [すんやムまい...] すんや<sup>1</sup>ムまい... 死ぬほど痛い。耐えられないほど痛いこと。

— そ —

そー [so:] [名] [そーまい...] 相。手相。顔つき。様子。

そーく [so:ku] [名] [そーくまい...] 倉庫。

そーこー [so:ko:] [名] [そーこーまい...] 霜降。二十四節気の一つ。10月23日頃。

そーずうく [so:dzuku] [名] [そーずうくまい...] 相続。財を受け継ぐこと。

そーとー [so:to:] [形] [そーとーまい...] 相当。程度の大きいこと。【例】そーとーな むぬ (大したもの)。

そーどー [so:do:] [名] [そーどーまい...] 騒動。大勢の人が騒ぎ立てる。多良間騒動。

そーば [so:ba] [名] [そーばまい...] 相場。値段。買い物の値段に言う。

そーびつかい [so:bitsukai] [名] [そーびつかまい...] 送別会。

そん [son] [名] [そんまい...] 村。多良間村。村史参照。

そんちょー [sontɕo:] [名] [そんちょーまい...] 村長。村民の長。村の最高責任者。

そんやくば [son.jakuba] [名] [そんやくばまい...] 村役場。村の行政の中枢機関。

## — た —

た [ta] [接尾]～達。複数を表わす。【例】やらびた(子ども達)。べーた(私達)。うやた(親達)。しゅーた(おじいさん達)。

た [ta] [接尾]～方。～辺り。～方向。【例】くまた(この辺り)。かまた(あの辺り)。うまた(その辺り)。

だ [da] [接尾]～せよ。命令接辞。【例】しゅだ(やれよ)。ふぁーだ(食べよ)。

たー [ta:] [名] 二。数の単位。〈ていー、たー、みー〉(一、二、三)のように数えるときに使う。

たー [ta:] [名] [疑] [たーがむぬまい...。たーがむ<sup>1</sup>ぬまい...] 誰。助詞〈が〉(～が、～の)助詞としか使われない。【例】たーが(誰が。誰の)。たーが すぐとう(誰の仕事)。くれー たーが すぐとうが(誰の仕事か?)。たーが むぬ(誰のもの)。くれー たーが むぬが(これは誰のものか?)。たーが わじゃ(誰の仕事)。くれー たーが わじゃが(これは誰の仕業か?)。

たー [ta:] [名] [たーまい...] 田。たんぼ。【例】たらまだー(石垣島にある多良間村有の田)。

だー [da:] [名] [だーまい...] 広場。辻。集会所。【例】っふあむりだー(子守する広場)。いすムにだー(雨乞いをする四辻)。

だー [da:] [感] 馬を止めることば。

だー ぶらいん [da: burain] [連語]～ないではおられない。【例】ぬまだー ぶらいん(飲まないではいられない)。

たーイズう [ta:ɪzu] [名] [魚] [たーイズうまい...] 鮒(ふな)。

たーヴヴあす [ta:vvas] [動I類c型] [たーヴヴあしー、たーヴヴあしやん] めまいさせる。

たーヴヴイ [ta:vvi] [動I類c型] [たーヴヴいー、たーヴヴあん] めまいする。【例】たーヴヴいった(めまいした)。

たーく [ta:ku] [擬] [たーく<sup>1</sup>んまい...] 泥酔している様。

だーぐ [da:gu] [名] [だー<sup>1</sup>ぐまい...] だんご。餅の小さいもの。麦粉を水でこねて作る。

たーくみかす [ta:kumikas] [動I類c型] [たーくみかしー、たーくみかしやん] 泥酔させる。

たーくみギ [ta:kumiki] [動I類c型] [たーくみきー、たーくみかん] 泥酔する。よれよれの状態になる。

だーぐむつー [da:gumutsu:] [名] [だー<sup>1</sup>ぐむつーまい...] だんご餅。

たーしー [ta:ɕi:] [助]～まで。【例】うまたーしー(そこまで)。

たーしーがみ [ta:ɕi:gami] [連語]～まで。【例】ピさらたーしーがみ いギたり(平良まで行った)。

たーす [ta:s] [動I類c型] [たーしー、たーしやん] くっつける。ぶつける。【例】たーし(くっつけなさい。ぶつけよ)。

だーす [da:s] [助数] ダース。本数の単位。1だーすは12本。

たーすめー [ta:sme:] [名] [たーすめ<sup>1</sup>ーまい...] ぶつけ勝負。

たーち [ta:tɕi] [名] 二つ。しゃむいの用語。

たーち [ta:tɕi] [感] 幼児語。赤ちゃんを立たせる。起立させる。

だーっていー [da:titi:] [擬] すばやい様。

たービ [ta:bi] [名] [たー<sup>1</sup>ビまい...] 足袋。地下足袋。

たームー [ta:mm] [名] [たーム<sup>1</sup>ーまい...] どろんこ遊び。雨の後にどろんこになって遊ぶ。

たームーピさ [ta:mmɸisa] [名] [たーム<sup>1</sup>ーピさまい...] 土踏まずのない足。

たーら [ta:ra] [名] [たーらまい...。たーらま<sup>1</sup>い...] 俵。粟俵。麦俵。豆俵。

たーらぐー [ta:ragu:] [名] [たーらぐーまい...。たーらぐ<sup>1</sup>ーまい...] 俵籠。穀物を入れる袋。

たーリ [ta:] [助数]～たり。～人。～名。人数の単位。【例】ふたーリ(二人)。ミ<sup>3</sup>たーリ(三人)。ゆたーリ(四人)。いつたーリ(五人)。ムたーリ(六人)。ななたーリ(七人)。やたーリ(八人)。くくぬたーリ(九人)。とうたーリ(十人)。

たーり [ta:ri] [動 II 類 a 型] [たーりー、たーりん] 十分寝ること。熟睡する。【例】たーりー(熟睡)。にんたーりー(寝むり足りた)。たーりった(熟睡した)。ムめ たーりった(もう熟睡した)。

だーり [da:ri] [接尾] 仕事に邪魔や妨げが入る際に使う言葉。複合語の形で使う。【例】ていまーだーり(手間のかかる。ややこしい)。

たーりり [ta:ri:ri] [動 II 類 a 型] [たーりー、たーりん] 合わせる。同調する。譲り合う。【例】あんー たーりー する(私に合わせてしなさい)。やらびん たーりー ー わーり(子どもに合わせてやって下さい)。たーりった(合わせた)。ピさん たーりった(足に合った)。

たーん なす [ta:n nas] [連語] 田にする。雨降りに畑に入ると、どろんこになることから、田んぼのようだと例える。

たーん なり [ta:n na] [連語] 田になる。雨降りに畑に入るとどろんこになって、田んぼのようになること。

たイ [taɪ] [名] [た<sup>1</sup>イまい...] 松明。いざり用の明り。

たイ [taɪ] [名] [たイま<sup>1</sup>い...] 束。火種用の束。昔、いざり用に枯れすすきを束にした。

たい [tai] [名] [た<sup>1</sup>いまい...。たいま<sup>1</sup>い...] 嫉妬。ねたみ。そねみ。

だい [dai] [助数] ~台。車の数の単位。【例】ぐだい(五台)。

だい [dai] [名] [だ<sup>1</sup>いまい...] 代。代金。値段。金額。【類】「にだん」。

だい [dai] [名] [だ<sup>1</sup>いまい...] 代用。代わり。代用教員。代車。

だい [dai] [名] [だ<sup>1</sup>いまい...] 台。飯台。指揮台。

たいあん [taian] [名] [たいあ<sup>1</sup>んまい...] 大安。

たいがい [taigai] [副] 大概。大体。おおよそ。

たいかく [taikaku] [名] [たいかくまい...] 体格。体つき。

だいがく [daigaku] [名] [だいがくまい...] 大学。大学校。最高学府。

たいかん [taikan] [名] [たいかんまい...] 大寒。二十四節気の一つ。1月20日頃。

たいぎ [taigi] [名] [たい<sup>1</sup>ぎまい...] 大儀。ご苦労の意味。

だいき [daiki] [名] [だい<sup>1</sup>きまい...] 大基。シートヤーの歯車を支える本体。

だいきち [daikitci] [名] [だい<sup>1</sup>き<sup>1</sup>ちまい...] 大吉。

たいく [taiku] [名] [たい<sup>1</sup>くまい...] 太鼓。

たいけいしゅ [taikeiŃu] [名] [たいけい<sup>1</sup>しゅまい...] 大茎種。さとうきびの種類。茎の太い品種。

たいしつ [taiŃitsɯ] [名] [たいしつ<sup>1</sup>んまい...] 大切。重要。大事なもの。

たいしゅ [taiŃu] [名] [たい<sup>1</sup>しゅまい...] 大暑。二十四節気の一つ。7月23日頃。

たいしゅく [taiŃuku] [名] [たいしゅ<sup>1</sup>くまい...] 退職。

たいしょー [taiŃo:] [名] [たいしょ<sup>1</sup>ーまい...] 大将。

だいず [daidzɯ] [名] [植] [だい<sup>1</sup>ずまい...] 大豆。

だいず [daidzɯ] [形] [だい<sup>1</sup>ずまい...] 大事。大変な事。大事なこと。危険である。やばい。【例】だいずな くとう(大事な事)。

たいせつ [taisetsɯ] [名] [たいせ<sup>1</sup>つまい...] 大雪。二十四節気の一つ。12月7日頃。

だいたい [daitai] [副] 大体。おおよそ。大部分。

だいだい [daidai] [副] 代々。何代も続く。

だいだま [daidama] [名] [だいだままい...] ダイナマイト。

たいていー [taiti:] [副] 大抵。大部分。

だいとうかい [daitukai] [名] [だいとうか<sup>1</sup>いまい...] 大都会。

だいばん [daiban] [形] [だいば<sup>1</sup>んまい...] 大盤。大型。【例】だいばんピとう(大きい人)。

たいふー [taifu:] [名] [たいふーまい...] 台風。大風。宮古島を襲った大きな台風はサラ(1959年9月)、コラ(1966年9月)、デラ(1968年9月)がある。

たいまつ [taimatsɯ] [名] [たいま<sup>1</sup>つまい...] 松明。枯れすすきを束ねて火をつけ、照明具とする。

だいよー [daijo:] [名] [だいよ<sup>1</sup>ーまい...] 代用。

代用教員。

たいら [taira] [名] [たいらまい...] 子どもなどが太っていること。

たいらヴヴァ [tairavva] [名] [たいらヴヴァまい...] 太っている子ども。【類】「たいらやらび」。

たいらぎリ [tairagi] [動II類c型] [たいらぎ一、たいらぎん] たいらげる。全部食べる。残さず食べる。【例】たいらぎった (全部食べた)。

たいらやらび [tairajarabi] [名] [たいらやらびまい...] 太っている子ども。【類】「たいらヴヴァ」。

たいリ [tai] [動II類c型] [たい一、たいん] 嫉妬する。ねたむ。そねむ。【例】たいんな (嫉妬するな。ねたむな)。

たいリ [tai] [動II類c型] [たい一、たいん] 耐える。【例】たいる (耐えなさい。がまんしなさい)。たいんな (耐えるな)。やムゆば一 たいんな (病気は耐えるな)。

たいりく [tairiku] [名] [たいり<sup>1</sup>くまい...。たいりくゆー<sup>1</sup>らまい...] 体力。根気。

たいわん [taivan] [名] [地] [たいわん<sup>1</sup>んけ<sup>1</sup>まい...] 台湾。

たいわんばしや [taivanbaça] [名] [たいわんば<sup>1</sup>しやまい...] 台湾バナナ。【同】「たいわんばしよ一」。

たいわんばしよ一 [taivanbaço:] [名] [たいわんば<sup>1</sup>しよ<sup>1</sup>まい...] 台湾バナナ。【同】「たいわんばしや」。

たいわんぼ一 [taivanbo:] [名] [たいわんぼ<sup>1</sup>まい...] 円方脱毛症。

たう [tau] [名] [疑] [たうまい...] 誰。【例】ヴヴァ一 たうが (君は誰か)。たうが一 (誰かなあ)。たうげ一 (誰かなあ)。

たう [tau] [名] [たう<sup>1</sup>んけ一まい...] 唐。唐の国。中国。【同】「と一」。

だう [dau] [名] [だ<sup>1</sup>うまい...] 道具。【同】「ど一」。

だう [dau] [擬] たくさんあること。【例】だうど一 (たくさんあるよ)。

だヴヴァ [davva] [擬] [だヴヴァてい一...] 重い

物を放り投げる様。

たヴヴァイ [tavvɨ] [動I類c型] [たヴヴァい一、たヴヴァん] たぐる。引き寄せる。【例】たヴヴァい (引き寄せよ。たぐれ)。んな一う たヴヴァい (縄を引け)。たヴヴァい一 く一 (引き寄せて来なさい)。

たうヴヴァ [tauvva] [名] [たうヴ<sup>1</sup>ヴァまい...] 台所。母家と離れた物置き。【同】「と一ヴヴァ」。

たうか一 [tauka:] [名] [たうか一まい...。たうか<sup>1</sup>まい...] 一人。一人者。【例】たうか一し一 (一人で)。たうか一な一 (一人づつ)。たうか一に一 (一人だけで)。【同】「と一か一」。

たうか一あすビ [tauka:asɸbɨ] [名] [たうか一あす<sup>1</sup>ビまい...] 一人遊び。【同】「と一か一あすビ」。

たうか一あリギ [tauka:aɺkɨ] [名] [たうか一あ<sup>1</sup>リギまい...] 一人歩き。【同】「と一か一あリギ」。

たうか一ヴヴァ [tauka:vva] [名] [たうか一ヴ<sup>1</sup>ヴァまい...] 一人っ子。【同】「と一か一ヴヴァ」。

たうか一くらす [tauka:kurasɨ] [名] [たうか一く<sup>1</sup>らすまい...] 一人暮らし。【同】「と一か一くらす」。

たうか一ばる一 [tauka:baru:] [名] [たうか一ば<sup>1</sup>る一まい...] 一人笑い。【同】「と一か一ばる一」。

たうか一びきヴヴァ [tauka:bikivva] [名] [たうか一び<sup>1</sup>きヴヴァまい...] 一人息子。【同】「と一か一びきヴヴァ」。

たうか一ぶりみギ [tauka:buɺmikɨ] [動I類c型] [たうか一ぶ<sup>1</sup>りみ<sup>1</sup>き一、たうか一ぶ<sup>1</sup>りみ<sup>1</sup>かん] 一人でつぶやく。一人でぶつぶつを言う。【同】「と一か一ぶりみギ」。

たうか一まつまつ [tauka:matsɨmatsɨ] [連語] 一人待ち待ち。待ち合わせをそれぞれの場所で待つこと。【同】「と一か一まつまつ」。

たうか一み一み一 [tauka:mi:mi:] [連語] お互いに見合う。【同】「と一か一み一み一」。【類】「ピとう<sup>1</sup>りみ一み一」。

たうか一みどうム [tauka:midum] [名] [たうか一み<sup>1</sup>どう<sup>1</sup>ムまい...] 一人女。未婚の女性。【同】「と一か一みどうム」。

たうかーみどうムヴヴあ [tauka:midumvva] [名] [たうかーみどうムヴヴあまい...] 一人娘。【同】「とーかーみどうムヴヴあ」。

たうかーむぬ [tauka:munu] [名] [たうかーむぬまい...] 一人者。独身のこと。【同】「とーかーむぬ」。

たうかーむぬふー [tauka:munufu:] [名] [たうかーむぬふーまい...] 一人で食べる。【同】「とーかーむぬふー」。

たうかーむぬゆム [tauka:munujum] [名] [たうかーむぬゆ<sup>1</sup>ムまい...] 一人言を言う。【同】「とーかーむぬゆム」。

たうがに [taugani] [名] [たうが<sup>1</sup>にまい...] 唐金。宮古民謡。【同】「とーがに」。

たうぎー [taugi:] [名] [植] [たうぎーまい...] たぶのき。【同】「とーぎー」。

たうす [taus] [動I類c型] [たうしー、たうしーん] 倒す。【例】きーゆ たうす (木を倒す)。【同】「とーす」。

だうず [daudz] [名] [だう<sup>1</sup>ずまい...] 上手。【同】「どーず」。

だうずしゃーり [daudzçai:] [形] [だうず<sup>1</sup>しゃまい...] 上手。【同】「どーずしゃーり」。

たうた [tauta] [名] [疑] [たうたまい...] 誰ら。誰たち。【同】「とーた」。

たうたう [tautau] [擬] [たうたうていー...] 作物が生い茂る様。【同】「とーとー」。

だうだう [daudau] [擬] [だうだうていー...] たくさん。

たうたが ムめ [tautaga mme] [名] [疑] [たうた<sup>1</sup>がムめ<sup>1</sup>まい...] 誰ら。誰たち。【同】「とーたがムめ」。

たうとう [tautu] [名] [たうとうま<sup>1</sup>い...] 唐沖。神に祈りをするこば。手を合わせて祈る。【同】「とーとう」。

たうとうがなす [tautuganas] [名] [たうとうがな<sup>1</sup>すまい...] 神を尊敬することば。【同】「とーとうがなす」。

たうに [tauni] [名] [たうにまい...] 豚の給飼器。【同】「とーに」。

たうピ [taup] [名] [たう<sup>1</sup>ピまい...] 当日。行事

の中心の日。【同】「とーピ」。

たうふ [taufu] [名] [たう<sup>1</sup>ふまい...] 豆腐。【同】「とーふ」。

たうふかす [taufukas] [名] [たう<sup>1</sup>ふかすまい...] 豆腐粕。おから。うのはな。【同】「とーふかす」。

たうふつ [taufuts] [名] [たうふ<sup>1</sup>つまい...] ぎこちない言葉。久しぶりに帰省した人の島ことば。【同】「とーふつ」。

たうふばく [taufubaku] [名] [たうふば<sup>1</sup>くまい...] 豆腐を固まらせる箱。【同】「とーふばく」。

たうふゆー [taufuju:] [名] [たうふゆ<sup>1</sup>ーまい...] 湯豆腐。おぼろ豆腐。【同】「とーふゆー」。

たうみかす [taumikas] [動I類c型] [たうみかしー、たうみかしーん] (肥料などを入れて) 生い茂らせる。

だうみかす [daumikas] [動I類c型] [だうみかしー、だうみかしーん] 多くする。たくさんの人を集める。

たうみギ [taumik] [動I類c型] [たうみきー、たうみかん] 生い茂る。草や農作物が繁茂する。

だうみギ [daumik] [動I類c型] [だうみきー、だうみかん] 多い。たくさんの人が集まる。大勢の人がいる。

たうむム [taumum] [名] [植] [たうむムまい...] やまもも。在来種のもも。【同】「とーむム」。

たうらす [tauras] [動I類c型] [たうらしー、たうらしーん] 倒す。【例】たうらし (倒せ)。きーゆ たうらし (木を倒せ)。きーゆ たうらす (木を倒す)。【同】「とーらす」。

だうり [dauri] [助] ~らしい。【例】あんしーぎだうり (そうらしい)。【同】「どーり」。

だうり [dauri] [名] [だうりまい...] 道理。正しい理論。【例】むぬぬ だうり (ものの道理)。【同】「どーり」。

たか [taka] [名] [たかまい...] 鷹。さしぼのこと。

たかー [taka:] [接尾] ~ば。~したら。条件を表わす。【例】うんすたかー (そうすれば)。ふーたかー (食べれば)。【同】「たからー」。「ていからー」。「ていからー」。

だかー [daka:] [接尾] ~なければ。~なかったら。

【例】うんしー しゅだかー (そうしなければ)。  
 【同】「だからー」。

たかあす [takaasʰ] [名] [たかあ<sup>1</sup>すまい...] 高足。腿を上げて歩くこと。

たかあたり [takaata] [名] [たかあた<sup>1</sup>りまい...] 高あたり。高くつくこと。費用が高いこと。

たかーながー [taka:naga:] [名] [井戸] [たかーながーまい...] 井戸の名。人工井戸。

たかうじん [takaudzin] [名] [たかうじ<sup>1</sup>んまい...] 高いお膳。4カ所に脚がある膳。

たかがまつ [takagamatsʰ] [名] [たかがま<sup>1</sup>つまい...] 頬が高いこと。またその人。

たかぎー [takagi:] [名] [たかぎ<sup>1</sup>ーまい...] 高木。【例】たかぎーんどう かでー あたり (高い木に風は当たる)。

たかごー [takago:] [名] [たかご<sup>1</sup>ーまい...] 鷹の歌。宮古一円に歌った。

たかしがー [takaçiga:] [名] [井戸] [たか<sup>1</sup>しがーまい...] 井戸の名。人工井戸。

たかしばま [takaçibama] [名] [地] [たか<sup>1</sup>しばままい...] 多良間島の〈とうぶり〉の名前。村史参照。

たかしゃ [takaça] [名] [たか<sup>1</sup>しゃまい...] 高さ。【例】たかしゃめー (高さ比べ)。

たかしゃ [takaça] [名] [たか<sup>1</sup>しゃまい...] 崇むこと。先祖を崇むこと。崇拜。【例】かムゆ たかしゃ (神を拝む)。

たかしゃ なす [takaça nasʰ] [連語] 高くなる。【例】いすう たかしゃ なす (椅子を高くする)。

たかしゃ なり [takaça na] [連語] 高くなる。【例】くじゅゆーらー たかしゃ なりった (去年より背が伸びた)。

たかしゃーり [takaça:ɽi] [形] [たか<sup>1</sup>しゃまい...] 高い。値段・身の丈・草丈・山の高さなどに言う。【例】たかどうくな (高い所)。たかだい (値段が高い)。

たかしゃーり [takaça:ɽi] [形] [たか<sup>1</sup>しゃまい...] 崇。敬う。【例】たかしゃすー (崇拜する)。

たかしゃめー [takaçame:] [名] [たか<sup>1</sup>しゃめーまい...] 背くらべ。

たかじゅーし [takadzu:çi] [名] [たかじゅーしま

い...。たかじゅー<sup>1</sup>しまい...] さしばの雑炊。

たかしり [takaçiri] [名] [貝] [たかし<sup>1</sup>りまい...] たかせ貝。【同】「たかすり」。

たかす [takasʰ] [動I類c型] [たかしー、たかしゃん] 炊かせる。米を炊かせる。【例】たかし (炊かせよ。米を炊かせよ)。

たかす [takasʰ] [動I類c型] [たかしー、たかしゃん] 焚かせる。火を熾させる。【例】たかし (焚かせよ。火を熾させよ)。

だかす [dakasʰ] [動I類a型] [だかしー、だかしゃん] 抱かせる。【例】だかし (抱かせよ)。つふあう だかし (子どもを抱かせよ)。だかしゃ (抱かせよう。自分の子を他人に抱いてもらう)。だかしゃまん (抱かさない。自分の子を他人に抱いて欲しくない)。

たかすり [takasʰri] [名] [貝] [たかす<sup>1</sup>りまい...] たかせ貝。【同】「たかしり」。

たかすりぬし [takasʰrinuçi] [名] [貝] [たかす<sup>1</sup>りぬしまい...] たかせ貝。

たかすんず [takasʰndzʰ] [名] [たかすんずまい...。たかすん<sup>1</sup>ずまい...] さしばの煎じ汁。さしばのお汁。

たかた [takata] [名] [地] [たか<sup>1</sup>たまい...] 多良間島の〈とうぶり〉の名前。村史参照。

たかだい [takadai] [名] [たかだ<sup>1</sup>いまい...] 高代。高値。

たかだい [takadai] [名] [たかだ<sup>1</sup>いまい...。たかだ<sup>1</sup>いまい...] 高台。多良間小学校校歌の歌詞「こうだい」のこと。

たかどうくな [takadukuna] [名] [たかどうく<sup>1</sup>なまい...] 高い所。

たかとうり [takatuɽi] [名] [たかとうりまい...。たかとう<sup>1</sup>りまい...] さしば狩。寒露の時期にさしばを捕獲する。今は禁止。

たかなム [takanam] [名] [たかな<sup>1</sup>ムまい...] 高波。波浪。

たかにつ [takanitsʰ] [名] [たかにつまい...] 高熱。体温の高いこと。熱っぽいこと。

たかぬ すばり [takanu sʰba] [名] [たかぬすば<sup>1</sup>りまい...] さしばの小便。さしばの飛来するときの雨のこと。

たかぬ つかイ [takanu tsɯkaɪ] [名] [鳥] [たかぬつか<sup>1</sup>イまい...] あかはらだかのこと。

たかぬ やー [takanu ja:] [名] [たかぬや<sup>1</sup>ーまい...] さしばの家。宮古の人たちはさしばの行きつく所は多良間島の林の中だと歌にした。

たかぬずム [takanudzɯm] [名] [たかぬず<sup>1</sup>ムまい...] 高望み。身の程しらず。

たかば [takapa] [名] [たか<sup>1</sup>ばまい...] 高い所。【類】「たかどうくな」。「たかばな」。

たかばーっふえ [takaba:ffe] [名] [鳥] [たかばー<sup>1</sup>っふえまい...] むくどり。さしばの飛来する1ヶ月前に群れをなす。

たかばーどうリ [takapa:du] [名] [たかばー<sup>1</sup>リまい...] 乳児の這う様。四肢を使って這う。【同】「たかペーどうリ」。

たかばた [takabata] [名] [たかば<sup>1</sup>たまい...] 高機。機織機。

たかばな [takabana] [名] [たかばなまい...] さしばを捕獲する仕掛け。おとり。罟。

たかばな [takapana] [名] [たかばなまい...] 高い所。【類】「たかどうくな」。「たかば」。

たかばな [takapana] [名] [たかば<sup>1</sup>なまい...] 高い鼻。またその人。

たかび [takabi] [名] [たかびまい...] 崇み。拝むこと。神への祈り。村たかび。【例】かずたかび(鍛冶崇)。

たかびし [takabiçi] [名] [たかび<sup>1</sup>しまい...] 高い干瀬。引き潮の時に最初に現れる干瀬。

たかびリ [takabi] [動II類c型] [たかびー、たかびん] 崇み。拝む。崇拝する。

たかぶり [takabu] [動I類c型] [たかぶりー、たかぶらん] 知識があるように見せかける。【例】たかぶりな(えらそうにするな)。

たかぶり [takaburi] [名] [たかぶりまい...] えらそうにしていること。

たかぶりむぬ [takaburimunu] [名] [たかぶりむ<sup>1</sup>ぬまい...] えらそうな人。人間性に欠ける人。

たかペーどうリ [takape:du] [名] [たかペー<sup>1</sup>リまい...] 乳児の這う様。四肢を使って這う。【同】「たかばーどうリ」。

たかま [takama] [名] [魚] [たか<sup>1</sup>ままい...] と

びはぜ。【類】「むつーべ」。

たかまじゃれ [takamaçare] [名] [たかまじゃ<sup>1</sup>れまい...] 中指。

たかまっふあ [takamaffa] [名] [たかまっ<sup>1</sup>ふあまい...] 高枕。枕を高くする。生活が安定するたとえ。

たかまり [takama] [動I類c型] [たかまりー、たかまらん] 高まる。高くなる。

たかみり [takami] [動II類c型] [たかみー、たかみん] 高める。高くする。高くする作業。【例】ムめびっちゃ たかみる(もう少し高めよ)。

たかムな [takamna] [名] [貝] [たかム<sup>1</sup>なまい...] たかせがい。

たかむぬ [takamunu] [名] [たかむ<sup>1</sup>ぬまい...] 高いもの。高い人。高い木。高い家。

たかやすム [takajasɯm] [名] [たかやす<sup>1</sup>ムまい...] 太陽の入りがおそいこと。晴れた日のこと。

たから [takara] [名] [たからにーまい...。たからにーま<sup>1</sup>い...] 宝。大切なもの。子宝。

たからー [takara:] [接尾] ~ば。~したら。条件を表わす。【例】くるー すたからー だみどー(これをしたらだめだよ)。【同】「たかー」。「ていからー」。

だからー [dakara:] [接尾] ~なければ。~なかったら。【例】くるー しゅだからー だいずどー(これをしなかったら大変だよ)。【同】「だかー」。

たからす [takarasɯ] [動I類c型] [たからしー、たからしゃん] たからせる。群がらせる。【例】ぱイウ たからすな(蠅をたからすな)。

たからむぬ [takaramunu] [名] [たからむ<sup>1</sup>ぬまい...] 宝物。主として子どものこと。「宝石」は誤り。

たかり [taka] [動I類c型] [たかりー、たからん] たかる。群がる。【例】たかりー ぶり(群がっている。群衆)。しゃたんどー あかりぬ たかり(砂糖に蟻が群がる)。

たかりー [takari:] [名] [たかり<sup>1</sup>ーまい...] 高い利子。高利。

たかんじゃ [takandza] [名] [たかん<sup>1</sup>じゃまい...] 背の高い人。

たギ [takɯ] [動I類c型] [たきー、たかん] 炊く。煮る。【例】まーしゅたギ (塩を作ること)。  
 たギ [takɯ] [動I類a型] [たきー、たかん] 焚く。火を焚く。薪を燃やす。  
 たき [taki] [名] [た<sup>1</sup>きまい...] 丈。身長。【例】たけー あげ (丈はある。衣服を作るときの布の長さの足りていること)。たけー たらーん (丈は足りない。体格の大きい人に布地の長さが足りない)。  
 たき [taki] [名] [た<sup>1</sup>きまい...] せい。故。原因。仕業。【例】ヴヴァあが たき (君のせいだ)。  
 たき [taki] [名] [植] [たきまい...] 竹。【例】あうだき (青竹)。たきぼー (竹棒)。たけー ねーん (竹やぶは見るかげもない)。  
 だギ [dakɯ] [動I類a型] [だきー、だかん] 抱く。子守する。【例】だギあんが (守姉)。だきー ヴェーがらし (抱いて大きくしなさい。子守して育てなさい)。だギな (抱くな)。  
 だき [daki] [接尾] ~だけ。~程。【例】うんだき (それだけ。それほど)。くんだき (これだけ)。かんだき (あれだけ)。  
 だき [daki] [接尾] ~のように。~の如く。【例】ながしがーぬ みずだき (ナガシガーの水のように)。  
 たギあぎり [takɯagi] [動II類c型] [たギあぎー、たギあぎん] 炊きあげる。【例】まーしゅー たギあぎった (塩は炊きあげた)。  
 だギあに [dakɯani] [名] [だギあ<sup>1</sup>にまい...] 抱き姉。子守した姉のこと。  
 たきうピー [takiuɸi:] [名] [たきうピーまい...。たきうピー<sup>1</sup>まい...] 竹の帯。竹のたが。【例】たるぬ たきうピー (樽 (桶) の竹帯)。  
 たきぐす [takigusɯ] [名] [たきぐすまい...] 竹の鞭。竹の棒。  
 たきぐす [takigusɯ] [名] [たきぐすまい...] 竹串。竹でできている串。  
 たきくび [takikubi] [名] [たきく<sup>1</sup>びまい...] 竹の壁。竹で作った壁。  
 たギくム [takɯkum] [動I類c型] [たギくみー、たギくまん] 炊き込む。保存食として余計に炊くこと。

たきじえーふ [takidze:fu] [名] [たきじえーふまい...] 竹細工。竹の工作。ざるを作る。  
 たきじやう [takidzau] [名] [たきじやうまい...] 竹竿。物干し竿。釣り竿。  
 たぎす [tagisɯ] [名] [植] [たぎ<sup>1</sup>すまい...] のいちご。  
 たぎすやま [tagisjama] [名] [植] [たぎ<sup>1</sup>すやままい...] 野苺の生い茂っている所。  
 だギつギ [dakɯtsɯkɯ] [動I類c型] [だギつきー、だギつかん] 抱きつく。子どもが母を抱きつく。  
 たきつつ [takitsɯtsɯ] [名] [たきつつまい...] 竹筒。竹で作った筒。水筒。  
 たギでいり [takɯdi] [動II類c型] [たギでいー、たギでいん] 炊き出す。大勢の人に料理すること。  
 たきぬ つふあ [takinu ffa] [名] [たきぬつ<sup>1</sup>ふあまい...] 竹の子。  
 たきぬ ぱな [takinu pana] [名] [たきぬぱなまい...。たきぬぱ<sup>1</sup>なまい...] 竹の花。60年に一度咲くといわれる。  
 たきぼうギ [takibaukɯ] [名] [たきぼうぎまい...] 竹箒。竹で作った箒。【同】「たきぼーギ」。  
 たきふギ [takifugɯ] [名] [たきふぎまい...] 竹釘。竹の釘。船大工が用いる。  
 だギふし [dakɯfusi] [名] [だギふ<sup>1</sup>しまい...] 抱きくせ。赤ちゃんに抱くくせをつけると成育が遅くなる。  
 たきふす [takifusɯ] [名] [たきふすまい...] 竹櫛。竹で作った櫛。  
 たきふでい [takifudi] [名] [たきふでいまい...] 竹筆。大工道具。木材に竹筆で墨をつける。  
 たきぶとう [takibutu] [名] [たきぶ<sup>1</sup>とうまい...] 丈太。身長の大きいこと。またその人。【類】「うぶピとう」。  
 たきぼーギ [takibo:kɯ] [名] [たきぼーぎまい...] 竹箒。竹で作った箒。【同】「たきぼうギ」。  
 だギます [dakɯmasɯ] [名] [だギますまい...] 抱榊。生後初めての十五夜に神酒を仏壇に供えること。  
 たきやま [takijama] [名] [たきやままい...] 竹山。竹林。八重山遠見の竹林。

たきやり° [takija:] [名] [たきやりまい...] 竹槍。竹で作った槍。戦時に婦人の訓練に使った。

たぎらす [tagiras:] [動I類c型] [たぎらしー、たぎらしゃん] たぎらす。沸騰させる。煮つめる。【例】ぬくりる たぎらし (残りはたぎらしなさい)。

たきり° [taki:] [動I類c型] [たきりー、たきらん] 病人の弱い声。うめき声。

たぎり° [tagi:] [動I類c型] [たぎりー、たぎらん] たぎる。煮え立つ。湧き上がる。たぎり立つ。勇ましいこと。【例】たぎりなび (煮え立つ鍋)。

たく [taku] [名] [魚] [たくま<sup>1</sup>い...] 蛸。【例】たこー いでいが (蛸はどれか。漁から帰って来る人に言う)。たかだいたく (高い値の蛸)。たこー たかだい (蛸は高値)。たこー ムまむぬ (蛸はおいしい)。

たぐ [tagu] [名] [た<sup>1</sup>ぐまい...] 桶。樽。【類】「ぐき」。

たくヴヴあ [takuvva] [名] [たくヴ<sup>1</sup>ヴあまい...] 小児麻痺の子。

たぐかたみ [tagukatami] [名] [たぐかた<sup>1</sup>みまい...] 桶担ぎ。桶を担ぐこと。【例】みずたぐかたみ (水桶担ぎ)。

たくたく [takutaku] [擬] [たくたくてい...] 蛸のようにやわらかい体。元気のない人のこと。

たくとうれ [takuture] [名] [たくとう<sup>1</sup>れまい...] 蛸とり名人。

たくぬ つふい [takunu ffi] [名] [たくぬつ<sup>1</sup>ふまい...] 蛸のすみ。

たくぬ ていー [takunu ti:] [名] [たくぬてい<sup>1</sup>ーまい...] 蛸の手。蛸の足のこと。

たくぬ やー [takunu ja:] [名] [たくぬや<sup>1</sup>ーまい...] 蛸の家。蛸の巣穴。【類】「あでいく」「あでいふ」。

たくまーり° [takuma:] [名] [たくまー<sup>1</sup>りまい...] 蛸とり回り。蛸とり漁。

たくまいり° [takumai:] [動II類c型] [たくまいー、たくまいん] ねらわれる。陥いられる。【例】か<sup>1</sup>りんどー たくまいー ねーん (彼に陥れられた)。【同】「たくまりり°」。

たくまりり° [takumari:] [動II類c型] [たくまりー、たくまりん] ねらわれる。陥いられる。【同】「たくまいり°」。

たくみかす [takumikas:] [動I類c型] [たくみかしー、たくみかしゃん] 元気をなくす。なよなよさせる。殴ってよちよちさせる。

たぐみがに [tagumigani] [名] [た<sup>1</sup>ぐみがにまい...] 桶めがね。船上からのぞきこむためのめがね。

たくみぎ° [takumiki:] [動I類c型] [たくみきー、たくみかん] 元気がない。なよなよする。

たくム [takum] [動I類c型] [たくみー、たくまん] ねらう。陥いれる。

たぐゆー [taguju:] [名] [た<sup>1</sup>ぐゆーまい...] 桶結い。桶作り。

たぐり° [tagu:] [動I類c型] [たぐりー、たぐらん] たぐり寄せる。物を引き寄せるために縄をたぐること。【例】ふにう たぐり° (船をたぐり寄せる)。

たくわい [takuvai] [名] [たくわいまい...] 貯え。貯金。食糧を貯えること。

たくわいり° [takuvai:] [動II類] [たくわいー、たくわいん] [たくわいまい...] 貯える。貯金する。食糧を貯える。【例】じんゆ たくわいり° (お金を貯える。貯金する)。ふーむぬーたくわいり° (食べ物を貯える)。

たけー ならん [take: naran] [連語] 手に追えない。相手にできない。【類】「ぎずエーならん」。

たこーやま [tako:jama] [名] [たこ<sup>1</sup>ーやまい...] 八月おどりの笠おどりの歌。多幸山。

たしやーり° [taça:] [形] したい。やりたい。【例】すばり° すたしやーり° (小便したい)。

たす [tas:] [動I類c型] [たしー、たしゃん] 足す。加える。添える。つぎたす。

だす [das:] [名] [だ<sup>1</sup>すまい...] だし。味を出させるもの。【例】かちゆーだす (カツオだし)。

たすかしやーり° [tas:kaca:] [形] [たすか<sup>1</sup>しやまい...] 確か。【例】たすかん あムどー (確かにあるよ)。たすかげーらい (確かなことかなあ)。ばなすエー たすかげーらい (話は確かなあ)。たすかべーム (確かですか)。うれー

たすかべーム (これは確かなことですか)。たすかやー (確かだなあ)。かりが ぱなすエー  
たすかやー (彼の話は確かだなあ)。  
たすかみり [tasɕkami] [動 II 類 c 型] [たすかみー、たすかみん] 確かめる。【例】まーんていーな たすかみり (本当か確かめる)。  
たすからん [tasɕkaran] [連語] 役に立たない。  
たすからん むぬ [tasɕkaran munu] [名] [たすからんむぬまい...] 役立たず。  
たすかり [tasɕka] [動 I 類 c 型] [たすかりー、たすからん] 助かる。楽になる。【例】たすからん (助からない。生き返らない)。かしーすば たすかり (手伝うから楽になる)。  
たすき [tasɕki] [名] [たすきまい...] たすきがけ。着物の袖をたくしあげるのに使うひも。  
たすき [tasɕki] [名] [たすきまい...] 助け。助けること。手伝うこと。補助すること。奉仕すること。  
たすきあい [tasɕkiai] [名] [たすきあまい...] 助け合い。【例】たすきあい すが (助け合いの仕事に行く)。  
たすきり [tasɕki] [動 II 類 c 型] [たすきー、たすきん] 助ける。救助する。援助する。ボランティア。【例】じんしー たすきり (金で援助する)。  
たすなみ [tasɕnami] [名] [たすなみまい...] 注意。悪いことをした子どもに対する注意。  
たすなみり [tasɕnami] [動 II 類 a 型] [たすなみー、たすなみん] 悪いことをした子どもに注意する。軽く教えること。  
たすなむ [tasɕnam] [動 I 類 a 型] [たすなみー、たすなまん] 嗜む。好む。趣味する。勉強する。習う。  
たずにり [tadzɕni] [動 II 類 c 型] [たずにー、たずにん] 尋ねる。  
だすむぬ [dasɕmunu] [名] [だすむぬまい...] だしの利いた食べもの。  
ただ [tada] [副] ひたすら。【例】ただ ぱりーぶたり (ひたすら走ってばかりいた)。  
ただ [tada] [副] 無料。【例】ただむぬ (無料のもの)。みーむのー ただ (見物は無料)。

だだ [dada] [擬] [だだていー...] 持っていたものが力尽きて落ちること。  
だだー [dada:] [擬] 液体がこぼれる様。勢よくこぼれること。【例】だだーていー むりーぶり (勢よくたくさんこぼれている)。  
だだーていー [dada:ti] [副] 家の雨もりのひどい様。  
たたかイ [tatakaɕ] [名] [たたかイまい...] 戦い。競争。勝負。戦争。  
たたかう [tatakau] [動 I 類 c 型] [たたけー、たたかーん] 戦う。武器を持って戦うこと。【同】「たたくー」。「たたこー」。  
たたギ [tataki] [名] [たたギまい...。たたギまい...] オリオン座の三つ星。  
たたギ [tataki] [動 I 類 c 型] [たたきー、たたかかん] 叩く。手や棒で叩く。穀物を精げる。【例】たたかだ (叩きなさい。肩をたたきなさい)。たたきー うくし (叩いて起こしなさい)。たたきー とうらし (叩いてしまえ。こらしめろ)。たたきー ならーし (叩いて教えよ。人にも動物にも言う)。たたきー ならし (叩いて鳴らしなさい。鐘や太鼓を叩くこと)。たたきー みーだ (叩いてごらんさい)。たたきー みーる (叩いてみよ)。  
ただギ [tadaki] [動 I 類 c 型] [ただきー、ただかかん] 尋ねる。尋問する。取り調べる。訪問する。  
たたギばり [tatakiɕba] [動 I 類 c 型] [罵声] [たたギばりー、たたギばらん] 叩いて割る。  
たたギふー [tatakiɕfu:] [動 I 類 c 型] [罵声] [たたギふえー、たたギふあーん] 食いやがる。  
たたギぶり [tatakiɕbu] [動 I 類 c 型] [たたギぶりー、たたギぶらん] 叩き折る。叩く。殴る。木の枝を叩き折る。  
たたギんギ [tatakiɕnki] [動 I 類 c 型] [たたギんきー、たたギんかん] 叩き込む。  
たたくー [tataku:] [動 I 類 c 型] [たたけー、たたかーん] 戦う。【同】「たたかう」。「たたこー」。  
ただぐとう [tadagutu] [名] [ただぐとうまい...] 平常の事。いつもの事。【例】ただぐとー あらん (平常でない)。  
たたこー [tatako:] [動 I 類 c 型] [たたけー、たた

かーん) 戦う。【同】「たたかう」。「たたくー」。

たたす [tatas] [動I類c型] [たたしー、たたし  
ゃん) 立たせる。

たたす [tatas] [動I類c型] [たたしー、たたし  
ゃん) 建たせる。

たたす [tatas] [動I類c型] [たたしー、たたし  
ゃん) 経たせる。

ただす [tadas] [動I類c型] [ただしー、ただし  
ゃん) 糾す。糾断。正す。【例】ただし(糾しな  
さい)。

たたずギ [tatadzɣkɿ] [名] [た<sup>1</sup>たずギ<sup>1</sup>まい...] 来  
月。次の月。

ただなぐミ [tadanagumɿ] [名] [ただ<sup>1</sup>なぐミ<sup>1</sup>ま  
い...] 多田名組。八月おどりの組踊りの一つ。  
村史参照。

ただなり [tadana] [名] [植] [ただな<sup>1</sup>りまい...]  
みやこじまばたんづる。

ただばたらギ [tadabatarakɿ] [名] [ただばたらギ  
まい...] 無駄働き。

たたます [tatamas] [動I類c型] [たたましー、  
たたましゃん) たたませる。【例】ギんゆ たた  
ます(着物をたたませる)。

たたみ [tatami] [名] [たたみまい...] 畳。和室の  
敷き物。

だだみギ [dadamikɿ] [動I類c型] [だだみきー、  
だだみかん) 落ちこぼれる。こぼれることの強  
調語。家の雨もりがひどい様。【例】いつばん  
から だだみギ(一番から落ちた)。

たたみやー [tatamija:] [名] [たたみやーまい...]  
畳工場。畳商売の人。

たたム [tatam] [動I類c型] [たたみー、たたま  
ん) たたむ。着物をたたむ。店を閉じる。【例】  
もーふー たたム(毛布をたたむ)。

だたム [datam] [接尾] ~しなかった。過去否定  
の接辞。【例】ふあーだたム(食べなかった)。  
いかだたム(行かなかった)。

ただむぬ [tadamunu] [名] [ただむぬまい...] 無  
料もの。もらいもの。

たたり [tata] [動I類c型] [たたりー、たたら  
ん) 祟る。災厄に陥れる。

ただりり [tadari] [動II類c型] [ただりー、た

だりん) ただれる。皮ふがただれる。【例】ふ  
くぬ ただりり(服がただれる)。

たちあい [tatçiai] [名] [たちあ<sup>1</sup>いまい...] 立ち  
合い。立ち合い演説。

たちあいにん [tatçiainin] [名] [たちあいに<sup>1</sup>んま  
い...] 立ち合い人。立ち合うための人。

たちあう [tatçiau] [動I類c型] [たちえー、た  
ちあーん) 立ち合う。【同】「たちおー」。

たちおー [tatçio:] [動I類c型] [たちえー、たち  
あーん) 立ち合う。【同】「たちあう」。

たちぬギ [tatçinukɿ] [動I類c型] [たちぬきー、  
たちぬかん) 立ち退く。居場所を離れる。【例】  
たちぬきった(立ち退いて行った。居場所を離  
れて移動した)。

たつ [tatsɿ] [名] [干支] [た<sup>1</sup>つまい...] 辰。十二  
支の五番目。辰年。たつどうい。竜。

たつ [tatsɿ] [名] [た<sup>1</sup>つまい...] 家畜小屋。畜舎。  
【例】うすだつ(牛小屋)。ぬーまだつ(馬小屋)。  
びんだだつ(山羊小屋)。

たつ [tatsɿ] [名] [た<sup>1</sup>つまい...] 痔臓。

たつ [tatsɿ] [名] [た<sup>1</sup>つまい...] 剣。つるぎ。刀。  
日本刀。

たつ [tatsɿ] [動I類c型] [たていー、たたん) 立  
つ。起立する。【例】たていった(立った)。

たつ [tatsɿ] [動I類c型] [たていー、たたん) 経  
つ。経過する。一日経つなど。

たつ [tatsɿ] [動I類c型] [たていー、たたん) 鋭  
い。刃物がよく切れる。

だつ [datsɿ] [名] [魚] [だ<sup>1</sup>つまい...] だつ。新  
しい言い方。【類】「すず」。

たつあぎり [tatsɿagi] [動II類c型] [たつあぎ  
ー、たつあぎん) 立ち上げる。棟上げする。建  
設する。【例】たつあぎった(立ち上げた。建  
設した)。

たつういギ [tatsɿuigɿ] [名] [たつうい<sup>1</sup>ぎまい...]  
立ち泳ぎ。

たっかーす [takka:sɿ] [動I類c型] [たっかーし  
ー、たっかーしゃん) くつつける。二つ以上の  
物をくつつける。【例】いたう たっかーす(板  
をくつつける)。

たつかにり [tatsɿkani] [動II類c型] [たつかに

一、たつかにん] 立ち兼ねる。立ちにくい。【例】  
 ぱぎやみー たつかにり (足が痛くて立ちにくい)。  
 たつからす [tatsʃkarasʃ] [動I類a型] [たつからしー、たつからしゃん] 火を熾す。【例】ちきぎにー たつからす (マッチで燃やす)。  
 たつかり [tatsʃka] [動I類a型] [たつかりー、たつからん] 火が熾る。火が燃える。【例】うまつエー たつかりった (火は燃えた)。  
 たつがり [tatsʃgari] [名] [たつが<sup>1</sup>りまい...] 立ち枯れ。木の立ち枯れ。  
 たつがりぎー [tatsʃgarigi:] [名] [たつがりぎ<sup>1</sup>ーまい...] 立ち枯れの木。  
 たつがりり [tatsʃgari:] [動II類c型] [たつがりー、たつがりん] 立ち枯れる。木が立ち枯れる。  
 たつぎぎ [tatsʃgikʃ] [名] [たつぎ<sup>1</sup>ぎまい...] 立ち聞き。こっそり聞く。立ち止って聞く。  
 たつきり [tatsʃki:] [動II類c型] [たつきー、たつきん] 火を熾す。火を燃やす。火を焚く。  
 たつきり [tatsʃki:] [動I類a型] [たつきりー、たつきらん] 断ち切る。交際を断つ。【例】かりとー たつきりぐまた (彼とは縁を切る)。  
 だっくく [dakkuku] [名] [だっく<sup>1</sup>くまい...] 脱穀。穀類を精げること。  
 たつぐりしゃーり [tatsʃguriçə:] [形] [たつぐり<sup>1</sup>しゃまい...] 立ちにくい。【例】つぶすぬ やみー たつぐりしゃーり (ひざ通でたちにくい)。  
 たっしゃ [taçça] [名] [たっしゃまい...] 達者。元氣。  
 たっじゃす [taddzasʃ] [動I類c型] [たっじゃしー、たっじゃしゃん] たぎらす。食べ残りの鍋のものを温める。  
 たっずー [taddzʃ:] [動I類c型] [たっじー、たっじゃん] たぎる。食べ残りの鍋のものが温まる。  
 たつすかま [tatsʃsʃkama] [名] [たつすか<sup>1</sup>まい...] 立ち仕事。立ったままの仕事。  
 たつすぐとう [tatsʃsʃgutʃ] [名] [たつすぐ<sup>1</sup>とうまい...] 立ち仕事。立ったままの仕事。  
 だったい [dattai] [名] [だった<sup>1</sup>いまい...] 脱退。

団体から退ける。  
 たつっふあがり [tatsʃffaga] [動I類c型] [たつっふあがりー、たつっふあがらん] 立ちふさがり。  
 たつどうい [tatsʃdui] [名] [干支] [たつどういまい...] 辰年生まれ。  
 たつどうーす [tatsʃdu:sʃ] [名] [たつどうー<sup>1</sup>すまい...] 立ち通し。立ったままの姿勢。  
 たつどうす [tatsʃdusʃ] [名] [たつどうすまい...] 辰年。辰年生れ。  
 たつどうまり [tatsʃduma] [動I類c型] [たつどうまりー、たつどうまらん] 立ち止まる。  
 たつなうらす [tatsʃnaurasʃ] [動I類c型] [たつなうらしー、たつなうらしゃん] 立ち直らせる。厳しくしつける。【例】たつなうらした (立ち直らせた)。【同】「たつの一らす」。  
 たつなうり [tatsʃnau] [動I類c型] [たつなうりー、たつなうらん] 立ち直る。【同】「たつの一り」。  
 たつにり [tatsʃni] [名] [たつに<sup>1</sup>りまい...] 立って歌う〈ニり〉(神歌)。  
 たつぬい [tatsʃnu:] [名] [干支] [たつぬいまい...] 辰の日。  
 たつぬいぬ ピー [tatsʃnu:nu pi:] [名] [干支] [たつぬいぬピーまい...] 辰の日。  
 たつぬいぬまり [tatsʃnu:nu mmari] [名] [干支] [たつぬいぬま<sup>1</sup>りまい...] 辰の日生まれ。辰の日に生まれた人。  
 たつの一らす [tatsʃno:rasʃ] [動I類c型] [たつの一らしー、たつの一らしゃん] 立ち直らせる。厳しくしつける。【同】「たつなうらす」。  
 たつの一り [tatsʃno:] [動I類c型] [たつの一りー、たつの一らん] 立ち直る。【同】「たつなうり」。  
 たつびー [tatsʃbi:] [名] [たつび<sup>1</sup>ーまい...] ひざを曲げた状態の座り方。  
 だっふあ [daffa] [擬] [だっふあていー...] 大股で力強く歩くときに言う。  
 だっふあだっふあ [daffadaffa] [擬] 大股で力強く歩くときに言う。「だっふあ」を強調した言い方。

だっふあみぎ[daffamikj] [動I類c型] [だっふあみき一、だっふあみかん] 大股で力強く歩く。

たつふしゃがり [tatsʃuɕaga] [動I類c型] [たつふしゃがり一、たつふしゃがらん] 立ちふさがる。妨害する。【例】ていーゆ ピすうぎー たつふしゃがり (両手を広げて立ちふさがる)。

【同】「たつっふあがり」。

たつむどうり [tatsʃmudu] [動I類c型] [たつむどうり一、たつむどうらん] 立ち戻る。用事を済まさないで立ち戻る。

たつゆり [tatsʃju] [動I類c型] [たつゆり一、たつゆらん] 立ち寄る。

たつんてい [tatsʃnti] [名] [干支] [たつんていまい...] 辰年。

たてい [tati] [名] ~種類。種類別。【例】ミたてい (三種類)。ゆたてい (四種類)。

たてい [tati] [名] [た<sup>1</sup>ていまい...] 縦。【例】たていゆく (縦横)。

だてい [dati] [名] ~沿い。【例】いムだてい (海に沿って)。しゅばだてい (側に沿って)。

だてい [dati] [名] ~建て。【例】にかいだてい (二階建て)。

たていかい [tatikai] [名] [たていか<sup>1</sup>まい...] 立て替え。他人に替って支払う。

たていかいり [tatikai] [動II類c型] [たていかい一、たていかいん] 立て替える。

たていずる [tatidzɾu] [名] [たていず<sup>1</sup>るまい...] 味噌に水や湯を注ぐだけの汁。【同】「たていムすー」。

たていだてい [tatidati] [名] [た<sup>1</sup>ていだていまい...] いろいろ。さまざま。【例】たていだていすこーり (色々料理を作る)。

たていなー [tatina:] [名] [たていなーまい...] 立て縄。船から一本釣りする漁のこと。

たていなうす [tatinausj] [動I類c型] [たていなうしー、たていなうしゅん] 建て直す。【例】がばやーう たていなうす (古い家を建て直す)。

【同】「たていのーす」。

たていのーす [tatino:sj] [動I類c型] [たていのしー、たていのしゅん] 建て直す。【例】がばやーう たていのーす (古い家を建て直す)。

【同】「たていなうす」。

たていふだ [tatifuda] [名] [たていふ<sup>1</sup>だまい...] 立て札。看板。

たていまい [tatimai] [名] [たていまいまい...。たていま<sup>1</sup>まい...] 建前。表向き。原則。

たています [tatimasj] [名] [たていま<sup>1</sup>すまい...] 建て増すこと。増築。

たていムすー [tatimsɯ:] [名] [たていムす<sup>1</sup>ーまい...] 味噌に水や湯を注ぐだけの汁。【同】「たていずる」。

たていゆく [tatijuku] [名] [た<sup>1</sup>ていゆくんまい...] 縦横。【例】たていゆく みーる (縦横を見ろ)。

たていり [tati] [動II類c型] [たてい一、たていん] 立てる。建てる。【例】ぱらう たていり (柱を立てる)。

たていん なり [tatin na] [連語] 縦になる。縦に並ぶ。

たてーす [tatesɯ] [動I類c型] [たてーしー、たてーしゅん] 混ぜる。酒を水割りする。【例】たてーし (酒を水割りしなさい)。

たてーすじゃき [tatesɯdzaki] [名] [たてーすじゃ<sup>1</sup>きまい...] 水割り酒。

たてーすむぬ [tatesɯmunu] [名] [たてーすむ<sup>1</sup>ぬまい...] 水割りしたもの。水割りした酒。

たとうい [tatui] [副] たとえ。【例】たとうい あんしー あらばまい (たとえそうであっても)。

たとうい [tatui] [副] たとえ。かりに。【例】たとういばなす (たとえ話)。

たとういじゆく [tatuidzuku] [名] [たとういじゆ<sup>1</sup>くまい...] 喩え話。

たとういばなす [tatuibanasj] [名] [たとういばな<sup>1</sup>すまい...] たとえ話。【例】んけーんぬ たとういばなす (昔のたとえ話)。

たとういり [tatui] [動II類c型] [たとうい一、たとういん] たとえる。たとえて言う。【例】いらいピとうー たとういり (偉い人をたとえる)。

たどうり [tadu] [動I類c型] [たどうり一、たどうらん] 辿る。探す。求める。たどり着く。【例】やっとうしー たどうりー ギー (やっこのことでたどり着いた)。

たどうりつぎ [tadu[tsjk] [動I類c型] [たどう

りづき一、たどうりづかん] 辿り着く。  
 たな [tana] [名] [たなまい...] 棚。本棚。水屋。  
 【例】たなぬ うい (棚の上)。たなぬ ういゆ  
 みーる (棚の上を見よ)。たなぬ すた (棚の  
 下)。たなぬ なか (棚の中。棚に置かれている  
 もの)。たなぬ ほん (棚の本。本棚の本)。た  
 なう かきり (棚を作る)。  
 たなかぎ [tanakaki] [名] [たなか<sup>1</sup>ぎまい...] 棚  
 作り。木を組み合わせて棚を作ること。  
 たなぎり [tanagi] [動 II 類 c 型] [たなぎ一、た  
 なぎん] 手をはずす。仕事を止める。「手投げ  
 る」が語源。【例】たなぎる (手をはずせ。仕事  
 を止めよ)。  
 たなばた [tanabata] [名] [たなばたまい...] 七  
 夕。7月7日の星祭り。昔は旧暦に行った。  
 たに [tani] [名] [たにま<sup>1</sup>い...] 種子。血統。来年  
 の種子。種子繁殖作物の種子。穀類など。【例】  
 たね一 とうらん (種子は取っていない)。たね  
 一 ねーん (種子はない)。  
 たに [tani] [名] [たにまい...] たにゆーり<sup>1</sup>らま  
 い... 陰のう。辜丸。【例】たね一 とうらん  
 (辜丸は取っていない。去勢はしていない)。た  
 ね一 ねーん (辜丸はない。去勢した家畜のこ  
 と)。【類】「ふぐり」。  
 たに [tani] [名] [たにまい...] ぐりぐりしている  
 もの。【例】いムまらだに (りんば腺の肥大)。  
 たにうき [taniuki] [名] [たにう<sup>1</sup>きまい...] 種受  
 け。血統を継ぐこと。血統のよい種 (しゅ) を  
 継承すること。作物や家畜に言う。  
 たにうす [taniusu] [名] [たにう<sup>1</sup>すまい...] 種牛。  
 種つけ用の牛。繁殖用の牛。牡牛。  
 たにうらす [taniurasu] [名] [たにうら<sup>1</sup>すまい...]  
 種下ろし。種蒔きのこと。苗床に種子を播くこ  
 と。【同】「たにうらす」。  
 たにうるす [taniurusu] [名] [たにうる<sup>1</sup>すまい...]  
 種下ろし。種蒔きのこと。苗床に種子を播くこ  
 と。【同】「たにうらす」。  
 たにがー [taniga:] [名] [井戸] [たにがーまい...]  
 井戸の名。自然井戸。  
 たにがー [taniga:] [名] [地] [たにが<sup>1</sup>ーまい...]  
 多良間島の〈とうぶり〉の名前。村史参照。

たにがーり [taniga:] [名] [たにがー<sup>1</sup>りまい...]  
 種変わり。血統ちがい。突然変異。変わり者。  
 人に言う。  
 たにがーりむぬ [taniga:munu] [名] [たにがーり  
 む<sup>1</sup>ぬまい...] 親とちがった性格、体格のこと。  
 たにがし [tanigaçi] [名] [たにが<sup>1</sup>しまい...] 糸。  
 縫い糸。  
 たにぎすい [tanikysi] [名] [たにぎ<sup>1</sup>すまい...]  
 種切れ。血統切れ。  
 たにぎすいり [tanikysi] [動 II 類 c 型] [たにぎ  
 すい一、たにぎすいん] 種が切れる。血統が切  
 れる。血統が途絶える。  
 たにく [taniku] [名] [たにく<sup>1</sup>まい...] 小さなか  
 たまり。【例】たにく一 つっふい (小さなかた  
 まりを作れ)。  
 たにくたにく [tanikutaniku] [擬] [たにくたにく  
 てい一...] 小さな塊が転がっている様。  
 だにしゃーり [daniçari] [形] [だに<sup>1</sup>しゃまい...]  
 易い。簡単である。動詞に付いて「～しやす  
 い」を表わす。【例】かぎだにしゃーり (書きやす  
 い)。すーだにしゃーり (しやすい)。  
 たにしゆく [taniçuku] [名] [たにしゆ<sup>1</sup>くまい...]  
 谷底。八月おどりの笠おどりの一節。  
 たにすー [tanis:] [名] [たにす<sup>1</sup>ーまい...] 血統。  
 血筋。一族。【例】かんけー たにすー (彼らは  
 一族だ)。【類】「しゃに」。  
 たにつー [tanits:] [名] [たにつ<sup>1</sup>ーまい...] 血す  
 じ。血統。系統。遺伝。【同】「たにすー」。  
 たにつぎ [tanitsk:] [動 I 類 c 型] [たにつき一、  
 たにつかん] 種付く。交尾する。  
 たにつき [tanitski] [名] [たにつ<sup>1</sup>きまい...] 種  
 つけ。交尾させること。  
 たにつきり [tanitskiri] [動 II 類 c 型] [たにつき  
 一、たにつきん] 種付ける。交尾させる。【類】  
 「つーばす」。  
 たにとり [tanitu] [名] [たにとり<sup>1</sup>りまい...] 種  
 取り。辜丸をとる。去勢。【類】「ふぐりとり」。  
 たにとれ [taniture] [名] [たにとり<sup>1</sup>れまい...]  
 去勢する人。  
 たにぬーま [taninu:ma] [名] [たにぬー<sup>1</sup>まい...]  
 種馬。雄馬。繁殖用の馬。

たにビ [tanibj] [名] [たにビまい...] 種火。次の火つけまで残しておく炭火。

たにピギ [tanipjki] [名] [たにピギまい...] 血統。系統。遺伝。【類】「しゃにピギ」。

たにびんだ [tanipinda] [名] [たにびん<sup>1</sup>だまい...] 種山羊のこと。繁殖用の山羊。

たにまギ [tanimakj] [名] [たにま<sup>1</sup>ギまい...] 種播。播種。

たにまギうりー [tanimakjuri:] [名] [たにまギうり<sup>1</sup>まい...] 種播きのよい潤い。畑の潤い。畑のしめりけ。

たにまギずぶん [tanimakjdzjibun] [名] [たにまギずぶ<sup>1</sup>んまい...] 種播きのよい時期。

たにむぬ [tanimunu] [名] [たにむぬまい...。たにむ<sup>1</sup>ぬまい...] 種物。播種用種子のこと。

たにゆー [taniju:] [名] [たにゆ<sup>1</sup>まい...] 種子油。菜種の油。てんぷらなどの揚げ物に使用する。【類】「まーゆー」。

たにり [tani] [動 II 類 c 型] [たに一、たにん] 捻。ひねる。指先で紙を捻る。こよりを作る。【例】いとうー たにり (糸を捻る)。【類】「ビにり」。

たにわー [taniva:] [名] [たにわ<sup>1</sup>まい...] 種豚のこと。繁殖用の豚。

たぬがギ [tanugakj] [動 I 類 a 型] [たぬがきー、たぬがかん] 頼る。当てにする。

たぬがきり [tanugaki] [動 II 類 a 型] [たぬがきー、たぬがきん] 頼りにする。当てにする。【例】あじゃう たぬがきり (兄を当てにする)。【同】「たるがきり」。

だぬギぎー [danukjgi:] [名] [植] [だぬギぎ<sup>1</sup>まい...] まるばちしゃの木。

たぬすます [tanusmasj] [動 I 類 c 型] [たぬすましー、たぬすましん] 楽しませる。【例】ぶどうりー たぬすます (踊って楽しませる)。

たぬすム [tanusjm] [動 I 類 a 型] [たぬすみー、たぬすまん] 楽しむ。【例】ぱちゅがつぶどうりー たぬすム (八月おどりを楽しむ)。

たぬまいり [tanumai] [動 II 類 c 型] [たぬまいー、たぬまいん] 頼まれる。【例】かしーう たぬまいり (手伝いを頼まれる)。【同】「たぬま

りり」。

たぬまりり [tanumari] [動 II 類 c 型] [たぬまいー、たぬまりん] 頼まれる。【同】「たぬまいり」。

たぬム [tanum] [動 I 類 c 型] [たぬみー、たぬまん] 頼む。【例】たぬムぐとうぬ あり (頼み事がある)。

たねー [tane:] [感] どれか。請求するときに言う。【例】たねー ばが ゆい (どれかぼくがもらおう)。

たねーりむぬ [tane:munu] [名] [たねーりむ<sup>1</sup>ぬまい...] 手慣れた者。器用な人。

たねーりら ねーん [tane:[a nem] [連語] 手慣れない。不器用。

たねーりらーり [tane:[a:] [形] [たねーり<sup>1</sup>らまい...] 手慣れている。【例】たねーりら ねーん (ごこちない)。

たばく [tabaku] [名] [植] [たば<sup>1</sup>くまい...] たばこ。嗜好品としてのたばこ。たばこの葉。

たばくうるす [tabakuurusj] [名] [たば<sup>1</sup>くうるすまい...] たばこ刻み。乾燥したたばこの葉を刻む。

たばくぬ ふしゅ [tabakunu fuču] [名] [たばく<sup>1</sup>ぬふしゅ<sup>1</sup>まい...] 煙草のやに。きせるにつくやに。

たばくふギ [tabakufukj] [名] [たば<sup>1</sup>くふギまい...] 喫煙。たばこを吸うこと。【類】「たばくやギ」。

たばくふけ [tabakufuke] [名] [たば<sup>1</sup>くふけまい...] 喫煙家。【類】「たばくやけ」。

たばくぶん [tabakubun] [名] [たばくぶ<sup>1</sup>んまい...] たばこ盆。燻 (おき) を入れた盆。【類】「うギとうり」。

たばくぼーちよー [tabakubo:to:jo:] [名] [たば<sup>1</sup>くぼーちよーまい...] たばこの葉を刻む包丁。

たばくまっちゃ [tabakumattča] [名] [たば<sup>1</sup>くまっちゃまい...] たばこ販売店。

たばくやギ [tabakujakj] [名] [たば<sup>1</sup>くやギまい...] 喫煙。たばこを吸うこと。【類】「たばくふギ」。

たばくやけ [tabakujake] [名] [たば<sup>1</sup>くやけまい...] 喫煙家。たばこを吸う人。【類】「たばくふけ」。

だばだば [dapadapa] [擬] [だばだばていー...] 水滴が落ちる様。

だばみかす [dapamikas] [動 I 類 c 型] [だばみかしー、だばみかしゃん] 水滴を落とす。

だばみぎ [dapamik] [動 I 類 c 型] [だばみきー、だばみかん] 水滴が落ちる。

たばらす [tabaras] [動 I 類 c 型] [たばらしー、たばらしゃん] くっつけさせる。汚す。染める。泥をくっつける。【例】いるー たばらす (色を染める)。

たばらす [tabaras] [動 I 類 c 型] [たばらしー、たばらしゃん] 束ねさせる。【例】ふしゃう たばらす (草を束ねさせる)。

たばらす [tabaras] [動 I 類 c 型] [たばらしー、たばらしゃん] 群がらす。集まらす。集めること。【例】あかりる たばらす (蟻を集める)。

たばらす [tabaras] [動 I 類 c 型] [たばらしー、たばらしゃん] 喧嘩させる。【例】ふたーりる たばらし (二人を喧嘩させよ)。【同】「あうやー」。「おーやー」。

たばらん [tabaran] [連語] 立ち打ちできないこと。強すぎること。

たばり [taba] [動 I 類 c 型] [たばりー、たばらん] くつつく。染まる。汚れる。

たばり [taba] [動 I 類 c 型] [たばりー、たばらん] 束ねる。しばる。【例】たばりな (束ねるな)。ふしゃう たばらだ (草を束ねなさい)。

たばり [taba] [動 I 類 c 型] [たばりー、たばらん] 群がる。集まる。【例】あかりぬ たばり (蟻が群がる)。

たばり [taba] [動 I 類 c 型] [たばりー、たばらん] 喧嘩する。【例】たばりな (喧嘩するな)。

たばりめー [tabame:] [名] [たばりめ<sup>1</sup>ーまい...] 束ね勝負。さとうきびを束ねる競争。

たばりんな [tabanina] [名] [たばりん<sup>1</sup>なまい...] 束ねる縄。縛る縄。

たビ [tab] [名] [たビまい...] 島外にること。【例】かれー たビんどう ぶり (彼は島外にいる)。

たビ [tab] [名] [たビまい...] 旅。旅行。【例】うぎなーたビ (沖縄本島への旅)。たビから (旅

から)。めーくたビから (宮古島から)。たビんけー (旅へ。旅行に出かける)。

たビ [dab] [名] [だビまい...] 茶毘。葬式。

たビうしゃぎ [tabuŋcagi] [名] [たビうしゃぎまい...] 旅の見送り。

たビおか [tapioka] [名] [植] [たビお<sup>1</sup>かまい...] きゃっさば。【類】「なんよームー」。

たビぎー [tabigi:] [名] [植] [たビぎーまい...] おおはぎ。紙の原料。

たビしゅがり [tabiŋcuga] [名] [たビしゅがりまい...]。たビしゅが<sup>1</sup>りまい... 旅への支度。旅行支度。

たビずかり [tabidzɯkari] [名] [たビずかりまい...]。たビずか<sup>1</sup>りまい... 旅疲れ。

たビたつ [tabitats] [名] [たビたつまい...] 旅への出発。旅立ち。

たビとう [tabitu] [名] [たビ<sup>1</sup>とうまい...] でこぼこ。しわ。紙、布、衣服のしわ。人には言わない。

たビなり [tabinari] [名] [たビなりまい...] 旅慣れ。旅行に慣れていること。

たビなりむめ [tabinarimunu] [名] [たビなりむめまい...] 旅行に慣れたもの。

たビにがイ [tabiniga] [名] [たビにがイまい...] 航海安全願い。船旅の時代の願い事。

たビぱい [tabipai] [名] [たビぱ<sup>1</sup>いまい...] 旅栄え。他の地で栄えること。

たビピとう [tabipitu] [名] [たビピとうまい...] 旅行者。旅人。【例】かれー たビピとうがやう (彼は旅行者のようだ)。

たビまーれ [tabima:re] [名] [たビまーれまい...] 旅回れ。旅行の好きな人。

たビましゃりがた [tabimaŋa:gata] [名] [たビましゃりが<sup>1</sup>たまい...] 精霊ばった。

たビましゃれ [tabimaŋare] [名] [昆虫] [たビましゃ<sup>1</sup>れまい...] しょうりょうばった。

たビムかい [tabimkai] [名] [たビムかいまい...] 旅迎え。旅から来る人を迎える。【類】「ふなムかい」。

だふ [dafu] [擬] [だふていー...] 重い物の落ちる様子。

たぶギ [tapugi] [動I類 a 型] [たぶぎー、たぶがん] たたむ。衣類などをたたむ。

たぶく [tabuku] [名] [植] [たぶ<sup>1</sup>くまい...] たばこ。【同】「たばく」。

だふだふ [dafudafu] [擬] [だふだふていー...] 集会所にわがままな歩きをする様。【類】「だっふあだっふあ」。

だぶだぶ [dabudabu] [擬] [だぶだぶていー...] 衣服のサイズの大きいときに言う。

だふみギ [dafumiki] [動I類 c 型] [だふみきー、だふみかん] 大勢の人たちが足音を立てて騒ぐ。

だぶらす [daburasu] [動I類 c 型] [だぶらしー、だぶらしゃん] だぶらせる。重ねさせる。重複させる。【例】だぶらすな (重複させるな)。

だぶり [dabu] [動I類 c 型] [だぶりー、だぶらん] だぶる。重なる。重複する。

たぼーリ [tabo:li] [動I類 c 型] [たぼーりー、たぼーらん] 賜わる。下さる。【例】あみぬ たぼーりー わーリ (雨を下さる)。

たま [tama] [名] [たままい...] 玉。球。ボール。丸いもの。【例】たまう イズいる (玉を入れよ)。【類】「まーリ」。

たま [tama] [名] [たままい...] 砲弾。弾丸。【例】たまう くみる (弾を込めなさい)。

たま [tama] [名] [たままい...] ボタン。【例】たまう つきリ (ボタンをつける)。

たま [tama] [名] [たままい...] 水滴。植物の葉の水滴。

たま [tama] [名] [たままい...] 分け前。取り前。【例】あが たまー ねーん (ぼくの分け前はない)。

たま [tama] [副] まれ。久しい。【例】たまん (たまに。ときどき)。たまんや (たまには)。たまんや くだ (たまには来なさい)。たまんや あすビが くー (たまには遊びに来なさい)。

たまイズい [tamaizi] [名] [たまイ<sup>1</sup>ズいまい...] 玉入れ。【例】たまイズいしよーぶ (玉入れ競争)。

たまうぎー [tamaugi:] [名] [植] [たま<sup>1</sup>うぎーまい...] はすのはぎり。

たまうつ [tamautsu] [名] [たまうつまい...] 取り前を平等に分ける。【同】「たまふつ」。

だまがらす [damagarasu] [動I類 c 型] [だまがらしー、だまがらしゃん] あきれさせる。おどろかす。びっくりさせる。【例】だまがらしー みー (驚かしてみよう)。

だまがり [damaga] [動I類 c 型] [だまがりー、だまがらん] たまげる。おどろく。苦勞する。【例】かるー みーたかー だまがりどうす (彼を見たらたまげる)。

たまくがに [tamakugani] [名] [たまくが<sup>1</sup>にまい...] 玉黄金。子どもの愛称。

たます [tamasu] [名] [たま<sup>1</sup>すまい...] 魂。霊。

だます [damasu] [動I類 c 型] [だましー、だましゃん] だます。うそをつく。【例】ピとうー だます (他人をだます)。

たますうかび [tamasukabi] [名] [たま<sup>1</sup>すうかびまい...] 魂拾い。事故の起きた所に行ってその小石を拾って本人にあげること。

たますエー ねーん [tamasu: ne:n] [連語] 魂はない。とても驚くときに体から魂がいなくなるたとえ。

だますん [damasun] [副] 突然に。急に。【例】かるー だますん しー うつき (彼をとっさにやっつけてしまえ)。

たまつギ [tamatsuki] [動I類 c 型] [病] [たまつきー、たまつかん] 癲癩になる。精神科の病氣。

たまとー [tamato:] [名] [植] [たまと<sup>1</sup>まい...] トマト。

たまな [tamana] [名] [植] [たまなまい...] きやべつ。玉菜。

だまな [damana] [助] ~ずつ。【例】ふた一つだまな (二つずつ)。

たまぬ ばり [tamanu bari] [名] [たまぬば<sup>1</sup>りまい...] ガラスの割れた破片。

たまばき [tamabaki] [名] [たまばきまい...] たまば<sup>1</sup>きまい... 取り前を配分すること。

たまふつ [tamafutsu] [名] [たまふつまい...] 取り前を平等に分ける。【同】「たまうつ」。

たます [tamarasu] [動I類 a 型] [たまらしー、

たまらしゃん) 溜めさせる。

たまり [tama] [動I類 a 型] [たまり一、たまらん] 貯まる。溜まる。金が貯まる。水が溜まる。【例】たまらん (貯まらない。貯金できない。池に水がないこと)。

だまり [dama] [動I類 c 型] [だまり一、だまらん] 黙る。

たまりじゅーしゃーり [tama[dzu:ɕa:] ] [形] [たまりじゅーしゃまい...] よく溜まる。早魃のときも水溜りのよいこと。

だまりふし [dama[fuɕi] ] [名] [だまりふ<sup>1</sup>しまい...] 言葉を言わないくせ。

だまりむぬ [dama[munu] ] [名] [だまりむ<sup>1</sup>ぬまい...] 無言の者。

たまりよーしゃーり [tama[jo:ɕa:] ] [形] [たまりよー<sup>1</sup>しゃまい...] よく溜らない。釣瓶に穴が開いて中々水が溜らない。

たまん [taman] [名] [魚] [たまんまい...] はまふえふぎ。

たまん [taman] [副] たまに。まれに。【例】たまんや あすびが くー (たまには遊びに来なさい)。

たまんぐー [tamangu:] ] [名] [貝] [たま<sup>1</sup>んぐーまい...] さぎえの抜け殻。

たみ [tami] [名] [たみまい...] ため。故。せい。【例】ヴヴあが たみ (君のため。君故に。君のせい)。

たみ [tami] [名] [たみま<sup>1</sup>い...] 矯め。【例】ぬーまぬ ちみたみ (馬の爪を矯める)。

たみ [tami] [名] [たみま<sup>1</sup>い...] 我慢。痛いことを我慢すること。

たみ [tami] [名] [たみま<sup>1</sup>い...] 溜め。溜めること。

たみ [tami] [名] [たみま<sup>1</sup>い...] 貯め。貯金。貯蔵。貯めること。

だみ [dami] [形] [だみまい...] 駄目。無駄。【例】あんしー すたかー だみどー (そんなことをしたらだめだよ)。だめー あらん (駄目ではない。失敗ではない)。だみん なし (駄目になしてしまえ)。だみん なすな (駄目にするな)。

たみー [tami:] [感] どれか。【例】たみー みし

ー みーる (どれか見せてごらん)。【類】「たみー」。

たみいき [tamiiki] [名] [たみい<sup>1</sup>きまい...] 溜池。農業用の溜池。用水池。1931年には溜池が完成した。

たみがま [tamigama] [名] [たみが<sup>1</sup>まい...] 我慢。じっとすること。子どもに言う。【例】たみがま しゅだ (がまんしなさい。静かにしなさい。じっとしていなさい)。たみがま する (がまんしなさい。静かにしなさい)。

たみぎむ [tamigimu] [名] [たみギ<sup>1</sup>むまい...] 自制心。心を平静にすること。

たみす [tamisu] [名] [たみすま<sup>1</sup>い...] 試し。試み。【例】たみすん しー みーる (試しにやっごらん)。

たみす [tamisu] [動I類 c 型] [たみしー、たみしゃん] 試す。教訓。【例】たみすむぬどー (しっかり試して見よう)。

たみず [tamidzu] [名] [たみずまい...] 味噌を水で溶かした汁。

たみすむぬ [tamisumunu] [名] [たみすむ<sup>1</sup>ぬまい...] 試しもの。こころみるもの。教訓としたいもの。

たみすん [tamisun] [副] 試しに。【例】たみすん しー みーる (試しにやっごらん)。

だみぬ むぬ [daminu munu] [名] [だみぬむ<sup>1</sup>ぬまい...] 駄目のもの。失敗もの。不用もの。

たみみず [tamimidzu] [名] [たみみずまい...] 溜め水。天水を溜めた水。水がめの水。

たみやー [tamija:] ] [名] [たみや<sup>1</sup>ーまい...] 酒つぼ。ばかす。酒入れ。【類】「ばたす」。

たみやー [tamija:] ] [名] [たみや<sup>1</sup>ーまい...] 小型の甕。

たみり [tami] [動II類 c 型] [たみー、たみん] 矯める。直す。正す。矯正する。【例】たみる (直しなさい)。つぬー たみり (角を矯める)。

たみり [tami] [動II類 a 型] [たみー、たみん] 狙う。的を狙う。

たみり [tami] [動II類 a 型] [たみー、たみん] ボールを受ける。

たみり [tami] [動II類 c 型] [たみー、たみん]

我慢する。耐える。【例】たみる（我慢しなさい）。たみー ぶり（我慢しなさい）。

たみり [tami] [動II類 a型] [たみー、たみん] 溜める。水をかめに溜める。【例】たみる（溜めなさい。雨を水がめに溜める）。たみー うき（溜めておきなさい。貯めておきなさい。貯蔵しなさい）。

だみり [dami] [動II類 c型] [だみー、だみん] ながる。ぶんながる。叩く。【例】だみる（なぐれ。叩け）。だみんな（なぐるな）。

たム [tam] [接尾] ~たよ。【例】すたム（したよ）。みーたム（見たよ）。かぎたム（書いたよ）。ふーたム（食べたよ）。

だム [dam] [助] ~さえも。~でも。【例】かりだムどう すー（彼でさえもできる）。

たむたす [tamutas] [動I類 c型] [たむたしー、たむたしゃん] 保たせる。保持させる。【例】たむたしゃだ（保たせよ）。

たむつ [tamuts] [動I類 c型] [たむていー、たむたん] 保つ。保持する。【例】たむたいん（保つことができない）。

たむとう [tamutu] [名] [たむ<sup>1</sup>とうまい...] 袂。和服の袖の袋状の所。

たむぬ [tamunu] [名] [たむ<sup>1</sup>ぬまい...] 薪。たきぎ。【例】たむぬすが（薪取りに）。たむぬー しー くー（薪を取って来なさい）。たむぬー めーす（薪を燃やす）。たむぬー ゆしる（薪を集めなさい。薪取りをしなさい）。

たむぬうーす [tamunuu:s] [名] [たむ<sup>1</sup>ぬうーすまい...] 薪運び。馬車で運ぶ。

たむぬヴえーき [tamunuve:ki] [名] [たむ<sup>1</sup>ぬヴえーきうまい...] 薪がたくさんあること。

たむぬかたみ [tamunukatami] [名] [たむ<sup>1</sup>ぬかたみまい...] 薪担ぎ。

たむぬばり [tamunuba] [名] [たむ<sup>1</sup>ぬばりまい...] 薪割り。

たむぬピすうー [tamunupisu:] [名] [たむぬピすう<sup>1</sup>ーまい...] 薪拾い。林の中の枯れ枝などを拾う。

たむぬめーす [tamunume:s] [名] [たむ<sup>1</sup>ぬめーすまい...] 薪を燃やすこと。

たむぬめーすべー [tamunume:sjbe:] [名] [たむ<sup>1</sup>ぬめーすべーまい...] 薪を燃やす係。製糖小屋の火を燃やす係。

だムまー [damma:] [助] ~さえも。【例】かりだムまー（彼でさえも）。しゅーだムまー（おじいさんでさえも）。

だムまーどう [damma:du] [連語] ~でさえも。【例】かりだムまーどう（彼でさえも）。

だムまだムま [dammadamma] [擬] 畳や布団を叩くような音。

だムまみかす [dammamikas] [動I類 c型] [だムまみかしー、だムまみかしゃん] 強い力で叩く。太鼓を力強く叩く。

だムまみギ [dammamik] [動I類 c型] [だムまみきー、だムまみかん] 叩く音がする。騒がしい音がする。

だムみかす [dammikas] [動I類 c型] [だムみかしー、だムみかしゃん] 強い力で叩く。太鼓を力強く叩く。【例】だムみかすな（強く叩くな）。

だムみギ [dammik] [動I類 c型] [だムみきー、だムみかん] 叩く音がする。

ためー [tame:] [感] どれか。【例】ためー みしー みーる（どれか見せてごらん）。【類】「たみー」。

たやす [tajas] [動I類 c型] [たやしー、たやししゃん] 絶やす。【例】たやすな（絶やすな）。

たゆらいー わーり [tajurai: vari] [連語] よろしくお願いします。【同】「たゆらいーわーり」。

たゆらりー わーり [tajurari: vari] [連語] よろしくお願いします。【同】「たゆらりーわーり」。

たゆり [taju] [動I類 c型] [たゆりー、たゆらん] 頼る。【例】たゆりな（頼るな）。ピとうんたゆりな（他人に頼るな）。たゆりー くー（頼って来なさい）。たゆりー ぶり（頼っていない）。

たゆり [tajuri] [名] [たゆ<sup>1</sup>りまい...] 便り。旅の人からの知らせ。【例】たゆりぬ あり（便りがある）。

たゆり [tajuri] [名] [たゆ<sup>1</sup>りまい...] 頼り。【例】ヴヴあがどう たゆり（君が頼りだ）。

たゆりがい [tajuɾgai] [名] [たゆりが<sup>1</sup>いまい...]  
頼り甲斐。【例】かれー たゆりがいぬ あり(彼は頼り甲斐がある)。

たゆりやすしゃーり [tajuɾjasɕa:] [形] [たゆりやす<sup>1</sup>しゃまい...] 頼り易いこと。信頼していること。

だら [dara] [終] ~そうだ。~その通り。~そうだろう。【例】あんしーだら (そうだよ)。つげーヴヴあたら (次は君の番だろう)。

だらー [dara:] [終] ~そうだよ。~だろう。【例】くまだらー (ここだろう)。うまだらー (そこだろう)。かまだらー (向こうだろう)。

たらーす [tara:sɿ] [動I類a型] [たらーしー、たらーしゃん] 補足する。満たせる。【例】しゅいー たらーし (添えて満たしなさい)。【類】「うぎなう」。

だらーなー [dara:na:] [終] ~そうだよなあ。【例】うれー じんだらーなー (それは金だよなあ)。しゃうがつだらーなー (正月だよな)。にちよーだらーなー (日曜日だよな)。

たらーんずぎ [tara:ndzɿkɿ] [名] [たらーんず<sup>1</sup>ぎまい...] 旧暦の29日まである月。

たらーんむぬ [tara:nmunu] [名] [たらーんむ<sup>1</sup>ぬまい...] 足りないもの。のろい人。七分とも言う。

たらい [taraɿ] [名] [たらいまい...] 足りること。  
たらい [taraɿ] [名] [たら<sup>1</sup>いまい...] 洗面用(びんだらい)。洗濯用のたらい。

たらいずぎ [taraɿdzɿkɿ] [名] [たらいず<sup>1</sup>ぎまい...] お産の月。子どもの生まれる予定の月。

たらいずぎ [taraɿdzɿkɿ] [名] [たらいず<sup>1</sup>ぎまい...] 旧暦の30日まである月。

たらいり [taraɿɾi] [動II類a型] [たらいー、たらいん] ゆずり合う。ゆずる。【例】やらびんたらいり (子どもにゆずる)。

たらいり [taraɿɾi] [動II類a型] [たらいー、たらいん] 足す。満たしてあげる。足してあげる。【例】くるーまい たらいる (これをも足しなさい)。

たらき [taraki] [名] [たら<sup>1</sup>きまい...] 同年。同年輩。

たらぎ [taragi] [名] [病] [たらぎまい...] 湿疹。  
たらぎ [taragi] [名] [病] [たらぎまい...] 皮膚病。【類】「しゃみ」。「たらぎやム」。

たらぎやム [taragijam] [名] [病] [たらぎや<sup>1</sup>ムまい...] 皮膚病。【類】「しゃみ」。「たらぎ」。

だらきり [darakiɾi] [動II類c型] [だらきー、だらきん] だらける。だらしない。【例】だらきー ねーん (だらけてしまった)。

だらしゃー [daraɕa:] [終] そうでしょう。~でしょう。【例】かまだらしゃー (向うでしょう)。くんだらしゃー (来ないでしょう)。ふらんー だらしゃー (降るでしょう)。

たらず [tarasɿ] [動I類c型] [たらしー、たらしゃん] 垂らす。水を垂らす。小便を垂れる。【例】いとうー たらず (糸を垂らす)。

だらす [darasɿ] [動I類c型] [だらしー、だらしゃん] 垂らす。緩くする。縄を緩く張る。

だらす [darasɿ] [動I類c型] [だらしー、だらしゃん] 疲れさせる。苦勞させる。困らす。【例】つぶあん だらしゃいり (子どもに苦勞させられる)。

たらたら [taratara] [擬] [たらたらていー...] 汗がしたたり落ちる様。

だらだら [daradara] [擬] [だらだらていー...] だらだら。しまりのないこと。ぐずぐず。

たらふ [tarafu] [名] [たら<sup>1</sup>ふまい...] 茶請を入れる皿。

たaram [tarama] [名] [地] [たaram<sup>1</sup>んまい...] 多良間。多良間島。沖縄県宮古郡多良間村。多良間島と水納島からなる。村史参照。

たaramしやうがつ [taramaɕaugatsɿ] [名] [たら<sup>1</sup>ましやうがつまい...] 多良間正月。旧暦の1月1日。旧正月。【同】「たaramしよーがつ」。

たaramしやた [taramaɕata] [名] [たら<sup>1</sup>ましやたまい...] 多良間島産の黒糖。【同】「たaramしやた」。

たaramじやた [taramadzata] [名] [たら<sup>1</sup>まじやたまい...] 多良間砂糖。多良間島名産の黒糖。【同】「たaramじやた」。

たaramしゆんかに [taramaɕunkani] [名] [たら<sup>1</sup>ましゆんかにまい...] 多良間村の民謡。叙情歌。

多良間節 (ニコライ・ネフスキー)。  
 たらましょーがつ [taramaʃo:gatsʃ] [名] [たら<sup>1</sup>ましょーがつまい...] 多良間正月。旧暦の1月1日。旧正月。【同】「たらましょーがつ」。  
 たらまじんじゃ [taramadzindʒa] [名] [たら<sup>1</sup>まじんじゃまい...] 多良間神社。土原豊見親を守護神とする。  
 たらまづま [taramadzɯma] [名] [地] [たら<sup>1</sup>まづままい...] 多良間島。  
 たらまどうー [taramadu:] [名] [たら<sup>1</sup>まどうーまい...] 多良間島と宮古島の間の距離。その距離の遠いこと。遠いことのたとえ。絶海の孤島。  
 たらまぬ しゅー [taramanu ɕu:] [名] [たらま<sup>1</sup>ぬしゅー「まい...」 多良間の首里大屋子のこと。  
 たらまばな [taramabana] [名] [植] [たら<sup>1</sup>まばなまい...] 紅花のこと。染料に使う。  
 たらまمامい [taramamami] [名] [たら<sup>1</sup>まمامいまい...] 多良間豆。緑豆。【類】「あうまみ」。「おーまみ」。  
 たらまやから [taramajakara] [名] [たら<sup>1</sup>まやからまい...] 村のならず者の七人兄弟。  
 たらまゆー [taramaju:] [名] [たら<sup>1</sup>まゆーまい...] 多良間の世。多良間島が楽園であるようにと願いをこめて言う。  
 たらまゆー [taramaju:] [名] [たらまゆー<sup>1</sup>まい...。たら<sup>1</sup>まゆーまい...] 多良間村の民謡。豊年豊作を祈願する歌。  
 たらまゆー [taramaju:] [名] [たら<sup>1</sup>まゆーまい...] 村有船の名前。かりゆすの意味がある。  
 たらみかす [taramikasʃ] [動 I 類 c 型] [たらみかしー、たらみかしゃん] こぼす。車から積み荷をこぼす。  
 たらみぎ [taramikʃ] [動 I 類 c 型] [たらみきー、たらみかん] (水などが) こぼれる。こぼれ落ちる。(汗が) したたる。したたり落ちる。車から積み荷がこぼれる。  
 たり [ta] [接尾] ~た。過去接辞。【例】ふーたり (食べた)。かぎたり (書いた)。  
 たり [tari] [名] [たりま<sup>1</sup>い...] 垂れ。垂れること。雨だれ。  
 たり [tari] [名] [たりま<sup>1</sup>い...] 造ること。【例】

しゃきたり (酒造り)。  
 たり [tari] [名] [たりま<sup>1</sup>い...] 溶かすこと。【例】ムーだり (煮たいもをつぶして溶かす)。ムしゅだり (味噌を溶かした汁)。  
 だり [da] [動 II 類 c 型] [だりー、だりん] 疲れる。【例】だりむぬがー (疲れきったなあ)。  
 だり [dari] [名] [だりま<sup>1</sup>い...] 疲れ。だるいこと。  
 だりかヴヴィ [da] [動 I 類 c 型] [だりかヴヴィー、だりかヴヴィあん] 疲れ果てる。【同】「だりかヴヴィ」。  
 だりかヴヴィ [darikavvʃ] [動 I 類 c 型] [だりかヴヴィー、だりかヴヴィあん] 疲れ果てる。【例】だりかヴヴィすぐとう (重労働)。【同】「だりかヴヴィ」。  
 たりかす [tarikasʃ] [名] [たりかすまい...。たりか<sup>1</sup>すまい...] 酒粕。  
 たりぎ なり [ta] [連語] ~であったかのよう。【例】みーたりぎ なりー (見たかのように)。  
 だりぎんびー [da] [名] [だりぎんびーまい...] 尻をつけて座ること。疲れるときのこと。  
 たりしゃがり [taricaga] [動 I 類 c 型] [たりしゃがりー、たりしゃがらん] 垂れ下がる。【例】ゆだぬ たりしゃがり (枝が垂れ下がる)。  
 だりだり [da] [擬] [だりだりていーまい...] とても柔らかいこと。衣服が大きすぎる。しまりのないこと。  
 だりつー [da] [名] [だりつーまい...] 垂れ乳。張りのない乳房。  
 たりつきり [ta] [動 II 類 c 型] [たりつきー、たりつきん] 相撲で相手を裏返しにすること。【例】たりつきたり (投げ飛ばしてやった)。  
 たりつきり [ta] [動 II 類] [たりつきー、たりつきん] [たりつきま<sup>1</sup>い...] 壁にどろを投げつける。塗りつける。【例】どうるー たりつきらいー (どろを投げつけられた)。  
 たりにつ [tarinitsʃ] [名] [たりにつまい...] 夜間に発熱を起すこと。【類】「ぶりやき」。  
 だりまき [da] [名] [だりまきまい...] つわり。【類】「つぶあまき」。

だりみかす [da[mikas]] [動I類c型] [だりみかしー、だりみかしゃん] 疲れ果てさせる。こき使って困憊させる。

だりみぎ [da[mikɯ]] [動I類c型] [だりみきー、だりみかん] 疲れ果てる。

だりむぬ [da[munu]] [名] [だりむ<sup>1</sup>ぬまい...] 怠け者。役立たず。

だりらーり [da[ra:] ] [形] [だり<sup>1</sup>らまい...] 疲れていること。

たりらたりら [ta[ata]a] [擬] 泥の感触。

だりらだりら [da[ada]a] [擬] [だりらだりらていーまい...] だらだらした動作。

だりらみぎ [da[amikɯ]] [動I類c型] [だりらみきー、だりらみかん] だらだらする。

たりり [tari] [動II類c型] [たりー、たりん] 垂れる。小便を垂れる。【例】んなーぬ たりーぶり (縄が垂れている)。ぱんだりぬ たりー (鼻水が出ている)。

たりり [tari] [動II類c型] [たりー、たりん] 造る。【例】しゃきう たりり (酒造りをする)。ぶーぎじゃきう たりり (さとうきびの酒を造る)。

たりり [tari] [動II類c型] [たりー、たりん] 溶かす。攪拌する。混ぜる。【例】くずう たりり (澱粉を溶かす)。

たりり [tari] [動II類a型] [たりー、たりん] 足りる。満ちる。【類】「たるー」。

だりり [dari] [動II類c型] [だりー、だりん] 垂れる。緩くなる。

だりり [dari] [動II類c型] [だりー、だりん] 疲れる。苦しくなる。【例】だりー ねーん (疲れてしまった)。だりー ぶり (疲れている)。

たる [taru] [名] [た<sup>1</sup>るまい...] 人名。「太郎」が変化したもの。

たる [taru] [名] [たるまい...。た<sup>1</sup>るまい...] 樽。桶。【例】たるがー (シートヤーの黒糖を入れるもの)。

たるー [taru:] [動I類a型] [たれー、たらーん] 足りる。揃う。満ちる。【例】たらーん (足りない。不足)。たれー (足りた)。たれーった (足りた)。たれーぶり (足りている)。【類】「たり

り」。

だるー [daru:] [名] [だる<sup>1</sup>ーまい...] 怠け者。役立たず。

たるがー [taruga:] [名] [たるがーまい...] 樽桶。シートヤーで煮つめた黒糖を詰める樽。

たるがーやー [taruga:ja:] [名] [たるがーやーまい...] 樽を作る工場。

たるがきり [tarugaki] [動II類a型] [たるがきー、たるがきん] 頼りにする。当てにする。【同】「たぬがきり」。

たるき [taruki] [名] [たるきまい...] 垂木。屋根の板を支える木材。

たるずみ [tarudzumi] [名] [たるずみまい...] 樽詰め。黒糖を樽に詰めること。

たるます [tarumas] [動I類c型] [たるましー、たるましゃん] ゆるます。ゆるめる。縄の張りを緩める。【例】たるましゃだ (ゆるめなさい)。

たるみり [tarumi] [動II類c型] [たるみー、たるみん] ゆるめる。【例】しゅぶぎう たるみり (帯をゆるめる)。

たるム [tarum] [動I類a型] [たるみー、たるまん] 弛む。ゆるむ。竹が弛む。帯がゆるむ。【例】たるムなー (ゆるむ縄)。たるみー ぶり (ゆるくなっている)。

たん [tan] [助数] 反。反物の長さを表す。土地の面積を表す。1反は10畝。

たん [tan] [名] [たんまい...] 炭。木炭。石炭。

たん [tan] [名] [たんまい...] 痰。気道の粘膜から分泌される粘液性の物質。

たん [tan] [名] [たんまい...] だに。牛の皮ふに寄生して吸血する。

だん [dan] [名] [だんまい...] 壇。壇上。演壇。

だん [dan] [名] [だんまい...。だ<sup>1</sup>んまい...] 段階。

たんかー [tanka:] [名] [たんかーまい...] 向かい合っている人。

たんかー [tanka:] [名] [たんかーまい...] つれ合い。夫婦。

たんかー [tanka:] [名] [たんかーまい...] 子どもが生まれて一年目。満1年の誕生日。

だんかー [danka:] [名] [だんかーまい...。だん

か<sup>1</sup>ーまい...] 相談。話し合い。語り合うこと。  
 たんかーみー [tankami:] [名] [たんかーみ<sup>1</sup>ーまい...] 年子の子の生まれること。

たんかーよーい [tanka:jo:] [名] [たんかーよー<sup>1</sup>いまい...] 生後満一年の誕生祝い。

たんがーら [tanga:ra] [名] [たんがーらまい...]  
 木炭。薪の燃えきったもの。植物が炭化したもの。

たんぎ [tanki] [名] [たんぎまい...] 短気。気みじか。辛抱できないこと。

たんぎむぬ [tankimunu] [名] [たんぎむ<sup>1</sup>ぬまい...]  
 短気者。気みじかな人。

たんく [tanku] [名] [たん<sup>1</sup>くまい...] タンク。水を貯蔵する大きな容器。【類】「みずたんく」。

たんぐしゅ [tangu:çu] [名] [たんぐしゅまい...]  
 木炭。木の燃え粕。食べ物の焼き過ぎたもの。こげ。

だんじえん [dandzen] [副] 断然。断固。

だんじゅ [dandzu] [名] [だん<sup>1</sup>じゅまい...] 男女。

たんたび [tantapi] [名] [植] [たんた<sup>1</sup>びまい...]  
 とうごま。

たんたび [tantapi] [名] [植] [たんた<sup>1</sup>びまい...]  
 唐胡麻。種子からひまし油を取る。

だんだん [dandan] [名] [だんだんまい...] 数々。  
 【例】やなふつぬ だんだん (悪口の数々)。あわりぬ だんだん (哀れの数々)。

だんだん [dandan] [副] 段々。次第に。

だんつがい [dantsu:gai] [名] [だんつがいまい...]  
 段ちがい。大きな差。

たんでい [tandi] [名] [たん<sup>1</sup>でいまい...] 何とぞ。  
 堪忍してもらう。許しを乞う。服従する。謝罪。

だんどうり [danduri] [名] [だんどう<sup>1</sup>りまい...]  
 段取り。手はずをととのえる。

だんなずぎ [dannadzuki] [名] [だん<sup>1</sup>なずぎ<sup>1</sup>まい...]  
 遊びの一種。歩いてくる人を、両手を広げてじゃまをすること。

たんなふくる [tannafukuru] [名] [たんなふく<sup>1</sup>るまい...] 菓子。「たんなふくるー」という人名が語源。

だんぱん [danpan] [名] [だんぱ<sup>1</sup>んまい...] 談判。  
 かけあい。

たんぷ [tanpu] [名] [たんぷまい...] 担保。抵当。  
 だんま [danma] [擬] [だんまていー...] 大きな音。物騒な物音。

たんむぬ [tanmunu] [名] [たんむぬまい...] 反物。織り物。宮古上布。

## — ち —

ちーたつ [tɕi:tatsɯ] [名] [ちーたつまい...] ついたち。その月の初めの日。【同】「つーたつ」。

ちーたつじゅー [tɕi:tatsɯdzu:] [名] [ちーたつじゅ<sup>1</sup>ーまい...] 旧暦の1日の潮。干満の差が大きい。大潮。【同】「つーたつじゅー」。

ちーたつじゅーぐにつ [tɕi:tatsɯdzu:gunitsɯ] [名] [ちーたつじゅーぐにつまい...] 旧暦の1日と15日。その日は仏壇に花を生ける。【同】「つーたつじゅーぐにつ」。

ちがいり [tɕigai] [動II類c型] [ちがいー、ちがいん] 違える。間違える。

ちきだき [tɕikidaki] [名] [ちきだ<sup>1</sup>きまい...] 付け竹。マッチ。

ちきびった [tɕikibitta] [名] [ちきびつ<sup>1</sup>たまい...] さぎえのふた。

ちきびった [tɕikibitta] [名] [ちきびつ<sup>1</sup>たまい...] サザエのふた。おはじき遊びにした。

ちぎり [tɕigi] [名] [ちぎ<sup>1</sup>りまい...] 契り。約束。

ちぎり [tɕigi] [動I類] [ちぎりー、ちぎらん] 契る。約束する。

ちくおんき [tɕikuonki] [名] [ちくおん<sup>1</sup>きまい...] 蓄音機。

ちくく [tɕikuku] [名] [ちく<sup>1</sup>くまい...] 遅刻。定刻に遅れる。

ちくしょー [tɕikuɕo:] [名] [ちくしょ<sup>1</sup>ーまい...] 畜生。鳥・獸・虫・魚の総称。ののしり言葉。

ちじくまり [tɕidzɯkuma] [動I類c型] [ちじくまりー、ちじくまらん] 縮こまる。【例】ちじくまらん (縮こまらない)。ちじくまりな (縮こまるな)。

ちじまり [tɕidzɯma] [動I類a型] [ちじまりー、ちじまらん] 縮まる。【例】ぬつぬどう ちじまり (命が縮まる)。

ちじみり [tɕidzɯmi] [動II類a型] [ちじみー、

ちじみん] 縮める。【例】なぎう ちじみり (長さを縮める)。

ちじム [tɕidzɯm] [動I類a型] [ちじみー、ちじまん] 縮む。【例】ずぶんぬ ちじム (ズボンが縮む)。

ちじらす [tɕidzɯrasɯ] [動I類a型] [ちじらしー、ちじらしゃん] 縮らせる。【例】ちじらし (縮らせ)。ちじらすな (縮らせるな)。

ちじりり [tɕidzɯri] [動II類a型] [ちじりー、ちじりん] 縮れる。【例】あかぬ ちじりり (髪が縮れる)。

ちび [tɕibi] [名] [ちびうまい...] 尻。うしろ。後方。最後尾。【例】むりちび (最も後の方)。あが ちびんや たうまい ぶらーん (ぼくの後は誰もいない)。

ちび [tɕibi] [名] [ちびまい...] 容器の裏。底。【例】なびぬ ちび (鍋の底)。

ちびう なムミ [tɕibiu nammɯ] [連語] 尻をなめる。何もできない者はできる人のまねでもしなさいと言うときに使う。

ちびう ぬがーん [tɕibiu nugan] [連語] 尻をふかない。後始末をしないこと。

ちびうー [tɕibiu:] [動I類a型] [ちびわいー、ちびわーん] 後を追う。【例】ちびう わい (後を追え)。かりが ちびう わい (彼の後を追え)。

ちびヴェー [tɕibive:] [名] [ちびヴェーまい...] 追っかけてばかりいる人。

ちびかた [tɕibikata] [名] [ちびかたんまい...] 後方。後側。家の裏側。

ちびから [tɕibikara] [連語] 後から。後方から。【例】ちびから くー (後から来なさい)。

ちびからぎ [tɕibikaragi] [名] [ちびからぎまい...] 尻をからげること。和服の裾を腰まであげること。

ちびからぎり [tɕibikaragi] [動II類a型] [ちびからぎー、ちびからぎん] 着物の裾をからげる。

ちびがりむぬ [tɕibiga[munu] [名] [ちびがりむぬまい...] 尻の軽い者。歩きの早い人。骨おしめない人。軽率な人にも言う。

ちびがりーり [tɕibiga[ɑ:] [形] [ちびがりらま

い...) 尻軽。軽快である。動作が速い。  
 ちびぐー [tɕibigu:] [名] [ちびぐーまい...] 臀部。  
 尻の骨。尾骶骨。坐骨。  
 ちびぐーやム [tɕibigu:jam] [名] [ちびぐーやム  
 まい...] 坐骨痛。  
 ちびしゃぐな [tɕibiɕaguna] [名] [ちびしゃぐな  
 まい...] 尻すぼみ。  
 ちびしゃぐな [tɕibiɕaguna] [名] [ちびしゃぐな  
 まい...] 尻すぼみ。尻の小さいこと。  
 ちびすギ [tɕibisɰkɰ] [名] [ちびす<sup>1</sup>ギまい...] 尻  
 敷き。おしめ。おむつ。  
 ちびすずギ [tɕibisɰdzɰkɰ] [動I類a型] [ちびす  
 ずきー、ちびすずかん] 後ずさりする。後退す  
 る。尻込みする。怖気つく。  
 ちびたー [tɕibita:] [名] [ちびた<sup>1</sup>ーまい...] 尻で  
 押し合いをすること。  
 ちびだかうしゅム [tɕibidakauɕum] [名] [ちびだ  
 かうしゅムまい...] 体を前にかがめる姿勢。  
 ちびたげ [tɕibita] [名] [ちびたげまい...] 尻の  
 両側。臀部 (でんぶ)。  
 ちびぬぐー [tɕibinugu:] [名] [ちびぬぐ<sup>1</sup>ーまい...]  
 尻ぬぐい。達人の尻を拭う。見習うというこ  
 と。  
 ちびばイ [tɕibibaɰ] [名] [ちびばイまい...] 後這  
 い。後を追っかけること。子どもが母の後を追  
 っかけること。  
 ちびばギ [tɕibipagɰ] [名] [ちびばギまい...] 後  
 足。四肢動物の後脚。  
 ちびばり [tɕibiba] [名] [ちびばりまい...] 後を  
 追うこと。子供が母の後を追っかけること。  
 ちびピーき [tɕibipi:kɰ] [名] [ちびピーきまい...]  
 底に穴があること。鍋や桶やざるの底に穴のあ  
 ること。  
 ちびピーきたぐ [tɕibipi:kɰitagu] [名] [ちびピー  
 きた<sup>1</sup>ぐまい...] 底に穴のある桶。  
 ちびピーきなび [tɕibipi:kɰinabi] [名] [ちびピー  
 きな<sup>1</sup>びまい...] 底に穴のある鍋。  
 ちびふギ [tɕibifukɰ] [名] [ちびふ<sup>1</sup>ギまい...] 尻  
 ふき。物事の後始末をきちんとすること。  
 ちびふしゅ [tɕibifuɕu] [名] [ちびふしゅまい...]  
 ぶりっこ。最後尾。成績の悪いこと。

ちびぶたむす [tɕibibutamusɰ] [名] [虫] [ちびぶ  
<sup>1</sup>たむすまい...] うじ虫。  
 ちびふつ [tɕibifutsɰ] [名] [ちびふつまい...] 後と  
 前。前後。【例】ちびふつう みーる (前後をよく  
 見よ)。  
 ちびぶったむす [tɕibibuttamusɰ] [名] [ちびぶっ  
 たむすまい...] ハエの幼虫。  
 ちびぶに [tɕibibuni] [名] [ちびぶにまい...] 尻  
 の骨。尾骶骨。  
 ちびゆっずー [tɕibijuddzɰ:] [動I類a型] [ちび  
 ゆっじー、ちびゆっじゃん] 後ずさりする。座  
 った姿勢で後ろへ寄せる。  
 ちびるム [tɕibirum] [名] [ちびるムまい...] 肛  
 門。  
 ちびるムぶに [tɕibirumbuni] [名] [ちびるムぶに  
 まい...] 尾骨。尾骶骨。坐骨。  
 ちびわイ [tɕibivaɰ] [名] [ちびわイまい...] 後追  
 い。子どもが大人の後を追いかけること。  
 ちびんけー ふう [tɕibinke: futsɰ] [連語] 後向き。  
 後を見ること。  
 ちぶるー [tɕiburu:] [名] [ちぶる<sup>1</sup>ーまい...] 頭  
 脳、知識の弱い人を卑下して言う。頭の悪いこ  
 と。【類】「つぶるー」。  
 ちみ [tɕimi] [名] [ちみまい...] 爪。人の爪。動  
 物の爪。【同】「つみ」。  
 ちみぐる [tɕimiguru] [名] [ちみぐ<sup>1</sup>るまい...] 細  
 い竹。糸を巻く竹。機織り用の糸を巻く細い竹。  
 【同】「つみぐる」。  
 ちみぬ っふあ [tɕiminu ffa] [名] [ちみぬっ<sup>1</sup>ふ  
 あまい...] 爪の子。爪の根にある半月。爪のゆ  
 か。【同】「つみぬっふあ」。  
 ちみぬ ふしゅ [tɕiminu fuɕu] [名] [ちみぬふ<sup>1</sup>し  
 ゅまい...] 爪の垢。【同】「つみぬふしゅ」。  
 ちみぬ むきり [tɕiminu muki] [連語] 爪が落ち  
 る。【同】「つみぬむきり」。  
 ちゃー [tɕa:] [名] [ちゃーま<sup>1</sup>い...] 茶。茶の葉。  
 お茶。【例】たらまちゃー (濃いお茶)。ちゃー  
 う ふかす (お茶を湧かす)。ちゃーう すきり  
 (お茶を供える。お茶を差し上げる)。  
 ちゃー [tɕa:] [副] ずっと。しょっちゅう。いつ  
 も。【例】ちゃー すぐとう (ずっと仕事を続け

る)。  
 チャー がんじゅー [tʃa: gandzɯ:] [連語] いつも元気。常に健康。  
 チャー ますーぐ [tʃa: masɯ:gu] [副] ずっとまっすぐ。一直線。  
 チャーが [tʃa:ga] [感] どうだ。【例】チャーが ばぬー みーる (どうだおれを見よ)。  
 チャーかす [tʃa:kasɯ] [名] [チャーか<sup>1</sup>すまい...] お茶の粕。  
 チャーキ [tʃa:ki] [助] ~そんなことばかり。【例】ぱりーチャーキ (走ってばかり)。【類】「てーな」。  
 チャーギー [tʃa:gi:] [名] [植] [チャーギー<sup>1</sup>まい...] 茶の木。  
 チャーす [tʃa:sɯ] [動 I 類 c 型] [チャーシー、チャーしゃん] 合わす。合わせる。酒コップを合わす。  
 チャーずぎり [tʃa:dʒɯgiri] [名] [チャーずぎり<sup>1</sup>まい...] 茶筒。茶入れ。【同】「チャーずつ」。  
 チャーずつ [tʃa:dʒɯtsɯ] [名] [チャーず<sup>1</sup>つまい...] 茶筒。茶入れ。【同】「チャーずぎり」。  
 チャーちょーき [tʃa:tʃo:ki] [名] [チャーちょー<sup>1</sup>きまい...] お茶の茶請け。【同】「ちゃうき」。  
 チャーな [tʃa:na] [助] ~だけ。たったそれだけという意味。【例】うすけチャーな (たったそれだけ)。  
 チャーなば [tʃa:naba] [名] [チャーな<sup>1</sup>ばまい...] 茶の垢。茶のあく。茶渋。  
 チャーぬ ぱー [tʃa:nu pa:] [名] [チャーぬぱ<sup>1</sup>まい...] 茶の葉。  
 チャーぬムあぐ [tʃa:num.agu] [名] [チャーぬムあ<sup>1</sup>ぐまい...] 茶のみ友だち。  
 チャーぬムうぐなーり [tʃa:num.uguna:] [名] [チャーぬムうぐな<sup>1</sup>りまい...] 茶のみ集まり。  
 チャーぬムぱなす [tʃa:numpanasɯ] [名] [チャーぬムぱな<sup>1</sup>すまい...] 茶のみの雑談。  
 チャーぬめ [tʃa:nume] [名] [チャーぬ<sup>1</sup>めまい...] お茶をとくに飲む人。  
 チャーふかす [tʃa:fukasɯ] [名] [チャーふか<sup>1</sup>すまい...] お茶を沸かす。  
 チャーふかすぶら [tʃa:fukasɯbura] [名] [チャー

ふかすぶ<sup>1</sup>らまい...] お茶を沸かすほら貝。  
 チャーぶすしチャーり [tʃa:pusɯtʃa:] [形] [チャーぶす<sup>1</sup>しまい...] お茶が欲しい。お茶を欲しがる。  
 チャーぶに [tʃa:buni] [名] [チャーぶ<sup>1</sup>にまい...] 茶柱。  
 チャーミー [tʃa:mi:] [名] [チャーミーてーん...] 見てばかりいること。常に見ていること。いつも見ていること。赤ちゃんは母の顔をじっと見ている。  
 チャーらす [tʃa:rasɯ] [動 I 類 c 型] [チャーらしー、チャーらしゃん] 合わせる。酒コップを合わせる。【例】チャーらすな (合わせるな)。  
 チャーリ [tʃa:] [動 II 類 c 型] [チャーリー、チャーりん] 合わさる。【同】「チャーりり」。  
 チャーリむぬ [tʃa:munu] [名] [チャーリむ<sup>1</sup>ぬまい...] 合わせたもの。  
 チャーりり [tʃa:ri:] [動 II 類 c 型] [チャーリー、チャーりん] 合わさる。合体の意味もある。重なる。二つのものが一つになる。【例】チャーりった (合わせた)。チャーりん (合わせられない)。【同】「チャーリ」。  
 チャーんとう [tʃa:ntu] [副] ちゃんと。しっかり。きちんと。正確に。正しく。【例】チャーんとうすまいる (きちんと始末しなさい)。【同】「ちゃんとう」。  
 チャうき [tʃauki] [名] [チャう<sup>1</sup>きまい...] 茶請け。茶の子。お菓子。【同】「ちょーき」。  
 チャうなん [tʃaunan] [名] [チャうな<sup>1</sup>んまい...] 長男。嫡男。【同】「ちょーなん」。【類】「ちゃくす」。  
 チャうみん [tʃaumin] [名] [チャうみ<sup>1</sup>んまい...] 帳面。ノート。学習用ノート。【同】「ちょーみん」。  
 ちゃくす [tʃakusɯ] [名] [ちゃく<sup>1</sup>すまい...] 嫡子。長男。  
 ちゃくすヴヴあ [tʃakusɯvva] [名] [ちゃくすヴ<sup>1</sup>ヴあまい...] 嫡子。長男。  
 ちゃくすみどうム [tʃakusɯmidum] [名] [ちゃくすみどう<sup>1</sup>ムまい...] 長女。  
 ちゃくすムまが [tʃakusɯmmaga] [名] [ちゃくす

ムま<sup>1</sup>がまい... 嫡孫。長男の子。

ちやたう [tɕatau] [名] [ちやた<sup>1</sup>うまい...] 茶湯。仏壇にお茶を供えること。【同】「ちやとー」。

ちやとー [tɕato:] [名] [ちやと<sup>1</sup>ーまい...] 茶湯。仏壇にお茶を供えること。【同】「ちやたう」。

ちやばん [tɕaban] [名] [ちやば<sup>1</sup>んまい...] 茶碗。湯のみ。【同】「ちやわん」。

ちやばんじゃき [tɕabandzaki] [名] [ちやばんじゃ<sup>1</sup>きまい...] 茶碗酒。茶碗で酒を回し飲みすること。

ちやぶん [tɕabun] [名] [ちやぶ<sup>1</sup>んまい...] 茶盆。茶を飲む容器を乗せる盆。

ちやみ [tɕami] [名] [ちや<sup>1</sup>みまい...] 悪知恵をはたらかすこと。

ちやみり [tɕami] [動II類c型] [ちやみー、ちやみん] ちよろまかす。ずるがしこい。盗む。【例】ちやみる(盗め)。ちやみった(ちよろまかした。盗んだ)。ちやみらいん(ちよろまかせない。盗むことができない)。

ちやムー [tɕamm] [擬] 竹を叩くときのような音。

ちやムちやム [tɕamtɕam] [擬] 四つ竹踊りの竹の音(琉球古典舞踊)。

ちやムまちやムま [tɕammatɕamma] [擬] 竹を叩くときのような音。

ちやムみかす [tɕammikasɰ] [動I類c型] [ちやムみかしー、ちやムみかしやん] 叩く。叩き鳴らす。

ちやムみぎ [tɕammikɰ] [動I類c型] [ちやムみきー、ちやムみかん] 竹を叩くときのような音がする。【例】ゆつだきぬどう ちやムみきーぶり(四つ竹が鳴りひびいている)。

ちやら [tɕara] [擬] [ちやらていー...] ガラスやコップなどが割れる音。

ちやらみかす [tɕaramikasɰ] [動I類c型] [ちやらみかしー、ちやらみかしやん] たたき割る。ガラスの割れる音の響きが耳に強く感じる。

ちやらみぎ [tɕaramikɰ] [動I類c型] [ちやらみきー、ちやらみかん] ガラスやコップなどが割れる。

ちやわん [tɕavan] [名] [ちやわ<sup>1</sup>んまい...] 茶碗。

【同】「ちやばん」。

ちやわんじゃき [tɕavandzaki] [名] [ちやわんじゃ<sup>1</sup>きまい...] 祝い座に茶碗で酒を飲むこと。【同】「ちやばんじゃき」。

ちやんくちやんく [tɕankutɕanku] [擬] [ちやんくちやんくていー...] 風が強風のために左右に動く様。

ちやんくまぎ [tɕankumakɰ] [動I類] [ちやんくまきー、ちやんくまかん] [ちやん<sup>1</sup>くまきー ぶり] 居場所で激しく動く。強風に渦巻く。

ちやんちやん [tɕantɕan] [名] [ちやんちや<sup>1</sup>んまい...] 合わせの冬着。綿入れの着物。

ちやんとう [tɕantu] [副] ちやんと。きちんと。【例】ちやんとう すまいる(きちんと始末しない)。【同】「ちやーんとう」。

ちやんなぎり [tɕannagi] [動II類c型] [ちやんなぎー、ちやんなぎん] 放り投げる。ぼい捨て。

ちやんぷる [tɕanpuru] [名] [ちやんぶ<sup>1</sup>るまい...] 多くの食材を混ぜて油で炒めた料理。そうめんちやんぷる。とうふちやんぷる。

ちゅー [tɕu:] [名] [ちゅ<sup>1</sup>ーまい...] 中。普通。並。上中下の中。

ちゅーあたり [tɕu:ata] [名] [ちゅーあた<sup>1</sup>りまい...] 強いあたり。食中毒や風邪に対することば。

ちゅーか [tɕu:ka] [名] [ちゅー<sup>1</sup>かまい...] 急須。

ちゅーがい [tɕu:gai] [名] [ちゅーが<sup>1</sup>まい...] 錫で出来た酒入れ。二つ組で結婚式に用いる。

ちゅーがっこー [tɕu:gakko:] [名] 中学校。

ちゅーがっこーがー [tɕu:gakko:ga:] [名] [井戸] [ちゅーがっこーがーまい...] 中学校の近くにある人工井戸。

ちゅーかでい [tɕu:kadi] [名] [ちゅーか<sup>1</sup>でいまい...] 強風。大風。台風。【類】「うぶかでい」。

ちゅーぎ なり [tɕu:gi na] [連語] 強そうに見せる。【例】ちゅーぎ なりーり(誇示して見せる)。

ちゅーぎしゃーり [tɕu:giɕa:] [形] [ちゅーぎ<sup>1</sup>しゃまい...] 強そうである。

ちゅーきず [tɕu:kidzɰ] [名] [ちゅーき<sup>1</sup>ずまい...] 重傷。

ちゅーギヤム [tɕu:kjam] [名] [病] [ちゅー<sup>1</sup>ギヤムまい...] 通風。

ちゅーく [tɕu:ku] [副] 強く。厳しく。【例】ちゅーく ならーし (厳しく教えよ)。ちゅーく イズい (強く言え。強く指導しなさい。強く叱りなさい)。ちゅーく すつきる (強く躰けなさい。厳しく指導しなさい)。ちゅーく すとうぎ (強くなぐれ。強くたたけ)。ちゅーく たたき (強くたたけ。強くなぐれ)。ちゅーく みんなぎ (強く揉みなさい。年寄りが子どもに対して患部を揉ませるときに言う)。ちゅーく イー (強く言う。厳しく注意する)。【同】「ちゅーふ」。

ちゅーくひん [tɕu:kuhin] [名] [ちゅーくひ<sup>1</sup>んまい...] 中古品。

ちゅーしゃーり [tɕu:ɕa:ɾi] [形] [ちゅー<sup>1</sup>しゃまい...] 強い。【例】ちゅーかでい (強い風)。ちゅーピとう (強い人)。

ちゅーじゃき [tɕu:dzaki] [名] [ちゅーじゃ<sup>1</sup>きまい...] 強い酒。度数の強い酒。

ちゅーじゃら [tɕu:dzara] [名] [ちゅーじゃらまい...] 中皿。【類】「なかじゃら」。

ちゅーじゅーく [tɕu:dzu:ku] [副] 強く強くもつと強くの意。重複語。

ちゅーちゅー [tɕu:tɕu:] [名] [ちゅーちゅ<sup>1</sup>ーまい...] 幼児語。ちんちん。男女の陰部のこと。

ちゅーちゅー [tɕu:tɕu:] [擬] [ちゅーちゅ<sup>1</sup>ーまい...] ねずみの愛称。

ちゅーちよー [tɕu:tɕo:] [名] [ちゅーちよーまい...] 通帳。預金・貯金通帳。

ちゅーとう [tɕu:tu] [名] [ちゅーとうまい...] 中途。半端。

ちゅーどうく [tɕu:duku] [名] [ちゅーどう<sup>1</sup>くまい...] 中毒。食中毒。ガス中毒。アルコール中毒。

ちゅーどうくイズう [tɕu:dukuɯzu] [名] [ちゅーどう<sup>1</sup>くイズうまい...] 中毒させる魚。

ちゅーとうたいがく [tɕu:tutaigaku] [名] [ちゅーとうたいが<sup>1</sup>くまい...] 中途退学。

ちゅーにつ [tɕu:nitsɯ] [名] [ちゅーにつまい...] ちゅーに<sup>1</sup>つまい...] 強い熱。高熱。体温の高いこと。

ちゅーばー [tɕu:ba:] [名] [ちゅーば<sup>1</sup>ーまい...] 強い人。力の強い人。学問の強い人。忍耐力のある人。

ちゅーピとう [tɕu:pɿtu] [名] [ちゅーピ<sup>1</sup>とうまい...] 強人。体力、学力、精神力の強い人。腕力の強人。

ちゅーふ [tɕu:fu] [副] 強く。厳しく。【同】「ちゅーく」。

ちゅーふー [tɕu:fu:] [名] [病] [ちゅーふ<sup>1</sup>ーまい...] 痛風。

ちゅーぶる [tɕu:buru] [名] [ちゅーぶ<sup>1</sup>るまい...] 中古。中古品。

ちゅーまり [tɕu:maɾi] [動I類a型] [ちゅーまりー、ちゅーまらん] 強くなる。強まる。【例】かでー ちゅーまり (風は強まる)。

ちゅーむく [tɕu:muku] [名] [ちゅーむ<sup>1</sup>くまい...] 注目。気をつける。注視。

ちゅーむぬ [tɕu:munu] [名] [ちゅーむ<sup>1</sup>ぬまい...] 強い物体。固いもの。強い風。破れないもの。折れないもの。

ちゅーむん [tɕu:mun] [名] [ちゅーむ<sup>1</sup>んまい...] 注文。依頼すること。【例】こーひーぬ ちゅーむん (コーヒーの注文)。

ちゅーやム [tɕu:jam] [名] [ちゅーや<sup>1</sup>ムまい...] 重い病気。重病。大病。

ちゅーらす [tɕu:rasɯ] [動I類c型] [ちゅーらしー、ちゅーらしゃん] 強くなす。強める。

ちゅーり [tɕu:ɾi] [動I類c型] [ちゅーりー、ちゅーらん] 強くなる。強まる。病気が治る。子どもが成長する。【例】やムぬ ちゅーりー (病気が重くなる)。

ちゅーりにふしゃーり [tɕu:nifuɕa:ɾi] [形] [ちゅーりにふ<sup>1</sup>しゃまい...] 成長の遅いこと。子どもに言う。

ちゅーりべーしゃーり [tɕu:be:ɕa:ɾi] [形] [ちゅーりべー<sup>1</sup>しゃまい...] 成長の早いこと。子どもに言う。

ちゅーりやらび [tɕu:ɾjarabi] [名] [ちゅーりやら<sup>1</sup>びまい...] 早熟の子ども。

ちゅーるー [tɕu:ru:] [名] [ちゅーる<sup>1</sup>ーまい...] 中老。50代の男。スツウプナカの中心的役割。古

い言い方。【同】「ちゅーるー」。

ちゅーるーじゃー [tʃu:ru:dʒa:] [名] [ちゅーる<sup>1</sup>ーじゃーまい...] 中老座。古い言い方。【同】「ちゅーろーじゃー」。

ちゅーろー [tʃu:ro:] [名] [ちゅーろ<sup>1</sup>ーまい...] 中老。50代の男。スツウプナカの中心的役割。【同】「ちゅーるー」。

ちゅーろーじゃ [tʃu:ro:dʒa] [名] [ちゅー<sup>1</sup>ろーじゃまい...] 中老座。スツウプナカの組織。新しい言い方。【同】「ちゅーるーじゃー」。

ちゅきん [tʃukin] [名] [ちゅき<sup>1</sup>んまい...] 貯金。

ちゅくぐ [tʃukugu] [名] [ちゅく<sup>1</sup>ぐまい...] 勅語。天皇のことば。教育勅語。1945年の敗戦でなくなった。

ちゅくげき [tʃukugeki] [名] [ちゅくげ<sup>1</sup>きまい...] 直撃。戦争用語。台風の直撃とも言う。

ちゅっこー [tʃukko:] [名] [ちゅっこ<sup>1</sup>ーまい...] 直行。寄り道をしないで目的地に行くこと。

ちゅっちゅっ [tʃuttʃu?] [擬] すずめの鳴き声。

ちゅぱーら [tʃupa:ra] [名] [ちゅぱーらまい...] 満腹満足。十分。【例】ちゅぱーら ふえーった (腹いっぱい食べた)。【類】「すかいつとう」。

ちゅらしゃーり [tʃura:ʃa:] [形] [ちゅら<sup>1</sup>しゃまい...] 美。きれい。組踊の「ちゅらいなぐ」美女。日常生活には言わない。

ちゅるちゅる [tʃurutʃuru] [擬] [ちゅるちゅるていー...] 液体の流れる様子。

ちゅるまかす [tʃurumakasʃ] [動I類c型] [ちゅるまかしー、ちゅるまかしゃん] ちよろまかす。だます。うそつき。【例】じんゆ ちゅるまかす (金をだまし取る)。

ちょー [tʃo:] [助数] ~丁。数の単位。さとう樽を数えること。

ちょー [tʃo:] [名] [ちょーまい...] 長。上の人。偉い人。村長。学長。会長。

ちょー [tʃo:] [名] [ちょ<sup>1</sup>ーまい...] 帳。帳面。帳簿。

ちょーき [tʃo:ki] [名] [ちょー<sup>1</sup>きまい...] 茶請。お茶菓子。【同】「ちやうき」。

ちょーごー [tʃo:go:] [名] [ちょーご<sup>1</sup>ーまい...] 調合。配合。調合肥料。配合飼料。金肥のこと。

ちょーし [tʃo:ʃi] [名] [ちょー<sup>1</sup>しまい...] 調子。具合。体調。口調。順調。組踊の台詞の唱え方。

ちょーじゅ [tʃo:dʒu] [名] [ちょー<sup>1</sup>じゅまい...] 長寿。【例】ちょーじゅぬ うぶしゅー (長寿の大主・八月おどりの演目)。

ちょーじゅ [tʃo:dʒu] [名] [ちょー<sup>1</sup>じゅまい...] 長女。

ちょーしんがー [tʃo:ʃinga:] [名] [ちょーし<sup>1</sup>んがーまい...] 穀物や塩などを入れる大きな麻袋。

ちょーず [tʃo:dʒʃ] [名] [植] [ちょー<sup>1</sup>ずまい...] 丁子。香料にする。

ちょーだい [tʃo:dai] [名] [ちょーだいまい...] 頂戴。幼児語。

ちょーだんす [tʃo:dansʃ] [名] [ちょーだんす<sup>1</sup>んまい...] 和箏笛。たんす。

ちょーちょー [tʃo:tʃo:] [名] [昆虫] [ちょ<sup>1</sup>ーちょー「まい...」 蝶々。【類】「ばびる」。

ちょーちん [tʃo:tʃin] [名] [ちょーち<sup>1</sup>んまい...] 凧の一種。【同】「とーつム」。

ちょーつがい [tʃo:tsʃgai] [名] [ちょーつが<sup>1</sup>いまい...] 開き戸や開き蓋などに取り付けて開閉できるような金具。

ちょーどう [tʃo:du] [副] 丁度。都合のよいこと。びったし。

ちょーなん [tʃo:nan] [名] [ちょーな<sup>1</sup>んまい...] 長男。嫡男。【同】「ちやうなん」。【類】「ちやくす」。

ちょーひー [tʃo:hi:] [名] [ちょーひ<sup>1</sup>ーまい...] 徴兵。兵役につくこと。

ちょーひーきんしゃ [tʃo:hi:kinʃa] [名] [ちょーひ<sup>1</sup>ーきんしゃまい...] 徴兵検査。

ちょーぶ [tʃo:bu] [助数] 町歩。土地や畑の面積の単位。1町歩は10反。

ちょーぶ [tʃo:bu] [名] [ちょー<sup>1</sup>ぶまい...] 帳簿。帳面。金銭出納を記す帳面。

ちょーみん [tʃo:min] [名] [ちょーみ<sup>1</sup>んまい...] 帳面。ノート。学習用ノート。【同】「ちやうみん」。

ちょーよー [tʃo:jo:] [名] [ちょーよ<sup>1</sup>ーまい...] 徴用。軍事作業に行くこと。

ちょーんぬーらんむぬイー [tʃo:n nu:ran

munuŋ:] [連語] 書き留めるほどの話ではないこと。

ちょんがー [tɕonga:] [名] [ちょんが<sup>1</sup>ーまい...] 独身者。男女に言う。

ちら [tɕira] [名] [ち<sup>1</sup>らまい...] 奴。あの奴などと使う。【例】かぬちら (あの奴)。くぬちら (この奴)。

ちらかす [tɕirakasɯ] [動I類 a 型] [ちらかしー、ちらかしゃん] 散らかす。散乱させる。【例】ふーむぬー ちらかす (食べ物を散らかす)。

ちらかり [tɕirakaɽ] [動I類 a 型] [ちらかりー、ちらからん] 散らかる。散乱する。【例】ちらかりー ぶり (散らかっている)。

ちらす [tɕirasɯ] [動I類 a 型] [ちらしー、ちらしゅん] 散らす。【例】かでいん ちらしー (風に散らした)。

ちらす [tɕirasɯ] [動I類 c 型] [ちらしー、ちらしゅん] 皮ふの傷の化膿を止める。【例】しゅでいふぬ ぱーにー ちらす (はまゆうの葉で散らす)。

ちり [tɕiri] [名] [ちりまい...] 塵。芥。ごみ。【類】「あふた」。

ちりあふた [tɕiriafuta] [名] [ちりあふたまい...、ちりあふ<sup>1</sup>たまい...] 塵芥。ちりあくた。

ちりぐい [tɕirigui] [名] [ちりぐ<sup>1</sup>いまい...] 甲高い声。

ちりとうれ [tɕiriture] [名] [ちりとう<sup>1</sup>れまい...] 塵収集者。

ちんちん [tɕintɕin] [名] [ちんち<sup>1</sup>んまい...] 幼児語。男女の陰部。【同】「ちゅーちゅー」。

## — つ —

つー [tsɯ:] [名] [つーまい...] 乳。乳房。乳汁。  
【例】つーぬ あいり (乳汁がしたたる)。つーぬ ばり (乳房が張る)。つーぬ あがり (乳汁の出が止まる)。  
つー [tsɯ:] [名] [つーまい...] パパイアの汁。果汁。  
つー [tsɯ:] [名] [つーまい...] つるべ。くばずー。かにずー。  
つー [tsɯ:] [名] [つーまい...] 釣針。  
つー [tsɯ:] [名] [つーまい...] 釣り。釣りをすること。【例】つーすが (釣りに行く)。  
つヴ [tsɯv] [名] [つヴんまい...] 露。【例】あしゃつヴ (朝露)。  
つーあがり [tsɯ:aga] [名] [つーあがりまい...] 乳上り。母乳がでなくなること。  
つーあがり [tsɯ:aga] [動 I 類 a 型] [つーあがりー、つーあがらん] 血があがる。興奮する。  
つーあぐ [tsɯ:agu] [名] [つーあぐまい...] 他人の母の乳を一緒に飲んだ人たち。  
つーあぐ [tsɯ:agu] [名] [つーあぐまい...] 釣りに行く友。  
つーあじゃ [tsɯ:adza] [名] [つーあじゃまい...] 乳母の男の子。  
つーあんが [tsɯ:anga] [名] [つーあんがまい...] 乳母の女の子。  
つーあんな [tsɯ:anna] [名] [つーあんなまい...] 乳母。他人の母。乳を飲ませてくれた他人の母。  
つーいりぎ [tsɯ:i[kɯ]] [名] [つーいりぎまい...] 豚の血で食材を和えた食べ物。炒りもの。  
つヴヴいり [tsɯvvi] [動 II 類 c 型] [つヴヴいー、つヴヴいん] すっぱいものを食べたときの歯の感覚。  
つヴヴいり [tsɯvvi] [動 II 類 c 型] [つヴヴいー、

つヴヴいん] 刃物が切れなくなる。  
つーが [tsɯ:ga] [助数] いもの数え方。【例】ふたつーが (二個のいも)。  
つーがーら [tsɯ:ga:ra] [名] [病] [つーがーらまい...] 乳腺炎。村史より。  
つーかき [tsɯ:kaki] [名] [つーかきまい...] 井戸に落ちたつるべを引っかける道具。すいじ貝を用いた。  
つーがしゃ [tsɯ:gəɕa] [名] [病] [つーがしゃまい...] 乳房炎。村史より。  
つーぎ [tsɯ:gɯ] [名] [つーぎまい...] いぼ。こぶ。ヤギなどの肉たれ。【例】ぴんだぬ つーぎ (山羊の首のこぶ)。  
つーぎ [tsɯ:gɯ] [名] [つーぎまい...] 植物の突起。さとうきびの側芽。  
つーぎばー [tsɯ:gɯba:] [名] [つーぎばーまい...] 八重歯。【類】「やいばー」。  
つーけうだい [tsɯ:keudai] [名] [つーけうだまい...] 乳兄弟。血のつながらない乳母に育てられた者同士。  
つーげがー [tsɯ:gega:] [名] [井戸] [つーげがーまい...] 井戸の名。人工井戸。  
つーしゃに [tsɯ:ɕani] [名] [つーしゃにまい...] 血統。血族。【類】「つーたに」。  
つーすー [tsɯ:sɯ:] [名] [つーすーまい...] 釣りをすること。釣ること。【例】つーう しー ぶり (釣りをしている)。  
つーたつ [tsɯ:tatsɯ] [名] [つーたつまい...] ついたち。その月の初めの日。【同】「ちーたつ」。  
つーたつじゅー [tsɯ:tatsɯdzu:] [名] [つーたつじゅーまい...] 旧暦の1日の潮。干満の差が大きい。大潮。【同】「ちーたつじゅー」。  
つーたつじゅーぐにつ [tsɯ:tatsɯdzu:gunitsɯ] [名] [つーたつじゅーぐにつまい...] 旧暦のついたちと十五日。【同】「ちーたつじゅーぐにつ」。  
つーたに [tsɯ:tani] [名] [つーたにまい...] 血統。遺伝。系統。家系。【類】「つーしゃに」。  
つーちょー [tsɯ:tɕo:] [名] [つーちょーまい...] 通帳。預金・貯金通帳。  
つーぬ ふつ [tsɯ:nu futsɯ] [名] [つーぬふつまい...] 乳の口。乳首。

つーば [tsɥ:ba] [連語] ~らしいので。想像。【例】  
 ぞーかくつーばゆ (合格らしいよ)。  
 つーばしゃム [tsɥ:paçam] [名] [虫] [つーばしゃ  
 ¹ムまい...] さそり。【類】「かうな」。「こーな」。  
 つーばす [tsɥ:basɥ] [動 I 類 c 型] [つーばしー、つ  
 ーばしゃん] 交尾させる。【類】「たにつきり」。  
 つーばなり [tsɥ:panari] [名] [つーばな¹りまい...]  
 乳離れ。離乳。  
 つーび [tsɥ:bi] [動 I 類 c 型] [つーびー、つーば  
 ん] 交尾する。  
 つーふーヴあ [tsɥ:fu:vva] [名] [つーふーヴ¹ヴ  
 あまい...] 乳飲児。ちのみご。  
 つームま [tsɥ:mma] [名] [つーム¹ままい...] 乳  
 母。【類】「つーあんな」。  
 つーむム [tsɥ:mum] [名] [つーむムまい...] 血和  
 え。豚の血で和え、炒る料理。【類】「つーいり  
 ギ」。  
 つが [tsɥga] [名] [つ¹がまい...] 枧。穀物の量を  
 計る計器。1 升枧。5 合枧。1 合枧。  
 つがー [tsɥga:] [名] [つがーんまい...] 津川。津  
 川部落。  
 つかーいむぬ [tsɥka:imunu] [名] [つかーいむ¹ぬ  
 まい...] 使われ物。労働者。  
 つかーいり [tsɥka:i] [動 II 類 a 型] [つかーいー、  
 つかーいん] 使われる。手伝いする。奉公する。  
 【例】まっちゃん つかーいり (店に奉公する)。  
 【同】「つかーりり」。  
 つがーがー [tsɥga:ga:] [名] [井戸] [つがーが¹ー  
 まい...] 自然井戸。今はない。  
 つかーす [tsɥka:sɥ] [動 I 類 a 型] [つかーしー、つ  
 かーしゃん] 使わせる。道具を貸してあげる。  
 【例】あんー つかーし (彼に貸してくれ)。  
 つかーす [tsɥka:sɥ] [動 I 類 a 型] [つかーしー、つ  
 かーしゃん] 用事を頼んで行かせる。【例】か  
 るー つかーし (彼を頼んだ)。  
 つかーりり [tsɥka:ri] [動 II 類 a 型] [つかーり  
 ー、つかーりん] 使われる。手伝いする。奉公  
 する。【同】「つかーいり」。  
 つかい [tsɥkaɥ] [名] [つかいまい...] 使者。伝達  
 する人。  
 つがい [tsɥgaɥ] [名] [つがいまい...] 違い。違い

こと。相違。【例】つがいむぬイー (間違う言  
 葉)。【同】「つがい」。  
 つかイくなす [tsɥkaɥkunasɥ] [動 I 類 c 型] [つか  
 イくなしー、つかイくなしやん] 使いこなす。  
 道具に馴れる。  
 つかイくム [tsɥkaɥkum] [動 I 類 c 型] [つかイく  
 みー、つかイくまん] 使いこむ。横領。【例】つ  
 かいくみー ねーん (使い込んでしまった)。  
 つかいです [tsɥkaisɥ] [動 I 類 a 型] [つかいしー、  
 つかいしゃん] 招待する。お供する。【例】し  
 ゆーたう つかいです (老人を招待する)。  
 っがいたんでい [ggaitandi] [感] すごいことだ。  
 おどろくこと。感嘆などを表す。  
 つかイむぬ [tsɥkaɥmunu] [名] [つかイむ¹ぬまい...]  
 使用人。奉公人。小使い。  
 つがいり [tsɥgai] [動 II 類 a 型] [つがいー、つ  
 がいん] 違える。【例】みつう つがいり (道を  
 まちがえる)。【同】「ちがいり」。  
 つがう [tsɥgau] [動 I 類 a 型] [つけげー、つがー  
 ん] 違う。  
 つかぎ [tsɥkagi] [名] [つか¹ぎまい...] 食事。食  
 糧。【例】きゅーぬ つかぎ (今日の食糧)。つ  
 かぎぬ まーす (食事ごと)。  
 つかぎむぬ [tsɥkagimunu] [名] [つかぎむぬま  
 い...]。つかぎむ¹ぬまい... 食事。【例】ピーま  
 ぬ つかぎ (昼の食事)。  
 つかぐる [tsɥkaguru] [名] [つかぐ¹るまい...] 近  
 頃。この頃。  
 つかしゃ [tsɥkaça] [名] [つかしゃまい...] 近さ。  
 近いこと。近い所。  
 つかしゃ [tsɥkaça] [名] [つかしゃまい...] 司。祝  
 女。巫女 (かんなぎ)。司祭者。のろ。  
 つかしゃーり [tsɥkaça:i] [形] [つか¹しゃまい...]  
 近い。近い距離である。近縁である。  
 つかしゃぎー [tsɥkaçagi:] [名] [植] [つかしゃぎ  
 ¹ーまい...] ながみぼちよーじ (村史)。  
 つかしゃムま [tsɥkaçamma] [名] [つかしゃム¹ま  
 まい...] 司祭者。のろ。  
 つかしゃやー [tsɥkaçaja:] [名] [つかしゃやーん  
 けー...] 平良にある漲水御嶽。  
 つかす [tsɥkasɥ] [動 I 類 c 型] [つかしー、つかし

- ちゃん) 種つけする。交尾させる。【例】たにつかし (交尾させよ)。
- つかす [tsɯkasɯ] [動I類c型] [つかしー、つかしちゃん) 突かせる。棒で突くこと。【例】ぼうしー つかし (棒で突かせなさい)。
- つかす [tsɯkasɯ] [動I類c型] [つかしー、つかしちゃん) 搗かせる。杵で穀物を搗く。【例】あーう つかし (粟を搗かせなさい)。
- つがす [tsɯgasɯ] [動I類a型] [つがしー、つがしちゃん) 継がせる。継承させる。【例】いぱいゆ つがし (位牌を継がせなさい)。
- つがす [tsɯgasɯ] [動I類c型] [つがしー、つがしちゃん) 注がせる。【例】しゃきう つがし (酒を注がせなさい)。
- つかずギ [tsɯkadzɯkɯ] [動I類c型] [つかずきー、つかずかん) 近づく。【例】つかずギな (近づくな)。
- つかずきリ [tsɯkadzɯki] [動II類c型] [つかずきー、つかずきん) 近づける。【例】つかずきる (近づける)。つかずきんな (近づけるな)。
- つかどうくな [tsɯkadukuna] [名] [つかどうく<sup>1</sup>なまい...] 近い所。近辺。近所。
- つかなーす [tsɯkana:sɯ] [動I類c型] [つかなーしー、つかなーしちゃん) 養わせる。飼わせる。【例】あんー つかなーし (ぼくに養わせよ)。
- つかぬー [tsɯkanu:] [動I類c型] [つかぬー、つかなーん) 養う。家畜を飼育する。【例】つかぬー ぶリ (養っている。飼育している)。つかぬー みーる (養ってみよ。飼育してみよ)。つかぬー わーり (養って下さい。飼育して下さい)。
- つかぬーいギむす [tsɯkanu:iɯkɯmusɯ] [名] [つかぬーいギむすまい...。つかぬーいギむ<sup>1</sup>すまい...] 飼育している家畜。
- つかぬーいな [tsɯkanu:iina] [名] [つかぬーい<sup>1</sup>なまい...] 飼育している犬。
- つかぬーヴヴァあ [tsɯkanu:vva] [名] [つかぬーヴ<sup>1</sup>ヴァまい...] 養育している子ども。父母のない子のこと。
- つかぬーうす [tsɯkanu:usɯ] [名] [つかぬーう<sup>1</sup>すまい...] 飼育している牛。
- つかぬーうや [tsɯkanu:uja] [名] [つかぬーう<sup>1</sup>やまい...] 養育している親。養父母。
- つかぬーぐりしゃーリ [tsɯkanu:guriɕa:] [形] [つかぬーぐり<sup>1</sup>しゃまい...] 養うのにむずかしいこと。難儀なこと。
- つかぬーとうリ [tsɯkanu:tu] [名] [つかぬーとう<sup>1</sup>リまい...] 飼育している鶏。
- つかぬーにか [tsɯkanu:nika] [名] [つかぬーに<sup>1</sup>かまい...] 飼育している猫。
- つかぬーぬま [tsɯkanu:nu:ma] [名] [つかぬーぬ<sup>1</sup>ままい...] 飼育している馬。
- つかぬーぬす [tsɯkanu:nusɯ] [名] [つかぬーぬ<sup>1</sup>すまい...] 飼育している主。家畜の主。
- つかぬーばき [tsɯkanu:baki] [名] [つかぬーばきまい...。つかぬーば<sup>1</sup>きまい...] 家畜を養ってその見返りに分けてもらうこと。
- つかぬーびんだ [tsɯkanu:pinda] [名] [つかぬーびん<sup>1</sup>だまい...] 飼育している山羊。
- つかぬーやすしゃーリ [tsɯkanu:jasɯɕa:] [形] [つかぬーやす<sup>1</sup>しゃまい...] 飼育し易いこと。養育しやすいこと。
- つかぬーわー [tsɯkanu:wa:] [名] [つかぬーわ<sup>1</sup>ーまい...] 飼育している豚。
- つかふ [tsɯkafu] [名] [つかふ<sup>1</sup>んまい...] 近く。近い。近所。近辺。
- つかふ なリ [tsɯkafu na] [連語] 近くなる。【例】つかふ なりった (近くなった)。
- つかふばる [tsɯkafubaru] [名] [つか<sup>1</sup>ふばるまい...] 近い畑。近い所にある畑。
- つかます [tsɯkamasɯ] [動I類c型] [つかましー、つかましちゃん) 掴ませる。【例】つかまし (掴ませろ)。
- つかム [tsɯkam] [動I類c型] [つかみー、つかまん) 掴む。【例】つかまん (掴まない)。つかまいん (掴まえない)。つかみー みーだ (掴んでごらん)。つかみー ゆいる (掴んでもらいなさい)。
- つから [tsɯkara] [名] [つからまい...] 力。腕力。体力。脚力。
- つからくらび [tsɯkarakurabi] [名] [つからくら<sup>1</sup>びまい...] 力比べ。

つからすぐとう [tsɰkarasɰgutu] [名] [つからすぐとうまい...。つからすぐ<sup>1</sup>とうまい...] 力仕事。重労働。

つからだみす [tsɰkaradamisɰ] [名] [つからだみ<sup>1</sup>すまい...] 力だめし。

つからまき [tsɰkaramaki] [名] [つからまきまい...] 力負け。

つからみどうム [tsɰkaramidum] [名] [つからみどう<sup>1</sup>ムまい...] 力強い女。女傑。才女。

つかり [tsɰka] [動I類a型] [つかりー、つからん] 浸る。水に浸る。【例】いムー つかり (海に入る)。

つかり [tsɰkari] [名] [つかりまい...] 疲れ。だるい。【例】つかれー ねーん (疲れはない)。

つかりすぎ [tsɰkarisɰgɰ] [動II類c型] [つかりー、つかりん] 疲れ過ぎる。過労になる。農繁期に口々に言う。

つかりなうす [tsɰkarinausɰ] [名] [つかりなうすまい...] 疲れ直し。夕方の酒。労働をいやすこと。【同】「つかりのーす」。【類】「ぶがりなうす」。

つかりのーす [tsɰkarino:sɰ] [名] 疲れ直し。夕方の酒。【同】「つかりなうす」。

つかりり [tsɰkari] [動II類a型] [つかりー、つかりん] 疲れる。【例】つかりった (疲れた)。

つがわ [tsɰgawa] [名] [つがわんまい...] 津川部落。つがー。午支部。仲午。

つぎ [tsɰkɰ] [名] [つぎまい...] 月。天体の月。年月の月。【例】つぎがなす (お月様)。ミかずぎ (三日月)。ふたつぎ (二ヶ月)。なすずぎ (臨月)。

つぎ [tsɰkɰ] [動I類c型] [つきー、つかん] 付く。【例】なばぬ つぎ (垢が付く)。

つぎ [tsɰkɰ] [動I類c型] [つきー、つかん] 突く。【例】イズうつぎ (魚を突く)。ぼーしー つぎ (棒で突く)。つかん (突かない)。ぼーしー つぎな (棒で突くな)。

つぎ [tsɰkɰ] [動I類c型] [つきー、つかん] 種子付けする。交尾。【例】つかん (種子付けに失敗すること)。

つぎ [tsɰkɰ] [動I類c型] [つきー、つかん] 着

く。【例】ふにぬつぎ (船が着く)。つかん (着かない)。ふねー みだ つかん (船はまだ着かない)。

つぎ [tsɰkɰ] [動I類c型] [つきー、つかん] 搗く。【例】ゆにつぎ (粟を搗く)。むつーつぎ (餅搗き)。みだ つかん (まだ搗いていない)。

つぎ [tsɰgɰ] [名] [つぎまい...] さしば捕獲用のとりで。

つぎ [tsɰgɰ] [名] [つぎんまい...] 悪い。失敗。【例】ましゃりー つぎん なり (ますます悪くなる)。きしゃゆーりーらー つぎ (先より悪い)。

つぎ [tsɰgɰ] [動I類a型] [つぎー、つがん] 継ぐ。【例】うきつぎ (受け継ぐ)。

つぎ [tsɰgɰ] [動I類a型] [つぎー、つがん] 接ぐ。【例】きーゆ つぎ (木を接ぐ)。

つぎ [tsɰgɰ] [動I類a型] [つぎー、つがん] 注ぐ。【例】しゃきう つぎ (酒を注ぐ)。

つぎ [tsɰgi] [名] [つぎまい...] 告げ。告げること。

つぎ [tsɰgi] [名] [つ<sup>1</sup>ぎまい...] 次。順序。【例】つぎぬ ばん (次の番だ)。

つきあい [tsɰkiai] [名] [つきあまい...] 付き合い。付き合う。

つきあヴヴあ [tsɰkiavva] [名] [つきあヴ<sup>1</sup>ヴあまい...] 付け油。髪につける油。

つぎあかり [tsɰkɰaka] [名] [つぎあか<sup>1</sup>りまい...] 月あかり。月光。

つぎあがり [tsɰkɰaga] [動I類a型] [つぎあがりー、つぎあがらん] 増長する。いい気になる。

つぎあぎり [tsɰkɰagi] [動II類a型] [つぎあぎー、つぎあぎん] 突き上げる。押し上げる。

つぎあたり [tsɰkɰata] [動I類a型] [つぎあたりー、つぎあたらん] 突き当たる。【例】ぱらん つぎあたり (柱につきあたる)。

つきあに [tsɰkiani] [名] [つきあ<sup>1</sup>にまい...] 付け姉。子守はしなくても形だけの守姉。

つぎー [tsɰgi:] [動I類] [つぎすいー、つぎさん] 妨害する。邪魔する。【例】みつう つぎー (道を防ぐ)。

つぎうしゅム [tsɰkɰuɰum] [動I類] [つぎうしゅみー、つぎうしゅまん] 社交性のない人が仲間

からはずれてうつむく。人前に堂々と自分を表現できない。または、その人。

つぎうしゅムむぬ [tsɯkɯcɯmmunu] [名] [つぎうしゅムむぬまい...] 仲間からはずれてうつむいてばかりいる、社交性のない人。

つぎうす [tsɯkɯsɯ] [名] [つぎう<sup>1</sup>すまい...] 搗き臼。木臼。石臼。

つきうっとう [tsɯkiuttu] [名] [つきうっ<sup>1</sup>とうまい...] 子守はされなくても形だけの守子。

つぎうとうす [tsɯkɯtusɯ] [動I類a型] [つぎうとうしー、つぎうとうしゅん] 突き落とす。【例】心から つぎうとうす (船の上から突き落とす)。

つきうや [tsɯkiuja] [名] [つきう<sup>1</sup>やまい...] 付け親。形だけの父。

つぎかいり [tsɯkɯkai] [動II類c型] [つぎかいー、つぎかいん] 付け替える。【例】ぼたんゆつぎかいり (ボタンを付け替える)。

つぎがき [tsɯkɯgaki] [名] [つぎが<sup>1</sup>きまい...] 月掛け。毎月掛け金を出すこと。

つぎがなす [tsɯkɯganasɯ] [名] [つぎがな<sup>1</sup>すまい...] お月様。月の敬称。

つぎがに [tsɯkɯgani] [名] [つぎが<sup>1</sup>にまい...] 突き鐘。災害の時などに突く鐘。【類】「かに」。

つきぎ [tsɯkigi] [名] [つき<sup>1</sup>ぎまい...] 付き木。燐寸 (まっち)。発燭。【同】「つきだき」。

つぎき [tsɯgɯki] [名] [つぎきまい...] 接ぎ木。

つきくム [tsɯkikumu] [動I類c型] [つきくみー、つきくまん] 付け込む。チャンスをとらえる。付け入る。【例】なまぬ ばーすん つきくム (今のチャンスに付け込む)。

つぎくム [tsɯgikum] [動I類c型] [つぎくみー、つぎくまん] 注ぎ込む。金を注ぎ込む。財産を注ぎ込む。【例】ぱちんくん つぎくム (パチンコに注ぎ込む)。

つぎしゅ [tsɯkɯcɯ] [名] [つぎ<sup>1</sup>しゅまい...] 月の夜。月あかりのきれいなときに言う。【同】「つぎすう」。

つぎしゅい [tsɯkɯcɯi] [名] [つぎしゅいま<sup>1</sup>い...] 付き添え。

つぎしゅいり [tsɯkɯcɯi] [動II類c型] [つぎし

ゅいー、つぎしゅいん] 付き添える。

つぎしゅー [tsɯkɯcɯ:] [動I類c型] [つぎしゅえー、つぎしゅーん] 付き添う。【例】つぎしゅいーいぎ (付き添って行く)。

つぎすう [tsɯkɯsu] [名] [つぎ<sup>1</sup>すうまい...] 月の夜。月あかりのきれいなときに言う。【同】「つぎしゅ」。

つぎずぎ [tsɯkɯdzɯki] [副] 月々。毎月。月ごと。

つぎすまい [tsɯkɯsɯmai] [名] [つぎすま<sup>1</sup>いまい...] 月末。

つぎずみり [tsɯkɯdzɯmi] [動II類a型] [つぎずみー、つぎずみん] 問い詰める。子供が母にねだるときにも言う。【例】しょーじきん ーけつぎずみたり (正直に言うまで問い詰めた)。

つぎずム [tsɯkɯdzɯm] [動I類a型] [つぎずみー、つぎずまん] 攻め立てる。要求する。ねだる。【例】あんなんけー つぎずム (母にねだる)。

つきずる [tsɯkidzɯru] [名] [つきずるまい...。つきず<sup>1</sup>るまい...] 漬け汁。漬け物の汁。

つぎたうす [tsɯkɯtausɯ] [動I類a型] [つぎたうしー、つぎたうしゅん] 突き倒す。【例】しないしー つぎたうす (竹刀で突き刺す)。【同】「つぎとーす」。

つきだき [tsɯkidaki] [名] [つきだ<sup>1</sup>きまい...] 付け竹。つきぎ。マッチ。

つきたす [tsɯkitasɯ] [動I類c型] [つきたしー、つきたしゅん] 付け足す。添える。増やす。【例】くるーまい つきたし (これも添えなさい)。

つぎたす [tsɯgɯtasɯ] [動I類c型] [つぎたしー、つぎたしゅん] 継ぎ足す。縄を継ぎ足す。

つぎたす [tsɯgɯtasɯ] [動I類a型] [つぎたしー、つぎたしゅん] 注ぎ足す。コップの残りの酒に注ぎ加える。

つぎたつ [tsɯkɯtatsɯ] [名] [つぎたつまい...] ついたち。毎月の一。その月の一日。

つぎたり [tsɯkɯta] [動I類a型] [つぎたりー、つぎたらん] 搗き混ぜる。麴 (こうじ) と豆を白に搗き混ぜる。【例】ムーゆ つぎたり (煮た芋を搗きこねる)。

つぎぬむぬ [tsɯkɯnu munu] [名] [つぎぬむ<sup>1</sup>ぬまい...] 月経。

つぎぬ ゆー [tsɯkɯnu ju:] [名] [つぎぬゆ<sup>1</sup>ーまい...] 月の夜。月が見える夜。

つぎぱー ねーん [tsɯkɯpa: ne:n] [連語] 理由のないこと。わけの分からないこと。【例】つぎぱーねーん むぬイー (わけの分からない言い方)。

つぎぱずみ [tsɯkɯpadzɯmi] [名] [つぎぱず<sup>1</sup>みまい...] 月初め。月の初めの日。

つきふしゆ<sup>1</sup> [tsɯkɯfɯɕu:] [名] [つきふしゆ<sup>1</sup>りまい...] 付け薬。こう薬。

つぎふた [tsɯkɯfuta] [名] [つぎふたまい...] すき間のないほど散らかっている様。隙間のないほど物が置かれていること。

つぎふつ [tsɯkɯfutsɯ] [名] [つぎふつまい...。つぎふ<sup>1</sup>つまい...] 着く所。船の着く所。棧橋。

つぎふつ [tsɯgɯfutsɯ] [名] [つぎふ<sup>1</sup>つまい...] さしば捕獲用の小屋を作ること。とりでを作ること。さしばは世界保護鳥。

つぎふっずー [tsɯkɯfuddzɯ:] [動 I 類 c 型] [つぎふっじー、つぎふっじゃん] いじくる。棒で突きあさること。【例】たくぬ やーう つぎふっずー (蛸の巣を突き歩き)。

つぎみんぎ [tsɯkɯmingɯ] [動 I 類 a 型] [つぎみんぎー、つぎみんがん] 突き痛める。親指で強く押し痛める。【例】むむにう つぎみんぎ (腿を突き痛める)。

つきむぬ [tsɯkimunu] [名] [つきむぬまい...] 漬物。

つきムま [tsɯkimma] [名] [つきム<sup>1</sup>まい...] 付け母。形だけの母。

つぎやヴヴイ [tsɯkɯjavvɯ] [動 I 類 a 型] [つぎやヴヴいー、つぎやヴヴあん] 他人の悪口を言って仲を悪くさせる。お節介。

つぎやヴヴイ [tsɯkɯjavvɯ] [動 I 類 c 型] [つぎやヴヴいー、つぎやヴヴあん] 突き破る。障子を突き破るなどに言う。

つぎやぶり [tsɯkɯjabu] [動 I 類 a 型] [つぎやぶりー、つぎやぶらん] 突き破る。

つぎゆに [tsɯkɯjuni] [名] [つぎゆ<sup>1</sup>にまい...] 搗き粟。白で搗いて精げた粟。粟のことを「ゆに」とも言う。

つきり [tsɯki] [動 II 類 c 型] [つきー、つきん]

付ける。くっつける。ボタンをつける。薬をつける。【例】べにう つきり (紅を付ける)。

つきり [tsɯki] [動 II 類 c 型] [つきー、つきん] 火を点ける。点火する。点灯する。

つきり [tsɯki] [動 II 類 c 型] [つきー、つきん] 漬ける。漬け物を作る。【例】ぴりる つきり (ニンニクを漬ける)。

つきり [tsɯki] [動 II 類 c 型] [つきー、つきん] 着ける。船を着ける。車を横着けにする。

つきり [tsɯgi] [動 II 類 a 型] [つぎー、つぎん] 告げる。報告する。

つぎん なり [tsɯgɯn na] [連語] ますます悪くなる。

つぎんぎ [tsɯkɯnkɯ] [動 I 類 a 型] [つぎんぎー、つぎんかん] 突っ込む。やみくもに行く。【例】つぎんぎー ギー (突っ込んで来る。やみくもに走ってくる)。

つくい [tsɯkui] [名] [つく<sup>1</sup>いまい...] 机。

つくー [tsɯku:] [動 I 類 a 型] [つけー、つかーん] 使う。使用する。【例】つかい (使いなさい)。つけー ぴならず (使って減らす)。【同】「つくー」。

つくーかた [tsɯku:kata] [名] [つくーか<sup>1</sup>たまい...] 使い方。使用法。

つくーなり [tsɯku:nari] [名] [つくーなりまい...] 使い慣れ。【例】つくーなりかたな (使い慣れた包丁)。

つくーなりり [tsɯku:nari] [動 II 類 a 型] [つくーなりー、つくーなりん] 使い慣れる。

つくーばていり [tsɯku:patɯ] [動 II 類 a 型] [つくーばていー、つくーばていん] 使い果たす。【例】つくーばていんけ くー (使い果たさないうちに来なさい)。

つくーぴとう [tsɯku:pɯtu] [名] [つくーぴとうまい...。つくーピ<sup>1</sup>とうまい...] 使用人。【類】「つくーべー」。

つくーふっずー [tsɯku:fuddzɯ:] [動 I 類 c 型] [つくーふっじー、つくーふっじゃん] こき使う。【例】ぬーまう つくーふっずー (馬をこき使う)。

つくーべー [tsɯku:be:] [名] [つくーべーまい...]

使用人。【類】「つくーピとう」。  
 つくーみず [tsʃku:midzɯ] [名] [つくーみずまい...  
 つくーみ<sup>1</sup>ずまい...] 使うための水。生活用水。  
 つくーみつ [tsʃku:mitsʃ] [名] [つくーみつまい...  
 つくーみ<sup>1</sup>つまい...] 使い道。使う目的。用途。  
 つくーやすしゃーり [tsʃku:jasʃa:ɾi] [形] [つくー  
 やすしゃまい...] 使い易い。抵抗のないこと。道  
 具が使いやすい。子供の利口なことにも言う。  
 つくーゆー [tsʃku:ju:] [名] [つくーゆーまい...  
 つくーゆ<sup>1</sup>まい...] 使う用途。使用するための  
 もの。  
 つくき [tsʃkuki] [名] [つくきま<sup>1</sup>い...] 重ねること。  
 ある物の上に乗せること。  
 つくきり [tsʃkuki] [動II類c型] [つくきー、つ  
 くきん] 重ねる。【例】じゅーばくー つくきり  
 (重箱を重ねる)。  
 つくくなーり [tsʃkukuna:ɾi] [動I類c型] [つく  
 くなーりー、つくくなーらん] 重なる。幾重に  
 も重なる。  
 つくす [tsʃkusʃ] [動I類c型] [つくしー、つく  
 しゃん] 尽す。  
 つくどうん [tsʃkudun] [名] [つくどう<sup>1</sup>んまい...]  
 筑登之。琉球王府の役職。  
 つけうす [tsʃkeusʃ] [名] [植] [つけうすまい...]  
 しゃりんばい。  
 つげー [tsʃge:] [名] [つげーまい...] ひかがみ。よ  
 ぼろ。膝の後ろのくぼみ。膝窩(しっか)。【同】  
 「つげーり」。  
 つげーす [tsʃge:sʃ] [動I類a型] [つげーしー、  
 つげーしゃん] 糸を結ぶ。たくさんの糸を結ぶ  
 こと。結び合わせる。【例】いとー つげーす  
 (糸を結ぶ)。  
 つげーり [tsʃge:ɾi] [名] [つげー<sup>1</sup>りまい...] ひか  
 がみ。よぼろ。膝の後ろのくぼみ。膝窩。【同】  
 「つげー」。  
 つげーり [tsʃge:ɾi] [動I類a型] [つげーりー、つ  
 げーらん] 連なる。結びつく。【例】いとー つ  
 げーりーり (糸は結ばれている)。  
 つごー [tsʃgo:] [名] [つごーま<sup>1</sup>い...] 都合。事情。  
 金を工面する。  
 つさー [tsʃsa:] [助] ~だそうだ。【例】かれー ギ

ムつさー (彼は来るんだそうだ)。  
 つさあばなギ [ssaapanakɯ] [動I類a型] [っさあ  
 ばなきー、っさあばなかん] ぼんやりする。ぼ  
 かんとして上を見る。【例】っさあばなギ すな  
 (ぼんやりするな)。  
 つさいり [ssai] [動II類a型] [っさいー、っさ  
 いん] 申しあげる。【例】っさいる (申しあげな  
 さい)。っさいまん (申しあげない)。っさいど  
 うす (申しあげる)。っさいぐまた (申しあげ  
 るべきだ。申しあげたい)。っさいたムな (申  
 しあげたか)。  
 つさいり [ssai] [動II類a型] [っさいー、っさ  
 いん] 理解できる。わかりやすい。【例】っさい  
 まん (理解できない)。っさいどうす (理解で  
 できる)。っさいぐまた (理解できるべきだ)。っ  
 さいたムな (理解できたか)。【同】「っさりり」。  
 つさがらす [ssagarasʃ] [動I類c型] [っさがら  
 しー、っさがらしゃん] ぶら下がらす。【例】ゆ  
 だん つさがらす (枝にぶら下がらす)。  
 つさがり [ssaga] [動I類c型] [っさがりー、っ  
 さがらん] ぶら下がる。【例】ていつぼーん つ  
 さがり (鉄棒にぶら下がる)。  
 つさぎ [ssagi] [名] [っさ<sup>1</sup>ぎまい...] 白髪。  
 つさきよーぎん [ssakjo:gin] [名] [っさきよーぎ<sup>1</sup>  
 んまい...] 狂言。おもしろおかしく振る舞うこ  
 事。その舞台。  
 つさきよーぎん [ssakjo:gin] [名] [っさきよーぎ  
<sup>1</sup>んまい...] 狂言めいたふざけ。【例】たらーん  
 むぬぬ つさきよーぎん (お馬鹿さんの悪ふざ  
 け)。【同】「っさけうぎん」。  
 つさきよーだい [ssakjo:dai] [名] [っさきよーだ<sup>1</sup>  
 imai...] きょうだいであるかのように気が合  
 う仲間。【例】ヴヴあとう ぼんとー つさきよ  
 ーだい (あなたと私とはよく気が合う仲間だ)。  
 【同】「っさけうだい」。  
 つさきり [ssaki] [動I類c型] [っさきりー、っさ  
 きらん] しらける。夜が明ける。座が白ける。  
 つさく [ssaku] [名] [っさ<sup>1</sup>くまい...] 咳。しわぶ  
 き。喉や気管から出る強い呼吸。  
 つさくやム [ssakujam] [名] [病] [っさ<sup>1</sup>くやム  
 まい...] 結核。肺結核。

っさけうぎん [ssakeugin] [名] [っさけうぎ<sup>1</sup>んまい...] 狂言めいたふざげ。【例】ヴヴあとう ばんとー っさけうだい (あなとと私とはよく気が合う仲間だ)。【同】「っさきよーぎん」。

っさけうだい [ssakeudai] [名] [っさけうだ<sup>1</sup>いまい...] きょうだいであるかのように気が合う仲間。【例】たらーんむぬぬ っさけうぎん (お馬鹿さんの悪ふざげ)。【同】「っさきよーだい」。

っさす [ssas] [名] [っさすまい...] 知らせ。伝達。前兆。前ぶれ。海の濁りは台風が近くにある。とんぼが地面近くに群れると台風前兆。

っさす [ssas] [動 I 類 a 型] [っさしー、っさしやん] 知らせる。【例】っさすな (知らせるな)。でいんわしー っさす (電話で知らせる)。

っさすべー [ssasjbe:] [名] [っさすべーまい...。っさすべ<sup>1</sup>ーまい...] 知らせる係。伝達係。

っさすむぬ [ssasjmunu] [名] [っさすむぬまい...。っさすむ<sup>1</sup>ぬまい...] お知らせ。通知。便り。広報。

っさにす [ssanis] [名] [っさにすまい...] 秋の季節。白い夏。夏の終り。【同】「っさムす」。

っさぱがム [ssapagam] [動 I 類 c 型] [っさぱがみー、っさぱがまん] うす笑いをする。

っさびむぬ [ssabimunu] [名] [っさびむ<sup>1</sup>ぬまい...] 穀物を精げたもの。

っさびり [ssabi] [動 I 類 c 型] [っさびりー、っさびらん] 精げる。整える。穀物を精げる。箕で粟の種とごみを選り分ける。【例】あーう っさびる (粟を精げなさい)。

っさぺー [ssape:] [名] [病] [っ<sup>1</sup>さぺー<sup>1</sup>まい...] 白くも。白なまず。皮ふにできる斑点。

っさム [ssam] [名] [昆虫] [っさ<sup>1</sup>ムまい...] 虱。哺乳動物に寄生して吸血する。

っさムす [ssamsj] [名] [っさムすまい...。っさム<sup>1</sup>すまい...] 秋。秋の頃。秋の季節。涼しい北風 (白風) が吹く季節。【同】「っさにす」。

っさムずム [ssamdzm] [名] [っさ<sup>1</sup>ムずムまい...] 虱とり。女性の頭髮に寄生する虱を指先で搦んでとる。

っさり [ssa] [名] [昆虫] [っさりまい...] 白蟻。

っさり [ssari] [名] [っさ<sup>1</sup>りまい...] 発情。交尾

の状態になること。

っさりり [ssari] [動 II 類 a 型] [っさりー、っさりん] 知られる。知れ渡る。

っさりり [ssari] [動 II 類 a 型] [っさりー、っさりん] 理解できる。わかりやすい。【同】「っさいり」。

っさん しやきぬム [ssan cakinum] [名] [っさんしやきぬ<sup>1</sup>ムまい...] 酒の暴飲。馬鹿飲み。

っさんけ [ssanke] [連語] 知らないうちに。いつの間にか。【例】っさんけ ヴえーがりーぶり (知らないうちに大きく育っている)。

っさんたんでい [ssantandi] [連語] 全くだ。その通りだ。【例】っさんたんでい イーねーん (全くだ、言う通りだ)。

っさんたんでい [ssantandi] [連語] 知る由もない。知らないよ。知るものか。【例】っさんたんでい かりが くとうー (知るもんか、彼のことを)。

っさんピとう [ssanpjtu] [名] [っさんピ<sup>1</sup>とうまい...] 知らない人。初対面の人。

っさんふー [ssanfu:] [名] [っさんふ<sup>1</sup>ーまい...] 暴食。暴飲。馬鹿食い。

っさんふーり [ssanfu:] [名] [っさんふーりまい...] 知らないふり。知らぬ顔。

っじーば [ddzi:ba] [接尾] ~するだろう、いやしない。~するはずがない。反語を表わす。【例】けんりょくんや かたいつじーば (権力には勝てるはずがない)。

っしえー [cɕe:] [感] 動物を追い払うときのことば。

っじば [ddziba] [接尾] ~するつもりなので、~するので。意志の接辞に理由の接辞が付いた形。【例】あた でいんわう しゅっじば (明日電話するから)。あた くっじば (明日行くので)。

っしばぎ [cɕipag] [名] [っしば<sup>1</sup>ぎまい...] 後ろ足。

っしゃな [cɕana] [形] [っしゃ<sup>1</sup>なまい...] 汚い。不潔。【例】っしゃなしや (汚いなあ)。っしゃなしやん ならん (汚くてたまらない)。

っしゃなぎしやーり [cɕanagica:] [形] [っしゃなぎ<sup>1</sup>しまい...] 汚らしい。品のないこと。【例】

っしやなぎばなす (汚らしい話)。  
 っしやなしやーり [ççanaça:] [形] [っしやな<sup>1</sup>しやまい...] 汚い。不潔。下品。  
 っしやなみず [ççanamidz] [名] [っしやなみ<sup>1</sup>ずまい...] 汚水。【類】「ゆぐりみず」。  
 っしやなむぬ [ççanamunu] [名] [っしやなむ<sup>1</sup>ぬまい...] 汚い物。【類】「ゆぐりむぬ」。  
 っしやなむぬイー [ççanamunū:] [名] [っしやなむぬイー<sup>1</sup>まい...] 汚い言葉。下品な言葉。  
 っじゆが [ddzuga] [接尾] ~するつもりだが。意志を表わす〈~ずー〉に逆接を表わす〈~しゆが〉が融合した形。【例】きゅー しゅっじゆが (今日やるつもりだが)。  
 つず [tsjdz] [名] [つずまい...] 唾 (つば)。唾液 (だえき)。  
 つず [tsjdz] [名] [つずんまい...] 頂。頂上。嶺。丘。てっぺん。  
 つすいばギ [ssipag] [名] [つすいば<sup>1</sup>ギまい...] 後の足 (脚)。四つ足動物の後脚。  
 つすいばら [ssibara] [名] [つすいばらんまい...] 後方。後方の家。  
 つすいばら まいばら [ssibara maibara] [名] [つすいばらまいば<sup>1</sup>らまい...] 後隣・前隣。後と前の両隣。  
 つすいばらやー [ssibaraja:] [名] [つすいばらや<sup>1</sup>まい...] 後ろ隣。後ろの家。  
 つすう [ssu] [名] [つ<sup>1</sup>すうまい...] 白。白色。【例】つすうどうり (白鳥)。つすうふむ (白い雲)。つすういる (白色)。  
 つすうあヴヴあ [ssuavva] [名] [つすうあヴ<sup>1</sup>ヴあまい...] 豚の肉についている白い脂。  
 つすうあか [ssuaka] [名] [つ<sup>1</sup>すうあか<sup>1</sup>まい...] 白赤。白色と赤色。  
 つすうあか [ssuaka] [名] [つすうあ<sup>1</sup>かまい...] 白髪。  
 つすうイ [ssu] [名] [つすう<sup>1</sup>イまい...] だだをこねること。幼児があれこれ言うこと。【例】つすうイてーな (だだばかりこねる)。  
 つすういる [ssuiru] [名] [つすうい<sup>1</sup>るまい...] 白色。白いクレヨン。  
 つすううきん [ssuukin] [名] [植] [つすううき<sup>1</sup>

んまい...] 白ウコン。ウコンの一種。  
 つすうーつすう [ssu:ssu] [重複] 白いこと。とても白いこと。  
 つすうが [tsjsuga] [助] ~だそうだが。「つきー」に逆接を表す「しゆが」が付いた形。【例】まーつき ギたりつすうが (一緒に来たそうだが)。  
 つすうがー [ssuga:] [名] [つすうが<sup>1</sup>まい...] 白い肌。白い肌の人。生まれつき肌の白い人。【例】つすうがーむぬ (肌色の白い人)。  
 つすうかビ [ssukab] [名] [つすうか<sup>1</sup>ビまい...] 白紙。文字の書いていない紙。  
 つすうき [ssuki] [名] [植] [つすうきま<sup>1</sup>い...] くさとべら。  
 つすうぎー [ssugi:] [名] [つすうぎ<sup>1</sup>まい...] 白い毛。【例】つすうぎーぬーま (白い毛の馬。白馬)。  
 つすうきばま [ssukibama] [名] [地] [つすうきば<sup>1</sup>まい...] 多良間島の〈とうぶり〉の名前。村史参照。  
 つすうギん [ssugin] [名] [つすうギ<sup>1</sup>んまい...] 白い着物。のろの着物。白装束。白衣。  
 つすうギんがま [ssugin-gama] [名] [つすうギんが<sup>1</sup>まい...] 産着。赤ちゃんの産着を愛おしく言う。  
 つすうくー [ssuku:] [名] [つすうく<sup>1</sup>まい...] 皮膚のただれ。ふけ。頭の毛につくふけ。【類】「ふき」。  
 つすうしゃーり [ssuça:] [形] [つすう<sup>1</sup>しゃまい...] 白い。白色の。白い物。  
 つすうじゃた [ssudzata] [名] [つすうじゃ<sup>1</sup>たまい...] 白糖。精製糖。【類】「じやらみ」。  
 つすうどうり [ssudu] [名] [つすうどう<sup>1</sup>りまい...] 白鳥。白色レグホン。野鳥の中で白い鳥のこと。  
 つすうなム [ssunam] [名] [つすうな<sup>1</sup>ムまい...] 白波。干瀬に打ち砕ける波。【類】「ぶりなム」。  
 つすうぬーま [ssunu:ma] [名] [つすうぬー<sup>1</sup>まい...] 白馬。白色の馬。戦時中に上官の乗る馬。  
 つすうぬぬ [ssununu] [名] [つすうぬ<sup>1</sup>ぬまい...] 白布。白色の布。  
 つすうばた [ssubata] [名] [つすうば<sup>1</sup>たまい...]

白旗。運動会に使用する紅白の旗の白い方。  
 っすうばま [ssupama] [名] [っすうば<sup>1</sup>まい...]  
 白浜。白い砂浜。  
 っすうばん [ssupan] [名] [っすうば<sup>1</sup>んまい...]  
 爪半月。爪の生え際にある、半月の形をしている部分。爪のゆか。  
 っすうぴぎ [ssupigi] [名] [っすうピ<sup>1</sup>ぎまい...]  
 白ひげ。白髪は「っすうあか」とも言う。  
 っすうぶーがギな [ssubu:gagna] [名] [植] [っすうぶ<sup>1</sup>ーがギなまい...] えのころぐさ。  
 っすうふむ [ssufumu] [名] [っすうふ<sup>1</sup>むまい...]  
 白雲。多良間しゅんかのにの一節にある。  
 っすうまい [ssuma] [名] [っすうま<sup>1</sup>まい...]  
 白米。精米。精白米。糠を除いた米。  
 っすうます [ssumas] [動I類c型] [っすうましー、っすうましやん] 白くす。白色に染める。  
 っすうみー [ssumi:] [名] [っすうミ<sup>1</sup>まい...] 白身。卵白。卵の白身。  
 っすうみず [ssumidz] [名] [っすうみ<sup>1</sup>ずまい...]  
 白水。酒のこと。妻に対して酒と言にくいから言う。  
 っすうム [ssum] [動I類c型] [っすうみー、っすうまん] 白む。白くなる。東の空が白くなる。顔や肌の色が白くなる。病人のこと。  
 っすうむつー [ssumuts:] [名] [っすうむつ<sup>1</sup>ーまい...] 白い餅。着色しない餅。紅白餅の白い方。  
 っすうムなぐ [ssumnagu] [名] [っすうムな<sup>1</sup>ぐまい...] 白い砂。庭を清めるための白い砂。砂浜の砂。  
 っすうムに [ssumni] [名] [地] [っ<sup>1</sup>すうムに<sup>1</sup>まい...] 多良間島の〈とうぶり〉の名前。村史参照。  
 っすうむぬ [ssumunu] [名] [っすうむ<sup>1</sup>ぬまい...] 白いもの。白色系の色すべてに言う。  
 っすうゆ [ssuju] [名] [魚] [っすう<sup>1</sup>ゆまい...] たいの仲間。  
 っすうわー [ssuwa:] [名] [っすうわ<sup>1</sup>ーまい...] 白い豚。黒い豚に対して言う。  
 つずかしゃ [tsjdzjkaca] [名] [つずか<sup>1</sup>しゃまい...] 物入れ。〈まぐ〉より大きい。  
 つずかす [tsjdzjkas] [動I類c型] [つずかしー、

つずかしやん] 続けさせる。続ける。  
 つずギ [tsjdzjk] [動I類c型] [つずきー、つずかん] 続く。【例】あみつずギ(雨続き)。つずき(続け)。あが あとうん つずき(ぼくの後)に続け)。  
 つずきり [tsjdzjki] [動II類c型] [つずきー、つずきん] 続ける。【例】えーぐー つずきる(歌を続けなさい)。  
 つずぬム [tsjdzjnum] [名] [つずぬ<sup>1</sup>ムまい...] 唾を呑むこと。  
 つずます [tsjdzjmas] [動I類c型] [つずましー、つずましやん] 握らす。【例】じんゆ つずます(金を握らす)。  
 つずム [tsjdzjm] [名] [つずムま<sup>1</sup>い...] 鼓。太鼓。日本の打楽器。  
 つずム [tsjdzjm] [動I類a型] [つずみー、つずまん] 握る。【例】じんゆ つずム(金を握る)。  
 つたい [tsjtai] [名] [つたいまい...] 伝え。伝言。言い伝え。  
 つたいり [tsjtai] [動II類a型] [つたいー、つたいん] 伝える。【例】つたいる(伝えよ)。ぱなすう つたいり(話を伝える)。  
 つだに [tsjdani] [名] [つだにまい...] 乳房のしこり。思春期に起きる現象。  
 つたわり [tsjtava] [動I類a型] [つたわりー、つたわらん] 伝わる。伝来。【例】んけーんじゅくぬ つたわり(諺が伝わる)。  
 つちはら [tsjtcihara] [名] [つちはら<sup>1</sup>んまい...] 土原。土原部落。ムたばる。仲子。子支部。  
 つつ [tsjtsj] [名] [つつまい...] 筒。木の筒。竹の筒。物入れ。  
 つつかす [tsjtsjkas] [動I類c型] [つつかしー、つつかしやん] 鳥につつかせる。突かせる。【例】とうりん つつかしー(鳥につつかせた)。  
 つつかみり [tsjkkami] [動II類c型] [つつかみー、つつかみん] 高い所へ差し上げる。  
 つつギ [tsjtsjk] [動I類c型] [つつきー、つつかん] つつく。突く。鳥の口ばしで突く。棒の先で突く。魚の釣り針に食いつく手ごたえがする。【例】いぐムしー つつギ(銛でつつく)。  
 つつぎー [tsjkkj:] [動I類c型] [つつぎすいー、

- つっぎさん] 切る。ねじって切る。根菜類を突き切る。【例】いとうー つっぎすいー (糸をねじ切った)。
- つっくム [tsjkkum] [動 I 類 a 型] [つっくみー、つっくまん] 突込む。勇ましく走って来る。【例】つっくみー ぱりー ギー (突っ込んで走ってくる)。
- つっけーす [tsjkkesj] [動 I 類 a 型] [つっけーしー、つっけーしゃん] 双方が反対側から来て出会う。すれ違う。【例】みつん つけーしー (道にすれ違った)。
- つつシム [tsjtsjɕim] [動 I 類 c 型] [つつしみー、つつしまん] 慎む。慎重に振る舞う。自粛する。【例】ばなすう つつしみよー (話を慎みなさいよ)。
- つつしゅでい [tsjtsjɕudi] [名] [つつしゅでいまい...、つつしゅ<sup>1</sup>でいまい...] 和服の筒袖。
- つったつ [tsjtatsj] [動 I 類 c 型] [つったていー、つったたん] 突っ立つ。直立する。
- つっとう [tsjtту] [名] [つっ<sup>1</sup>とうまい...] つと。苞。土産。旅からの土産。【例】つっとうーばーむただな くだ (お土産を持たずに来なさい)。
- つっとうり [tsjtту] [名] [つっ<sup>1</sup>とう<sup>1</sup>りまい...] 正気。正常な精神状態。【例】つっとうりら ねーん (正気がない。ぼんやり)。
- つっとうり [tsjtту] [動 I 類 c 型] [つっ<sup>1</sup>とうりー、つっ<sup>1</sup>とうらん] ぼんやりする。だまる。【例】つっとうりー たつ (ぼんやりして立っている)。
- つっとうりむぬ [tsjtтуmunu] [名] [つっ<sup>1</sup>とうり<sup>1</sup>む<sup>1</sup>ぬまい...] ぼんやり者。
- つつぬき [tsjtsjnuki] [名] [つつぬきまい...] 筒ぬけ。秘密がもれること。
- つつぬきり [tsjtsjnuki] [動 II 類 a 型] [つつぬきー、つつぬきん] 筒ぬける。秘密がもれる。
- つっぱにり [tsjppani] [動 II 類 c 型] [つっぱにー、つっぱにん] 突っぱねる。拒否する。【例】ムまどーていー つっぱにり (いやだとことわる)。
- つっぱり [tsjppal] [動 I 類 a 型] [つっぱりー、つっぱらん] 支える。家や木が倒れないように支える。またその材木。
- つっぱり [tsjppal] [動 I 類 a 型] [つっぱりー、つっぱらん] 突っ張る。筋肉が突っ張る。
- つつビ [tsjtsjbj] [名] [つつ<sup>1</sup>ビまい...] すす。鍋の底の黒い汚れ。ランプの煙の汚れ。天井のすす。
- つっふい [tsjffj] [動 I 類 c 型] [つっふいー、つっふあん] 作る。工作。畑で作物を栽培する。【例】かびとうりら つっふいった (風を作り終わった)。
- つっふいかい [tsjffjkai] [名] [つっふいか<sup>1</sup>いまい...] 作り替え。改造。【例】やーぬ つっふいかい (家の改造)。
- つっふいぐい [tsjffjgui] [名] [つっふいぐ<sup>1</sup>いまい...] 作り声。わざとらしい発声。
- つっふいなうす [tsjffjnausj] [動 I 類 c 型] [つっふい<sup>1</sup>なうしー、つっふい<sup>1</sup>なうしゃん] 作り直す。作り変える。新しいものに作り変える。【例】たなう つっふい<sup>1</sup>なうす (棚を作り変える)。【同】「つっふいのーす」。
- つっふい<sup>1</sup>なうり [tsjffjnau] [動 I 類 c 型] [つっふい<sup>1</sup>なうりー、つっふい<sup>1</sup>なうらん] 作り直す。修理で品物が元通りに戻る。
- つっふいのーす [tsjffjno:sj] [動 I 類 c 型] [つっふいのーしー、つっふいのーしゃん] 作り直す。作り変える。新しいものに作り変える。【同】「つっふい<sup>1</sup>なうす」。
- つっふい<sup>1</sup>ばなす [tsjffjbanasj] [名] [つっふい<sup>1</sup>ばな<sup>1</sup>すまい...] 作り話。本物に基づかない話。
- つっふい<sup>1</sup>ばるー [tsjffjbaru:] [名] [つっふい<sup>1</sup>ばる<sup>1</sup>ーまい...] 作り笑い。無理して笑うこと。
- つっふい<sup>1</sup>むぬ [tsjffjmunu] [名] [つっふい<sup>1</sup>む<sup>1</sup>ぬまい...] 作り物。自作品。自家製のもの。
- つっふい<sup>1</sup>むぬいー [tsjffjmunu:] [名] [つっふい<sup>1</sup>む<sup>1</sup>ぬい<sup>1</sup>ーまい...] 作り語り。作り話をする。うそつき。
- つっふいやヴヴい [tsjffjjavv] [動 I 類 c 型] [つっふいやヴヴいー、つっふいやヴヴあん] 作り損ねる。作品を失敗する。【例】つっふいやヴヴいー ねーん (作り損ねてしまった)。
- つっふー [tsjffu:] [動 I 類 c 型] [つっふえー、つっふあーん] 繕う。

つつふー [tsɯffu:] [動I類c型] [つつふえー、つつふぁーん] 落ち着く。心を落ち着かせる。

つつふー [tsɯffu:] [動I類c型] [つつふえー、つつふぁーん] 精げる。選別する。さとうきび、野菜などの葉を取り除く。【例】つつふあい (精げよ)。つつふえーった (精げた)。

つつふーぐる [tsɯffu:guru] [名] [つつふーぐ<sup>1</sup>るまい...] 精げた皮。精げた後の不用物。

つつぶかす [tsɯppukasɯ] [動I類a型] [つつぶかしー、つつぶかしゃん] 突き破る。

つつぶがす [tsɯppugasɯ] [動I類a型] [つつぶがしー、つつぶがしゃん] 突き破る。【例】しょーじう つつぶがす (障子を突き破る)。

つつぶり [tsɯffu:] [動I類c型] [つつぶりー、つつぶらん] 作る。自作する。自分で生産する。【例】むずぶりう つつぶり (作物を生産する)。

つつぶりがー [tsɯtsɯpu:ga:] [名] [井戸] [つつぶり<sup>1</sup>が<sup>1</sup>まい...] 井戸の名。人工井戸。

つつぶりむぬ [tsɯffu:munu] [名] [つつぶりむ<sup>1</sup>ぬまい...] 作り物。工作物。農産物。

つつます [tsɯtsɯmasɯ] [動I類c型] [つつましー、つつましゃん] 包ませる。包ます。もらいものをする。【例】きーぬ ぱーん つつます (木の葉に包ます)。

つつみ [tsɯtsɯm] [動I類c型] [つつみー、つつまん] 包む。風呂敷に包む。紙に包む。【例】つつみー ゆいる (包んでもらいなさい)。

つつみばな [tsɯtsɯmbana] [名] [つつみば<sup>1</sup>なまい...] 包み花。神事のとき紙に穀物を包んだもの。

つつみむつー [tsɯtsɯmmutsɯ:] [名] [つつみむつ<sup>1</sup>ーまい...] 葉で包んで作った餅。

つつんぎ [tsɯtsɯnkɯ] [動I類c型] [つつんきー、つつんかん] やみくもに向かって来る。無鉄砲に振舞う。【例】つつんきー ぱりー ギー (やみくもに走ってくる)。

つつんぎむぬ [tsɯtsɯnkɯmunu] [名] [つつんぎむ<sup>1</sup>ぬまい...] 落ちつきのないもの。

つてい [tsɯti] [名] [つていまい...] つて。手がかり。てづる。人づて。

つとう [tsɯtu] [名] [つ<sup>1</sup>とうまい...] 軒石。飾り

石。

つとうまり<sup>1</sup> [tsɯtumaɯ] [動I類c型] [つとうまりー、つとうまらん] つとまる。耐えられる。務まる。【例】つとうまりムげーらい (耐えられるかな)。

つとうみ [tsɯtumi] [名] [つとうみまい...] 勤め。務め。勤務。働き。

つとうみあぎ [tsɯtumiagi] [名] [つとうみあぎまい...] 勤め上げ。勤めを無事に終わること。

つとうみあぎ<sup>1</sup> [tsɯtumiagiɯ] [動II類a型] [つとうみあぎー、つとうみあぎん] 勤め上げる。勤めを無事に終わる。

つとうみにん [tsɯtuminin] [名] [つとうみにんまい...] 勤め人。職業人。公務員。

つとうみ<sup>1</sup> [tsɯtumiɯ] [動II類a型] [つとうみー、つとうみん] 勤める。務める。【例】かいしゃん つとうみ<sup>1</sup> (会社に勤める)。

つどうり [tsɯdu] [名] [鳥] [つどう<sup>1</sup>りまい...] 千鳥。しぎの総称。【類】「いもどうり」「ばまつく」。

つどうりふしや [tsɯdu:fɯɕa] [名] [植] [つどう<sup>1</sup>りふしやまい...] しまにしきそう。

つな [tsɯna] [名] [つ<sup>1</sup>なまい...] 綱。【同】「んな」。

つながり [tsɯnagaɯ] [名] つながり。関わり。血縁関係。【例】つながりぬ あり (関わりがある)。

つながり [tsɯnagaɯ] [動I類a型] [つながりー、つながらん] 繋がる。関わる。

つなぎ [tsɯnagi] [動I類a型] [つなぎー、つながん] 繋ぐ。結びつける。馬や牛を繋ぐ。【例】きーん つなぎ (木につなぐ)。【同】「んなぎ」。

つぬ [tsɯnu] [名] [つぬま<sup>1</sup>い...] 角。【例】うすぬ つぬ (牛の角)。【同】「んぬ」。

つぬじやら [tsɯnudzara] [名] [つぬじや<sup>1</sup>らまい...] 角皿。神酒を飲む皿。スツウブナカ参照。【同】「んぬじやら」。

つぬなし [tsɯnunaci] [名] [つぬな<sup>1</sup>しまい...] 山羊の角のないもの。

つぬぶしやー [tsɯnubuɕija:] [名] [つぬぶしやーまい...] 仕上世屋。年貢の倉庫。【同】「しぬぶしやー」。

つぬム [tsɯnum] [名] [昆虫] [つぬ<sup>1</sup>ムまい...] こ

くぞうむし。穀類につく虫。

つぬム [tsɲum] [動I類] [つぬみー、つぬまん] [つぬムま<sup>1</sup>い...] 唾を呑む。唾を飲み込む。

つぬり [tsɲu] [動I類c型] [つぬりー、つぬらん] 募る。募集。【例】しえんしゅー つぬり (選手を募集する)。

つばき [tsɲbaki] [名] [植] [つば<sup>1</sup>きまい...] 椿。

つばきあヴグあ [tsɲbakiavva] [名] [つば<sup>1</sup>きあヴグあまい...] 椿油。女性が髪につける油。

つばら [tsɲpara] [名] [つばらまい...] 旧暦の九月頃の嵐。大嵐。【同】「つばり」。

つばり [tsɲpa] [名] [つばりまい...] 突張り。柱と柱を貫く木材。

っふ [ffu] [名] [つ<sup>1</sup>ふまい...] 黒。黒色。黒いもの。【例】っふおー ねーん (黒色はない)。

つぶ [tsɲbu] [助数]~坪。土地や畑の面積の単位。1坪は6尺平方。

つぶ [tsɲbu] [名] [つぶまい...] つぼ。容器。物事の大事な所。要点。急所。人間のからだのつぼ。

っふあ [ffa] [名] [っふあまい...] 子。子供。動物の子。植物の根から生じたもの (竹の子)。

っふあーっふあ [ffa:ffa] [重複] まっ暗。暗やみ。

っふあい [ffai] [名] [っふあまい...] 肥料。金肥。堆肥。きゅう肥。下肥。緑肥。

っふあいうーす [ffaiu:sɲ] [名] [っふあいうー<sup>1</sup>すまい...] 肥料運び。肥料運搬。

っふあいうくす [ffaiukusɲ] [名] [っふあいうく<sup>1</sup>すまい...] 肥料起こし。畜舎から食べ粗や糞を出すこと。

っふあいうす [ffaiusɲ] [名] [っふあいうすまい...] 太った牛。高値の牛。

っふあいうずム [ffaiudzɲm] [名] [っふあいうず<sup>1</sup>ムまい...] 肥料を畑に埋めること。植え付け準備。

っふあいかいす [ffaikaisɲ] [名] [っふあいかいすまい...。っふあいかい<sup>1</sup>すまい...] 堆肥を上下に返すこと。

っふあいかたみ [ffaikatami] [名] [っふあいかたみまい...。っふあいかた<sup>1</sup>みまい...] 肥料担ぎ。畑に肥料を担ぐこと。

っふあいずー [ffaidzɲ:] [名] [っふあいずーまい...] 肥えた土地。肥えた畑。作物がよく育つ畑。肥沃地。【類】「じゃうずー」。「じょーずー」。

っふあいつす [ffaissɲ] [動I類c型] [っふあいつしー、っふあいつしやん] 太らせる。

っふあいつつふイ [ffaitsɲff] [名] [っふあいつつ<sup>1</sup>ふイまい...] 肥料作り。緑肥を栽培する。枯れ葉を腐らせる。

っふあいピとう [ffaipɲtu] [名] [っふあいピ<sup>1</sup>とうまい...] 太った人。腹の大きい人。

っふあいぷーり [ffaipu:] [名] [っふあいぷー<sup>1</sup>りまい...] 肥料を畑に散布すること。【類】「っふあいまぎ」。

っふあいまぎ [ffaimakɲ] [名] [っふあいまぎまい...] 肥料を畑に散布すること。【類】「っふあいぷーり」。

っふあいまき [ffaimaki] [名] [っふあいまきまい...] 肥料負け。手が肥料によってただれること。

っふあいまみ [ffaimami] [名] [っふあいまみまい...。っふあいま<sup>1</sup>みまい...] 肥料用の豆科の植物。根に根瘤菌のある植物。主として「はまたなまめ」。

っふあいます [ffaimmasɲ] [名] [っふあいます<sup>1</sup>うまい...] 枯れ草を畜舎に入れて踏ませること。

っふあいり [ffai] [動II類c型] [っふあいー、っふあいん] 太る。肥満になる。

っふあヴえーき [ffave:ki] [名] [っふあヴえーきまい...。っふあヴえー<sup>1</sup>きまい...] 子宝。子宝の家。【同】「っふあうやき」。【類】「っふあだから」。

っふあヴえーだ [ffave:da] [名] [っふあヴえーだまい...] 子鼠。

っふあうす [ffausɲ] [名] [っ<sup>1</sup>ふあうすまい...] 子牛。

っふあうむー [ffaumu:] [名] [っふあうむー<sup>1</sup>まい...] 子を思うこと。子について思案すること。子育て。養育。

っふあうやき [ffaujaki] [名] [っふあうや<sup>1</sup>きま

い...) 子宝。子宝の家。【同】「っふあヴえーき」。  
 【類】「っふあだから」。  
 っふあえーム [ffa:em] [名] {っふあえームまい...}  
 まっ暗。暗い夜。明りのない部屋。  
 っふあかなしゃーり° [ffakanāçɑ:] [形] {っふあ  
 かなしゃまい...} 子を可愛がる。子煩悩。  
 っふあがム [ffagam] [動I類a型] {っふあがみ  
 ー、っふあがまん} 太陽が隠れる。暗くなりつ  
 つある。  
 っふあがり° [ffaga] [動I類a型] {っふあがりー、  
 っふあがらん} 暗くなりかける。夕方のこと。  
 っふあがり° [ffaga] [動I類a型] {っふあがり  
 ー、っふあがらん} 明りを妨げる。明りを遮断  
 する。目の前に人が立つこと。【例】っふあが  
 りー たつ (明りを妨げて立つ)。  
 っふあじみ [ffadzimi] [名] {っふあじみまい...}  
 守宮 (やもり)。  
 っふあしゃーり° [ffaçɑ:] [名] {っふあしゃーり°まい  
 ...} 子守する。子を連れること。  
 っふあしゃーり° [ffaçɑ:] [形] {っふあしゃまい...}  
 暗い。  
 っふあしゆだてい [ffaçudati] [名] {っふあしゆ  
 だていまい...。っふあしゆだていまい...} 子育  
 て。子の養育。  
 っふあす [ffas] [動I類c型] {っふあしー、っ  
 ふあしゃん} 挟む。手を戸に挟む。紙を挟む。  
 【例】ていーゆ っふあす (手を挟む)。  
 っふあす [ffas] [動I類c型] {っふあしー、っ  
 ふあしゃん} 降らせる。  
 っふあだから [ffadakara] [名] {っふあだからまい  
 ...} 子宝。子宝の家。【同】「っふあうやき」。  
 っふあだに [ffadani] [名] {っふあだにまい...。っ  
 ふあだにまい...} 子種。精子。卵子。  
 っふあつ [ffats] [名] {っふあつまい...} 鍬。畑  
 を耕す農具。農夫の必需品。  
 っふあつかでい [ffatskadi] [名] {っふあつかで  
 いまい...} 鍬で耕すこと。  
 っふあつかぬー [ffatskanu:] [名] {っふあつかぬ  
 ーまい...。っふあつかぬーまい...} 子を養う。  
 子育て。子の養育。  
 っふあどうり° [ffadu] [名] {っふあどうりまい...}

ひな。ひよこ。鶏の子。  
 っふあなす [ffanas] [名] {っふあな<sup>1</sup>すまい...}  
 お産。出産。  
 っふあなすムま [ffanasmma] [名] {っふあなす  
 ム<sup>1</sup>まい...} 産婆。取り上げ婆。助産師。  
 っふあなすよーい [ffanasjor:] [名] {っふあなす  
 よー<sup>1</sup>まい...} 出産祝い。誕生祝い。  
 っふあならーす [ffanara:s] [名] {っふあならー  
<sup>1</sup>すまい...} 子の教育。家庭教育。子の躾。  
 っふあぬーま [ffanu:ma] [名] {っふあぬーま  
 ーまい...} 子馬。  
 っふあぬムま [ffanumma] [名] {っふあぬム<sup>1</sup>ま  
 ーまい...} 子の母。母親。実母。  
 っふあばす [ffabas] [名] {っふあば<sup>1</sup>すまい...}  
 梯子。  
 っふあばつ [ffabats] [名] {っふあば<sup>1</sup>つまい...}  
 はしご (梯子)。  
 っふあびり° [ffabi] [動II類a型] {っふあびー、  
 っふあびん} 持ち上げる。支える。  
 っふあまき [ffamaki] [名] {っふあまきまい...}  
 つわり。【類】「だりまき」。  
 っふあまり° [ffama] [動I類c型] {っふあまり  
 ー、っふあまらん} 狭まる。いっぱいになる。  
 ぴったりする。【例】っふあまりった (ぴったり  
 合った)。  
 っふあまり° [ffama] [動I類c型] {っふあまり  
 ー、っふあまらん} 混雑する。身動き出来ない  
 ほどに混み合う。  
 っふあむつ [ffamuts] [名] {っふあむつまい...}  
 子育て。子の養育。  
 っふあむぬ [ffamunu] [名] {っふあむぬまい...。  
 っふあむ<sup>1</sup>ぬまい...} 暗いこと。  
 っふあムまが [ffammaga] [名] {っふあムまが  
 ーまい...} 子や孫。子孫。  
 っふあムまり [ffammari] [名] {っふあムまり  
 ーまい...} お産。子の誕生。  
 っふあむり° [ffamu] [名] {っふあむ<sup>1</sup>りまい...} 子  
 守。昔、雇いの子守の習慣があった。おもらし  
 に耐えて一日中子守した。子守歌が作られた。  
 っふあむり°えーぐ [ffamu[e:gu] [名] {っふあむ  
 り°えーぐまい...。っふあむり°えー<sup>1</sup>ぐまい...} 子

守歌。「成人になったら守姉の恩をわすれるな」と歌う。

つふあむりだー [ffamu[da:] [名] [つふあむりだ<sup>1</sup>ーまい...] 子守歌の題名。

つふあむれ [ffamure] [名] [つふあむ<sup>1</sup>れまい...] 守姉のこと。子守娘。子守少女。授乳以外は少女たちが子守した。無給でやっていた。

つふあ<sup>り</sup> [ffa] [動I類c型] [つふありー、つふあらん] 閉まる。

つふイ [ffi] [動I類c型] [つふいー、つふあん] 釣れる。魚がよく釣れる。【例】うんしゆく つふイ (たくさん釣れる)。

つふイ [ffi] [動I類c型] [つふいー、つふあん] 閉める。戸を閉める。【例】やど<sup>う</sup>ー つふい (戸を閉めよ)。

つふイ [ffi] [動I類c型] [つふいー、つふあん] 降る。雨が降る。【例】あめー つふいった (雨は降った)。

つふい [ffi] [名] [つ<sup>1</sup>ふいまい...] いかや蛸の墨。

つふいずー [ffidzɪ:] [名] [つふいず<sup>1</sup>ーまい...] 墨釣り。いかや蛸の墨で魚を釣ること。

つふいま [ffima] [名] [つふいままい...] 来間。来間島。

つふいまずま [ffimadzɪma] [名] [つふいまず<sup>1</sup>ままい...] 来間島。

つふい<sup>り</sup> [ffi] [動II類a型] [つふいー、つふいん] 呉れる。あげる。与える。【例】つふいずー (呉れたい。あげたい。与えたい)。

つふーつふ [ffu:ffu] [重複] 黒々。黒いものが増えること。

つふえーま [ffe:ma] [名] [地] [つふえーままい...] 多良間島の〈とうぶり〉の名前。村史参照。

つふえーまうたき [ffe:mautaki] [名] [つふえーまうた<sup>1</sup>きまい...] 普天間御嶽。航海安全の神様を祀る。

つふえーム [ffue:m] [名] [つふえームまい...] 暗闇。

つふがー [ffuga:] [名] [つふが<sup>1</sup>ーまい...] 色の黒い肌。

つふがに [ffugani] [名] [つふが<sup>1</sup>にまい...] 鉄。

つふから [ffukara] [名] [魚] [つふか<sup>1</sup>らまい...] くろはぎ。

つふぎ [ffugi] [名] [つふ<sup>1</sup>ぎまい...] 陰毛。黒毛。

つふきふす [ffukifus] [名] [つふきふ<sup>1</sup>すまい...] 黒煙。

つふくるくる [ffukurukuru] [擬] [つふくるく<sup>1</sup>るまい...] まっ黒。日焼けした頬のこと。愛称。

つふしえー [ffuce:] [名] [つふしえ<sup>1</sup>ーまい...] 黒くなった豆のさや。長雨による被害。

つふしやー<sup>り</sup> [ffuça:] [形] [つふ<sup>1</sup>しやまい...] 黒い。黒色の。

つふじゃた [ffudzata] [名] [つふじゃ<sup>1</sup>たまい...] 黒砂糖。多良間産の黒糖は定評がある。

つぶす [tsɪbus] [名] [つぶすまい...] 膝。ひざ小僧。

つぶす [tsɪbus] [動I類a型] [つぶしー、つぶしやん] 潰す。溶かす。ひまつぶし。

つぶすー [ffusɪ:] [名] [つぶす<sup>1</sup>ーまい...] 黒いすす。鍋の底のすす。汚れも言う。

つぶすじゃら [tsɪbusɪdzara] [名] [つぶすじゃらまい...] つぶすじゃ<sup>1</sup>らまい... 膝皿。半月板。膝小僧。

つぶたんぐしゆ [ffutanguɕu] [名] [つぶたんぐ<sup>1</sup>しゆまい...] 黒炭のから。木炭。料理のこげにもたとえる。

つぶどうく<sup>な</sup> [tsɪbudukuna] [名] [つぶどうく<sup>な</sup>まい...] つぶどころ。勘所。急所。つぼ。

つぶなばだ<sup>り</sup> [ffunabadari] [名] [つぶな<sup>1</sup>ばだりまい...] 黒い汚れ。汚れのひどいこと。

つふび [ffubi] [名] [魚] [つふ<sup>1</sup>びまい...] かわはぎ。

つふビか<sup>り</sup> [ffubɪka] [名] [つふビか<sup>り</sup>まい...] 黒光。黒光すること。日焼けした子供の顔を褒めて言う。

つふふむ [ffufumu] [名] [つふふ<sup>1</sup>むまい...] 黒雲。雨雲。雷雲。竜巻の発生する雲。

つふます [ffumasɪ] [動I類c型] [つふましー、つふましやん] 黒くする。黒色にする。【例】すムゆぬ<sup>り</sup>ー つふます (墨を塗って黒くする)。

つふまみ [ffumami] [名] [植] [つふま<sup>1</sup>みまい...] 黒豆。十五夜の「ふかぎ」に用いる。

っふみー [ffumi:] [名] [っふみ<sup>1</sup>ーまい...] 黒い目。黒目。瞳の黒いこと。その人。

っふみぎ [ffumikɯ] [動I類c型] [っふみきー、っふみかん] 黒くなる。色が黒くなる。肌が太陽で黒くなる。

っふム [ffum] [動I類c型] [っふみー、っふまん] 黒くなる。黒色になる。黒みをあびる。空が黒くなる。日焼ける。曇る。【例】ていだんぶしゃいー っふム (太陽に照らされて黒くなる)。

つぶム [tsɯbum] [動I類a型] [つぶみー、つぶまん] しぼむ。葉がしぼむ。花がしぼむ。小さくなる。

っふムた [ffumta] [名] [っふム<sup>1</sup>たまい...] 黒土。肥沃土。

つぶり [tsɯbu] [名] [植] [つぶ<sup>1</sup>りまい...] ひょうたん。

つぶりぐー [tsɯbulgu:] [名] [つぶ<sup>1</sup>りぐーまい...] ひょうたんの殻。比喩的に頭蓋骨。中のわたを出して乾かして、水入れに使う。種物を入れるのにも使う。【例】つぶりぐーぬどう ゆー あり (頭蓋骨がたくさんある)。

つぶりり [tsɯburi] [動II類c型] [つぶりー、つぶりん] 潰れる。くずれる。倒産する。失敗する。【例】うぶかでいんどう やーぬ つぶりー (台風にかがくずれた)。

つぶる [tsɯburu] [名] [つぶ<sup>1</sup>るまい...] 頭。知識。知恵。

つぶるー [tsɯburu:] [名] [つぶる<sup>1</sup>ーまい...] 頭の悪い人。

つぶるがに [tsɯburugani] [名] [つぶるが<sup>1</sup>にまい...] 差し金。大工用具。角定木。【同】「ばんじゅーがに」。

つま [tsɯma] [名] [魚] [つま<sup>1</sup>まい...] しゃこ。鋭い爪ではじく。【類】「ばずか」。

つまぎり [tsɯmagi] [動II類a型] [つまぎー、つまぎん] 積み上げる。

つます [tsɯmasɯ] [動I類a型] [つましー、つましゃん] 積ませる。船や車に荷物を積ませる。【例】くるまう つまし (車を積ませなさい)。

つまずぎ [tsɯmadzɯkɯ] [動I類c型] [つまずき

ー、つまずかん] 躓く。歩行中に足先を物に当たてて前のめりになる。【例】ばぎう きりー つまずきー (足を蹴って躓いた)。

つまらす [tsɯmarasɯ] [動I類c型] [つまらしー、つまらしゃん] 詰ませる。水の出口が詰まる。

つまらす [tsɯmarasɯ] [動I類c型] [つまらしー、つまらしゃん] 金がなくなる。欠けてあとがない。

つまらん [tsɯmaran] [連語] つまらないこと。【例】つまらん ばなす (つまらない話。役に立たない話)。

つまり [tsɯma] [名] [病] [つま<sup>1</sup>りまい...] 便秘。

つまり [tsɯma] [動I類c型] [つまりー、つまらん] 詰まる。行事が詰まる。空いた時間がない。隙間がない。

つまり [tsɯma] [動I類c型] [つまりー、つまらん] 金に困る。欠けてあとがない。資金の目途が立たない。【例】じんぬ つまりった (資金のやりくりができなくなった)。

つみ [tsɯmi] [名] [つ<sup>1</sup>みまい...] 罪。科。罪科。

つみいり [tsɯmiiri] [名] [つみい<sup>1</sup>りまい...] 詰襟。男子の学生服。

つみうるす [tsɯmiurusɯ] [動I類a型] [つみうるしー、つみうるしゃん] 積み下ろす。荷物を積んだり下ろしたりする。荷役。【同】「つムうるす」。

つみくム [tsɯmikum] [動I類c型] [つみくみー、つみくまん] 詰め込む。【例】かばんー つみくム (鞆に詰め込む)。

つみくム [tsɯmikum] [動I類c型] [つみくみー、つみくまん] 積み込む。荷物を積み込む。【例】にーう つみくム (荷を積み込む)。

つみたてい [tsɯmitati] [名] [つみた<sup>1</sup>ていまい...] 積み立て。貯金すること。

つみたていり [tsɯmitati] [動II類c型] [つみたていー、つみたていん] 積み立てる。貯金する。

つみとうが [tsɯmituga] [名] [つみとう<sup>1</sup>がまい...。つ<sup>1</sup>みとうがまい...] 罪と科。

つみにんぶ [tsɯmininpu] [名] [つみにん<sup>1</sup>ぶまい...] 住み込みの使用人。

つみり [tsjmi] [動 II 類 c 型] [つみー、つみん] 詰める。

つみり [tsjmi] [動 II 類 c 型] [つみー、つみん] 短くする。髪を短く切る。ひもや縄を短くする。

つム [tsjm] [動 I 類 a 型] [つみー、つまん] 積む。荷物を積む。【例】つまいん (積めない)。つままん (積まないよ)。

つム [tsjm] [動 I 類 c 型] [つみー、つまん] 摘む。摘み取る。摘心。花を摘む。芽を摘む。【例】ぱなう つムが (花を摘みに行く)。

つムうるす [tsjm.urusj] [動 I 類 a 型] [つムうるしー、つムうるしゃん] 積み下ろす。荷物を積んだり下ろしたりする。荷役。【同】「つみうるす」。

つむギ [tsjmugj] [名] [つむ<sup>1</sup>ぎまい...] 紬 (つむぎ)。

つムつム [tsjmtsjm] [擬] [つムつムていー...] 目をぱちぱちすること。

つムにら [tsjmnira] [名] [つムにらまい...] 麦粉を水で粘ってだんご汁にしたもの。戦中戦後の主食の代用。水団 (すいとん)。

つムぬくす [tsjmnukusj] [動 I 類 a 型] [つムぬくしー、つムぬくしゃん] 積み残す。積み残したものの。

つムぶり [tsjmbu] [動 I 類] [つムぶりー、つムぶらん] [つムぶりまい...] ポツきりと折る。へし折る。

つムま [tsjmma] [擬] 木の枝や鞭が簡単に折れる様。ぽきんと折れる様。

つムまつムま [tsjmmatsjmma] [擬] [つんまつんまていー...] 目をぱちぱちすること。

つムまみかす [tsjmmamikasj] [動 I 類 c 型] [つムまみかしー、つムまみかしゃん] ぽきんと折る。

つムまみギ [tsjmmamikj] [動 I 類 c 型] [つムまみきー、つムまみかん] ぽきんと折れる。

つむり [tsjmu] [名] [つむりまい...] つもり。【例】うるー すーつむり (それをやるつもりだ)。

つむり [tsjmu] [動 I 類 a 型] [つむりー、つむらん] 積もる。高く積もる。【例】たーらぬ つむり (俵が積もる)。

つむり [tsjmu] [動 I 類] [つむりー、つむらん] [つむりまい...] 見積もる。段取りする。準備する。

つむり [tsjmu] [動 I 類 a 型] [つむりー、つむらん] 節約する。つめる。【例】じんゆ つむり (金を節約する)。

つめ [tsjme] [名] [つ<sup>1</sup>めまい...] ため。せい。故。【例】ヴヴあが つめん (君のせいで)。あみぬ つめん やすム (雨のせいで休む)。

つや [tsjja] [名] [つやまい...] 艶。光沢。

つり [tsj] [動 I 類 c 型] [つりー、つらん] (筋肉が) つる。

つり [tsj] [動 I 類 a 型] [つりー、つらん] 吊る。蚊帳を吊る。

つりあい [tsjriai] [名] [つりあまい...。つりあ<sup>1</sup>まい...] 連れ合い。夫婦。

つる [tsjru] [名] [つるまい...] 弦。三味線の弦。小弦。中弦。大弦。

つる [tsjru] [名] [鳥] [つるまい...] 鶴。

つるかみ [tsjrukami] [名] [つるか<sup>1</sup>みまい...] 鶴亀。縁起もの。めでたい座の舞踊。

つるだい [tsjrudai] [名] [つるだまい...] 卓袱台。お供え物を供える台。

つるだみ [tsjrudami] [名] [つるだまい...] 調弦。弦合わせ。

つん [tsjn] [名] [魚] [つ<sup>1</sup>んまい...] くろだい。みなみくろだい。

つんギ [tsjnkj] [動 I 類 c 型] [つんきー、つんかん] つねる。親指と人差指で皮ふをつねる。【例】つんきー なかす (つねって泣かせる)。

つんギ [tsjngj] [動 I 類 c 型] [つんぎー、つんがん] 紡ぐ。機織りの糸を紡ぐ。

つんギやま [tsjngjama] [名] [つんギや<sup>1</sup>まい...] 糸を紡ぐ道具。【類】「むみんやま」。

つんぎん [tsjngin] [名] [つんぎ<sup>1</sup>んまい...] 賃金。手間賃。給料。

つんだ [tsjnda] [名] [つんだまい...] 釣針を結ぶ糸。細い針金。

つんだがに [tsjndagani] [名] [つんだが<sup>1</sup>にまい...] 釣り用の細い針金。【類】「つんだ」。

つんぶん [tsjnpun] [名] [つんぶ<sup>1</sup>んまい...] 屏門。

目かくし屏。外から家の中が見えないように積まれた石垣。

## — て —

てい [ti] [助数] ~年。~年間。年数を数える。【例】ふたてい (二年)。ミーてい (三年)。いふてい (何年)。

ていあてい [tiati] [名] [ていあ<sup>1</sup>ていまい...] 手当て。賃金。給料。

ていー [ti:] [助] ~だそうだ。【例】あんしーていー (そのようだそうだ)。くんしーていー (こんなにだそうだ)。

ていー [ti:] [助] ~と。~とって。【例】かんしーていー イー (こんなにだと言う)。うんしーしてていー イーそー たうが (そんなにやれと言うのは誰か)。かんしーていー イーたかー (こんなにだよと言ったら)。うんしーていー イーばまい ギかん (そんなにだよと言っても聞かない)。あんしーていーげーらい (そんなことだろうか)。あみていーどう イー (雨だと言う)。かんしーていー すたかー (こんなにしたら)。つー ふあーていー なきーリ (おっぱいを欲しくて泣いている)。ていーや (とは)。あんしーていーや ねーん (そんなことはない)。ていーまい (とも)。あんしーていーまい イズあいん (そうとも言えない)。

ていー [ti:] [名] 一。一つ。〈ていー、たー、みー〉 (一、二、三) のように数えるときに使う。【例】ていー、たー、みー、ゆー (一、二、三、四)。

ていー [ti:] [名] [ていーま<sup>1</sup>い...] 手。技術。流儀。流派。【例】からでいー (手ぶら)。たーがていーが (誰の作った技術か)。みどうムでいー (女性のおどり方)。ていーにー (手で。手ですること)。うるーばー ていーにー する (それをば手でやりなさい)。ていーや とうりー (手をば取って)。

ていー [ti:] [名] [ていーま<sup>1</sup>い...] 空手。琉球空手。

でいー [di:] [名] ~里。~地域。【例】にぬばでいー (北の方の里)。とうらぬばでいー (寅の方の里)。しゃりぬばでいー (西の方の里)。

でいー [di:] [名] [でいーまい...] 柄。【例】でいーう つきり (柄をつける)。

でいー [di:] [感] さあ。【例】でいーいしゅぎ (さあ、急げ)。

ていー ぶり [ti: bu] [連語] ~としている。【例】あみぬ つふあていー ぶり (雨が降ろうとしている)。ていー ぶりば (そうしているから)。あんしー ていー ぶりば (そんなにしているから)。

ていーあーす [ti:a:s] [名] [ていーあー<sup>1</sup>すまい...] 手合せ。おどりや三味線の練習。

ていーあらしやーリ [ti:ara:ʃa:] [形] [ていーあ<sup>1</sup>ら<sup>1</sup>しまい...] 手荒い。不器用。

ていーあらむぬ [ti:aramunu] [名] [ていーあ<sup>1</sup>らむぬまい...] 手荒い人。仕事の荒い人。粗雑な人。

ていーう イズいり [ti:u ʒi] [連語] 手を入れる。手を加える。補修する。

ていーう いだす [ti:u idas] [連語] 手を出す。なぐる。【例】ていーう いだすな (なぐるな)。

ていーう うつ [ti:u uts] [連語] 手を打つ。拍手。【同】「ていーゆふつ」。

ていーう かみり [ti:u kami] [連語] 手を合わす。合掌する。神を拝む。祈る。願う。

ていーう だぎ [ti:u dak] [連語] 手を抱く。腕組みする。

ていーう つきり [ti:u tsʃki] [連語] 手を付ける。食べ物に手をつける。【例】ペーふ ていーゆ つきる (早く食べなさい)。

ていーう つくー [ti:u tsʃku:] [連語] 手を使う。【例】ていーゆ つかい (手を使いなさい)。

ていーう とうり [ti:u tu] [連語] 手を取る。手をつなぐ。親しくする。同意する。賛成する。

ていーう ねーり [ti:u ne:] [連語] 手を出す。なぐる。

ていーう ばなす [ti:u panas] [連語] 手を離す。自由にさせる。

ていーう ピギ [ti:u pi:k] [連語] 手を引く。手を

つなぐ。親しくする。手を引いて歩く。しりぞく。引き下がる。引退する。

ていーう ピすうぎり [ti:u pɪsugi] [連語] 手を広げる。手広くする。仕事を広げる。

ていーう むいかす [ti:u muikasɯ] [連語] 手を動かす。働くこと。仕事をする事。

ていーう ムばす [ti:u mbasɯ] [連語] 手を伸ばす。仕事を広げる。

ていーうい [ti:ui] [名] [ていーう<sup>1</sup>いまい...] 手植え。手作業で植える。

ていーえーぎ [ti:e:gi] [名] [ていーえー<sup>1</sup>ぎまい...] 手を縛る。

ていーかぎしゃーり [ti:kagɪçɑ:] [形] [ていーかぎ<sup>1</sup>しゃまい...] 手の器用なこと。上品なこと。

ていーかぎむぬ [ti:kagimunu] [名] [ていーかぎむ<sup>1</sup>ぬまい...] 手の器用な人。上品な人。

ていーかきり [ti:kaki] [動 II 類 c 型] [ていーかき一、ていーかきん] 手を掛ける。手伝ってやる。なぐるの意味もある。

ていーがムまり [ti:gamaɾi] [名] [ていーがんま<sup>1</sup>りまい...] 手のいたずら。

ていーがムまれ [ti:gamaɾe] [名] [ていーがんま<sup>1</sup>れまい...] いたずらっこ。悪戯をする子。

ていーがめー [ti:game:] [連語] ~ということまでも。【例】あんしーていーがめー (そういうことまでも)。

ていーぐばしゃーり [ti:gupaçɑ:] [形] [ていーぐば<sup>1</sup>しゃまい...] 不器用。不器用な人。手の荒い人。

ていーぐまししゃーり [ti:gumaçɑ:] [形] [ていーぐま<sup>1</sup>しゃまい...] 手が細い。器用である。品位がある。

ていーさい [ti:sai] [名] [てい<sup>1</sup>ーさいまい...] 体裁。

ていーしゃどうり [ti:çadu] [動 I 類 c 型] [ていーしゃどうり一、ていーしゃどうらん] 手探る。暗い所で物を探す。

ていーしゅ [ti:çu] [名] [てい<sup>1</sup>ーしゅまい...] 亭主。家主。座主。

ていーすぐとう [ti:sɯgutu] [名] [てい<sup>1</sup>ーすぐ<sup>1</sup>とうまい...] 手仕事。

ていーだぎ [ti:dakɯ] [名] [てい<sup>1</sup>ーだ<sup>1</sup>ぎまい...] 腕組み。腕を組むこと。【例】ていーう だき一ぶり (腕を組んでいる)。

ていーだり [ti:daɾi] [動 II 類 c 型] [てい<sup>1</sup>ーだり一、てい<sup>1</sup>ーだりん] 手疲れる。なまける。

ていーだれ [ti:dare] [名] [てい<sup>1</sup>ーだ<sup>1</sup>れまい...] 怠け者。

ていーどう [ti:du] [名] [てい<sup>1</sup>ー<sup>1</sup>どうまい...] 程度。くらい。【例】くぬ てい<sup>1</sup>ーどうん しる (この程度にしなさい)。

ていーとー [ti:to:] [名] [てい<sup>1</sup>ーとーまい...。てい<sup>1</sup>ーと<sup>1</sup>ーまい...] 抵当。

てい<sup>1</sup>ーな [ti:na] [助] ~だけ。【例】うすかてい<sup>1</sup>ーな (それだけ)。【同】「て<sup>1</sup>ーな」。

てい<sup>1</sup>ーな一 [ti:na:] [名] [てい<sup>1</sup>ーな<sup>1</sup>ーまい...] 手縄。手綱。馬の手綱。

てい<sup>1</sup>ーながしゃーり [ti:nagaçɑ:] [形] [てい<sup>1</sup>ーなが<sup>1</sup>しゃまい...] 手長い。盗むこと。どろぼうである。

てい<sup>1</sup>ーならず [ti:narasɯ] [名] [てい<sup>1</sup>ーならず<sup>1</sup>うまい...] 手馴らし。試しに行くこと。予行。

てい<sup>1</sup>ーにー [ti:ni:] [名] [てい<sup>1</sup>ーにーんまい...] 丁寧。やさしい。念入り。親切。

てい<sup>1</sup>ーにふしゃーり [ti:nifuçɑ:] [形] [てい<sup>1</sup>ーにふ<sup>1</sup>しゃまい...] 手の遅いこと。仕事の遅いこと。不器用であること。

てい<sup>1</sup>ーにん [ti:nin] [名] [てい<sup>1</sup>ーにんまい...] 定年。定年退職。

てい<sup>1</sup>ーぬ [ti:nu] [連語] ~との。~という。【例】あんしーてい<sup>1</sup>ーぬ くと一 ねーん (そういうことではない)。

てい<sup>1</sup>ーぬ あがり [ti:nu aga] [連語] 手が上がる。上手になる。上達する。なぐるにも言う。

てい<sup>1</sup>ーぬ あぎ [ti:nu akɯ] [連語] 手が空く。ひまになる。休む。

てい<sup>1</sup>ーぬ あや [ti:nu aja] [名] [てい<sup>1</sup>ーぬあ<sup>1</sup>やまい...] 手相。手の紋。

てい<sup>1</sup>ーぬ かかり [ti:nu kaka] [連語] 手がかかる。手をやく。忙しくなる。

てい<sup>1</sup>ーぬ くす [ti:nu kusɯ] [名] [てい<sup>1</sup>ーぬく<sup>1</sup>すまい...] 手の甲。

ていーぬ なりり [ti:nu nari] [連語] 手が馴れる。仕事に馴れる。扱ひ馴れる。

ていーぬ ばー [ti:nu ba:] [連語] ~ということだ。【例】かんしーていーぬ ばー (こういうことだ)。

ていーぬ ばた [ti:nu bata] [名] [ていーぬば<sup>1</sup>たまい...] 手のひら。掌。

ていーぬ ぱなりり [ti:nu panari] [連語] 手が離れる。子育てが終わる。

ていーぬ ふぎ [ti:nu fugi] [名] [ていーぬふ<sup>1</sup>ぎまい...] 手首。【類】「ていふぎ」。

ていーぬ まーらん [ti:nu ma:ran] [連語] 手が回らない。忙しいこと。

ていーぬ むぬ [ti:nu munu] [名] [ていーぬむ<sup>1</sup>ぬまい...] お手のもの。得意とするもの。

ていーぬ むぬ [ti:nu munu] [連語] ~というもの。【例】かんしーていーぬ むぬ (こうものだ)。

ていーぼう [ti:bau] [名] [ていーば<sup>1</sup>うまい...] 短い棒。

ていーぱぎ [ti:pagi] [名] [ていーぱ<sup>1</sup>ぎまい...] 手足。

ていーぱっずー [ti:paddzɨ:] [動I類c型] [ていーぱっじー、ていーぱっじゃん] 手がじっとしていない。

ていーぱっずーっふあ [ti:paddzɨ:ffa] [名] [ていーぱっずーっ<sup>1</sup>ふあまい...] 手がじっとしていない子ども。

ていーぱっずーやらび [ti:paddzɨ:jarabi] [名] [ていーぱっずーやら<sup>1</sup>びまい...] 手がじっとしていない子ども。

ていーピさ [ti:pisa] [名] [ていーピ<sup>1</sup>さまい...] 手足。

ていーふがましやーり [ti:fugamaɕa:] [形] [ていーふがま<sup>1</sup>しゃまい...] 手がじっとしていないこと。

ていーふぎ [ti:fugi] [名] [ていーふ<sup>1</sup>ぎまい...] 手首。【同】「ていふぎ」。【類】「かいなふぎ」。

ていーふし [ti:fuɕi] [名] [ていーふ<sup>1</sup>しまい...] 手ぐせ。盗む。

ていーふり [ti:fu:] [名] [ていーふ<sup>1</sup>りまい...] 手

を振ること。

ていーぶり [ti:bu:] [名] [ていーぶ<sup>1</sup>りまい...] 手を折ること。踊の手法。

ていーべーしゃーり [ti:be:ɕa:] [形] [ていーべー<sup>1</sup>しゃまい...] 手が早い。喧嘩が好き。

ていーべーむぬ [ti:be:munu] [名] [ていーべー<sup>1</sup>むぬまい...] 手の早い者。喧嘩好き。

ていーぼー [ti:bo:] [名] [ていーぼ<sup>1</sup>ーまい...] 短い棒。

ていーまい [ti:mai] [連語] ~ということでも。【例】あんしーていーまい あらん (そうということでもない)。

ていーまつふあ [ti:maffa] [名] [ていーまつ<sup>1</sup>ふあまい...] 手枕。

ていームたビ [ti:mtabi] [名] [ていームた<sup>1</sup>ビまい...] 手でいじくる。

ていームだら [ti:mdara] [連語] ~とのことだよ。【例】あんしーていームだら (そうということだよ)。

ていームビー [ti:mby:] [名] [ていームビ<sup>1</sup>ーまい...] 手・腕のしびれ。

ていーや [ti:ja] [連語] ~としては。~そうとは。【例】あんしーていーや あらん (そうということはない)。

ていーや つきらいん [ti:ja tsɕkirain] [連語] 手はつけられない。どうしようもない。

ていーや つきん [ti:ja tsɕkin] [連語] 手は付けない。そのままの状態のこと。

ていーや ねーん [ti:ja ne:n] [連語] 手はない。方法はない。やり方はない。

ていーやばしゃーり [ti:japaɕa:] [形] [ていーやば<sup>1</sup>しゃまい...] 手がしなやか。器用なこと。

ていーやばむぬ [ti:japamunu] [名] [ていーや<sup>1</sup>ばむぬまい...] 手の器用な人。上手な人。上品な人。

ていーやり [ti:ja:] [名] [ていーや<sup>1</sup>りまい...] 手槍。

ていーよー [ti:jo:] [名] [ていーよ<sup>1</sup>ーまい...] 手まね。他人の仕事をまねる。

ていーり [ti:ri] [名] [ていー<sup>1</sup>りまい...] 手入れ。手を加える。草花の手入れ。

ていーわじゃ [ti:vadza] [名] [ていーわ<sup>1</sup>じゃま

い...) 手作業。手仕事。【同】「ていわじゃ」。

ていーん しゆく [tin ɕuku] [連語] 手に職。技術を身につけること。

ていうい [tiui] [名] [ていう<sup>1</sup>いまい...] 手負い。相手から傷を受けること。

ていヴヴあがらす [tivvagaras] [動I類c型] [ていヴヴあがらしー、ていヴヴあがらしゃん] 投げ捨てる。仕事を中途半端にする。

ていヴヴあす [tivvas] [動I類c型] [ていヴヴあしー、ていヴヴあしゃん] 投げさせる。仕事を止めさせる。

ていヴヴイ [tivvi] [動I類c型] [ていヴヴいー、ていヴヴあん] 投げる。ボールを投げる。仕事をやめる。【例】ていヴヴあ (投げ。投げよう)。

ていヴヴうり [tivvu] [動I類c型] [ていヴヴうりー、ていヴヴうらん] 投げる。物を投げる。仕事がいやになってやめる。【同】「ていヴヴイ」。

ていうくり [tiukuri] [名] [ていうく<sup>1</sup>りまい...] 手遅れ。

ていうず [tiudz] [名] [ていう<sup>1</sup>ずまい...] 手水。手洗い。洗面。

ていうち [tiutçi] [名] [ていうちまい...。ていう<sup>1</sup>ちまい...] 手落ち。

ていかー [tika:] [接尾] ~ば。~たら。条件を表わす。〈たかー〉や〈たからー〉より古い発音。【例】あんしー すていかー (そうしたら)。【同】「たかー」。「たからー」。「ていからー」。

ていがかり [tigaka] [動I類c型] [ていがかりー、ていがからん] 手がかかる。糸口をつかむ。手に引っかかる。

ていがきり [tigaki] [動II類c型] [ていがきー、ていがきん] 手がける。手をつける。仕事を始める。

ていかぎん [tikagin] [名] [ていかぎ<sup>1</sup>んまい...] 手加減。手心。

でいかす [dikas] [動I類c型] [でいかしー、でいかしん] 成功する。上出来である。立派である。

でいかす [dikas] [動I類c型] [でいかしー、でいかしん] 大漁する。

でいかすぎ [dikasigi] [名] [でいかす<sup>1</sup>ぎまい...] 出稼ぎ。

ていがなーす [tigana:s] [動I類c型] [ていがなーしー、ていがなーしん] 手叶わせる。手伝わせる。

ていがぬー [tiganu:] [動I類c型] [ていがぬー、ていがぬーん] 手叶う。手伝う。

ていがミ [tigam] [名] [ていがミ<sup>1</sup>まい...] 手紙。便り。

ていがら [tigara] [名] [ていがらまい...] 手柄。功績。

ていからー [tikara:] [接尾] ~ば。~たら。条件を表わす。〈たかー〉や〈たからー〉より古い発音。【例】あんしー すていからー (そうしたら)。【同】「たかー」。「たからー」。「ていかー」。

ていがらばなす [tigarabanas] [名] [ていがらばな<sup>1</sup>すまい...] 手柄話。自慢話。

ていぎ [tik] [名] [ていぎまい...] 敵。仇。

でいき [diki] [名] [でいきま<sup>1</sup>い...] 出来。出来映え。【例】むずふりぬ でいき (作物の出来)。

でいきぐとう [dikigutu] [名] [でいきぐ<sup>1</sup>とうまい...] 出来事。起った事。

でいきしょーがつ [dikiço:gats] [名] [でいきしょー<sup>1</sup>がつまい...] 立派な正月。【同】「でいきしやうがつ」。

ていきとー [tikito:] [形] [ていきと<sup>1</sup>まい...] 適当。

ていきにん [tikinin] [形] [ていきに<sup>1</sup>んまい...] 適任。

でいきのーり [dikino:] [動I類a型] [でいきのーりー、でいきのーらん] 農作物が豊作のこと。【同】「でいきなうり」。

でいきぶつ [dikibuts] [名] [でいきぶつまい...] 頭のよいこと。成績優秀な人。

でいきむぬ [dikimunu] [名] [でいきむぬまい...] 上出来。人や家畜や農作物に言う。

でいきやらび [dikijarabi] [名] [でいきやらびまい...。でいきやら<sup>1</sup>びまい...] 出来る子ども。優秀児。頭の良い子。

でいきり [diki] [動II類c型] [でいきー、でいきん] 出来る。優秀である。

ていぐす [tigusʝ] [名] [ていぐ<sup>1</sup>すまい...] 釣り用の糸。細糸。

ていくずり [tikudzɹi] [動I類c型] [ていくずりー、ていくずらん] 手こずる。扱いにくい。

ていぐたい [tigutai] [名] [ていぐたいまい...] 手応え。反応。

ていくぶく [dikubuku] [名] [ていくぶ<sup>1</sup>くまい...] でこぼこ。

でいし [diçi] [名] [でいしま<sup>1</sup>い...] 弟子。教え子。見習い。

ていじゃかしゃーり [tidzakaça:] [形] [ていじゃか<sup>1</sup>しゃまい...] 手荒である。粗雑。粗末。

ていしゃず [tiçadzɹi] [名] [ていしゃ<sup>1</sup>ずまい...] 手拭い。タオル。【類】「しゃず」。

ていしゃどうり [tiçaduɹi] [名] [ていしゃどう<sup>1</sup>りまい...] 手探り。暗い所で物を探ること。

でいしゃばり [diçabaɹi] [動I類c型] [でいしゃばりー、でいしゃばらん] でしゃばる。よけいな口出しをする。

ていずかム [tidzɹkam] [動I類c型] [ていずかみー、ていずかまん] 手掴む。手で直接掴み取る。

ていずり [tidzɹi] [動I類c型] [ていずりー、ていずらん] 手擦る。合掌する。

ていそー [tiso:] [名] [ていそーまい...] 手相。手の紋。

ていだ [tida] [名] [てい<sup>1</sup>だまい...] 太陽。【例】ていだぬ ありけ (太陽のあるうちに。日が暮れないうちに)。

ていだあがり [tidaagaɹi] [名] [てい<sup>1</sup>だあがりまい...] 太陽があがること。日がのぼること。

ていだいり [tidaiɹi] [動II類] [ていだいー、ていだいん] [ていだいま<sup>1</sup>い...] おごる。支払う。

ていだうてい [tidauti] [名] [てい<sup>1</sup>だうていまい...] 太陽がしずむこと。日が暮れること。

ていだがなす [tidaganasʝ] [名] [ていだがな<sup>1</sup>すまい...] 太陽を崇拜することば。

ていだすき [tidasʝki] [名] [ていだす<sup>1</sup>きまい...] 手助け。

ていだてい [tidati] [名] [ていだていま<sup>1</sup>い...] 手立て。方法。対策。

ていだていり [tidatiɹi] [動II類c型] [ていだていー、ていだていん] 手立てる。方法を見つける。対策を練る。

ていだぬ イー [tidanu ɹi] [名] [ていだ<sup>1</sup>ぬイーまい...] 太陽の入り。日の入り。日没。日暮れ。

ていだぬ イーとうけ [tidanu ɹi:tuke] [名] [ていだ<sup>1</sup>ぬイーとうけ<sup>1</sup>まい...] 太陽の入り頃。日の入り頃。

ていだぶす [tidapusʝ] [名] [ていだぶ<sup>1</sup>すまい...] 太陽に干すこと。日干し。洗濯物の日干し。

ていだふむり [tidafumuɹi] [名] [ていだふむ<sup>1</sup>りまい...] 日食。

でいたらみ [ditarami] [名] [でいたら<sup>1</sup>みまい...] でたらめ。

ていちがい [titçiɹgai] [名] [ていちが<sup>1</sup>いまい...] 手ちがい。ちよつとの間違え。

ていちょー [titçø:] [名] [ていちょ<sup>1</sup>ーまい...] 手帳。

ていつ [titsʝ] [名] [ていつまい...] 鉄。固い金属。建築、造船、鉄道などに用いる。

ていっきん [tikkin] [名] [ていっき<sup>1</sup>んまい...] 鉄筋。鉄筋コンクリート。

ていっしゃ [tiçça] [名] [ていっ<sup>1</sup>しゃまい...] 製糖の歯車。

ていっすー [tissʝ:] [名] [ていっす<sup>1</sup>ーまい...] 手を摺ること。手を擦ること。寒いときに手を擦り合う。

ていっずー [tidzɹ:] [動I類c型] [ていっじー、ていっじゃん] 手を摺り合わせる。

ていつずき [titsʝdzɹki] [名] [ていつず<sup>1</sup>きまい...] 手続き。

ていった [titta] [名] [ていっ<sup>1</sup>たまい...] 手を打つ。拍手。【例】ていったふつ (拍手する)。

ていっぷー [tippu:] [名] [ていっぷーまい...] 鉄砲。

ていっぷーだま [tippu:dama] [名] [ていっぷーだ<sup>1</sup>まい...] 鉄砲丸。行って来ない人のことも言う。

ていつぼー [titsʝbo:] [名] [ていつぼ<sup>1</sup>ーまい...] 鉄棒。

ていつや [titsʝja] [名] [ていつ<sup>1</sup>やまい...] 徹夜。

ていどうらい [tiduraŋ] [名] [ていどうら<sup>1</sup>イまい...] 側から余計な手出しをすること。ちよっかい。

ていどうり [tidu] [動 I 類 c 型] [ていどうりー、ていどうらん] 手取る。受け取る。

ていどうり [tiduri] [名] [ていどう<sup>1</sup>りまい...] 手取り。給料の額。

ていなうす [tinausʝ] [名] [ていなう<sup>1</sup>すまい...] 手直し。補修。

ていならい [tinaraŋ] [名] [ていならいまい...。ていなら<sup>1</sup>イまい...] 手習い。修業。

ていにむつ [tinimutsʝ] [名] [ていにむ<sup>1</sup>つまい...] 手荷物。

ていぬ [tinu] [連体] ~という。【例】まーんていぬ ばなす (確かという話)。

ていぬかり [tinuka] [名] [ていぬかりまい...。ていぬか<sup>1</sup>りまい...] 手ぬかり。手落ち。

ていぬぎ [tinukʝ] [名] [ていぬ<sup>1</sup>ぎまい...] 手抜き。

ていはい [tihai] [名] [ていはいまい...] 手配。段取り。準備する。

ていばぎ [tipakʝ] [名] [植] [ていば<sup>1</sup>ぎまい...] つばき。

ていばずみ [tipadzʝmi] [名] [ていばず<sup>1</sup>みまい...] 手始め。仕事始め。

ていばずみり [tipadzʝmi] [動 II 類 c 型] [ていばずみー、ていばずみん] 手始める。仕事を始める。

ていばなす [tibanasʝ] [動 I 類 c 型] [ていばなしー、ていばなしゃん] 手放す。自由にする。

ていびぎ [tibikʝ] [名] [ていび<sup>1</sup>ぎまい...] 刺青。昔の若い女性の手に刺青の習慣があった。

ていびさ [tibʝsa] [名] [ていび<sup>1</sup>さまい...] 手足。

ていふ [tifu] [名] [てい<sup>1</sup>ふまい...] 鎌の刃の部分。柄にしっかり止める「たが」。金属や竹の輪。

ていふぎ [tifugʝ] [名] [ていふ<sup>1</sup>ぎまい...] 手首。【例】ていふぎう まーしー みーる (手首を回してごらん)。【同】「ていーふぎ」。

ていぶくる [tibukuru] [名] [ていぶく<sup>1</sup>るまい...] 手袋。

ていふしゅり [tifuçʉ] [名] [ていふしゅ<sup>1</sup>りまい...] 釣り糸。【類】「ていぐす」「つんだ」。

ていふす [tifusʝ] [名] [ていふ<sup>1</sup>すまい...] かせ。

ていふすーしゃーり [tifusʝ:çɑ:] [形] [ていふすー<sup>1</sup>しゃまい...] 不器用。手があらい。

ていふつずー [tifuddzʝ:] [動 I 類 c 型] [ていふつじー、ていふつじゃん] 手探る。手でいじくる。

ていふつム [tifutsʝm] [名] [ていふつムまい...。ていふつ<sup>1</sup>ムまい...] 手こぶし。こぶし。握りこぶし。拳骨。

ていふなぎ [tifunagʝ] [名] [魚] [ていふな<sup>1</sup>ぎまい...] 白色のうづぼ。

ていふん [tifun] [名] [ていふ<sup>1</sup>んまい...] 手本。

でいま [dima] [名] [でい<sup>1</sup>ままい...] でま。うその情報。

ていまー [tima:] [名] [ていまーまい...] 手間賃。賃金。

ていまーじん [tima:dʝin] [名] [ていまーじ<sup>1</sup>んまい...] 手間賃。

ていまーだーりしゃーり [tima:dariçɑ:] [形] [ていまーだーり<sup>1</sup>しゃまい...] めんどうくさい。邪魔である。

ていまーだーりり [tima:dari] [動 II 類 c 型] [ていまーだーりー、ていまーだーりん] めんどうくさい。手間取る。

ていまーふー [tima:fu:] [名] [ていまーふ<sup>1</sup>ーまい...] 手間のかかること。

ていまーふえー [tima:fe:] [名] [ていまーふえ<sup>1</sup>ーまい...] 手間かかる人。邪魔者。

ていまつん [timatsʝn] [名] [ていまつ<sup>1</sup>んまい...] 手間賃。給料。

ていまだうり [timadu] [動 I 類 a 型] [ていまだうりー、ていまだうらん] 手間どる。

ていまぬぎ [timanukʝ] [名] [ていまぬ<sup>1</sup>ぎまい...] 手招き。手を振ること。

ていム [tim] [終] ~だそうだ。~らしい。【例】あたー あみていムどー (明日は雨らしいよ)。くるー むていー くーていムどー (これを持って来いということだよ)。

ていムたび [timtabʝ] [動 I 類 c 型] [ていムたび

一、ていムたばん) 手でいじくる。

ていむつ [timutsʏ] [名] [ていむ<sup>1</sup>つまい...] 手持ち。手持ち金。

でいむどうり [dimudu] [動I類c型] [でいむどうり一、でいむどうらん] 出戻る。嫁いだ女が戻って来る。

ていムどー [timdo:] [連語] ~そうらしいよ。【例】あみていムどー (雨らしいよ)。

ていムま [timma] [名] [ていム<sup>1</sup>ままい...] 天馬。天馬船。手こぎ小型船。渡し舟。【類】「ていんましん」。

ていら [tira] [名] [ていらまい...] 寺。

ていらか [tiraka] [名] [ていらかまい...。ていら<sup>1</sup>かまい...] 明り。光り。

ていらかす [tirakas] [動I類c型] [ていらかし一、ていらかしゃん] 照り輝かせる。

ていらがり [tiraga] [動I類a型] [ていらがり一、ていらがらん] 照り上がる。光り輝く。

ていらきり [tiraki] [動I類c型] [ていらきり一、ていらきらん] 照り輝く。

ていらじゃ [tiradza] [名] [貝] [ていら<sup>1</sup>じゃまい...] まがきがい。【類】「ゆなが」。

ていらす [tiras] [動I類c型] [ていらし一、ていらししゃん] 照らす。

ていらやま [tirajama] [名] [ていらやまんまい...] 寺山。心海和尚の住居跡。村史参照。

ていり [ti] [名] [てい<sup>1</sup>りまい...] ざる。かご。物入れ。雑物を入れるふたのないかご。てぼ。

ていり [ti] [動I類c型] [ていり一、ていらん] 照る。光る。輝く。太陽や月が光を放って輝く。

ていりんぎ [tinŋkʏ] [動I類c型] [ていりんき一、ていりんかん] 照り輝く。

ていわき [tivaki] [名] [ていわ<sup>1</sup>きまい...] 手分け。分担。

ていわじゃ [tivadza] [名] [ていわ<sup>1</sup>じゃまい...] 手作業。手仕事。【同】「てい一わじゃ」。

ていわたす [tivatasʏ] [動I類c型] [ていわたし一、ていわたししゃん] 手渡す。

ていん [tin] [名] [ていんまい...] 天。天空。空。天体。神。国王。【例】ていんぬ ぶす (天の星)。

ていんからぬ あみ (天からの雨)。

ていんヴえむぬ [tinvemunu] [名] [ていんヴえむ<sup>1</sup>ぬまい...] 貢物。上納物。献上物。国王への送り物。

ていんが [tinga] [名] [ていんがまい...] 天下。天下をとる。

ていんがなす [tinganasʏ] [名] [ていんがな<sup>1</sup>すまい...] 天加奈志。琉球国王。

ていんぎ [tinkʏ] [名] [ていんぎまい...] 天気。空模様。気象。

ていんぎやヴヴィ° [tinkʏjavvʏ] [動I類c型] [ていんぎやヴヴィ一、ていんぎやヴヴィあん] 天気が悪くなる。【例】ていんぎやヴヴィとうけ (天気が悪くなる時)。

ていんぎん [tinkin] [名] [ていんぎ<sup>1</sup>んまい...] 転勤。職場の異動。

ていんぐく [tinguku] [名] [ていんぐくまい...] 天国。

ていんじゃら [tinzʒara] [名] [ていんじゃらまい...。ていんじゃ<sup>1</sup>らまい...] 同じ状態の天候が続くこと。

ていんじょー [tinzɔ:] [名] [ていんじょ<sup>1</sup>ーまい...] 天井。

ていんだく [tindaku] [名] [植] [ていんだ<sup>1</sup>くまい...] ほうせんか。【同】「ていんさぐ」。

でいんちゅー [dintʃu:] [名] [でいんちゅ<sup>1</sup>ーまい...] 電柱。電信柱。

ていんとう ずー [tintu dzɔ:] [連語] 天と地。大きな差のこと。

でいんとー [dinto:] [名] [でいんとーまい...] 伝統文化。

でいんとー [dinto:] [名] [でいんとーまい...] 電灯。天井灯。懐中電灯。

ていんにー [tinni:] [名] [ていんにーまい...] 天。空。宇宙。大空。天の根か。

ていんぬ ムじゅ [tinnu mdʒu] [名] [ていんぬム<sup>1</sup>じゅまい...] 天の溝。天の川。天の河。銀河。川の流れのように見える星の集まり。織姫星と彦星の七夕伝説は有名。

ていんばつ [tinbatsʏ] [名] [ていんばつまい...] 天罰。

ていんばり [tinbari] [名] [ていんばりまい...] 天

割れ。台風前の空模様。  
 ていんぴぐり [tinpiɡu:] [名] [ていんぴぐりまい...] 冷え込み。寒いこと。  
 ていんぷら [tinpura] [名] [ていんぷらまい...] てんぷら。【類】「ばんびム」。  
 でいんぽー [dinpo:] [名] [でいんぽーまい...] 電報。電信によって文字や符号を送ったり受けたりする通信。【例】でいんぽーゆ ふつ（電報を打つ）。  
 ていんまー [tinma:] [名] [ていんまーまい...] 予想しない雨が降ること。通り雨。スコール。  
 ていんまがく [tinmagaku] [名] [ていんまがくまい...] 船員。船乗り。  
 ていんましん [tinmašin] [名] [ていんましんまい...] 天馬船。手こぎ小型船。渡し舟。  
 ていんまら [tinmara] [名] [ていんまらまい...] 手淫。男性の自慰行為。  
 ていんミギ [tinmiki] [動Ⅰ類c型] [ていんミギ一、ていんミギかん] 同じ状態の天候が続く。  
 でいんわ [dinwa] [名] [でいんわまい...] 電話。電話をかけること。  
 ていんーけー つず [tinke: tsudz] [連語] 天に唾。天に唾を吐くと自分に返ってくる。他人に害を与えようとするとかえって自分が損する。  
 てー [te:] [接尾] ～なさいます。尊敬語の命令形。尊敬語の補助動詞〈わーり〉と使う。【例】ならーし つふいー わーりてー（ご教示くださいませ）。  
 てー [te:] [名] [てーまい...] 力。腕力。体力。  
 でー [de:] [感] どうぞ。目上の人に言う。物を差し上げること。  
 てーか [te:ka] [助] ～だけ。～ばかり。～さえ。【例】あんしーてーか（そんなにばかり）。ムめ うんだきてーか（もうそれだけだ）。うすかてーか（たったそれだけ）。いつつてーかー ねーん（5個だけではない）。【類】「てーな」。「てーん」。  
 てーかな [te:kana] [連語] ～だけ。～しか。【類】「てーか」。「てーん」。  
 てーすしゃーり [tes:ša:] [形] [てーすしゃーりまい...] たやすい。容易。簡単。【例】うーすーや てーすむぬ（それをやることは容易だ）。

てーな [tena] [助] ～だけ。～ばかり。～しか。～のみ。【例】あんしーてーなー あらん（それだけではない）。みどうムてーなー むたいん（女性だけでは持てない）。ふーむぬてーなー あらだたム（食べ物ばかりではなかった）。【類】「てーか」。「てーん」。  
 でーな [de:na] [接尾] 同士。仲間。友人。【例】あぐでーな（仲間同士）。  
 てーむぬ [temunu] [名] [てーむぬまい...] 力持ち。  
 てーん [ten] [助] ～だけ。～ばかり。【例】うすかてーん（それだけ）。べーたてーん（我々だけ）。てーんや あらん（だけではない。ばかりではない）。あんしーてーんや あらん（そればかりではない）。【類】「てーか」。「てーな」。  
 でーん [den] [接尾] 共に。一緒に。同士。【例】どうすでーん（友だちどうし）。【類】「まーつき」。「まーどうん」。  
 でーん [de:n] [副] 一番。最も。【例】でーん ちび（もっともうしろ。最後尾）。でーん きちぎ（とてもきれいだ）。  
 でーんがー [de:nga:] [副] 一番。最も。【例】ヴザあがどう でーんがー かじえーぶり（君がとても多い）。【類】「でーんなー」。  
 でーんなー [de:nna:] [副] とても。最も。一番。【例】くりがどう でーんなー うーしゃーり（これがもっとも大きい）。くりがどう でーんなー じゃうとうー（これが一番良い）。【類】「でーんがー」。  
 でーんなーぬ むぬ [de:nna:nu munu] [名] [でーんなーぬむぬまい...] 大変なもの。大事なもの。【例】じんや でーんなーぬ むぬ（お金は最も大切なものだ）。  
 でーんぬ [de:nnu] [連体] 最高の。一番の。【類】「でーんなーぬ」。  
 てん [ten] [名] [てんまい...] 点。点数。100点。満点。  
 でん [den] [名] [植] [べんまい...] ほていおおい。浮き草。家の柱や壁に掛ける。【同】「れん」。  
 てんく [tenku] [副] とても小さいこと。とても少ないこと。持ち物をたずねられたとき「てん

く」という。【類】「いびーちゃ」「いみーちや」。

でんしゅばとう [dençubatu] [名] [鳥] [でん<sup>1</sup>しゅばとうまい...] 伝書鳩。通信文を運ぶように訓練された鳩。

でんせいぎー [denseigi:] [名] [植] [でんせ<sup>1</sup>いぎーまい...] つのくさねむ。夜は葉を閉じる。

## — と —

とう [tu] [助]～と。【例】くりとう くりとう（これとこれと）。ヴヴあとう ばんとう（君とぼくと）。

とう [tu] [助数] 斗。容量の単位。1斗は10升。

どう [du] [助]～ぞ。～こそ。焦点の助詞。【例】くりどう ヴヴあが むぬ（これこそ君のものだ）。あんしーどう ぶり（そんなにしている）。

どうあい [duai] [名] [どうあいまい...] 度合い。程度。

どうあづ [dua] [連語]～ぞある。【例】うんだき どう あづ（それだけある）。

とうい [tui] [接尾]～して。～しながら。【例】あんしー すとうい（そんなにしながら）。【同】「とうりー」。

とうい [tui] [名] [干支] [とういまい...] えと。干支。五行・十干・十二支。五行＝木、火、土、金、水。十干＝甲、乙、丙、丁、戊、己、庚、辛、壬、癸。十二支＝子、丑、寅、卯、辰、巳、午、未、申、酉、戌、亥。生れ年。

とうい [tui] [名] [とういまい...。とう<sup>1</sup>いまい...] 樋。雨樋。雨垂を流す樋。

とうい [tui] [名] [とういま<sup>1</sup>い...] 問い。質問。

とういただす [tuitadas] [動I類c型] [とういただしー、とういただしゅん] 問い糾す。【例】なかばまい とういただす（泣いても問いたです）。

とういつみり [tuitsumi] [動II類c型] [とういつみー、とういつみん] 問い詰める。【例】とういつみるばどう なきー（問い詰めたら泣いた）。

とういまい [tuimai] [接尾] していても。【例】あんしー すとういまい（そんなにしていても）。

とういや [tuija] [接尾]～しては。【例】あんしー すとういや（そんなにしては）。

とうー [tu:] [名] [とうーまい...] 沖。大海。大洋。沖合。【類】「うぶとうー」。

とうー [tu:] [名] [とうーまい...] 十。【例】ていー（一つ）。たー（二つ）。みー（三つ）。ゆー（四つ）。いつ（五）。むー（六）。なな（七）。やー（八）。くぬ（九）。とうー（十）。

どうー [du:] [名] [どう<sup>1</sup>ーまい...] 自分。本人。我。仲間。【例】どうーしー（自分で）。どうーが（我が）。どうーでーな（仲間同士）。どうーんけー（自分へ。自分のために）。どうーが むぬ（本人のもの）。

どうー [du:] [名] [どう<sup>1</sup>ーまい...] 胴。胴体。身体。

とうーいし [tu:ici] [名] [とうーいしまい...] 軒石。家のまわりの石。飾り石。

どうーが くとう [du:ga kutu] [名] [どう<sup>1</sup>ーがくとう<sup>1</sup>まい...] 自分の事。自分自身。【同】「どうーぬくとう」。

どうーが たき [du:ga taki] [連語] 自分のせい。

どうーが どうー [du:ga du:] [名] [どう<sup>1</sup>ーがどう<sup>1</sup>ーまい...] 自分の体。自分自身。

どうーが どうーむつ [du:ga du:muts] [名] [どう<sup>1</sup>ーがどう<sup>1</sup>ーむつまい...] 自分自身を大切に。自分のことは自分で責任を持つ。

どうーが やー [du:ga ja:] [連語] 我が家。自家。持ち家。

どうーがギ [du:gak] [名] [どう<sup>1</sup>ーがギまい...] 体を搔く。四肢動物は木に体をこすりつけて搔く。

どうーかぎん [du:kagin] [名] [どう<sup>1</sup>ーかぎんまい...] 体の具合。体の調子。【例】どう<sup>1</sup>ーかぎん ゆ ばっすいんな（体の具合を忘れるな。無理をするな）。

とうーかす [tu:kas] [動I類c型] [とうーかしー、とうーかしゅん] 穴を貫かせる。穴を開ける。【例】しょーじう とうーかす（障子紙に穴を開けさせる）。【類】「ぶーかす」。

どうーかた [du:kata] [名] [どう<sup>1</sup>ーか<sup>1</sup>たまい...] 我が方。味方。同志。

どうーかだ [du:kada] [名] [どう<sup>1</sup>ーか<sup>1</sup>だまい...] 体臭。からだのにおい。

どうーがたみ [du:gatami] [名] [どうー<sup>1</sup>がたまい...] 自分のため。自分の利益のため。自分を守るため。

どうーかち [tu:katçi] [名] [どうーか<sup>1</sup>ちまい...] 八十八歳の祝い。米(ゆに)の祝い。米寿。斗搔(とかき)のこと。

どうーかっていー [du:katti:] [名] [どうーかってい<sup>1</sup>まい...] 自分勝手。わがまま。【例】どうーかっていぬ やらび(自分勝手な子)。

どうーがらっふイ [du:garaffi] [名] [どうーがらっ<sup>1</sup>ふイまい...] 自分のことだけ考える。利己主義。

どうーがりら [du:ga[ra]a] [名] [どう<sup>1</sup>ーがりらまい...] 身軽いこと。落ちつきのないこと。

どうーがりらーり [du:ga[ra:]a:] [形] [どう<sup>1</sup>ーがりらまい...] 身軽い。落ちつきがない。

とうーギ [tu:kɣi] [動I類c型] [とうーきー、とうーかん] 貫く。穴を開ける。【例】かじょう とうーギ(紙に穴を開ける)。【類】「ぶーギ」。

とうーきり [tu:ki:] [動II類c型] [とうーきー、とうーきん] 貫ける。穴が開く。【例】とうーきった(貫いた。穴が開いた)。とんねるぬ とうーきり(トンネルが貫通した)。

とうーきり [tu:ki:] [動II類c型] [とうーきー、とうーきん] 透き通る。【例】いムぬ しゆくがみ とうーきり(海の底まで透き通って見える)。

どうーぐみやー [du:gumija:] [名] [どうーぐみやーまい...] 刑務所。拘留所。監獄。牢屋。

どうーぐりしゃーり [du:guriça:] [形] [どうーぐり<sup>1</sup>しゃまい...] 気まずい。【例】どうーぐりむぬがー(気まずいなあ)。

とうーじ [tu:dzi] [名] [とうー<sup>1</sup>じまい...] 冬至。二十四節気の一つ。小正月。12月22日頃。【類】「いみしゃうがつ」。

とうーしゃ [tu:ça] [名] [とうー<sup>1</sup>しゃまい...] 遠さ。遠いこと。

とうーしゃーり [tu:ça:] [形] [とうー<sup>1</sup>しゃまい...] 遠い。【例】やまとー とうーしゃん ならん(本土は遠くてならない)。たらまー あていどう とうーしゃーり(多良間はあまりにも遠い)。

とうーす [tu:sɣ] [動I類c型] [とうーしー、とうーしゃん] 通す。針の穴に糸を通す。【例】みつう とうーす(道を通す)。くるまう とうーす(車を通す)。がーう とうーす(我を通す)。

どうーす [du:sɣ] [接尾] ~通し。夜通し。一貫して。【例】ゆどうーす(夜通し)。

とうーずかす [tu:dzɣkasɣ] [動I類c型] [とうーずかしー、とうーずかしゃん] 言い聞かせる。説教する。【例】ばなしー とうーずかす(話して言い聞かせる)。

とうーずきり [tu:dzɣki:] [動II類c型] [とうーずきー、とうーずきん] 言いつける。説教する。【例】とうーずきった(言いつけた。教えた)。とうーずきる(言いつけなさい)。

どうーすま [du:sɣma] [名] [どうーす<sup>1</sup>まい...] 自分の島。自分の里。故郷。

とうーずム [tu:dzɣm] [名] [とうーず<sup>1</sup>ムまい...] 灯芯。角ランプやほやランプの灯芯のこと。

どうーた [du:ta] [名] [代] [どうー<sup>1</sup>たまい...] 我々。私たち。ぼくたち。私ども。

どうーたでーん [du:tade:n] [連語] 自分たちだけ。仲間同志。【例】どうーたでーん しゃきうぬム(仲間同士酒を飲む)。

どうーだり [du:da:] [動II類] [どうーだりー、どうーだりん] [どう<sup>1</sup>ーだりー ぶり] 体がだるい。疲れる。元気がない。

とうーつム [tu:tsɣm] [名] [とうーつ<sup>1</sup>ムまい...] リンパ腺の肥大したもの。【同】「とーつム」。

とうーつム [tu:tsɣm] [名] [とうーつ<sup>1</sup>ムまい...] 提灯。証明用具。提灯の形をした凧。【同】「とーつム」。

とうーていミーてい [tu:timɣ:ti] [名] [とうーていミー<sup>1</sup>ていまい...] 十三年忌。

とうーとうー [tu:tu:] [擬] 幼児語。鶏の呼び方。【同】「どうーどうー」。

どうーどうー [du:du:] [副] 各人。めいめい。【例】どうーどうーが むぬー むてい(めいめいのものを持ちなさい)。

どうーとーかー [du:to:ka:] [名] [どう<sup>1</sup>ーとーかー「まい...」] 自分一人。【例】どうーとーかー ぱりーぶり(自分一人走っている)。

とうーなか [tu:naka] [名] [とうーな<sup>1</sup>かまい...] 海上。沖合い。沖の真ん中。大海の真ん中。航海の途中。

とうーぬ [du:nu] [連語] 自分の。【例】とうーぬむぬー むてい (自分のものを持って)。

とうーぬ かんがい [du:nu kangai] [名] [とうー<sup>1</sup>ぬかんがい「まい...」] 自分の考え。自分の思い。自分の意思。

とうーぬ くとう [du:nu kutu] [名] [とうー<sup>1</sup>ぬくとう「まい...」] 自分の事。自分自身。【同】「とうーがくとう」。

とうーぬ すま [du:nu sɯma] [名] [とうー<sup>1</sup>ぬすま「まい...」] 自分の島。故郷。生れ島。

とうーぬ すまピとう [du:nu sɯmapɪtu] [名] [とうー<sup>1</sup>ぬすま「ピとうまい...」] 自分の島の人。同郷人。郷友。

とうーぬ すまふつ [du:nu sɯmafutsɯ] [名] [とうー<sup>1</sup>ぬすま「ふつまい...」] 自分の島の言葉。方言。島言葉。【類】「すまふつ」。「たらまふつ」。

とうーぬ むたん [du:nu mutan] [連語] 体を持ってない。体力の弱いこと。

とうーぬ よーり [du:nu jo:] [連語] 体力が落ちる。体力が弱くなる。【例】やみー どうーぬよーり (病気のために体力が弱くなる)。

とうーぬかす [tu:nukasɯ] [動I類a型] [とうーぬかしー、とうーぬかしゃん] 遠のかす。遠ざける。【例】うぶかでいう とうーぬかしー わーり (台風を遠のけて下さい)。

とうーぬギ [tu:nukɯ] [動I類a型] [とうーぬきー、とうーぬかん] 遠のく。【例】かれー とうーぬぎった (彼は離れて行った)。うぶかでー とうーぬギどうす (台風は遠ざかるだろう)。

とうーピ [tu:pɪ] [名] [とうー<sup>1</sup>ピまい...] 当日。行事の当日。行事の本番。

とうーピギかヴヴうり [du:pɪkɯkavvu] [動I類c型] [とうーピギかヴヴうりー、とうーピギかヴヴうらん] 自分のことを無理して言いふらす。ひがみ心で自分のことを言いふらす。

とうーピつつ [tu:pɪttsɯ] [名] [とうーピっ<sup>1</sup>つまい...] 十一。十一歳。十一個。

とうーふギ [du:fukɯ] [名] [とうーふ<sup>1</sup>ギまい...] 体を拭く。体の汗を拭く。タオルで拭く。

とうーぶに [du:buni] [名] [どう<sup>1</sup>ーぶにまい...] 体と骨。体全部。【例】とうーぶにぬ やム (体全体が痛い)。

とうーまーり [tu:ma:] [名] [とうーまーりまい...] 遠回り。道を遠回りして行く。

とうーまーり [du:ma:] [名] [とうーまーりまい...。とうーまー<sup>1</sup>りまい...] 胴回り。胸囲。復囲。

とうーみ [tu:mi] [名] [とうーみまい...] 遠見。船の行き来を監視するための施設。昔〈やーまどうーみ〉(八重山遠見)と〈めーくどうーみ〉(宮古遠見)があった。

とうーみがに [tu:migani] [名] [とうーみが<sup>1</sup>にまい...] 望遠鏡。

とうーみだい [tu:midai] [名] [とうーみだいまい...] 遠見台。「やーまどうーみ」。「めーくどうーみ」。

とうーむつ [du:mutsɯ] [名] [どう<sup>1</sup>ーむつ「まい...」] 自分で生きること。自活。

とうーむつじょーず [du:mutsɯdzo:dzɯ] [形] [どう<sup>1</sup>ーむつじょーずまい...] 自分の生活を楽しんでいること。世渡りが上手であること。

とうームなか [tu:mnaka] [名] [とうームなかまい...] 沖の途上。航海中。洋上。

とうームばす [du:mbasɯ] [名] [とうームば<sup>1</sup>すまい...] 体を伸ばすこと。横になること。休むこと。

とうーむム [tu:mum] [名] [植] [とうーむムまい...] 桃。在来種の桃。

とうーむム [du:mum] [名] [とうーむ<sup>1</sup>ムまい...。どう<sup>1</sup>ーむムまい...] 体を揉むこと。疲れをほぐすこと。

とうーめーがり [du:me:ga] [動I類] [とうーめーがりー、とうーめーがらん] [どう<sup>1</sup>ーめーがりー ぶり] 自分の自慢ばかりする。

とうーめーすしゃーり [du:me:sɯɕa:] [形] [とうーめーす<sup>1</sup>しゃまい...] 体調がよい。

とうーやばしゃーり [du:japɕa:] [形] [とうーやば<sup>1</sup>しゃまい...] 体がやわらかい。

とうーやます [du:jamasɯ] [名] [とうーやま<sup>1</sup>すまい...] 体を痛めること。怪我をすること。

どうーやム [du:jam] [名] [どうーや<sup>ム</sup>まい...] 体の調子の悪いこと。体のどこか痛いこと。

どうーよーしゃー<sup>リ</sup> [du:jo:ɕa:] [形] [どうーよー<sup>リ</sup>しゃまい...] 体力が弱い。

どうーよーむぬ [du:jo:munu] [名] [どうーよー<sup>リ</sup>むぬまい...] 体力の弱い人。病人。

とー<sup>リ</sup> [tu:] [名] [とー<sup>リ</sup>まい...] 溝。水の流れ。

とー<sup>リ</sup> [tu:] [名] [とー<sup>リ</sup>まい...] 灯籠。ランプ。角ランプ。ホヤランプ。石油ランプ。

とー<sup>リ</sup> [tu:] [動I類c型] [とー<sup>リ</sup>ー、とー<sup>リ</sup>らん] 通る。通う。通学する。【例】いつまいとー<sup>リ</sup> (いつも通る)。

とー<sup>リ</sup> [tu:] [動I類c型] [とー<sup>リ</sup>ー、とー<sup>リ</sup>らん] 透る。

とー<sup>リ</sup> [tu:ri] [名] [とー<sup>リ</sup>りまい...] 通り。通路。道路。通い道。

とー<sup>リ</sup> [du:] [名] ~通り。~その通りに。~いつものように。

とー<sup>リ</sup>くす [tu:kusɯ] [動I類c型] [とー<sup>リ</sup>くしー、とー<sup>リ</sup>くしゃん] 通り越す。

とー<sup>リ</sup>ばた [tu:bata] [名] [とー<sup>リ</sup>ば<sup>タ</sup>まい...] 葬式の旗。

とー<sup>リ</sup>みつ [tu:mitsɯ] [名] [とー<sup>リ</sup>み<sup>ツ</sup>まい...] 通り道。

どうーれ [du:re] [名] ~ころ。夜の遅いことも言う。【例】なまどうーれ (今頃)。

どうーん たー<sup>リ</sup><sup>リ</sup> [du:n ta:ri:] [連語] 自分の体力や知識に合わせること。

どうーんけー かぎーん<sup>ギ</sup> [du:nke: kakɯ:nkɯ] [連語] 自分のためだけに仕掛ける。私利私欲。我田引水。

とうか [tuka] [助] ~とか。【例】くまとうか かまとうか (こことか、向うとか)。

とうか [tuka] [名] [とうかまい...] 十日。十日間。

とー<sup>ガ</sup> [tuga] [名] [とー<sup>ガ</sup>まい...] 科。とが。罪科。

とうかい [tukai] [名] [とうかいまい...] 都会。

とうかいつか [tukaitsɯka] [名] [とうかいつかまい...] 15日。

とうか<sup>ギ</sup> [tukakɯ] [名] [とうか<sup>ギ</sup>まい...] 斗搔。升に盛った穀物を平らにする棒。

とうかきん [tukakin] [名] [魚] [とうかき<sup>ン</sup>まい...] いそまぐろ。

とうかくくぬか [tukakukunuka] [名] [とうかくくぬかまい...] 19日。

とうかぐす [tukagusɯ] [副] 十日越し。十日越しの夜の雨。夜の雨は畑仕事に支障がない意。

とうかじゃ [tukadza] [名] [魚] [とうか<sup>ジャ</sup>まい...] にじはぎ。くろはぎ。【類】「くーしゅく」。

とうかす [tukasɯ] [動I類c型] [とうかしー、とうかしゃん] 解かす。もつれた糸を解かす。解決する。【例】むんだいゆ とー<sup>カ</sup>す (問題を解かす)。

とうかす [tukasɯ] [動I類c型] [とうかしー、とうかしゃん] 溶かす。【例】しゃたう とー<sup>カ</sup>す (砂糖を溶かす)。

とー<sup>ガ</sup>す [tugasɯ] [動I類c型] [とー<sup>ガ</sup>しー、とー<sup>ガ</sup>しゃん] 研がす。【例】かたなう とー<sup>ガ</sup>す (包丁を研がす)。

どうかた [dukata] [名] [どうかたまい...] 土方。大工。土木工事の従業員。

とー<sup>カ</sup>なっ<sup>ジャ</sup> [tukanaddza] [名] [植] [とー<sup>カ</sup>なっ<sup>ジャ</sup>まい...] はすのはぎり。熟した実を吹いて鳴らす。

とー<sup>カ</sup>な<sup>ン</sup>か [tukananka] [名] [とー<sup>カ</sup>な<sup>ン</sup>かまい...] 17日。

とー<sup>ガ</sup>に<sup>ン</sup> [tuganin] [名] [とー<sup>ガ</sup>に<sup>ン</sup>まい...] 科人。罪人。

とー<sup>カ</sup>ぱ<sup>ツ</sup>か [tukapatsɯka] [名] [とー<sup>カ</sup>ぱ<sup>ツ</sup>かまい...] 20日。

とー<sup>カ</sup>び<sup>ト</sup>う<sup>イ</sup> [tukapɯtui] [名] [とー<sup>カ</sup>び<sup>ト</sup>う<sup>イ</sup>まい...] 11日。

とー<sup>カ</sup>ふ<sup>ツ</sup>か [tukafutsɯka] [名] [とー<sup>カ</sup>ふ<sup>ツ</sup>かまい...] 12日。月の12日目。

とー<sup>ガ</sup>み [tugami] [名] [とー<sup>ガ</sup>みまい...] とがめ。とがめること。非難。

とー<sup>カ</sup>ミ<sup>ー</sup>か [tukamɯka] [名] [とー<sup>カ</sup>ミ<sup>ー</sup>かまい...] 13日。【同】「とうか<sup>ミ</sup>か」。

とー<sup>カ</sup>ミ<sup>カ</sup> [tukamɯka] [名] [とー<sup>カ</sup>ミ<sup>カ</sup>まい...] 13日。【同】「とー<sup>カ</sup>ミ<sup>ー</sup>か」。

とうがみり [tugami] [動II類c型] [とうがみ一、とうがみん] とがめる。【例】くくるーとうがみり (心をとがめる)。

とうかムーか [tukammka] [名] [とうかムーかまい...] 16日。

とうかやうか [tukajauka] [名] [とうかやうかまい...] 18日。【同】「とうかよーか」。

とうかゆか [tukajuka] [名] [とうかゆかまい...] 14日。

とうかよーか [tukajo:ka] [名] [とうかよーかまい...] 18日。【同】「とうかやうか」。

とうがらす [tugarasɯ] [動I類c型] [とうがらし一、とうがらしゃん] 尖らす。棒の先を尖らす。【例】きーゆ きっじー とうがらす (木を削って尖らす)。

とうがり [tuga] [動I類c型] [とうがり一、とうがらん] 尖る。棒の先が尖る。【例】とうがりった (尖った)。しゃぎぬ とうがり (先の尖り)。

とうがりら [tuga][a] [名] [地] [とうがり<sup>1</sup>らまい...] 多良間島の〈とうぶり〉の名前。村史参照。

とうぎ [tukɯ] [名] [とうぎまい...] 易者。巫女 (かんなぎ)。解き明かす人。占い人。【類】「ゆた」。

とうぎ [tukɯ] [名] 時。時間。時期。【例】うぬ とうぎ (その時)。いっとうぎ (一時)。

とうぎ [tugɯ] [動I類c型] [とうぎ一、とうがん] 研ぐ。刃物を研ぐこと。砥石に研ぐ。やすりで研ぐ。【例】とうすん とうぎ (砥石に研ぎなさい)。やすーしー とうぎ (やすりで研ぎなさい)。

とうき一 [tuki:] [名] [とうき<sup>1</sup>まい...] 時計。

とうぎさ [tugɯsa] [名] [とうぎ<sup>1</sup>さまい...] 三股の銚。漁具。三本に返しのある銚。

とうぎどうぎ [tukɯdɯkɯ] [副] 時々。たまに。

どうぎなくとう [dukɯnakutu] [副] あんまり。ひどいこと。【例】かぬ やらべー どうぎなくとう (あの子はあまりにもひどい)。

どうぎぬ むぬ [dukɯnu munu] [名] [どうぎぬむ<sup>1</sup>ぬまい...] 特別な者。ひどい者。野郎。

とうきり [tuki] [動II類c型] [とうき一、とうきん] 溶ける。

とうぎり [tugɯ] [動II類c型] [とうぎ一、とうぎん] 遂げる。

とうぎんや [tukɯn.ja] [副] 時には。たまには。【例】とうぎんや あすビが くだ (たまには遊びに来なさい)。

とうく [tuku] [名] [とうくまい...] 得。利益。【例】とうこー ねーん (利益はない)。

とうく [tuku] [名] [とう<sup>1</sup>くまい...] 徳。身につけた優れた人格。人徳。

とうく [tuku] [名] [とうくまい...] 床。床の間。

どうく [duku] [名] [どうくまい...] 毒。

とうくつとう [tukuttu] [副] 静かに。おとなしいこと。【例】とうくつとうピとう (泰然とした人)。

とうくに [tukuni] [名] [とうくにまい...] 家を建てる土台。

とうくにだみ [tukunidami] [名] [とうくにだみまい...] 家の建築儀式。

とうくにつぎ [tukunitsɯkɯ] [名] [とうくにつ<sup>1</sup>ぎまい...] 家の建築土台を整える作業。

とうくる [tukuru] [名] [とうくるまい...] 所。場所。【例】にんどうくる (寝室)。なるーとうくる (習う所・学校)。

とうけ [tuke] [名] 時。【例】あみぬ とうけ (雨のとき)。かぬ とうけんや (あの時は)。あつ どうけ (暑い時)。

とうげ [tuge] [名] [とう<sup>1</sup>げまい...] あだんの葉を裂く用具。

とうげ [tuge] [名] [とう<sup>1</sup>げまい...] 魚を突く用具。【類】「とうぎさ」。

とうしぐ [tuɯɯgu] [名] [とうしぐまい...] 年子。一年の差の子。

とうじくみ [tudɯkumi] [名] [とうじくみまい...] 閉じ込め。閉じ込めること。

とうじくみり [tudɯkumi] [動II類c型] [とうじくみ一、とうじくみん] 閉じ込める。【例】とうじくみん (閉じ込めるな)。とうじくみる (閉じ込めよ)。

とうじくム [tudɯkum] [動I類c型] [とうじく

みー、とうじくまん) 閉じ込む。【例】ぴんだう まぎんか とうじくみー うき (ヤギを囲いの中に閉じ込めておけ)。

とうじまり [tudzɪmari] [名] [とうじま<sup>1</sup>りまい...] 戸じまり。戸じまりすること。【例】うぶかでないや とうじまりう しる (台風には戸じまりをせよ)。

とうじり [tudzɪ] [動 II 類 c 型] [とうじー、とうじん) 閉じる。終了する。【例】きうぬ うぐなーりる とうじり (今日の集会を閉じる)。

とうす [tusɯ] [名] [とう<sup>1</sup>すまい...] 砥石。刃物を研ぐ石。

とうす [tusɯ] [名] [とうすま<sup>1</sup>い...] 年。歳。年齢。老齡。歲月。年月。【例】とうすぬ ばずみ (年の始め)。とうすんや かたいん (年齢と体力はままならない)。

とうず [tudzɪ] [名] [とうずまい...] 妻。奥さん。【例】ばかとうず (若い妻)。とうずぬ うかぎ (妻の内助の功)。【類】「みどうム」。

どうす [dusɯ] [名] [どうすまい...] 友。友だち。友人。朋友。仲間。同志。

どうす [dusɯ] [連語] ~ぞする。~するよ。動詞の焦点形を作る。焦点助詞の〈どう〉と〈す〉(する)から成り、〈どうすば〉〈~ぞするので〉、〈どうすたり〉(~ぞした)、〈どうしゅーずー〉(~ぞしよう)などのように活用することができる。【例】ありどうす (あるよ)。ぴんだうばー ふーどうす? (山羊は食べるの?)。ぬムどうしゅーずー (飲むよ)。

どうず [dudzɪ] [名] [どうずまい...] 土間。床板のない所。

どうすうぐなーり [dusɯguna:] [名] [どうすうぐなーりまい...] 友だちの集まり。仲間の集い。

とうすが まーす [tusɯga ma:sɯ] [副] 一年中。一年を通して。年から年中。

とうすかた [tusɯkata] [名] [とうすかたまい...] 年上。先輩。年長者。年輩者。

とうずかた [tudzɪkata] [名] [とうずかたまい...] 妻の方。妻の方の親戚。姻戚。【類】「みどうムかた」。

とうずかなしゃーり [tudzɪkanaɕa:] [形] [とう

ずかなしゃまい...] 妻想いである。妻を愛する。愛妻。

どうすかなしゃーり [dusɯkanaɕa:] [形] [どうすかなしゃまい...] 友人想いである。友人を愛する。

どうすがばな [dusɯgapana] [名] [どうすがば<sup>1</sup>なまい...] 優れた子ども。級友で一番成績優秀。【類】「ピとうがばな」。

とうすぐる [tusɯguru] [名] [とうすぐ<sup>1</sup>るまい...] 年頃。年の頃。結婚適齡期。

とうすすた [tusɯsɯta] [名] [とうすすたまい...] 年下。年下の者。【例】かれー あんゆーりらー とうすすた (彼はぼくより年下だ)。

とうずつふあ [tudzɪffa] [名] [とうずつふあまい...] 妻子。【例】とうずつふあう つかぬー (妻子を養う)。

どうすで一な [dusɯdema] [名] [どうすで一なまい...] 友だちどうし。

とうずとうみ [tudzɪtumi] [名] [とうずとう<sup>1</sup>みまい...] 妻をめとる。結婚。【例】とうずとうみずぶん (妻をめとる時分・年頃)。

とうすなかば [tusɯnakaba] [名] [とうすなか<sup>1</sup>ばていまい...] 一年の半分。年半。【例】とうすなかばー きー ねーん (一年の半分は来てしまった)。

とうすぬ イー [tusɯnu i:] [名] [とうすぬイ<sup>1</sup>まい...] 大晦日の神に供える飯。大晦日の神に供える料理。

とうすぬ かず [tusɯnu kadzɪ] [連語] 毎年。年々。年毎に。【例】とうすぬ かず たビ すー (毎年旅行する)。【類】「まいとうす」。

とうすぬ くー [tusɯnu ku:] [名] [とうすぬく<sup>1</sup>まい...] 年の功。年長者は人生経験の功があること。

とうすぬ しみ [tusɯnu ɕimi] [名] [とうすぬし<sup>1</sup>みまい...] 年の末。年の締め。年末。

とうすぬ ピー [tusɯnu pi:] [名] [とうすぬピ<sup>1</sup>まい...] 大晦日。一年の最後の日。12月31日。

とうすぬ ゆー [tusɯnu ju:] [名] [とうすぬゆ<sup>1</sup>まい...] 年の夜。大晦日の夜。

どうすばカーリ [dusɯbaka:] [名] [どうすばカー

りまい...) 友との別れ。友との惜別。  
 とうすばずみ [tusɯpadzɯmi] [名] [とうすばず<sup>1</sup>みまい...] 年始め。年始。  
 どうすび [dusɯbɯ] [名] [どうす<sup>1</sup>びまい...] 生れた年の干支。その日。  
 どうすびらい [dusɯbiraɯ] [名] [どうすびらいまい...] 友との付き合い。友だち付き合い。  
 とうずぶとう [tudzɯbutu] [名] [とうずぶとうまい...] 夫婦。【類】「みうとう」。「みうとうら」。  
 とうずまぎ [tudzɯmagɯ] [名] [とうずま<sup>1</sup>ぎまい...] 妻と性交すること。結婚すること。  
 とうずまぎよーい [tudzɯmagjorɯ] [名] [とうずまぎよー<sup>1</sup>いまい...] 結婚祝い。  
 とうずまらす [tudzɯmarasɯ] [動 I 類 c 型] [とうずまらしー、とうずまらしゃん] 終わらせる。閉じさせる。完了させる。  
 とうずまり [tudzɯmaɯ] [動 I 類 a 型] [とうずまりー、とうずまらん] 終わる。【例】みだ とうずまらん (まだ終わらないか。まだまとまらないか)。あたがめー とうずまりどうす (明日まで終了する)。  
 とうずみ [tudzɯmi] [名] [とうずみま<sup>1</sup>い...] 終り。終了。完了。【例】ぱちゅがつぶどうりぬ とうずみ (八月おどりの最終日)。しーとーぬ とうずみ (製糖の終了)。  
 とうずみがた [tudzɯmigata] [名] [とうずみが<sup>1</sup>たまい...] 終りに近いこと。  
 とうずみよーい [tudzɯmijorɯ] [名] [とうずみよー<sup>1</sup>いまい...] 終了祝い。【例】しーとーぬ とうずみよーい (製糖の終了祝い)。  
 とうずみり [tudzɯmil] [動 II 類 c 型] [とうずみー、とうずみん] 終わる。仕上げる。仕事を打ちあげる。成し遂げる。完結させる。【例】ぶどうりら とうずみった (八月おどりは終了した)。  
 とうたーら [tuta:ra] [名] [とうたーらまい...] 十俵。  
 とうたーり [tuta:] [名] [とうたーりまい...] 十人。  
 どうだい [dudai] [名] [どうだいまい...] 土台。基礎。基準。【例】くんくりぬ どうだい (コン

クリートの土台)。  
 とうだいり [tudaiɯ] [動 II 類 c 型] [とうだいいー、とうだいいん] 途絶える。途切れる。【例】ピと うぬ とうだいいー みーらいん (人通りが途絶えて見えない)。  
 とうだな [tudana] [名] [とうだなまい...] 戸棚。物置の棚。  
 とうたん [tutan] [名] [とうた<sup>1</sup>んまい...] トタン。【同】「とうたんがに」。  
 とうたんがに [tutangani] [名] [とうた<sup>1</sup>んがにまい...] トタン。【同】「とうたん」。  
 とうたんやー [tutan.ja:] [名] [とうた<sup>1</sup>んやーまい...] トタンぶきの家。【例】とうたんやーや あみぬ ながますむぬ (トタン家は雨のときやかましい)。  
 とうっくり [tukkuri] [名] [とうっく<sup>1</sup>りまい...] 銚子。徳利。  
 どうっけん [dukken] [名] [植] [どうっけ<sup>1</sup>んまい...] ひめくまやなぎ。つる性で岩盤を這う。  
 とうっとうる [tuttururu] [名] [とうっとう<sup>1</sup>るまい...] ぼんやり。ぼんやり者。  
 とうっとうるみーり [tutturumi:] [動 II 類 c 型] [とうっとうるみー、とうっとうるみーん] ぼんやりする。  
 とうっば [tuppa] [擬] 吐き出させるための幼児語。【例】とうっばていー ぱき (吐き出せ)。  
 どうっふあ [duffa] [擬] [どうっふあていー...] 重い物の落ちる様。穴に落ちる様。  
 どうっふあみかす [duffamikasɯ] [動 I 類 c 型] [どうっふあみかしー、どうっふあみかしゃん] 重い物などを音を立てて落とす。  
 どうっふあみぎ [duffamikɯ] [動 I 類 c 型] [どうっふあみきー、どうっふあみかん] 重いものなどが音を立てて落ちる。  
 どうっふあら [duffara] [擬] 穴に落ちる様。  
 どうっふあらみかす [duffaramikasɯ] [動 I 類 c 型] [どうっふあらみかしー、どうっふあらみかしゃん] 穴に落とす。  
 どうっふあらみぎ [duffaramikɯ] [動 I 類 c 型] [どうっふあらみきー、どうっふあらみかん] 穴に落ちる。

とうでいり [tudi:] [動 II 類 c 型] [とうでいー、とうでいん] とじる。綴じること。ホッチキスでとじる。

どうどうー [dudu:] [擬] [どうどうーていー...] 水が勢よく流れる様。大勢の人が走る様。【例】みずエー どうどうーていー ぱりー ぶり (水は勢いよく流れている)。

とうどうかしゃーり [tudukaxa:] [形] [とうどうか<sup>1</sup>しゃまい...] おとなしい。静か。

とうどうかず [tudukas:] [動 I 類 c 型] [とうどうかしー、とうどうかしゃん] 轟かせる。名高くする。響かせる。

とうどうかず [tudukas:] [動 I 類 c 型] [とうどうかしー、とうどうかしゃん] 届かせる。配達させる。配らせる。

とうどうかむぬ [tudukamunu] [名] [とうどうかむぬまい...] おとなしい者。落ちついている人。静かにしている人。

とうどうぎ [tuduk:] [動 I 類 c 型] [とうどうきー、とうどうかん] 轟く。名高い。名声。

とうどうぎ [tuduk:] [動 I 類 c 型] [とうどうきー、とうどうかん] 届く。【例】ていがぎぬ とうどうぎ (手紙が届く)。

とうどうきり [tuduki:] [動 II 類 c 型] [とうどうきー、とうどうきん] 届ける。届け出る。申し出る。【例】やくばんけー つふあぬ ムまりう とうどうきが (役場へ子の出生届けをする)。

とうどうくーり [tuduku:] [動 I 類 c 型] [とうどうくーりー、とうどうくーらん] 滞る。停滞する。止まってしまう。【例】じんぱるーぬどう とうどうくーりった (金の支払いが滞った)。

とうとうぬいり [tutunui:] [動 II 類 c 型] [とうとうぬいー、とうとうぬいん] 整える。片付ける。揃える。【例】とうとうぬいー うき (整えておきなさい)。

とうとうぬー [tutunu:] [動 I 類 c 型] [とうとうぬー、とうとうぬーん] 整う。揃う。まとまる。【例】きーむぬぬ とうとうぬー ぶり (着る着物が整っている)。

とうどうまり [tuduma:] [動 I 類 c 型] [とうどうまりー、とうどうまらん] とどまる。留まる。

滞在する。【例】うぷかでいぬ とうどうまり (台風が停滞している)。

とうとうみ [tutumi] [助] ~と共に。~と一緒に。【例】ヴヴあとうとうみ (君と共に)。

とうとうみ [tutumi] [助] ~まで。【例】にーとうとうみ (根っこまで・根こそぎ)。

とうとうみぎ [tutumik:] [動 I 類 c 型] [とうとうみきー、とうとうみかん] 動悸。心臓がどきどきすること。

どうどうみぎ [dudumik:] [動 I 類 c 型] [どうどうみきー、どうどうみかん] 勢いよく流れる。大勢の人が走る。どよめく。

とうどうみり [tudumi:] [動 II 類 c 型] [とうどうみー、とうどうみん] 殺す。打ちのめす。とどめる。

とうとうり [tutu:] [動 I 類 c 型] [とうとうりー、とうとうらん] ぼんやりする。

とうとうりむぬ [tutu[munu] [名] [とうとうりむぬまい...] ぼんやり者。【類】「とうとうるー」。「とうとうれ」。

とうとうるー [tuturu:] [名] [とうとうるーまい...] ぼんやり者。【同】「とうとうれ」。【類】「とうとうりむぬ」。

とうとうれ [tuture] [名] [とうとうれまい...] ぼんやり者。【同】「とうとうるー」。【類】「とうとうりむぬ」。

とうなー [tuna:] [名] [とうなーまい...] 二十銭。

とうないり [tunai:] [動 II 類 c 型] [とうないー、とうないん] 唱える。台詞を言う。

とうなか [tunaka] [名] [とうなかんまい...] 海の上。沖合。洋上。

とうなぎ [tunagi] [助] ~とともに。【例】すまとうなぎ (島と共に。島のある限り)。

とうなます [tunamas:] [動 I 類 a 型] [とうなましー、とうなましゃん] きちんと揃える。

とうなみ [tunami] [名] [とうなみまい...] 平たくすること。同じ高さにすること。揃えること。整えること。

とうなみり [tunami:] [動 II 類 c 型] [とうなみー、とうなみん] 均す。平均にする。地をならす。揃える。【類】「なだらきり」。

とうなム [tunam] [動I類c型] [とうなみー、とうなまん] 平均になる。水平になる。同じ高さになる。揃う。

とうなら [tunara] [名] [植] [とうな<sup>1</sup>らまい...] あきののげし。

とうなヅ [tuna:] [名] [とうなヅまい...] 隣。隣近所。

とうなヅぐみ [tuna:gumi] [名] [とうなヅぐみまい...]。とうなヅぐ<sup>1</sup>みまい...] 隣組。

とうなヅびらい [tuna:bira:] [名] [とうなヅびら<sup>1</sup>まい...] 近所付き合い。

とうにかく [tunikaku] [副] とにかく。

とうぬ [tunu] [名] [とう<sup>1</sup>ぬまい...] 殿。殿様。

とうぬイ [tunu:] [名] [干支] [とうぬ<sup>1</sup>まい...] 酉の日。【同】「とう<sup>1</sup>ぬイ」。

とうぬイぬ ピー [tunu:nu pi:] [名] [干支] [とうぬイ<sup>1</sup>ぬピーまい...] 酉の日。【同】「とう<sup>1</sup>ぬイぬピー」。

とうぬイムまり [tunu:mmari] [名] [干支] [とうぬイムま<sup>1</sup>りまい...] 酉の日生まれ。酉の日に生まれた人。【同】「とう<sup>1</sup>ぬイムまり」。

とうぬギ [tunugi] [動I類a型] [とうぬぎー、とうぬがん] 小刻みに動く。体を揺り動かす。八月おどりの総引の一つ。

とうぬつ [tunuts:] [名] [とうぬ<sup>1</sup>つまい...] 殿内。首里城。子守歌の一節。2019年10月31日焼失。

とうばがらす [tubagaras:] [動I類a型] [とうばがらしー、とうばがらしゃん] はばたかす。凧揚げをする。

とうばがり [tubaga:] [動I類a型] [とうばがりー、とうばがらん] 飛び上がる。鳥が飛んでいく。凧が揚がる。

とうばギ [tupak:] [名] [とうば<sup>1</sup>ギまい...] 唾を吐き出すこと。ところ構わず唾を吐く。行儀の悪いことの一つ。

とうばす [tubas:] [名] [とうばすまい...] 火持ちのよい木。松の木の根。炭火を翌朝まで木灰に入れて種火とした。

とうばす [tubas:] [動I類a型] [とうばしー、とうばしゃん] 飛ばす。紙飛行機を飛ばす。鳥を

逃す。

とうばすなー [tubas:na:] [名] [とうばすなーまい...] 風を利用して釣り糸を飛ばす漁の方法。満潮時に行く。

とうばらーま [tubara:ma] [名] [とうばらー<sup>1</sup>まい...] 八重山の民謡。

とうビ [tub:] [動I類a型] [とうびー、とうばん] 行く。帰って行く。【例】なーが やーんけー とうビ (自分の家に帰る)。

とうビ [tub:] [動I類a型] [とうびー、とうばん] 飛ぶ。跳ぶ。はねる。ジャンプする。空を飛ぶ。高跳する。幅跳する。【例】とうびー かつみる (跳んでつかまえる)。

とうビあがり [tubjaga:] [動I類a型] [とうビあがりー、とうビあがらん] 跳び上がる。【同】「とうばがり」。

とうビいり [tubjiri] [名] [とうビいりまい...] 飛び入り。舞台に予定外の人に参加すること。

とうビうきり [tubjukiri] [動II類c型] [とうビうきー、とうビうきん] 跳び起きる。元気よく起きる。

とうビきり [tubjuki] [動I類a型] [とうビきりー、とうビきらん] 飛び切る。とびぬけて優れる。【例】くれー とうビきり ムましゅーり (これは飛びきりうまい)。

とうビくいり [tubjukui] [動II類a型] [とうビくいー、とうビくいん] 跳び越える。【例】にんピとうー とうビくいり (寝ている人を飛び越える)。

とうビくす [tubjukus:] [動I類a型] [とうビくしー、とうビくしゃん] 飛び越す。

とうビくム [tubjukum] [動I類a型] [とうビくみー、とうビくまん] 跳び込む。【例】ふにから とうビくム (船の上から飛び込む)。

とうビぬーり [tubjnu:] [動I類a型] [とうビぬーりー、とうビぬーらん] 飛び乗る。定員を越えて乗船する。昔、チケットのない人も乗船した。

とうビゆ [tubju:] [名] [魚] [とうビ<sup>1</sup>ゆまい...] とびうお。航海中に見える飛魚はトンボのようだった。

どうぶ [dubu] [名] [どうぶまい...] どぶ。下水溜め。

どうぶ [dubu] [擬] [どうぶていー...] 穴にドンと落ちる様。

どうふかす [dufukas] [動 I 類 c 型] [どうふかしー、どうふかしゃん] 突き破る。【例】いたう どうふかす (板を突き破る)。

どうふぎ [dufugi] [名] [植] [どうふ<sup>1</sup>ぎまい...] でいご。でいごの木。【例】どうふぎぬ ぱな (でいごの花。沖縄県の県花)。

どうぶきり [tubuki] [動 II 類 a 型] [どうぶきー、とうぶきん] ひらける。しらける。夜が明ける。

どうぶきり [dufuki] [動 II 類 c 型] [どうぶきー、どうぶきん] 穴ができる。朽ちた木に穴が開く。【例】どうぶきった (穴が開いた)。

どうぶく [dubuku] [名] [どうぶくまい...] 土木。土木工事。

どうぶた [tubuta] [名] [どうぶたまい...] 落ち着きのない者。

どうぶていむぬ [tubutimunu] [名] [どうぶていむぬまい...] 軽率。あわて者。落ちつきのない者。【例】どうぶていむぬぬ わじゃ (あわて者の仕事)。

どうぶていり [tubuti] [動 II 類 a 型] [どうぶていー、どうぶていん] 落ち着かなくなる。【例】どうぶていんぐとう しる (落ち着いてやりなさい)。

とうぶり [tuburi] [名] [とうぶりまい...] 浜辺に通じる道。「跳び下り」の意か。多良間島に46ヶ所、水納島に7ヶ所の〈とうぶり〉がある。村史。

とうべう [tubeu] [動 I 類 c 型] [とうべー、とうばーん] 行き交う。出会う。道路上で歩きながら出会う。

とうまい [tumai] [助] ~とも。【例】ヴヴァあとうまい (君とも)。かりとうまい (彼とも)。うやとうまい (親とも)。

どうまヴヴァあす [dumavvas] [動 I 類 c 型] [どうまヴヴァあしー、どうまヴヴァあししゃん] 惑わす。

どうまヴヴァいむぬ [dumavvimunu] [名] [どうま

ヴヴァいむ<sup>1</sup>ぬまい...] まぬけ者。ぼんやり者。仕事に抜かりがあること。

どうまヴヴァいり [dumavvi] [動 II 類 c 型] [どうまヴヴァいー、どうまヴヴァいん] 戸惑う。迷う。狼狽。まごつく。【例】どうまヴヴァいー ねーん (まごついてしまった)。

とうまどー [tumado:] [動 I 類 a 型] [とうまどー、とうまどーん] 戸惑う。迷う。狼狽。【類】「どうまヴヴァいり」。

とうまらす [tumaras] [動 I 類 a 型] [とうまらしー、とうまらしゃん] 止まらす。止めさせる。車を止めさせる。【例】すぐとうー とうまらす (仕事を中止させる)。

とうまらす [tumaras] [動 I 類 a 型] [とうまらしー、とうまらしゃん] 泊らす。泊めさせる。宿泊させる。【例】とうまらしやだ (宿泊させなさい)。

とうまり [tuma] [名] [とうまりんまい...] 泊。〈とうまりうたぎ〉(泊御嶽)のこと。

とうまり [tuma] [動 I 類 a 型] [とうまりー、とうまらん] 止まる。【例】ばなすぬ とうまり (話が止まる)。くるまぬ とうまり (車が止まる)。

とうまり [tuma] [動 I 類 a 型] [とうまりー、とうまらん] 泊る。【例】たかぬ とうまりぎー (さしばの泊る木)。

とうまりうたぎ [tuma[utaki] [名] [とうまりうたぎんまい...] 泊御嶽。

どうまんぎり [dumangi] [動 II 類 a 型] [どうまんぎー、どうまんぎん] たまげる。驚く。びっくりする。【例】どうまんぎー ねーん (びっくりしてしまった)。

どうまんなか [dumannaka] [名] [どうまんなかんまい...] ど真ん中。ちょうど真ん中。まん真ん中。【例】とうかいぬ どうまんなか (都会のど真ん中)。

とうみあます [tumiamas] [動 I 類 c 型] [とうみあましー、とうみあまししゃん] 探しきれない。探しあぐねる。【例】ぱっすいむぬー とうみあましー (忘れものを探しあぐねた)。

どうみかす [dumikas] [動 I 類 c 型] [どうみか

しー、どうみかしゃん] 勢よく走らせる。【例】ふなムかいが どうみかす (船を迎えに走り出す)。

とうみがに [tumigani] [名] [とうみが<sup>1</sup>にまい...] 留金。継ぎ目が外れないように留めておく金具。

どうみギ [dumiky] [動 I 類 c 型] [どうみきー、どうみかん] 一斉に走り出す。集団で走り出す。【例】まらそんゆ どうみギ (マラソンを走り出す)。

とうみただギ [tunitadak] [動 I 類 c 型] [とうみただきー、とうみただかん] 探し求め尋ねる。家族を探し尋ねる。

とうみまぐらす [tumimaguras] [動 I 類 c 型] [とうみまぐらしー、とうみまぐらしゃん] 探し惑わす。探しまわる。

とうみむぬ [tumimunu] [名] [とうみむ<sup>1</sup>ぬまい...] 探しもの。拾いもの。【例】じんぬ どうみむぬ (金の拾い物)。

とうみらいり [tumirai] [動 II 類 c 型] [とうみらいー、とうみらいん] 見つかる。探される。【例】びんぎびんだー とうみらいー (逃げた山羊は見付かった)。

どうみらいり [dumirai] [動 II 類 c 型] [どうみらいー、どうみらいん] 叩かれる。殴られる。【同】「どうみらりり」。

どうみらりり [dumirari] [動 II 類 c 型] [どうみらりー、どうみらりん] 叩かれる。殴られる。【同】「どうみらいり」。

とうみり [tumi] [動 II 類 a 型] [とうみー、とうみん] 止める。【例】くるまう とうみり (車を止める)。

とうみり [tumi] [動 II 類 a 型] [とうみー、とうみん] 泊める。宿泊させる。【例】あが やーん とうみり (私の家に泊める)。

とうみり [tumi] [動 II 類 a 型] [とうみー、とうみん] 探す。求める。探し当てる。見付かる。【例】しゅくー とうみり (職を探す)。

どうみり [dumi] [動 II 類 c 型] [どうみー、どうみん] 叩く。なぐる。

とうみんかにり [tuminkani] [動 II 類] [とうみ

んかにー、とうみんかにん] 探しかねる。【例】とうみんかにー ぶり (探しかねている)。

とうム [tum] [助] ~だけでも。~さえも。【例】うれーとうム しゅだ (それだけでもしなさい)。ヴヴあーとうム やーん ぶり (君だけでも家にいなさい)。

とうむ [tumu] [名] [とう<sup>1</sup>むまい...] お供。伴。同伴。【例】とうむー しらいー わーり (いらっしやって下さい)。

とうむ [tumu] [名] [とうむ<sup>1</sup>んまい...] 船の後。船尾。艦。

どうム [dum] [助] もっと。【例】あんどム しらいん (ぼくはもっと)。

とうムかいり [tumkai] [動 I 類 c 型] [とうムかいりー、とうムかいらん] ふり返る。振り向く。【例】とうムかいりー みーり (振り向いて見る)。【類】「とうムまーり」。

とうむすー [tumusy] [連語] お供する。招待する。随行する。【例】うたきんけー とうむすー (御嶽にお伴する)。

とうむずな [tumudzyna] [名] [とう<sup>1</sup>むずなまい...] とも綱。もやい綱。船を岸壁につなげる綱。

とうむだうり [tumudauri] [名] [とうむだう<sup>1</sup>りまい...] 共倒れ。一緒に倒れること。選挙に共倒れすること。無理して助けようとして共倒れすること。

とうムだす [tumdas] [動 I 類 a 型] [とうムだしー、とうムだしゃん] 外へ出させる。外出させる。【例】びんだう まぎから とうムだす (山羊を囲いから出す)。【類】「ぬムだす」。

とうムたつ [tumtats] [動 I 類 a 型] [とうムたていー、とうムたたん] 急に立ち上がる。

とうムたつ [tumtats] [動 I 類 c 型] [とうムたていー、とうムたたん] 突っ立つ。ぼんやりして立つ。

とうムでいばずみ [tumdipadzmi] [名] [とうムでいばずみまい...] 出産後のはじめての外出。

とうムでいり [tumdi] [動 II 類 a 型] [とうムでいー、とうムでいん] 外出する。家畜が小屋から逃げる。【例】あみぬ ばりるばどう とうムでいり (雨が晴れるから外出する)。【類】「ぬ

ムでいり」。

とうムばら [tumbara] [名] [とうムばらま<sup>1</sup>い...] 岩。〈あまがーとうムばら〉。〈とうがりらとうムばら〉。

とうムベン [tumben] [名] [植] [とうムべ<sup>1</sup>んまい...] 竜舌蘭。葉。多肉質。葉を渚に埋めて繊維をとる。多肉の葉の先と両側に鋭い棘がある。昔、葉を浜辺に埋めて腐らせて、繊維を取ってロープを作った。馬の手綱、船のアンカー綱に使用した。

どうムま [dumma] [擬] 跳び下りる様。【類】「ぶどうりげーム」。

どうムまー [dumma:] [助] ~さえ。比較用語。【例】かりどうムまーどう すー (彼でさえもしている)。

とうムまーり [tumma:] [動I類a型] [とうムまーりー、とうムまーらん] 止まって回る。ふり返る。【例】とうムまーりー みーり (振り返って見る)。【類】「とうムかいり」。

どうムまどうムま [dummadumma] [擬] [どうムまどうムまていー...] 太鼓をたたく音。工事現場の大きい音。

どうムみかす [dummikas] [動I類c型] [どうムみかしー、どうムみかしゃん] 騒ぎ立てる。器物を(激しく)打ち鳴らす。威勢よくたたく。オーケストラの出す音など。

どうムみギ [dummik] [動I類c型] [どうムみきー、どうムみかん] 爆発音がする。

どうむり [dumu] [動I類c型] [どうむりー、どうむらん] どもる。

とうやう [tujau] [動I類c型] [とういえー、とうやーん] 会う。交わる。会談する。

どうゆー [duju:] [名] [どうゆ<sup>1</sup>ーまい...] 土曜日。

どうゆー [duju:] [名] [どうゆ<sup>1</sup>ーまい...] 土用。土用うなぎ。季節。夏のもっとも暑い季節。立秋の前の18日間。

どうゆーなム [duju:nam] [名] [どうゆーな<sup>1</sup>ムまい...] 土用波。土用の時期の海のうねり。

とうゆます [tujumas] [動I類a型] [とうゆましー、とうゆましゃん] 響ます。とよむこと。

鳴りひびかせる。有名にさせる。

どうゆみギ [dujumik] [動I類c型] [どうゆみきー、どうゆみかん] どよめく。音が鳴りひびく。

とうゆム [tujum] [動I類a型] [とうゆみー、とうゆまん] 響む。有名になる。出生する。

とうゆめ [tujume] [名] [とうゆ<sup>1</sup>めまい...] 豊見親。響む人。土原春源のこと。幼名をくどうる(宇曾呂)という。1500年に多良間島主となる。村史参照。

とうら [tura] [名] [とうらまい...] 虎。

とうら [tura] [名] [とうらまい...] 寅。十二支の三番目。寅年。とうらどうい。虎。

どうら [dura] [名] [どうらまい...] 銅鑼金。船の出航に鳴らす。【類】「どうらがに」。

どうらー [dura:] [終] ~だからねえ。【例】あんしーどうらー (そうだからねえ)。

どうらがに [duragani] [名] [どうらがにまい...] 銅鑼金。【類】「どうら」。

とうらかみ [turakami] [名] [とうらかみまい...] 一石入れのかめ。

とうらかみ [turakami] [名] [とうらかみまい...] 大きなかめ。

とうらぎり [turagil] [動II類c型] [とうらぎー、とうらぎん] 取り上げる。敷き物をあげること。【例】むっすー とうらぎり (筵をあげる)。

どうらぐい [duragui] [名] [どうらぐいまい...] どら声。太って濁った声。

とうらしぶ [turaçibu] [名] [とうらし<sup>1</sup>ぶまい...] 寅支部。天川。大道。【類】「しおとうら」。「なかとうら」。

とうらす [turas] [動I類c型] [とうらしー、とうらしゃん] 取らせる。与える。渡す。あげる。【例】ばとんゆ つらす (バトンを渡す)。しょーじょーゆ とうらす (賞状をあげる)。

とうらすみー [turasmi:] [名] [とうらすみ<sup>1</sup>ーまい...] 渡し前。配分。出し前。

とうらどうい [turadui] [名] [干支] [とうらどういまい...] 寅の干支。寅年。寅年生れ。【例】あんや とうらどうい (私は寅年生れだ)。

とうらどうす [turadus] [名] [干支] [とうらど

うすまい... 寅年。寅年生まれ。【例】あんや  
とうらどうす（私は寅年だ）。

とうらぬ じゅー [turanu dzu:] [名] [植] [とう  
らぬじゅーまい...] ちとせらん。【類】「とらの  
おう」。

とうらぬイ [turanu:] [名] [干支] [とうらぬイま  
い...] 寅の日。

とうらぬイぬ ピー [turanu nu pi:] [名] [干支]  
[とうらぬイぬピーまい...] 寅の日。

とうらぬイムまり [turanu mmari] [名] [干支] [と  
うらぬイムまりまい...] 寅の日生まれ。寅の日  
に生まれた人。

とうらぬば [turanupa] [名] [干支] [とうらぬば  
まい...] 寅の方角。東北東。東の方。

とうらぬばでいー [turanupadi:] [名] [地] [とう  
らぬばでいーまい...] 寅の里。塩寅。仲寅。【類】  
「とうらしぶ」。

とうらんてい [turanti] [名] [干支] [とうらんて  
いまい...] 寅年。

とうり [tu:] [名] [とうりまい...] 鳥。鳥の総称。  
鶏。

とうり [tu:] [名] [干支] [とうりまい...] 酉。十  
二支の十番目。酉年。〈とうりどうい〉。鶏。

とうり [tu:] [動I類c型] [とうりー、とうらん]  
取る。獲る。採る。撮る。捕る。【例】とうり  
(取れ)。うるー とうり (それを取れ)。

とうり [tu:] [動I類c型] [とうりー、とうらん]  
収穫する。取り入れる。【例】ムーとうり (芋  
掘り)。あーとうり (粟の収穫)。

とうり [turi] [名] [とうりまい...] 凧。【例】と  
うりがま (気持ちよい天気)。

とうりあーす [tu[a:s]] [名] [とうりあー<sup>1</sup>すまい...]  
闘鶏。

とうりー [turi:] [接尾] ~して。~しながら。付帯  
の接辞。【例】あんしー すとうりー (そうしな  
がら)。

とうりうー [tu[u:]] [名] [とうりう<sup>1</sup>まい...] 鶏  
追い。鶏を追っばらうこと。庭にむしろを敷い  
て収穫物を干したときに鶏を追っ払った。

とうりうとうす [tu[utus]] [動I類c型] [とうりう  
とうしー、とうりうとうしゃん] 取り落とす。

とうりかいす [tu[kais]] [動I類c型] [とうりか  
いしー、とうりかいしゃん] 取り返す。

とうりかいり [tu[kai]] [動II類c型] [とうりか  
いー、とうりかいん] 取り替える。

とうりかくム [tu[kakum]] [動I類c型] [とうり  
かくみー、とうりかくまん] 取り囲む。【例】あ  
ムにー とうりかくム (網で取り囲む)。【類】  
「とうりばていり」。

とうりかつみり [tu[katsmi]] [動II類c型] [と  
うりかつみー、とうりかつみん] 捕りつかま  
える。捕り押さえる。【例】うっじゃう とうりか  
つみり (うずらを取り押さえる)。

とうりギー [tu[kɣi:] [動I類c型] [とうりギすい  
ー、とうりギさん] 取りきる。【例】とうりギ  
すいー ねーん (取り切って何も無い)。

とうりきす [turikis]] [動I類c型] [とうりきし  
ー、とうりきししゃん] 取り消す。打ち消す。な  
かったことにする。

とうりきみ [turikimi] [名] [とうりき<sup>1</sup>みまい...]  
取り決め。約束。契約。話し合い。

とうりきみり [turikimiri] [動II類c型] [とうり  
きみー、とうりきみん] 取り決める。決定する。

とうりぐばん [tu[gupan] [名] [とうりぐばんま  
い...] 鶏の肉料理。

とうりくム [turikum] [動I類c型] [とうりくみ  
ー、とうりくまん] 取り込む。洗濯物を取り込  
む。外から内へ取り込む。

とうりしまり [turiçima] [動I類c型] [とうりし  
まりー、とうりしまらん] 取り締まる。【例】き  
ーさつぬ とうりしまり (警察が取り締まる)。  
【同】「とうりすまり」。

とうりじゃた [tu[dzata] [名] [とうりじゃ<sup>1</sup>た  
まい...] 取り沙汰。うわさ。話が広がること。

とうりしゆるいり [turiçurui] [動II類c型] [と  
うりしゆるいー、とうりしゆるいん] 取り揃  
える。【例】とうりしゆるいー うかん (取り揃  
えていない)。

とうりすまり [tu[sma] [動I類] [とうりすまり  
ー、とうりすまらん] [とう<sup>1</sup>りすまりー ぶり]  
取り締まる。捕らえる。【例】きーさつぬ とう  
りすまり (警察が取り締まる)。【同】「とうり

しまり」。

とうりすらび [tu[sɾabi] [名] [とうりすら<sup>1</sup>びまい...。とう<sup>1</sup>りすらびまい...] 取調べ。

とうりすらびり [tu[sɾabi] [動 II 類 c 型] [とうりすらび一、とうりすらびん] 取り調べる。

とうりだす [tu[daɕ] [動 I 類 c 型] [とうりだし一、とうりだしゃん] 取り出す。

とうりたていり [turitati] [動 II 類 c 型] [とうりたてい一、とうりたていん] 取り立てる。徴収する。

とうりちがい [turitɕigai] [名] [とうりちが<sup>1</sup>いまい...] 取り違い。取り違えること。誤解すること。

とうりちがいり [turitɕigai] [動 II 類 c 型] [とうりちがい一、とうりちがいん] 取り違える。誤解する。【例】ばなすう とうりちがいり (話を誤解する)。

とうりつかぬ一 [tu[tsɿkanu:] [名] [とうりつかぬ<sup>1</sup>まい...] 鶏を飼育する。養鶏。各家庭で養鶏をしていた。

とうりつぎ [turitsɕgi] [名] [とうりつ<sup>1</sup>ぎまい...] 取り継ぎ。間に立って伝達すること。

とうりつきり [turitsɿki] [動 II 類 c 型] [とうりつき一、とうりつきん] 取り付ける。【例】やくしゅく一 とうりつきり (約束を取り付ける)。

カーテンゆ とうりつきり (カーテンを取り付ける)。

とうりてい [tu[ti] [名] [とうりていまい...] 馬車の前方の両側にある部品。先端にロープをかけて馬の鞍にしかける。

とうりどうい [tu[dui] [名] [干支] [とうりどういまい...] 酉年生まれ。鶏。

とうりなうす [tu[naus] [動 I 類 c 型] [とうりなうし一、とうりなうしゃん] 取り直す。【同】「とうりの一す」。

とうりなギ [tu[nakɿ] [名] [とうりなギまい...] 鶏の鳴くこと。一番鶏。二番鶏。時を知らせる鶏の鳴くこと。

とうりなギばな [tu[nakɿbana] [名] [とうりなギばなまい...] 鶏の鳴く頃。鶏の鳴く時刻。未明。

とうりぬ きん [tu[nu kin] [名] [とうりぬき<sup>1</sup>ん

まい...] 鳥の蹴爪。

とうりぬ くが [tu[nu kuga] [名] [とうりぬく<sup>1</sup>がまい...] 鶏の卵。各家庭に巣を作ってあった。

とうりぬ くす [tu[nu kus] [動 I 類 c 型] [とうりぬくし一、とうりぬくしゃん] 取り残す。【例】ム一ぬ とうりぬくす (芋の掘り残し)。

とうりぬ す一 [tu[nu sɿ:] [名] [とうりぬす<sup>1</sup>一まい...] 鶏の巣。鳥の巣。鳩の巣は村落内にもあった。

とうりぬ す一や一 [tu[nu sɿ:ja:] [名] [とうりぬす<sup>1</sup>一や一まい...] 散らかっている家のことをひにくって言う。粗末な家。

とうりぬ つか [tu[nu tsɿka] [名] [とうりぬつ<sup>1</sup>かまい...] 鳥塚。水納島にある。

とうりぬ つふあ [tu[nu ffa] [名] [とうりぬつ<sup>1</sup>ふあまい...] ひよこ。

とうりぬ ぱに [tu[nu pani] [名] [とうりぬぱ<sup>1</sup>にまい...] 鳥の羽。翼。鳥の羽毛。「鷺の羽を茅として」と〈あだんやぬあず〉の歌にある。

とうりぬ ふしゅ [tu[nu fuɕu] [名] [とうりぬふ<sup>1</sup>しゅまい...] 鳥のふん。肥料として重宝がられた。

とうりぬ や一 [tu[nu ja:] [名] [とうりぬや<sup>1</sup>一まい...] 鶏小屋。掘り立て小屋であった。多くの家では屋敷の周囲の木に止まらせた。

とうりぬイ [tu[nuɿ] [名] [干支] [とうりぬ<sup>1</sup>イまい...] 酉の日。【同】「とうぬイ」。

とうりぬイぬ ピ一 [tu[nuɿnu pi:] [名] [干支] [とうりぬイぬピーまい...] 酉の日。【同】「とうぬイぬピー」。

とうりぬイムまり [tu[nuɿmmari] [名] [干支] [とうりぬイムま<sup>1</sup>りまい...] 酉の日生まれ。酉の日に生まれた人。【同】「とうぬイムまり」。

とうりの一す [tu[no:sɿ] [動 I 類 c 型] [とうりの一し一、とうりの一しゃん] 取り直す。【同】「とうりなうす」。

とうりぱっじゃき [tu[paddzaki] [名] [とうりぱっじゃきまい...] 取り損ね。もう少しのところで取り逃すこと。

とうりぱっじゃきり [tu[paddzaki] [動 II 類 c 型] [とうりぱっじゃき一、とうりぱっじゃきん] 取

り損ねる。

とうりばていり [tuɾpati] [動II類a型] [とうりばていー、とうりばていん] 取り果てる。取り尽す。残らず取ってしまう。【例】ぴしむなう とうりばていんな (さざえを取り尽すな)。【類】「とうりギー」。

とうりばら [tuɾibara] [名] [とうりばらまい...、とうりば<sup>1</sup>らまい...] ぼんやり者。気のきかない者。間抜け者。【同】「とうりばれ」。

とうりばり [tuɾiba] [動I類a型] [とうりばりー、とうりばらん] ぼんやりする。【例】とうりばらんと う する (ぼんやりしないでやりなさい)。

とうりばれ [tuɾibare] [名] [とうりばれまい...、とうりば<sup>1</sup>れまい...] ぼんやり者。気のきかない者。間抜け者。【同】「とうりばら」。

とうりひき [tuɾihiki] [名] [とうりひ<sup>1</sup>きまい...] 取引。売り買い。

とうりピぐり [tuɾipigu] [名] [とうりピぐりまい...] 風のない冷え込み。冬の風の寒気。底冷え。身にしみる冷気。

とうりぴんがす [tuɾpingas] [動I類c型] [とうりぴんがしー、とうりぴんがしゃん] 取り逃す。

とうりふちき [tuɾfuciki] [名] [病] [とうりふちきまい...] 湿疹。

とうりまい [tuɾimai] [名] [とうりま<sup>1</sup>いまい...] 取り前。取り分。【例】くすかー あが とうりまい (これだけはぼくの取り前だ)。【類】「とうりー」。

とうりみー [tuɾmi:] [名] [とうりみ<sup>1</sup>ーまい...] 取り前。取り分。【類】「とうりまい」。

とうりみー [tuɾmi:] [名] [とうりみーまい...] 鳥目。夜盲症。夕方になって光線の少ないときに見えにくいこと。鳥は夜目がきかないことから言う。

とうりむつ [tuɾmuts] [動I類c型] [とうりむていー、とうりむたん] 取り持つ。もてなす。仲立ちする。世話をする。【例】じゃーう とうりむつ (座を取り持つ)。

とうりむどうす [tuɾimudus] [動I類c型] [とうりむどうしー、とうりむどうしゃん] 取り戻

す。【例】やみーた<sup>1</sup>り ぶんゆ とうりむどうす (病気していた分を取り戻す)。

とうりやま [tuɾjama] [名] [とうりやままい...] 鳥山。かつお鳥の群れること。

とうりやみ [tuɾjami] [名] [とうりやみまい...] 取り止め。中止。行事を中止すること。台風のための中止。

とうりゆしり [tuɾijuɾi] [動II類c型] [とうりゆしー、とうりゆしん] 取り寄せる。注文する。【例】すなむぬー とうりゆしり (品物を取り寄せる)。

とうりり [tuɾi] [動II類a型] [とうりー、とうりん] 凪ぐ。風がやむ。海が静かになる。【例】かてー とうりった (風は凪いだ)。

とうりんぎ [tuɾnki] [動I類c型] [とうりんきー、とうりんかん] 取り込む。洗濯物を片付ける。【例】やーんかんけー とうりんぎ (家の中へ取り込む)。

とうりんぎ [tuɾnki] [動I類c型] [とうりんきー、とうりんかん] 収穫する。家族総出で収穫する。【例】まみう とうりんぎ (豆を収穫する)。

とうりんぎ [tuɾink] [動I類c型] [とうりんきー、とうりんかん] 無風状態である。海の波は静かである。

とうりんてい [tuɾnti] [名] [干支] [とうりんていまい...] 酉年。

とうりんなす [tuɾnnas] [動I類c型] [とうりんなしー、とうりんなしゃん] 取り除ける。

どうる [duru] [名] [どうるまい...] どろ。泥。泥土。【例】どうるだり (泥まみれ)。

どうるだり [durudari] [名] [どうるだりまい...] 泥まみれ。どろんこ。泥だらけであること。泥で汚れること。

どうるだりり [durudari] [動II類a型] [どうるだりー、どうるだりん] 泥だらけである。泥で汚れる。

とうるとうる [turuuru] [擬] [とうるとうるていー...] とろとろ溶ける様。【例】とうるとうるていー とうきり (とろとろ溶ける)。

どうるどうる [duruduru] [擬] [どうるどうるていー...] 煮えたぎる様。【例】ムーぬ どうるど

うるていー にー ぶり (芋がぐつぐつ煮えたりぎっている)。

どうるばぎ [durupagi] [名] [どうるば<sup>1</sup>ぎまい...] 泥足。泥に汚れた裸足。【類】「どうるだりばぎ」。

どうるます [turumas] [動I類c型] [どうるましー、どうるましやん] 止めさせる。動いているものを止めさせる。【例】なきーりるー どうるます (泣き止ませる)。

どうるみ [turumi] [名] [魚] [どうるみまい...] よこしまたまがしら。

どうるみず [durumidzi] [名] [どうるみずまい...] 泥水。泥で汚れた水。

どうるみつ [durumitsu] [名] [どうるみつまい...] 泥道。舗装されない道に雨が降ると泥で汚れる。

どうるム [turum] [動I類a型] [どうるみー、どうるまん] 止まる。動いていたものが止まる。【例】どうるみった (止まった。動いていたものが止まった)。

どうるムた [durumta] [名] [どうるム<sup>1</sup>たまい...] 泥土。粘土。

どうるゆー [duruju:] [名] [どうるゆーまい...] 泥土に水が入って液状になること。

とうんがら [tungara] [名] [とうんが<sup>1</sup>らまい...] 友だち。ごく親しい友。ともがら。

とうんがらあぐ [tungaraagu] [名] [とうんが<sup>1</sup>らあぐまい...] 寝泊りする友。ともがら。泊り友だち。数人が同じ家に寝る習慣があった。

とうんがらやー [tungaraja:] [名] [とうんがらや<sup>1</sup>ーまい...] 寝泊りする家。気の合う友だちが寝泊りする家。親友と寝泊りする家。

どうんかんしゃーり [dunkanca:] [形] [どうんかんしゃまい...] 鈍感。感じ方の鈍い人。

とうんじー [tundzi:] [名] [とうんじ<sup>1</sup>ーまい...] 冬至。二十四節の一つ。小正月。12月22日頃。【類】「いみしやうがつ」。

とうんじーがま [tundzi:gama] [名] [とうんじーが<sup>1</sup>まい...] 冬至を小さい正月と呼ぶ。

とうんじーじゅーし [tundzi:dzu:ci] [名] [とうんじ<sup>1</sup>ーじゅーしまい...] 冬至の日食べる雑炊。

どうんじゅく [dundzuku] [名] [どうんじゅくまい...] どん底。最悪の状態。

とうんてい [tunti] [名] [干支] [とうんていまい...] 酉の年。

とうんとうる [tunturu] [名] [とうんとうるまい...] 大きな体に強面の人。

とー [to:] [助] ~とは。【例】かりとー しゅーまん (彼とはやらない)。

とー [to:] [名] [とー<sup>1</sup>んまい...] 唐。中国。【同】「たう」。

とー [to:] [感] さあ。【例】とー やらしー みーだ (さあやってみよ)。

とー [to:] [感] 終り。おしまい。【例】とー ムめどー (とー終わりだ)。とー なまどー (とー今だよ。今の通りだよ)。

どー [do:] [終] ~ぞ。~よ。~だぞ。~だよ。【例】くまどー (ここだよ)。あんなー ぶムどー (お母さんはいるよ)。かれー しんしーどー (彼は先生だぞ)。

どー [do:] [名] [ど<sup>1</sup>ーまい...] 道具。農具。勉強用具。その他全ての道具に言う。【例】つーどーゆ しゅないる (釣り道具を備えよ)。【同】「だう」。

とー ムめ [to:mme] [感] よし終りだ。終了。もうおしまい。

とーヴヴあ [to:vva] [名] [とーヴ<sup>1</sup>ヴあまい...] 台所。離れ。母屋から離れた小屋。【同】「たうヴヴあ」。

とーかー [to:ka:] [名] [とーか<sup>1</sup>ーまい...] 一人。【同】「たうかー」。

とーかーヴヴあ [to:ka:vva] [名] [とーかーヴ<sup>1</sup>ヴあまい...] 一人子。【同】「たうかーヴヴあ」。

とーかーむぬ [to:kamunu] [名] [とーかーむ<sup>1</sup>ぬまい...] 一人もの。独身。【同】「たうかーむぬ」。

とーかーゆム [to:kajum] [名] [とーかーゆ<sup>1</sup>ムまい...] 独り言。【同】「たうかーゆム」。

とーがに [to:gani] [名] [とーが<sup>1</sup>にまい...] 宮古民謡。とーがにあやぐ。いらうとーがに。宮古を代表する名歌。とーがにあやぐは座を清める意味がある。【同】「たうがに」。

とーざい [to:dzai] [感] 東西。静かにするように

声かけをする。

とーじえん [to:dʒen] [副] 当然。そうあるべきこと。あたりまえ。

とーしん [to:ʃin] [名] [とーし<sup>1</sup>んまい...] 当選。選挙に当選する。くじに当選する。

とーしんばり [to:ʃinba:] [名] [病] [とーしんば<sup>1</sup>りまい...] おたふくかぜ。【同】「とーつムばり」。

とーす [to:sʊ] [動 I 類 c 型] [とーしー、とーしゃん] 倒す。【例】きーゆ とーす (木を倒す)。とーすな (倒すな)。ていぎう とーす (敵を倒す)。【同】「たうす」。

どーず [do:dʒɪ] [形] [どー<sup>1</sup>ずまい...] 上手。手際よいこと。出来のよいこと。【同】「じゃうず」「じょーず」。

どーずしゃーり [do:dʒɪca:] [形] [どー<sup>1</sup>ず<sup>1</sup>しゃまい...] 上手。

とーだい [to:dai] [名] [とーだいまい...] 灯台。航路標識。【例】みんなずまぬ とーだい (水納島の灯台)。

とーたび [to:tabɪ] [名] [とーたびまい...] 唐旅。琉球から中国への旅。【同】「たうたび」。

とーつム [to:tsʊm] [名] [とーつ<sup>1</sup>ムまい...] 提灯。照明具。提灯を形どった凧。【同】「とーつム」。

とーつムばり [to:tsʊmba:] [名] [病] [とーつムば<sup>1</sup>りまい...] おたふくかぜ。耳下腺がはれる。子供が多く発病する。

とーてい すけ [to:ti sʏke] [副] とても満足。【例】とーてい すけ ふえーった (満腹するまで食べた)。

とーていー [to:ti:] [副] とても。【例】とーていー きつぎ (とてもきれい)。

とーていー [to:ti:] [副] 充分。満足。【例】とーていー イザだ (充分だと言え)。

とーとう [to:tu] [名] [とーとうまい...] 唐沖。神に祈りのことば。琉球と中国間の航海安全を意味する。【同】「たうとう」。

とーとうがなす [to:tuganasʏ] [名] [とーとうがな<sup>1</sup>すまい...] 神を敬う祈りのことば。【同】「たうとうがなす」。

とーとー [to:to:] [感] よしよし。それでよし。【例】とーとー ばーれ (よしよし良い子だ)。

とーとーめー [to:to:me:] [名] [とーと<sup>1</sup>ーめーまい...] 幼児語。月の愛称。

とーに [to:ni] [名] [とーにまい...] 豚の飼育器。石材や木材で作った。【同】「たうに」。

とーばた [to:bata] [名] [植] [とーばたままい...] はまあざみ。村史。

とーピ [to:pɪ] [名] [とー<sup>1</sup>ピまい...] 当日。行事の中心の日。【同】「たうピ」。

とーふ [to:fu] [名] [とー<sup>1</sup>ふまい...] 豆腐。大豆・下大豆の実を石臼でひいて煮つめ、海水を入れて凝固させる。たんぱく質が豊富。畑の肉。【同】「たうふ」。

とーふかす [to:fukasʏ] [名] [とーふか<sup>1</sup>すまい...] 豆腐粕。おから。うのはな。【同】「たうふかす」。

とーふちゃんぶる [to:futʃanpuru] [名] [とー<sup>1</sup>ふちゃんぶるまい...] 豆腐の炒めもの。【同】「たうふちゃんぶる」。

とーふなび [to:funabi] [名] [とーふな<sup>1</sup>びまい...] 豆腐を作る鍋。【同】「たうふなび」。

とーふばく [to:fubaku] [名] [とーふば<sup>1</sup>くまい...] 豆腐箱。豆腐を固める箱。【同】「たうふばく」。

とーふピギ [to:fupɪkɪ] [名] [とー<sup>1</sup>ふピギまい...] 豆腐を作る。大豆を石臼でひくこと。【同】「たうふピギ」。

とーふまみ [to:fumami] [名] [とーふま<sup>1</sup>みまい...] 豆腐豆。大豆のこと。【同】「たうふまみ」。

とーふムぶす [to:fumbusʏ] [名] [とー<sup>1</sup>ふムぶすまい...] 豆腐に野菜などを入れて炒めた料理。【同】「たうふんぶす」。

とーふやー [to:fuja:] [名] [とー<sup>1</sup>ふやーまい...] 豆腐作りの家。【同】「たうふやー」。

とーふゆー [to:fuju:] [名] [とーふゆ<sup>1</sup>ーまい...] 豆腐ができたあがった汁。【同】「たうふゆー」。

とーぶん [to:bun] [名] [とーぶ<sup>1</sup>んまい...] 当分。しばらくの間。

とーふんけー ぶギ [to:funke: fugɪ] [諺] 豆腐に釘。無駄なことのたとえ。

どーム [do:m] [擬] 破裂音。

どームどーム [do:mɔ:m] [擬] 満潮のこと。幼

兒語。

ドームみかす [do:mmikasʝ] [動 I 類 c 型] [ドームみかしー、ドームみかしゃん] 破裂音の音を立てる。

ドームみギ [do:mmikʝ] [動 I 類 c 型] [ドームみきー、ドームみかん] 破裂音の音がする。

とーむム [to:mum] [名] [植] [とーむムまい...] やまもも。在来種のもも。【同】「たうむム」。

とーむるくし [to:murukuʃi] [名] [植] [とーむるく<sup>1</sup>しまい...] とうもろこし。

ドーやぶり [do:jaburi] [名] [どーやぶ<sup>1</sup>りまい...] 牢破り。遊びの一つ。【同】「ろーやぶり」。

ドーり [do:ri] [名] [どーりまい...] 道理。【同】「だうり」。

とーりリ [to:ri] [動 II 類 c 型] [とーりー、とーりん] 倒れる。【例】きーぬ とーりリ (木が倒れる)。【同】「たうりリ」。

とーんぎ [to:ngi] [名] [植] [とーんぎまい...] こばんもち。さぼてんの仲間。有毒。するどいとげがある。白い乳状の樹液が出る。【類】「きりんかく」。

どて [dote] [名] [どてまい...] 土手。用水池の周囲を高く築いた堤。川の土手ではない。【類】「げんば」。

どムま [domma] [擬] [どムまていー...] 重い物の落ちる様。

どムまみかす [dommamikasʝ] [動 I 類 c 型] [どムまみかしー、どムまみかしゃん] 重い物などを音を立てて落とす。

どムまみギ [dommamikʝ] [動 I 類 c 型] [どムまみきー、どムまみかん] 重いものなどが音を立てて落ちる。

どんない [donnai] [副] たくさん。どんどん。【例】たむぬー どんない むていー くー (薪をどんどん持って来なさい)。【類】「ばんない」。

## — な —

な [na] [接尾]～な。名詞修飾。【例】だいでなくとう (大事なこと)。

な [na] [接尾]～どんだん。～ずっと。動詞の重複形的一种を作る。【例】いぎないぎばどう とう みらいたいり (どんだん行ったら発見できた)。

な [na] [接尾]～するな。禁止を表す。【例】かきな (書くな)。イーな (言うな)。なきな (泣くな)。

な [na] [助]～ずつ。～宛。【例】ピつとな (一つずつ)。ふた一つな (二つずつ)。

な [na] [助]～で。～に。【例】あが イーねーんな しる (私の言う通りにしなさい)。

な一 [na:] [助]～ほど。【例】あんしーな一 すな (それほどにしなくてもよい)。くすきな一 (これ程)。うすきな一 (それ程)。

な一 [na:] [名] [代] [な一まい...] 自分。他人を自分として言う。【例】な一が むぬ (自分のもの)。な一が むていうまい っさいん (自分の分をも知らない)。

な一 [na:] [名] [な一ま<sup>1</sup>い...] 菜。葉菜。野菜類。【類】「あうばじゅー」。「な一じゅー」。

な一 [na:] [名] [な一まい...] 名。名前。【例】やらびな一 (童名)。やーぬ な一 (屋号)。ピとうぬ な一 (人名)。あが な一 (私の名)。きーぬ な一 (木の名)。イズうぬ な一 (魚の名)。

な一 [na:] [名] [な一ま<sup>1</sup>い...] 縄。綱。糸。【例】つーな一 (釣り糸)。うぶな一 (浮きにつける縄)。な一ピギ (綱引き)。な一かき (綱かけ)。な一う ぱり (縄を張る)。【類】「んな一」。

な一うるす [na:urusu] [名] [な一うる<sup>1</sup>すまい...] 名前をつけること。誕生4日目に行われる命名式。祖先の名前を書いた紙をお盆に載せて振るい落として決める。戸籍の名前ではない。【類】「な一かみ」。「な一つき」。「な一ゆり」。

な一が めーめー [na:ga me:me:] [名] [な一がめ<sup>1</sup>め<sup>1</sup>まい...] 人それぞれ。各自。

な一かみ [na:kami] [名] [な一か<sup>1</sup>みまい...] 名前をつけること。【類】「な一うるす」。「な一つき」。「な一ゆり」。

な一かみよーイ [na:kamijo:] [名] [な一かみよ<sup>1</sup>イまい...] 命名の祝い。【類】「な一つきよーイ」。

な一がらす [na:garasu] [動I類a型] [な一がらしー、な一がらしゃん] 名上げさせる。名声を揚げる。よい評判にする。出世させる。【例】すまう な一がらす (島の名誉をあげる)。

な一がり [na:ga] [動I類a型] [な一がりー、な一がらん] 名上がる。名が上がる。名誉。ほこりになる。【例】な一がりった (名を揚げた)。

な一ぎ [na:gi] [名] [な一ぎまい...] 名上げ。

な一ぎり [na:gi] [動II類a型] [な一ぎー、な一ぎん] 名を上げる。有名になる。ほめる。【例】すまう な一ぎり (島の名を揚げる)。

な一じゅー [na:dzu:] [名] [な一じゅ<sup>1</sup>まい...] 白菜。菜っ葉。

な一す [na:su] [動I類c型] [な一しー、な一しゃん] 繕わせる。衣服を繕う。縄を繕わせる。【例】ギんゆ な一す (衣服を縫わせる)。

な一すたり [na:suta] [動I類c型] [な一すたりー、な一すたらん] 名前が廃れる。不名誉になる。

な一つき [na:tsuki] [名] [な一つきまい...。な一つきまい...] 名前をつけること。命名。【類】「な一うるす」。「な一かみ」。「な一ゆり」。

な一つきよーイ [na:tsukijo:] [名] [な一つきよ<sup>1</sup>イまい...] 命名の祝い。【類】「な一かみよーイ」。

な一っふい [na:ffi] [名] [な一っふいまい...。な一っ<sup>1</sup>ふいまい...] 名前をくれること。命名。【類】「な一うるす」。「な一かみ」。「な一つき」。

な一どう [na:du] [連語]～ほど。【例】あんしーな一どう うむー (それ程に思う)。あんしーな一どう ばきらいり (それ程に分けられる)。

な一なびとー [na:nabito:] [名] [な一な<sup>1</sup>びとーまい...] 片足ジャンプ。スキップ。

な一ぬ [na:nu] [連語] ~ほどの。【例】 あんしー  
な一ぬ やムゆばー にでいる (それ程の痛さ  
は耐えなさい)。あんしーな一ぬ ばきぶん (そ  
れ程の分け前)。

な一ぬ ふつ [na:nu futsɯ] [名] [な一ぬふ<sup>1</sup>つま  
い...] 縄の口。縄の先端。綱の先端。【例】 な  
一ぬ ふつう かつみる (縄の先端を持ちなさい)。

な一ぱい [na:pai] [名] [な一ぱ<sup>1</sup>いまい...] 縄延  
え。縄を延えること。漁の縄を延えること。綱  
引き。

な一まい [na:mai] [連語] それほど多く。【例】 う  
すかな一まい (それほどたくさん)。うすけな  
一まい あが むていな (そんなにたくさんば  
くの分か)。

な一まき [na:maki] [名] [な一まきまい...。な一  
ま<sup>1</sup>きまい...] 名負け。名前にそぐわないこと。

な一ゆり<sup>1</sup> [na:ju] [名] [な一ゆ<sup>1</sup>りまい...] 誕生し  
た子の命名の時、先祖の名前を書いた紙を盆に  
乗せて選ぶこと。3回ゆり落として多い方の名  
前をつける。【類】 「な一うるす」。「な一かみ」。  
「な一つき」。

な一ゆり<sup>2</sup> [na:ju] [名] [な一ゆ<sup>2</sup>りまい...] 縄撚  
り。縄緬い。太いロープを撚るのに3人がかり  
で行う。

な一ん っさがり<sup>1</sup> [na:n ssaga] [連語] 縄につか  
まる。縄にぶら下がる。【例】 ふにぬ な一ん  
っさがり (船のロープにぶら下がって遊ぶ)。

ない [nai] [名] [ないまい...] 地震。

ない [nai] [名] [ないまい...] 苗。きび苗。たばこ  
苗。苗木。【例】 まつぎ一ぬ ない (松木の苗)。

ない [nai] [名] [ないま<sup>1</sup>い...] 萎えること。し  
おれること。草木が水不足のためにしおれるこ  
と。太陽の強い光線によってしおれること。

ないがた [naigata] [名] [ないが<sup>1</sup>たまい...] 太陽  
の光線が弱くなる頃。午後のこと。太陽の光線  
がゆるむ頃。太陽が南中を過ぎた頃。

ないぎ [naigi] [動I類c型] [ないぎ一、ないが  
ん] びっこをひく。足が不自由である。【例】 ば  
ギやみ一 ないぎ一 ぶり (足のけがでびっこ  
している)。

ないぎ [naigi] [名] [ないぎまい...] 苗木。【例】  
まつぬ ないぎ (松の苗木)。

ないずぎ [naidzɯki] [名] [植] [ないず<sup>1</sup>ぎまい...]  
むらさきかたばみ。

ないっす [naissɯ] [動I類c型] [ないっしー、な  
いっしゃん] 萎えさせる。太陽の光線でおれ  
させる。【例】 うぶにう ないっす (大根を萎れ  
させる)。

ないっすむぬ [naissɯmunu] [名] [ないっすむ<sup>1</sup>ぬ  
まい...] 萎えさせたもの。太陽の光線でおれ  
させたもの。漬け物にするためにしおれさせ  
る。

ないない [nainai] [名] [ないない<sup>1</sup>まい...] 内々。  
うちわ。表向きにしない。

ないふしや [naifuɕa] [名] [ないふ<sup>1</sup>しまい...]  
萎えた草。しおれた草。

ないぶってい<sup>1</sup>り [naiputti] [動II類c型] [ない  
ぶってい一、ないぶっていん] すっかりしおれ  
る。

ないむぬ [naimunu] [名] [ないむ<sup>1</sup>ぬまい...] 萎  
えたもの。しおれたもの。

ないらす [nairasɯ] [動I類c型] [ないらしー、な  
いらしゃん] 萎えさせる。萎縮させる。【例】 て  
いだん ないらす (太陽の光線に萎れさせる)。

ないらす [nairasɯ] [動I類c型] [ないらしー、な  
いらしゃん] 捻挫する。【例】 ぱぎう ないらし  
ー (足を捻挫した)。

ないり [nai] [動II類c型] [ない一、ないん] 萎  
える。しおれる。【例】 ないがた (萎えようと  
して。しおれそうだ。萎える頃)。ないぐまた  
(萎えるべきだ)。ない一 ぶり (萎えている)。

ないり<sup>2</sup> [nai] [動I類c型] [ないり一、ないら  
ん] 捻挫する。【例】 ういびぬ ないり一 ぶり  
(指を捻挫した)。

なう [nau] [動I類c型] [ね一、な一ん] 綱う。  
縄を綱う。【例】 なうぐまた (綱うべきだ)。【同】  
「のー」。

なヴヴうらす [navvurasɯ] [動I類c型] [なヴヴ  
うらしー、なヴヴうらしゃん] 滑らせる。

なヴヴうり<sup>1</sup> [navvu] [動I類c型] [なヴヴうり  
一、なヴヴうらん] すべる。【例】 ぬり<sup>1</sup>じゅん

なヴヴうりー (ねんじゆもにすべった)。  
 なヴヴうりらーり [navvu][a:] [形] [なヴヴうり  
 ¹らまい...] 足もとがすべすべしていること。  
 ながらー [naugara:] [名] [ながらーまい...]  
 何やら。何か。  
 ながらー [naugara:] [副] たくさん。山ほど。  
 ながらむぬ [naugaramunu] [名] [な¹うがらむ  
 ぬまい...] 邪魔者。  
 なうしゃ [nauça] [名] [鳥] [なうしゃまい...] の  
 すり。【同】「のーしゃ」。  
 なうしゃ ねーん [nauça ne:n] [連語] 大したこと  
 ない。【例】なうしゃ ねーん きず (大したこと  
 ない傷)。【同】「ぬーしゃねーん」。「のー  
 しゃねーん」。【類】「ぬーっふあねーん」。  
 なうす [naus] [動I類c型] [なうしー、なうし  
 ゃん] 直す。治す。元の状態にする。【例】ゆが  
 みー ぶりるー なうし (曲がっているものを  
 直せ)。【同】「のーす」。  
 なうむぬ [naumunu] [名] [なうむ¹ぬまい...] 縫  
 い物。衣服の縫いもの。【例】あんなが なうむ  
 ぬ (母の縫い物)。【同】「ぬーむぬ」。「のーむ  
 ぬ」。  
 なうゆがみ [naujugami] [連語] それだけのご免  
 だ。【例】なうゆがみ すている (それだけは大  
 めだ、捨てる)。  
 なうらす [nauras] [動I類c型] [なうらしー、  
 なうらしゃん] 実らせる。豊作にさせる。【同】  
 「のーらす」。  
 なうり [nau] [動I類c型] [なうりー、なうら  
 ん] 実る。稔る。作物の豊作。【例】なうりった  
 (実った。稔った)。【同】「のーり」。  
 なうり [nau] [動I類c型] [なうりー、なうら  
 ん] 直る。治る。世直りの意味もある。【例】な  
 うりった (直った。治った)。【同】「のーり」。  
 なか [naka] [名] [なか¹んまい...] 中。間。仲間。  
 中心。中央。内側。内部。【例】やーなか (家  
 中)。なかピとう (仲人)。  
 ながあーム [naga:a:m] [名] [ながあー¹ムまい...]  
 長いあくび。  
 ながーなが [naga:naga] [重複] とても長いこと。  
 【例】ながーながぬ すっじゃ (とても長いさと

うきび)。  
 なかあに [nakaani] [名] [なかあ¹にまい...] 中ご  
 ろの年の女の人。中年の女性。  
 ながあみ [nagaami] [名] [ながあ¹みまい...] 長  
 雨。雨続き。梅雨時の雨。小満の頃の長雨。  
 なかーら [nakara] [副] 半分。【例】ふくるぬ な  
 かーら (袋の半分)。なかーらばた (食事の足  
 りないこと)。なかーらばきどー (半分ずつだ  
 よ)。【同】「なから」。  
 なかーらす [nakaras] [動I類c型] [なかーら  
 しー、なかーらしゃん] 分けさせる。配らせる。  
 【例】なかーらし (分けさせよ。配らせよ)。  
 なかーらむぬ [naka:ramunu] [名] [なかーらむ  
 ぬまい...] 気のきかない者。常識のない者。  
 なかーり [naka:] [動I類c型] [なかーりー、な  
 かーらん] 分ける。分配する。配る。【例】な  
 かーら (分けよう。配分しよう。配ろう)。な  
 かーり (分けよ。分配しなさい。配りなさい)。  
 ゆぬんーだかりー なかーり (同じように分け  
 てあげる)。  
 なかーりむぬ [naka:munu] [名] [なかーりむ¹ぬ  
 まい...] 分けたもの。分配したもの。配りもの。  
 分け前。取り前。もらいもの。  
 なかい [nakai] [名] [なか¹いまい...] 片足で跳  
 ぶ。片足ジャンプ。  
 なかいがま [nakaigama] [名] [なかいが¹ま  
 まい...] 片足でジャンプすること。  
 なかいがまやー [nakaigamaja:] [名] [なかいが¹  
 まやーまい...] 片足で跳びながら相手押し合  
 いする遊び。両腕を胸に組むか、両腕で押すか  
 話し合って行く。  
 ながいギ [nagaik] [名] [ながい¹ギまい...] 長息。  
 息を止めて長いこといられること。潜水の時に  
 言う。  
 ながいき [nagaiki] [名] [ながいきまい...] 長生  
 き。長命。長寿。【類】「ながぬつ」。  
 ながいギむぬ [nagaikmunu] [名] [ながい¹ギむ  
 ぬまい...] 長息者。海に長いこと潜っていら  
 れる人。  
 なかいだ [nakaida] [名] [なかい¹だまい...] 中ご  
 ろの年の男の人。中年の男性。

ながいふ [nagaifu] [副] 長いこと。久しく。長らく。【例】ながいふ みーらいん (長いこと会えない)。

なかいり [nakairi] [名] [なかい<sup>1</sup>りまい...] スツウブナカの海人が一時座に戻り休むこと。みずのえたつ (壬辰) の日とされる。

なかう とうり [nakau tu] [連語] 仲を取り持つ。仲裁。【例】ふたーりが なかう とうり (二人の仲裁をする)。

なかういび [nakauibi] [名] [な<sup>1</sup>かういびまい...] 中指。【同】「たかましゃれ」。【類】「たかましゃれ」。

ながういび [nagauibi] [名] [ながうい<sup>1</sup>びまい...] 長い指。指の長いこと。

ながうっすう [nagaussu] [名] [ながうっ<sup>1</sup>すうまい...] 長い後頭部。後頭部のとがった人。

ながえーぐ [nagae:gu] [名] [ながえー<sup>1</sup>ぐまい...] 長い歌。古謡。神歌。〈にり〉。〈あまぐいぬにり〉。〈あがりんけ一ぬにり〉。〈かでいかりぬにり〉。村史参照。

ながぐー [nagagu:] [名] [ながぐーまい...] 長い瀬。

なかくび [nakakubi] [名] [なかく<sup>1</sup>びまい...] 中の壁。一番座と二番座の仕切り。

なかぐる [nakaguru] [名] [なかぐる<sup>1</sup>んまい...] 中頃。中程。中間。半ば。

ながぐる [nagaguru] [名] [ながぐ<sup>1</sup>るまい...] 長い鉾。深海に潜って魚を突く鉾。

なかさる [nakasaru] [名] [な<sup>1</sup>かさるん<sup>1</sup>まい...] 仲申。宮良区のこと。

ながしがー [nagaçiga:] [名] [ながしがーんまい...] 宮良部落にある洞穴。泉。スツウブナカの祭場。世直し井戸といわれる。【類】「ゆなうがー」。

ながじばん [nagadziban] [名] [ながじば<sup>1</sup>んまい...] 長じゅばん。和服の肌着。

ながしゃ [nagaça] [名] [なが<sup>1</sup>しゃまい...] 長さ。【例】ながしゃめー (長さ比べ)。

ながじゃー [nagadzã:] [名] [ながじゃ<sup>1</sup>ーまい...] 長座。長居。

ながしゃーり [nagaça:ri] [形] [なが<sup>1</sup>しゃまい...] 長い。永い。物が長い。時間が長い。【例】ながやム (長い病気)。あていどう ながしゃーり (あまり長すぎる)。

ながしゃいり [nagaçai:] [動 II 類 c 型] [ながしゃいー、ながしゃいん] 流される。潮流に流される。【例】かだーがみ ながしゃいり (遠くまで流される)。【同】「ながしゃりり」。

ながしゃぎ [nagaçak:] [名] [地] [ながしゃ<sup>1</sup>ぎまい...] 多良間島の〈とうぶり〉の名前。村史参照。

ながしゃめー [nagaçame:] [名] [なが<sup>1</sup>しゃめーまい...] 長さ比べ。【例】すっじゃぬ ながしゃめー (さとうきびの長さ比べ)。

なかしゃら [nakaçara] [名] [地] [なかしゃ<sup>1</sup>らまい...] 多良間島の〈とうぶり〉の名前。村史参照。

なかしゃらがー [nakaçaraga:] [名] [井戸] [なかしゃらが<sup>1</sup>ーまい...] 井戸の名。人工井戸。

ながしゃりり [nagaçari:] [動 II 類 c 型] [ながしゃりー、ながしゃりん] 流される。【例】かだーがみ ながしゃりり (遠くまで流される)。【同】「ながしゃいり」。

ながじゅー [nagadzũ:] [名] [ながじゅ<sup>1</sup>ーまい...] 長尾。長いしっぽ。

ながしゅでい [nagaçudi] [名] [ながしゅ<sup>1</sup>でいまい...] 長袖。和服の長い袖。

なかじゅに [nakadzuni] [名] [なかじゅ<sup>1</sup>にまい...] 仲宗根。組おどりの仲宗根豊見親のこと。

なかす [nakas:] [動 I 類 a 型] [なかしー、なかしゃん] 泣かす。子供を鳴かす。【例】たたきーなかす (叩いて泣かす)。【同】「なけーす」。

なかす [nakas:] [動 I 類 a 型] [なかしー、なかしゃん] 鳴かす。えさのない山羊を鳴かす。【例】とうりる なかす (鳥を鳴かす)。【類】「ばんかす」。

ながす [nagas:] [動 I 類 c 型] [ながしー、ながしゃん] 流す。水を流す。海に流す。うわさを流す。島流しをする。

なかずー [nakadzũ:] [名] [なかず<sup>1</sup>ーまい...] 中間の土地。【類】「なかずー」。

なかすず [nakas:dzũ:] [名] [なかすずまい...] 仲

筋。多良間村字仲筋のこと。

ながずぶん [nagadzɯbun] [名] [ながずぶ<sup>1</sup>んまい...] 長ズボン。中学生になると男生徒は長ズボンを着る。

なかずる [nakadzɯru] [名] [なかず<sup>1</sup>るまい...] 中弦。三味線の中の弦。

なかだ [nakada] [名] [なかだまい...] 台所。炊事場。母屋の離れ。物置も兼ねる。

ながた [nagata] [名] [ながたまい...] 翌日。次の日。【例】うんぬ ながた（その日の翌日）。ながたがみ かかりー（翌日までかかった）。

なかたがい [nakatagai] [名] [なかたがい<sup>1</sup>う...] 仲違い。不和。仲が悪くなる。対立する。【例】とうなりでーん なかたがい すー（隣同士対立する）。

ながたしえーか [nagataɕe:ka] [名] [ながたしえーかんまい...] 翌日の明け方。

ながたすとうむてい [nagatasɯtumuti] [名] [ながたすとうむていまい...] 翌日の朝。明朝。次の日の朝。【例】ながたすとうむていがみ びーふしゃりーたり（翌朝まで酔っていた）。

ながたピーま [nagatapɯma] [名] [ながたピーまんまい...] 翌日の午後。

ながたゆしゃらび [nagatajuɕarabi] [名] [ながたゆしゃらびんまい...] 翌日の夕方。

ながたゆねーん [nagatajune:n] [名] [ながたゆねーんまい...] 翌日の夜。翌日の夕方。

ながたよーい [nagatajo:ɯ] [名] [ながたよーいまい...] 祝いの翌日の関係者の慰労会。

なかだるム [nakadarum] [名] [なかだる<sup>1</sup>ムまい...] 中だるみ。中ゆるみ。途中で一字緊張がゆるむこと。

ながちび [nagatɕibi] [名] [ながち<sup>1</sup>びまい...] 長尻。長座。長居。他人の家に長く座り続けて帰ろうとしないこと。【類】「ながびー」。

ながつずギ [nagatsɯdzɯkɯ] [名] [ながつず<sup>1</sup>ギまい...] 長続き。日照りが長く続くこと。雨が長く続くこと。長く連なっていること。長く繋がっていること。

ながてい [nagati] [名] [ながていまい...] いかの長い手。触手。

ながてい [nagati] [名] [ながていまい...] 長い手。盗むこと。どろぼう。盗みぐせ。

ながていーむぬ [nagati:munu] [名] [ながてい<sup>1</sup>ーむぬまい...] 盗みぐせのある者。どろぼう。

なかとうぶり [nakatuburi] [名] [地] [なかとうぶ<sup>1</sup>りまい...] 水納島の〈とうぶり〉の名前。村史参照。

なかとうまり [nakatuma] [名] [地] [なかとうま<sup>1</sup>りまい...] 多良間島の〈とうぶり〉の名前。村史参照。

なかとうり [nakatu] [名] [な<sup>1</sup>かとうり<sup>1</sup>まい...] 仲取り。仲を取り持つ。仲裁。【例】ムーながなかとうりべー（皆の仲を取り持つ役）。

なかとら [nakatora] [名] [な<sup>1</sup>かとらん<sup>1</sup>まい...] 仲寅。天川区のこと。

なかなうり [nakanau] [名] [なかなう<sup>1</sup>りまい...] 仲直り。和解。仲たがいしていた者同士が和解すること。【同】「なかのーり」。

ながに [nagani] [名] [ながにまい...] 背中。動物の背中の肉のこと。【例】わーぬ ながに（豚の背中の肉）。

ながぬつ [naganutsɯ] [名] [ながぬつまい...。ながぬ<sup>1</sup>つまい...] 長命。長寿。長生き。【例】ながぬつぬ あやか<sup>1</sup>り（長命の肖り）。【類】「ながいき」。

ながぬつむぬ [naganutsɯmunu] [名] [ながぬつむ<sup>1</sup>ぬまい...] 長命者。長生き者。長寿者。うわさをしている所にその本人が来ると、その人に対して〈ながぬつむぬ〉という。

ながぬどう [naganudu] [名] [ながぬ<sup>1</sup>どうまい...] 長いのだ。野鳥の長いのだ。首の長い人にも言う。

なかねー [nakane:] [名] [な<sup>1</sup>かねーん<sup>1</sup>まい...] 仲子。土原区のこと。

なかば [nakaba] [名] [なかばまい...] 半ば。中途。中間。中ほど。【例】すぐとー なまどうなかば（仕事は今中間だ）。

ながばー [nagapa:] [名] [ながば<sup>1</sup>ーまい...] 長い歯。出っ歯。【類】「しゅりばー」。

ながばい [nagabai] [名] [ながば<sup>1</sup>いまい...] 長延え。車の荷物を締める長い縄のこと。牛や馬の

- 手綱につぎ足す綱のこと。
- ながばギ [nagapagi] [名] [ながば<sup>1</sup>ギまい...] 長い脚。野鳥の長い脚。人にも言う。
- なかばすー [nakabasɯ:] [名] [なかばす<sup>1</sup>ーまい...] 中の戸。中の襖。
- ながばた [nagabata] [名] [ながば<sup>1</sup>たまい...] 小腸。胃と大腸の間にある消化器官。【類】「まがれ」。
- ながばなす [nagabanasɯ] [名] [ながばな<sup>1</sup>すまい...] 長話。【例】かれー ながばなすうどう すー (彼は長話をする)。
- ながばに [nagabani] [名] [鳥] [ながばにまい...] こあじさし。海鳥の仲間。
- ながばま [nagabama] [名] [地] [ながばままい...] 多良間島の〈とうぶり〉の名前。村史参照。
- ながばり [nagapari] [名] [ながば<sup>1</sup>りまい...] 長い針。時計の長針。
- ながばるがー [nagabaruga:] [名] [井戸] [ながばるが<sup>1</sup>ーまい...] 井戸の名。人工井戸。
- なかビ [nakabi] [名] [なかビまい...] 中日。八月おどりの中の日。
- ながびー [nagabi:] [名] [ながび<sup>1</sup>ーまい...] 長居。長座。【類】「ながちび」。
- ながビカす [nagabikasɯ] [動I類c型] [ながビカしー、ながビカしゅん] 長びかせる。時間が過ぎる。【例】やムゆ ながビカしー (病気を長引かせた)。
- ながビギ [nagabiki] [動I類c型] [ながビきー、ながビかん] 長びく。長いことになる。【例】こーじぬ ながビギ (工事が長引く)。
- ながビだ [nagapida] [名] [ながビ<sup>1</sup>だまい...] 長い浜辺。長い渚。
- なかビとう [nakabitu] [名] [なかビとうまい...、なかビ<sup>1</sup>とうまい...] 仲人。媒介人。媒酌人。
- ながびむ [nagapimu] [名] [ながび<sup>1</sup>むまい...] 早魃。長期間にわたる早魃。
- ながぶい [nagabui] [名] [ながぶいまい...] 長吠え。犬の長吠え。犬が声を長くひいて吠えること。犬の遠吠え。
- ながふたい [nagafutai] [名] [ながふた<sup>1</sup>いまい...] 長い額。額の突き出ていること。
- ながふちや [nagafutɕa] [名] [ながふ<sup>1</sup>ちやまい...] つるはし。土木工事の道具。
- ながふつ [nagafutsɯ] [名] [ながふ<sup>1</sup>つまい...] 長い口。野鳥の長いくちばし。尖った口。
- ながふつどうり [nagafutsɯdu:] [名] [ながふ<sup>1</sup>つどうりまい...] 長いくちばしの鳥。
- なかぶに [nakabuni] [名] [なかぶ<sup>1</sup>にまい...] 中骨。椎骨。脊椎動物の背柱。家庭の中心の人物。大黒柱。【例】やーぬ なかぶに (家の大黒柱)。
- ながぶに [nagabuni] [名] [ながぶにまい...、ながぶ<sup>1</sup>にまい...] 長身もの。身長の高い人。
- ながぶみギ [nagabumiki] [名] [ながぶみ<sup>1</sup>ギまい...] 長い暑さ。暖かい日の続くこと。夏の長い蒸し暑さのこと。
- なかペーがー [nakape:ga:] [名] [井戸] [な<sup>1</sup>かペー<sup>1</sup>がーまい...] 井戸の名。人工井戸。
- ながペーり [nagape:ri] [名] [ながペー<sup>1</sup>りまい...] 長い日照。早ばつ。
- なかミ [nakami] [名] [なか<sup>1</sup>ミまい...] 動物の内臓。内臓の料理。
- なかみ [nakami] [名] [なか<sup>1</sup>みまい...] 中身。中味。内容。包みの中身。
- ながみ [nagami] [名] [ながみま<sup>1</sup>い...] 眺め。【例】きつぎながみ (きれいな眺め)。
- なかミずる [nakamidzɯru] [名] [なか<sup>1</sup>ミずるまい...] 内臓のおつゆ。
- ながみつーげ [nagamitsɯge] [名] [ながみつー<sup>1</sup>げまい...] 長いまつげ。
- ながみばな [nagamipana] [名] [ながみば<sup>1</sup>なまい...] 長面。面長の人。長い顔の人。馬面。
- ながみム [nagamimu] [名] [ながみ<sup>1</sup>ムまい...] 長い耳。聞こえの悪くなった耳。その人。
- ながみり [nagami:] [動II類c型] [ながみー、ながみん] 眺める。【例】ながみーてーな (眺めてばかり)。ながみぶっしやぬ (眺めていたい)。ぶすう ながみり (星を眺める)。
- ながみり [nagami:] [動II類c型] [ながみー、ながみん] 長めにする。長めに切る。【例】ムめび ながみる (もっと長くしなさい)。
- ながむつ [nagamutsɯ] [名] [ながむつまい...] 長持ち。保存食の長持ち。【例】ムしゅん つきり

ばどう ながむつ すー (味噌漬けの方が長持ちする)。  
 ながムにやま [nagamnijama] [名] [ながム<sup>1</sup>にやままい...] 長嶺山。多良間の西側にある嶺。  
 ながむぬ [nagamunu] [名] [ながむ<sup>1</sup>ぬまい...] 長い物。縄、糸、紐、綱などに言う。蛇。  
 ながムばす [nagambasu] [動I類c型] [ながムばしー、ながムばしゃん] 長く延ばす。横に寝かせる。  
 ながムビ [nagambi] [動I類c型] [ながムびー、ながムばん] 長く延びる。横に寝る。横に伏す。【例】ながムびー ゆくい (横になって休みなさい)。  
 なかムま [nakamma] [名] [な<sup>1</sup>かムまん<sup>1</sup>まい...] 仲午。津川区のこと。  
 なかむらじっさく [nakamuradzissaku] [名] [なかむ<sup>1</sup>らじっさくまい...] 中村十作。人頭税廃止運動の中心人物。新潟県出身。  
 なかむ<sup>1</sup> [nakamu] [名] [なかむ<sup>1</sup>まい...] 1合 1合のこと。1合は1升の10分の1。  
 なかやーばし [nakaja:baçi] [名] [なかや<sup>1</sup>ーばしまい...] 母屋と台所の間。台所は別に離れていた。  
 なかやかにむり [nakajakanimuri] [名] [なかやかにむりまい...] 仲屋金盛豊見親のこと。  
 ながやき [nagajaki] [名] [ながやきまい...] 夕焼けが長い時間続くこと。台風の前兆。  
 なかやみ [nakajami] [名] [なかや<sup>1</sup>みまい...] 中止め。中途。遊びを途中で退けること。学業を途中で止めること。学校を卒業しないこと。仕事を途中で止める。  
 ながやム [nagajam] [名] [ながやムまい...] 長痛。長患い。長期療養。長い養生。  
 ながやムむぬ [nagajammunu] [名] [ながやムむ<sup>1</sup>ぬまい...] 長期療養の人。  
 ながゆ [nagaju] [名] [魚] [ながゆまい...] ぼら。  
 なかゆくー [nakajuku:] [名] [なかゆく<sup>1</sup>ーまい...] 中休み。10時休み。3時休み。  
 なから [nakara] [名] [なからまい...] 半。半分。容器の半分の量。【例】なからむぬ (容器に少しのものが入っていること)。【同】「なかーら」。

ながらす [nagaras] [動I類c型] [ながらしー、ながらしゃん] 流す。【類】「ながす」。  
 なからばた [nakarabata] [名] [なからば<sup>1</sup>たまい...] 腹半分。食事の足りないこと。  
 なからむぬ [nakaramunu] [名] [なからむ<sup>1</sup>ぬまい...] 半分者。知恵の足りない者。度量のない者。  
 ながり [nagari] [名] [なが<sup>1</sup>りまい...。ながりま<sup>1</sup>い...] 流れ。時代の流れ。流行。  
 ながりあみ [nagariami] [名] [ながりあ<sup>1</sup>みまい...] 流れ雨。通り雨。にわか雨。スコール。  
 ながりがー [nagariga:] [名] [ながりがーまい...。ながりが<sup>1</sup>ーまい...] 流れ川。河川。水の流れている川。大雨のときに道路が川のように水が流れることも言う。  
 ながりぶす [nagaribus] [名] [ながりぶ<sup>1</sup>すまい...] 流れ星。流星。  
 ながりみず [nagarimidz] [名] [ながりみ<sup>1</sup>ずまい...] 流れ水。  
 ながりむぬ [nagarimunu] [名] [ながりむぬまい...] 流れ者。放浪者。  
 ながりむぬ [nagarimunu] [名] [ながりむぬまい...。ながりむ<sup>1</sup>ぬまい...] 流れ物。漂流物。浜に打ち上げられているもの。【類】「ゆ<sup>1</sup>むぬ」。  
 ながり<sup>1</sup> [nagari] [動II類c型] [ながりー、ながりん] 流れる。水が流れる。電気が流れる。流産する。駄目になる。漂流する。  
 なギ [nak] [動I類a型] [なきー、なかん] 泣く。【例】なギな (泣くな)。なギばかー<sup>1</sup> (泣くくらい)。なギばかー<sup>1</sup> やみー ぶ<sup>1</sup> (泣くくらい痛い)。なきー くらす (泣いて暮らす)。  
 なギ [nak] [動I類a型] [なきー、なかん] 鳴く。啼く。【例】とう<sup>1</sup>ぬ なギ (鳥が鳴く)。  
 なギ [nagi] [動I類c型] [なぎー、ながん] 薙ぐ。木薙。草木を鎌やおので切り倒す。【例】きー なギ (木を薙ぎ倒す)。すっ<sup>1</sup>なギ (きび倒し。きび刈り)。なぎー かい<sup>1</sup>らす (薙ぎ倒す)。なギな (薙ぐな。木を切るな)。  
 なギ [nagi] [動I類c型] [なぎー、ながん] なぐる。たたく。【例】なぎー かい<sup>1</sup>らす (なぐり倒す)。なギな (なぐるな。たたくな)。

なギ [nagi] [動I類c型] [なぎー、ながん] 風ぐ。風が弱くなる。海が静かになる。【例】あ  
たー なぎぐまた (明日は風になるだろう)。  
なぎ [nagi] [名] ~辺り。~地方。【例】くまなぎ  
(こころ辺)。ばいなぎ (南の地方)。いだなぎ  
(どこら辺)。  
なぎ [nagi] [名] ~頃。~時分。【例】あたなぎ (明  
日頃)。  
なぎ [nagi] [名] [な<sup>1</sup>ぎまい...] 長さ。【例】ゆぬ  
なぎ (同じ長さ)。すまとうなぎ (島のある限  
り)。  
なぎ [nagi] [名] [なぎま<sup>1</sup>い...] 風。静か。おだ  
やかな天気。波のおだやかなこと。  
なギヴヴあ [nakjvva] [名] [なギヴヴあまい...]  
よく泣く子。【例】なギヴヴあー つーうどう  
ふー (泣く子はおっぱいがもらえる)。  
なぎぐい [nakjgui] [名] [なぎぐいまい...] 泣き  
声。【例】やらびぬ なぎぐい (子供の泣き声)。  
なぎぐい [nakjgui] [名] [なぎぐいまい...] 鳴き  
声。啼き声。【例】にかぬ なぎぐい (猫の啼き  
声)。ぱとうぬ なぎぐい (鳩の鳴き声)。  
なギじゅり [nagjdzu] [動I類c型] [なギじゅ  
りー、なギじゅらん] 薙ぎ切る。鎌で草を刈り  
払う。  
なギたうす [nagjtaus] [動I類c型] [なギたう  
しー、なギたうしゃん] 薙ぎ倒す。【例】きー  
ゆ なギたうす (木をなぎ倒す)。【同】「なギと  
ーす」。  
なギだら [nakjdara] [名] [なぎだらまい...] 泣き  
虫。【同】「なギだれ」。  
なギだり [nakjda] [名] [なぎだりまい...] 泣き  
虫であること。  
なギだれ [nakjdare] [名] [なぎだれまい...] 泣き  
虫。【同】「なギだら」。  
なギっちゃ [nakjtca] [名] [なぎっちゃまい...]  
泣き虫。乳児のよく泣くこと。乳児の泣くのは  
健康の証拠だと言われる。  
なギとうまり [nakjtuma] [動I類a型] [なギと  
うまりー、なギとうまらん] 泣き止む。【例】つ  
ーゆ ふーばどう なギとうまり (おっぱいを  
食べると泣き止む)。【類】「なギとうるム」。

なギとうるム [nakjturum] [動I類a型] [なギ  
とうるみー、なギとうるまん] 泣き止む。【類】  
「なギとうまり」。  
なぎな [nagina] [接尾] ~ながら。~つつ。【例】ふ  
ーなぎな (食べながら)。  
なギなた [naginata] [名] [なギなたまい...] 長刀。  
なギなた。八月おどりのはるぐに兄弟の長刀。  
なギななギ [nakjanakj] [連語] 泣きに泣く。泣  
いてばかりいる。泣き止まないこと。  
なギばかーり [nakjbaka:] [名] [なギばかーりま  
い...]。なギばかーりまい... 泣き別れ。惜別。  
棧橋で見送る人の涙が見られた。  
なギばるー [nakjbaru:] [名] [なギばるーまい...  
なギばる<sup>1</sup>まい...] 泣き笑い。泣きながら笑う  
こと。心で泣いて顔で笑う。  
なギふし [nakjfuçi] [名] [なギふしまい...。なギ  
ふ<sup>1</sup>しまい...] 泣くくせ。泣きぐせ。【例】なギ  
ふしう つきんな (泣きぐせをつけるな)。  
なギふしゆ [nakjfuçu] [名] [なギふしゆまい...]  
泣き虫。  
なギぶり [nagjbu] [動I類c型] [なギぶりー、な  
ギぶらん] 殴る。薙ぎ折るか。木を薙ぎ折る。  
なギまいび [nakjmaibi] [名] [なギまいびまい...]  
泣きまね。乳児がだだをこねること。乳児が涙  
のない泣き方をすること。  
なギみばな [nakjmipana] [名] [なギみばなまい...  
なギみば<sup>1</sup>なまい...] 泣き顔。泣いている顔つ  
き。  
なギむぬイー [nakjmunu:] [名] [なギむぬイーま  
い...。なギむぬイーまい...] 泣きながら言うこ  
と。泣くような言い方。【類】「なギむぬゆム」。  
なギむぬゆム [nakjmunujum] [名] [なギむぬゆ  
ムまい...。なギむぬゆ<sup>1</sup>ムまい...] 泣きながらお  
しゃべりすること。【類】「なギむぬイー」。  
なギゆム [nakjjum] [名] [なギゆムまい...] 泣き  
言。自分の悲しみをくどくど訴える言葉。  
なぎり [nagi] [動II類c型] [なぎー、なぎん]  
風ぐ。  
なぎんぎ [nagjnki] [動I類c型] [なぎんきー、  
なぎんかん] 強くたたく。草木を薙ぐ。〈なギ〉  
(薙ぐ)の強調語。【例】なぎんぎな (たたくな・

- 難くな)。
- なぎんなぎ [nakɪnnakɪ] [連語] 泣くに泣く。泣き止まないこと。臉が腫れるまで泣くこと。
- なぐ [nagu] [名] [なぐまい...] 名子。いやしい人。今は死語。
- なぐい [nagui] [名] [なぐ<sup>1</sup>いまい...] 波のうねり。余波。台風前後の波のうねり。【例】きゅーや うぶなぐい (今日は大きなうねりだ)。
- なぐかでい [nagukadi] [名] [なぐか<sup>1</sup>でいまい...] 和風。無風状態。和やかな風。そよ風。「まみがばな」の一節に「なぐかじぬ なゆらしば」とある。
- なぐしゃみり [naguçami] [動II類c型] [なぐしゃみー、なぐしゃみん] 慰める。いたわる。【例】なぐしゃみー うていつかす (なぐさめて落ちつかせる)。
- なぐらし [naguraci] [名] [なぐら<sup>1</sup>しまい...] 浜辺にある珊瑚のかげら。【同】「なぐるし」。
- なぐらちゃーぎー [naguratça:gi] [名] [なぐらちゃーぎーまい...] せんだんぐさ。村史参照。
- なぐり [naguri] [名] [なぐりまい...] 名残り。余韻。余情。余波。面影。【例】かながいぬ なぐり (昔の名残り)。
- なぐるし [naguruçi] [名] [なぐる<sup>1</sup>しまい...] 浜辺にある珊瑚のかげら。【同】「なぐらし」。
- なけーす [nake:sɟ] [動I類a型] [なけーしー、なけーしゃん] 泣かす。泣かせる。【例】つんぎすいー なけーす (ひねって泣かせる)。【類】「なかす」。
- なしゃき [naçaki] [名] [なしゃ<sup>1</sup>きまい...] 情。情愛。同情。思いやり。人情。親切心。【類】「にんじょー」。
- なしゃす [naçasɟ] [動I類c型] [なしゃしー、なしゃしゃん] 産ます。産ませる。【例】くがうなしゃす (卵を産ませる)。
- なしゃすま [naçasɟmma] [名] [なしゃすま<sup>1</sup>まい...] 産ませる婆。産婆。子を取りあげる人。【類】「なすみま」。
- なす [nasɟ] [動I類c型] [なしー、なしゃん] 産す。産む。生む。お産をする。【例】つふあうなす (子を産む)。
- なす [nasɟ] [動I類c型] [なしー、なしゃん] 成す。為す。成就する。成功する。
- なすあがり [nasɟaga] [動I類c型] [なすあがりー、なすあがらん] 産みあがる。産み終える。妊娠しなくなる。
- なすあんな [nasɟanna] [名] [なすあんな<sup>1</sup>まい...] 実母。産みの母。
- なすヴヴァあ [nasɟvva] [名] [なすヴ<sup>1</sup>ヴァあまい...] 産児。産んだ児。実子。
- なすうや [nasɟuja] [名] [なすう<sup>1</sup>やまい...] 両親。生みの親。
- なすがーしゃ [nasɟga:ça] [名] [なすがー<sup>1</sup>しゃまい...] 産む苦しみ。お産の苦しみ。
- なすがた [nasɟgata] [名] [なすが<sup>1</sup>たまい...] お産の近いこと。家畜にも言う。
- なすがりー [nasɟgari:] [名] [なすがり<sup>1</sup>まい...] 成す嘉例。子宝。多産。
- なずき [nadzɟki] [名] [なずきまい...] かこつけ。転嫁。口実。
- なすギー [nasɟki:] [動I類c型] [なすぎすいー、なすぎさん] 産み終える。
- なすギしゃ [nasɟkɟça] [名] [なすギ<sup>1</sup>しゃまい...] 末っ子。【同】「なすつちゃ」。【類】「うとうが」。
- なずきり [nadzɟki] [動II類a型] [なずきー、なずきん] かこつける。転嫁する。口実する。【例】ばたやムー なずきー ゆくー (腹痛にかこつけて休む)。あみん なずきり (雨にかこつける)。
- なすずギ [nasɟdzɟki] [名] [なすず<sup>1</sup>ギまい...] 産み月。臨月。【例】たたずギぬどう なすずギ (来月が臨月だ)。
- なすつちゃ [nasɟttça] [名] [なすつ<sup>1</sup>ちゃまい...] 末っ子。【同】「なすギしゃ」。【類】「うとうが」。
- なすつふあ [nasɟffa] [名] [なすつ<sup>1</sup>ふあまい...] 産児。実子。【類】「なすむぬつふあ」。
- なすどーず [nasɟdo:dzɟ] [形] [なすどー<sup>1</sup>ずまい...] 産み上手。賢い母に言う。健康な子を産んだ母を賞賛することば。
- なすばた [nasɟbata] [名] [なすば<sup>1</sup>たまい...] 産腹。臨月の腹。
- なすび [nasɟbi] [名] [植] [なす<sup>1</sup>びまい...] 茄子。

なすピすうがり<sup>ろ</sup> [nasɥpsuga] [動 I 類 c 型] [なすピすうがり一、なすピすうがらん] 産み増える。産み広がる。子孫繁栄。末広がる。

なすピすうぎ<sup>り</sup> [nasɥpsugi] [動 II 類 c 型] [なすピすうぎ一、なすピすうぎん] 産み増やす。産み広げる。子孫を広げる。

なすみま [nasɥmima] [名] [なすみ<sup>ム</sup>まい...] 産ませる婆。産婆。子を取りあげる人。【類】「なしやすま」。

なすみ<sup>り</sup> [nasɥmi] [動 II 類 c 型] [なすみ一、なすみん] 産ませる。

なすむぬぬ つふあ [nasɥmununu ffa] [名] [なすむぬぬ<sup>つ</sup>ふあまい...] 産児。実子。愛児。育てた子。

なすま [nasɥmma] [名] [なす<sup>ム</sup>まい...] 産んだ母。実母。【類】「なすあんな」。

なた [nata] [名] [なたま<sup>い</sup>...] 山籬。草木を切り倒す道具。【類】「やまなギ」。

なだ [nada] [名] [なだま<sup>い</sup>...] 涙。泪。【例】なだぬ うてい<sup>り</sup> (涙が出る)。なだうぬぐー (涙を拭く)。【類】「みーぬなだ」。

なだうとうす [nadautusɥ] [名] [なだうとう<sup>す</sup>まい...] 涙を落とす。泣くこと。涙が出ること。

なだかー [nadaka:] [名] [な<sup>だ</sup>かー<sup>まい</sup>...] 同じ高さ。【同】「なだけー」。

なだギ [nadakɥ] [名] [なだ<sup>ギ</sup>まい...] はいきび。

なだけー [nadake:] [名] [な<sup>だ</sup>けー<sup>まい</sup>...] 同じ高さ。【例】なだけーどうあり (同じ高さあるよ)。【同】「だなかー」。【類】「ゆぬなだけー」。

なだじゅーしゃー<sup>り</sup> [nadadzɥ:ɕa:] [形] [なだじゅー<sup>しゃ</sup>まい...] 涙をこらえること。泣かないこと。

なたにあヴ<sup>ヴ</sup>あ [nataniavva] [名] [なたにあヴ<sup>ヴ</sup>あまい...] 菜種油。【類】「なたにゆー」。

なたにゆー [nataniju:] [名] [なたにゆー<sup>まい</sup>...] 菜種油。【類】「なたにあヴ<sup>ヴ</sup>あ」。

なだみ<sup>り</sup> [nadami] [動 II 類 c 型] [なだみ一、なだみん] なだめる。機嫌を取る。【例】かぬやらびうなだみる (あの子の機嫌を取りなさい)。【類】「すかす」。

なだよーしゃー<sup>り</sup> [nadajo:ɕa:] [形] [なだよー<sup>しゃ</sup>

まい...] 涙弱い。涙もろい。泣きやすい。なだよーむぬ [nadajo:munu] [名] [なだよー<sup>むぬ</sup>まい...] 涙弱い者。涙もろい者。泣きやすい人。

なだら [nadara] [名] [なだらまい...] 平。平坦。【例】なだら<sup>ず</sup> (平坦な土地、畑)。

なだらかしゃー<sup>り</sup> [nadarakaɕa:] [形] [なだらか<sup>しゃ</sup>まい...] 平たい。平坦である。

なだらかぬむぬ [nadarakanu munu] [名] [なだらか<sup>ぬむぬ</sup>まい...] 平坦なもの。平坦な土地。

なだらギ [nadarakɥ] [動 I 類 a 型] [なだらき一、なだらかん] 平坦になる。

なだらき<sup>り</sup> [nadaraki] [動 II 類 a 型] [なだらき一、なだらきん] 平坦にする。均す。【例】<sup>ず</sup>うなだらき<sup>り</sup> (畑を平坦にする)。【類】「とうなみ<sup>り</sup>」。

なだら<sup>ず</sup>ー [nadaradzɥ:] [名] [なだら<sup>ず</sup>ーまい...] 平坦地。平地。平坦な畑。

なだらみつ [nadaramitsɥ] [名] [なだらみつ<sup>まい</sup>...] 平坦な道。でこぼこのない道。轍(わだち)のない道。

なちやー<sup>ら</sup> [natɕa:ra] [名] [海草] [なちやー<sup>ら</sup>まい...] かいじんそう (海人草)。虫下し用に使用。

なつ [natsɥ] [名] [なつまい...] 夏。四季の一つ。一年中でもっとも暑い季節。

なつうい [natsɥui] [名] [なつう<sup>い</sup>まい...] 夏植え。夏の季節に植える作物。【例】すっじゃぬなつうい (さとうきびの夏植え)。

なつかしゃー<sup>り</sup> [natsɥkaɕa:] [形] [なつか<sup>しゃ</sup>まい...] 懐かしい。【例】どーそーかいやなつかすむぬ (同窓会は懐かしい)。

なつかでい [natsɥkadi] [名] [なつかでい<sup>まい</sup>...] 夏の風。南風が多く吹く。

なつかでい [natsɥkadi] [名] [なつかでい<sup>まい</sup>...] 夏風邪。夏の流行風邪。夏にひく風邪。

なつがま [natsɥgama] [名] [なつが<sup>ま</sup>まい...] 旧暦の10月の温かい日和。

なつがり [natsɥgari] [名] [なつがり<sup>まい</sup>...] 夏枯れ。夏の雨の少ない時期に作物が枯れる。

なつギ [natsɥkɥ] [動 I 類 c 型] [なつき一、なつか

ん) 懐く。子どもが懐く。なじむ。馴れる。【例】  
 にかぬ なつギ (猫がなつく)。  
 なつぎ [natsɟi] [名] [なつぎまい...] 夏着。夏の  
 衣服。  
 なつぎん [natsɟin] [名] [なつぎんまい...] 夏用  
 の衣類。夏の制服。  
 なつじゃ [naddza] [名] [植] [なつじゃまい...]  
 桑の実。【類】「がーぬギぬなり」。  
 なつじゃぎー [naddzagi:] [名] [なつじゃぎ<sup>1</sup>ーま  
 い...] 桑の木。  
 なつじゅー [natsɟdzu:] [名] [なつじゅーまい...]  
 夏の潮。潮がよく引く。  
 なつじゅー [natsɟdzu:] [副] 夏中。夏いっぱい。  
 なつちやかん [nattɕakan] [連語] 役に立たない  
 こと。未熟なこと。素人。【例】なつちやかん  
 むぬ (未熟者)。  
 なつちやギ [nattɕakɟ] [動 I 類] [なつちやきー、  
 なつちやかん] 役に立つ。もったいない。動詞  
 であるが、活用が限られている。  
 なつちやギむぬ [nattɕakɟmunu] [名] [なつちや  
 ギむ<sup>1</sup>ぬまい...] 役に立つもの。もったいないも  
 の。  
 なつとう [nattu] [副] 絶対。【例】なつとう ム  
 まどー (絶対いやだよ)。  
 なつとうく [nattuku] [名] [なつとう<sup>1</sup>くまい...]  
 納得。認めること。承諾。  
 なつぬ どうゆー [natsɟnu duju:] [名] [なつぬど  
 うゆ<sup>1</sup>ーまい...] 夏の土用。夏の真っ盛り。  
 なつまき [natsɟmaki] [名] [なつまきまい...] 夏  
 負け。夏ばて。暑さに負けて食欲が劣ること。  
 なつむき [natsɟmuki] [名] [なつむきまい...] 夏向  
 き。夏向けの品。洋服や食品の夏向けのもの。  
 なつむぬ [natsɟmunu] [名] [なつむぬまい...] 夏  
 物。夏用の品物。  
 なつムまり [natsɟmmari] [名] [なつムま<sup>1</sup>りま  
 い...] 夏生れ。夏に生まれる子。  
 なつやすム [natsɟjasɟm] [名] [なつやす<sup>1</sup>ムまい...]  
 夏休み。学校は幼児、児童、生徒の長い休暇。  
 なてい [nati] [接尾] 頃。【例】ゆかなてい (三日  
 前の頃)。ミーていなてい (一昨年)。  
 なでい [nadi] [名] [なでいま<sup>1</sup>い...] 撫で。撫で

ること。子どもの頭を撫でる。親しみの表現。  
 なでいまーす [nadima:sɟ] [動 I 類 c 型] [なでい  
 まーしー、なでいまーしゃん] 撫で回す。愛情  
 のこもった撫で方。【例】かなまげる なでいま  
 ーす (頭を撫で回す)。  
 なでいり [nadi] [動 II 類 c 型] [なでいー、なで  
 いん] 撫でる。頭を撫でる。【例】ぬーまぬ み  
 ばなう なでいり (馬の顔を撫でる)。  
 なな [nana] [接尾] ~で。【例】しゅんぐとうなな  
 くー (しないで来なさい)。むたんぐとうなな  
 くー (持たないで来なさい)。  
 なな [nana] [名] [な<sup>1</sup>なまい...] 七。七つ。七歳。  
 なない [nanai] [名] [なないまい...] 七重。  
 なないやい [nanaijai] [名] [なないや<sup>1</sup>いまい...]  
 七重八重。遠くから見る山々の景色。【例】な  
 ないやいん かしゃにる (幾重にも重ねよ)。  
 ななぎな [nanagina] [接尾] ~ながら。【例】ふー  
 ななぎな (食べながら)。ありがなぎな (歩  
 きながら)。  
 ななげー [nanage:] [名] [な<sup>1</sup>なげー<sup>1</sup>まい...] 同  
 じ長さ。【類】「ゆぬななげー」。  
 ななじゅーなな [nanadzɟ:nana] [名] [ななじゅ  
<sup>1</sup>ーななまい...] 七十七。七十七歳。喜寿。  
 ななじゅーななぬ よーイ [nanadzɟ:nananu jo:]  
 [名] [ななじゅーななぬよーイ<sup>1</sup>まい...] 七十七  
 の祝い。喜寿の祝い。  
 ななしゅつ [nanaɕutsɟ] [名] [ななしゅ<sup>1</sup>つまい...]  
 七十。七十歳。  
 ななすな [nanasɟna] [名] [ななす<sup>1</sup>なまい...] 七  
 品目。七種類の品物。  
 ななすまふつ [nanasɟmafutsɟ] [名] [ななすまふ<sup>1</sup>  
 つまい...] 純朴でない言葉。慣れ親しんだ言葉  
 と違う言葉。ごちない言葉遣い。  
 ななたていじゅーし [nanatatidzɟ:ɕi] [名] [なな  
 たていじゅー<sup>1</sup>しまい...] たくさんの食材を使  
 った雑炊。  
 ななつ [nanatsɟ] [名] [なな<sup>1</sup>つまい...] 七つ。七  
 歳。  
 ななつがしゃ [nanatsɟgaɕa] [名] [病] [ななつが  
<sup>1</sup>しゃまい...] 癩。  
 ななつぶす [nanatsɟbusɟ] [名] [ななつぶ<sup>1</sup>すま

い...] 七つ星。北斗七星。柄杓星。  
 ななてい [nanati] [名] [なな<sup>1</sup>ていまい...] 七年間。七回忌。七年忌。  
 なななム [nananam] [名] [ななな<sup>1</sup>ムまい...] 七回目の大波のこと。大海では七つの大波があると言われる。  
 なななんか [nanananka] [名] [なななん<sup>1</sup>かまい...] 七掛け七日。四十九日忌。法事。  
 ななまかり [nanamaka] [名] [ななまか<sup>1</sup>りまい...] 七杯目の椀。だだをこねた子が七杯も食べるということ。  
 ななまがり [nanamaga] [名] [ななまが<sup>1</sup>りまい...] 七曲り。道路が曲りくねっていること。  
 ななみ [nanami] [名] [ななみまい...] 斜め。傾斜。  
 ななゆム [nanajum] [名] [ななゆ<sup>1</sup>ムまい...] 七読み。機織の用語。縦糸の数。琉球舞踊の「かしかき」の一節。〈ななゆみ〉(七読)と〈はてん〉(二十読)とある。  
 なぬり [nanu] [動I類a型] [なぬり一、なぬらん] 名乗る。申し出る。出頭する。【例】どうしー なぬり (自分で名乗れ)。  
 なは [naha] [名] [なは<sup>1</sup>んまい...] 那覇。沖縄県庁の所在地。  
 なば [naba] [名] [な<sup>1</sup>ばまい...] 垢。汚れ。【例】なばだり (垢だらけ)。  
 なばだら [nabadara] [名] [な<sup>1</sup>ばだら<sup>1</sup>まい...] 汗まみれな人。【同】「なばだれ」。  
 なばだり [nabada] [動II類] [なばだり一、なばだりん] [な<sup>1</sup>ばだり一 ぶり] 垢まみれになる。  
 なばだり [nabadari] [名] [な<sup>1</sup>ばだりまい...] 垢垂れ。汚れていること。  
 なばだりぎん [nabadarigın] [名] [な<sup>1</sup>ばだりぎんまい...] 汚れた着物・衣服。畑仕事で汚れた衣服。洗濯していない衣服。  
 なばだりむぬ [nabadarimunu] [名] [な<sup>1</sup>ばだりむぬまい...] 垢のついた人。汚れた衣類や物のこと。【例】いつまい なばだりむぬ (いつ見ても垢だらけの人)。【類】「すかたむぬ」。「ふきつむぬ」。  
 なばだりムまり [nabadarimmari] [名] [な<sup>1</sup>ばだ

りムまりまい...] 垢まみれの生まれ。汚れを平気にしている人。  
 なばだりやらび [nabadarijarabi] [名] [な<sup>1</sup>ばだりやらびまい...] 汚れている子ども。汗で汚れている子ども。風呂のない時代の子供の体は汚れていた。  
 なばだりり [nabadari] [動II類] [なばだり一、なばだりん] [な<sup>1</sup>ばだり一 ぶり] 垢まみれになる。  
 なばだれ [nabadare] [名] [な<sup>1</sup>ばだれ<sup>1</sup>まい...] 汗まみれな人。【同】「なばだら」。  
 なばに [nabani] [名] [病] [なば<sup>1</sup>にまい...] 梅毒。  
 なび [nabi] [名] [な<sup>1</sup>びまい...] 鍋。【例】ム一にーなび (芋を煮る鍋)。するなび (汁鍋)。  
 なびがーら [nabigara] [名] [な<sup>1</sup>びがーらまい...] シートーヤーの鍋の側面に付く板状の黒糖。【類】「かーら」。  
 なびかす [nabikas] [動I類c型] [なびかし一、なびかしゃん] なびかせる。風がさとうきびをなびかす。【例】あかう なびかす (髪をなびかせる)。  
 なびがま [nabigama] [名] [なびが<sup>1</sup>ままい...] 小さい鍋。少人数の料理をする小さい鍋。  
 なびがま [nabigama] [名] [なびが<sup>1</sup>ままい...] 鍋を乗せる釜。土で作った釜。石を3個置いた一時的な鎌。【類】「うかま」。  
 なびぎ [nabik] [動I類c型] [なびぎ一、なびかかん] なびく。台風には大木もなびく。【例】すっじゃぬ かでいん なびギ (さとうきびが風になびく)。  
 なびすぎ [nabisqk] [名] [なびす<sup>1</sup>ぎまい...] 鍋敷。鍋を乗せる敷物。すすきを丸めて作る。  
 なびつつび [nabitsqtsb] [名] [な<sup>1</sup>びつつびまい...] 鍋のすす。鍋の底に付くすす。定期的に金具ですす落としをした。【類】「なびぬくるず」。  
 なびぬ くる [nabinu ku:] [名] [なびぬく<sup>1</sup>ーまい...] 鍋の修理。鍋を繕う。各家庭を廻って鍋の修理をする専門の人がいた。  
 なびぬ くるず [nabinu kurudz] [名] [なびぬく

るず「まい…」鍋のすず。【類】「なびつつび」。

なびぬ しゆく [nabinu ɕuku] [名] [なび<sup>1</sup>ぬしゆくん「まい…」鍋の底。鍋の内側や外側から見た底。

なびぬ ピていつ [nabinu pɪtitsɯ] [名] [なび<sup>1</sup>ぬピていつ「まい…」鍋の一つ。鍋いっぱい。鍋にたくさんの身が入っている意味。

なびばんびム [nabipanbim] [名] [な<sup>1</sup>びばんびムまい…) 鍋てんぷら。平焼き。半片。

なびふた [nabifuta] [名] [なびふ<sup>1</sup>たまい…) 鍋のふた。茅で編んだものと板のふたがある。

なびふたかヴヴェ [nabifutakavve] [名] 鍋のふたを被ること。台所に居残る人のこと。

なびふっずー [nabifuddzɯ:] [名] [な<sup>1</sup>びふっずーまい…) 鍋をあさること。

なびら [nabira] [名] [植] [なび<sup>1</sup>らまい…) へちま。糸瓜。

なふしゃ [nafuɕa] [名] [なふしゃまい…) 砂粉。砂石。

なふしゃずー [nafuɕadzɯ:] [名] [なふしゃずーまい…) 砂粉の多い畑。海に近い所の畑。砂地。

なふしゃみつ [nafuɕamitsɯ] [名] [なふしゃみつまい…) 砂粉道。石粉の多い道。

なふしゃらん [nafuɕaran] [連語] 実力のないこと。役に立たないこと。【例】なふしゃらん むぬイー (無知な言い方)。

なふしゃらんむぬ [nafuɕaranmunu] [名] [なふしゃらんむ<sup>1</sup>ぬまい…) 実力のない人。役に立たないもの。またその人。

なふだ [nafuda] [名] [なふ<sup>1</sup>だまい…) 名札。衣服につける名札。荷物につける名札 (荷札)。

なま [nama] [接頭] 中途半端な～。未熟な～。なんとなく。ちょっとの～。【例】なまんーしゃむぬ (ちょっと似ている・話の内容が似ている)。

なまぶりむぬ (なんとなく馬鹿みたい)。

なま [nama] [名] [なま<sup>1</sup>まい…) 今。現在。ごく近いこと。現代。【例】なまぬ ゆー (現在の世)。なまー あらん (今ではない。今じゃない。時が早いこと)。

なま [nama] [名] [な<sup>1</sup>ままい…) 生。生の状態。【例】なまイズウ (生魚)。なまやしあい (生野

菜)。

なまあし [namaaɕi] [名] [なまあしまい…) 生汗。あぶら汗。

なまイズウ [namaɪzu] [名] [なまイズウまい…) 生魚。鮮魚。

なまいまき [namaimaki] [名] [なまいまきまい…) 名前負け。【類】「なーまき」。

なまうぶい [namaubui] [名] [なまうぶ<sup>1</sup>いまい…) 生覚え。うろ覚え。ぼんやりと覚える。

なまかーらギ [namaka:raki] [名] [なまかーら<sup>1</sup>ギまい…) 生乾き。半乾き。

なまがくむん [namagakumun] [名] [なまがくむ<sup>1</sup>んまい…) 生学問。なまかじり。知ったふり。

なまかだ [namakada] [名] [なまかだまい…) 生のおい。生臭い。

なまがた [namagata] [名] [なまがたまい…) ついさっき。最近。近頃。近年。

なまがたがま [namagatagama] [名] [なまがたが<sup>1</sup>ままい…) ついさっき。ごく近い頃。

なまから [namakara] [連語] 今から。今度から。【例】なまから いかずー (今行くよ)。

なまぎー [namagi:] [名] [なまぎーまい…) 生木。乾かない木。燃やせない木。切ったばかりの木。枯れていない木。

なまきず [namakidzɯ] [名] [なまきずまい…) 生傷。治っていない傷。

なまきふし [namakifuɕi] [名] [なまきふ<sup>1</sup>しまい…) 怠ける癖。

なまきり [namaki] [動II類c型] [なまきー、なまきん) 怠ける。【例】なまきーてーん (怠けてばかり)。

なまくが [namakuga] [名] [なまくがまい…) 生卵。料理していない卵。

なまぐみ [namagumi] [名] [なまぐみまい…) 生ごみ。生のままのごみ。住宅から出されるごみ。

なまぐみ [namagumi] [名] [なまぐみまい…) 生米。煮えていない米。【類】「なままイ」。

なまぐる [namaguru] [名] [なまぐ<sup>1</sup>るまい…) 今頃。近頃。【例】ギぬーぬ なまぐる (昨日の今頃)。

なまぐるす [namagurusu] [名] [なまぐるすまい...] 生殺し。半殺し。

なまじえーか [namadze:ka] [名] [なまじえーかんまい...] 夜明け前。未明。【例】なまじえーかうきー (夜明け前に起きた)。

なまじみ [namadzimi] [名] [なまじみまい...] 生爪。指の爪。【例】なまじみう むきー (生爪を剥いだ)。

なまじやり [namadzari] [名] [なまじやりまい...] 生乾き。半乾き。洗濯物の半乾きしたもの。【例】なまじやりむのー きーらいん (半乾きの衣服は着られない)。

なまじやり [namadzari] [名] [なまじやりまい...] 生枯れ。完全に枯れていないこと。【例】なまじやりたむのー むいん (完全に枯れない薪は燃えない)。

なましゆ [namaçu] [名] [なま<sup>1</sup>しゆまい...] 小潮。旧暦の7日・20日頃の潮。干満の差が小さい潮。【類】「からしゆ」。

なまじゆー [namadzu:] [名] [なまじゆ<sup>1</sup>ーまい...] 生野菜。生鮮野菜。【類】「なまやしやい」。

なまじゆなま [namadzunama] [名] [なまじゆな<sup>1</sup>まい...] 未熟のまま。熟しないまま。【例】なまじゆなま ふーた<sup>1</sup>り (未熟のまま食べた)。

なます [namasu] [名] [なますまい...] 肴。刺身のこと。生魚と野菜。酒の肴。【例】イズうなます (魚のさしみ)。

なまずぶん [namadzibun] [名] [なまずぶ<sup>1</sup>んまい...] 今時分。今頃。

なまだうふ [namadaufu] [名] [なまだうふまい...] 生豆腐。揚げていない豆腐。【同】「なまどーふ」。

なまだき [namadaki] [名] [なまだきまい...] 生竹。青竹。昔、先輩たちが教育の一環として使用した。

なまだむぬ [namadamunu] [名] [なまだむぬまい...] 生の薪。乾燥しない薪。木や木の枝を切って薪として干して使用する。

なまだり [namada] [動 II 類 c 型] [なまだりー、なまだりん] 怠ける。疲れる。労働の意志がない。【同】「なまだり<sup>1</sup>」。

なまだりむぬ [namada] [名] [なまだり<sup>1</sup>むぬまい...] 怠け者。仕事を嫌う者。だらだらしているもの。

なまだり<sup>1</sup> [namadari] [動 II 類 c 型] [なまだりー、なまだりん] 怠ける。疲れる。労働の意志がない。【同】「なまだり<sup>1</sup>」。

なまちきな [namatçikina] [名] [なまちき<sup>1</sup>なまい...] 生のまま。【例】なまちきな ふあい。

なまつきてい [namatsukiti] [副] 今にいたるまで。今なお。【例】なまつきてい たらまんけーやくん (今に至るまで多良間に来ない)。なまつきてい ばっすいん (今にいたるまで忘れない)。

なまていーん [namati:n] [副] 突然に。急に。急な話。【例】なまていーん イーな (突然言うな)。なまていーんや しらいん (急にはできない)。

なまどー [namadu:] [名] [なまどーまい...] 生胴。生の体。生き身。生きている体。【例】なまどーゆ きが すな (生の体に怪我を負わずな)。

なまどーれ [namadure] [名] [なまどーれまい...] この時間。今となって。平常でない時間帯。【例】なまどーれ んーぬ ばーが (こんな時間に何の用事か)。

なまどー [namado:] [連語] 今だぞ。今がチャンス。【例】なまどー、いしゆぎ (今だぞ、急ぎなさい)。

なまどーふ [namado:fu] [名] [なまどーふまい...] 生豆腐。揚げていない豆腐。【同】「なまだうふ」。

なまなぎな [namanagina] [副] 生のまま。【例】なまなぎな ふあい (生のまま食べなさい)。

なまにー [namani:] [名] [なまに<sup>1</sup>まい...] 生煮え。半煮え。【例】なまにーむのー ふあーいん (半煮えのものは食べられない)。

なまにームー [namani:mm] [名] [なまに<sup>1</sup>ムーまい...] 半煮えの芋。

なまにに [namanini] [名] [なまに<sup>1</sup>にまい...] 生寝。半寝。熟睡しないこと。寝不足。【類】「にんたーらん」。

なまぬ べうす [namanu peusu] [名] [なまぬべう

「すまい...」今がチャンス。今が適期。【例】あめー ぱりった、なまぬ ペうす とうび (雨は止んだ、今のうちに行きなさい)。

なまぬ まま [namanu mama] [副] 今のまま。今の通り。そのまま。【例】なまぬなましー じゃうぶん (今のままで良い)。

なまはんか [namahanka] [名] [なまはん<sup>1</sup>かまい...] 生半可。中途半端。熱意のないこと。【例】なまはんかぬ すぐとう (中途半端な仕事)。

なまびー [namabi:] [名] [なまび<sup>1</sup>ーまい...] 生酔い。ほろ酔い。中途半端な酔い。

なまびり [namabi:] [名] [なまびり<sup>1</sup>まい...] 生のにんにく。加工していないにんにく。【例】なまびりる ムしゅん つきー ふーたり (生のにんにく味噌につけて食べた)。

なまぶす [namabus:] [名] [なまぶ<sup>1</sup>すまい...] 生干し。生乾し。半干し。半乾し。充分乾いていないこと。

なまぶりむぬ [namaburimunu] [名] [なまぶりむぬまい...] よく冗談を言う人。当てにならない人。信用できない人。非常識の人。七分ともいう。【類】「しちぶ」。

なままイ [namama:] [名] [なままイまい...] 生米。収穫したばかりの米。煮えていない米。【類】「なまぐみ」。

なままい [namamai] [副] 今も。現在も。現代も。【例】なままい ゆぬくとう (今も同じだ)。なままい かーらん (今も変っていない)。

なまムー [namamm] [名] [なまム<sup>1</sup>ーまい...] 生芋。熱を加えていない芋。

なまムしゅ [namam:] [名] [なまム<sup>1</sup>しゅまい...] 生味噌。味噌汁に使う前の味噌。

なまむぬ [namamunu] [名] [なまむぬまい...] 生もの。生の食品。生鮮食品。

なまむり [namamu:] [名] [なまむり<sup>1</sup>まい...] 生のままもぎとること。熟しない実をもぐこと。果実の塾しないものをもぎ取ること。

なまめーすしゃーり [namame:s:] [形] [なまめーす<sup>1</sup>しゃまい...] 生楽。半分楽。半分やさしい。仕事が軽い。勉強がそれ程難しくないこと。

【例】なまめーすむのー あらん (ちょっと楽なものではない)。【類】「なまやすしゃーり」。

なまやき [namajaki] [名] [なまや<sup>1</sup>きまい...] 生焼け。半焼け。【例】なまやきむぬ (生焼けした食べ物)。

なまやしやい [namajai:] [名] [なまやしや<sup>1</sup>いまい...] 生野菜。【類】「なまじゅー」。

なまやすしゃーり [namajas:] [形] [なまやす<sup>1</sup>しゃまい...] 生易い。半分易い。ちょっと易い。それほど難しくない。【類】「なまめーしゃーり」。

なまらす [namaras:] [動I類c型] [なまらしー、なまらしゃん] 止めさせる。停止させる。動きを止める。マラソンの選手を監督が止める。

なまらす [namaras:] [動I類c型] [なまらしー、なまらしゃん] 辞めさせる。辞退させる。公職を辞めさせる。【例】しゅくー なまらす (公職を辞めさせる)。【類】「やみっす」。

なまらん [namaran] [連語] 調子が落ちない。【例】ふーぬ なまらん (いつまでも食べている)。

なまり [nama:] [動I類c型] [なまりー、なまらん] 止まる。動きが止まる。停止する。鈍る。機織りが故障して止まる。休む。【例】かでーなまりった (風は止んだ)。ばるーぬ なまらん (笑いが止まらない)。

なまり [nama:] [動I類c型] [なまりー、なまらん] 辞める。辞退する。

なまり [namari] [名] [なまり<sup>1</sup>まい...] 鉛。

なまりぶす [namaribus:] [名] [なまりぶ<sup>1</sup>すまい...] 半燻製のかつお節。

なまんーしゃーり [namann:] [形] [なまんーしゃまい...] 少し似ている。ちょっと似ている。【例】かれー うやんや なまんーしゃーり (彼は親に少し似ている)。

なみ [nami] [名] [なみまい...] 並。普通。等しい。【例】ピとうなみん (人並みに)。

なみとうり [namitu:] [名] 並取り。平等に取ること。分配を平等にすること。

なみひらがー [namihiraga:] [名] [井戸] [なみひ<sup>1</sup>らがーまい...] 波平井戸。井戸の名。人工井戸。

なみり [nami] [動Ⅱ類c型] [なみー、なみん]  
なめる。馬鹿にする。【例】ピとうー なみん  
(人を馬鹿にするな)。

なみり [nami] [動Ⅱ類c型] [なみー、なみん]  
並べる。【例】なみー うつき (並べて置きなさい)。つくいゆ なみり (机を並べる)。

なム [nam] [名] [なムま<sup>1</sup>い...] 波。浪。【例】ぶりなム (碎ける波)。つすうなム (碎けた白い波)。なムぬ ぶりり (大波。波浪)。

なム [nam] [名] [なムま<sup>1</sup>い...] 並び。【例】やまぬ なム (山の並び)。ピとうぬ なム (人並み・たくさんの人)。

なム [nam] [動Ⅰ類a型] [なみー、なまん] 並である。普通である。人並みである。平均的である。

なム [nam] [動Ⅰ類a型] [なみー、なまん] 並ぶ。【例】しーとうぬ なみー ぶり (生徒が並んでいる)。

なムあらしやーり [nam.araça:] [形] [なムあらしやまい...] 波が荒い。波浪が高い。時化の海。荒波のこと。

なムー [namu] [動Ⅰ類c型] [なムみー、なムまん] 舐める。舌で舐める。

なムかでい [namkadi] [名] [なムか<sup>1</sup>でいまい...] 波と風と。嵐。【例】なムかでいぬ ちゅーしゃーり (波浪が強い)。

なムかでいたつ [namkaditats] [動Ⅰ類c型] [なムかでいたていー、なムかでいたたん] (海について) 波風が立つ。争いごとが起きる。

なムじゃ [namdža] [名] [なムじゃまい...] 銀。錫。宝物という意味。「とうがにあやぐ」の一節にある。

なムじゅーしゃーり [namdzu:ça:] [形] [なムじゅー<sup>1</sup>しゃまい...] 波の高いこと。波の荒いこと。時化の海。

なムだうり [namdauri] [名] [なムだうりまい...] 並倒れ。次々と倒れること。【同】「なムどりり」。

なムだつ [namdats] [動Ⅰ類c型] [なムだていー、なムだたん] 波立つ。

なムだとうがー [namdatuga:] [名] [井戸] [なム

だ<sup>1</sup>とうがーまい...] 並里井戸。井戸の名。人工井戸。

なムつかす [namtsukas] [動Ⅰ類c型] [なムつかしー、なムつかしやん] 焦がす。鍋の料理を焦がす。

なムつギ [namtsjk] [名] [なムつ<sup>1</sup>ギまい...] こげ。鍋の底につくこげ。

なムつギかだ [namtsjkkada] [名] [なムつ<sup>1</sup>ギかだまい...] こげ臭いこと。こげのにおい。

なムどりり [namdo:ri] [名] [なムどりりまい...] 並倒れ。次々と倒れること。【同】「なムだうり」。

なムぬ しゆく [namnu çuku] [名] [なムぬしゆく<sup>1</sup>まい...] 波の底。海底。

なムぬ ばな [namnu pana] [名] [なムぬば<sup>1</sup>なまい...] 波の花。波の泡。岩礁に碎ける飛沫。白波。

なムぬ ぶり [namnu buri] [名] [なムぬぶ<sup>1</sup>りまい...] 外洋の波が干瀬に碎ける様。白波を見て言う。

なムぬ ぶりふつ [namnu burifuts] [名] [なムぬぶりふ<sup>1</sup>つまい...] 外洋の波の碎け散る所。【類】「ぶかびし」。

なムぬ ぶりり [namnu buri] [連語] 外洋の波が干瀬に碎ける。白波を見て言う。「大海のいそもとどろに寄せる波。割れて碎けて裂け散るかも」(源実朝)。

なムぶり [namburi] [名] [なムぶ<sup>1</sup>りまい...] 波折れ。リーフにくだける白波。

なムます [nammas] [動Ⅰ類c型] [なムましー、なムましやん] 舐めさせる。アイスクーキをなめさせる。

なムミ<sup>〇</sup> [nammi] [動Ⅰ類c型] [なムミみー、なムミまん] 舐める。【例】なムミ (舐めなさい)。うすエー ばなう なムミ<sup>〇</sup> (牛は鼻を舐める)。

なやます [najamas] [動Ⅰ類c型] [なやましー、なやましやん] 悩ませる。苦しませる。【例】いつまい あんなう なやます (いつも母を悩ませる)。

なやム [najam] [動Ⅰ類c型] [なやみー、なやまん] 悩む。苦しむ。【例】なやみーてーん (悩ん

でばっかりだ。

なら [nara] [名] [代] [ならまい...] 自分。自身。本人。【例】**ながら** むぬ (自分のもの。本人のもの)。**ながら** たき (本人のせい)。

ならーしゃいり [nara:çai] [動II類c型] [ならーしゃいー、ならーしゃいん] 教えられる。習わされる。教わる。【例】うやん **ならーしゃいり** (親に教わる)。【同】「ならーしゃりり」。

ならーしゃりり [nara:çari] [動II類c型] [ならーしゃりー、ならーしゃりん] 教えられる。習わされる。教わる。【例】うやん **ならーしゃりり** (親に教わる)。【同】「ならーしゃいり」。

ならーす [nara:s] [動I類c型] [ならーしー、ならーしゃん] 教える。教授する。【例】しーとー **ならーす** (生徒を教える)。

ならーすかた [nara:s]kata [名] [ならーすか<sup>1</sup>たまい...] 教え方。教える方法。教える技術。教授法。指導法。

ならーすぐりしゃーり [nara:s]guriça:i] [形] [ならーすぐ<sup>1</sup>りしゃまい...] 教えにくい。【例】**ならーすぐり**やらび (教えにくい子供)。

ならーすしんしー [nara:s]çinçi:i] [名] [ならーすしんし<sup>1</sup>ーまい...] 教える先生。学校の先生。教師。恩師。

ならーすっふあ [nara:s]ffa] [名] [ならーすっ<sup>1</sup>ふあまい...] 教え子。弟子。生徒たち。

ならーすどーず [nara:s]do:dz] [形] [ならーすどー<sup>1</sup>ずまい...] 教え方の上手なこと。指導法のよいこと。

ならーすぬ むぬ [nara:s]nu munu] [名] [ならーす<sup>1</sup>ぬむぬ<sup>1</sup>まい...] 教え方次第。教える方法。【例】**やらべー** **ならーすぬ むぬ** (子供は教え方次第だ)。

ならーすやヴヴィ [nara:s]javv] [動I類c型] [ならーすやヴヴィー、ならーすやヴヴィあん] 教えが悪い。躰けが悪い。あまやかされる。

ならいぐとう [nara]gutu] [名] [ならいぐ<sup>1</sup>とうまい...] 習い事。稽古。習得すること。教養を身につけること。趣味で塾に通うこと。【同】「ならうぐとう」。「なるーぐとう」。

ならうぐとう [nara]ugutu] [名] [ならうぐ<sup>1</sup>とう

まい...] 習い事。稽古。習得すること。教養を身につけること。趣味で塾に通うこと。【同】「ならいぐとう」。「なるーぐとう」。

ならず [nara:s] [動I類a型] [ならしー、ならしあん] 鳴らす。【例】か<sup>1</sup>にう **ならず** (鐘を鳴らす)。

ならず [nara:s] [動I類c型] [ならしー、ならしあん] 慣れさせる。馴れさせる。【例】いなう **ならず** (犬を馴れさせる)。

ならず [nara:s] [動I類c型] [ならしー、ならしあん] 均す。平坦にする。【例】ずーゆ **ならず** (土地を均す)。

ならず [nara:s] [動I類c型] [ならしー、ならしあん] 実らせる。稔らせる。果実を実らす。【例】まみう **ならず** (豆を実らせる)。

ならた [narata] [名] [代] [ならたまい...] 自分たち。あの<sup>1</sup>人たち。【例】かぬ やーや **ならた**が むぬ (あの家はあの<sup>1</sup>人たちのものだ)。【同】「<sup>1</sup>な<sup>1</sup>た」。

ならたうけー [narata]uke:] [名] [代] [ならたうけ<sup>1</sup>ーまい...] 自分一人。【例】**ならたうけー** やーん **ぶり** (自分一人<sup>1</sup>家にいる)。

ならたが むぬ [narata]ga munu] [名] [代] [ならたがむ<sup>1</sup>ぬまい...] 自分たちのもの。【同】「<sup>1</sup>な<sup>1</sup>たがむぬ」。

ならたが ムめ [narata]ga mme] [名] [代] [ならたがム<sup>1</sup>めまい...] 自分たち。あの<sup>1</sup>人たち。【例】**ならたが ムめ**まい うぐなーりー **ぶり** (あの<sup>1</sup>人たちも集まっている)。【同】「<sup>1</sup>な<sup>1</sup>たがムめ」。

ならたでーな [narata]de:na] [名] [代] [ならたでーなまい...] 自分たちだけ。あの<sup>1</sup>人たちだけ。【同】「<sup>1</sup>な<sup>1</sup>たでーな」。

ならばす [naraba:s] [動I類a型] [ならばしー、ならばしあん] 並ばせる。整列させる。【例】に<sup>1</sup>りつん **ならばし** (2列に並ばせなさい)。

ならば [narab] [動I類a型] [ならばいー、ならばん] 並ぶ。整列する。【例】**ならばいー** あ<sup>1</sup>りき (並んで歩きなさい)。

ならばり [narabi] [動I類a型] [ならばりいー、ならばらん] 並べる。

ならむいむぬ [naramuimunu] [名] [ならむ<sup>1</sup>いむぬまい...] 自生したもの。自然に生えたもの。畑に種子が落ちて自生したもの。

なり [na] [名] [なりま<sup>1</sup>い...] 実。果実。【例】かぶちやぬ なり (かぼちやの実)。ふぬーぬ なり (みかんの実)。

なり [na] [動I類c型] [なりー、ならん] 成る。成就する。【例】したい、みぐとうん なりー (よくぞ見事に成し遂げた)。

なり [na] [動I類c型] [なりー、ならん] 実る。稔る。【例】ならん (実らない)。なりどうす (実るよ)。なりった (実った。稔った)。

なり [na] [動I類c型] [なりー、ならん] できる。可能である。【例】なりどうす (出来るよ。成功するよ)。なりった (出来た)。なりたかー (できるなら)。

なり [na] [動I類a型] [なりー、ならん] 鳴る。【例】かにぬどう なりー ぶり (鐘が鳴っている)。

なり [nari] [名] [な<sup>1</sup>りまい...] しきたり。習慣。【例】うぬ すまぬ なり (その島の習慣)。

なり [nari] [名] [な<sup>1</sup>りまい...] 慣れ。馴れ。馴れ染むこと。

なりあい [nariai] [名] [なりあ<sup>1</sup>いまい...] 馴れ合い。親しく触れ合うこと。ぐるになること。

なりーなり [nari:nari] [重複] 手際よいこと。熟練。【例】すぐとうぬ なりーなり (仕事の手際がよい)。

なりぎ なりー [nalgı nari:] [連語] できるかのよう。出来るふりして。【例】なりぎ なりーむぬゆムな (出来るふりして話すな)。

なりぎ なりー [narigi nari:] [連語] 慣れたかのよう。出来るふりして。【例】なりぎ なりーむぬゆムな (出来るふりして話すな)。【類】「なりぎなりー」。

なりすみり [narisumi] [動II類c型] [なりすみー、なりすみん] 慣れさせる。馴れさせる。【例】やーん なりすみり (家に慣れさせる)。

なりたかー [na[taka:] [副] なるべく。できるなら。【例】なりたかー まーつき いか (できることなら一緒に行こう)。【同】「なりていかー」。

なりていかー [na[tika:] [副] なるべく。できるなら。【例】なりていかー まーつき いか (できることなら一緒に行こう)。【同】「なりたかー」。

なりとうゆム [na[tujum] [動I類a型] [なりとうゆみー、なりとうゆまん] 鳴り響む。社会に響き渡る。【例】なりとうゆみー ぶり (鳴りひびいている)。

なりぬ むぬ [narinu munu] [名] [なり<sup>1</sup>ぬむぬ<sup>1</sup>まい...] 馴れてこそよいのだ。【例】すぐとーなりぬむぬ (仕事は馴れることだ)。

なりねーん [na[ne:n] [副] できる程度に。出来る範囲で。【例】なりねーん しる (出来る程度にしなさい)。なりねーん ギばり (できる範囲で頑張れ)。

なりむぬ [na[munu] [名] [なりむ<sup>1</sup>ぬまい...] 実るもの。果実のつく作物。その実。

なりむぬ [na[munu] [名] [なりむ<sup>1</sup>ぬまい...] 鳴るもの。音の出るもの。大きな音を出すものにも言う。音のよくひびくもの。

なりむぬ [narimunu] [名] [なりむ<sup>1</sup>ぬまい...] 馴れたもの。熟練したもの。乗馬に馴れた。【例】うんていんや なりむぬ (運転は馴れたものだ)。

なりゆギ [narijuk] [名] [なりゆギ<sup>1</sup>うまい...] 成り行き。

なりり [nari] [動II類c型] [なりー、なりん] 慣れる。馴れる。順応する。【例】なりった (慣れた)。なりー ねーん (慣れてしまった)。すまんや みだ なりん (島にはまだ慣れない)。

なるー [naru:] [動I類c型] [なれー、ならーん] 習う。学ぶ。学習する。稽古する。練習する。勉強する。【例】すムゆ なるー (勉強する)。しゃムしんゆ なるー (三線を稽古する)。ぶどうりる なるー (踊りを稽古する)。

なるーぐとう [naru:gutu] [名] 習い事。稽古。習得すること。教養を身につけること。趣味で塾に通うこと。【同】「ならうぐとう」。「ならイぐとう」。

なるふどう [narufudu] [副] 成る程。納得すること。

なんか [nanka] [名] [なんかまい...] 七日。死後

七日の法要。

なんかみす [nankamisʝ] [名] [なんかみすまい...]

スツウブナカの七日神酒。【類】「うぶみす」。

なんぎ [nangʝ] [名] [なん<sup>1</sup>ぎまい...] 難儀。

なんぎくるー [nangʝkuru:] [名] [なん<sup>1</sup>ぎくるーまい...] 難儀苦労。

なんぎしゃーり [nangʝɕa:] [形] [なんぎ<sup>1</sup>しゃまい...] 難儀である。困難である。【例】うぬ すぐとう なんぎしゃーり (この仕事は難儀だ)。

なんぎでいまー [nangʝdima:] [名] [なん<sup>1</sup>ぎでいまーまい...] 難儀手間賃。労賃。

なんくる [nankuru] [副] 何とか。【例】なんくる なりどうす (何とかなるよ)。

なんざん [nandzan] [名] [なんざ<sup>1</sup>んまい...] 難産。

なんじゆ [nandzu] [副] なんら。あまり。否定文に使われる。【例】なんじゆ すかんにばゆ (なんら好みではないよ)。なんじゆ ギむぶがん (何ら気に入らない)。

なんじゆぎしゃーり [nandzugiɕa:] [形] [なんじゆぎ<sup>1</sup>しゃまい...] どうもよくないようだ。不満のようである。好きでないようである。【例】なんじゆぎみばな (どうも気に入らない顔だ)。

なんた [nanta] [名] [代] [なんたまい...] 自分たち。あの人たち。【例】なんたがどう すぐむた (あの人たちがやるべきだ)。【同】「ならた」。

なんたが ムめ [nantaga mme] [名] [代] [なんたがム<sup>1</sup>めまい...] 自分たち。あの人たち。【例】なんたが ムめまい うぐなーりー ぶり (あの人たちも集まっている)。【同】「ならたがムめ」。

なんだき [nandaki] [名] [なんだ<sup>1</sup>きまい...] 同じ量。【類】「ゆぬなんだき」。

なんたで一な [nantade:na] [名] [代] [なんたで一なまい...] 自分たちだけ。あの人たちだけ。【同】「ならたで一な」。

なんとう [nantu] [副] 何としても。【例】なんとう ならまん (何としてもできない)。

なんとうギ [nantukʝ] [副] [疑] なんととき。【例】かれー なんとうギんが ギたり (彼はいつ来たか)。

なんば [nanba] [名] [なんばまい...] 滑車。井戸水を汲みあげるのに綱をかける。

なんよー [nan.jo:] [名] [なんよー<sup>1</sup>んまい...] 南洋。

なんよームー [nan.jo:mm] [名] [植] [なんよ<sup>1</sup>ームーまい...] きゃっさば。南洋芋。【類】「たびおか」。

## — に —

にあぎ [niagi] [名] [にあ<sup>1</sup>ぎまい...] 二揚げ。三味線の二弦の音を揚げる。

にあぎ [niagi] [名] [にあ<sup>1</sup>ぎまい...] 荷揚げ。船の荷役のこと。船から荷物を下ろすこと。

にあぎ [niagi] [名] [にあ<sup>1</sup>ぎまい...] 値上げ。商品の値段を上げること。

にあし [niaci] [名] [にあ<sup>1</sup>しまい...] 寝汗。寝ていて出る汗。

にー [ni:] [助] ~に。~上に。~で。【例】ういにー(上に)。くるまにー(車に)。つくいにー(机の上に)。うやがばなすにーや(父の話では)。ういにーぬーしり(上に乗せる)。ゆかにーうつぎ(床の上に置く)。

にー [ni:] [名] 二。二つ。二歳。

にー [ni:] [名] [に<sup>1</sup>ーまい...] 子。ね。子年。十二支の一番目。北。ねずみ。

にー [ni:] [名] [にーま<sup>1</sup>い...] 荷。積み荷。重荷。負担。【例】にーゆーす(荷物を運ぶ)。

にー [ni:] [名] [にーま<sup>1</sup>い...] 根。根っこ。根気。根性。【例】にーぬむとう(根の元)。すまんにーううらす(島に落ち着く)。

にー [ni:] [名] [にーま<sup>1</sup>い...] 音。音程。【例】いとうに(三線の弦の音)。

にーいし [ni:ici] [名] [にーい<sup>1</sup>しまい...] 根石。岩盤。【同】「にーいす」。

にーいす [ni:is] [名] [にーい<sup>1</sup>すまい...] 根石。岩盤。【同】「にーいし」。

にーイズう [ni:izu] [名] [にーイズうまい...] 煮魚。料理した魚。

にーうーす [ni:us] [名] [にーうー<sup>1</sup>すまい...] 荷運び。荷物を運ぶこと。貨物運搬。

にーうらす [ni:uras] [名] [にーうら<sup>1</sup>すまい...] 荷下ろし。荷を下ろすこと。荷役。【同】「にーうらす」。

にーうらす [ni:uras] [名] [にーうら<sup>1</sup>すまい...] 根下ろし。根を下ろすこと。根付くこと。定着。【同】「にーうるす」。

にーうるす [ni:urus] [名] [にーうる<sup>1</sup>すまい...] 荷下ろし。荷を下ろすこと。荷役。【例】ふにぬにーうるす(船から荷を下ろす)。【同】「にーうらす」。

にーうるす [ni:urus] [名] [にーうる<sup>1</sup>すまい...] 根下ろし。根を下ろすこと。根付くこと。定着。【同】「にーうらす」。

にーか [ni:ka] [名] [にーかまい...] 遅い時間。夕方。【同】「にーけ」。

にーかばイ [ni:kaba] [名] [にーかばイまい...] 遅い時間帯まで仕事をすること。日が暮れるまで畑仕事をすること。【同】「にーけばイ」。

にーギ [ni:k] [名] [にーギまい...] 寝息。寝ていて鼻を鳴らす音。

にーけ [ni:ke] [名] [にーけまい...] 遅い時間。夕方。【同】「にーか」。

にーけばイ [ni:keba] [名] [にーけばイまい...] 遅い時間帯まで仕事をすること。【類】「にーかばイ」。

にーじゅーがギな [ni:dzu:gagɲa] [名] [植] [にーじゅ<sup>1</sup>ーがギなまい...] おいしば。ちからしば(俗名)。スツブナカの朝にこのしばに立って足を洗う。〈ぶなじえ〉兄弟が津波のときにしがみついたとされる。【類】「しゅがりがギな」。

にーじゅーしゃーり [ni:dzu:ɕa:] [形] [にーじゅ<sup>1</sup>ーしゃまい...] 荷が多い。荷物を多く積んである。

にーじゅーしゃーり [ni:dzu:ɕa:] [形] [にーじゅ<sup>1</sup>ーしゃまい...] 根の強い植物。根の張りの強い植物。

にーしゅら [ni:ɕura] [名] [にーしゅ<sup>1</sup>らまい...] 根と梢。【例】にーしゅらうみーる(根元のしっかりしている人は将来立派な人になる)。

にーすぎ [ni:sɟ] [動II類a型] [にーすぎー、にーすぎん] 煮過ぎる。【同】「にーすぎり」。

にーすきり [ni:sɟil] [動II類a型] [にーすきー、にーすきん] 煮供える。料理して供える。【例】

にーすぎる (煮供えなさい)。  
 にーすぎり [ni:sɕi] [動 II 類 a 型] [にーすぎー、  
 にーすぎん] 煮過ぎる。煮過ぎ。【例】にーす  
 ぎたかー ムましゃ ねーん (煮過ぎたらおい  
 しくない)。「にーすぎ」。  
 にーすこーりなー [ni:sɕo:na:] [名] [にーすこ  
 ーりな<sup>1</sup>まい...] 荷造り縄。梱包用の縄。  
 にーずる [ni:dzɾu] [名] [にーずるまい...] 煮汁。  
 シートーヤーの鍋に入れてあるきび汁のこと。  
 にーにんばう [ni:ninbau] [名] [にーにんば<sup>1</sup>うま  
 い...] 若者の棒踊り。【同】「にーにんぼー」。  
 にーにんぼー [ni:ninbo:] [名] [にーにんぼ<sup>1</sup>ーま  
 い...] 若者の棒踊り。【同】「にーにんばう」。  
 にーピギ [ni:pɕi] [名] [にーピ<sup>1</sup>ギまい...] 結婚。  
 新婚。  
 にーふム [ni:fum] [名] [にーふ<sup>1</sup>ムまい...] 根踏  
 み。根を踏むこと。大地をしっかりと踏むこと。  
 根を下ろして栄える。繁栄。【同】「にームー」。  
 にームー [ni:mm] [名] [にーム<sup>1</sup>ーまい...] 根踏  
 み。根を踏むこと。大地をしっかりと踏むこと。  
 根を下ろして栄える。繁栄。【同】「にーふム」。  
 にームー [ni:mm] [名] [にームーまい...] 煮た  
 芋。煮たさつま芋のこと。【例】かーにームー  
 (皮をつけたまま煮た芋)。  
 にーむぬ [ni:munu] [名] [にーむぬまい...] 煮物。  
 料理。【例】あんなが にーむぬ (母の料理)。  
 にーや ふまん [ni:ja fuman] [連語] 根は踏まな  
 い。地に足がつかないこと。不安定。  
 にーり [ni:] [動 II 類 a 型] [にー、にーん] 煮  
 る。料理する。鍋に炊く。炊事する。  
 にーん むつ [ni:n mutsɕ] [連語] 根に持つ。恨む  
 こと。【例】いつがみまい にーん むつ (いつ  
 までも根に持つ)。  
 にーんてい [ni:nti] [名] [干支] [にーん<sup>1</sup>ていま  
 い...] 子年。子の年。  
 にーんていやーっすう [ni:ntija:ssu] [名] [にーん  
<sup>1</sup>ていやーっすうまい...] 子年の大飢饉。大凶  
 作。大不作。  
 にーヴ [niv] [名] [に<sup>1</sup>ヴまい...] 柄杓 (ひしゃく)。  
 シートーヤーの鍋のきび汁に使う柄杓。ひょう  
 たんの実で作る (ニコライ・ネフスキー)。

にーヴうり [nivvu] [名] [にーヴう<sup>1</sup>りまい...] 木  
 の根っこ。根元。  
 にーうき [niuki] [名] [にーう<sup>1</sup>きまい...] 寝起き。【例】  
 まーつき にーうき すー (一緒に寝起きする)。  
 にーヴしゃ [nivɕa] [名] [にーヴ<sup>1</sup>しゃまい...] 遅いこ  
 と。  
 にーヴしゃーり [nivɕa:ɾi] [形] [にーヴ<sup>1</sup>しゃまい...]  
 遅い。時間が遅い。仕事が遅い。【例】にーヴし  
 ゃぬ (遅いなあ)。  
 にーヴたらぎー [nivtaragi:] [名] [植] [にーヴた<sup>1</sup>ら  
 ぎーまい...] ぎんねむ。【類】「にーヴうりぎ  
 ー」。「にーむりぎー」。  
 にーうち [niutɕi] [名] [にーう<sup>1</sup>ちまい...] 値うち。価  
 値。【例】いすかぬ にーうち (どれぐらいの値う  
 ち)。  
 にーか [nika] [名] [に<sup>1</sup>かまい...] 猫。【例】やーに  
 か (家の飼う猫)。やまにか (野良猫)。  
 にーがーす [niga:sɕ] [動 I 類 c 型] [にーがーしー、に  
 がーしゃん] 願わせる。祈願させる。【例】ゆ  
 たん にーがーす (ゆたに願わせる)。  
 にーがイ [nigaɿ] [名] [にーが<sup>1</sup>イまい...] 願う行事。  
 神事。【例】かムにーがイ (神事)。  
 にーがい [nigai] [名] [にーが<sup>1</sup>いまい...] 願うこと。  
 祈願すること。  
 にーがイぐとう [nigaɿgutu] [名] [にーが<sup>1</sup>イぐ<sup>1</sup>とうま  
 い...] 願い事。家庭や御嶽で願い事をする。  
 にーがイでいり [nigaɿdi:] [動 II 類 c 型] [にーが<sup>1</sup>イで  
 いー、にーが<sup>1</sup>イでいん] 願い出る。申し出る。申  
 請する。【例】やくばんけー にーが<sup>1</sup>イでいり (役  
 場に願い出る)。  
 にーがイむぬ [nigaɿmunu] [名] [にーが<sup>1</sup>イむ<sup>1</sup>ぬまい...]  
 願い物。行事。神事。神に供える物。  
 にーかいはー [nikaija:] [名] [にーかいは<sup>1</sup>ーまい...]  
 二階建ての家。  
 にーかがま [nikagama] [名] [にーかが<sup>1</sup>まい...] 小  
 さな猫。比喩的に、赤子のこと。  
 にーかす [nikasɕ] [動 I 類 c 型] [にーかしー、にーかし  
 ゃん] 寝かせる。  
 にーがつ [nigatsɕ] [名] [にーが<sup>1</sup>つまい...] 二月。新  
 暦の二月。立春・雨水の季節。【例】だきー に  
 かす (抱いて寝かせる)。

にがつかでいまーり [nigatsɯkadima:] [名] [にがつかでいまー<sup>1</sup>りまい...] 旧暦二月の嵐のこと。風向きが急変して天気が悪くなること。

にかつつく [nikatsɯtsɯku] [名] [鳥] [にかつつくまい...] あおばずく。【類】「ふくるー」。

にがてい [nigati] [名] [にがていまい...] 苦手。不得意。【例】えーごー にがてい (歌は苦手だ)。

にがらむぬ [nigaramunu] [名] [にがらむ<sup>1</sup>ぬまい...] 早起きする人。早く目が覚める人。

にく [niku] [名] [にくまい...] 肉。食肉。筋肉。脂肪のない肉を言う。【類】「すーす」。

にぐー [nigu:] [名] [貝] [にぐ<sup>1</sup>ーまい...] とがりしらなみ。しゃこがいの仲間。珊瑚礁に根付いている。

にぐー [nigu:] [動I類c型] [にげー、にがーん] 願う。神に祈願する。先輩をお願いする。

にぐーす [nigu:sɯ] [動I類c型] [にぐーしー、にぐーしゃん] 根こそぎ取る。根こそぎ倒す。【例】きーう にぐーす する (木を根こそぎ倒せ)。

にぐーふつ [nigu:futsɯ] [名] [にぐーふ<sup>1</sup>つまい...] 願いことば。祈祷。一般に「たうとう」、「とーとう」と言う。

にぐーべー [nigu:be:] [名] [にぐーべ<sup>1</sup>ーまい...] 願いをする人。祈りをする人。

にぐーり [nigu:] [動II類c型] [にぐーりー、にぐーりん] 根こそぎ倒れる。【例】にぐーりー (根こそぎ倒れた)。【同】「にぐーりり」。

にぐーりり [niguri:] [動II類c型] [にぐーりー、にぐーりん] 根こそぎ倒れる。【例】にぐーりー (根こそぎ倒れた)。【同】「にぐーり」。

にくずり [nikudzɯri] [名] [にくず<sup>1</sup>りまい...] 荷崩れ。荷がくずれ落ちること。

にくずりり [nikudzɯri:] [動II類c型] [にくずりー、にくずりん] 荷崩れる。荷が崩れ落ちる。

にぐとう [nigutu] [名] [にぐとうまい...] 寝言。たわごと。寝ている間に無意識に言うことば。【類】「にむぬゆム」。

にくム [nikum] [動I類c型] [にくみー、にくまん] 煮込む。【例】にくー にくム (肉を煮込む)。

にくム [nikum] [動I類c型] [にくみー、にくまん] 憎む。憎く思う。【例】ピとうん にくまいんな (人に憎まれるな)。

にぐり [nigu:] [動I類c型] [にぐりー、にぐらん] 濁る。【例】いきぬ にぐり (池の水が濁る)。

にぐりみず [nigu:midzɯ] [名] [にぐりみ<sup>1</sup>ずまい...] 濁り水。汚れ水。

にくりん [nikurin] [名] [にくり<sup>1</sup>んまい...] 殺鼠剤。ねずみの駆除薬。

にぐるま [niguruma] [名] [にぐる<sup>1</sup>まい...] 荷車。荷馬車。荷を運ぶ車。

にけ [nike] [名] [に<sup>1</sup>けまい...] 今夜。【例】にけー あみやー (今夜は雨だなあ)。

にごー [nigo:] [名] [にご<sup>1</sup>ーまい...] 二号。めかけ。

にじ [nidzi] [名] [にじまい...] ねじ。【例】にじう まギ (ねじを巻く)。とうきーぬ にじ (時計のねじ)。

にしずまり [niɯdzɯma:] [動I類c型] [にしずまりー、にしずまらん] 寝静まる。夜の静けさを意味する。

にじまーす [nidzima:sɯ] [名] [にじまー<sup>1</sup>すまい...] ねじ回し。

にじまーす [nidzima:sɯ] [動I類c型] [にじまーしー、にじまーしゃん] ねじ回す。ねじ伏せる。力ずくで押えつける。【例】やらびう にじまーす (子供をねじ伏せる)。

にじまぎり [nidzimagi:] [動II類c型] [にじまぎりー、にじまぎん] ねじ曲げる。腕をねじ曲げる。金属をねじ曲げる。

にしみ [niɯimi] [名] [にし<sup>1</sup>みまい...] 煮しめ。

にしみり [niɯimi:] [動II類a型] [にしみりー、にしみん] 煮しめる。よく味をしみこませる。【例】うぶにう にしみり (大根を煮しめる)。

にじム [nidzim] [動I類a型] [にじみりー、にじまん] にじむ。液体がにじむ。【例】すムぬ にじム (墨がにじむ)。

にしむぬ [niɯimunu] [名] [にしむぬまい...] 偽物。似非物。本物のように見せかけたもの。

にしゃい [niɯai] [名] [にしゃ<sup>1</sup>まい...] 二才。

青年。若者。  
 にしゃいがっさ [niçaiçassa] [名] [にしゃいがっ  
 っさまい...] 二才頭。字の役員。〈かっさ〉は「頭」  
 の意味。  
 にしゃいぶどうヅ [niçaiçabudu] [名] [にしゃいぶ  
 どう<sup>1</sup>りまい...] 二才踊り。八月おどりの一つ。  
 にしゃぎ [niçagi] [名] [にしゃ<sup>1</sup>ぎまい...] 値下  
 げ。商品の値段を下げること。  
 にじり [nidzi] [動 I 類 c 型] [にじりー、にじら  
 ん] ねじる。長いものの両端を持って反対向き  
 に回す。【例】しゃずう にじり (タオルをねじ  
 る)。  
 にしんだがー [niçindaga:] [名] [井戸] [にしん<sup>1</sup>  
 だがーまい...] 井戸の名。人工井戸。  
 にす [nis] [名] [にすんまい...] 北。北の方角。  
 【例】にすぬ やま (北の山)。にすんけー ふつ  
 (北向き)。【類】「にぬば」。  
 にすかでい [nisçkadi] [名] [にすかでいまい...]  
 北風。  
 にすかでいびらふ [nisçkadibirafu] [名] [にすか  
 でいびらふまい...] 北風の寒さ。  
 にすぎ [nisçgi] [動 II 類 c 型] [にすぎー、にす  
 ぎん] 寝過ぎる。【同】「にすぎり」。【類】「にん  
 すぎ」。  
 にすぎ [nisçgi] [名] [にす<sup>1</sup>ぎまい...] 寝過ぎ。【類】  
 「にんすぎ」。  
 にすぎり [nisçgiri] [動 II 類 c 型] [にすぎー、に  
 すぎん] 寝過ぎる。【同】「にすぎ」。【類】「にん  
 すぎり」。  
 にずくヅ [nidzuku] [名] [にずく<sup>1</sup>りまい...] 荷作  
 り。梱包。【例】めーくんけーぬ にずくり (宮  
 古へ行く荷作りだ)。  
 にすばる [nisçbaru] [名] [に<sup>1</sup>すばる<sup>1</sup>まい...] 北  
 の方の畑・土地。  
 にすみっじ [nisçmiddzi] [名] [地] [にすみっじ  
 まい...] 多良間島の〈とうぶり〉の名前。村史  
 参照。  
 にすむてい [nisçmuti] [名] [にすむていまい...]  
 北の方の里。  
 にすむていム [nisçmutiim] [名] [にすむてい  
 いムまい...] 北の海。

にすむら [nisçmura] [名] [にすむ<sup>1</sup>らまい...] 北  
 の方の集落。  
 にすむらピとう [nisçmurapitu] [名] [にすむらピ  
 とうまい...] 北の方の集落の人。  
 にすむらふつ [nisçmurafutsu] [名] [にすむらふ  
 つまい...] 北の方の集落の入り口。  
 にたがり [nitaga] [動 I 類 c 型] [にたがりー、に  
 たがらん] だだをこねる。わがままをする。反  
 抗する。ひねくれる。【例】あんなんけー にた  
 がり (母に拗ねる)。  
 にたがり [nitaga] [動 I 類 c 型] [にたがりー、に  
 たがらん] 嫉妬する。ねたま。うらめしく思う。  
 【例】にたがりむぬイー (うらめしい話をする)。  
 にたぎなり [nitagina] [動 I 類 c 型] [にたぎな  
 りー、にたぎならん] ねたましい。ねたましそ  
 うだ。残念そうだ。  
 にたしゃ [nitacça] [名] [にたしゃまい...] ねたさ。  
 残念。妬む。  
 にたしゃーり [nitacçari] [形] [にた<sup>1</sup>しゃまい...]  
 残念。妬ましい。【例】にたしゃん ならん (残  
 念でたまらない)。  
 にたしゃーり [nitacçari] [形] [にた<sup>1</sup>しゃまい...]  
 悲しい。【例】にたしゃん ならん (悲しくてた  
 まらない)。  
 にだま [nidama] [名] [にだままい...] 目覚めの  
 悪いこと。寝不足。【例】にだまー ねーん (寝  
 不足はない)。  
 にだまみばな [nidamamipana] [名] [にだまみば  
 なまい...] 寝不足顔。  
 にたむぬ [nitamunu] [名] [にたむ<sup>1</sup>ぬまい...] 憎  
 いこと。残念なこと。恨めしいこと。【例】ばな  
 すう ギきー にたむぬ (話を聞いて残念だ)。  
 にだん [nidan] [名] [にだんまい...] 値段。商品  
 の値段。【類】「だい」。  
 にちよー [nitçõ:] [名] [にちよ<sup>1</sup>ーまい...] スツウ  
 プナカの組織の中の二番かしら。  
 にちよー [nitçijo:] [名] [にちよ<sup>1</sup>ーまい...] 日曜  
 日。  
 につ [nits] [名] [につまい...] 日。日数。【例】じ  
 ゆーぐにつ (十五日)。まいにつ (毎日)。  
 につ [nits] [名] [につまい...] 熱。体温。【例】に

つエー ねーん (熱はない。平温)。につぬ あり (熱がある)。  
 につぎ [nitsʁkɨ] [動 I 類 c 型] [につきー、につかん] 寝つく。ぐっすり寝る。【例】につきった (寝付いた)。  
 につぎ [nitsʁki] [名] [につきまい...] 煮つけ。煮つけ料理。  
 につぎり [nitsʁki] [動 II 類 a 型] [につきー、につぎん] 煮付ける。  
 につさまし [nitsʁsamaçi] [名] [につさま<sup>1</sup>しまい...] 熱さまし。熱さましくすり。  
 につしゆく [niççuku] [名] [につしゆ<sup>1</sup>くまい...] 日食。太陽と地球の間に月が入って太陽が隠される現象。【類】「ていだふむり」。  
 につしん [niççin] [名] [につし<sup>1</sup>んまい...] 熱心。心をこめて打ち込む。【例】につしん ぱたらき (心を込めて働け)。  
 につとー [nitto:] [名] [につと<sup>1</sup>ーまい...] 日当。日給。一日の手間賃。  
 にでいじゅーしゃーり [nididzuru:çi:] [形] [にでいじゅー<sup>1</sup>しゃまい...] 耐え強い。忍耐強い。子供が痛いことを我慢するときに言う。  
 にでいり [nidi:] [動 II 類 c 型] [にでいー、にでいん] 耐える。辛抱する。我慢する。【例】ぴーしゃう にでいり (寒さに耐える)。  
 にどうい [nidui] [名] [干支] [にどう<sup>1</sup>いまい...] 子年。子年生れ。子生まれの人。  
 にどうす [nidusʁ] [名] [干支] 子年。  
 にどうふしゃ [nidufuça] [名] [にどうふ<sup>1</sup>しゃまい...] 粟の草取りを二度行うこと。種播きの後の二度目の草取りのこと。  
 にとうまり [nituma] [動 I 類 c 型] [にとうまりー、にとうまらん] 寝泊る。友人の家に寝泊りする。  
 になう [ninau] [名] [魚] [になうまい...] べらの仲間。【同】「にのー」。  
 になあぐ [niniagu] [名] [になあ<sup>1</sup>ぐまい...] 寝る友。妻のこと。【同】「にんあぐ」。  
 になにヴヴうり [ninivvu:] [動 I 類 a 型] [になにヴヴうりー、になにヴヴうらん] 居眠りする。やりながら眠ってしまう。居眠り運転。テレビを見

ながら眠る。机に座ったまま眠る。〈ふにうくぎ〉(船を漕ぐ)とも言う。  
 になにヴヴうりぎー [ninivvulgi:] [名] [植] [になにヴヴうりぎーまい...] ぎんねむ。【類】「になにヴたらぎー」。「にむりぎー」。  
 になにがた [ninigata] [名] [になにが<sup>1</sup>たまい...] 熟睡に近い頃。【同】「にんがた」。  
 になにがまらしゃーり [ninigamaracı:] [形] [になにがまら<sup>1</sup>しゃまい...] 寝つかれないこと。【同】「にんがまらしゃーり」。  
 になにがまり [ninigama] [動 I 類 c 型] [になにがまりー、になにがまらん] 寝ることを飽きる。【同】「にんがまり」。  
 になにぎん [ninigin] [名] [になにぎ<sup>1</sup>んまい...] 寝巻き。  
 になにくっじ [ninikuddzi] [名] [になにくっ<sup>1</sup>じまい...] 寝不足。不眠。【同】「にんくっじ」。  
 になにくっじり [ninikuddzi:] [動 II 類 c 型] [になにくっじー、になにくっじん] 寝不足になる。不眠である。【例】ゆーきう しー になにくっじー ぶり (夜通し起きたので寝不足だ)。【同】「にんくっじり」。  
 になにずー [ninidzɨ:] [名] [になにず<sup>1</sup>ーまい...] 寝る所。【同】「にんずー」。  
 になにすぎ [ninisʁgi] [動 II 類 c 型] [になにすぎー、になにすぎん] 寝過ぎる。【同】「にんすぎ」。  
 になにすぎ [ninisʁgi] [名] [になにすぎま<sup>1</sup>い...] 寝過ぎ。【同】「にんすぎ」。  
 になにすぎり [ninisʁgi:] [動 II 類 c 型] [になにすぎりー、になにすぎん] 寝過ぎる。【同】「にんすぎり」。  
 になにずぶん [ninidzɨbun] [名] [になにずぶ<sup>1</sup>んまい...] 寝る時分。就寝時間。【同】「にんずぶん」。  
 になにずみしゃーり [ninidzɨmiçi:] [形] [になにずみ<sup>1</sup>しゃまい...] 寝心地がよい。【同】「にんずみしゃーり」。  
 になにすみり [ninisʁmi:] [動 II 類 c 型] [になにすみりー、になにすみん] 寝かせる。【類】「にんすす」。  
 になにだま [ninidama] [名] [になにだ<sup>1</sup>まい...] よく眠る人。【同】「にんだま」。  
 になにつかり [ninitʁkari] [名] [になにつか<sup>1</sup>りまい...]

寝疲れ。【同】「にんつきり」。

ににつきり **[ninitsukari]** [動 II 類 c 型] [ににつきりー、ににつきりん] 寝疲れれる。【同】「にんつきり」。

ににつす **[ninissu]** [動 I 類 c 型] [ににつしー、ににつしゃん] 寝かせる。【例】ににつすいーから すぐとうー する (寝かせてから仕事をしなさい)。【類】「ににすみり」。

ににどうく **[ninidukuna]** [名] [ににどうく<sup>1</sup>なまい...] 寝る場所。【同】「ににどうくな」。

ににどうくま **[ninidukuma]** [名] [ににどうく<sup>1</sup>ままい...] 寝る場所。【同】「ににどうくま」。

ににばな **[ninipana]** [名] [ににば<sup>1</sup>なまい...] 寝初め。赤ちゃんを寝かすときに言う。【同】「にんばな」。

ににふー **[ninifu:]** [名] [ににふー<sup>1</sup>りまい...] 寝るふり。寝たふり。【同】「にんふー」。

ににふし **[ninifuçi]** [名] [ににふ<sup>1</sup>しまい...] 寝ぐせ。【例】ににふしぬ あり (寝癖があるよ)。【同】「にんふし」。

ににふしゆ **[ninifuçu]** [名] [ににふしゆまい...] よく寝る人。遅く起きる人。早起きしない人。【同】「にんふしゆ」。

ににふたー **[ninifuta:]** [動 I 類 c 型] [ににふたーりー、ににふたーらん] 居眠りする。【同】「にんふたー」。

ににふたしゃ **[ninifutaça]** [名] [ににふたしゃまい...] 眠たさ。【同】「にんふたしゃ」。

ににふたしゃー **[ninifutaça:]** [形] [ににふたしゃまい...] 眠たい。【例】ぶがりー ににふたしゃん ならん (疲れて眠りたくてたまらない)。【同】「にんふたしゃー」。

ににふつ **[ninifutsu]** [名] [ににふ<sup>1</sup>つまい...] 寝始め。【同】「にんふつ」。

ににまっふあ **[ninimaffa]** [名] [ににまっ<sup>1</sup>ふあまい...] 寝枕。昔は木の枕で寝た。【同】「にんまっふあ」。

ににむしゃ **[ninimuça]** [名] [魚] [ににむ<sup>1</sup>しゃまい...] しまはぜ。はぜの仲間。

ににむっす **[ninimussu]** [名] [ににむっ<sup>1</sup>すまい...] 寝るむしろ。ごぎ。昼間は片付けて夜

だけ敷く筈。【同】「にんむっす」。

ににむぬイー **[ninimunu:]** [名] [ににむぬイーまい...] 寝言。寝ていて無意識にしゃべること。【同】「にんむぬイー」。

ににむぬゆム **[ninimunuju]** [名] [ににむぬゆ<sup>1</sup>ムまい...] 寝言。【同】「にむぬゆム」。「にんむぬゆム」。

ににり **[nini]** [動 II 類 c 型] [ににー、ににん] 寝る。眠る。

にぬイ **[ninu]** [名] [干支] [にぬ<sup>1</sup>イまい...] 子の日。

にぬイぬ ピー **[ninunū pi:]** [名] [干支] [にぬイ<sup>1</sup>ぬピーまい...] 子の日。

にぬイムまり **[ninuimari]** [名] [干支] [にぬイムまりまい...] 子の日生まれ。子の日に生まれた人。

にぬば **[ninupa]** [名] [にぬば<sup>1</sup>んまい...] 子の方角。北の方角。北極星の見える方向。

にぬばでいー **[ninupadi:]** [名] [にぬ<sup>1</sup>ばでいーんまい...] 子の里。土原。嶺間。

にぬばぶす **[ninupabusu]** [名] [にぬ<sup>1</sup>ばぶすまい...] 北極星。北の方角の星。昔は航海の目印とされた。「ていんさぐぬはな」の一節にある。〈ゆる はらす ふにや にぬふあぶす みああてい〉 (夜走らせる船は北極星を見当て)。

にのー **[nino:]** [名] [魚] [にのーまい...] せなすじべら。べらの仲間。【同】「になう」。

にのみやきんじろー **[ninomijakindziro:]** [名] [にのみ<sup>1</sup>やきんじろーまい...] 二宮金次郎。二宮尊徳の幼名。多良間小学校の校庭に像が立つ。勤勉家。働きながら勉学に励む。

にば **[niba]** [接尾] ~しないので。~しないから。【例】しゆーまんにば (やらないので。やらないから)。ににまんにば (寝ないので・寝ないから)。

にばイ **[niba:]** [名] [にば<sup>1</sup>イまい...] 根這い。根張り。根っこ。草木の根。植物の根の張り具合。

にばい **[nibai]** [名] [にば<sup>1</sup>いまい...] 二倍。

にばり **[niba]** [名] [魚] [にば<sup>1</sup>りまい...] はたの総称。めばる。

にばり **[niba]** [動 I 類 c 型] [にばりー、にばら

ん) ねばる。頑張る。耐える。【例】にばりばどう イズおー とうらいり (ねばれば魚は釣れる)。

にばりずー [niba[dzɯː] [名] [にばりずーまい...] はた釣り。釣りのこと。投げ釣りではたをとる。

にばん [niban] [名] [にばんまい...] 二番。二番目。

にばんじゃー [nibandʒaː] [名] [にばんじゃーまい...] 二番座。一番座の次の部屋。

にばんどうり [nibandu] [名] [にばんどうりまい...] 二番鶏。一番鶏の次に鳴く鶏。

にばんなび [nibannabi] [名] [にばんなびまい...] 二番鍋。製糖小屋の二番目の鍋。

にびー [nibiː] [名] [にびーまい...] 寝冷え。冷えて寝ること。

にびぎ [nibikɯ] [動I類c型] [にびぎー、にびかん] 値引きする。【類】「まきり」。

にびし [nibiʃi] [名] [にびしまい...] 根岩。岩盤。

にぶい [nibui] [名] [にぶいまい...] 首。頸。【例】ながにぶい (長い首)。しゃずう にぶいん まぎ (タオルを首に巻く)。

にふしゃーり [nifuʃaːri] [形] [にふしゃーりまい...] 遅い。時間が遅い。仕事が遅い。駆け足が遅い。【例】ばぎやみーりばどう にふしゃーり (足が痛いので遅い)。

にふしゃらす [nifuʃarasɯ] [動I類a型] [にふしゃらしー、にふしゃらしゃん] 煮腐らせる。煮物を腐らせる。一旦煮たものが腐らせること。【例】なつんや にふしゃらす (夏には煮腐らせる)。

にふしゃり [nifuʃari] [名] [にふしゃりまい...] 煮腐れ。煮物の腐れ。一旦煮たものが腐ること。【例】にふしゃりむのー わーぬ むてい (煮腐ったものは豚に与えよ)。

にふしゃりかだ [nifuʃarikada] [名] [にふしゃりかだまい...] 煮腐れ臭。煮腐れものにおい。

にふしゃりり [nifuʃari] [動II類a型] [にふしゃりー、にふしゃりん] 煮腐れる。煮たものが腐れる。

にぶしゆく [nibuʃuku] [名] [にぶしゆくまい...] 寝不足。不眠。【例】ゆべー にぶしゆくどう あたり (昨夜は寝不足だった)。

にぶとう [nibutu] [名] [にぶとうまい...] ねぶと。おでき。皮ふのはれもの。根太。

にぶり [nibu] [動I類c型] [にぶりー、にぶらん] 鈍る。悪くなる。【例】かなまりぬ にぶり (頭が悪くなる)。

にぶり [niburi] [名] [にぶりまい...] 寝ぼけ。起きたばかりの甘えた声。

にぶりぐい [nibuɡui] [名] [にぶりぐいまい...] 寝ぼけ声。【同】「にぶりぐい」。

にぶりぐい [niburigui] [名] [にぶりぐいまい...] 寝ぼけ声。【同】「にぶりぐい」。

にぶりどうり [niburidu] [名] [にぶりどうりまい...] 寝ぼけ鶏。鳴き時を遅える鶏。

にぶりみばな [niburimipana] [名] [にぶりみばなまい...] 寝ぼけ顔。寝ぼけた顔つき。朝起きてまだ目覚めていない顔。

にぶりむぬイー [nibu[munuː] [名] [にぶりむぬイーまい...] 寝ぼけ物言い。寝言。寝ている間に発する言葉。【同】「にぶりむぬイー」。

にぶりむぬイー [niburimunuː] [名] [にぶりむぬイーまい...] 寝ぼけ物言い。寝言。寝ている間に発する言葉。【同】「にぶりむぬイー」。

にぶりり [niburi] [動II類c型] [にぶりー、にぶりん] 寝ぼける。

にぶん [nifun] [名] [にぶんまい...] 日本。日本国。日本人。

にへく [niheku] [名] [にへくまい...] 二百。にひやく。【例】にへくめーとる (二百メートル競走)。

にへくとうか [nihekutuka] [名] [にへくとうかまい...] 二百十日。立春から数えて210日。9月1日頃。台風の季節。

にまーす [nimaːsɯ] [動I類c型] [にまーしー、にまーしゃん] 根回す。木を移植するとき行う作業。【例】まつぎーう にまーす (松の木を根回しする)。

にまき [nimaki] [名] [にまきまい...] 寝巻き。寝間着。

にむつ [nimutsʃ] [名] [にむ<sup>1</sup>つまい...] 荷物。手荷物。船や車の積み荷。【例】たびんけーぬにむつ (旅行の荷物)。

にむとう [nimutu] [名] [にむとう<sup>1</sup>んまい...] 根元。根っこ。【例】にむとうん ムたう ゆしる (根元に土を寄せなさい)。

にむぬイー [nimunu:] [名] [にむぬイーまい...] 寝言を言うこと。寝ている間に無意識に言う。【類】「にんむぬゆム」。

にむぬゆム [nimunujum] [名] [にむぬゆ<sup>1</sup>ムまい...] 寝言。【同】「ににむぬゆム」。「にんむぬゆム」。【類】「にぐとう」。「にむぬイー」。

にむりぎー [nimurigi:] [名] [植] [にむりぎ<sup>1</sup>ーまい...] ぎんねむ。夕方に日光が弱くなると葉を閉じる。豆科の植物。【類】「にヴたらぎー」。「ににヴヴう<sup>1</sup>ぎー」。

にゆーさつ [nju:satsʃ] [名] [にゆーさ<sup>1</sup>つまい...] 入札。工事の入札。

にら [nira] [名] [植] [にらまい...] 蕪。風味食材。

にらい [nira] [名] [にらいま<sup>1</sup>い...] 狙い。目当て。【例】きゅーぬ にらいや (今日の狙いは)。にらいゆ つき<sup>1</sup> (目当てをつける)。

にらいかない [niraikanai] [名] [にらいかな<sup>1</sup>いから...] 海の彼方にあるとされる浄土。楽土。

にらう [nirau] [動I類c型] [にれー、にらーん] 狙う。【例】うーむぬー にらうぐまた (大物を狙うべきだ)。

にらまい<sup>1</sup> [niramai] [動II類c型] [にらまいー、にらまいん] 睨まれる。【例】ちゅーピーとー にらまい<sup>1</sup> (強い人は狙われる)。【同】「にらまり<sup>1</sup>」。

にらまり<sup>1</sup> [niramari] [動II類c型] [にらまりー、にらまりん] 睨まれる。【同】「にらまい<sup>1</sup>」。

にらム [niram] [動I類c型] [にらみー、にらまん] 睨む。じっと睨む。【例】あんなが みばなう にらム (母の顔をじっと睨む)。

に<sup>1</sup> [ni] [名] [に<sup>1</sup>りまい...] 古謡。神歌。長歌。〈雨乞いぬに<sup>1</sup>〉。〈あが<sup>1</sup>りんけーぬ に<sup>1</sup>〉。〈かずがムぬ に<sup>1</sup>〉。〈ムたばるとうゆめぬ に<sup>1</sup>〉

等々。村史参照。【例】に<sup>1</sup>る っさいー わーり (神歌を申しあげなさい)。

に<sup>1</sup> [ni] [動I類c型] [に<sup>1</sup>りー、にらん] 練る。水でこねる。【例】ムたう に<sup>1</sup> (土をこねる)。

に<sup>1</sup>あーす [ni[a:sʃ] [動I類c型] [に<sup>1</sup>りあーしー、に<sup>1</sup>りあーしゃん] 練り合わせる。

に<sup>1</sup>なうす [ni[nausʃ] [動I類c型] [に<sup>1</sup>りなうしー、に<sup>1</sup>りなうしゃん] 練り直す。【同】「に<sup>1</sup>のーす」。

に<sup>1</sup>のーす [ni[no:sʃ] [動I類c型] [に<sup>1</sup>りのーしー、に<sup>1</sup>りのーしゃん] 練り直す。【同】「に<sup>1</sup>なうす」。

に<sup>1</sup>ら [ni[ra] [名] [に<sup>1</sup>らまい...] 地の底。地中深い所。【例】に<sup>1</sup>らがみ かでい<sup>1</sup> (地中深くまで掘る)。

に<sup>1</sup>らが<sup>1</sup>ら [ni[aga][ra] [名] [に<sup>1</sup>ら<sup>1</sup>が<sup>1</sup>らう「しー...」 寝たり起きたりする。長雨のとき仕事が出来なくて家で寝たり起きたりする。

に<sup>1</sup>る [niru] [名] [に<sup>1</sup>るまい...] ねる。冬用の綿入れの衣類。【類】「に<sup>1</sup>るぎん」。

に<sup>1</sup>るぎん [nirugn] [名] [に<sup>1</sup>るぎんまい...] ねる。冬用の綿入れの衣類。【類】「に<sup>1</sup>る」。

に<sup>1</sup>ん [nin] [助数] ~人。人を数える。【例】さん に<sup>1</sup>ん (三人)。ぐに<sup>1</sup>ん (五人)。

に<sup>1</sup>ん [nin] [助数] ~年。~年間。年数の単位。【例】さん に<sup>1</sup>ん (三年)。ぐに<sup>1</sup>ん (五年)。

に<sup>1</sup>ん [nin] [名] [に<sup>1</sup>んまい...] 念。思い。丹念。【例】に<sup>1</sup>んい<sup>1</sup>り (念を入れる)。に<sup>1</sup>んや ねーん (熱心でない。粘りが無い)。

に<sup>1</sup>んあぐ [nin.agu] [名] [に<sup>1</sup>んあ<sup>1</sup>ぐまい...] 寝る友。妻のこと。【同】「に<sup>1</sup>にあぐ」。

に<sup>1</sup>んイー [ni[ni:] [名] [に<sup>1</sup>んイーまい...] 念入り。入念。注意深くすること。【同】「に<sup>1</sup>んい<sup>1</sup>り」。

に<sup>1</sup>んい<sup>1</sup>り [ni[ni.iri] [名] [に<sup>1</sup>んい<sup>1</sup>りまい...] 念入り。入念。注意深くすること。【同】「に<sup>1</sup>んイー」。

に<sup>1</sup>んが<sup>1</sup>き<sup>1</sup> [ni[ngaki] [動II類c型] [に<sup>1</sup>んが<sup>1</sup>きー、に<sup>1</sup>んが<sup>1</sup>きん] 念がける。専念する。念を入れる。ひたすらにする。懸命にする。【例】すぐとー に<sup>1</sup>んが<sup>1</sup>き<sup>1</sup> (仕事に専念せよ)。

に<sup>1</sup>んが<sup>1</sup>た [ni[ngata] [名] [に<sup>1</sup>んが<sup>1</sup>た<sup>1</sup>まい...] 熟睡に近い頃。【例】やがてい に<sup>1</sup>んが<sup>1</sup>た (もう少し

で寝る頃だ)。【同】「ににがた」。

にんがまらしゃーり [ningamarāçɑ:] [形]〔にんがまら<sup>1</sup>しゃまい...〕寝つかれない。近所の騒がしい音で寝付かれない。【同】「ににがまらしゃーり」。

にんがま [ningama] [動I類c型]〔にんがまりー、にんがまらん〕寝ることを飽きる。雨続きには家の中に寝転んでばかりいるのでそういう状況になる。【同】「ににがま [ningama]」。

にんぎ [ninkj] [名]〔にん<sup>1</sup>ぎまい...〕年忌。命日。

にんぎこーくー [ninkjko:ku:] [名]〔にん<sup>1</sup>ぎこーくーまい...〕年忌法要。法事のこと。

にんぎつ [ningitsj] [名]〔にんぎつまい...〕年月。歳月。【例】にんぎつぬ たつペーむぬ (年月の経つのは早いものだ)。

にんきゅー [ninkju:] [名]〔にんきゅーまい...〕年給。年俸。

にんぎん [ningin] [名]〔にんぎ<sup>1</sup>んまい...〕人間。人。人類。人柄。人物。【例】うどうろー にんぎんぬどう ムまりー ぶり (ウドゥルは人間として立派だ)。

にんくっじ [ninkuddzi] [名]〔にんくっ<sup>1</sup>じまい...〕寝不足。不眠。【同】「ににくっじ」。

にんくっじり [ninkuddzi] [動II類c型]〔にんくっじー、にんくっじん〕寝不足になる。不眠である。【同】「ににくっじり」。

にんぐる [ninguru] [名]〔にんぐ<sup>1</sup>るまい...〕めかけ。愛人。

にんしえー [ninçɛ:] [名]〔にんしえ<sup>1</sup>ーまい...〕忍耐強い人。よく頑張る人。【例】にんしえーんどう イズおー とうらいり (忍耐強い人に魚は釣れる)。

にんじゃー [nindzɑ:] [名]〔にんじゃ<sup>1</sup>ーまい...〕寝室。寝床。

にんじゅ [nindzju] [名]〔にん<sup>1</sup>じゅまい...〕人衆。人々。人員。仕事をする人数。

にんじゅー [nindzju:] [副] 年中。一年中。一年間。

にんじょー [nindzo:] [名]〔にんじょ<sup>1</sup>ーまい...〕人情。思いやり。【例】にんじょーぬ ふかピとう (人情深い人)。【類】「なしゃき」。

にんずー [nindzj:] [名]〔にんず<sup>1</sup>ーまい...〕寝る所。【同】「ににずー」。

にんすうー [ninsu:] [名]〔にんすうーまい...〕年数。【例】にんすうーぬどう たらーん (年数が足りない)。

にんすぎ [ninsjg] [動II類c型]〔にんー、にんん〕寝過ぎる。【同】「にんすぎり」。【類】「にすぎ」。

にんすぎ [ninsjgi] [名]〔にんすぎま<sup>1</sup>い...〕寝過ぎ。【類】「にすぎ」。

にんすぎり [ninsjgil] [動II類c型]〔にんすぎー、にんすぎん〕寝過ぎる。【同】「にんすぎ」。

【類】「にすぎり」。

にんすけーり [ninsjke:] [動I類c型]〔にんすけーりー、にんすけーらん〕子どもが寝て落ちつかない。寝返りが激しい。

にんずぶん [nindzjbun] [名]〔にんずぶ<sup>1</sup>んまい...〕寝る時分。就寝時間。【同】「ににずぶん」。

にんずみしゃーり [nindzjmīçɑ:] [形]〔にんずみ<sup>1</sup>しゃまい...〕寝心地がよい。【同】「ににずみしゃーり」。

にんそー [ninsɔ:] [名]〔にんそ<sup>1</sup>ーまい...〕人相。人の顔だち。顔のつくり。【類】「かくず」。

にんたーらん [ninta:ran] [連語] 熟睡しないこと。【類】「なまにに」。

にんたうじー [nintaudzi:] [名]〔にんた<sup>1</sup>うじーまい...〕人頭税。1637年から1903年の間、15歳から50歳までに課せられた税。【同】「にんとーじー」。

【類】「じんたうじー」。「にんたうじー」。

にんたがいら [nintagaira] [名]〔にん<sup>1</sup>たがいら<sup>1</sup>まい...〕横になったり起きたりすること。

にんたがいり [nintagai] [動I類c型]〔にんたがいりー、にんたがいらん〕寝ころがる。【例】あみふりんや にんたがいり (雨降りには寝転がる)。

【同】「にんたがり」。

にんたがり [nintaga] [動I類c型]〔にんたがりー、にんたがらん〕寝ころがる。【例】あみふりんや にんたがり (雨降りには寝転がる)。

【同】「にんたがいり」。

にんだま [nindama] [名]〔にんだ<sup>1</sup>ままい...〕よ

く眠る人。【同】「ににだま」。

にんつかり [nintsɯkari] [名]〔にんつか<sup>1</sup>りまい...〕  
寝疲れ。寝すぎ。【同】「ににつかり」。

にんつかり<sup>り</sup> [nintsɯkari] [動 II 類 c 型]〔にん  
つかり一、にんつかりん〕寝疲れる。寝すぎる。  
【同】「ににつかり<sup>り</sup>」。

にんてい [ninti] [名] [干支]〔にん<sup>1</sup>ていまい...〕  
子年。ねずみ年。

にんていやーっすう [nintija:ssu] [名]〔にん<sup>1</sup>て  
いやーっすうまい...〕子年の大飢饉。1852 年 3  
度にわたって台風があり、家や農作物も全滅し  
た。その上疫病にも苦しめられ 2139 人の死者  
が出た。

にんとう一 [nintu:] [名]〔にんとう一まい...〕年  
頭。年始廻り。新年の挨拶廻り。

にんとう一じー [nintu:dzi:] [名]〔にんとう一じ  
ーまい...〕人頭税。琉球王府が宮古、八重山に  
課した重税。1637 年から 1903 年まで 266 年  
間。

にんどうく<sup>な</sup> [nindukuna] [名]〔にんどうく<sup>1</sup>な  
まい...〕寝る場所。【同】「にんどうく<sup>ま</sup>」「に  
んどうくる」。

にんどうく<sup>ま</sup> [nindukuma] [名]〔にんどうく<sup>1</sup>ま  
まい...〕寝る場所。

にんどうく<sup>ら</sup> [nindukura] [名]〔にんどうく<sup>1</sup>ら  
まい...〕寝床。

にんと一じー [ninto:dzi:] [名]〔にんと一じーま  
い...〕人頭税。1637 年から 1903 年の間、15 歳  
から 50 歳までに課せられた税。【同】「じんと  
一じー」。

にんない [ninnai] [名]〔にんないまい...〕年内。  
【例】にんないん すまいる (年内に終わちなさい)。

にんにん [ninnin] [副] 年々。毎年。【同】「とう  
すぬかず」。

にんば<sup>な</sup> [ninpana] [名]〔にんば<sup>1</sup>なまい...〕寝  
初め。赤ちゃんを寝かすときに言う。【同】「に  
にばな」。

にんぷ [ninpu] [名]〔にん<sup>1</sup>ぷまい...〕人夫。労働  
者。昔の言い方。

にんふ<sup>り</sup> [ninfu:] [名]〔にんふ<sup>1</sup>りまい...〕寝

るふり。寝たふり。【同】「ににふ<sup>り</sup>」。

にんふ<sup>げり</sup> [ninfuge:] [動 I 類 c 型]〔にんふ  
げり一、にんふげらん〕寝つかれず動転す  
る。

にんふ<sup>し</sup> [ninfuci] [名]〔にんふ<sup>1</sup>しまい...〕寝ぐ  
せ。【同】「ににふ<sup>し</sup>」。

にんふ<sup>た</sup> [ninfuta:] [動 I 類 c 型]〔にんふ  
た一り一、にんふたらん〕居眠りする。【同】  
「ににふ<sup>た</sup>」。

にんふ<sup>た</sup>しや<sup>り</sup> [ninfuta:ca:] [形]〔にんふたし  
やまい...〕眠たい。【同】「ににふ<sup>た</sup>しや<sup>り</sup>」。

にんふ<sup>つ</sup> [ninfutsɯ] [名]〔にんふ<sup>1</sup>つまい...〕寝始  
め。【同】「ににふ<sup>つ</sup>」。

にんぶ<sup>つ</sup> [ninbutsɯ] [名]〔にんぶ<sup>1</sup>つまい...〕念  
仏。仏に声を出して唱える。多良間には無い。

にんま<sup>つ</sup> [ninmatsɯ] [名]〔にんまつまい...〕年  
末。年の暮れ。

にんま<sup>つ</sup>ふ<sup>あ</sup> [ninmaffa] [名]〔にんまつ<sup>1</sup>ふあ  
まい...〕寝枕。昔は木の枕で寝た。【同】「ににま  
つ<sup>ふあ</sup>」。

にんむ<sup>つ</sup>す<sup>う</sup> [ninmussu] [名]〔にんむつ<sup>1</sup>すうま  
い...〕寝るむしろ。ござ。【同】「ににむつ<sup>すう</sup>」。

にんむ<sup>ぬ</sup>ゆ<sup>ム</sup> [ninmunujum] [名]〔にんむぬゆ<sup>1</sup>  
ムまい...〕寝言。【同】「ににむぬゆ<sup>ム</sup>」「にむ  
ぬゆ<sup>ム</sup>」。【類】「にぐ<sup>とう</sup>」「にむぬ<sup>い</sup>」。

にんや ね<sup>一</sup>ん [nin.ja nen] [連語] 忍耐のない  
こと。飽きやすい人。

## — ぬ —

ぬ [nu] [助] ～が。～の。主格と属格の助詞。【例】ぬーまぬ ふしゃ (馬の草)。ぴんだぬ ふしゃ (山羊の草)。ぬーまぬどう ふしゃう ふえーぶり (馬が草を食べている)。ヴヴあが みなかんどー ぴんだぬ ぶりろー (君の庭に山羊がいるよ)。【類】「が」。

ぬ ねーん [nu ne:n] [接尾] ～のように。【例】うぬ ピとうぬ ねーん しる (その人のようにしなさい)。

ぬ ねーんしー [nu ne:nçi:] [接尾] ～のようにして。【例】うぬ ピとうぬ ねーん しー (その人のようにして)。

ぬ ぶどう [nu pudu] [連語] ～のほど。いつ頃。【例】あかりぬ ぶどう いみしゃーり (蟻ほど小さい)。

ぬ ムめ [nu mme] [連語] ～たち。～ら。～ども。複数を表わす。【例】やらびぬ ムめ (子供たち)。かんギたが ムめ (あれら・あの人たち)。【類】「ぬけー」。

ぬいくム [nuikum] [動 I 類 c 型] [ぬいくみー、ぬいくまん] 縫い込む。合わせの着物を作るのに棉を縫い込む。

ぬー [nu:] [名] [疑] [ぬーまい...] 何。【例】ぬーが (何か)。くぬ つつムや ぬーが (この包みは何か)。ぬーが しらいり (何ができるか)。ぬーぬが (何が)。ぬーぬが ぷっさーりば (何が欲しいか)。ぬーぬが しらいり (何が出来るか) あんや ぬーぬが しらいりば (ぼくには何が出来るか)。ぬーがていー (何かと)。ぬーがていー みしる (何かと見せなさい)。ぬーぐとうが (何ごとか)。かぬ うとー ぬーぐとうが (あの音は何ごとか)。ぬーから (何から)。ぬーぬ つみ (何の罪か。何の罰か。何の科か)。ぬーすたりがげーら (何をしたか分からないが)。

ぬーゆてーん (何をばかり)。ぬーゆてーんがしー ぶりば (何をばかりしているのか)。

ぬー [nu:] [名] [ぬーま<sup>1</sup>い...] 野。野原。原野。荒地。【例】ぬーんけー ふしゃかりが (野へ草刈りに)。ずーぬ ぬーん なりー (畑が荒地になった)。

ぬー [nu:] [動 I 類 c 型] [ねー、なーん] 縫う。糸で縫う。繕う。【例】やりふくー ぬー (破れた服を縫う)。

ぬー [nu:] [動 I 類 c 型] [ねー、なーん] 綱う。縄を綱う。【例】ぬーまぬ んなーう ぬー (馬の手綱を綱う)。

ぬー ありば [nu: a|ba] [連語] それがどうしたか。【例】あんしー イーたかー ぬー ありば (そんなことを言ったら、それがどうしたと言うのか)。

ぬー しゅばが [nu: şubağa] [連語] どうすれば。【例】ぬー しゅばが わーてい ならずー (どうすればよくなるだろうか)。

ぬー すたりくとう [nu: şta|kutu] [連語] どうしたことか。何をどうしたか。【例】ヴヴあくれーが ぬー すたり くとうが (君ほどの者がどうしたか)。

ぬー ねーんが [nu: nenga] [連語] 何がどれほどに。【例】ぬーねーんが しらいり (どれほどのことができるか)。ぬーねーんが ふあーいり (どれほど食べるか)。

ぬー やらばまい [nu: jarabamai] [連語] 何がなんでも。まさか。いくらなんでも。【例】ぬー やらばまい とーしん すーどうす (何がなんでも当選するよ)。

ぬーが [nu:ga] [連語] 何か。どうしたか。口喧嘩のときなどに言う。【例】ヴヴあがまー ぬーが (君こそ何か)。

ぬーが しらいり [nu:ga şirai] [連語] 何が出来る。仕方がない。どうにもならない。【例】まきーから ぬーが しらいり (負けてしまったのは仕方がない)。

ぬーがー [nu:ga:] [連語] 何かなあ。【例】かれーぬーがー (あれは何かなあ)。

ぬーかいり [nu:kai] [動 II 類 c 型] [ぬーかいー、

ぬーかいん 縫い替える。衣服を作り替える。  
【例】 どうーん あーしー ぬーかいり (自分の体に合わせて縫いかえる)。

ぬーがらー [nu:gara:] [名] [ぬーがらーまい...]  
何か。何やら。【例】 ぬーがらーぬ みーらいり (何やら見える)。

ぬーがらす [nu:garas:] [動 I 類 c 型] [ぬーがらしー、ぬーがらしゃん] はかどらせる。【例】 すぐとうー ぬーがらす (仕事をはかどらせる)。

ぬーがり [nu:ga:] [動 I 類 a 型] [ぬーがりー、ぬーがらん] はかどる。進捗する。仕事が順調に進む。能率が上がる。【例】 ぬーがりむぬどー (仕事がよくはかどる)。

ぬーがりむぬ [nu:ga[munu]] [名] [ぬーがりむ<sup>1</sup>ぬまい...] よくはかどる。【例】 かしー すばぬーがりむぬ (手伝うからはかどる)。

ぬーギん [nu:gɪn] [名] [ぬーギんまい...] 縫った着物。自作の着物。

ぬーくり [nu:ku:] [連語] あれこれ。なんだかんだか。なんやかんや。【例】 ぬーくりていーしゃもーぎ (あれこれと取り乱す)。

ぬーしー [nu:ʃi:] [副] [疑] どのように。【例】 ぬーしーが すぐまたが (どのようにしようか)。

ぬーしゃ [nu:ʃa] [副] [疑] どんな。どんな様子。【例】 しきんや ぬーしゃが あたり (テストはどんなだったか)。

ぬーじゅー [nu:dʒu:] [名] [ぬーじゅ<sup>1</sup>ーまい...] 山菜。野の食草。

ぬーしり [nu:ʃi:] [動 II 類 a 型] [ぬーしー、ぬーしん] 乗せる。載せる。車に乗せる。新聞に載せる。【例】 くりが わーびん ぬーしり (これの上に乗せる)。

ぬーずー [nu:dʒi:] [動 I 類 c 型] [ぬーっじー、ぬーっじゃん] うめく。呻く。【例】 ばたやみーぬーじー ぶり (腹痛で呻いている)。

ぬーっふあ ねーん [nu:ffa ne:n] [連語] 何も大したことはない。【例】 ぬーっふあ ねーん やム (大したことの無い病気だ)。【類】 「ぬーしゃねーん」。

ぬーていーが イー [nu:ti:ga ɪ:] [連語] 何というか。何を言っているか。

ぬーていーまい [nu:ti:mai] [連語] どういうこと。【例】 ぬーていーまいどう イー (わけの分からないことを言う)。

ぬーていーまい ねーん [nu:ti:mai ne:n] [連語] 何ともない。何の知らせもない。便りもない。【例】 たじからー ぬーていーまい ねーん (旅の人からは何の知らせもない)。

ぬーていや ねーん [nu:tija ne:n] [連語] 何の理由もない。【例】 ぬーていーや ねーん なきーぶり (わけが分からないが泣いている)。

ぬーどう ぬーていー ねーん [nu:du nu:ti: ne:n] [連語] 何を理由に。何となく。何がどうしたというのか。【例】 ぬーどう ぬーていー ねーん ばしゃっじーり (何の理由か分からないが怒っている)。ぬーどう ぬーていー ねーん なきーぶり (何となく泣いている)。

ぬーどうい [nu:dui] [名] [疑] [ぬ<sup>1</sup>ーどういががらまい...] 何干支。何年生まれ。干支は何の年生まれ。

ぬーぬ ばーが [nu:nu ba:ga] [連語] 何の意味か。何のわけか。どうしたことか。【例】 ばれー ぶりろー ぬーぬ ばーが (笑っているのはどういう意味か)。

ぬーぬイ [nu:nuɪ] [名] [疑] [ぬ<sup>1</sup>ーぬイがやらまい...] 何の日。干支は何の日。

ぬーばかり [nu:baka:] [連語] 何ほどの。どれほどの。【例】 ぬーばかりぬ ピとうが (どれほどの人か)。

ぬーぱずみ [nu:padzɪmi] [名] [ぬーぱず<sup>1</sup>みまい...] 縫い初め。太平洋戦争が終わるとアメリカ軍の払い下げ軍服を体に合うように作り替えた。

ぬーぱり [nu:pa:] [名] [ぬーぱ<sup>1</sup>りまい...] 縫い針。縫い針の他に「待ち針」がある。待ち針は布がずれないように止める針。

ぬーピとう [nu:pɪtu] [名] [ぬ<sup>1</sup>ーピとうまい...] 何人。どんな人。どれ程の地位の人か。

ぬーピとう [nu:pɪtu] [名] [ぬ<sup>1</sup>ーピ<sup>1</sup>とうまい...] 縫う人。裁縫している人。どの家庭でも母はアメリカ軍の払い下げ軍服を作り替える裁縫人であった。

ぬーぴんだ [nu:pinda] [名] [ぬーぴん<sup>1</sup>だまい...] 野山羊。野に放し飼いの山羊。放牧山羊のこと。

ぬーふつ [nu:futsɯ] [名] [ぬーふ<sup>1</sup>つまい...] 縫い口。縫い初める部分。

ぬーふつ [nu:futsɯ] [名] [ぬーふ<sup>1</sup>つまい...] 野の入り口。

ぬーぶどう [nu:pudu] [名] [疑] [ぬーぶどうまい...。ぬ<sup>1</sup>ーぶどうまい...] 何程。いか程。【例】ぬーぶどうぬ きくが (いか程の客か)。

ぬーぶり [nu:beri] [連語] 何の迷いか。【例】ぬーぶりう しー<sup>9</sup> (何の迷いがあるのか)。

ぬーま [nu:ma] [名] [ぬー<sup>1</sup>ままい...] 三線の駒。三線の弦を乗せる具。

ぬーま [nu:ma] [名] [ぬー<sup>1</sup>ままい...] 馬。野馬か。

ぬーまあるー [nu:maaru:] [名] [ぬー<sup>1</sup>まあるーまい...] 馬洗い。海辺で泳がせた。夏の畑仕事で汗をかいた馬を泳がせた。

ぬーまい [nu:mai] [連語] 何も。何でも。何を。【例】ぬーまい ねーん (何もない)。ぬーまい しらいん (何も出来ない。手伝いをしてあげられない)。

ぬーまい あらん [nu:mai aran] [連語] 何でもない。【例】ぬーまい あらんー (何の心配事ではないからなあ)。

ぬーまい いかまい [nu:mai ikamai] [連語] 何もかも。

ぬーまうー [nu:mau:] [名] [ぬー<sup>1</sup>まうーまい...] 馬を追う。馬追い。シートヤーの馬追い。

ぬーまヴヴあい [nu:mavvai] [名] [ぬー<sup>1</sup>まヴヴあいまい...] 馬小屋から出た肥料。

ぬーまうーべー [nu:mau:be:] [名] [ぬー<sup>1</sup>まうーべーまい...] 馬を追う係。さとうきびは歯車で圧搾した。馬の力が動力源だった。その馬を追いつける係のことである。

ぬーまじゅー [nu:madzu:] [名] [ぬー<sup>1</sup>まじゅーまい...] 馬汁。

ぬーまだつ [nu:madatsɯ] [名] [ぬー<sup>1</sup>まだつまい...] 馬小屋。厩舎 (きゅうしゃ)。

ぬーまつかぬー [nu:matskanu:] [名] [ぬー<sup>1</sup>まつ

かぬー<sup>1</sup>まい...] 馬を飼うこと。馬に草や水を給すること。

ぬーまぬ かムぎ [nu:manu kamgi] [名] [ぬーま<sup>1</sup>ぬかムぎ<sup>1</sup>まい...] 馬のたてがみ。

ぬーまぬ しー [nu:manu ci:] [名] [ぬーま<sup>1</sup>ぬしー<sup>1</sup>まい...] 馬の背。

ぬーまぬ つふあ [nu:manu ffa] [名] [ぬーま<sup>1</sup>ぬつふあ<sup>1</sup>まい...] 馬の子。子馬。

ぬーまぬ つふあい [nu:manu ffai] [名] [ぬーま<sup>1</sup>ぬつふあいまい...] 馬小屋から出される肥料。厩肥 (きゅうひ)。

ぬーまぬ ふしゃ [nu:manu fuça] [名] [ぬーま<sup>1</sup>ぬふしゃ<sup>1</sup>まい...] 馬の草。馬の飼料用の草。

ぬーまぬ ふしゆ [nu:manu fuçu] [名] [ぬーま<sup>1</sup>ぬふしゆ<sup>1</sup>まい...] 馬の糞。馬糞 (ばふん)。

ぬーまぬ ふら [nu:manu fura] [名] [ぬーま<sup>1</sup>ぬふら<sup>1</sup>まい...] 馬の鞍。

ぬーまぬ みばな [nu:manu mipana] [名] [ぬーま<sup>1</sup>ぬみばな<sup>1</sup>まい...] 馬の顔。

ぬーまばらす [nu:maparasɯ] [名] [ぬー<sup>1</sup>まばらす<sup>1</sup>まい...] 馬を走らせる。

ぬーまぶに [nu:mabuni] [名] [ぬー<sup>1</sup>まぶにまい...] 馬の骨。

ぬーみー [nu:mi:] [名] [ぬーみ<sup>1</sup>ーまい...] 縫い目。

ぬーみつ [nu:mitsɯ] [名] [ぬーみ<sup>1</sup>つまい...] 野道。山道。【類】「やみつ」。

ぬームいけム [nu:m.ikem] [連語] どうにも。【例】きふしゃんどう ぬーム いけム ならん (煙たくて、どうにもならない)。

ぬームかーム [nu:mka:m] [副] 何もかも。あれこれ。【例】ぬーム かーム ゆいー ギー (何もかももらってくる)。

ぬーむぬ [nu:munu] [名] [ぬーむ<sup>1</sup>ぬまい...] 縫い物。縫う仕事。裁縫。

ぬームまり [nu:mmari] [名] [疑] [ぬ<sup>1</sup>ームまりまい...] どういう生れ。どういう生い立ちか。【例】ぬームまりうが すたりば (どんな教えを受けたか)。

ぬーやとうム [nu:jatum] [連語] 何も。【例】ぬーやとうム ねーん (何もない)。

ぬーやま [nu:jama] [名]〔ぬーや<sup>1</sup>ままい...〕野山。荒れ放題の畑。

ぬーゆが うすけ [nu:juga us̥ke] [連語] 何をそんなに。何をそこまで。【例】ぬーゆが うすけ ゆムが (何をそんなに言っているか)。

ぬーゆがみ [nu:jugami] [連語] なんでそれくらいのこと。【例】ぬーゆがみ すていだ (なにもそれくらいのもは捨てる)。

ぬーゆまい [nu:jumai] [連語] 何をも。どんなことでも。【例】かれー ぬーゆまい すーどうす (彼はどんなことでもやるよ)。

ぬーらす [nu:ras̥] [動I類a型]〔ぬーらしー、ぬーらしゃん〕乗せる。上がらせる。登らせる。乗り上げる。【例】ぬーまぬ しーん ぬーらす (馬の背に乗せる)。

ぬーゾ [nu:] [動I類a型]〔ぬーりー、ぬーらん〕乗る。上がる。登る。載る。乗り上がる。【例】ぬーゾぶっしゃん ならん (乗りたくてたまらない)。

ぬーゾうくり [nu:ʔukuri] [名]〔ぬーゾうくりまい...〕乗り遅れ。船の出港に間に合わない。

ぬーゾうくりゾ [nu:ʔukuri] [動II類a型]〔ぬーゾうくりー、ぬーゾうくりん〕乗り遅れる。

ぬーゾくす [nu:ʔkus̥] [動I類a型]〔ぬーゾくしー、ぬーゾくしゃん〕乗り越す。

ぬーゾじゃうず [nu:ʔdz̥audz̥] [形]〔ぬーゾじゃうずまい...〕乗り上手。乗馬のよいこと。【同】「ぬーゾじょーず」。

ぬーゾしゃか [nu:ʔʃaka] [名]〔ぬーゾしゃかまい...〕上り坂。登り坂。〈うりしゃか〉(下り坂)に対して言う。【類】「ぬーゾしゃかま」。

ぬーゾしゃかま [nu:ʔʃakama] [名]〔ぬーゾしゃか<sup>1</sup>ままい...〕上り坂。登り坂。〈うりしゃかま〉(下り坂)に対して言う。【類】「ぬーゾしゃか」。

ぬーゾしゅーぶ [nu:ʔʃu:bu] [名]〔ぬーゾしゅーぶまい... ぬーゾしゅー<sup>1</sup>ぶまい...〕乗り勝負。上り勝負。登り勝負。

ぬーゾずみしゃーゾ [nu:ʔdz̥miʃa:] [形]〔ぬーゾずみしゃまい...〕乗り心地のよいこと。【例】ぬーゾずみぬーま (乗り心地のよい馬)。

ぬーゾなり [nu:nari] [名]〔ぬーゾなりまい...〕

乗り馴れ。【例】ぬーゾなりぬーま (乗りなれた馬)。

ぬーゾなりゾ [nu:nari] [動II類a型]〔ぬーゾなりー、ぬーゾなりん〕乗り馴れる。【例】みだ ぬーゾなりん (まだ乗りなれていない)。

ぬーゾふき [nu:ʔfuki] [名]〔ぬーゾふきまい...〕出港する船に飛び乗ること。乗船券を持たない人が船の出港直前に飛び乗る。

ぬーゾふつ [nu:ʔfuts̥] [名]〔ぬーゾふつまい...〕上り口。海辺から陸上に上がる場所。【類】「とうぶり」。

ぬーゾまーす [nu:ʔma:s̥] [動I類c型]〔ぬーゾまーしー、ぬーゾまーしゃん〕乗り回す。

ぬーゾみつ [nu:ʔmits̥] [名]〔ぬーゾみつまい... ぬーゾみ<sup>1</sup>つまい...〕上り道。登り道。海辺から陸上へ上がる道。【類】「とうぶり」。

ぬーゾむぬ [nu:ʔmunu] [名]〔ぬーゾむぬまい... ぬーゾむ<sup>1</sup>ぬまい...〕乗物。昔は馬車。

ぬーん なす [nu:n nas̥] [連語] 野になすこと。畑を荒れさせること。不在地主の畑。

ぬーん なゾ [nu:n na] [連語] 野になる。畑が荒れ地になること。

ぬーんてい [nu:nti] [名]【疑】〔ぬーんていがやらい...〕何年。干支は何の年。

ぬーんまい [nu:nmai] [連語] 何にも。どうにでも。【例】ぬーんまい ならだ (どうにでもなってしまう)。

ぬか [nuka] [名]〔ぬかまい...〕糠。精米のときに出る粉状のもの。鶏の飼料に用いた。ぬか漬の食品もある。

ぬがーす [nuga:s̥] [動I類c型]〔ぬがーしー、ぬがーしゃん〕拭わす。拭かせる。【例】あしう ぬがーす (汗を拭かせる)。

ぬかーぬか [nuka:nuka] [重複] ゆっくりゆっくりに。【例】ぬかーぬか する (ゆっくりゆっくりにしなさい)。

ぬがーらす [nuga:ras̥] [動I類c型]〔ぬがーらしー、ぬがーらしゃん〕免れさせる。免除させる。休ませる。【例】きゅーぬ すぐとうー ぬがーらす (今日の仕事は休み)。

ぬがーり [nuga:ri] [名]〔ぬがーりま<sup>1</sup>い...〕免れ。

免除。

ぬがーりり [nuga:ri] [動II類c型] [ぬがーりー、ぬがーりん] 免れる。免除される。【例】つみぬぬがーりり [罪が免れる]。ぬがーりぐまた (免れるべきだ)。

ぬがいり [nugai] [動II類c型] [ぬがいー、ぬがいん] 追い越される。成績が追い越される。【例】ぬがいー ねーん (追い越されてしまった)。「ぬがりり」。

ぬかぐる [nukaguru] [名] [ぬかぐるまい...。ぬかぐ<sup>1</sup>まい...] おとなしそうで実は怖い人。

ぬかしゃーり [nukaça:ri] [形] [ぬか<sup>1</sup>しゃまい...] 遅い。おとなしい。【例】ぬかピとう (仕事の遅い人・仕事のゆっくりした人・大人しい人)。

ぬかず [nukadz] [接尾] ~ごとに。【例】ゆだぬかず なりー ぶりばゆ (枝ごとに実っているよ)。

ぬがす [nugas] [動I類c型] [ぬがしー、ぬがしゃん] 逃せる。

ぬかすぐり [nukasguri] [名] [ぬかすぐ<sup>1</sup>りまい...] 遅れて優れること。晩熟。晩生。心身の発達に言う。

ぬがなーらす [nugana:ras] [動I類c型] [ぬがなーらしー、ぬがなーらしゃん] 免れさせる。免除する。放免する。解放する。【同】「んがなーらす」。

ぬがなーり [nugana:ri] [動I類c型] [ぬがなーりー、ぬがなーらん] 免れる。免除される。放免する。解放する。【同】「んがなーり」。

ぬがなーりり [nugana:ri] [動II類c型] [ぬがなーりー、ぬがなーりん] 免れる。免除される。放免する。解放する。【同】「んがなーりり」。

ぬかピとう [nukapitu] [名] [ぬかピとうまい...] 動作のゆっくりとした人。大人しい人。

ぬかむぬ [nukamunu] [名] [ぬかむぬまい...] おとなしい人。仕事のおそい人。

ぬかり [nukari] [名] [ぬかりま<sup>1</sup>い...] 手ぬかり。【例】ばんやぬかれー ねーん (ぼくは手落ちはない)。

ぬがりり [nugari] [動II類c型] [ぬがりー、ぬがりん] 追い越される。成績が追い越される。

【例】ぬがりー ねーん (追い越されてしまった)。「ぬがいり」。

ぬギ [nuk] [名] [ぬギまい...] 貫。柱と柱を連結する木材。

ぬギ [nuk] [名] [ぬギまい...] 軒。庇 (ひさし)。雨垂れ。【類】「あムだり」。

ぬギ [nuk] [動I類a型] [ぬきー、ぬかん] 抜ける。退く。【例】かれー ぬギぐまた (彼は退くべきだ)。

ぬき [nuki] [名] [ぬきまい...] 離れている所。【例】ぬきぬ ピとう (離れた所の人)。

ぬギ [nug] [動I類c型] [ぬぎー、ぬがん] 追い越す。【例】かるー ぬがずー (彼を追い越そう)。

ぬきしゃーり [nukiça:ri] [形] [ぬき<sup>1</sup>しゃまい...] 遠い。

ぬきば [nukiba] [名] [ぬきばんけーまい...] 遠い所。郊外。

ぬきばる [nukibaru] [名] [ぬきばる<sup>1</sup>んけーまい...] 遠い所の畑。

ぬきびらい [nukibira] [名] [ぬきびらいまい...] 離れた所の人との付き合い。親戚以外の人との付き合い。

ぬきみ [nukimi] [名] [ぬきみまい...] 抜け目。抜けた所。手ぬかり。手落ち。

ぬギム [nukim] [名] [ぬギムまい...] にきび。

ぬきむぬ [nukimunu] [名] [ぬきむぬまい...] 除け者。嫌われ者。

ぬきり [nuki] [動II類c型] [ぬきー、ぬきん] 除ける。退く。脱落する。【例】たうかー ぬきり (一人退ける)。

ぬギんでいり [nukindii] [動II類c型] [ぬギんでいー、ぬギんでいん] 抜きんでる。

ぬぐー [nugu:] [動I類c型] [ぬげー、ぬがーん] 拭く。拭き取る。【例】あしうぬぐー (汗を拭く)。みばなうぬぐー (顔を拭く)。

ぬくギ [nukug] [名] [ぬく<sup>1</sup>ギまい...] 鋸 (のこぎり)。木を切り倒したり、枝を切り払ったり、木工、金工、石工などに使われる。糸鋸。電動鋸。

ぬくす [nukus] [動I類c型] [ぬくしー、ぬく

しゃん] 残す。余り物をそのままにしておく。  
 【例】ぬくすな (残すな)。  
 ぬくり [nuku] [動I類c型] [ぬくりー、ぬくらん] 残る。余り物がそのままある。【例】ぬくりー ぶり (残りがある)。  
 ぬくりむぬ [nuku[munu] [名] [ぬくりむ<sup>1</sup>ぬまい...] 残り物。余り物。食べ物の残り物に言う。  
 ぬけー [nuke:] [接尾] ~たち。~ら。~ども。【例】やらびぬ けー (子ども達)。【類】「ぬムぬ」。  
 ぬし [nuçi] [名] [貝] [ぬ<sup>1</sup>しまい...] つのれいし。巻貝の仲間。  
 ぬし [nuçi] [名] [ぬ<sup>1</sup>しまい...] 宮古角力の技の一つ。相手の脚を蹴り上げて倒す。  
 ぬじゃぎ [nudzak] [名] [ぬじゃ<sup>1</sup>ぎまい...] 野崎。久松集落のこと。  
 ぬしゆきり [nuçuki] [動II類a型] [ぬしゆきー、ぬしゆきん] 覗く。覗き見する。立ち寄る。のぞいて様子を見る。【例】ぬしゆきー ぶり (覗いている)。  
 ぬす [nus] [名] [ぬ<sup>1</sup>すまい...] 主。家主。地主。所有者。【例】やーぬす (家主)。ずーぬす (地主)。ぬーまぬ ぬす (馬の飼い主)。  
 ぬず [nudz] [名] [ぬずまい...] 虹。雨あがりに太陽と反対側の空に見られる円弧状の帯。太陽の光線を屈折して七色の色彩が見える。  
 ぬずぎ [nudzki] [動I類a型] [ぬずきー、ぬずかん] 覗く。覗き見る。訪問する。【例】やーんかう ぬずぎ (家の中を覗く)。  
 ぬずきー みーり [nudzki: mi:] [連語] 近寄って見る。訪問する。【例】ぴっちゃ ぬずきー みーり (ちょっと覗いてみる)。  
 ぬすたい [nusɥtai] [副] [疑] どうして。【例】ぬすたい くんが (どうして来ないか)。ぬすたいなきー ぶりば (どうして泣いているか)。  
 ぬすたいていー [nusɥtaiti:] [副] [疑] どうしてか。どういうわけか。【例】ぬすたいていー くんば (どういうわけで来ないのか)。  
 ぬすどう [nusɥdu] [名] [ぬす<sup>1</sup>どうまい...] 盗人。どろぼう。  
 ぬすまいり [nusɥmai] [動II類c型] [ぬすまいー、ぬすまいん] 盗まれる。【例】じんゆ ぬ

すまいー ねーん (お金を盗まれてしまった)。  
 【同】「ぬすまりり」。  
 ぬずまいり [nudzɥmai] [動II類a型] [ぬずまいー、ぬずまいん] 望まれる。好かれる。求婚されること。【例】みどうムー ぬずまいり (女性に好かれる)。【同】「ぬすまりり」。  
 ぬすまりり [nusɥmari] [動II類c型] [ぬすまりー、ぬすまりん] 盗まれる。【例】じんゆ ぬすまりー ねーん (お金を盗まれてしまった)。  
 【同】「ぬすまいり」。  
 ぬずまりり [nudzɥmari] [動II類a型] [ぬずまりー、ぬずまりん] 望まれる。好かれる。求婚されること。【例】みどうムー ぬずまりり (女性に好かれる)。【同】「ぬずまいり」。  
 ぬすム [nusɥm] [動I類c型] [ぬすみー、ぬすまん] 盗む。【例】ピとうぬ むぬー ぬすム (他人のものを盗む)。ピとうぬ ばなすう ぬすム (人の話をこっそり聞く)。  
 ぬずム [nudzɥm] [動I類a型] [ぬずみー、ぬずまん] 望む。好きになる。惚れる。求婚する。欲しがる。【例】ばが ぬずム くとー しんしー (私の望むことは先生になることだ)。  
 ぬずムな [nudzɥmna] [名] [植] [ぬずム<sup>1</sup>なまい...] のびる。山菜として貴重な食材。  
 ぬすムむぬ [nusɥmmunu] [名] [ぬすムむ<sup>1</sup>なまい...] 盗んだ物。盗難品。  
 ぬちー [nutçi:] [擬] [ぬちーていーまい...] ぼんやりすること。ぐずぐずしていること。  
 ぬつ [nuts] [名] [ぬ<sup>1</sup>つまい...] 命。生命。寿命。【例】ぬつどう たから (命こそ宝)。ぬつう すていんな (命を捨てるな)。みずう ぬましー ぬつう むたす (水を飲ませて命を持たせる)。やっとうしー ぬつエー むていった (やっこのことで命拾いした)。  
 ぬついでい [nutsɥidi] [名] [ぬ<sup>1</sup>ついでいまい...] 命拾い。【同】「ぬつんでい」。  
 ぬつう むつたム [nutsɥu nutsɥtam] [連語] 命を持ったぞ。命拾いしたぞ。のどの渇きに水を得るときに言う。【例】みずう ぬみー ぬつう むつたム (水を飲んで命拾いした)。  
 ぬつうたす [nutsɥutas] [名] [ぬつ<sup>1</sup>うたすまい...]

命落とし。死ぬこと。【同】「ぬつうとうす」。

ぬつうとうす [nutsʏutusʏ] [名] [ぬつ<sup>1</sup>うとうす  
まい...] 命落とし。死ぬこと。【同】「ぬつうた  
す」。

ぬつが ばだ [nutsʏga pada] [連語] 命のある限  
り。終生。一生。【例】ぬつがばが すまんど  
うぶり (一生島に住んでいる)。【類】「ぬつとう  
とうみ」。

ぬつがいり [nutsʏgai] [動I類c型] [ぬつがい  
りー、ぬつがいらん] 生き返る。

ぬつじゅ [nuddʒu] [名] [ぬつじゅまい...] 縫う  
糸。裁縫に使う糸。糸。細い糸。

ぬつじゅーしゃーり [nutsʏdʒu:ɕa:] [形] [ぬ<sup>1</sup>つ  
じゅーしゃまい...] 命に強い。生命力が強い。  
生命力がある。【例】くるまん ぱにらいーまい  
ぬつじゅーむぬ (車にはねられても命運のある  
人)。

ぬつじゅーむぬ [nutsʏdʒu:munu] [名] [ぬ<sup>1</sup>つじ  
ゅーむぬまい...] 生命力の強い人。

ぬつずー [nuddʒɪ:] [動I類c型] [ぬつじー、ぬ  
つじゃん] うめく。呻く。苦しくうめく。【例】  
やムピとうぬ ぬつじー ぶり (病人がうなっ  
ている)。

ぬつすてい [nutsʏsʏti] [名] [ぬ<sup>1</sup>つすていまい...]  
命捨て。命がけで働くこと。命がら。覚悟  
すること。

ぬつたい [nuttai] [副] なぜ。どうして。【例】ぬ  
つたい くんが (なぜ来ないのか)。

ぬつたいていー [nuttaiti:] [副] [疑] なぜ。どう  
して。【例】ぬつたいていー くんが (なぜ来な  
いのか)。

ぬつたすき [nutsʏtasʏki] [名] [ぬ<sup>1</sup>つたすきう<sup>1</sup>まい  
...] 命助け。救命。【例】いしゃー ぬつたす  
きすぐとう (医者は命を助ける仕事だ)。

ぬつどう たから [nutsʏdu takara] [連語] 命ぞ宝。  
命こそ宝。琉球国王尚泰の名言。明治政府に連  
行されたときに言った。「嘆くなよ臣下命こそ  
宝」。

ぬつどうくま [nutsʏdukuma] [名] [ぬ<sup>1</sup>つどうく  
なまい...] 命どころ。急所。【例】かなまげら  
ぬつどうくま (頭は急所だ)。【同】「ぬつどう

くま」。

ぬつどうくま [nutsʏdukuma] [名] [ぬ<sup>1</sup>つどうく  
なまい...] 命どころ。急所。【例】かなまげら  
ぬつどうくま (頭は急所だ)。【同】「ぬつどう  
くま」。

ぬつとうとうみ [nutsʏtutumi] [副] 命と共に。命  
ある限りに。生涯。【例】かるーばー ぬつとう  
とうみ ばつすいらいん (彼のことは生涯忘れ  
られない)。【類】「ぬつがばだ」。

ぬつとうり [nutsʏtu] [名] [ぬ<sup>1</sup>つとうり<sup>1</sup>まい...]  
命とり。

ぬつとうりやム [nutsʏtuljam] [名] [病] [ぬ<sup>1</sup>つ  
とうりやム<sup>1</sup>まい...] 命取り病気。昔、肺結核に  
言った。

ぬつぬ あり [nutsʏnu a] [連語] 命がある。生き  
ている。【例】いつがみまい ぬつぬ ありてい  
ー うむーな (いつまでも命があると思うな)。

ぬつぬ ありけ [nutsʏnu a] [連語] 命のあるう  
ち。生存中に。存命中に。【例】うやぬ ぬつぬ  
ありけ ならい (親が命があるうちに習いなさ  
い)。

ぬつふいり [nuffi] [動II類a型] [ぬつふいー、  
ぬつふいん] 押入する。入れる。中に入れる。  
差し込む。突っ込む。【例】ふつんけー ていー  
ゆ ぬつふいー かまいたり (口に手を入れて  
噛まれた)。【類】「さしくム」。

ぬつふーむぬ [nutsʏfu:munu] [名] [ぬ<sup>1</sup>つふーむ  
ぬまい...] 命とり。大きな賭けをするときに言  
う。【例】うれー ぬつふーむぬ (それは命取り  
だ)。

ぬつむたす [nutsʏmutasʏ] [名] [ぬ<sup>1</sup>つむたすま  
い...] 命持たせ。命を持たせること。生きかえ  
らせること。

ぬつむつ [nutsʏmutsʏ] [名] [ぬ<sup>1</sup>つむつ<sup>1</sup>まい...]  
命持ち。命を持つこと。助かること。生き返る  
こと。病気が治ること。【例】ヴヴァが うかぎ  
ぬつエー むつたム (君のおかげで助かった)。

ぬつむつむぬ [nutsʏmutsʏmunu] [名] [ぬ<sup>1</sup>つむつ  
むぬまい...] 生きているもの。生物。生き物。命  
のあるもの。生命のある物。

ぬつよーしゃーり [nutsʏjo:ɕa:] [形] [ぬ<sup>1</sup>つよー

しゃまい...) 命が弱い。生命力が弱い。生きる運が弱い。薄命である。

ぬつよーむぬ [nutsjo:munu] [名] [ぬ<sup>1</sup>つよーむぬまい...] 命の弱いもの。生命力のよわいもの。薄命。

ぬつんだす [nutsɲdasɯ] [動I類] [ぬつんだしー、ぬつんだしゅん] [ぬ<sup>1</sup>つんだしー「ぶり」] 生き返らす。【例】ぬつんだす くとー しらいん (生き返らすことはできない)。

ぬつんでい [nutsɲdi] [名] [ぬ<sup>1</sup>つんでい「まい...」] 命拾い。【同】「ぬついでい」。

ぬつんでい<sup>り</sup> [nutsɲdi] [動II類] [ぬつんでいー、ぬつんでいん] [ぬ<sup>1</sup>つんでいー「ぶり」] 生き返る。命拾いする。【例】やとー やギばどー ぬつんでい<sup>り</sup> (灸をしたら生き返った)。

ぬどう [nudu] [名] [ぬどうまい...] のど。咽喉。首の前の方。喉首。【類】「にぶい」。

ぬどうぐら [nudugura] [名] [ぬどうぐ<sup>1</sup>らまい...] 首の骨。

ぬどうぬ かーき<sup>り</sup> [nudunu ka:ki] [連語] のどの渇くこと。【例】ぬどうぬ かーき<sup>った</sup> (喉が渇いた)。

ぬどうふギ [nudufugi] [名] [ぬどうふ<sup>1</sup>ギまい...] 首。首筋。【例】ばなピギう しー ぬどうふギぬ やム (風邪をひいてのどが痛い)。【類】「ふギ」。「ふギぶに」。

ぬどうぶとうき [nudubutuki] [名] [ぬどうぶと<sup>う</sup>きまい...] のどぼとけ。

ぬどうぶに [nudubuni] [名] [ぬどうぶ<sup>1</sup>にまい...] 首の骨。頸椎。気管。

ぬぬ [nunu] [名] [ぬぬまい...。ぬぬゆー<sup>り</sup>らまい...] 布。反物。織物のこと。【例】ばしゃぬぬ (芭蕉布)。ぬのー うり<sup>った</sup> (布は織った)。

ぬぬう<sup>り</sup> [nunuu] [名] [ぬぬう<sup>り</sup>まい...] 布織り。機織り。【例】ぬぬう<sup>り</sup>あんがた (機織りする姉さんたち)。

ぬぬうれ [nunuuere] [名] [ぬぬう<sup>り</sup>れまい...] 布織りをする人。機織りをする人。

ぬぬどー [nunudo:] [名] [地] [ぬぬどーまい...] 多良間島の〈とうぶり〉の名前。村史参照。

ぬぬどー [nunudo:] [名] [ぬぬどーまい...] 布堂。

平良にある。

ぬぬばた [nunubata] [名] [ぬぬば<sup>1</sup>たまい...] 布織り機。地機 (ずばた)。高機 (たかばた)。

ぬぬばば [nunupaba] [名] [ぬぬばばまい...] 布幅 (巾)。織物の幅。

ぬぬふしどー [nunufuɕido:] [名] [ぬぬふしどーまい...] 布干し堂。平良港の近くにある地区。

ぬぬふつ [nunufutsɯ] [名] [ぬぬふ<sup>1</sup>つまい...] 布口。布の口。

ぬぬまギ [nunumaki] [名] [ぬぬま<sup>1</sup>ギまい...] 布巻き。機織りの布を巻く部品。

ぬばしー [nubaɕi:] [副] [疑] どう。どうやって。【例】かぎんや ぬばしーが すーが (加減はどうするのか)。くれー ぬばしーが (これはどうだ)。

ぬばしーぬ [nubaɕi:nu] [連体] [疑] どのような。【例】かれー ぬばしーぬ ピとうが (彼はどのような人かなあ)。

ぬばしーまい [nubaɕi:mai] [連語] どうしても。どうにかして。ぜひとも。なんとかして。なんとしても。【例】ぬばしーまい しんしーん なしやだかー ならん (どうしても先生になさないといけない)。

ぬばす [nubasɯ] [動I類c型] [ぬばしー、ぬばしゅん] 延期する。延ばす。【例】ぬばし (延ばしなさい)。あたんけー ぬばす (明日に延ばす)。

ぬばすぬばす [nubasɯnubasɯ] [副] 延ばし延ばし。行事の延期が続くこと。【類】「ぬびぬび」。

ぬばなす [nubanasɯ] [名] [ぬばな<sup>1</sup>すまい...] 野放し。放任。放し飼。勝手気まま。

ぬばる [nubaru] [名] [ぬば<sup>1</sup>るまい...] 野原。野原集落。宮古島市上野字野原。

ぬビ [nubi] [名] [ぬビまい...] 野火。

ぬビ [nubi] [動I類c型] [ぬびー、ぬばん] 延期になる。

ぬビ [nubi] [動I類c型] [ぬびー、ぬばん] 伸びる。

ぬビあがり<sup>り</sup> [nubiaga] [動I類c型] [ぬビあがりー、ぬビあがらん] 伸び上がる。背伸びする。爪先で立つ。成績が向上する。収穫物が増える。

経済が伸びる。

ぬびちじみ [nubɪtɕidzimi] [名] [ぬ<sup>1</sup>びちじみまい...] 伸び縮み。【例】ぐむぬぬびちじみ(ゴムの伸び縮み)。

ぬびちじみ<sup>リ</sup> [nubɪtɕidzimi] [動II類] [ぬびちじみー、ぬびちじみん] [ぬ<sup>1</sup>びちじみー「ぶ<sup>リ</sup>」] 伸び縮む。

ぬびぬび [nubɪnubɪ] [副] 延び延び。行事の延期が続くこと。【類】「ぬばすぬばす」。

ぬび<sup>リ</sup> [nubi] [名] [植] [ぬび<sup>リ</sup>まい...] のびる。山菜の名前。昔、味噌をつけて食べた。

ぬび<sup>リ</sup> [nubi] [動I類c型] [ぬびりー、ぬびらん] 延びる。延期する。

ぬふーぬふ [nufu:nufu] [重複] とても温かい。【例】ぬふーぬふぬ やー(とても暖かい家だ)。

ぬふぎしゃー<sup>リ</sup> [nufugiɕa:] [形] [ぬふぎ<sup>1</sup>しゃまい...] 温かそうだ。暖かそうだ。【例】ぬふぎふく(温かそうな服)。

ぬぶし [nubuɕi] [名] [ぬぶしまい...] のぼせ。のぼせること。

ぬふしゃー<sup>リ</sup> [nufuɕa:] [形] [ぬふ<sup>1</sup>しゃまい...] 温かい。暖かい。【例】ぬふしゃぬ(温かいなあ)。

ぬぶし<sup>リ</sup> [nubuɕi] [動II類c型] [ぬぶしー、ぬぶしん] のぼせる。うぬぼれる。思い上がる。【例】ぬぶしーぶ<sup>リ</sup>(頭がぼーっとしている)。

ぬふずま [nufudzɕma] [名] [ぬふず<sup>1</sup>まい...] 温かい島。暖かい島。温暖な島。

ぬふどうく<sup>な</sup> [nufudukuna] [名] [ぬふどうく<sup>1</sup>なまい...] 温かい所。ぬくい所。暖房のきいた部屋。温暖な土地。【同】「ぬふどうくま」。

ぬふどうく<sup>ま</sup> [nufudukuma] [名] [ぬふどうく<sup>1</sup>ままい...] 温かい所。ぬくい所。暖房のきいた部屋。温暖な土地。【同】「ぬふどうく<sup>な</sup>」。

ぬふまー<sup>らす</sup> [nufuma:rasɪ] [動I類c型] [ぬふまー<sup>ら</sup>しー、ぬふまー<sup>ら</sup>しゃん] 温かくしてあげる。温める。暖かくしてやる。【例】ピぬームみーぬふまー<sup>らす</sup>(火に当たって温める)。

ぬふまー<sup>リ</sup> [nufuma:] [動I類c型] [ぬふまー<sup>り</sup>ー、ぬふまー<sup>らん</sup>] 温かさを順番にする。【例】ぬふまー<sup>り</sup>っ<sup>て</sup>いー<sup>す</sup>ぐ<sup>と</sup>う<sup>し</sup>る(順番に

温まって仕事にかかれ)。

ぬふます [nufumasɪ] [動I類c型] [ぬふましー、ぬふましやん] 温める。火に当てる。【例】くるーぬふまし(この人を温めなさい)。

ぬふまり<sup>リ</sup> [nufuma] [動I類] [ぬふまりー、ぬふまらん] 温もる。暖を取る。熱いお茶で体が温まる。【例】うまつんぬふまり<sup>リ</sup>(火に当たって温もる)。

ぬふみ<sup>リ</sup> [nufumi] [動II類c型] [ぬふみー、ぬふみん] 温める。熱いお茶で体を温める。

ぬふム [nufum] [動I類c型] [ぬふみー、ぬふまん] 温む。火に当たる。温まる。【例】ぬふみ<sup>つ</sup>た(温まった)。

ぬぶ<sup>リ</sup>く<sup>ど</sup>う<sup>ギ</sup> [nubu[kudukɪ] [名] [ぬぶ<sup>リ</sup>く<sup>ど</sup>う<sup>ギ</sup>まい...] 上り口説き。琉球舞踊の一つ。七・五調の軽快な歌詞。

ぬます [numasɪ] [動I類c型] [ぬましー、ぬましやん] 飲ませる。家畜にも言う。【例】みずうぬます(水を飲ませる)。

ぬみく<sup>ム</sup> [numikum] [動I類c型] [ぬみくみー、ぬみくまん] 飲み込む。液体や食べ物を咽喉へおろす。

ぬム [num] [名] [昆虫] [ぬ<sup>1</sup>ムまい...] 蚤。人畜の皮ふから吸血する。

ぬム [num] [名] [ぬ<sup>1</sup>ムまい...] 鑿。大工用ののみ。木材に穴を開けたり、溝を掘ったりする工具。

ぬム [num] [動I類c型] [ぬみー、ぬまん] 飲む。呑む。【例】ぬみ(飲みなさい)。ちゃーうぬみーわー<sup>り</sup>(お茶を召上って下さい)。ちゃーうぬま<sup>ず</sup>ー(お茶を飲みたい)。しゃきうばーぬま<sup>まん</sup>(飲まない)。

ぬムー<sup>ギ</sup> [nummkɪ] [動I類c型] [ぬムー<sup>き</sup>ー、ぬムー<sup>かん</sup>] 飲み込む。液体や食べ物を咽喉へおろす。

ぬム<sup>ギ</sup>ー [numkɪ:] [動I類c型] [ぬム<sup>ギ</sup>すいー、ぬム<sup>ギ</sup>さん] 飲みきる。残さないで飲みきる。コップの酒を飲み切る。【例】ぬム<sup>ギ</sup>す<sup>い</sup>つ<sup>た</sup>(飲みきった)。【類】「ぬム<sup>ば</sup>て<sup>い</sup>り」。

ぬム<sup>だ</sup>す [numdasɪ] [動I類a型] [ぬム<sup>だ</sup>しー、ぬム<sup>だ</sup>しゃん] 外へ出すこと。家畜を外へ出す

こと。【例】ぬーまう ぬムだす（馬を外へ出す）。【類】「とうムだす」。

ぬムでいばずみ [numdipadzɯmi] [名] [ぬムでいばずみまい...] 赤ちゃんが生まれてから始めて門に出ること。

ぬムでいり [numdi] [動II類a型] [ぬムでいー、ぬムでいん] 外へ出る。外出する。【例】ぴんだぬ ぬムでいり（山羊が外へ出る）。【類】「とうムでいり」。

ぬムとうり [numtu] [名] [ぬ<sup>1</sup>ムとうり<sup>1</sup>まい...] 蚤取り。蚤の駆除。指でつまんで取る。

ぬムぬくり [numnuku] [名] [ぬムぬく<sup>1</sup>りまい...] 飲み残り。飲み残し。【例】しゃきぬ ぬムぬくり（酒の飲み残し）。

ぬムぱてい [numpati] [名] [ぬムぱ<sup>1</sup>ていまい...] 飲み果て。飲み干し。【例】しゃけー ぬムぱてい（酒は飲み干しだ）。

ぬムぱていり [numpati] [動II類c型] [ぬムぱていー、ぬムぱていん] 飲み果てる。飲み干す。【例】ぬムぱていり（飲み干せよ）。【類】「ぬムギー」。

ぬムまーり [numma:] [動I類c型] [ぬムまーりー、ぬムまーらん] 飲み回る。飲み回す。順番に飲む。【例】しゃきう ぬムまーり（酒を飲み回す）。

ぬムみず [nummidzɯ] [名] [ぬムみ<sup>1</sup>ずまい...] 飲み水。飲料水。今は上水道の水。昔は井戸水。雨水も沸かして飲んだ。

ぬムむぬ [nummunu] [名] [ぬムむ<sup>1</sup>ぬまい...] 飲み物。炭酸飲料。コーヒー。お茶。ジュース。アルコール飲料。店にある飲み物。

ぬらす [nurasɯ] [動I類a型] [ぬらしー、ぬらしゃん] 塗らす。塗らせる。色を塗らす。塗料を塗らす。【例】ぬらし（塗らせよ）。ペンキう ぬらす（ペンキを塗らせる）。いるー ぬらす（色を塗らせる）。

ぬり [nu] [名] [海草] [ぬりまい...] 海苔。あおのり。あおさ。普通は食用の商品「海苔」を言う。【類】「あーしゃ」。

ぬり [nu] [名] [ぬりまい...] 糊。澱粉糊。接着糊。凧作りに使う糊は芋の澱粉糊であった。

ぬり [nu] [動I類a型] [ぬりー、ぬらん] 塗る。壁面にペンキを塗る。【例】ペンキう ぬり（ペンキを塗る）。

ぬりかい [nu[kai] [名] [ぬりかいまい...] 乗り換え。

ぬりかいり [nu[kai] [動II類a型] [ぬりかいー、ぬりかいん] 乗り換える。宮古から乗り換えて那覇に行く。船を乗り換えて本土に行くこと。【例】ぬりかいー やーまんけー（乗り換えて八重山へ行く）。

ぬりき [nu[ki] [名] [ぬりきまい...] 乗り気。気乗り。その気になる。【例】みだ ぬりきん ならん（まだその気にならない）。

ぬりくい [nu[kui] [名] [ぬりくいまい...] 乗り越え。困難を乗り越えること。【同】「ぬりくい」。

ぬりくい [nurikui] [名] [ぬりくいまい...] 乗り越え。困難を乗り越えること。【同】「ぬりくい」。

ぬりくいり [nu[kui] [動II類a型] [ぬりくいー、ぬりくいん] 乗り越える。困難を克服する。荒波を乗り越える。【例】くんなんゆ ぬりくいり（困難を乗り越える）。【同】「ぬりくいり」。

ぬりくいり [nurikui] [動II類a型] [ぬりくいー、ぬりくいん] 乗り越える。困難を克服する。荒波を乗り越える。【例】くんなんゆ ぬりくいり（困難を乗り越える）。【同】「ぬりくいり」。

ぬりじゆ [nu[dzu] [名] [ぬりじゆまい...] ねんじゆも。雨後の野に生える。藍藻類。食用。「いしくらげ」とも。

ぬりばん [nuriban] [名] [ぬりばんまい...] 黒板。教室の黒板。【同】「のりばん」。

ぬりふしゆり [nu[fuɕu] [名] [ぬりふしゆりまい...] ぬりふしゆ<sup>1</sup>りまい... 塗り薬。膏薬。患部の皮膚に塗る薬。塗布剤。

ぬりふむ [nurifumu] [名] [ぬりふむまい... ぬりふ<sup>1</sup>むまい...] 雲。〈ぬり〉（雲の別名）〈ふむ〉（雲）からできた語。多良間民謡「しゅんかに」に出る。

ぬりむぬ [nurimunu] [名] [ぬりむ<sup>1</sup>ぬまい...] 乗り物。飛行機。船。自転車。今になって自動車は全家庭に普及した。

ぬりムま [nurimma] [名] [ぬりム<sup>1</sup>まい...] 乗り馬。馬跳び。背を丸めて馬に見立て、その上に別の人が乗る遊び。男子の遊び。

ぬるー [nuru:] [動I類c型] [ぬれー、ぬらーん] 呪う。相手の災いを願う。【例】かるー ぬるー (彼を呪う)。

ぬるー [nuru:] [擬] [ぬるーていーまい...] のろい。仕事の遅いこと。動作ののろいこと。

ぬるしゃーリ<sup>9</sup> [nuruçɑ:] [形] [ぬる<sup>1</sup>しゃまい...] ぬるい。思ったより冷たい。

ぬるしゃーリ<sup>9</sup> [nuruçɑ:] [形] [ぬる<sup>1</sup>しゃまい...] 鈍い。動作が鈍い。

ぬるちゃー [nurutçɑ:] [名] [ぬるちゃ<sup>1</sup>まい...] 冷たい茶。冷めた茶。熱くないお茶。【類】「ピグリちゃー」。

ぬるぬる [nurunuru] [擬] [ぬるぬるていー...] ぬるい状態。動作や仕事の鈍い人にも言う。

ぬるぬる [nurunuru] [擬] ねばねばした様。【例】すギーや ぬるぬる しーリ<sup>9</sup> (なまこはねばねばしている)。

ぬるます [nurumas] [動I類c型] [ぬるましー、ぬるましゃん] 温める。暖める。【例】ちゃーういぴーちゃ ぬるます (お茶を少し温める)。

ぬるム [nurum] [動I類c型] [ぬるみー、ぬるまん] 温まる。暖まる。【例】みずぬ ぬるム (水が温まる)。

ぬんかー [nunkɑ:] [名] [ぬんか<sup>1</sup>まい...] のん気者。のんびり者。

ぬんき [nunki] [名] [ぬん<sup>1</sup>きまい...] のん気。のんびりした性格。【例】ぬんきむぬ (のん気者)。

— ね —

- ねーう [neru] [擬] ねこの鳴きまね。
- ねーしー [ne:çi:] [接尾] ～ようにして。～如く。  
【例】くりが ねーしー する（この人のようにしなさい）。【同】「ねーんしー」。
- ねーしぶ [ne:çibu] [名] [ねーし<sup>1</sup>ぶまい...] 子支部。土原、嶺間。仲子。塩子。
- ねーぱーぎー [ne:pa:gi:] [名] [ねーぱ<sup>1</sup>ーぎーまい...] すりこぎ。すり鉢に使う。
- ねーり [ne:] [動I類a型] [ねーりー、ねーらん] 差し出す。ものをくれる。手に持っているものを相手に見せる。
- ねーり [ne:] [動I類a型] [ねーりー、ねーらん] 手を出す。なぐる。【例】ていーゆ ねーりな（手を出すな・殴るな）。
- ねーん [ne:n] [接尾] ～ように。～如く。【例】くりが ねーん（これのように）。なりねーんどうなり（なるようになる）。
- ねーん [ne:n] [動変則] [一、一]～しまった。【例】あんしー しー ねーん（そんなにやってしまった）。ぱっすいー ねーん（忘れてしまった）。
- ねーん [ne:n] [動変則c型] [ねーんぐとう、一] 無い。〈あぢ〉（有る）の否定語幹。なにも無い。【例】ねーんしゅゆりらー ます（無いよりましだ）。あかむっとう ねーん（少しもない）。
- ねーん じん [ne:n dʒin] [名] [ねー<sup>1</sup>んじん<sup>1</sup>まい...] 無いお金。なけなしの金。
- ねーん なす [ne:n nasʃ] [連語] 無くす。無くしてしまう。【例】ふえー ねーん なす（食べてしまう）。
- ねーん なり [ne:n na] [連語] 無くなる。【例】ねーん なりー ねーん（無くなって何もなくなってしまう）。
- ねーんしー [ne:nçi:] [接尾] ～ようにして。～如く。

- く。【例】くりが ねーんしー する（この人のようにしなさい）。【同】「ねーしー」。
- ねな [nena] [接尾] ～せずに。【例】あんしー しゅんぐとうねな（そのようにせずに）。
- ねる [neru] [名] [ね<sup>1</sup>るまい...] 着物の種類。冬用で綿入れ。
- ねるぎん [neruɡin] [名] [ね<sup>1</sup>るぎんまい...] 綿入りの着物。

## — の —

のー [no:] [名] [のーまい...] 脳。頭脳。脳髓。頭の働き。【類】「じゃヴヴあ」。

のーいっきつ [no:ikkits] [名] [のーいっき<sup>1</sup>つまい...] 脳溢血。

のーきり<sup>o</sup> [no:ki] [動 II 類 c 型] [のーきー、のーきん] 直すこと。正しくする。【例】のーきる (元に直しなさい)。【同】「なうきり」。【類】「まなうきり」。「まのーきり」。

のーす [no:s] [動 I 類 c 型] [のーしー、のーしゃん] 直す。治す。病気を治す。【例】のーし (直しなさい・治しなさい)。やムゆ のーす (病気を治す)。【同】「なうす」。

のーらす [no:ras] [動 I 類 c 型] [のーらしー、のーらしゃん] 実らせる。豊作にさせる。【同】「なうらす」。

のーり<sup>o</sup> [no:] [動 I 類 c 型] [のーりー、のーらん] 実る。稔る。豊作になる。作物がよくできる。作物がよい出来栄えになる。【例】のーりまみ (豊作の豆)。【同】「なうり」。

のーり<sup>o</sup> [no:] [動 I 類 c 型] [のーりー、のーらん] 直る。治る。病気が直る。世直りの意味もある。【例】やムや のーりった (病気が治った)。【同】「なうり」。

のーりゆー [no:ju:] [名] [のーりゆ<sup>1</sup>ーまい...] 直る世。豊年。豊作。世果報。〈みるくゆー〉 (弥勒世)。【同】「なうりゆー」。

## — は —

ば [ba] [接尾]～か。疑問詞を含む疑問文の述語に付く。【例】ぬーぬが ぷっさーりば (何が欲しいか)。いつが ギたりば (いつ来たか)。

ば [ba] [接尾]～ので。～から。理由、原因を表す。【例】たかしゃーりば とうらいん (高いので取れない)。

ば [ba] [接尾]～たら (…起こった)。～すると (…起こった)。ある出来事が起こると次の出来事が起こるという意味を表す。【例】すまう みーるばどう みーや みーん きーぬ あたり (島を見たら見たことのない木があった)。

ば [ba] [名] [代] 我。吾。私。ぼく。この形式は格助詞 <が> (～が・～の) とのみ使われる。【例】ばが (私の。私が)。ばが ならーすムどー (私が教えてやるよ)。くれー ばがむぬ (これは私のものだ)。【類】「あ」。

ば [ba] [名] 場。【例】すなば (砂場)。うんどーば (運動場)。

ば [pa] [名] 方角。【例】にぬば (子の方)。とうらぬば (寅の方)。ムまぬば (午の方)。しゃりぬば (申の方)。

ばー [ba:] [接尾]～すればいいなあ。～したいものだなあ。願望を表す接辞。【例】あんしー しゅーばー (そのようにしたい)。

ばー [ba:] [名] [ばーまい...] 時。場合。【例】ギーばーんや でいんわう しる (来る時には電話しなさい)。

ばー [ba:] [名] [ばーまい...] 理由。訳。意味。【例】あんしーぬ ばーだらーなー (そういうわけだろう)。

ばー [pa:] [名] [ばーまい...] 葉。【例】きーぬ ばー (木の葉)。まつぬ ばーたむぬ (松の葉の薪)。

ばー [pa:] [名] [ばーまい...] 歯。【例】ばーぬ

むいり (歯が生える)。

ばー [pa:] [名] [ばーまい...] 刃。【例】かたなぬ ばー (刀の刃)。

はーい [ha:i] [感] 呼ぶ声。答える声。村の中で薪取りする女性たちが <みがり> と呼べば <はーい> と答える。

ばーいしゃ [pa:iça] [名] [ばーいしやまい...] 歯医者。

ばーうや [pa:uja] [名] [ばーうやまい...] 義父。夫の父。【類】「すとうや」。

ばーかギ [pa:kakɣ] [名] [ばーかぎまい...] 葉掻き。葉を剥ぎ取ること。

ばーかぎしゃーり [pa:kagiça:] [形] [ばーかぎしやまい...] 歯がきれい。歯並びがきれい。

ばーかぎむぬ [pa:kagimunu] [名] [ばーかぎむぬまい...] 歯のきれいな人。歯並びのきれいな人。

ばーがつー [pa:gatsɣ:] [名] [海草] [ばーがつーまい...] 海綿。海辺に打ち上げられる。

ばーかム [pa:kam] [名] [ばーかむまい...] 歯を咬む。歯をくいしばる。歯ぎしり。意気ごむ。寝ていて無意識に歯をぎしぎし鳴らす。

ばーがら [pa:gara] [名] [ばーがらまい...] 葉殻。さとうきびの枯れ葉のこと。

ばーからむいふしや [pa:karamuifuça] [名] [植] [ばーからむいふしやまい...] せいろんべんけいそう。【類】「かーふしや」。

ばーき [ba:ki] [助]～ほど。量のこと。【例】うんしゅくばーき (それほどに)。うすかばーき (それほどたくさん)。

ばーき [ba:ki] [名] [ばーきまい...] ざる。竹製の広口のざる。

ばーじゅーしゃーり [pa:dzu:ça:] [形] [ばーじゅーしやまい...] 歯が強い。

ばーす [ba:sɣ] [名] [ばーすまい...] 時。場合。【例】ばーすんや (する時には)。にーずー ばーすんや (煮る時は)。くーずー ばーすんや (来る時には)。

ばーす [ba:sɣ] [動I類a型] [ばーしー、ばーしやん] 割る。さばく。裂く。【例】たきう ばーす (竹を割る)。

ばーす [pa:sʃ] [動I類c型]〔ばーしー、ばーしやん〕這わす。生わす。つる性の植物を這わす。【例】ばーし（這わせよ）。

ばーたぶく [pa:tabuku] [名]〔ばーたぶくまい...〕葉たばこ。乾燥したたばこの葉を刻んで吸う。

ばーだむぬ [pa:damunu] [名]〔ばーだむぬまい...〕ばーだむ<sup>1</sup>ぬまい...〕葉の薪。枯れ葉を薪にすること。あだんの枯れ葉。松の枯れ葉・落ち葉。

ばーつギ [pa:tsʃkɨ] [名]〔ばーつギまい...〕旧暦12月。【類】「ふーつギ」。

ばーつてい [pa:tti:] [擬] 太陽の光がまぶしく光る様。曇っていた空が明るくなる。

ばーつふあいり<sup>o</sup> [ba:ffai] [動II類c型]〔ばーつふあいー、ばーつふあいん〕からかわれる。【例】びーふしやりむぬぬ ばーつふあいり<sup>o</sup>（酔っばらいがからかわれる）。【同】「ばーつふありり」。

ばーつふありり [ba:ffari] [動II類c型]〔ばーつふありー、ばーつふありん〕からかわれる。【例】びーふしやりむぬぬ ばーつふありり<sup>o</sup>（酔っばらいがからかわれる）。【同】「ばーつふあいり」。

ばーつふい<sup>o</sup> [ba:ffɨ] [動I類c型]〔ばーつふいー、ばーつふあん〕からかう。馬鹿にする。あざむく。【例】あぬー ばーつふい<sup>o</sup>（私をからかうな）。

ばーどうらす [pa:duras] [動I類c型]〔ばーどうらしー、ばーどうらしゃん〕這わせる。【例】あかヴヴあう ばーどうらす（赤ちゃんを這わせる）。

ばーどうり [pa:du] [動I類c型]〔ばーどうりー、ばーどうらん〕這う。よつんばいする。【例】ばーどうりー ぶり<sup>o</sup>（這っている）。

ばーならず [pa:maras] [名]〔ばーなら<sup>1</sup>すまい...〕歯を鳴らすこと。寝ていて歯をぎしぎしすること。

ばーぬ ふしゆ [pa:nu fuɕu] [名]〔ばーぬふ<sup>1</sup>しゆまい...〕歯のくそ。歯垢。

ばーばー [ba:ba:] [名]〔ば<sup>1</sup>ーばーまい...〕場所場所。所々。折々。その場その場。【例】ばーばーんや（場所場所には。折々には）。

ばーぶ [ba:bu] [感] 子馬を母馬の所へ呼び寄せるときに言う。

ばーふつずー [pa:fuddzɨ:] [名]〔ばーふつず<sup>1</sup>ーまい...〕歯をいじくる。つまよーじを使うこと。

ばームま [pa:mma] [名]〔ば<sup>1</sup>ームままい...〕義母。夫の母。

ばームま [pa:mma] [名]〔ば<sup>1</sup>ームままい...〕産婆。

ばーもー [pa:mo:] [名]〔ばーも<sup>1</sup>ーまい...〕前歯のない人。子どもに多い。

ばーやしやい [pa:jaɕai] [名]〔ばーやしや<sup>1</sup>ーまい...〕葉野菜。

ばーゆ かム [pa:ju kam] [連語] 歯を咬む。相手を威嚇する。【例】ばーう かみー すかきり<sup>o</sup>（歯を噛んで挑戦する）。

ばーよーしゃーり<sup>o</sup> [pa:jo:ɕa:] [形]〔ばーよー<sup>1</sup>ーしゃまい...〕歯が弱い。

ばーよーむぬ [pa:jo:munu] [名]〔ばーよ<sup>1</sup>ーむぬまい...〕歯の弱い者。

はーりー [ha:ri:] [名]〔はーり<sup>1</sup>ーまい...〕ハーリー。爬龍船競漕。旧暦5月4日。

ばーれ [bare] [感] よい子。子どもを褒めることば。【例】ばーれどー（よい子だな）。ばーれがばーれ（とてもよい子）。

ばーんギ [pa:ngɨ] [名]〔ばーん<sup>1</sup>ギまい...〕歯を抜くこと。抜歯。乳歯を糸で縛って引き抜いた。その歯は屋根の上に投げた。次のように唱えた。〈ヴエーだぬ ばーとう むいめー〉（ねずみの歯と生え勝負だ）。ねずみの歯のように強い歯が生えることを願った。

ばーんとう [pa:ntu] [名]〔ばーん<sup>1</sup>とうまい...〕歯の欠けている人。

ばーんや [ba:n.ja] [連語] ~するときは。~する場合は。【例】しゅーずー ばーんや（仕事をする時は）。

はい [hai] [感] さあ。それ。【例】はい、ギばりー みーる（それ頑張れ）。

ばい [bai] [名]〔ば<sup>1</sup>ーまい...〕倍。二倍。【例】ばいなりー ぶり<sup>o</sup>（二倍になっている）。

ばイ [paɨ] [名]〔ばイまい...〕灰。木灰。石灰。

ばイ [paɨ] [名]〔昆虫〕〔ばイまい...〕蠅。蠅の総

- 称。【例】ぱイウ わい（蠅を追え）。
- ばい [pai] [名]〔ばい<sup>1</sup>んまい...〕南。南の方角。  
【例】ばいんけー（南へ。南の方へ）。ばいんけー ふう（南へ向く）。
- ぱイいし [paɪçi] [名]〔ぱイいしまい...〕石灰を造る用の石。珊瑚のこと。
- ぱイいる [paɪru] [名]〔ぱイい<sup>1</sup>るまい...〕灰色。  
【例】ふむぬ ぱイいる（雲の灰色）。
- はいいん [haiin] [名]〔病〕〔はいい<sup>1</sup>んまい...〕肺炎。
- ぱイがしゃ [paɪgəɕa] [名]〔病〕〔ぱイがしゃまい...〕頭皮の病気。
- ばいかた [paikata] [名]〔ばいか<sup>1</sup>たゆーりらまい...〕南の方。南の所。南側。南隣。
- ばいかでい [paikadi] [名]〔ばいか<sup>1</sup>でいまい...〕南風。はえ。しろはえ。くろはえ。夏に多く吹く。【類】「かーつーばい」。
- はいから [haikara] [名]〔はいか<sup>1</sup>らまい...〕おしやれ。その人。
- ぱイギー [paɪki:] [名]〔ぱイギ<sup>1</sup>ーまい...〕腱。筋。靭帯。筋肉と骨をむすびつける筋状の組織。
- はいきう [haikiu] [名]〔はいきうまい...〕配給。戦後に米国からの配給物資のこと。
- はいきっかく [haikikkaku] [名]〔病〕〔はいきっか<sup>1</sup>くまい...〕肺結核。
- はいさ [haisa] [感] かけ声。勢いをつける声援。
- ぱイたかり [paɪtakari] [名]〔ぱイたか<sup>1</sup>りまい...〕蠅がたかること。
- ぱイだす [paɪdasɯ] [動I類c型]〔ぱイだしー、ぱイだしゃん〕這い出す。虫が這い出る。
- ぱイたたぎ [paɪtatakɯ] [名]〔ぱイたた<sup>1</sup>ぎまい...〕蠅たたき。蠅をたたくこと。蠅を追っ払うこと。蠅をたたくもの。
- ぱいつぎふつ [paitsɯkɯfutsɯ] [名]〔地〕〔ぱいつぎふ<sup>1</sup>つまい...〕多良間島の〈とうぶり〉の名前。村史参照。
- ぱいっす [paissɯ] [動I類c型]〔ぱいっしー、ぱいっしゃん〕生やす。
- ぱいっす [paissɯ] [動I類c型]〔ぱいっしー、ぱいっしゃん〕這わせる。つる性の植物を這わせる。
- ぱいっす [paissɯ] [動I類c型]〔ぱいっしー、ぱいっしゃん〕榮えさせる。
- ぱイでい [paɪdi] [名]〔ぱイでいま<sup>1</sup>い...〕這い出。這い出ること。外へ出ること。分家すること。
- ぱイでいヴヴあ [paɪdivva] [名]〔ぱイでいヴ<sup>1</sup>ヴあまい...〕分家した子。分家した家族。
- ぱイでいやー [paɪdija:] [名]〔ぱイでいや<sup>1</sup>ーまい...〕分家した家。本家から移転していった家。
- ぱイでいり [paɪdi] [動II類c型]〔ぱイでいー、ぱイでいん〕這い出る。外出する。外へ出る。分家する。【例】やーから ぱイでいり（家から外出する）。
- ばいどう [baidu] [名]〔ばい<sup>1</sup>どうまい...〕培土。作物の根に土寄せすること。作物の根に肥料を施して土を被せること。
- ばいどうく [baiduku] [名]〔病〕〔ばいどうくまい...〕梅毒。
- ばいどうに [paiduni] [名]〔ばいどう<sup>1</sup>にまい...〕南宗根。スツウブナカの祭場。
- ばいなー [paina:] [名]〔ばいなーまい...。ばいな<sup>1</sup>ーまい...〕延え縄。延縄漁。漁の方法。海上に縄を延える漁のこと。
- ばいぬ いム [painu im] [名]〔ばい<sup>1</sup>ぬいムー<sup>1</sup>まい...〕南の海。島の南側の海。
- ばいぬっじ [painuddzi] [名]〔地〕多良間島の〈とうぶり〉の名前。村史参照。
- ぱイぬふしゆ [paɪnufuɕu] [名]〔ぱイぬふ<sup>1</sup>しゆまい...〕蠅のくそ。
- ぱイぬり [paɪnu] [名]〔ぱイぬりまい...〕漆喰塗り。瓦屋根の瓦に漆喰を塗る。
- はいのーかばん [haino:kaban] [名]〔はいの<sup>1</sup>ーかばんまい...〕背のう鞆。リュックサック。
- ぱいばる [paibaru] [名]〔ぱいば<sup>1</sup>るまい...〕南の方の畑・土地。
- ぱいみっじ [paimiddzi] [名]〔地〕〔ぱいみっ<sup>1</sup>じまい...〕多良間島の〈とうぶり〉の名前。村史参照。
- ぱいむてい [paimuti] [名]〔ぱいむ<sup>1</sup>ていまい...〕南の方の里。
- ぱいむていム [paimutiim] [名]〔ぱいむ<sup>1</sup>ていムまい...〕南の海。

ばいむら [paimura] [名] [ばいむ<sup>1</sup>らまい...] 南の方の集落。

ばいむらピとう [paimurapitu] [名] [ばいむ<sup>1</sup>らピとうまい...] 南の方の集落の人。

ばいむらふつ [paimurafutsu] [名] [ばいむ<sup>1</sup>らふつまい...] 南の方の集落の入り口。

はいやー [haija:] [名] [は<sup>1</sup>いやー「まい...」じゃんけん。〈いし〉(ぐー)、〈ばしやム〉(ちょき)、〈ふるしき〉(ばー)を競い合う。

ばイヤギ [paɲakɯ] [名] [ばイヤギまい...] 石灰石を焼いて石灰を造ること。【類】「いしやギ」。

ばイヤギがま [paɲakɯgama] [名] [ばイヤギが<sup>1</sup>まい...] 石灰石を焼く窯(かま)。前泊港の近くにあったが、今はない。【類】「いしやギがま」。

はいよ [haijo] [感] 驚いた時に発する。

はいよーさー [haijo:sa:] [感] 驚いた時に発する。

ばいらす [bairasɯ] [名] [病] [ばいら<sup>1</sup>すまい...] バイラス病。さつものもの病気。葉が縮れる。芋ができない。

ばいり [bai] [動II類a型] [ばいー、ばいん] 割る。酒を水割りする。【例】しゃきう ばいーくー(酒を水割りしてきなさい)。

ばいり [pai] [動II類c型] [ばいー、ばいん] 栄える。繁盛する。繁榮する。【例】すまぬ ばいり(島が栄える)。

ばいり [pai] [動II類c型] [ばいー、ばいん] 映える。似合う。輝く。立派に見える。似合う。

ばいり [pai] [動II類c型] [ばいー、ばいん] 延える。縄を延える。

ばう [bau] [名] [ば<sup>1</sup>うまい...] 偉人。傑物。「王」に対応。(ニコライ・ネフスキーによる)。〈あだんやぬあず〉の歌に出てくる〈ばう〉。【同】「ぼー」。

ばう [bau] [名] [ば<sup>1</sup>うまい...] 棒。竹の棒。木の棒。金棒。【例】ばうあーす(棒合わせ)。【同】「ぼー」。

ばう [pau] [名] [ばうま<sup>1</sup>い...] 蛇。【同】「ぼー」。

ばう [pau] [動I類c型] [ばー、ばーん] 這う。赤子が這う。【同】「ぼー」。【類】「ばーどうり」。

ばうギ [paukɯ] [名] [ばう<sup>1</sup>ぎまい...] 箒。竹箒。すすきの箒。【同】「ぼーギ」。

ばうギ [paukɯ] [動I類c型] [ばうきー、ばうかん] 掃く。掃除する。【同】「ぼーギ」。

ばうぎん [paugin] [名] [ばうぎ<sup>1</sup>んまい...] 方言。【同】「ほーぎん」。「ぼーぎん」。

ばうぎんふだ [pauginfuda] [名] [ばうぎ<sup>1</sup>んふだまい...] 方言札。【同】「ほーぎんふだ」。「ぼーぎんふだ」。

ばうしゆ [bauɕu] [名] [ばう<sup>1</sup>しゆまい...] 芒種。二十四節気の一つ。6月6日頃。【同】「ぼーしゆ」。

ばうず [baudzɯ] [名] [ばう<sup>1</sup>ずまい...] 坊主。【同】「ぼーず」。

ばうちゃ [pautɕa] [名] [ばう<sup>1</sup>ちゃまい...] 料理人。スツウプナカのクバン座の責任者。【同】「ぼーちゃ」。

ばうつム [pautsɯm] [動I類c型] [ばうつみー、ばうつまん] 歯で唇を咬む。威嚇する。

ばうどうー [pauðu:] [名] [ばうどう<sup>1</sup>ーまい...] 蛇胴。蛇のような体。怪我の治りやすい人。怪我をしたときに回復の早い体のこと。

はうり [hauri] [名] [はう<sup>1</sup>りまい...] 羽織。和服。八月おどりの〈うぶぬす〉(大主)の着る丈の短い外衣。

ばうり [pau] [動I類c型] [ばうりー、ばうらん] 羽織る。着る。衣服を身につける。【例】ギんゆ ばうり(着物を着る)。

ばか [baka] [名] [罵声] [ば<sup>1</sup>かまい...] 馬鹿。

ばか [paka] [名] [ばかまい...] 墓。墓地。

ばかーらす [baka:rasɯ] [動I類c型] [ばかーらしー、ばかーらしゃん] 別れさせる。分ける。一つの物を別々にする。離す。【例】うすぬ っふあう ばかーらす(牛の子を離す)。

ばかーり [baka:] [助] ~くらい。~ばかり。【例】ゆぬなぎばかーり(同じ長さくらい)。くすかばかーり(これくらい)。やらびばかーり(子供くらい)。あんしーばかーり(それくらい)。

ばかーり [baka:] [助] ~頃。【例】さんじばかーり(三時頃)。あたばかーり(明日頃)。やーにばかーり(来年頃)。

ばかーり [baka:] [動II類c型] [ばかーりー、ばかーりん] 別れる。分かれる。離れる。離婚す

る。【例】ふたーりらー ばかーりー (二人は離婚した)。【同】「ばかーりり」。

ばかーり [baka:ri] [名] [ばかーりま<sup>1</sup>い...] 別れ。分かれ。離れ。

ばかーりぐりしゃーり [baka:|guriça:] [形] [ばかーりぐり<sup>1</sup>しゃまい...] 別れ苦しい。別れづらい。離れづらい。名残惜しい。

ばかーりり [bakari:] [動II類c型] [ばかーりー、ばかーりん] 別れる。分かれる。離れる。離婚する。【例】うすぬ っふあー ばかーりぐまた (牛の子は離れるべきだ)。【同】「ばかーり」。

ばかいし [pakaici] [名] [ばかいしまい...] 墓石。【同】「ばかいす」。

ばかいす [pakais] [名] [ばかいすまい...] 墓石。【同】「ばかいし」。

ばかがいり [bakagai] [動I類c型] [ばかがいりー、ばかがいらん] 若返る。若くなる。【例】くじゅゆーりらー ばかがいりー (去年より若返っている)。

ばかがム [bakagam] [名] [ばかが<sup>1</sup>ムまい...] 若い神。人が死んで間もないこと。

ばかぎ なり [bakagi na] [連語] 若々しくなる。【例】ピぎう しゅりたかー ばかぎ なり (髭をそると若く見える)。

ばかぎー [bakagi:] [名] [ばかぎ<sup>1</sup>ーまい...] 若木。苗木。幼木。生えて間もない木。

ばかぎしゃーり [bakagiça:] [形] [ばかぎ<sup>1</sup>しゃまい...] 若そうである。若く見える。【例】いつ みーりばまい ばかぎ (いつ見ても若く見える)。

はかし [hakaçi] [名] [はか<sup>1</sup>しまい...] 博士。知識人。秀才。学者。研究者。

ばかしや [bakaça] [名] [ばか<sup>1</sup>しゃまい...] おかしさ。

ばかしや [bakaça] [名] [ばか<sup>1</sup>しゃまい...] 若さ。

ばかしやーり [bakaça:] [形] [ばか<sup>1</sup>しゃまい...] おかしい。【例】ばかしやぬ (おかしいこと)。

ばかしやん ならん (おかしくてたまらない)。

ヴヴあう みーたかー ばかしやーり (君を見るとおかしいよ)。

ばかしやーり [bakaça:] [形] [ばか<sup>1</sup>しゃまい...]

若い。若年である。若年者である。【例】ギむがめー ばかしやーり (心だけは若い)。ばかしやーりけ ばたらき (若いうちに働け)。

ばかしやうず [pakaçaudz] [名] [ばかしやうずまい...] 墓掃除。お盆祭の7日前に墓を掃除する。【同】「ばかしよーず」。

ばかじゅなま [bakadzunama] [名] [ばかじゅな<sup>1</sup>まい...] 野菜が塾しない状態。【例】ばかじゅなまう しー ふー (熟していない状態で食べる)。

ばかしよー [bakaço:] [名] [ばかしよ<sup>1</sup>ーまい...] 若相。若づくりの人。年齢より若く見える人。

ばかしよーず [pakaço:dz] [名] [ばかしよーずまい...] 墓掃除。お盆祭の7日前に墓を掃除する。【同】「ばかしやうず」。

ばかじら [bakadzira] [名] [ばかじ<sup>1</sup>らまい...] お産して間もないこと。

ばかす [bakas] [名] [ばか<sup>1</sup>すまい...] 酒入れ。酒つぼ。口が小さく胴が膨らんだつぼ。

ばかす [bakas] [名] [ばか<sup>1</sup>すまい...] 味噌醗酵用のかめ。味噌貯蔵用のかめ。

ばかす [bakas] [動I類a型] [ばかしー、ばかしやん] 神酒や味噌を醗酵させる。麹菌で淡水物やたんぱく質を分解させる。【例】かうずう ばかしー ぶり (麹を醗酵させている)。

ばかす [bakas] [動I類c型] [ばかしー、ばかしやん] 分ける。仲裁する。【例】えー ぶりるー ばかす (喧嘩している人たちを仲裁する)。

ばかす [pakas] [動I類c型] [ばかしー、ばかしやん] 吐き出させる。口の物を吐かせる。胃から吐き出させる。

ばかす [pakas] [動I類c型] [ばかしー、ばかしやん] 吐かす。事実を吐かす。【例】まくとうー ばかす (もことを吐かせる)。

ばかす [pakas] [動I類a型] [ばかしー、ばかしやん] 首にかける。メダルをかける。【例】ほーげんふだう ばかす (方言札を首にかける)。

ばかす [pakas] [動I類c型] [ばかしー、ばかしやん] 解かせる。問題を解かす。

ばがす [pagas] [動I類c型] [ばがしー、ばがしやん] 船をはぐ。造船する。【例】ふにう ばぎ

ー ぶり (船を造っている)。

ばがす [pagasʝ] [動 I 類 c 型] [ばがしー、ばがしやん] 剥がす。さとうきびの葉を剥がせる。【例】サロンパスう ばがす (サロンパスを剥がす)。

ばかすぎ [bakadzʝkʝ] [名] [ばかすぎまい...。ばかすぎまい...] 若月。月はじめの月。

ばかすぎしゃーり [bakasʝçia:] [形] [ばかすぎしやまい...] おかしなふり。変な格好。【例】ばかすぎピとう (変な格好の人)。

ばかすび [bakasʝbʝ] [動 II 類 c 型] [ばかすびー、ばかすびん] 馬鹿にする。さげすむ。みくびる。あざむく。【例】ばかすびんな (馬鹿にするな)。

ばかすむぬ [bakasʝmunu] [名] [ばかすむぬまい...] おかしなこと。くだらない。変な者。

ばかすん [bakadzʝn] [名] [ばかすんまい...] 若死。早死。若くして死ぬこと。

ばかっさぎ [bakassagi] [名] [ばかっさぎまい...] 若白髪。若者の白髪。

ばかとうず [bakatudʝ] [名] [ばかとうずまい...] 若妻。新妻。若奥様。

ばかどうり [bakadu:] [名] [ばかどうりまい...。ばかどうりまい...] 若鳥。幼鳥。さしばの若鳥は目が青いことで分る。

ばかどうり [bakadu:] [名] [ばかどうりまい...] 農作物を未熟のまま収穫すること。

ばかどうり [pakadu:] [動 I 類 c 型] [ばかどうりー、ばかどうらん] はかどる。仕事が順調に進むこと。【例】かしー すばどう ばかどうり (手伝いするとはかどる)。

ばかなす [bakanasʝ] [名] [ばかなすまい...] 若くして子どもを産むこと。

ばかなつ [bakanatsʝ] [名] [ばかなつまい...] 若夏。4 - 5 月頃の季節。【類】「うるずム」。

ばがに [pagani] [名] [ばがにまい...] はがね。鋼鉄。体力の丈夫な人にもたとえる。【例】かりがどうーや ばがにどー (彼の体ははがねだ)。

ばかにしゃい [bakaniçai] [名] [ばかにしゃいまい...] 若二才。青年。若者。年齢の若い男。

ばかばー [bakaba:] [名] [ばかばーまい...] 若葉。茎の先の若い葉。【例】うるずムんや ばか

ばーぬ いでいり (若夏には若葉が出る)。

ばかばい [bakabai] [名] [ばかばいまい...] 若生え。草木の新芽。若芽の萌え出ること。

ばかばかていー [bakabakati:] [副] 若々しい。健康な人。言動が若く見えること。【例】いつまい ばかばかていーぬ ピとう (いつも活発な人)。

ばかばぎ [bakapagi] [名] [ばかばぎまい...] 若禿げ。若い人の髪の中の禿げ。

ばかふしゃ [bakafuça] [名] [ばかふしゃまい...] 若草。春の若草。萌え出る野の若草。

ばかふつ [pakafutsʝ] [名] [ばかふつまい...] 仕事のはじまり。

ばかふつ [pakafutsʝ] [名] [ばかふつまい...] 墓の入り口。

ばかま [pakama] [名] [ばかままい...] 袴。和服。【例】ばかまう きーとうい いあいう すー (袴を着て「居合道」をする)。

ばがま [pagama] [名] [ばがままい...] 羽釜。米を炊くもの。

ばかみうとう [bakamiutu] [名] [ばかみうとうまい...] 若夫婦。新婚の夫婦。【類】「ばかみうとうら」。

ばかみうとうら [bakamiutura] [名] [ばかみうとうらまい...] 若夫婦。新婚の夫婦。【類】「ばかみうとう」。

ばかみが [bakamiga] [名] [ばかみがまい...] 若い女。乙女。少女。むすめ。

ばかみず [bakamidzʝ] [名] [ばかみずまい...。ばかみずまい...] 若水。スツウプナカの朝の水。伝説によると、人間は死ぬことはなかった。それは、毎年「節」の夜に天から若水が落ちて、人間が他の動物より先にこれを浴びたからであった。ところがある年、蛇が人間より先に若水を浴びた。人間が来た時は水は汚れていたもので、手と足だけ洗った。蛇は脱皮して若返り、人間は手足の爪ばかりが生えるようになった。【類】「すでいみず」。

ばがみどう [bagamidu] [連語] ~すればいいのに。【例】かんしー すばがみどう (こんなにすればよいのに)。

ばかみどうム [bakamidum] [名] [ばかみどうム

まい...) 若い女性。乙女。【類】「ばかみが」。

ばかム [pakam] [名] [ばか<sup>1</sup>ムまい...] 女性用の着衣。

ばがム [pagam] [動I類a型] [ばがみー、ばがまん] 笑う。微笑む。苦笑いをする。心は苦しいけれども、顔で笑う。

ばかムしゅ [bakamçu] [名] [ばかム<sup>1</sup>しゅまい...] 若い味噌。醗酵が進んでいない味噌。

ばかむぬ [bakamunu] [名] [ばかむぬまい...] 若者。若い男女。作物では未熟もの。

ばかやま [pakajama] [名] [ばかや<sup>1</sup>ままい...] 墓山。墓地。墓地のある森林。

ばからす [pakarasu] [動I類c型] [ばからしー、ばからしゃん] 計らす。測らす。計量させる。【例】なぎう ばからす (長さを測らせる)。ますにー ばからす (枡で量らす)。

ばかり [baka] [助] ~くらい。【例】あんしーばかり (それくらい)。

ばかり [paka] [名] [ばか<sup>1</sup>りまい...] 秤。計り。計測する道具。計器。間縄。巻尺。枡。長さ・重さ・量などをはかる道具。

ばかり [paka] [動I類c型] [ばかりー、ばからん] 計る。量る。計測する。

ばかりぬ ふぐり [paka[nu] fugu] [名] [ばかり<sup>1</sup>ぬふぐりまい...] 竿ばかりの重り。〈ふぐり〉は陰のうのこと。

ばがりり [pagari] [動II類c型] [ばがりー、ばがりん] 剥がれる。皮が剥がれる。

ばぎ [bak] [動I類a型] [ばきー、ばかん] 湧く。沸く。涌く。湯が沸く。泡が出る。【例】ゆーぬ ばきー ぶり (湯が沸いている)。

ばぎ [bak] [動I類a型] [ばきー、ばかん] 醗酵する。味噌や酒のもろみが醗酵する。【例】ムしょー ばきった (味噌が醗酵した)。

ばぎ [bak] [動I類c型] [ばきー、ばかん] 割る。木材を縦に割る。木材を加工する。製材する。【例】きーゆ ばぎ (木を加工する)。

ばき [baki] [名] [ばきま<sup>1</sup>い...] 化け。化けること。姿を変えること。本物に見せかけること。

ばき [baki] [名] [ばきま<sup>1</sup>い...] 分け。分けること。分配すること。別々にすること。区分する

こと。【例】ばきまい (分け前)。

ばぎ [pak] [動I類c型] [ばきー、ばかん] 首にかける。【例】にぶいん しゃずう ばぎ (首にタオルをかける)。

ばぎ [pak] [動I類c型] [ばきー、ばかん] 吐く。口から食べたものを吐く。【例】むぬばかていー ぶり (物を吐こうとしている)。

ばぎ [pag] [名] [ば<sup>1</sup>ぎまい...] 脚。足。【例】ばぎう あるー (足を洗う)。ばぎう きり (足をつまずく)。

ばぎ [pag] [動I類c型] [ばぎー、ばがん] 船を造る。造船する。【例】ふにばぎ (船造り)。

ばぎ [pag] [動I類c型] [ばぎー、ばがん] 剥ぐ。【例】ばーう ばぎ (葉を剥ぐ)。

ばぎ [pagi] [名] [ばぎま<sup>1</sup>い...] 禿げ。頭髪の禿げ。

ばぎ [pagi] [名] [ばぎま<sup>1</sup>い...] 不漁。磯禿げ。【例】いしゅばぎ (漁が悪い)。

ばぎあがり [bakjaga] [動I類c型] [ばぎあがりー、ばぎあがらん] 湧き上がる。勢が増す。盛り上がる。【例】おーいんぬ ばぎあがり (応援が湧き上がる)。

ばぎあとう [pagiatu] [名] [ば<sup>1</sup>ぎあとうまい...] 足跡。

ばぎーしゃーり [pagi:ca:] [形] [ばぎー<sup>1</sup>しゃまい...] 不愉快。金属音。

ばぎがき [paggaki] [名] [ば<sup>1</sup>ぎがきまい...] 足相撲。足かけ。

ばぎがなまら [pagiganamara] [名] [ばぎがなま<sup>1</sup>らまい...] 禿げ頭。またはその人。【同】「ばぎがなまれ」。

ばぎがなまり [pagiganama] [名] [ばぎがなま<sup>1</sup>りまい...] 禿げ頭。禿げている頭。

ばぎがなまれ [pagiganamare] [名] [ばぎがなま<sup>1</sup>れまい...] 禿げ頭。またはその人。【同】「ばぎがなまら」。

ばぎがりむぬ [pagga[munu] [名] [ば<sup>1</sup>ぎがりむぬまい...] 足軽。軽い足どり。歩き方の軽快なこと。またその人。

ばぎがりらーり [pagga[ra:] [形] [ば<sup>1</sup>ぎがり<sup>1</sup>らまい...] 足軽。軽い足どり。歩き方の軽快なこ

- と。
- ばぎぎさ [bakɣɯsa] [名]〔ばぎぎ<sup>1</sup>さまい...〕きしのうえとかげ。
- ばぎじやに [pagidzani] [名]〔ばぎじや<sup>1</sup>にまい...〕禿げる血統。
- ばぎじゅーしゃ [pagɯdzu:ɕa] [名]〔ば<sup>1</sup>ぎじゅーしゃまい...〕脚力が強いこと。遠い所も短時間で歩けること。
- ばぎじゅーしゃーり [pagɯdzu:ɕa:] [形]〔ば<sup>1</sup>ぎじゅーしゃまい...〕脚力が強い。遠い所も短時間で歩ける。
- ばぎじゅーむぬ [pagɯdzu:munu] [名]〔ば<sup>1</sup>ぎじゅーむぬまい...〕脚力が強いこと。またその人。遠い所も短時間で歩けること。またその人。
- ばきずぶん [bakidzɯbun] [名]〔ばきずぶ<sup>1</sup>んまい...〕分けて良い時分。子牛や子馬の分けて良い頃。子離れする時期。
- ばぎだ [bakɯda] [名]〔ばぎだまい...〕脇。
- ばぎた [pagita] [名]〔ばぎ<sup>1</sup>たまい...〕やせた畑。なまけ者の畑。【類】「ばぎずー」。「ばぎばる」。
- ばぎだぎー [bakɯdagi:] [名]〔ばぎだぎ<sup>1</sup>ーまい...〕脇の毛。
- ばぎだす [bakɯdasɯ] [動 I 類 c 型]〔ばぎだしー、ばぎだしゃん〕湧き出す。湯が沸き出す。発酵する。醗酵の良いこと。【例】ムしょー ばぎだした (味噌が醗酵した)。
- ばきだま [bakidama] [名]〔ばきだ<sup>1</sup>ままい...〕分け前。取り分。取り前。貰い分。等分すること。
- ばきだまずー [bakidamadzɯ:] [名]〔ばきだ<sup>1</sup>まずーまい...〕分け前の畑。親ゆずりの畑。
- ばぎだり [pagɯda:] [動 II 類]〔ばぎだりー、ばぎだりん〕〔ば<sup>1</sup>ぎだりー「ぶり」〕脚が疲れる。足がだるい。【同】「ばぎだりり」。
- ばぎだりり [pagɯdari:] [動 II 類]〔ばぎだりー、ばぎだりん〕〔ば<sup>1</sup>ぎだりー「ぶり」〕脚が疲れる。足がだるい。【同】「ばぎだり」。
- ばきちゃー [bakitɕa:] [名]〔ばきちゃ<sup>1</sup>ーまい...〕分け合い。平等に分ける。等分する。
- ばきつ [bakitsɯ] [名]〔ばき<sup>1</sup>つまい...〕バケツ。
- ばぎでいり [bakɯdi:] [動 II 類 c 型]〔ばぎでいー、ばぎでいん〕湧き出る。飛び出る。醗酵する。醗酵の良いこと。【例】んがばつぬ ばぎでいり (くまばちが巣から飛び出る)。
- ばぎでいり [pakɯdi:] [動 II 類 c 型]〔ばぎでいー、ばぎでいん〕吐き出す。口から食べ物を吐き出す。
- ばぎならす [pagɯnarasɯ] [名]〔ば<sup>1</sup>ぎならすまい...〕脚馴らす。軽い運動。
- ばぎぬ ういび [pagɯnu uibi] [名]〔ばぎ<sup>1</sup>ぬういび<sup>1</sup>まい...〕足の指。
- ばぎぬぐー [pagɯnugu:] [名]〔ば<sup>1</sup>ぎぬぐーまい...〕足を拭くこと。
- ばぎばー [bakɯba:] [名]〔ばぎば<sup>1</sup>ーまい...〕鋸の一種。木材を縦に切るような刃を持つ。
- ばぎぼうず [pagibaudzɯ] [名]〔ばぎぼう<sup>1</sup>ずまい...〕禿げ頭。【同】「ばぎばーず」。
- ばぎばる [pagiparu] [名]〔ばぎば<sup>1</sup>るまい...〕やせた畑。耕土が浅く石ころの多い畑。【類】「ばぎずー」。「ばぎた」。
- ばきピだてい [bakipɯdati] [名]〔ばきピだ<sup>1</sup>ていまい...〕分け隔て。仕切り。差別すること。区別。
- ばきピだていり [bakipɯdati:] [動 II 類 c 型]〔ばきピだていー、ばきピだていん〕分け隔てる。仕切る。差別する。区別する。
- ばぎぶがり [pagɯbugari] [名]〔ば<sup>1</sup>ぎぶがりまい...〕脚の疲れ。足のだるいこと。
- ばぎふぎ [pagɯfugɯ] [名]〔ばぎふ<sup>1</sup>ぎまい...〕足首。
- ばぎぶに [pagɯbuni] [名]〔ば<sup>1</sup>ぎぶにまい...〕足の骨。向うずね。
- ばきぶん [bakibun] [名]〔ばきぶ<sup>1</sup>んまい...〕分け前。【類】「ばきまい」。
- ばぎばーず [pagibo:dzɯ] [名]〔ばぎば<sup>1</sup>ーずまい...〕禿げ頭。【同】「ばぎぼうず」。
- ばきまい [bakimai] [名]〔ばきま<sup>1</sup>いまい...〕分け前。【類】「ばきぶん」。
- はぎます [hagimasɯ] [動 I 類 a 型]〔はぎましー、はぎましやん〕励ます。激励する。力づける。【例】やムむぬー はぎます (病人を励ます)。
- ばぎみず [bakɯmidzɯ] [名]〔ばぎみず<sup>1</sup>まい...〕ばぎみ<sup>1</sup>ずまい...〕湧水。泉。自然の恵みの泉を言

う。〈ながしがー〉〈あまがー〉〈ふだがー〉〈ぶしゃとうがー〉〈しゅががー〉など。

ばギムしゅ [bakɯmɕu] [名] [ばギム<sup>1</sup>しゅまい...] 十分醗酵した味噌。熟成した味噌。〈ばギムしゅ〉のあることは裕福を意味する。

ばギむぬ [pakɯmunu] [名] [ばギむ<sup>1</sup>ぬまい...] 首にかけるもの。

ばギむぬ [pakɯmunu] [名] [ばギむ<sup>1</sup>ぬまい...] 吐いたもの。

ばきやー [bakija:] [名] [ばきや<sup>1</sup>ーまい...] 分け合うこと。

ばギヤム [pagjam] [動I類] [ばギやみー、ばギヤまん] [ば<sup>1</sup>ギやみー「ぶり」] 足が痛む。足が疲れる。

ばギゆくー [pagjuku:] [名] [ば<sup>1</sup>ギゆくーまい...] 足を休ませる。足の疲れを治す。

ばギよーしゃーり [pagjo:ɕa:] [形] [ば<sup>1</sup>ギよーしゃまい...] 足が弱い。

ばギよーむぬ [pagjo:munu] [名] [ば<sup>1</sup>ギよーむぬまい...] 足の弱い者。脚力の弱い者。

ばきり [baki] [動II類c型] [ばきー、ばきん] 化ける。姿を変える。本物に見せかける。【例】みどうムー ばぎり (女に化ける)。きしょーゆしー ばきり (化粧して化ける)。

ばきり [baki] [動II類c型] [ばきー、ばきん] 分ける。【例】ゆーつん ばきる (四つに分けよ)。ムーなん ばきり (皆に分ける)。

ばぎり [pagi] [動II類c型] [ばぎー、ばぎん] 禿げる。

ばぎり [pagi] [動II類c型] [ばぎー、ばぎん] 畑がやせる。

ばぎり [pagi] [動II類c型] [ばぎー、ばぎん] くじで外れる。くじ引きをして負ける。

ばぎり [pagi] [動II類c型] [ばぎー、ばぎん] 魚が取れない。不漁。【例】きうや ばぎった (今日は魚が取れない)。

ぱく [paku] [名] [ぱくま<sup>1</sup>い...] 箱。【例】ふんぱく (本箱)。くつぱく (靴箱)。ふでいぱく (筆箱)。

ぱくー [baku:] [動I類c型] [ばけー、ばかーん] 奪う。【例】ばかい (奪いなさい)。ばけー くー

(奪って来い)。かぬ つきだきう ばけー くー (あのマッチを奪って来い)。

ぱぐーしゃーり [pagu:ɕa:] [形] [ぱぐー<sup>1</sup>しゃまい...] いやな音を聞いて身震いする。

ぱぐーしゃーり [pagu:ɕa:] [形] [ぱぐー<sup>1</sup>しゃまい...] はがゆい。怖い。危なっかしい。危ない。

ぱくーむぬ [baku:munu] [名] [ぱくー<sup>1</sup>むぬまい...] 奪ったもの。強奪したもの。

ぱぐーむぬ [pagu:munu] [名] [ぱぐー<sup>1</sup>むぬまい...] はがゆいこと。怖いこと。危険な所にいること。

ぱくーめー [baku:me:] [名] [ぱくー<sup>1</sup>めーまい...] 奪い合い。取り合い。

ぱくじゃた [pakudzata] [名] [ぱくじゃたまい...] 箱に詰めた黒糖。

ぱくずみ [pakudzɯmi] [名] [ぱくずみまい...] 箱詰め。

ぱくだん [bakudan] [名] [ぱくだ<sup>1</sup>んまい...] 爆弾。爆薬を爆発させる武器。突然に人を驚かすことのとえにも言う。

ぱくち [bakutɕi] [名] [ぱく<sup>1</sup>ちまい...] 博打。とばく。ギャンブル。

はくぶく [hakubuku] [名] [はくぶ<sup>1</sup>くまい...] 白墨。チョーク。

はくらい [hakurai] [名] [はくら<sup>1</sup>いまい...] 舶来。外国から来たもの。

はくらいひん [hakuraihin] [名] [はくらいひ<sup>1</sup>んまい...] 舶来品。外国の品物。

ぱぐりり [paguri] [動II類c型] [ぱぐりー、ぱぐりん] はぐれる。迷い子になる。【例】つふあぬどう ぱぐりー (子供がはぐれてしまった)。

はくるー [hakuru:] [名] [はくるー<sup>1</sup>んまい...] 白露。二十四節気の一つ。新暦の9月8日頃。

ぱくるー [bakuru:] [名] [ぱくる<sup>1</sup>ーまい...] 博労。馬喰。牛馬の売買人。

ばけーり [bake:] [動II類c型] [ばけーりー、ばけーりん] 別れる。【例】ばけーりった (分かれた)。【同】「ばけーりり」。

ばけーりり [bake:ri] [動II類c型] [ばけーりー、ばけーりん] 別れる。【同】「ばけーり」。

ばし [baɕi] [名] [ばし<sup>1</sup>んまい...] 間。境。隙間。

海峡。【例】ぱらぬ ばし (柱と柱の間)。やーばし (家と家の間)。ふむぬ ばし (雲の間)。みんなばし (水納島と多良間島の間)。

ばしや [baça] [名] [植] [ば<sup>1</sup>しやまい...] 芭蕉。バナナの木。樹皮は織物の繊維をとる。葉で食べ物を包む。【同】「ばしよー」。

ばしや [baça] [名] [ば<sup>1</sup>しやまい...] 馬車。荷馬車。【例】ばしやん うーす (馬車に載せる)。からばしや (荷のない馬車)。

ばしやいとう [baçaitu] [名] [ば<sup>1</sup>しやいとうまい...] 芭蕉糸。織物に使う。

ばしやが ぱー [baçaga pa:] [名] [ばしや<sup>1</sup>がぱー「まい...」 芭蕉の葉。

ばしやがー [baçaga:] [名] [ば<sup>1</sup>しやがーまい...] 芭蕉の皮。【同】「ばすがー」。

ばしやがっさ [baçagassa] [名] [ば<sup>1</sup>しやがっさまい...] 芭蕉の葉のこと。葉が広いこと。食べ物を包むのに用いる。

ぱじゃきり [padzakiri] [動II類c型] [ぱじゃきー、ぱじゃきん] 開ける。荒れ地を耕す。開墾する。広げる。【例】ふくるー ぱじゃきり (袋を広げる)。

ばしやぎん [baçagin] [名] [ば<sup>1</sup>しやぎんまい...] 芭蕉の糸で作った着物。夏用の着物。

ばしやくばま [baçakubama] [名] [地] [ば<sup>1</sup>しやくばままい...] 多良間島の〈とうぶり〉の名前。村史参照。

ばしやっじゃす [baçaddzasu] [動I類a型] [ばしやっじゃしー、ばしやっじゃしやん] 怒らせる。悲しませる。【例】あんなう ばしやっじゃす (母を悲しませる)。

ばしやっずー [baçaddz:] [動I類a型] [ばしやっじー、ばしやっじゃん] 怒る。悲しむ。悲しくなる。【例】あんなが ばしやっじー ぶり (母が怒っている)。

ばしやなり [baçana] [名] [ばしやな<sup>1</sup>りまい...] 心臓。芭蕉の雄花の形と色が心臓に似ていることから。

ばしやなり [baçana] [名] [ばしやな<sup>1</sup>りまい...] 芭蕉の実。バナナ。

ばしやぬぬ [baçanunu] [名] [ば<sup>1</sup>しやぬぬまい...]

芭蕉布。芭蕉の糸で織った布。

ばしやぱぎ [baçapagi] [名] [病] [ば<sup>1</sup>しやぱぎまい...] 風土病でむくんだ足。【同】「ばしよーぱぎ」。

ばしやばしや [baçabaça] [擬] [ばしやばしやていー...] 頭髮のばさばさしている様。やどかりの這う様。

ばしやふた [baçafuta] [名] [鳥] [ば<sup>1</sup>しやふたまい...] うぐいす (村史)。

ばしやまり<sup>ろ</sup> [paçama] [動I類c型] [ばしやまりー、ばしやまらん] 挟まる。【例】やどうん ばしやまりー (戸に挟まれた)。

ばじゃみぎ [badzamiki] [動I類c型] [ばじゃみきー、ばじゃみかん] 騒ぐ。子どもたちが騒ぐ。【例】やらびぬ ばじゃみきー ぶり (子供が騒いでいる)。

ぱしやム [paçam] [名] [ぱしや<sup>1</sup>ムまい...] 鋏。裁断に使うもの。切断するのに使う道具。紙に穴を開けるペンチ。

ぱしやム [paçam] [動I類c型] [ぱしやみー、ぱしやまん] 挟む。洗濯物を挟む。【例】やどうん ぱしやム (戸に鋏む)。うめーすしー ぱしやム (箸で挟む)。【類】「っふあす」。

ぱしやむて [baçamute] [名] [ぱしやむて「まい...」 馬車持ち。馬車を操る人。車夫。

ぱしやムべー [paçambe:] [名] [ぱしやムべーまい...] 座でご馳走をはさんで配る人。

ぱしやムまーり [paçamma:] [名] [ぱしやムまーりまい...] 食べ物を挟んで差し上げて回ること。

ぱしやムむぬ [paçammunu] [名] [ぱしやムむ<sup>1</sup>ぬまい...] 挟むもの。物を挟むことのできるもの。箸。紙はさみ。

ぱしやムむぬ [paçammunu] [名] [ぱしやムむ<sup>1</sup>ぬまい...] 副食物。さしみ。肴。つまみなど。

ばしよー [baço:] [名] [植] [ばしよ<sup>1</sup>ーまい...] 芭蕉。バナナの実る木。【同】「ばしや」。

ばしよーぱぎ [baço:pagi] [名] [ばしよ<sup>1</sup>ーぱぎまい...] 風土病でむくんだ足。【同】「ばしやぱぎ」。

はしよーふ [haço:fu] [名] [病] [はしよ<sup>1</sup>ーふま

い...) 破傷風。  
 ばしょーふ [baʃo:fu] [名] [ばしょー<sup>1</sup>ふまい...] 芭蕉布。芭蕉の糸で織った布。  
 ばす [bas] [名] [鳥] [ばすまい...] 鷺。かんむりわし。〈ばすぬとぅり〉(八重山の舞踊)。  
 ばす [pas] [名] [ばすまい...] 橋。【例】ばすうかきり (橋を架ける)。  
 ばす [pas] [名] [ば<sup>1</sup>すまい...] 箸。昔、畑で食事するときは小枝を使用した。【類】「うめーす」。  
 ばず [padz] [助] ~はず。たぶん... だろう。【例】すーばず (するはず)。ぱりばず (走るはず)。あんしー すーばず (そうするはず)。  
 ばず [padz] [名] [ばずまい...] 恥。【例】ばずうかぎ (恥をかく)。  
 ばすー [pas:] [名] [ばす<sup>1</sup>ーまい...] 戸。【類】「やどぅ」。  
 ばすーす [pas:s] [名] [ばす<sup>1</sup>すまい...] 歯ぐき。  
 ばすーやどぅ [pas:jadu] [名] [ばす<sup>1</sup>ーやどぅまい...] 戸。【類】「やどぅばすー」。  
 ばずか [padzka] [名] [ばず<sup>1</sup>かまい...] はじき。うずら捕獲器の仕掛け。えさを食べようとする と弾き返る仕掛けになっている。  
 ばすがー [basga:] [名] [ば<sup>1</sup>すがーまい...] 芭蕉の木の皮。繊維(糸)をとる皮。【同】「ばしゃがー」。  
 ばすがーうでい [basga:udi] [名] [ば<sup>1</sup>すがーうでいまい...] 細い腕。やせた腕。またはその人。  
 ばすかうしゃーり [pas:kauʃa:] [形] [ばすかう<sup>1</sup>しゃまい...] 痒い。ちくちくと痒い。【同】「ばすこーしゃーり」。  
 ばすかうむぬ [pas:kaumunu] [名] [ばすかうむ<sup>1</sup>ぬまい...] かゆいこと。ちくちくすること。【同】「ばすこーむぬ」。  
 ばすかき [pas:kaki] [名] [ばすか<sup>1</sup>きまい...] 橋架け。橋を架けること。  
 ばすかき [pas:kaki] [名] [ば<sup>1</sup>すかき<sup>1</sup>まい...] 箸掛け。食べ物に箸を掛けること。仏壇の供え物に箸を掛けること。  
 ばずかしやーり [padzkaʃa:] [形] [ばずか<sup>1</sup>しゃまい...] 恥ずかしい。【例】えーぐすーや ばず

かすむぬ (歌を歌うことは恥ずかしい)。  
 ばずかす [padzkaʃ] [動I類c型] [ばずかしー、ばずかしやん] 弾かす。破裂させる。【例】かやくー ばずかす (火薬を爆発させる)。  
 ばすかむぬ [pas:kamunu] [名] [ばすかむ<sup>1</sup>ぬまい...] 元気者。気のきく者。骨おしみのない人。賢い人。  
 ばすかやらび [pas:kajarabi] [名] [ばすかやら<sup>1</sup>びまい...] 元気な子。賢い子。  
 ばずぎ [padzki] [名] [病] [ばず<sup>1</sup>ぎまい...] 口角炎。口の両わきの病気。  
 ばずぎ [padzki] [名] [ばず<sup>1</sup>ぎまい...] 唇の両側。口角。  
 ばずぎ [padzki] [動I類c型] [ばずきー、ばずかん] 弾く。弦楽器を指で弾く。ごむで弾く。銃で撃つ。【例】しゃムしゃんゆ ばずぎ (三線を弾く)。  
 ばずきり [padzki] [動II類c型] [ばずきー、ばずきん] 弾ける。泡が弾ける。風船が弾ける。爆弾が弾ける。  
 ばすこーしゃーり [pas:ko:ʃa:] [形] [ばすこー<sup>1</sup>しゃまい...] かゆい。ちくちくする。【同】「ばすかうしゃーり」。  
 ばすこーむぬ [pas:komunu] [名] [ばすこーむ<sup>1</sup>ぬまい...] かゆいこと。ちくちくすること。【同】「ばすかうむぬ」。  
 ばすなが [pas:naga] [名] [魚] [ばすな<sup>1</sup>がまい...] とがりえびす。夜釣りにとれる。ぶかびしの割れ目にとれる。  
 ばずばず [padzpadz] [擬] [ばずばずていーまい...] 着衣が小さく体に合わない様。  
 ばずます [padzmas] [動I類c型] [ばずましー、ばずましやん] 弾ませる。ふくらませる。風船をふくらます。【例】かまつう ばずます (ほっぱたを膨らませる)。【類】「ふくばらす」。  
 ばずまり [padzma] [動I類a型] [ばずまりー、ばずまらん] 始まる。【例】とうすぬ ばずまり (年が始まる)。しーとーぬ ばずまり (製糖が始まる)。  
 ばずみ [padzmi] [名] [ばずみまい...] 初め。初めること。【例】ばずみん んだす (初めに出

す)。  
 ぱずみてい [padzɯmiti] [副] 初めて。初めてのこ  
 こと。最初。【例】ぱずみてい なるー (初めて習  
 う)。なるーぱずみてい (習い初め)。  
 ぱずみり [padzɯmi] [動 II 類 a 型] [ぱずみー、  
 ぱずみん] 始める。開始する。【例】すぐとう  
 ー ぱずみり (仕事を始める)。  
 ぱずム [padzɯm] [動 I 類 c 型] [ぱずみー、ぱず  
 まん] 弾む。膨らむ。【例】ふぎばどう ぱずム  
 (吹けば弾む)。ぱなすぬ ぱずム (話が弾む)。  
 【類】「ふくばり」。  
 ぱずり [padzɯri] [名] [ぱずりま<sup>1</sup>い...] はずれ。  
 外れ。予報がそれる。村はずれ。  
 ぱずりり [padzɯri] [動 II 類 c 型] [ぱずりー、ぱ  
 ずりん] はずれる。外れる。離れる。【例】いと  
 うぬ ぱずりり (糸が外れる)。ふずぬ ぱずり  
 り (籤がはずれる)。  
 ぱた [bata] [名] [ばたま<sup>1</sup>い...] 腹。腸。内臓。腹  
 腔。【例】うぶぱた (太い腹・妊婦の腹)。ぱた  
 ぬ びなり (腹が減る)。すぐとうー しー ぱた  
 う びならし (仕事をして腹を減らしなさい)。  
 ぱた [bata] [名] [ばたま<sup>1</sup>い...] わた。果実の内部。  
 【例】まんじゅーぬ ぱた (パパイアの内部)。  
 がうらぬ ぱた (にがうりのわた)。  
 ぱた [bata] [名] 間近。辺り。【例】いムぱた (海  
 の近く)。あみぱた (雨が近い)。  
 ぱだ [bada] [名] [ばだまい...] 割れ目。干瀬の  
 割れ目。【類】「ばり」。  
 ぱだ [bada] [名] [ばだまい...] 浜。浜辺。海辺。  
 【例】ぱだうりー あすび (浜辺で遊ぶ)。  
 ぱた [pata] [名] 二十。【例】ぱたつ (二十歳)。  
 ぱたてい (二十年)。  
 ぱた [pata] [名] [ばたま<sup>1</sup>い...] 旗。【例】ぱたふ  
 り (旗振り)。たいりょーぱた (大漁旗)。  
 ぱた [pata] [名] [ばたま<sup>1</sup>い...] 機織り器。高機。  
 地機。【例】たかばた (高機)。ずばた (地機)。  
 ぱたうり (機織り)。  
 ぱた [pata] [名] [ばたま<sup>1</sup>い...] 端。【例】ゆかば  
 た (床の端)。つくいぬ ぱた (机の端)。  
 ぱた [pata] [擬] [ぱたていー...] 急に倒れるこ  
 こと。【例】ぱたていー たうりー (急に倒れた)。

ぱだ [pada] [名] [ばだま<sup>1</sup>い...] 肌。皮ふ。【例】  
 ぱだいる (肌色)。ぱだぬ ありり (肌が荒れ  
 る)。ぱだぬ やきり (日焼けする)。  
 ぱだ [pada] [名] [ばだまい...] 体調。体の具合。  
 元気。健康。【例】ぱだみぎ (体調のよいこと)。  
 ぱだ [pada] [名] [ばだまい...] 頃。間。時。時  
 代。【例】うんぬ ぱだ (その頃)。やらびぱだ  
 (子供の頃・幼い頃)。  
 ぱたー たらーん [bata: tara:n] [連語] 腹は足り  
 ない。食事が足りないこと。料理の少ないこ  
 こと。  
 ぱだー ねーん [pada: ne:n] [連語] 元気がない。  
 体調が悪い。病をしている。  
 ぱたー やみーどう なす [bata: jami:du nas] [連  
 語] 腹を痛めて子は産まれる。母の苦労のこと。  
 お産の苦しいこと。  
 ぱたあヴヴあ [bataavva] [名] [ばたあヴ<sup>1</sup>ヴあま  
 い...] 腹の脂肪。皮下脂肪。  
 ぱたあぎむぬ [pataagimunu] [名] [ばたあぎむ<sup>1</sup>  
 ぬまい...] 旗揚げ物。竿のこと。【類】「ばたか  
 きむぬ」。  
 ぱだーぱだ [pada:pada] [重複] 体調のよいこと。  
 【例】かれー ぱだーぱだ ぶムな (彼は体の調  
 子はよいかなあ。彼は元気かなあ)。  
 ぱだあり [padaari] [名] [ばだあ<sup>1</sup>りまい...] 肌荒  
 れ。皮膚がかさかさしていること。  
 ぱたいし [bataiçi] [名] [ばたい<sup>1</sup>しまい...] 腹石。  
 石垣を積むとき中に入れる小石のこと。石垣の  
 中身。【同】「ばたいす」。  
 ぱたいす [batais] [名] [ばたい<sup>1</sup>すまい...] 腹石。  
 石垣を積むとき中に入れる小石のこと。石垣の  
 中身。【同】「ばたいし」。  
 ぱたいず [bataidz] [名] [ばたい<sup>1</sup>ずまい...] 腹  
 意地。腹の力。しっかり食事をとること。  
 ぱだいる [padairu] [名] [ばだい<sup>1</sup>るまい...] 肌  
 色。体調を見るときに言う。【例】ぱだいるぬ  
 っすうム (肌色が白くなる)。  
 ぱだうり [badauri] [名] [ばだう<sup>1</sup>りまい...] 浜下  
 り。浜辺に下りること。  
 ぱたうり [patau] [名] [ばたう<sup>1</sup>りまい...] 機織  
 り。

ばだか [padaka] [名] [ばだ<sup>1</sup>かまい...] 裸。裸体。  
【例】ばだか なり (裸になる)。ばだかぬーま (裸馬)。

ばたがー [bataga:] [名] [ばたが<sup>1</sup>ーまい...] 腹皮。【例】かちゅーぬ ばたがー (かつおの腹皮)。【類】「ばらがー」。

ばだがー [padaga:] [名] [ばだが<sup>1</sup>ーまい...] 肌皮。皮膚。

ばたがーしゃーり [bataga:ça:] [形] [ばたが<sup>1</sup>ーしゃまい...] 満腹で苦しい。【同】「ばたぐーしゃーり」。

ばたがギ [patagakɨ] [名] [ばたが<sup>1</sup>ギまい...] 端垣。はしっこ。危険を伴う端。

ばだかぎしゃーり [padakagiça:] [形] [ばだかぎ<sup>1</sup>しゃまい...] 肌色がきれい。健康体。元気である。

ばたかきまかり [patakakimaka] [名] [ばたかきまか<sup>1</sup>りまい...] 端の割れた椀。端の欠けた椀。ふちの割れた椀や湯のみは縁起が悪いとされる。

ばたかきむぬ [patakakimunu] [名] [ばたかきむ<sup>1</sup>ぬまい...] 旗掛け物。旗を揚げる物。竿のこと。【類】「ばたあぎむぬ」。

ばたかきむぬ [patakakimunu] [名] [ばたかきむ<sup>1</sup>ぬまい...] 端の割れた器。端の欠けた器。端の欠けた椀。ふちの割れた椀や湯のみは縁起が悪いとされる。

ばたがま [patagama] [名] [ばたがま<sup>1</sup>んまい...] 端っこ。不安定な所。【例】ふにぬ ばたがま (船端)。ばたがまん うつぎな (端っこに置くな)。

ばだかむギ [padakamugɨ] [名] [植] [ばだかむ<sup>1</sup>ギまい...] 裸麦。

ばたからす [patakarasɨ] [動I類a型] [ばたからしー、ばたからしゃん] 開けさせる。脚を開けさせる。【例】こんぱすう ばたからす (コンパスを開けさせる)。【同】「ばちやからす」。

ばたかり [pataka] [動I類a型] [ばたかりー、ばたからん] 開く。脚を開く。【例】ぱギう ばたかり (脚を開く)。【同】「ばちやかり」。

ばたき [pataki] [名] [ばた<sup>1</sup>きまい...] 畑。農耕

地。耕作地。【類】「ばる」。

ばだぎ [padagi] [名] [ばだぎまい...] 肌着。下着。

ばたきず [patakidzɨ] [名] [地] [ば<sup>1</sup>たきず<sup>1</sup>まい...] 多良間島の〈とうぶり〉の名前。村史参照。

ばだきり [padaki] [動II類c型] [ばだきー、ばだきん] 開ける。外す。ボタンを外す。【例】やどー ばだきり (戸を開ける)。

ばたぐあい [bataguai] [名] [ばたぐあ<sup>1</sup>いまい...] 腹の具合。腹の調子。

ばたぐー [batagu:] [名] [ばたぐーまい...] 腹。腹甲。おなか。【例】あかヴヴあう ばたぐーんぬーしり (赤ちゃんを腹の上に乗せる)。

ばたぐーぐー [batagu:gu:] [擬] 満腹の状態のこと。

ばたぐーしゃーり [bataga:ça:] [形] [ばたぐー<sup>1</sup>しゃまい...] 満腹で苦しい。食べ過ぎ。腹苦か。【同】「ばたがーしゃーり」。

ばたぐーむぬ [batagu:munu] [名] [ばたぐーむぬまい...] 満腹だ。【例】あてい ふーゆ しー ばたぐーむぬ (あまりたくさん食べたので苦しい)。

ばたぐるみギ [batagurumikɨ] [動I類c型] [ばたぐるみきー、ばたぐるみかん] 腹が鳴く。腹がごろごろ鳴く。空腹である。

はだし [hadaçi] [名] [はだ<sup>1</sup>しまい...] 裸足。素足。新しい言い方。【例】はだししー がっこーんけー (裸足で学校へ行く)。【類】「からばギ」「からピさ」。

ばだしゃーり [padaça:] [形] [ばだしゃまい...] 体調が良い。顔色が良い。肌色が良い。元気。

ばたじゃう [patadzau] [名] [ばたじゃ<sup>1</sup>うまい...] 旗竿。主に竹の棒を使用する。【同】「ばたじょー」。

ばたじゃにふしゃーり [batadzanifuça:] [形] 憎らしい。うるさくつきまとう。【例】くぬ やらべー ばたじゃにふむぬどー (この子はうるさくつきまどっているよ)。

ばたじゅーしゃーり [batadzū:ça:] [形] [ばたじゅー<sup>1</sup>しゃまい...] 腹強い。胃腸の丈夫なこと。

腹持ちの良い食べ物。

ばたじょー [patadžo:] [名] [ばたじょ<sup>1</sup>まい...]

ばたじょーまい... 旗竿。主に竹の棒を使用する。【同】「ばたじゅう」。

ばたす [batas] [名] [ばた<sup>1</sup>すまい...] 酒を入れる手桶。【類】「たみやー」。

ばたす [batas] [動I類a型] [ばたしー、ばたしやん] 渡す。伝馬船で本船へ渡す。

ばたす [patas] [動I類c型] [ばたしー、ばたしやん] 果たす。成し遂げる。責任を果たす。【例】かたるー むぬー ばたす (話し合ったことを果たす)。

ばたずみしゃーり [batadzɯmɕa:] [形] [ばたずみ<sup>1</sup>しゃまい...] 腹の具合・調子が良い。

ばたちゅーらす [batatɕu:ras] [名] [ばたちゅーら<sup>1</sup>すまい...] 腹を強くすること。食事を十分にとること。

ばたつ [patats] [名] [ばたつまい...] 二十。二十歳。

ばたてい [patati] [名] [ばたていまい...] 二十年。二十年間。

ばたていー [patati:] [副] はたと。突然。【例】ばたていーたうりー (はたと倒れた)。

ばたどうー [batadu:] [名] [ばたどう<sup>1</sup>まい...] 内臓。

ばたどー [batado:] [名] [ばたど<sup>1</sup>まい...] 腹わた。内蔵。

ばたな [batana] [名] [昆虫] [ばた<sup>1</sup>なまい...] あおどうがね。こがねむしの幼虫。さとうきびの害虫。

ばたぬ なり [batanu na] [連語] 腹が鳴る。空腹。腹がごろごろ鳴る。【例】やーしゃんどう ばたぬ なり (ひもじくて腹が鳴る)。

ばたぬ びなり [batanu pina] [連語] 腹が減る。空腹になる。腹がすく。

ばたぬ まがり [batanu maga] [連語] 腹が曲がる。空腹になる。【例】やーしゃんどう ばたぬ まがりー (空腹で腹がへこんでいる)。

ばたぬ むっげーり [batanu mugge:] [連語] 腹わたが煮えくり返ること。激怒。放し飼いの山羊に作物を食い荒らされたときなどに言う。

ばたばーき [atabaki] [副] 腹いっぱい。満腹。【例】ばたばーき ふーたムどー (腹いっぱい食べたよ)。

ばたばぎ [patapagi] [名] [ばたば<sup>1</sup>ぎまい...] トラホーム。トラコーマ。

ばたばた [atabata] [擬] [ばたばたていー...] 手足をばたばたすること。風が戸をばたばたさせる。

ばたばた [patapata] [擬] [ばたばたていー...] 鶏の羽ばたき。羽音。鳥の飛び立つときの羽音。

ばたばた [patapata] [擬] [ばたばたていー...] 旗のはためくこと。

ばたばた [patapata] [擬] [ばたばたていー...] 忙しく動きまわること。【例】いでいふにんや ばたばたていー すー (船の出港のときは忙しくする)。

ばたばた [patapata] [擬] [ばたばたていー...] 怒りにふるえること。寒さに震えること。【例】ばたばたていー ふりー (怒り・寒さに震える)。【類】「ぶとうぶとう」。

ばたばり [batapa] [名] [ばたば<sup>1</sup>りまい...] 腹張り。胃もたれ。胃に食べ物が残っているような感じ。

ばたピぐり [batapigu] [名] [ばたピぐ<sup>1</sup>りまい...] 腹冷え。腹が冷える。就寝中に腹のあたりがはだけて冷えること。

ばたびなり [batapina] [名] [ばたびな<sup>1</sup>りまい...] 腹が減ること。空腹のこと。

ばたふ [batafu] [名] [ばた<sup>1</sup>ふまい...] 腹布。財布。腹巻や帯に金をしまった。

ばたぶ [batabu] [名] [ばた<sup>1</sup>ぶまい...] 腹の大きい人。出っ腹。

ばたふか [batafuka] [名] [ばたふ<sup>1</sup>かまい...] 激怒する人。

ばたふがま [batafugama] [名] へそくり。

ばたふくる [batafukuru] [名] [ばたふく<sup>1</sup>るまい...] 腹袋。腹腔。ふところの意。【例】あんなが ばたふくる (母のふところ)。【類】「ばたふつく」。

ばたふしやらす [batafuɕaras] [動I類c型] [ばたふしやらしー、ばたふしやらしやん] 腹腐ら

す。怒らす。立腹させる。【例】ばたふしやらすむぬ（立腹させること）。

ばたふしやり [batafuçari] [名]〔ばたふしや<sup>1</sup>りまい...〕腹腐れ。腹が立つこと。腹立たしい。【例】ばたふしやりむぬイー（腹立たしい話）。

ばたふしやりり [batafuçari] [動II類c型]〔ばたふしやりー、ばたふしやりん〕腹腐れる。怒る。しゃくにさわる。腹が立つ。【例】ばなすうギきー ばたふしやりり（話を聞いて怒る）。

ばたふしゆり [batafuçu] [名]〔ばたふしゆ<sup>1</sup>りまい...〕腹薬。胃薬。整腸剤。

ばたふつく [batafutsuku] [名]〔ばたふつ<sup>1</sup>くまい...〕ふところ。懐。【類】「ばたふくる」。

ばたふっずー [batafuddz:] [動I類c型]〔ばたふっじー、ばたふっじゃん〕腹をいじくる。怒らせる。いらだたせる。【例】イー くとうーギかん ばたふっずー（言うことを聞かないで怒らせる）。

ばたぶに [batabuni] [名]〔ばたぶ<sup>1</sup>にまい...〕お腹の筋肉。【例】ばたぶにぬやム（笑い転げる）。

ばたぶにぬ ねーん [batabuninu ne:n] [連語] 腹の皮が痛くなるまで笑うこと。抱腹絶倒。【類】「ばたぶねーねーん」。

ばたぶねー ねーん [batabune: ne:n] [連語] 腹の皮が痛くなるまで笑うこと。抱腹絶倒。【類】「ばたぶにぬねーん」。

ばたまがり [batamaga] [名]〔ばたまが<sup>1</sup>りまい...〕腹が曲がること。空腹のこと。

ばたみかす [batamikas] [動I類c型]〔ばたみかしー、ばたみかしゃん〕ばたばたさせる。さわがしい音をたてる。はためかす。【例】かでいん ばたみかす（風邪にはためかす）。

ばだみかす [padamikas] [動I類c型]〔ばだみかしー、ばだみかしゃん〕心地よくする。体調をよくする。

ばたみギ [batamik] [動I類c型]〔ばたみきー、ばたみかん〕怒る。怒りふるえる。【例】ばたみきー ぶり（怒っている）。

ばたみギ [patamik] [動I類c型]〔ばたみきー、ばたみかん〕はためく。風にはためく。【例】かでいん ばたみギ（風にはためく）。

ばだみギ [padamik] [動I類c型]〔ばだみきー、ばだみかん〕心地よくなる。体調がよくなる。

ばたむす [batamus] [名]〔ばたむ<sup>1</sup>すまい...〕胃腸に寄生する虫。回虫。ぎょう虫。回虫の駆除に海人草を煎じて飲んだ。【類】「ずむす」。

ばたムたす [batamtas] [動I類c型]〔ばたムたしー、ばたムたしやん〕腹を満たせる。家畜に対して言う。家畜の腹を満たすことは楽でない。

ばたムつ [batamts] [動I類c型]〔ばたムていー、ばたムたん〕お腹が満ちる。満腹になる。

ばたむつ [batamuts] [名]〔ばたむ<sup>1</sup>つまい...〕腹持ち。腹に食べ物が長くある感覚。【例】ばたムつけ ふあい（満腹するまで食べなさい）。

ばだむぬ [padamunu] [名]〔ばだむ<sup>1</sup>ぬまい...〕体調のよいこと。天気の良いことにも言う。【例】かれー ばだむぬ（彼の体調はよい）。

はたムばい [hatambai] [名]〔はたムば<sup>1</sup>いまい...〕旗うばい。旗取り遊び。

ばたやム [batajam] [動I類c型]〔ばたやみー、ばたやまん〕腹痛になる。胃腸が痛む。

ばたゆム [patajum] [名]〔ばたゆ<sup>1</sup>ムまい...〕二十読み。機織りの経糸（縦糸）の数。宮古上布の最高作品とされる。

ばたよーしゃーり [batajo:ça:] [形]〔ばたよー<sup>1</sup>しゃまい...〕胃腸が弱い。【例】ばたよーしゃーりば しゃけー ぬまいん（胃が弱いから酒は飲めない）。

ばたよーむぬ [batajo:munu] [名]〔ばたよー<sup>1</sup>むぬまい...〕胃腸の弱い人。胃を壊しやすい人。

ばだら [padara] [名]〔魚〕〔ばだ<sup>1</sup>らまい...〕やくしまいわし。

ばたらかす [patarakas] [動I類a型]〔ばたらかしー、ばたらかしゃん〕働かせる。稼がせる。【例】やまとうん ばたらかす（本土に出稼ぎさせる）。

ばたらギ [patarak] [動I類a型]〔ばたらきー、ばたらかん〕働く。稼ぐ。【例】ばたらきー ギー（働いて来る）。ゆーどう ばたらギ（よく働く）。

ばたらギじゅーしゃーり [patarakdzu:ça:] [形]

〔ぱたらぎじゅー<sup>1</sup>しゃまい...〕 働き強い。稼ぎ強い。働き者である。骨身を惜しまず働く。

ぱたらぎでいまー [patarakidima:] [名] 〔ぱたらぎでいま<sup>1</sup>ーまい...〕 働き賃金。手間賃。給料。労賃。【例】ピとういぬ ぱたらぎでいまー (一日分の手間賃)。

ぱたらぎばんず [patarakibandzɯ] [名] 〔ぱたらぎばんず<sup>1</sup>まい...〕 働き盛り。働くのに勢いがあること。その時期。心身ともに充実して働く時期。【例】るくじゅーがめー ぱたらぎばんず (60歳までは働き盛りだ)。

ぱたらぎべー [patarakibe:] [名] 〔ぱたらぎべーまい...〕 働き手。働く人。仕事のよくできる人。【例】ぱたらぎべーや ぶどうりる みーん (働き手は踊りは見ない)。

ぱたらぎむぬ [patarakimunu] [名] 〔ぱたらぎむぬまい...〕 働きもの。稼ぎの多い人。【例】ぱたらぎむぬぬ ぱろー きつぎ (働き者の畑はきれい)。

ぱたらくん なり [patarakun na] [連語] わき目も振らず働くこと。一心不乱。【例】ゆくーまい しゅん ぱたらくん なり (休みもしないで働く)。

ぱたらす [batarasɯ] [動I類a型] 〔ぱたらしー、ぱたらしゃん〕 渡らせる。【例】さんばしから ふにんけー ぱたらす (棧橋から船に渡らせる)。

ぱたり [bata] [動I類a型] 〔ぱたりー、ぱたらん〕 渡る。【例】ぱすう ぱたり (橋を渡る)。

ぱたりー ギー (渡って来る)。たかぬ ぱたり (さしばが渡る)。

ぱたりとうり [bata[ru]] [名] 〔ぱたりとう<sup>1</sup>りまい...〕 渡り鳥。

ぱちやからす [patɕakarəsɯ] [動I類a型] 〔ぱちやからしー、ぱちやからしゃん〕 開ける。足を開ける。【同】「ぱたからす」。

ぱちやかり [patɕaka] [動I類a型] 〔ぱちやかりー、ぱちやからん〕 開く。足を開く。【例】ぱぎう ぱちやかり (脚を開く)。【同】「ぱたかり」。

ぱちやかりピさ [patɕaka[pi]sa] [名] 〔ぱちやかりピ<sup>1</sup>さまい...〕 足の指が開いている形の足。

ぱちゅがつ [patɕugatsɯ] [名] 〔ぱ<sup>1</sup>ちゅがつ<sup>1</sup>ま

い...〕 八月。葉月。立秋・処暑の季節。

ぱちゅがつうがム [patɕugatsɯgam] [名] 〔ぱちゅがつうが<sup>1</sup>ムまい...〕 八月おどり。豊作祈願祭。旧暦の8月8日から始まる。村史参照。【類】「ぱちゅがつぶどうり」。

ぱちゅがつピがん [patɕugatsɯpigān] [名] 〔ぱちゅがつピが<sup>1</sup>んまい...〕 八月彼岸。秋分の日。

ぱちゅがつぶどうり [patɕugatsɯbudu] [名] 〔ぱちゅがつぶどう<sup>1</sup>りまい...〕 八月おどり。豊作祈願祭。村史参照。【類】「ぱちゅがつうがム」。

ぱつ [batsɯ] [名] 〔ぱ<sup>1</sup>つまい...〕 罰。科。悪事の報い。たたり。【例】ぱつう かヴヴィ (罰が当たると)。

ぱつ [patsɯ] [名] 〔ぱ<sup>1</sup>つていーまい...〕 八。八つ。八歳。

ぱつ [patsɯ] [名] 〔ぱつまい...〕 初。初物。【例】ぱつう とうり (供え物から最初に一部とる)。【類】「ばな」。

ぱつ [patsɯ] [名] 〔昆虫〕 〔ぱ<sup>1</sup>つまい...〕 蜂。蜂の総称。【類】「げーぱつ」。

ぱつ [patsɯ] [名] 〔ぱ<sup>1</sup>つまい...〕 鉢。鉢物。【例】ぱつん ういり (鉢に植える)。

ぱつ [patsɯ] [名] 〔ぱつま<sup>1</sup>い...〕 大きな皿。

ぱつヴヴァあ [patsɯvva] [名] 〔ぱつヴヴァあまい...〕 初子。一番目の子。【類】「ういが」。

ぱつか [patsɯka] [名] 〔ぱつかまい...〕 20日。月の20番目の日。

ぱつかいつか [patsɯkaitɯka] [名] 〔ぱつかいつ<sup>1</sup>かまい...〕 25日。

ぱつかヴヴィむぬ [batsɯkavɯmunu] [名] 〔ぱつかヴヴィむ<sup>1</sup>ぬまい...〕 罰かぶり。罰当たり。【類】「ぱつかヴヴェ」。

ぱつかヴヴェ [batsɯkavve] [名] 〔ぱつかヴ<sup>1</sup>ヴェまい...〕 罰かぶり。罰当り。【類】「ぱつかヴヴィむぬ」。

ぱつかうしゃーり [patsɯkauɕa:] [形] 〔ぱつかう<sup>1</sup>しゃまい...〕 痛がゆい。痒い。

ぱつかくくぬか [patsɯkakukunuka] [名] 〔ぱつかくくぬかまい...〕 29日。

ぱつかじゅー [patsɯkadzɯ:] [名] 〔ぱつかじゅーまい...〕 20日潮。

ばつかぎ [patsʲkadzʲkʲ] [名] [ばつかぎまい...] 20日の月。

ばつかとうか [patsʲkatuka] [名] [ばつかとうかまい...] 30日。

ばつかなんか [patsʲkananka] [名] [ばつかなん<sup>1</sup>かまい...] 27日。

ばつかピとうい [patsʲkapʲtui] [名] [ばつかピとう<sup>1</sup>まい...] 21日。

ばつかふつか [patsʲkafutsʲka] [名] [ばつかふつ<sup>1</sup>かまい...] 22日。

ばつかミカ [patsʲkamʲka] [名] [ばつかミかまい...] 23日。

ばつかムーか [patsʲkammka] [名] [ばつかムー<sup>1</sup>かまい...] 26日。

ばつかやうか [patsʲkajauka] [名] [ばつかやうかまい...] 28日。【同】「ばつかよーか」。

ばつかゆか [patsʲkajuka] [名] [ばつかゆ<sup>1</sup>かまい...] 24日。

ばつかよーか [patsʲkajo:ka] [名] [ばつかよー<sup>1</sup>かまい...] 28日。【同】「ばつかやうか」。

はつくい [hatsʲkui] [名] [はつくいまい...] 初恋。【例】かれー あが はつくい (あの女性は私の初恋だ)。

ばつさ [passa] [名] [ばつ<sup>1</sup>さまい...] 帆柱。帆かけ船の柱。ヨットの帆柱。【例】ふにぬ ばつさ (船の帆柱)。

ばっじ [paddzi] [名] [ばっじま<sup>1</sup>い...] 外れ。離れ。【例】うやばっじ (親のない子。孤児)。っふあばっじ (子離れ・家畜の子を離すこと)。

ばっじゃーり [baddza:] [形] [ばつ<sup>1</sup>じゃまい...] いらいらする。

ばっじやう [baddzau] [動I類a型] [ばっじえー、ばっじゃーん] なぐる。【例】ピとうーばー ばっじやうな (人をなぐるな)。【同】「ばっじゅー」。

ばっじやう [baddzau] [動I類a型] [ばっじえー、ばっじゃーん] 魚を捌く。【例】イズうー ばっじやい (魚を捌きなさい)。【同】「ばっじゅー」。

ばっじゃき [paddzaki] [名] [ばっじゃ<sup>1</sup>きまい...] 当てはずれ。【例】ふーばっじゃき (食べはぐ

れ)。

ばっじゃきり [paddzaki] [動II類c型] [ばっじやきー、ばっじゃきん] 当てはずれる。【例】ふーばっじゃきり (食べはぐれる)。

ばっじゃす [paddzasʲ] [動I類c型] [ばっじやしー、ばっじやしあん] 外させる。ぬがせる。衣服をぬがす。【例】ギんゆ ばっじやしー ういがす (着物を外して泳がせる)。

ばっじゃん [patsʲdzan] [名] [ばつじゃ<sup>1</sup>んまい...] 初産。初めてのお産。【類】「ういじゃん」。

ばっじゅー [baddzu:] [動I類a型] [ばっじえー、ばっじゃーん] なぐる。【例】ピとうーばー ばっじゅーな (人をなぐるな)。【同】「ばっじやう」。

ばっじゅー [baddzu:] [動I類a型] [ばっじえー、ばっじゃーん] 魚を捌く。【例】イズうー ばっじやい (魚を捌きなさい)。【同】「ばっじやう」。

ばっじゅーばつ [patsʲdzu:patsʲ] [名] [ばつじゅ<sup>1</sup>ーばつまい...] 八十八歳。米寿「とーかち」。本来の意味は斗搔。

ばっじり [paddzi:] [動II類c型] [ばっじー、ばっじん] 外れる。離れる。親と離れる。【例】うやとう ばっじり (親と離れて迷い子になる)。

ばつすい [bassi] [名] [ばつすまい...] 忘れ。忘却。

ばつすいぐりしゃーり [bassiguri:çɑ:] [形] [ばつすいぐり<sup>1</sup>しゃまい...] 忘れがたい。【例】ばつすいぐりしんしー (忘れがたい先生)。

ばつすいべーしゃーり [bassibe:çɑ:] [形] [ばつすいべー<sup>1</sup>しゃまい...] 忘れが早い。もの忘れが早い。

ばつすいむぬ [bassimunu] [名] [ばつすいむ<sup>1</sup>ぬまい...] 忘れ物。落し物。【例】ばつすいむぬーとうどうきー (落し物を届けた)。

ばつすいり [bassi:] [動II類a型] [ばつすいー、ばつすいん] 忘れる。忘却する。【例】ムまりずまうばー ばつすいんな (故郷を忘れるな)。しんしーぬ くとー ばつすいらいん (先生のことは忘れられない)。

ばつずー [paddzi:] [動I類c型] [ばっじー、ばっじゃん] 外す。衣服を外す。衣服を脱ぐ。【例】

ばっずーな (外すな)。ギんゆ ばっじー (着物を脱いだ)。  
 ばつだぎ [patsɟdakɟ] [名] [ばつだぎまい...] 初抱き。お産の後始めて我が子を抱くこと。生まれた子が初めて太陽を拜むこと。  
 ばったばった [pattapatta] [擬] 次々に。どんどん。  
 ばつたビ [patsɟtabɟ] [名] [ばつたビまい...] 初旅。【例】ばつたビエー じゅーさんどう あたり (初旅は13歳だった)。  
 ばったみかす [pattamikasɟ] [動I類c型] [ばったみかしー、ばったみかしゃん] 次々に勢いよくする。  
 ばったみギ [pattamikɟ] [動I類c型] [ばったみきー、ばったみかん] 次々に勢いよく来る。どんどん勢いよくやってくる。  
 ばっち [battɕi] [名] [ばっ<sup>1</sup>ちまい...] 遊びの一種。紙を折って地面において、相手が叩いてそれをひっくり返すことに成功したら貰う。  
 ばっちやみり [battɕamiɟ] [動II類c型] [ばっちやみー、ばっちやみん] こっそり取る。【例】っさんふーり ばっちやみり (知られないようにこっそり取り取る)。  
 ばっちゅム [battɕum] [感] もういい。知るか。【例】たーが ばっちゅムが (誰が知るもんか)。  
 ばっていー [batti:] [擬] さっと。【例】ばっていー とうらだ (さっと取りなさい)。  
 ばっていー [patti:] [擬] 突然の出来事に驚く様。  
 ばつどうみ [patsɟdumi] [名] [ば<sup>1</sup>つどうみまい...] 初婚。最初の妻。  
 ばつなり [patsɟnali] [名] [ばつなりまい...] 初生子。初めての果実。【例】なすビぬ ばつなり (茄子の初実り)。  
 ばつなんか [patsɟnanka] [名] [ばつなん<sup>1</sup>かまい...] 初七日。死後七日目。初七日の法事。  
 ばつぬすー [patsɟnusɟ:] [名] [ばつぬす<sup>1</sup>ーまい...] 蜂の巣。  
 ばっばい [bappai] [名] [ばっばいま<sup>1</sup>い...] 間違え。取り違え。  
 ばっばいり [bappaiɟ] [動II類c型] [ばっばいー、ばっばいん] 間違う。取り違える。【例】し

やばう ばっばいー ねーん (ぞうりを間違えてしまった)。えームんや ばっばいどうす (暗い所では取り違える)。  
 ばつみム [patsɟmim] [名] [ばつみムまい...] 初耳。初めて聞く。【例】あんしーぬ ばなすエー ばつみム (そういう話は初耳だ)。  
 ばつムしゅ [patsɟmɕu] [名] [ばつム<sup>1</sup>しゅまい...] 初めて開ける味噌。甕に仕込んでからはじめて開ける味噌。【例】かばすばつムしゅ (香ばしい初味噌)。  
 ばつむぬ [patsɟmunu] [名] [ばつむぬまい...] 初物。初めての収穫物。【例】くとうすぬ ばつむぬ (今年の初めての収穫物)。  
 ばつムまが [patsɟmmaga] [名] [ばつムまがまい...] 初孫。【例】ばつムまがぬ ムまりー (初孫が生まれた)。  
 ばつむり [patsɟmuɟ] [名] [ばつむりまい...] 料理を盛ること。  
 ばてい [pati] [名] [ば<sup>1</sup>ていまい...] 果て。【例】すまぬ ばてい (島の果て)。いぎばてい (行き果て)。  
 ばてい [pati] [名] [ばていま<sup>1</sup>い...] 勇ましいこと。命知らず。【例】ばていむぬ (命知らずの人)。ばていすぐとう (命がけの仕事)。  
 はでいしゃーり [hadiɕa:ɟ] [形] [はでいしゃまい...] はで。派手。【例】きーむぬぬ はでい (着るものが派手)。しーかつぬ はでい (生活が派手)。  
 ばていすかま [patisɟkama] [名] [ばていすか<sup>1</sup>まい...] 命がけの仕事。危険な仕事。【例】かれー ばていすかまう しーり (彼は危険な仕事をしている)。  
 ばていむぬ [patimunu] [名] [ばていむ<sup>1</sup>ぬまい...] 命知らずの人。命がけの人。度胸がある人。いちかばちかやる人。  
 ばていり [patiɟ] [動II類c型] [ばていー、ばていん] 果てる。終わる。すっかり成し遂げる。【例】ふーばていり (食べ終わる)。ばなすばていらいん (話しきれない)。  
 ばていり [patiɟ] [動II類c型] [ばていー、ばていん] 命をかけてやる。【例】ばていー する

(命がけでやれ)。

ばていわじゃ [pativadza] [名] [ばていわ<sup>1</sup>じゃまい...] 命がけの仕事。【例】ばていわじゃうばーすな(危険な仕事はやるな)。

ばどう [badu] [接尾] だから。理由を表す「ば」に焦点の助詞「どう」が付いたもの。【例】あんしーあ<sup>1</sup>りばどう(そうであるから)。

ばとう [patu] [名] [鳥] [ば<sup>1</sup>とうまい...] 鳩。主としてきじばとのこと。【類】「ばとうがみ」。「ムーばとう」。

ばとうがみ [patugami] [名] [ばとうがみまい...] 鳩。【類】「ばとう」。「ムーばとう」。

ばどうみ [padumi] [名] [ばどう<sup>1</sup>みまい...] 歯止め。行き過ぎないように手立てすること。【例】ばどうみうかきり(歯止めをかける)。とうーずきーばどうみをかきり(言い聞かせて止めさせる)。

ばどうみり [padumi] [動II類c型] [ばどうみー、ばどうみん] 歯止める。

ばどうム [badum] [接尾] ~恐れがある。~しないように。【例】あふりばどうム(あふれないように)。

ばとうムに [patumni] [名] [ば<sup>1</sup>とうムに] 鳩胸、またはその人。胸骨が突き出ている胸。

ばどうら [padura] [名] [鳥] [ばどう<sup>1</sup>らまい...] すずめ。【類】「やーぬっふあどうり」。

ばな [bana] [助数] 堆肥の体積の単位。役場の指導で堆肥の増産をした。堆肥の増産のため検査した。

ばな [bana] [助数] 土地の面積の単位。1ばなは10反。1町歩のこと。

ばな [bana] [名] はじめ。頃。時期。【例】にんばな(寝る頃)。うきばな(起きる頃)。

ばな [bana] [名] [ばなまい...] 罌。しかけ。捕獲用の仕掛け。【例】たかばな(さしばを捕獲する罌)。

ばな [pana] [名] [ばなまい...。ばなゆーり<sup>1</sup>らまい...] 鼻。【例】ばなだり(鼻垂れ)。ばなだりるすび(涙垂れをとる)。

ばな [pana] [名] [ばなまい...。ばなんけ<sup>1</sup>ー...] 花。草木の花。花金。花札。盛り。【例】ばない

き(花生け)。

ばな [pana] [名] [ばなまい...] 華。すぐれること。【例】あぐがばな(友の華)。どうすぬばな(友の華)。ピとうがばなんなりー(優れる人になった)。

ばな [pana] [名] [ばなまい...] 頂上。岩の上。木の上。家の上。【類】「ばなた」。「ばんた」。

ばな [pana] [名] 初め。先頭。先物。供え物から一部を取ったもの。【例】ばなゆに(初粟)。【類】「うばな」。

ばな [pana] [名] [ばなまい...] (イカ釣りなどの)場所。【例】いかばな(いかに釣れる所)。

ばなーピかんけ [pana: pikanke] [連語] くしゃみをしないうちに。素早いこと。息つく間もないこと。【例】ばなーピかんけすまいーギー(息つく間もなく仕事を終えてくる)。

ばなーていー [banati:] [擬] 光り輝くこと。星が光っている様。【例】きゅーやぷすぬばなーていーぶり(今日は星が光り輝いている)。

ばないか [panaika] [名] [ばない<sup>1</sup>かまい...] 花いか。食紅で赤く染めたいか。祭りやめでたい行事に作る。

ばないギ [panaik] [名] [ばない<sup>1</sup>ぎまい...] 鼻息。【例】ぬーまぬばないぎぬあらしやぬ(馬の鼻息の荒いことよ)。

ばないき [panaiki] [名] [ばない<sup>1</sup>きまい...] 花生け。仏壇の花瓶に花を生けること。その花瓶。

ばなか [panaka] [名] [ばなまい...] 最中。さなか。たけなわ。【例】すぐとうぬばなか(仕事の最中)。だんかーぬばなか(相談の途中)。っふあむつばなか(子育ての最中)。【類】「しやなか」。

ばながた [panagata] [名] [ばながたまい...] 花形。芸人のすぐれ者。人気役者。花形役者。

ばながら [panagara] [名] [ばながらまい...。ばなが<sup>1</sup>らまい...] 花柄。模様。

ばなギ [panagi] [名] [ばなぎまい...] ふぎけ。冗談をする。たわむれる。【例】うぐなーりとうくなんばなぎうすー(集会所にふぎける)。

ばなギ [panagi] [名] [ばなぎまい...] 船の舳(へさき)。船首。尖り。船の先の方。

ばなぎ [panagi] [動Ⅰ類c型] [ばなぎー、ばながん] ふざける。冗談をする。

ばなぎー [panagi:] [名] [ばなぎ<sup>1</sup>ーまい...] 花木。草花。【例】ばなぎーぬ かぎしゃぬ (花木のきれいなことよ)。

ばなぎー [panagi:] [名] [ばなぎーまい...。ばなぎ<sup>1</sup>ーまい...] 鼻毛。

ばなぐい [panagui] [名] [ばなぐいまい...] 鼻声。鼻にかかった声。

ばなぐー [panagu:] [名] [ばなぐーまい...] 鼻づまり。風邪をひいていること。【例】ばなぐーぬ なうらん (風邪が治らない)。

ばなぐみ [panagumi] [名] [ばなぐ<sup>1</sup>みまい...] 花米。仏壇に供える米。白米を洗い、清めたもの。【類】「あらイぐみ」。

ばなじぶく [panadzibuku] [名] [ばなじぶ<sup>1</sup>くまい...] 釣り竿を途中で切ったもの。烏賊釣りに使う。【類】「ばなだき」。

ばなじゃき [panadzaki] [名] [ばなじゃきまい...。ばなじゃ<sup>1</sup>きまい...] 初酒。酒造りのとき、最初に出る酒。

ばなす [panas:] [名] [ばな<sup>1</sup>すまい...] 話。語り。うわさ。会話。【例】あんなが ばなす (母の話)。んけーんばなす (昔話)。ふらんすぬ ばなす (フランスの話)。

ばなす [panas:] [動Ⅰ類c型] [ばなしー、ばなしゃん] 放す。【例】ぴんだう ばなす (山羊を放す)。ぱとうー やまんけー ばなす (鳩を山に放す)。

ばなす [panas:] [動Ⅰ類c型] [ばなしー、ばなしゃん] 外す。衣服を外す。衣服を脱ぐ。【例】いとうー ばなす (糸を外す)。ふくー ばなす (服を外す)。

ばなす [panas:] [動Ⅰ類c型] [ばなしー、ばなしゃん] 離す。【例】ていーゆ ばなす (手を離す)。ふたーりる ばなす (二人を離す)。

ばなす [panas:] [動Ⅰ類c型] [ばなしー、ばなしゃん] 話す。【例】ばなすつきん (話し尽きない)。ばなすばていらいん (話しきれない)。ばなすん ならん (話にならない)。

ばなすあぐ [panasjagu] [名] [ばなすあ<sup>1</sup>ぐまい...]

話し友だち。話し仲間。おしゃべり仲間。話し相手。【例】ばなすあぐー とうみり (話し友を探す)。

ばなすー [panas:] [名] [ばなすーまい...] 鼻汁。

ばなすがい [panasjgai] [名] [ばなすが<sup>1</sup>いまい...] 放し飼。放牧。【例】ぴんだぬ ばなすがい (山羊の放し飼)。

ばなすぎ [panasjk] [名] [ばなすぎまい...] 感冒。風邪引き。【類】「かでい」。「ばなピギ」。

ばなすぐい [panasjgui] [名] [ばなすぐ<sup>1</sup>いまい...] 話し声。【例】ゆなかん ばなすぐいぬ ギかいり (夜中に話し声が聞こえる)。

ばなすじょーず [panasjdzo:dz] [形] [ばなすじょー<sup>1</sup>ずまい...] 話し上手。分りやすい話をする人。

ばなすびた [panasjbita] [形] [ばなすび<sup>1</sup>たまい...] 話し下手。口下手。話し方の下手な人。

ばなすぶり [panasjbur] [名] [ばなすぶ<sup>1</sup>りまい...] 話に夢中。話を聞くときに言う。【例】ばなすぶりう しー やーんけー いかん (話に夢中になって家に帰らない)。「むぬゆムぶり」。

ばなすべー [panasjbe:] [名] 話し手。話者。

ばなすまり [panadzjma] [名] [ばなすま<sup>1</sup>りまい...] 鼻づまり。

ばなすまり [panadzjma] [動Ⅰ類c型] [ばなすまりー、ばなすまらん] 鼻づまる。鼻づまりする。【例】ばなすまりー いギがーしゃーり (鼻づまりして息苦しい)。

ばなた [panata] [名] [ばなたんまい...] 頂上。崖の上。梢。【同】「ばなた」。「類」「ばなむつ」。「ばなむつ」。

ばなだき [banadaki] [名] [ばなだ<sup>1</sup>きまい...] 罾竹。縛って罾を作るもの。竹の先に罾を作る。

ばなだき [panadaki] [名] [ばなだ<sup>1</sup>きまい...] 釣竿を途中で切ったもの。烏賊釣りに使う。【類】「ばなじぶく」。

ばなだら [panadara] [名] [ばなだ<sup>1</sup>らまい...] はなつたれ。いやしめる言葉。【同】「ばなだれ」。

ばなだり [panada] [名] [ばなだりまい...] 鼻垂れ。鼻水。【例】ばなだりる すび (鼻垂れをとる)。

ばなだりやらび [panadajarabi] [名]〔ばなだりやら<sup>1</sup>びまい...〕鼻垂れ小僧。いつも鼻を垂れている子供。

ばなだりり [panadari] [動 II 類 c 型]〔ばなだり一、ばなだりん〕鼻垂れる。鼻水が出る。

ばなだれ [panadare] [名]〔ばなだ<sup>1</sup>れまい...〕はなつたれ。いやしめる言葉。【同】「ばなだら」。

ばなつー [panatsɯ:] [名]〔ばなつーまい...。ばなつ<sup>1</sup>ーまい...〕鼻血。【例】ばなつーや あばなギばどう とうまり (鼻血は仰向けにすると止まる)。

ばなでい [panadi] [名]〔ばなでいまい...〕先の部分。半島の先の部分。

ばなでい [panadi] [名]〔ばなでいんまい...〕船の舳 (へさき)。馬の鼻先。尖った所。

ばなとうり [panatu] [名]〔ばなとう<sup>1</sup>りまい...〕いか釣りの場所を確保すること。一番鶏の鳴く頃に決った場所に木の枝を立てて話し合いをしていか釣り場を決めること。

ばなとうり [panatu] [名]〔ばなとうりまい...。ばなとう<sup>1</sup>りまい...〕鼻垂れをとること。

ばなならす [pananaras] [名]〔ばななら<sup>1</sup>すまい...〕鼻を鳴らす。いびき。

ばなぬすび [bananusɸi] [名]〔ばなぬす<sup>1</sup>びまい...〕罟結び。引っ張るとはずれるようにしてある縛り方。さしばやぼったを捕獲するため用いる。今はさしば捕獲は禁止。

ばなばぎ [panapagi] [名]〔ばなばぎまい...。ばなば<sup>1</sup>ぎまい...〕鼻禿げ。鼻の赤い人。

ばなばな [banabana] [擬]〔ばなばなてい...〕光り輝くこと。星が光っている様。星のきれいなこと。星の輝く夜のこと。

ばなばな [panabana] [名]〔ばなば<sup>1</sup>なまい...〕各種職場の長たち。

ばなばな [panabana] [副] 華々。賑やか。出生した人たち。【例】ぱちゅがつぶどうりら ばなばなどー (八月おどりは賑やかだ)。

ばなばんびム [panapanbim] [名]〔ばなばんび<sup>1</sup>ムまい...〕花天ぶら。花天婦羅。花天麩羅。多良間菓子。

ばなピー [panapɯ:] [名]〔ばなピー<sup>1</sup>まい...〕くし

やみ。くさめ。【例】ばなピーまどうまい ねーん (くしやみをする暇もない。少しの容赦も与えない)。

ばなピギ [panapɨkɨ] [名]〔ばなピギまい...。ばなピー<sup>1</sup>ギまい...〕風邪ひき。感冒。【類】「かでい」。「ばなすぎ」。

ばなピぎ [panapɨgi] [名]〔ばなピぎまい...〕鼻毛。鼻ひげ。

ばなぶー [panabu:] [名]〔ばなぶーまい...〕鼻緒。下駄の鼻緒。凧の鼻緒。【例】ばなぶーぬ ギすいー ねーん (鼻緒が切れてしまった)。

ばなふしゆ [panafuɕu] [名]〔ばなふしゆまい...。ばなふ<sup>1</sup>しゆまい...〕鼻くそ。【例】ばなふしゆー とうり (鼻くそを取る)。

ばなふつ [panafutsɯ] [名]〔ばなふつんまい...〕断崖。崖。【例】ばなふつんや きーや ねーん (断崖には木がない)。【類】「ばなた」。

ばなぶに [panabuni] [名]〔ばなぶにまい...。ばなぶ<sup>1</sup>にまい...〕鼻骨。

ばなみかす [banamikasɯ] [動 I 類 c 型]〔ばなみかしー、ばなみかしゃん〕光らす。輝かせる。花火を打ち上げる。

ばなみギ [banamikɨ] [動 I 類 c 型]〔ばなみきー、ばなみかん〕光り輝く。花火が夜座路に輝く。

ばなみず [panamidzɯ] [名]〔ばなみずまい...。ばなみ<sup>1</sup>ずまい...〕鼻水。鼻垂れ。鼻汁。【例】ばなみずぬ とうまらん (鼻水が止まらない)。

ばなむつ [panamutsɯ] [名]〔ばなむつんまい...〕断崖。崖。【例】ばなむつん ぴんだぬ ぶり (断崖に山羊がいる)。【類】「ばなた」。

ばなむぬ [panamunu] [名]〔ばなむぬまい...〕初物。作物を収穫した最初のもの。【例】くとうすぬ ばなむぬ (今年の初物)。

ばなやかす [panajakasɯ] [動 I 類 c 型]〔ばなやかかしー、ばなやかしゃん〕華やかにする。華やぐ。【例】しゆるーとうい ばなやかし (集まって華やかにしなさい)。

ばなやギ [panajagɨ] [動 I 類 c 型]〔ばなやぎー、ばなやがん〕華やぐ。にぎやかなこと。【例】ぶどうりら ばなやぎーり (踊りは華やいでる)。

ばなやく [panajaku] [名]〔ばなやくまい...〕花

役。劇の主役。

ばなゆに [panajuni] [名] [ばなゆ<sup>1</sup>にまい...] 花粟。精げた粟。仏壇に供える粟。

ばならず [panaras] [動 I 類 a 型] [ばならしー、ばならしゃん] 離れさせる。離す。子を親から離す。【例】うすぬ っふあう ばならず (牛の子を離す)。

ばなり [panari] [名] [地] [ばな<sup>1</sup>りまい...] 多良間島の〈とうぶり〉の名前。村史参照。

ばなり [panari] [名] [ばなりま<sup>1</sup>い...] 離れ。離れること。

ばなりずま [panaridzuma] [名] [ばなりず<sup>1</sup>ままい...] 離島。【例】めーくんや ばなりずまぬ ゆー あり (宮古には離島が多い)。

ばなりばなり [panaribanari] [副] 離れ離れ。散り散り。【例】あぐぬ ムめー ばなりばなり (級友たちは散り散りだ)。

ばなりり [panari] [動 II 類 c 型] [ばなりー、ばなりん] 離れる。親元を離れる。級友と別れる。結んだ糸が外れる。【例】かりとー ばなりーぶり (彼と離れている)。いつがらーや ばなりぐまた (いつかは離れるべきだ)。

ばなんな [pananna] [名] [ばなんなまい...。ばなん<sup>1</sup>なまい...] 鼻繩。鼻綱。手綱 (たづな)。【例】ぬーまぬ ばなんな (馬の手綱)。

ばに [bani] [名] [ばにまい...] ばね。弾性を持たせたもの。振動をゆるくするもの。

ばに [pani] [名] [ばにまい...] 羽。翼。羽毛。

ばにがイ [paniga] [名] [ばにがイまい...] 魚の背びれ。魚の胸びれ。とびうおのひれ。

ばにかいす [panikais] [動 I 類 c 型] [ばにかいしー、ばにかいしゃん] 跳ね返す。【同】「ばにかいらす」。

ばにかいらす [panikairas] [動 I 類 c 型] [ばにかいらしー、ばにかいらしゃん] 跳ね返す。【同】「ばにかいす」。

ばにかいり [panikai] [動 I 類 c 型] [ばにかいりー、ばにかいらん] 跳ね返る。曲げた竹が元に戻る。

ばにとうばす [panitubas] [動 I 類 c 型] [ばにとうばしー、ばにとうばしゃん] 跳ね飛ばす。

ばにやま [panijama] [名] [ば<sup>1</sup>にやま<sup>1</sup>まい...] うずら捕獲器。びろうの葉柄で作る。

ばにらいり [panirai] [動 II 類 c 型] [ばにらいー、ばにらいん] 水をかけられる。【例】ばにらいった (水をかけられた)。くるまん みずうばにらいー (車に水をはねられた)。

ばにらいり [panirai] [動 II 類 c 型] [ばにらいー、ばにらいん] 不合格する。【例】ばにらいった (不合格した)。

ばにらいり [panirai] [動 II 類 c 型] [ばにらいー、ばにらいん] 仲間から外される。【例】ばにらいった (仲間から外された)。

ばにり [pani] [動 II 類 c 型] [ばにー、ばにん] 跳ねる。ジャンプする。

ばにり [pani] [動 II 類 c 型] [ばにー、ばにん] 水をかける。遊びの中で水をかけ合う。水がはねる。

ばにり [pani] [動 II 類 c 型] [ばにー、ばにん] 断る。追い返す。仲間にしない。不合格にする。

ばにん [banin] [名] [ばに<sup>1</sup>んまい...] たわし。しゆるで作った食器を洗う道具。

ばぬ ぶん [banu bun] [連語] ~する場合。~するなら。【例】しゅばぬぶん (働くなら)。

ばぬー [banu:] [連語] 我を。私を。ぼくを。〈ばん〉 (私) に対格の助詞 〈う〉 (～を) が付いた形式。【例】ばぬーまい しゅいる (ぼくも仲間に入れよ)。【類】「あぬー」。

ばねーま [pane:ma] [名] [ばねー<sup>1</sup>ままい...] 撒き散らすこと。怒りながら手当たり次第に物を投げ散らす。【例】ばねーましー すている (めちやくちゃにしてしまえ)。

ぱば [paba] [名] [ぱばまい...] 巾。幅。【例】かたぱば (肩幅)。ぬぬぱば (布幅)。くいぬ ぱば (声の幅)。ぱばう ギかす (力を利かせる)。

ぱばかす [pabakas] [動 I 類 c 型] [ぱばかしー、ぱばかしゃん] 求めさせる。探させる。買わせる。【例】たばくーばー やらびんや ぱばかすな (煙草を子供に買わせるな)。

ぱばギ [pabak] [動 I 類 c 型] [ぱばきー、ぱばかん] 求める。探して来る。買ってくる。【例】ぱばかん (求めない。探してこない。買ってこ

ない。

ばびる [pabiru] [名] [昆虫] [ばび<sup>1</sup>るまい...] 蝶。蝶の総称。凧にとりつけるしかけ。

ばふ [bafu] [名] [ば<sup>1</sup>ふまい...] 糸巻き。機織の糸を巻く具。石垣に棒を差して糸を乾かし、それをくばふで巻き取った。

ばふうす [bafuus] [名] [ばふう<sup>1</sup>すまい...] 巨大な牛。太った牛。闘牛。【例】ばふうすん んーしゃーり (闘牛に似ている)。【類】「うふうす」。

ばぶどうり [pabudu] [名] [ばぶどうりまい...] 端踊り。八月おどり参照。

ばぶどうりじゃー [pabudu[dza:] [名] [ばぶどうりじゃーまい...] 端踊の座。

ばべ [babe] [名] [魚] [ば<sup>1</sup>べまい...] めじな。

ばま [pama] [名] [ばま<sup>1</sup>んまい...] 浜。浜辺。海浜。砂浜。

ばまい [bamai] [接尾] ~けれども。~しても。【例】あんしー あらばまい (そうだけれども。そうだとしても)。【類】「ばム」。

ばまگان [pamagan] [名] [蟹] [ば<sup>1</sup>まگانまい...] すながに。つのめがに。砂浜に穴を掘って住む。走るのが速い。【類】「べるま」。

ばましゅふつ [pamaçufuts] [名] [ばましゅふつ<sup>1</sup>んまい...] 浜の潮口。渚。波打ち際。【例】ばましゅふつん べるまぬ あすびーり (渚にスナガニが遊んでいる)。

ばまずー [pamadz:] [名] [ばまず<sup>1</sup>ーまい...] 浜釣り。浜にいて投げ釣りすること。

ばまつく [pamats]ku] [名] [鳥] [ば<sup>1</sup>まつく<sup>1</sup>まい...] 千鳥。村史参照。【類】「いムどうり」「つどうり」。

ばまつふり [pamaffu] [名] [貝] [ばま<sup>1</sup>つふり<sup>1</sup>まい...] いそはまぐり。

ばまつふり [pamaffu] [名] [ばま<sup>1</sup>つふり<sup>1</sup>まい...] お盆の送り行事。

ばまつふりぐー [pamaffu]gu:] [名] [貝] [ば<sup>1</sup>まつふり<sup>1</sup>ぐーまい...] いそはまぐりの殻。

ばままーり [pamama:] [名] [ばままー<sup>1</sup>りまい...] 浜廻り。浜をめぐっていくこと。

ばまム [bamam] [接尾] ~でも。【例】くばまム ゆぬむぬ (来てもいい)。

ばまり° [pama] [動I類c型] [ばまりー、ばまらん] かんばる。精を出す。夢中になる。熱中する。【例】ばまり (がんばれ)。ばまり°ピとう (頑張る人)。

ばまれ [pamare] [名] [ばまれまい...] 頑張る人。精出す人。働き者。夢中になる人。熱中する人。ばまんかだてい [pamankadati] [連語] 浜づたいに。

はみがきぐー [hamigakigu:] [名] [はみが<sup>1</sup>きぐーまい...] 歯磨き粉。

ばみギ [bamik] [動I類c型] [ばみきー、ばみかん] わめく。大声を発する。叫ぶ。

ばみくム [pamikum] [動I類c型] [ばみくみー、ばみくまん] はめこむ。填める。しっかり合わせる。【例】ふしゃびう ばみくム (楔を打ち込む)。

ばみり° [pami] [動II類c型] [ばみー、ばみん] はめる。合わせる。【例】ばみー むいかすな (はめて動かすな)。

はム [ham] [擬] 幼児に対して叱るまねをする。上下の唇を嚙んで叱る。

ばム [bam] [接尾] ~しても。譲歩の接辞。【例】いかばム (行っても)。しゅばム (しても)。【類】「ばまい」。

ばむぬ [pamunu] [名] [ばむ<sup>1</sup>ぬまい...] 刃物。刃の付いているもの。切ったり、削ったりする道具。

ばムねーまい [bamne:]mai] [接尾] ~しなくても。【例】しゅばムねーまい ゆるむぬ (しなくてもよい)。

ばムばム [bambam] [擬] 一所懸命。

ばムばム [pampam] [擬] 太っているさま。【例】わーぬ ばムばムていー つふえー ぶり (豚がぼっちゃりと太っている)。

ばムぶり° [pambu] [動I類c型] [ばんぶりー、ばんぶらん] 噛み砕く。【例】イズうぬ かなまりる ばんぶり° (魚の頭を噛み砕く)。【類】「かムぶり」。

ばムまい [pammai] [名] [ばムまいまい...] 飯米。食料。食材。食べ物。

ばムみかす [bammikas] [動I類c型] [ばんみ

かしー、ばんみかしゃん] 強くたたく。力強いことの言い方。【例】たいくー ばんみかす (太鼓を打ち鳴らす)。

ぱムみかす [pammikasʝ] [動I類c型] [ばんみかしー、ばんみかしゃん] 太らせる。家畜を肥育する。【例】ばんみかすばどう たかだい (太らすと高い値がつく)。

ぱムみギ [bammikʝ] [動I類c型] [ばんみきー、ばんみかん] 騒がしくなる。力強い音が聞こえる。【例】スピーカーぬ ばんみギ (スピーカーの音が騒がしい)。

ぱムみギ [pammikʝ] [動I類c型] [ばんみきー、ばんみかん] 太ること。家畜が丸々と肥えること。【例】ぱんムギわー (太った豚)。

ばやーす [paja:sʝ] [動I類c型] [ばやーしー、ばやーしゃん] 這わす。つる性の植物を這わせる。【例】きーんけー ばやーす (木に這わせる)。「類」「ばーす」「ばいっす」。

ばやう [pajau] [名] [ばやう<sup>1</sup>んまい...] パヤオ。浮き魚礁。

ばやがっていん [pajagattin] [名] [ばやがってい<sup>1</sup>んまい...] 早合点。早とちり。早のみこみ。

ばやまらす [pajamarasʝ] [動I類c型] [ばやまらしー、ばやまらしゃん] 早まらせる。急かせる。せき立てる。【同】「ペーまらす」。

ばやまり<sup>9</sup> [pajamaʝ] [動I類a型] [ばやまりー、ばやまらん] 早まる。予定より早くなること。時間が繰り上げられる。【例】じかんぬ ばやまり (時間が早まる)。「同」「ペーまり」。

ばやみり<sup>9</sup> [pajamiʝ] [動II類a型] [ばやみー、ばやみん] 早める。予定より早くする。時間を繰り上げる。【例】あみ ありば ばやみり (雨だから早める)。「同」「ペーみり」。

ばやらす [pajarasʝ] [動I類c型] [ばやらしー、ばやらしゃん] 流行させる。広める。【例】えーぐー ばやらす (歌を流行させる)。

ばやリ [pajaʝ] [動I類c型] [ばやりー、ばやらん] 流行する。【例】ばやリヤム (流行性の病気)。うとうーりぬ ばやリ (お通りがはやる)。

ばやリぐとう [pajalgutu] [名] [ばやリぐ<sup>1</sup>とうまい...] 流行する事柄。服の流行。髪形の流行。

ばやリむぬ [pajaʝmunu] [名] [ばやリむ<sup>1</sup>ぬまい...] 流行しているもの。今の世の中は千変万化の流行である。

ばやリヤム [pajajjam] [名] [ばやリや<sup>1</sup>ムまい...] 流行する病気。風邪。流行性感冒。

ばゆ [baju] [終] ~よ。

ばら [bara] [名] ~方。~側。~里。【例】まいばら (前の方。前どなり)。いりばら (西側)。にすばら (北の里)。

ばら [bara] [名] [ばらゆーり<sup>9</sup>らまい...] わら。麦わら。

ばら [bara] [名] [ばらまい...] 後遺症。【例】にんばら (寝た後の痛いところ)。っふあつかでいばら (鍼を使った後の疲れ)。

ばら [bara] [名] [植] [ばらまい...] 薔薇。薔薇の木。薔薇の花。

ばら [para] [助数] ~原。~村。村、集落を数える。【例】ミ<sup>9</sup>ばら (三原・三つの集落)。

ばら [para] [名] [ば<sup>1</sup>らまい...] ~側。~方。【例】くムばら (こちら側)。うムばら (そちら側)。かムばら (向こう側)。

ばら [para] [名] [ば<sup>1</sup>らまい...] 柱。屋根を支える材木。【例】ムなかばら (中心の柱)。とうくばら (床柱)。

ばらーす [bara:sʝ] [動I類a型] [ばらーしー、ばらーしゃん] 笑わせる。笑わす。【例】ばらーす むぬイー (笑わす言葉)。

ばらーす [para:sʝ] [動I類c型] [ばらーしー、ばらーしゃん] 掃かせる。【例】みなかう ばらーす (庭を掃かせる)。

ばらーす [para:sʝ] [動I類c型] [ばらーしー、ばらーしゃん] 払わせる。金を払わせる。【例】じんゆ ばらーす (お金を払わせる)。

ばらい [paraʝ] [名] [ばら<sup>1</sup>イまい...] 被い。おはらい。清めること。

ばらいうとうす [paraiutusʝ] [動I類c型] [ばらいうとうしー、ばらいうとうしゃん] 払い落とす。【例】やーにーぬ きーぬ ばーう ばらいうとうす (屋根の木の葉っぱを払い落とす)。

はらいさぎ [haraisagi] [名] [はらいさ<sup>1</sup>ぎまい...] 払い下げ。米軍の軍服の払い下げ。払い下げ

品。

ばらいにがい [paraɲigaɲ] [名] [ばらいにが<sup>1</sup>イ  
まい...] 祓いの祈願。

ばらか [paraka] [擬] [ばらかていー...] がりがり  
噛む様。

ばらがー [paraga:] [名] [ばらが<sup>1</sup>ーまい...] かつ  
おの腹の皮。【類】「ばたがー」。

ばらがたまり [paragatama] [名] [ばらがたま<sup>1</sup>  
りまい...] 便秘。ふんづまり。大便が出なくなる  
こと。

ばらかみギ [parakamik] [動I類c型] [ばらか  
みきー、ばらかみかん] がりがり噛む。

ばらじゃん [baradzʌn] [名] [ばらじゃ<sup>1</sup>んまい...]  
わら算。昔の計算の方法。

ばらしゅぶギ [baraʃupug] [名] [ばらしゅぶ<sup>1</sup>ギ  
まい...] わら帯。わら綱を帯にする。わら縄を  
帯にすること。

ばらす [baras] [名] [ばら<sup>1</sup>すまい...] 砂利。コ  
ンクリートに使う。

ばらす [baras] [動I類a型] [ばらしー、ばら  
しゃん] あばかせる。はかせる。【例】ばらし  
(あばかせなさい)。ばらしー すている (あば  
かせてしまえ)。

ばらす [baras] [動I類a型] [ばらしー、ばら  
しゃん] 割らせる。【例】ばらし (割らせなさい)。  
ばらしー すている (割らしてしまえ)。

ばらす [paras] [動I類c型] [ばらしー、ばら  
しゃん] 走らす。【例】ばらし (走らせなさい)。  
ふにう ばらす (船を走らす)。ぬーまう ばら  
す (馬を走らせる)。

ばらす [paras] [動I類c型] [ばらしー、ばら  
しゃん] 注ぐ。流す。【例】ばらし (注ぎなさい)。  
ばらしー すている (注いで捨てなさい)。みず  
う ばらす (水を流す)。

ばらす [paras] [動I類a型] [ばらしー、ばら  
しゃん] 張らせる。障子を張らせる。【例】まく  
ー ばらす (幕を張らす)。あムゆ ばらす (綱  
を張らす)。

ばらす [paras] [動I類c型] [ばらしー、ばら  
しゃん] 晴らせる。気晴らしさせる。雨の晴れ  
るのを待つ。【例】あみう ばらしーから いき

(雨が晴れてから行きなさい)。

ばらたてい [paratati] [名] [ば<sup>1</sup>らたてい<sup>1</sup>まい...]  
柱建て。建築の柱を建てること。

ばらたていにがい [paratatinigaɲ] [名] [ばらた<sup>1</sup>  
ていにがいまい...] 柱建て願。建築の柱を建  
てるときに願事。

ばらちがい [paratʃigai] [名] [ばらちが<sup>1</sup>いまい...]  
腹ちがい。腹ちがいの子。

ばらばら [barabara] [擬] 沸騰する様子。

ばらばら [barabara] [擬] [ばらばらていー...] 乱  
れている。まとまりがないこと。

ばらばら [parapara] [擬] [ばらばらていー...] ト  
タン屋根の雨の音。

ばらび [barab] [名] [植] [ばら<sup>1</sup>びまい...] わら  
び。胞子植物。

はらまき [haramaki] [名] [はらま<sup>1</sup>きまい...] 腹  
巻。冷えるのを防ぐために腹に巻く幅の広い  
布。

ばらまギ [baramak] [動I類] [ばらまきー、ば  
らまかん] [ばらま<sup>1</sup>ギまい...] ばら撒く。散播  
する。種子の播き方。種子をばらばらに散らし  
て播く。

ばらまギ [baramak] [動I類c型] [ばらまきー、  
ばらまかん] ばら蒔く。ばら撒く。撒き散らす。  
散乱させる。【例】まみう ばらまギ (豆をばら  
蒔く)。ふにから むつーう ばらまギ (船の上  
から餅をばらまきする)。

ばらまギ [paramak] [名] [ばらま<sup>1</sup>ギまい...] 腹  
巻。

ばらます [paramas] [動I類c型] [ばらましー、  
ばらましゃん] 孕ます。妊娠させる。【例】う  
すう ばらます (牛を妊娠させる)。

ばらみギ [baramik] [動I類c型] [ばらみきー、  
ばらみかん] お湯や煮汁の沸騰する様子。【例】  
ゆーや ばらみきった (お湯は沸いた)。

ばらみギ [baramik] [動I類c型] [ばらみきー、  
ばらみかん] 戦争中の爆撃の音。【例】ていっ  
ぶーぬ ばらみギ (鉄砲の射撃の音がする)。

ばらム [param] [名] [ばらムま<sup>1</sup>い...] 卵巣。魚  
の卵巣。カニ類にも言う。その他の動物には言  
わない。

ぱらム [param] [動I類c型] [ぱらみー、ぱらまん] 孕む。妊娠する。身ごもる。【例】ぱらみった (身ごもった)。  
 ぱらムばた [parambata] [名] [ぱらムば<sup>1</sup>たまい...] 孕む腹。身ごもる腹。【類】「うぶばた」。  
 ぱらムまき [parammaki] [名] [ぱらムま<sup>1</sup>きまい...] 孕み負け。つわり。  
 ぱらムみどうム [parammidum] [名] [ぱらムみ<sup>1</sup>まい...] 妊婦。  
 ぱらムむぬ [parammunu] [名] [ぱらムむ<sup>1</sup>ぬまい...] 子持ち。魚・カニなどの卵を持っているもの。  
 ぱらムむぬ [parammunu] [名] [ぱらムむ<sup>1</sup>ぬまい...] 孕む女。妊婦。  
 ぱらムやすしゃーり [param.jasja:] [形] [ぱらムやす<sup>1</sup>しゃまい...] 孕みやすい。  
 ぱらんな [baranna] [名] [ぱ<sup>1</sup>らんなまい...] わら縄。わら綱。  
 はり [hari] [名] [はりまい...] 梁。柱を固定するために、柱の上にかけてわたす材木。  
 ぱり [ba] [動I類a型] [ぱりー、ぱらん] 割る。砕く。薪を割る。【例】いしう ぱり (畑の石を割る)。ぱらんーな (割ろうか)。たむのー ぱりった (薪は割り終えた)。  
 ぱり [bari] [名] [ぱりまい...] 割れ。破片。かけら。【例】たまぬ ぱり (グラスやびんの割れた破片)。  
 ぱり [bari] [名] [ぱりまい...] 割れ目。干瀬の割れ目。【類】「ぶかぱり」。  
 ぱり [bari] [名] [ぱりまい...] 持ち分。仕事の分担。割り当てられている面積。【例】くまー ヴァあが ぱり (ここは君の分担)。ぱりふつ (分担する所)。  
 ぱり [pa] [名] [ぱ<sup>1</sup>りまい...] 針。【例】ぱりぬみー (針の穴)。  
 ぱり [pa] [動I類c型] [ぱりー、ぱらん] 走る。【例】ぱりぐまた (走るべきだ)。ぱり (走れ。行け)。ぱりー いき (走っていけ)。ぱらんーな (走ろうか)。  
 ぱり [pa] [動I類c型] [ぱりー、ぱらん] 出る。汗が出る。

ぱり [pa] [動I類a型] [ぱりー、ぱらん] 張る。紙を張る。テントを張る。【例】しょーじう ぱり (障子を張る)。  
 ぱり [pari] [名] [ぱりま<sup>1</sup>い...] 晴れ。【例】にふんぱり (日本晴れ)。  
 ぱり [pari] [連語] 走れ。用事を早く済ませるために言う。  
 はりあい [hariiai] [名] [はりあいまい...] 張り合うこと。競うこと。【例】すぐとうん はりあいぬ あり (仕事に張り合いが出る)。  
 ぱりあがり [pariaga] [動I類c型] [ぱりあがりー、ぱりあがらん] 晴れあがる。晴れわたる。【例】あめー ぱりあがりった (雨は晴れ上がった)。  
 はりあぎり [hariagiri] [動II類a型] [はりあぎりー、はりあぎん] 張り上げる。声を張り上げる。【例】うぶぐいゆ はりあぎり (大声を張り上げる)。  
 ぱりー くー [pari: ku:] [連語] 走ってきなさい。早く会いたい人に言う。  
 ぱりかさみ [bakasami] [名] [ぱりかさみまい...] 割重。人頭税を追加すること。  
 ぱりかび [pakabi] [名] [ぱりかびまい...] 貼り紙。  
 ぱりがみ [barigami] [名] [ぱりがみまい...] 割れがめ。酒に強い人。割れがめはいくら酒を入れても満たないことのとえ。  
 ぱりき [bariki] [名] [ぱり<sup>1</sup>きまい...] 馬力。機械の出力。エンジンの力。  
 はりきり [harikiri] [動I類a型] [はりきりー、はりきらん] 張りきる。【例】うんしゆく はりきりな (それほど張りきるな)。  
 はりくム [harikum] [動I類c型] [はりくみー、はりくまん] 張り込む。見張りする。【例】きーさつぬ はりくム (警察が張り込む)。  
 はりくム [harikum] [動I類a型] [はりくみー、はりくまん] 無理して大金を出す。【例】ムめび はりくみ (もっと大金を出せ)。  
 ぱりだす [pa:dasu] [動I類c型] [ぱりだしー、ぱりだしゃん] 張り出す。  
 ぱりだむぬ [ba:damunu] [名] [ぱりだむぬまい...]

割った薪。

はりつ [haritsɯ] [名]〔はりつま<sup>1</sup>い...〕破裂。爆発。【例】はなびぬ はりつ（花火が破裂する）。

ぱりつぎ [pa[tsɯkɯ] [名]〔ぱ<sup>1</sup>りつぎ<sup>1</sup>まい...〕針突き。刺青。昔の少女たちの間に流行した。手の甲に施した。

ぱりぬ うや [pa[nu uja] [名]〔ぱり<sup>1</sup>ぬうや<sup>1</sup>まい...〕針の親。茅葺きの屋根を葺くときに中に針を持つ係。茅葺きの家の屋根の上において、下から針を出すことを指示する人。

ぱりぬ みー [pa[nu mi:] [名]〔ぱり<sup>1</sup>ぬみー<sup>1</sup>まい...〕針の穴。【例】ぱりぬ みーん いたうーとうーす（針の穴に糸を通す）。

ぱりば [pariba] [名]〔ぱりばまい...〕晴れ場。集会所。イベント会場。たくさんの人が集まる場所。

ぱりばく [pa[baku] [名]〔ぱ<sup>1</sup>りばくまい...〕針箱。裁縫用具入れ。

ぱりぱり [baribari] [擬]〔ぱりぱりていー...〕活動的なこと。勢いのよいこと。元気のよいこと。

ぱりぱり [paripari] [擬]〔ぱりぱりていー...〕意気盛んなこと。若さのあふれていること。

ぱりふつ [barifutsɯ] [名]〔ぱりふつまい...〕仕事のはじまり。仕事をやりかける所。【例】ぱりふつん たつ（仕事をはじめるために立つ）。

ぱりふつ [pa[futsɯ] [名]〔ぱりふ<sup>1</sup>つまい...〕水を注ぐ口。水道口。急須の口。

ぱりまい [barimaj] [名]〔ぱりまいまい...〕割れ米。砕け米。戦後の配給米。

ぱりまうぶとうぬ [pa[mauputunu] [名]〔ぱり<sup>1</sup>まうぶとうぬまい...〕塩川御嶽の伝説の人物。塩川御嶽の守護神。

ぱりまがー [pa[maga:] [名]〔井戸〕〔ぱり<sup>1</sup>まがーまい...〕自然井戸の名。

ぱりむぬ [barimunu] [名]〔ぱりむぬまい...〕割れもの。割れたもの。ガラス製品。陶器類。【例】ぱりむぬー あつかう（割れ物を取り扱う）。

ぱりめー [pa[me:] [名]〔ぱりめ<sup>1</sup>ーまい...〕走り競争。走り勝負。かけっこ。レース。

ぱりやすしゃーり [baljasɯca:] [形]〔ぱりやすし

ゃまい...〕割りやすい。割ることがたやすい。

ぱりやすしゃーり [barijasɯca:] [形]〔ぱりやす<sup>1</sup>しゃまい...〕割れやすい。【例】まか<sup>1</sup>りら ぱりやすむぬ（椀は割れやすい）。

ぱりらーり [ba[ra:] [形]〔ぱり<sup>1</sup>らまい...〕悪い。【例】あがどう ぱりらーり（私が悪い）。ぱりらーりろー たうが（悪いのは誰か）。

ぱりり [bari] [動II類a型]〔ぱりー、ぱりん〕ばれる。発覚する。【例】やーぬ かどー まーらんけ ぱりった（家を出ないうちにばれた）。

ぱりり [bari] [動II類a型]〔ぱりー、ぱりん〕割れる。【例】ぱりった（割れた）。

ぱりり [pari] [動II類a型]〔ぱりー、ぱりん〕腫れる。おできが腫れる。【例】にぶとー うぼーぶ ぱりった（おできは大きくなった）。

ぱりり [pari] [動II類a型]〔ぱりー、ぱりん〕解ける。神事が解ける。喪が明ける。疑惑が解ける。【例】にがイヤ ぱりった（願いは解けた）。

ぱりり [pari] [動II類c型]〔ぱりー、ぱりん〕晴れる。雨が止むこと。【例】ぱりった（晴れた）。あめー ぱりった（雨は晴れた。雨は止んだ）。

ぱりる [pa[ru] [名]〔魚〕〔ぱり<sup>1</sup>るまい...〕さより。【類】「みずぱりる」。

ぱりんぎ [pa[nkɯ] [動I類c型]〔ぱりんきー、ぱりんかん〕一所懸命走る。走りこむ。

ぱる [paru] [名]〔ぱ<sup>1</sup>るまい...〕春。うるずム。四季の一つ。3月から5月。青春期。思春期。春の氏。

ぱる [paru] [名]〔ぱ<sup>1</sup>るまい...〕畑。農場。【例】ぱるんけー（畑へ。畑へ行くこと）。

ぱるあき [paruaki] [名]〔ぱるあ<sup>1</sup>きまい...〕畑にすること。耕す。開墾。

ぱるイズあ [paruzɯa] [名]〔ぱるイ<sup>1</sup>ズあまい...〕農業専門の人。

ぱるいでい [paruidi] [名]〔ぱるい<sup>1</sup>でいまい...〕畑へ行くこと。農業をすること。【例】ぱるいでいしゅなまり（畑へ行く準備）。

ぱるー [baru:] [動I類a型]〔ばれー、ばらーん〕笑う。【例】うぶぐいにー ぱるー（大声で笑う）。っさばがムゆ しー ぱるー（あざ笑う）。

ばるー [paru:] [動I類c型] [ばれー、ばらーん]  
集める。掃う。掃除する。掃き集める。清掃する。

ばるー [paru:] [動I類c型] [ばれー、ばらーん]  
払う。金を払う。代金を支払う。

ばるーぎー [baru:gi:] [名] [植] [ばるーぎーまい...] さるすべり。

ばるーぐい [baru:gui] [名] [ばるーぐいまい...]  
笑い声。

ばるーふぐム [baru:fugum] [名] [ばるーふぐムまい...。ばるーふぐムまい...] 笑窪(えくぼ)。  
【類】「ふぐム」。

ばるがギ [parugak] [名] [ばるが<sup>1</sup>ギまい...] 畑の垣。畑の境界。石積みや木を植えて垣を造る。

ばるぎー [parugi:] [名] [ばるぎ<sup>1</sup>ーまい...] 畑で着る衣服。農作業着。【類】「ばるぎん」。

ばるぎん [parugin] [名] [ばるギ<sup>1</sup>んまい...] 畑で着る衣服。農作業着。【例】ゆぐりばるぎん(汚れた農作業の衣服)。【類】「ばるぎー」。

ばるしえー [paru:ei:] [名] [ばるしえ<sup>1</sup>ーまい...]  
畑屋。農業を専門にする人。農家。

ばるしゅが<sup>1</sup>リ [parucuga] [名] [ばるしゅが<sup>1</sup>リまい...] 畑への支度。作業服の支度。

ばるすー [parus:] [名] [ばるす<sup>1</sup>ーまい...] 畑仕事。農業に従事する。農業に打ち込みこと。

ばるすかま [parus:kama] [名] [ばるすか<sup>1</sup>ままい...] 畑仕事。農業にうちこむこと。【類】「ばるすぐとう」。「ばるわじゃ」。

ばるすぐとう [parus:gutu] [名] [ばるすぐ<sup>1</sup>とうまい...] 畑仕事。農業。【類】「ばるすかま」。「ばるわじゃ」。

ばるだう [parudau] [名] [ばるだ<sup>1</sup>うまい...] 畑に使う道具。農作業の道具。農具の一式。【同】「ばるどー」。

ばるだていしん [parudati:cin] [名] [ばるだていし<sup>1</sup>んまい...] 春立船。琉球王府の貢納船。春の南風を帆に受けて宮古・八重山から首里城へ人頭税を運ぶ船。

ばるどうな<sup>1</sup>リ [paruduna] [名] [ばるどうな<sup>1</sup>リまい...] 畑隣。他人の畑が隣接していること。声をかけ合って農業の楽しさを語り合ったりする仲間。

る仲間。

ばるどー [parudo:] [名] [ばるど<sup>1</sup>ーまい...] 畑に使う道具。農作業の道具。手作業に変わって今は機械化の時代になった。【例】ばるどーゆ しゅが<sup>1</sup>リ(畑仕事に使う道具を備える)。【同】「ばるだう」。

ばるにんじゅ [parunindzu] [名] [ばるにん<sup>1</sup>じゅまい...] 畑人衆。畑仕事の仲間。

ばるぬ かム [parunu kam] [名] [ばる<sup>1</sup>ぬかム<sup>1</sup>まい...] 畑の神。

ばるばん [paruban] [名] [ばるば<sup>1</sup>んまい...] 畑の番。畑の見張り役。農作物の盗難を防ぐために畑の番をする。

ばるばんやー [paruban:ja:] [名] [ばるば<sup>1</sup>んやーまい...] 畑の番小屋。農具を保管したり、湯沸しをする休憩所。番小屋としても使用する。

ばるピとう [parupitu] [名] [ばるピ<sup>1</sup>とうまい...] 農業者。農夫。農業を専業とする人。

ばるまー<sup>1</sup>リ [paruma:] [名] [ばるまー<sup>1</sup>リまい...] 畑廻り。畑を巡視する。作物の生育状態を見ること。畑を監視すること。

ばるま<sup>1</sup>イ [paruma:] [名] [ばるま<sup>1</sup>イまい...] 陸稲。おかぼ。今は絶滅した。

ばるま<sup>1</sup>つ<sup>1</sup>ー [parumatts:] [名] [ばるま<sup>1</sup>つ<sup>1</sup>ーまい...] 畑の祭りごと。豊作祈願をする。各家庭で行う畑の祭り。自家製の神酒を供える。風揚げもした。

ばるみ<sup>1</sup>つ [parumits] [名] [ばるみ<sup>1</sup>つまい...] 畑道。農道。畑仕事をするのに往復する道。

ばるムーたぎー [parumtagi:] [名] [植] [ばるムー<sup>1</sup>たぎーまい...] けいぬびわ。村史。

ばるムな [parumna] [名] [虫] [ばるム<sup>1</sup>なまい...] かたつむり。【同】「ムなみ」。

ばるムな<sup>1</sup>か<sup>1</sup>ずー [parumnakadz:] [名] [ばるムな<sup>1</sup>か<sup>1</sup>ずーまい...] 袋地。他の畑に囲まれた畑。【類】「ふくるずー」。

ばるやー [paruja:] [名] [ばるや<sup>1</sup>ーまい...] 畑の家。集落から離れた住家。番小屋をも言う。

ばるわ<sup>1</sup>じゃ [paruvadza] [名] [ばるわ<sup>1</sup>じゃまい...] 畑仕事。農作業。

ばるんなぎさ [parunnagisa] [名] [ばるんなぎ<sup>1</sup>

さまい... 畑仕事ばかりして世間知らずの人。  
 はん [han] [名] [はんまい...] 半。半分。容器の  
 半分の量。距離・時間・人数にも言う。  
 はん [han] [名] [はんまい...] 班。組分け。  
 ばん [ban] [名] [代] [ばんまい...] 我。私。僕。  
 【例】ばんーけー（我に。私に。僕に）。ばんまい  
 （我も。私も。僕も）。ばんまい いかずー（ぼ  
 くも行くよ）。【類】「あん」。  
 ばん [ban] [名] [ばんまい...] 番。見張り。当  
 番。順番。【例】ばんにん（番人）。ペーしぬ ば  
 ん（早番）。ごばん（5番）。  
 ぱん [pan] [名] [ぱんまい...] 印。判。印鑑。【例】  
 ぱんゆ うす（判を押す）。  
 ぱん [pan] [名] [ぱんまい...] 斑。斑点。痣（あ  
 ざ）。【例】あかばん（赤い痣）。  
 はんがく [hangaku] [名] [はんがくまい...] 半額。  
 半分の値段。  
 ばんかす [bankas] [動I類a型] [ばんかしー、  
 ばんかしゃん] 喚かす。わめかせる。泣かせる。  
 鳴かせる。【例】わーう ばんかす（豚を喚か  
 す）。【類】「なかす」。  
 ばんかす [pankas] [動I類c型] [ばんかしー、  
 ばんかしゃん] めくらす。めくる。（まぶたや  
 男根の亀頭の皮を）めくる。  
 ばんギ [banki] [動I類a型] [ばんきー、ばんか  
 かん] 喚く。大声で喚く。大声で騒ぐ。吠える。動  
 物が騒ぐ。【例】とーしんゆ しー ばんギ（当  
 選して大騒ぎする）。  
 ばんギ [panki] [動II類c型] [ばんー、ばんん]  
 めくられる。（まぶたなどが）めくられる。【同】  
 「ばんきり」。  
 ばんき [panki] [名] [ばんきま<sup>1</sup>い...] めくられ。  
 めくられる状態。  
 ばんギー [panki:] [動I類c型] [ばんぎすいー、  
 ばんぎさん] 噛み切る。【例】いとー ばんギ  
 ー（糸を噛み切る）。【類】「ふあんギー」。  
 ばんぎぎー [bankigi:] [名] [植] [ばんぎぎーま  
 い...] 桑の木。実はくなくじや。【類】「がーぬ  
 ギ」。  
 はんきち [hankitci] [名] [はんき<sup>1</sup>ちまい...] ハ  
 ンカチ。

ばんきまら [pankimara] [名] [ばんきま<sup>1</sup>らまい...]  
 亀頭の皮がめくれている男根（陰茎）。  
 ばんきり [panki] [動II類c型] [ばんきー、ば  
 んきん] めくられる。（まぶたなどが）めくら  
 れる。【例】みーぬ かーう ばんきり（陰をめ  
 くる）。【同】「ばんギ」。  
 はんぐ [hangu] [名] [はんぐまい...] 飯盒（はん  
 ごう）。飯を炊く用具。軍隊の必需品。  
 ばんく [panku] [擬] [ばんくていー...] 丸々とし  
 た状態。太っていること。  
 ばんくばんく [pankupanku] [擬] [ばんくばんく  
 ていー...] 丸々とした状態。太っていること。  
 【類】「ばんばん」。  
 ばんくみかす [pankumikas] [動I類c型] [ばん  
 くみかしー、ばんくみかしゃん] 丸々とする。  
 太らせる。家畜を太らせることに言う。  
 ばんくみギ [pankumiki] [動I類c型] [ばんくみ  
 きー、ばんくみかん] 丸々としている。太る。  
 ばんしゆ [bançu] [名] [ばん<sup>1</sup>しゆまい...] 番所。  
 役場。琉球国時代の行政府。【類】「ぶムやー」。  
 ばんじゅーがに [bandzjugani] [名] [ばんじゅー  
 が<sup>1</sup>にまい...] 差金。番匠金。曲尺。大工用具。  
 はんじゅく [handzuku] [名] [はんじゅくまい...]  
 半熟。ゆで卵に言う。果実などの実が十分に熟  
 しないこと。  
 はんじゅくくが [handzukukuga] [名] [はんじゅ  
 くく<sup>1</sup>がまい...] 半熟卵。  
 はんしゅでい [hançudi] [名] [はんしゅでいま  
 い...] 半袖。衣服の袖が肘ぐらいまでのもの。  
 はんじょー [handzo:] [名] [はんじょーまい...]  
 繁昌。繁盛。【例】しよーばいはんじょー（商  
 売繁盛）。  
 ばんじるー [bandziru:] [名] [ばんじる<sup>1</sup>ーまい...]  
 ばんじろう。グアバ。【類】「ばんつきるー」「む  
 ム」。  
 ばんず [bandzi] [名] [ばんずまい...] 繁時。最盛  
 期。盛りの時。よい時期。好機。子供の成長期  
 や農作物の収穫時期などに言う。【例】よーイ  
 ぬ ばんず（祝い座が盛りあがっている時）。  
 はんずぶん [handzibun] [名] [はんずぶんまい...]  
 半ズボン。

ばんた [banta] [名] [代] [ばん<sup>1</sup>たまい...] 我等。私たち。僕たち。我々。【例】ばんたが(我々の。我々が)。ばんたが むぬ(我々のもの)。ばんたが すた<sup>1</sup> (我々がやった)。

ばんた [panta] [名] [ばん<sup>1</sup>たまい...] 頂上。てっぺん。木の上。屋根の上。石垣の上。【同】「ばなた」。

はんだい [handai] [名] [はんだいまい...] 飯台。ちゃぶだい。

ばんたが ムめ [bantaga mme] [名] [代] [ばん<sup>1</sup>た<sup>1</sup>がムめ<sup>1</sup>まい...] 私達。聞き手を含まない一人称排他複数。

ばんたしゃ [pantaça] [名] [ばん<sup>1</sup>たしゃまい...] 忙しさ。忙しいこと。多忙。猫の手も借りたい忙しさ。

ばんたしゃー<sup>1</sup> [pantaça:] [形] [ばん<sup>1</sup>たしゃまい...] 繁多。忙しい。多忙。仕事に多忙である。【例】すっじゃういばんた(きび植えて忙しい)。

ぱんだす [pandas] [動 I 類 a 型] [ぱんだしー、ぱんだしーん] はみ出す。ある範囲や枠からはみ出す。【例】くるまから にーぬ ぱんだす(車から荷がはみ出る)。

ぱんだま [pandama] [名] [植] [ぱ<sup>1</sup>んだままい...] 水前寺菜。

ぱんたむぬ [pantamunu] [名] [ぱん<sup>1</sup>たむぬまい...] 忙しいこと。忙しい人。多忙を極める人。【例】しんしーや ぱんたむぬ(先生は忙しい人だ)。

ぱんだら [pandara] [名] [ぱんだ<sup>1</sup>らまい...] はなつたれ。【同】「ぱんだれ」。

ぱんだ<sup>1</sup> [panda] [名] [ぱんだ<sup>1</sup>まい...] 鼻垂れ。鼻水。

ぱんだ<sup>1</sup>り<sup>1</sup> [pandari] [動 II 類 c 型] [ぱんだ<sup>1</sup>りー、ぱんだ<sup>1</sup>りん] 鼻垂れる。鼻水が出る。

ぱんだ<sup>1</sup>れ [pandare] [名] [ぱんだ<sup>1</sup>れまい...] はなつたれ。【同】「ぱんだら」。

はんちよー [hantçoi] [名] [はんちよーまい...] 班長。

ぱんつきるー [bantskiru:] [名] [植] [ぱん<sup>1</sup>つくる<sup>1</sup>まい...] グアバ。グアバは最近の移入植物。【類】「ぱんじるー」「むム」。

ぱんつまー [pantçma:] [名] [ぱん<sup>1</sup>つまーまい...]

気まぐれ者。お調子者。

ぱん<sup>1</sup>でい<sup>1</sup> [pandi] [動 II 類 c 型] [ぱん<sup>1</sup>でいー、ぱん<sup>1</sup>でいん] 外れる。はみ出る。範囲からはみ出る。【例】りつから ぱん<sup>1</sup>でい<sup>1</sup> (列から外れる)。

はんとう [hantu] [名] [はんとうまい...] 半途。卒業しないこと。学校を途中で退学すること。【例】がっこーゆ はんとう(学校を途中で止める)。

はんとうす [hantusu] [名] [はんとうすまい...] 半年。【例】くとうすまい はんとうす なりつた(今年も半年経った)。

はんどー [hando:] [名] [はんどーまい...] 反動。鉄棒の技の一つ。【例】はんどーあがり(足で蹴る反動で棒に上がる)。

ぱんない [bannai] [副] たくさん。どんどん。【例】たむぬー ぱんない むていー くー(薪をどんどん持って来なさい)。【類】「どんない」。

ぱんのー [panno:] [名] [ぱんの<sup>1</sup>まい...] 藩王。琉球王のこと。

ぱんぱん [panpan] [擬] [ぱんぱんていー...] 着衣の小さいこと。着衣が小さく体に合わないこと。

ぱんびム [panbim] [名] [ぱんび<sup>1</sup>ムまい...] 半片。天ぷら。油揚げ。【例】ピさぱんびム(平焼きてんぷら)。ぱなぱんびム(花形のでんぷら)。

ぱんぶん [panbun] [名] [ぱんぶ<sup>1</sup>んまい...] 半分。【例】ぱんぶんばき(半分づつ)。みつぬ ぱんぶん(道半ば)。ぱたぱんぶん(腹半分)。

ぱんべー [banbe:] [名] [ぱんべーまい...] 番をする係。番人。シートーヤーの番人。

ぱんまい [panmai] [名] [ぱんまいまい...] 飯米。主食。食糧。昔の主食は芋。

ぱんやー [ban.ja:] [名] [ぱんやーまい...] 番小屋。畑の小屋。畑の物置小屋。

ぱんやーがま [ban.ja:gama] [名] [ぱんやーがま<sup>1</sup>まい...] 作付けした後に畑の真ん中にすすきを三本結んで立てたもの。豊作祈願や魔除の意味を持つ。

ばんーけー くまり [bannke:kuma] [連語] 番に入る。入賞する。【例】ばんーけー くまらん

(番に入らない。入賞しない)。

## — ひ —

ひー [hi:] [擬] 他人を欺くこと。  
 ビー [bi:] [名] [干支] [ビ<sup>1</sup>ーまい...] 亥 (い)。十二支の十二番。亥年。猪。  
 びー [bi:] [名] [びーまい...] 座り。座ること。  
 びー [bi:] [名] [びーま<sup>1</sup>い...] 酔い。酔うこと。魚に中毒すること。  
 ピー [pi:] [名] [ピーまい...] 日。【例】くがにピー (うれしい日)。うんぬ ピー (あの日)。ピかず (日数)。  
 ピー [pi:] [名] [ピーまい...] 火。  
 ピー [pi:] [名] [ピーまい...] 女性の陰部。  
 ピー [pi:] [動I類c型] [ピすいー、ピさん] くしゃみをする。  
 ピー [pi:] [動I類c型] [ピすいー、ピさん] 放る。おならを出す。【例】ぴーゆピー (屁をへる)。  
 ぴー [pi:] [名] [ぴーま<sup>1</sup>い...] 干。潮が引くこと。干潮。  
 ぴー [pi:] [名] [ぴーま<sup>1</sup>い...] 屁。おなら。  
 びーあぐ [bi:agu] [名] [びーあぐまい...] 座席を一緒にする友。  
 ビーガー [bi:ga:] [名] [魚] [ビーが<sup>1</sup>ーまい...] (水納方言)とらぎすの仲間。【類】「しゅーつつぎ」。  
 ピーかす [pi:kas] [動I類c型] [ピーかしー、ピーかしゃん] 穴を開けさせる。破らせる。【例】しょーじう ピーかす (障子に穴を開ける)。  
 ひーき [hi:ki] [形] [ひー<sup>1</sup>きまい...] 平気。【例】ぴーしゃらばまい ひーき (寒くても平気だ)。  
 ピーギ [pi:ki] [動I類c型] [ピーきー、ピーかん] 穴を開ける。潰す。【例】ばうしー ピーギ (棒で開ける)。しょーじう ピーギ (障子に穴を開ける)。  
 ピーき [pi:ki] [名] [ピーきま<sup>1</sup>い...] 穴。ほら穴。

かくれる所。【例】ピーきから みーり<sup>o</sup> (穴から見る)。っふあじみぬ ピーきんけー くまり<sup>o</sup> (やもりが穴に入る)。

ピーきり [pi:ki] [動II類c型] [ピーきー、ピーきん] 穴が開く。破れる。【例】トンネルぬ ピーきり (トンネルが貫通した)。

ひーじー [hi:dzi:] [名] [ひーじーまい...] 平生。普段。常に。【例】ひーじーから きたいる (平生から鍛えよ)。

ぴーしゃ [pi:ca] [名] [ぴー<sup>1</sup>しゃまい...] 寒さ。寒いこと。寒い感覚。さむけ。

ぴーしゃーり [pi:ca:ri] [形] [ぴー<sup>1</sup>しゃまい...] 寒い。【例】あみん ムにー ぴーしゃーり<sup>o</sup> (雨に濡れて寒い)。

ぴーしゃぐぱり [pi:ca:gupa] [名] [ぴー<sup>1</sup>しゃぐぱりまい...] 寒さにこごえる。寒さにちぢこまる。【例】イズうまい ぴーしゃぐぱりる しーすにー ぶり (魚も寒さに凍えて死んでいる)。

ぴーしゃぐまり [pi:ca:guma] [名] [ぴー<sup>1</sup>しゃぐまりまい...] 寒さのために家にこもる。

ぴーしゃむぬ [pi:camunu] [名] [ぴー<sup>1</sup>しゃむぬまい...] 寒いこと。

ぴーしゃむや [pi:camuja] [名] [ぴー<sup>1</sup>しゃむやまい...] 寒がり屋。【例】ういピとー ぴーしゃむや (老人は寒がり屋だ)。

ひーじょー [hi:dzo:] [名] [ひーじょーまい...] 平常。平素。普段。いつもの通り。

びーすかま [bi:s:kama] [名] [びーすか<sup>1</sup>まい...] 座ってやる仕事。【例】ぬぬうりら びーすかま (機織りは座ってやる仕事だ)。

びーずみしゃーり [bi:dzi:mica:ri] [形] [びーずみ<sup>1</sup>しゃまい...] 座り心地の良いこと。

びーすみり<sup>o</sup> [bi:s:mi] [動II類c型] [びーすみー、びーすみん] 座らせる。

ピーた [bi:ta] [名] [ピー<sup>1</sup>たまい...] 発育の良くないこと。栄養不良の子。

びーだい [bi:dai] [名] [びーだいまい...] 座る台。腰掛け。座椅子。

ぴーちゃ [pi:ca] [副] 少し。少量のもの。【同】「いびーちゃ」「いびっちゃ」「びっちゃ」。

びーっさす [bi:ssas] [動I類c型] [びーっさし

一、びーっさしゅん) 座らせる。場所を指示して座らせる。【例】いすん びーっさす (椅子に座らせる)。(類)「びーっす」。

びーっさす [bi:ssas] [動I類c型] [びーっさしゅん、びーっさしゅん) 酔わせる。中毒させる。【類]「びーっす」。

びーっす [bi:ss] [動I類a型] [びーっしー、びーっしゅん) 座らせる。場所を指示して座らせる。【例】いすん びーっす (椅子に座らせる)。(類)「びーっさす」。

びーっす [bi:ss] [動I類c型] [びーっしー、びーっしゅん) 酔わせる。中毒させる。【類]「びーっさす」。

ピーていり [pɪ:ti] [名] [ピーていりまい...] 日照り。日差し。日光。【例】ピーていりんや やかいー (日光に焼かれた・日焼けした)。

ピーていりあみ [pɪ:ti] [名] [ピーていりあみまい...] 日照り雨。日差し雨。にわか雨。通り雨。

びーどうくま [bi:dukuma] [名] [びーどうくまい...] 座る場所。席。座席。【類]「しき」。

ピーに [pɪ:ni] [名] [ピーにまい...] 昼寝。午睡。

ピーにり [bɪ:ni] [名] [ピーにりまい...] 正座したまま歌う神歌。

びーぬ かりら [pi:nu ka] [連語] 屁の軽さ。とても軽いこと。

ひーはー [hi:ha:] [擬] 笑う様。

びーぱーぐー [pi:pa:gu:] [名] [びーぱーぐーまい...] かます。わらで作った袋。肥料・穀物を入れる。【類]「かまじーぐー」。「くちき」。「くちきぐー」。

びーピー [pi:pɪ:] [名] [びーピーまい...] 屁をへること。

びーびー [pi:pi:] [擬] [びーびーまい...] 貧乏・貧しいこと。貧乏。【例】かんけが やーや びーびー (彼らの家は貧しいよ)。じんや ねーん びーびー (金はないピーピーだ)。

びーピせ [pi:pise] [名] [びーピせまい...] よく屁をへる人。おならを放る人。

びーふぎ [pi:fuki] [名] [びーふぎまい...] ふいご。鍛冶屋の送風装置。

びーふしやら [bi:fuɕara] [名] [びーふしや<sup>1</sup>らまい...] 酔腐れ。酔いつぶれる人。

びーふしやり [pi:fuɕari] [名] [びーふしや<sup>1</sup>りまい...] 屁の臭いこと。

びーふしやりかつじゃ [pi:fuɕarikaddza] [名] [植] [びーふしやりかつ<sup>1</sup>じゃまい...] へくそかずら。【類]「かつじゃ」。

びーふしやりみばな [bi:fuɕarimipana] [名] [びーふしやりみば<sup>1</sup>なまい...] 酔った顔。酔っ払った顔。【類]「びーみばな」。

びーふしやりり [bi:fuɕari] [動II類c型] [びーふしやりー、びーふしやりん) 酔っ払う。

びーふしやりり [pi:fuɕari] [動II類c型] [びーふしやりー、びーふしやりん) 屁が臭い。

びーふてい [bi:futi] [名] [びーふていま<sup>1</sup>い...] 錆びること。錆び付くこと。

びーふていかたな [bi:futikatana] [名] [びーふていかた<sup>1</sup>なまい...] 錆び付いた包丁。

びーふていり [bi:futi] [動II類c型] [びーふていー、びーふていん) 錆びる。錆がつく。金属が錆びる。刃物の切れ味が悪くなる。

びーぶら [pi:bura] [名] [びーぶらまい...] 煙突。

ピーま [pɪ:ma] [名] [ピーままい...] 午後。真昼。昼間。白昼。昼どき。【例】ピーまから (昼から。午後から)。ピーまから ぱるんけー (昼から畑へ行く)。ピーまがみ (昼まで。昼間での時間)。ピーまがみぬ すぐとう (昼間での仕事)。

ピーまあとう [pɪ:maatu] [名] [ピーまあ<sup>1</sup>とうまい...] 昼後。午後。【例】ピーまあとうん くだ (午後に来なさい)。

びーまいび [bi:maibi] [名] [びーまいびまい...] ちょっとだけ座ること。【例】びーまいびてーな (ちょっとだけ座った)。

びーまいび [bi:maibi] [名] [びーまいびまい...] 酔ったふり。【例】びーまいびぬ うむっし (酔ったふりして愉快だ)。

ピーまがり [pɪ:maga] [動I類a型] [ピーまがりー、ピーまがらん) 昼さなかになる。白昼になる。【例】ピーまがりぬ わじゃ (昼さなかの仕事)。ピーまがらんけ ぱるんけー いか (昼になる前に畑に行こう)。

ピーまがりどうーれ [pɪ:maga[du:re] [名]〔ピーまがりどうーれまい...〕 昼さなか。白昼。

ピーまずぶん [pɪ:madʒɪbun] [名]〔ピーまずぶんまい...〕 昼頃。昼の時。【例】なまー ピーまずぶん（今は昼頃だ）。

ピーまどうーれ [pɪ:madu:re] [名]〔ピーまどうーれまい...〕 昼というのに。【例】ピーまどうーれ しゃきぬム（昼というのに酒を飲む）。

ピーまむぬ [pɪ:mamunu] [名]〔ピーまむぬまい...〕 昼食。昼ご飯。【例】ピーまむぬどー（昼食だよ）。【類】「ピすいり」。

ピーまゆくー [pɪ:majuku:] [名]〔ピーまゆくーまい...〕 昼休み。【例】きーぬ かぎん ピーまゆくー（木の陰に昼休み）。

びーみばな [bi:mipana] [名]〔びーみば<sup>1</sup>まい...〕 酔った顔。【類】「びーふしやりみばな」。

ひーみん [hi:min] [名]〔ひーみんまい...〕 平民。庶民。普通の人。現代は言わない。

びーむぬ [bi:munu] [名]〔びーむぬまい...〕 座るもの。椅子。座布団。【例】びーむぬー むていー くー（椅子を持って来なさい）。

びーや たつたつ [bi:ja tatsɪtatsɪ] [連語] 座ったり立ったり。落ちつきのないこと。

びーり [bi:] [動II類 a型]〔びー、びーん〕 座る。【例】くまん びーり（ここに座る）。びーる（座りなさい）。うまん びーる（そこに座りなさい）。いしゅぎーぶりば びーまん（忙しいから座らない）。

びーり [bi:] [動II類 c型]〔びー、びーん〕 酔う。中毒する。魚に中毒する。【例】しゃきん びーり（酒に酔う）。

びーり [bi:] [動II類]〔びー、びーん〕 止まる。駐車する。

びーり [pi:] [動II類 c型]〔びー、びーん〕 潮が引く。【例】ゆーどう びーり（よく干く潮だ）。

びーる [bɪ:ru] [名]〔びー<sup>1</sup>るまい...〕 ひ弱いこと。かよわいこと。【例】びーるっふあ（ひよわな子）。

びーる [bi:ru] [名]〔びー<sup>1</sup>るまい...〕 麦酒。ビール。

びーるく [bɪ:ruku] [名]〔びーる<sup>1</sup>くまい...〕 精力

がないこと。だらだらしていること。または、その人。

びーるくまーす [bi:rुकuma:sɪ] [動I類]〔びーるくまーしー、びーるくまーしゃん〕〔びーる<sup>1</sup>くまーしー ぶり〕 欺く。馬鹿にする。【類】「びぐまーらす」。

びーるくまーり [bɪ:rुकuma:] [名]〔びーる<sup>1</sup>くまーりまい...〕 あれこれ言うこと。たぶらかすこと。落ちつかないこと。

びーるみかす [bɪ:rumikasɪ] [動I類 c型]〔びーるみかしー、びーるみかしゃん〕 力を尽きさせる。弱らせる。

びーるみぎ [bɪ:rumikɪ] [動I類 c型]〔びーるみきー、びーるみかん〕 力尽きる。

ピーんしゅー [pɪ:nʃu:] [形]〔ピーんしゅーまい...〕 貧相。貧乏。貧乏者。貧困者。

ピーんしゅーしゃーり [pɪ:nʃu:ʃa:] [形]〔ピーんしゅーしゃまい...〕 貧相。貧乏。貧弱。みずぼらしい姿。その人。

びーんてい [bɪ:nti] [名]〔干支〕〔びーん<sup>1</sup>ていまい...〕 亥年。

びうイ [piuɪ] [名]〔びうイまい...。びうイま<sup>1</sup>い...〕 日取り。【例】かぎびうイ（よい日取り。佳き日）。

びヴヴうりがっさ [bivvu[gassa] [名]〔植〕〔びヴヴうりが<sup>1</sup>さまい...〕 くわずいも。くわずいもの葉。有毒。葉は物を包むのに適す。

びうす [biusɪ] [名]〔びう<sup>1</sup>すまい...〕 釣り竿。【類】「つーしゃう」。

びうすだき [biusɪdaki] [名]〔びう<sup>1</sup>すだきまい...〕 釣り竿を作るのに適した竹。また、その釣り竿。

ビがー [bɪga:] [名]〔ビがーまい...〕 豚舎に付け足した用便する穴。

ビがい [bɪgaɪ] [名]〔貝〕〔ビがいまい...〕 しゃこ貝。

ひかいり [hikaiɪ] [動II類 a型]〔ひかいー、ひかいん〕 控える。待機する。

ひがいり [higairi] [名]〔ひがい<sup>1</sup>りまい...〕 日帰り。【例】ひがいりしー めーくんけー（日帰りで宮古島へ）。

ピかいリ [pj̥kai] [動 II 類 a 型] [ピかいー、ピかいん] 金を巻き上げられる。とばく。【例】ピかいー ねーん (巻き上げられてしまった)。【同】「ピかりリ」。

ピかぎ [pj̥kagi] [名] [ピかぎまい...] 毎日の食事のこと。三度の食事のこと。

ピかぎ [pj̥kagi] [名] [ピか<sup>1</sup>ぎまい...] 日陰。日影。木陰。【例】ピかぎん ゆかーだ (日陰に休みなさい)。

ピかぎ [pj̥kagi] [名] [ピかぎまい...] 引き上げ。引き上げること。

ピかぎ [pj̥gakj] [名] [ピかぎまい...] 日除け。日差しをさえぎるためのもの。

ピかぎがー [pj̥kagiga:] [名] [ピかぎがーまい...] 釣瓶で水を汲み上げる人口井戸。

ピかぎみず [pj̥kagimidzj] [名] [ピかぎみ<sup>1</sup>ずまい...] 引きあげ水。釣瓶を使って井戸から汲み上げる水。

ピかぎむぬ [pj̥kagimunu] [名] [ピかぎむ<sup>1</sup>ぬまい...] 毎日の食べ物。食料。

ピかぎリ [pj̥kagi] [動 II 類 a 型] [ピかぎー、ピかぎん] 引きあげる。【例】つーう ピかぎる (つるべを引き上げなさい)。んなーしー ピかぎリ (縄で引き上げる)。

ピがしゃ [pj̥gaca] [名] [ピが<sup>1</sup>しゃまい...] 日傘。パラソル。

ピかす [bj̥kasj] [動 I 類 a 型] [ピかしー、ピかしゃん] 金をまきあげる。

ピかす [pj̥kasj] [動 I 類 a 型] [ピかしー、ピかしゃん] 引かせる。【例】つーなーう イズうん ピかす (釣り糸を魚に引かす)。

ピかす [pj̥kadzj] [名] [ピかすまい...] 日数。日取り。【例】すつうぶなかぬ ピかす (豊年祭の日取り)。

ぴがす [pigasj] [動 I 類 c 型] [ぴがしー、ぴがしゃん] 削らす。【例】かちゅーゆ ぴがす (かつお節を削らす)。かなしー ぴがす (鉋で削らす)。

ピかすとうリ [pj̥kadzjutu] [名] [ピかすとう<sup>1</sup>リまい...] 日数取り。日取り。日選。吉日を選ぶ。

ピがむイ [pj̥gamu] [名] [ピがむ<sup>1</sup>イまい...] シ

ートーヤーの火を燃やす人。

ピがら [pj̥gara] [名] [ピがらまい...] 日柄。その日の吉凶。【例】かぎピがら (佳き日。吉日)。

ピからす [pj̥karasj] [動 I 類 c 型] [ピからしー、ピからしゃん] 光らす。照らす。【例】くまうピからす (ここを照らす)。

ピがらむぬ [pj̥garamunu] [名] [ピがらむぬまい...] 日柄物。時期のもの。

ピかり [pj̥ka] [名] [ピかりまい...] 光。輝き。【例】ぶすぬ ピかり (星の輝き)。

ピかり [pj̥ka] [動 I 類 c 型] [ピかりー、ピからん] 光る。輝く。【例】ぶすぬ ピかり (星が輝く)。

ピかりむぬ [pj̥ka|munu] [名] [ピかりむ<sup>1</sup>ぬまい...] 光るもの。輝くもの。【例】かぬ ピかりむのーぬーが (あの光るものは何か)。

ピかりリ [bj̥kari] [動 II 類 a 型] [ピかりー、ピかりん] 金を巻き上げられる。とばく。【同】「ピかいリ」。

ピがん [pj̥gan] [名] [ピが<sup>1</sup>んまい...] 彼岸。春の彼岸・秋の彼岸。春分・秋分。

ピギ [bj̥kj] [動 I 類 c 型] [ピきー、ピかん] 賭ける。とばくする。いちかばちかかける。

びき [biki] [接頭] 雄～。男～。牡～。【例】びきどうム (男性)。びきうす (牡牛)。びきぬーま (牡馬)。

ピギ [pj̥kj] [名] [魚] [ピギまい...] すずめだいの仲間。

ピギ [pj̥kj] [名] [ピギまい...] 縁。血筋。血統。親戚。【例】ピギぬ あり (後押しがある)。【類】「くす」。

ピギ [pj̥kj] [動 I 類 c 型] [ピきー、ピかん] 引く。曳く。綱を引く。引き寄せる。【例】んなう ピギ (綱を引く)。

ピギ [pj̥kj] [動 I 類 c 型] [ピきー、ピかん] 草や野菜を引き抜く。

ピギ [pj̥kj] [動 I 類 c 型] [ピきー、ピかん] 弾く。三線を弾く。弦楽器を弾き鳴らす。

ピギ [pj̥kj] [動 I 類 c 型] [ピきー、ピかん] 舞台上で演技が終わって退場していく。

ピギ [pj̥kj] [動 I 類 c 型] [ピきー、ピかん] 風邪

をひく。

ピギ [pɪkɪ] [動I類c型] [ピギー、ピかん] 潮がひく。潮が干く。干潮になる。

ピギ [pɪkɪ] [動I類c型] [ピギー、ピかん] 挽く。白でひく。【例】くーゆ ピギ (粉にする)。

ピギ [pɪgɪ] [動I類c型] [ピギー、ピがん] 削る。かんなで木を削る。かつお節を削る。【同】「きっずー」。

ピギ [pɪgi] [名] [ピギまい...] サトウキビの葉っぱにある棘。

ピギ [pɪgi] [名] [ピギまい...] ひげ。毛。繊維。【例】ピギむしゃ (毛むくじゃら)。

ピギあーす [pɪkɪa:sɯ] [動I類c型] [ピギあーしー、ピギあーしゃん] 引き合わせる。仲を取り持つ。【例】ふたーりる ピギあーす (二人を引き合わせる)。

ピギあい [pɪkɪai] [名] [ピギあいまい...] 引き合い。綱の引き合い。綱引き。

ピギあがり [pɪkɪagaɪ] [動I類a型] [ピギあがりー、ピギあがらん] 引き上がる。引き終わる。仕事が終わる。

ピギあぎり [pɪkɪagi] [動II類a型] [ピギあぎー、ピギあぎん] 引きあげる。仕事を終わる。【例】すたから ピギあぎり (下から引き上げる)。すぐとうー ピギあぎり (仕事を引きあげる)。【同】「ピかぎり」。

びきういピとう [bikiuipɪtu] [名] [びきういピとうまい...。びきういピ<sup>1</sup>とうまい...] 男の老人。

びきヴヴあ [bikivva] [名] [びきヴヴあまい...] 男児。男の子。

ひきうきり [hikiuki] [動II類c型] [ひきうきー、ひきうきん] 引き受ける。承諾する。【例】すぐとうー ひきうきり (仕事を引き受ける)。

ピギうくす [pɪkɪukusɯ] [動I類c型] [ピギうくしー、ピギうくしゃん] 引き起こす。寝ている子を引き起こす。【例】ピギうくし (引き起こせ)。

びきうす [bikiusɯ] [名] [びきうすまい...] 雄牛。牡牛。

ピギうす [pɪkɪusɯ] [名] [ピギう<sup>1</sup>すまい...] 挽き白。木白・石白がある。

ピギうたす [pɪkɪutasɯ] [動I類c型] [ピギうたしー、ピギうたしゃん] 引き落とす。預金から代金を引き落とす。【例】みずだいでゆ ピギうたす (水代金を引き落とす)。

びきうっとう [bikiuttu] [名] [びきうっとうまい...] 年下の男の子。

びきうとうだら [bikiutudara] [名] [びきう<sup>1</sup>とうだらまい...] 男の兄弟。

ピギうるす [pɪkɪurusɯ] [動I類c型] [ピギうるしー、ピギうるしゃん] 引き下ろす。前にいる人を引き下ろす。【例】かるー ピギうるす (彼を引き下ろす)。

びきがーら [bikigara] [名] [びきがーらまい...] 雄の瓦。牡瓦。

ひきかい [hikikai] [名] [ひきかいまい...。ひきか<sup>1</sup>いまい...] 引き換え。交換。代金と引き換えること。

ピギかいす [pɪkɪkaisɯ] [動I類c型] [ピギかいしー、ピギかいしゃん] 引き返す。

ひきかいり [hikikai] [動II類c型] [ひきかいー、ひきかいん] 引き換える。交換する。ある品物と別の品物を交換する。【例】すなむぬーひきかいり (品物を引き換える)。

びきかだ [bikikada] [名] [びきかだまい...] 男のにおい。男の体臭。

びきぎー [bikigi:] [名] [びきぎーまい...] 雄の木。そてつ。パパイヤなどに見られる。果実はならない。雌雄異株。

びききよーだい [bikikjo:dai] [名] [びききよーだいまい...] 男兄弟。【同】「びきけうだい」。

ピギぐる [pɪgɪguru] [名] [ピギぐ<sup>1</sup>るまい...] 削り殻。大工のかんなくず。かつお節の削りこ。

びきけうだい [bikikeudai] [名] [びきけうだいまい...] 男兄弟。【同】「びききよーだい」。

ピギしみ [pɪkɪɕimi] [名] [ピギしみまい...] 引き締め。気持ちの緊張。

ピギしみり [pɪkɪɕimi] [動II類a型] [ピギしみー、ピギしみん] 引き締める。気持ちを緊張させる。

ピギしゃギ [pɪkɪɕakɪ] [動I類a型] [ピギしゃきー、ピギしゃかん] 引き裂く。紙を引き裂く。

引きちぎる。  
 びきじゃす [bikidzasʃ] [名] [びきじゃすまい...] 男勝り。男みたいな振る舞いをする女性。  
 ピギしゃんぐー [pɪkɪʃaŋɡu:] [名] [ピギしゃんぐーまい...] 引き合い。競り合い。うばいあい。引く手あまた。人気の物品を引き合いすること。  
 びきしゅがり [bikiʃuɡaɾi] [名] [びきしゅがりまい...] 男の扮装。男の装い。男の格好。男装。  
 ピギしゅり [pɪgiʃuɾi] [名] [ピギしゅりまい...] ひげ剃り。  
 ピギすみ [pɪɡisʃmi] [名] [魚] [ピギす<sup>1</sup>みまい...] ひらめ。  
 ピギたヴヴィ [pɪkɪtavvɪ] [動 I 類 a 型] [ピギたヴヴィー、ピギたヴヴィあん] 引き寄せる。船を引き寄せる。【例】ふにう ピギたヴヴィ (船を引き寄せる)。  
 ピギたうす [pɪkɪtausʃ] [動 I 類 a 型] [ピギたうしー、ピギたうしゃん] 引き倒す。【同】「ピギとーす」。  
 ピギたうらす [pɪkɪtaurasʃ] [動 I 類 c 型] [ピギたうらしー、ピギたうらしゃん] 引き倒す。縄をかけて引き倒す。【例】きーゆ ピギたうらす (木を引き倒す)。【同】「ピギとーらす」。  
 ピギだす [pɪkɪdasʃ] [動 I 類 a 型] [ピギだしー、ピギだしゃん] 引き出す。ひっぱり出す。【類】「ピギでいり」。  
 びきだつ [bikidatsʃ] [名] [びきだつまい...] 男やもめ。男の独身。  
 びきだつきない [bikidatsʃkinai] [名] [びきたつきな<sup>1</sup>まい...] 男やもめの家族。  
 びきだつむぬ [bikidatsʃmunu] [名] [びきだつむぬまい...] 男やもめ。独身の男。  
 ひきつ [hikitsʃ] [名] [ひきつまい...] 秘訣。よい考えのこと。よい方法。  
 ひきつき [hikitsʃki] [名] [病] [ひきつ<sup>1</sup>きまい...] 引きつけ。けいれん。  
 びきっじゃり [bikiddzari] [名] [びきっじゃりまい...] 雄が雌へじやれること。【例】びきっじゃりぬーま (雌馬にじやれる雄馬)。  
 びきっじゃりり [bikiddzari] [動 II 類 a 型] [びきっじゃりー、びきっじゃりん] 雄が雌へじや

れる。  
 ピギでいり [pɪkɪdi] [動 II 類 a 型] [ピギでいー、ピギでいん] 引き出す。ひっぱり出す。【例】うなごう ピギでいり (うなごを穴から引き出す)。  
 【類】「ピギだす」。  
 びきとうだ [bikituda] [名] [び<sup>1</sup>きとうだまい...] 男兄弟。【類】「びきとうだら」。  
 びきとうだら [bikitudara] [名] [び<sup>1</sup>きとうだらまい...] 男兄弟。【類】「びきとうだ」。  
 びきどうっけん [bikidukken] [名] [植] [びきどうっけ<sup>1</sup>んまい...] くろいげ。  
 びきどうム [bikidumu] [名] [びきどうムまい...] 男。男性。男子。男児。  
 びきどうムっふあ [bikidumffa] [名] [びきどうムっ<sup>1</sup>ふあまい...] 男の子。男児。  
 びきどうムぶり [bikidumburi] [名] [びきどうムぶ<sup>1</sup>りまい...] 女性が男性に惚れること。男狂い。  
 びきどうムむぬ [bikidummunu] [名] [びきどうムむぬまい...] 男もの。男性用のもの。男性用の衣装。  
 びきどうり [bikiduɾi] [名] [びきどうりまい...] 雄の鶏。  
 ピギとーす [pɪkɪto:sʃ] [動 I 類 a 型] [ピギとーしー、ピギとーしゃん] 引き倒す。【同】「ピギたうす」。  
 ピギとーらす [pɪkɪto:rasʃ] [動 I 類 c 型] [ピギとーらしー、ピギとーらしゃん] 引き倒す。【例】きーゆ ピギとーらす (木を引き倒す)。【同】「ピギたうらす」。  
 ピギなー [pɪkɪna:] [名] [ピギなーまい...] 引き縄。曳き縄漁。航海中の船から釣り縄を引いて漁すること。  
 ピギなす [pɪkɪnasʃ] [動 I 類 a 型] [ピギなしー、ピギなしゃん] 片付ける。のける。整頓する。【例】はんだいぬ むぬー ピギなす (飯台の上のものを片付ける)。  
 ピギにん [pɪkɪnin] [名] [ピギにんまい...] 人頭税を納められない人のこと。役立たずの意味。今は死語。  
 びきぬーま [bikinu:ma] [名] [びきぬーまい...]

雄の馬。牡馬。

ピギぱ [pɪkpa] [名] [ピギ<sup>1</sup>ぱまい...] 八月おどりの総人員が舞台を一巡すること。

ピギぱがす [pɪkpagasɪ] [動I類c型] [ピギぱがしー、ピギぱがしゃん] 引き剥がす。くつついているものを引き剥ぐこと。【例】ばしやぎぬ かーう ピギぱがす (芭蕉の木の皮を引き剥がす)。

ピギぱくー [pɪkɪbaku:] [動I類c型] [ピギぱけー、ピギぱかーん] 引き奪う。引っぱり取る。強奪する。【例】むつむぬー ピギぱくー (持ち物をキ強奪する)。

びきばしや [bikibaɕa] [名] [植] [びきばしやまい...] 糸芭蕉。【同】「びきばしよー」。

びきばしよー [bikibaɕo:] [名] [植] [びきばしよーまい...] 糸芭蕉。【同】「びきばしや」。

びきばな [bikibana] [名] [びきばなまい...] 雄花。雄しべのある花。カボチャ・キュウリなどに見られる。パパイヤ・蘇鉄は株が雌雄別である。

ピギぱなす [pɪkpanasɪ] [動I類a型] [ピギぱなしー、ピギぱなしゃん] 引き離す。強引に離す。男女の仲を引き離す。【例】ふたーりる ピギぱなす (二人の仲を引き離す)。

ピギぱり [pɪkpa] [名] [ピギぱりまい...] 臄。鞆帯。【類】「ぱいつー」。

ピギぱり [pɪkpa] [動I類a型] [ピギぱりー、ピギぱらん] 引っ張る。縄を引っ張る。綱を引っ張る。【例】ちゅーく んなーう ピギぱり (強く縄を引っ張れ)。

びきぴんだ [bikipinda] [名] [びきぴんだまい...] 雄の山羊。

ピギまーす [pɪkmasɪ] [動I類a型] [ピギまーしー、ピギまーしゃん] 野原に家畜を移動させて飼育する。

ピギまーらす [pɪkma:rasɪ] [動I類a型] [ピギまーらしー、ピギまーらしゃん] 曳き回す。家畜を手綱をつけて移動して飼うこと。

ピギまーり [pɪkma:ɪ] [名] [ピギまーりうまい...] 豆腐作りのとき、大豆を挽くのに家を順に移り回ること。

ひきみ [hikimi] [名] [ひきみまい...] ひけめ。気

おくれ。弱み。【例】ひきみすな (ひけめをとるな)。

ピギみー [pɪkmi:] [名] [ピギみーまい...] 流し目。横目。白い目。【例】かりが ピギみー (彼の流し目)。

ピギムー [pɪgimm] [名] [ピギムーまい...] 髭芋。繊維の多い芋。熟しすぎて繊維質になった芋。

びギムー [pɪgimm] [名] [びギム<sup>1</sup>ーまい...] 削った芋。芋を削ったもの。

ピギむしや [pɪgimuɕa] [名] [ピギむ<sup>1</sup>しやまい...] ひげの多いこと。毛むくじやら。

ピギむたぎり [pɪkmutagi] [動II類c型] [ピギむたぎー、ピギむたぎん] 引き起こす。抱き起こす。寝ている子を抱き起こす。【例】ピギムたぎる (引き起こせ)。

ピギムだり [pɪkɪmda] [動I類c型] [ピギムだりー、ピギムだらん] 引きちぎる。たたき破る。たたき壊す。ぶち壊す。【例】ぱくー ピギムだり (箱を叩き壊す)。

ピギむっさぎり [pɪkɪmussagi] [動II類a型] [ピギむっさぎー、ピギむっさぎん] 引きむしる。引き切る。

ピギむっすー [pɪkɪmussɪ:] [動I類c型] [ピギむっすいー、ピギむっさん] 引きちぎる。引きむしる。【例】やしやいゆ ピギむっすー (野菜を引きちぎる)。

ピギむどうり [pɪkɪmudu] [動I類c型] [ピギむどうりー、ピギむどうらん] 引き返す。【例】あみ ありー ピギむどうり (雨のために引き返す)。

びきむぬ [bikimunu] [名] [びきむぬまい...] 雄。動物の雄のこと。人には言わない。

ピギムばす [pɪkɪmbasɪ] [動I類c型] [ピギムばしー、ピギムばしゃん] 引き伸ばす。引き延ばす。ゴムを引き伸ばす。巻いてある綱を引き延ばす。

びきムまが [bikimmaga] [名] [びきムまがまい...] びきムま<sup>1</sup>がまい... 男の孫。

ピギやどう [pɪkɪjadu] [名] [ピギや<sup>1</sup>どうまい...] 引き戸。

びきやとうーふしや [bikijatu:fuɕa] [名] [植] く

まつづら。村史より。

びきやどうむり [bikijadumu] [名] [貝] [びきや  
どうむりまい...] くもがい。村史より。

ピギヤぶり [pɪkɪjabu] [動 I 類 c 型] [ピギヤぶ  
りー、ピギヤぶらん] 引き裂く。引き破る。タ  
オルを引き裂いて傷の手当をする。

びきやまがー [bikijamaga:] [名] [井戸] [びきや  
まがーまい...] 井戸の名。人工井戸。

びきやらび [bikijarabi] [名] [びきやらびまい...]  
男の子。男児。

ピギゆしり [pɪkɪjuɕi] [動 II 類] [ピギゆしー、ピ  
ギゆしん] [ピギゆしりまい...] 引き寄せる。船  
を引き寄せる。

びきゆすギ [bikijusɪkɪ] [名] [植] [びきゆすギ  
まい...] すすき的一种。葉が細くて、棘がある。  
縄を編む材料として使われる。

びきら [bikira] [名] [びき<sup>1</sup>らまい...] 男の独り  
者。独身者。

びきり [biki] [名] [びきりまい...] 男性のこと。  
男の兄弟。息子。

ピギんギ [pɪkɪŋɡɪ] [動 I 類 c 型] [ピギんぎー、ピ  
ギんがん] 引き抜く。大根や人参を引き抜く。  
杭を引き抜く。

ピギんだす [pɪkɪndasɪ] [動 I 類 c 型] [ピギんだ  
しー、ピギんだしゅん] 引き出す。無理やりに  
引き出す。

ピギんなす [pɪkɪnnasɪ] [動 I 類 c 型] [ピギんな  
しー、ピギんなしゅん] 引きのける。

びぐ [bigu] [名] [植] [び<sup>1</sup>ぐまい...] いぐさ。筵・  
莫蔴の材料。

びぐ [bigu] [名] [昆虫] [び<sup>1</sup>ぐまい...] 蟬の幼  
虫。くませみの幼虫。

ピクー [pɪku:] [擬] [ピクーていーまい...] 滑ら  
かである様。【例】ピクーていー なし(滑らか  
になしなさい)。

びぐーしゃーり [bigu:ɕa:] [形] [びぐー<sup>1</sup>しゃま  
い...] くすぐったい。【例】びぐーしゃん なら  
ん(くすぐったくてたまらない)。

びぐーびぐ [bigu:bigu] [重複] むずむずする。く  
すぐったいこと。

ピグす [pɪɡusɪ] [名] [ピグ<sup>1</sup>すまい...] 火串。薪

の燃え具合を調節する棒。

ひくたりり [hikutari] [動 II 類 a 型] [ひくたり  
ー、ひくたりん] へこたれる。気力をなくす。  
くじける。へたばる。【例】あっちゃんや ひく  
たりり(暑さにへこたれる)。

びぐっずー [biguddzɪ:] [動 I 類 a 型] [びぐっじ  
ー、びぐっじゅん] くすぐる。【例】びぐっじ  
ー ばらーし(くすぐって笑わしなさい)。

びぐまーらす [biguma:rasɪ] [動 I 類 c 型] [びぐ  
まーらしー、びぐまーらしゅん] あざむく。馬  
鹿にする。【例】だましー びぐまーらす(騙し  
て馬鹿にする)。【類】「びーるくまーす」。

びぐまーり [biguma:] [動 I 類 c 型] [びぐまー  
りー、びぐまーらん] 落ち着かないでそわそわ  
する。

びくまーり [pikuma:] [動 I 類 c 型] [びくまー  
りー、びくまーらん] めまいする。酒の飲みす  
ぎ。

ピくみかす [pɪkumikasɪ] [動 I 類 c 型] [ピくみか  
しー、ピくみかしゅん] 滑らかにさせる。【例】  
かーぐつう しゅしゅりー びくみかす(革靴  
を磨いて滑らかにする)。

ピくみギ [pɪkumikɪ] [動 I 類 c 型] [ピくみきー、  
ピくみかん] 金持ちになる。【類】「ふくみギ」。

ピくみり [pɪkumi] [動 II 類 c 型] [ピくみー、ピ  
くみん] 滑らかにする。【例】ピくみー みーだ  
(滑らかにしてごらん)。

びぐむっすう [bigumussu] [名] [び<sup>1</sup>ぐむっすう  
まい...] いぐさむしろ。ござ。

ピぐらす [pɪɡurasɪ] [動 I 類 c 型] [ピぐらしー、  
ピぐらしゅん] 冷やす。【例】うーヴヴうりる  
ピぐらす(まくわうりを冷やす)。

びぐり [bigu] [動 I 類 c 型] [びぐりー、びぐら  
ん] えぐる。くりぬく。刃物でえぐり取る。

ピグり [pɪɡu] [名] [ピグりま<sup>1</sup>い...] 冷えること。  
冷めること。

ピグりあし [pɪɡu:ɕi] [名] [ピグりあ<sup>1</sup>しまい...]  
冷や汗。【例】ばギだから ピグりあしぬ いで  
いり(脇から冷や汗が出る)。

ピグりかでい [pɪɡu:kadi] [名] [ピグりか<sup>1</sup>でいま  
い...]。ピグりか<sup>1</sup>でいまい... 冷たい風。寒気。

寒風。冬の北風。  
 ピグリかでいまーリ [pɪgu[kadima:] ] [名] [ピグ  
 リかでいまーリまい...] 寒気の急変。風向きが  
 急に変わる。寒冷前線の発生。  
 ピグリちゃー [pɪgu[tɕa:] ] [名] [ピグリちゃーま  
 い...。ピグリちゃーまい...] 冷たいお茶。  
 ピグリみず [pɪgu[midzɪ] ] [名] [ピグリみずまい...]  
 冷たい水。冷水。氷水とも言う。  
 ピグリむぬ [pɪgu[munu] ] [名] [ピグリむぬまい...]  
 冷たいもの。冷やした食品。  
 ピグリゆー [pɪgu[ju:] ] [名] [ピグリゆーまい...]  
 冷めた湯。冷めている湯。ぬるい湯。  
 ピグリらーリ [pɪgu[ra:] ] [形] [ピグリらまい...]  
 冷たい。【例】ピグリむぬ (冷たい食べ物)。ピ  
 グリかでい (冷たい風)。  
 ピグリリ [pɪguri] ] [動 II 類 c 型] [ピグリー、ピ  
 グりん] 冷える。【例】ゆねーんや ピグリリ  
 (夜は冷える)。  
 ひぐる [higuru] ] [名] [ひぐるまい...] 日頃。平  
 生。普段。【例】ひぐるから きたいる (日頃か  
 ら鍛えよ)。  
 ピぐるー [pɪguru:] ] [名] [ピぐるまい...] 冷たい  
 人。薄情な人。思いやりのない人。情けのない  
 人。  
 ビケー [bɪke:] ] [助] ~程。【例】ぬーまビケー て  
 ーぬ あリ (馬程に力がある)。うやビケー あ  
 ばらぎしゃ ねーん (親ほどきれいではない)。  
 ビケーらす [pɪke:rasɪ] ] [動 I 類 a 型] [ビケーら  
 ーしー、ビケーらしゃん] 引き合わせる。反対方  
 向からのものを引き合わせる。男女の仲を引き  
 合わせる。  
 ビケーリ [pɪke:li] ] [動 II 類 a 型] [ビケーリー、  
 ビケーりん] 反対方向からのものがつながる。  
 【例】いらうとう めーくぬ ビケーリ (伊良部  
 島と宮古島が繋がる)。【同】「ビケーリリ」。  
 ビげーリ [pɪge:] ] [動 I 類 c 型] [ビげーリー、ビ  
 げーらん] 潮が引きはじめる。潮が引いていく。  
 【例】しゅーや ビげーリった (潮は引きはじめ  
 た)。  
 びげーリ [pɪge:] ] [動 I 類 c 型] [びげーリー、び  
 げーらん] 悪い考えをする。悪だくみをする。

悪がしこく振舞う。ずるがしこいことをする。  
 びげーリむぬ [pɪge:[munu] ] [名] [びげーリむぬ  
 まい...] 悪がしこい者。悪だくみする者。うそ  
 つき。信用できない者。  
 ピけーリリ [pɪke:ri] ] [動 II 類 a 型] [ピけーり  
 ー、ピけーりん] 反対方向からのものがつな  
 がる。トンネルが両方からつながる。【同】「ピ  
 けーリ」。  
 ピさ [pɪsa] ] [名] [ピさまい...] 足。足首以下。【例】  
 ピさう きリ (足を痛める)。  
 ピさーす [pɪsa:sɪ] ] [動 I 類 a 型] [ピさーしー、ピ  
 さーしゃん] 拾わす。【例】たむぬー ピさーす  
 (薪を拾わす)。ぐみう ピさーす (ゴミを拾わ  
 す)。  
 ピさうっすう [pɪsau:ssu] ] [名] [ピさうっすうま  
 い...] 後頭部の平たいこと。また、その人。  
 ピさかうしゃーリ [pɪsakau:ɕa:] ] [形] [ピさかう  
 しゃまい...] 足の裏が痒い。【同】「ピさこーし  
 ゃーリ」。  
 ピさかす [pɪsakasɪ] ] [動 I 類 c 型] [ピさかしー、  
 ピさかしゃん] 平たくする。低くする。低める。  
 ピさかた [pɪsakata] ] [名] [ピさかたまい...] 足  
 跡。  
 ピさきリ [pɪsaki] ] [名] [ピさきりまい...] 足蹴  
 り。石ころ道で小石につまずくこと。  
 ピさきリ [pɪsaki] ] [動 II 類 c 型] [ピさきー、ピ  
 さきん] 平たくする。平坦にする。【類】「ピ  
 さしゃなす」。  
 ピさこーしゃーリ [pɪsako:ɕa:] ] [形] [ピさこー  
 しゃまい...] 足の裏が痒い。【同】「ピさかうし  
 ゃーリ」。  
 ビさし [bɪsaɕi] ] [名] [ビさしまい...] 家の柱を支  
 える石。礎石。土台となる石。  
 ピさしゃ なす [pɪsaɕa nasɪ] ] [連語] 平たくする。  
 平坦にする。【類】「ピさきリ」。  
 ピさしゃーリ [pɪsaɕa:] ] [形] [ピさしゃまい...]  
 平たい。低い。  
 ピさじゅー [pɪsadzu:] ] [名] [植] [ピさじゅーま  
 い...] ちしゃ。レタス。  
 ピさぬ ばた [pɪsanu bata] ] [名] [ピさぬばた  
 まい...] 足の裏。

ピさばな [pɪsabana] [名] [ピさばなまい...] 低い鼻。

ピさばんびム [pɪsapanbim] [名] [ピさばんび<sup>1</sup>ムまい...] 平焼きてんぷら。

ピさふギ [pɪsafugɪ] [名] [ピさふギまい...] 足首。

ピさふしゆ [pɪsafuɕu] [名] [ピさふ<sup>1</sup>しゆまい...] 足の汚れ。足の裏の汚れ。

ピさふつ [pɪsafutsɪ] [名] [ピさふ<sup>1</sup>つまい...] 平口。平たい口。またその人。

ピさます [pɪsamasɪ] [動I類c型] [ピさましー、ピさましゃん] 平たくする。低くする。低める。【例】たたきー ピさます (叩いて低くする)。

ピさまずギ [pɪsamadzɪkɪ] [名] [ピさまずギうまい...] ひざまずき。正座。【類】「ピさまずギびー」。

ピさまずギ [pɪsamadzɪkɪ] [動I類] [ピさまずきー、ピさまずかん] [ピさまずギまい...] ひざまずく。正座する。【例】ピさまずギとうい しゃムしんゆ ピギ (ひざまずいて三線を弾く)。

ピさまずギびー [pɪsamadzɪkɪbi:] [名] [ピさまずギびーうまい...] ひざまずき。正座。【類】「ピさまずギ」。

ピさみが [pɪsamiga] [名] [昆虫] [ピ<sup>1</sup>さみが<sup>1</sup>まい...] にーにーぜみ。あぶらぜみ。

ピさみザ [pɪsami] [動II類c型] [ピさみー、ピさみん] 平たくする。低くする。低める。

ピさム [pɪsam] [動I類c型] [ピさみー、ピさまん] 平たくなる。低くなる。【例】ピさみった (低くなった)。【類】「ピだム」。

ピさむギ [pɪsamugɪ] [名] [ピさむギまい...] 平麦。押し麦。精げた麦を平たくして商品にしたもの。

ピさムビー [pɪsambɪ:] [名] [ピさムビー<sup>1</sup>まい...] 足のしびれ。

ピさやー [pɪsaja:] [名] [ピさやーまい...] 平屋。

ピさら [pɪsara] [名] [ピさらんまい...] 平良。宮古島市の中心地。

ぴし [pɪci] [名] [貝] [び<sup>1</sup>しまい...] くらちょうがい。

ぴし [pɪci] [名] [び<sup>1</sup>しまい...] 干瀬。【類】「ぐー」。

ぴしあか [pɪciaka] [名] [ぴしあ<sup>1</sup>かまい...] 薄毛。

ぴしあまム [pɪciamam] [名] [ぴしあま<sup>1</sup>ムまい...] 干瀬やどかり。

ぴしいた [pɪciita] [名] [ぴしい<sup>1</sup>たまい...] 薄板。

ぴしーぴし [pɪci:pɪci] [重複] とても薄いこと。【例】ぴしーぴしぬ あか (薄い髪)。

ぴしうい [pɪciui] [名] [ぴしう<sup>1</sup>いまい...] 間を広く植えること。作物の間隔の広いこと。

ぴしぎん [pɪciɣɪn] [名] [ぴしぎ<sup>1</sup>んまい...] 薄い着物。夏の衣服。

ぴしくム [bɪciikum] [名] [貝] [びしく<sup>1</sup>ムまい...] りゆきゆうひばり貝。

ぴししゃーザ [pɪciɕa:] [形] [びし<sup>1</sup>しゃまい...] 薄い。密でない。濃厚でない。【例】ぴしぬぬ (薄い布)。ぴしまギ (まばらに播くこと)。

ぴしちゃー [pɪciɕa:] [名] [ぴしちゃ<sup>1</sup>ーまい...] 薄いお茶。

ぴしなム [pɪcinam] [名] [ぴしな<sup>1</sup>ムまい...] 干瀬にくだける波。

ぴしばりがー [bɪciɒalga:] [名] [井戸] [びしばりがーまい...] 井戸の名。人工井戸。

ぴしムな [pɪcimna] [名] [貝] [ぴしム<sup>1</sup>なまい...] さざえ。ちょうせんさざえ。【類】「ムな」。

ぴしむぬ [pɪcimunu] [名] [びしむ<sup>1</sup>ぬまい...] 薄いもの。【例】ぴしむぬどうます (薄い方がよい)。

ピじゃう [pɪdʒau] [名] [ピじゃ<sup>1</sup>うまい...] 火竿。シートヤーの窯 (かま) に使う長い棒のこと。【同】「ピじょー」。

ピじゃら [pɪdʒara] [名] [ピじゃらまい...] 太陽にさらされること。

ぴしゆ [pɪɕu] [名] [び<sup>1</sup>しゆまい...] つむじ。【例】ふたぴしゆ (二つのつむじ)。

ぴしゆ [pɪɕu] [名] [び<sup>1</sup>しゆまい...] 渦。どくろ。【例】ぴしゆまギ (渦巻く)。

ピじゅー [pɪdʒu:] [名] [ピじゅ<sup>1</sup>ーまい...] 一日。一日の間。

ピじゅー [pɪdʒu:] [名] [ピじゅ<sup>1</sup>ーまい...] 煙突。

ピじゅーが まーす [pɪdʒu:ga ma:sɪ] [名] [ピじゅ<sup>1</sup>ーが まーす<sup>1</sup>まい...] 一日中。

ぴしゅーがま [pɪciju:gama] [名] [びしゅ<sup>1</sup>ーが<sup>1</sup>ま

- まい...) 薄いお粥。
- ピじゅーしゃーり [pjɔ̃zɯ:ɕa:] [形] 火持ちが強い。炭火が長持ちする。
- びしゅくム [biɕukum] [名] [具] [びしゅく<sup>1</sup>ムまい...] ほすすじひばりがい。
- びしゅまギ [piɕumakɯ] [名] [びしゅまギ<sup>1</sup>うまい...] 渦巻き。渦巻くこと。つむじ風。蛇のどくろ。
- ピじょー [pjɔ̃zɔ:] [名] [ピじょ<sup>1</sup>ーまい...] 火竿。シートヤーの窯(かま)に使う長い棒のこと。【同】「ピじょう」。
- びしり [biɕi:] [動 II 類 c 型] [びしー、びしん] 座らせる。据える。建築工事に土台を据える。
- びしんギ [piɕinkɯ] [動 I 類 c 型] [びしんきー、びしんかん] 押し込む。詰め込む。口の中にたくさん食べ物を押し込む。【類】「うすんギ」。
- ぴず [pidzɯ] [名] [ぴずま<sup>1</sup>い...] 肘。【例】ぴずずギ(肘で突く)。
- ビズあす [bɯzasɯ] [動 I 類 a 型] [ビズあしー、ビズあしゃん] 座らせる。【例】わーらん ビズあす(上の方に座らせる)。【類】「びーつす」。
- ピすいり [pisi:] [名] [ピすいりまい...] 昼飯。昼食。【類】「ピーまむぬ」。
- ピすうー [pɯsu:] [動 I 類 a 型] [ピせー、ピさーん] 拾う。【例】ぐみピすうー(ゴミ拾い)。ピせー(拾った)。じんゆ ピせー(お金を拾った)。
- ピすうーむぬ [pɯsu:munu] [名] [ピすうーむ<sup>1</sup>ぬまい...] 拾いもの。拾得物。【例】ピすうーむぬー とうどうきり(拾い物を届ける)。
- ピすうがらす [pɯsugarasɯ] [動 I 類 c 型] [ピすうがらしー、ピすうがらしゃん] 広げる。畑を広げる。
- ピすうがり [pɯsuga:] [動 I 類 a 型] [ピすうがりー、ピすうがらん] 広がる。【例】ばなすぬ ピすうがり(話が広がる)。すぐとうぬ ピすうがり(事業が広がる)。
- ピすうギ [pɯsugɯ] [名] [ピすう<sup>1</sup>ギまい...] 広場。
- ピすうギ [pɯsugɯ] [名] [ピすうギま<sup>1</sup>い...] 平坦地。広場。
- ピすうぎり [pɯsugiri] [動 II 類 c 型] [ピすうぎー、ピすうぎん] 広げる。畑を広げる。【例】しゃ
- なう ピすうぎり(傘を広げる)。
- ピすうしゃ [pɯsɯɕa] [名] [ピすう<sup>1</sup>しゃまい...] 広さ。大きさ。【例】やすぎぬ ピすうしゃ(屋敷の広いこと)。
- ピすうしゃーり [pɯsɯɕa:] [形] [ピすう<sup>1</sup>しゃまい...] 広いこと。大きいこと。【例】ぱるぬ ピすうしゃぬ(畑の広いことよ)。
- ピすうま [pɯsuma] [名] [鳥] [ピすう<sup>1</sup>ままい...] ひよどり。
- ピすうまらす [pɯsumarasɯ] [動 I 類 c 型] [ピすうまらしー、ピすうまらしゃん] 広める。情報を広める。
- ピすうまり [pɯsumari] [動 I 類 c 型] [ピすうまりー、ピすうまらん] 広まる。情報が広まる。【例】ばなすぬ ピすうまり(話が広まる)。【類】「ピすうがり」。
- ピすうみり [pɯsumiri] [動 II 類 c 型] [ピすうみー、ピすうみん] 広める。【例】すまふつう ピすうみり(鳥ことばを広める)。
- ピすうむぬ [pɯsumunu] [名] [ピすうむ<sup>1</sup>ぬまい...] 広いこと。
- ひずき [hidzɯki] [名] [ひずきまい...] 日付。年月日。【例】ひずきう かきー うき(日付を書いておきなさい)。
- ぴずギ [pidzɯkɯ] [名] [ぴず<sup>1</sup>ギまい...] 杼(ひ)。梭。機織の縦糸の間を往復する道具。【類】「うまふきかまふきめーらびがま」。
- ぴずぐす [pidzɯgusɯ] [名] [ぴずぐすまい...] 火鞭。火の燃える具合を調節する棒。引っ掻き棒。
- ぴずぐる [pidzɯguru] [名] [ぴずぐ<sup>1</sup>るまい...] 肘鉄砲。【例】ぴずぐるー ふあーす(肘鉄砲をくらわす)。
- ぴずずギ [pidzɯdzɯkɯ] [名] [ぴずずギまい...] 肘付き。肘鉄砲。
- ぴずぶ [pidzɯbu] [名] [ぴず<sup>1</sup>ぶまい...] 肘が曲がっていること。またその人。
- びずる [bidzɯru] [名] [びず<sup>1</sup>るまい...] つまづいて転ぼうとする様。膝から転ぶ様。
- ピだ [pɯda] [名] [ピだ<sup>1</sup>んまい...] 海浜。浜。浜辺。砂浜。渚。【類】「ばましゅふつ」。
- ピだ [pɯda] [名] [ピだまい...] 布や衣服のしわ。

【例】ピだゆりペーギん (しわよりやすい着物)。  
 ピたー [pɪta:] [擬] [ピたーていーまい...] 平たいこと。【例】ピたーていーぬ いム (静かな海)。  
 ピたーていーぬ すま (平たい島)。  
 ピたーか [pɪta:ka] [名] [ピたー<sup>1</sup>かまい...] ぼんやり。気のきかないこと。【例】ピたーかう しー たつな (ぼんやりして立つな)。  
 ピたーかむぬ [pɪta:kamunu] [名] [ピたーかむ<sup>1</sup>ぬまい...] ぼんやり者。鈍感なこと。【例】ヴえぬ、ピたーかむぬ (おい、ぼんやり者め)。  
 ビだービだ [bɪda:bɪda] [重複] 低いことを強調すること。  
 ビだうー [pɪdau:] [名] [ピだう<sup>1</sup>ーまい...] 浜辺を追う。満潮時に浜辺に網で漁をすること。  
 ビだうり [pɪdauri] [名] [ピだう<sup>1</sup>りまい...] 浜下り。旧暦3月3日の海で遊ぶ行事。【類】「しゃにつ」。  
 ピたきな [pɪtakina] [副] すぐさま。するや否や。同時に。【例】かりが ギとー ピたきな (彼が来るやいなや)。【類】「ふたきな」。  
 ビだしゃーり [bɪdaɕa:] [形] [ビだ<sup>1</sup>しゃまい...] 低い。【例】ビだピとう (身長の高い人)。ピだやー (低い家)。ビだすま (山のない島)。  
 びたしゃーり [pitaxa:] [形] [びた<sup>1</sup>しゃまい...] 下手。出来の悪いこと。【例】びたすぐとう (出来の悪い仕事)。  
 ピだす [pɪdas] [動I類c型] [ピだしー、ピだしゃん] 干らす。ごはんを炊きあげる。鍋の中の水分をなくする。潮が引いて魚が潮溜りに残されることにも言う。【例】まイう ピだす (ご飯を炊き上げる)。イズうぬ ピださいーり (魚が潮溜りに残されている)。  
 ぴだつ [pidats] [名] [ぴだつま<sup>1</sup>い...] 隔て。仕切りをすること。間を仕切ること。仕切り戸。  
 ぴだてい [pidati] [名] [ぴだ<sup>1</sup>ていまい...] 隔てること。仕切ること。区別する。分け隔てる。  
 ぴだていり [pidati] [動II類c型] [ぴだていー、ぴだていん] 隔てる。仕切る。区別する。差別する。遠ざける。【例】みつう ぴだていり (道を隔てる)。【類】「ピだみり」。  
 ピたなぎ [bɪtanagi] [名] [ピたな<sup>1</sup>ぎまい...] よ

い風。【類】「じゃうどうり」「じょーどうり」。  
 びたなぎ [bitanagi] [名] [びたな<sup>1</sup>ぎまい...] べた風。風の止むこと。波の静かなこと。【例】きゅーぬ いムや びたなぎ (今日の海はべた風だ)。  
 ピだに [pɪdani] [名] [ピだにまい...] 火種。燠 (おき)。炭火。【類】「うギー」。  
 ビだピとう [bɪdapɪtu] [名] [ビだピ<sup>1</sup>とうまい...] 身長の高い人。  
 びたふしゅ [pitafuɕu] [名] [びたふ<sup>1</sup>しゅまい...] へたくそ。つたないこと。【例】ばなすぬ びたふしゅ (話がへたくそだ)。  
 ピだふつ [pɪdafuts] [名] [ピだふ<sup>1</sup>つまい...] 渚。浜辺。陸と海との境界。  
 ピだま [pɪdama] [名] [ピだままい...] 火の玉。【類】「ういか」。  
 ビだます [bɪdamas] [動I類a型] [ビだましー、ビだましゃん] 低くさせる。高さを調整して低くする。【例】ういゆ ギすいー ビだまし (上の方を切って低くしなさい)。  
 ビだみり [bɪdami] [動II類a型] [ビだみー、ビだみん] 低くする。高さを低くする。【例】たたきー ビだみる (たたいて低くしなさい)。  
 ピだみり [pɪdami] [動II類c型] [ビだみー、ピだみん] 隔てる。差別する。区別する。遠ざける。【類】「びだていり」。  
 ビだム [bɪdam] [動I類a型] [ビだみー、ビだまん] 低くなる。【例】ういピとー ビだムどうす (老人は低くなる)。  
 ピだむぬ [bɪdamunu] [名] [ピだむぬまい...] 身長の高いこと。また、その人。低い物。  
 びたむぬ [pitamunu] [名] [びたむぬまい...] 下手な人。不器用な人。言葉の下手な人。  
 ピだゆり [pɪdaju] [動I類c型] [ピだゆりー、ピだゆらん] しわよる。しわになる。しわくしゃになる。  
 びだり [bida] [動I類a型] [びだりー、びだらん] いざる。膝を曲げたり尻を地につけて仕事をすること。  
 ピだり [pɪda] [名] [ピだりまい...] 左。左側。左利き。その人。

ピダリていー [pɪdaɫti:] [名] [ピダリてい<sup>1</sup>ーまい...] 左手。左腕。  
 ピダリばギ [pɪdaɫpagi] [名] [ピダリばギまい...]  
 ピダリば<sup>1</sup>ギまい...] 左足。左脚。  
 ピダリまー<sup>1</sup> [pɪdaɫma:] [名] [ピダリまー<sup>1</sup>りまい...] 左回り。左向き。  
 ピダリまギ [pɪdaɫmakɪ] [名] [ピダリま<sup>1</sup>ギまい...] 左巻き。頭の働きの鈍い人に言う。  
 ピダリむぬ [pɪdaɫmunu] [名] [ピダリむ<sup>1</sup>ぬまい...] 左利きの人。  
 びだり<sup>1</sup> [bidari] [動 II 類 a 型] [びだりー、びだりん] 尻について転ぶ。建造物が台風倒れることも言う。  
 びだりわじゃ [bidaɫvadza] [名] [びだりわ<sup>1</sup>じゃまい...] 座ってする仕事。  
 びだりんな [pɪdaɫnna] [名] [ピダリん<sup>1</sup>なまい...] 左縄。「すまふしやら」の縄。悪除けの縄。  
 びだれ [pɪdare] [名] [ピだ<sup>1</sup>れまい...] 左利きの人。  
 びつ [bitsɪ] [名] [び<sup>1</sup>つまい...] 植物の梢の若い部分。あだんの芯。さとうきびの芯。  
 びつ [bitsɪ] [名] [びつ<sup>1</sup>ぬむぬ<sup>1</sup>まい...] 別。別の物。別事情。特別。別人。別居。【例】びつぬむぬ (別のもの)。  
 びつ [pitsɪ] [名] [び<sup>1</sup>つまい...] ひつ。ふたのついた大きな箱。着物入れ。  
 びつ [pitsɪ] [名] [干支] [び<sup>1</sup>つまい...] 未。十二支の八番目。未年。びつどうい。羊。  
 ピっかいらす [pɪkkairasɪ] [動 I 類 c 型] [ピっかいらしー、ピっかいらしゃん] ひっくり返す。  
 ひっかかり [hikkakaɪ] [動 I 類 c 型] [ひっかかりー、ひっかからん] 引っかかること。木の枝に引っかかる。だまされる。【例】かびとうりぬきーん ひっかかり (風が木に引っかかる)。  
 ひっかき<sup>1</sup> [hikkaki] [動 II 類 c 型] [ひっかきー、ひっかきん] 引っかける。魚を釣る。女を引っかける。誘惑する。【例】みどうムゆ ひっかき<sup>1</sup> (女をだます)。  
 ひっからぎ<sup>1</sup> [hikkaragi] [動 II 類 c 型] [ひっからぎー、ひっからぎん] 着物の裾を腰までからげること。【例】みずたま<sup>1</sup>りんや ひっからぎ

り (水溜りには裾をひっからげる)。  
 びつかんがい [bitsɪkangai] [名] [びつかんが<sup>1</sup>まい...] 別考え。別に思うこと。別の事実。  
 ピっギー [pɪkkɪ:] [動 I 類 c 型] [ピっギーすいー、ピっギさん] 引きちぎる。引き破る。引きむしる。【例】いとうー ピっギー (糸を引きむしる)。  
 ピっくーす [pɪkkusɪ] [動 I 類 a 型] [ピっくーしー、ピっくーしゃん] 引き抜く。引き起こす。根こそぎ引き抜く。  
 ひっくす [hikkusɪ] [動 I 類 a 型] [ひっくしー、ひっくしゃん] 引っ越す。移住する。移転。転居。【例】やーう ひっくす (住居を引っ越す)。  
 ひっくみ<sup>1</sup> [hikkumi] [動 II 類 a 型] [ひっくみー、ひっくみん] 引っ込める。手を引っ込める。考えを引っ込める。【例】ばなすう ひっくみ<sup>1</sup> (話を止める)。  
 ひっくム [hikkum] [動 I 類 c 型] [ひっくみー、ひっくまん] 引っ込むこと。かかれること。人に見られないこと。  
 ピっけーす [pɪkke:sɪ] [動 I 類 a 型] [ピっけーしー、ピっけーしゃん] つなぎ合わせる。くっつける。  
 ピっけーらす [pɪkke:rasɪ] [動 I 類 a 型] [ピっけーらしー、ピっけーらしゃん] 引っ付ける。くっ付ける。繫げる。紐を合わせる。二つ以上のものをまとめる。  
 ピっけー<sup>1</sup> [pɪkke:] [動 I 類 a 型] [ピっけーりー、ピっけーらん] つなぎ合う。くつつく。つながる。  
 びっしゃ [piçça] [名] [びっ<sup>1</sup>しゃまい...] 筆者。琉球王朝の書記官。訴杣山筆者 (材木係)・耕作筆者 (農事係)・耕作仮筆者 (農事係) の三種。  
 びつずま [bitsɪdzɪma] [名] [びつず<sup>1</sup>まい...] 別の島。他の島。他所の村。他所の里。他所の集落。  
 びった [bɪtta] [擬] [びったていーまい...] 軽く抜ける様。大根が軽く引き抜ける様。【例】びったていー んぎー (軽く抜けた)。  
 びったーまったー [pitta:matta:] [副] 云々。言葉

を中断して後を省略する。【例】「いムーけー  
いかまんぎ なりー」「びったーまったー」（海  
に行かないと...）。

びったびった [bɪttabɪtta] [擬] [びったびったて  
いーまい...] 軽く抜けること。

びったみかす [bɪttamikasɯ] [動I類c型] [びっ  
たみかしー、びったみかしゃん] 軽く抜く。

びったみギ [bɪttamikɨ] [動I類c型] [びったみ  
きー、びったみかん] 軽く抜ける。

びっちー [pittɕi:] [名] [びっちーまい...] 一日  
中。終日。

びっちーが ていまー [pittɕi:ga tima:] [名] [びっ  
ちー<sup>1</sup>がていまー「まい...」 一日分の手間賃。日  
当。【同】「ピとういがていまー」。

びっちーが まーす [pittɕi:ga ma:sɯ] [名] [びっ  
ちー<sup>1</sup>がまーす「まい...」 一日中。終日。朝から  
夕方まで。

びっちゃ [pittɕa] [副] 少し。少しのもの。量の  
少ないこと。【同】「いびーちゃ」。「いびっ  
ちゃ」。「びーちゃ」。

びっちゃきり [pittɕaki] [動II類c型] [びっ  
ちゃきー、びっちゃきん] 破る。紙、衣服を破る。  
衣服が壁の釘に当って破れる。【例】かどう び  
っちゃぎり（紙を破る）。

ひっちゃら [hittɕara] [名] [ひっちゃらまい...]  
へっちゃら。平気であること。

ピっつ [pɪttsɯ] [名] [ピっ<sup>1</sup>つまい...] 一つ。一個。  
一歳。

ピっつげーり [pɪttsɯge:] [名] [ピっつげー<sup>1</sup>り  
まい...] 一歳ちがい。一歳ちがいの兄弟。【例】ピ  
っつげーりる しー ムまりり（一つちがいで  
生まれる）。

ピっていー [bɪtɕti:] [擬] [ピっていーていー  
まい...] 急におどろくときのこと。思わずおどろ  
くこと。【例】ぱうゆ みー ピっていー うど  
うるきー（蛇を見て思わず驚いた）。

びっとう [pittu] [名] [びっ<sup>1</sup>とうまい...] 釣の不  
漁のことを言う。何も収穫もないこと。【類】「い  
しゅばぎ」。「ばぎ」。

びっどうい [pitsɯdui] [名] [干支] [びっ<sup>1</sup>どうい  
まい...] 未年。未年生まれ。

びっとうびっとう [pittupittu] [擬] [びっとうび  
っとうていーまい...] とともすべり易いこと。  
すべり台。

びっとうみかす [pittumikasɯ] [動I類c型] [び  
っとうみかしー、びっとうみかしゃん] 滑らせ  
る。

びっとうみギ [pittumikɨ] [動I類c型] [びっ  
とうみきー、びっとうみかん] 滑りやすい。

びつなび [bitsɯnabi] [名] [びつな<sup>1</sup>びまい...] 別  
鍋。同じ家族が別々に料理すること。病人のた  
めに特別に料理をすること。病人のいる家のこ  
と。

びつぬイ [pitsɯnuɨ] [名] [干支] [びつぬイまい...]  
未の日。

びつぬイぬ ピー [pitsɯnuɨnu pi:] [名] [干支] [び  
つぬイぬピーまい...] 未の日。

びつぬイムまり [pitsɯnuɨmmari] [名] [干支] [び  
つぬイムま<sup>1</sup>りまい...] 未の日生まれ。未の日に  
生まれた人。

びつぬてい [pitsɯnuti] [名] [びつぬ<sup>1</sup>ていまい...]  
未年。ひつじ年。ひつじ年生れ。

びっびー [bibbi:] [擬] さしばの鳴き声。【類】「び  
っびーだか」。

びっびーだか [bibbi:daka] [名] [び<sup>1</sup>っびー<sup>1</sup>だか  
まい...] 落ち鷹。はぐれ鷹。はぐれさしば。

びつびつ [bitsɯbitsɯ] [副] 別々。それぞれ。各々。  
各人。めいめい。

びっびん [bippin] [名] [びっ<sup>1</sup>びんまい...] 別嬪。  
美人。別品。

びつむんだい [bitsɯmundai] [名] [びつむんだ<sup>1</sup>  
いまい...] 別問題。直接には関係のない別の事  
柄。

びつんてい [pitsɯnti] [名] [干支] [びつんてい  
まい...] 未年。未年生まれ。

ピでいイズう [pɪdiɯzu] [名] [ピでいイ<sup>1</sup>ズう  
まい...] 引き潮に沖に行かなかった魚。潮が引い  
て残された魚。

ピていつ [pɪtitsɯ] [名] [ピてい<sup>1</sup>つまい...] 一つ。  
一個。一冊。一本。一つ心。

ピていつ なり [pɪtitsɯ na] [連語] 一つになる。  
一緒になる。夫婦になる。結婚する。考えが一

つになる。【類】「ま一つきなり」。

ピていつが ゆイ [pɪtitsɯga juɪ] [名] [ピていつ<sup>1</sup>がゆイ「まい...」一つちがいのこと。一年差の子。年子。一つちがいで生まれること。【類】「ピていつみー」。

ピていつぐい [pɪtitsɯgui] [名] [ピていつぐ<sup>1</sup>いまい...] 一つ越え。一つ越し。一つ越しに生まれた子。

ピていつちゆ [pɪtittɕu] [名] [ピていつ<sup>1</sup>ちゆまい...] 同じ年輩。同窓。同級生。生まれが同じ年のこと。【類】「あぐ」。

ピていつみー [pɪtitsɯmi:] [名] [ピていつみ<sup>1</sup>ーまい...] 一つちがいの。一年目に生まれた子。年子。【類】「ピていつがゆイ」。

ピていでい [pɪtidi] [名] [ピてい<sup>1</sup>でいまい...] 同年。同年生れ。同級生。【類】「あぐ」。

ピでいまー [pɪdima:] [名] [ピでいまーまい...] 日手間。日当。日雇いの賃金。

ピでいり [pɪdi] [名] [ピでい<sup>1</sup>りまい...] 火起こし器。火を起こす道具。

ピでいり [pɪdi] [名] [ピでい<sup>1</sup>りまい...] 傷跡。皮ふの傷跡。

ピでいり [pɪdi] [動II類c型] [ピでいー、ピでいん] 干く。潮が干く。干あがる。【例】しゅーや ピでいった (潮は干いた)。

ピでいり [pɪdi] [動II類c型] [ピでいー、ピでいん] 水分がなくなる。鍋の汁がなくなる。【例】なびぬ すろー ピでいった (鍋の汁はなくなった)。

ピでいり [pɪdi] [動II類c型] [ピでいー、ピでいん] (潮が引いて魚が潮溜に) 残される。

びどう [bidu] [名] [び<sup>1</sup>どうまい...] えさ。魚釣りのえさ。人をだまして誘い込むことにも言う。

ピとう [pɪtu] [名] 一つ。【例】ピとうけーり (一回)。ピとうん (一度)。ピとうていー (一つの手)。ピとうゆー (一夜)。ピとうしゅ (一度目の漁)。

ピとう [pɪtu] [名] [ピとうまい...] 人。人間。者。他人。自分以外の者。【例】たまらピとう (多良間の人)。ピとうぬ すま (他人の里)。かぬピとう (あの人)。

ピとうあたり [pɪtuata] [名] [ピとうあたりまい...。ピとうあた<sup>1</sup>りまい...] 人当り。人つきあい。

ピとうあんすん [pɪtuansɯn] [名] [ピとうあんす<sup>1</sup>んまい...] 一安心。

ピどうい [bɪdui] [名] [干支] [ピどう<sup>1</sup>いまい...] 亥年。いのしし年。十二支の十二番目。猪。

ピとうい [pɪtui] [名] [ピとう<sup>1</sup>いまい...] 一重。【例】ピとういみーぬ かー (一重まぶた)。

ピとうい [pɪtui] [名] [ピとう<sup>1</sup>いまい...] 一日。ひとひ。【例】あかピとうい (たった一日)。【同】「ピじゅー」。「びっちー」。

ピとういが ていまー [pɪtuiga tima:] [名] [ピとうい<sup>1</sup>がていまー「まい...」一日分の手間賃。日当。【同】「びっちーがていまー」。

ピとういが まーす [pɪtuiga ma:sɯ] [副] 一日中。終日。朝から夕方まで。【例】ピとういがまーす ににー ぶり (一日中寝ている)。【同】「ピじゅーがまーす」。「びっちーがまーす」。

ピとういぎ [pɪtuikɯ] [名] [ピとうい<sup>1</sup>ぎまい...] 一息。深呼吸すること。【例】ピとういぎしーとうり (一回の潜りで取って来い)。

ピとういぎん [pɪtuign] [名] [ピとういぎ<sup>1</sup>んまい...] 一重の着物。

ピとういずム [pɪtuidzɯm] [名] [ピとういず<sup>1</sup>ムまい...] 一重積み。石垣の積み方。

ピとういちばい [pɪtuicɪbai] [名] [ピとういちば<sup>1</sup>いまい...] 人一倍。【例】ピとういちばい ぱたらぎむぬ (人一倍働きの者)。

ピとういふつか [pɪtuifutsɯka] [名] [ピとういふ<sup>1</sup>つかまい...] 一日二日。【例】ピとういふつか とうまり (一日二日泊りなさい)。

ピとういみーぬ かー [pɪtuimi:nu ka:] [名] [ピとういみーぬか<sup>1</sup>ーまい...] 一重まぶた。

ピとううー [pɪtuu:] [名] [ピとうう<sup>1</sup>ーまい...] 一隻。船の数単位。【例】めーくんけー ピとううー かゆー (宮古へは一隻通っている)。

ピとううヴヴい [pɪtuuvvi] [名] [ピとううヴ<sup>1</sup>ヴいまい...] 人怯え。人をおそれる。【同】「ピとういヴヴい」。

ピとううーき [pɪtuu:ki] [名] [ピとううー<sup>1</sup>きま

い...] 一桶。シートーヤーのきび汁を溜める桶の一つ分。【例】ピとううーきぬーまうぱらす(きび汁を一桶分馬を引かせる)。  
 ピとうくり [pɪtuuku] [名] [ピとうくりまい...] 人送り。葬式。  
 ピとうしゃい [pɪtuuʃai] [名] [ピとうしゃいまい...] 人を馬鹿にする。侮る。いじめる。【例】ピとうしゃいむぬイー(人を馬鹿にするような話)。  
 ピとうしゆり [pɪtuuʃuri] [名] [ピとうしゆりまい...] 人恐れ。人怖れ。人怯え。【例】ピとうしゆりむぬ(人恐れのひどい者)。  
 ピとうっじ [pɪtuuddzi] [名] [ピとうっじまい...]。ピとうっじまい... 人怖れ。人恐れ。人怯え。【類】「ピとうヴウイ」。  
 ピとうどうるギ [pɪtuuduruki] [名] [ピとうどうるギまい...]。ピとうどうるギまい... 一度おどろく。びっくりする。二度と驚かないということ。  
 ピとうやまい [pɪtuujamai] [名] [ピとうやまいまい...] 人尊い。尊敬する。敬うこと。【例】かれーピとうやまいぬねーん(彼は敬うことを知らない)。  
 ピとうかーりむぬ [pɪtuka:munu] [名] [ピとうかーりむぬまい...] 人変り者。他人と変る者。変人。  
 ピとうがヴえー [pɪtugave:] [名] [ピとうがヴえーまい...] 庶民のために行う儀式。スツウプナカに行われる。  
 ピとうかうだギ [pɪtukaudaki] [名] [ピとうかうだギまい...]。ピとうかうだギまい... 一抱き。一抱え。手に持てるだけの量。【例】ピとうかうだギぬふしゃ(一抱き分の草)。  
 ピとうかぎ [pɪtukagi] [名] [ピとうかぎまい...]。ピとうかぎまい... 人影。人の姿。【例】ピとうかげーみーらいん(人の姿は見えない)。  
 ピとうかた [pɪtukata] [名] [ピとうかたまい...] 人形。にんぎょう。人の形をしたもの。  
 ピとうかたまり [pɪtukatama] [名] [ピとうかたまりまい...] 一塊。一つの集団。一つの群れ。【例】たかぬピとうかたまり(さしばの一つの

群れ)。  
 ピとうかたみ [pɪtukatami] [名] [ピとうかたみまい...] 一担ぎ。一回で担ぐだけの量。  
 ピとうかなしゃ [pɪtukanaʃa] [名] [ピとうかなしゃまい...] 人愛す。愛情。【例】ピとうかなしゃピとう(人情深い人)。  
 ピとうがばな [pɪtugapana] [名] [ピとうがばなまい...] 優れた子ども。【同】「どうすがばな」。  
 ピとうかまり [pɪtukama] [名] [ピとうかまりまい...]。ピとうかまりまい... 人嫌い。人間の集まりに嫌気をさすこと。  
 ピとうギー [pɪtukɪ:] [名] [ピとうギーまい...] 一切れ。【例】ピとうギーやにかんふあーし(一切れは猫にあげなさい)。  
 ピとうきヴウウリ [pɪtukivvu] [名] [ピとうきヴウウりまい...] 一軒。一軒家。  
 ピとうギすい [pɪtukɪsi] [名] [ピとうギすいまい...] 一切れ。【例】ピとうギすいまいすていんな(一切れでも捨てるな)。  
 ピとうギすい [pɪtukɪsi] [名] [ピとうギすいまい...] 畑の一区画。【例】ばるぬピとうギすい(畑の一区画)。  
 ピとうきない [pɪtukinai] [名] [ピとうきないまい...] 一家族。一家内。一戸。一家庭。一所帯。同じ家庭。  
 ピとうくい [pɪtukui] [名] [ピとうくいまい...] 一声。一言。【例】うやがピとうくい(父の一声)。  
 ピとうくー [pɪtuku:] [名] [ピとうくーまい...] 一個。卵、貝、かめなどに言う。【例】くがぬピとうくー(卵一個)。ムなぬピとうくー(さぎえの一個)。ムしゆがみぬピとうくー(味噌がめの一個)。  
 ピとうくだり [pɪtukuda] [名] [ピとうくだりまい...]。ピとうくだりまい... 一くだり。一曲。一節。三味線の地謡に用いる。  
 ピとうくとう [pɪtukutu] [名] [ピとうくとうまい...] 一言。いちごん。【例】ピとうくとうばなしーわーり(一言話して下さい)。  
 ピとうくとう [pɪtukutu] [名] [ピとうくとうまい...] 一事。一つの仕事。一つの出来事。【例】

ピとくとう あムどー (一つの事件が起こるぞ)。  
 ピとぐとう [pɪtugutu] [名] [ピとくとうまい...] 人事。他人事。よそ事。自分に関係のないこと。  
 ピとくみ [pɪtukumi] [名] [ピとく<sup>1</sup>みまい...] 一組。一つの仲間。一揃い。【例】ぐにんピとくみ (5人で一組)。  
 ピとぐみ [pɪtugumi] [名] [ピとくぐみまい...] 人ごみ。人の大集団。【例】ピとくぐみぬ なか (人混みの中)。  
 ピとくる [pɪtukuru] [名] [ピとく<sup>1</sup>るまい...] 一頃。あるとき。一時。以前あるとき。【例】ピとくるぬ いずエー ねーん (ひと頃の意地はない)。  
 ピとくるす [pɪtukurusɯ] [名] [ピとくるすまい...] 人殺し。他人を殺すこと。  
 ピとけーん [pɪtuke:n] [名] [ピとけー<sup>1</sup>んまい...] 一度に。【例】ピとけーん ふーな (一度に食べてしまうな)。  
 ピとしゃギ [pɪtʃakɯ] [名] [ピとしゃギんまい...] 人先に。【例】ピとしゃギん しる (人より先にやれ)。  
 ピとしゃすういび [pɪtʃasɯibi] [名] [ピとしゃすうい<sup>1</sup>びまい...] 人差指。  
 ピとしゃだみ [pɪtʃadami] [名] [ピとしゃだ<sup>1</sup>みまい...] 人定め。人を確かめること。  
 ピとしゆるい [pɪtʃurui] [名] [ピとしゆる<sup>1</sup>いまい...] 一揃え。【例】ピとしゆるい すないった (一揃えを準備した)。  
 ピとすかす [pɪtusɯkasɯ] [名] [ピとすか<sup>1</sup>すまい...] 人だまし。詐欺。  
 びどうすギ [bidusɯkɯ] [名] [び<sup>1</sup>どうすギまい...] えさ取り。魚釣りのえさを取る。浜のごかい取り。  
 ピとすギ [pɪtusɯkɯ] [名] [ピとす<sup>1</sup>ギまい...] 一式。一揃えのもの。  
 ピとすぐとう [pɪtusɯgutu] [名] [ピとすぐとうまい...。ピとすぐ<sup>1</sup>とうまい...] 一仕事。片仕事。仕事の終わっていないこと。【例】ピとすぐとう すまいーから (一仕事終わってか

ら)。  
 ピとすず [pɪtusɯdzɯ] [名] [ピとす<sup>1</sup>ずまい...] 一粒。一本。【例】まいぬ ピとすず (米の一粒)。すっじゃぬ ピとすず (きびの一本)。  
 ピとすな [pɪtusɯna] [名] [ピとす<sup>1</sup>なまい...] 一品。一種類の品物。  
 ピとすま [pɪtusɯma] [名] [ピとす<sup>1</sup>ままい...] 同じ島。同郷。同じ故郷。【例】ピとすまぬ ムまり (同じ島の生まれ)。  
 ピとすずま [pɪtudzɯma] [名] [ピとす<sup>1</sup>ずまい...] 人妻。他人の妻。  
 ピとすずま [pɪtudzɯma] [名] [ピとす<sup>1</sup>ずまい...] 他の島。よその島。他の地域。他の里。  
 ピとすずまピと [pɪtudzɯmapɪtu] [名] [ピとす<sup>1</sup>ずまピとまい...] 他の島の人。よその人。外国の人。  
 ピとすずム [pɪtudzɯm] [名] [ピとす<sup>1</sup>ずムまい...] 人詰め。人混み。大勢の人の混雑。【例】うとろピとすずム (ひどい人混みだ)。  
 ピとすそーどー [pɪtusɯ:do:] [名] [ピとすそーど<sup>1</sup>ーまい...] 一騒動。【例】ピとすそーどー うきり (一騒動起きるぞ)。  
 ピとすたーら [pɪtuta:ra] [名] [ピとすた<sup>1</sup>らまい...] 一俵。【例】まみぬ ピとすたーら (豆の一俵)。【類】「いっぴゅー」。  
 ピとすたイ [pɪtutaɪ] [名] [ピとすた<sup>1</sup>イまい...] 一束。松明の一束のこと。  
 ピとすたうかー [pɪtutauka:] [名] [ピとすたうか<sup>1</sup>ーまい...] 人一人。【例】ピとすたうかー みーん (人一人も見えない)。【同】「ピとすたうけー」。  
 ピとすたうけー [pɪtutauke:] [名] [ピとすたうけ<sup>1</sup>ーまい...] 人一人。【例】ピとすたうけー みーん (人一人も見えない)。【同】「ピとすたうかー」。  
 ピとすたき [pɪtutaki] [名] [ピとすたきまい...] 人並み。普通の人のものであること。  
 ピとすたぐ [pɪtutagu] [名] [ピとすた<sup>1</sup>ぐまい...] 一桶。一桶分の水。  
 ピとすだすき [pɪtudasɯki] [名] [ピとすだす<sup>1</sup>きまい...] 人助け。奉仕。

ピとうだすけー どうーたすき [pjɪtudasʝke: du-  
tasʝki] [諺] 人助けは身の助け。  
 ピとうだに [pjɪtudani] [名] [ピとうだにうまい...]  
 人種。血統。遺伝。精子。卵子。  
 ピとうたぬがき [pjɪtutanugaki] [名] [ピとうたぬ  
 が<sup>1</sup>きまい...] 他人頼り。依頼。他人任せ。  
 ピとうだぬム [pjɪtudanum] [名] [ピとうだぬム  
 まい...。ピとうだぬ<sup>1</sup>ムまい...] 人頼み。他人に  
 頼むこと。他人を雇うこと。他人の応援。  
 ピとうたば<sup>1</sup> [pjɪtutaba<sup>1</sup>] [名] [ピとうたば<sup>1</sup>りまい...]  
 一束。草の一束。きびの一束。【例】ピと  
 うたば<sup>1</sup>りん なし (一束にまとめなさい)。  
 ピとうたま [pjɪtutama] [名] [ピとうた<sup>1</sup>ままい...]  
 一人分。一人の分け前。【例】ピとうたまな ば  
 きる (一人分ずつ分けなさい)。  
 ピとうだま [pjɪtudama] [名] [ピとうだままい...]  
 人魂。妖火。  
 ピとうつーが [pjɪtutsʝga] [名] [ピとうつー<sup>1</sup>が  
 まい...] 一個。さつまいもの一個。【例】ピとうつ  
 ーがまい すていんな (さつまいもの一個たり  
 とも捨てるな)。  
 ピとうつかイ [pjɪtutsʝkaɪ] [名] [ピとうつかイまい...]  
 ...。ピとうつか<sup>1</sup>イまい... 人使い。他人を雇  
 うこと。他人の手伝いを必要とすること。【同】  
 「ピとうつくー」。  
 ピとうつがい [pjɪtutsʝgai] [名] [ピとうつがいまい...]  
 人ちがい。【類】「ピとうまつがい」。  
 ピとうつかム [pjɪtutsʝkam] [名] [ピとうつか<sup>1</sup>ム  
 まい...] 一掴み。一握り。片手で握れるだけの  
 量。  
 ピとうつギ [pjɪtutsʝkɪ] [名] [ピとうつ<sup>1</sup>ギまい...]  
 一月。一ヶ月。一月の間。  
 ピとうつずギ [pjɪtutsʝdzɪkɪ] [名] [ピとうつず<sup>1</sup>ギ  
 まい...] 一続き。連結していること。一繋がり。  
 とぎれていないこと。  
 ピとうつなギ [pjɪtutsʝnagɪ] [名] [ピとうつな<sup>1</sup>ギ  
 まい...] 一つなぎ。一続き。つなぎ目のないこ  
 と。結び目のないこと。  
 ピとうつぶ [pjɪtutsʝbu] [名] [ピとうつ<sup>1</sup>ぶまい...]  
 一坪。土地の面積の単位。1坪は3.3平方メー  
 トル。

ピとうつぶ [pjɪtutsʝbu] [名] [ピとうつ<sup>1</sup>ぶまい...]  
 一粒。一本。【例】まみぬ ピとうつぶ (豆の一  
 粒)。しゃきがみぬ ピとうつぶ (酒がめの一  
 本)。【類】「ピとうすず」。  
 ピとうてい [pjɪtuti] [名] [ピとうていまい...。ピ  
 とう<sup>1</sup>ていまい...] 一年。ひととせ。  
 ピとうでいー [pjɪtudi:] [名] [ピとうでい<sup>1</sup>ー  
 まい...] 人手。他人の手。他人の所有。他人の働  
 き。【例】ピとうでいーん なりー (他人の手に  
 なった・他人の所有物になった)。ピとうでい  
 ーう たぬム (他人の手伝いを頼む)。  
 ピとうていが まーす [pjɪtutiga ma:sɪ] [副] 一年  
 中。年中。終年。【例】ピとうていがまーす や  
 みーり (一年中病気している)。  
 ピとうとうー<sup>1</sup> [pjɪtutu:] [名] [ピとうとうー<sup>1</sup>  
 まい...] 一通り。大体のこと。ざっと。【例】ピ  
 とうとうー<sup>1</sup>すまい (一通り終わった)。  
 ピとうとうー<sup>1</sup> [pjɪtutu:] [名] [ピとうとうー<sup>1</sup>  
 まい...。ピとうとうー<sup>1</sup>りまい...] 人通り。通り  
 道。人の往来すること。  
 ピとうとうく<sup>1</sup>な [pjɪtutukuna] [名] [ピとうとう  
 く<sup>1</sup>なまい...] 一ヶ所。一つの場所。一ところ。  
 同じ場所。【同】「ピとうとうくま」。【類】「ピ  
 とうとうくる」。  
 ピとうとうく<sup>1</sup>ま [pjɪtutukuma] [名] [ピとうとう  
 く<sup>1</sup>ままい...] 一ヶ所。一つの場所。一ところ。  
 同じ場所。【同】「ピとうとうく<sup>1</sup>な」。【類】「ピ  
 とうとうくる」。  
 ピとうとうくる [pjɪtutukuru] [名] [ピとうとう  
 く<sup>1</sup>るまい...] 一ヶ所。一つの場所。一ところ。  
 同じ場所。【類】「ピとうとうく<sup>1</sup>な」「ピとうと  
 うくま」。  
 ピとうなび [pjɪtunabi] [名] [ピとうな<sup>1</sup>びまい...]  
 一鍋。一回目の鍋。シートヤーの一回目の黒  
 糖の炊きあげ。  
 ピとうなみ [pjɪtunami] [名] [ピとうなみまい...]  
 人並。世間並。【例】ピとうなみん ぱたらき  
 (人並みに働け)。  
 ピとうなム [pjɪtunam] [名] [ピとうなムまい...]  
 人並み。人の並び。  
 ピとうなり [pjɪtunari] [名] [ピとうなりまい...]

人馴れ。人慣れ。人慣れしている動物。ペット。  
 ピとうに一 [pɪtuni:] [名] [ピとうに<sup>1</sup>ーまい...]  
 一荷。一回目の荷。さとうきびを運搬する一回目の車。  
 ピとうに一 [pɪtuni:] [名] [ピとうに<sup>1</sup>ーまい...]  
 一本の根。大根、人参など根菜類の一本。  
 ピとうにに [pɪtunini] [名] [ピとうに<sup>1</sup>にまい...]  
 一寝。次の仕事までの間にちょっと寝る。【例】  
 ピとうににう しーから すぐとうー すー (ちょっと寝てから仕事にかかる)。【同】「ピとうにん」。  
 ピとうにん [pɪtunin] [名] [ピとうに<sup>1</sup>んまい...]  
 一寝。次の仕事までの間にちょっと寝る。【例】  
 ピとうにんゆ しーから すぐとうー すー (ちょっと寝てから仕事にかかる)。【同】「ピとうにに」。  
 ピとうぬ あとう [pɪtunu atu] [名] [ピとうぬあ<sup>1</sup>とうまい...] 人の後。人の後方。【例】ピとうぬ あとうん なりな (人の後になるな)。  
 ピとうぬ くい [pɪtunu kui] [名] [ピとうぬく<sup>1</sup>いまい...] 人の声。【例】ピとうぬ くいぬ すばゆ (人の声だよ)。  
 ピとうぬ なー [pɪtunu na:] [名] [ピとうぬな<sup>1</sup>ーまい...] 人の名前。名前。人名。【例】ピとうぬ なーう あびり (人の名前を呼ぶ)。  
 ピとうぬ なしやけー まつが ぱーんどう つつム [pɪtunu naçake: matsɟa pa:ndu tsɟtsɟm] [諺]  
 人の情は松の葉に包む。  
 ピとうぬ ぬつ [pɪtunu nutsɟ] [名] [ピとうぬぬ<sup>1</sup>つまい...] 人の命。人命。【例】ピとうぬ ぬつエー っさいん (人の命は分らない)。  
 ピとうぬ ぱな [pɪtunu pana] [名] [ピとうぬぱ<sup>1</sup>なまい...] 人の上。偉人になること。他人の上立つこと。指導者。  
 ピとうぬ ふつ [pɪtunu futsɟ] [名] [ピとうぬふ<sup>1</sup>つまい...] 人の口。うわさ。評判。【例】ピとうぬふつエー やなむぬ (うわさは怖い)。  
 ピとうぬ まいび [pɪtunu maibi] [名] [ピとうぬまいびまい...]。ピとうぬまい<sup>1</sup>びまい... 人のまね。人まね。  
 ピとうぬ みー [pɪtunu mi:] [名] [ピとうぬみ<sup>1</sup>ー

まい...] 人の目。はた目。他人の目。用心すること。  
 ピとうぬ むぬ [pɪtunu munu] [名] [ピとうぬむ<sup>1</sup>ぬまい...] 人のもの。他人のもの。  
 ピとうぬ むぬイー [pɪtunu munu:] [名] [ピとうぬむぬイ<sup>1</sup>ーまい...] 他人の言うこと。うわさ。  
 ピとうぬ やー [pɪtunu ja:] [名] [ピとうぬや<sup>1</sup>ーまい...] 他人の家。人の住んでいる家。  
 ピとうばーき [pɪtuba:ki] [名] [ピとうばー<sup>1</sup>きまい...] 一つのざる分。ざる一杯分。  
 ピとうぱく [pɪtupaku] [名] [ピとうぱ<sup>1</sup>くまい...] 一箱。一箱分。【例】ピとうぱくぬ たうふ (豆腐の一箱)。  
 ピとうぱずかすしやーリ [pɪtupadzɟkasɟa:] [形] [ピとうぱずかす<sup>1</sup>しやまい...] 世間体。恥ずかしいこと。  
 ピとうぱだ [pɪtupada] [名] [ピとうぱ<sup>1</sup>だまい...] 一時。一頃。片時。【例】ピとうぱだー もーきー (一頃は儲かった)。  
 ピとうぱな [pɪtupana] [名] [ピとうぱ<sup>1</sup>なまい...] 一時。一頃。片時。【例】ピとうぱなしやギ (花の咲くのは一時だ)。  
 ピとうばらーす [pɪtubara:sɟ] [名] [ピとうばらーすまい...]。ピとうばらー<sup>1</sup>すまい... 他人を笑わせること。  
 ピとうばるー [pɪtubaru:] [名] [ピとうばるーまい...] 他人を笑うこと。  
 ピとうびらい [pɪtubira:] [名] [ピとうびらいまい...] 他人つきあい。交際。  
 ピとうふーしゃば [pɪtufu:çaba] [名] [ピとうふーしゃ<sup>1</sup>ばまい...] 人喰い鮫。  
 ピとうふえー [pɪtufe:] [名] [ピとうふえ<sup>1</sup>ーまい...] 人喰い。危険を感じた時にいう。【例】くぬ ピとうふえーや (この野郎は)。  
 ピとうふくる [pɪtufukuru] [名] [ピとうふく<sup>1</sup>るまい...] 一袋。一袋分。  
 ピとうふつ [pɪtufutsɟ] [名] [ピとうふ<sup>1</sup>つまい...] 一口。一度に口に入れるだけの大きさ・量。  
 ピとうぶどうリ [pɪtubudu:] [名] [ピとうぶどう<sup>1</sup>リまい...] 一跳び。一飛び。【例】やまとうまい ピとうぶどうリ (本土までも一飛びだ)。

ピとうふに [pjɪtufuni] [名] [ピとうふ<sup>1</sup>にまい...]  
一つの船。同じ船。一緒の船。共同体の意味。  
【類】「ゆぬふに」。

ピとうぶに [pjɪtubuni] [名] [ピとうぶにまい...]  
ピとうぶ<sup>1</sup>にまい...] 人骨。

ピとうまーげ [pjɪtuma:ɸ] [名] [ピとうまー<sup>1</sup>げまい...]  
一回り。一回目を終わる。

ピとうまい [pjɪtumai] [名] [ピとうまいまい...]  
人前。群衆。【例】ピとうまいんけー んでいる  
(人前に出よ)。

ピとうまかす [pjɪtumakasɸ] [名] [ピとうまかす  
まい...] 他人任せ。他人に任せること。

ピとうます [pjɪtumasɸ] [名] [ピとうますまい...]  
人々の列。人々の並んでいること。

ピとうまた [pjɪtumata] [名] [ピとうま<sup>1</sup>たまい...]  
一股。一歩。一足。【例】ピとうまたどう あげ  
(すぐ近くだ)。

ピとうまたうがム [pjɪtumataugam] [名] [ピとう  
ま<sup>1</sup>たうがムまい...] ひとまた御願所。ひと  
また御嶽。塩川の八月おどり場。

ピとうまつ [pjɪtumatsɸ] [名] [ピとうまつまい...]  
ピとうま<sup>1</sup>つまい...] 人待ち。他人を待つこと。

ピとうまとうみ [pjɪtumatumi] [名] [ピとうま  
と<sup>1</sup>みまい...] 一まとめ。一括。総括。全て。

ピとうみ [pjɪtumi] [名] [ピとう<sup>1</sup>みまい...] 一目。  
ちらっと見ること。【例】ピとうみーしー すー  
(一目でわかる)。

ピとうみ [pjɪtumi] [副] 一緒。共同。諸共。【類】  
「まーつき」。

ピとうみ なげ [pjɪtumi naɸ] [連語] 一緒になる。  
結婚する。夫婦になる。

ピとうみー [pjɪtumi:] [名] [ピとうみ<sup>1</sup>ーまい...]  
人を見ること。他人に教わる。他人を参考にす  
る。

ピとうみーやらび [pjɪtumi:jarabi] [名] [ピとうみ  
ーやら<sup>1</sup>びまい...] 人をじっと見る子ども。人  
見知り。

ピとうみつ [pjɪtumitsɸ] [名] [ピとうみつまい...]  
人道。人の道。道筋。一つの道。

ピとうみばな [pjɪtumipana] [名] [ピとうみば<sup>1</sup>  
まい...] 顔がそっくりなこと。うり二つ。

ピとうむかす [pjɪtumukasɸ] [名] [ピとうむか<sup>1</sup>す  
まい...] 一昔。過ぎた日のこと。過ぎた年月。

ピとうむとう [pjɪtumutu] [名] [ピとうむ<sup>1</sup>とうま  
い...] 一本(ひともと)。一株。一つの根。一  
つの根元。【例】ピとうむとうから ばかーりー  
(一本の根元から分かれる)。

ピとうムに [pjɪtumni] [名] [ピとうム<sup>1</sup>にまい...]  
一群れ。

ピとうむげた [pjɪtumuɸta] [名] [ピとうむげ<sup>1</sup>たま  
い...] 一群れ。一塊。群集。集会。

ピとうむげつぎ [pjɪtumuɸtsɸkɸ] [名] [ピとうむげ  
つぎまい...。ピとうむげつ<sup>1</sup>ぎまい...] 一ヶ所に  
まとまっていること。

ピとうめー [pjɪtume:] [名] [ピとうめーまい...]  
人の前。公衆の前。人の集団の意。

ピとうゆー [pjɪtju:] [名] [ピとうゆ<sup>1</sup>ーまい...]  
一夜。一晚。【例】ピとうゆーや とうまりー  
(一晚泊った)。

ピとうゆーが まーす [pjɪtju:ga ma:sɸ] [副] 一夜  
通し。夜通し。一晚中。【例】ピとうゆーがま  
ーす あみぬ っふい (一晚中雨が降る)。

ピとうゆくー [pjɪtjuku:] [名] [ピとうゆくーま  
い...。ピとうゆく<sup>1</sup>ーまい...] 一休み。【例】ピ  
とうゆくー しーから ぱずみる (一休みして  
から始めよ)。

ピとうゆだ [pjɪtjuda] [名] [ピとうゆ<sup>1</sup>だまい...]  
一枝。【例】きーぬ ピとうゆだ (木の一枝)。

ピとうゆム [pjɪtjum] [名] [ピとうゆ<sup>1</sup>ムまい...]  
一読み。機織の縦糸の数。一読みは80本。「か  
しかき」の舞踊には7読みと20読みと歌う。

びとうらす [biturasɸ] [動I類c型] [びとうらし  
ー、びとうらしゃん] 満足させる。満腹させる。  
【例】びとうらすけ ふあーしー (満足させるま  
でたべさせた)。

ピとうりまつまつ [pjɪtuɸmatsɸmatsɸ] [名] [ピと  
う<sup>1</sup>りまつまつまい...] 一人待ち待ち。待ち合わ  
せをそれぞれの場所で待つこと。

ピとうりみーみー [pjɪtuɸmi:mi:] [連語] お互いに  
見合う。【類】「たうかーみーみー」。「とーかー  
みーみー」。

ピとうりむつむつ [pjɪtuɸmutsɸmutsɸ] [連語] 助け

合い。

びとうりり [bituri] [動II類c型] [びとうりー、びとうりん] 満足する。満腹する。【例】びとうりりけ ふーたム (満足するまで食べた)。

びとうりる [pɪtu|u] [名] [びとうり<sup>1</sup>るまい...] 一尋。長さの単位。両手を広げた長さ。

びとうん [pɪtun] [名] [びとう<sup>1</sup>んまい...] 一度。一回。【例】びとうんまい ふたんまい (一度も二度も)。びとうんなー (一度つつ)。びとうんなーどー (一度つつだぞ)。

びとうんけー うす [pɪtunke: usɪ] [連語] 他人へ押しつける。責任を他人に押しつける。

びとうんけー みばな [pɪtunke: mipana] [連語] 他人への顔向け。面目。

びなー [pɪna:] [名] [びな<sup>1</sup>ーまい...] 火縄。火種の束。埋み火。翌朝まで畑に土をかぶせておく火種縄。

びなーう やーしーどう むくーばー とうり [pɪna:u ja:çi:du muku:ba: tu] [諺] 火縄を結わせて婿を取る。

びなか [pɪnaka] [名] [ピなかまい...] 日中。昼間。

びなかいり [pɪnakai] [動I類] [ピなかいりー、ピなかいらん] [ピ<sup>1</sup>なかいりー「ぶり」] ひっくり返る。驚きを表現する様。

びならず [pɪnaraɪ] [動I類c型] [びならしー、びならしゃん] 減らす。少なくする。【例】ふえー びならず (食べて減らす)。

びなり [pina] [動I類a型] [びなりー、びならん] 減る。少なくなる。【例】ふーたかー びなりどうす (食べたなら減る)。

びに [bini] [名] [び<sup>1</sup>にまい...] 紅。口紅。食紅。【例】びにう つきー ぶどうらす (口紅をつけて躍らせる)。【同】「べに」。

ひにくりむぬ [hinikurimunu] [名] [ひにくりむ<sup>1</sup>ぬまい...] ひねくれ者。性格的にひねくれた者。

ひにくりり [hinikuri] [動II類c型] [ひにくりー、ひにくりん] ひねくれる。ねじける。素直でない。【例】ひにくりやらび (ひねくれた子供)。

びにつ [binitsɪ] [名] [びにつまい...] 微熱。熱のちょっと高いこと。

ピにつ [pɪnitsɪ] [名] [ピにつまい...] 日にち。日数。

ピにり [pɪni] [動I類c型] [ピにりー、ピにらん] ねじる。捻る。こよりを作る。糸をひねる。撚る。【例】ういびしー ピにり (指先でひねる)。

ピぬイ [bɪnuɪ] [名] [干支] [ピぬ<sup>1</sup>イまい...] 亥の日。

ピぬイぬ ピー [bɪnuɪnu pi:] [名] [干支] [ピぬイ<sup>1</sup>ぬピーまい...] 亥の日。

ピぬイムまり [bɪnuɪmmari] [名] [干支] [ピぬイムま<sup>1</sup>りまい...] 亥の日生まれ。亥の日に生まれた人。

ピぬか [pɪnuka] [名] [ピぬかまい...] 太陽の近くの雲にできる虹のようなもの。

ピぬかム [pɪnukam] [名] [ピぬか<sup>1</sup>ムまい...] 火の神。

ピぬてい [bɪnuti] [名] [干支] [ピぬ<sup>1</sup>ていまい...] 亥の日。

ピぬてい [pɪnuti] [名] [ピぬ<sup>1</sup>ていまい...] 火の手。炎 (ほのお)。

ピぬムー [pɪnum] [動I類c型] [ピぬムみー、ピぬムまん] 火に当たる。暖を取る。

ピぬむぬしゃうず [pɪnumunuçaudzɪ] [名] [ピぬむぬしゃう<sup>1</sup>ずまい...] 虫払いの行事。【同】「ピぬむぬしょーず」。【類】「うぶり」。

ピぬむぬしょーず [pɪnumunuço:dzɪ] [名] [ピぬむぬしょー<sup>1</sup>ずまい...] 虫払いの行事。【同】「ピぬむぬしゃうず」。【類】「うぶり」。

ピぬムます [pɪnummasɪ] [動I類c型] [ピぬムましー、ピぬムましゃん] 火に当てる。暖を取らせる。

びばギ [bibakɪ] [動I類c型] [びばきー、びばかん] 吐く。胃のものを吐く。

びばくー [bibaku:] [動I類c型] [びばけー、びばかん] 胸がむかつく。吐こうとしている。

ピばす [pɪbasɪ] [名] [ピば<sup>1</sup>すまい...] 火箸。炭火を挟むもの。木の枝を使用した。

びばつ [pibatsɪ] [名] [びば<sup>1</sup>つまい...] 火鉢。

びばつぐーしゅ [pibatsɯgu:ɕu] [名] [植] [びば<sup>1</sup>つぐーしゅまい...] ひはつもどき。香辛料。

びびしゃーり [pibiɕa:] [形] [びび<sup>1</sup>しゃまい...] 遠慮深い。考えが小さい。ものごとにごまかい。

ビふていら [bɯfutira] [名] [ビふてい<sup>1</sup>らまい...] 火の粉。

ピぶり [pɯburi] [名] [ピぶ<sup>1</sup>りまい...] 灯ぼれ。照明に蛾が飛んでくること。

ひま [hima] [名] [ひままい...] 唐胡麻。種子からひまし油を取る。その種には猛毒のリシンがある。

ピまき [pɯmaki] [名] [ピま<sup>1</sup>きまい...] 日負け。日焼け。

びむ [pimu] [名] [びむまい...] 早魃。日照り続き。

ビムー [bɯmm] [擬] 勢いよく回る様。回転の速い様。物体の動きが速い様。勢いのよい様。【例】くーるー ビムーていー まーす (独楽を勢い良く回す)。

ピムー [pɯmm] [動I類c型] [ピムみー、ピムまん] しびれる。足がしびれる。

ピムー [pɯmm] [動I類a型] [ピムみー、ピムまん] ねじれる。反り返る。

びむじゃら [pimudzara] [名] [びむじゃらまい...] 日照り続き。日照りが続いている状態。

びむじゃらどうぎ [pimudzaradukɯ] [名] [びむじゃ<sup>1</sup>らどうぎまい...] 干ばつが続く時期。

ピムまがり [pɯmmaga] [動I類c型] [ピンまがりー、ピンまがらん] ひん曲る。力強く曲げられる。

びむまき [pimumaki] [名] [びむまきまい...] 草などが日照りにしなびること。

ピムまぎり [pɯmmagi] [動II類c型] [ピンまぎー、ピンまぎん] ひん曲げる。力強く曲げること。事実をねじ曲げる。釣り竿が強く曲がる。【例】ていっきんゆ ピンまぎり (鉄筋を曲げる)。

ピムます [pɯmmasɯ] [動I類a型] [ピムましー、ピムましやん] ねじる。ねじらせる。反り返す。

ビムまビムま [bɯmmabɯmma] [擬] [ビムまビムまていー...] 頭がひどく痛いこと。

ビムまみかす [bɯmmamikasɯ] [動I類c型] [ビムまみかしー、ビムまみかしやん] 頭をひどく痛くする。

ビムまみぎ [bɯmmamikɯ] [動I類c型] [ビムまみきー、ビムまみかん] 頭がひどく痛い。

ビムみかす [bɯmmikasɯ] [動I類c型] [ビムみかしー、ビムみかしやん] 勢いよく回す。速く回す。

ビムみぎ [bɯmmikɯ] [動I類c型] [ビムみきー、ビムみかん] 勢いよく回る。速く回る。勢いが激しい。

ぴら [pira] [名] [ぴら<sup>1</sup>らまい...] へら。農業の道具。主として除草に使用する。【例】ぴらとうり (篋で農作業をすること)。ぴらしー シャヴヴィ (篋で耕作する)。

ぴらい [pirai] [名] [ぴら<sup>1</sup>いまい...] 付き合い。交際。

ぴらかす [birakasɯ] [動I類c型] [ぴらかしー、ぴらかしやん] 仰向けにさせる。大の字にさせる。【例】ぴらかしー になっすい (仰向けに寝かせよ)。

ひらがな [hiragana] [名] [ひらがなまい...] 平仮名。

ひらぎ [hirakɯ] [動I類c型] [ひらきー、ひらかん] 開く。発展させる。【例】やまう ひらきー (山を開墾した)。

ひらき [hiraki] [名] [ひらきまい...] 開き。発展。差。

ひらぎ [birakɯ] [動I類c型] [ひらきー、ひらかん] 仰向けに寝る。大の字になる。【例】ぱりーきー ひらきー (走ってきて仰向けに寝る)。

ひらきり [hiraki] [動II類a型] [ひらきー、ひらきん] 開ける。発展する。【例】すまぬ ひらきり (島が発展する)。かながいゆりらー ひらきった (昔より発展した)。

ひらきり [biraki] [動II類c型] [ひらきー、ひらきん] 仰向けになる。大の字になる。寝転がる。

びらす [birasɯ] [動I類c型] [びらしー、びらしやん] 塗らす。塗料を塗らせる。漆喰を塗らせる。【例】ペンきう びらす (ペンキを塗らす)。

ぴらずー [piradzɯ:] [名] [ぴらず<sup>1</sup>まい...] へら・鎌・砥石などを入れる袋。  
 ぴらずか [piradzɯka] [名] [ぴらずかまい...] へらの柄。  
 ぴらふ [birafu] [名] [ぴらふまい...] ぎる。【類】「ていり」。  
 ぴらふ [pirafu] [名] [ぴらふまい...] 寒さ。寒気。寒波。冬將軍。冷え込み。  
 ぴらふぬ すー [pirafunu sɯ:] [名] [ぴらふぬす<sup>1</sup>まい...] 寒さの巢。冬の黒雲のこと。冬將軍。寒さの来る前触れ。  
 びり [biɽ] [動I類c型] [びりー、びらん] 塗る。塗装。【例】ペンきう びり(ペンキを塗る)。ムたう びり(土を塗る)。  
 びり [piɽ] [名] [植] [びりまい...] にんにく。  
 びり [pɽi] [名] [びりまい...] 畳のへり。  
 びりずき [piɽdzɯki] [名] [びりずきまい...] にんにく漬。  
 びりんぎ [biɽnkɯ] [動I類c型] [びりんきー、びりんかん] 塗り込む。すり込む。【例】あなう びりんきー ふしゃぎ(穴にすり込んで塞ぐ)。  
 ひる [hiru] [助数] 尋。長さの単位。1尋は大人の両手を広げた長さ。【同】「りる」。  
 びる [pɽɽu] [名] [びるまい...] 昼。昼間。日の出から日没まで。  
 びるー [bɽɽu:] [擬] 白光している様。  
 びるー [pɽɽu:] [動I類c型] [びれー、びらーん] つきあう。交際する。【例】とうなりびるー(隣つきあい。近所つきあい)。  
 びるしゃなか [pɽɽɯɕanaka] [名] [びるしゃなかまい...] 真昼間。ひるさなか。  
 びるぬ すかま [pɽɽɽunu sɯkama] [名] [びるぬすか<sup>1</sup>まい...] 昼の仕事。  
 びるびる [bɽɽɽɽɽu] [擬] 白くつやある様。  
 びるますぐとう [pɽɽɽɽɽɽgutu] [名] [びる<sup>1</sup>ますぐとうまい...] 珍しいこと。  
 びるますしゃーり [pɽɽɽɽɽɽɕa:] [形] [びるます<sup>1</sup>しゃまい...] 不思議。珍しい。奇妙。【例】びるますばなす(不思議な話)。びるますくとうぬ いでいり(珍しい事が起きる)。  
 びるますむぬ [pɽɽɽɽɽɽmunu] [名] [びるます<sup>1</sup>

むぬまい...] 不思議なこと。珍しいこと。  
 びるみぎ [bɽɽɽɽɽɽɽɽ] [動I類c型] [びるみきー、びるみかん] 白くつやがある。  
 びるみり [pɽɽɽɽɽɽɽɽ] [動II類c型] [びるみー、びるみん] 広める。宣伝する。【例】すまムーなびるみり(島全体に広める)。【同】「ピすうみり」。  
 びん [bɽɽɽɽ] [名] [び<sup>1</sup>んまい...] 瓶。【例】しゃきびん(酒瓶)。いっしゅびん(一升瓶)。  
 びん [bɽɽɽɽ] [名] [び<sup>1</sup>んまい...] 便。たより。【例】ふなびん(船便)。ピンぐとう(便ごとに)。  
 びん [bin] [名] [び<sup>1</sup>んまい...] 弁。言葉。【例】びんぐし(弁護士)。びんぬ たつ(弁が立つ)。  
 ピン [pɽɽɽɽ] [名] 辺。あたり。【例】うぬ ピン(そのあたり。あの頃)。うぬ ピんや うぶかでいどう あたり(その頃は台風だった)。  
 びんかい [bɽɽɽɽɽɽɽɽ] [名] [びんか<sup>1</sup>いまい...] 弁解。いいわけ。【例】びんかいゆ すな(言い訳をするな)。  
 ピンかいり [pɽɽɽɽɽɽɽɽɽɽ] [動I類c型] [ピンかいらー、ピンかいらん] 反り返る。よじれる。【例】いたぬ ピんかいり(板が反り返る)。  
 びんがす [pɽɽɽɽɽɽɽɽɽɽ] [動I類c型] [びんがしー、びんがしゃん] 逃す。取り逃がす。【例】ぱとうー びんがす(鳩を逃がす)。  
 ピンがん [pɽɽɽɽɽɽɽɽɽɽɽ] [名] [ピンが<sup>1</sup>んまい...] 彼岸。春分。秋分。暑さも寒さも彼岸まで。昼の長さと夜の長さが同じ。【同】「ピがん」。  
 びんぎ [bɽɽɽɽɽɽɽɽɽɽ] [動I類c型] [びんきー、びんかん] 廢れる。おちぶれる。【例】すぐとうぬ びんきー(仕事が廢れる)。  
 ピンギ [pɽɽɽɽɽɽɽɽɽɽ] [名] [病] [ピンギまい...] ぜんそく。  
 びんぎ [pingi] [名] [びんぎま<sup>1</sup>い...] 逃げること。逃亡。  
 びんぎうす [pɽɽɽɽɽɽɽɽɽɽɽɽ] [名] [びんぎう<sup>1</sup>すまい...] 逃げた牛。飼い主から逃げ回る牛。  
 ひんきつ [hɽɽɽɽɽɽɽɽɽɽɽ] [名] [ひんき<sup>1</sup>つまい...] 貧血。  
 びんぎぬ一ま [pɽɽɽɽɽɽɽɽɽɽɽɽɽɽ] [名] [びんぎぬ一<sup>1</sup>まい...] 逃げた馬。飼い主から逃げ回る馬。

びんぎまーり [pingima:] [動 I 類] [びんぎまーり、びんぎまーらん] [びんぎまーりまい...] 逃げ回る。【例】ぬすどうぬ びんぎまーり (盗人が逃げ回る)。

びんぎむぬ [pingimunu] [名] [びんぎむ<sup>1</sup>ぬまい...] 逃げる者。仕事をなまけて逃げ回る人。〈びんぎぬーま〉とも言う。

びんきり [bɪnki] [動 II 類 c 型] [びんきー、びんきん] 廃れる。落ちぶれる。【例】しゃきうぬみー びんきり (酒のせいで廃れる)。

びんぎり [pingi] [動 II 類 c 型] [びんぎー、びんぎん] 逃げる。逃亡する。【例】ぬーまぬ びんぎー (馬が逃げた)。びんだぬ びんぎー ぶらーん (山羊が逃げてしまった)。

びんぐ [pingu] [名] [びん<sup>1</sup>ぐまい...] 鍋に付くすず。

びんぐし [binguçi] [名] [びんぐ<sup>1</sup>しまい...] 弁護士。

びんぐつ [binguts] [名] [びんぐ<sup>1</sup>つまい...] おしゃべり。おしゃべりな人。口達者。多弁な人。【類】「むぬゆめ」。

びんけう [binkeu] [名] [びんけうまい...] 勉強。学習。修業。【例】びんけうや すたムな (勉強はやったか)。

びんけうだう [binkeudau] [名] [びんけうだ<sup>1</sup>うまい...] 勉強するために必要な道具。学習用具。【同】「びんけうどー」。

びんけうどー [binkeudo:] [名] [びんけうど<sup>1</sup>ーまい...] 勉強するために必要な道具。学習用具。【同】「びんけうだう」。

ひんさい [hinsai] [名] [ひんさいまい...] 返済。借金を返すこと。

ひんじ [hindzi] [名] [ひんじまい...] 返事。返信。【例】ていがぎぬ ひんじう かギ (手紙の返事を書く)。

びんじゆ [bindzu] [名] [びん<sup>1</sup>じゆまい...] 便所。トイレ。

びんた [binta] [名] [びん<sup>1</sup>たまい...] こめかみ。顔の横の部分。【類】「かたつま」。「みムたヴヴァあ」。

びんだ [pinda] [名] [びん<sup>1</sup>だまい...] 山羊。伝説

「空手の名人「もとぶさー」は山羊の崖を走る技はできなかった」。【例】びんだまギ (山羊小屋)。びきびんだぬ かだ (雄山羊のにおい)。

びんたう [bintau] [名] [びんたうまい...] 弁当。【同】「びんとー」。

びんたう [pintau] [名] [びんたうまい...] 返答。返事。【同】「びんとー」。

びんだヴヴァあい [pindavvai] [名] [びん<sup>1</sup>だヴヴァあまい...] 山羊小屋から出た肥料。

びんたうばく [bintaubaku] [名] [びんたうば<sup>1</sup>くまい...] 弁当箱。【同】「びんとーばく」。

びんだじゆー [pindadzju:] [名] [びん<sup>1</sup>だじゆーまい...] 山羊汁。【類】「びんだずる」。

びんだずる [pindadzru] [名] [びん<sup>1</sup>だずるまい...] 山羊汁。【類】「びんだじゆー」。

びんだだつ [pindadats] [名] [びん<sup>1</sup>だだつまい...] 山羊小屋。【類】「びんだまギ」。

びんだつかぬー [pindatskanu:] [名] [びん<sup>1</sup>だつかぬーまい...] 山羊を飼うこと。山羊の飼育。【例】びんだつかぬーや うすつかぬー (山羊を飼うことは牛を飼うことと同じ草の量)。

びんだぬ ふしや [pindanu fuça] [名] [びん<sup>1</sup>だぬふしや「まい...」 山羊の草。山羊の飼養の草。

びんだビーき [pindabiki] [名] [びん<sup>1</sup>だビーきまい...] 山羊捕獲用の穴。〈つすうきばま〉海岸にある。首里王府の役人の歓迎会は〈つすうきばま〉海岸で行われた。

びんだまギ [pindamak] [名] [びん<sup>1</sup>だまギまい...] 山羊牧。山羊小屋。【類】「びんだだつ」。

びんだらい [bindarai] [名] [びんだら<sup>1</sup>いまい...] 洗面器。

びんつきあヴヴァあ [bintsɕiavva] [名] [び<sup>1</sup>んつきあヴヴァあ「まい...」 びんつけ油。髪油。髪に付ける油。女性の髪を固めて形を整える油。びんは鬢のこと。年輩の女性や力士の髪につける油。

びんどうみ [bindumi] [名] [び<sup>1</sup>んどうみまい...] 女性の頭髪を挟むもの。

びんとー [binto:] [名] [びんとーまい...] 弁当。【例】びんとーゆ むていー ぱるんけー (昼食の食べ物を持って畑に行く)。【同】「びんたう」。【類】「ぱんまい」。

- びんとー [pinto:] [名]〔びんとーまい...〕返答。返事。【同】「びんたう」。
- びんとーばく [binto:baku] [名]〔びんとーばくまい...〕弁当箱。【同】「びんたうばく」。
- びんなぎしゃーり [pinnagiça:] [形]〔びんなぎしゃまい...〕変。不審。あやしい。変に思う。不審に感じる。様子があやしい。
- びんなぎピとう [pinnagiɸtu] [名]〔びんなぎピとうまい...〕不審者。いじわるな人。正常でない人。
- びんなぎむぬ [pinnagimunu] [名]〔びんなぎむぬまい...〕怖い動物。あやしい書物。
- びんなしゃーり [pinnaça:] [形]〔びんなしゃまい...〕変。変わった。普通と違った。疑問に思う。【例】びんなしゃん ならん（とても変なことだ。不審に思えてならない）。
- びんなむぬ [pinnamunu] [名]〔びんなむぬまい...〕変な物。変なこと。あやしいこと。普通と変わったこと。
- びんぬ かぬー [binnu kanu:] [連語] 弁が叶う。弁達者。雄弁。能弁。
- びんぴ [binpi] [名]〔病〕〔びんぴまい...〕便秘。
- びんふ [pinfu] [名]〔びんふんまい...〕宮古南西園のある土地の名。ハンセン病患者の居住地。
- びんり [binri] [形]〔びんりまい...〕便利。【例】なまぬ ゆーや びんり（今の世の中は便利）。

## — ふ —

ふ [fu] [接頭] 不。否定。【例】ふごーかく（不合格）。ふまじみ（不真面目）。ふむき（不向き）。ふでいき（不出来）。

ぶ [bu] [接頭] 不。無。【例】ぶきゆー（不器用）。ぶりー（無礼）。

ぶ [bu] [助数] 分。長さの単位。1分は10寸の10分の1。約3ミリメートル。

ぶ [bu] [助数] 歩。面積の単位。1歩は3.3平方メートル。1坪のこと。

ぷ [pu] [擬] 火を消すときに発する。ローソクの火を「ぷ」と消す。

ふぁーす [fa:sɯ] [動I類a型] [ふぁーしー、ふぁーしゃん] 食べさせる。【例】かーすう ふぁーす（お菓子を食べさせる）。ふぁーし（食べさせなさい）。にかん ふぁーし（猫にあげなさい）。ふぁーしやまん（食べさせない）。ヴヴあんや ふぁーしやまん（君にはあげない）。ふぁーすぐまた（食べさせるべきだ。養うべきだ。育てるべきだ）。

ふぁーす [fa:sɯ] [動I類a型] [ふぁーしー、ふぁーしゃん] 打ちつける。くらわす。さしこむ。くさびを打ち込む。【例】ぎんの一しー ふぁーす（げんので打ち付ける）。

ふぁーす [fa:sɯ] [動I類a型] [ふぁーしー、ふぁーしゃん] 轆（ひ）く。さとうきびを歯車に噛ます。【例】すっじゃう ぱーぐるまん ふぁーす（さとうきびを歯車に噛ませる）。

ふぁーすべー [fa:sɯbe:] [名] [ふぁーすべーまい...。ふぁーすべーまい...] さとうきびを歯車に噛ます係。両側に向かい合って座る。

ふぁーすべー [fa:sɯbe:] [名] [ふぁーすべーまい...。ふぁーすべーまい...] 食べさせる人。養う人。育てる人。養育者。

ふぁーすんぎ [fa:sɯnkɯ] [動I類a型] [ふぁーす

んぎー、ふぁーすんかん] 強く言いつける。【例】ふぁーすんぎー ならーす（怒号して教える）。

ふぁーん ふぁーん ななまかり [fa:n fa:n nana-maka] [諺] 食べないとだだをこねていて七杯も食べること。

ぶあい [buai] [名] [ぶあいまい...] 歩合。ある数量に対する他の数量を比較すること。パーセント。

ふぁいすぎ [fa:ɯsgɯ] [動II類a型] [ふぁいー、ふぁいん] 食べすぎる。【同】「ふーすぎ」。

ふぁいだくム [faɯdakum] [名] [ふぁいだくムうまい...] 食いだくみ。悪だくみ。巧妙な知恵で企むこと。

ふぁいつぎ [fa:ɯtsɯkɯ] [動I類c型] [ふぁいつきー、ふぁいつかん] 噛み付く。くわえる。【例】にかぬ ヴェーだう ふぁいつぎ（猫がねずみを噛み付く）。

ふぁいふくり [faɯfukuri] [名] [ふぁいふくりまい...] 選り好み。あれこれと食べ物を選ぶこと。ぜいたく者。

ふぁいふくりむぬ [faɯfukurimunu] [名] [ふぁいふくりむぬまい...] 美食家。美味しいものだけを食べる人。

ふぁムぶり [fambu] [動I類c型] [ふぁんぶりー、ふぁんぶらん] 噛み砕く。【例】イズうぬかなまりる ふぁんぶり（魚の頭を噛み砕く）。【類】「かムぶり」。

ふぁんギー [fankɯ:] [動I類c型] [ふぁんぎすいー、ふぁんぎさん] 噛む。噛み切る。噛み付く。【例】あかヴヴあぬ あんなが つーゆ ふぁんギー（赤ちゃんが母の乳首を噛む）。

ふい [fui] [名] [ふ<sup>1</sup>いまい...] 笛。ホイッスル。

ぶい [bui] [名] [ぶいまい...] 浮き具。漁に使用する。とれた魚貝を浮かすもの。【例】あムぬぶい（網の浮き）。

ぶい [bui] [名] [ぶいまい...] 稼ぎ。稼ぐこと。【例】ぶい すが（稼ぎに行く）。ずーかでいぶい（畑を耕して稼ぐ）。

ぶい [bui] [名] [ぶ<sup>1</sup>いまい...] 吠え。犬の吠え声。

ぶい [pui] [名] [ぶいまい...] 大きさ。【例】ゆ

ぬぶい (同じ大きさ)。かりが ぶい (彼の大きさ)。うやが ぶい なり (親ほどになれ)。  
 ぶいぎ [buigi] [名] [ぶいぎまい...] 駒まわしに使う棒。駒打ち棒。〈くーるまーす〉に使用する棒。  
 ふいぐ [fuigu] [名] [ふいぐまい...] ふいご。鍛冶屋の送風機。【類】「びーふぎ」。  
 ふいちみり [fuitçimil] [動II類c型] [ふいちみー、ふいちみん] 口に物をくわえる。少ない食べ物を遠慮しながら口に入れる。【同】「ふいつみり」。  
 ふいつまーらす [fuitsjmarasj] [動I類c型] [ふいつまーらしー、ふいつまーらしゃん] 振り回す。子供の手を握ったまま振り回す。  
 ふいつみり [fuitsjmil] [動II類c型] [ふいつみー、ふいつみん] 口に物をくわえる。少ない食べ物を遠慮しながら口に入れる。【同】「ふいちみり」。  
 ふいでい [fuɲdi] [名] [ふいでいまい...] 食べた芋の皮。残飯。【類】「あいでい」。  
 ぶいふー [buifu:] [名] [ぶいふーまい...] 稼ぎ運のあること。働き者。仕事が見付かること。【例】ぶいふーぬ あり (仕事が見付かった)。  
 ぶいり [bui] [動II類c型] [ぶいー、ぶいん] 稼ぐ。働く。【例】ぶいー くー (稼いでこい)。  
 ぶいり [bui] [動II類c型] [ぶいー、ぶいん] 吠える。【例】いなぬ ぶいり (犬が吠える)。いなぬ ぶいりくい (犬の吠える声)。  
 ぶいんる [buiuru] [名] [ぶいんるまい...] 無遠慮。遠慮のない人。好き勝手にすること。  
 ふう [fu:] [名] [ふうまい...] 封。閉じる。封筒。密封。封印。【例】ふう しる (閉じなさい)。  
 ふう [fu:] [名] [ふうまい...] まじない。すすきの葉を結んで食べ物や門に置く。【類】「しゃん」。  
 ふう [fu:] [名] [ふうまい...] 運。めぐりあい。幸運。【例】ふうぬ あり ピとう (運のある人)。  
 ふう [fu:] [名] [ふうまい...] 麩。食品。  
 ふう [fu:] [動I類a型] [ふえー、ふあーん] 食う。食べる。【例】ふうむぬ (食べ物)。ふあーいり (食べられる)。やらびんまい ふういり

(子どもにも食べられる)。ふあーいん (食べられない)。ぱーもーんや ふういん (歯のない者には食べられない)。ふあーだ (食べなさい。食べよ)。ペーふ ふうだ (早く食べなさい)。ふうまん (食べない)。ムめ ふうまん (もう食べない)。ふうん (食べない)。みだ ふうん (まだ食べていない)。ふあい (食べなさい。喰え)。ふうぶっしゃぬ (食べたい)。ぱんびムゆ ふうぶっしゃぬ (てんぷらを食べたい)。  
 ふう [fu:] [擬] 熱い食べ物を冷ますときの様。「ふう」と息を吹きかける。  
 ふう [bu:] [名] [ふうまい...] 入江。湾。深み。干瀬の割れ目。  
 ふう [bu:] [名] [ふうまい...] 緒。紐(ひも)。風ひも。靴ひも。下駄ひも。ぞうりひも。【類】「ばなふう」。  
 ふう [bu:] [名] [植] [ふうまい...] 麻。苧(う)。ちよま。宮古上布の原料。麻の糸そのものを指すこともある。  
 ふう [bu:] [擬] ほら貝の吹く音。屁の音。  
 ふう [pu:] [名] [ふうまい...] 帆。【例】ふうしん (帆船)。ふうゆ あぎる (帆を揚げよ)。  
 ふう [pu:] [名] [ふうまい...] 穂。すすき、さとうきび、あわ、麦、茅などの穂。科本科植物の穂。  
 ふうあばなギ [fu:apanakj] [動I類a型] [ふうあばきー、ふうあばかん] 喰いやがる。【例】ペーペー ふうあばなき (早く喰いやがれ)。  
 ふうあり [fu:a] [連語] 運がある。【例】ふうありピとう (幸運な人)。  
 ふうありむぬ [fu:a[munu] [名] [ふうありむぬまい...] 運の強い人。幸運な人。  
 ふういとう [bui:tu] [名] [ふういとうまい...] 麻糸。麻の繊維。宮古上布を織る。  
 ふうヴヴあす [bu:vvasj] [動I類c型] [ふうヴヴあしー、ふうヴヴあしやん] ゆり動かす。ふるい落とす。ゆすぶる。【例】ゆいしゃーう ふうヴヴあす (ぶらんこを揺り動かす)。  
 ふううがム [fu:ugam] [動I類c型] [ふううがみー、ふううがまん] (食べ物を) いただく。神

にそなえてあるものをいただく。目上の人にごちそうになる。

ふーうん [fu:un] [名] [ふーう<sup>1</sup>んまい...] 喰う運。食べる運。思いがけないご馳走にありつくこと。【類】「ふーふー」。

ぶーがし [bu:gaʃi] [名] [ぶーが<sup>1</sup>しまい...] 麻糸を紡いだ総糸。麻糸。機織りの糸。

ぶーかす [pu:kaʃ] [動I類c型] [ぶーかしー、ぶーかしゃん] おだてる。【例】ぶーかすばどうむっし (おだてると愉快だ)。

ぶーかす [pu:kaʃ] [動I類c型] [ぶーかしー、ぶーかしゃん] 穴を開ける。壁に穴を開ける。障子に穴を開ける。【類】「とぅーかす」。

ふーかまり [fu:kama] [動I類a型] [ふーかまりー、ふーかまらん] 食べ飽きる。【例】しゅたつう ふーかまりー (ソテツを食べ飽きた)。

ぶーギ [bu:gi] [名] [植] [ぶー<sup>1</sup>ぎまい...] さとうきび。宮古諸島の基幹作物。黒糖の原料。外来の言い方。【類】「すっじゃ」。

ぶーギ [bu:gi] [動I類a型] [ぶーぎー、ぶーがん] 洗う。すすぐ。【例】ぶーぎーから ぶし (すすいでから干しなさい)。

ぶーギ [bu:gi] [動I類a型] [ぶーぎー、ぶーがん] 誘う。はやす。【例】すーすぶーギ (獅子舞の誘い手)。

ぶーギ [pu:ki] [名] [ぶーギまい...] 風気。はやり風邪。【例】ぶーギぬ ぱやりー (風邪が流行っている)。

ぶーギ [pu:ki] [動I類c型] [ぶーきー、ぶーかん] はしゃぐ。よろこぶ。調子にのる。【例】ぶーきった (調子に乗った)。

ぶーギ [pu:ki] [動I類c型] [ぶーきー、ぶーかん] 穴を開ける。【例】いげしー ぶーギ (いりで開ける)。【類】「とぅーギ」。

ぶーギ [pu:gi] [名] [ぶーギまい...] 格好をとること。写真に写るときのポーズ。【例】ぶーギう とური (格好をとりなさい)。

ぶーギ [pu:gi] [動I類c型] [ぶーぎー、ぶーがん] まねる。挙動する。～の様子である。

ぶーぎー [bu:gi:] [名] [植] [ぶー<sup>1</sup>ぎーまい...] 麻の木。

ぶーギかたみ [bu:gi:katami] [名] [ぶー<sup>1</sup>ギかたまい...] さとうきびを担ぐこと。束ねたきびを馬車の所まで担ぐ。

ぶーギぐる [bu:gi:ɡuru] [名] [ぶー<sup>1</sup>ギぐるまい...] さとうきびの殻。圧搾した殻。さとうきびの汁をしぼった殻。

ぶーギじゃき [bu:gi:dʒaki] [名] [ぶー<sup>1</sup>ギじゃきまい...] さとうきびを原料にして造った酒。

ぶーギしゃに [bu:gi:ʃani] [名] [ぶー<sup>1</sup>ギしゃにまい...] さとうきびの苗。植えるために切った苗。

ぶーギすぶり [bu:gi:sɯbu] [名] [ぶー<sup>1</sup>ギすぶりまい...] さとうきび搾り。製糖。【類】「しーとー」。

ぶーギとうぶり [pu:ki:tuburi] [名] [地] [ぶー<sup>1</sup>ギとうぶ<sup>1</sup>りまい...] 多良間島の〈とうぶり〉の名前。村史参照。

ぶーギベー [bu:gi:be:] [名] [ぶー<sup>1</sup>ギベーまい...] 誘い手。獅子舞の誘い手。

ぶーきみー [pu:kimi:] [名] [ぶー<sup>1</sup>きみ<sup>1</sup>ーまい...] 開けた穴。

ぶーギヤム [pu:kjam] [名] [ぶー<sup>1</sup>ギや<sup>1</sup>ムまい...] 風気。はやり風邪。

ぶーきり [pu:ki] [動II類c型] [ぶーきー、ぶーきん] はしゃぐ。喜ぶ。喜びいさむ。

ぶーきり [pu:ki] [動II類c型] [ぶーきー、ぶーきん] ほうける。ぼんやりする。

ぶーしえー [bu:ʃe:] [名] [ぶー<sup>1</sup>しえ<sup>1</sup>ーまい...] 数当て遊び。二人が小石を握り持って両方の石を合わせる。

ぶーしゃギ [bu:ʃa:gi] [名] [ぶー<sup>1</sup>しゃ<sup>1</sup>ギまい...] 糸を作ること。糸を紡ぐ工程の一つ。

ふーじゅーしゃー<sup>1</sup>り [fu:dʒu:ʃa:] [形] [ふー<sup>1</sup>じゅー<sup>1</sup>しゃ<sup>1</sup>まい...] 運が強い。強運。

ぶーしん [pu:ʃin] [名] [ぶー<sup>1</sup>しんまい...] 帆船。

ふーずき [fu:dʒiki] [名] [植] [ふー<sup>1</sup>ずきまい...] ぶーず<sup>1</sup>きまい... ほうずき。

ぶーた [bu:ta] [名] [魚] [ぶー<sup>1</sup>たまい...] しらくらべら。

ぶーたつ [pu:tatsʃ] [名] [ぶー<sup>1</sup>た<sup>1</sup>つまい...] 帆立ち。浜下りに供える魚のこと。水納島の行事。

ふーつギ [fu:tsɯkɯ] [名] [ふーつギまい...] 旧暦 11月。冬の季節も言う。

ぶーとうり [bu:tuɽi] [名] [ぶーとうりまい...] 行事の最後。行事の翌日の慰労。

ふーぬすび [fu:nusɯbi] [名] [ふーぬすびまい...] 封結び。厄払いをする縛り方。魔よけ用の結び方。

ふーぱっじゃきり [fu:paddzaki] [動 II 類 a 型] [ふーぱっじゃきー、ふーぱっじゃきん] 食いはぐれる。食い運がない。

ふーぱていり [fu:patei] [動 II 類 c 型] [ふーぱていー、ふーぱていん] 全部食べ終わる。完食する。

ふーばらム [fu:baram] [名] [ふーばら<sup>1</sup>ムまい...] 食事の後の大きくなった腹。

ぶーピギ [bu:pɯkɯ] [名] [ぶーピ<sup>1</sup>ギまい...] 糸を紡ぐこと。

ぶーピギかべった [pu:pɯkɯkabetta] [名] [魚] [ぶーピギかべったまい...] はたたてだい。【類】「かべった」。

ふーふー [fu:fu:] [名] [ふーふ<sup>1</sup>ーまい...] 喰う運。食べる運。思いがけないご馳走にありつくこと。【類】「ふーうん」。

ふーふー [fu:fu:] [擬] 熱い食べ物を冷ます様。

ぶーぶー [bu:bu:] [擬] [ぶーぶーていー...] 蠅や蚊の飛び回る様。

ぶーふしゃ [bu:fuɕa] [名] [植] [ぶーふ<sup>1</sup>しゃまい...] のからむし。麻に似た植物。葉の裏は白い。

ぶーふちき [bu:futɕiki] [名] [ぶーふち<sup>1</sup>きまい...] 糸くず。

ふーふつ [fu:futsɯ] [名] [ふーふ<sup>1</sup>つまい...] 虫にさされた跡。はれ。

ふーべー [fu:be:] [名] [ふーべ<sup>1</sup>ーまい...] 食べる人。働かない者。学生。子どもたち。

ふーべーしゃーり [fu:be:ɕa:] [形] [ふーべ<sup>1</sup>ーしゃまい...] 食べ方の早いこと。早食い。

ふーべーむぬ [fu:be:munu] [名] [ふーべ<sup>1</sup>ーむぬまい...] 早喰い者。食事の早い者。

ふーべーらす [fu:berasɯ] [動 I 類] [ふーべ<sup>1</sup>ーらしー、ふーべ<sup>1</sup>ーらしゃん] [ふーべ<sup>1</sup>ーら<sup>1</sup>す

い...] 食事を早く終わらせる。急いで食べさせる。片付けを気にすること。

ぶーミ [pu:mɯ] [名] [ぶーミ<sup>1</sup>まい...] 風味。味。【例】しゃきぬ かばすぶーミ (酒のいい風味)。

ぶーみギ [bu:mikɯ] [動 I 類 c 型] [ぶーみきー、ぶーみかん] 飛び回る。

ぶームー [bu:mm] [名] [ぶーム<sup>1</sup>ーまい...] 麻糸を績むこと。織り糸を績むこと。

ぶームーまぐ [bu:mmmagu] [名] [ぶーム<sup>1</sup>ーま<sup>1</sup>ぐまい...] つむいだ糸を整えて入れるかご。

ぶームーやま [bu:mm.jama] [名] [ぶーム<sup>1</sup>ーやままい...] 麻糸を績む機械。【類】「たかばた」。「ずばた」。「むみんやま」。

ふーむぬ [fu:munu] [名] [ふーむぬまい...] 食べ物。食糧。食材。【例】ふーむぬー とうみり (食糧を求める)。

ぶームまら [pu:mmara] [名] [ぶームまらまい...] 小さい人。小さく生まれる子のこと。動物にも言う。【類】「ぶームまりむぬ」。

ぶームまり [pu:mmari] [名] [ぶームまりまい...] 小さいこと。体つきが小柄であること。

ぶームまりむぬ [pu:mmarimunu] [名] [ぶームまりむぬまい...] 小さい人。動物にも言う。【類】「ぶームまら」。

ぶームまりムまり [pu:mmarimmari] [名] [ぶームまりムま<sup>1</sup>りまい...] 小さく生まれること。出産のとき小さく生まれること。

ふーめー [fu:me:] [名] [ふーめ<sup>1</sup>ーまい...] 食べ勝負。子どもの食欲を促す。

ふーや ねーん [fu:ja ne:n] [連語] 運のないこと。不運。

ふーゆー [fu:ju:] [名] [ふーゆ<sup>1</sup>ーまい...] 食用。食べ物の準備。【例】どうーが ふーゆー (自分の食べるべきもの)。

ふーよーしゃーり [fu:jo:ɕa:] [形] [ふーよ<sup>1</sup>ーしゃまい...] 運が弱い。不運。

ふーよーむぬ [fu:jo:munu] [名] [ふーよ<sup>1</sup>ーむぬまい...] 運に弱い者。不運な人。

ふーらす [fu:rasɯ] [動 I 類 a 型] [ふーらしー、ふーらしゃん] 震わす。声を震わす。風が戸を振動させる。【例】くいゆ ふーらす (声を震わ

す)。  
 ふーり [fu:] [名] [ふーりまい...] ふり。まね。  
 【例】すんふーり (死んだふり)。っさんふーり (知らないふり)。  
 ぷーり [pu:] [名] [ぷーりまい...] 穂礼。豊年豊作祈願祭り。神へ感謝する。【例】あーぷーり (粟の豊年祭)。むぎぷーり (麦の豊年祭)。ムーぷーり (芋の豊年祭)。  
 ぷーり [pu:] [動I類c型] [ぷーりー、ぷーらん] 放る。散らかす。播く。種子播きをする。【例】たにう ぷーり (種をまく)。むつーう ぷーり (餅を放る)。  
 ぶーれ [burre] [名] [ぶーれまい...] 同年。【類】「ピていっちゅ」。  
 ぶか [puka] [名] [ぶか<sup>1</sup>んまい...] 沖。外海。大洋。【例】ぶかなム (沖の波)。  
 ぶか [puka] [名] [ぶか<sup>1</sup>んまい...] 外。外側。【例】やーぬ ぶか (家の外)。ぶかぬ ピとう (他人)。  
 ぶかー ねーん [puka: ne:n] [連語] 外にない。それ以外はない。やるしかない。【例】あんしーすー ぶかー ねーん (そんなにやる以外はない)。  
 ぶかーぶか [fuka:fuka] [重複] とても深いこと。  
 ぶかありぎ [pukaa[kɨ]] [名] [ぶかあり<sup>1</sup>ぎまい...] 外歩き。干潮時に干瀬の遠い所の漁をする。【類】「ぶかまーり」。  
 ぶかいぎ [fukaikɨ] [名] [ぶかい<sup>1</sup>ぎまい...] 深息。深呼吸。【類】「うぶいぎ」。  
 ぶかいでい [pukaidi] [名] [ぶ<sup>1</sup>かいでいまい...] 外出。産後に初めて外出すること。  
 ぶかいでいぎん [pukaidigɨn] [名] [ぶかいでいぎ<sup>1</sup>んまい...] 外出用の着物。よそ行き用の衣服。  
 ぶかいム [fukaim] [名] [ぶかい<sup>1</sup>ムまい...] 深海。【例】ぶかいムぬ イズう (深海の魚)。  
 ぶかいム [pukaim] [名] [ぶかい<sup>1</sup>ムまい...] 外海。干瀬より外の世界。大洋。大海。外洋。  
 ぶがいらす [fugairasɨ] [動I類c型] [ぶがいらしー、ぶがいらしゃん] 怒らせる。騒がせる。いやがらせる。【例】うぐなーり とうくなん ぶがいらす (集会所に怒らせる)。

ぶがいり [fugai] [動II類c型] [ぶがいー、ぶがいん] 怒る。逆らう。争う。反抗する。【例】ぶがいりーてーん (怒ってばかり)。  
 【類】「がいり」。  
 ぶがいり [bugai] [動II類c型] [ぶがいー、ぶがいん] ぶり返す。病気が再発する。【例】やムぬ ぶがいりー (病気が再発した)。  
 ぶかうむくとう [fukaumukutu] [名] [ぶかうむく<sup>1</sup>とうまい...] 深学問。専門の修業。知識の豊かなこと。  
 ぶかがー [fukaga:] [名] [ぶかが<sup>1</sup>ーまい...] 深井戸。掘り抜き井戸の深さのこと。  
 ぶかがくむん [fukagakumun] [名] [ぶかがくむ<sup>1</sup>んまい...] 深い学問。高学歴。  
 ぶかかす [fukakasɨ] [動I類c型] [ぶかかしー、ぶかかしゃん] 風に当てる。【例】かでいん ぶかかし (風に当てよ)。  
 ぶかかす [pukakasɨ] [動I類c型] [ぶかかしー、ぶかかしゃん] 突き破る。【例】いしぬ がらすう ぶかかす (投げた石がガラスを割る)。  
 ぶかかてい [fukakadi] [名] [ぶかか<sup>1</sup>ていまい...] 深耕。土地を深く掘ること。畑を深く耕すこと。  
 ぶかかながい [fukakangai] [名] [ぶかかなが<sup>1</sup>いまい...] 深い思いつき。熱心に考える。深くつきとめること。  
 ぶかぎ [fukagi] [名] [ぶか<sup>1</sup>ぎまい...] 吹き上げ餅。餅にあずきを付けたもの。十五夜に作って食べる。  
 ぶかぎ [fugagi] [名] [ぶかぎまい...] 首振り。頭を前に振る。凧が空中に首振りする。相手に同意することを知らせる。〈ふぎ〉(首)と〈あぎ〉(上げ)からできた語。  
 ぶかきず [fukakidzɨ] [名] [ぶかき<sup>1</sup>ずまい...] 深傷。重病の傷。  
 ぶかぎり [fukagi] [動II類c型] [ぶかぎー、ぶかぎん] 吹き上げる。強風に物が吹き上げられること。【例】てんとぬ ぶかぎり (テントが吹き上がる)。  
 ぶかぎり [fugagi] [動II類a型] [ぶかぎー、ぶかぎん] 頷く。首を縦に振る。

ぶかぐー [pukagu:] [名] [ぶかぐ<sup>1</sup>まい...] 白波がたっている所。干瀬の端っこ。外海との境界。【類】「ぶかびし」。

ぶかくび [pukakubi] [名] [ぶかく<sup>1</sup>びまい...] 外壁。【例】やーぬ ぶかくび (家の外壁)。

ふかじみ [fukadzimi] [名] [ふかじみまい...] 深爪。爪を深く切ること。【同】「ふかずみ」。

ふかしゃ [fukaça] [名] [ふか<sup>1</sup>しゃまい...] 深さ。

ふかしゃーり [fukaça:] [形] [ふか<sup>1</sup>しゃまい...] 深い。土の中の深い所。【例】ふかいム (深い海)。ふかやま (深山)。ふかしゃ ねーん (深くない)。ムじょー ふかしゃーり (溝は深い)。

ふかしゃーり [fukaça:] [形] [ふか<sup>1</sup>しゃまい...] 難しい。

ふかじゃう [fukadzau] [名] [ふかじゃ<sup>1</sup>うまい...] 長い門。奥まった門構え。【同】「ふかじょー」。

【類】「ながじゃう」。「ながじょー」。

ふかじゃき [fukadzaki] [名] [ふかじゃ<sup>1</sup>きまい...] 深酒。酒の飲み過ぎ。【例】ゆべー ふかじゃき あたり (昨夜は深酒だった)。

ふかじょー [fukadzo:] [名] [ふかじょ<sup>1</sup>まい...] 長い門。奥まった門構え。【同】「ふかじゃう」。

【類】「ながじゃう」。「ながじょー」。

ふかす [fukas] [動I類c型] [ふかしー、ふかしゃん] 吹かせる。鳴らす。【例】ぶらう ふかす (ほら貝を吹き鳴らす)。

ふかす [fukas] [動I類c型] [ふかしー、ふかしゃん] 吸わす。タバコを吸う。【例】たばくー ふかす (タバコを吸わせる。喫煙させる)。

ふかす [fukas] [動I類c型] [ふかしー、ふかしゃん] 家を葺かす。家を建てさせる。【例】けーやーう ふかす (茅葺きの家を作らせる)。

ふかす [fukas] [動I類c型] [ふかしー、ふかしゃん] 湧かす。沸かす。蒸かす。【例】ゆーゆ ふかす (湯を沸かす)。

ふかす [fukas] [動I類c型] [ふかしー、ふかしゃん] くぐらせる。穴を通す。針の穴を通す。【例】ぱりぬ みーゆ ふかす (針の穴を通す)。

ふかす [fukas] [動I類c型] [ふかしー、ふかしゃん] 大小の便をもらす。【例】すばりる ふかす (小便をもらす)。

ふかす [fukas] [動I類c型] [ふかしー、ふかしゃん] 束ねたものをほどく。【例】ふしやたばりる ふかす (草束をほどく)。

ふかす [fukas] [動I類c型] [ふかしー、ふかしゃん] 拭かせる。体を拭かせる。【例】あしう ふかす (汗を拭かす)。

ぶがす [pugas] [動I類c型] [ぶがしー、ぶがしゃん] 穿つ。穴を開ける。

ぶかすかま [pukas:kama] [名] [ぶかすか<sup>1</sup>まい...] 外仕事。野外の仕事。外働き。海や畑の仕事。〈やーすかま〉に対して言う。【類】「ぶかすぐとう」。「ぶかわじゃ」。

ぶかすぐとう [pukas:gutou] [名] [ぶかすぐ<sup>1</sup>とうまい...] 外仕事。外働き。海や畑の仕事。〈やーすぐとう〉に対して言う。【類】「ぶかすかま」。「ぶかわじゃ」。

ぶかすま [pukadzima] [名] [ぶかす<sup>1</sup>まい...] 外の島。他の島。他所の地域。

ふかずみ [fukadzimi] [名] [ふかずみまい...] 深爪。爪を深く切ること。【同】「ふかじみ」。

ふかすみず [fukas:midzu] [名] [ふかすみ<sup>1</sup>ずまい...] 沸かした水。お湯。【例】ふかすみずうどう ぬム (沸かした水を飲む)。

ぶかでいー [pukadi:] [名] [ぶかでい<sup>1</sup>まい...] 相撲の大外がり。土原豊見親の牛と闘ったときの技。伝説。〈うどうる〉少年は牛と闘ったときに〈ぶかでいー〉で投げつけたと。

ぶかばい [pukapai] [名] [ぶかばい<sup>1</sup>まい...] 外出。産後の初めの外出。

ぶかばたらギ [pukabataraki] [名] [ぶかばたら<sup>1</sup>ギまい...] 外働き。外で働くこと。

ぶかばり [pukabari] [名] [ぶかば<sup>1</sup>りまい...] 干瀬の外側の割れ目。

ぶかびし [pukabiçi] [名] [ぶかび<sup>1</sup>しまい...] 遠い所の干瀬。白波の立つ所。外海との境界。【類】「なムぬぶりふつ」。

ぶかまーり [pukama:] [名] [ぶかまー<sup>1</sup>りまい...] 外回り。家に居ないこと。会わないように外を歩くこと。外海で漁をすること。

ぶがましやーり [fugamaça:] [形] [ぶがま<sup>1</sup>しゃまい...] うるさい。煩わしい。文句がましい。

【例】心がますういピとう（口うるさい老人）。  
 心がますむぬ [fugamasɯmunu] [名] [心がますむぬまい...] うるさい人。気が難しい人。口やかましい人。【類】「心がますムまり」。  
 心がますムまり [fugamasɯmmari] [名] [心がますムまりまい...] うるさい人。気が難しい人。【類】「心がますむぬ」。  
 心がまっしゃーり [fugamaɕça:] [形] [心がまっしゃまい...] うるさい。煩わしい。文句がましい。【例】心がまっしゃぬ（うるさくてたまらないなあ。うるさいなあ）。  
 ふかみー [fukami:] [名] [ふかみーまい...] 深い目。普通の人よりくぼんだ目の人。  
 ぷかムまが [pukammaga] [名] [ぷかムまがまい...] 外孫。外に居る孫たちのこと。〈やームまが〉に対して言う。  
 ふかむんだい [fukamundai] [名] [ふかむんだいまい...] 深い問題。難しい問題。難題。  
 ふかやま [fukajama] [名] [ふかやままい...] 深山。深い森。深い林。【類】「やまぬみー」。  
 ふがらか [fugaraka] [形] [ふがらかまい...] ほがらか。楽しい。【例】かれー いつまい へがらか（彼はいつも朗らかだ）。  
 ぷからしゃーり [pukaraɕa:] [形] [ぷからしゃまい...] 誇らしい。うれしい。よろこばしい。【例】ぷからしゃん ならん（とても喜ばしい）。ぷからすばなす（うれしい話）。  
 へがらす [fugarasɯ] [動 I 類 c 型] [へがらしー、へがらしゃん] 精神的に苦しめる。  
 ぶがらす [bugarasɯ] [動 I 類 c 型] [ぶがらしー、ぶがらしゃん] 疲れさせる。疲労させる。【例】ぬったいてーが あぬー ぶがらすば（どうしてぼくを苦勞させるのか）。  
 ぷからすぐとう [pukarasɯgutu] [名] [ぷからすぐとうまい...] 誇らしごと。うれしい事。楽しい出来事。祝い事。【例】ぷからすぐとうぬ つずギ（うれしいことが続く）。  
 ぷからすばなす [pukarasɯbanasɯ] [名] [ぷからすばなすまい...] 誇らし話。うれしい話。うれしい便り。めでたい話。朗報。  
 ぷからすみばな [pukarasɯmipana] [名] [ぷから

すみばなまい...] 誇らし顔。うれしい顔。笑顔。にこにこしていること。  
 ぷからすむぬ [pukarasɯmunu] [名] [ぷからすむぬまい...] 誇らしいこと。うれしいこと。【例】ぷからすむぬがー（うれしいなあ）。  
 へかり [fuka] [名] [へかりまい...] 深み。深い所。【例】へかりんけー いギな（深い所に行くな）。  
 ぶがり [bugari] [名] [ぶがりまい...] 疲れ。疲労。きついこと。くたびれ。【例】ぶがりすぐとう（きつい仕事）。  
 ぶがりなうす [bugarinausɯ] [名] [ぶがりなうすまい...] 疲れ直し。疲れいやし。慰勞。働いた後に飲む酒。  
 へがりり [fugari] [動 II 類 c 型] [へがりー、へがりん]（精神的に）苦しむ。  
 ぶがりり [bugari] [動 II 類 c 型] [ぶがりー、ぶがりん] 疲れる。くたびれる。疲労。【例】ぶどうりみーまい ぶがりどうす（おどろの見物も疲れる）。  
 ぷかわじゃ [pukavadza] [名] [ぷかわじゃまい...] 外仕事。外働き。【類】「ぶかすかま」。「ぶかすぐとう」。  
 へかん [fukan] [名] [へかんまい...] 保管。大切にしまう。  
 ぷかんけー ふう [pukanke: futsɯ] [連語] 外へ向くこと。外向き。よそ向き。  
 へギ [fukɯ] [名] [へギまい...] 莖。芽ぶく。梢。【例】すっじゃぬ へギ（さとうきびの莖）。【類】「びつ」。  
 へギ [fukɯ] [動 I 類 c 型] [へぎー、へかん] 吹く。風が吹く。息を吹く。吹き鳴らす。【例】ぶらう へギ（法螺貝を吹く）。ラッパう へギ（ラッパを鳴らす）。  
 へギ [fukɯ] [動 I 類 c 型] [へぎー、へかん] 吸う。タバコを吸う。  
 へギ [fukɯ] [動 I 類 c 型] [へぎー、へかん] 家を葺く。家を作る。家を建てる。【例】やーう へギ（家を建てる）。  
 へギ [fukɯ] [動 I 類 c 型] [へぎー、へかん] 湯が沸く。沸騰する。【例】ゆーや へぎった（お湯

が沸いた)。

ふぎ [fukɯ] [動I類c型] [ふき一、ふかん] 拭く。汗を拭く。【例】ばぎう ふぎ (足を拭く)。あしう ふぎ (汗を拭く)。

ふき [fuki] [名] [ふ<sup>1</sup>きまい...] ふけ。乾燥したときに皮ふにできるふけ。【類】「つすうくー」。

ふき [fuki] [名] [ふ<sup>1</sup>きま<sup>1</sup>い...] 老け。老けること。【例】ふきピとう (老けた人)。

ふぎ [fugɯ] [名] [ふ<sup>1</sup>ぎまい...] 首。頸。襟。【例】ふぎう だり (首をたれる)。ていぬ ふぎ (手首)。ぎんぬ ふぎ (着物の襟)。【類】「ぬどうふぎ」。「ふぎぶに」。

ふぎ [fugɯ] [名] [ふ<sup>1</sup>ぎまい...] 釘。【例】たきふぎ (竹釘)。きふぎ (木釘)。かにふぎ (金釘)。

ぶき [buki] [名] [ぶ<sup>1</sup>きま<sup>1</sup>い...] ぼけ。痴呆。もうろくになること。【例】ぶきういピとう (ぼけ老人)。

ぶき [puki] [名] [ぶ<sup>1</sup>きま<sup>1</sup>い...] ほこり。埃。ぬか。米ぬか。粟ぬか。麦ぬか。細かいもの。【例】ムたぶき (土ほこり)。

ふぎあがり [fukɯagaɽi] [動I類a型] [ふ<sup>1</sup>ぎあがり一、ふ<sup>1</sup>ぎあがらん] 吹き上がる。噴き上がる。沸きこぼれる。【例】かでいん ふぎあがり (風に吹き上がる)。しゅぬ ふぎあがり (潮が噴き上がる)。

ふぎあぎり [fukɯagiɽi] [動II類a型] [ふ<sup>1</sup>ぎあぎ一、ふ<sup>1</sup>ぎあぎん] 家をふきあげる。建築の終了。【例】やーや ふぎあぎった (家は葺き終わった)。

ぶきあみ [pukiami] [名] [ぶ<sup>1</sup>きあ<sup>1</sup>みまい...] 小雨。霧雨。こぬか雨。細雨。【類】「くまあみ」。

ふき一き [fuki:ki] [名] [ふ<sup>1</sup>き一<sup>1</sup>きまい...] 不景気。

ふき一ざい [fuki:dzai] [名] [ふ<sup>1</sup>き一<sup>1</sup>ざいまい...] 不経済。

ふぎかい [fukɯkai] [名] [ふ<sup>1</sup>ぎか<sup>1</sup>いまい...] 家のふき替え。

ふぎかいす [fukɯkaisɯ] [動I類c型] [ふ<sup>1</sup>ぎかいし一、ふ<sup>1</sup>ぎかいしやん] 吹き返す。返し風が起こる。

ふぎがら [fukɯgara] [名] [ふ<sup>1</sup>ぎが<sup>1</sup>らまい...] 吸殻。たばこの吸い殻。

ふぎくム [fukɯkum] [動I類c型] [ふ<sup>1</sup>ぎくみ一、ふ<sup>1</sup>ぎくまん] 吹き込む。風が家の中に吹き込む。録音する。【例】くびから かでいぬ ふぎくム (壁から風が吹き込む)。

ふぎぐる [fukɯgururu] [名] [ふ<sup>1</sup>ぎぐ<sup>1</sup>るまい...] 吸い殻。タバコの吸い殻。

ふきしゃう [fukiçau] [名] [ふ<sup>1</sup>きしゃ<sup>1</sup>うまい...] 老け性。【同】「ふきしょー」。

ふきしゃうず [fukɯçaudzɯ] [名] [ふ<sup>1</sup>きしゃう<sup>1</sup>ずまい...] 拭き掃除。雑巾を使って掃除する。【同】「ふきしょーず」。

ふきしょー [fukiço:] [名] [ふ<sup>1</sup>きしょ<sup>1</sup>ーまい...] 老け性。【同】「ふきしゃう」。

ふきしょーず [fukɯço:dzɯ] [名] [ふ<sup>1</sup>きしょー<sup>1</sup>ずまい...] 拭き掃除。雑巾を使って掃除する。【同】「ふきしゃうず」。

ふぎたうす [fukɯtausɯ] [動I類c型] [ふ<sup>1</sup>ぎたうし一、ふ<sup>1</sup>ぎたうしやん] 吹き倒す。【同】「ふぎと一す」。

ふきだぎ一 [fukidagi:] [名] [植] [ふ<sup>1</sup>きだぎ<sup>1</sup>ーまい...] りゆうきゆうこくたん。黒木。三線の材料。

ぶきだり [pukidari] [名] [ぶ<sup>1</sup>きだ<sup>1</sup>りまい...] ほこりだらけ。【例】かなまりぬ ぶきだり (頭はほこりだらけ)。

ぶきだりり [pukidariɽi] [動II類c型] [ぶ<sup>1</sup>きだり一、ぶ<sup>1</sup>きだりん] ほこりだらけである。

ふきつ [fukitsɯ] [名] [ふ<sup>1</sup>きつまい...] 補欠。穴うめ。予備。【例】ふきつしえんしゅ (補欠の選手)。

ふきつ [fukitsɯ] [形] [ふ<sup>1</sup>きつまい...] 不吉。

ふきつ [fukitsɯ] [形] [ふ<sup>1</sup>きつまい...] 不潔。汚いこと。昔は風呂はなかった。

ふきつつ [fukitsɯtsɯ] [名] [ふ<sup>1</sup>きつつまい...] すす。鍋の底のすす。

ふきつむぬ [fukitsɯmunu] [名] [ふ<sup>1</sup>きつむ<sup>1</sup>ぬまい...] 不潔者。【類】「すかたむぬ」。「なばだりむぬ」。

ふぎでいり [fukɯdiɽi] [動II類c型] [ふ<sup>1</sup>ぎでい一、ふ<sup>1</sup>ぎでいん] 芽吹く。芽生える。芽が出る。【例】みぬ ふぎでいり (芽吹く)。

ふギとうばす [fukɯtubasɯ] [動I類c型] [ふギとうばしー、ふギとうばしゅん] 吹き飛ばす。子どもの病気を親が吹き飛ばす。【例】につうばー ていーん んーしー ふギとうばす (熱は手のひらに乗せて吹き飛ばす)。

ふギどうみ [fugɯdumi] [名] [ふギどうみまい...] 釘止め。釘付け。嚴重にする。

ふギとーす [fukɯto:sɯ] [動I類c型] [ふギとーしー、ふギとーしゅん] 吹き倒す。【同】「ふギたうす」。

ふギなー [fukɯna:] [名] [ふギな<sup>1</sup>ーまい...] 葺く縄。茅ぶきの家の屋根をしめつける縄。〈あだんやぬ あず〉の歌に出てくる。

ふきふき [fukifuki] [擬] [ふきふきていー...] くぐり抜ける様子。群衆の中を子供がくぐり抜ける。

ぷきぷき [pukipuki] [擬] [ぷきぷきまい...] 小雨が降りはじめの様。

ふギぶに [fugɯbuni] [名] [ふギぶにまい...] 首。頸。襟。【類】「ぬどうふギ」。

ふギみず [fukɯmidzɯ] [名] [ふギみ<sup>1</sup>ずまい...] 沸く水。お湯。

ふきみつ [fukimitsɯ] [名] [ふきみ<sup>1</sup>つまい...] 抜け道。小路。

ふギムビー [fugɯmbɯ:] [名] [ふギムビ<sup>1</sup>ーまい...] 首のしびれ。

ふきゅー [fukju:] [名] [ふきゅーまい...] 補給。

ふギゅー [fukju:] [名] [ふギゅ<sup>1</sup>ーまい...] 沸く湯。お湯。

ぶきゅー [bukiju:] [形] [ぶきゅーまい...] 不器用。

ふきり [fuki] [動II類c型] [ふきー、ふきん] 穴をくぐり抜ける。魚が網を抜ける。【例】きーぬ みーゆ ふきり (木の中を抜ける)。あムぬ みーゆ ふきり (網の目を抜ける)。

ふきり [fuki] [動II類c型] [ふきー、ふきん] 大便小便を途中でもらす。【例】すばりぬ ふきー (おしっこをもらした)。

ふきり [fuki] [動II類c型] [ふきー、ふきん] 老ける。ぼける。痴呆になる。【例】いつがみまい ふきん (いつまでも老けない)。しゅーや

ふきーらん (おじいさんはぼけていない)。

ふきり<sup>o</sup> [fuki] [動II類c型] [ふきー、ふきん] ほどける。結んだ糸がほどける。ベルトがはずれる。【例】いとうぬ ふきり (糸がほどける)。しゅぶぎぬ ふきり<sup>o</sup> (帯がほどける)。

ふきん [fukin] [名] [ふき<sup>1</sup>んまい...] 布巾。机や台を拭くもの。

ふきん [fukin] [名] [ふき<sup>1</sup>んまい...] 保険。保険をかけること。

ぷきん なり [pukin na] [連語] ほこりになる。見えなくなる。動きの素早いこと。行動の素早い人。脱兎の如く。【類】「ぷけーとうム みーらいん」。

ふギんギ [fukɯnkɯ] [動I類c型] [ふギんきー、ふギんかん] 吹き込む。風がいえの中に吹き込む。

ふギんギ [fugɯngɯ] [名] [ふギん<sup>1</sup>ぎまい...] 釘抜き。釘を抜くこと。ペンチなどで釘を抜くこと。

ふく [fuku] [名] [ふくま<sup>1</sup>い...] 福。幸福。幸せ。【例】ふくー つきり (幸福を願う)。

ふく [fuku] [名] [ふ<sup>1</sup>くまい...] 服。洋服。

ふく [fuku] [名] [ふくまい...。ふ<sup>1</sup>くまい...] 肺。肺臓。脊椎動物にとって大切な呼吸器官。【例】ギむとう ふく (肝と肺)。

ふぐ [fugu] [名] [魚] [ふぐまい...] ふぐ。ふぐの仲間。

ぷく [puku] [名] [ぷくまい...] 茅葺きの屋根の茅を押える木材。

ふくい [fukui] [名] [ふく<sup>1</sup>いまい...] すず。天井にこびりついているほこり。

ぷくぎぎー [pukugigi:] [名] [植] [ぷくぎぎ<sup>1</sup>ーまい...] ふくぎ。福木。多良間村の村木。【例】しゅがーうたきぬ ぷくぎぎー (塩川御嶽の福木並木)。

ふくきり [fukuki] [動II類a型] [ふくきー、ふくきん] ふくれる。大きくなる。【類】「ふくぱり」。

ふくく [fukuku] [名] [ふくくま<sup>1</sup>い...] ふくろ。袋。衣服の袋。ポケット。

ふくく [fukuku] [名] [ふくくま<sup>1</sup>い...] 浜にうち

- あげられた海藻。海苔。
- ふくた [fukuta] [名] [ふく<sup>1</sup>たまい...] ぼろ。ぼろ切れ。
- ふくな [fukuna] [名] [植] [ふくなま<sup>1</sup>い...] はるののげし。
- ふくなぬ あいじゅー [fukunanu aidzu:] [名] [ふくなぬあいじゅ<sup>1</sup>まい...] はるののげしの和え物。
- ふくにん [fukunin] [名] [ふくにんまい...] 福人。幸福な人。金持。
- ふくぬかム [fukunukam] [名] [ふくぬか<sup>1</sup>ムまい...] 福の神。
- ふくばらす [fukuparasu] [動I類a型] [ふくばらしー、ふくばらしゃん] 膨らませる。息を吹き込んで膨らませる。ゴム風船を膨らませる。【例】かまつう ふくばらす (ほっぺを膨らませる)。【類】「ばずます」。
- ふくぱり [fukupari] [動I類a型] [ふくぱりー、ふくぱらん] 膨らむ。頬を膨らますことから、子供がだだをこねることにいう。【例】ぐむまーりぬ ふくぱり (ゴム鞆が膨らむ)。かまつぬ ふくぱり (ほっぺが膨らむ)。【類】「ばずム」。
- ふくふく [fukufuku] [擬] [ふくふくていー...] 福々。ほくほく。心にゆとりがあること。
- ぶくぶく [bukubuku] [擬] [ぶくぶくていー...] 泡だつ様。蟹の出す泡。お茶の泡。
- ふくます [fukumasu] [動I類c型] [ふくましー、ふくましゃん] 口に物を入れる。【例】つーう ふくます (おっぱいを含ませる)。
- ふぐます [fugumasu] [動I類a型] [ふぐましー、ふぐましゃん] へこます。くぼます。車のタイヤが地面をくぼます。【例】みつう ふぐます (道路をへこませる)。
- ふぐまらす [fugumarasu] [動I類a型] [ふぐまらしー、ふぐまらしゃん] ほけませる。くぼませる。【例】こーじう しー みつう ふぐまらす (工事によって道路を窪ませる)。
- ふくまり [fukumari] [動I類c型] [ふくまりー、ふくまらん] はれる。皮膚がはれる。【類】「ふくりり」。
- ふぐまり [fugumari] [動I類c型] [ふぐまりー、ふぐまらん] へこむ。くぼむ。
- ふくみかす [fukumikasu] [動I類c型] [ふくみかしー、ふくみかしゃん] 畑を耕して土を軟らかくする。
- ふくみギ [fukumiki] [動I類c型] [ふくみきー、ふくみかん] 畑を耕して土がやわらかくなる。
- ふくみギ [fukumiki] [動I類c型] [ふくみきー、ふくみかん] 福めく。金持になる。
- ふくみり [fukumi] [動II類c型] [ふくみー、ふくみん] 含める。範囲。【例】すまー ムーな ふくみー ぱなし (島全体を含めて話しなさい)。
- ふくム [fukum] [動I類c型] [ふくみー、ふくまん] 銜える。口に物を含む。言葉をつつしむ。【例】ふくまんぐとう ぱなし (口に含まないで話しなさい)。
- ふぐム [fugum] [名] [ふぐ<sup>1</sup>ムまい...] 窪み。穴。窪地。低い土地。
- ふぐム [fugum] [名] [ふぐムまい...] 笑窪。【類】「ばるーふぐム」。
- ふぐム [fugum] [動I類a型] [ふぐみー、ふぐまん] 窪む。
- ふぐムずー [fugumdz:] [名] [ふぐムずーまい...。ふぐムず<sup>1</sup>まい...] 窪地。窪んだ土地。低い土地。低い所の畑。
- ふくらいり [fukurai] [動II類a型] [ふくらいー、ふくらいん] 金をごまかされる。【例】ふくらいー ねーん (ごまかされてしまった)。
- ふくらす [fukurasu] [動I類a型] [ふくらしー、ふくらしゃん] 水につけて置くこと。水分をふくませる。豆を水につけて置く。【例】まみう ふくらす (豆を水につけておく)。
- ふくらす [fukurasu] [動I類a型] [ふくらしー、ふくらしゃん] 福増やす。金持になる。
- ふくらます [fukuramasu] [動I類a型] [ふくらましー、ふくらましゃん] 膨らませる。脹らませる。
- ふくり [fuku] [動I類a型] [ふくりー、ふくらん] ごまかす。金をごまかす。詐欺。【例】ふくuraiー ねーん (詐欺に会ってしまった)。
- ふくり [fuku] [動I類a型] [ふくりー、ふくらん] 囲む。集める。魚を網に追い込む。【例】ヴ

えー きー ふくり (集めてきて囲みなさい)。  
 ふくり [fuku] [動I類 a型] [ふくりー、ふくらん] 縛る。  
 ふぐり [fugu] [名] [ふぐりま<sup>い</sup>...] 陰のう。「舉丸」は誤り。  
 ふぐり [fugu] [名] [ふぐりまい...] 竿秤のおもり。  
 ふくりあむ [fuku[am]] [名] [ふくりあむまい...] 袋網。四つ手網。  
 ふぐりあむ [fugu[am]] [名] [ふぐりあむまい...] 四つ手網。【類】「うしやム」。  
 ふぐりだに [fugu[dani]] [名] [ふぐりだにまい...] 精巢。  
 ふぐりとうり [fugu[tu]] [名] [ふぐりとう<sup>り</sup>まい...] 陰のう取。去勢。種取り。【類】「たにとり」。  
 ふくりな一 [fuku[na:]] [名] [ふくりな一まい...] おおいかりなまこ。  
 ふくりり [fukuri] [動II類 a型] [ふくりー、ふくりん] 腫れる。むくむ。むくみ。【例】むすん しゃしゃいー ふくりり (虫に刺されて腫れる)。  
 ふくりり [fukuri] [動II類 a型] [ふくりー、ふくりん] 水につけた干物がふくらむ。  
 ふくりり [fukuri] [動II類 a型] [ふくりー、ふくりん] 肥料の効き過ぎて作物が実らない。徒長。甘やかされて育つ子にも言う。【例】ふくりむのー しゅだたん (厳しさのない物は実らない)。  
 ふくりり [fukuri] [動II類 a型] [ふくりー、ふくりん] 金がたまる。金持になる。太くなる。【例】じんふくるぬ ふくりり (財布がふくれる)。  
 ふくりり [fukuri] [動II類 a型] [ふくりー、ふくりん] 子どもがだだをこねること。ぐずる。【例】イーくとうー ギかん ふくりり (言うことを聞かずにふくれる)。  
 ふくる [fukuru] [名] [ふくるま<sup>い</sup>...] 袋。紙袋。ポケット。肥料袋。レジ袋。  
 ふくるー [fukuru:] [名] [鳥] [ふくる<sup>り</sup>まい...] ふくろう。りゅうきゅうこのはずく。【類】「にかつつく」。

ふくるく [fukuruku] [名] [ふくる<sup>く</sup>まい...] 福祿。家庭繁栄。富貴繁栄。  
 ふくるくじゅ [fukurukudzu] [名] [ふくるく<sup>く</sup>じゅまい...] 福祿寿。八月おどりの演目の一つ。家庭繁栄・富貴繁栄・健康長寿。  
 ふくるしゅでい [fukuruçudi] [名] [ふくるしゅ<sup>り</sup>でいまい...] 袋袖。和服。  
 ふくるずー [fukurudzu:] [名] [ふくるず<sup>り</sup>まい...] 袋地。他の畑に囲まれた畑。【類】「ばるムなかずー」。  
 ぶげーとうム みーらいん [puke:tum mirain] [連語] 埃さえ見えない。動きの素早いこと。【類】「ぶきんなり」。  
 ふげーらす [fuge:ras] [動I類 c型] [ふげーらしー、ふげーらしやん] 騒がせる。暴れさせる。【例】じゃーう ふげーらす (集会の場を騒がせる)。  
 ふげーり [fuge:] [動I類 c型] [ふげーりー、ふげーらん] 騒ぐ。混乱になる。暴れる。【例】びーふしゃりー ふげーりり (酔いつぶれて暴れる)。  
 ふげーりむぬ [fuge:[munu]] [名] [ふげーりむ<sup>ぬ</sup>まい...] 騒々しい者。落ちつきのない人。乱暴者。  
 ふげーりり [fuge:ri] [動II類 c型] [ふげーりー、ふげーりん] 騒ぐ。ふざける。紛糾。乱暴になる。【例】うぐなーりとうくなん ふげーりり (集会の場にふざける)。  
 ふこー [fuko:] [名] [ふこーまい...] 不孝。親不孝。不孝者。  
 ふこー [fuko:] [名] [ふこーまい...] 不幸。不幸せ。【例】ふこーぬ あり (死んだ人がある)。  
 ふこーひー [fuko:hi:] [名] [ふこーひ<sup>り</sup>まい...] 不公平。  
 ふし [fuçi] [名] [ふしまい...] くせ。【例】ピとうふし (ひとくせ)。ななふし (ななくせ)。  
 ふしあがりむぬ [fuçia[munu]] [名] [ふしあがりむ<sup>ぬ</sup>まい...] くせのある者。【類】「ふしあれ」。  
 ふしあがりむぬ [fuçia[munu]] [名] [ふしあ<sup>り</sup>むぬまい...] 節のある植物。禾本科の植物のこと。  
 ふしあれ [fuçiare] [名] [ふしあ<sup>れ</sup>まい...] くせ

のある者。【類】「ふしありむぬ」。

ふしえーギ [fuçe:kɣ] [動I類 a型] [ふしえーき一、ふしえーかん] 茂る。繁茂する。草木が生い茂る。【類】「ふしえーり」。

ふしえーり [fuçe:] [名] [鳥] [ふしえーりまい...] 鳥。しろはら。林の中の枝から枝へ飛び回る。

ふしえーり [fuçe:] [動I類 a型] [ふしえーり一、ふしえーらん] 茂る。繁茂する。草木が生い茂る。【類】「ふしえーギ」。

ふしだりむぬ [fuçida[munu] [名] [ふしだりむ<sup>1</sup>ぬまい...] 難癖ばかりつける人。

ふしだりむぬ [fuçidarimunu] [名] [ふしだ<sup>1</sup>りむぬまい...] (さとうきびなど) 節だらけの植物。節の多い植物。節と節の間の短いこと。

ふしつきり [fuçitsɣki] [動II類 c型] [ふしつき一、ふしつきん] 難癖(なんくせ)をつける。

ふしみ [fuçimi] [名] [ふしみう...] 節目。区切。【例】ふしみう つきり(節目をつける)。

ふしむぬ [fuçimunu] [名] [ふ<sup>1</sup>しむぬまい...] くせ者。怪しい者。【例】くぬ ばなすエー ふしむぬど一(あの話はくせものだ)。

ふしや [fuça] [名] [ふしやまい...。ふしやゆーり<sup>1</sup>ら...] 草。雑草。野草。牧草。家畜のえさになる草。

ふしや [fuça] [名] [病] [ふしやまい...] くさ。瘡。風土病。フィラリア。【類】「ふしややム」。

ふしや [fuça] [名] [ふしやまい...] 巫女。かんなぎ。のろ。司祭。【類】「かムかかれ」。

ぶしや [buça] [名] [ぶしやまい...] スツウブナカの準備をする中心的な人物。スツウブナカの神酒造り担当。

ぶしや [puça] [名] [昆虫] [ぶ<sup>1</sup>しやまい...] あおどうがねの幼虫。

ぶしや [puça] [名] [ぶ<sup>1</sup>しやまい...] 量を表す。【例】ゆぬぶしや(同じ量)。

ぶしやいム [buçaim] [名] [ぶしやいムまい...] スツウブナカのブシャ座の漁のこと。

ぶしやいり [puçai] [動II類 c型] [ぶしやい一、ぶしやいん] 日干しにされる。洗濯物や日干しの食べ物のこと。日陰のない所で働いたり、子どもが遊んだりすること。

ふしやがらす [fuçagarasɣ] [動I類 a型] [ふしやがらし一、ふしやがらしやん] 塞がらせる。閉じさせる。【例】かでいぬ やどう一 ふしやがらす(風が戸を閉じさせる)。

ふしやかり [fuçaka] [名] [ふしやか<sup>1</sup>りまい...] 草刈。【例】ぴんだぬ ふしやかり(山羊の草刈)。じゅ、ふしやかりが(さあ、草刈に行こう)。

ふしやがり [fuçaga] [動I類 a型] [ふしやがり一、ふしやがらん] 塞がる。閉じる。【例】みーらいんに一 ふしやがりな(見えないから塞がるな)。

ふしやかれ [fuçakare] [名] [ふしやか<sup>1</sup>れまい...] 草刈上手。手馴れた草刈。

ふしやき [fuçaki] [名] [ふしやきまい...] 草木。野の草木。草や木。

ふしやぎ [fuçagɣ] [動I類 a型] [ふしやぎ一、ふしやがん] 塞ぐ。閉じる。【例】みつう ふしやぎな(道を塞ぐな)。

ふじやきり [fudzaki] [動II類 c型] [ふじやき一、ふじやきん] ふぎける。野次をとばす。【例】いム一 ふじやきり(海にはふぎけるな)。

ぶしやじゃー [buçadza:] [名] [ぶしやじゃーまい...] ぶしやの座。スツウブナカの準備をする中心的な役割。組織。

ふしやしやーり [fuçaça:] [形] [ふしや<sup>1</sup>しやまい...] 臭。【例】ふしやしや(臭さ)。ふしやしやぬ(臭いなあ)。ばぎだぬ ふしやしやーり(脇が臭い)。ぴーぬ ふしやしやーり(屁が臭い)。

ふしやしやヴヴィ [fuçaçavvɣ] [名] [ふしやしやヴ<sup>1</sup>ヴィまい...] 草取り。除草。【例】あーぬ ふしやしやヴヴィ(粟の草取り)。みなかぬ ふしやしやヴヴィ(庭の草取り)。

ふしやじゃら [fuçadzara] [名] [ふしやじゃ<sup>1</sup>らまい...] 畑が草木で荒れていること。

ぶしやだてい [buçadati] [名] [ぶしやだていまい...] スツウブナカのブシャ座の員数を揃えること。

ふしやだに [fuçadani] [名] [ふしやだ<sup>1</sup>にまい...] 雑草の種子。【例】ふしやだにぬ むいり(雑草が生える)。

ぶしやだむぬ [buçadamunu] [名] [ぶしやだむぬまい...] スツウブナカのブシャ座の神酒をつくる薪のこと。

ぶしやだり [fuçadari] [名] [ぶしやだ<sup>1</sup>りまい...] 除草の後に残った切れはし。【例】ぶしやだれ一ぬくらん (刈り取った後に残りものはない)。

ぶしやとうがー [fuçatuga:] [名] [井戸] [ぶしやとうが<sup>1</sup>ーまい...] 現在の集落の東にある自然井戸。

ぶしやとうがーむら [fuçatuga:mura] [名] [地] [ぶしやとうが<sup>1</sup>ーむらまい...] ぶしやとうがー (井戸) を中心としてできたと思われる集落。伝説。

ぶしやとうり [fuçatu] [名] [ぶしやとう<sup>1</sup>りまい...] 草取り。除草。籠で粟を間引きしながら除草する。【例】あーぬ ぶしやとうり (粟の草取り)。

ぶしやなギ [fuçanagi] [名] [ぶしやな<sup>1</sup>ギまい...] 草薙ぎ。草を薙ぐこと。草を薙ぎ払うこと。荒れた畑の草木を薙ぎ払うこと。

ぶしやぬふしやーり [fuçanufuça:] [形] [ぶしやぬふ<sup>1</sup>しやまい...] 温もり。温和である。平和である。団らん。団結。偕楽。ふれあい。和気藹々。【例】ぶしやぬふうぐなーり (温もりのある集い)。

ぶしやぬみー [fuçanumi:] [名] [ぶしやぬみ<sup>1</sup>ーまい...] 草叢 (くさむら)。草の生い茂るところ。荒地のこと。

ぶしやぬムー [fuçanumm] [名] [ぶしやぬム<sup>1</sup>ーまい...] 芋掘りした後に残ったいも。貧しい家の女性が芋畑を歩き回って残った芋を掘った。島人は黙認した。【類】「あこーでいぬムー」。

ぶしやばく [fuçabaku] [名] [ぶしやば<sup>1</sup>くまい...] 草賭博。刈った草を出し合って賭ける。

ぶしやばな [fuçabana] [名] [ぶしやば<sup>1</sup>なまい...] 草花。草や花。

ぶしやビ [fuçabi] [名] [ぶしやビまい...] 楔 (くさび)。堅固にする道具。楔を打つ。結び付きを強くする。

ぶしやびー [fuçabi:] [名] [ぶしやび<sup>1</sup>ーまい...] 臭い屁。

ふしやふー [fuçafu:] [名] [ふしやふーまい...] 草を食う。草食動物。【例】ゆーがまーす ふしやふーうとうぬ ギかいー (夜通し草を食べる音が聞こえた)。

ふしやぼー [fuçabo:] [名] [ふしやぼ<sup>1</sup>ーまい...] 草の茂った畑。荒れ地。【類】「ありずー」「ありぬー」。

ふしややム [fuçajam] [名] [病] [ふしやや<sup>1</sup>ムまい...] 風土病。フィラリア。マラリア。蚊の媒介による病気。

ふしややムばギ [fuçajampagi] [名] [ふしやや<sup>1</sup>ムばギまい...] 風土病患者の足。

ふしややムむぬ [fuçajammunu] [名] [ふしややムむ<sup>1</sup>ぬまい...] 風土病患者。

ふしやらす [fuçarasi] [動 I 類 c 型] [ふしやらしー、ふしやらしゃん] 腐らす。食べ物を腐敗させる。冷蔵庫のない時代のこと。

ふしやり [fuçari] [名] [ふしやりま<sup>1</sup>い...] 腐れ。腐敗。朽ち。【例】ふしやりかだ (腐れた匂い)。ふしやりぎー (朽ち木)。

ふしやりきつふり [fuçarikiffu] [名] [ふしやりきつふ<sup>1</sup>りまい...] げっぷ。おくび。胃の中のガスが口から出ること。【類】「きつふり」。

ふしやりり [fuçari:] [動 II 類 c 型] [ふしやりー、ふしやりん] 腐れる。朽ちる。倒木が朽ち果てる。食べ物が腐れる。

ふしゆ [fuçu] [名] [ふしゆま<sup>1</sup>い...] 大便。くそ。鼻くそ。侮蔑の意味もある。

ふじゆ [fudzju] [名] [ふじゆまい...] 補助。【例】ふじゆきん (補助金)。

ぶしゆ [buçu] [名] [ぶしゆまい...] へそ。

ふしゆ ふあい [fuçu fai] [連語] くそ食べ。とても怒るときに言う。

ぶじゆー [pudzju:] [名] [ぶじゆ<sup>1</sup>ーまい...] タバコ入れ。【同】「ぶどうー」。【類】「くしやす」。

ふしゆかす [fuçukas:] [名] [ふしゆか<sup>1</sup>すまい...] くそ粕。(人が) だめであること。侮蔑して言う。

ふしゆかすむぬ [fuçukas:munu] [名] [ふしゆかすむ<sup>1</sup>ぬまい...] くそ粕者。だめな奴。

ふしゆがなまら [fuçuganamara] [名] [ふしゆが

- なま<sup>1</sup>らまい...] くそ頭 (の人)。【同】「ふしゆがなまれ」。
- ふしゆがなま<sup>1</sup>り [fuçuganama] [名] [ふしゆがなま<sup>1</sup>りまい...] くそ頭。侮蔑して言う。
- ふしゆがなまれ [fuçuganamare] [名] [ふしゆがなま<sup>1</sup>れまい...] くそ頭 (の人)。【同】「ふしゆがなまら」。
- ふしゆく [fuçuku] [名] [ふしゆくまい...] 不足。
- ふしゆぐどうん [fuçugudun] [名] [ふしゆぐどう<sup>1</sup>んまい...] くそ愚鈍。侮蔑して言う。
- ふしゆすば<sup>1</sup>り [fuçuşba] [名] [ふしゆすば<sup>1</sup>りまい...] し尿。大小便。
- ふしゆだすからん [fuçudasıkaran] [連語] 能のない。役立たず。
- ふしゆだ<sup>1</sup>り [fuçudari] [名] [ふしゆだ<sup>1</sup>りまい...] くそ汚れ。くそまみれ。
- ふしゆつかム [fuçutsıkam] [名] [ふしゆつか<sup>1</sup>ムまい...] くそ片付け。くそ始末。
- ぶしゆぬ ぶー [buçunu bu:] [名] [ぶしゆ<sup>1</sup>ぬぶー「まい...」へその緒。
- ふしゆばうちら [fuçubautçira] [名] [ふしゆばうち<sup>1</sup>らまい...] ひどいやんちゃ者。【同】「ふしゆぼーちら」。
- ふしゆばた [fuçubata] [名] [ふしゆば<sup>1</sup>たまい...] くそ腹。とても怒るときに言う。【例】ふしゆばたぬ んでい<sup>1</sup>り (腹がにえくりかえる)。
- ふしゆピー [fuçupı:] [名] [病] [ふしゆピ<sup>1</sup>ーまい...] 下痢。糞放り。【類】「やまだつ」。
- ふしゆふえー [fuçufe:] [名] [ふしゆふえ<sup>1</sup>ーまい...] 言いなりになること。自分の意見のないこと。
- ふしゆふき [fuçufuki] [名] [ふしゆふ<sup>1</sup>きまい...] 糞漏れ。トイレに行くまでに途中に大便をもらすこと。
- ぶしゆぶしゆ [buçubuçu] [擬] [ぶしゆぶしゆていー...] うようよ。虫がたくさんいる様。
- ぶじゆぶじゆ [budzubudzu] [擬] うようよ。虫がうようよしている。
- ふしゆぼーちら [fuçubotçira] [名] [ふしゆぼーち<sup>1</sup>らまい...] ひどいやんちゃ者。【同】「ふしゆばうちら」。
- ふしゆまじみ [fuçumadzımi] [形] [ふしゆまじ<sup>1</sup>みまい...] くそまじめ。まじめな人に対してからかう。
- ふしゆま<sup>1</sup>り [fuçuma] [動I類] [ふしゆまりー、ふしゆまらん] [ふしゆま<sup>1</sup>りまい...] 大便をする。くそまる。排便。
- ふしゆま<sup>1</sup>りたしやー<sup>1</sup>り [fuçumataçai:] [形] [ふしゆまりた<sup>1</sup>しやまい...] 大便したい。便意を感じる。
- ぶじゆみぎ [budzumikı] [動I類c型] [ぶじゆみぎー、ぶじゆみかん] うようよする。
- ふしゆやうがー [fuçujauga:] [名] [ふしゆやうが<sup>1</sup>ーまい...] とても弱いこと。弱虫。【同】「ふしゆよーがー」。
- ふしゆよーがー [fuçujo:ga:] [名] [ふしゆよーが<sup>1</sup>ーまい...] とても弱いこと。弱虫。【同】「ふしゆやうがー」。
- ふしゆ<sup>1</sup>り [fuçu] [名] [ふしゆ<sup>1</sup>りまい...] 薬。飲ぐすり。貼りぐすり。
- ふしゆ<sup>1</sup>りだい [fuçudai] [名] [ふしゆ<sup>1</sup>りだいまい...] 薬代。薬を買うのに支払う。
- ふしゆん むたい<sup>1</sup>り [fuçun mutai] [連語] 糞に持たれる。自分でトイレの始末ができないこと。大便を自分で処理できない老人のこと。
- ふしよーにん [fuço:nin] [名] [ふしよーに<sup>1</sup>んまい...] 保証人。
- ふす [fus] [名] [ふ<sup>1</sup>すまい...] 櫛 (くし)。髪を梳くもの。【類】「ゆくぐし」。
- ふす [fus] [名] [ふ<sup>1</sup>すまい...] 節 (ふし)。ぐす。禾本科の植物の節。【例】すっじゃぬ ふす (さとうきびの節)。
- ふず [fudzı] [名] [ふずまい...] くじ。【例】ふずやば (くじ運の強い人)。
- ぶす [bus] [名] [ぶ<sup>1</sup>すまい...] 不美人。男性には言わない。
- ぶす [bus] [名] [ぶすまい...] 武士。強い人。戦国時代の武士。【例】みどうムぶす (男まさり)。【類】「さむらい」。
- ぷす [pus] [名] [ぷすま<sup>1</sup>い...] 星。星座。【例】にぬばぶす (北極星)。みがぶす (織姫星)。みかるぶす (彦星)。ムにぶす (すばる)。ゆイふ

一ぶす (宵の明星)。しえーかぶす (明けの明星)。ななつぶす (北斗七星)。  
 ぶす [pusʝ] [名] [ぶすまい...] 節。かつお節。  
 ぶす [pusʝ] [動I類c型] [ぶしー、ぷしゃん] 干す。乾かす。【例】ぶすむぬ (干し物。洗濯物)。  
 ぶすムー (干しいも)。  
 ぶすあな [fusʝana] [名] [ぶすあ<sup>1</sup>なまい...] 節穴。板の節のとれた穴。  
 ぶずうらす [fudzʝurasʝ] [名] [ぶずうら<sup>1</sup>すまい...] くじおろし。子どもの命名のときの儀式のこと。先祖の名前を書いた小さな紙を盆に乗せて選り落とす。  
 ぶずうるす [fudzʝurusʝ] [名] [ぶずうる<sup>1</sup>すまい...] くじ下ろし。くじ引き。命名の儀式。  
 ぶずうん [fudzʝun] [名] [ぶずうんまい...] くじ運。  
 ぶすぎ なり [pusʝgi na] [連語] 欲しくなる。欲しそうに見える。【例】ぶすぎなりー みー ぶり (欲しそうに見ている)。みー ぶたかー ぶすぎなり (見ていたら欲しくなる)。  
 ぶすぎしゃーり [busʝiçã:] [形] ~しそうだ。【例】あみぬ ふりぶすぎしゃーり (雨が降りそうだ)。  
 ぶずぐばしゃーり [fudzʝupãçã:] [形] [ぶずぐばしゃまい...] くじ運のないこと。【類】「うんよーしゃーり」。  
 ぶずぐばむぬ [fudzʝupamunu] [名] [ぶずぐばむぬまい...] くじ運のない人。  
 ぶすしゃーり [busʝã:] [形] ~したい。動詞に付き、「~したい」を表す。【例】みーぶすしゃーり (見たい)。ふーぶすしゃーり (食べたい)。  
 ぶすしゃーり [pusʝã:] [形] [ぶす<sup>1</sup>しゃまい...] 欲しい。望む。欲望する。【例】ぶすむぬ (欲しいもの)。ぬーゆが ぶすしゃーりば (何が欲しいか)。  
 ぶすつ [busʝʔ] [擬] [ぶすつていー...] 突き刺すこと。【類】「じゃっふあ」。「じゃふ」。  
 ぶすなす [fusʝnasʝ] [名] [植] [ぶすな<sup>1</sup>すまい...] くちなし。花びらが6枚ある。【同】「ふつなす」。  
 ぶすばく [fusʝbaku] [名] [ぶ<sup>1</sup>すばくまい...] 櫛箱。

ぶずビギ [budzʝbʝkʝ] [名] [ぶずビギまい...] くじ引き。【類】「ふずんぎ」。  
 ぶすムー [pusʝmm] [名] [ぶすム<sup>1</sup>まい...] 干し芋。さつまいもを輪切りにして干したものを。貯蔵して飢饉 (ききん) に備える。  
 ぶすムーぬ イー [pusʝmmnu ɿ:] [名] [ぶすム<sup>1</sup>ぬイー<sup>1</sup>まい...] 干し芋の飯。  
 ぶすむぬ [pusʝmunu] [名] [ぶすむぬまい...] 干し物。洗濯物。干し芋、干し魚、干し大根など。  
 ぶずやばしゃーり [fudzʝjapãçã:] [形] [ぶずやばしゃまい...] くじ運のよいこと。その人。  
 ぶずんぎ [fudzʝngʝ] [名] [ぶずんぎまい...] くじ引き。【類】「ふずビギ」。  
 ふた [futa] [名] [ふたまい...] 蓋。貝の蓋。【例】なびふた (鍋の蓋)。ふたでいり (蓋のついたざる)。びしムなぬ ふた (さぎえの蓋)。  
 ふた [futa] [名] 二。二つ。二倍。両方。【例】ふた一つ (二つ)。ふたていー (両手)。ふたなぎ (二倍の長さ。二倍の距離)。ふたぱく (二箱)。  
 ふだ [fuda] [名] [ふ<sup>1</sup>だまい...] 札。表札。投票用紙。【例】なふだ (名札)。ふだイズい (投票する)。ほーげんふだ (方言札)。たていふだ (立札)。  
 ぶた [buta] [接尾] 量を表す。【例】ミーぶた (鍋の中に食材の多いこと)。すーぶた (汁の多いこと)。  
 ぶだ [buda] [名] [ぶ<sup>1</sup>だまい...] 伯父。叔父。父や母の兄弟。  
 ぶだ [puda] [副] 危く。もう少しで。約。およそ。ほぼ。【例】ぶだ だいでどう あたり (もう少しで大変でした)。ぶだ いつからばかりらー (およそ5匹ぐらいかな)。  
 ふた一つ [futa:tsʝ] [名] [ふた一つまい...] 二つ。二個。二歳。【例】ふた一つが あじゃ (二つ上の兄)。ふた一つが あんが (二つ上の姉)。ふた一つが うっとう (二つ年下の弟妹)。ふた一つがゆイ (二つちがいの生まれ)。  
 ぶだーぶだ [puda:puda] [重複] もう少しのところだった。危いところだった。「ぶだ」を強める。  
 ふたーり [futa:] [名] [ふたーりまい...] 二人。

ふたい [futai] [名] [ふたいまい...] 額。【類】「ふたいがム」。

ふたい [futai] [名] [ふたいまい...] 二重。【例】ふたいみーぬ けー (二重のまぶた)。

ぶだい [budai] [名] [ぶだ<sup>1</sup>まい...] ぶたい。舞台。八月おどり場の演舞所。

ふたいがム [futaigam] [名] [ふたいがムまい...] 額。

ふだイズい [fudazui] [名] [ふ<sup>1</sup>だイズまい...] 投票する。【類】「ふだかギ」。

ふたいなー [futaina:] [名] [ふたいな<sup>1</sup>まい...] 二重縄。縄を更に二重にして作った縄。

ふたいぱが [futaipaga] [名] [ふたいぱ<sup>1</sup>がまい...] 額が禿げている人。額の大きい人。

ふたいぱぎ [futaipagi] [名] [ふたいぱぎまい...] 額禿げ。額の大きい人。

ふたうや [futauija] [名] [ふたうやまい...] 両親。父母。

ふたが [futaga] [名] [ふた<sup>1</sup>がまい...] 双子。双生児。

ふだかギ [fudakaki] [名] [ふ<sup>1</sup>だかギまい...] 札書き。投票すること。【類】「ふだイズい」。

ぶだがま [budagama] [名] [ぶだ<sup>1</sup>が<sup>1</sup>まい...] 末の伯父、叔父。季父 (きふ)。

ふたから [futakara] [名] [ふたからまい...] 二匹。動物のみに言う。

ふだギ [fudaki] [動 I 類 c 型] [ふだきー、ふだかん] 強く殴る。強くたたく。

ふたきな [futakina] [副] 即刻。すぐさま。するや否や。【例】あみぬ ぱりー ふたきな (雨の晴れるとすぐに)。【類】「ぴたきな」。

ふたきない [futakinai] [名] [ふたきないまい...] 二家族。二所帯。

ふたきないむつ [futakinaimutsu] [名] [ふたきないむ<sup>1</sup>つまい...] 二家族持ち。二家族のめんどろを見る。

ふたきなぬ [futakinanu] [連体] やったばかりの。したばかりの。【例】けー ふたきなぬ ふく (買ったばかりの服)。

ふたぐる [futagukuru] [名] [ふたぐ<sup>1</sup>るまい...] 二つ心。相反する心。裏切りの心。浮気

心。

ふたけーり [futakeri] [名] [ふたけーりまい...] 二度。二回。

ぶだしゃ [budaça] [名] [ぶだ<sup>1</sup>しゃまい...] 伯父達。叔父達。

ぶだしゃぬ けー [budaçanu ke:] [名] [ぶだしゃ<sup>1</sup>ぬけー<sup>1</sup>まい...] おじたち。

ぶだしゃぬ ムめ [budaçanu mme] [名] [ぶだしゃ<sup>1</sup>ぬムめ<sup>1</sup>まい...] おじたち。

ぶだた [budata] [名] [ぶだ<sup>1</sup>たまい...] おじたち。

ぶだたが けー [budataga ke:] [名] [ぶだた<sup>1</sup>がけー<sup>1</sup>まい...] おじたち。

ぶだたが ムめ [budataga mme] [名] [ぶだた<sup>1</sup>がムめ<sup>1</sup>まい...] おじたち。

ぶだたぬ けー [budatanu ke:] [名] [ぶだた<sup>1</sup>ぬけー<sup>1</sup>まい...] おじたち。

ふたつがー [futatsuga:] [名] [井戸] [ふたつが<sup>1</sup>ーまい...] ふたつがー (泉)。島の西側にある自然井戸。

ふたつがーむら [futatsuga:mura] [名] [ふたつが<sup>1</sup>ーむらまい...] ふたつがー (井戸) を中心としてできたとされる集落。伝説。

ふたつきり [futatsuki] [動 II 類 c 型] [ふたつきー、ふたつきん] 相撲で投げ飛ばす。

ふたっじ [futaddzi] [名] [地] [ふたっじまい...] 多良間島の〈とうぶり〉の名前。村史参照。

ふたっじうがん [futaddziugan] [名] [ふたっじうが<sup>1</sup>んまい...] 金志川金盛豊見親の娘を祀る。

ふたつどうり [futatsudu] [動 I 類 c 型] [ふたつどうりー、ふたつどうらん] ためらう。迷う。どうしようかと思案する。どちらにしようかと迷う。「二つ取り」の意味。

ふたつばなり [futatsubanari] [名] [ふたつばな<sup>1</sup>りまい...] 二つ離れ。伊良部の長山海岸にある二つの岩のこと。昔、平良港を出港した多良間行きの村有船はこの岩を目印にした。

ふたてい [futati] [名] [ふたていまい...] 二年。二年目。

ふたでいー [futadi:] [名] [ふたでいーまい...] 二手。両手。

ふたでいり [futadi] [名] [ふたでいりまい...] 蓋

- のついたざる。主として食べ物を入れる。
- ふたとーり [futatu:] [名] [ふたとーりまい...]  
二通り。もう一つの考え。
- ふたとうす [futatus:] [名] [ふたとうすまい...]  
二年。二年の間。二年間。
- ふだどうみ [fudadumi] [名] [ふ<sup>1</sup>だどうみまい...]  
札止め。入場券の販売を止める。
- ふたなか [futanaka] [名] [ふたな<sup>1</sup>かまい...] 二  
つの間。ためらうこと。どっちにしようか。【類】  
「ふたつどうり」。
- ふたなんか [futananka] [名] [ふたなんかまい...]  
ふた七日。七日が二回。死者の二回目の七日法  
要。
- ふたばき [futabaki] [名] [ふたばきまい...] 二分  
け。二等分。二つに分けること。
- ふたばぎ [futapagi] [名] [ふたばぎまい...] 二足。  
両足。両脚。
- ふたばし [futabaçi] [名] [ふたばしまい...] 二つ  
の間。はざま。はさまれる。迷う。ためらう。  
【例】ふたばしん ぱしゃまいり (二つの間に挟  
まれる)。
- ふだばに [fudabani] [名] [ふだばにまい...] 産  
羽。初羽。ひよこの羽毛。
- ふたばり [futabari] [名] [ふたばりまい...] 二割  
れ。二つに割れること。
- ふたびしゅ [futapiçu] [名] [ふたびしゅまい...]  
ふたび<sup>1</sup>しゅまい... 二重のつむじ。二つのつ  
むじ。
- ふたぶしゃ [futapuça] [名] [ふたぶしゃまい...]  
二倍の量。【例】くじゅゆりらー ふたぶしゃ  
ありどうす (去年より二倍の収穫がある)。
- ふたまぎ [futamakı] [名] [ふたまぎまい...] 二  
巻。二巻のつむじ。
- ふたまた [futamata] [名] [ふたまたまい...] 二  
股。木の枝が二つに分かれていること。道路が  
二股になっていること。
- ふたまたぎー [futamatagi:] [名] [ふたま<sup>1</sup>たぎー  
まい...] 根から幹が二つ分かれている木。
- ふだみ [fudami] [名] [ふだみまい...] わらじ。
- ふたみー [futami:] [名] [ふたみ<sup>1</sup>まい...] 二目。  
二つの目。【例】ふたみーゆ ぷらき (二つの目  
を開けてよく見なさい)。
- ふたみつ [futamits:] [名] [ふたみつまい...] 二道。  
二つの道。二つに分かれる道路。分かれ道。
- ふだやー [fudaja:] [名] [ふ<sup>1</sup>だやーまい...] スツ  
ウプナカの祭場の一つ。
- ふだやーじゅに [fudaja:džuni] [名] [ふ<sup>1</sup>だやー<sup>1</sup>  
じゅにまい...] ふだやーの祭祀の組織。天川と  
津川。
- ぷだらー [pudara:] [副] 危く。もう少しで。約。  
ほぼ。およそ。【例】ぷだらー ぬーが しゅー  
ます (危くも何もなかった)。
- ふたりる [futa[u]] [名] [ふたりるまい...] 二尋。  
長さの単位。一尋は大人の両手を広げた長さ。
- ふだんそー [fudanso:] [名] [植] [ふだんそ<sup>1</sup>ーま  
い...] ちしゃ。【同】「くだんそー」。
- ふちき [futçiki] [名] [ふちきまい...] 糸くず。け  
ば。擦り切れた糸くず。抜け落ちた髪の毛。
- ふちきだり [futçikida] [動 II 類 c 型] [ふちきだ  
りー、ふちきだりん] 元気がない。弱々しい。  
みすぼらしい。散髪しない様。やせた人などに  
言う。
- ふちび [futçibi] [名] [ふち<sup>1</sup>びまい...] いぼ。
- ふちやー [futça:] [擬] 油揚げの様子。
- ぶちゅーり [butçu:] [名] [ぶちゅー<sup>1</sup>りまい...]  
発育の遅い子。
- ふつ [futs:] [名] [ふつまい...] 口。言葉。評判。  
仕事口。【例】ぱたらぎふつ (働く所。就職場  
所)。ふつゆム (台詞)。かぎふつ (きれいな言  
葉)。たらまふつ (多良間方言)。やなふつ (下  
品な言葉)。
- ふつ [futs:] [名] [ふつまい...] くちばし。【例】  
とうりぬ ふつ (鳥のくちばし)。ながふつどう  
り (長いくちばしの鳥)。
- ふつ [futs:] [名] 食べる回数。【例】ピとうふつ  
(一口。一口食べる)。
- ふつ [futs:] [名] [ふつまい...] リーフの割れて  
いるところ。リーフの開いている所。
- ふつ [futs:] [名] [ふつまい...] 向き。方向。【例】  
ちびんけー ふつ (後ろへ向く)。
- ふつ [futs:] [名] [ふつまい...] 縁。へり。はし  
っこ。端。側。【例】やどうふつ (戸の口、戸の

へり)。いでいふつ (出口)。あかぬ むいふつ (髪が生え際)。  
 ぶつ [futsʃ] [動I類c型] [ふていー、ふたん] しば捕獲罟を作る。【類】「つきぶつ」。  
 ぶつ [futsʃ] [動I類c型] [ふていー、ふたん] 打つ。太鼓を打つ。【例】あーぶつ (粟打ち)。むぎぶつ (麦打ち)。じんぶつ (紙銭を作る)。  
 ぶつあーす [futsʃa:sʃ] [名] [ぶつあー<sup>1</sup>すまい...] 口合わせ。口裏を合わせる。  
 ぶつあき [futsʃaki] [名] [ぶつあ<sup>1</sup>きまい...] 口開け。仕事をはじめ。【例】すぐとうぬ ぶつあき (仕事の始め)。【類】「ばかぶつ」。  
 ぶつあまーり [futsʃama:] [動I類c型] [ぶつあまーりー、ぶつあまーらん] 言いたい放題。自制がない。【類】「あばしや」。  
 ぶつあらしやーり [futsʃara:ʃa:] [形] [ぶつあらしやまい...] 口が荒い。口が悪い。言葉が荒い。下品な言葉である。罵声である。  
 ぶついでい [futsʃidi] [名] [ぶついでいまい...] 口出し。初めに言い出す。  
 ぶついでいり [futsʃidi] [動II類c型] [ぶついでいー、ぶついでいん] 最初に言い出す。口火を切る。【例】いきんゆ ぶついでいり (意見の口火を切る)。  
 ぶつーぐ [futsʃ:gu] [名] [ぶつーぐまい...] 普通語。共通語。方言に対する語。  
 ぶつか [futsʃka] [名] [ぶつかまい...] 二日。月はじめの二日目。二日間。  
 ぶつがーり [futsʃga:] [名] [ぶつがーりまい...] 口変り。赤ちゃんの食事を変えること。離乳食。  
 ぶつがーり [futsʃga:] [動I類c型] [ぶつがーりー、ぶつがーらん] 口自慢。【類】「うぶむぬゆム」。  
 ぶつかぎしやーり [futsʃkagica:] [形] [ぶつかぎしやまい...] 言葉がきれい。上品である。品位のある言葉。  
 ぶつかきり [fukkaki] [動II類c型] [ぶつかきー、ぶつかきん] ぶつかける。いいがかりをする。【例】びーふしやりとうい ぶつかきり (酔っ払って言いがかりをする)。  
 ぶつがしや [futsʃga:ʃa] [名] [病] [ぶつが<sup>1</sup>しや

まい...] 口角炎。口角が白くただれる。  
 ぶつかぬー [futsʃkanu:] [動I類c型] [ぶつかぬー、ぶつかぬーん] 口叶う。口達者である。能弁である。【類】「ぶつかない」。  
 ぶつから ムまり [futsʃkara mmari] [連語] 口から生まれ。口達者なこと。口から先に生まれる。おしゃべりする人に言う。  
 ぶつかり [butsʃka] [動I類c型] [ぶつかりー、ぶつからん] ぶつかる。【例】くるむぬ ぶつかり (車がぶつかる)。  
 ぶつがりむぬ [futsʃga[munu] [名] [ぶつがりむぬまい...] 口軽な人。軽々しく口外する人。  
 ぶつがりらーり [futsʃga[ra:] [形] [ぶつがりらまい...] 口軽。軽々しく言うこと。〈ぶつぐばしやーり〉に対して言う。  
 ぶつき [futsʃki] [名] [ぶつきまい...] ほつれた糸。細い糸。けば。擦り切れた糸。【同】「ふちき」。  
 ぶつきり [butsʃki] [動II類c型] [ぶつきー、ぶつきん] ぶつける。打ち当てる。【例】くるまう ぶつきり (車をぶつける)。  
 ぶつく [futsʃku] [名] [ぶつくまい...] ふところ。懐。和服の襟の交叉するところ。母は大切なものを入れていた。財布の役目もした。【例】あんなが ぶつく (母の懐)。  
 ぶつぐたい [futsʃgutai] [名] [ぶつぐたいまい...] 口答え。反抗すること。抵抗すること。  
 ぶつぐばしやーり [futsʃgupaca:] [形] [ぶつぐばしやまい...] 口がかたいこと。軽々しく口に出さない。〈ぶつがりらーり〉に対して言う。  
 ぶつくばら [futsʃkupara] [名] [ぶつくばらまい...] 吃り。吃る人。言葉に自信のない人。  
 ぶつくばり [futsʃkupa] [動I類c型] [ぶつくばりー、ぶつくばらん] 口がこわばる。言葉がスムーズに出ない。  
 ぶつくみり [bukkumi] [動II類c型] [ぶつくみー、ぶつくみん] ぶつ込める。一括する。ぶつくるめて行うこと。【例】ムーな ぶつくみる (全部ぶつくるめよ)。  
 ぶつくム [bukku] [動I類c型] [ぶつくみー、ぶつくまん] ぶつ込む。一括してしまう。【例】ぶつくムどう ます (ぶつこめた方がいい)。

ふつぐるま [futsɟuruma] [名] [ふつぐるままい...] 口車。だますこと。口達者。だまし上手。  
 ふつごーしゃーり [futsɟo:ɕa:] [形] [ふつごーしゃまい...] 渋い。食べ物の味が渋い。  
 ふつじゃ [fuddza] [名] [魚] [ふっ<sup>1</sup>じゃまい...] 鯨。  
 ふつじゃうず [futsɟzaudzɟ] [形] [ふつじゃうずまい...] 口上手。口達者。口先だけの人。【同】「ふつじょーず」。  
 ふつしゃだり [futsɟada] [名] [ふつしゃだりまい...] 口先。物事を軽く言い放つ。口の軽いこと。  
 ふつしゃびしゃーり [futsɟabɕa:] [形] [ふつしゃび<sup>1</sup>しゃまい...] 口淋。食べ物がなくないこと。おしゃべりの出来ないこと。  
 ぶつしゃん かーき [puɕɕan ka:ki] [連語] 欲望に渴いて。欲しさに耐えられないこと。【例】みずう ぶつしゃん かーき (水が欲しくて耐えられない)。  
 ふつじゃんしむ [futsɟzancim] [名] [ふつじゃんしむまい...] 口三味線。口で三味線のまねをする。  
 ふつじゅーしゃーり [futsɟdzu:ɕa:] [形] [ふつじゅー<sup>1</sup>しゃまい...] 口の強いこと。言葉の強いこと。我の強いこと。【類】「がーじゅーしゃーり」。  
 ふつじゅーむぬ [futsɟdzu:munu] [名] [ふつじゅーむ<sup>1</sup>ぬまい...] 口の強い者。口答えの強い人。我を張る人。【類】「がーじゅーむぬ」。  
 ふつじょーず [futsɟdzo:dzɟ] [形] [ふつじょーずまい...] 口上手。口達者。口先だけの人。【同】「ふつじゃうず」。  
 ふつすー [futsɟsɟ:] [動変則 a 型] [ふつしー、ふつしゅん] 向く。向う。向いて見る。【例】かまんけー ふつ すー (向こうへ向く)。  
 ふつずー [fuddzɟ:] [動 I 類 c 型] [ふつじー、ふつじゃん] 探す。探る。あさる。ほじくる。【例】えームふつずー (暗い所を探す)。  
 ふつずギ [futsɟdzɟkɟ] [名] [ふつず<sup>1</sup>ギまい...] 神に祈りを告げること。祈祷すること。〈とーとうかむがなす、たすきー わーり〉 (尊い神様、

ご加護ください) など。  
 ぶった [butta] [名] [ぶっ<sup>1</sup>たまい...] 丸いもの。気泡。丸い尖り。球状のもの。  
 ぶった [butta] [擬] [ぶったていー...] 内側から何かが飛び出す様。【例】ぶったていー いでいり (ぶったと飛び出る)。ぶったていー ぶらーん (いつの間に居ない)。【類】「ぶったていー」。  
 ふつだうず [futsɟdaudzɟ] [形] [ふつだうずまい...] 口上手。口達者。口先だけの人。【同】「ふつどーず」。  
 ふつだふー [fuddafu:] [名] [ふっ<sup>1</sup>だふーまい...] 草笛。【類】「ぐーとうがにー」。  
 ぶったぶった [buttabutta] [擬] 内側から飛び出すことの強い言い方。昆虫などが巣穴から勢いよく飛び出して行く様。気泡が多い様。  
 ぶったみかす [buttamikasɟ] [動 I 類 c 型] [ぶったみかしー、ぶったみかしゃん] 泡立てる。泡をたくさん出す。  
 ぶったみギ [buttamikɟ] [動 I 類 c 型] [ぶったみきー、ぶったみかん] 泡立つ。泡がたくさん出る。  
 ぶつだん [butɟdan] [名] [ぶつだ<sup>1</sup>んまい...] 仏壇。  
 ふつちやす [futtɕasɟ] [動 I 類 c 型] [ふつちやしー、ふつちやしゃん] 移す。移転させる。病気を伝染させる。  
 ふつちやす [futtɕasɟ] [動 I 類 c 型] [ふつちやしー、ふつちやしゃん] 映す。写す。  
 ふつつー [futtsɟ:] [名] [ふつつーまい...] 港。船着き場。港へ船の出入りする航路。干瀬の割れ目。前泊港。普天間港。高穴漁港。【例】ふつつーや あかん (波の荒いときは港口は入れない)。  
 ふつつー [futtsɟ:] [動 I 類 c 型] [ふつちー、ふつちゃん] 移る。転居する。病気が移る。【例】ふつちー (移った。転居した。変えた)。インフルエンザぬ ふつつー (病気がうつる)。  
 ふつつー [futtsɟ:] [動 I 類 c 型] [ふつちー、ふつちゃん] 写る。水面に写る。映る。  
 ふつつー [futsɟtsɟ:] [名] [ふつつ<sup>1</sup>ーまい...] 口汁。

唾液。つば。【例】やーしゃんどう ふつつーめ  
ぱり (ひもじくて唾液が出る)。

ぶつつーが しえーか [butsʏtsʏ:ga ʧe:ka] [名] [ぶ  
つつー<sup>1</sup>がしえーかまい...] 一昨日の明け方。

ぶつつーが すとうむてい [butsʏtsʏ:ga sʏtumuti]  
[名] [ぶつつー<sup>1</sup>がすとうむてい<sup>1</sup>まい...] 一昨  
日の朝。

ぶつつーが ピーま [butsʏtsʏ:ga pi:ma] [名] [ぶ  
つつー<sup>1</sup>がピーまんまい...] 一昨日の午後。

ぶつつーが ゆー [butsʏtsʏ:ga ju:] [名] [ぶつつー  
<sup>1</sup>がゆー<sup>1</sup>まい...] 一昨日の夜。

ぶつつーが ゆしゃらび [butsʏtsʏ:ga juʧarabi] [名]  
[ぶつつー<sup>1</sup>がゆしゃらびん<sup>1</sup>まい...] 一昨日の夕  
方。

ぶつつーが ゆなか [butsʏtsʏ:ga junaka] [名] [ぶ  
つつー<sup>1</sup>がゆなかん<sup>1</sup>まい...] 一昨日の夜中。

ぶつつーが ゆねーん [butsʏtsʏ:ga ju:ne:n] [名] 一  
昨日の夜。一昨日の夕方。

ぶつつぎ [buttsʏdzʏkʏ] [動 I 類 c 型] [ぶつつぎ  
きー、ぶつつぎかん] ぶっ続ける。ずっと続ける。  
【例】すぐとうー ぶつつぎ (仕事をぶっ  
続ける)。

ぶっていー [butti:] [擬] 屁の出る音。

ふつてーな [futsʏte:na] [連語] 口だけ。口ばかり。  
口先だけ。行動のともなわないこと。

ぶっとうーし [buttu:ʧi] [副] ぶっ通し。止まらな  
い。休まない。【例】ぶっとうーし ぱりー ぶ  
り (ぶっ通し走っている)。

ふつとうがり [futsʏtuga] [動 I 類 c 型] [ふつと  
うがりー、ふつとうがらん] 口尖る。唇を尖ら  
す。不満である。

ふつどうみ [futsʏdumi] [名] [ふつどうみまい...]  
口止め。口外することを禁ずること。

ぶっとうる [buturu] [名] [具] [ぶっとう<sup>1</sup>るまい...]  
いもがいの仲間。「あんぼいながい」は  
猛毒もある。

ぶっとうる [buturu] [名] [ぶっとう<sup>1</sup>るまい...]  
そうめんを茹でて油で炒めた食べ物。【類】「し  
やうみんぶっとうる」。「しょーみんぶっとう  
る」。

ふつどーず [futsʏdo:dzʏ] [形] [ふつどーずまい...]

口上手。口達者。口先だけの人。【同】「ふつだ  
うず」。

ふつなうす [futsʏnausʏ] [名] [ふつなうすまい...。  
ふつなう<sup>1</sup>すまい...] 口直し。まずい物を食べた  
後に口直しに食べる。【同】「ふつの一す」。

ふつなうす [futsʏnausʏ] [名] [ふつなうすまい...]  
口直し。油っこいものを食べたあとの口直し。

ふつなギ [futsʏnagi] [名] [魚] [ふつな<sup>1</sup>ぎまい...]  
いそふえふき。

ふつなす [futsʏnasʏ] [名] [植] [ふつなすまい...]  
くちなし。花びらは6枚。【同】「ふすなす」。

ふつなまり [futsʏnama] [名] [ふつなまりまい...]  
口休み。おしゃべりの止まること。子供の食事  
を止めるときにも言う。

ふつなムー [futsʏnamu] [名] [ふつなム<sup>1</sup>まい...]  
口舐め。口を舐める癖。

ふつなムめ [futsʏnamme] [名] [ふつなム<sup>1</sup>めまい...]  
口を舐めるくせのある人。唇を舌で舐め  
る癖のある人。

ふつにふしゃーり [futsʏnifuʧa:] [形] [ふつにふ  
<sup>1</sup>しゃまい...] 口遅い。食事の遅いこと。

ふつぬ くだ [futsʏnu kada] [名] [ふつぬくだま  
い...] 口のおい。口臭。

ふつぬ かぬー [futsʏnu kanu:] [連語] 口が叶う。  
口達者である。おしゃべりである。

ふつぬ くぱり [futsʏnu kupa] [連語] 口がこわ  
ばる。言葉が詰まる。うそがばれて言葉が詰ま  
る。

ふつぬ だり [futsʏnu da] [連語] 口が疲れる。喘  
み続けてあごが疲れる。

ふつぬ ばな [futsʏnu pana] [連語] 口先だけ。心  
のこもらない話。

ふつぬ ばなす [futsʏnu panasʏ] [名] [ふつぬば  
なすまい...] 口で伝えること。言葉で伝えるこ  
と。口碑伝承。

ふつぬ ぶい [futsʏnu bui] [名] [ふつぬぶ<sup>1</sup>まい...]  
口の分。食べる分。食べるだけの仕事。賃  
金を目的としない仕事。賃金はなく食事だけに  
する仕事。

ふつぬ ぶがりり [futsʏnu bugari] [連語] 口が疲  
れる。何回も同じ事を言うこと。

ふつぬ ふしゃがり<sup>9</sup> [futsɲnu fuɕaga] [連語] 傷口がふさがる。おしゃべりが止まる。

ふつぬぐー [futsɲnugu:] [名] [ふつぬぐ<sup>1</sup>ーまい...] 口ぬぐい。言わなかったふり。

ふつの一す [futsɲno:sɯ] [名] [ふつの一すまい...] ふつの一<sup>1</sup>すまい... 口直し。まずい物を食べた後に口直しに食べる。【同】「ふつなうす」。

ふつぱが [futsɲpaga] [名] [ふつぱ<sup>1</sup>がまい...] 毒舌の人。口が悪い人。弁えもなく人に迷惑を掛けるようなことを言う人。

ふつぱぎ [futsɲpagi] [名] [病] [ふつぱぎまい...] 口角炎。口の両側が白くただれる。

ふつぱぎ [futsɲpagi] [名] [ふつぱ<sup>1</sup>ぎまい...] 毒舌。口の悪いこと。言いたい放題。

ふつぱぎむぬ [futsɲpagimunu] [名] [ふつぱぎむぬまい...] 毒舌者。口の悪い者。

ふつび [futsɲbi] [名] [ふつ<sup>1</sup>びまい...] 口笛。唇を鳴らすこと。穀物を精げるとき風を呼ぶ習慣。【例】ふつびう ならず (口笛を鳴らす)。

ふつピギ [futsɲpigi] [名] [ふつピギまい...] 口ひげ。

ふつぶらか [futsɲpuraka] [名] [ふつぶら<sup>1</sup>かまい...] 天蓋 (てんがい)。葬式の行列に加わるもの。葬式のとき一番前に魔除をするもの。

ふつぶり [futsɲbu] [動I類c型] [ふつぶりー、ふつぶらん] 打ち払う。殴り飛ばす。叩く。野良犬や野良猫を棒などを持って追い払う。【同】「うつぶり」。

ふつべーしゃーり [futsɲbe:ɕa:] [形] [ふつべー<sup>1</sup>しゃまい...] 口早。告げ口する人。

ふつまいしゃ [futsɲmaiɕa] [名] [ふつまいしゃまい...] おべっか。へつらい。お世辞。

ふつまいび [futsɲmaibi] [名] [ふつまいびまい...] 口まね。言葉をまねること。

ふつまみ [futsɲmami] [名] [植] [ふつま<sup>1</sup>みまい...] 下大豆。

ぶつみつ [butsɲmitsɯ] [名] [ぶつみ<sup>1</sup>つまい...] 仏滅。

ふつムかう [futsɲmkau] [動I類] [ふつムけー、ふつムかーん] [ふつムかうまい...] 口向う。さし向う。口答える。【同】「ふつムくー」。

ふつムくー [futsɲmku:] [動I類] [ふつムけー、ふつムかーん] [ふつムくーまい...] 口向う。さし向う。口答える。【同】「ふつムかう」。

ふつムけー [futsɲmke:] [名] [ふつムけーまい...] 向かい合うこと。

ふつやヴヴい [futsɲjavvi] [名] [ふつやヴヴいまい...] おいしい食べ物後にまずい物を食べる。

ふつゆくー [futsɲjuku:] [名] [ふつゆくーまい...] 口休み。おしゃべりを止める。

ふつゆすギ [futsɲjusgi] [名] [ふつゆすぎまい...] 口すすぎ。うがい。

ふつゆム [futsɲjum] [名] [ふつゆムまい...] 口読み。口上。組踊の台詞。唱え。

ふつん しゃーらん [futsɲn ɕa:ran] [連語] 口に障らない。つつしみのある言葉。

ふつん ふあーいり [futsɲn fa:i] [連語] 口に食われる。口は災いのもと。

ふつんけー [futsɲnke:] [名] [ふつんけーまい...] 口答え。反抗。口げんか。罵りあうこと。【例】ふつんけー すー (口答える。反抗する)。

ふでい [fudi] [名] [ふでいまい...] 筆。毛筆。鉛筆。筆記用具。

ふてい [puti] [名] [ぶ<sup>1</sup>ていまい...] 頭髮の禿げの分部。傷のいえた部分。

ふでいいり [fudiiri] [名] [ふでいい<sup>1</sup>りまい...] 筆入れ。筆箱。鉛筆入れ。

ふでいがギ [fudigakɯ] [名] [ふでいが<sup>1</sup>ぎまい...] 筆書き。書道。習字。学問。

ふでいき [fudiki] [名] [ふでい<sup>1</sup>きまい...] 不出来。不作。作物が昨年より収穫の少ないこと。

ふていぎー [futigi:] [名] [ふていぎ<sup>1</sup>ーまい...] 腐った木。朽木。

ふていきたう [futikitau] [形] [ふていきた<sup>1</sup>うまい...] 不適當。【同】「ふていきとー」。

ふていきとー [futikito:] [形] [ふていきと<sup>1</sup>ーまい...] 不適當。【同】「ふていきたう」。

ふでいたてい [fuditati] [名] [ふでいた<sup>1</sup>ていまい...] 筆立て。

ふていつふあい [futiffai] [名] [ふていつふあ<sup>1</sup>いまい...] 腐熟した肥料。完熟した肥料。

ふでいとうり [fuditu] [名] [ふでいとうりまい...]  
 ふでいとう<sup>1</sup>りまい... 筆取り。勉強する。学問する。修業する。

ふていばー [futiba:] [名] [ふていば<sup>1</sup>ーまい...] 虫歯。

ふでいばく [fudibaku] [名] [ふでいば<sup>1</sup>くまい...] 筆箱。筆入れ。筆記用具入れ。

ふていふしやり [futifuçari] [名] [ふていふしやりまい...] やけくそになること。

ふていふしやりむぬ [futifuçarimunu] [名] [ふていふしやりむ<sup>1</sup>ぬまい...] とても臭いこと。

ふていムー [futimm] [名] [ふていム<sup>1</sup>ーまい...] 腐れた芋。さつま芋の腐れたもの。

ふていり [futi] [動II類c型] [ふていー、ふていん] 朽ちる。腐る。

ぶていり [puti] [名] [ぶていりま<sup>1</sup>い...] 火照り。ほてること。熱くなった顔のこと。

ぶとう [butu] [名] [ぶとうまい...] 夫。旦那。主人。

ぶとう [putu] [擬] 気がかりなことや心配事に言う。【例】ぶとうみきー ぶり (心配だからどうしようか)。

ぶどう [pudu] [名] [ぶどうまい...] 体格。からだつき。体躯。

ぶどう ねーん [pudu ne:n] [連語] 程ない。【例】あが たきぶどう ねーん (私の高さほどない)。

ぶとうい [butui] [連語] ~において。~して。【例】あんしー ぶとうい (そうしておいて)。【同】「ぶとうりー」。

ぶどうい [pudui] [名] [ぶどういま<sup>1</sup>い...] 成長。生育。子供の成長。植物の生育。

ぶどういばな [puduibana] [名] [ぶどういば<sup>1</sup>なまい...] 成長期。

ぶとういまい [butuimai] [連語] ~しているのに。【例】あんしー ぶとういまい (そんなにしてしているのに)。

ぶどういみむぬ [puduimimunu] [名] [ぶどういみむぬまい...] 体格の小さい人。小柄な人。

ぶどういり [pudui] [動II類c型] [ぶどういー、ぶどういん] 成長する。大きくなる。

ぶどうー [pudu:] [名] [ぶどう<sup>1</sup>ーまい...] タバ

コ入れ。【同】「ぶじゅー」。【類】「くしやす」。

ぶどうー [pudu:] [動II類c型] [ぶどー、ぶどん] 成長する。動物や植物にも言う。

ぶどううぶむぬ [puduupumunu] [名] [ぶどううぶむ<sup>1</sup>ぬまい...] 体格の大きいもの。

ぶどうかす [pudukas] [動I類c型] [ぶどうかしー、ぶどうかしゃん] ほどかす。糸をほどくこと。解く。

ぶとうき [putuki] [名] [ぶとうきま<sup>1</sup>い...] 仏。精神的にゆったり見える人。

ぶどうギ [puduk] [名] [ぶどう<sup>1</sup>ギまい...] 箆 (おさ)。機織の道具。横糸を織り込む。

ぶどうギ [puduk] [動I類c型] [ぶどうきー、ぶどうかん] ほどく。糸の結びをほどく。解く。

ぶとうきくくる [putukikukuru] [名] [ぶとうきくく<sup>1</sup>るまい...] 仏心。精神的に立派な人。

ぶとうきぶに [putukibuni] [名] [ぶとうきぶにまい...] 喉仏。

ぶとうきり [putuki] [動II類c型] [ぶとうきー、ぶとうきん] ほとける。糸をほとけること。解ける。

ぶとうす [putus] [動I類c型] [ぶとうしー、ぶとうしゃん] ほとける。はずす。解く。【同】「ぶぬす」。

ふとうたす [fututas] [動I類c型] [ふとうたしー、ふとうたしゃん] 腐らせる。堆肥を腐敗させる。

ぶとうつー [bututs:] [名] [ぶとうつ<sup>1</sup>ーまい...] 一昨日。昨日の前の日。おととい。【同】「ぶとうとうイ」。

ふとうていぎー [fututigi:] [名] [ふとうていぎ<sup>1</sup>ーまい...] 朽木。枯木。

ふとうていっふあい [fututiffai] [名] [ふとうていっふあ<sup>1</sup>いまい...] 完熟肥料。

ふとうていムー [fututimm] [名] [ふとうていム<sup>1</sup>ーまい...] 腐った芋。収穫する前から腐っている芋。

ふとうていむぬ [fututimunu] [名] [ふとうていむ<sup>1</sup>ぬまい...] 腐ったもの。朽ちたもの。

ふとうていり [fututi] [動II類c型] [ふとうていー、ふとうていん] 腐る。朽ちる。〈ふてい

り)より意味合いが強い。

ぶとうとうイ [bututuŋ] [名] [ぶとうとう<sup>1</sup>イまい...] 一昨日。昨日の前の日。おととい。【同】「ぶとうつー」。

ぶとうぶとう [putuputu] [擬] 怒るときにふるえること。寒いときにふるえること。【類】「ばたばた」。

ぶとうむつ [butumuts] [名] [ぶとうむ<sup>1</sup>つまい...] 夫を持つこと。結婚すること。

ぶとうむつずぶん [butumutsꞤdzꞤbun] [名] [ぶとうむつずぶ<sup>1</sup>んまい...] 結婚適齢期。

ぶどうらす [buduras] [動I類a型] [ぶどうらしー、ぶどうらしゃん] 踊らす。

ぶどうり [budu] [名] [ぶどうりまい...] 踊り。舞踊。

ぶどうり [budu] [動I類a型] [ぶどうりー、ぶどうらん] 跳ぶ。跳び上がる。跳び下りる。

ぶどうり [budu] [動I類a型] [ぶどうりー、ぶどうらん] 踊る。舞う。演じる。

ぶとうりー [buturi:] [連語] ~において。~して。【例】 あんしー ぶとうりー (そうしておいて)。ぱりー ぶとうりー (走っていて)。【同】「ぶとうい」。

ぶどうりかぎしゃーり [budu[kagiçɑ:] ] [形] [ぶどうりかぎ<sup>1</sup>しゃまい...] 踊り上手。踊り馴れている。身のこなしの良いこと。

ぶどうりぎん [budu[gɨn] ] [名] [ぶどうりぎんまい...] 踊りの衣装。踊りを見物する着物。

ぶどうりげーむ [budu[ge:m] ] [名] [ぶどうりげーむまい...] 高い所から飛び降りること。

ぶどうりじゃー [budu[dzɑ:] ] [名] [ぶどうりじゃーまい...] 踊り座。土原うがム。ピとうまたうがム。

ぶどうりじゃうず [budu[dzɑudzꞤ] ] [形] [ぶどうりじゃうずまい...] 踊り上手。観衆の目に美しく映える踊り。【同】「ぶどうりじょーず」。

ぶどうりじょーず [budu[dzɔ:dzꞤ] ] [形] [ぶどうりじょーずまい...] 踊り上手。観衆の目に美しく映える踊り。【同】「ぶどうりじゃうず」。

ぶどうりでいり [budu[di:] ] [動II類c型] [ぶどうりでいー、ぶどうりでいん] 踊り出る。飛び

出る。勢いよく跳び出る。

ぶどうりどくな [budu[dukuna] ] [名] [ぶどうりどくなまい...] 踊り所。踊り場所。【同】「ぶどうりどくま」。

ぶどうりどくま [budu[dukuma] ] [名] [ぶどうりどくままい...] 踊り所。踊り場所。【同】「ぶどうりどくな」。

ぶどうりにんじゅ [budu[nindzꞤ] ] [名] [ぶどうりにん<sup>1</sup>じゅまい...] 踊り人数。踊り仲間。踊り手。

ぶどうりまー [budu[ma:ru] ] [名] [ぶどうりまーまい...] 踊り順番。酒座の親ぼくの座に行う。座を盛り上げる。

ぶとうりり [puturi:] [動II類c型] [ぶとうりー、ぶとうりん] はずれる。解ける。結んであったものがはずれる。

ぶどうりんぎ [budu[nkꞤ] ] [動I類a型] [ぶどうりんきー、ぶどうりんかん] 飛び込む。海に飛び込む。船員が冬の海に飛び込む。

ぶどうれ [budure] [名] [魚] [ぶどう<sup>1</sup>れまい...] はぜの仲間。

ぶどうわーす [puɖuvasꞤ] [動I類c型] [ぶどうわーしー、ぶどうわーしゃん] 成長させる。子守する。子育てする。

ふとうん [futun] [名] [ふとう<sup>1</sup>んまい...] 布団。

ふなうしやぎ [funauçagi] [名] [ふなうしや<sup>1</sup>ぎまい...] 船見送り。朝の棧橋は黒山の人ばかりだった。

ぶなか [punaka] [名] [ぶなかまい...] 祭り。うぶなか。大祭り。【類】「すつうぶなか」。

ふながく [funagaku] [名] [ふなが<sup>1</sup>くまい...] 船員。乗組員。

ふながム [funagam] [名] [ふなが<sup>1</sup>ムまい...] 船の神。操舵室に祀られる。

ふなぎ [funagi] [動I類a型] [ふなぎー、ふながん] 性交する。

ぶなぐ [bunagu] [名] [ぶなぐまい...] 女。いなぐ。若い女性。

ぶなぐあず [bunaguadzꞤ] [名] [ぶなぐあ<sup>1</sup>ずまい...] 女按司。女傑。「あだんやぬあず」参照。

ぶなじえー [bunadze:] [名] [ぶなじえーまい...]

島立ての神をまつる祠のある拝所。大津波に兄妹はここで「おひしば」にしがみつき難をのがれたとされる。二人は夫婦になって島の再建に努めた(村史)。

ふなじえーふ [funadze:fu] [名] [ふなじえー<sup>1</sup>ふまい...] 船大工。【類】「ふなだいく」。

ふなじゆく [funadzuku] [名] [ふなじゆくまい...] 船底。

ふなずム [funadzμ] [名] [ふなず<sup>1</sup>ムまい...] 船積み。船に荷を積むこと。

ふなた [funata] [名] [罵声] [ふなたまい...] 野郎。〈ふなた〉は借用語で「蛙」のことを指す。【例】くぬ ふなた (この野郎)。

ふなだいく [funadaiku] [名] [ふなだ<sup>1</sup>くまい...] 船大工。【類】「ふなじえーふ」。

ふなだま [funadama] [名] [ふなだ<sup>1</sup>ままい...] 船主の分け前。

ふなつギ [funatsɣkɣ] [名] [ふなつ<sup>1</sup>ギまい...] 船着き。船着き場。栈橋。

ふなつん [funatsɣn] [名] [ふなつ<sup>1</sup>んまい...] 船賃。運賃。

ふなぬす [funanusɣ] [名] [ふなぬ<sup>1</sup>すまい...] 船主。

ふなばた [funabata] [名] [ふなばたまい...] 船端。波の荒れた日の航海は船端から海水が入った。

ふなび [funabi] [名] [ふな<sup>1</sup>びまい...] 農作業を手伝って手間賃を払わず食事で済ませる。

ふなびん [funabɣn] [名] [ふなび<sup>1</sup>んまい...] 船便。船で郵便物を送った。

ふなムかい [funamkai] [名] [ふなムか<sup>1</sup>いまい...] 船迎え。栈橋で旅から来る人を迎えること。家族・他人・公務員を問わない。

ふなムかいよーイ [funamkaijo:] [名] [ふなムか<sup>1</sup>いよーイまい...] 船迎え祝い。歓迎会。

ぶならがま [bunaragama] [名] [ぶならが<sup>1</sup>ままい...] 女性の愛称。

ふなり [funari] [名] [ふなりまい...] 不慣れ。仕事に慣れていないこと。

ぶなり [buna] [名] [ぶなりまい...] 女性。【類】「いなぐ」。「ぶなぐ」。「みどうム」。

ぶなりぶす [buna[bu:sɣ] [名] [ぶなりぶ<sup>1</sup>すまい...] 織女星。織姫星。【類】「みがぶす」。

ふに [funi] [名] [ふ<sup>1</sup>にまい...] 舟。船。〈しゃばに〉(くり舟)。〈ていんま〉(天馬船)。〈きかいしん〉(機械船)。〈じょーきしん〉(蒸気船)。

【例】ふにう まつ (船を待つ。平良からの船を待つ)。ふねー いつが (船はいつ出港か。人々はいつも船のことが気になった)。ふねー あた (船は明日。船の出港を人々が言い合う)。ふねー いでいった (船は出港した。人々は航海安全を祈った)。ふねー つきった (船は着いた。人々は都会のニュースを待ちかねた)。ふねー みーらいん (船は見えない。船の入港を待ちわびる)。

ぶに [puni] [名] [ぶ<sup>1</sup>にまい...] 骨。人骨。魚の骨。動物の骨。尻の骨。傘の骨。中心人物。【例】ぶにう とうり (骨を取る。骨を除く。魚の骨を取り除いて食べること)。ぶにう とうりーふあい (骨を取り除いてから食べよ)。ぶにう ぶり (骨を折る。骨折り。めんどうを見る)。ぶねー ありどうす (骨はあるよ。魚の小骨に注意するよう子どもに促す)。

ぶにイズう [puniɣzu] [名] [ぶ<sup>1</sup>にイズう<sup>1</sup>まい...] 骨魚。骨の多い魚。小骨の多い魚。

ふにがま [funigama] [名] [ふにが<sup>1</sup>ままい...] 小船。平良から帰る船に愛称で言う。

ふにくギ [funikugɣ] [名] [ふ<sup>1</sup>にくギまい...] 船漕ぎ。航海すること。船を操舵する。

ふにくギめー [funikugme:] [名] [ふ<sup>1</sup>にくギめーまい...] 船漕ぎ勝負。競漕。ハーリーにしゃばにを漕ぐ。

ぶにぐみ [punigumi] [名] [ぶにぐ<sup>1</sup>みまい...] 骨組。尻の骨組。建造物の骨組。

ぶにじやら [punidzara] [名] [ぶ<sup>1</sup>にじやらまい...] 骨だらけ。また、やせた人のこと。

ぶにじゅーしゃーり [punidzu:ca:] [形] [ぶ<sup>1</sup>にじゅーしゃまい...] 魚の小骨の多いこと。

ぶにつぎ [punitsɣgɣ] [名] [ぶ<sup>1</sup>につぎまい...] 骨接ぎ。骨折が治ること。

ぶにとう かー [punitu ka:] [連語] 骨と皮。やせた人のこと。

ふにどー [funido:] [連語] 船が見えたぞ。人頭税を運ぶために首里王府から来る船を島役人が見つけて、島中を走りながら叫んだ。

ぶにぬ ふすぶす [puninu fusʒbusʒ] [名] [ぶに<sup>1</sup>ぬふす<sup>1</sup>ぶすまい...] 骨の節々。

ぶにぬ ぶりり [puninu buri:] [連語] 骨が折れる。困難な仕事。

ふにぬ ゆー [funinu ju:] [名] [ふに<sup>1</sup>ぬゆー<sup>1</sup>まい...] 船底に溜まる海水。【類】「あか」。

ふにぱギ [funipagʒ] [名] [ふ<sup>1</sup>にぱギまい...] 船を作ること。造船。

ふにぱギじえーふ [funipagʒze:fu] [名] [ふ<sup>1</sup>にぱギじえーふまい...] 船大工。

ふにぱらす [funiparasʒ] [名] [ふ<sup>1</sup>にぱらすまい...] 船を走らせること。操舵すること。舵取りをすること。

ぶにぶり [punibu:] [名] [ぶ<sup>1</sup>にぶりまい...] 骨折。

ぶにやすム [punijasʒm] [名] [ぶにやす<sup>1</sup>ムまい...] 骨休み。休憩。疲れをいやす。

ぶにやぱらギ [punijaparakʒ] [名] [ぶ<sup>1</sup>にやぱらギまい...] 疲れをいやすこと。休憩。

ぶにやム [punijam] [名] [ぶ<sup>1</sup>にやムまい...] 骨痛。労働に疲れること。疲労すること。

ふぬー [funu:] [名] [ふぬ<sup>1</sup>ーまい...] みかん。みかんの実。【類】「ふぬーぬなり」。

ふぬーぎー [funu:gi:] [名] [植] [ふぬ<sup>1</sup>ーぎーまい...] みかんの木。九年母(くねも)。

ふぬーぬ なり [funu:nu na:] [名] [ふぬ<sup>1</sup>ーぬなり<sup>1</sup>まい...] みかんの実。【類】「ふぬー」。

ぶぬす [punusʒ] [動I類c型] [ぶぬしー、ぶぬしゃん] 解く。はずす。結び糸をはずす。【類】「ばなす」。

ぶぬりり [punuri:] [動II類c型] [ぶぬりー、ぶぬりん] 解ける。外れる。結び糸がはずれる。

ふねーり [funu:ri:] [名] [ふね<sup>1</sup>ーりまい...] 船酔い。6時間の宮古旅は船酔いは覚悟した。

ぶば [buba] [名] [ぶばまい...] 伯母。叔母。父母の姉妹。【類】「ぶばま」。

ぶばイ [buba:] [名] [ぶばイまい...] 若芽。原野の刈り取った後の若芽。

ぶばがま [bubagama] [名] [ぶばが<sup>1</sup>まい...] 伯母叔母へ愛称をつけて呼ぶ。

ぶばな [bubana] [名] [ぶばなまい...] 穂花。さとうきびやすすきの花。

ぶばま [bubama] [名] [ぶば<sup>1</sup>まい...] 伯母。叔母。おば。【類】「ぶば」。

ぶばらム [pubaram] [名] [ぶばら<sup>1</sup>ムまい...] 穂孕み。つぼみの状態。

ふひつゆー [fuhitsju:] [形] [ふひつゆ<sup>1</sup>ーまい...] 不必要。

ふびん [fubin] [形] [ふびんまい...] 不便。

ぶふ [bufu] [擬] [ぶふていー...] 突き刺して穴をあけるときに言う。

ぶふー [bufu:] [擬] 空気が抜ける様。

ぶふっじむぬ [bufuddzimu:] [名] [ぶふっじむ<sup>1</sup>ぬまい...] 発育の悪いもの。人には言わない。

ぶふっじり [bufuddzi:] [動II類c型] [ぶふっじりー、ぶふっじん] 発育が悪い。

ふまーり [fuma:] [動I類c型] [ふまーりー、ふまーらん] 一つの食器を複数の人が使用する。工具を共同使用する。

ふまーりうじん [fuma:udzin] [名] [ふまーりうじ<sup>1</sup>んまい...] 同じ膳で食べること。

ふます [fumasʒ] [動I類a型] [ふましー、ふましやん] 汲ませる。井戸から水を汲ませる。

ぶみかす [pumikasʒ] [動I類a型] [ぶみかしー、ぶみかしゃん] 温める。部屋を温める。冷たい食べ物を温める。

ぶみギ [pumikʒ] [動I類a型] [ぶみきー、ぶみかん] 温かくなる。温暖になる。味噌が醗酵する。

ぶみギがしゃ [pumikʒga:ʒa] [名] [病] [ぶみギが<sup>1</sup>しゃまい...] 水痘。

ぶみギかだ [pumikʒkada] [名] [ぶみギか<sup>1</sup>だまい...] 醗酵しているにおい。味噌の醗酵する匂い。

ぶみギすつ [pumikʒsʒtsʒ] [名] [ぶみギす<sup>1</sup>つまい...] 温かくなる季節。温かくなる時節。

ぶみギまき [pumikʒmaki] [名] [ぶみギま<sup>1</sup>きまい...] 夏負け。夏に食欲のないこと。

ぶみギわーつギ [pumikʒwa:tsʒkʒ] [名] [ぶみギわ

一つ<sup>1</sup>ぎまい...) 暑い天気。

ぷみり [pumi] [動II類c型] [ぷみー、ぷみん] ほめる。たたえる。表彰する。

ふム [fum] [動I類c型] [ふみー、ふまん] 踏む。【例】ふムたうす (踏み倒す)。ぱギしー ふム (足で踏む)。【同】「ムー」。

ふム [fum] [動I類c型] [ふみー、ふまん] 履く。【例】しゃぼう ふム (草履を履く)。【同】「ムー」。

ふム [fum] [動I類c型] [ふみー、ふまん] 汲む。水を汲む。【同】「ムー」。

ふム [fum] [動I類c型] [ふみー、ふまん] 組む。組を作る。並ぶ。【例】ゆたーり<sup>1</sup> ふム (四人組を作る)。

ふむ [fumu] [名] [ふむま<sup>1</sup>い...] 雲。「く」音が「ふ」音に変化した。

ふムくいり [fumkui] [動II類a型] [ふムくいー、ふムくいん] 踏み越える。【同】「ムーくいり」。

ふムずきり [fumdzi] [動II類a型] [ふムずきー、ふムずきん] 踏み付ける。侮る。踏み付けにする。いじめる。

ふムずくー [fumdzi] [動I類a型] [ふムずけー、ふムずかーん] 踏み使う。酷使する。こき使う。さんざん働かせる。

ふムた [fumta] [名] [ふムたまい...] 踏むこと。踏みつけること。

ふムたうす [fumtaus] [動I類a型] [ふムたうしー、ふムたうしゃん] 踏み倒す。相手をやっつける。【同】「ふムとーす」。

ふムだす [fumdas] [動I類c型] [ふムだしー、ふムだしゃん] 汲み出す。便所の汚物を汲み取る。

ふムだみり [fumdami] [動II類a型] [ふムだみー、ふムだみん] 踏み固める。運動場の土を踏み固める。

ふムだり [fumda] [動I類a型] [ふムだりー、ふムだらん] 踏みつける。

ふムつぎ [fumts] [動I類a型] [ふムつきー、ふムつかん] 踏み付ける。

ふムでいり [fumdi] [動II類a型] [ふムでいー、

ふムでいん] 汲み出す。

ふムでいり [fumdi] [動II類a型] [ふムでいー、ふムでいん] 踏み出る。希望に満ちて島を出る。

ふムとーす [fumto:s] [動I類a型] [ふムとーしー、ふムとーしゃん] 踏み倒す。相手をやっつける。【同】「ふムたうす」。

ふムぱずず [fumpadz] [動I類a型] [ふムぱずしー、ふムぱずしゃん] 踏みはずす。踏み損なう。

ふムぱり [fumba] [動I類a型] [ふムぱりー、ふムぱらん] 踏みほぐす。【同】「ムーぱり」。

ぶムみかす [bummikas] [動I類c型] [ぶムみかしー、ぶムみかしゃん] 強く叩いて音を出す。

ぶムみかす [bummikas] [動I類c型] [ぶムみかしー、ぶムみかしゃん] 勢いがある。一目散。【例】ぶムみかしー とうビ (一目散に走って行く)。【同】「ぶムみかす」。

ぶムみぎ [bummik] [動I類c型] [ぶムみきー、ぶムみかん] 強い音が出る。

ふムみず [fummidz] [名] [ふムみ<sup>1</sup>ずまい...] 汲む水。井戸から汲んで来た水。

ぶムやー [bum.jar] [名] [ぶ<sup>1</sup>ムやーまい...] <ぶームやー>。直訳は芋(う)を績(う)む家。麻を績む所。首里王府の役人の仕事場。役場。【類】「ばんしゅ」。

ふむり [fumu] [動I類c型] [ふむりー、ふむらん] くもる。曇る。ガラスがくもる。

ふや [fuja] [名] [ふやまい...] ホヤ。ホヤランプのこと。

ぶやきり [bujaki] [動II類c型] [ぶやきー、ぶやきん] ぼやける。

ふやらんぶ [fujaranpu] [名] [ふやらんぶまい...] ホヤランプ。

ふゆ [fuju] [名] [ふゆまい...] 冬。冬の季節。

ふゆー [fju:] [形] [ふゆーまい...] 怠け。骨苦しみ。怠惰。怠慢。ぐーたら。

ふゆうぶなか [fjuupunaka] [名] [ふゆうぶなまい...] 水納島の冬の祭り。

ふゆぎん [fjugn] [名] [ふゆぎんまい...] 冬着。冬に着るもの。

ふゆじゆー [fujudzɯ:] [名] [ふゆじゆーまい...]  
冬の潮。夜の潮がよく引く。

ふゆじゆー [fujudzɯ:] [副] 冬中。冬の全部。

ふゆしゆがり [fujucɯgaɾi] [名] [ふゆしゆがりまい...]  
冬支度。冬への準備。

ふゆでいん [fujudin] [名] [ふゆでいんまい...]  
冬の天気。冬の空。寒空。【類】「ふゆでいんぎ」。「ふゆわ一つぎ」。

ふゆでいんぎ [fujudinkɟi] [名] [ふゆでいんぎまい...]  
冬の天気。冬の空。寒空。【類】「ふゆでいん」。「ふゆわ一つぎ」。

ふゆぬ どうゆー [fujunu duju:] [名] [ふゆぬどうゆーまい...]  
冬の土用。冬の真っ盛り。

ふゆむぬ [fujumunu] [名] [ふゆむぬまい...]  
冬物。冬の衣服。

ふゆムまり [fujummari] [名] [ふゆムまりまい...]  
冬生れ。冬の生まれ。

ふゆやすム [fujujasɯm] [名] [ふゆやすムまい...]  
冬休み。

ふゆわ一つぎ [fujuwatsɟkɟi] [名] [ふゆわ一つぎまい...]  
冬の天気。冬の空。寒空。【類】「ふゆでいん」。「ふゆでいんぎ」。

ふら [fura] [名] [ふらまい...]  
鞍。馬の背につけるもの。【類】「ぬーまぬふら」。

ぶら [bura] [名] [ぶらまい...]  
法螺。ほら貝。

ぶら [bura] [名] [ぶらまい...]  
筒。空っぽの細長い物。

ぶら [bura] [名] [ぶらまい...]  
自慢。誇張。【例】ぶらふけ (自慢する人)。

ふらいり [furaiɾi] [動II類a型] [ふらいー、ふらいん]  
ふられる。嫌われる。【例】ふらいん (ふれられない。嫌われない)。

ぶらいり [buraiɾi] [動II類a型] [ぶらいー、ぶらいん]  
居られる。住める。住んでいられる。【例】ぶらいん (居られない。住めない。住んでいられない)。

ぶらかいす [burakaisɟi] [動I類] [ぶらかいしー、ぶらかいしゃん] [ぶらかいしー「ぶり」ひっくり返す。

ぶらかいらす [burakairasɟi] [動I類] [ぶらかい

らしー、ぶらかいらしゃん] [ぶらかいしー「ぶり」ひっくり返す。【例】ぶらかいしーとうみる (ひっくり返して探せ)。

ぶらかいり [burakaiɾi] [動I類] [ぶらかいりー、ぶらかいらん] [ぶらかいりー「ぶり」ひっくり返る。倒れる。転ぶ。

ぶらかさす [purakasɟi] [動I類a型] [ぶらかしー、ぶらかしゃん] 開けさせる。赤ちゃんの口を開けさせる。

ぶらぎ [purakɟi] [動I類a型] [ぶらきー、ぶらかん] 開く。口を開ける。袋を開ける。封筒を開ける。道を拓く。開墾する。

ぶらぎり [buragiri] [動II類c型] [ぶらぎー、ぶらぎん] 折りあげる。〈ぶり〉(折る)の強調形。体が大きくなって着られるように「折り」をつける。【例】すっじゃう ぶらぎり (きび収穫をする)。

ぶらく [buraku] [名] [ぶらくまい...]  
部落。行政区分。土原、天川、津川、宮良、嶺間、大道、大木、吉川、水納島。

ぶらしゃがり [burasɟagaɾi] [動I類c型] [ぶらしゃがりー、ぶらしゃがらん]  
ぶら下がる。【例】しんだんぎーん ぶらしゃがり (せんだんにぶら下がる)。ていつぼうん ぶらしゃがり (鉄棒にぶら下がる)。

ぶらす [furasɟi] [動I類c型] [ぶらしー、ぶらしゃん] 降らせる。雨の止むのを待つ。【例】あみう ぶらしーから やーんけーいき (雨が止んでから家に行きなさい)。

ぶらす [purasɟi] [動I類a型] [ぶらしー、ぶらしゃん] 狂わせる。迷わせる。だめにする。

ぶらす [purasɟi] [動I類c型] [ぶらしー、ぶらしゃん] 掘らせる。穴を掘らせる。【例】あなう ぶらす (穴を掘らせる)。

ぶらふぎ [burafukɟi] [名] [ぶらふぎまい...]  
ほら吹き。八月おどりを盛り上げるためのほら吹き。自慢する意味もある。

ぶらふぎペー [burafukɟbe:] [名] [ぶらふぎペーまい...]  
ほら吹く係。ほらを吹き鳴らす係。

ぶらふけ [burafuke] [名] [ぶらふけまい...]  
大げさに言う人。豪語する人。自慢する人。

ぶらぶら [burabura] [擬] 仕事のないこと。  
 ぶらやっかん [burajakkan] [名] [ぶ<sup>1</sup>らやっかん  
 まい...] ほら貝を湯沸し器にしたもの。  
 ぶり [fu] [名] [ぶ<sup>1</sup>りまい...] 豚小屋のこと。【同】  
 「ぶりらー」。  
 ぶり [fu] [動I類c型] [ふりー、ふらん] 振る。  
 手を振る。旗を振る。旗を振って応援する。  
 ぶり [fu] [動I類c型] [ふりー、ふらん] 振る。  
 割り振る。分ける。平等に分ける。  
 ぶり [fu] [動I類c型] [ふりー、ふらん] 振る。  
 彼氏を振る。彼女を振る。  
 ぶり [fu] [動I類c型] [ふりー、ふらん] 降る。  
 雨が降る。【例】 ぶりつずぎ (降り続く)。  
 ぶり [bu] [動I類a型] [ぶりー、ぶらん] 居る。  
 家に居る。住む。【例】 すまんどう ぶり (島に  
 住んでいる)。  
 ぶり [bu] [動I類] [ぶりー、ぶらん] いる。動  
 詞の接続形に続き、継続相を表わす。また、副  
 詞句の述語としても機能する。【例】 しー ぶり  
 (している)。ふえー ぶり (食べている)。あん  
 しー ぶり (そのようにしている)。ぶるぶるて  
 いー ぶり (沸騰している)。うていていー ぶ  
 り (落ちようとしている)。  
 ぶり [bu] [動I類c型] [ぶりー、ぶらん] 折る。  
 枝を折る。骨折する。  
 ぶり [pu] [動I類c型] [ぶりー、ぶらん] 掘る。  
 地面に穴を開ける。  
 ぶり [pu] [動I類c型] [ぶりー、ぶらん] 彫る。  
 彫刻する。  
 ぶり [puri] [名] [ぶりまい...] 愚か。愚かなこと。  
 【例】 ぶりむぬゆム (愚かな物言い)。  
 ぶりあすび [purias̄bi] [名] [ぶりあすびまい...]  
 愚かな遊び。馬鹿遊び。無駄遊び。  
 ぶりー [fu:] [動I類a型] [ぶりりー、ぶりら  
 ん] 震える。こごえる。【例】 ぴーしゃん ぶり  
 ー (寒さに震える)。  
 ぶりー [buri:] [名] [ぶり<sup>1</sup>ーまい...] 無礼。失礼。  
 ぶりーぶり [puri:puri] [重複] 気が狂ったよう。  
 ぶりーやき [fu:]jaki [名] [ぶりーやきまい...] 夜  
 間に発熱を起すこと。【類】「たりにつ」。  
 ぶりーやム [fu:]jam [名] [ぶりーや<sup>1</sup>ムまい...]

高熱が出てふるえる病氣。マラリア。フィラリ  
 ア。  
 ぶりヴヴあい [purivvai] [名] [ぶりヴヴあいま  
 い...] 太り過ぎ。ばか太り。肥満。  
 ぶりうくす [pu]lukus̄] [動I類c型] [ぶりうく  
 しー、ぶりうくしゃん] 掘り起こす。  
 ぶりうとうす [fu]utus̄] [動I類c型] [ぶりうと  
 うしー、ぶりうとうしゃん] 振り落とす。  
 ぶりかー [pu]ka:] [名] [ぶりか<sup>1</sup>ーまい...] 掘り  
 井戸。人口井戸。掘った井戸。  
 ぶりかいす [burikais̄] [動I類c型] [ぶりかい  
 しー、ぶりかいしゃん] ぶり返す。病氣が再発  
 する。  
 ぶりき [buriki] [名] [ぶり<sup>1</sup>きまい...] ブリキ。鉄  
 板に錫(すず)をめっきしたもの。  
 ぶりぎ なり [purigi na] [連語] 馬鹿みたいにな  
 る。愚か者になる。  
 ぶりぎしゃーり [purigica:] [形] [ぶりぎ<sup>1</sup>しゃ  
 まい...] 馬鹿みたい。馬鹿げている。  
 ぶりぎムまり [purigimari] [名] [ぶりぎムま<sup>1</sup>  
 りまい...] 馬鹿げた生れ。馬鹿げた振る舞い  
 をする人。  
 ぶりくム [furikum] [動I類c型] [ぶりくみー、  
 ぶりくまん] 振り込む。  
 ぶりしゃきぬム [puris̄akinum] [名] [ぶりしゃき  
 ぬムまい...] 大酒飲み。自制なしに酒を飲む。  
 ぶりしゅでい [furiçudi] [名] [ぶりしゅ<sup>1</sup>でいま  
 い...] 振袖。たもとの長い袖。  
 ぶりだし [furidaçi] [名] [ぶりだしまい...] 振り  
 出し。  
 ぶりつき [furits̄ki] [名] [ぶりつ<sup>1</sup>きまい...] 振り  
 付け。踊りの振り付け。  
 ぶりっじゃぎしゃーり [puriddzagica:] [形] [ぶ  
 りっじゃぎ<sup>1</sup>しゃまい...] 馬鹿みたい。あほら  
 しい。  
 ぶりっていーまい [buritti:mai] [連語] 居るくせ  
 に。居ながら。【例】 ぶりっていーまい くい  
 しゅん (居るのに声がない)。  
 ぶりでいり [fu]di] [動II類c型] [ぶりでいー、  
 ぶりでいん] 振り出す。袋の中から振り出す。  
 ぶりなム [burinam] [名] [ぶりな<sup>1</sup>ムまい...] 折

れ波。砕ける波。干瀬の白波。  
 ぶりばたらギ [puripatarakɯ] [名] [ぶりばたらギ  
 まい...] 馬鹿働き。無駄働き。骨折れ損。  
 ぶりばるー [puribaru:] [名] [ぶりばるーまい...]  
 笑いこげること。笑い過ぎ。意味のない笑い。  
 ぶりふーり [purifu:] [名] [ぶりふーりまい...] 知  
 らないふり。愚か者に見せかける。  
 ぶりふつ [burifutsɯ] [名] [ぶりふ<sup>1</sup>つまい...] 折  
 れ口。折れた部分。  
 ぶりふつ [burifutsɯ] [名] [ぶりふ<sup>1</sup>つまい...] 波  
 の砕ける所。干瀬に砕けている所。  
 ぶりぶり [buɽu] [擬] ぶつぶつ。鍋の煮たぎる  
 音。  
 ぶりまがり [burimagaɽi] [動I類c型] [ぶりまが  
 りー、ぶりまがらん] 折れ曲がる。  
 ぶりまぎり [buɽmagiɽi] [動II類c型] [ぶりまぎ  
 ー、ぶりまぎん] 折り曲げる。  
 ぶりまぼう [fuɽmabau] [名] [ぶりまば<sup>1</sup>うまい...]  
 くるり棒。振り回し棒。豆、麦、粟、黍の脱穀  
 用具。【同】「ぶりまぼー」。  
 ぶりまぼー [fuɽmabo:] [名] [ぶりまぼ<sup>1</sup>ーまい...]  
 くるり棒。振り回し棒。豆、麦、粟、黍の脱穀  
 用具。【同】「ぶりまぼう」。  
 ぶりみ [buɽmi] [名] [ぶりみまい...] 家内で神事  
 を行うこと。  
 ぶりみぎ [buɽmikɯ] [動I類c型] [ぶりみきー、  
 ぶりみかん] 鍋の煮物の炊く音。煮えたぎること。  
 ぶりむぬ [purimunu] [名] [ぶりむぬまい...] 狂  
 い者。精神病患者。精神異常者。  
 ぶりむぬ [purimunu] [名] [ぶりむぬまい...] 正  
 常でないことを言う人。馬鹿。  
 ぶりむぬふー [purimunufu:] [名] [ぶりむぬふー  
 まい...] 馬鹿食い。暴食。  
 ぶりむぬゆム [purimunuɽum] [名] [ぶりむぬゆ  
 ムまい...] 馬鹿げた言葉。道理に合わない言い  
 方。たわごと。  
 ぶりやすしゃーり [burijasɯa:] [形] [ぶりやす  
<sup>1</sup>しゃまい...] 折れやすい。枯れ枝は折れやす  
 い。  
 ぶりゆだ [burijuda] [名] [ぶりゆ<sup>1</sup>だまい...] 折

れた枝。  
 ぶりらー [fuɽa:] [名] [ぶり<sup>1</sup>らーまい...] 豚小屋。  
 屋敷内にある豚小屋。  
 ぶりらぶりら [buɽabuɽa] [擬] 浮いたり沈んだ  
 りする様子。どんぶらこ。  
 ぶりり [buriɽi] [動II類c型] [ぶりー、ぶりん]  
 折れる。【例】ぷにぬ ぶりり(骨が折れる)。ゆ  
 だぬ ぶりり(枝が折れる)。  
 ぶりり [puriɽi] [動II類a型] [ぶりー、ぶりん]  
 狂う。呆ける。精神異常になる。  
 ぶりり [puriɽi] [動II類a型] [ぶりー、ぶりん]  
 惚れる。好きになる。  
 ぶりわきり [furiwakiɽi] [動II類c型] [ぶりわき  
 ー、ぶりわきん] 振り分ける。  
 ぶりわじゃ [puriwadza] [名] [ぶりわ<sup>1</sup>じゃまい...]  
 馬鹿働き。無駄働き。  
 ぶりんかす [burinkasɯ] [動I類c型] [ぶりんか  
 しー、ぶりんかしゃん] 穴に落としてしまう。  
 タイヤが窪みに落ちる様。  
 ぶりんぎ [burinkɯ] [動I類c型] [ぶりんきー、  
 ぶりんかん] 穴に落ちる。深みに落ちる。  
 ぶりんぎ [burinkɯ] [動I類c型] [ぶりんきー、  
 ぶりんかん] 建物が倒壊する。崩れる。  
 ふる [furu] [名] [ふる<sup>1</sup>まい...] 風呂。【類】「ゆ  
 ーふる」。  
 ぶる [buru] [名] [ぶ<sup>1</sup>るまい...] ぼろ。ぼろ切れ。  
 ふるがに [furugani] [名] [ふるが<sup>1</sup>にまい...] 古  
 鉄。スクラップ。  
 ふるぎ [furugi] [名] [ふるぎまい...] 古着。  
 ふるきず [furukidzɯ] [名] [ふるき<sup>1</sup>ずまい...] 古  
 傷。  
 ふるぎん [furugɽn] [名] [ふるぎ<sup>1</sup>んまい...] 古い  
 着物。以前からある着物。  
 ふるしき [furuɽiki] [名] [ふるし<sup>1</sup>きまい...] 風呂  
 敷。  
 ふるしきずつム [furuɽikidzɯtsɽm] [名] [ふるし<sup>1</sup>  
 きずつムまい...] 風呂敷包み。【例】ふんゆ ふ  
 るしきん つつム(本を風呂敷に包む)。  
 ふるしゃーり [furuɽa:] [形] [ふる<sup>1</sup>しゃまい...]  
 古い。  
 ふるびり [furubiɽi] [動I類c型] [ふるびりー、ふ

るびらん) ほろびる。廃れる。

ぶるぶる [buruburu] [擬] [ぶるぶるていー...] 子どもがたくさん集まっている様。寒さにふるえる。恐怖におびえる。【例】やらびぬ ぶるぶるていー ぶり (子供がたくさんいる)。ぴーしゃん ぶるぶるていー ぶり (寒さに凍えている)。ぶるぶるていー あわていり (怖くて震えている)。

ぶるぶるやー [buruburuja:] [名] [ぶるぶるやーまい...] 雨降りの泥遊び。どろんこ遊び。

ぶるまー [buruma:] [名] [ぶるまーまい...] ブルマー。女生徒の体育着。

ぶるまうき [burumauki] [名] [ぶるまうきまい...] ぼろもうけ。荒もうけ。【同】「ぶるもーき」。

ぶるまうす [burumausu:] [名] [ぶるまうすまい...] 鶏の名。肉用の品種。プリマウス。

ぶるまき [burumaki] [名] [ぶるまきまい...] ぼろ負け。完敗。

ふるます [furumasu] [動I類c型] [ふるましー、ふるましやん] 古くする。

ぶるみぎ [burumiki] [動I類c型] [ぶるみぎー、ぶるみかん] お湯や鍋の炊き物が沸騰すること。

ふるム [furumu] [動I類c型] [ふるみー、ふるまん] 古くなる。

ふるむぬ [furumunu] [名] [ふるむぬまい...] 古物。

ふるムむぬ [furummunu] [名] [ふるムむぬまい...] 古くなったもの。昔からのもの。

ぶるもーき [burumo:ki] [名] [ぶるもーきまい...] ぼろもうけ。荒もうけ。【同】「ぶるまうき」。

ふるやー [furuja:] [名] [ふるやーまい...] 古い家。あばら家。

ふるわた [furuwata] [名] [ふるわたまい...] 古綿。綿入れの着物の中にある古い綿。

ふわふわ [fuvafuva] [擬] やわらかい。ふくらんでいる。綿入れの布団。

ふん [fun] [名] [ふんまい...] 本。書籍。読物。【例】ふんだな (本棚)。ふんゆ ゆム (本を読む)。

ぶん [bun] [名] [ぶんまい...] 分。分け前。取り前。【例】ヴヴあが ぶん (君の分だ)。

ぶん [bun] [名] [ぶんまい...] 盆。食べ物や食器を乗せる盆。

ぶん [bun] [名] [ぶんまい...] お盆。先祖を家にお供して三日間拝む行事。旧暦の7月13～15日。【類】「すとうがつ」。

ふんかく [funkaku] [名] [ふんかくまい...] 本格。本来の形式や方式にこだわって行動する。

ふんき [funkiki] [名] [ふんきんまい...] 本気。本当の気持。真剣。

ふんぎまり [fungima] [名] [ふんぎまりまい...] 本決り。決定。議事が決定する。

ぶんくつ [bunkutsu] [名] [ぶんくつまい...] ぼん骨。老朽。破損した品物。

ぶんくら [bunkura] [名] [ぶんくらまい...] ぼんくら。まぬけ。まぬけ者。

ふんさい [funsai] [名] [ふんさいまい...] 本妻。最初の妻。

ふんしき [funçiki] [名] [ふんしきまい...] 本籍。

ふんしゆく [funçuku] [名] [ふんしゆくまい...] 本職。

ふんしょー [funçø:] [名] [ふんしょーまい...] 本性。

ふんしん [funçin] [名] [ふんしんまい...] 本心。本当の心。

ぷんだい [pundai] [名] [ぷんだいまい...] 放題。わがまま。甘えん坊。

ぷんだいむぬ [pundaimunu] [名] [ぷんだいむぬまい...] 乱暴者。自分勝手な者。

ぷんだいやらび [pundaijarabi] [名] [ぷんだいやらびまい...] わがままな子。だだっ子。甘えっ子。

ふんだな [fundana] [名] [ふんだなまい...] 本棚。書棚。書架。

ふんちよーし [funçø:çi] [名] [ふんちよーしまい...] 本調子。三味線の調弦のこと。合・四・工。

ふんどう [fundu] [名] [ふんどうまい...] 本土。日本本土。沖縄県から見た他の都道府県のこと。

ふんと一 [funto:] [名] [ふんと一まい...] 本当。

真実。事実。

ふんに [funni] [名] [ふんにまい...] 本音。

ふんにん [funnin] [名] [ふんにんまい...] 本人。

ふんばく [funbaku] [名] [ふ<sup>1</sup>んばくまい...] 本箱。

ふんばん [funban] [名] [ふんばんまい...] 本番。

ふんぶん [funbun] [名] [ふんぶ<sup>1</sup>んまい...] 本分。

その人の果たさなくてはならない務め。

ぷんぷん [punpun] [擬] 熱気の充満している様。

ふんむとう [funmutu] [名] [ふんむとうまい...]

本元。大元。

ふんむぬ [funmunu] [名] [ふんむぬまい...] 本物。

ふんやー [fun.ja:] [名] [ふ<sup>1</sup>んやーまい...] 本屋。

## — へ —

へい [hei] [名] 丙。第三位の意味。成績の三位。  
 ペうす [pe:ʃ] [副] たまに。ときどき。まれに。  
 【例】ペうすんや くだ (たまには来なさい)。  
 ペうすん [pe:ʃn] [副] たまには。  
 へー [he:] [感] 人をあざ笑うときや小ばかにするときに発する。  
 べー [be:] [終] ~かな。~だろう。【例】あんしーべー (そうかな)。  
 べー [be:] [名] 部。係。語り部。【例】すーべー (やる人)。うくすべー (起こしてあげる人)。むつべー (持つ係)。  
 ぺー [pe:] [名] [ペーま<sup>1</sup>い...] 足で踏む機織機の器具。  
 ぺー [pe:] [名] [鳥] [ペーまい...] ちょうげんぼう。村史参照。  
 ぺー [pe:] [名] [ペーまい...] 大きさ。【例】ゆめぺー (同じ大きさ)。「同」「ぶい」。  
 ぺー ギー [pe: ki:] [連語] 這ってくる。  
 ぺーあがり [pe:aga] [名] [ペーあが<sup>1</sup>りまい...] 早上り。早仕舞い。仕事が早く終わること。  
 ぺーあがり [pe:a] [名] [ペーあ<sup>1</sup>りまい...] 早歩き。歩きの早いこと。  
 ぺーうい [pe:ui] [名] [ペーう<sup>1</sup>まい...] 早植え。作物の早植え。  
 ぺーうき [pe:uki] [名] [ペーう<sup>1</sup>きまい...] 早起き。朝起きの早いこと。  
 ぺーうわり [pe:uwa] [名] [ペーうわ<sup>1</sup>りまい...] 早終り。仕事が早く終わること。  
 ぺーが [pe:ga] [名] [ペー<sup>1</sup>がまい...] 勇ましい人。悪がしこい人。  
 ぺーギム [pe:kɪm] [名] [ペーギ<sup>1</sup>ムまい...] ベーちん。親雲上。首里王府の役人。【同】「ペーつん」。  
 ぺーく [pe:ku] [名] [ペー<sup>1</sup>くまい...] 百。百のう

ち一つも当てにならないこと。うそつき。  
 ぺーし [pe:ʃi] [副] 早いうち。早い頃。早い時。  
 ぺーしから [pe:ʃikara] [連語] 早くから。早い頃から。早い時から。早いうちから。  
 ぺーしまー [pe:ʃima:] [副] 間を置かない。早い間隔。  
 ぺーしゃ [pe:ʃa] [名] [ペー<sup>1</sup>しゃまい...] 早さ。  
 ぺーしゃーり [pe:ʃa:] [形] [ペー<sup>1</sup>しゃまい...] 早い。早いこと。比較して早い。時間が早い。歩きが早い。走りが早い。【例】ぺーしゃ ねーん (早くない)。ぺーしゃぬ (早いなあ。早いことよ。作物の生育の早いこと)。  
 ぺーしゃぎ [pe:ʃakɪ] [名] [ペーしゃ<sup>1</sup>ぎまい...] 早咲。早い開花。  
 ぺーしゃめー [pe:ʃame:] [名] [ペー<sup>1</sup>しゃめーまい...] 早さ勝負。走り競争。かけっこ。  
 ぺーしゆ [pe:ʃu] [名] [ペー<sup>1</sup>しゆまい...] 早い潮。早朝の潮時。【類】「すとうむていじゆー」。  
 ぺーしゆがり [pe:ʃuga] [名] [ペーしゆが<sup>1</sup>りまい...] 早い支度。早くから準備する。  
 ぺーしゆなまり [pe:ʃunama] [名] [ペーしゆなま<sup>1</sup>りまい...] 早い支度。準備。  
 ぺーしんか [pe:ʃinka] [連語] その昔。ずっと昔。過去。以前。  
 ぺーす [pe:sɪ] [動I類c型] [ペーしー、ペーしゃん] はやす。おだてる。励ます。音頭をとる。  
 ぺーすぐり [pe:sɪguri] [名] [ペーすぐ<sup>1</sup>りまい...] 早く優れること。早熟。早生。心身の発達に言う。  
 ぺーすばい [pe:sɪbai] [名] [ペーすば<sup>1</sup>まい...] おだてに応じること。その人。  
 ぺーずまい [pe:dʒɪmai] [名] [ペーずま<sup>1</sup>まい...] 早じまい。早く終了すること。  
 ぺーずん [pe:dʒɪn] [名] [ペーず<sup>1</sup>んまい...] 早死。  
 べーた [beta] [名] [代] [ペー<sup>1</sup>たまい...] 我等。私たち。ぼくたち。  
 ぺーだき [pe:daki] [名] [ペーだ<sup>1</sup>きまい...] 機織の糸を乾かすために延える竹のこと。石垣に竹棒を差し込んで「ぶー」を乾かした。  
 ぺーつん [pe:tsɪn] [名] [ペーつ<sup>1</sup>んまい...] ベーちん。親雲上。首里王府の役人。【同】「ペーぎ

ム。  
 ペーていー [be:ti:] [連語] そうかな。だろう。【例】 あんしーペーていー うめー ぶたㇰ (そうかなと思っていた)。  
 ペーとうずとうみ [pe:tudzɯtumi] [名] [ペーとうずとう<sup>1</sup>まい...] 早い嫁とり。早婚。  
 ペーとうずみ [pe:tudzɯmi] [名] [ペーとうず<sup>1</sup>まい...] 早閉め。早仕舞い。早い仕上げ。早いうちに仕事を終えること。  
 ペーどうㇰ [pe:du:] [動I類c型] [ペーどうりー、ペーどうらん] 這う。四つんばいになる。  
 ペーにに [pe:nini] [名] [ペーに<sup>1</sup>にまい...] 早寝。早く寝ること。  
 ペーぬーま [pe:nu:ma] [名] [ペーぬー<sup>1</sup>まい...] 早い馬。駿馬。シートヤーでさとうきびを压榨するのによく走る馬のこと。  
 ペーふ [pe:fu] [副] 早く。急ぐ。【例】 ペーふ くだ (早く来なさい)。  
 ペーふつ [pe:futsɯ] [名] [ペーふ<sup>1</sup>つまい...] 早口。またはその人。口調の早いこと。  
 ペーふていー [pe:futi:] [副] 早く。もっと早く。急かすこと。【例】 ペーふていー する (もっと早く仕事はしなさい)。  
 ペーぶとうむつ [pe:butumutsɯ] [名] [ペーぶとうむ<sup>1</sup>つまい...] 早婚。早く夫を持つこと。  
 ペーふに [pe:funi] [名] [ペーふ<sup>1</sup>にまい...] 早船。船足の早いこと。船の運航の早いこと。  
 ペーペー [pe:pe:] [重複] 早く早く。【例】 ペーペー ぱりー くー (早く走って来なさい)。  
 ペーペーていー [pe:peti:] [副] 早く早く。急かすこと。【例】 ペーペーていー しゅだ (急いでやれ)。  
 ペーます [pe:masɯ] [動I類c型] [ペーましー、ペーましやん] 励ます。激励する。  
 ペーまらす [pe:marasɯ] [動I類a型] [ペーまらしー、ペーまらしやん] 早まらせる。急かせる。せき立てる。【同】「ばやまらす」。  
 ペーまりㇰ [pe:ma:] [動I類a型] [ペーまりー、ペーまらん] 早まる。時間を繰り上げる。【同】「ばやまりㇰ」。  
 ペーみム [pe:mim] [名] [ペーみ<sup>1</sup>ムまい...] 早耳。

聞きつけの早いこと。  
 ペーみㇰ [pe:mi:] [動II類a型] [ペーみー、ペーみん] 早める。時間を繰り上げる。【同】「ばやみㇰ」。  
 ペーム [be:m] [終] ~そうですか。そうでしょうか。敬意も表わす。【例】 あんしーペーム (そうですか。そのようにしてよいでしょうか。目上に言う)。  
 ペームす [pe:msɯ] [名] [ペームすまい...] 平屋西。土春豊見親の父。  
 ペーむぬ [pe:munu] [名] [ペーむ<sup>1</sup>ぬまい...] 早いもの。早い人。仕事の早い人。作物を早く収穫したもの。かけ走の早い人。  
 ペームまり [pe:mmari] [名] [ペームま<sup>1</sup>りまい...] その年の早い月に生まれること。その子。  
 ペーㇰ [pe:] [名] [ペーㇰまい...] 酢。すっぱい味。酢酸飲料。  
 ペーり [pe:ri] [名] [ペーりまい...] 日照。長い日照は干ばつ。【類】「びむ」。  
 ペーりどうす [pe:ridusɯ] [名] [ペーりどう<sup>1</sup>すまい...] 日照年。干ばつの年。  
 ペーわじゃ [pe:vadza] [名] [ペーわ<sup>1</sup>じゃまい...] 早業。早技。早い作業。早い技術。  
 へく [heku] [名] [へ<sup>1</sup>くまい...] 百。ひやく。もも。百歳。【類】「むむ」。  
 へくしょー [hekuɕo:] [名] [へくしょ<sup>1</sup>ーまい...] 百性。ひやくしょう。農業者。  
 へくにつ [hekunitsɯ] [名] [へくに<sup>1</sup>つまい...] 百日。誕生から百日の記念日。【同】「へくにつ」。  
 へくにつ [pekunitsɯ] [名] [へくに<sup>1</sup>つまい...] 百日。誕生から百日の記念日。【同】「へくにつ」。  
 へしちやちよーびん [heɕitɕatɕo:bin] [名] [へし<sup>1</sup>ちやちよーびんまい...] 平敷屋朝敏。手水の緑の作者。琉球王朝の和文学者。  
 ペつき [pekki] [名] [べっ<sup>1</sup>きまい...] 百斤。重さの百斤。60キロ。  
 へっくり [hekkuri] [擬] どっこいしょ。老人の言うこと。  
 べっぴん [beppin] [名] [べっぴ<sup>1</sup>んまい...] 別嬪。別品。女の子に言う。  
 べに [beni] [名] [べ<sup>1</sup>にまい...] 紅。女性の口紅。

食紅。かまぼこに塗る紅色。【同】「びに」。

ペルマ [peruma] [名] [蟹] [ペル<sup>1</sup>まい...] す  
ながに。【類】「ペルマガン」。

ペルマガン [perumagan] [名] [蟹] [ペル<sup>1</sup>まが  
んまい...] すながに。【類】「ペルマ」。

べんけう [benkeu] [名] [べんけうまい...] 勉強。  
学問すること。学習すること。

べんけうだう [benkeudau] [名] [べんけうだ<sup>1</sup>う  
まい...] 勉強するために必要な道具。

べんけうどー [benkeudo:] [名] [べんけうど<sup>1</sup>ー  
まい...] 勉強するために必要な道具。

— ほ —

ほい [hoi] [感] はやし。子守歌の歌詞の一節。  
 ほいやら [hoijara] [感] はやし。子守歌の歌詞の一節。  
 ぼー [bo:] [名] [ぼーまい...] 棒。木や竹の棒。鞭。【同】「ぼう」。  
 ぼー [po:] [名] [ぼーまい...] 方。方向。方角。【例】いんぼー（遠方）。なんぼー（南洋諸島）。  
 ぼー [po:] [名] [ぼーまい...] さんぼー。神に供えものに乗せる台。  
 ぼー [po:] [名] [ぼーまい...] 蛇。【同】「ぼう」。  
 ぼー [po:] [動I類c型] [ペー、ばーん] 這う。赤ちゃんが這う。虫が這う。つる植物が這う。かたつむりが這う。【同】「ぼう」。  
 ぼーあーす [bo:asɯ] [名] [ぼーあーすまい...] 棒合せ。棒おどり。八月おどりの演目の一つ。  
 ほーい [ho:i] [感] 人を呼びかけるときに発する。  
 ほーいふしゃ [ho:ifuɕa] [名] [植] [ほーいふしゃまい...] りゅうきゅうぼたんづる。村史参照。  
 ぼーギ [po:kɯ] [名] [ぼーギまい...] 箒。竹箒。すすきの箒。【同】「ぼうぎ」。  
 ぼーギ [po:kɯ] [動I類c型] [ぼーきー、ぼーかん] 掃く。掃除する。  
 ぼーぎー [po:gi:] [名] [植] [ぼーぎーまい...] みずがんび。  
 ほーぎん [ho:gin] [名] [ほーぎんまい...] 方言。島言葉。地域で使われる発音・用語。なまり。俚言。【同】「ぼうぎん」。「ほーぎん」。  
 ぼーぎん [po:gin] [名] [ほーぎんまい...] 方言。島言葉。地域で使われる発音・用語。なまり。俚言。【同】「ぼうぎん」。「ほーぎん」。  
 ほーぎんふだ [ho:ginfuda] [名] [ほーぎんふだまい...] 方言札。戦前、戦中、戦後学校では方言が禁止された。方言を言う生徒の首に「札」

をかけた。【同】「ぼうぎんふだ」。「ほーぎんふだ」。  
 ほーぎんふだ [po:ginfuda] [名] [ほーぎんふだまい...] 方言札。【同】「ぼうぎんふだ」。「ほーぎんふだ」。  
 ほーく [ho:ku] [名] [ほーくまい...] ホーク。畜舎の肥料を起こす道具。枯れ葉を集めるのにも使う。  
 ほーく [bo:ku] [名] [ほーくまい...] 不正。失格。競技などのルール違反。  
 ぼーぐ [po:gu] [名] [ぼーぐまい...] 抱護。抱護林。防風林。集落の防備と言われる。2019年に日本森林学会が林業遺産に認定。  
 ぼーくーごー [bo:ku:go:] [名] [ぼーくーごーまい...] 防空壕。敵の空襲から身を守るための壕。  
 ほーくく [ho:kuku] [名] [ほーくくまい...] 報告。  
 ほーこー [ho:ko:] [名] [ほーこーまい...] 奉公。滅私奉公。丁稚奉公。  
 ほーこーにん [ho:ko:nin] [名] [ほーこーにんまい...] 奉公人。奉公する人。  
 ぼーし [bo:ɕi] [名] [ぼーしまい...] 帽子。  
 ぼーしゅ [bo:ɕu] [名] [ぼーしゅまい...] 芒種。二十四節気の一つ。6月6日頃。【同】「ぼうしゅ」。  
 ぼーず [bo:dzɯ] [名] [ぼーずまい...] 坊主。僧侶。幼児（男）。坊や。  
 ぼーずがなまら [bo:dzɯganamara] [名] [ぼーずがなまらまい...] 坊主頭の人。丸刈頭の人。【同】「ぼうずがなまら」。  
 ぼーずがなまり [bo:dzɯganama] [名] [ぼーずがなまりまい...] 坊主頭。丸刈頭。【同】「ぼうずがなまり」。  
 ぼーずがなまれ [bo:dzɯganamare] [名] [ぼーずがなまれまい...] 坊主頭の人。丸刈頭の人。【同】「ぼうずがなまれ」。  
 ほーそー [ho:so:] [名] [病] [ほーそーまい...] 疱瘡。天然痘。  
 ほーたい [ho:tai] [名] [ほーたいまい...] 包帯。  
 ぼーたうし [bo:tauɕi] [名] [ぼーたうしまい...] 棒倒し。運動会の男児の演目。【同】「ぼーたう

す。

ぼーたうす [bo:tausʃ] [名] [ぼーたう<sup>1</sup>すまい...] 棒倒し。運動会の男児の演目。【同】「ぼーたうし」。

ぼーちゃ [po:tʃa] [名] [ぼー<sup>1</sup>ちゃまい...] 料理人。スツウプナカのクバン座の責任者。【同】「ぼうちゃ」。

ぼーちょー [ho:tʃo:] [名] [ほーちょ<sup>1</sup>ーまい...] 包丁。【類】「かたな」。

ぼーちら [bo:tʃira] [名] [ぼーち<sup>1</sup>らまい...] 乱暴者。腕白者。悪がき。わがままな子ども。

ぼーちり [bo:tʃiri] [形] [ぼーち<sup>1</sup>りまい...] 暴れ。乱暴。横暴。

ぼーちりみどうム [bo:tʃirimidum] [名] [ぼーちりみどう<sup>1</sup>ムまい...] やんちゃ女。おてんば。

ぼーちりむぬ [bo:tʃirimunu] [名] [ぼーちりむ<sup>1</sup>ぬまい...] 暴れ者。腕白者。手におえない者。

ぼーったん [bo:ttan] [名] [ぼー<sup>1</sup>ったん<sup>1</sup>まい...] 浮き。延縄漁に用いる浮き。

ぼーなギ [bo:nagi] [名] [ぼーな<sup>1</sup>ギまい...] 棒や鞭でたたく。戒めのために言う。

ぼーぬ ぶり [bo:nu buri] [名] [ぼー<sup>1</sup>ぬぶり<sup>1</sup>まい...] 棒切れ。

ほーび [ho:bi] [名] [ほーびまい...] 褒美。賞状。賞品。

ぼーふり [bo:fu] [名] [ぼ<sup>1</sup>ーふり<sup>1</sup>まい...] 棒振り。棒おどり。八月おどりの演目。【類】「ぼーあーす」。

ぼーぼー [bo:bo:] [擬] [ぼーぼーていーまい...] 火が激しく燃える様。草の茂っている畑。

ほーらい [ho:rai] [名] [ほーら<sup>1</sup>いまい...] 蓬菜。

ほーらいまい [ho:raimai] [名] [ほーら<sup>1</sup>いまいまい...] 蓬菜米。台湾産の米。

ほーれんそー [ho:renso:] [名] [植] [ほーれ<sup>1</sup>んそーまい...] ほうれんそう。緑粟の野菜。

ぼふ [bofu] [擬] [ぼふていー...] 穴に落ちるときの様子。

ぼまーど [poma:do] [名] [ぼまー<sup>1</sup>どまい...] ポマード。頭髮につける油。

ぼムー [pomm] [擬] 人や動物の体温の温かい感じ。部屋の中の温かい感じ。

ぼんぼん [ponpon] [擬] [ぼんぼ<sup>1</sup>んまい...] 幼児語。おなか。おなかを撫でる。

ぼんぼんしん [ponponʃin] [名] [ぼんぼ<sup>1</sup>んしんまい...] ぼんぼん船。焼玉エンジンの音からその名がある。

## — ま —

ま [ma] [接頭] 真。正。【例】まにんぎん（真人間）。まぐる（真心）。ましかく（真四角）。まじみ（真面目）。

まー [ma:] [接頭] 真。正。【例】まーむぬ（本物）。

まー [ma:] [名] [まーまい...] ~せい。~のため。故。【例】しゃきぬ まー（酒のせい。酒のため）。

まー [ma:] [名] [まーまい...] 間。空間。間隔。隙間。時間。【例】まーう とぅり°（間をとる。距離をとる。距離を置く）。

まーあヴヴあ [ma:avva] [名] [まーあヴヴあまい...] 菜種油。【類】「まーゆー」。

まーい [ma:i] [名] [まーいまい...] 間合。頃合。合間。【例】まーいとぅり°（頃合いを見る）。

まーうむくとう [ma:umukutu] [名] [まーうむくとうまい...] 真実を求める知恵。知識人。

まーかびとぅり° [ma:kabɪtu] [名] [まーかびとぅり°まい...] 凧の一種。台形で飾り羽をつけた凧。

まーき [ma:ki] [名] [植] [まーきまい...] 榎。いぬまき。【類】「けーぎ」。

まーく [ma:ku] [名] [まーくまい...] 丸。円。円形。円陣。円座。OKの合図。O点のこと。

まーくぶん [ma:kubun] [名] [まーくぶんまい...] 丸い盆。

まーくまーり° [ma:kuma:] [動I類] [まーくまーりー、まーくまーらん] [まーくまーりー ぶり°] 丸くまわる。隊列を組んで円を描くように回る。

まーくみー [ma:kumi:] [名] [まーくみーまい...] 丸い目。かわいい目。

まーくみぱな [ma:kumipana] [名] [まーくみぱなまい...] 丸い顔。かわいい顔。

まーくむぬ [ma:kumunu] [名] [まーくむぬま

い...] 丸いもの。円形のもの。球（ボール、砲丸）。地球。夕日。

まーしゆ [ma:ɕu] [名] [まーしゆまい...] 塩。食塩。真塩の意。〈くがにしよーかん〉。塩化ナトリウム。

まーしゆじゆーしゃーり° [ma:ɕudzɯ:ɕa:] [形] [まーしゆじゆーしゃまい...] 塩強い。塩辛い。塩辛さの程度がはなはだしい。

まーしゆずき [ma:ɕudzɯki] [名] [まーしゆずきまい...] 塩漬け。塩漬の食品。保存食。

まーしゆずる [ma:ɕudzɯru] [名] [まーしゆずるまい...] 塩味の汁。

まーしゆだーら [ma:ɕuda:ra] [名] [まーしゆだーらまい...] 塩俵。麻袋〈ぴーぱーぐー〉に塩が入っていた。

まーしゆたぎ [ma:ɕutaki] [名] [まーしゆたぎまい...] 塩造り。製塩。海水を蒸発させて造る。

まーしゆにー [ma:ɕuni:] [名] [まーしゆにーまい...] 塩煮。塩味で炊いた料理。魚の塩煮。【類】「しゆーに」。

まーしゆにーイズう [ma:ɕuni:ɯ] [名] [まーしゆにーイズうまい...] 塩味で炊いた魚。【類】「しゆーにイズう」。

まーしゆまぎ [ma:ɕumaki] [名] [まーしゆまぎまい...] 塩撒。場所を清めること。行事のときに行う。

まーしゆみず [ma:ɕumidzɯ] [名] [まーしゆみずまい...] 塩水。食塩水。塩を水に溶かしたもの。

まーしゆむム [ma:ɕumum] [名] [まーしゆむムまい...] 塩揉み。塩漬け。塩揉みの食品。

まーしゆめー [ma:ɕume:] [名] [地] [まーしゆめーまい...] 多良間島の〈とぅぶり〉の名前。村史参照。

まーしゆめー [ma:ɕume:] [名] [まーしゆめーまい...] 潮広場。多良間島の地名。

まーす [ma:sɯ] [接尾] ひねもす。その間にずっと。~中。【例】びっちーが まーす（一日中）。ゆーが まーす（一晩中）。

まーす [ma:sɯ] [動I類 a 型] [まーしー、まーしゃん] 回す。転がす。【例】くーるまーす（駒回し）。

まーす [ma:sɯ] [動I類 a型] [まーしー、まーしやん] 残す。【例】すぎまーす (耕し残した所)。  
 まーすがに [ma:sɯgani] [名] [まーすがにまい...] 回しがね。輪金。【類】「わーがに」。  
 まーすま [ma:sɯma] [名] [まーすままい...] 着物の表。  
 まーすむつ [ma:sɯmutsɯ] [動I類 c型] [まーすむていー、まーすむたん] 回し持つ。転がして移動する。  
 まーすやどう [ma:sɯjadu] [名] [まーすや<sup>1</sup>どうまい...] まわし戸。ドア。  
 まーだ [ma:da] [副] あまり。【例】まーだ とぅりな (あまり取るな)。ピとー まーだ みーん (人はあまり見ない)。  
 まーだすからん [ma:dasɯkaran] [名] 役立たず。間抜け者。ぼんやりしている。その人。  
 まーだぬ [ma:danu] [連体] 全くの。とても。【例】まーだぬ すぐりやらび (とても立派な子)。  
 まーつき [ma:tsɯki] [副] 一緒に。共に。【例】まーつき ありき (一緒に歩け)。【類】「でーん」。「まーどうん」。  
 まーつき なり [ma:tsɯki na] [連語] 一緒になる。夫婦になる。結婚する。【類】「ピていつなり」。  
 まーつつ [ma:ttsɯ] [動I類 a型] [まーっちー、まーっちゃん] 注意深く見つめる。【同】「まっつー」。  
 まーつつー [ma:ttsɯ:] [動I類 a型] [まーっちー、まーっちゃん] 注意深く見る。逃さないように見る。  
 まーっふあがり [ma:ffaga] [動I類] [まーっふあがりー、まーっふあがらん] [ま<sup>1</sup>ーっふあがりー ぶり] 間塞がる。場所が塞がる。置き場所の邪魔をする。仕事の邪魔をする。  
 まーていふ [ma:teifu] [名] [植] [まーていふまい...] 竹の種類。竹細工に用いる。  
 まーどうん [ma:dun] [副] 一緒に。共に。【例】まーどうん いかだ (一緒に行きなさい)。【類】「でーん」。「まーつき」。  
 まーなぎ [ma:nagi] [名] [まーなぎまい...] 同じ長さ。【例】まーなぎぬ んな (同じ長さの縄)。  
 まーなげー [ma:nage:] [名] [まーなげーまい...]

同じ長さ。【例】まーなげーん なし (同じ長さにしなさい)。  
 まーばー ねーん [ma:ba: ne:n] [連語] 真でないこと。真実でない。うそっぽい。  
 まーばた [ma:bata] [名] [まーばたまい...] 真綿。  
 まーピとう [ma:pɯtu] [名] [まーピとうまい...] 真の人。真人間。常識のある人。【類】「まにんぎん」。  
 まーピとうふーり [ma:pɯtufu:] [名] [まーピとうふーりまい...] 真人間のふりをすること。また、その人。  
 まーふしやがらす [ma:fuɕagarasɯ] [動I類] [まーふしやがりー、まーふしやがらん] [ま<sup>1</sup>ーふしやがらしー ぶり] 間塞げる。場所を塞げる。  
 まーふしやがり [ma:fuɕaga] [動I類] [まーふしやがりー、まーふしやがらん] [ま<sup>1</sup>ーふしやがりまい...] 間塞がる。場所が塞がる。置き場所の邪魔をする。仕事の邪魔をする。【同】「まーっふあがり」。  
 まーふぬー [ma:funu:] [名] [まーふぬ<sup>1</sup>ーまい...] 温州みかん。【類】「やまとうふぬー」。  
 まーぶり [ma:buri] [名] [まーぶりまい...] ぞっこんほれること。【例】かぬじゅん まーぶり (彼女にぞっこんほれる)。【類】「すんぶり」。  
 まーぶりむぬ [ma:burimunu] [名] [まーぶりむ<sup>1</sup>ぬまい...] お馬鹿さん。冗談をよく言う人。  
 まーぶりり [ma:buri] [動II類 a型] [まーぶりー、まーぶりん] そっこんほれる。  
 まーま [ma:ma] [名] [まー<sup>1</sup>ままい...] 継。継母。継父。  
 まーまあしや [ma:maaɕa] [名] [まー<sup>1</sup>まあしやまい...] 継父。  
 まーまーとう [ma:ma:tu] [副] まんまと。したたかに。うんと。充分に。【例】まーまーとう だましやいー ねーん (まんまとだまされてしまった)。  
 まーまあんな [ma:maanna] [名] [まー<sup>1</sup>まあんなまい...] 継母。  
 まーまイズあ [ma:maɯza] [名] [まー<sup>1</sup>まイズあまい...] 継父。  
 まーまうや [ma:mauja] [名] [まー<sup>1</sup>まうやまい...]

継父。

まーましゃげーん [ma:maʃage:n] [副] 正確に。正しく。しっかり。「ましゃげーん」の強調形。

まーまっふあ [ma:maffa] [名] [まー<sup>1</sup>まっふあまい...] 継子。

まーまムま [ma:mamma] [名] [まー<sup>1</sup>まムままい...] 継母。

まーむぬ [ma:munu] [名] 本物。

まーゆー [ma:ju:] [名] [まーゆーまい...] 菜種油。料理用の油。【類】「まーあヴヴあ」。

まーらす [ma:rasʃ] [動 I 類 a 型] [まーらしー、まーらしゃん] 回す。回転させる。巡らす。巡視させる。

まーらす [ma:rasʃ] [動 I 類 a 型] [まーらしー、まーらしゃん] 残す。後のために残す。

まーらん [ma:ran] [連語] 残らない。残さず。一つも残さず。

まーらんしん [ma:ranʃin] [名] [まーら<sup>1</sup>んしんまい...] 馬艦船。やんばる船。琉球独特の運搬船。

まーり [ma:] [名] [まーりんまい...] まわり。周囲。【例】ばたまーり (腹囲)。ムにまーり (胸囲)。

まーり [ma:] [名] [まー<sup>1</sup>りまい...] 毬。手まり。【例】まーりふつ (毬つき)。

まーり [ma:] [動 I 類 a 型] [まーりー、まーらん] 回る。回転する。巡回する。【例】ばるまーり (畑を見てまわる)。たくまーり (蛸とり漁)。

まーり [ma:] [動 I 類 a 型] [まーりー、まーらん] (人が) 死ぬ。【例】まーりー わーりー (亡くなられた)。

まーり [ma:] [動 I 類 a 型] [まーりー、まーらん] 残る。後のために残しておく。

まーりー ギー [ma:ri: ki:] [連語] 回ってくる。巡ってくる。順番が回ってくる。畑を巡ってくる。

まーりきり [ma:ki:] [名] [まー<sup>1</sup>りきり<sup>1</sup>まい...] 毬蹴り。サッカー。

まーりきり [ma:ki:] [動 I 類 a 型] [まーりきりー、まーりきらん] 回り終わること。巡り終わること。

まーりふつ [ma:futsʃ] [名] [まーり<sup>1</sup>ふ<sup>1</sup>つまい...] 回り口。いつも回っている所。いつも巡り見ている所。

まーりふつ [ma:futsʃ] [名] [まー<sup>1</sup>り<sup>1</sup>ふつ<sup>1</sup>まい...] 毬つき。毬つき遊び。

まーりむぬ [ma:munu] [名] [まーり<sup>1</sup>むぬまい...] 回り物。扇風機、観覧車など。

まーりむぬ [ma:munu] [名] [まーり<sup>1</sup>むぬまい...] 出歩く癖のある人。外出ばかりする人。

まーる [ma:ru] [名] [まーるまい...] 回りばんこ。順番。出番。【例】ヴヴあが まーる (君の出番)。まーるー する (順番を決めること。順繰りにすること)。まーるー ーどー (順序よくだよ。順番にやるぞ)。

まーん [ma:n] [感] そういえば。【例】まーん、あんしーどう あたり (そういえばそうだった)。

まーん [ma:n] [感] ほんとうに。そうだった。【例】イー くとー まーんどー (言うことはほんとうだ)。

まーん めーた [ma:n mɛta] [連語] それでもか。主に女性が使う。【例】まーんめーた、ヴヴあんまい しらいんな (それにしても、君にもできないのか)。

まーんがまーん [ma:ngama:n] [連語] ほんとうにどうしたことか。【例】まーんがまーん、うれー まーんていーな (どうしたことかそれは本当か)。

まーんぎしゃーり [ma:ngiʃa:] [形] [まーんぎ<sup>1</sup>しゃまい...] 本当のようだ。本当のような話。【例】まーんぎ なりー (本当であるかのように)。

まーんていー [ma:nti:] [副] 本当だ。本当に。【例】まーんていーげーらい (本当かなあ。そうかなあ。それは正しいかなあ)。

まーんていーぬ [ma:nti:nu] [連体] 本当の。実の。【例】まーんていーぬ ばなす (本当の話。実話)。

まーんていーぬ くとう [ma:nti:nu kutu] [名] [まーんていーぬく<sup>1</sup>とうまい...] 本当の事。真実。誠実。事実。

まーい [ma:] [名] [まーいまい...] 米。稲。白米。米のご飯。

まい [mai] [接頭] 毎〜。ごとに。そのたびに。それぞれ。【例】まいにつ (毎日)。まいにん (毎年)。まいとうす (毎年)。

まい [mai] [助]〜も。【例】あんまい (私も)。ヴヴあまい (君も)。いつも (いつも)。

まい [mai] [助数]〜枚。紙の数の単位。【例】ぐまい (5枚)。

まい [mai] [名] [まい<sup>1</sup>んまい...] 以前。昔。過去。【例】くぬ まい (この前)。

まい [mai] [名] [まい<sup>1</sup>んまい...] 前。前方。【類】「まうけー」「もーけー」。

まい なり [mai na] [連語] 近くなってくる。終了が近い。【例】ヴヴあー まいなり (君は前になって行け)。あみぬどう まいなり (雨が近く降りそうだ)。しーとーや まいなりー (製糖は終りに近くなった)。まいなりーから (終りが近くなってから。八月おどりが近くなってから)。

まいあす [maias] [名] [まいあ<sup>1</sup>すまい...] 前足。前脚。【類】「まいばぎ」。

まいあるー [majaru:] [名] [まいある<sup>1</sup>ーまい...] 米洗い。米をとぐこと。

まいあるーみず [majaru:midz] [名] [まいあるーみ<sup>1</sup>ずまい...] 米のとぎ汁。

まいうばん [majupan] [名] [まいうばんまい...。まいうば<sup>1</sup>んまい...] 米ご飯。仏壇に供え物としての言葉。

まいがーがー [maiga:ga:] [名] [井戸] [まいが<sup>1</sup>ーがーまい...] 井戸の名。人工井戸。

まいかき [maikaki] [名] [まいか<sup>1</sup>きまい...] 前掛け。エプロン。または、馬の首にかける馬具。

まいがたらう [maigatarau] [動I類c型] [まいがたれー、まいがたらーん] 前もって話し合う。

まいがたるー [maigataru:] [動I類c型] [まいがたれー、まいがたらーん] 前もって話し合う。

まいから [maikara] [連語] 前から。以前から。【例】くぬ まいから (この前から)。

まいがり [maiga] [名] [まいが<sup>1</sup>りまい...] 前借り。賃金を前もって借りること。

まいきん [maikin] [名] [まいき<sup>1</sup>んまい...] 前金。前銭。代金を前もって支払うこと。

まいくー [majku:] [名] [まいく<sup>1</sup>ーまい...] 米粉。餅に用いる。

まいぐる [majguru] [名] [まいぐるまい...] 米を脱穀した穀。米わら。

まいこーじょー [maiko:dzo:] [名] [まいこーじょ<sup>1</sup>ーまい...] 前口上。前おきの言葉。

まいしばな [maicibana] [名] [地] [まいしば<sup>1</sup>なまい...] 水納島の地名。

まいしゃ [maica] [名] [まいしゃまい...] おべっか。へつらい。お世辞。

まいしゃむぬ [maicamunu] [名] [まいしゃむぬまい...] おべっかを言う人。愛想よく話しかける人。

まいしゅいイー [majcu:ij:] [名] [まいしゅいイーまい...] 米を添えた飯。芋に米を添えたもの。米と粟の混ぜご飯。

まいじゅく [maidzuku] [名] [まいじゅ<sup>1</sup>くまい...] 葬式の墓に供え物をするための台。

まいじゅんび [maidzunbi] [名] [まいじゅん<sup>1</sup>びまい...] 前準備。前支度。

まいすず [majszdz] [名] [まいすずまい...] 米粒。ごはん粒。

まいすとむてい [maistumuti] [名] [まいすとむてい<sup>1</sup>んまい...] 毎朝。

まいた [maita] [名] [まいた<sup>1</sup>んまい...] 近く。【例】ヴヴあが まいたんどう あり (あなたの近くにある)。

まいた [maita] [名] [まいたまい...] 女性用のパンツ。【類】「いたム」。

まいだーら [majda:ra] [名] [まいだーらまい...。まいだー<sup>1</sup>らまい...] 米俵。

まいたしやなぎ [maitacanag] [名] [まいたしやな<sup>1</sup>ぎまい...] ふんどしの一種。前垂れのあるふんどし。

まいだつ [maidats] [動I類c型] [まいだていー、まいだたん] 先がける。前に立つ。前を塞ぐ。

まいだつ [maidats] [動I類] [まいだていー、まいだたん] [まいだ<sup>1</sup>つまい...] 馬が前脚を上げて立つ。

まいつ [maitz] [名] [まいつまい...] 鉾。ちょう

な。大工用具。材木を削る鉋。平斧。【類】「うぶがな」。

まいでいまー [maidima:] [名] [まいでいまーまい...] 前手間。前払い。給料の前払い。

まいとうす [maitusʃ] [名] [まいとうすまい...] 毎年。いつもの年。【類】「まいにん」。

まいどうまり [maiduma:] [名] [地] [まいどうま<sup>1</sup>りまい...] 水納島の〈とうぶり〉の名前。村史参照。

まいどうまり [maiduma:] [名] [地] [まいどうま<sup>1</sup>りまい...] 多良間島の〈とうぶり〉の名前。村史参照。

まいどうり [maidu:] [名] [まいどう<sup>1</sup>りまい...] 前取り。前もって賃金を受けること。

まいなす [mainasʃ] [動I類] [まいなしー、まいなしゃん] [ま<sup>1</sup>いなしー「ぶり」近くなる。目前だ。前に行かせる。【例】あみう まいなす (雨を目前にする)。しゃうがつう まいなす (正月を目前にする)。

まいなび [mainabi] [名] [ま<sup>1</sup>いなびまい...] 一番前の鍋。一番鍋。【類】「いつばんび」。

まいなむ [mainam] [名] [まいなむまい...] 前並。先頭。上位。

まいにー [maini:] [名] [ま<sup>1</sup>いにーまい...] 前荷。馬車の前の方に荷が多いこと。

まいにつ [mainitsʃ] [副] 毎日。日ごとに。いつも。

まいにん [mainin] [名] [まいにんまい...] 毎年。【類】「まいとうす」。

まいぬ イー [maɪnu i:] [名] [まいぬイ<sup>1</sup>ーまい...] 米ご飯。おにぎり。【類】「まいうばん」。

まいぬ つぎ [mainu tsʃkɪ] [名] [まい<sup>1</sup>ぬつぎ<sup>1</sup>まい...] 前月。先月。

まいぬ とうす [mainu tusʃ] [名] [まい<sup>1</sup>ぬとうす<sup>1</sup>まい...] 前年。先年。去年。【類】「くじゆ」。

まいぬ ピー [mainu pi:] [名] [まい<sup>1</sup>ぬピー<sup>1</sup>まい...] 前日。昨日。先日。【類】「ギぬー」。

まいぬ ゆー [maɪnu ju:] [名] [まいぬゆ<sup>1</sup>ーまい...] おかゆ。【類】「ゆーがま」。

まいばー [maiba:] [名] [まいば<sup>1</sup>ーまい...] 前歯。門歯。

まいばぎ [maipagi] [名] [まいば<sup>1</sup>ぎまい...] 前足。前脚。【類】「まいあす」。

まいばムまい [maɪpammai] [名] [まいばムまいまい...] 米飯。

まいばら [maibara] [名] [まいばらまい...] 前隣。前の家。【例】まいばらぬ しゅー (前の隣のおじいさん)。

まいばらイ [maibaraɪ] [名] [まいばら<sup>1</sup>イまい...] 前払い。賃金を前もって支払うこと。

まいばらやー [maibaraja:] [名] [まいばらや<sup>1</sup>ーまい...] 前隣。前方の家。

まいび [maibi] [名] [まいびまい...] 真似。まね。まねる。偽せる。【例】ピとうぬ まいび (他人の真似)。

まいびつ [maɪpitsʃ] [名] [まいび<sup>1</sup>つまい...] 米ひつ。米を入れる箱。

まいふが [maifuga] [名] [まいふがまい...] 利口者。いい子。かしこい子。利発な子。働きの者。

まいふがやらび [maifugajarabi] [名] [まいふがやらびまい...] お利口さん。きしこい子。

まいふしゃがり [maifuɕaga:] [動I類c型] [まいふしゃがりー、まいふしゃがらん] 前塞がる。前が見えなくなる。【例】きーぬ まいふしゃがり (木が前を塞いでいる)。

まいぶり [maiburi] [名] [まいぶ<sup>1</sup>りまい...] 前ぶれ。前兆。【例】あみぬ まいぶり (雨の前兆)。【類】「まいやふつ」。

まいまーり [maima:] [動I類] [まいまーりー、まいまーらん] [ま<sup>1</sup>いまーりー「ぶり」] 目前である。終了間近である。仕事が順調である。

まいまい [maimai] [副] 前々。以前。過去。

まいまいから [maimaikara] [連語] 前々から。以前から。かねてから。昔から。

まいむき [maimuki] [名] [まいむ<sup>1</sup>きまい...] 前向き。正面を向く。考えが建設的。

まいむつー [maɪmutsʃ:] [名] [まいむつ<sup>1</sup>ーまい...] 米餅。

まいや みーん [majja mi:n] [連語] 前は見えない。前に進まない。仕事がはかどらないこと。

まいやふつ [majafutsʃ] [名] [まいやふ<sup>1</sup>つまい...] 前兆。前ぶれ。【類】「まいぶり」。

まいやみー [majami:] [連語] 目前。終了間近。仕事が順調であること。

まいゆー [majju:] [名] [まいゆーまい...] 毎夜。毎晩。

まいゆし [majju:] [名] [まいゆ<sup>1</sup>しまい...] 前寄せ。くり上げる。予定をくり上げる。

まいゆに [majjuni] [名] [植] [まいゆ<sup>1</sup>にまい...] 米粟。米と粟。精げた粟のことを〈ゆに〉とも言う。粟を米(よね)に見立てたであろう。

まいよーい [majjo:] [名] [まいよー<sup>1</sup>いまい...] 前祝い。【例】ごーかくぬ まいよーい(合格の前祝い)。

まいん なり [main na] [連語] 前になる。先になる。

まうい [maui] [名] [まういまい...] 真上。直上。【例】ていだー まうい(太陽は南中)。

まヴヴウリ [mavvu] [名] [まヴヴウ<sup>1</sup>りまい...] 個人守護神。家の中に設ける。

まヴヴウリたな [mavvu[tana] [名] [まヴヴウ<sup>1</sup>りたなまい...] 守護神を祭る棚。

まヴヴウリにがイ [mavvu[niga] [名] [まヴヴウ<sup>1</sup>りにがイまい...] 守護神祈願。

まうかー [mauka:] [名] [まうかーんまい...] 前方。【例】まうかーう みーる(前を見よ)。【同】「まうけー」。「もーかー」。「もーけー」。

まうかー なり [mauka: na] [連語] 前になって歩く。【同】「まうかーなり」。「もーかーなり」。「もーけーなり」。

まうきり [mauki] [動II類c型] [まうきー、まうきん] 儲ける。【同】「もーきり」。

まうけー [mauke:] [名] [まうけーんまい...] 前方。【同】「まうかー」。「もーかー」。「もーけー」。

まうけー なり [mauke: na] [連語] 前になって歩く。【同】「まうけーなり」。「もーかーなり」。「もーけーなり」。

まうとう [mautu] [副] 真ん前。正面。前方。【例】まうとうんどう あり(真ん前にある)。まうとうー みーる(前方を見よ)。まうとうん ありきー(正面にある木)。【同】「もーとう」。

まかす [makas] [動I類c型] [まかしー、まか

しゅん) 任す。任せる。責任を持たせる。

まかす [makas] [動I類a型] [まかしー、まかしゅん] 巻かす。巻かせる。風揚げのときに糸を巻かせる。

まかす [makas] [動I類a型] [まかしー、まかしゅん] 負かす。勝つ。競技で相手を負かす。

まかすみり [makasumi] [動II類a型] [まかすみー、まかすみん] 巻かせる。糸を巻かせる。

まかすみり [makasumi] [動II類a型] [まかすみー、まかすみん] 任せる。責任を持たせる。

まかない [makanai] [名] [まかな<sup>1</sup>いまい...] 賄。食事の係の人。料理人。賄人。

まかぬー [makanu:] [動I類c型] [まかねー、まかなーん] 賄う。食事を準備する。

まがらす [magaras] [動I類a型] [まがらしー、まがらしゅん] 曲げさせる。【例】たきう まがらす(竹を曲げさせる)。

まかり [maka] [名] [まか<sup>1</sup>りまい...] 椀。飯椀。汁椀。

まがり [maga] [名] [地] [まがりまい...] 多良間島の〈とうぶり〉の名前。村史参照。

まがり [maga] [動I類a型] [まがりー、まがらん] 曲がる。【例】ういべー うつんけー まがり(指は内側に曲がる)。たきぬ まがり(竹が曲がる)。

まがりかどう [maga[kadu] [名] [まがりか<sup>1</sup>どうまい...] 曲がり角。辻。道路の曲がり角。

まがりぎー [magalgi:] [名] [まがりぎーまい...] 曲がった木。曲がったまま成長した木。

まかりどー [maka[do:] [名] [まかりど<sup>1</sup>ーまい...] 食器類。食事に使う器。

まがりみつ [maga[mits] [名] [まがりみつまい...] 曲がり道。曲線状になった道。

まがれ [magare] [名] [まが<sup>1</sup>れまい...] 小腸。大腸。【類】「ばた」。

まがれめー [magareme:] [名] [貝] [まが<sup>1</sup>れめー「まい...」へびがい。ふたつきへびがい。

まぎ [mak] [名] [まぎまい...] 牧。囲い。家畜を飼う所。【類】「ぴんだまぎ」。

まぎ [mak] [動I類a型] [まきー、まかん] 巻く。うず巻く。【例】まきった(巻いた。巻き終

えること)。【類】「ぴしゅまぎ」。

まぎ [makɟ] [動I類c型] [まき一、まかん] 播く。蒔く。種を播く。水を撒く。肥料を撒く。【類】「たにまぎ」。

まき [maki] [名] [まきまい...] 負け。敗北。競技や賭けごとのこと。

まぎ [magɟ] [動I類c型] [まぎ一、まがん] 性交する。婚ぐ。

まぎあがり [makɟaga] [動I類c型] [まぎあがり一、まぎあがらん] 巻き上がる。つむじ風。

まぎあがり [makɟagi] [動II類a型] [まぎあがり一、まぎあざん] 巻き上げる。舞台の幕を巻き上げる。

まぎ一 [magi:] [動I類c型] [まぎすい一、まぎさん] 間切る。間切りをする。

まぎ一しゃり [magi:ɕa:] [形] [まぎ一<sup>1</sup>しゃまい...] まぶしい。日光が強い。派手に着飾る。

まぎ一しゃり [magi:ɕa:] [形] [まぎ一<sup>1</sup>しゃまい...] 大きい。とても大きい。巨大。目に映る巨大なものに言う。【例】まぎ一や一 (大きなビルディング)。まぎ一ぱる (広い畑)。まぎ一ピとう (力士)。

まぎいた [makɟita] [名] [まぎいたまい...] 織機の糸を巻く器具。

まきいふしゃ [makiifuɕa] [名] [まきいふしゃまい...] 負けいくさ。負け戦。太平洋戦争で日本が負けたこと。

まぎいり [makɟiri] [名] [まぎいりまい...] 播き入れ。

まぎいりうがん [makɟiriugan] [名] [まぎいりうがんまい...] 旧暦10月に行う播き入れの祈願行事。村史参照。

まぎうでい [makɟudi] [名] [まぎうでいまい...] 太い腕。たくましい筋肉の腕。その人。

まぎかいす [makɟkaisɟ] [動I類c型] [まぎかいし一、まぎかいしゃん] 巻き返す。巻き戻す。延びた縄を巻き返す。

まきかつ [makikatsɟ] [名] [まきか<sup>1</sup>つまい...] 負け勝ち。勝負。優劣。

まぎかでい [makɟkadi] [名] [まぎかでいまい...] 巻き風。つむじ風。

まぎきはん [makɟkihan] [名] [まぎきは<sup>1</sup>んまい...] 巻き脚絆。兵隊の脚絆のこと。

まぎくム [makɟkum] [動I類a型] [まぎくみ一、まぎくまん] 巻き込む。台風の強風が家の中へ巻き込む。善良な人を巻き込む。

まぎすた [makɟsɟta] [名] [まぎすたまい...] 機織の経糸を巻く器具。

まぎたばく [makɟtabaku] [名] [まぎたばくまい...] 巻きたばこ。

まぎむどうす [makɟmudusɟ] [動I類c型] [まぎむどうし一、まぎむどうしゃん] 巻き戻す。

まきり [maki] [動II類a型] [まき一、まきん] 負ける。勝負して負ける。落選する。値引きする。商品の代金を値引きする。【例】まきった (負けた)。ムめぴ ぴーちゃ まき一 つふいまん (もう少し値引きしてくれないか)。

まぎり [magi] [動II類a型] [まぎ一、まぎん] 曲げる。針金を曲げる。自分の意見を曲げる。

まぎり [magiri] [名] [まぎ<sup>1</sup>りまい...] 間切。三間切のこと。平良、砂川、下地の三地区。

まく [maku] [名] [まくまい...] 幕。テント。天幕。

まぐ [magu] [名] [ま<sup>1</sup>ぐまい...] 孫。子どもの子。新しい言い方。【類】「ムまが」。

まぐ [magu] [名] [ま<sup>1</sup>ぐまい...] 紡いだ麻糸を入れる籠。

まぐがや一 [makugaja:] [名] [まく<sup>1</sup>がや一<sup>1</sup>まい...] 島の西海岸にある洞穴。まくばだらの住み所とされる。

まぐがん [makugan] [名] [蟹] [ま<sup>1</sup>くがんまい...] やしがに。

まぐがんとみず [makugantamidzɟ] [名] [ま<sup>1</sup>くがんとみずまい...] やしがに料理の汁。

まぐる [magukuru] [名] [まぐく<sup>1</sup>るまい...] 真心。誠実。誠意。

まくとう [makutu] [名] [まく<sup>1</sup>とうまい...] 真実。誠。

まくとうむぬ [makutumunu] [名] [まくとうむ<sup>1</sup>ぬまい...] 誠実な人。正直者。誠な者。

まくばだら [makupadara] [名] [ま<sup>1</sup>くばだら<sup>1</sup>まい...] 伝説上の人物。人喰い男とされる。

まくぶ [makubu] [名] [魚] [まくぶまい...] しろくらべら。

まくらがた [makuragata] [名] [昆虫] [まく<sup>1</sup>らがたまい...] いなごの種類。つちいなごの幼虫。【同】「まくらがた」。

まぐらす [maguras] [動 I 類 a 型] [まぐらしー、まぐらしゃん] 惚れさせる。狼狽させる。

まぐり [maguri] [名] [まぐりまい...] まぐれ。紛れ。偶然。【例】へくてんや まぐり (百点はまぐれだ)。

まぐり [maguri] [名] [まぐりまい...] 狼狽。考えが定まらないこと。

まぐりあたり [maguriata] [名] [まぐりあたりまい...] まぐれ当り。宝くじのまぐれ当り。

まぐりがなまり [maguriganama] [名] [まぐりがなまりまい...] 馬鹿な考え。

まぐりむぬ [magurimunu] [名] [まぐりむぬまい...] 狼狽者。

まぐりり [maguriri] [動 II 類 a 型] [まぐりー、まぐりん] 狼狽する。気が動転する。異性に惚れ込むこと。【例】かなまりぬ まぐりー (頭がおかしくなった)。

まぐる [maguru] [名] [魚] [まぐるまい...] まぐる。

まくらがた [makurugata] [名] [昆虫] [まく<sup>1</sup>らがたまい...] いなごの種類。つちいなごの幼虫。【同】「まくらがた」。

まけー [make:] [名] [植] [まけーまい...] 茅 (ちがや)。茅葺き家の原料。

ましゃげーや ねーん [maçage:ja ne:n] [連語] まともではない。きちんとしていない。正常ではない。

ましゃげーん [maçage:n] [副] まとも。きちんと。正しく。立派に。

ましゃげーんぬ むぬ [maçage:nnu munu] [名] [ましゃげーん<sup>1</sup>ぬむぬ<sup>1</sup>まい...] まともな物。きちんとした物。まともな人。

ましゃり [maçari] [動 I 類 a 型] [ましゃりー、ましゃらん] 勝る。優れる。

まじゃり [madzari] [動 I 類 c 型] [まじゃりー、まじゃらん] 混ざる。混じり合う。

ましゃりー [maçari:] [副] ますます。かえって。【例】ましゃりーどう つふイ (雨はますます降っている)。ましゃりー あばらぎしゃ なり (ますます美人になる)。

ましゃりーまい [maçari:mai] [副] それ以上に。【例】ましゃりーまいな (それ以上のことはないよ)。ましゃりーまい うぼーぷ なり (それ以上に大きくなる)。

ましゅーだつ [maçu:dats] [動 I 類 c 型] [ましゅーりー、ましゅーらん] 直立する。直立の姿勢になる。

ましゅふつ [maçufuts] [名] [ましゅふつまい...] 潮時の最良の頃。釣りや潮干狩に最もよい頃。旧暦の 15 日前後の潮時のこと。また月初めの潮時。

ましゅふつじゅー [maçufutsjdzü:] [名] [ましゅふつじゅ<sup>1</sup>まい...] 海の干満の差の大きい頃の潮。大潮の頃。旧暦の 15 日前後の潮。また月初めの潮時。

まじわり [madziva] [動 I 類 c 型] [まじわりー、まじわらん] 交わる。付き合う。

ます [mas] [接尾] ~すればよかった。~欲しい。【例】しゅーます (やって欲しい)。ふあーます (食べたかった)。あんまい えーぐー しゅーます (私も歌を歌いたかったなあ)。

ます [mas] [名] [ますまい...] 枡。穀類を量る道具。1 合枡。5 合枡。1 升枡。【類】「つが」。

ます [mas] [名] [ますまい...] 垣。垣根。【例】いします (石垣)。

ます [mas] [名] [ますてい<sup>1</sup>ーどう...] よい。増しだ。【例】かりとう くりとー いでいが ますが (あれとこれとはどちらが良いか)。

まず [madz] [副] 先ず。【例】まず しー みーる (先ずやってみなさい)。

ますーぐ [mas:gu] [副] まっすぐ。曲がっていない。一直線。【例】ますーぐぬ みつ (まっすぐの道)。ますーぐ やーんけー くー (まっすぐ家に帰りなさい)。しえんゆ ますーぐ ピき (線をまっすぐ引け)。

まずがーていー [madzga:ti:] [副] 試しに。ちょっとだけ。【例】まずがーていー 心ー (試食す

る)。【類】「まずていー」。

ますがギ [masɟgakɟ] [名] [ますが<sup>1</sup>ギまい...] ませがき。石垣。垣根。【類】「かギ」。

まずていー [madzɟti:] [副] 試しに。ちょっとだけ。【例】まずていー ふー (試食する)。【類】「まずがーていー」。

まずどー [madzɟdo:] [連語] 試してみるときに言う。他人の試技を見て言う。

ますなー [masɟna:] [名] [ますなーまい...] 風揚げの縄の角度。地面に対する縄の角度。

ますぱり [masɟpa] [名] [ますぱりまい...] 畝立。一定の間隔で畑の土を盛り上げて作付け準備をすること。

まずまり [madzɟma] [動 I 類 c 型] [まずまりー、まずまらん] いっぱいになる。人がいっぱい集まる。満席になる。

まずみり [madzɟmi] [動 II 類 c 型] [まずみー、まずみん] しまう。大切に保管すること。

まずム [madzɟm] [動 I 類 c 型] [まずみー、まずまん] しまう。冬物は来年までしまう。

まずむぬ [madzɟmunu] [名] [まずむぬまい...] 化け物。びっくりするときにも言う。(くぬまずむぬ)。

また [mata] [名] [またま<sup>1</sup>い...] 股。股ぐら。木のまた。道路の角。

また [mata] [名] [またま<sup>1</sup>い...] 歩。【例】ピとうまた (一步)。ふたまた (二歩)。

また [mata] [名] [またま<sup>1</sup>い...] 又。【例】ミまた (三叉路)。ゆまた (四叉路)。

また [mata] [名] [またま<sup>1</sup>い...] 枝。【類】「ゆだ」。

また [mata] [副] また。再び。【例】また くだなー (また来てよ)。またなー (またか・またもか)。

また一き [mata:ki] [副] 一緒に。共に。

またいちゃふ [mataitɕafu] [名] [またいちゃふまい...] またいところ。親どうしがいとこ。再従兄弟。

またうい [mataui] [名] [またう<sup>1</sup>いまい...] また植え。植え替えること。生長の悪い苗を植え替える。

またうぷず [mataupudzɟ] [名] [またうぷ<sup>1</sup>ずまい...] 曾祖父。【類】「がぼしゅー」。

またかギ [matakakɟ] [名] [またか<sup>1</sup>ギまい...] さとうびきやたばこの側芽を取ること。脇芽を取る。

またかギ [matakakɟ] [名] [またか<sup>1</sup>ギまい...] 又書き。書き直し。

またかてい [matakadi] [名] [またかていまい...。またか<sup>1</sup>ていまい...] 再度耕す。二度耕起する。

またからす [matakarasɟ] [名] [またからすまい...] 次の人に貸す。持ち主に返さず次の人に貸す。

またがり [mataga] [動 I 類 c 型] [またがりー、またがらん] 跨る。馬に跨る。年がまたがる。今月から次の月にまたがる。

またギギ [matagɟkɟ] [名] [またギギまい...] 又聞き。同じことを二度聞くこと。

またぎり [matagi] [動 II 類 c 型] [またぎー、またぎん] 跨げる。

またぐい [matagui] [名] [またぐ<sup>1</sup>いまい...] またぐ。脚を開いて越える。

またけー [matake:] [感] ほらまた。再び。【例】またけー なきー<sup>1</sup> (ほらまた泣いている)。

またす [matasɟ] [動 I 類 c 型] [またしー、またしゃん] 待たせる。

またずー [matadzɟ:] [名] [またず<sup>1</sup>ーまい...] 股ずれ。【類】「またばぎ」。

またすギ [matasɟkɟ] [名] [またすぎまい...] 又鋤き。二度耕す。二度鋤き越す。

またずギ [matadzɟkɟ] [名] [またずギまい...] 二度耕すこと。再度耕すこと。

またていー [matati:] [副] またと。二度と。再び。【例】またていーや ねーん (またとないこと)。

またなー [matana:] [連語] またねえ。あとでねえ。さようなら。別れるときに言う。

またなす [matanasɟ] [名] [またな<sup>1</sup>すまい...] 又産し。二度目のお産。

まだに [madani] [名] [まだ<sup>1</sup>にまい...] 風車。あだんの葉で作る。

またにに [matanini] [名] [またににまい...] 又寝。又眠り。一度起きて再び寝ること。

またばい [matabai] [名] [またば<sup>1</sup>いまい...] 股

間。またぐら。【類】「またばし」。

またばし [matabaçi] [名] [またば<sup>1</sup>しまい...] 股間。またぐら。【類】「またばい」。

またぱり [matapa:] [名] [またぱ<sup>1</sup>りまい...] 股開き。

まだま [madama] [名] [まだままい...] 真玉。球玉。

またまい [matamai] [副] 又も。又しても。【例】またまい あすばなー (又も遊ぼう)。

またまた [matamata] [副] 又又。その上も。重ねて。【例】またまた うすかムーな (またしてもそんなにたくさん)。

またむつ [matamutsu] [名] [またむ<sup>1</sup>つまい...] 再婚。

またムマガ [matammaga] [名] [またムマガまい...] 又孫。ひ孫。曾孫。

またちム [matatam] [名] [またちムまい...] 漁の方法の一つ。満潮時に網を張って、干潮時に漁をする。【類】「まつビ」。

まつ [matsu] [名] [植] [ま<sup>1</sup>つまい...] 松の木。

まつ [matsu] [名] [ま<sup>1</sup>つまい...] 町。市場。街。

まつ [matsu] [動 I 類 c 型] [まていー、またん] 待つ。【例】まてい (待て)。またずー (待とう)。まつつきらいん (待ちきれない)。まつばていらいん (待ち果てられない。待ちきれない)。

まつヴヴあす [matsuvvasu] [動 I 類 a 型] [まつヴヴあしー、まつヴヴあしやん] もつれさせる。からませる。

まつヴヴい [matsuvvi] [動 I 類 a 型] [まつヴヴいー、まつヴヴあん] もつれる。糸がもつれる。糸がからむ。【同】「まつヴヴい」。

まつヴヴいり [matsuvviri] [動 II 類 a 型] [まつヴヴいー、まつヴヴいん] もつれる。糸がもつれる。糸がからむ。【同】「まつヴヴいり」。

まつうがム [matsugamu] [動 I 類 c 型] [まつうがみー、まつうがまん] 目上の人を待つ。

まつが ぱーだむぬ [matsuga pa:damunu] [名] [まつ<sup>1</sup>がぱーだむぬまい...] 松の葉の薪。松の枯葉を薪にすること。

まつが ぱーぱるー [matsuga pa:paru:] [名] [まつ<sup>1</sup>がぱーぱるー「まい...」 松の枯葉を集めるこ

と。松の落葉を掃うこと。

まつがい [matsugai] [名] [まつが<sup>1</sup>いまい...] 間違え。【例】まつがいや ねーん (間違いはない)。

まつがい [matsugai] [感] ごめんなさい。【例】ばがどう まつがいどー (ごめんなさい。私が悪かった)。

まつがいり [matsugai] [動 II 類 c 型] [まつがいー、まつがいん] 間違える。

まつがう [matsugau] [動 I 類 c 型] [まつげー、まつがーん] 間違う。

まつかに [matsukani] [名] [まつか<sup>1</sup>にまい...] 待ち兼ね。待ちかねること。

まつがぱー [matsugapa:] [名] [まつ<sup>1</sup>がぱーまい...] 松の葉。

まつかまいり [matsukamai] [動 II 類 c 型] [まつかまいー、まつかまいん] 待ち構える。

まつかまり [matsukama] [動 I 類 c 型] [まつかまりー、まつかまらん] 待ち飽きる。待ちくたびれる。

まつぎ [matsugi] [名] [まつ<sup>1</sup>ぎまい...] まつ毛。

まつぎー [matsugi:] [名] [植] [まつ<sup>1</sup>ぎーまい...] 松木。松の木。

まつぎーいた [matsugi:ita] [名] [まつ<sup>1</sup>ぎーいたまい...] 松の木の板。

まつぎーぬ なり [matsugi:nu na] [名] [まつ<sup>1</sup>ぎーぬなり「まい...」 松の実。まつぼっくり。まつかさ。

まつぎーぬ みム [matsugi:nu mim] [名] [まつ<sup>1</sup>ぎーぬみム「まい...」 松茸。【類】「まつぬみム」。

まつぎーやま [matsugi:jama] [名] [まつ<sup>1</sup>ぎーやままい...] 松山。松林。

まつぎーゆか [matsugi:juka] [名] [まつ<sup>1</sup>ぎーゆかまい...] 松木の床。松木の板。

まつくがりり [matsukugari] [動 II 類 c 型] [まつくがりー、まつくがりん] 待ちこがれる。

まっこぎー [makko:gi:] [名] [植] [まっこ<sup>1</sup>ぎーまい...] はりつるまさき。盆栽用に適す。【類】「うすぬふぐりぎー」。

まっさらしゃーり [massaraça:] [形] [まっさらしゃまい...] 新品。まあたらしい。【同】「まっ

しゃらしゃーり°。  
 まっじくっじ [maddzikuddzi] [副] まぜこぜ。掻き混ぜる。  
 まっじむぬ [maddzimunu] [名] [まっじむ<sup>1</sup>ぬまい...] 混ぜるためのもの。主として食材。レシビ。  
 まっしゃらしゃーり° [maççaraça:] [形] [まっしゃらしゃまい...] 新品。まあたらしい。【同】「まっさらしゃーり°」。  
 まっじり° [maddzi:] [動II類c型] [まっじー、まっじん] 混ぜる。混合物にする。  
 まっしる [maççiru] [名] [まっしるまい...] 真っ白。純白。清潔感のあるもの。  
 まっずー [maddzi:] [動I類c型] [まっじー、まっじゃん] 混じる。混合物になる。  
 まっずーむぬ [maddzi:munu] [名] [まっずーむ<sup>1</sup>ぬまい...] 混じりもの。混合物。  
 まっすぐ [massıgu] [副] 真直ぐ。【同】「ますーぐ」。  
 まつだ [matsıda] [名] [まつ<sup>1</sup>だまい...] 織布を巻き取る丸太。機織用具。巻太の意か。  
 まったく [mattaku] [副] 全く。【類】「じえんじえん」。  
 まっちゃ [mattça] [名] [まつ<sup>1</sup>ちゃまい...] 店。商店。小売店。町屋。  
 まっちやがー [mattçaga:] [名] [井戸] [まつ<sup>1</sup>ちやがーまい...] 井戸の名。人工井戸。  
 まっつー [mattsı:] [名] [まっつーまい...] 秋の下大豆の収穫の時期のこと。また、旧暦の9月に各家庭で神事を行う。子供たちは凧揚げをして遊ぶ。  
 まっつー [mattsı:] [動I類a型] [まっちー、まっちゃん] 祭る。家庭で供え物をして祈る。  
 まつぬ みム [matsınu mim] [名] [まつ<sup>1</sup>ぬみム<sup>1</sup>まい...] 松茸。【類】「まつぎーぬみム」。  
 まっばだか [mappadaka] [名] [まっばだかまい...] まる裸。  
 まつビ [matsıbı] [名] [まつビまい...] 満潮に仕掛けた網を潮が引いたときに魚を取る漁のこと。【類】「まちゃム」。  
 まっふあ [maffa] [名] [まっふあま<sup>1</sup>い...] 枕。昔

は木の枕であった。  
 まっふあがム [maffagam] [名] [まっふあが<sup>1</sup>ムまい...] 枕上。枕元。  
 まっふあずギ [maffadzıqı] [名] [まっふあずギまい...] 畑の周囲の耕し残る所を再度鋤き起こすこと。  
 まつぶがりり° [matsıbugari:] [動II類c型] [まつぶがりー、まつぶがりん] 待ち疲れる。待ちくたびれる。  
 まつぶしゃ [matsıpuça] [名] [まつぶ<sup>1</sup>しゃまい...] 待つこと待つこと。【例】まつぶしゃどう またいり° (待ちに待ってまた待って)。  
 まつやま [matsıjama] [名] [植] [ま<sup>1</sup>つやままい...] 松林。  
 まつり° [matsı:] [動I類a型] [まつりー、まつらん] 祭る。祀る。  
 まつり [matsıri] [名] [まつりまい...] 祭。祭事。神事。村主催の祭事や字主催の行事も家庭内の行事も全て「祭り」と言う。  
 まつんかにり° [matsınkani:] [動II類c型] [まつんかにー、まつんかにん] 待ちかねる。待ちくたびれる。  
 まていふ [matıfu] [名] [植] [まていふまい...] 真竹。麻竹。竹の種類。竹細工に用いる。竹竿としても使用する。【同】「まーていふ」。  
 まとう [matu] [名] [ま<sup>1</sup>とうまい...] 的。目標。目当て。  
 まどう [madu] [名] [ま<sup>1</sup>どうまい...] 暇。時間に余裕があること。合間。仕事が片付く。【例】すぐとうぬ まどうん いムーけー (仕事の合間に海へ行く)。  
 まどう [madu] [名] [まどうまい...] 窓。昔の家には窓はなかった。  
 まどうすぐとう [madusıgutu] [名] [ま<sup>1</sup>どうすぐとうまい...] 本職以外の仕事。本職の合い間にやる仕事。  
 まどうまどうん [madumadun] [連語] 暇暇に。ときどき。ときおりに。  
 まとうまり° [matuma:] [動I類c型] [まとうまりー、まとうまらん] まとまる。統合する。条件が整う。

まとうみやく [matumijaku] [名] [まとうみやくまい...] まとめ役。話し合いのまとめ役。責任者。

まとうみり [matumi] [動II類c型] [まとうみ一、まとうみん] 纏める。一ヶ所にまとめる。話し合いをまとめる。統一する。

まとうむ [matumu] [名] [まとうむまい...] まとも。正面。【例】まとうむぬ かでい (正面からの風。向かい風)。

まどうむぬ [madumunu] [名] [まどうむぬまい...] おやつ。間食。

まどうり [maduri] [名] [まどうりまい...] 間取り。部屋の配置。

まないしゃーり [manaiça:] [形] [まない<sup>1</sup>しゃまい...] おとなしい。やさしい。正直。【例】まないピとう (やさしい人)。

まないむぬ [manaimunu] [名] [まないむぬまい...] おとなしい人。やさしい人。寛大な人。

まないん [manain] [副] しっかりと。正確に。正しく。【例】まないん かたずきる (しっかりと片付けなさい)。【同】「まねーん」。

まないんていー [manainti:] [副] きちんとして。正しくて。【例】まないんていー まなうきる (きちんとして直しなさい)。【同】「まねーんていー」。

まなうき [manauki] [名] [まなう<sup>1</sup>きまい...] 元に戻すこと。直すこと。正すこと。傾いているものを元に戻すこと。【例】ゆがムゆ まなうきる (曲がっている所を直しなさい)。

まなうきり [manauki] [動II類c型] [まなうき一、まなうきん] 元に戻す。元通りにする。直す。正す。傾いているものを元に戻すこと。

まなく [manaku] [名] [まな<sup>1</sup>くまい...] 目の子。目玉。眼球。

まなた [manata] [名] [まな<sup>1</sup>たまい...] まな板。

まなつ [manats] [名] [まなつまい...] 真夏。夏の盛り。

まに [mani] [名] [まにまい...] うねとうねの間の低い部分。さとうきびを植える所。一定の間隔で高低の筋を作る。

まに [mani] [名] [植] [ま<sup>1</sup>にまい...] くろつぐ。

まにあう [maniau] [動I類c型] [まにえ一、まにあーん] 間に合う。

まにぎ [manik] [動I類c型] [まにき一、まにかん] 招く。招待する。案内する。

まにばり [maniba] [名] [まにばりまい...] 畝立て。さとうきびを植えるために〈うに〉と〈まに〉を作ること。

まねーん [mane:n] [副] しっかりと。正確に。正しく。【例】まねーていー ばなし (正しく話せ)。【同】「まないん」。【類】「まないんていー」。

まばい [mapai] [名] [まばいまい...] 真南。【類】「ばい」。「ムまぬば」。

まばり [maba] [名] [まばりまい...] 短い鋸。魚に使用する。潮干狩りに使用する。

まピーま [mapɪ:ma] [名] [まピーままい...] 真昼。太陽の南中した頃。

まピーまがり [mapɪ:maga] [名] [まピーまがりまい...] 真昼。

まピーまがりどうーれ [mapɪ:maga:du:re] [名] [まピーまがりどうーれまい...] 真昼の暑い時。休むことなく仕事するときと言う。

まピーまどうーれ [mapɪ:madu:re] [名] [まピーまどうーれまい...] 真昼時。真昼時だということに。【例】まピーまどうーれ ぱたらきー ぶり (真昼だということに働いている)。

まびぎ [mabik] [動I類c型] [まびき一、まびかん] 間引く。生長のよい植物や作物を残して他を除去する。

まぶちゆなー [mabutçuna:] [名] [まぶちゆな<sup>1</sup>まい...] 麻縄。茅ぶきの茅をしめつける縄のこと。歌謡の「あだんやぬあず」を参照。

まふゆ [mafuju] [名] [まふゆまい...] 真冬。冬の盛り。冬の季節。

まぶゆ [mabuju] [名] [魚] [まぶゆまい...] てんぐはぎ。

まま [mama] [名] その通り。それきり。【例】うぬ まま うつきー うき (そのままにしておきなさい)。

ままーり [mama:] [名] [ままーりまい...] 周り。周囲。周辺。近辺。

ままり [mama] [動I類 a型] [ままりー、まもらん] くつつく。染まる。【例】ペンキぬ ままりー ねーん (ペンキがくっついてしまった)。【類】「たばり」。

まみ [mami] [名] [植] [まみま<sup>1</sup>い...] 豆。豆類。大豆、下大豆、小豆、緑豆、落花生などが栽培された。

まみ [mami] [名] [まみま<sup>1</sup>い...] 賢蔵。

まみ [mami] [名] [まみま<sup>1</sup>い...] 肉刺。たこ。手仕事の結果によってできるたこ。

まみが ばな [mamiga pana] [名] [まみがば<sup>1</sup>なまい...] 豆の花。主として小豆の花を言う。宮古民謡の「まみがばな」。

まみが ばなじゅー [mamiga panadzu:] [名] [まみがば<sup>1</sup>なじゅーまい...] 豆の花潮。小豆の花の咲く頃の海の潮は、気まぐれに満ち潮になることを戒めている。【同】「まみぬばなじゅー」。

まみかつ [mamikats] [名] [まみか<sup>1</sup>つまい...] 豆打ち。脱穀。大豆、下大豆、小豆、緑豆などを「くるり棒」で精げる作業のこと。

まみがら [mamigara] [名] [まみが<sup>1</sup>らまい...] 豆殻。豆を精げた後の殻。【類】「まみぐー」。

まみかり [mamika] [名] [まみか<sup>1</sup>りまい...] 豆刈り。豆の収穫。

まみぎー [mamigi:] [名] [植] [まみぎ<sup>1</sup>ーまい...] 豆の木。豆科の木のことはない。

まみぐー [mamigu:] [名] [まみぐ<sup>1</sup>ーまい...] 豆殻。豆を精げた後の殻。【類】「まみがら」。

まみぐる [mamiguru] [名] [まみぐ<sup>1</sup>るまい...] 豆の実を取った後の豆の木。

まみしり [mamiçi] [動II類 a型] [まみしー、まみしん] 塗りつける。

まみず [mamidz] [名] [まみずまい...] 真水。天水。雨水。

まみだーら [mamida:ra] [名] [まみだー<sup>1</sup>らまい...] 豆俵。精げた豆を詰めた俵。

まみつきり [mamitsuki] [動II類 c型] [まみつきー、まみつきん] 塗りつける。

まみな [mamina] [名] [まみ<sup>1</sup>なまい...] もやし。主として緑豆が使用される。

まみぬ ばなじゅー [maminu panadzu:] [名] [ま

みぬば<sup>1</sup>なじゅーまい...] 豆の花潮。「まみがばなじゅー」を参照。【同】「まみがばなじゅー」。

まみり [mami] [動II類 a型] [まみー、まみん] くつつける。染める。塗る。つける。擦り付ける。

まむかい [mamukai] [名] [まむかいまい...] 真向い。向う側。正面。

まムつきり [mamtsuki] [動II類 a型] [まムつきー、まムつきん] 塗りつける。くつつける。

まムま [mamma] [名] [まム<sup>1</sup>ままい...] 浜辺。

まムま [mamma] [名] [まムま<sup>1</sup>んけーまい...] 浜辺。砂浜を上がった所。砂浜の上の方の草木の生えているところ。

まムまー [mamma:] [名] [まムま<sup>1</sup>ーまい...] 幼児語。ご飯。

まムめーた [mammeta] [副] いったいどういうことか。主に女性が使う。【例】まムめーた、ヴヴあまいなー (どうしたというのか、君でもか)。まムめーた ぬったい なきー ぶり [が] (いったいどういうことで泣いているか)。

まむり [mamu] [動I類 a型] [まむりー、まむらん] 守る。護る。保護する。擁護する。

まやーす [maja:s] [動I類 a型] [まやーしー、まやーしゃん] 撒き散らす。投げ捨てる。投げつける。放り投げる。

まやがらす [majagaras] [動I類 a型] [まやがらしー、まやがらしゃん] 舞い上がらせる。投げ捨てる。投げつける。仕事を途中で止める。

まやがり [majaga] [動I類 a型] [まやがりー、まやがらん] 舞い上がる。乱れ飛ぶ。【例】まギかでいん まやがりー (つむじ風に乱れ飛んだ)。

まゆ [maju] [名] [ま<sup>1</sup>ゆまい...] 蚕の作るまゆ。

まゆ [maju] [名] [まゆまい...] 眉。

まゆー [maju:] [動I類 c型] [まいえー、まやーん] 迷う。心が迷う。判断に迷う。道に迷う。考えに迷う。【例】まいえー ぶり (迷っている)。

まゆぎ [majuki] [名] [まゆ<sup>1</sup>きまい...] 魔除け。

まゆぎ [majugi] [名] [まゆぎまい...] 眉毛。

まゆく [majuku] [名] [まゆくんまい...] 真横。

まゆなか [majunaka] [名] [まゆなかまい...] ま

ゆな<sup>1</sup>かまい... 真夜中。深夜。  
 まゆばぎ [majupagi] [名] [まゆば<sup>1</sup>ぎまい...] 肩  
 禿げ。  
 まゆばし [majubaçi] [名] [まゆば<sup>1</sup>しまい...] 眉  
 間。肩と肩との間。  
 まゆわす [majuvas] [動 I 類 c 型] [まゆわしー、  
 まゆわしゃん] 迷わす。惑わす。  
 まら [mara] [名] [まらま<sup>1</sup>い...] 陰茎。男根。  
 まらうい [marau] [名] [まらう<sup>1</sup>いまい...] 男根  
 の勃起。男根の勇み立つこと。  
 まらす [maras] [動 I 類 c 型] [まらしー、まら  
 しゃん] 排便させる。  
 まらたりやらび [maratarijarabi] [名] [まらたり  
 やら<sup>1</sup>びまい...] 男根を垂れている子ども。下  
 着なしの子ども。  
 まらたりり [maratari] [動 II 類 c 型] [まらたり  
 ー、まらたりん] 男根を垂れる。下着無しの裸  
 でいる。  
 まらつー [marats:] [名] [まらつ<sup>1</sup>ーまい...] 精  
 液。  
 まらばんき [marapanki] [名] [まらばん<sup>1</sup>きまい...]  
 男根の亀頭の皮がむくれること。  
 まらふぐり [marafugu] [名] [まらふぐ<sup>1</sup>りまい...]  
 陰茎と陰のう。  
 まらりや [mararija] [名] [病] [まらり<sup>1</sup>やまい...]  
 マラリア。マラリア原虫によって発症する病  
 気。  
 まり [ma] [接尾] ~まる。形容詞などの語根に付  
 き、自動詞を派生させる。【例】ぬるまり (温  
 まる)。  
 まり [ma] [名] [ま<sup>1</sup>りまい...] 珊瑚。主として脳  
 珊瑚の仲間のこと。家の柱の土台に使用する。  
 まり [ma] [名] [ま<sup>1</sup>りまい...] 大腸の下部の組  
 織のこと。直腸。  
 まり [ma] [動 I 類 c 型] [まりー、まらん] 排便  
 する。大便を出す。  
 まり [mari] [名] [まりまい...] 久しぶり。【例】  
 ヴヴあー たまらんけーや まりんどう ギーな  
 ー (あなたは多良間島には久しぶりに来るね)。  
 【類】「まりかい」。  
 まり [mari] [形] [まりんまい...] 稀。希。【例】

ないや まりんどう あり (地震は希に来る)。  
 まりーちゃ [ma:tc̥a] [副] 短く。【例】まりーち  
 ゃん なし (短くしなさい)。  
 まりーまり [ma:ma] [重複] とても短いこと。長  
 さ、距離を表す。  
 まりかい [marikai] [名] [まりかいまい...] 久し  
 ぶり。【例】ヴヴあー たまらんけーや まりか  
 いんどう ギーなー (あなたは多良間島には久  
 しぶりに来るね)。【類】「まり」。  
 まりかい [marikai] [副] 稀に。たまに。ときた  
 ま。  
 まりぬつ [ma:nuts] [名] [まりぬつまい...] 短  
 命。【同】「まるぬつ」。  
 まりぬどう [ma:nudu] [名] [まりぬどうまい...]  
 短いのだ。短い首。  
 まりぱぎ [ma:pagi] [名] [まりぱ<sup>1</sup>ぎまい...] 短  
 い脚。短足。  
 まりむぬ [ma:munu] [名] [まりむぬまい...] 短  
 いもの。  
 まりむぬがま [ma:munugama] [名] [まりむぬが<sup>1</sup>  
 ままい...] とても短い。使いものにならないこ  
 と。  
 まりらーり [ma:ra:] [形] [まりらまい...] 短い。  
 【例】くりがどう まりらーり (この方が短い)。  
 まりんぎ [ma:ngi] [名] [病] [ま<sup>1</sup>りんぎ<sup>1</sup>まい...]  
 痔。脱肛。  
 まりんぎばるー [ma:ngibar:] [名] [ま<sup>1</sup>りんぎば  
 るーまい...] 直腸が脱げるまで笑う。爆笑する  
 こと。【例】まりぬ んぎりけ ばれー (直腸が  
 脱げるほど笑ったよ)。  
 まりんぎばんぎ [ma:ngibank] [名] [ま<sup>1</sup>りんぎ  
 ばんぎまい...] 直腸が脱げるまで大声で騒ぐ。  
 まる [maru] [接頭] そっくり。そのまま。全く。  
 全部。【例】まるもーき (そっくり儲かる)。ま  
 るみーらい (丸見え。さらける)。  
 まる [maru] [名] ~丸。船の名につく。  
 まる [maru] [名] [まるまい...] 丸。円。【例】あ  
 かまる (赤い丸)。【類】「まーく」。  
 まるあんき [maruanki] [名] [まるあん<sup>1</sup>きまい...]  
 まる覚え。そら覚え。  
 まるかす [marukas] [動 I 類 a 型] [まるかしー、

まるかしゃん〕縛らせる。ひもや縄で縛らせる。  
 まるギ [marukɯ] [動Ⅰ類 a 型] [まるき一、まるかん〕縛る。束ねる。くくる。【例】ふしやうまるギ (草を束ねる)。  
 まるギんな [marukɯnna] [名] [まるギん<sup>1</sup>なまい...] 縛るための縄。  
 まるしゅん [maruɕun] [名] [まるしゅ<sup>1</sup>んまい...] まるまる損。  
 まるた [maruta] [名] [まるたまい...] 丸太。  
 まるだし [marudaɕi] [名] [まるだしまい...] まる出し。露出。全てさらけ出す。  
 まるぬつ [marunutsɯ] [名] [まるぬ<sup>1</sup>つまい...] 短命。【同】「ま<sup>1</sup>づぬつ」。  
 まるぬム [marunum] [名] [まるぬ<sup>1</sup>ムまい...] まる呑み。嚙まないで呑み込むこと。  
 まるぼうず [marubaudzɯ] [名] [まるぼうずまい...] まる坊主。頭髪を丸刈りにすること。【同】「まるぼうず」。  
 まるぱぎ [marupagi] [名] [まるぱぎまい...] 丸禿げ。全部禿げていること。  
 まるばす [marubasɯ] [動Ⅰ類 a 型] [まるばし一、まるばしやん〕転ばす。つまずかせる。  
 まるばだか [marupadaka] [名] [まるばだかまい...] 丸裸。  
 まるビ [marubɯ] [動Ⅰ類 a 型] [まるび一、まるばん〕転ぶ。つまずく。ひっくり返る。  
 まるぼうず [marubo:dzɯ] [名] [まるぼうずまい...] まる坊主。頭髪を丸刈りにすること。【同】「まるぼうず」。  
 まるまうき [marumauki] [名] [まるまう<sup>1</sup>きまい...] まる儲け。【同】「まるも一き」。  
 まるまるてい [marumaruti:] [副] まるまると。全てそのまま。【例】まるまるてい あがむてい (全て我がもの)。  
 まるみ<sup>1</sup> [marumi] [動Ⅱ類 c 型] [まるみ一、まるみん〕丸める。丸くする。まとめる。円満に解決する。  
 まるも一き [marumo:ki] [名] [まるも一<sup>1</sup>きまい...] まる儲け。【同】「まるまうき」。  
 まん [man] [接尾] ~ないよ。~つもりではない。

意志否定の接辞。【例】しゅ一まん (しない)。ばなしやまん (話さない)。いかまん (行かない)。かかまん (書かない)。  
 まん [man] [名] [ま<sup>1</sup>んまい...] 万。数の単位。  
 まんいつ [man.itsɯ] [副] 万一。もしも。もしもの事。  
 まんがいつ [mangaitsɯ] [副] 万が一。もしものとき。ごくまれにあること。もしものこと。  
 まんがたみ [mangatami] [名] [まんがたみまい...] まるごと担ぐこと。  
 まんがたみ<sup>1</sup> [mangatami] [動Ⅱ類 a 型] [まんがたみ一、まんがたみん〕まるごと担ぐ。  
 まんき [manki] [名] [まん<sup>1</sup>きまい...] 満期。  
 まんき<sup>1</sup> [manki] [動Ⅱ類 c 型] [まんき一、まんきん〕混ぜる。混合する。  
 まんご一 [mango:] [名] [植] [まんご<sup>1</sup>一まい...] マンゴー。  
 まんざい [mandzai] [名] [まんざ<sup>1</sup>いまい...] 万歳。琉球舞踊の一つ。組踊の仇討物に登場する。万歳口説。村史参照。  
 まんさく [mansaku] [名] [まんさくまい...] 満作。豊作。  
 まんしゅ [manɕu] [名] [まんしゅまい...] 満潮。  
 まんじゅ一 [mandzu:] [名] [まんじゅ<sup>1</sup>一まい...] パパイヤの実。【同】「まんじゅ一がなり」。  
 まんじゅ一 [mandzu:] [名] [まんじゅ<sup>1</sup>一まい...] 菓子。饅頭。  
 まんじゅ一がなり [mandzu:ga na] [名] [まんじゅ一<sup>1</sup>がなり<sup>1</sup>まい...] パパイヤの実。【同】「まんじゅ一」。  
 まんじゅ一ぎ一 [mandzu:gi:] [名] [植] [まんじゅ<sup>1</sup>一ぎ一まい...] パパイヤ。  
 まんだい [mandai] [名] [まんだいまい...] 万代。永代。永遠。千代。  
 まんだす [mandasɯ] [動Ⅰ類 a 型] [まんだし一、まんだしやん〕はみ出させる。はみだす。【例】ばくから まんだす (箱からはみ出す)。  
 まんちゃ一 [mantɕa:] [名] [まんちゃ<sup>1</sup>一まい...] 混じり合うこと。混ざり合うこと。また、外国人の間に生まれた子。馬の毛色のちがうことも言う。ハーフ。

まんちゃーくんちゃー [mantɕa:kuntɕa:] [副] 混ぜこぜ。ごった混ぜ。

まんてい [manti] [名] [まん<sup>1</sup>ていまい...] 一万年。一万年間。

まんてい [manti] [名] [まん<sup>1</sup>ていまい...] 万年。

まんでいり [mandi] [動II類a型] [まんでいー、まんでいん] はみ出る。【例】ぱくから まんでいり (箱からはみ出る)。

まんていん [mantin] [名] [まんてい<sup>1</sup>んまい...] 満天。

まんていん [mantin] [名] [ま<sup>1</sup>んていんまい...] 満点。

まんなか [mannaka] [名] [まんなかまい...] 真ん中。中心。中央。

まんんにん [mannin] [名] [ま<sup>1</sup>んにんまい...] 万人。大勢の人。群衆。聴衆。観衆。

まんんにん [mannin] [名] [まんんにんまい...] 万年。永年。永代。

まんんにんぴつ [manninpitsɕ] [名] [ま<sup>1</sup>んにんぴつまい...] 万年筆。ペン。

まんねーき [manne:ki] [名] [まんねーきまい...。まんねー<sup>1</sup>きまい...] 真ん中。半分。

まんびき [manbiki] [名] [魚] [まんび<sup>1</sup>きまい...] しいら。【類】「しゃーら」。

まんぶり [manburi] [名] [まんぶりまい...。ま<sup>1</sup>んぶりまい...] まる惚れ。惚れ込むこと。

まんまい [manmai] [名] [まんまいんまい...] 真ん前。真正面。

まんまる [manmaru] [名] [まんまるまい...] 真丸。真円。【類】「かぎまーく」。

まんまんなか [manmannaka] [名] [まんまんな<sup>1</sup>かまい...] 真ん真ん中。どまんなか。

まんりき [manriki] [名] [ま<sup>1</sup>んりきまい...] 万力。工具の一つ。斜面を応用した豪力の工具。

ミ [mɨ] [名] 三。【例】ミ<sup>1</sup>たーり (三人)。ミ<sup>1</sup>たイ (三束)。ミ<sup>1</sup>か (三日)。

## — み —

- み [mi] [接尾] ~目。~度。~番。【例】ぬいみ (縫い目)。さんどうみ (三度目)。いつばんみ (一番目)。
- みあい [miai] [名] [みあいまい...] 見合い。
- みあてい [miati] [名] [みあていまい...] 目当。
- ミー [mɪ:] [名] [ミーまい...] 実。身。肉。中身。内容。実質。【例】ミーや ねん (中身がない。鍋に具のないこと)。ミーぬ あり ばなす (充実した話)。
- みー [mi:] [接頭] 雌~。雌の。【例】みーとうり (雌鶏)。みーぬ一ま (牝馬)。
- みー [mi:] [名] [みーま<sup>1</sup>い...] 目。動物の見る感覚器官。【例】みーぶらギ (目を開ける)。みーぬ なた (目の涙)。みーぬ かー (まぶた)。みーぬ うていり (目が落ちる・死ぬ)。みーゆ すー (目をこする)。みーゆ ぬすム (目を盗む。見つからないようにする)。みーゆ ばんギ (まぶたを裏返しにする)。みーゆ ピかり (目を張る。厳しく見る)。みーゆ ぶらギ (目を開く。目を開ける)。
- みー [mi:] [名] [みーま<sup>1</sup>い...] 目。筈の目。網の目。【例】くまみーあム (細かい網の目)。
- みー [mi:] [名] [みーま<sup>1</sup>い...] 目盛。秤量のときに言う。【例】ふたみー (二目盛)。
- みー [mi:] [名] [みーま<sup>1</sup>い...] 芽。【例】ばかみー (若い芽)。
- みー [mi:] [名] [みーま<sup>1</sup>い...] 見栄え。虚栄心。
- みー [mi:] [名] [みーま<sup>1</sup>い...] 穴。【例】ぱりぬ みー (針の穴)。みーゆ ぶがす (穴を開ける)。
- みー [mi:] [名] [み<sup>1</sup>まい...] すき間。【例】いしぬ みー (石垣のすき間)。くびぬ みー (壁の間)。
- みー [mi:] [名] [みーんけ<sup>1</sup>...] 茂み。【例】きーぬ みー (林の中)。やまぬ みー (森の中)。
- みー [mi:] [名] [干支] [みーま<sup>1</sup>い...] 巳。巳年。十二支の六番目。〈ミどらい〉(巳年)。蛇。
- みー みーり [mi: mi:] [連語] 見てみる。見たことがある。【例】くるーばー みー みーり (これをば見たことがある)。くるーばー みーや みーん (これをば見たことがない)。
- みーあーす [mi:a:s] [名] [みーあー<sup>1</sup>すまい...] 目を合わせる。
- みーあーす [mi:a:s] [動I類c型] [みーあーしー、みーあーしゃん] 較べる。
- みーあらしやーり [mi:ara:ɕa:] [形] [みーあらしやまい...] (筈や網の) 目が荒い。【例】みーあらあム (目の荒い網。目の大きい網)。
- みーいしゃ [mi:i:ɕa] [名] [みーい<sup>1</sup>しゃまい...] 女医者。女医。【類】「みどらういしゃ」。
- みーいしゃ [mi:i:ɕa] [名] [みーい<sup>1</sup>しゃまい...] 目の医者。眼科の医者。眼科医。
- みーうがム [mi:ugam] [動I類c型] [みーうがみー、みーうがまん] お目にかかる。
- みーうす [mi:us] [名] [みーう<sup>1</sup>すまい...] 雌牛。牝牛。
- みーうっじ [mi:uddʒi] [名] [みーうっ<sup>1</sup>じまい...] 見るだけで恐がる。相手の強そうな体格に弱音をはく。
- みーうっずー [mi:uddzɪ:] [動I類c型] [みーうっじー、みーうっじやん] 見づらくなる。老眼になる。
- みーうてい [mi:uti] [名] [みーう<sup>1</sup>ていまい...] 目落ち。臨終。死ぬ。
- ミーうとうだ [mɪ:utuda] [名] [ミーうとうだまい...] 新しい親戚。
- ミーか [mɪ:ka] [名] [ミーかまい...] 三日。【同】「ミか」。
- みーがーら [mi:gara] [名] [みーがー<sup>1</sup>らまい...] 雌瓦。牝瓦。
- ミーがいらす [mɪ:gairas] [動I類c型] [ミーがいらしー、ミーがいらしゃん] 新返らす。新調する。新品同様にする。
- みーかがム [mi:kagam] [名] [みーかが<sup>1</sup>ムまい...] 水中眼鏡。ゴーグル。
- みーかぎん [mi:kagin] [名] [みーかぎ<sup>1</sup>んまい...]

目加減。【同】「みかぎん」。

みーがしー [mi:gaçi:] [名] [みーがし<sup>1</sup>ーまい...]  
見るだけの加勢。他人の仕事を側で見ること。

ミーかずギ [mɨ:kadzɨkɨ] [名] [ミーかずギまい...]  
三日月。旧暦の三日の月。【同】「ミかづギ」。

ミーかぬ よーイ [mɨ:kanu jo:ɨ] [名] [ミーかぬ  
よー<sup>1</sup>イまい...] 三日祝い。新築の三日目の祝い  
事。

みーがま [mi:gama] [名] [みーが<sup>1</sup>ままい...] 細  
い目。小さい目の人。

みーがまらしゃーり [mi:gamarɑ:ɨ] [形] [みー  
がまら<sup>1</sup>しゃまい...] 見苦しい。見たくない思  
い。

みーかまり [mi:kama] [動 I 類 c 型] [みーかま  
りー、みーかまらん] 見飽きる。

ミーがり [mɨ:ga] [動 I 類 a 型] [ミーがりー、ミ  
ーがらん] 新しくなる。新品のようになる。

ミーギ [mɨ:gɨ] [名] [ミーギ<sup>1</sup>んまい...] 右。右側。  
右手。右腕。右利き。

みーぎ [mi:gi] [名] [みー<sup>1</sup>ぎまい...] 名義。

みーぎー [mi:gi:] [名] [みーぎ<sup>1</sup>ーまい...] 雌の  
木。実のなる木。そてつ、パパイヤなど。雌雄  
異株。

ミーギかた [mɨ:gɨkata] [名] [ミーギかたまい...]  
右の方。右側。

ミーギていー [mɨ:gɨti:] [名] [ミーギていーまい...]  
右手。右腕。

ミーぎまーり [mɨ:gima:] [名] [ミーぎまー<sup>1</sup>りま  
い...] 右まわり。

ミーぐつ [mɨ:gutsɨ] [名] [ミーぐつまい...] 新し  
い靴。

ミーぐつ [mɨ:gutsɨ] [名] [ミーぐつまい...] 新し  
い口。初口。商売の初め。

みーくぱり [mi:kuba] [動 I 類 c 型] [みーくぱ  
りー、みーくぱらん] 目配る。目配りをする。

みーくぱり [mi:kupa] [動 I 類 c 型] [みーくぱり  
ー、みーくぱらん] 眠れない。寝付かれない。

みーぐましゃーり [mi:gumaɑ:ɨ] [形] [みーぐま  
<sup>1</sup>しゃまい...] 目が細い。ざるや網の目が細い。

みーぐりしゃーり [mi:guriɑ:ɨ] [形] [みーぐり<sup>1</sup>  
しゃまい...] みっともない。体裁が悪い。

みーぐりしゃーり [mi:guriɑ:ɨ] [形] [みーぐり<sup>1</sup>  
しゃまい...] 見えにくい。会えない。

みーぐるぐる [mi:guruguru] [連語] 目をきよろ  
きよろ。

ミーしゃーり [mɨ:ɑ:ɨ] [形] [ミーしゃまい...] 新  
しい。新品の。【例】ミーゆみ (新婦)。ミーむ  
く (新郎)。ミーむぬ (新品)。ミーどうす (新  
玉の年)。【同】「めーしゃーり」。

ミーしゃうがつ [mɨ:ʃɑugatsɨ] [名] [ミーしゃう  
が<sup>1</sup>つまい...] 新正月。西暦の正月。【同】「ミ  
ーしょーがつ」。

みーじゅーしゃーり [mi:dzu:ɑ:ɨ] [形] [みーじ  
ゅー<sup>1</sup>しゃまい...] しばらく見えない。しばら  
く会っていない。

みーじゅーしゃーり [mi:dzu:ɑ:ɨ] [形] [みーじ  
ゅー<sup>1</sup>しゃまい...] 目が強い。視力が強い。遠く  
まで見える。

ミーしょーがつ [mɨ:ʃo:gatsɨ] [名] [ミーしょ<sup>1</sup>ー  
がつまい...] 新正月。西暦の正月。【同】「ミ  
ーしゃうがつ」。

みーずー [mi:dzɨ:] [名] [みーず<sup>1</sup>ーまい...] 水中  
めがねで魚を見ながら釣りをすること。

みーだにしゃーり [mi:daniɑ:ɨ] [形] [みーだに<sup>1</sup>  
しゃまい...] 見やすい。

みーちゃぎしゃーり [mi:ʧɑgiɑ:ɨ] [形] [みーち  
やぎ<sup>1</sup>しゃまい...] いやしい。みすばらしい。見  
ぐるしい。

みーちらー [mi:ʧira:] [名] [みーちら<sup>1</sup>ーまい...]  
まぶたに傷跡がある人。

みーつ [mi:tsɨ] [名] [みーつまい...] 三つ。三歳。  
【例】みーつが うっとう (三歳下)。

みーつがしゃに [mi:tsɨgaʃani] [名] [みーつがし  
ゃ<sup>1</sup>にまい...] 三つ重ね。三重。重箱の三つ重ね  
のこと。

みーつきり [mi:tsɨki] [動 II 類 c 型] [みーつき  
りー、みーつきん] 見詰める。じっと見ること。  
にらむ。

みーっちゃぎしゃーり [mi:ttʃɑgiɑ:ɨ] [形] [みー  
っちゃぎ<sup>1</sup>しゃまい...] みっともない。

みーっぱり [mi:ppari] [名] [みーっぱ<sup>1</sup>りまい...]  
見栄張り。見栄を張ること。

みーつぶす [mi:tsɯbusɯ] [名] [みーつぶ<sup>1</sup>すまい...]  
 三つ星。オリオン座の三つ星のこと。【類】「た  
 たぎ」。

みーつまーり<sup>9</sup> [mi:tsɯma:ɾi] [名] [みー<sup>1</sup>つまーり<sup>9</sup>  
 まい...] 地面に四角形の図形を描き、小石を持  
 って遊ぶ。村史参照。

ミーてい [mɯ:ti] [名] [ミーていまい...] 三年。三  
 年忌。

みーでい [mi:di] [名] [みーでいまい...] 見栄。見  
 た目に良いこと。見映え。

ミーていなてい [mɯ:tinati] [名] [ミーていな<sup>1</sup>て  
 いまい...] 二年前。一昨年。

みーどうーしゃーり<sup>9</sup> [mi:du:ɕa:ɾi] [形] [みーどう  
 ー<sup>1</sup>しゃまい...] 見遠い。久しぶりである。久  
 方。【類】「みーじゅーしゃーり<sup>9</sup>」。

みーとうーす [mi:tu:sɯ] [動I類c型] [みーとう  
 ーしー、みーとうーしゃん] 見通す。見渡す。

みーどうーす [mi:du:sɯ] [動I類c型] [みーどう  
 ーしー、みーどうーしゃん] 見てばかりいる。  
 番をする。赤ちゃんの行動を見る。

みーどうくな [mi:dukuna] [名] [みーどうく<sup>1</sup>な  
 まい...] 見所。見て価値のある所。観光地。【類】  
 「みーどうくま」。

みーどうくま [mi:dukuma] [名] [みーどうく<sup>1</sup>ま  
 まい...] 見所。見て価値のある所。観光地。【類】  
 「みーどうくな」。

ミーどうす [mɯ:du:sɯ] [名] [ミーどうすまい...] 新  
 年。

みーとうだ [mi:tuda] [名] [み<sup>1</sup>ーとうだまい...]  
 姉妹。【類】「みーとうだら」。「みがとうだ」。  
 「みがとうだら」。

みーとうだら [mi:tudara] [名] [み<sup>1</sup>ーとうだら  
 まい...] 姉妹。【類】「みーとうだ」。「みがとう  
 だ」。「みがとうだら」。

みーどうっけん [mi:dukkɛn] [名] [植] [みーど  
 うっけ<sup>1</sup>んまい...] くらいげ。

みーどうり<sup>9</sup> [mi:duɾi] [名] [みーどう<sup>1</sup>り<sup>9</sup>まい...] 雌  
 鳥。めんどり。

みーなす [mi:na:sɯ] [動I類c型] [みーなしー、み  
 ーなしゃん] 見下す。見くびる。侮る。

みーなり [mi:nari] [名] [みーな<sup>1</sup>りまい...] 見馴

れ。

みーなり ギギなり [mi:nari kɯkɯnari] [連語] 見  
 馴れ聞き馴れ。見よう見まね。見聞。

みーなりり<sup>9</sup> [mi:nariɾi] [動II類c型] [みーなり  
 ー、みーなりん] 見馴れる。

みーにつ [mi:nitsɯ] [名] [みーに<sup>1</sup>つまい...] 命日。  
 忌日。

みーぬ かー [mi:nu ka:] [名] [みーぬか<sup>1</sup>ーま  
 い...] 目の皮。まぶた。

みーぬ かーぱり<sup>9</sup> [mi:nu ka:paɾi] [連語] 目がかす  
 む。

みーぬ かぬー [mi:nu kanu:] [連語] 目が叶う。  
 【例】みーう かぬー ぶりけ (目が見えている  
 うち・生きてる間に)。

みーぬ くぱり<sup>9</sup> [mi:nu kupaɾi] [連語] 目が凝る。

みーぬ しゃう [mi:nu ɕau] [名] [みーぬしゃ<sup>1</sup>う  
 まい...] 目の性。目つき。目で見て覚える。【同】  
 「みーぬしょー」。

みーぬ しょー [mi:nu ɕo:] [名] [みーぬしょ<sup>1</sup>ー  
 まい...] 目の性。目つき。目で見て覚える。【同】  
 「みーぬしゃう」。

みーぬ だり<sup>9</sup> [mi:nu daɾi] [連語] 目が疲れる。眠  
 くなる。生気のないこと。

みーぬ ちび [mi:nu tɕibi] [名] [みーぬち<sup>1</sup>びま  
 い...] 目尻。まなじり。【例】みーぬ ちびしー  
 まい みーらいん (目尻でも見たくない。嫌い  
 な人のこと)。

みーぬ っふあ [mi:nu ffa] [名] [みーぬっ<sup>1</sup>ふあ  
 まい...] 目の子。ひとみ。目玉の黒い部分。

みーぬ なた [mi:nu nada] [名] [みーぬな<sup>1</sup>だま  
 い...] 目の涙。【類】「なた」。

みーぬ なり<sup>9</sup> [mi:nu naɾi] [名] [みーぬな<sup>1</sup>りまい...]  
 ものもらい。瞼にできる腫れ物。

みーぬ ぱぎりけ [mi:nu paɟiɾike] [連語] 目がは  
 げるまで。待ちくたびれること。

みーぬ ばし [mi:nu baɕi] [名] [みーぬば<sup>1</sup>しま  
 い...] 目と目の間。

みーぬ ふぐム [mi:nu fugum] [連語] 目が窪む。  
 目がへこむ。疲れている人に言う。

みーぬ ふくり [mi:nu fukuri] [連語] 目がはれ  
 る。泣くときに見られる。

みーぬ ふしやがり [mi:nu fuçaga] [連語] 目が塞がる。目をつぶる。死ぬこと。

みーぬ ふしゆ [mi:nu fuçu] [名] [みーぬふ<sup>1</sup>しゆまい...] 目のくそ。目やに。

みーぬ ふしゆぬ がい [mi:nu fuçunu pui] [連語] 目のくその大きさ。目のくそくらい。ほんの少し。わずかなこと。

みーぬ ふつ [mi:nu futsu] [名] [みーぬふ<sup>1</sup>つまい...] まなじり。

みーぬ まい [mi:nu mai] [名] [みーぬまい<sup>1</sup>んまい...] 目の前。目前。【例】うやけー みーぬ まい (金持ちになるのは目の前だ)。

みーぬ むっじり [mi:nu muddzil] [連語] 目がかすむ。老眼になる。

みーぬあな [mi:nuana] [名] [みーぬあ<sup>1</sup>なまい...] 涙の穴。涙のもろいこと。

ミーぬイー [mɨ:nuɨ:] [名] [ミーぬイー<sup>1</sup>まい...] 実の入り。実る。稔る。肉がつく。

みーぬーま [mi:nu:ma] [名] [みーぬー<sup>1</sup>まい...] 雌の馬。牝馬。

みーばかす [mi:bakas] [動I類c型] [みーばかしー、みーばかしあん] 見分ける。

みーばく [mi:baku] [名] [みーば<sup>1</sup>くまい...] 迷惑。【同】「みーわく」。

みーばし [mi:baçi] [名] [みーば<sup>1</sup>しまい...] 目と目の間。

みーばしゃ [mi:baça] [名] [植] [みーば<sup>1</sup>しゃまい...] 実芭蕉。実の成る芭蕉。〈みー〉は「雌」で、木について実がなるものを指す。【同】「みーばしょー」。

みーばしょー [mi:baço:] [名] [植] [みーばしょー<sup>1</sup>まい...] 実芭蕉。実の成る芭蕉。〈みー〉は「雌」で、木について実がなるものを指す。【同】「みーばしゃ」。

みーばっし [mi:baççi] [名] [みーばっ<sup>1</sup>しまい...] 見忘れ。以前に会ったことを忘れること。【同】「みーばっすい」。

みーばっじゃきり [mi:paddzaki] [動II類c型] [みーばっじゃきー、みーばっじゃきん] 見外す。見損ねる。見る機会を失う。

みーばっすい [mi:bassi] [名] [みーばっ<sup>1</sup>すいま

い...] 見忘れ。以前に会ったことを忘れること。【同】「みーばっし」。

みーばっばいり [mi:bappai] [動II類c型] [みーばっばいー、みーばっばいん] 見誤る。見間違える。【類】「みーまつがいり」。

みーばていり [mi:pati] [動II類c型] [みーばていー、みーばていん] 見果てる。見終わる。残らず見る。

みーばな ぐらかん [mi:pana purakan] [連語] 目鼻が開かない。顔中汚れていること。

みーピーき [mi:pɨ:ki] [名] [みーピー<sup>1</sup>きまい...] 穴が開いている。壁や戸の穴の開いていること。【類】「みーぶーき」。

みーピーきじん [mi:pɨ:kidzin] [名] [みーピーきじ<sup>1</sup>んまい...] 穴の開いているお金(銭)。

みーピーきむぬ [mi:pɨ:kimunu] [名] [みーピーきむ<sup>1</sup>ぬまい...] 穴の開いたもの。破れたもの。【類】「みーぶーきむぬ」。

みーピかり [mi:pɨ:ka] [名] [鳥] [みーピか<sup>1</sup>りまい...] めじろ。【類】「めじろ」。

みーびき [mi:biki] [名] [み<sup>1</sup>ーびきまい...] 間性。雌と雄。雌雄。植物には雌雄同株がある。山羊の体に雄と雌の器官がある。

みーびきびんだ [mi:bikipinda] [名] [み<sup>1</sup>ーびきびんだまい...] 雌雄同体の山羊。

みーピとう [mi:pɨ:tu] [名] [みーピ<sup>1</sup>とうまい...] 見る人。見物人。観衆。

みーびとうりり [mi:bituri] [動II類c型] [みーびとうりー、みーびとうりん] 見るだけで腹いっぱいになる。見物したことに満足する。

みーびんだ [mi:pinda] [名] [みーびん<sup>1</sup>だまい...] 雌の山羊。

みーぶーき [mi:pu:ki] [名] [みーぶー<sup>1</sup>きまい...] 穴。穴が開いているところ。【類】「みーピーき」。

みーぶーきむぬ [mi:pu:kimunu] [名] [みーぶーきむ<sup>1</sup>ぬまい...] 穴の開いたもの。破れたもの。衣服の破れたもの。【類】「みーピーきむぬ」。

みーふかす [mi:fukas] [動I類c型] [みーふかしー、みーふかしあん] 見透かす。見破る。見ぬく。見通す。

ミーフク [mɪ:fuku] [名] [ミーフクまい...] 新しい服。【例】ミーフクー きーとうい がっこーんけー (新しい服を着て学校へ行く)。

みーフクリ [mi:fukuri] [名] [みーフク<sup>1</sup>りまい...] 目のはれ。子どもが泣くと目がはれる。

みーフしゃが<sup>1</sup>り [mi:fuçaga] [動 I 類] [みーフしゃがりー、みーフしゃがらん] [みーフしゃが<sup>1</sup>りまい...] 目塞がる。目を細くする。目を閉じる。死ぬことも表わす。埃の多い所や煙の充満している所では目を細くする。

みーフすしゃー<sup>1</sup>り [mi:buşça:] [形] [みーフす<sup>1</sup>しゃまい...] 見たい。会いたい。【例】みーフっしゃぬ (とても見たい。とても会いたい)。みーフっしゃん ならん (見たくてたまらない。会いたくてたまらない)。ペーパー みーフすむぬ (早く会いたいものだ)。

ミーフたしゃー<sup>1</sup>り [mɪ:butaça:] [形] [ミーフたしゃまい...] 身がいっぱい。【例】ミーフたなび (具のいっぱい入った鍋)。

みーまー<sup>1</sup>り [mi:ma:] [動 I 類 c 型] [みーまーりー、みーまーらん] 見回る。

みーまつが<sup>1</sup>い [mi:matsɟai] [名] [みーまつが<sup>1</sup>まい...] 見間違え。見誤ること。【類】「みーばっばい」。

みーまらばー [mi:marapa:] [連語] 目と男根と歯。老人の衰えていく様。

みーみーていー する [mi:mi:ti: çiru] [連語] 時々見なさい。時々見て歩きなさい。異常事態にならないように時々注意していなさい。【例】ぱるーばー みーみーていー する (畑をば時々見回りなさい)。

ミーフむく [mɪ:muku] [名] [ミーフむくまい...] 新婿。花婿。新郎。

みーむく [mi:muku] [名] [みーむ<sup>1</sup>くまい...] 名目。口実。形だけ。

みーむっじ<sup>1</sup>り [mi:muddzi] [動 II 類 c 型] [みーむっじー、みーむっじあん] 目が老いる。老人の目になる。老眼になる。

ミーフむぬ [mɪ:munu] [名] [ミーフむぬまい...] 新品。まあたらしいこと。一年生は着るもの、持つもの、ランドセルなど新しいものだ。

みーむぬ [mi:munu] [名] [みーむ<sup>1</sup>ぬまい...] めもの。雌。牝。動物に言う。

みーむぬ [mi:munu] [名] [みーむ<sup>1</sup>ぬまい...] 見る物。見物。見る価値のある物。見て価値のあるもの。

みーや ぐるぐる [mi:ja guruguru] [連語] 目はきよろきよろ。戸惑うこと。慌てること。

みーや すーすー [mi:ja sɪ:sɪ:] [連語] 目をこすりながら。まだ目覚めていないこと。

みーや つつまつ<sup>1</sup>ま [mi:ja tɕmmatsɟmma] [連語] 目はばちばち。まばたき。

みーや ぷらかん [mi:ja purakan] [連語] 目が開かない。笑いこけて目が開かないこと。

ミーフやー [mɪ:ja:] [名] [ミーフやーまい...] 新築家。新築したばかりの家。

みーやう [mi:jau] [名] [みーや<sup>1</sup>うまい...] 見方。方法。考え。【例】うんなが みーやう (人それぞれの考えがある) みーやうにー なり<sup>1</sup>どうす (見方によって成功する)。【同】「みーよー」。

みーやすむぬ [mi:jasɟmunu] [名] [みーや<sup>1</sup>すむぬまい...] 見やすいこと。見る場所のよいこと。見物席の良いこと。

みーやどうむ<sup>1</sup>り [mi:jadumu] [名] [貝] [みーやどうむ<sup>1</sup>りまい...] すいじがい。魔除に用いる。

みーやム [mi:jam] [名] [みーや<sup>1</sup>ムまい...] 目の痛いこと。目の痛み。眼痛。

みーゆ [mi:ju] [名] [みー<sup>1</sup>ゆまい...] 名誉。

みーゆすぎ [mi:jusɟkɟ] [名] [植] [みーゆすぎまい...] すすきの一種。葉が広くて、棘がない。花が咲く。

ミーフゆみ [mɪ:jumi] [名] [ミーフゆみまい...] 新嫁。新婦。花嫁。新妻。

みーよー [mi:jo:] [名] [みーよ<sup>1</sup>ーまい...] 見方。方法。考え。【例】うんなが みーよー (人それぞれの考えがある)。【同】「みーやう」。

みーらい<sup>1</sup>り [mi:rai] [動 II 類 c 型] [みーらいー、みーらいん] 見られる。見ることができる。【同】「みーらり<sup>1</sup>り」。

ミーフらがいらす [mɪ:ragairasɟ] [動 I 類 a 型] [ミーフらがいらしー、ミーフらがいらしゃん] 新しくなす。新品の状態にする。修理する。修繕する。

ミーらがいり [mɪ:ɾagai] [動I類 a型] [ミーらがいりー、ミーらがいらん] 新しくなる。新品になる。【同】「ミーらがり」。

ミーらがり [mɪ:ɾagal] [動I類 a型] [ミーらがりー、ミーらがらん] 実る。稔る。作物の収穫が多くなる。豊作になる。

ミーらがり [mɪ:ɾagal] [動I類 a型] [ミーらがりー、ミーらがらん] 新しくなる。新品になる。【例】ミーらがりー ぶり (新しくなっている。豊作になっている)。【同】「ミーらがいり」。

ミーらす [mɪ:ɾasɯ] [動I類 a型] [ミーらしー、ミーらしゃん] 実らせる。作物を稔らせる。

ミーらす [mɪ:ɾasɯ] [動I類 a型] [ミーらしー、ミーらしゃん] 新しくなす。修繕して新品同様にする。

みーらりり [mi:rari] [動II類 c型] [みーらりりー、みーらりん] 見られる。見ることができる。【同】「みーらいり」。

ミーり [mɪ:] [動I類 a型] [ミーりー、ミーらん] 実る。稔る。熟する。【例】ミーりー ぶり (実っている。豊作である)。ミーりーり (実っている。豊作である)。

みーり [mi:] [動II類 c型] [みー、みーん] 見る。居る。【例】みーる (見ろ。見よ。見てごらん)。みー ぶり (見ている)。みーや みー (見てまた見る。詳しく見る)。みーや みーん (見たことのない)。みーん (いない。見ない)。みーたりぎ なりー ぱなす (見たふりして話す)。

みーるがみーる [mi:rugami:ru] [連語] 見せびらかすこと。自慢すること。

みーわー [mi:va:] [名] [みーわ<sup>1</sup>ーまい...] 雌の豚。

みーわく [mi:vaku] [名] [みーわ<sup>1</sup>くまい...] 迷惑。【同】「みーばく」。

ミーん なす [mɪ:n nasɯ] [連語] 実になす。実現する。成功させる。

みーん ふーり [mi:n fu:] [名] [みーんふーりまい...] 見ないふり。知らんふり。聞かんふり。

みーんしゃぎ [mi:nɕagi] [動I類 c型] [みーんしゃぎー、みーんしゃがん] 会いたくてたまらない。待ち侘びる。

みーんしゃぎり [mi:nɕagiri] [連語] 見たい。会いたい。

ミーんてい [mɪ:nti] [名] [干支] [ミーんていまい...] 巳年。

みうイ [miuɪ] [名] [みう<sup>1</sup>イまい...] 姪 (めい)。甥 (おい)。姪甥。兄弟姉妹の子。

みうい [miui] [名] [みう<sup>1</sup>いまい...] 目上。

みうイっふあ [miuɪffa] [名] [みう<sup>1</sup>イっふあまい...] 姪甥子。兄弟姉妹の子。【例】かんけーみうイっふあ (彼らは姪甥だ)。

みうイムまが [miuɪmmaga] [名] [みうイ<sup>1</sup>ムまがまい...] 姪甥の子。

みうくり [miuku] [動I類 c型] [みうくりー、みうくらん] 見送る。船を見送る。飛行機を見送る。

みうす [miusɯ] [動I類 c型] [みうしー、みうしゃん] 見下す。見下げる。あなどる。【例】かーやーていー みうすな (貧乏家庭だと見下すな)。

みうつ [miutsɯ] [名] [みう<sup>1</sup>つまい...] 身内。親戚。一門。

みうていビー [miutibi:] [名] [みう<sup>1</sup>ていビー「まい...」] 目落ちた日。命日。死亡した日。

みうていり [miuti] [動II類 c型] [みうていー、みうていん] 目が落ちる。死ぬこと。

みうとう [miutu] [名] [みう<sup>1</sup>とうまい...] めおと。夫婦。【類】「みうとうら」。

みうとうあう [miutuau] [名] [みうとうあ<sup>1</sup>うまい...] 夫婦げんか。

みうとうす [miutusɯ] [動I類 c型] [みうとうしー、みうとうしゃん] 見落とす。気づかない。間違いを見落とす。

みうとうちゃばん [miututɕaban] [名] [みうとうちゃば<sup>1</sup>んまい...] 夫婦茶碗。一對の茶碗。

みうとうにー [miutuni:] [名] [みうとうに<sup>1</sup>ーまい...] 夫婦根。永遠の愛。ちぎり。

みうとうばかーり [miutubaka:] [名] [みうとうばか<sup>1</sup>ーりまい...] 夫婦別れ。離婚。【類】「みうとうらばかーり」。

みうとうら [miutura] [名] [み<sup>1</sup>うとうらまい...] めおと。夫婦。【例】みうとうらやどうゆム (夫

婦げんか。【類】「みうとう」。  
 みうとうらばカーリ [miuturabaka:] [名] [み<sup>1</sup>う  
 とうらばカーリ<sup>1</sup>まい...] 夫婦別れ。離婚。【類】  
 「みうとうらばカーリ」。  
 みうとうらやどうゆム [miuturajadujum] [名] [み  
 う<sup>1</sup>とうらやどうゆムまい...] 夫婦げんか。  
 みうとうリ [miutu] [動 I 類 c 型] [みうとうり  
 一、みうとうらん] 見劣る。劣勢。比較して言  
 う。  
 みうに [miuni] [名] [みう<sup>1</sup>にまい...] お船。船。  
 昔の帆船。琉球王国の船。  
 みうぶい [miubui] [名] [みうぶ<sup>1</sup>いまい...] 見覚  
 え。【例】みうぶいぬ あリピとう（見覚えのあ  
 る人）。  
 みうるす [miurus] [動 I 類 c 型] [みうるしー、  
 みうるしゃん] 見下す。見おろす。上から下を  
 見る。あなどる。  
 ミか [mɪka] [名] [ミかまい...] 三日。三日間。【同】  
 「ミーか」。  
 みが [miga] [名] [み<sup>1</sup>がまい...] 免嘉。目娥。女  
 性の名前。  
 みかいす [mikais] [動 I 類 c 型] [みかいしー、  
 みかいしゃん] 見返す。後ろを振り向く。見直  
 す。以前に馬鹿にされた人に立派になった自分  
 を見せ付ける。  
 みがヴヴあ [migavva] [名] [みがヴヴあまい...]  
 女の子。「免嘉」。〈まつみが〉。〈ゆぬすみが〉。  
 〈みがんちゃ〉。  
 みかかす [mikakas] [動 I 類 c 型] [みかかしー、  
 みかかしゃん] 欠かせる。割らせる。【例】み  
 かかしー ねーん（割ってしまった）。まか<sup>1</sup>りる  
 みかかす（腕を欠かせる）。  
 みがギ [migak] [動 I 類 c 型] [みがき一、みがか  
 かん] みがく。汚れを落としてきれいにする。学  
 問する。修業する。鍛える。  
 みかきむぬ [mikakimunu] [名] [みかきむ<sup>1</sup>ぬま  
 い...] まぶたに傷跡のある人。  
 みかきむぬ [mikakimunu] [名] [みかきむ<sup>1</sup>ぬま  
 い...] 縁が欠けているもの。  
 みかきリ [mikaki] [動 II 類 c 型] [みかき一、み  
 かきん] 欠ける。一部割れる。【例】ちゃばん

ぬ みかきリ（茶碗が欠ける）。  
 みかきリ [mikaki] [動 II 類 c 型] [みかき一、み  
 かきん] 見かける。偶然目にする。見受ける。  
 【例】たビぬ ピとうー みかきリ（旅人を見か  
 ける）。  
 みかぎん [mikagin] [名] [みかぎ<sup>1</sup>んまい...] 目  
 加減。目で判断する。食べ頃かを目で判断する。  
 【同】「みーかぎん」。  
 みかくし [mikakuçi] [名] [みかく<sup>1</sup>しまい...] 目  
 かくし。目を布で覆って見えないようにする。  
 昔の鬼ごっこ。  
 みかす [mikas] [接尾] ~めかす。~のようにす  
 る。擬態語・擬音語に付き、他動詞を派生させ  
 る。【例】ばムみかす（ふるい立たせる）。  
 ミかずギ [mɪkadzɪk] [名] [ミかずギまい...] 三  
 日月。旧暦の三日の月。【同】「ミーかずギ」。  
 ミかどうギ [mɪkaduk] [名] [ミかどうギまい...]  
 三日解。死後三日目のこと。  
 みがとうだ [migatuda] [名] [み<sup>1</sup>がとうだまい...]  
 姉妹。【類】「みーとうだ」。「みーとうだら」。  
 「みがとうだら」。  
 みがとうだら [migatudara] [名] [み<sup>1</sup>がとうだら  
 まい...] 姉妹。【類】「みーとうだ」。「みーとう  
 だら」。「みがとうだ」。  
 みがに [migani] [名] [みが<sup>1</sup>にまい...] 眼鏡。め  
 がね。  
 みがにまーリ [miganima:] [名] [みがにまー<sup>1</sup>リ  
 まい...] 眼鏡回り。めがねをかけて潜り漁をす  
 ること。  
 みがビギ [migabɪk] [名] [みがビギまい...] 嫁  
 入り。  
 みがぶす [migabus] [名] [みがぶすまい...] 免嘉  
 星。織女星。織姫星。七夕の星。琴座のベガ。  
 ミから [mɪkara] [名] [ミからまい...] 三匹。人  
 には言わない。  
 みかるぶす [mikarubus] [名] [みかるぶ<sup>1</sup>すま  
 い...] 銘苺星。彗星。牽牛星。牛飼星。七夕の  
 星。鷲座のアルタイル。  
 みがわり [migavari] [名] [みがわ<sup>1</sup>りまい...] 身  
 替り。身代り。塩川の組踊「忠臣身替」。  
 みギ [mik] [接尾] ~めく。~のようになる。擬態

語・擬音語に付き、自動詞を派生させる。【例】しゅるみぎ (清潔になる)。ぱみぎ (騒がしくなる)。

みくす [mikusʃ] [動I類c型] [みくしー、みくしゃん] 見越す。先を見る。先見。成り行きを推し量る。【例】うすだいゆ みくす (牛の値段を見越す)。

みぐすり [migusʃri] [名] [みぐす<sup>1</sup>りまい...] 目薬。

みぐとう [migutu] [名] [みぐとうまい...] 見事。立派。【例】みぐとうな (見事な。立派な)。みぐとうん (見事に。立派に)。

みぐまり [miguma] [動I類c型] [みぐまりー、みぐまらん] 身ごもる。妊娠。

みぐまりり [migumari] [動II類c型] [みぐまりー、みぐまりん] 恵まれる。【例】あみん みぐまりり (雨に恵まれる)。ていんぎん みぐまりり (天気恵まれる)。っふあん みぐまりり (子に恵まれる)。

みくム [mikum] [名] [みく<sup>1</sup>ムまい...] 見込み。予想。のぞみ。

みぐム [migum] [動I類] [みぐみー、みぐまん] 恵む。施す。【例】みぐみー わーり (恵んで下さい)。じんゆ みぐム (金を恵む)。

みくムつがい [mikumtsʃgai] [名] [みく<sup>1</sup>ムつがいまい...] 見込みちがい。予想はずれ。のぞみちがい。

みくムぱが [mikumpaga] [名] [みく<sup>1</sup>ムぱが<sup>1</sup>まい...] 見込みはげの人。見込み負けの人。見込みのない人。

みくムぱぎ [mikumpagi] [名] [みく<sup>1</sup>ムぱぎまい...] 見込みはげ。見込み外れ。当て外れ。

みくムや ねーん [mikum.ja ne:n] [連語] 見込みがない。望みがない。

みくら [mikura] [名] [みく<sup>1</sup>らまい...] 盲目。

みくり [miku] [動I類c型] [みくりー、みくらん] めくる。

みぐり [migu] [動I類c型] [みぐりー、みぐらん] 巡る。

ミけり [mʃkeri] [名] [ミけりまい...] 三度。三回。

みこー [miko:] [名] [みこ<sup>1</sup>ーまい...] 目の窪み。病気でやせおとろえて目が窪んでいること。

みさう [misau] [名] [みさうまい...] 操。貞節。

みしかきり [miçikaki] [動II類c型] [みしかきー、みしかきん] 見せかける。

みしくが [miçikuga] [名] [みしく<sup>1</sup>がまい...] 見せ卵。産卵を促すための卵。

みしだか [miçidaka] [名] [みしだ<sup>1</sup>かまい...] 見せ鷹。おとり用の鷹。

みしむぬ [miçimunu] [名] [みしむ<sup>1</sup>ぬまい...] 見せもの。芸の出し物。料金をとって芸を見せる出し物。昔、紙芝居や村芝居があった。

みじゃう [midzau] [名] [みじゃうまい...] 船を漕ぐ竿。【同】「みじょー」。

みしゃぎり [miçagi] [動II類c型] [みしゃぎー、みしゃぎん] 見下げる。あなどる。軽蔑する。

みじゃす [midzasʃ] [名] [みじゃ<sup>1</sup>すまい...] 目差。琉球王府の役人。吏員。

みじゃす [midzasʃ] [動I類c型] [みじゃしー、みじゃしゃん] 目ざす。目標に向う。希望を持つ。

みじゃわり [midzava] [動I類c型] [みじゃわりー、みじゃわらん] 目障る。不愉快になる。じゃまになること。またそのもの。

みしゆか [miçuka] [名] [みしゆかまい...] 晦日。旧暦12月30日。

みしゆくぬー [miçukunu:] [動I類c型] [みしゆくぬー、みしゆくなーん] 見損なう。見誤る。見違える。

みしゆつ [miçutsʃ] [名] [みしゆつまい...] 三十。三十歳。

みしゆてい [miçuti] [名] [みしゆていまい...] 三十年。

みじゆな [midzuna] [名] [魚] [みじゆ<sup>1</sup>なまい...] いわし。【同】「みずん」。

みしゆらす [miçurasʃ] [動I類c型] [みしゆらしー、みしゆらしゃん] 目覚めさせる。迷いから立ち直させる。

みしゆりむぬ [miçurimunu] [名] [みしゆりむ<sup>1</sup>ぬまい...] 子どもをめざめさせるための食事。

みしゆりり [miçuri] [動II類c型] [みしゆりー、

みしゅりん) 目覚める。  
 みじょー [midzo:] [名] [みじょーまい...] 船を漕ぐ竿。【同】「みじょう」。  
 みしり [miçi] [動 II 類 c 型] [みしー、みしん] 見せる。【例】みしらいん (見せられない)。  
 みじるし [midziruci] [名] [みじる<sup>1</sup>しまい...] 目印。船の出入り口の目印。「みおつくし」。目印をつけること。  
 みす [misɟ] [名] [みすまい...] 飯。ご飯。【例】まイみす (米ごはん)。あーみす (粟ごはん)。  
 みす [misɟ] [名] [みすまい...] 水菓。船。帆船。  
 みす [misɟ] [名] [みすまい...] みき。神酒。スツブナカに大量に造る。粟・芋で造る。【類】「みすがま」。  
 みず [midzɟ] [名] [みずまい...] 水。【例】みずんながす (水に流す)。  
 みずあヴヴあ [midzɟavva] [名] [みずあヴ<sup>1</sup>ヴあまい...] 水油。髪につける油。液状の油。  
 みずあすビ [midzɟasɟbɟ] [名] [みずあすビまい...] 水遊び。  
 みずあみ [midzɟami] [名] [みずあ<sup>1</sup>みまい...] 水浴び。体を水で洗うこと。  
 みずあるー [midzɟaru:] [名] [みずあるーまい...] 水洗い。食器洗い。洗濯。農具洗い。海水でぬれた衣服や体を水で洗うこと。  
 みずいり [midzɟiri] [名] [みずい<sup>1</sup>りまい...] 水入れ。水筒。一升瓶に水を入れて畑に行った。  
 みずヴヴあい [midzɟvvai] [名] [みずヴヴあまい...] 水肥。下肥。  
 みずヴえーき [midzɟve:ki] [名] [みずヴえーきまい...] 水の豊富なこと。井戸水に頼る昔は雨が降ると桶に溜めた。  
 みずヴえーす [midzɟve:sɟ] [名] [みずヴえーすまい...] 死者の沐浴。  
 みずーていー [midzɟ:ti:] [副] みずみずしいこと。若々しい。つややかなこと。  
 みずがーき [midzɟga:ki] [名] [みずがーきまい...] 水渴き。のどの渴き。  
 みずがーり [midzɟga:] [名] [みずがーりまい...] 水変り。旅に行くとき、その地区の水は水質が違うということ。

みずかがム [midzɟkagam] [名] [みずかがムまい...] 水鏡。水がめの水。洗面器の水。淀んでいる水。顔を写す澄み切った水面のこと。  
 みずかきめー [midzɟkakime:] [名] [みずかきめーまい...] 水かけ勝負。水遊び。  
 みずかぎん [midzɟkagin] [名] [みずかぎんまい...] 水加減。料理の水加減のこと。  
 みずがしや [midzɟgaça] [名] [病] [みずがしやまい...] 水痘。  
 みずかたみ [midzɟkatami] [名] [みずかた<sup>1</sup>みまい...] 水担ぎ。井戸水を棒の両側に担ぐこと。  
 みすがま [misɟgama] [名] [みすが<sup>1</sup>まい...] 神酒。【類】「みすがま」。  
 みずかみ [midzɟkami] [名] [みずかみまい...] 水を頭に乗せて運ぶこと。女性が行った。  
 みずがみ [midzɟgami] [名] [みずがみまい...] 水がめ。水を入れるかめ。  
 みすぎな [misɟgina] [名] [みすぎ<sup>1</sup>まい...] 飯杓子。しゃもじ。  
 みずぐしやう [midzɟguçau] [名] [みずぐしやうまい...] 水苦労。照りが続いて雨の降らないこと。【同】「みずぐしよー」。  
 みずぐしよー [midzɟguço:] [名] [みずぐしよ<sup>1</sup>まい...] 水苦労。照りが続いて雨の降らないこと。【同】「みずぐしやう」。  
 みずくむり [midzɟkumu] [名] [みずくむりまい...] 水溜り。【類】「みずたまり」。  
 みずずみ [midzɟdzɟmi] [名] [みずずみまい...] 切りやすい爪。  
 みずたま [midzɟtama] [名] [みずたままい...] 水玉模様。水飴。  
 みずたまり [midzɟtama] [名] [みずたまりまい...] 水溜り。【類】「みずくむり」。  
 みすたり [misɟtari] [名] [みすた<sup>1</sup>りまい...] 神酒造り。  
 みずだりゆー [midzɟdariju:] [名] [みずだ<sup>1</sup>りゆーまい...] ご飯に水やお湯をかけた食べ物。  
 みずたんく [midzɟtanku] [名] [みずたんくまい...] 水タンク。水を貯蔵する大きな容器。【類】「たんく」。  
 みずていっぷー [midzɟtippu:] [名] [みずていっ

- ぷーまい...) 水鉄砲。子供の水遊びに使う道具。
- みすていり [misʈi:] [動 II 類 c 型] [みすていー、みすていん] 見捨てる。見ていながらそのままにしておく。見込みがないと知って関係を絶つ。
- みずなば [midʒnaba] [名] [みずなばまい...] 水がめにつく垢。
- みずにー [midʒni:] [名] [みずにーまい...] 水煮。水炊き。味をつけないで水だけで煮ること。
- みずぬ かム [midʒnu kam] [名] [みずぬか<sup>1</sup>ムまい...] 水の神。
- みずぬ っふぁ [midʒnu ffa] [名] [みずぬっ<sup>1</sup>ふぁまい...] 水の子。ぼうふら。蚊の幼虫。
- みずぬ みー [midʒnu mi:] [名] [みずぬみ<sup>1</sup>ーまい...] 水の中。水中。水たまりの中。
- みずぬム [midʒnum] [名] [みずぬムまい...。みずぬ<sup>1</sup>ムまい...] 水飲み。
- みずばずム [midʒpadʒm] [名] [みずばずムまい...。みずばず<sup>1</sup>ムまい...] 水ぶくれ。やけど。
- みずばた [midʒbata] [名] [みずばたまい...] 水腹。水の飲み過ぎ。
- みずばたす [midʒbataʃ] [名] [みずばたすまい...] 水入れ。水差し。
- みずばな [midʒpana] [名] [みずばなまい...] 水鼻。水のような鼻垂れ。
- みずばにめー [midʒpanime:] [名] [みずばにめ<sup>1</sup>ーまい...] 水かけ勝負。
- みずばりる [midʒpa[ʃ]u] [名] [魚] [みずばり<sup>1</sup>るまい...] さより。【類】「ばりる」。
- みずびー [midʒbi:] [名] [みずびーまい...] 水酔。水枯れ。水ぐされ。畑の作物が長雨になると根の呼吸ができなため枯死する。【類】「あみびー」。「みずふしやり」。
- みずふしや [midʒfuʃa] [名] [植] [みずふしやまい...] るりはこべ。
- みずふしやり [midʒfuʃari] [名] [みずふしやりまい...] 水ぐされ。根ぐされ。長雨で作物が根腐れすること。【類】「あみびー」。「みずびー」。
- みずふしゆく [midʒfuʃuku] [名] [みずふしゆくまい...] 水不足。
- みずぷっしやーり [midʒpuʃa:] [形] [みずぷっ
- <sup>1</sup>しやまい...] 水が欲しい。喉が渇く。
- みすまかり [misʒmaka] [名] [みすまかりまい...] 飯椀。ご飯を入れる椀。【類】「みすわん」。
- みずまぎ [midʒmakʃ] [名] [みずま<sup>1</sup>ぎまい...] 水撒き。散水。
- みずまき [midʒmaki] [名] [みずまきまい...] 水負け。その土地の水に合わないこと。
- みすみすていー [misʒmisʈi:] [副] どうしようもなく。【例】みすみすていー ばかーりり (どうしようもなく別れる)。
- みすみり [misʒmi] [動 II 類 c 型] [みすみー、みすみん] 見初める。好きになる。男女の仲がよくなる。
- みずムー [midʒmm] [名] [みずム<sup>1</sup>ーまい...] 水汲み。井戸から水を汲むこと。
- みずムーたぐ [midʒmmtagu] [名] [みずムーた<sup>1</sup>ぐまい...] 水汲み用の桶。
- みずむす [midʒmusʃ] [名] [みずむすまい...] 水虫。
- みずムたビ [midʒmtabʃ] [名] [みずムた<sup>1</sup>ビまい...] 水遊び。
- みずむぬ [midʒmunu] [名] [みずむぬまい...] おいしくないもの。だしのない味噌汁。
- みずむり [midʒmu] [動 I 類 c 型] [みずむりー、みずむらん] 見積る。予算を計算する。
- みずや [midʒja] [名] [みず<sup>1</sup>やまい...] 水屋。食器棚。
- みずらすしやーり [midʒrasʃa:] [形] [みずらす<sup>1</sup>しやまい...] 珍しい。不思議。
- みずわり [midʒvari] [名] [みずわりまい...] 水割り。酒の水割り。
- みすわん [misʒwan] [名] [みすわんまい...] 飯椀。ご飯を入れる椀。【類】「みすまかり」。
- みずん [midʒn] [名] [魚] [みず<sup>1</sup>んまい...] いわし。【同】「みじゅな」。
- みだ [mida] [副] まだ。【例】あめー みだ ぱりん (雨はまだ晴れない)。
- ミターリ [mʃta:] [名] [ミターリまい...] 三人。三名。三兄弟。
- ミタガ [mʃtaga] [名] [ミタ<sup>1</sup>がまい...] 三つ子。人間にのみ言う。

みだか [midaka] [形] [みだ<sup>1</sup>かまい...] 見たがること。

みだかむぬ [midakamunu] [名] [みだ<sup>1</sup>かむぬまい...] 見たがり屋。見ないと気が休まらない人。野次馬。

みだす [midasu] [動 I 類 c 型] [みだしー、みだしゃん] 乱す。

みだつ [midatsu] [動 I 類 c 型] [みだていー、みだたん] 目立つ。際立つ。

みたてい [mitati] [名] [みたていま<sup>1</sup>い...] 見立て。

みたていり [mitati] [動 II 類 c 型] [みたていー、みたていん] 見立てる。選ぶ。見積る。

みたな [mitana] [名] [鳥] [みた<sup>1</sup>なまい...] くないな。

みたまり [mitama] [動 I 類 c 型] [みたまりー、みたまらん] 盲目になる。

みたまりむぬ [mitama[munu]] [名] [みたまりむ<sup>1</sup>ぬまい...] けしからん人。

みたまれ [mitamare] [名] [罵声] [みたま<sup>1</sup>れまい...] 盲目な人。罵声として「この野郎」。

みだり [midari] [名] [みだりま<sup>1</sup>い...] 乱れ。

みだりり [midari] [動 II 類 c 型] [みだりー、みだりん] 乱れる。

みちやくちや [mitçakutça] [副] めちやくちや。

みつ [mits] [名] [み<sup>1</sup>つまい...] 道。道路。人道。人生。【例】みつエー ありかいん (道は歩けない)。

みつーげ [mits:ge] [名] [みつー<sup>1</sup>げまい...] まつ毛。

ミつギ [mɪtsɨkɨ] [名] [ミ<sup>1</sup>つ<sup>1</sup>ギまい...] 三ヶ月。

みつぎ [mitsɨki] [名] [みつ<sup>1</sup>ぎまい...] 目つき。まなざし。

みつぎ [mitsɨki] [名] [みつぎま<sup>1</sup>い...] 目つけ。探し。

みつぎ [mitsɨgi] [動 I 類 c 型] [みつぎー、みつがん] 貢ぐ。面倒を見る。

みつぎむぬ [mitsɨkimunu] [名] [みつぎむ<sup>1</sup>ぬまい...] 見つけもの。探したもの。拾ったもの。

みつぎむぬ [mitsɨgimunu] [名] [みつぎむ<sup>1</sup>ぬまい...] 貢物。

みつぎり [mitsɨki] [動 II 類 c 型] [みつぎー、みつぎん] 見つける。探す。

みつくく [mikkuku] [名] [みつく<sup>1</sup>くまい...] 密告。

みっこー [mikko:] [名] [みっこ<sup>1</sup>ーまい...] 密航。

みっじ [middzi] [名] [地] [みっ<sup>1</sup>じまい...] 多良間島の〈とうぶり〉の名前。村史参照。

みっすー [missɨ:] [動 I 類 c 型] [みっすいー、みっさん] 見て誰であるかを思い出す。

みつぞろい [mitsɨdzoroi] [名] [みつぞろ<sup>1</sup>いまい...] 三つ揃い。背広の一着。上着。チョッキ・ズボン。

みった [mitta] [名] [みっ<sup>1</sup>たまい...] 目玉。眼球。瞳。

みった [mitta] [副] めった。【例】みったん (めったに)。かんしーぬ むのー みたん ねーん (このようなものはめったにない)。

みったかった [mittakatta] [副] めちやくちや。こてんば。こてんこてん。【例】みったかった すとうぎー (こてんばにたいた)。

みったま [mittama] [名] [みった<sup>1</sup>ままい...] 目玉。眼球。瞳。

みったむぬ [mittamunu] [名] [みったむ<sup>1</sup>ぬまい...] 目に入ったごみ。

みつなか [mitsɨnaka] [名] [みつな<sup>1</sup>かまい...] 道中。途中。

みつなかば [mitsɨnakaba] [名] [みつなかばまい...] 道半。途中。仕事の途中。学問の途中。【類】「みつムなか」。

みつぬ あっじゃ [mitsɨnu addza] [名] [みつ<sup>1</sup>ぬ あっじゃ<sup>1</sup>まい...] 道端。道の側。

みつふあかつふあ [miffakaffa] [副] めちやくちや。こてんば。【類】「みったかった」。

みつふあしゃーり [miffaça:] [形] [みつふあ<sup>1</sup>しゃまい...] 憎い。憎らしい。

みつふあむぬ [miffamunu] [名] [みつふあむ<sup>1</sup>ぬまい...] 憎いもの。憎い人。

みつムなか [mitsɨmnaka] [名] [みつムな<sup>1</sup>かまい...] 道路の真ん中。道半ば。途中。【類】「みつなかば」。

みつむり [mitsɨmu] [動 I 類 c 型] [みつむりー、

みつむらん] 見積もる。  
 みつゆらり [mitsjjurari] [名] [みつゆらりまい...]  
 道迷い。  
 みでいたい [miditai] [形] [みでいた<sup>1</sup>いまい...]  
 めでたい。  
 みどう [midu] [名] [み<sup>1</sup>どうまい...] 目途。目当。  
 目標。見通し。  
 みとうーす [mitu:sj] [動 I 類 c 型] [みとうーし  
 ー、みとうーしゃん] 見通す。  
 みとうどうき [mituduki] [名] [みとうどうきま<sup>1</sup>  
 い...] 見届け。  
 みとうどうきり [mituduki] [動 II 類 c 型] [みと  
 うどうきー、みとうどうきん] 見届ける。  
 みとうみり [mitumi] [動 II 類 c 型] [みとうみ  
 ー、みとうみん] 認める。目にとめる。  
 みどうム [midum] [名] [みどうムま<sup>1</sup>い...] めど  
 も。女。女性。  
 みどうムあず [midum.adzj] [名] [みどうムあ<sup>1</sup>ず  
 まい...] 女按司。才女。女傑。歌謡「あだんや  
 ぬあず」を参照。  
 みどうムあすび [midum.asjbj] [名] [みどうムあ  
 す<sup>1</sup>びまい...] 女遊び。  
 みどうムいじみ [midum.idzimi] [名] [みどうム  
 いじ<sup>1</sup>みまい...] 女いじめ。女に苦勞させるこ  
 と。  
 みどうムいしゃ [midum.iça] [名] [みどうムい<sup>1</sup>  
 しゃまい...] 女医者。女医。【類】「みーいしゃ」。  
 みどうムういピとう [midum.uipjtu] [名] [みど  
 うムういピ<sup>1</sup>とうまい...] 女性の老人。  
 みどうムヴあ [midumvva] [名] [みどうムヴ<sup>1</sup>  
 ヴあまい...] 女の子。少女。娘。  
 みどうムうっとう [midum.uttu] [名] [みどうム  
 うっとうまい...。みどうムうっ<sup>1</sup>とうまい...] 妹。  
 年下の女の子。  
 みどうムかた [midumkata] [名] [みどうムか<sup>1</sup>た  
 まい...] 女の方。女の方の親戚。妻側の人たち。  
 みどうムかた [midumkata] [名] [みどうムか<sup>1</sup>た  
 まい...] 女踊り。女役芸。  
 みどうムぐい [midumgui] [名] [みどうムぐ<sup>1</sup>い  
 まい...] 女の声。女の声に似ていること。  
 みどうムけうだい [midumkeudai] [名] [みどう

ムけうだ<sup>1</sup>いまい...] 女兄弟。姉妹。  
 みどうムしゅがり [midumçuga] [名] [みどうム  
 しゅが<sup>1</sup>りまい...] 女装。女のように着飾る。  
 みどうムしゅぶぎ [midumçupugj] [名] [みどう  
 ムしゅぶ<sup>1</sup>ぎまい...] 女性の帯。女帯。  
 みどうムすかしゃ [midumsjkaça] [名] [みどう  
 ムすか<sup>1</sup>しゃまい...] 女たらし。女性口説く人。  
 みどうムすかす [midumsjkasj] [名] [みどうムす  
 か<sup>1</sup>すまい...] 女口説き。女性を口説くこと。  
 みどうムだつ [midumdatsj] [名] [みどうムだつ  
 まい...] 女世帯。寡婦。  
 みどうムばんず [midumbandzj] [名] [みどうム  
 ばん<sup>1</sup>ずまい...] 女盛り。  
 みどうムびー [midumbi:] [名] [みどうムび<sup>1</sup>ー  
 まい...] 女性の座り方。  
 みどうムぶーぎ [midumpu:gj] [名] [みどうムぶ  
 ー<sup>1</sup>ぎまい...] 女性の素振り。  
 みどうムぶす [midumbusj] [名] [みどうムぶ<sup>1</sup>す  
 まい...] 女武士。女傑。才女。  
 みどうムぶら [midumbura] [名] [みどうムぶ<sup>1</sup>ら  
 まい...] 女狂いの男。  
 みどうムぶり [midumburi] [名] [みどうムぶ<sup>1</sup>り  
 まい...] 女狂い。  
 みどうムむき [midummuki] [名] [みどうムむ<sup>1</sup>  
 きまい...] 女向き。女性に適したもの。女性用  
 のもの。  
 みどうムむぬ [midummunu] [名] [みどうムむぬ  
 まい...。みどうムむ<sup>1</sup>ぬまい...] 女もの。女性用  
 のもの。  
 みどうムムまが [midum.mmaga] [名] [みどうム  
 ムま<sup>1</sup>がまい...] 女の孫。  
 みどうムムまり [midum.mmari] [名] [みどうム  
 ムま<sup>1</sup>りまい...] 女性のような男。  
 みどうムやらび [midum.jarabi] [名] [みどうム  
 やら<sup>1</sup>びまい...] 女の子。少女。娘。  
 みどうムらーすしゃーり [midumra:sjça:] [形] [み  
 だうムらーす<sup>1</sup>しゃまい...] 女性らしい。繊細  
 である。  
 みとーや ねーん [mito:ja ne:n] [連語] みっとも  
 ない。  
 みなうす [minausj] [動 I 類 c 型] [みなうしー、

みなうしゃん) 見直す。再見当。  
 みなか [minaka] [名] [みな<sup>1</sup>かまい...] 庭。庭中。母屋の庭。屋敷内の広場。  
 みなぎ [minagi] [名] [みな<sup>1</sup>ぎまい...] 身投げ。自殺。  
 みなり [minari] [名] [みな<sup>1</sup>りまい...] 身なり。服装。  
 みなるー [minaru:] [動I類c型] [みなれー、みならーん] 見習う。  
 ミなんか [mɯnanka] [名] [ミ<sup>1</sup>なんかまい...] 三回目の七日。死者の二十一日目の法事。  
 みぬかいり [minukai] [動II類c型] [みぬかいー、みぬかいん] 見抜かれる。見透される。  
 みぬがす [minugas] [動I類c型] [みぬがしー、みぬがしゃん] 見逃す。見落とす。見ていながら許す。  
 みぬぎ [minuki] [動I類c型] [みぬきー、みぬかん] 見抜く。【例】ヴヴあうばー みぬぎった(君をば見抜いた)。  
 みぬふしゃしゃーり [minufuŋa:ɕa:] [形] [みぬふしゃ<sup>1</sup>しゃまい...] 憎い。嫌い。  
 みぬり [minu:] [動I類c型] [みぬりー、みぬらん] 実る。稔る。上出来。豊作。【例】くとうすエー ゆーどう みぬり(今年は豊作だ)。  
 みぬんでい [minundi] [名] [みぬんでいま<sup>1</sup>い...] 初めて外出すること。産後に初めて外出すること。  
 みぬんでいり [minundi] [動II類c型] [みぬんでいー、みぬんでいん] 初めて外出する。産後に初めて外出する。  
 みばい [mibai] [名] [みば<sup>1</sup>いまい...] 見映え。見栄え。外観。  
 みばが [mipaga] [名] [みば<sup>1</sup>がまい...] 結膜炎の人。  
 みばかり [mibaka] [動I類c型] [みばかりー、みばかりん] 見張る。面倒を見る。世話する。看護。  
 みばぎ [mipagi] [名] [病] [みばぎま<sup>1</sup>い...] 結膜炎。眼病。  
 みばぎじゃか [mipagidzaka] [名] [罵声] [みばぎじゃ<sup>1</sup>かまい...] この野郎。「じゃか」はじゃ

こうねずみ。  
 みばぎちやー [mipagitɕa:] [名] [みばぎちや<sup>1</sup>ーまい...] うすいお茶。何度も湯を注いだ茶。  
 みばぎみー [mipagimi:] [名] [みばぎみ<sup>1</sup>ーまい...] 目はげ。目はげ目。ただれ目。  
 みばぎむぬ [mipagimunu] [名] [みばぎむ<sup>1</sup>ぬまい...] 目はげ者。目のふちの赤い人。目のたれた人。  
 みばぎり [mipagi:] [動II類c型] [みばぎー、みばぎん] 目のふちがただれる。失明する。視力を失う。  
 みばな [mipana] [名] [みば<sup>1</sup>なまい...] 目鼻。顔。顔つき。【例】みばなぬ あかム(顔が赤くなる。赤面。恥ずかしい様)。【類】「うむてい」。  
 みばなー ねーん [mipana: ne:n] [連語] 顔はない。面目はない。会わせる顔がない。  
 みばながー [mipanaga:] [名] [みばなが<sup>1</sup>ーまい...] 顔の皮。面目。【例】みばながーう むギ(顔の皮をむく。面子つぶす。恥をかかせる)。  
 みばながーや ねーん [mipanagaja ne:n] [連語] 顔の皮はない。恥ずかしくて会わせる顔はない。  
 みばなじゅーしゃーり [mipanadzɕa:ɕa:] [形] [みば<sup>1</sup>なじゅーしゃまい...] 顔が強い。あつかましい。恥知らず。  
 ミばら [mɯpara] [名] [ミ<sup>1</sup>ば<sup>1</sup>らまい...] 三原。仲筋。塩川。水納の三つの字のこと。  
 みばら [mipara] [名] [みば<sup>1</sup>らまい...] 目ぶたに傷跡のある人。  
 ミばらゆー [mɯparaju:] [名] [ミ<sup>1</sup>ばらゆーまい...] 三村の世。仲筋・塩川・水納の世。  
 みばり [mipa] [名] [みば<sup>1</sup>りまい...] 目ぶたの傷跡。  
 みばりぎー [mipagi:] [名] [植] [みばりぎ<sup>1</sup>ーまい...] はりつるまさき。【類】「まっこーぎー」。  
 ミピしゅ [mɯpiɕu] [名] [ミ<sup>1</sup>ピしゅまい...] 三重のつむじ。三つつむじ。  
 みふぐ [mifugu] [名] [みふ<sup>1</sup>ぐまい...] 目窪。目がへこんでいる。奥目。またはその人。  
 みふしゃーり [mifuɕa:] [形] [みふ<sup>1</sup>しゃまい...] 憎い。

みふしゃむぬ [mifuçamunu] [名] [みふしゃむ<sup>1</sup>ぬまい...] 憎い人。

みふたむぬ [mifutamunu] [名] [みふたむ<sup>1</sup>ぬまい...] 憎い人。

みふっじじゃか [mifuddzidzaka] [名] [罵声] [みふっじじゃ<sup>1</sup>かまい...] この野郎。怒鳴ること。「じゃか」はじゃこうねずみ。

みふっじり [mifuddzi] [動 II 類 c 型] [みふっじー、みふっじん] 視力が弱い。視力が弱くなる。

みふまーり [mifuma:] [動 I 類] [みふまーりー、みふまーらん] [み<sup>1</sup>ふまーりー ぶり] 目がまわる。体がふらふらする。めまいする。

みぶん [mibun] [名] [みぶんまい...] 身分。

ミペーリ [mipe:ri] [名] [ミペーリまい...] 三回。畑に一日三回行く。海に一日に三回行く。

みまーす [mima:s] [動 I 類 c 型] [みまーしー、みまーしゃん] 見回す。

みまーり [mima:] [動 I 類 c 型] [みまーりー、みまーらん] 見回る。見てまわる。【類】「いムまーり」。

みまいり [mimai] [動 II 類 c 型] [みまいー、みまいん] 見舞う。慰める。

みまいり [mimai] [動 II 類 c 型] [みまいー、みまいん] 修理する。修繕する。

ミまた [mɯmata] [名] [ミまたまい...] 三差路。T字路。

ミまた [mɯmata] [名] [ミまたまい...] 三歩。

みまむり [mimamu] [動 I 類 c 型] [みまむりー、みまむらん] 見守る。

みまゆ [mimaju] [名] [みま<sup>1</sup>ゆまい...] 目眉。顔立ち。容貌。

みまり [mima] [名] [みま<sup>1</sup>りまい...] ものもらい。

みみじゃー [mimidza:] [名] [魚] [みみじゃ<sup>1</sup>ーまい...] ひめふえだい。

みみず [mimidz] [名] [みみ<sup>1</sup>ずまい...] みみず。

みみず [mimidz] [名] [みみ<sup>1</sup>ずまい...] 傷跡。おできの痕跡。

みム [mim] [名] [みムゆーり<sup>1</sup>らまい...] きのこ。  
【例】まつぬみム (松茸)。【類】「あだんぬみム」。

「まつぬみム」。

みム [mim] [名] [みムま<sup>1</sup>い...] 耳。外耳。【例】みムゆ ふあんぎー (耳を噛む。耳を噛み付く)。みムゆ ふしゃぎ (耳を塞ぐ。聞かないふりをする)。【類】「みムばに」。

みムがー [mimga:] [名] [みムが<sup>1</sup>ーまい...] 耳皮。豚の耳皮を湯がいたもの。

みムがくむん [mimgakumun] [名] [みムがくむ<sup>1</sup>んまい...] 耳学問。他人の話で知識を得ること。

みムがみ [mimgami] [名] [みムが<sup>1</sup>みまい...] 耳がめ。耳のついたかめ。

みむぎー [mimugi:] [動 I 類 c 型] [みむぎすいー、みむぎさん] 目が老化する。読書が困難になる。

みむぎすいり [mimugisi] [動 II 類 c 型] [みむぎすいー、みむぎすいん] 視力が落ちる。老眼になる。

みムギば [mimgɯpa] [名] [みムギ<sup>1</sup>ばまい...] 耳かんざし。耳かきの付いたかんざし。

みムじゅー [mimdzu:] [名] [植] [みムじゅ<sup>1</sup>ーまい...] きのこ。

みムじゅーしゃーり [mimdzu:çɑ:] [形] [みムじゅ<sup>1</sup>ーしゃまい...] 聴力が強い。

みムしゆら [mimçura] [名] [みムしゆ<sup>1</sup>らまい...] 耳が反り立って見える人。犬や猫にも言う。【類】「みムしゆりむぬ」。

みムしゆりむぬ [mimçurimunu] [名] [みムしゆりむ<sup>1</sup>ぬまい...] 耳が反り立って見える人。犬や猫にも言う。【類】「みムしゆら」。

みムしゆりり [mimçuri] [動 II 類 c 型] [みムしゆりー、みムしゆりん] 耳を反らせる。犬や馬の耳を立てる。

みムずつム [mimdzɯtsɯm] [名] [みムずつ<sup>1</sup>ムまい...] ほおかぶり。

みムすピしゃ [mimsɯpɯçɑ] [名] [みムすピ<sup>1</sup>しゃまい...] つんぼ。耳の聞こえない人。

みムすピす [mimsɯpɯsɯ] [動 I 類 c 型] [みムすピしー、みムすピしゃん] 耳が聞こえない。耳が聞こえなくなる。

みムすぶム [mimsɯbum] [動 I 類 c 型] [みムすぶ

みー、みムすぶまん] 耳が後ろへしぼむ。馬が怒るとき耳がしぼむこと。

みムたヴヴァ [mimtavva] [名] [みムたヴ<sup>1</sup>ヴァまい...] こめかみ。また、こめかみを叩くこと。

みムだつ [mimdats] [名] [みムだ<sup>1</sup>つまい...] 耳の高さ。背くらべをするとき身長を表わす。

みムたぶ [mimtabu] [名] [みムた<sup>1</sup>ぶまい...] 耳たぶ。

みムだら [mimdara] [名] [みムだ<sup>1</sup>らまい...] 耳から臭い膿が出る人。または耳朶が大きくて垂れている人。【同】「みムだれ」。

みムだり [mimda] [名] [みムだ<sup>1</sup>りまい...] 耳だれ。耳から出るくさい膿。

みムだり [mimda] [名] [みムだ<sup>1</sup>りまい...] 耳朶。外耳。【類】「みムたぶ」。

みムだれ [mimdare] [名] [みムだ<sup>1</sup>れまい...] 耳から臭い膿が出る人。または耳朶が大きくて垂れている人。【同】「みムだら」。

みむっずー [mimuddz:] [動I類c型] [みむっじー、みむっじゃん] 視力が弱くなる。視力が衰える。

みむとう [mimutu] [名] [みむ<sup>1</sup>とうまい...] 身元。身許。その人の出生から現在までの事柄。

みムどうーしゃーり [mimdu:ɕa:] [形] [みムどうー<sup>1</sup>しゃまい...] 耳が遠い。耳が遠くなる。聞こえが悪くなる。難聴である。

みムなり [mimna] [名] [みムな<sup>1</sup>りまい...] 耳鳴り。

みムぬ あな [mimnu ana] [名] [みムぬあ<sup>1</sup>なまい...] 耳の穴。外耳道。

みムぬ っふあ [mimnu ffa] [名] [みムぬっ<sup>1</sup>ふあまい...] 鼓膜。

みムぬ ふしゆ [mimnu fuɕu] [名] [みムぬふ<sup>1</sup>しゆまい...] 耳くそ。耳垢。

みムばに [mimbani] [名] [みムば<sup>1</sup>にまい...] 耳羽。外耳。

みムばに [mimbani] [名] [みムば<sup>1</sup>にまい...] 風につける飾り羽。

みムふっずー [mimfuddz:] [名] [みムふっず<sup>1</sup>ーまい...] 耳をほじくること。耳の掃除。

みムペーしゃーり [mimbe:ɕa:] [形] [みムペー<sup>1</sup>

しゃまい...] 耳が早い。早耳である。情報を知ることが早い。

みムペーむぬ [mimbe:munu] [名] [みムペ<sup>1</sup>ーむぬまい...] 耳の早い人。早耳。情報を知ることの早い人。地獄耳。

みムゆ たみり [mim.ju tami] [連語] 耳を立てる。注意して聞く。耳をそば立てる。

みやーす [mija:s] [動I類c型] [みやーしー、みやーしゃん] 比べる。比較する。【例】かりとうくりとう みやーす (あれとこれを比較する)。

みやぎ [mijagi] [名] [みや<sup>1</sup>ぎまい...] 土産。新しい言い方。【類】「つつとう」。

みやす [mijas] [名] [みや<sup>1</sup>すまい...] 目安。おおよそ。

みやてい [mijati] [名] [みや<sup>1</sup>ていまい...] 目当て。頼り。

みやら [mijara] [名] [みやら<sup>1</sup>んまい...] 宮良。宮良集落のこと。仲申。申支部。

ミ<sup>2</sup>ゆ [mjju] [名] [ミ<sup>2</sup>ゆまい...] 滯(みお)。水脈。リーフの割れたところ。船の通り道。

みり [mi] [接尾] ~める。形容詞などの語根に付き、他動詞を派生させる。【例】ピすうみり(広める)。ペーみり(早める)。

みり [mi] [名] [海藻] [みりまい...] みる。海藻の一種。

みりきんぐー [mirikingu:] [名] [みりき<sup>1</sup>んぐーまい...] メリケン粉。小麦粉。【類】「むぎぐー」。

みりやす [mirijas] [名] [みりや<sup>1</sup>すまい...] メリヤス。

みりん [mirin] [名] [みりんまい...] 未練。

みるく [miruku] [名] [みる<sup>1</sup>くまい...] 弥勒。人間が幸せを求める神様。

みるくがム [mirukugam] [名] [みるくが<sup>1</sup>ムまい...] 弥勒神。豊穰の神。

みるくどうす [mirukudus] [名] [みるくどう<sup>1</sup>すまい...] 弥勒年。豊年。豊作の年。

みるくゆー [mirukuju:] [名] [みるくゆ<sup>1</sup>ーまい...] 弥勒世。豊年。

みるくゆがぷー [mirukujugapu:] [名] [みるくゆが<sup>1</sup>ぷーまい...] 弥勒世界報。豊年満作の果報。

みわき [mivaki] [名] [みわきまい...] みわ<sup>1</sup>きま

い...] 見分け。

みわきり<sup>ㇿ</sup> [mivaki] [動 II 類 c 型] [みわきー、みわきん] 見分ける。

みんがす [mingas] [動 I 類 a 型] [みんがしー、みんがしゃん] 揉ませる。疲労した体をもませる。特に筋肉痛にもませる。

みんぎ [ming] [動 I 類 a 型] [みんぎー、みんがん] 揉む。疲労した体をもみほぐす。

みんきゅ [minkju] [名] [みんきゅまい...] 免許。

みんじゃ [mindza] [名] [みんじゃまい...。みん<sup>1</sup>じゃまい...] かんぱち。頭の傷跡。【類】「ぶてい」。

みんしゅく [minçuku] [名] [みんしゅくまい...] 免職。

みんたま [mintama] [名] [みんた<sup>1</sup>まい...] 目ん玉。目玉。眼球。瞳。

みんどー [mindoi] [名] [みんどーまい...] 面倒。うるさいこと。厄介なこと。

みんな [minna] [名] [地] [みんなまい...] 水納。水納島。

みんなうたき [minnautaki] [名] [みんなうたきまい...] 水納御嶽。

みんなじんじゃ [minnadzindza] [名] [みんなじんじゃまい...] 水納神社。

みんなずま [minnadzjma] [名] [地] [みんなずままい...] 水納島。多良間村字水納。ニコライ・ネフスキーによれば、往古、百合若大臣という人が鹿児島へ帰ってから、臣下を分けて水納島へ送った。その時から水納島は栄えた。

みんなばし [minnabaçi] [名] [みんなばしまい...] 水納島と多良間島の間。

みんなピとう [minnapitu] [名] [みんなピとうまい...] 水納人。水納島出身の人。

みんなふつ [minnafuts] [名] [みんなふつまい...] 水納語。水納島方言。

みんなペーゆぬす [minnapejunus] [名] [みん<sup>1</sup>なペー「ゆぬすまい...」 水納島の首長。伝説上の人物。

みんなみじゃす [minnamidzas] [名] [みんなみじゃすまい...] 水納目差。水納島の首長。

みんよー [min.joi] [名] [みんよ<sup>1</sup>まい...] 民謡。

島歌。沖縄県を代表する叙情歌。〈たらしゆんかに〉。

ム [m] [接尾] ~む。主に形容詞の語根に付き「~の状態になる」という意味の動詞を派生させる。【例】つすうム (白む)。つふム (黒くなる)。

ム [m] [接尾] M 語尾。様々な動詞形に付き、話し手の確信や意思などを表す。【例】あが ならーすムどー (私が教えるよ)。ムーな ふーたム (全部食べたぞ)。

## — む —

- むい [mui] [名] [むいまい...] 燃え。燃えること。
- むい [mui] [名] [むいまい...] 萌え。生え。芽生え。
- むいかーり [muika:] [動 I 類 a 型] [むいかーりー、むいかーらん] 生え変わる。植物が生え変わる。歯や爪が生え変わる。
- むいかヴヴイ [muikavv] [動 I 類 c 型] [むいかヴヴいー、むいかヴヴあん] 生い茂る。
- むいかぎん [muikagin] [名] [むいかぎ<sup>1</sup>んまい...] 燃え加減。燃え具合。
- むいギ [muik] [動 I 類 c 型] [むいきー、むいかん] 動く。働く。【例】むいかん (動かない。不動)。ていぬ むいギ (手が動く・手が働く)。【同】「むゆギ」。【類】「ういギ」。
- むいギじゅーしゃーり [muikjzɯ:ɕa:] [形] [むいギじゅー<sup>1</sup>しゃまい...] よく働くこと。またその人。
- むいぐりしゃーり [muigurica:] [形] [むいぐり<sup>1</sup>しゃまい...] 燃えにくい。
- むいぐる [muiguru] [名] [むいぐるまい...] 燃えるのよ状態。乾いた状態の薪。
- むいぐる [muiguru] [名] [むいぐるまい...] 燃え殻。燃え粕。
- むいじょうき [muidzauki] [名] [む<sup>1</sup>いじょうきまい...] 箕 (み)。穀物をゆすって選別するのに使う浅いざる。【同】「むいじょーき」。
- むいじょーき [muidzo:ki] [名] [むいじょー<sup>1</sup>きまい...] 箕 (み)。穀物をゆすって選別するのに使う浅いざる。【同】「むいじょうき」。
- むいっす [muiss] [動 I 類 c 型] [むいっしー、むいっしゃん] 生えさせる。植物を育てる。
- むいっす [muiss] [動 I 類 c 型] [むいっしー、むいっしゃん] 穀物を精げさせる。
- むいっす [muiss] [動 I 類 a 型] [むいっしー、むいっしゃん] 燃えさせる。
- むいぬくり [muinuku] [名] [むいぬくりまい...] 燃え残り。
- むいばていり [muipati] [動 II 類 a 型] [むいばていー、むいばていん] 燃え果てる。燃えつきる。
- むいビー [muib:] [名] [むいビ<sup>1</sup>ーまい...] 炭火。木炭。
- むいピー [muip:] [名] [むいピ<sup>1</sup>ーまい...] ほのお。火。
- むいピすうがり [muipisuga] [動 I 類 a 型] [むいピすうがりー、むいピすうがらん] 燃え広がる。
- むいムー [muimm] [名] [むいム<sup>1</sup>ーまい...] 生え芋。収穫した芋畑に取り残した芋が生えること。
- むいむギ [muimug] [名] [むいむ<sup>1</sup>ギまい...] 脱穀した麦。
- むいやすしゃーり [muijasɕa:] [形] [むいやす<sup>1</sup>しゃまい...] 燃えやすい。
- むいり [mui] [動 II 類 c 型] [むいー、むいん] 穀物を精げる。
- むいり [mui] [動 II 類 a 型] [むいー、むいん] 燃える。【例】むいん (燃えない)。
- むいり [mui] [動 II 類 c 型] [むいー、むいん] 萌える。生える。芽を出す。【例】むいん (生えない)。
- ムー [mm] [名] [植] [ムーま<sup>1</sup>い...] 芋。さつもいも。塊根。
- ムー [mm] [動 I 類] [ムみー、ムまん] [ムーまい...] 踏む。【例】ずーう ムー (地を踏む)。【類】「ムーばギ」。
- ムー [mm] [動 I 類 c 型] [ムみー、ムまん] 履く。【例】しゃぼう ムー (草履を履く)。
- ムー [mm] [動 I 類 c 型] [ムみー、ムまん] 汲む。水を汲む。【例】みずう ムー (水を汲む)。
- ムー [mm] [動 I 類 c 型] [ムみー、ムまん] 熟する。果物が熟する。【例】ばしょーぬなげら ムみった (バナナは熟した)。
- ムー [mm] [動 I 類 c 型] [ムみー、ムまん] 績む。麻の繊維を織り糸に績むこと。【類】「ぶー

- ムー。
- ムー [mm] [動I類c型] [ムみー、ムまん] 膿む。化膿すること。【例】にぶとうぬ ムー (おできが化膿する)。
- むー [mu:] [名] 六。六つ。六歳。六個。
- むー [mu:] [名] [海藻] [むーまい...] 藻 (も)。もずく。
- むー [mu:] [名] [むーまい...。むーま<sup>1</sup>い...] いみ。忌。喪。
- ムーあけおだ [mm.akeoda] [名] [ムーあけお<sup>1</sup>だまい...] 芋を売り歩く人。芋商人。
- ムーあるー [mm.aru:] [名] [ムーある<sup>1</sup>ーまい...] 芋洗い。芋を洗う。
- ムーガー [mmga:] [名] [ムーが<sup>1</sup>ーまい...] 芋の皮。食べ残った皮。【類】「ふいでい」。
- ムーガーら [mmga:ra] [名] [ムーが<sup>1</sup>ーらまい...] 芋の切り干し。
- ムーガーら [mmga:ra] [名] [ムーが<sup>1</sup>ーらまい...] 芋を輪切にして日に干したもの。
- ムーかす [mmkas] [名] [ムーか<sup>1</sup>すまい...] 芋粕。芋の澱粉をとった粕。
- ムーかでい [mmkadi] [名] [ムーか<sup>1</sup>でいまい...] 芋取り。芋の収穫。
- ムーギ [mmk] [動I類a型] [ムーきー、ムーかん] 汲み入れる。【例】たぐんけー ムーギ (桶に水を入れる)。
- ムーギ [mmk] [動I類a型] [ムーきー、ムーかん] 踏む。踏み込む。踏みつける。
- ムーギー [mmgi:] [名] [植] [ムーギ<sup>1</sup>ーまい...] さつま芋。さつま芋の木。いもづる。
- ムーギーぐる [mmgi:guru] [名] [ムーギ<sup>1</sup>ーぐるまい...] 芋殻。芋かずら。
- ムーギーしゃに [mmgi:çani] [名] [ムーギ<sup>1</sup>ーしゃにまい...] 芋苗。芋づるの苗。
- ムーギーとうり [mmgi:tu] [名] [ムーギ<sup>1</sup>ーとうりまい...] 芋苗を取ること。
- ムーギーなか [mmgi:naka] [名] [ムーギ<sup>1</sup>ーなかまい...] 芋畑。芋畑の中。
- ムーギーぬ ぱー [mmgi:nu pa:] [名] [ムーギー<sup>1</sup>ぬぱーまい...] いもづるの葉。和えもの料理にする。
- ムーギーぬ ぱーじゅー [mmgi:nu pa:dzu:] [名] [ムーギー<sup>1</sup>ぬぱーじゅーまい...] 芋づるの葉のおつゆ。
- ムーギーぬ ぱーじゅーし [mmgi:nu pa:dzu:çi] [名] [ムーギー<sup>1</sup>ぬぱー「じゅー<sup>1</sup>しまい...] 芋の葉の雑炊。
- ムーギーぬ ぱな [mmgi:nu pana] [名] [ムーギー<sup>1</sup>ぬぱなまい...] 芋の花。朝顔の花に似ている。
- ムーギんギ [mmkɲkɲ] [動I類a型] [ムーギんきー、ムーギんかん] 踏み付ける。
- ムーく [mmku] [名] [ムー<sup>1</sup>くまい...] 膿。傷が化膿してできた粘液。
- ムーくいり [mmkui] [動II類a型] [ムーくいー、ムーくいん] 踏み越える。【同】「ふまくいり」。
- ムーくず [mmkudz] [名] [ムーく<sup>1</sup>ずまい...] 芋の澱粉。
- ムーくずがな [mmkudzɣana] [名] [ムーくずが<sup>1</sup>なまい...] 芋すり器。芋の澱粉を取る用具。おろし器。【類】「しゃみ」。
- ムーぐる [mmguru] [名] [ムーぐ<sup>1</sup>るまい...] 芋の部分を取った芋づる。
- むーずー [mu:dz:] [動I類c型] [むーっじー、むーっじゃん] 視力が弱くなる。視力が衰える。
- ムーた [mmta] [名] [ムー<sup>1</sup>たまい...] 木の実。草の実。
- ムーたぎー [mmtagi:] [名] [植] [ムー<sup>1</sup>たぎーまい...] ふくまんぎ。小粒の実をつける。
- ムーたビ [mmtab] [名] [ムー<sup>1</sup>た<sup>1</sup>ビまい...] いぬびわ。
- ムーたビぎー [mmtabgi:] [名] [植] [ムー<sup>1</sup>た<sup>1</sup>ビぎーまい...] いぬびわ。
- ムーだり [mmdari] [名] [ムーだりまい...] 煮たさつまいもを水に溶かしたもの。家畜の飼料。
- ムーつ [mmts] [名] [ムー<sup>1</sup>つまい...] 六。六つ。六歳。
- ムーつきり [mmtsɰki] [動II類a型] [ムーつきー、ムーつきん] 踏みつける。
- ムーてい [mmti] [名] [ムー<sup>1</sup>ていまい...] 六年。
- ムーでいり [mmdi] [名] [ムー<sup>1</sup>でい<sup>1</sup>りまい...] 芋

を入れるざる。芋籠。

ムーでいり [mmdi:] [動 II 類 a 型] [ムーでいー、ムーでいん] 汲み出る。汲み出す。入れ物や鍋から水や汁を汲み出す。

ムーな [mmna] [名] ~辺り。~ぐらい。場所を表す名詞に付き「~辺り」を表わし、量や程度などを表す名詞に付き「~ぐらい」を表す。【例】くまムーな (ここら辺)。かまムーな (あの辺り)。ぱるムーな (畑の辺り)。

ムーな [mmna] [名] [ムーなまい...] みんな。全部。全員。皆。【例】ムーなしー (みんなで。皆揃って)。ムーなしー うぎない (皆で集めなさい)。

ムーな ぐー [mmna gu:] [連語] 皆同じだ。同類という意味。

ムーなしー [mmnaci:] [連語] 皆で。全員で。【類】「ムーなにー」。

ムーなにー [mmnani:] [連語] 皆で。全員で。【類】「ムーなしー」。

ムーなやー [mmnaja:] [名] [ムーなやーまい...] 留守。空き家。

ムーにー [mmni:] [名] [ムーに<sup>1</sup>ーまい...] 芋を煮ること。いも炊き。

ムーにーずぶん [mmni:dzɔ̃bun] [名] [ムーにーずぶ<sup>1</sup>んまい...] 芋が炊きあがる時分。芋を炊く時間。

ムーにーなび [mmni:nabi] [名] [ムーにーな<sup>1</sup>びまい...] 芋を炊く鍋。

ムーぬ イー [mmnu i:] [名] [ムーぬイ<sup>1</sup>ーまい...] 芋の飯。炊いた芋を搗き捏ねたもの。

ムーぬ イーぎー [mmnu i:gi:] [名] [植] [ムーぬイ<sup>1</sup>ーぎーまい...] むらさきしきぶ。

ムーぬ すー [mmnu sɔ̃:] [名] [ムーぬす<sup>1</sup>ーまい...] 芋を炊いた残り水。

ムーばぎ [mmbagɔ̃] [動 I 類 a 型] [ムーばぎー、ムーばがん] 踏みつける。踏む。

ムーばた [mmbata] [名] [ムーば<sup>1</sup>たまい...] いも腹。三度の食事の主食は芋だった。

ムーばとう [mmbatu] [名] [鳥] [ムーば<sup>1</sup>とうまい...] 鳩。きじばと。【類】「ばとう」。「ばとうがみ」。

ムーばなだら [mmpnadara] [名] [ムーばなだ<sup>1</sup>らまい...] 膿鼻垂れの人。青涙垂れの人。【同】「ムーばなだれ」。

ムーばなだり [mmpnadari] [名] [ムーばなだ<sup>1</sup>りまい...] 膿鼻垂れ。青涙垂れ。

ムーばなだれ [mmpnadare] [名] [ムーばなだ<sup>1</sup>れまい...] 膿鼻垂れの人。青涙垂れの人。【同】「ムーばなだら」。

ムーばり [mmba:] [動 I 類 c 型] [ムーばりー、ムーばらん] 踏む。踏みつける。【同】「ふムばり」。

ムーぱんびム [mmpanbim] [名] [ムーぱんび<sup>1</sup>ムまい...] 芋てんぶら。

ムーポーリ [mmpu:] [名] [ムーポー<sup>1</sup>りまい...] 芋の豊作祈願行事。旧暦 6 月。

ムーぷり [mmpu:] [名] [ムーぷ<sup>1</sup>りまい...] いも掘り。いも収穫。

ムーます [mmmasɔ̃] [動 I 類 c 型] [ムーましー、ムーましゃん] 熟させる。果物を熟させる。

ムーみす [mmmisɔ̃] [名] [ムーみ<sup>1</sup>すまい...] いも神酒。さつまいもで造る神酒。

ムーむぬ [mmmunu] [名] [ムーむぬまい...] 熟した物。

ムーむぬ [mmmunu] [名] [ムーむぬまい...] 履き物。

ムか [mka] [名] [ムかまい...] 糠。

ムかーす [mka:sɔ̃] [動 I 類 a 型] [ムかーしー、ムかーしゃん] 向わす。向ける。向き合わせる。【例】やーんけー ムかーす (家に向って行かせる)。ムかーしー たたす (向かい合わせて立たす)。ふたーりる ムかーす (二人を向き合わせる)。

ムかい [mkai] [名] [ムかいまい...] 迎え。【例】ふなムかい (船迎え)。

ムかい [mkai] [名] [ムかいんまい...] 向い。正面。向い側。

ムかいかでい [mkaikadi] [名] [ムかいか<sup>1</sup>でいまい...] 向い風。逆風。

ムかいり [mkai:] [動 II 類 a 型] [ムかいはー、ムかいはん] 迎える。

むかす [mukasɔ̃] [名] [むかすまい...] 昔。以前。

新しい言い方。【類】「かながい」。「んけーん」。  
 ムかどう [mkadu] [名]〔ムかどうまい...〕六角。  
 六角の凧。  
 ムから [mkara] [名]〔ムからまい...〕六匹。  
 むかん [mukan] [連語] 適しない。適正を欠く。  
 向かん。  
 むギ [muk] [動I類a型]〔むき一、むかん〕向  
 く。右に向く。左に向く。  
 むギ [muk] [動I類a型]〔むき一、むかん〕皮  
 をむく。さとうきびの皮をむく。  
 むき [muki] [名]〔むきまい...〕向き。適するこ  
 と。適正であること。  
 むギ [mug] [名]〔植〕〔むぎま<sup>1</sup>い...〕麦。大麦。  
 小麦。  
 むぎ一 [mugi] [名]〔むぎ一まい...〕無芸。  
 むき一かく [muki:kaku] [名]〔むき一かくうま  
 い...〕無計画。  
 むぎ一むぬ [mugi:munu] [名]〔むぎ一むぬまい...〕  
 無芸者。  
 むぎうばん [muguban] [名]〔むぎうば<sup>1</sup>んまい...〕  
 麦ご飯。  
 むギかー [mukka:] [名]〔むギかーまい...〕剥き  
 皮。剥いた皮。果物やバナナなどの剥いた皮。  
 むギがー [mugga:] [名]〔むギが<sup>1</sup>ーまい...〕麦  
 の皮。麦を粉にした後の皮。石臼で粉にする。  
 むギかうず [mugkaudz] [名]〔むギかう<sup>1</sup>ずま  
 い...〕麦麴。【同】「むぎこーず」。  
 むギかつ [mugkats] [名]〔むギか<sup>1</sup>つまい...〕麦  
 打ち。麦の脱穀。くるり棒で脱穀すること。  
 むギかり [mugka] [名]〔むギか<sup>1</sup>りまい...〕麦  
 刈り。麦の収穫。  
 むぎく一 [mugku:] [名]〔むギく<sup>1</sup>ーまい...〕麦  
 粉。メリケン粉。てんぶら用。【類】「みりきん  
 ぐ一」。  
 むぎぐる [mugguru] [名]〔むギぐ<sup>1</sup>るまい...〕麦  
 わら。  
 むぎぐるぼ一し [muggurubo:ci] [名]〔むギぐ<sup>1</sup>  
 るぼ一しまい...〕麦わら帽子。  
 むぎこーず [mugko:dz] [名]〔むギこーずまい...〕  
 麦麴。【同】「むギかうず」。  
 むぎだーら [mugda:ra] [名]〔むギだ一<sup>1</sup>らまい...〕

麦俵。収穫した麦を俵にする。  
 むぎだに [mugdani] [名]〔むぎだにまい...〕麦  
 の種子。  
 むぎなか [mugnaka] [名]〔むぎな<sup>1</sup>かまい...〕麦  
 畑。【類】「むぎばたき」。「むぎばる」。  
 むぎぬ イー [mugnu i:] [名]〔むぎぬイ<sup>1</sup>ーま  
 い...〕麦飯。  
 むぎぬ ぶ一 [mugnu pu:] [名]〔むぎぬぶ<sup>1</sup>ーま  
 い...〕麦の穂。  
 むぎぬ ゆ一 [mugnu ju:] [名]〔むぎぬゆ<sup>1</sup>ーま  
 い...〕麦のお粥。  
 むぎばたき [mugbataki] [名]〔むぎばた<sup>1</sup>きま  
 い...〕麦畑。【類】「むぎなか」。「むぎばる」。  
 むぎばる [mugbaru] [名]〔むぎば<sup>1</sup>るまい...〕麦  
 畑。【類】「むぎなか」。「むぎばたき」。  
 むギピギ [mugpiki] [名]〔むギピ<sup>1</sup>ギまい...〕麦  
 を石臼でひくこと。麦粉をつくる。  
 むギぶ一り [mugpu:i] [名]〔むギぶ一<sup>1</sup>りまい...〕  
 麦穂礼。旧暦3月に行われる神事。  
 むギぶき [mugbuki] [名]〔むギぶ<sup>1</sup>きまい...〕麦  
 の粃殻。  
 むギまギ [mugmak] [名]〔むギま<sup>1</sup>ギまい...〕麦  
 播き。10月頃。  
 むギむつ一 [mugmuts:] [名]〔むギむつ<sup>1</sup>ーま  
 い...〕麦の粉で作る餅。  
 むきり [muki] [動II類a型]〔むき一、むきん〕  
 向ける。仕向ける。  
 むきり [muki] [動II類a型]〔むき一、むきん〕  
 皮がむけること。  
 むく [muku] [名]〔む<sup>1</sup>くまい...〕婿。  
 むくあじゃ [mukuadza] [名]〔む<sup>1</sup>くあじゃまい...〕  
 姉の夫。婿兄。義兄。  
 むくい [mukui] [名]〔む<sup>1</sup>くいまい...〕報い。仕返  
 し。  
 むくいり [mukui] [動II類a型]〔むくい一、む  
 くいん〕報いる。  
 むくきよ一だい [mukukjo:dai] [名]〔む<sup>1</sup>くきよ  
 一だいまい...〕婿兄弟。妻同志の義兄弟。  
 むくざい [mukudzai] [名]〔む<sup>1</sup>くざ<sup>1</sup>いまい...〕木  
 材。  
 むくじゃう [mukudzau] [名]〔む<sup>1</sup>くじゃうまい...〕

花嫁を司る人。世話人。媒酌人。【同】「むくじょー」。

むくじょー [mukudzo:] [名] [む<sup>1</sup>くじょーまい...]  
花嫁を司る人。世話人。媒酌人。【同】「むくじょー」。

むくぞーしん [mukudzo:çin] [名] [むくぞーし<sup>1</sup>んまい...]  
木造船。

むくていき [mukutiki] [名] [むくてい<sup>1</sup>きまい...]  
目的。

むくとうり [mukutu] [名] [む<sup>1</sup>くとうり<sup>1</sup>まい...]  
婿取り。娘に婿を迎えること。

むくまう [mukumau] [名] [植] [むくま<sup>1</sup>うまい...]  
もくまおう。【同】「むくもー」。

むくみ [mukumi] [名] [むくみまい...]  
木目。製材した柱や板の木目。

むぐム [mugum] [動II類a型] [むー、むん]  
無言である。無口である。黙る。寡黙。

むくもー [mukumo:] [名] [植] [むくも<sup>1</sup>ーまい...]  
もくまおう。【同】「むくまう」。

むくやーがー [mukuja:ga:] [名] [井戸] [む<sup>1</sup>くやーがーまい...]  
井戸の名。人工井戸。

むくよーし [mukujo:çi] [名] [む<sup>1</sup>くよーしまい...]  
婿養子。

むぐり [mugu] [動I類a型] [むぐりー、むぐらん]  
潜る。水中に潜る。潜水する。ミミズが土に潜る。潜伏する。

むくるム [mukurum] [動I類c型] [むくるみー、むくるまん]  
もくろむ。

ムけー [mke:] [名] [ムけーまい...]  
向くこと。【例】ムけー ギー (向ってくる)。

ムけー ギー [mke: kɣ:] [連語]  
迎えて来る。

ムけー たつ [mke: tatsɰ] [連語]  
向かい合って立つ。

むげーらす [muge:rasɰ] [動I類a型] [むげーらしー、むげーらしゃん]  
濁らす。台風は海を濁らす。【同】「むっげーらす」。

むげーり [muge:] [動I類c型] [むげーりー、むげーらん]  
濁る。

むげーりじゃき [muge:dzaki] [名] [むげーりじゃ<sup>1</sup>きまい...]  
濁り酒。とぶろく。

むげーりみず [muge:[midzɰ] [名] [むげーりみ<sup>1</sup>

ずまい...]  
濁り水。汚れ水。

むしきにん [muçikinin] [名] [むしきにんまい...]  
無責任。

ムしゃ [mça] [感] よせ。だめ。やるな。否定に言う。【例】ムしゃ すな (よせ、やるな)。ムしゃ すていー うき (よせ止めておけ)。

ムじゃうしゃ [mdzauça] [名] [ムじゃう<sup>1</sup>しゃまい...]  
あわれ。かわいそう。無情。【同】「ムじょーしゃ」。

ムじゃうしゃーり [mdzauça:] [形] [ムじゃう<sup>1</sup>しゃまい...]  
無情。なさけない。【同】「ムじょーしゃーり」。

ムじゃうな むぬ [mdzauna munu] [名] [ムじゃうなむぬまい...]  
気の毒な者。【同】「ムじょーなむぬ」。

ムじゃうなぎしゃーり [mdzaunagiça:] [形] [ムじゃうなぎ<sup>1</sup>しゃまい...]  
哀れに見える。かわいそう。【同】「ムじょーなぎしゃーり」。

ムじゃうなししゃーり [mdzaunaça:] [形] [ムじゃうなし<sup>1</sup>しゃまい...]  
哀れである。なさけない。【例】ムじゃうな ピとう (無情な人)。

むしゃむしゃ [muçamuça] [擬] [むしゃむしゃていー...]  
毛むじやらにいう。毛深いこと。

ムしゆ [mçu] [名] [ムしゆまい...]  
ムしゆゆーり<sup>1</sup>らまい...]  
味噌。

ムじゆ [mdzu] [名] [ムじゆまい...]  
溝。側溝。低い所。水を流すための溝。

ムしゆあい [mçuai] [名] [ムしゆあいまい...]  
味噌和え。

ムじゆい [mdzui] [名] [干支] [ムじゆ<sup>1</sup>いまい...]  
巳年。巳年生れ。十二支の六番目。蛇年。【類】「ムぬてい」。

ムしゆがみ [mçugami] [名] [ムしゆがみまい...]  
味噌がめ。

ムじゆしゃらい [mdzuçarai] [名] [ムじゆしゃら<sup>1</sup>いまい...]  
溝さらえ。

ムしゆずき [mçudzɰki] [名] [ムしゆずきまい...]  
味噌漬け。

ムしゆずきり [mçudzɰki] [名] [ムしゆずき<sup>1</sup>りまい...]  
味噌つぼ。味噌を入れる竹筒。

ムしゆだり [mçudari] [名] [ムしゆだりまい...]

味噌だれ。味噌を水や湯に溶かしたもの。  
 ムじゅつき [mɕɯtsɯki] [名] [ムじゅつ<sup>1</sup>きまい...]  
 味噌造り。  
 ムじゆな [mɕuna] [名] [植] [ムじゆなまい...]  
 ふだんそう。  
 ムじょーしゃ [mdzɔ:ɕa] [名] [ムじょーしゃま  
 い...] あわれ。かわいそう。【同】「ムじょうし  
 や」。  
 ムじょーしゃーり [mdzɔ:ɕa:] [形] [ムじょー<sup>1</sup>し  
 やまい...] 無情。なさけない。【同】「ムじょう  
 しゃーり」。  
 ムじょーな むぬ [mdzɔ:na munu] [名] [ムじょ  
 ーなむぬまい...] 気の毒な者。【同】「ムじょう  
 なむぬ」。  
 ムじょーなぎしゃーり [mdzɔ:nagiɕa:] [形] [ム  
 じょーなぎ<sup>1</sup>しゃまい...] 衰れに見える。かわ  
 いそうだ。【同】「ムじょうなぎしゃーり」。  
 むじん [mudzɯn] [名] [むじんまい...] 無尽。担  
 保。  
 むす [musɯ] [名] [むすまい...] 虫。虫の総称。【例】  
 むすぬ つぎ (虫がつく。作物に虫がつく)。  
 むず [mudzɯ] [名] [植] [むずまい...] 里芋。  
 むすいヴい [musɯivvi] [名] [むすいヴ<sup>1</sup>い  
 まい...] 虫を恐がること。  
 ムすー [msɯ:] [名] [ムす<sup>1</sup>まい...] 味噌汁。主  
 として味噌を溶かしたものに言う。  
 むすうくり [musɯuku] [名] [むすうくりまい...]  
 虫送り。大祓い。農作物の害虫を海へ流して豊  
 作を祈願する行事。【類】「うぷり」。  
 ムすーなび [msɯ:nabi] [名] [ムす<sup>1</sup>ーなびまい...]  
 汁鍋。おつゆ鍋。  
 ムすーまかり [msɯ:maka] [名] [ムす<sup>1</sup>ーまかり  
 まい...] 汁椀。  
 ムずが [mdzɯga] [名] [ムずがまい...] 顔のよく  
 ない人。不美人。男性にも言う。【類】「ムずぎ  
 むぬ」。  
 ムずぎしゃーり [mdzɯgiɕa:] [形] [ムずぎしやま  
 い...] 顔がよくない。仕事に品がない。  
 ムずぎむぬ [mdzɯgimunu] [名] [ムずぎむ<sup>1</sup>ぬま  
 い...] 容貌のまずい人。【類】「ムずが」。  
 むすくだす [musɯkudasɯ] [名] [むすくだ<sup>1</sup>すま

い...] 虫くだし。回虫を駆除する。  
 むすぬ くー [musɯnu ku:] [名] [むすぬく<sup>1</sup>ーま  
 い...] 虫の食った跡。  
 むすばー [musɯba:] [名] [むすばーまい...] 虫歯。  
 むすぱー [musɯpa:] [名] [虫] [むすぱ<sup>1</sup>ーまい...]  
 やすで。【類】「あまだりむす」。  
 むすび [musɯbi] [動 I 類 a 型] [むすびー、むす  
 ばん] 結ぶ。糸などを結ぶ。  
 むすふしゆり [musɯfɯɕu] [名] [むすふしゆ<sup>1</sup>りま  
 い...] 虫下し薬。  
 むずふり [mudzɯfu] [名] [むずふ<sup>1</sup>りまい...] 作  
 物。農作物。  
 むすムー [musɯmm] [名] [むすム<sup>1</sup>ーまい...] 虫  
 に食われた芋。  
 むすわー [musɯwa:] [名] [むすわーまい...] 虫の  
 ついた豚。寄生虫のいる豚。  
 むすんが [musɯnga] [副] もしかしたら。万一。も  
 しも。【例】むすんが いしゃぬ ぶらーだかー  
 (もしも医者がないなら)。  
 むすんがぬ ばー [musɯnganu ba:] [連語] もしも  
 の時。万一。  
 ムた [mta] [名] [ムたま<sup>1</sup>い...] 土。土壌。  
 むだ [muda] [形] [むだまい...] 無駄。無益。役  
 立たず。  
 むたいり [mutai] [動 II 類 c 型] [むたいー、む  
 たいん] もたれる。寄りかかる。面倒を見られ  
 る。  
 むたいり [mutai] [動 II 類 c 型] [むたいー、む  
 たいん] 悪霊にとりつかれる。  
 ムたがーら [mtaga:ra] [名] [ムたがー<sup>1</sup>らまい...]  
 土塊。土くれ。  
 むたがらす [mutagarasɯ] [動 I 類 c 型] [むたが  
 らしー、むたがらしあん] 盛り上げさせる。  
 むたがり [mutaga] [動 I 類 c 型] [むたがりー、  
 むたがらん] 盛り上がる。  
 むたぎばら [mutagibara] [名] [むたぎば<sup>1</sup>らま  
 い...] 持ち上げる後の痛み。  
 むたぎり [mutagi] [動 II 類 c 型] [むたぎー、む  
 たぎん] 持ち上げる。力いっぱい重い物を持ち  
 上げる。  
 むたぎり [mutagi] [動 II 類 c 型] [むたぎー、む

たぎん] 首をもたげる。台頭。蛇ががま首をもたげる。

ムたす [mtasʝ] [動 I 類 c 型] [ムたしー、ムたしやん] 満たす。水を満たす。満潮を待つことにも言う。【例】ムたしーから（満潮になってから。満潮を待つこと）。

むたす [mutasʝ] [動 I 類 c 型] [むたしー、むたしやん] 持たせる。与える。呉れる。

ムただり [mtadaɽi] [動 II 類 c 型] [ムただりー、ムただりん] 土で汚れる。【同】「ムただりり」。

ムただり [mtadari] [名] [ムただりまい...] 土汚れ。体や衣服が土で汚れること。どろだらけ。

ムただりり [mtadariɽi] [動 II 類 c 型] [ムただりー、ムただりん] 土で汚れる。【同】「ムただりり」。

ムたつ [mtatsʝ] [動 I 類 a 型] [ムたていー、ムたたん] 直立する。突き立つ。

ムたていり [mtatiɽi] [動 II 類 a 型] [ムたていー、ムたていん] 立てる。立たせる。電柱を立てる。

ムたばす [mtabasʝ] [動 I 類 c 型] [ムたばしー、ムたばしやん] いじらす。指先で触れて遊ぶ。おもちゃで遊ばせる。

ムたばつ [mtabatsʝ] [名] [昆虫] [ムたばつまい...] 土蜂。じがばち。土で巣を作る。

ムたばる [mtabarʝ] [名] [ムたばるんまい...] 土原。土原部落。仲子。ねーしぶ。

ムたばるうがム [mtabarʝugam] [名] [ムたばるうがムーまい...] 仲筋の八月おどり場。土原御願所。

ムたばるとうゆめ [mtabarʝutujume] [名] [ムたばるとうゆめまい...] 土原豊見親。土原春源公のこと。幼少にして体格に恵まれ、牛と闘うほどの力持ち。1500 年に八重山のアカハチ征伐に参戦し、1520 年には与那国征伐に参戦した。琉球国王から「豊見親」の称号を授かる。多良間島の首長となる。村史参照。

ムたび [mtabi] [動 I 類 c 型] [ムたびー、ムたばん] いじる。

ムたびむぬ [mtabiɽimunu] [名] [ムたびむぬまい...] いじるもの。玩具。

ムたぶき [mtabuki] [名] [ムたぶきまい...] 土

ほこり。土芥。

ムだらす [mdarasʝ] [動 I 類 c 型] [ムだらしー、ムだらしやん] 破らせる。壊させる。

ムだり [mdaɽi] [動 I 類 c 型] [ムだりー、ムだらん] 破る。壊す。

ムだりむぬ [mdarimunu] [名] [ムだりむぬまい...] こわれもの。器具や機械が故障したもの。

ムだりやすしやーり [mdarijasʝa:ɽi] [形] [ムだりやすしやまい...] こわれ易い。

ムだりり [mdariɽi] [動 II 類 c 型] [ムだりー、ムだりん] こわれる。破れる。

むちーらいり [mutçi:raiɽi] [動 II 類 a 型] [むちーらいー、むちーらいん] 用いられる。

むちーらいん [mutçi:rain] [連語] 用いられない。用をなさない。役に立たない。

むちやー [mutça:a] [名] [むちやーまい...] 餅粟。

むちやーす [mutça:asʝ] [動 I 類 c 型] [むちやーしー、むちやーしやん] 持ち合やす。持ち寄る。集める。

ムちやがり [mtçagaɽi] [動 I 類 c 型] [ムちやがりー、ムちやがらん] 満ち上がる。潮が満ち始めること。満潮へ向う。

ムつ [mutsʝ] [動 I 類 c 型] [ムていー、ムたん] 潮が満つ。満潮になる。

ムつ [mutsʝ] [動 I 類 c 型] [ムていー、ムたん] 満つ。満ちる。いっぱいになる。入れ物がいっぱいになる。

むつ [mutsʝ] [名] [魚] [むつまい...] ふえだいの仲間。

むつ [mutsʝ] [動 I 類 c 型] [むていー、むたん] 持つ。手に持つ。【例】むてい（持ちなさい）。むたいり（持つことができる）。

むつ [mutsʝ] [動 I 類 c 型] [むていー、むたん] 運転する。操縦する。【例】くるまう むつ（車を運転する）。

むつ [mutsʝ] [動 I 類 c 型] [むていー、むたん] 育てる。子を育てる。

むつあー [mutsʝa:] [名] [むつあーまい...] 餅粟。餅用の粟。

むつあんな [mutsʝanna] [名] [むつあんなまい...] 育ての母。

むつー [mutsɯ:] [名] [むつーまい...] 漆喰。  
 むつー [mutsɯ:] [名] [むつーまい...] 餅。【例】あ  
 ーむつー (粟餅)。むぎむつー (麦餅)。うぶげ  
 ームむつー (高きびの餅)。  
 むつー [mutsɯ:] [擬] [むつーまい...] 粘り気の強  
 いもの。  
 むつーぐー [mutsɯ:gu:] [名] [むつーぐ<sup>1</sup>ーまい...]  
 餅用の粉。  
 むつーじゅー [mutsɯ:dzu:] [名] [むつーじゅ<sup>1</sup>ー  
 まい...] 餅を入れた重箱。  
 むつーぬり [mutsɯ:nu] [名] [むつーぬりまい...]  
 漆喰塗り。  
 むつーべ [mutsɯ:be] [名] [魚] [むつー<sup>1</sup>べまい...]  
 はぜの仲間。やえやまぎんぼ。泳ぎ回らない。  
 岩にじっとしている。  
 むつーむつ [mutsɯ:mutsɯ] [擬] [むつーむつまい  
 ー...] ねばねばの状態。  
 むつうや [mutsɯ:ja] [名] [むつう<sup>1</sup>やまい...] 育  
 ての父。  
 むつがしー [mutsɯ:gaci:] [名] [むつがし<sup>1</sup>ーまい...]  
 持つ加勢。手伝い。  
 むつかすしゃーり [mutsɯ:kasɯ:ɕa:] [形] [むつかす  
<sup>1</sup>しゃまい...] 難しい。  
 むつかすすぐとう [mutsɯ:kasɯ:sgutu] [名] [むつ  
 かすすぐ<sup>1</sup>とうまい...] 難しい仕事。  
 むつかにり [mutsɯ:kani] [動 II 類 c 型] [むつか  
 にー、むつかにん] 持ち兼ねる。育てかねる。  
 むつくす [mutsɯ:kusɯ] [動 I 類 c 型] [むつくしー、  
 むつくしゃん] 持ち越す。次の年へ持ち越す。  
 むつぐみ [mutsɯ:gumi] [名] [むつぐみまい...] 餅  
 米。餅用の米。  
 むつくム [mutsɯ:kum] [動 I 類 c 型] [むつくみー、  
 むつくまん] 持ち込む。  
 むっげーらす [mugge:rasɯ] [動 I 類 a 型] [むっ  
 げーらしー、むっげーらしゃん] 濁す。  
 むっげーり [mugge:] [動 I 類 a 型] [むっげーり  
 ー、むっげーらん] 濁る。海の水の透明度が悪  
 くなる。  
 むつこーめー [mutsɯ:ko:me:] [名] [むつこーめ<sup>1</sup>  
 ーまい...] やり合い。取っ組み合い。レスリン  
 グのような遊び。子供の遊び。

むっさぎり° [mussagi] [動 II 類 c 型] [むっさぎ  
 ー、むっさぎん] むしり上げる。むしり取る。  
 むっじゅり° [muddzu] [動 I 類 c 型] [むっじゅ  
 りー、むっじゅらん] 引きちぎる。もぎ取る。  
 むっすう [mussu] [名] [むっすうまい...。むっす  
 うゆーり<sup>1</sup>らまい...] むしろ。ござ。筵。  
 むっすー [mussɯ:] [動 I 類 a 型] [むっすいー、む  
 っさん] ちぎる。果物の実をもぎ取る。引っぱ  
 ーって切る。  
 むっすうり° [mussuu] [名] [むっすう<sup>1</sup>り°まい  
 ー...] むしろ織り。むしろを作ること。  
 むっすうやどう [mussujadu] [名] [むっすうや<sup>1</sup>  
 どうまい...] むしろを戸の代りにすること。  
 むっすうやま [mussujama] [名] [むっすうや<sup>1</sup>ま  
 まい...] むしろ作りの機。むしろの織り機。  
 むっちゃ [muttɕa] [擬] [むっちゃていー...] ね  
 ばりけ。もちもち。  
 むっちゃみかす [muttɕamikasɯ] [動 I 類 c 型] [む  
 っちゃみかしー、むっちゃみかしゃん] ねばね  
 ばにする。  
 むっちゃみぎ [muttɕamikɯ] [動 I 類 c 型] [むっ  
 ちゃみぎー、むっちゃみかん] ねばねばする。  
 むっちゃむっちゃ [muttɕamuttɕa] [擬] [むっち  
 やむっちゃていー...] ねばねば。  
 むっちゃらす [muttɕarasɯ] [動 I 類 a 型] [むっち  
 ちゃらしー、むっちゃらしゃん] くつつける。漆  
 喰をくつつける。  
 むっちゃり° [muttɕa] [動 I 類 a 型] [むっちゃり  
 ー、むっちゃらん] くつつく。ねばりつく。衣  
 服に汚れがくつつく。【類】「くいり°」。  
 むつでいまー [mutsɯ:dima:] [名] [むつでいま<sup>1</sup>  
 ーまい...] 持ってくれたお礼の金。手伝いの謝礼  
 金。  
 むつでいり° [mutsɯ:di] [動 II 類 c 型] [むつでい  
 ー、むつでいん] 持ち育てる。子育てをする。  
 苦労して育てる。  
 むっとう [muttu] [副] 全く。すっかり。全然。と  
 ても。【例】むっとう っさいん (とても分らな  
 い)。  
 むっとうむ [muttumu] [副] もっとも。もっとも  
 なこと。当然。もちろんのこと。

むつなうす [mutsɲausɯ] [動I類c型] [むつなうしー、むつなうしゃん] 持ち直す。上手に育てる。立派に育てる。【同】「むつのーす」。

むつなうり [mutsɲau] [動I類c型] [むつなうりー、むつなうらん] 持ち直す。育て上げる。よく育つ。立派に育つ。【同】「むつのーり」。

むつびんぎり [mutsɲpingi] [動II類c型] [むつびんぎー、むつびんぎん] 持ち逃げる。

むつまーり [mutsɲma:] [動I類c型] [むつまーりー、むつまーらん] 持ち回る。

むつまい [mutsɲmai] [名] [むつま<sup>1</sup>いまい...] 持ち前。生れつき。生れつきの性格。

むつむどうり [mutsɲmudu] [動I類c型] [むつむどうりー、むつむどうらん] 持ち戻る。

むつむぬ [mutsɲmunu] [名] [むつむ<sup>1</sup>ぬまい...] 持ち物。

むつゆり [mutsɲju] [動I類c型] [むつゆりー、むつゆらん] 持ち寄る。

むつりり [mutsɲri] [動II類c型] [むつりー、むつりん] もつれる。からみ合う。

むてい [muti] [名] [む<sup>1</sup>ていまい...] 分。もらい分。取り分。持ち分。【例】うれー あが むていぬ むぬ (それは私の分のものだ)。

むでい [mudi] [名] [むでいま<sup>1</sup>い...] ねじれ。ひねり。

むていー いぎ [muti: iɣi] [連語] 持って行く。

むていー ヴえーがらす [muti: ve:garasɯ] [連語] 養育して成長させる。

むでいかいり [mudikai] [動I類c型] [むでいかいりー、むでいかいらん] ねじれる。ねじれ返る。

むていなす [mutinasɯ] [動I類c型] [むていなしー、むていなしゃん] もてなす。接待する。歓待する。

むでいばぎ [mudipagi] [名] [むでいば<sup>1</sup>ぎまい...] 足先が内側に向いて歩くこと。O脚。その人。

ムていぱり [mtipa] [動I類a型] [ムていぱりー、ムていぱらん] 口いっぱい食べ物がある。

むていまー [mutima:] [名] [むていまーまい...] 無手間。手間賃なしの仕事。

むでいまーす [mudima:sɯ] [動I類c型] [むでい

まーしー、むでいまーしゃん] ひねり回す。ひねり曲げる。

ムていり [mti] [動II類c型] [ムていー、ムていん] 満たす。入れ物をいっぱいにする。【例】みずう ムていり (水を満たす)。

むでいり [mudi] [動II類c型] [むでいー、むでいん] ねじる。捻る。【例】むでいー ぶり (ねじれている)。

むとう [mutu] [名] [む<sup>1</sup>とうまい...] 元。原因。

むとう [mutu] [名] [む<sup>1</sup>とうまい...] 元。本。根。はじめ。【例】やーむとう (家元。本家)。むとうー とうり (元を取る。元を取り戻す)。

ムどうい [mdui] [名] [ムどう<sup>1</sup>いまい...] 巳。み。巳年。巳年生れ。十二支の六番目。【同】「ムじゆい」。

むとうから [mutukara] [連語] 元から。もともと。はじめから。元来。

むとうがり [mutugari] [名] [むとうが<sup>1</sup>りまい...] 根本が枯れる。草木の根元が枯れる。

むとうぐい [mutugui] [名] [むとうぐ<sup>1</sup>いまい...] 元肥。作物を植える前にしっかり肥料を施しておくこと。

むとうじん [mutudzjin] [名] [むとうじんまい...] 元金。元銭。元手。

むどうす [mudusɯ] [動I類c型] [むどうしー、むどうしゃん] 戻す。取り戻す。元へ返す。

むとうずー [mutudzɯ:] [名] [むとうずーまい...] 元の土地。先祖から受け継いだ土地。

むとうずま [mutudzɯma] [名] [むとうずまい...] 元島。

むとうでい [mutudi] [名] [むとうでいまい...] 元手。

むとうでいー [mutudi:] [名] [むとうでいーまい...] 芸の経験者。芸の指導者。

むとうどうーり [mutudu:] [副] 元通り。もとのまま。はじめのように。

むとうみつ [mutumitsɯ] [名] [むとうみつまい...] 元の道。

むとうみり [mutumi] [動II類c型] [むとうみー、むとうみん] 求める。請求する。

むとうむとう [mutumutu] [副] もともと。元々。

元来。はじめから。  
 むとうやー [mutuja:] [名] [むとうやーまい...]  
 元の家。本家。  
 むとうやすギ [mutujasjk] [名] [むとうやすギまい...] 元屋敷。  
 むどうリ [mudu] [動I類c型] [むどうりー、む  
 どうらん] ぼける。幼い頃にもどる。もうろく。  
 むどうリ [mudu] [動I類c型] [むどうりー、む  
 どうらん] 戻る。元の所へ行く。引き返す。  
 むとうんじゃく [mutundzaku] [形] [むとうんじ  
 ゃ<sup>1</sup>くまい...] 無頓着。  
 ムな [mna] [接頭] 空っぽ。空虚。無駄。【例】ム  
 なむぬ (入れ物が空っぽ)。ムなばく (空箱)。  
 ムなばたらギ (無駄働き)。  
 ムな [mna] [名] [貝] [ムなま<sup>1</sup>い...] さざえ。【類】  
 「びしムな」。  
 ムな [mna] [名] [植] [ムなま<sup>1</sup>い...] なら。食菜。  
 【類】「ムなじゅー」。  
 ムな一き [mna:ki] [名] [ムな一きまい...] 半分。  
 半ば。未熟。【同】「ムね一き」。  
 ムな一きばき [mna:kibaki] [名] [ムな一きばき  
 まい...] 半分分け。半分に分けること。【同】「ム  
 ね一きばき」。  
 ムないばリ [mnaiba] [名] [ムないばリまい...]  
 空いばり。空騒ぎ。  
 ムなう [mnau] [動I類c型] [ムねー、ムなーん]  
 似合う。  
 ムなか [mnaka] [名] [ムなかまい...] まん中。  
 ムなかずー [mnakadz:] [名] [ムなかずーまい...]  
 中間の土地。【類】「ムなかずー」。  
 ムなかばら [mnakabara] [名] [ムなかばらまい...]  
 中心の柱。一家を支える中心の人物。【類】「む  
 やーばら」。  
 ムなぐ [mnagu] [名] [ムなぐまい...] 砂。真砂。  
 【同】「ムなぐー」。  
 ムなぐあすビ [mnaguasbj] [名] [ムなぐあす<sup>1</sup>ビ  
 まい...] 砂遊び。  
 ムなぐー [mnagu:] [名] [ムなぐ<sup>1</sup>ーまい...] さざ  
 えの殻。  
 ムなぐー [mnagu:] [名] [ムなぐーまい...] 貝殻。  
 空き殻。

ムなぐずー [mnagudz:] [名] [ムなぐずーまい...]  
 砂地。砂の多い畑。  
 ムなぐばな [mnagubana] [名] [ムなぐば<sup>1</sup>な  
 まい...] 外で線香を立てるための砂。  
 ムなぐばま [mnagupama] [名] [ムなぐばま  
 まい...] 砂浜。  
 ムなぐみつ [mnagumits:] [名] [ムなぐみつ  
 まい...] 砂の道。砂だらけの道。  
 ムなぐるま [mnaguruma] [名] [ムなぐるま  
 まい...] 空車。空の馬車。  
 ムなじえー [mnadze:] [名] [ムなじえーまい...]  
 実の入っていない豆のさや。  
 ムなじゅー [mnadzu:] [名] [植] [ムなじゅ<sup>1</sup>ー  
 まい...] なら。【類】「ムな」。  
 ムなす [mnas:] [動I類a型] [ムなしー、ムなし  
 ちゃん] 濡らす。  
 ムなすなり [mnas:na] [動I類c型] [ムなすな  
 りー、ムなすならん] 手ぶらである。  
 ムなつまー [mnatsjma:] [名] [ムなつまーまい...]  
 意地悪な人。生意気な人。  
 ムなでいー [mnadi:] [名] [ムなでいーまい...] 手  
 ぶら。  
 ムなでいリ [mnadi] [名] [ムなでいリまい...] 何  
 も入っていないざる。  
 ムなとう [mnatu] [名] [ムなとうまい...] 港。船  
 着き場。  
 ムなな一 [mnana:] [名] [ムなな一まい...] 魚の  
 かからない縄。  
 ムななんギ [mnanang:] [名] [ムななんギまい...]  
 無駄難儀。無駄働き。骨折り損。  
 ムなぬ ふた [mnanu futa] [名] [ムなぬふ<sup>1</sup>た  
 まい...] さざえのふた。  
 ムなばく [mnabaku] [名] [ムなばくまい...] 何  
 も入っていない箱。  
 ムなばた [mnabata] [名] [ムなばたまい...] 空  
 腹。  
 ムなばたらギ [mnabatarak:] [名] [ムなばたら  
 ギまい...] 無駄働き。  
 ムなばっじゃき [mnapaddzaki] [名] [ムなばっ  
 じゃきまい...] 期待はずれ。収穫のないこと。  
 徒労。

ムなばっじゃきり [mnapaddzaki] [動 II 類 a 型] [ムなばっじゃき一、ムなばっじゃきん] 期待が外れる。収穫がない。

ムなピカリ [mnabjka] [名] [ムなピカ<sup>1</sup>りまい...] いなびかり。稲妻。

ムなふしゆ [mnafucu] [名] [ムなふしゆていーまい...] うそ。うそつき。

ムなふず [mnafudz] [名] [ムなふずまい...] 空くじ。

ムなみ [mnami] [名] [貝] [ムな<sup>1</sup>みまい...] かたつむり。おきなわうすかわまいまい。

ムなむギ [mnamug] [名] [植] [ムなむ<sup>1</sup>ぎまい...] 小麦。

ムなムすー [mnams:] [名] [ムなムすーまい...。ムなムす<sup>1</sup>ーまい...] 具のないおつゆ。一汁一菜。貧しい家の食事。

ムなむどうり [mnamudu] [名] [ムなむどうりまい...] 空戻り。むなしい戻り。手ぶらで戻る。

ムなむぬふー [mnamunufu:] [名] [ムなむぬふーまい...] 無駄食い。働かないで食べること。

ムなやすギ [mnajasjk] [名] [ムなやすぎまい...] 空屋敷。

ムに [mni] [名] [ムにまい...。ムにゆーり<sup>1</sup>らまい...] 胸。【類】「ムにふつ」。

ムに [mni] [名] [ムにま<sup>1</sup>い...] 夢。

ムに [mni] [名] [ムにまい...] 棟。

ムに [mni] [名] [ムにまい...] 群れ。【例】ムにどうり (群れ遊ぶ鳥)。

ムに [mni] [名] [ムにんまい...] 嶺。丘。【類】「つづ」。

ムにあぎ [mniagi] [名] [ムにあぎまい...] 棟上げ。

ムにう みーり [mniu mi:] [連語] 夢を見る。

ムにかみ [mnikami] [名] [ムにか<sup>1</sup>みまい...] 棟を支える柱。大黒柱。

ムにギん [mnign] [名] [ムにギんまい...] 濡れ着物。

ムにじゃんみん [mnidzanmin] [名] [ムにじゃんみ<sup>1</sup>んまい...] 胸計算。胸算用。

ムにでいー [mnidi:] [名] [ムにでいーまい...] 濡れ手。

ムにとうとうみギ [mnitutumik] [動 I 類 c 型] [ムにとうとうみき一、ムにとうとうみかん] 胸騒ぐ。動悸する。

ムにどうり [mnidu] [名] [ムにどう<sup>1</sup>りまい...] 群れで飛ぶ鳥。渡り鳥のことを言う。

ムにばるやま [mnibarujama] [名] [ムにば<sup>1</sup>るやままい...] 嶺原山。

ムにぶす [mnibus] [名] [ムにぶ<sup>1</sup>すまい...] 群れ星。すばる座。【類】「むりかぶす」。「むりぶす」。

ムにふつ [mnifuts] [名] [ムにふつまい...] 胸。胸の内。

ムにやき [mnijaki] [名] [ムにやきまい...] 胸やけ。

ムにり [mni] [動 II 類 a 型] [ムに一、ムにん] 濡れる。

ムぬ [mnu] [名] [ムぬまい...] 蓑(みの)。昔、雨具として使用した。くばの葉で作る。

むぬ [munu] [名] [むぬまい...] もの。物。食べ物。化物。書物。【例】あんしーぬ むぬ (そんなもの)。からむぬ (辛いもの)。むぬー ゆム (おしゃべりする)。

むぬ [munu] [名] [むぬま<sup>1</sup>い...] 者。【例】うやきむぬ (金持)。やからむぬ (いじわるな者)。

むぬ [munu] [名] 食事。【例】むぬー にーり (物を煮る。食事を作る)。むぬー ふー (物を食べる。食事をする)。

むぬ やりば [munu ja] [連語] ものだから。【例】あんしーぬ むぬやりば (そういうものだから)。

むぬあかす [munuakas] [名] [むぬあか<sup>1</sup>すまい...] ものあかし。ゆた。易者。

むぬあつかう [munuatsjkau] [名] [むぬあつか<sup>1</sup>うまい...] もの扱い。【同】「むぬあつこー」。

むぬあつこー [munuatsjko:] [名] [むぬあつこ<sup>1</sup>ーまい...] もの扱い。【同】「むぬあつかう」。

むぬあなみ [munuanami] [名] [むぬあな<sup>1</sup>みまい...] 物乞いすること。ものをねだる事。

むぬあるー [munuaru:] [名] [むぬある<sup>1</sup>ーまい...] もの洗い。

ムぬイ [mnu] [名] [干支] [ムぬ<sup>1</sup>イまい...] 巳

の日。

むぬイー [munuꞥ:] [名] [むぬイーまい...] もの  
言い。言葉。言語。

むぬイーかぎしゃーり [munuꞥ:kagiꞥ:] [形] [む  
ぬイーかぎ<sup>1</sup>しゃまい...] 言葉のきれいなこと。

むぬイーギギ [munuꞥ:kɣkɣ] [名] [むぬイーギギ  
まい...] 言うことを聞く。言いつけを守る。

むぬイーくい [munuꞥ:kui] [名] [むぬイーく<sup>1</sup>い  
まい...] 話し声。語声。

むぬイーぐりしゃーり [munuꞥ:guriꞥ:] [形] [む  
ぬイーぐり<sup>1</sup>しゃまい...] 話しにくい。

むぬイーじゃうず [munuꞥ:dzauꞥzɰ] [形] [むぬイー  
じゃう<sup>1</sup>ずまい...] 話し上手。能弁。【類】「む  
ぬイーじょーず」。

むぬイーじょーず [munuꞥ:dzoꞥdzɰ] [形] [むぬイー  
じょー<sup>1</sup>ずまい...] 話し上手。能弁。【類】「む  
ぬイーじゃうず」。

むぬイーにふしゃーり [munuꞥ:nifuꞥ:] [形] [む  
ぬイーにふ<sup>1</sup>しゃまい...] 言葉が遅い。

むぬイーぱずみ [munuꞥ:padzɰmi] [名] [むぬイー  
ぱず<sup>1</sup>みまい...] 言葉の言いはじめ。

むぬイーびた [munuꞥ:pita] [形] [むぬイーび<sup>1</sup>た  
まい...] 話しへた。【類】「ふつびた」。

むぬイーペーしゃーり [munuꞥ:peꞥ:] [形] [む  
ぬイーペー<sup>1</sup>しゃまい...] 言葉の覚えが早い。

ムぬイピー [mnuꞥpi:] [名] [干支] [ムぬ<sup>1</sup>イピー  
まい...] 巳の日。

ムぬイムまり [mnuꞥmmari] [名] [干支] [ムぬイ  
ムま<sup>1</sup>りまい...] 巳の日生まれ。巳の日に生ま  
れた人。

むぬいり [munuiri] [名] [むぬいりまい... むぬ  
い<sup>1</sup>りまい...] 物入れ。

むぬー [munu:] [接尾] ~するものを。~なのに。  
【例】あみぬ つふいー ぶ<sup>1</sup>りむぬー (雨が降っ  
ているというのに)。

むぬうヴヴい [munuuvvi] [名] [むぬうヴ<sup>1</sup>ヴい  
まい...] 物おびえ。ものおじ。

むぬヴヴえ [munuvve] [名] [むぬヴ<sup>1</sup>ヴえまい...]  
物売り。商売人。

むぬうじ [munuudzi] [名] [むぬう<sup>1</sup>じまい...] も  
のおじ。物怖じ。

むぬうとう [munuutu] [名] [むぬう<sup>1</sup>とうまい...]  
物音。

むぬうぶい [munuubui] [名] [むぬうぶ<sup>1</sup>いまい...]  
物覚え。

むぬうぶいじゅーしゃーり [munuubuidzuꞥ:]  
[形] [むぬうぶいじゅー<sup>1</sup>しゃまい...] 物覚えが  
強い。記憶力がある。

むぬうむー [munuumu:] [名] [むぬうむ<sup>1</sup>ーま  
い...] 物思い。悩む。苦慮する。

ムぬかしや [mnukaꞥ] [名] [ムぬか<sup>1</sup>しゃまい...]  
みのかさ。蓑笠。昔の雨具。くばの葉で作る。

むぬがた<sup>1</sup>り [munugata] [名] [むぬがた<sup>1</sup>りまい...]  
物語。

むぬかふす [munukafusɰ] [名] [むぬかふ<sup>1</sup>すま  
い...] 物を隠す。秘密。

むぬかんがい [munukangai] [名] [むぬかんが<sup>1</sup>  
いまい...] 物考え。

むぬくー [munuku:] [名] [むぬく<sup>1</sup>ーまい...] 物  
乞い。乞食。

むぬぐとう [munugutu] [名] [むぬぐ<sup>1</sup>とうまい...]  
物事。

むぬぐぬム [munugunum] [名] [むぬぐぬ<sup>1</sup>ムま  
い...] 物好み。もくろむ。工夫。計画。

むぬさし [munusaꞥi] [名] [むぬさ<sup>1</sup>しまい...] 物  
差し。

むぬしゃうだん [munuꞥaudan] [名] [むぬしゃう  
だ<sup>1</sup>んまい...] 物相談。相談事。【同】「むぬしょ  
ーだん」。

むぬしゃばギ [munuꞥabakɣ] [名] [むぬしゃば<sup>1</sup>  
ギまい...] 物尋ね。質問すること。尋問。

むぬしゃんみん [munuꞥanmin] [名] [むぬしゃ  
んみ<sup>1</sup>んまい...] 物考えをすること。考えをめ  
ぐらすこと。いろいろと思索すること。

むぬしゆが<sup>1</sup>り [munuꞥuga] [名] [むぬしゆが<sup>1</sup>り  
まい...] 供え物の準備。

むぬしょーだん [munuꞥoꞥdan] [名] [むぬしょ  
ーだ<sup>1</sup>んまい...] 物相談。相談事。【同】「むぬしゃ  
うだん」。

むぬすー [munusɰ:] [名] [むぬすーまい...] 物知  
り。ゆた。

むぬすかま [munusɰkama] [名] [むぬすか<sup>1</sup>ま

い...) 仕事。仕業。わざ。【類】「わじゃ」。

むぬすき [munusʝki] [名] [むぬす<sup>1</sup>きまい...] 物  
 供え。物を供えること。神仏に供えること。仏  
 壇に供えること。

むぬすこーリ<sup>9</sup> [munusʝko:l] [名] [むぬすこー<sup>1</sup>リ  
 まい...] 供え物の準備。

むぬずつム [munudzʝtsm] [名] [むぬずつ<sup>1</sup>ムま  
 い...] 物包み。

むぬたくム [munutakum] [名] [むぬたく<sup>1</sup>ムま  
 い...] 物をたくらむ。計略。策略。

むぬだに [munudani] [名] [むぬだにまい...] 物  
 種。穀物の種子。

むぬだねー いらばん ピとうだにう いらび  
 [munudane: iraban pʲtʉdaniu irabi] [諺] 作物は  
 全部収穫するが、人は血統を選ぶ。

むぬだみす [munudamisʝ] [名] [むぬだみ<sup>1</sup>すま  
 い...] 物試し。試み。

むぬっさす [munussasʝ] [名] [むぬっさ<sup>1</sup>すまい...]  
 物知らせ。前兆。自然現象に見られる。

むぬつつふイ<sup>9</sup> [munutsʝff] [名] [むぬつつ<sup>1</sup>ふイ  
 まい...] 物作り。畑で作物を育てること。

むぬとうみむぬ [munutumimunu] [名] [むぬと  
 うみむ<sup>1</sup>ぬまい...] 物探しの癖のある人。見る  
 目のするどい人。

むぬなずき [mununadzʝki] [名] [むぬなず<sup>1</sup>きま  
 い...] かこつけ。

むぬならーす [mununara:sʝ] [名] [むぬならー<sup>1</sup>  
 すまい...] 物教え。教授すること。指導するこ  
 と。物数え。物を教えること。

むぬなるー [mununaru:] [名] [むぬなる<sup>1</sup>ーま  
 い...] 物習い。物を習うこと。学習すること。勉  
 強すること。修業すること。

むぬにー [mununi:] [名] [むぬに<sup>1</sup>ーまい...] 物  
 煮。物を煮ること。炊事すること。

むぬにーどうくな [mununi:dukuna] [名] [むぬ  
 にーどうく<sup>1</sup>なまい...] 物煮所。台所。【同】「む  
 ぬにーどうくま」。

むぬにーどうくま [mununi:dukuma] [名] [むぬ  
 にーどうく<sup>1</sup>ままい...] 物煮所。台所。【同】「む  
 ぬにーどうくな」。

むぬぬ くとー うまーいん [mununu kuto:

uma:in] [連語] 何も考えられない。【例】ぱ  
 ギやみー むぬぬ くとー うまーいん (足が痛  
 くて何も考えられない)。

むぬぬ ばつ [mununu batsʝ] [名] [むぬぬば<sup>1</sup>つ  
 まい...] 何の罰が当たったのか。鬼神の罰。

むぬばギ [munupakʝ] [名] [むぬば<sup>1</sup>ギまい...] 物  
 吐き。物を吐くこと。嘔吐。

むぬばっすい [munubassi] [名] [むぬばっ<sup>1</sup>すい  
 まい...] 物忘れ。

むぬばっばい [munubappai] [名] [むぬばっば<sup>1</sup>  
 いまい...] 物を取りちがえること。

むぬばなす [munubanasʝ] [名] [むぬばな<sup>1</sup>すま  
 い...] 講話。物語。おとぎ話。

むぬふー [munufu:] [名] [むぬふ<sup>1</sup>ーまい...] 物  
 食い。食事。

むぬふーぐんギ [munufu:gunkʝ] [名] [むぬふー  
 ぐん<sup>1</sup>ギまい...] 物食べ根気。食欲。

むぬふーじゃら [munufu:dʝzara] [名] [むぬふー  
 じゃ<sup>1</sup>らまい...] 物食う皿。生活するための手  
 段。

むぬふーずぶん [munufu:dʝzbun] [名] [むぬふー  
 ずぶ<sup>1</sup>んまい...] 食事時分。

むぬふーずぶん [munufu:dʝzbun] [名] [むぬふー  
 ずぶ<sup>1</sup>んまい...] 食欲旺盛な年ごろ。

むぬふーだう [munufu:dau] [名] [むぬふーだ<sup>1</sup>う  
 まい...] 食器。または、農具など食べていくた  
 めの道具。

むぬふーぶすしゃーリ<sup>9</sup> [munufu:busʝca:l] [形] [む  
 ぬふーぶす<sup>1</sup>しゃまい...] 物が食いたい。食欲。

むぬふーゆくー [munufu:juku:] [名] [むぬふー  
 ゆく<sup>1</sup>ーまい...] 食事休憩。

むぬふがましやーリ<sup>9</sup> [munufugamaʝa:l] [形] [む  
 ぬふがま<sup>1</sup>しゃまい...] 食べ物にうるさいこと。

むぬぶす [munupusʝ] [名] [むぬぶ<sup>1</sup>すまい...] 物  
 干し。洗濯物。穀物や野菜などを日に干すこ  
 と。

むぬぶすぎしゃーリ<sup>9</sup> [munupusʝgiʝa:l] [形] [む  
 ぬぶすぎ<sup>1</sup>しゃまい...] 物欲しそうである。【例】  
 むぬぶすぎ なりー (物欲しそうになって)。

むぬぶすしゃーリ<sup>9</sup> [munupusʝca:l] [形] [むぬぶ  
 す<sup>1</sup>しゃまい...] 物欲しそうな目つき。

むぬふっずー [munufuddzɨ:] [名] [むぬふっず<sup>1</sup>ーまい...] 物をかき乱しながら探し物をするこ  
と。

むぬまいび [munumaibi] [名] [むぬまいびまい...  
むぬまい<sup>1</sup>びまい...] ものまね。

むぬみー [munumi:] [名] [むぬみ<sup>1</sup>ーまい...] 物  
見。見物。

むぬみーピとう [munumi:pɪtu] [名] [むぬみーピ  
<sup>1</sup>とうまい...] 物見る人。超能力の人。

むぬみーピとう [munumi:pɪtu] [名] [むぬみーピ  
<sup>1</sup>とうまい...] 物見高い人。物見たがる人。野次  
馬。

むぬみずらすしゃーり [munumidzɾasɾa:] [形]  
[むぬみずらす<sup>1</sup>しゃまい...] 物珍しい。

むぬムたビ [munumtabɨ] [名] [むぬムた<sup>1</sup>ビま  
い...] ままごと。

むぬやヴヴイ [munujavvɨ] [名] [むぬやヴ<sup>1</sup>ヴイ  
まい...] 物破れ。失敗。仕損じ。

むぬゆム [munujum] [名] [むぬゆ<sup>1</sup>ムまい...] お  
しゃべり。雑談。

むぬゆムあぐ [munujum.agu] [名] [むぬゆムあ  
<sup>1</sup>ぐまい...] 話し仲間。

むぬゆムあばしゃ [munujum.abaxa] [名] [むぬ  
ゆムあば<sup>1</sup>しゃまい...] おしゃべりのひどい人。

むぬゆムぶり [munujumburi] [名] [むぬゆムぶ  
<sup>1</sup>りまい...] 話しの夢中。話しの尽きないこと。  
【類】「ばなすぶり」。

むぬゆムむぬ [munujummunu] [名] [むぬゆムむ  
<sup>1</sup>ぬまい...] おしゃべり者。会話の好きな人。

むぬゆめ [munujume] [名] [むぬゆ<sup>1</sup>めまい...] お  
しゃべりの絶えない人。口数の多い人。饒舌  
家。

むぬわらい [munuvarai] [名] [むぬわらいまい...]  
物笑い。

ムねーき [mne:ki] [名] [ムねーきまい...] 半分。  
【同】「ムなーき」。

ムねーきばき [mne:kibaki] [名] [ムねーきばき  
まい...] 半分分け。半分に分けること。【同】「ム  
なーきばき」。

むのー うまーいん [muno: uma:in] [連語] 心配  
で考えられない。心配で落ちつかない。

むのー っさん [muno: ssan] [連語] ものを知ら  
ない。わきまのない。教えを知らない。

むのー っさんむぬ [muno: ssanmunu] [連語] も  
のを知らない者。わきまのない者。

ムばいり [mbai] [動II類c型] [ムばいー、ム  
ばいん] おできが化膿する。細菌によって皮膚  
におできができる。

ムばいり [mbai] [動II類c型] [ムばいー、ム  
ばいん] 耐える。辛抱する。【例】ムばいらい  
ん (耐えられない・辛抱できない)。あっちゃん  
ムばいらいん (暑さに耐えられない)。

ムばす [mbasɨ] [動I類c型] [ムばしー、ムばし  
ゃん] 延ばす。【例】んなーう ムばす (縄を延  
ばす)。

ムばす [mbasɨ] [動I類c型] [ムばしー、ムば  
しゃん] 伸ばす。曲がっているものを伸ばす。  
【例】くすう ムばす (腰を伸ばす)。

ムビ [mbɨ] [動I類c型] [ムびー、ムばん] 伸び  
る。延びる。身長が伸びる。草が伸びる。延長  
する。

ムビー [mbɨ:] [名] [んビーま<sup>1</sup>い...] しびれるこ  
と。【例】ピさムビー (足のしびれ)。

ムビばた [mbɨbata] [名] [ムビば<sup>1</sup>たまい...] 伸  
びる時期。成長する時期。身長伸びることに  
言う。【類】「ムビばんず」。

ムビばんず [mbɨbandzɨ] [名] [ムビばん<sup>1</sup>ずまい...]  
伸び盛り。成長する時期。【類】「ムビばた」。

むふく [mufuku] [名] [むふくまい...] 喪服。

ムぶしゃー [mbuɾa:] [名] [ムぶしゃ<sup>1</sup>ーまい...]  
蒸し器。

ムぶす [mbusɨ] [動I類c型] [ムぶしー、ムぶし  
ゃん] 蒸す。蒸気で蒸す。いぶす。煙でいぶす。

ムぶすむぬ [mbusɨmunu] [名] [ムぶすむ<sup>1</sup>ぬま  
い...] 蒸したもの。汁を少なめに料理したもの。

ムぶりり [mburi] [動II類c型] [ムぶりー、ム  
ぶりん] 蒸れる。夏の暑い所での仕事に耐えら  
れないときにも言う。

ムベウ [mbeu] [動I類c型] [ムベー、ムばーん]  
耐える。がまんする。耐える。【例】ムベーいん  
(耐えられない)。あっちゃん ムベーいん (暑  
くてたまらない)。

ムペー [mbe:] [名] [ムベ<sup>1</sup>ーまい...] 山羊。山羊の啼き声。幼児語。

ムペーじゅーしゃーり [mbe:dzu:ça:] [形] [ムペーじゅー<sup>1</sup>しゃまい...] 忍耐強い。忍耐強い人。がまん強い人。辛抱強い人。

ムぼー [mbo:] [名] [貝] [ムぼ<sup>1</sup>ーまい...] たからがい。幼児語。

ムぼー [mbo:] [名] [ムぼ<sup>1</sup>ーまい...] ひぎを曲げて両手を床につける動作。「ムぼー」は牛の鳴き声。幼児語。

ムぼー [mbo:] [擬] 牛の鳴き声。牛そのものも指す。幼児語。

ムま [mma] [名] [干支] [ム<sup>1</sup>ままい...] 午。午年。十二支の七番目。〈ムまどうい〉。〈ムまぬば〉。南。馬。

ムま [mma] [名] [ム<sup>1</sup>ままい...] 祖母。【類】「うまま」。

ムま [mma] [感] いやだ。拒否すること。嫌い。【例】あかムま しゅーまん (絶対にいやだ、やらない)。【同】「あかムま」。

ムまーり [mma:] [動I類c型] [ムまーりー、ムまーらん] 回す。次へ回す。ひとりじめしない。【例】ムまーりー ぬまだ (お互いに回して飲みなさい)。

ムmaidzあ [mmaɰza] [名] [ムmaid<sup>1</sup>ズあまい...] 母と父。父母のこと。両親。

ムmaうす [mmaus] [名] [ムmaう<sup>1</sup>すまい...] 母牛。

ムまが [mmaga] [名] [ムま<sup>1</sup>がまい...] 孫。子供の子。【例】ムまがー たらまどうー (孫の時代は多良間ほどの距離。孫は遠い存在とという意味)。

ムまがしゃ [mmagaça] [名] [病] [ムまが<sup>1</sup>しゃまい...] 皮ふにできるはれもの。

ムまかた [mmakata] [名] [ムまか<sup>1</sup>たまい...] 母方。母の親族。【例】ムまかたムまり (母方の血を継いでいる)。【類】「あんなかた」。

ムまがつーぎー [mmagatsɰgi:] [名] [植] [ムま<sup>1</sup>がつー「ぎーまい...」 あかてつ。

ムまぎ なり [mmagi na] [連語] いやな態度。気分がすぐれないこと。気乗りしないこと。

ムまぎ なり [mmagi na] [連語] おいしそうに食べること。

ムまぎかだ [mmagikada] [名] [ムまぎか<sup>1</sup>だまい...] おいしそうなおい。

ムまぎしゃーり [mmagiça:] [形] [ムまぎ<sup>1</sup>しゃまい...] おいしそうだ。

ムましゃ [mmaça] [名] [ムま<sup>1</sup>しゃまい...] おいしさ。

ムましゃーり [mmaça:] [形] [ムま<sup>1</sup>しゃまい...] おいしい。【例】ムましゃぬ (おいしくてたまらない)。ムましゃん ならん (おいしくてたまらない)。ムましゃ ねーん (おいしくない)。

ムます [mmas] [動I類a型] [ムましー、ムましゃん] 履かせる。履物を履かせる。

ムまだいしやう [mmadaičau] [名] [ム<sup>1</sup>まだいしやうまい...] 親大将。親玉。子どもを引きつれて遊ぶ人。【同】「ムまだいしょー」。

ムまだいしょー [mmadaičo:] [名] [ム<sup>1</sup>まだいしょーまい...] 親大将。親玉。子どもを引きつれて遊ぶ人。【同】「ムまだいしやう」。

ムまつふあ [mmaffa] [名] [ムまつ<sup>1</sup>ふあまい...] 母子。親子。【類】「うやつふあ」。

ムまつまー [mmatsɰma:] [名] [ムまつまーまい...] 気まぐれ者。情緒の不安定な者。

ムまていー すけ [mmati: sɰke] [連語] いやというほど。飽きるまで。

ムまどうい [mmadui] [名] [干支] [ムまどう<sup>1</sup>まい...] 午年生れの人。

ムまどうす [mmadus] [名] [干支] [ムまどう<sup>1</sup>すまい...] 午年。午の年。【類】「ムまぬてい」。「ムまんてい」。

ムमतとうビ [mmatubɰ] [名] [ムमतとう<sup>1</sup>ビまい...] 馬跳び遊び。

ムまどうり [mmadu] [名] [ム<sup>1</sup>まどうりまい...] 母鶏。

ムまぬ やー [mmanu ja:] [名] [ムま<sup>1</sup>ぬやー「まい...」 母の実家。【類】「うまやー」。「ムまやー」。

ムまぬイ [mmanuɰ] [名] [干支] [ムまぬイまい...] 午の日。

ムまぬイぬ ピー [mmanuɰnu pɰ:] [名] [干支] [ム

まぬイ<sup>1</sup>ぬピーまい... 午の日。  
 ムまぬイムまり [mmanuɣmmari] [名] [干支] [ムまぬイムま<sup>1</sup>りまい...] 午の日生まれ。午の日に生まれた人。  
 ムまぬ一ま [mmanu:ma] [名] [ム<sup>1</sup>まぬ一ままい...] 母馬。子連れ馬。  
 ムまぬすビ [mmanusɓi] [名] [ムまぬす<sup>1</sup>ビまい...] 馬結び。なかなか外れない結び方の一種。  
 ムまぬてい [mmanuti] [名] [干支] [ムまぬ<sup>1</sup>ていまい...] 午年。午の年。【同】「ムまんてい」。  
 ムまぬぱ [mmanupa] [名] [ムまぬ<sup>1</sup>ぱまい...] 午の方角。南。  
 ムまぬぱでいー [mmanupadi:] [名] [ムまぬ<sup>1</sup>ぱでいーまい...] 午の里。午の方角の集落。午支部。津川。大木。  
 ムまぬり [mmanuri] [名] [ムまぬ<sup>1</sup>りまい...] 馬乗り。馬乗り遊び。うつむく人の背に飛び乗って遊ぶ。  
 ムまばく [mmabaku] [名] [ムまば<sup>1</sup>くまい...] 馬博勞。馬喰。  
 ムまむぬ [mmamunu] [名] [ムまむぬまい...。ムまむ<sup>1</sup>ぬまい...] おいしいもの。ご馳走。  
 ムまやー [mmaja:] [名] [ム<sup>1</sup>まやーまい...] 母の実家。【類】「うムまやー」。「ムまぬやー」。  
 ムまらす [mmarasɿ] [動I類a型] [ムまらしー、ムまらしゃん] 生れさせる。生産する。新しく作り出す。品質のよいものを作る。  
 ムまり [mmari] [名] [ムまりまい...] 生れ。出生。  
 ムまりかーリ<sup>9</sup> [mmarika:] [動I類a型] [ムまりかーりー、ムまりかーらん] 生れ変る。親よりも優れる。  
 ムまりがい [mmarigai] [名] [ムまりが<sup>1</sup>いまい...] 生れ甲斐。生れたしるし。  
 ムまりかぎしゃーリ<sup>9</sup> [mmarikagiça:] [形] [ムまりかぎ<sup>1</sup>しゃまい...] 生まれつき賢い子のこと。  
 ムまりかたつ [mmarikatatsɿ] [名] [ムまりかた<sup>1</sup>つまい...] 生れた形。容貌。生れつきの顔。  
 ムまりずギ [mmaridzɿkɿ] [名] [ムまりず<sup>1</sup>ギまい...] 生れ月。臨月。産み月。

ムまりずま [mmaridzɿma] [名] [ムまりず<sup>1</sup>ままい...] 生れ島。故郷。郷土。郷里。ふるさと。  
 ムまりつギ [mmaritsɿkɿ] [名] [ムまりつ<sup>1</sup>ギまい...] 生れつき。天性。生れたときからの性格。  
 ムまりどうす [mmaridusɿ] [名] [ムまりどうすまい...。ムまりどう<sup>1</sup>すまい...] 生れ年。生れた年のえと。干支。  
 ムまりばな [mmaribana] [名] [ムまりばなまい...] 生まれた頃。生まれて間もない頃。  
 ムまりばなから [mmaribanakara] [連語] 生れた頃から。幼少期から。幼い頃から。  
 ムまりばん [mmariban] [名] [ムまりばんまい...] 生れ斑。幼児の頃の尻の青い斑。蒙古斑。あざ。  
 ムまりピー [mmaribɿ:] [名] [ムまりピーまい...] 生れた日。生れた日の干支。  
 ムまりやヴヴィ<sup>9</sup> [mmarijavvɿ] [動I類] [ムまりやヴヴィー、ムまりやヴヴィあん] [ムまりやヴヴィまい...] 生れ損ねる。品質の悪いものができる。砂糖の出来が悪い。【同】「ムまりやヴヴィり<sup>9</sup>」。  
 ムまりやヴヴィり<sup>9</sup> [mmarijavvi] [動II類a型] [ムまりやヴヴィー、ムまりやヴヴィん] 生れ損ねる。品質の悪いものができる。砂糖の出来が悪い。【同】「ムまりやヴヴィ<sup>9</sup>」。  
 ムまりリ<sup>9</sup> [mmari] [動II類a型] [ムまりー、ムまりん] できる。仕事の出来具合、上出来・不出来かを言う。【例】じょーとーしゃたぬ ムまりリ<sup>9</sup> (上等の砂糖ができた)。  
 ムまりリ<sup>9</sup> [mmari] [動II類a型] [ムまりー、ムまりん] 生れる。誕生する。子どもが生れる。よい考えが生れる。  
 むまりリ<sup>9</sup> [mumari] [動II類a型] [むまりー、むまりん] 世間の荒波に揉まれる。  
 ムまわー [mmava:] [名] [ム<sup>1</sup>まわーまい...] 母豚。子連れ豚。  
 ムまんてい [mmanti] [名] [干支] [ムまん<sup>1</sup>ていまい...] 午年。午の年。【同】「ムまぬてい」。  
 ムミ<sup>9</sup> [mmɿ] [動I類c型] [ムミみー、ムミまん] 熟する。実が熟すること。【例】ムみった (熟した)。  
 ムミ [mmi] [名] [植] [ムミま<sup>1</sup>い...] 梅。梅の

実。  
 むみぐとう [mumigutu] [名] [むみぐ<sup>1</sup>とうまい...]  
 もめごと。  
 ムみぶし [mmibuçi] [名] [ムみぶ<sup>1</sup>しまい...] 梅  
 干し。  
 むみり [mumi] [動II類a型] [むみー、むみん]  
 もめる。話がもつれる。  
 むみん [mumin] [名] [むみんまい...] 木綿。  
 むみんぎん [mumingin] [名] [むみんぎ<sup>1</sup>んまい...]  
 木綿の着物。  
 むみんばな [muminbana] [名] [植] [むみんばな  
 まい...] 木綿花。  
 むみんやま [mumin.jama] [名] [魚] [むみんや  
 ままい...] みのかさごの仲間。  
 むみんやま [mumin.jama] [名] [むみんやま  
 ままい...] 糸繰り機。機織りの糸を巻き取る用具。  
 むム [mum] [名] [むむまい...] ばんじろう。グ  
 アバ。【類】「ばんじるー」「ばんつきるー」。  
 むム [mum] [名] [植] [むむまい...] 桃。  
 むム [mum] [動I類a型] [むみー、むまん] 漬  
 け物をする。食材を漬ける。漬け物を揉む。  
 むム [mum] [動I類a型] [むみー、むまん] 揉  
 む。揉みほぐす。紙をぐちゃぐちゃにする。  
 むむ [mumu] [名] [むむまい...] 腿。大腿。【類】  
 「むむに」。  
 むむ [mumu] [名] [むむまい...] 百。たくさん。  
 【例】むむてい (百年。百歳)。  
 むムあるー [mum.aru:] [動I類a型] [むムあれ  
 ー、むムあらーん] 揉み洗う。  
 むむか [mumuka] [名] [むむ<sup>1</sup>かまい...] 百日。  
 むムぎー [mumgi:] [名] [植] [むムぎーまい...]  
 ばんじろう。グアバ。もも科の植物。果実は独  
 特の香気と酸味がある。生食。ジャムを作る。  
 むムぎーぬ むす [mumgi:nu musu] [名] [虫] [む  
 ムぎーぬむ<sup>1</sup>すまい...] ななふし。  
 むむくとう [mumukutu] [名] [むむく<sup>1</sup>とう  
 まい...] 百の事。多くの事柄。  
 むムじゃり [mumdza] [動I類a型] [むムじゃ  
 りー、むムじゃらん] 揉みつぶす。【同】「むム  
 だり」。  
 むムじゅり [mumdzu] [動I類c型] [むムじゅ

りー、むムじゅらん] もぎ取る。果物をもぎ取  
 る。  
 むムだり [mumda] [動I類a型] [むムだりー、  
 むムだらん] 揉みつぶす。紙を揉み捨てる。【同】  
 「むムじゃり」。  
 むむつ [mumutsu] [名] [むむ<sup>1</sup>つまい...] 百。百  
 回。たくさん。  
 むむてい [mumuti] [名] [むむていまい...] もも  
 とせ。百年。百歳。  
 むむに [mumuni] [名] [むむにまい...] 腿。大腿。  
 ふともも。【類】「むむ」。  
 むムふっずー [mumfuddzu:] [動I類c型] [むム  
 ふっじー、むムふっじゃん] 揉みつぶす。揉み  
 ほぐす。  
 ムめ [mme] [名] ~たち。~ら。複数を表す語。「~  
 ぬムめ」又は「~がムめ」の形で用いる。【例】  
 やらびぬ ムめ (子ども達)。しゅーたが ムめ  
 (おじいさん達)。  
 ムめ [mme] [名] [ム<sup>1</sup>めていー...] 大変なこと。  
 終止の意味。【例】すぐとー ムめ (仕事は終り  
 だ)。ムめ だいで (大変だ)。  
 ムめ [mme] [副] もう。【例】ムめ しゅーまん  
 (もうしない)。  
 ムめ [mme] [感] 終わり。やっている事が終了す  
 ること。  
 ムめ ぴーちゃ [mme pi:tça] [副] もう少し。【例】  
 ムめぴーちゃ しゅいだ (もう少し加えなさい)。  
 ムめ ぴーちゃがま [mme pi:tçagama] [副] もう  
 少し。〈ムめぴーちゃ〉より少量。【例】ムめぴ  
 ーちゃがま しゅいだ (もう少し加えなさい)。  
 ムめ ピとうい [mme pitui] [連語] 後一日。もう  
 一日。  
 ムめ ゆか [mme juka] [連語] 後四日。しあさつ  
 て。  
 ムめしゃー [mmeça:] [感] もう終わりだなあ。仕  
 事の終了を確認するときに言う。  
 ムめしゃーい [mmeça:i] [感] 大変だなあ。子供  
 に注意するときに言う。  
 ムめしゃーみー [mmeça:mi:] [感] 終わったらど  
 うだ。仕事の終了を促すように言う。

ムめしゃいく [mmeɕaiku] [感] 仕事が終わったときに気づくときに言う。

ムめしゃいく [mmeɕaiku] [感] 大変だなあ。

ムめしゃいやー [mmeɕajai:] [連語] 大変なことだなあ。どうしたのか。

ムめどー [mmedo:] [連語] 終りだ。終りだよ。終わったぞ。終わろう。一段落する。作業・仕事の終了を告げる。

ムめどー [mmedo:] [連語] 大変だ。身に危険を感じたときに声を出す。

ムめどーさー [mmedo:sa:] [感] 注意を呼びかける大事な時に発する。

ムめなー [mmena:] [連語] さようなら。別れの挨拶。用事が全て終わって別れること。

ムめぬ むぬ [mmenu munu] [名] [ムめ<sup>1</sup>ぬむぬまい...] やから者。わがままな人。自分よがりの人。嫌われ者。

ムめび [mmepi] [副] もっと。【例】ムめび ゆいずー (もっともらいたい)。ムめびまい (もっとたくさん)。ムめびまい ばなし (もっともっと話せ)。

むや [muja] [名] [むやまい...] もや。かすみ。

むやーす [muja:s] [動I類 a型] [むやーしー、むやーしゃん] 集める。揃える。

むやーばら [muja:bara] [名] [むや<sup>1</sup>ーばらまい...] 母家柱。中心の柱。中柱。大黒柱。(茅葺きの)家の中心にある柱。中心となる人物にもたどえる。

むyai [mujai] [名] [むyaiまい...] 模合。寄り合い。頼母子講。

むyaiじゃー [mujaidza:] [名] [むyaiじゃーまい...] 模合座。

むyaiじん [mujaidzin] [名] [むyaiじんまい...] 模合銭。模合座に出す金。

むyaiにんじゅ [mujainindzu] [名] [むyaiにんじゅまい...] 頼母子講に参加している人たち。

むやう [mujau] [動I類 a型] [むいえー、むやーん] 集まる。集う。【同】「むゆー」。

むやがらす [mujagaras] [動I類 a型] [むやがらしー、むやがらしゃん] 盛り上げる。

むやがり [mujaga] [動I類 a型] [むやがりー、

むやがらん] 盛り上がる。

むゆー [muju:] [動I類 c型] [むいえー、むやーん] 集まる。集う。【同】「むやう」。

むゆか [mujuka] [名] [むゆかまい...] 六日。【同】「むいか」。

むゆかす [mujukas] [動I類 c型] [むゆかしー、むゆかしゃん] 動かす。【例】むゆかしやいん (動かせない。動かすことができない)。【同】「むいかす」。

むゆぎ [mujuky] [動I類 c型] [むゆきー、むゆかん] 動く。働く。【同】「むいぎ」。【類】「ういぎ」。

むゆく [mujuku] [形] [むゆくてい<sup>1</sup>ーまい...] 無欲。

むゆり [muju] [動I類 a型] [むゆりー、むゆらん] 寄り集まる。

むよー [mujo:] [名] [むよーまい...] 無用。役に立たない。

むよー [mujo:] [名] [むよーまい...] 模様。様子。状態。【例】あみむよー (雨模様)。

むら [mura] [名] [むらまい...] 村。村落。集落。里。

むらうぐなーり [murauguna:] [名] [むらうぐな<sup>1</sup>りまい...] 村民集会。

むらうでーり [muraude:] [名] [むらうで<sup>1</sup>りまい...] 村民による共同作業。

むらがらす [muragaras] [動I類 a型] [むらがらしー、むらがらしゃん] 盛り上げさせる。積み上げる。【例】たーらう むらがらす (俵を積み上げる)。

むらがり [muraga] [動I類 a型] [むらがりー、むらがらん] 群がる。群れる。鳥が群れ飛ぶ。蟻が砂糖に群がる。

むらがり [muraga] [動I類 a型] [むらがりー、むらがらん] 盛り上がる。積み上がる。盛会になる。【例】たーらぬ むらがり (俵が積み上がる)。しゃきじゃーぬ むらがり (酒座が盛り上がる)。

むらぎり [muragil] [動II類 a型] [むらぎー、むらぎん] 盛り上げる。積み上げる。【例】たーらう むらぎり (俵を積み上げる)。

むらさき [murasaki] [名] [むらさ<sup>1</sup>きまい...] 紫色。高尚な色として見られる。

むらしゃず [muraɕadzɯ] [名] [むらしゃずまい...] 村佐事。番所（役場）の吏員。琉球国の役人。

むらじゅー [muradzu:] [副] 村内全部。村中。島中。

むらす [murasɯ] [助数] ~山。山盛りにしてあるものを数える。【例】すっじゃぬ ピとうむらす（サトウキビの一山）。

むらす [murasɯ] [名] [むらすま<sup>1</sup>い...] おもらし。

むらす [murasɯ] [動I類 a 型] [むらしー、むらしゃん] 盛らせる。いっぱいにする。

むらす [murasɯ] [動I類 c 型] [むらしー、むらしゃん] 漏らす。洩らす。秘密をもらす。

むらずかふ [muradzɯkafu] [名] [むらずか<sup>1</sup>ふまい...] 村近く。集落の近く。

むらたかび [muratakabi] [名] [むらたかびまい...] 里の神の祭り。健康や豊作祈願を行う。【類】「しゃとうがム」。

むらだてい [muradati] [名] [むらだていまい...] 村建て。島建て。人口増の政策。

むらつかふ [muratsɯkafu] [名] [むらつか<sup>1</sup>ふまい...] 集落近く。

むらピとう [murapɯtu] [名] [むらピとうまい...] 村民。村人。島人。

むらふつ [murafutsɯ] [名] [むらふつまい...] 村はずれ。集落の境界。集落と外の畑との境界。【例】むらふつばる（村はずれの畑）。

むらムなか [muramnaka] [名] [むらムなかまい...] 村中。集落の中心。

むらやくば [murajakuba] [名] [むらやく<sup>1</sup>ばまい...] 村役場。

むり [mu] [接頭] ととも。もつとも。【例】むりちび（最後尾）。むりとう っさいん（とともわからない）。

むり [mu] [名] [むりま<sup>1</sup>い...] 森。林。

むり [mu] [動I類 c 型] [むりー、むらん] 盛る。【例】しゃきむり（酒を満たす）。うじんー むり（膳に盛る）。

むり [mu] [動I類 c 型] [むりー、むらん] 群れる。【例】たかぬ むりんきー ぶり（さしばが

群れを作っている）。

むり [mu] [動I類 c 型] [むりー、むらん] 漏れる。雨が漏れる。【例】あみぬどう むり（雨が漏れる）。

むり [mu] [動I類 c 型] [むりー、むらん] 子守る。子を守る。子守する。【例】っふあむり（子守する）。っふあむりだー（子守する場所）。

むり [mu] [動I類 c 型] [むりー、むらん] 挽ぐ。【例】かぶちゃぬ なりる むり（かぼちゃの実を挽ぐ）。ふぬーゆ むり（みかんを挽ぐ）。

むりあかり [muaka] [動I類 a 型] [むりあかりー、むりあからん] すっかり晴れる。晴天。快晴。

むりあぎり [muagi] [動II類 c 型] [むりあぎー、むりあぎん] 盛り上げる。

むりあとう [muatu] [名] [むりあとうまい...] 最後。列の最後。びり。

むりあに [muani] [名] [むりあ<sup>1</sup>にまい...] 守姉。他の家から頼まれてきて子守する少女。

むりかーり [muaka:] [動I類 a 型] [むりかーりー、むりかーらん] すっかり変る。【例】どーが すまー むりかーり（ふるさとはずっかり変った）。

むりかいす [mukaisɯ] [動I類 a 型] [むりかいしー、むりかいしゃん] もり返す。挽回する。

むりぎー [mulgi:] [名] [むりぎーまい...] 最後尾。びり。

むりじゅー [mudzu:] [名] [むりじゅ<sup>1</sup>ーまい...] 盛り重。重箱に盛った神への供え物。

むりた [muta] [擬] 盛り上がっている状態。【例】かぬ むりたう みーる（あの小高いところを見なさい）。

むりたみかす [mutamikasɯ] [動I類 c 型] [むりたみかしー、むりたみかししゃん] 盛り上げる。盛り上がっている状態にする。

むりたみぎ [mutamiki] [動I類 c 型] [むりたみきー、むりたみかん] 盛り上がる。盛り上がっている状態になる。

むりたむりた [mutamu] [擬] 数箇所の盛り上がっている状態。

むりちび [mutɕibi] [名] [むりちびまい...] もつ

とも尻。最後尾。【類】「でーんがーちび」。「でーんちび」。「でーんなーちび」。

むりつぎ [muɽɕkɰ] [名] [むりつぎまい...] 全部。まとまった。【例】むりつぎじん (不足のない、まとまった金)。

むりとう [muɽtu] [副] 完全に。すっかりと。

むりばずまり [muɽpadzɰmaɽ] [名] [むりばずまりまい...] 最初。もっとはじめの時。【例】ペーター むりばずまりんどう いでいぐまたどー (我々が最初の出演だよ)。

むりばずみ [muɽpadzɰmi] [名] [むりばずみまい...] 最初。もっとはじめの時。【例】むりばずみぬすぐとう (一番目の仕事。仕事初め)。

むりばだか [muɽpadaka] [名] [むりばだかまい...] まるはだか。まっばだか。

むりぱりり [muɽpaɽiɽ] [動 II 類 c 型] [むりぱりー、むりぱりん] すっかり晴れる。快晴。

むりぶす [muɽibusɰ] [名] [むりぶ<sup>1</sup>すまい...] 群星。すばる座。牡牛座にあるプレアデス星団。【類】「むりかぶす」。

むりやー [muɽja:] [名] [むりや<sup>1</sup>ーまい...] 雨漏りする家。

むりやま [muɽjama] [名] [むりや<sup>1</sup>ままい...] 森山。林。

むりり [muɽiɽ] [動 II 類 c 型] [むりー、むりん] 漏れる。

むろくす [muɽukusɰ] [名] [植] [むろく<sup>1</sup>すまい...] もろこし草。染料。

むろくすぎー [muɽukusɰgi:] [名] [植] [むろくすぎ<sup>1</sup>ーまい...] やえやまあおき。

むろみ [muɽumi] [名] [むろみまい...] もろみ。酒こうじのもろみのこと。

むん [mun] [名] [むんまい...] 門。【類】「じゃう」。「じゃうふつ」。「じょー」。「じょーふつ」。

むんく [munku] [名] [むん<sup>1</sup>くまい...] 文句。なんくせ。いちゃもん。

むんさつ [munsaɽɕ] [名] [むんさつまい...。むんさ<sup>1</sup>つまい...] 門札。

むんちゅー [munɕu:] [名] [むんちゅーまい...] 門中。一門。同門。一族。

むんつき [munɕki] [名] [むんつ<sup>1</sup>きまい...] 紋

付。礼装用の和服に家紋がついている。

むんばん [munban] [名] [むんばんまい...] 門番。

むんぴ [munpi] [名] [むん<sup>1</sup>ぴまい...] もんぺ。女性用のズボン。戦時中の服装。

## — め —

めー [me:] [助数] ~枚。鍋の大きさの単位。【例】さんめーなび (三枚鍋)。しんめーなび (四枚鍋)。

めー [me:] [名] [めーまい...] 勝負する。競争する。【例】ぱりめー (走り競争)。あうめー (けんか勝負)。うすめー (押し合い)。

めー [me:] [名] [めーんけーまい...] 前。人前。世間。広場。【例】めーんけー わーり (大衆の所に来て下さい)。

めーか [me:ka] [名] [めーかまい...] 墓。古墳。【例】うぶめーか (土原豊見親の墓)。【類】「めーかばか」。

めーかばか [me:kabaka] [名] [めーかばかまい...] 土原豊見親とその妻の墓。【類】「めーか」。

めーがらす [me:garasʝ] [動I類 a型] [めーがらしー、めーがらしゃん] 荷物を落とす。担いでいる物を落とす。仕事を投げ捨てる。【同】「まやがらす」。

めーがり [me:ga] [動I類 a型] [めーがりー、めーがらん] 自慢する。

めーぎ [me:gi] [名] [めーぎまい...] 見上げ。見上げること。敬意。

めーぎ [me:gi] [名] [めーぎまい...] 振り向くこと。

めーぎー みーん [me:gi: mi:n] [連語] 振り向きもしない。気を悪くして行く人のこと。

めーぎぶすしゃーり [me:gibusʝa:] [形] [めーぎぶす<sup>1</sup>しゃまい...] 振り向きたい。振り向いて見たい。振り向いて見たくなる。「あだんやぬあず」の一節。【例】めーぎぶすうぶやー (振り向いて見たくなる立派な住宅)。

めーぎり [me:gi] [動II類 c型] [めーぎー、めーぎん] 見上げる。

めーぎり [me:gi] [動II類 c型] [めーぎー、め

ーぎん] 振り向く。【例】めーぎー ぶり (振り向いて見ている)。めーぎー みーり (振り向いて見る)。

めーく [me:ku] [名] [めーくまい...] 宮古。宮古島。宮古島市。広義では宮古諸島。【例】いつがめーくんけー ぎたりば (いつ宮古島に来たか)。

めーく [me:ku] [名] [めーくまい...] この世。現世。

めーく [me:ku] [名] [めーくまい...] みやこ。楽天地。【例】ばがめーく (私の住み良い場所)。

めーくずま [me:kudzʝma] [名] [めーくず<sup>1</sup>ままい...] 宮古島。宮古島市。宮古諸島の政治経済の中心地。

めーくどうーみ [me:kudu:mi] [名] [めーくどうー<sup>1</sup>みまい...] 宮古遠見。人頭税を取り立てる琉球王府の帆船を見張るための遠見台。

めーくぬーま [me:kunu:ma] [名] [めーくぬー<sup>1</sup>ままい...] 宮古馬。

めーくピとう [me:kupʝtu] [名] [めーくピ<sup>1</sup>とうまい...] 宮古の人。宮古の住人。広義では多良間村民も含む。

めーくふつ [me:kufutsʝ] [名] [めーくふ<sup>1</sup>つまい...] 宮古口。宮古語。宮古方言。多良間語も含む。

めーぐむり [me:gumu] [名] [地] [めーぐむりまい...] 水納島の里の名。

めーしゃーり [me:ʃa:] [形] [めーしゃまい...] 新しい。新品の。初物である。畑から最初に収穫したもの。【同】「ミーしゃーり」。

めーしゅ [me:ʃu] [名] [めーしゅまい...] 新しい潮。朝の満ち潮。月初めの潮時。

めーす [me:sʝ] [動I類 a型] [めーしー、めーしゃん] 燃やす。火を燃やす。

めーすかにり [me:sʝkani] [動II類 a型] [めーすかにー、めーすかにん] 燃やしかねる。火を燃やすのに手間取る。

めーずぎ [me:dʝkʝ] [名] [めーずぎまい...] 新月。月初めの月。上弦の月。特に三日月に愛着する。

めーすぎしゃーり [me:sʝgiʃa:] [形] [めーすぎ<sup>1</sup>しゃまい...] 楽そうである。心が安らいでいそ

うである。金持ちそうである。仕事が軽そうである。

めーすしゃーり [me:sɕa:i] [形] [めーすしゃまい...] 楽である。易い。楽な仕事。安心する。

めーすむぬ [me:sɕmunu] [名] [めーすむぬまい...] 楽な仕事。病気が快方に向う。

めーすむぬ [me:sɕmunu] [名] [めーすむ<sup>1</sup>ぬまい...] 燃やすもの。薪。燃やしてかまわないもの。

めーた [me:ta] [副] あるいは。それとも。【例】くれー めーた ヴヴあが むぬな (これはあるいは君のものか)。

めーぬ かム [me:nu kam] [名] [めーぬか<sup>1</sup>ムまい...] スツウプナカの四ヶ所の神。

めーみず [me:midzɿ] [名] [めーみずまい...] 新しい水。スツウプナカの翌朝の井戸水。スツウプナカの朝早く井戸の水で清める。

めーむぬ [me:munu] [名] [めーむぬまい...] 初物。花物。最初に収穫したもの。

めーめー [me:me:] [名] [めー<sup>1</sup>めーまい...] それぞれ。各自。【例】めーめーん とうり (各自で取りなさい)。

めーめー [me:me:] [名] [めーめ<sup>1</sup>ーまい...] 幼児語。目。おめめ。

めーめー [me:me:] [感] 幼児語。山羊を呼ぶ。

めーらがー [me:raga:] [名] [井戸] [めーらがーまい...] 井戸の名。人工井戸。

めーらばがー [me:rabaga:] [名] [井戸] [めーらばがーまい...] 井戸の名。人工井戸。

めーらび [me:rabi] [名] [めーら<sup>1</sup>びまい...] 乙女。おとめ。淫乱女。男性を追いかけまわる女性。

めく [meku] [名] [めくまい...] 脈。

めくとうり [mekutu] [名] [めくとう<sup>1</sup>りまい...] 脈取り。心臓の鼓動を確かめること。

めじる [medziru] [名] [鳥] [めじ<sup>1</sup>るまい...] めじろ。【類】「みーピかり」。

めだし [medaɕi] [名] [めだ<sup>1</sup>しまい...] 芽出し。さとうきびの芽出し肥料のこと。【同】「みだし」。

## — も —

もー [mo:] [接尾] 無いこと。【例】ぱーもー (歯の欠けている人)。

もー [mo:] [動I類 a型] [めー、まーん] 舞う。踊る。【例】もーやー (踊り楽しむ)。【同】「まう」。

もー [mo:] [擬] 牛の鳴きまね。牛の呼び方。

もーかー [mo:ka:] [名] [もーかーまい...] 前方。【例】くるまうばー もーかーう みー ぱらし (車をば前を見て走らせ)。【同】「まうかー」「まうけー」「もーけー」。

もーかり [mo:ka:] [動I類 c型] [もーかりー、もーからん] 儲かる。得する。利益を得る。

もーき [mo:ki] [名] [もーきまい...] 儲け。得。利益。【同】「まうき」。

もーきじゆく [mo:kidzuku] [名] [もーきじゆくまい...] 儲け仕事。出稼ぎ。【同】「まうきじゆく」。

もーきじよーず [mo:kidzo:dzu] [形] [もーきじよーずまい...] 儲け上手。【同】「まうきじよーず」。

もーきしよーぶ [mo:kiço:bu] [名] [もーきしよーぶまい...] 儲け勝負。一生懸命働くこと。【同】「まうきしよーぶ」。

もーきすかま [mo:kis:kama] [名] [もーきすかままい...] 儲け仕事。出稼ぎ。【同】「まうきすかま」。

もーきふつ [mo:kifutsu] [名] [もーきふつまい...] 儲け口。働き口。【同】「まうきふつ」。

もーきむぬ [mo:kimunu] [名] [もーきむぬまい...] 儲けもの。儲け運のあること。思いがけない儲け。【同】「まうきむぬ」。

もーきり [mo:ki:] [動II類 c型] [もーきー、もーきん] 儲ける。稼ぐ。得する。利益を上げる。【同】「まうきり」。

もーしくム [mo:çikum] [動I類 c型] [もーしくみー、もーしくまん] 申し込む。

もーちよー [mo:tço:] [名] [もーちよーまい...] 盲腸。虫垂。盲腸炎。虫垂炎。

もーとう [mo:tu] [名] [もーとうまい...] 真つすぐ。直線。【同】「まうとう」。【類】「ますーぐ」。

もーとう みーり [mo:tu mi:] [連語] 真つすぐ前を見る。【例】もーとう みー ぱらし (まっすぐ見て走らせ)。【同】「まうとうみーり」。

もーふ [mo:fu] [名] [もーふまい...] 毛布。

もームまがー [mo:mmaga:] [名] [井戸] [もームまがーまい...] 井戸の名。人工井戸。

もーやー [mo:ja:] [名] [もーやーまい...] 踊り。踊ること。一定の型はない自己流で踊る。【例】しゃきじゃーんや もーやーぬどう うむっし (酒座にはモーヤーが面白い)。

もーるく [mo:ruku] [名] [もーるくまい...] もうろく。ぼけ。認知症。

もくまう [mokumau] [名] [植] [もくまうまい...] もくまおう。【同】「もくもー」。

もくまうやま [mokumaujama] [名] [植] [もくまうやまんまい...] もくまおうの林。【同】「もくもーやま」。

もくもーやま [mokumo:jama] [名] [植] [もくもーやまんまい...] もくまおうの林。【同】「もくまうやま」。

もくよー [mokujo:] [名] [もくよーまい...] 木曜日。

## — や —

や [ja] [助]～は。主題助詞。【例】うまんや ねーん (そこにはないよ)。ゆーや ならり (世は直る)。きゅーや ぴーしゃーり (今日は寒い)。うんぬ ゆーや あみどう あたり (あの夜は雨だった)。【同】「あ」。

やー [ja:] [助]～とか。【例】あんしーぬやー くんしーぬやー (あんなにとかこんなにとか)。

やー [ja:] [終] 問い返す。【例】んだんけーが／ぱるんけーやー (どこへ行くのか／畑に行くんだよ)。めーくんけーやー (宮古へ行くのさ)。

やー [ja:] [名] 八。八つ。八歳。

やー [ja:] [名] [やーま<sup>1</sup>い...] 家。家屋。家庭。建物。ビルディング。住宅。

やー [ja:] [名] [やーま<sup>1</sup>い...] 矢。弓の矢。

やーいな [ja:ina] [名] [やーい<sup>1</sup>なまい...] 家の飼いた。ペットとしての犬。

やーがギ [ja:gak] [名] [やーが<sup>1</sup>ギまい...] 家囲い。屋敷囲い。垣。

やーがくい [ja:gakui] [名] [やーがく<sup>1</sup>いまい...] 家の囲い。屋敷囲い。石垣。塀。

やーかず [ja:kadz] [名] [やーかずまい...] 家ごと。各家。各戸。【類】「やーぬかず」。

やーかずまーれ [ja:kadzma:re] [名] [やーかずま<sup>1</sup>れまい...] 各家を歩き回るくせのある人。【類】「やーぬかずまーれ」。

やーかどう [ja:kadu] [名] [やーか<sup>1</sup>どうまい...] 家の角。

やーがま [ja:gama] [名] [やーが<sup>1</sup>ままい...] 母屋の隣の家。離れの小屋。主に台所。【類】「たうヴヴあ」。「とーヴヴあ」。

やーき [ja:ki] [名] [やー<sup>1</sup>きまい...] 家庭。家族。【類】「やーきない」。

やーぎー [ja:gi:] [名] [やーぎ<sup>1</sup>ーまい...] 家で着る衣服。普段着。【類】「やーぎん」。

やーきない [ja:kinai] [名] [やーきな<sup>1</sup>いまい...] 家庭。家族。家族の人数。【類】「やーき」。

やーぎん [ja:gin] [名] [やーギ<sup>1</sup>んまい...] 家で着る衣服。普段着。【類】「やーぎー」。

やーくす [ja:kus] [名] [やーく<sup>1</sup>すまい...] 家の引越し。転居。

やーぐす [ja:gus] [名] [やーぐ<sup>1</sup>すまい...] 家の後ろ。家の裏側。

やーぐまり [ja:gumal] [名] [やーぐま<sup>1</sup>りまい...] 家籠り。家の中にこもる。外出しない。引きこもり。【同】「やぐまり」。

やーぐまれ [ja:gumare] [名] [やーぐま<sup>1</sup>れまい...] 外出しない人。家から外へ出ない人。

やーじえーふ [ja:dze:fu] [名] [やーじえー<sup>1</sup>ふまい...] 家大工。家の建築専門の大工。

やーしゃ [ja:ca] [名] [やー<sup>1</sup>しゃまい...] ひもじさ。空腹。

やーしゃーり [ja:ca:ri] [形] [やー<sup>1</sup>しゃまい...] ひもじい。空腹である。

やーじやうぬー [ja:dzaunu:] [名] [やーじやうぬ<sup>1</sup>ーまい...] 家上納。家に課される税金。【同】「やーじよーぬー」。

やーしゃがーき [ja:caga:ki] [名] [やー<sup>1</sup>しゃがーきまい...] 空腹で渴ききっている様。飢え苦しむこと。

やーしゃくーしゃ [ja:caku:ca] [名] [やー<sup>1</sup>しゃくーしゃまい...] 空腹の苦しさ。腹腔の苦しみ。貧乏であること。

やーしゃどう ムましゃ [ja:cadu mma:ca] [連語] 空腹にまずいものなし。空腹だからこそおいしい。

やーしゃなうす [ja:ca:naus] [名] [やー<sup>1</sup>しゃなうすまい...] 空腹直し。空腹を直すこと。水を飲んで空腹をまぎらわすこと。

やーしゃばた [ja:cabata] [名] [やー<sup>1</sup>しゃばたまい...] 空腹。

やーじよーぬー [ja:dzo:nu:] [名] [やーじよーぬ<sup>1</sup>ーまい...] 家上納。家に課される税金。【同】「やーじやうぬー」。

やーすかま [ja:s:kama] [名] [やーすか<sup>1</sup>まい...] 家仕事。手間賃のない仕事。

やーすくつ [ja:sɨkutsɨ] [名] [やーすく<sup>1</sup>つまい...]  
家仕事。手間賃のない仕事。

やーすぐとう [ja:sɨgutu] [名] [やーすぐ<sup>1</sup>とうまい...] 家仕事。手間賃のない仕事。

やーだい [ja:dai] [名] [やーだ<sup>1</sup>まい...] 家の建築費用。家作りの代金。

やーだう [ja:dau] [名] [やーだ<sup>1</sup>うまい...] 家にある普段使用できる道具のこと。日常生活の必需品。【同】「やーどー」。

やーつ [ja:tsɨ] [名] [やーつまい...] 八。八つ。八歳。

やーっすう [ja:ssu] [名] [やーっすうまい...] 飢饉（ききん）。〈にんていやーっすう〉（子年の飢饉）の項参照。

やーつつふイ [ja:tsɨffu] [名] [やーつつふ<sup>1</sup>イまい...] 家の建築。新築。

やーてい [ja:ti] [名] [やーていまい...] 八年。八年間。

やーでい [ja:di] [名] [やー<sup>1</sup>でいまい...] 家庭。家族。

やーどうなり [ja:duna] [名] [やーどうな<sup>1</sup>りまい...] 家隣。家近所。

やーどうり [ja:du] [名] [やーどう<sup>1</sup>りまい...] 屋敷内に飼っている鶏。

やーどー [ja:do:] [名] [やーど<sup>1</sup>ーまい...] 家にある普段使用できる道具のこと。日常生活の必需品。【同】「やーだう」。

やーなー [ja:na:] [名] [やーな<sup>1</sup>ーまい...] 屋号。家の名前。

やーなー [ja:na:] [名] [やーな<sup>1</sup>ーまい...] 童名。戸籍上の名前とは別の名前。【類】「やらびなー」。

やーなか [ja:naka] [名] [やーなか<sup>1</sup>んまい...] 家の中。

やーならーす [ja:nara:sɨ] [名] [やーならー<sup>1</sup>すまい...] 家庭習わし。家庭教育。家のしつけ。

やーなり [ja:nari] [名] [やーな<sup>1</sup>りまい...] 家習い。家馴れ。家庭の習慣。【例】やーなりどうぶかなり（家のしつけは外でも現れる）。

やーなりどうぶかなり [ja:maridu pukanari] [諺] 家の慣れ、外の慣れ。家の習慣が外で表われ

る。

やーに [ja:ni] [名] [やー<sup>1</sup>にまい...] 来年。【類】「やーにどうす」。

やーにー [ja:ni:] [名] [やーに<sup>1</sup>ーまい...] 屋根の上。屋上。

やーにか [ja:nika] [名] [やーに<sup>1</sup>かまい...] 家の飼い猫。ペットとしての猫。

やーにどうす [ja:nidusɨ] [名] [やーにどうすまい...] 来年。【類】「やーに」。

やーにぬ ちゃむ [ja:ninu tɕamu] [名] [やーに<sup>1</sup>ぬちゃむ<sup>1</sup>まい...] 童謡の一節。「たかごー」の歌。さしばの長い旅の疲れを憂い、たかごーは来年も籠る場所はあるだろうか。それは多良間の森林の奥深い所に営巣しているよ。「やーにぬちゃむ。くむりぬちゃむ」。来年の籠る良い場所。〈ちゃむ〉は人を表わしていると考えられる。つまり、「屋上の人、里の人」の意であろう。

やーにんじゅ [ja:nindzɨ] [名] [やーにん<sup>1</sup>じゅまい...] 家族の人数。

やーぬ かずまーれ [ja:nu kadzɨmare] [名] [やーぬか<sup>1</sup>ずまーれまい...] 各家を歩き回るくせのある人。【類】「やーかずまーれ」。

やーぬ かム [ja:nu kam] [名] [やーぬか<sup>1</sup>ムまい...] 家の神。

やーぬ くとう [ja:nu kutu] [名] [やーぬく<sup>1</sup>とうまい...] 家の事。家事。雑事。

やーぬ ちび [ja:nu tɕibi] [名] [やーぬちび<sup>1</sup>んまい...] 家の後ろ。家の裏側。

やーぬ とうず [ja:nu tudzɨ] [名] [やー<sup>1</sup>ぬとうず<sup>1</sup>まい...] 家のとじ。妻。

やーぬ なー [ja:nu na:] [名] [やーぬな<sup>1</sup>ーまい...] 家の名前。屋号。

やーぬ なか [ja:nu naka] [名] [やーぬなか<sup>1</sup>んまい...] 家の中。

やーぬ ぬす [ja:nu nusɨ] [名] [やーぬぬ<sup>1</sup>すまい...] 家主。家長。

やーぬ ばな [ja:nu pana] [名] [やーぬばな<sup>1</sup>んまい...] 家の上。屋上。いらか。【類】「いりか」。

やーぬ ばん [ja:nu ban] [名] [やー<sup>1</sup>ぬばん<sup>1</sup>まい...] 家の番。留守番。【類】「やーばん」。

- やーぬ みなか [ja:nu minaka] [名] [やーぬみな  
<sup>1</sup>かまい...] 家の庭。
- やーぬ よーイ [ja:nu jo:ɪ] [名] [やーぬよー<sup>1</sup>イ  
まい...] 家の祝い。新築祝い。家の建築記念祝  
い。
- やーぬかず [ja:nukadzɪ] [名] [やーぬか<sup>1</sup>ずまい...]  
家ごと。各家。各戸。【類】「やーかず」。
- やーぬす [ja:nu:sɯ] [名] [やーぬ<sup>1</sup>すまい...] 家主。  
亭主。大家。【同】「やぬす」。【類】「やーぬぬ  
す」。
- やーぬっふあどうり [ja:nuffadu] [名] [鳥] [や  
ー<sup>1</sup>ぬっふあ<sup>1</sup>どうりまい...] すずめ。
- やーぱイ [ja:paɪ] [名] [昆虫] [やーぱ<sup>1</sup>イまい...]  
家にいる蠅。
- やーぱイでい [ja:paɪdi] [名] [やーぱイ<sup>1</sup>でいま  
い...] 家這出。外出。嫁いだ女が外出すること。
- やーばかーり [ja:baka:ɾi] [名] [やーばかー<sup>1</sup>りま  
い...] 分家。
- やーばし [ja:baʃi] [名] [やーば<sup>1</sup>しまい...] 家と  
家の間。
- やーばり [ja:baɾi] [名] [やーば<sup>1</sup>りまい...] 家割  
り。自らの手で家をこわすこと。
- やーばん [ja:ban] [名] [やーば<sup>1</sup>んまい...] 家の  
番。留守番。【類】「やーぬばん」。
- やーぴんだ [ja:pinda] [名] [やーぴん<sup>1</sup>だまい...]  
屋敷内に飼っている山羊。屋敷の中に小屋を建  
ててそこで飼う。
- やーふギ [ja:fuki] [名] [やーふ<sup>1</sup>ギまい...] 家葺  
き。家造り。新築。
- やーふギあぐ [ja:fukɪagu] [名] [やーふギあ<sup>1</sup>ぐ  
まい...] 家葺きの工事人夫。
- やーふギけー [ja:fukɪke:] [名] [やーふギけ<sup>1</sup>ーま  
い...] 家葺き用の茅。
- やーふギじえーふ [ja:fukɪdʒe:fu] [名] [やーふギ  
じえー<sup>1</sup>ふまい...] 家葺きの大工。
- やーふギなー [ja:fukɪna:] [名] [やーふギな<sup>1</sup>ーま  
い...] 家葺き用の縄。茅を締め付ける縄。
- やーふギにんじゅ [ja:fukɪnindzu] [名] [やーふ  
ギにん<sup>1</sup>じゅまい...] 家葺きの人数。家葺きの作  
業人夫。
- やーふギぱり [ja:fukɪpaɾi] [名] [やーふギぱ<sup>1</sup>りま  
い...] 家葺きの針。茅を締める縄を通す穴のあ  
る棒のこと。
- やーふギぶい [ja:fukɪbui] [名] [やーふギぶ<sup>1</sup>いま  
い...] 家葺きの手伝いをして酒や食事をいただ  
くこと。賃金はない。
- やーふギゆイ [ja:fukɪjuɪ] [名] [やーふギゆ<sup>1</sup>いま  
い...] 家葺き結い。奉仕。仕事のお返し。【類】  
「やーふギゆイまーる」。
- やーふギゆイまーる [ja:fukɪjuɪma:ru] [名] [やー  
ふギゆイまー<sup>1</sup>るまい...] 家葺き結い。奉仕。仕  
事のお返し。【類】「やーふギゆイ」。
- やーふギよーイ [ja:fukɪjo:ɪ] [名] [やーふギよー<sup>1</sup>  
イまい...] 家葺き祝い。新築祝い。新築祝いの  
時に「あだんやぬあず」の歌を歌う。
- やーふっずー [ja:fuddzɪ:] [名] [やーふっずー<sup>1</sup>ま  
い...] 家の中をあさること。家中を探し回ること。  
【同】「やーふっず」。
- やーふっつー [ja:futtsɪ:] [名] [やーふっつー<sup>1</sup>ま  
い...] 家移り。転居。
- やーま [ja:ma] [名] [やーままい...。やーまゆー  
り<sup>1</sup>らまい...] 八重山。八重山群島。
- やーまーり [ja:ma:ɾi] [名] [やーまー<sup>1</sup>りまい...]  
家回り。その人。各家を訪ねて伝令する。
- やーまいだ [ja:maida] [名] [昆虫] [やーまい<sup>1</sup>だ  
まい...] かまきり。八重山はどこ。
- やーまげーばつ [ja:mage:batsɪ] [名] [昆虫] [や  
ーまげーばつまい...] あしながばち。
- やーまざま [ja:madzɪma] [名] [やーまざままい...]  
八重山島。石垣島。
- やーまどうーみ [ja:madu:mi] [名] [やーまどう  
ーみまい...] 八重山遠見。人頭税を取り立てる  
船を見張る遠見台。石垣島が見えるからその名  
がある。
- やーまどうーみやま [ja:madu:mijama] [名] [や  
ーまどうーみやままい...] 八重山遠見山。八重  
山遠見台がある所の林。
- やーまぬ ムマガ すばりふしゃ [ja:manu mmaga  
sɪbaɸuʃa] [名] [植] [やーまぬムま<sup>1</sup>がすばり<sup>1</sup>  
ふしゃまい...] はまきけまん。
- やーまピとう [ja:mapɪtu] [名] [やーまピ<sup>1</sup>とうま  
い...] 八重山の住人。八重山群島の住人。八重

山出身の人。  
 やーまふつ [ja:mafutsʃ] [名] [やーまふつまい...]  
 八重山口。八重山方言。八重山語。  
 やーむつべー [ja:mutsʃbe:] [名] [やーむつべー  
 まい...] 家を継ぐ人。後継者。家督相続者。  
 やーむとう [ja:mutu] [名] [やーむ<sup>1</sup>とうまい...]  
 家元。本家。  
 やームまが [ja:mmaga] [名] [やームま<sup>1</sup>がまい...]  
 家の孫。長男孫。  
 やーむら [ja:mura] [名] [やーむ<sup>1</sup>らまい...] 集落。  
 部落。  
 やーやき [ja:jaki] [名] [やーや<sup>1</sup>きまい...] 家焼  
 け。火事。家の火事。  
 やーやすギ [ja:jasʃkʃ] [名] [やーやす<sup>1</sup>ギまい...]  
 家屋敷。  
 やーゆみ [ja:jumi] [名] [やーゆ<sup>1</sup>みまい...] 家嫁。  
 長男嫁。  
 やーら [ja:ra] [名] [やーらまい...] 横腹。【同】  
 「よーら」。  
 やーらヴえーがリ [ja:rave:ga] [動I類a型] [や  
 ーらヴえーがりー、やーらヴえーがらん] 晩生  
 する。遅咲きする。  
 やーらギ [ja:rakʃ] [動I類a型] [やーらきー、や  
 ーらかん] 天気がよくなる。荒れていた天気が  
 良くなる。  
 やーらきしゃ [ja:rakiʃa] [名] [やーらき<sup>1</sup>しゃま  
 い...] おだやかな気候。寒さがゆるむ。  
 やーらぎリ [ja:ragi] [動II類a型] [やーらぎー、  
 やーらぎん] やわらげる。畑の固い土を耕す。  
 やーらしゃーリ [ja:raʃa:li] [形] [やーらしゃま  
 い...] 柔らかい。  
 やーらばた [ja:rabata] [名] [やーらばたまい...]  
 横腹。  
 やーらぶに [ja:rabuni] [名] [やーらぶにまい...]  
 肋骨。  
 やーらむぬ [ja:ramunu] [名] [やーらむぬまい...]  
 柔らかいもの。  
 やーらやム [ja:rajam] [名] [やーらやムまい...]  
 弱い痛み。痛みが長びくこと。  
 やーわじゃ [ja:vadza] [名] [やーわ<sup>1</sup>じゃまい...]  
 家仕事。手間賃のない仕事。

やーん ちペー つかん [ja:n tʃibe: tʃʃkan] [連語]  
 家に尻をつけない。落ちつきのないこと。  
 やーんけー ふつ [ja:nke: futsʃ] [連語] 家に帰る  
 途中。家に向いて行っていること。  
 やい [jai] [名] [やいま<sup>1</sup>い...] やせ。やせること。  
 やいぬーま [jainu:ma] [名] [やいぬー<sup>1</sup>ままい...]  
 やせた馬。  
 やいばー [jaiba:] [名] [やいば<sup>1</sup>ーまい...] 八重  
 歯。【類】「つーギばー」。  
 やいぷりリ [jaipuri] [動II類c型] [やいぷり  
 ー、やいぷりん] やせ細る。おとろえる。やせ  
 こげる。  
 やいや [jaija] [感] いいぞ。はげます。【例】や  
 いや ばーれ (いいぞよい子だなあ)。  
 やいやぬ [jaijanu] [感] 囃子。〈くいちやー〉(雨  
 乞い歌)の歌詞の一節。  
 やいリ [jai] [動II類c型] [やいー、やいん] 瘦  
 せる。  
 やう [jau] [接尾] ~らしい。「~がやう」の形で用  
 いられる。【例】たらまんや あーじょーぬーど  
 う ありー うギがやう (多良間島では粟上納  
 だったらしい)。【同】「よー」。  
 やう [jau] [接尾] ~様。「~やうん」の形で用い  
 られる。【例】すまぬ はんじょー すーやうん  
 にぐーだーら (村が繁盛するように祈願するの  
 だ)。【同】「よー」。  
 やう [jau] [副] しっかり。もっと。【例】やう ぬ  
 まだ (もっと飲みなさい)。やう ばたらき (し  
 っかり働きなさい)。【同】「よー」。  
 やヴヴァあ [javva] [名] [やヴ<sup>1</sup>ヴァあまい...] 短期  
 者。おこりんぼ。悪い心の人。【類】「やヴヴァい  
 むぬ」。  
 やヴヴァあす [javvasʃ] [動I類c型] [やヴヴァあし  
 ー、やヴヴァあしやん] 破らせる。故障させる。  
 破れる。壊す。悪くする。  
 やヴヴァイ [javvi] [動I類c型] [やヴヴァいー、や  
 ヴヴァあん] 破る。壊す。悪くする。【例】ていん  
 ギやヴヴァイ (天気が悪くなる)。  
 やヴヴァい [javvi] [名] [やヴヴァいま<sup>1</sup>い...] 破れ。  
 破れること。こわれ。悪くなること。  
 やヴヴァいむぬ [javvimunu] [名] [やヴヴァいむ<sup>1</sup>ぬ

まい...) 短期者。乱暴者。【類】「やヴヴァ」。

やヴヴいり [javvi] [動 II 類 c 型] [やヴヴいー、やヴヴいん] 短期者になる。暴力を振るう。悪い人になる。

やヴヴいり [javvi] [動 II 類 c 型] [やヴヴいー、やヴヴいん] 破れる。壊れる。故障する。悪くなる。失敗する。仕損じる。海や天候が荒れる。

やうか [jauka] [名] [やうかまい...] 八日。【同】「よーか」。

やうかにす [jaukanis] [名] [鳥] [やうかにすまい...] つばめ。【同】「よーかにす」。

やうがりむぬ [jaugarimunu] [名] [やうがりむぬまい...] やせた人。細身の人。【同】「よーがりむぬ」。

やうがりり [jaugari] [動 II 類 a 型] [やうがりー、やうがりん] やせる。細身になる。【同】「よーがりり」。

やうだき [jauaki] [副] もっと。【例】にんじゅーや うだき しゅるいる (人数はもっとたくさん集めなさい)。【同】「よーだき」。

やうん [jaun] [連語] ~ように。するように。【例】かりが すーやうん しる (彼のするようにしなさい)。【同】「よーん」。

やがく [jagaku] [名] [やがくまい...] 夜学。

やかず [jakadz] [名] [やかずまい...] 家々。各戸。

やかずまーり [jakadzma:] [名] [やかずまーりまい...] 家々を回る。自分の家で落ち付きのないこと。

やかた [jakata] [名] [やかたまい...] 船の骨格。船の骨組み。

やかたぶに [jakatabuni] [名] [やかたぶにまい...] あばらぼね。肋骨。

やがてい [jagati] [副] やがて。まもなく。直ちに。

やかどう [jakadu] [名] [やかどうまい...] 八角。風の種類。

やがましやーり [jagamaça:] [形] [やがましやまい...] やがましい。うるさい。煩わしい。面倒くさい。

やから [jakara] [名] [やからまい...] 輩。強い者。

豪者。力強い者。若者。

やギ [jak] [動 I 類 a 型] [やきー、やかん] 焼く。【例】ふしゃう やギ (枯れ草を焼く)。

やき [jaki] [名] [やきまい...] やけ。すて鉢。やけくそ。【類】「やきふしや」。

やギあとう [jakatu] [名] [やギあ<sup>1</sup>とうまい...] 焼き跡。焼いた跡。

やきあとう [jakiatu] [名] [やきあとうまい...] 焼け跡。焼けた跡。

やギイズう [jakizuu] [名] [やギイズうまい...] 焼き魚。

やきがた [jakigata] [名] [やきがたまい...] 焼ける直前。間もなく焼ける。

やギかピ [jakikabi] [名] [やギかピまい...] 焼き紙。紙銭。冥銭。

やギぐばん [jakigupan] [名] [やギぐばんまい...] 焼き料理。

やきじやき [jakidzaki] [名] [やきじやきまい...] やけ酒。

やギしゅば [jakicuba] [名] [やギしゅばまい...] 焼きそば。

やギじん [jakidzin] [名] [やギじんまい...] 焼く銭。紙銭。冥銭。

やギすいり [jagsi] [動 II 類 a 型] [やギすいー、やギすいん] くびれる。材木がくびれて弱々しく見える。

やきずん [jakidzjn] [名] [やきずんまい...] 焼け死。

やきどう [jakidu] [名] [やきどうまい...] やけど。火傷。熱湯のゆで傷。

やギぱらー [jakiparu:] [動 I 類 c 型] [やギぱれー、やギぱらーん] 焼き払う。野原を焼き払う。

やギぱん [jakipan] [名] [やギぱんまい...] 焼き判。焼きはんこ。

やギぶいぎ [jakibuigi] [名] [やギぶいぎまい...] 火に焼いた棒。

やギふしやり [jakifuçari] [名] [やギふしやりまい...] 焼きくされ。焼けたものの臭い匂い。

やきふしゅ [jakifuçu] [名] [やきふしゅまい...] やけくそ。自暴自棄。すてばち。やけつばち。

やギムー [jakimm] [名] [やギムーまい...] 焼き

芋。  
 やきむち [jakimutçi] [名] [やきむちまい...] やきもち。嫉妬。ねたみ。そねみ。  
 やぎむぬ [jakımunu] [名] [やぎむぬまい...] 焼き物。陶器。瀬戸物。  
 やきやム [jakijam] [名] [やきやムまい...] 感冒。頭痛。  
 やきり [jaki] [動 II 類 a 型] [やき一、やきん] 焼ける。燃える。  
 やく [jaku] [名] [やくまい...] 役。役職。務め。職務。役目。  
 やぐい [jagui] [名] [やぐいまい...] 矢声。やぐえ。大きな掛け声。弓矢の的に命中したときの歓声。  
 やくざ [jakudza] [名] [やく<sup>1</sup>ざまい...] やくざ。ならず者。  
 やくしゃ [jakuça] [名] [やく<sup>1</sup>しゃまい...] 役者。芸人。  
 やくしゅ [jakuçu] [名] [やく<sup>1</sup>しゅまい...] 役所。  
 やくしゅく [jakuçuku] [名] [やくしゅ<sup>1</sup>くまい...] 約束。  
 やくしん [jakuçin] [名] [やくし<sup>1</sup>んまい...] だめな人。子供をたしなめる言葉。  
 やくだつ [jakudatsı] [動 I 類 a 型] [やくだて一、やくだたん] 役立つ。  
 やくだていり [jakudati] [動 II 類 c 型] [やくだて一、やくだていん] 役立てる。  
 やくていん [jakutin] [名] [やくてい<sup>1</sup>んまい...] 薬店。薬局。  
 やくにん [jakunin] [名] [やくに<sup>1</sup>んまい...] 役人。官吏。吏員。  
 やくば [jakuba] [名] [やく<sup>1</sup>ばまい...] 役場。  
 やくぶしゅく [jakubuçuku] [名] [やくぶしゅくまい...] 役不足。適役の乏しいこと。  
 やぐまり [jaguma] [動 I 類 c 型] [やぐまり一、やぐまらん] 家籠る。ひどい目に合う。怪我をする。病気になる。【例】ばぎう ぶりー やぐまりー (足を折ってひどく苦しむ)。【同】「やぐまり」。  
 やくみ [jakumi] [名] [やく<sup>1</sup>みまい...] 役目。役割。

やぐみぐとう [jagumigutu] [名] [やぐみぐとうまい...] おそれおおいこと。大きな事件。  
 やぐみしゃ [jagumiça] [名] [やぐみしゃまい...] おそれおおいこと。尊さ。  
 やぐみしゃーり [jagumiça:] [形] [やぐみしゃまい...] 大層。高尚。高貴。崇高。おそれおおい。  
 やぐみピとう [jagumipıtu] [名] [やぐみピとうまい...] 畏敬すべき人。高貴な人。  
 やくゆき [jakujuki] [名] [やくゆきまい...] 厄除け。災厄を除けること。  
 やけ [jake] [名] [魚] [や<sup>1</sup>けまい...] おじさん。【類】「かたかす」。  
 やじ [jadzi] [名] [やじまい...] 野次。やじること。からかうこと。  
 やしゃい [jaçai] [名] [植] [やしゃ<sup>1</sup>いまい...] 野菜。  
 やしゃいまみ [jaçaimami] [名] [やしゃ<sup>1</sup>いまみまい...] 野菜豆。  
 やしゅ [jaçu] [名] [や<sup>1</sup>しゅまい...] 椰子。椰子の実。  
 やしゅぎー [jaçugi:] [名] [植] [や<sup>1</sup>しゅぎーまい...] 椰子の木。  
 やしゅつ [jaçutsı] [名] [やしゅつまい...] 八十。八十歳。傘寿。  
 やしゅつやーつ [jaçutsıja:tsı] [名] [やしゅつやー<sup>1</sup>つまい...] 八十八歳。米寿。  
 やしゅつやーつぬ よーい [jaçutsıja:tsınu jo:] [名] [やしゅつやー<sup>1</sup>つぬよーい<sup>1</sup>まい...] 八十八歳の祝い。米寿の祝い。  
 やしゅてい [jaçuti] [名] [やしゅていまい...] 八十年。  
 やしゅぬ なり [jaçunu na] [名] [やしゅ<sup>1</sup>ぬなり<sup>1</sup>まい...] 椰子の実。  
 やしゅる [jaçuru] [名] [やしゅるまい...] 一反。十畝。土地や畑の面積の単位。一反は十畝。  
 やしゅるばぎ [jaçurupagı] [名] [植] [やしゅるば<sup>1</sup>ぎまい...] めどはぎ。村史参照。  
 やしり [jaçiri] [動 II 類 c 型] [やしー、やしん] やせる。やせること。細身になる。  
 やじり [jadzi] [動 II 類 a 型] [やじー、やじん] やじる。からかう。

やじり [jadzi] [動 II 類 a 型] [やじー、やじん]  
野次る。非難の言葉を浴びせる。

やすあがり [jasʌga] [名] [やすあが<sup>1</sup>りまい...]  
安上がり。費用の軽いこと。

やすー [jasɥ:] [名] [やすーまい...] やすり。金  
工や木工に使う工具。表面をなめらかにする工  
具。

やすぎ [jasɥkɥ] [名] [やす<sup>1</sup>ぎまい...] 屋敷。

やすぎあとう [jasɥkɥatu] [名] [やすぎあ<sup>1</sup>とうま  
い...] 屋敷跡。

やすぎがぎ [jasɥkɥgakɥ] [名] [やすぎが<sup>1</sup>ぎまい...]  
屋敷の垣。

やすぎがム [jasɥkɥgam] [名] [やすぎが<sup>1</sup>ムまい...]  
屋敷神。

やすぎだみ [jasɥkɥdami] [名] [やすぎだみまい...]  
屋敷祓い。

やすぎぬす [jasɥkɥnusɥ] [名] [やすぎぬ<sup>1</sup>すまい...]  
屋敷主。

やすしゃーり [jasɥʃa:] [形] [やす<sup>1</sup>しゃまい...]  
安い。値段が安い。安価である。【例】 やすむ  
ぬ (安い値段)。

やすしゃーり [jasɥʃa:] [形] [やす<sup>1</sup>しゃまい...]  
易い。簡単である。テストが簡単である。【例】  
すーやすしゃーり (しやすい)。

やすだい [jasɥdai] [名] [やすだ<sup>1</sup>いまい...] 安代。  
安価。【類】「すていだい」。

やすなう [jasɥnau] [動 I 類 c 型] [やすねー、やす  
なーん] 養う。動物にも人にも言う。【同】「や  
すぬー」。

やすぬー [jasɥnu:] [動 I 類 c 型] [やすねー、や  
すなーん] 養う。養育する。育てる。飼育する。  
【同】「やすなう」。

やすま<sup>1</sup>り [jasɥma] [動 I 類 c 型] [やすま<sup>1</sup>りー、や  
すまらん] 安まる。安心する。楽になる。

や<sup>1</sup>ずま<sup>1</sup>り [jadzɥma] [動 I 類 a 型] [や<sup>1</sup>ずま<sup>1</sup>りー、  
や<sup>1</sup>ずまらん] 家畜が年をとって子を産まなくな  
る。差別語。

や<sup>1</sup>ずま<sup>1</sup>り [jadzɥma] [動 I 類 a 型] [や<sup>1</sup>ずま<sup>1</sup>りー、  
や<sup>1</sup>ずまらん] 石女 (うまずめ) である。子を産  
めない女になる。

やすみ<sup>1</sup>り [jasɥmi] [動 II 類 c 型] [やすみー、や

すみん] 値段を安くする。

やすム [jasɥm] [動 I 類 c 型] [やすみー、やす  
まん] (太陽が) 沈む。太陽が地平線に隠れる。  
【例】 ムめ ていだー やすみった (太陽はもう  
沈んだ)。

やすム [jasɥm] [動 I 類 c 型] [やすみー、やすま  
ん] 休む。休暇。休養。

やすむぬ [jasɥmunu] [名] [やすむ<sup>1</sup>ぬまい...] 安  
物。安価。値段の安い物品。

やすむぬかう [jasɥmunukau] [名] [やすむぬか<sup>1</sup>  
うまい...] 安物買い。

やすやすていー [jasɥjasɥti:] [連語] 安々と。楽々  
と。いとも簡単に。難なく。

やだうり [jadauri] [名] [やだう<sup>1</sup>りまい...] 家倒  
れ。一家全滅。【同】「やどーり」。

やつ [jatsɥ] [名] [や<sup>1</sup>つまい...] 奴。いじわるを  
する人。

やつあた<sup>1</sup>り [jatsɥata] [名] [やつあた<sup>1</sup>りまい...]  
やつあたり。不満を言う。

やつうぶず [jatsɥupudzɥ] [名] [や<sup>1</sup>つうぶずま  
い...] 曾祖父母の父。

やっか [jakka] [感] 八束 (やつか)。スツウプナ  
カの歌の一節。ニコライ・ネフスキーによる。  
【例】 やつかふぬ つすうイー (八束穂の白飯)。

やっかい [jakkai] [形] [やっか<sup>1</sup>いまい...] 厄介。  
世話になること。

やっかいむぬ [jakkaimunu] [名] [やっかいむ<sup>1</sup>ぬ  
まい...] 厄介もの。厄介ごと。厄介者。

やっかやっか [jakkajakka] [連語] 「八束八束」。  
スツウプナカ祭場で人が唱える。八束 (やつか)  
とは拳の八握りである。作物の穂が八束ほどに  
実ることを願っている。

やっかん [jakkkan] [名] [やっか<sup>1</sup>んまい...] やか  
ん。湯わかし器。

やっさ [jassa] [名] [やっ<sup>1</sup>さまい...] 安さ。安い  
こと。

やっつき<sup>1</sup>り [jattsɥki] [動 II 類 c 型] [やっつき  
ー、やっつきん] やっつける。一気にやっつけ  
る。こてんぱにする。

やっとう [jattu] [副] やっと。ようやく。かろう  
じて。【例】 やっとうしー すまいー (やっとの

ことで終わった)。  
 やっとうかつとう [jattukattu] [副] やっこのこと。かろうじて。やっこの思い。【例】やっとうかつとう まにえー (かろうじて間に合った)。  
 やっとうしー [jattuçi:] [連語] やっこのこと。ようやく。かろうじて。【類】「やっとうにー」。  
 やっとうにー [jattuni:] [連語] やっこのこと。ようやく。かろうじて。【類】「やっとうしー」。  
 やつぱー [jatsɣpa:] [名] [やつぱ<sup>1</sup>ーまい...] 曾祖父の母。  
 やつムまが [jatsɣmmaga] [名] [やつムまがまい...] やしゃご。玄孫。  
 やつん [jatsɣn] [名] [やつ<sup>1</sup>んまい...] 家賃。借り賃。  
 やつんぎ [jatsɣnɣ] [動 I 類 c 型] [やつんきー、やつんかん] 注意する。思いとどまらせる。  
 やでい [jadi] [副] きっと。推測を表わす。【例】やでい くーんーだら (きっと来るでしょう)。  
 やどう [jadu] [名] [やどうま<sup>1</sup>い...] 屋戸。戸。扉。  
 やどう [jadu] [名] [やどうま<sup>1</sup>い...] 宿。泊る場所。  
 やとうー [jatu:] [名] [やとうー<sup>1</sup>ゆまい...] やいと。灸。  
 やとうー [jatu:] [動 I 類 c 型] [やてー、やたーん] 雇う。仕事をさせるために雇うこと。  
 やとうーふしや [jatu:fuça] [名] [植] [やとうー<sup>1</sup>ふしやまい...] 蓬 (よもぎ)。【類】「やとうーふつ」。  
 やとうーふつ [jatu:futsɣ] [名] 蓬 (よもぎ)。【類】「やとうーふしや」。  
 やどうがい [jadugai] [名] [やどうが<sup>1</sup>いまい...] 宿替え。  
 やどうかり [jaduka] [名] [やどうか<sup>1</sup>りまい...、や<sup>1</sup>どうかりまい...] 宿借り。宿泊する。  
 やどうつん [jadutsɣn] [名] [やどうつ<sup>1</sup>んまい...、や<sup>1</sup>どうつんまい...] 宿賃。宿泊料。  
 やどうばすー [jadubaşɣ:] [名] [やどうばす<sup>1</sup>ーまい...] 戸。雨戸。板戸。扉。【類】「ばすーやど

う

やどうふつ [jadufutsɣ] [名] [やどうふ<sup>1</sup>つまい...] 戸口。入り口。出口。出入口。  
 やとうム [jatum] [助] ~でも。~さえも。【例】あんしーやとうム しゅだからーなー (そんなにでもしないと)。  
 やどうむり [jadumu] [名] [貝] [やどうむ<sup>1</sup>りまい...] くもがい。すいじがい。【類】「やどうむりぐー」。  
 やどうむりぐー [jadumuɣu:] [名] [貝] くもがい。すいじがい。【類】「やどうむり」。  
 やどうや [jaduja] [名] [やどう<sup>1</sup>やまい...] 宿屋。旅館。  
 やどうゆム [jadujum] [名] [やどうゆ<sup>1</sup>ムまい...] 家内の口論。夫婦げんか。  
 やどーり [jado:ri] [名] [やどー<sup>1</sup>りまい...] 家倒れ。一家全滅。【同】「やだうり」。  
 やなーちゃ [jana:çə] [副] ゆっくり。こっそり。静かに。【例】やなーちゃ ありき (ゆっくり歩きなさい)。  
 やなーらがま [jana:ragama] [副] ゆるく。よわく。ていねいに。  
 やなヴえーがり [janave:ga] [動 I 類 a 型] [やなヴえーがりー、やなヴえーがらん] 役に立たない成長の仕方をする。  
 やなうむくとう [janaumukutu] [名] [やなうむく<sup>1</sup>とうまい...] 悪知恵。  
 やなかーぎ [janaka:gi] [名] [やなかー<sup>1</sup>ぎまい...] 醜い容貌。【類】「やなムまり」。  
 やなかくず [janakakudzɣ] [名] [やなかく<sup>1</sup>ずまい...] 醜い顔や体。面構えの醜いこと。  
 やなかんがい [janakangai] [名] [やなかんが<sup>1</sup>いまい...] 悪い考え。よこしまな考え。悪企み。  
 やなギごーり [janagɣgo:ri] [名] [やなギごーりまい...] 柳行李。旅行かばん。  
 やなギむ [janagɣmu] [名] [やなギ<sup>1</sup>むまい...] 悪肝。悪い心。  
 やなギむつ [janagɣmutsɣ] [名] [やなギむ<sup>1</sup>つまい...] 悪い心持ち。  
 やなぐくる [janagukuru] [名] [やなぐく<sup>1</sup>るまい...] 悪い心。  
 やなぐとう [janagutu] [名] [やなぐ<sup>1</sup>とうまい...]

- いやな事。悪事。凶事。不吉。
- やなぐんギ [janagunkɿ] [名] [やなぐん<sup>1</sup>ぎまい...]  
悪根気。とても強い根気。粘り強さ。悪事を働くための粘り強さ。
- やなくんじやう [janakundzau] [名] [やなくんじやうまい...] 悪い根性。悪い性癖。【同】「やなくんじよー」。
- やなくんじよー [janakundzo:] [名] [やなくんじよーまい...] 悪い根性。悪い性癖。【同】「やなくんじやう」。
- やなしや [janaça] [名] [やな<sup>1</sup>しゃまい...] 悪さ。悪いこと。
- やなしやーゾ [janaça:] [形] [やな<sup>1</sup>しゃまい...] いやな。悪い。【例】やなふつ (いやな言葉)。  
やなピとう (悪い人)。
- やなじやい [janadzai] [名] [やなじや<sup>1</sup>いまい...] 悪才。悪事に長ける人。
- やなすぐとう [janaɟgutɯ] [名] [やなすぐ<sup>1</sup>とうまい...] 悪い仕事。苦しい仕事。【類】「やなわじゃ」。
- やなだくム [janadakum] [名] [やなだく<sup>1</sup>ムまい...] 悪企み。
- やなでいんギ [janadinkɿ] [名] [やなでいん<sup>1</sup>ギまい...] 悪い天気。悪い天候。雨天。【類】「やなわ一つギ」。
- やなどうす [janadusɿ] [名] [やなどう<sup>1</sup>すまい...] 悪い年。凶年。凶作の年。不作の年。
- やなどうす [janadusɿ] [名] [やなどう<sup>1</sup>すまい...] 悪い友。悪友。
- やななら一す [jananarasɿ] [名] [やななら一すまい...] 悪い教え。悪いしつけ。わがまま育ち。
- やなならイ [jananaraɿ] [名] [やななら<sup>1</sup>イまい...] 悪い習い。悪い習慣。
- やなばた [janabata] [名] [やなばたまい...] 悪腹。気の荒い人。意地悪な人。
- やなピ [janabɿ] [名] [やな<sup>1</sup>ピまい...] 凶日。悪いことが生じる日。
- やなピかず [janapɿkadzɿ] [名] [やなピか<sup>1</sup>ずまい...] 悪い日。悪い日柄。凶の日。縁起の悪い日。
- やなピとう [janapɿtu] [名] [やなピ<sup>1</sup>とうまい...] 悪い人。悪人。
- やなぶーギ [janapu:kɿ] [名] [やなぶーギまい...] 悪疫。疫病。悪い風邪。流行性の病気。
- やなふし [janafuɕi] [名] [やなふしまい...] 悪い癖。
- やなふしや [janafuça] [名] [やなふ<sup>1</sup>しまい...] 雑草。
- やなふつ [janafutsɿ] [名] [やなふつまい...] 悪口。
- やなまずむぬ [janamadzɿmunu] [名] [やなまずむ<sup>1</sup>ぬまい...] この野郎。この馬鹿者め。化け物。
- やなみー [janami:] [名] [やなみ<sup>1</sup>ーまい...] いやな目つき。
- やなみつ [janamitsɿ] [名] [やなみ<sup>1</sup>つまい...] 悪い道。どろんこ道。石ころ道。
- やなみどうム [janamidum] [名] [やなみどう<sup>1</sup>ムまい...] いやな女。悪女。
- やなむぬ [janamunu] [名] [やなむぬまい...] 悪い者。悪霊。悪魔。よごれ物。
- やなムまり [janammari] [名] [やなムま<sup>1</sup>りまい...] 育ちが良くない人。醜い容貌。またはその人。
- やなやム [janajam] [名] [やなや<sup>1</sup>ムまい...] 悪い病気。悪疫。
- やなやらび [janajarabi] [名] [やなやら<sup>1</sup>びまい...] 悪童。いたずらっ子。
- やなりくつ [janarikutsɿ] [名] [やなりく<sup>1</sup>つまい...] 悪い理屈。へりくつ。
- やなわ一つギ [janavatsɿkɿ] [名] [やなわ一つ<sup>1</sup>ギまい...] 悪い天気。悪い天候。雨天。【類】「やなでいんギ」。
- やなわじゃ [janavadza] [名] [やなわ<sup>1</sup>じゃまい...] 悪い仕事。苦しい仕事。【類】「やなすぐとう」。
- やなわちやく [janavatçaku] [名] [やなわちやく<sup>1</sup>くまい...] 悪ふざけ。意地悪。故意にいたずらすること。
- やなんじゃ [janandza] [名] [やなん<sup>1</sup>じゃまい...] 悪い奴。野郎。
- やぬかム [janukam] [名] [やぬかムまい...] 家の神。【同】「やーぬかム」。
- やぬす [janusɿ] [名] [やぬすまい... やぬ<sup>1</sup>すま

い...) 家主。主人。大家。【同】「やーぬす」。【類】「やーぬぬす」。

やばあみ [japaami] [名] [やばあ<sup>1</sup>みまい...] 静かに降る雨。やわら雨。細い雨。こぬか雨。

やばーやば [japa:japa] [重複] とても柔らかいこと。やんわり。たおやか。しなやか。優美でなよなよしている。

やばい [japai] [感] よかった。でかした。【例】やばいどー (でかしたなあ)。

やばぐい [japagui] [名] [やばぐ<sup>1</sup>いまい...] 穏やかな声。やさしい声。

やばしゃーり [japaça:] [形] [やばしゃまい...] 柔らかい。しなやか。たわむ。【例】やばむつー (やわらかい餅)。やばだき (たわむ竹)。

やばだき [japadaki] [名] [やばだきまい...] たわむ竹。

やばみかす [japamikas:] [動 I 類 c 型] [やばみかしー、やばみかしゃん] 柔らかくする。

やばみぎ [japamik:] [動 I 類 c 型] [やばみきー、やばみかん] 柔らかくなる。やわらぐ。【例】あみぬ やばみぎ (雨が小降りになる)。

やばむぬ [japamunu] [名] [やばむぬまい...。やばむ<sup>1</sup>ぬまい...] 柔らかいもの。柔らかい食べ物。大人しい人。

やばむぬイー [japamunui:] [名] [やばむぬイーまい...] 柔らかい話をする。柔らかい口調で話す。

やばやばてー [japajapati:] [連語] やんわりと。しなやかに。

やばらぎ [japarak:] [動 I 類 a 型] [やばらきー、やばらん] 柔らかく。柔らかくなる。弱くなる。【例】ていだぬ やばらきった (太陽が弱くなった)。うやぬ やばらきった (親父がやわらかくなった。厳しさがなくなった)。

やばらす [japaras:] [動 I 類 a 型] [やばらしー、やばらん] 柔らかくさせる。疲れた後の酒のこと。

やばり [japa:] [動 I 類 c 型] [やばりー、やばらん] 柔らかくなる。弱くなる。

やばりり [japari:] [動 II 類 c 型] [やばりー、やばりん] 柔らかくなる。

やばん [jaban] [形] [やば<sup>1</sup>んまい...] 野蛮。粗暴。

やふ [jafu] [名] [やふまい...] 厄。わざわい。

やぶ [jabu] [名] [やぶまい...] やいとす人。鍼灸師。

やぶいしゃ [jabuiça] [名] [やぶいしゃまい...] 人気がない医者。

やふつ [jafuts:] [名] [やふつまい...] その人の生まれながらの動作。格好。

やふっずー [jafuddz:] [名] [やふっず<sup>1</sup>ーまい...] 家の中をあさること。家中を探し回ること。【同】「やーふっずー」。

やふどうす [jafudus:] [名] [やふどうすまい...] 厄年。生れ年。

やふばらイ [jafubara:] [名] [やふばら<sup>1</sup>イまい...] 厄祓い。厄払い。

やふばり [jafubari] [名] [やふばりまい...] 厄はれ。厄がはれる。

やぶらいり [jaburai:] [動 II 類 c 型] [やぶらいー、やぶらいん] 破られる。こわされる。

やぶり [jabu:] [動 I 類 c 型] [やぶりー、やぶらん] 破る。こわす。

やぶりむぬ [jaburimunu] [名] [やぶりむ<sup>1</sup>ぬまい...] 破れもの。こわれもの。

やぶりり [jaburi:] [動 II 類 c 型] [やぶりー、やぶりん] 破れる。壊れる。

やま [jama] [接頭] 野生の。野良。【例】やまいな (野良犬)。

やま [jama] [名] [やま<sup>1</sup>まい...] 山。林。山林。茂み。野山。

やま [jama] [名] [や<sup>1</sup>ままい...] 機。【例】ばにやま (うずら捕獲機)。うすやま (耕運する機)。むっすうやま (むしろ織り機)。ぬぬうりやま (織機)。

やま [jama] [名] [や<sup>1</sup>ままい...] 罫。【例】ばにやま (うずら捕獲の罫)。

やまいな [jamaina] [名] [やまい<sup>1</sup>なまい...] 山犬。野良犬。

やまうく [jamauku] [名] [やまうく<sup>1</sup>まい...] 山奥。

やまかしゃ [jamakaça] [副] 山嵩。たくさん。大

勢。多数。分量の多いこと。【同】「やましゃか」。

やまがじゃム [jamagadzam] [名] [やまがじゃ<sup>1</sup>ムまい...] やぶ蚊。

やまがみ [jamagami] [名] [やまが<sup>1</sup>みまい...] 陸亀。

やまぐ [jamagu] [名] [やま<sup>1</sup>ぐまい...] 悪い奴。ずるい奴。乱暴者。どろぼう。

やまぐみ [jamagumi] [名] [やまぐ<sup>1</sup>みまい...] 山にこもること。

やましゃか [jamaçaka] [副] たくさん。大勢。多数。分量の多いこと。【例】あがどう やましゃか(私の分け前の方が多)。【同】「やまかしや」。

やまじゆく [jamadzuku] [名] [やまじゆくまい...] 山底。山奥。

やまじゆく [jamadzuku] [名] [やまじゆくまい...] 森の奥。林の奥。森の深い所。

やます [jamasu] [動I類c型] [やましー、やましやん] 痛める。怪我させる。病気にさせる。

やますかま [jamasukama] [名] [やますか<sup>1</sup>まい...] 山仕事。あだん葉とり。あだなすとり。薪とり。植林。【類】「やますぐとう」。「やますくつ」。「やまわじゃ」。

やますくつ [jamasukutsu] [名] [やますく<sup>1</sup>まい...] 山仕事。あだん葉とり。あだなすとり。薪とり。植林。【類】「やますかま」。「やますぐとう」。「やまわじゃ」。

やますぐとう [jamasugutu] [名] [やますぐ<sup>1</sup>まい...] 山仕事。あだん葉とり。あだなすとり。薪とり。植林。【類】「やますかま」。「やますくつ」。「やまわじゃ」。

やますけ [jamasuke] [副] たくさん。どっさり。山ほど。【例】きゅーや やますけぬ いしゅ(今日は山ほどの大漁だ)。

やまずム [jamadzum] [名] [やまず<sup>1</sup>ムまい...] 山積み。仕事の多いこと。

やまだつ [jamadatsu] [名] [やまだつまい...] 下痢。くそ放(ひ)り。【類】「ふしゅピー」。

やまだつふしゅ [jamadatsufucu] [名] [やまだつふ<sup>1</sup>しゅまい...] 下痢便。

やまつすう [jamassu] [名] [植] [や<sup>1</sup>まつすう<sup>1</sup>

まい...] しまやまひはつ。

やまでいき [jamadiki] [名] [やまでい<sup>1</sup>きまい...] 山出来。たくさん取れること。

やまとう [jamatu] [名] [やま<sup>1</sup>とうまい...] やまと。大和。日本本土。

やまとうしゃうがつ [jamatuçaugatsu] [名] [やまとうしゃ<sup>1</sup>うがつまい...] 大和正月。新暦の一月一日。【同】「やまとうしょーがつ」。

やまとうしゅが<sup>1</sup>り [jamatuçuga] [名] [やまとうしゅが<sup>1</sup>りまい...] 和装。

やまとうしょーがつ [jamatuço:gatsu] [名] [やまとうしょ<sup>1</sup>ーがつまい...] 大和正月。新暦の一月一日。【同】「やまとうしゃうがつ」。

やまとうた<sup>1</sup>び [jamatutabi] [名] [やまとうた<sup>1</sup>びまい...] 本土旅行。

やまとうちゃー [jamatutça:] [名] [やまとうちゃ<sup>1</sup>ーまい...] 本土からの土産の茶。緑茶。

やまとうとうムば<sup>1</sup>ら [jamatutumbara] [名] [地] [やまとうとうムば<sup>1</sup>らまい...] 大和岩。大和人の流れついたところとされている。

やまとうな<sup>1</sup>ー [jamatuna:] [名] [やまとうな<sup>1</sup>ーまい...] 大和名。戸籍上の名前。【類】「がっこーな<sup>1</sup>ー」。

やまとうなが<sup>1</sup>ゆ [jamatunagaju] [名] [魚] [やまとうなが<sup>1</sup>ゆまい...] むつぶり。ぶりの仲間。

やまとうば<sup>1</sup>か [jamatubaka] [名] [やまとうば<sup>1</sup>かまい...] 大和墓。

やまとうば<sup>1</sup>な [jamatubana] [名] [植] [やまとうば<sup>1</sup>なまい...] あざみ。海辺に生える。

やまとう<sup>1</sup>びとう [jamatupitu] [名] [やまとう<sup>1</sup>びとうまい...] 大和人。本土の人。

やまとうふ<sup>1</sup>つ [jamatufutsu] [名] [やまとうふ<sup>1</sup>つまい...] 大和語。日本語。共通語。

やまとうふ<sup>1</sup>ぬ<sup>1</sup>ー [jamatufunu:] [名] [やまとうふ<sup>1</sup>ぬ<sup>1</sup>ーまい...] 温州ミカン。【類】「ま<sup>1</sup>ーふ<sup>1</sup>ぬ<sup>1</sup>ー」。

やまどう<sup>1</sup>み [jamadumi] [名] [やまどう<sup>1</sup>みまい...] 山止め。旧暦二月と八月に行われる行事。

やまとうむ<sup>1</sup>ぬ [jamatumunu] [名] [やまとうむ<sup>1</sup>ぬまい...] 大和物。本土の人。他府県の人。

やまとうゆ<sup>1</sup>ー [jamatuju:] [名] [やまとうゆ<sup>1</sup>ーま

い...] 大和世。現在の時代。

やまなギ [jamanag] [名] [やまな<sup>1</sup>ギまい...] 鉈。まさかり。草木を切り開くの用に用いる。

やまにか [jamanika] [名] [やまに<sup>1</sup>かまい...] 山猫。野良猫。

やまぬかム [jamanukam] [名] [やまぬか<sup>1</sup>ムまい...] 山の神。また、ちょっとふざけた人。

やまぬなか [jamanunaka] [名] [やまぬな<sup>1</sup>かまい...] 山の中。山中。【類】「やまぬみー」。

やまぬみー [jamanumi:] [名] [やまぬみーまい...] 山の中。山中。林の中。茂みの中。【類】「やまぬなか」。

やまばき [jamabaki] [名] [やまば<sup>1</sup>きまい...] 山分け。分け前が多いこと。

やまばん [jamaban] [名] [やまば<sup>1</sup>んまい...] 山番。山の監視。

やまピギぱ<sup>1</sup> [jamap<sup>1</sup>k<sup>1</sup>pa] [名] [植] [やまピギぱ<sup>1</sup>まい...] へくそかずら。

やまびっしや [jamapiçça] [名] [やまびっ<sup>1</sup>しまい...] 山筆者。山番人。琉球王国の役人。

やままうき [jamamauki] [名] [やままう<sup>1</sup>きまい...] 山儲け。大儲け。ぼろ儲け。【同】「やまも一き」。

やまみたな [jamamitana] [名] [鳥] [やまみた<sup>1</sup>なまい...] おおくないな。

やまみつ [jamamits] [名] [やまみ<sup>1</sup>つまい...] 山道。林道。

やまも一き [jamamo:ki] [名] [やまも一<sup>1</sup>きまい...] 山儲け。大儲け。ぼろ儲け。【同】「やままうき」。

やまやま [jamajama] [名] [やまや<sup>1</sup>ままい...] 山々。たくさん。【例】ばなすぬ やまやま (話はたくさんある)。

やまわじゃ [jamabadza] [名] [やまわ<sup>1</sup>じゃまい...] 山仕事。あだん葉とり。あだなすと。薪とり。植林。【類】「やますかま」。「やますぐとう」。「やますくつ」。

やみつ [jamiss] [動I類c型] [やみっしー、やみっしやん] 辞めさせる。役職から外す。

やみり [jami] [動II類a型] [やみー、やみん] やめる。とめる。おわる。辞める。【例】やみらいん (やめられない)。やみる (やめなさい)。

やム [jam] [動I類c型] [やみー、やまん] 痛む。病気になる。

やムあとう [jam.atu] [名] [やムあ<sup>1</sup>とうまい...] 病気の後。病後。

やムあばなギ [jam.apanak] [動I類c型] [やムあばなきー、やムあばなかん] 病気になるやがる。病気になることを憎んで言う。

やむいん [jamuin] [連語] やむを得ない。

やムーやム [jamm.jam] [重複] 痛いのが止まらない。

やムがーしゃーり<sup>1</sup> [jamga:ça:] [形] [やムがー<sup>1</sup>しまい...] 疲れきった。過労。

やムぎしゃーり<sup>1</sup> [jamgiça:] [形] [やムぎ<sup>1</sup>しまい...] 痛そうである。見ていて痛そうである。

やムくーしゃーり<sup>1</sup> [jamku:ça:] [形] [やムくー<sup>1</sup>しまい...] 痛み苦しむ。病気で苦しむ。

やムぐまり [jamguma] [名] [やムぐま<sup>1</sup>りまい...] 病気で家に居ること。仕事をしないこと。

やムしゃーり<sup>1</sup> [jamça:] [形] [やム<sup>1</sup>しまい...] 痛いこと。

やムしゃむイ [jamçamu] [名] [やム<sup>1</sup>しゃむイまい...] 痛さに弱いこと。痛がりや。

やムどうくな [jamdukuna] [名] [やムどうく<sup>1</sup>なまい...] 痛い部分。患部。【同】「やムどうくま」。

やムどうくま [jamdukuma] [名] [やムどうく<sup>1</sup>ままい...] 痛い部分。患部。【同】「やムどうくな」。

やムぬ くーしゃ [jamnu ku:ça] [名] [やム<sup>1</sup>ぬくーしゃ<sup>1</sup>まい...] 痛い苦しみ。病気の苦しみ。

やムぱギ [jampag] [名] [やムぱ<sup>1</sup>ギまい...] 痛い足。怪我した足。

やムばなす [jambanas] [名] [やムばな<sup>1</sup>すまい...] 病気の話。病人の話。

やムばる [jambaru] [名] [やムば<sup>1</sup>るまい...] 山原。沖縄本島の北部地域。

やムばるしん [jambaruçin] [名] [やムば<sup>1</sup>るしんまい...] 山原船。〈やムばる〉船。〈まーらん〉船。

やムピとう [jampitu] [名] [やムピ<sup>1</sup>とうまい...] 病人。【類】「やムむぬ」。

やムふーり<sup>1</sup> [jamfu:] [名] [やムふー<sup>1</sup>りまい...] 病気のふり。仮病。僻病。

やまー [jamma:] [感] 違うでしょう。間違ったことを聞いた人が否定するときを使う。

やままいび [jammaibi] [名] [やままい<sup>1</sup>びまい...] 痛いまね。仮病。

やむむつむぬ [jammutsjmunu] [名] [やむむつむ<sup>1</sup>ぬまい...] 病気持ちの人。持病のある人。

やムむぬ [jammunu] [名] [やむむ<sup>1</sup>ぬまい...] 病人のこと。【類】「やムビとう」。

やら [jara] [助] ~だろうか。~かもしれない。【例】あんしーがやら っさいん (そうかも知れない)。

やらーかしやー<sup>1</sup> [jara:kaca:] [形] [やらーかしやまい...] 柔らかい。【例】やらーか むみ (やわらくもみなさい)。

やらい<sup>1</sup> [jarai] [動II類] [やらいー、やらいん] やられる。やられてしまう。負けてしまう。

やらい<sup>1</sup> [jarai] [動II類a型] [やらいー、やらいん] 縄をかける。縄を交わりあわせる。車の荷台の荷が落ちないように縄をしっかりかける。和服の襟を合わせる。

やらう [jarau] [名] [植] [やらうまい...] てりはぼく。【同】「やろー」。

やらうぎー [jaraugi:] [名] [植] [やらうぎーまい...] てりはぼくの木。【同】「やろーぎー」。

やらうぎーやま [jaraugi:jama] [名] [植] [やらうぎーやままい...] てりはぼくの林。【同】「やろーぎーやま」。

やらうやま [jaraujama] [名] [植] [やらうやままい...] てりはぼくの林。【同】「やろーやま」。

やらぎ<sup>1</sup> [jaragi] [動II類a型] [やらぎー、やらぎん] 屋根の上に投げる。車の荷台の上に投げる。

やらし [jaraçi] [感] やっつけよ。がんばれ。退治することに言う。勝負のとき、激励の意味。

やらし [jaraçi] [連語] どれか。よこせ。【例】うれー ばが むぬ あげば やらし (それはぼくのものだ、よこせ)。

やらしー うつぎ [jaraçi: utsjki] [連語] やっつける。

やらしー ギー [jaraçi: ki:] [連語] ついにやって来る。元気よくやって来る。

やらしー ねーん [jaraçi: ne:n] [連語] 予想していた通りに失敗するときにする。思っていたことが起きる。【類】「やらしった」。

やらしった [jaraçitta] [連語] 予想していた通りに失敗するときにする。思っていたことが起きる。【類】「やらしーねーん」。

やらしよー [jaraçijo:] [連語] 頑張れよう。負けるなよう。

やらす [jarasj] [動I類a型] [やらしー、やらしやん] 破らせる。故障させる。

やらす [jarasj] [動I類a型] [やらしー、やらしやん] 行かせる。【例】ぴんだう つかぬーが やらす (山羊の世話をしに行かす)。

やらす [jarasj] [動I類a型] [やらしー、やらしやん] しでかす。やらかす。【例】やらすどうすていー うめー ぶた<sup>1</sup> (しでかすだろうと思っていた)。

やらすめー [jarasjme:] [名] [やらすめーまい...] やり合うこと。喧嘩。競争。

やらすんぎ [jarasjnki] [動I類a型] [やらすんぎー、やらすんかん] 殴り合いをする。やっつける。【例】やらすんぎった (殴り合いが始まった)。

やらすんぎ [jarasjnki] [動I類a型] [やらすんぎー、やらすんかん] 勢いよく仕事をする。しでかす。大成功する。大漁する。【例】やらすんぎった (勢いよく仕事を終えた)。

やらでい<sup>1</sup> [jaradi] [動II類a型] [やらでいー、やらでいん] 重ねる。着物の裾を重ねる。

やらばどう [jarabadu] [連語] だったら。なら。だから。【例】かぬ やらび やらばどう (あの子だから)。

やらばまい [jarabamai] [連語] であっても。【例】ヴヴァ やらばまい しらいどうすどー (君であっても出来るよ)。【類】「やらばム」。

やらばム [jarabam] [連語] であっても。【例】あん やらばム な<sup>1</sup>りどうすどー (ぼくであってもできるよ)。【類】「やらばまい」。

やらび [jarabi] [名] [やら<sup>1</sup>びまい...] わらべ。童。子供。少年少女。

やらび あげけ [jarabi a|ke] [連語] 子どもの頃

に。子どもの時に。【類】「やらびばな」。「やらびばだ」。

やらびあつかう [jarabiatsɰkau] [名] [やら<sup>1</sup>びあつかうまい...] 子供扱い。子供と付き合う子は難しいということ。

やらびえーぐ [jarabie:gu] [名] [やら<sup>1</sup>びえーぐまい...] 童謡。

やらびがいり [jarabigai] [動I類c型] [やらびがいりー、やらびがいらん] 子ども返る。老人は子供に似ているということ。

やらびきむ [jarabikɰmu] [名] [やら<sup>1</sup>びきむまい...] 童心。ぼけること。老人は童心になるということ。

やらびしゃーりけ [jarabiɕa:ke] [連語] 子どもの頃に。子どもの時に。

やらびすかす [jarabisɰkasɰ] [名] [やら<sup>1</sup>びすかすまい...] 子どもだまし。子どもをなだめる。

やらびつくー [jarabitsɰku:] [名] [やら<sup>1</sup>びつくーまい...] 子ども使い。【例】やらびゆくーやどーつくー（仕事のできない子供に頼むことは、結局自分がしなければならぬ）。

やらびっじゃしゃーり [jarabiddzɕa:ɰ] [形] [やらびっじゃしゃまい...] 子どもっぽい。幼稚。

やらびっじゃむぬ [jarabiddzamunu] [名] [やらびっじゃむぬまい...] 子どもっぽい人。だだをこねる人。

やらびとうず [jarabitudzɰ] [名] [やら<sup>1</sup>びとうずまい...] 若い妻。幼い妻。

やらびどうす [jarabidusɰ] [名] [やら<sup>1</sup>びどうすまい...] 幼なじみ。幼い友だち。

やらびなー [jarabina:] [名] [やらびなーまい...] わらび名。童名。方言で呼ぶ名前。

やらびぬ くい [jarabinu kui] [名] [やらび<sup>1</sup>ぬくい「まい...」] 子どもの声。

やらびぬ けー [jarabinu ke:] [名] [やらび<sup>1</sup>ぬけー「まい...」] 子ども達。

やらびぬ たいしやう [jarabinu taiɕau] [名] [やらび<sup>1</sup>ぬたいしやう「まい...」] 子どもの大将。子どもを引きつれて遊ぶ人。【同】「やらびぬたいしよー」。【類】「ムまだいしよー」。

やらびぬ たいしよー [jarabinu taiɕo:] [名] [や

らび<sup>1</sup>ぬたいしよー「まい...」] 子どもの大将。子どもを引きつれて遊ぶ人。【同】「やらびぬたいしやう」。【類】「ムまだいしよー」。

やらびばーっふい [jarabiba:ffɰ] [名] [やらび<sup>1</sup>ばーっふい「まい...」] 子どもをからかう。

やらびばだ [jarabipada] [名] [やら<sup>1</sup>びばだまい...] 子どもの頃。子ども時分。【例】やらびばだぬえーぐ（子供の頃の歌）。【類】「やらびばな」。

やらびばな [jarabibana] [名] [やら<sup>1</sup>びばなまい...] 子どもの頃。子ども時分。【例】やらびばなぬぎん（子供の頃の着物）。【類】「やらびばだ」。

やらびむつ [jarabimutsɰ] [名] [やら<sup>1</sup>びむつまい...] 子持ち。子どもを養うこと。子育て中であること。

やり [ja] [名] [やりま<sup>1</sup>い...] 槍（やり）。鉾（もり）。【類】「いぐム」。「まばり」。「やりずぎ」。

やり [ja] [動I類a型] [やりー、やらん] 投げる。【例】ほーがなんゆ やりぐまた（砲丸を投げるべきだ）。やる やりぐまた（槍投げをするべきだ）。ぼーー やりペー（投手）。

やり [ja] [動I類a型] [やりー、やらん] 破る。こわす。【例】やりな（破るな。こわすな）。

やり [ja] [連語] ~だぞ。~そうだ。【例】きうどう やり（今日だぞ）。なまどう やり（今だぞ）。はかしん なりら なまどう やり（博士になるには今だぞ）。

やり [jari] [名] [やりま<sup>1</sup>い...] 破れ。こわれ。【例】やりむぬ（破れもの）。

やりあみ [jaami] [名] [やりあ<sup>1</sup>みまい...] 家の中へ吹き込まれてくる雨。

やりがい [jarigai] [名] [やりが<sup>1</sup>いまい...] やり甲斐。

やりがに [jarigani] [名] [やりが<sup>1</sup>にまい...] 鉄くず。古鉄。

やりぎん [jarigin] [名] [やりぎ<sup>1</sup>んまい...] 破れた着物。ぼろ。

やりしやな [jaricana] [名] [やりしや<sup>1</sup>なまい...] 破れた傘。

やりずー [ja[dzɰ:] [名] [やりずーまい...] 投げ釣り。陸上から糸についた竿で魚を釣る。

やりずぎ [ja[dzɰkɰ] [名] [やりずぎまい...] 鉾。

魚を突き刺す先端のところがった漁具。【類】「いぐム」「まぼり」「やり」。

やりだう [jaridau] [名] [やりだ<sup>1</sup>うまい...] 破れた道具。こわれた道具。古道具。【同】「やりどー」。

やりてい [jariti] [名] [やりていまい...] やり手。仕事の名人。仕事に有能な人。

やりとうり [jaritulu] [名] [やりとう<sup>1</sup>りまい...] やりとり。物を取り交わすこと。

やりどー [jarido:] [名] [やりど<sup>1</sup>ーまい...] 破れた道具。こわれた道具。古道具。【同】「やりだう」。

やりなぎ [jarinagi] [名] [やりな<sup>1</sup>ぎまい...] 槍投げ。槍投げ競技。

やりなぎり [janagi] [動 II 類 a 型] [やりなぎー、やりなぎん] 投げ飛ばす。投げ捨てる。不用物を投げ捨てる。仕事を途中でやめること。忍耐力のないこと。

やりばーき [jariba:ki] [名] [やりば<sup>1</sup>ーきまい...] 破れた箕。破れたざる。

やりふつ [jarifuts] [名] [やりふつまい... やりふ<sup>1</sup>つまい...] 破れている所。裂け目。こわれ目。

やりふとうてい [jarifututi] [名] [やりふとうていまい...] 破れ腐れ。ぼろぼろ。

やりふとうていむぬ [jarifututimunu] [名] [やりふとうていむ<sup>1</sup>ぬまい...] 破れ腐れたもの。ぼろぼろになったもの。

やりふとうていり [jarifututi] [動 II 類 c 型] [やりふとうていー、やりふとうていん] 破れ腐れる。ぼろぼろになる。

やりむぬ [jarimunu] [名] [やりむ<sup>1</sup>ぬまい...] 破れもの。こわれもの。朽ちたもの。使い古し。

やりやー [jarija:] [名] [やりや<sup>1</sup>ーまい...] こわれた家。古い家。ぼろ家。

やりり [jari] [動 II 類 c 型] [やりー、やりん] 破れる。こわれる。【例】ギんぬ やりー ぶり (着物が破れている)。やりー すている (破って捨てよ)。

やりんぎ [januki] [動 I 類 a 型] [やりんきー、やりんかん] 投げ込む。口に放り込む。海に飛び

込む。

やろー [jaro:] [名] [植] [やろーまい...] てりはぼく。【同】「やらう」。

やろーぎー [jaro:gi:] [名] [植] [やろーぎーまい...] てりはぼくの木。【同】「やらうぎー」。

やろーぎーやま [jaro:gi:jama] [名] [植] [やろーぎーやままい...] てりはぼくの林。【同】「やらうぎーやま」。

やろーぬすた [jaro:nusuta] [名] [地] [やろーぬす<sup>1</sup>たまい...] 水納島の里の名。

やろーやま [jaro:jama] [名] [植] [やろーやままい...] てりはぼくの林。【同】「やらうやま」。

やんちゃ [jantca] [名] [やんちゃまい...] わがままな子ども。言いつけを守らない子ども。

## — ゆ —

- ゆ [ju] [助]～を。対格助詞。【例】ぬーゆが みーぶりが (何を見ているか)。あが みーゆ みーる (私の目を見なさい)。ゆーゆ ぱらし (お湯を注ぎなさい)。【同】「う」。
- ゆ [ju] [終]～よ。【例】かまんど う ぶりばゆ (向こうにいるよ)。
- ゆイ [ju:] [名] [ゆ<sup>1</sup>イまい...] 夕飯。夕食。晩ごはん。
- ゆイ [ju:] [名] [ゆイまい...] 結い。相互扶助。奉仕すること。仕事を交換条件にすること。
- ゆイ [ju:] [名] [ゆ<sup>1</sup>イまい...] 夕方。夜。夜間。
- ゆい [ju:] [名] [ゆ<sup>1</sup>いまい...] 故。せい。ため。【例】まきたりろー あが ゆい (負けたのは私のせいだ)。【類】「たみ」「つめ」。
- ゆいヴヴあ [juivva] [名] [ゆいヴ<sup>1</sup>ヴあまい...] もらい子。養子。
- ゆイうーす [ju:us:] [名] [ゆイうー<sup>1</sup>すまい...] 結請わし。仕事を請けること。自分の次の仕事のために奉仕する。
- ゆイカヴヴイ [ju:kavv:] [名] [ゆイカヴヴイまい...] 結い被り。結いの義務を負うこと。結いの義務を果たしたこと。
- ゆいぐん [juigun] [名] [ゆいぐ<sup>1</sup>んまい...] 遺言。
- ゆいしゃー [ju:ša:] [名] [ゆ<sup>1</sup>いしゃーまい...] ぶらんこ。ぶらんこ遊び。
- ゆイすーあぐ [ju:su:agu] [名] [ゆ<sup>1</sup>イすーあぐまい...] 結いの仕事をする仲間。
- ゆイにんじゆ [ju:nindzu] [名] [ゆイにんじゆまい...] 結い人衆。人数。
- ゆいのー [juino:] [名] [ゆいの<sup>1</sup>ーまい...] 結納。
- ゆイばり [ju:bari] [名] [ゆイばりまい...] 結い晴れ。結いの義務を果たすこと。
- ゆイふーずぶん [ju:fu:dzɔ:bun] [名] [ゆ<sup>1</sup>イふーずぶんまい...] 夕食の時分。夕飯どき。
- ゆイふーぶす [ju:fu:bus:] [名] [ゆ<sup>1</sup>イふーぶすまい...] 夕飯の時間に見える星。宵の明星。金星のこと。
- ゆイまーる [ju:ma:ru] [名] [ゆイまーるまい...] 仲間同士の仕事の順番。回りばんこに結いをする。
- ゆいゆい [ju:ju:] [名] 囃子。歌詞の囃子。【例】くらさー ゆいゆい (囃子)。
- ゆいり [ju:] [動 II 類 c 型] [ゆいー、ゆいん] 得る。もらう。いただく。
- ゆー [ju:] [助数]～夜。夜を数える。【例】ピとうゆー (一夜)。ふたゆー (二夜)。
- ゆー [ju:] [名] 四。四つ。四個。四歳。
- ゆー [ju:] [名] [ゆーま<sup>1</sup>い...] 用。用事。「よー」と同じ。【例】くれー ふーよー (これは食用だ)。くれー やーにぬ たにゆー (これは来年の種子用だ)。
- ゆー [ju:] [名] [ゆーうまい...] 世。時代。年。【例】くぬ ゆー (この世)。ムまが めゆー (孫の時代)。ゆーぬ なうり (世直る)。
- ゆー [ju:] [名] [ゆーまい...] 夜。夜間。晩。【例】つぎぬ ゆー (月の夜)。ゆーがまーす (一晩中)。ゆーぬ あきり (夜が明ける)。
- ゆー [ju:] [名] [ゆーま<sup>1</sup>い...] 湯。【例】ゆーゆふかす (お湯を沸かす)。あつゆー (熱湯)。ゆーん ゆでいらいり (湯でやけどした)。
- ゆー [ju:] [名] [ゆーま<sup>1</sup>い...] 船の底に溜る海水のこと。【例】ゆーとうり (海水を捨てること)。
- ゆー [ju:] [名] [ゆーま<sup>1</sup>い...] 粥。おかゆ。【例】まイぬ ゆー (米のおかゆ)。
- ゆー [ju:] [動 I 類 c 型] [いえー、やーん] 結う。結ぶ。くくる。縛る。【例】たイう ゆー (束を作る)。あかう ゆー (髪を結う)。
- ゆー [ju:] [副] よく。非常に。【例】ゆー ありくとう (よくあることだ)。ゆーどう ぱたらぎ (よく働く)。
- ゆー あらばまい [ju: arabamai] [連語] よくあっても。多くても。せいぜい。【例】ゆー あらばまい とうーばかーり (よくあっても 10 個ぐらいだ)。
- ゆー あり [ju: a:] [連語] よくある。たくさんあ

- る。多量である。
- ゆーあき [ju:aki] [名] [ゆーあ<sup>1</sup>きまい...] 夜明け。
- ゆーあきがた [ju:akigata] [名] [ゆーあきが<sup>1</sup>たまい...] 夜明頃。夜明け時分。
- ゆーあきどうーす [ju:akidu:sɯ] [名] [ゆーあきどうー<sup>1</sup>すまい...] 夜通し。夜明けまで。一晩中。徹夜。
- ゆーあきまい [ju:akimai] [名] [ゆーあきま<sup>1</sup>いまい...] 夜明け前。
- ゆーあすび [ju:asɯbi] [名] [ゆーあす<sup>1</sup>びまい...] 夜遊び。
- ゆーあみ [ju:ami] [名] [ゆーあ<sup>1</sup>みまい...] 夜降る雨。
- ゆーいム [ju:iɱ] [名] [ゆーい<sup>1</sup>ムまい...] 夜の漁。夜釣り。いざり漁。
- ゆーか [ju:ka] [名] [ゆーかまい...] 四日。よっか。
- ゆーが まーす [ju:ga ma:sɯ] [副] 夜通し。一晩中。終夜。
- ゆーがーり [ju:ga:ɾi] [名] [ゆーがー<sup>1</sup>りまい...] 世変り。世替り。
- ゆーかぎ [ju:kagi] [名] [ゆーかぎまい...] 夕影。夕方の涼しい一時。
- ゆーかぎん [ju:kagin] [名] [ゆーかぎ<sup>1</sup>んまい...] 湯加減。
- ゆーかず [ju:kadzɯ] [名] [ゆーかずまい...] 夜毎。毎晩。毎夜。【類】「ゆーぬかず」。
- ゆーかぬ イー [ju:kanu i:] [名] [ゆーかぬイ<sup>1</sup>ーまい...] 出産後4日目の飯。命名も行う。【同】「ゆかぬイー」。
- ゆーがま [ju:gama] [名] [ゆーが<sup>1</sup>ままい...] おかゆ。離乳食とした。子供か風邪をひくときに作る。【類】「くずゆー」「まいぬゆー」。
- ゆーかり [ju:kaɾi] [名] [植] [ゆーか<sup>1</sup>りまい...] ゆーかり。
- ゆーき [ju:ki] [名] [ゆー<sup>1</sup>きまい...] 夜起。夜おそくまで起きていること。夜ふかし。徹夜。
- ゆーくい [ju:kui] [名] [ゆーくいまい...] 世乞。地域の安泰を祈願すること。無病息災。豊作豊漁。豊年を祈願する。女性が粟を嚙んで神酒を造り、御嶽の神に供えた（ニコライ・ネフスキー）。
- ゆーじ [ju:dzi] [名] [ゆー<sup>1</sup>じまい...] 用事。用件。
- ゆーしゃがら [ju:ɕagara] [名] [昆虫] [ゆー<sup>1</sup>しゃがら<sup>1</sup>まい...] 蛾の仲間。おおしもふりすずめ。夕方明りに飛んでくる。
- ゆーじゆ [ju:dzu] [名] [ゆーじゆまい...] 祝い。祝い事。
- ゆーじゆがま [ju:dzugama] [名] [ゆーじゆが<sup>1</sup>ままい...] ままごと遊び。
- ゆーじゆぎん [ju:dzugin] [名] [ゆーじゆぎんまい...] 祝いに着る衣服。晴れ着。
- ゆーじゆやー [ju:dzuja:] [名] [ゆーじゆやーまい...] 祝いをする家。
- ゆーじゆり [ju:dzuri] [名] [ゆーじゆりまい...] 夜目覚めること。
- ゆーじゆりり [ju:dzuri] [動II類c型] [ゆーじゆりー、ゆーじゆりん] 夜に目覚める。
- ゆーじよー ねーん [ju:dzo: ne:n] [連語] 役立たず。なんにもならないこと。
- ゆーすだみ [ju:sɯdami] [名] [ゆーすだ<sup>1</sup>みまい...] 夏の暑い日の夕方庭に筵を敷いて涼むこと。
- ゆーだぎ [ju:dakɯ] [名] [ゆーだ<sup>1</sup>ぎまい...] 死人を一晩寝かせておくこと。葬儀のこと。
- ゆーだみ [ju:dami] [名] [ゆーだみまい...] 世矯め。世果報を祈願する行事。
- ゆーだみにがイ [ju:daminigaɪ] [名] [ゆーだみにがイまい...] 世矯め願ひ。世果報を祈願する行事。
- ゆーつ [ju:tsɯ] [名] [ゆーつまい...] 四つ。四歳。四個。
- ゆーつんふム [ju:tsɯnfum] [連語] 仏壇に供え物として四種類のご馳走を並べる。
- ゆーてい [ju:tei] [名] [ゆーていまい...] 四年。四年間。
- ゆーていなてい [ju:teinati] [名] [ゆーていな<sup>1</sup>ていまい...] 三年前。
- ゆーどう [ju:du] [連語] よくぞ。よくも。よほど。とても。ずいぶん。【例】ゆーどう でいかしーうギ（とても大漁だ）。ゆーどう ギばりーう

ギしゃいく (よくも頑張ったものだ)。  
 ゆーとうり [ju:tu] [名] [ゆーとうりまい...] 船底の海水を汲み捨てること。またその道具の名称。  
 ゆーどうり [ju:duri] [名] [ゆーどうりまい...] 夕風。日没時の静かな気象。  
 ゆーなギ [ju:nakɯ] [名] [ゆーな<sup>1</sup>ギまい...] 夜泣き。  
 ゆーなび [ju:nabi] [名] [ゆーな<sup>1</sup>びまい...] 湯鍋。湯沸し。  
 ゆーにがら [ju:nigara] [名] [ゆーにが<sup>1</sup>らまい...] 夜おそくまで起きること。子供に言う。  
 ゆーぬ あき [ju:nu aki] [名] [ゆー<sup>1</sup>ぬあき<sup>1</sup>まい...] 夜の明け。夜が明けること。  
 ゆーぬ かず [ju:nu kadzɯ] [名] [ゆー<sup>1</sup>ぬかず<sup>1</sup>まい...] 夜毎。毎晩。毎夜。【類】「ゆーやかず」。  
 ゆーぬ たみ [ju:nu tami] [名] [ゆーぬた<sup>1</sup>みまい...] 水納島の豊作祈願。  
 ゆーぬ なぎ [ju:nu nagi] [名] [ゆー<sup>1</sup>ぬなぎ<sup>1</sup>まい...] 夜の長さ。夜通し。一晩中。夏と冬とでは夜明けが違うこと。  
 ゆーぬ ぬす [ju:nu nusɯ] [名] [ゆーぬぬ<sup>1</sup>すまい...] 世の主。豊作の神。【類】「ゆぬす」。  
 ゆーばい [ju:bai] [名] [ゆーばいまい...] 妾 (めかけ)。  
 ゆーぱい [ju:pai] [名] [ゆーぱいまい...] 世栄。世の栄え。  
 ゆーぱいでい [ju:paiɰdi] [名] [ゆーぱイ<sup>1</sup>でいまい...] 夜の外出。夜歩きまわること。  
 ゆーぱいむぬ [ju:paimunu] [名] [ゆーぱいむ<sup>1</sup>ぬまい...] 生れつき福や富に恵まれた者。  
 ゆーぱぎ [ju:pagi] [名] 世禿げ。生まれつき貧乏であること。  
 ゆーぱぎむぬ [ju:pagimunu] [名] [ゆーぱぎむ<sup>1</sup>ぬまい...] 世禿げ者。生れつき貧乏者。苦労性の者。  
 ゆーぱぎり [ju:pagi] [動 II 類 c 型] [ゆーぱぎ一、ゆーぱぎん] 世禿げる。生まれつき貧乏である。苦労する。  
 ゆーピぐり [ju:pɯgu] [名] [ゆーピぐ<sup>1</sup>りまい...] 夜の冷え込み。寝冷えすること。

ゆーぴり [ju:pi] [名] [ゆーぴりまい...] さとうきびの汁の出る所。シートヤーの歯車の横にあって、くうーぎ (大桶) の中へきび汁の出口のこと。  
 ゆーびんぎ [ju:pɯngi] [名] [ゆーびん<sup>1</sup>ぎまい...] 夜逃げ。夜こっそり家を出て行くこと。【類】「ゆにぎ」。  
 ゆーふかす [ju:fukasɯ] [名] [ゆーふか<sup>1</sup>すまい...] 湯を沸かすこと。  
 ゆーふく [ju:fuku] [名] [ゆーふくまい...] 裕福。豊かさ。金持。安泰。  
 ゆーふく [ju:fuku] [名] [ゆーふくまい...。ゆーふ<sup>1</sup>くまい...] 洋服。  
 ゆーふる [ju:furu] [名] [ゆーふ<sup>1</sup>るまい...] 湯風呂。風呂。  
 ゆーやかず [ju:jakadzɯ] [名] [ゆー<sup>1</sup>やかず<sup>1</sup>まい...] 夜毎。毎晩。毎夜。【例】ゆーやかず しゃきうぬみー ぶり (毎晩酒を飲んでいる)。【類】「ゆーぬかず」。  
 ゆーやき [ju:jaki] [名] [ゆーや<sup>1</sup>きまい...] 夕焼け。  
 ゆーゆーてい [ju:ju:ti:] [副] ゆっくりと。ゆとりあること。楽なこと。自信のあること。  
 ゆーりらー [ju:ra:] [助] よりも。それより。【例】くりゆーりらー かりどう ます (これよりもあの方がましだ)。【同】「ゆりらー」。  
 ゆか [juka] [名] [ゆかまい...] 床。【類】「ゆかに」。  
 ゆかーす [juka:sɯ] [動 I 類 c 型] [ゆかーしー、ゆかーしゃん] 休ませる。休養させる。  
 ゆかーら [juka:ra] [名] [ゆかーらまい...] 横の方。横側。【例】ゆかーらん たつ (横に立つ)。  
 ゆかーらにに [juka:ranini] [名] [ゆかーらににまい...] 横寝。横向きに寝る。  
 ゆかーらばた [juka:rabata] [名] [ゆかーらばたまい...] 横腹。脇腹。  
 ゆかーらふつ [juka:rafutsɯ] [名] [ゆかーらふつまい...] 横向き。向こう向き。  
 ゆがーり [juga:] [動 I 類 c 型] [ゆがーり一、ゆがーらん] 世変る。世替る。沖縄の実情のこと。  
 ゆがーりギ [jugaa:kɯ] [動 I 類 c 型] [ゆがーりぎ

一、ゆがあげかん) ゆがんで歩く。千鳥足で歩く。

ゆかいた [jukaita] [名] [ゆかいたまい...] 床板。

ゆがいな [jugaina] [名] [ゆがいなまい...] 滑稽なこと。冗談。たわむれること。

ゆがいなばなす [jugainapanasʃ] [名] [ゆがいなばな<sup>1</sup>すまい...] おもしろい話。わらい話。

ゆがいなむぬ [jugainamunu] [名] [ゆがいなむぬまい...] 滑稽な人。

ゆががー [jugaga:] [名] [ゆががーまい...] 理屈の通らない自己中心の主張。我を張ること。

ゆががなま<sup>1</sup> [jugaganama] [名] [ゆががなま<sup>1</sup>まい...] ゆがんだ形の頭。まともな考えのないこと、またはその人。

ゆががなま<sup>1</sup>れ [jugaganamare] [名] [ゆががなま<sup>1</sup>れまい...] ゆがんだ形の頭の人。また、まともな考えのない人。

ゆがかんがい [jugakangai] [名] [ゆがかんが<sup>1</sup>まい...] 間違った考え。

ゆがしゃー<sup>1</sup> [jugaxa:] [形] [ゆがしゃまい...] 歪。悪。歪み。不正。曲がる。【例】ゆがむぬイー (うその物言い)。

ゆかすた [jukasʃta] [名] [ゆかすたまい...] 床下。

ゆかた [jukata] [名] [ゆかたまい...] 浴衣。

ゆがた<sup>1</sup> [jugata] [名] [ゆがた<sup>1</sup>まい...] 夜語。雑談。おしゃべり。

ゆがちび [jugatɕibi] [名] [ゆがちびまい...] 大便が横に落ちる。

ゆかどう [jukadu] [名] [ゆかどうまい...] 四角。四隅。四方。四辻。

ゆかなてい [jukanati] [名] [ゆかな<sup>1</sup>ていまい...] さきおととい。四日前。

ゆがならー<sup>1</sup>す [juganara:sʃ] [名] [ゆがならー<sup>1</sup>すまい...] 間違った教え。

ゆがならび [juganarabi] [名] [ゆがならびまい...] 曲がった並び。

ゆかに [jukani] [名] [ゆかにまい...] 床。【類】「ゆか」。

ゆかぬイー [jukanu:] [名] [ゆかぬイー<sup>1</sup>まい...] 出産後4日目の飯。命名も行う。【同】「ゆーかぬイー」。

ゆがぶー [jugapu:] [名] [ゆがぶーまい...] 世界報。豊年。豊作。

ゆがぶーあみ [jugapu:ami] [名] [ゆがぶーあ<sup>1</sup>みまい...] 豊年・豊作をもたらす雨。恵みの雨。

ゆがぶーがー [jugapu:ga:] [名] [井戸] [ゆがぶーがーまい...] 井戸の名。人工井戸。

ゆがぶーどうす [jugapu:dusʃ] [名] [ゆがぶーどうすまい...] 豊年。豊作の年。

ゆがぶーにがイ [jugapu:niga] [名] [ゆがぶーにが<sup>1</sup>イまい...] 豊年豊作の祈願。

ゆがます [jugamasʃ] [動I類a型] [ゆがましー、ゆがましゅん] ゆがめる。悪くする。

ゆがみ<sup>1</sup> [jugami] [動II類a型] [ゆがみー、ゆがみん] ゆがめる。悪くする。

ゆがム [jugam] [動I類a型] [ゆがみー、ゆがまん] ゆがむこと。曲がる。【例】ゆがみー ぶ<sup>1</sup> (歪んでいる)。ゆがムゆ ならし (曲がっているところを直しなさい)。

ゆかむつ [jukamutsʃ] [名] [ゆかむ<sup>1</sup>つまい...] 床持。床板の支え。床を支える木材。

ゆがむぬイー [jugamunu:] [名] [ゆがむぬイー<sup>1</sup>まい...] 間違った物言い。うそ。うそをつくこと。

ゆがムゆがム [jugam.jugam] [連語] 曲がりくねっていること。道路や線引き言う。

ゆがゆがていー [jugajugati:] [副] 少し曲がって見えること。

ゆがら [jugara] [名] [鳥] [ゆが<sup>1</sup>らまい...] ごいさぎ。

ゆか<sup>1</sup> [juka] [動I類c型] [ゆかりー、ゆからん] 金持。出世する。成功する。幸福。

ゆか<sup>1</sup> [juka] [副] よっぽど。ずいぶん。かなり。相当。【例】ゆか<sup>1</sup> ありきった (かなり歩いた)。ゆか<sup>1</sup> でいきぶーギ (ずいぶん長いさとうきびだ)。

ゆか<sup>1</sup>ピとう [juka[ɸ]tu] [名] [ゆか<sup>1</sup>ピ<sup>1</sup>とうまい...] 佳る人士族。富豪者。今は死語。

ゆギ [jukʃ] [名] [ゆギまい...] 斧 (おの)。手斧。木や木材を割るのに使う。

ゆギー [jukʃ:] [名] [ゆギーまい...] 夜霧。

ゆきー [juki:] [形] [ゆきーまい...] 余計。【例】

ゆき一な ばなす (無駄の多い話)。うれー ゆき一んどう とうりー うギ (それは余計に取ってある)。  
 ゆき一なむぬ [juki:namunu] [名] [ゆき一なむぬまい...] 余計なもの。不必要なもの。不用物。  
 ゆぎらっふあ ねーん [jugiraffa ne:n] [連語] 役に立たないこと。つまらないこと。【例】かりが ばなすエー ゆぎらふあねーん (彼の話はつまらない)。  
 ゆきリ [juki] [動 II 類 c 型] [ゆき一、ゆきん] 除ける。避ける。  
 ゆく [juku] [接頭] 別。的外れの。【例】ゆくピとう (別の人)。ゆくむぬ (別のもの)。  
 ゆく [juku] [名] [ゆく<sup>1</sup>んまい...] 横。側。  
 ゆく [juku] [名] [ゆく<sup>1</sup>まい...] 欲。欲張り。欲望。意欲。  
 ゆくあな [jukuana] [名] 横穴。  
 ゆくあみ [jukuami] [名] [ゆくあ<sup>1</sup>みまい...] 横雨。風の強いときの雨。よこなぐりの雨。  
 ゆくい [jukui] [名] [ゆく<sup>1</sup>いまい...] 憩い。くつろぎ。休み。休憩。  
 ゆくい [jukui] [名] [ゆく<sup>1</sup>いまい...] 行方。【例】ゆくいぬ っさいん (行方が分らない)。  
 ゆくいとう [jukuitu] [名] [ゆくい<sup>1</sup>とうまい...] 横糸。機織りの横糸。  
 ゆくいふみー [jukuifumi:] [名] [ゆく<sup>1</sup>いふみーまい...] 行方不明。  
 ゆく一 [juku:] [動 I 類 c 型] [ゆけ一、ゆかーん] 休む。休憩する。憩う。横になる。寝る。【例】ゆかーまん (休まない)。ゆけーってー (休んでから)。ゆけーってー しる (休んでからしなさい)。ゆけー わーり (休んで下さい)。  
 ゆく一ていだ [juku:tida] [名] [ゆく一てい<sup>1</sup>だまい...] 休む太陽。没する太陽。夕日。落日。  
 ゆく一どうくな [juku:dukuna] [名] [ゆく一どうく<sup>1</sup>なまい...] 休む所。休憩場所。【同】「ゆく一どうくま」。  
 ゆく一どうくま [juku:dukuma] [名] [ゆく一どうく<sup>1</sup>ままい...] 休む所。休憩場所。【同】「ゆく一どうくな」。  
 ゆく一まーる [juku:ma:ru] [名] [ゆく一まー<sup>1</sup>る

まい...] 休み回り。休み順番。回りばんこに休むこと。輪番に休むこと。  
 ゆく一ゆく一 [juku:juku:] [連語] 休み休み。  
 ゆくがう [jukugau] [名] [ゆくが<sup>1</sup>うまい...] 横顔。  
 ゆくがかり [jukugaka] [名] [ゆく<sup>1</sup>がかりまい...] 欲張り。どん欲。けち。  
 ゆくがギ [jukugakq] [名] [ゆくが<sup>1</sup>ギまい...] 横書き。  
 ゆくぎリ [jukugi] [動 I 類 c 型] [ゆくぎり一、ゆくぎらん] 横切る。  
 ゆくぐす [jukugus] [名] [ゆくぐ<sup>1</sup>すまい...] 横櫛。櫛。【類】「ふす」。  
 ゆくじゅーしゃーリ [jukudzu:ca:] [形] [ゆくじゅー<sup>1</sup>しゃまい...] 欲深い。欲の強いこと。  
 ゆくす [jukus] [動 I 類 c 型] [ゆくし一、ゆくしゅん] 誘う。【例】つーすが ゆくす (釣りに誘う)。  
 ゆぐす [jugus] [動 I 類 c 型] [ゆぐし一、ゆぐしゅん] 汚す。【類】「きがす」。  
 ゆくずき [jukudzqki] [名] [ゆくず<sup>1</sup>きまい...] 横付け。【例】ふにぬ ゆくずき (船の横付け)。  
 ゆくずま [jukudzqma] [名] [ゆくずままい...] 別の島。他の島。  
 ゆくずまピとう [jukudzqmapitu] [名] [ゆくずまピとうまい...] 別の島の人。島外からの人。  
 ゆくたーらす [jukuta:ras] [動 I 類 a 型] [ゆくたーらし一、ゆくたーらしゅん] 横たえる。寝かす。  
 ゆくたーリ [jukuta:] [動 I 類 a 型] [ゆくたーり一、ゆくたーらん] 横たわる。寝る。  
 ゆくてい [jukuti] [名] [ゆく<sup>1</sup>ていまい...] 横手。横側。【例】きーぬ ゆくてい (木の側)。  
 ゆくどうリ [jukudu] [動 I 類 c 型] [ゆくどうり一、ゆくどうらん] 横取る。横から不正に奪う。  
 ゆくなム [jukunam] [名] [ゆくな<sup>1</sup>ムまい...] 横波。船の横側から来る波。  
 ゆくぬどう [jukunudu] [名] [ゆくぬ<sup>1</sup>どうまい...] 横のど。別のど。気管。  
 ゆくばなす [jukupanas] [名] [ゆくばな<sup>1</sup>すまい...] 別のことを言う。(自分が不利な場合な

- どに) 話をそらす。【類】「ゆくむぬイー」。
- ゆくばば [jukupaba] [名] [ゆくばばまい...] 横幅。
- ゆくばり [jukuba] [動 I 類 c 型] [ゆくばりー、ゆくばらん] 欲張る。
- ゆくばれ [jukubare] [名] [ゆくばれまい...] 欲張る人。
- ゆくピとう [jukupitu] [名] [ゆくピとうまい...] 別の。他人。島外の人。
- ゆくぶい [jukubui] [名] [ゆくぶいまい...] 横笛。
- ゆくみ [jukumi] [名] [ゆくみまい...] 横目。
- ゆくみ [jukumi] [名] [ゆくみまい...] 水納島の神事の世話役。
- ゆくみつ [jukumitsu] [名] [ゆくみつまい...] 別の道。脇道。
- ゆくむぬ [jukumunu] [名] [ゆくむぬまい...] 別の物。他の物。本物でないもの。偽物とは違う。
- ゆくむぬイー [jukumunu:] [名] [ゆくむぬイーまい...] 別のことを言う。話をそらす。【類】「ゆくばなす」。
- ゆぐり [juguri] [名] [ゆぐりまい...] 汚れ。不潔。
- ゆぐりはいからー [jugurihaikara:] [名] [ゆぐりはいからーまい...] 汚れを知らないおしゃれ。似合わないおしゃれ。
- ゆぐりみず [jugurimidz] [名] [ゆぐりみずまい...] 汚れた水。【類】「っしやなみず」。
- ゆぐりむぬ [jugurimunu] [名] [ゆぐりむぬまい...] 汚れ物。【類】「っしやなむぬ」。
- ゆぐりり [juguri] [動 II 類 a 型] [ゆぐりー、ゆぐりん] 汚れる。きたなくなる。
- ゆくん なり [jukun na] [連語] 横になる。横に並ぶ。物の横に立つ。【類】「ゆくんならビ」。
- ゆくん ふあーい [jukun fai:] [連語] 欲にとりつかれる。どん欲。欲張り。
- ゆさん [jusan] [名] [ゆさんまい...] 予算。
- ゆしあし [juçiaçi] [名] [ゆしあしまい...] 善し悪し。
- ゆしあつみ [juçiatşmi] [名] [ゆしあつみまい...] 寄せ集め。
- ゆしあつみり [juçiatşmi] [動 II 類 c 型] [ゆしあつみりー、ゆしあつみらん] 寄せ集める。
- ゆしぐとう [juçigutu] [名] [ゆしぐとうまい...] 教え事。教わること。
- ゆしだうふ [juçidaufu] [名] [ゆしだうふまい...] おぼろ豆腐。【同】「ゆしどーふ」。
- ゆしどーふ [juçido:fu] [名] [ゆしどーふまい...] おぼろ豆腐。【同】「ゆしだうふ」。
- ゆしやなり [juçana] [動 I 類] [ゆしやなりー、ゆしやならん] [ゆしやなりー「ぶり」] よくなる。病気がよくなる。【類】「ゆふなり」。
- ゆしやらび [juçarabi] [名] [ゆしやらびまい...] ゆうさり。夕方。暮れ方。
- ゆしやらびあがり [juçarabiaga] [名] [ゆしやらびあがりまい...] 夕方に疲れ直しの酒を飲むこと。一日の労をねぎらう酒飲み。特に結いの仲間をもてなす場合に言う。
- ゆしやらびえーム [juçarabie:m] [名] [ゆしやらびえームまい...] 夕方の暗い時間。
- ゆしやらびじゅー [juçarabidzu:] [名] [ゆしやらびじゅーまい...] 夕方の潮時。
- ゆしゆ [juçu] [名] [ゆしゆまい...。ゆしゆまい...] よそ。他所。他人。【例】ゆしゆが ぱな (他人の華となる)。
- ゆじゅー [judzu:] [動 I 類 c 型] [ゆじゅー、ゆじゅーん] 反抗する。口答えする。
- ゆしゆずま [juçudzma] [名] [ゆしゆずまい...] よそ島。他の地区。他の島。
- ゆしゆつ [juçuts] [名] [ゆしゆつまい...] 四十。四十歳。
- ゆしゆてい [juçuti] [名] [ゆしゆていまい...] 四十年。
- ゆしゆに [juçuni] [名] [ゆしゆにまい...] 四つの組織。スツウプナカの〈ながしがー〉、〈ふだやー〉、〈ウイヤー〉、〈アレーキ〉。
- ゆしり [juçi] [動 II 類 a 型] [ゆしりー、ゆしりん] 寄せる。寄せてくる。集める。【例】ゆしる (寄せる。集めよ)。
- ゆしり [juçi] [動 II 類] [ゆしりー、ゆしりん] 教える。講話する。
- ゆすー [jus:] [動 I 類 a 型] [ゆすーいー、ゆすーさん] 揺する。揺り動かす。

ゆずー [judzɨ:] [名] [ゆず<sup>1</sup>ーまい...] 夜釣り。  
 ゆすかうがん [jusɰkaugan] [名] [ゆす<sup>1</sup>かうがん  
 まい...] 拝所。  
 ゆすかがー [jusɰkaga:] [名] [井戸] [ゆす<sup>1</sup>かが  
 ーまい...] 井戸の名。人工井戸。  
 ゆすぎ [jusɰkɰ] [名] [植] [ゆす<sup>1</sup>ぎまい...] すす  
 き。  
 ゆすぎ [jusɰgɰ] [動I類a型] [ゆすぎー、ゆすが  
 ん] すすぐ。洗濯物をすすぐこと。  
 ゆすぎぐる [jusɰkɰguru] [名] [ゆす<sup>1</sup>ぎぐるまい...]  
 すすきの枯れたもの。  
 ゆすぎたイ [jusɰkɰtaɰ] [名] [ゆす<sup>1</sup>ぎたイまい...]  
 すすきの松明。  
 ゆすばり [jusɰbaɰ] [名] [ゆすば<sup>1</sup>りまい...] 夜の  
 小便。寝小便。  
 ゆすまぬ しゅー [jusɰmanu ɕu:] [名] [ゆすま<sup>1</sup>ぬ  
 しゅーまい...] 四島の主。池間、大神、狩俣、  
 島尻の四つの里の主(役人)。  
 ゆずり [judzɨɰ] [動I類a型] [ゆずりー、ゆずら  
 ん] ゆずる。他人に席をゆずる。  
 ゆた [juta] [名] [ゆ<sup>1</sup>たまい...] 巫女(かんなぎ)。  
 のろ。司祭。  
 ゆだ [juda] [名] [ゆだまい...] 枝。【例】きーぬ  
 ゆだ(木の枝)。  
 ゆたーり [juta:] [名] [ゆたーりまい...] 四人。四  
 名。  
 ゆたヴヴィ [jutavvɰ] [動I類c型] [ゆたヴヴィ  
 ー、ゆたヴヴィあん] よろめく。千鳥足で歩く。  
 ゆたヴヴィむぬ [jutavvɰmunu] [名] [ゆたヴヴィ  
 むぬまい...] だらしない人。  
 ゆだうふ [judaufu] [名] [ゆだう<sup>1</sup>ふまい...] 湯豆  
 腐。おぼろ豆腐。【同】「ゆどーふ」。  
 ゆだうらす [judaurasɰ] [名] [ゆだうら<sup>1</sup>すまい...]  
 枝切り。枝打ち。  
 ゆたかしやーり [jutakaɕa:] [形] [ゆたか<sup>1</sup>しや  
 ーまい...] 豊かである。豊富である。  
 ゆたしや [jutaɕa] [感] ほれみろ。ざまみろ。【例】  
 まきたりー ゆたしや(負けたことはざまみ  
 ろ)。  
 ゆたす [jutasɰ] [動I類c型] [ゆたしー、ゆたし  
 ちゃん] こぼす。芋の煮汁をこぼす。袋の物をこ

ぼす。  
 ゆだだら [judadara] [名] [ゆだだ<sup>1</sup>らまい...] 怠  
 け者。【同】「ゆだだれ」。【類】「ゆだだりむぬ」。  
 ゆだだり [judadaɰ] [動II類c型] [ゆだだりー、  
 ゆだだりん] 怠慢である。怠ける。  
 ゆだだり [judadari] [名] [ゆだだ<sup>1</sup>りまい...] 怠  
 け。怠慢。だらしないこと。  
 ゆだだりむぬ [judadamunu] [名] [ゆだだりむ<sup>1</sup>  
 ぬまい...] 怠け者。【類】「ゆだだら」。「ゆだだ  
 ら」。  
 ゆだだれ [judadare] [名] [ゆだだ<sup>1</sup>れまい...] 怠  
 け者。【同】「ゆだだら」。【類】「ゆだだりむぬ」。  
 ゆたていり [jutatiɰ] [動II類a型] [ゆたていー、  
 ゆたていん] こぼす。意図的にこぼす。【例】み  
 ずう ゆたていり(水をこぼす)。なびぬ す  
 ー ゆたていり(鍋の汁をこぼして捨てる)。  
 【類】「ゆていり」。  
 ゆだばー [judaba:] [名] [ゆだばーまい...] 枝葉。  
 ゆたゆた [jutajuta] [擬] ゆらゆら。よたよた。よ  
 うよう。  
 ゆだり [judaɰ] [名] [ゆだりまい...] よだれ。つ  
 ば。唾液。  
 ゆだりゆム [judaljum] [名] [ゆだりゆムまい...]  
 くだらない話をする。くだらだと話すこ  
 と。  
 ゆだれ [judare] [名] [ゆだ<sup>1</sup>れまい...] 怠け者。だ  
 らしない人。  
 ゆだん [judan] [名] [ゆだんまい...] 油断。  
 ゆつヴ [jutsɰv] [名] [ゆつヴまい...。ゆつ<sup>1</sup>ヴ  
 ーまい...] 夜露。  
 ゆっじゃす [juddzasɰ] [動I類a型] [ゆっじゃし  
 ー、ゆっじゃしゃん] 寄らせる。動かす。移動  
 する。  
 ゆっじゅ [juddzu] [名] [ゆっじゅまい...] より  
 緒。より糸。縫った糸。和紙をひねってよりに  
 したものの。  
 ゆっずー [juddzɨ:] [動I類a型] [ゆっじー、ゆ  
 っじゃん] 動いていく。離れていく。近くに來  
 る。近寄る。寄り添う。【例】ゆっじー とうビ  
 (離れて行く)。ゆっじー ギー(近くに來る)。  
 ゆつだき [jutsɰdaki] [名] [ゆつだ<sup>1</sup>きまい...] 四

- つ竹。琉球舞踊の一つ。
- ゆっふあーすしゃーり [juffa:sʃca:] [形] [ゆっふあーす<sup>1</sup>しゃまい...] 怠け。骨おしみ。ずるい。怠慢。
- ゆっふあーすむぬ [juffa:sʃmunu] [名] [ゆっふあーすむ<sup>1</sup>ぬまい...] 怠け者。骨おしみする者。
- ゆつらー ねーん [jutsʃra: ne:n] [連語] 役に立たない。甲斐性のない。【例】がくむんや ゆつらー ねーん (学問は役に立たない)。
- ゆていー [juti:] [名] [ゆていーまい...] 予定。
- ゆでいくが [judikuga] [名] [ゆでいく<sup>1</sup>がまい...] 茹で卵。
- ゆでいずー [judidzɯ:] [名] [ゆでいず<sup>1</sup>ーまい...] 茹で汁。【同】「ゆでいずる」。
- ゆでいずる [judidzɯru] [名] [ゆでいず<sup>1</sup>るまい...] 茹で汁。【同】「ゆでいずー」。
- ゆでいだく [judidaku] [名] [ゆでいだ<sup>1</sup>くまい...] 茹で蛸。赤面するときにも言う。
- ゆていり [juti] [動II類c型] [ゆていー、ゆていん] こぼす。【類】「ゆたていり」。
- ゆでいり [judi] [動II類c型] [ゆでいー、ゆでいん] 茹でる。湯がく。【類】「ゆビギ」。
- ゆてー つかん [jute: tsʃkan] [連語] 的外れ。道理に合わない。
- ゆてー つかん ぱなす [jute: tsʃkan panasʃ] [連語] 的外れの話。道理に合わない話。
- ゆどうーす [judu:sʃ] [名] [ゆどうー<sup>1</sup>すまい...] 夜通し。一晩中。
- ゆどうます [judumasʃ] [動I類c型] [ゆどうましー、ゆどうましやん] 淀ませる。引き止める。休ませる。仕事を途中で止める。
- ゆどうみり [judumi] [動II類c型] [ゆどうみー、ゆどうみん] 淀める。止める。休める。【例】ゆどうまん (淀まない)。
- ゆどうム [judum] [動I類c型] [ゆどうみー、ゆどうまん] 淀む。停止する。止まる。休む。
- ゆどうムずる [judumdʒɯru] [名] [ゆどうムず<sup>1</sup>るまい...] シートヤーの鍋に残っているさとうきびの汁を明日までそのままに淀ませておく。
- ゆどうムどうくなく [judumdukuna] [名] [ゆどうムどうく<sup>1</sup>なまい...] 休む所。休憩所。【同】「ゆどうムどうくる」。
- 【類】「ゆどうムどうくま」。
- ゆどうムどうくま [judumdukuma] [名] [ゆどうムどうく<sup>1</sup>ままい...] 休む所。休憩所。【同】「ゆどうムどうくる」。
- 【類】「ゆどうムどうくなく」。
- ゆどうムどうくる [judumdukuru] [名] [ゆどうムどうく<sup>1</sup>るまい...] 休む所。休憩所。【類】「ゆどうムどうくなく」。
- 「ゆどうムどうくま」。
- ゆどーふ [judo:fu] [名] [ゆどー<sup>1</sup>ふまい...] 湯豆腐。おぼろ豆腐。【同】「ゆだうふ」。
- ゆなうがー [junauga:] [名] [ゆなうがーんまい...] 井戸の名。世直り井戸。【類】「ながしがー」。
- ゆなうす [junausʃ] [名] [ゆなうすまい...] 世直し。祭りに神酒を入れる器のこと。
- ゆなうす [junausʃ] [動I類c型] [ゆなうしー、ゆなうしゃん] 世直す。
- ゆなおーれが [junao:rega] [名] [ゆなおー<sup>1</sup>れがう<sup>1</sup>まい...] 「世直れ」。スツウブナカのはやし歌。【例】じゅ、ゆなおーれがう みーが (さあ、スツウブナカを見に行こう)。
- ゆなか [junaka] [名] [ゆなかんまい...] 夜中。夜半。
- ゆなが [junaga] [名] [具] [ゆな<sup>1</sup>がまい...] まがきがい。【類】「ていらじゃ」。
- ゆなかじゅー [junakadzu:] [名] [ゆなかじゅーまい...] 夜中潮。夜中の潮。夜釣りをするタイミング。
- ゆながとう [junagatu] [名] [ゆなが<sup>1</sup>とうまい...] 夜。晩。夜の間。日暮れから翌朝まで。【例】ゆながとうん うきたり (夜に起きた)。
- ゆなかどうーれ [junakadure] [名] [ゆなかどうー<sup>1</sup>れまい...] 真夜中。
- ゆなかばい [junakabaɯ] [名] [ゆなかば<sup>1</sup>いまい...] 夕方遅くまで畑仕事をして帰ること。
- ゆなぎ [junakɯ] [名] [ゆな<sup>1</sup>ぎまい...] 夜泣き。子どもが夜半に起きて泣くこと。
- ゆなぎー [junagi:] [名] [植] [ゆ<sup>1</sup>なぎー<sup>1</sup>まい...] ゆーな。おおはまぼう。
- ゆなぐに [junaguni] [名] [ゆなぐにまい...] 与那国島。
- ゆなばしどうとうゆめ [junapaçidutujume] [名] [ゆな<sup>1</sup>ばしどう<sup>1</sup>とうゆめまい...] 与那覇勢頭豊

見親。1390年宮古から初めて中山王入貢。  
 ゆなび [junabi] [名] [ゆな<sup>1</sup>びまい...] よなべ。夜業。夜仕事。  
 ゆなん [junan] [名] [ゆなんまい...] 四男。  
 ゆに [juni] [名] [ゆにまい...。ゆにゆー<sup>1</sup>らまい...] 粟。白で搗いていない粟は〈くーゆに〉。搗いた粟は〈つぎゆに〉。  
 ゆにぎ [junigi] [名] [ゆに<sup>1</sup>ぎまい...] 夜逃げ。【類】「ゆーぴんぎ」。  
 ゆにく [juniku] [名] [ゆに<sup>1</sup>くまい...] 麦こがし。はったい粉。麦を炒って石臼で挽いた粉のこと。  
 ゆにぬイー [juninu:] [名] [ゆにぬイ<sup>1</sup>ーまい...] 粟のお握り。粟飯。  
 ゆにピギ [junipiki] [名] [ゆにピ<sup>1</sup>ギまい...] 粟を木臼で挽くこと。粟粒の皮をはがすこと。  
 ゆにピギうす [junipikjus] [名] [ゆにピギう<sup>1</sup>すまい...] 粟を挽く白のこと。  
 ゆにむ<sup>1</sup> [junimu] [名] [ゆにむ<sup>1</sup>まい...] 粟盛。砂浜の砂が風の力で一ヶ所に盛り上がる。  
 ゆぬ [junu] [形] 同じ。同一。【例】ゆぬむぬ（同一のもの）。  
 ゆぬー<sup>1</sup> [junu:] [名] [ゆぬー<sup>1</sup>まい...] 一年目。一年忌。一年後。【同】「ゆねー<sup>1</sup>」。  
 ゆぬー<sup>1</sup>こーくー [junu:ko:ku:] [名] [ゆぬー<sup>1</sup>りこーくーまい...] 一年目の法事。香乞。【同】「ゆねー<sup>1</sup>こーくー」。  
 ゆぬー<sup>1</sup>しゆーかう [junu:çu:kau] [名] [ゆぬー<sup>1</sup>りしゆーかうまい...] 一年目の焼香。【同】「ゆねー<sup>1</sup>しゆーかう」。  
 ゆぬー<sup>1</sup>しゆーこー [junu:çu:ko:] [名] [ゆぬー<sup>1</sup>りしゆーこーまい...] 一年目の焼香。【同】「ゆねー<sup>1</sup>しゆーこー」。  
 ゆぬかんがい [junukangai] [名] [ゆぬかんが<sup>1</sup>まい...] 同じ考え。同感。  
 ゆぬぐー [junugu:] [名] [ゆぬぐ<sup>1</sup>ーまい...] 同類。同じもの。同様。【例】ゆぬぐーぬ くつ（同じような靴）。  
 ゆぬくとう [junukutu] [名] [ゆぬく<sup>1</sup>とうまい...] 同じこと。【例】ばが ばなすまい ゆぬくとう（私の話も同じことだ）。

ゆぬしゆく [junuçuku] [名] [ゆぬしゆ<sup>1</sup>くまい...] 同じ程度。同じ分量。【例】ばんまい ゆぬしゆく どう あり（私も同じ量だ）。  
 ゆぬす [junus] [名] [ゆぬ<sup>1</sup>すまい...] 世の主。豊年の神。  
 ゆぬずぶん [junudzjibun] [名] [ゆぬずぶ<sup>1</sup>んまい...] 同じ時分。同じ頃。その時分。【例】ゆぬずぶん うきたり（同じ頃に起きた）。  
 ゆぬすま [junusjma] [名] [ゆぬす<sup>1</sup>まい...] 同じ島。同郷。同じふるさと。  
 ゆぬたき [junutaki] [名] [ゆぬた<sup>1</sup>きまい...] 同じ高さ。同じ丈。  
 ゆぬたま [junutama] [名] [ゆぬたままい...。ゆぬた<sup>1</sup>まい...] 同じ分量。等分すること。【例】あんまい ゆぬたまどう あり（私も同じ量だ）。  
 ゆぬとうい [junutui] [名] [ゆぬとう<sup>1</sup>まい...] 同じ干支（えと）。  
 ゆぬとうくな [junutukuna] [名] [ゆぬとうく<sup>1</sup>まい...] 同じ所。同じ場所。【同】「ゆぬとうくま」。  
 ゆぬとうくま [junutukuma] [名] [ゆぬとうく<sup>1</sup>まい...] 同じ所。同じ場所。【同】「ゆぬとうくな」。  
 ゆぬとうす [junutus] [名] [ゆぬとう<sup>1</sup>すまい...] 同年。同じ年。同じ年齢。  
 ゆぬなか [jununaka] [名] [ゆぬな<sup>1</sup>かまい...] 世の中。世間。人間社会。  
 ゆぬなぎ [jununagi] [名] [ゆぬな<sup>1</sup>ぎまい...] 同じ長さ。同じ距離。  
 ゆぬななげー [jununanage:] [名] [ゆぬな<sup>1</sup>なげー「まい...」 同じ長さ。【類】「ゆぬななげー」。  
 ゆぬなんだき [jununandaki] [名] [ゆぬなんだ<sup>1</sup>きまい...] 同じ量。【類】「なんだき」。  
 ゆぬねーん [junune:n] [連語] 同じ様に。【例】ゆぬねーん ばきる（同じ量に分けなさい）。  
 ゆぬピー [junup:] [名] [ゆぬピ<sup>1</sup>ーまい...] 同じ日。同日。  
 ゆぬピていつ [junupjitsj] [名] [ゆぬピてい<sup>1</sup>つまい...] そっくり。そのまま。【例】うやとう ゆぬピていつ（親にそっくりだ）。  
 ゆぬピていでい [junupjidi] [名] [ゆぬピてい<sup>1</sup>

- でいまい...) 同じ年齢。
- ゆぬピとう [junupɪtu] [名] [ゆぬピ<sup>1</sup>とうまい...] 同じ人。同一人。
- ゆぬぶい [junupui] [名] [ゆぬぶ<sup>1</sup>いまい...] 同じ大きさ。同じ高さ。同じ広さ。同じ長さ。同じ体積。
- ゆぬぶーれ [junubure] [名] [ゆぬぶー<sup>1</sup>れまい...] 同じ年頃。同年輩。
- ゆぬぶしや [junupuɕa] [名] [ゆぬぶ<sup>1</sup>しやまい...] 同じ量。同額。同じ分量。嵩のこと。
- ゆぬむぬ [junumunu] [名] [ゆぬむ<sup>1</sup>ぬまい...] 同じもの。同じ意見。同じ色。同じ柄。同じ形。
- ゆぬむぬ [junumunu] [連語] いいよ。いいさあ。よろしい。分かった。納得すること。同感であること。【例】あんしー うかばまい ゆぬむぬどー (そのようにしておいてもいいよ)。
- ゆぬんーしゃーり [jununɕa:] [形] [ゆぬんー<sup>1</sup>しゃまい...] 同じようである。
- ゆねーり [june:] [名] [ゆねー<sup>1</sup>りまい...] 一年目。一年忌。一年後。【同】「ゆねーり」。
- ゆねーりこーくー [june:ko:ku:] [名] [ゆねー<sup>1</sup>りこーくーまい...] 一年目の法事。香乞。【同】「ゆねーりこーくー」。
- ゆねーりしゅーかう [june:ɕu:kau] [名] [ゆねー<sup>1</sup>りしゅーかうまい...] 一年目の焼香。【同】「ゆねーりしゅーかう」。
- ゆねーりしゅーこー [june:ɕu:ko:] [名] [ゆねー<sup>1</sup>りしゅーこーまい...] 一年目の焼香。【同】「ゆねーりしゅーこー」。
- ゆねーん [june:n] [名] [ゆねー<sup>1</sup>んまい...] 宵。夕暮れ時。夕方。
- ゆねーんやかず [june:n.jakadzɯ] [名] [ゆねーん<sup>1</sup>やかずまい...] 毎夕方。【類】「ゆねーんぬかず」。
- ゆば [juba] [名] [ゆばまい...] 豆乳の上ずみ。
- ゆばー [juba:] [連語] をば。【例】しゅーゆばーにーる (野菜をば炊きなさい)。くーゆばーくにーる (粉をば捏ねなさい)。
- ゆばい [jubai] [名] [ゆば<sup>1</sup>いまい...] 夜這い。夜男が女性の部屋に忍びこむこと。
- ゆばいみどうム [jubaimidum] [名] [ゆばいみど
- う<sup>1</sup>ムまい...] 不貞な女性。貞操の悪い女性。
- ゆばいり [jubai] [動II類a型] [ゆばいー、ゆばいん] 吸い込まれる。吸い取られる。吸いつかれる。【例】あなん ゆばいり (穴に吸い込まれる)。
- ゆビ [jubɯ] [動I類a型] [ゆびー、ゆばん] 吸う。吸いとる。母が赤ちゃんの鼻垂れを口で吸い取っていた。【例】ばなだりる ゆビ (鼻垂れを吸う)。
- ゆビ [jubɯ] [動I類c型] [ゆびー、ゆばん] 呼ぶ。【類】「あびり」。
- ゆび [jubi] [名] [ゆ<sup>1</sup>びまい...] よべ。ゆうべ。昨夜。昨晚。
- ゆビギ [jubɯkɯ] [動I類c型] [ゆびきー、ゆびかん] 湯がく。食材を湯にさっとつける。お湯につっこむ程度。【類】「ゆでいり」。
- ゆビだす [jubɯdasɯ] [動I類c型] [ゆビだしー、ゆビだしゃん] 呼び出す。【類】「あびり」。
- ゆビむどうす [jubɯmudusɯ] [動I類a型] [ゆビむどうしー、ゆビむどうしゃん] 呼び戻す。
- ゆビゆしり [jubɯjuɕi] [動II類a型] [ゆビゆしー、ゆビゆしん] 呼び寄せる。呼び集める。
- ゆビンギ [jubɯnkɯ] [動I類a型] [ゆビンきー、ゆビンかん] 吸い込む。〈ゆビ〉の強調語。穴に吸い込む。
- ゆぶ [jubu] [名] [ゆ<sup>1</sup>ぶまい...] つぼみ。作物や草木の花のつぼみ。
- ゆぶすぶり [jubusɯburi] [名] [ゆ<sup>1</sup>ぶすぶりまい...] 知恵のないこと。おばかさん。
- ゆふなり [jufuna] [動I類] [ゆふなりー、ゆふならん] [ゆ<sup>1</sup>ふなりー「ぶり」] よくなる。病気がよくなる。【類】「ゆしやなり」。
- ゆぶやー [jubuja:] [名] [ゆ<sup>1</sup>ぶやーまい...] すすきを三本合わせて畑に立てる魔除。作付けの終わった畑に立てる。
- ゆぶゆぶ [jubujubu] [擬] よぼよぼ。
- ゆぶん [jubun] [名] [ゆぶんまい...] 余分。余り。残り。
- ゆまーす [juma:sɯ] [動I類c型] [ゆまーしー、ゆまーしゃん] 読み合わせる。
- ゆまーり [juma:] [名] [ゆまーりまい...] 夜回

り。

ゆます [jumasʝ] [動I類c型] [ゆましー、ゆましゃん] 読ませる。

ゆまた [jumata] [名] [ゆまたまい...] 四叉。四辻。四つ角。十字路。

ゆみ [jumi] [名] [ゆみまい...] 嫁。【類】「ゆみっふあ」。

ゆみあに [jumiani] [名] [ゆみあ<sup>1</sup>にまい...] 嫁姉。兄の妻。【類】「ゆみあなが」。

ゆみあなが [jumianga] [名] [ゆみあん<sup>1</sup>がまい...] 嫁姉。兄の妻。【類】「ゆみあに」。

ゆみいじみ [jumiidzimi] [名] [ゆみいじみまい...] 嫁いじめ。

ゆみかき [jumikaki] [名] [ゆみか<sup>1</sup>きまい...] 読み書き。勉強。学問。修業。

ゆみかた [jumikata] [名] [ゆみかたまい...] 嫁方。妻方。妻の親戚。

ゆみかた [jumikata] [名] [ゆみか<sup>1</sup>たまい...] 読み方。国民学校時代の国語の教科書。

ゆみつ [jumitsʝ] [名] [ゆみ<sup>1</sup>つまい...] 夜道。

ゆみっふあ [jumiffa] [名] [ゆみっふあまい...] 嫁子。嫁。息子の嫁。

ゆみとうみ [jumitumi] [名] [ゆみとうみまい...] 嫁さがし。

ゆみびらい [jumibiraʝ] [名] [ゆみびらいまい...] 嫁つきあい。姑が嫁のとりなしをする。

ゆム [jum] [名] [ゆま<sup>1</sup>い...] 弓。【例】ゆムゆピギ (弓を引く)。

ゆム [jum] [動I類c型] [ゆみー、ゆまん] おしゃべりする。【例】むぬゆムピとう (おしゃべりする人)。

ゆム [jum] [動I類c型] [ゆみー、ゆまん] 口上する。唱える。組踊りの口上。

ゆム [jum] [動I類c型] [ゆみー、ゆまん] 数える。【例】いふたーリがていー ゆみ (何人か数えなさい)。【類】「かじゆいり」。

ゆム [jum] [動I類c型] [ゆみー、ゆまん] 読む。学問する。修業する。社会の状況を読む。

ゆむ [jumu] [接頭] まったく。否定的な意味を持つ語に付いて、その語の意味を強調する。【例】ゆむだすからん (全く役立たず)。

ゆムうがム [jum.ugam] [動I類c型] [ゆムうがみー、ゆムうがまん] 拝読する。

ゆムかに [jumkani] [名] [ゆムか<sup>1</sup>にまい...] 難読。

ゆムかにずー [jumkanidzɯ:] [名] [ゆムかにず<sup>1</sup>ーまい...] 難読の漢字。

ゆむだすからん [jumudasʝkaran] [連語] 役立たず者。

ゆムつがい [jumtsʝgai] [名] [ゆムつが<sup>1</sup>いまい...] 読み違い。

ゆむつぎ [jumutsʝgɯ] [名] [ゆ<sup>1</sup>むつぎまい...] かえって悪いこと。かえって悪くなっていること。【例】ヴヴあが すー むのー ましやりー ゆむつぎ (君のやることはかえって悪くなっている)。

ゆムとうーす [jumtu:sʝ] [動I類c型] [ゆムとうーしー、ゆムとうーしゃん] 読み通す。

ゆムぬっふあ [jumnu ffa] [名] [ゆム<sup>1</sup>ぬっふあ「まい...」 矢。弓の矢。

ゆむばたふしゃりり<sup>9</sup> [jumubatafuçariɯ] [動II類c型] [ゆむばたふしゃりー、ゆむばたふしゃりん] 無性に腹が立つ。

ゆムまつがいり<sup>9</sup> [jummatsʝgaiɯ] [動II類c型] [ゆムまつがいー、ゆムまつがいん] 読みまちがえる。

ゆめーす [jume:sʝ] [動I類c型] [ゆめーしー、ゆめーしゃん] 読み合わせる。数え合わせる。

ゆや ならり<sup>9</sup> [juja nau] [連語] 世は直る。世は良くなる。生活は楽になる。

ゆやーす [juja:sʝ] [動I類a型] [ゆやーしー、ゆやーしゃん] 集める。かき集める。【例】にんぶー ゆやーす (人夫を集める)。

ゆやく [jukaku] [名] [ゆやくまい...] 予約。

ゆらー [jura:] [擬] あふれそうな様。こぼれそうな様。なみなみ。【例】ゆらーていー つぎ (なみなみ注ぎなさい)。

ゆらーす [jura:sʝ] [動I類c型] [ゆらーしー、ゆらーしゃん] 寄せ合わせる。人を集める。散らかっている物を集める。

ゆらいり<sup>9</sup> [juraiɯ] [動II類c型] [ゆらいー、ゆらいん] 揺られる。【例】ばしゃん ゆらいり<sup>9</sup> (馬

- 車に揺られる)。
- ゆらう [jurau] [動I類c型] [ゆれー、ゆらーん] 寄り合う。集う。集合する。寄ってくる。【同】「ゆれー」。
- ゆらす [juras] [動I類c型] [ゆらしー、ゆらしゃん] 揺らせる。漂わせる。浮かせる。【例】なムー ゆらす (波に浮かせる)。
- ゆらみぎ [juramik] [動I類c型] [ゆらみきー、ゆらみかん] あふれそうである。なみなみである。
- ゆらゆら [jurajura] [擬] あふれそうな様。こぼれそうな様。なみなみ。
- ゆららす [juras] [動I類c型] [ゆららしー、ゆららしゃん] 迷わせる。迷子にさせる。
- ゆらり [jurari] [名] [ゆらりま<sup>1</sup>い...] 迷い。さすらい。
- ゆらりだか [juraridaka] [名] [ゆらりだ<sup>1</sup>かまい...] 迷い鷹。群れからはぐれた鷹。【類】「うていだか」。「すまばんだか」。「びっぴーだか」。
- ゆらりまーり [jurarima:] [動I類c型] [ゆらりまーりー、ゆらりまーらん] 迷い回る。さまよい回る。放浪。当てもなくあちこちさまよい歩く。
- ゆらりむぬ [jurarimunu] [名] [ゆらりむ<sup>1</sup>ぬまい...] 迷い者。流れ者。放浪者。
- ゆらりり [jurari] [動II類c型] [ゆらりー、ゆらりん] 迷う。【例】みつん ゆらりり (道に迷う)。
- ゆり [ju] [助] ~より。比較の基準を示す。【例】うりゆりらー くりどう ます (それよりはこれがまだ)。
- ゆり [ju] [名] [ゆ<sup>1</sup>りまい...] 夜。夜間。晩。【例】ゆりゆなか (夜夜中)。
- ゆり [ju] [名] [ゆ<sup>1</sup>りまい...] 篩。選り。穀物の実と殻を選り分ける道具。
- ゆり [ju] [動I類c型] [ゆりー、ゆらん] 揺らぐ。動く。【例】ないん ゆり (地震に揺らぐ)。
- ゆり [ju] [動I類c型] [ゆりー、ゆらん] 揺り動かす。【例】ゆいしゃーう ゆり (ぶらんこを揺り動かす)。
- ゆり [ju] [動I類c型] [ゆりー、ゆらん] 浮く。
- 漂う。【例】ゆりき (流木。漂流木)。
- ゆり [ju] [動I類c型] [ゆりー、ゆらん] 寄る。立ち寄る。
- ゆり [ju] [動I類] [ゆりー、ゆらん] [ゆりま<sup>1</sup>い...] 選る。命名のときに名前を書いた紙を選る。
- ゆり [ju] [動I類c型] [ゆりー、ゆらん] 因る。原因。【例】かちまけー ヴヴあんどー ゆり (勝負は君に因る)。
- ゆり [ju] [動I類c型] [ゆりー、ゆらん] 撚る。繕る。紙を捻って「より」を作る。
- ゆりあい [juriai] [名] [ゆりあいまい...] 寄り合い。
- ゆりかい [jurikai] [名] [ゆりかいまい...] 寄り会。集会。模合。
- ゆりき [ju] [名] [ゆりきま<sup>1</sup>い...] 漂流木。流木。
- ゆりじゆ [ju] [名] [ゆりじゆま<sup>1</sup>い...] 和紙を捻って「より」にしたもの。【同】「ゆっじゆ」。
- ゆりずぎ [ju] [名] [ゆりずぎまい...] 閏う月。旧暦は新暦に比べて1年が11日短い。したがって19年に7回閏月を設けて1年を13ヶ月とする。
- ゆりつぎぶどうり [ju] [名] [ゆりつぎぶどう<sup>1</sup>りまい...] 八月おどりの演目。塩川の婦人の踊り。
- ゆりなりペーしゃーり [ju] [形] [ゆりなりペー<sup>1</sup>しゃまい...] 夜になるのが早いこと。
- ゆりぬ すぐとう [ju] [名] [ゆりぬ<sup>1</sup>すぐとう<sup>1</sup>まい...] 夜の仕事。
- ゆりぱいでい [ju] [名] [ゆ<sup>1</sup>りぱいでいまい...] 夜の外出。
- ゆりピる [ju] [名] [ゆりピ<sup>1</sup>るまい...] 夜と昼と。
- ゆりふに [ju] [名] [ゆりふにまい...] 漂流船。流れ着いた船。
- ゆりみつ [ju] [名] [ゆりみつまい...] 寄り道。
- ゆりむつ [ju] [名] [ゆりむつまい...] 漂流物。浜に打ち上げられたもの。【例】ばままーりすばどう ゆりむつぬ みーらいり (浜をめ

ぐっていったら、漂流物が見える)。

ゆりむぬ [ju[munu] [名] [ゆりむぬまい...] 漂着物。漂流物。【類】「ながりむぬ」。

ゆりゆなか [ju[junaka] [名] [ゆりゆなかもい...] 夜夜中。深夜。真夜中。

ゆりらー [ju[ra:] [助]～より。それより。【例】うりゆりらー くりどう ます (それよりこれがましだ)。【同】「ゆーりらー」。

ゆりらピー [ju[ra:pi:] [連語] 夜も昼も。昼夜。

ゆりり [juri:] [動 II 類 a 型] [ゆりー、ゆりん] 揺れる。【例】ふにぬ ゆりり (船が揺れる)。

ゆりる [ju[ru] [名] [魚] [ゆりるまい...] むろあじ。

ゆりわかでーず [jurivakade:dz] [名] [ゆりわ<sup>1</sup>かでーずまい...] 百合若大臣。水納島の伝説。百合若大臣は鹿兒島に帰ってから臣下を水納島に送った。それからは水納島は栄えた。ニコライ・ネフスキーによる。村史参照。

ゆるい [jurui] [名] [ゆる<sup>1</sup>いまい...] いろり。囲炉裏。

ゆるいばた [juruibata] [名] [ゆるいば<sup>1</sup>たまい...] いろり端。いろりの近く。

ゆるー [juru:] [動 I 類 c 型] [ゆれー、ゆらーん] 寄り合う。集う。集合する。寄ってくる。【同】「ゆらう」。

ゆるーじゃー [juru:dza:] [名] [ゆるーじゃ<sup>1</sup>まい...] 寄り合う場所。集会所。

ゆるがす [jurugas] [動 I 類 a 型] [ゆるがしー、ゆるがしゃん] 動かす。揺らす。【例】きーう ゆるがす (木を揺らす)。

ゆるギ [jurugi] [動 I 類 a 型] [ゆるぎー、ゆるがん] 動く。揺れる。【例】かでいん ゆるギ (風に揺れる)。

ゆるくばす [jurukubas] [動 I 類 a 型] [ゆるくばしー、ゆるくばしゃん] 喜ばせる。

ゆるくビ [jurukubi] [動 I 類 a 型] [ゆるくびー、ゆるくばん] 喜ぶ。

ゆるしゃーり [juru:sa:] [形] [ゆる<sup>1</sup>しゃまい...] 緩い。【例】むすビぬ ゆるしゃーり (結びが緩い)。

ゆるす [jurus] [動 I 類 c 型] [ゆるしー、ゆるし

ゃん] 緩める。放す。手を放す。糸の結びを緩める。【類】「ゆるます」。

ゆるす [jurus] [動 I 類 c 型] [ゆるしー、ゆるしゃん] 許す。免ずる。赦す。自由にする。

ゆるます [jurumas] [動 I 類 c 型] [ゆるましー、ゆるましゃん] 緩める。緩くする。帯を緩める。【類】「ゆるす」。

ゆるム [jurum] [動 I 類 c 型] [ゆるみー、ゆるまん] 緩む。たるむ。

ゆるむぬ [jurumunu] [名] [ゆるむ<sup>1</sup>ぬまい...] よろしい。

ゆるゆる [jurujuru] [擬] だぶだぶ。衣服の大きいこと。

ゆわき [juvaki] [名] [ゆわきまい...] 弱気。

ゆわたリ [juvata:] [名] [ゆわた<sup>1</sup>りまい...] 世渡り。

ゆわビ [juvabi] [名] [ゆわビまい...] 弱火。とろび。

ゆわまり [juvama:] [動 I 類 c 型] [ゆわまりー、ゆわまらん] 弱まる。風雨が弱まる。

ゆわみ [juvami] [名] [ゆわ<sup>1</sup>みまい...] 弱み。弱いところ。

ゆわみり [juvami:] [動 II 類 c 型] [ゆわみー、ゆわみん] 弱める。弱くする。ゆるくする。

ゆんたく [juntaku] [名] [ゆんた<sup>1</sup>くまい...] 雑談。おしゃべり。世間話をする事。

ゆんちゆ [juntçu] [名] [ゆん<sup>1</sup>ちゆまい...] 与人。琉球王府の役人。宮古、八重山の役人。主加奈志。島を統治する職権を有する。平良与人に限り任命され銀の簪をつける。給料は1年に粟48俵 (ニコライ・ネフスキー)。

ゆんなり [junna:] [動 I 類 c 型] [ゆんなりー、ゆんならん] 夕方になる。夜になりかける。

## — よ —

よいる [joiru] [感] 家を葺くときの合言葉。茅葺きの家の屋根を葺くときに、下に針を持つ人と上に茅を葺く人の合言葉。上にいる人が言う。「よろしい」という意味。

よー [jo:] [名] [よーま<sup>1</sup>い...] 仕方。様。【例】イーよーぬどう あり (言い様がある)。

よー [jo:] [名] [よーま<sup>1</sup>い...] 用。用事。使い道。用途。【例】よーや ねーん (用はない)。

よー [jo:] [副] しっかり。もっと。【例】よー ぬまだ (もっと飲みなさい)。よー ぱたらき (しっかり働きなさい)。【同】「やう」。

よー [jo:] [感] ~さあ。~だぞ。注意を促す。呼びかける。【例】よー だいずどー (よー、大変だぞ)。

よー [jo:] [感] 念をおす。【例】よー まねーんていー かんがある (よー、しっかり考えろよ)。

よー んてる [jo: nteru] [連語] 世は満ちている。豊年を祈願するかけ声。女性たちが行く。

よーイ [jo:i] [名] [よーイま<sup>1</sup>い...] 祝い。祝い事。慰労会。祝い座の酒も言う。【例】よーイんけー (祝いに行く)。よーイう むていー くー (酒を持ってきなさい)。【同】「ゆーイ」。【類】「ゆーじゅ」。

よーイギん [jo:iɡin] [名] [よーイギ<sup>1</sup>んまい...] 祝衣着。晴れ着。

よーイじゃー [jo:iʒa:] [名] [よーイじゃ<sup>1</sup>ーまい...] 祝い座。宴席。

よーイじん [jo:iʒin] [名] [よーイじ<sup>1</sup>んまい...] お祝儀。

よーいそーそー [jo:iso:so:] [名] [よーいそーそー<sup>1</sup>ゆまい...] 肩車。

よーいどん [jo:idon] [感] 競走や競争のときの出発の合図。

よーイぬ つつとう [jo:i nu tsuttu] [名] [よーイぬ

つつ<sup>1</sup>とうまい...] 祝いからの土産。

よーイぬ むぬ [jo:i nu munu] [名] [よーイぬむ<sup>1</sup>ぬまい...] 祝い用物品。支度品。土産物。

よーイばし [jo:i baʃi] [名] [よーイば<sup>1</sup>しまい...] 旧正月と十六日祭の間。

よーイふー [jo:i fu:] [名] [よーイふ<sup>1</sup>ーまい...] 祝いに招待されること。

よーイヤー [jo:i ja:] [名] [よーイヤ<sup>1</sup>ーまい...] 祝いの家。

よーいんや [jo:i n ja] [連語] 容易には。簡単には。【例】よーいんや とうらいん (簡単には捕まらない)。

よーがー [jo:ga:] [名] [よーが<sup>1</sup>ーまい...] 弱い人。体力の弱い人に言う。弱虫。臆病。忍耐力に欠けること。【類】「よーばー」。

よーがーぎしゃーり<sup>1</sup> [jo:ga:giʃa:] [形] [よーがーぎ<sup>1</sup>しゃまい...] 弱そうである。

よーか<sup>1</sup>でい [jo:kadi] [名] [よーか<sup>1</sup>でいまい...] 弱い風。微風。

よーかにす [jo:kanisʃ] [名] [鳥] [よーかにすまい...] つばめ。つばくろ。【同】「やうかにす」。

よーがま [jo:gama] [名] [よーが<sup>1</sup>ままい...] 女性の素振り。しとやかな振る舞い。なよなよしい。女々しい。男女を問わない。

よーがりピとう [jo:garipitu] [名] [よーがりピとうまい...] やせ衰えた人。

よーがりむぬ [jo:garimunu] [名] [よーがりむぬまい...] やせた人。動物にも言う。【同】「やうがりむぬ」。

よーがりり<sup>1</sup> [jo:gari] [動 II 類 a 型] [よーがりー、よーがりん] やせる。やせ衰える。動物にも言う。【同】「やうがりり<sup>1</sup>」。

よーぎしゃーり<sup>1</sup> [jo:giʃa:] [形] [よーぎ<sup>1</sup>しゃまい...] 弱そうである。

よーし [jo:ʃi] [名] [よー<sup>1</sup>しまい...] 養子。

よーしゃーり<sup>1</sup> [jo:ʃa:] [形] [よー<sup>1</sup>しゃまい...] 弱い。【例】くすぬどう よーしゃーり<sup>1</sup> (あと押しが弱い)。

よーす [jo:sʃ] [名] [よー<sup>1</sup>すまい...] 様子。

よーだき [jo:daki] [副] よくよく。もっと。【例】よーだき かんがある (たくさん考えよ)。【同】

- 「やうでき」。
- よーたよーた [jo:tajo:ta] [擬] [よーたよーたて  
いーまい...] 動きのにぶいこと。
- よーたんでい [jo:tandi] [感] 注意を促す。気をつ  
けるときに言う。【例】よーたんでい まるび  
な (転ぶなよ)。
- よーばー [jo:ba:] [名] [よーば<sup>1</sup>ーまい...] 弱虫。  
臆病。忍耐力に欠けること。【類】「よーがー」。
- よーみ [jo:mi] [感] かけ声。茅葺き屋根を葺くと  
きの合図の声。【類】「よいる」。
- よーみぱり [jo:mipa] [名] [よー<sup>1</sup>みぱりまい...]  
茅葺き屋根の茅を締める縄を通す木製の針。
- よーみり [jo:mi] [動 II 類 c 型] [よーみー、よ  
ーみん] 弱める。
- よーむぬ [jo:munu] [名] [よーむ<sup>1</sup>ぬまい...] 弱  
い者。
- よーらす [jo:ras] [動 I 類 c 型] [よーらしー、よ  
ーらしゃん] 弱らせる。弱める。弱くする。
- よーり [jo:] [動 I 類 c 型] [よーりー、よーらん]  
弱る。弱くなる。食べ物が腐る。
- よーりむぬ [jo:munu] [名] [よーりむ<sup>1</sup>ぬまい...]  
弱くなった物。腐った物。
- よーりり [jo:ri] [動 II 類 c 型] [よーりー、よ  
ーりん] 弱くなる。弱る。
- よーん [jo:n] [連語] ~ように。するように。【例】  
まるばんよーん ぱり (転ばないように走れ)。  
【同】「やうん」。
- よーんなー [jo:nna:] [副] ゆっくり。落ち着いて。  
【例】よーんなー ぱり (ゆっくり走りなさい)。
- よしかわ [jo:çikava] [名] [よしか<sup>1</sup>わまい...] 吉  
川集落。
- よそー [joso:] [名] [よそーまい...] 予想。予測。
- よろい [joroi] [名] [よろ<sup>1</sup>いまい...] 鎧。

## — ら —

ら [ra] [助]～は。主題助詞。〈リ〉に終わる語に付くときの形。【例】とうりら ぶらーん (鳥はいない)。まーりら んだんが ありば (ボールはどこにあるの?)。

らーしー [ra:çi:] [連語]～らしく。～のように。似ている。

らーしーぬ [ra:çi:nu] [連体]～らしい。～のような。～に似ている。【例】くりらーしーぬ むぬ (これのようなもの)。

らーすぎしゃーり [ras:ɟiçã:] [形] [らーすぎ<sup>1</sup>しゃまい...] ふさわしい。それっぽい。【例】しんしーらーすぎしゃーり (先生にふさわしい)。

らいり [rai] [接尾]～られる。動詞の受身形及び可能形を作る。【例】みーらいり (見える。見られる)。くーらいり (来れる)。【同】「らりり」。

らく [raku] [形] [ら<sup>1</sup>くまい...] 楽。生活が楽である。仕事が楽である。

らくがき [rakugaki] [名] [らくが<sup>1</sup>きまい...] 落書き。

らくぎしゃーり [rakugiçã:] [形] [らくぎ<sup>1</sup>しゃまい...] 楽そうである。楽しそうである。

らくしー [rakuçi:] [名] [らくし<sup>1</sup>ーまい...] 落成。完成。

らくしーよーい [rakuçi:jo:] [名] [らくし<sup>1</sup>ーよーいまい...] 落成祝い。

らくしゅ [rakuçu] [名] [らく<sup>1</sup>しゅまい...] 落書。

らくだい [rakudai] [名] [らくだ<sup>1</sup>いまい...] 落第。

らくらくていー [rakurakuti:] [副] 楽々と。容易に。簡単に。やすやすと。

らくん なり [rakun na] [連語] 楽になる。仕事安定する。

らしんばん [raçinban] [名] [らし<sup>1</sup>んばんまい...] 羅針盤。

らす [ras] [接尾]～らせる。～させる。【例】ぶどうらす (踊らせる)。やらす (行かせる)。からす (刈らせる)。

らっきょー [rakkjo:] [名] [植] [ら<sup>1</sup>っきょー「まい...」] らっきょう。現代的な発音。

らっけう [rakkeu] [名] [植] [ら<sup>1</sup>っけう「まい...」] らっきょう。本来の発音。

らっけー [rakke:] [名] [植] [ら<sup>1</sup>っけー「まい...」] らっきょう。

らっぱ [rappa] [名] [らっ<sup>1</sup>ぱまい...] ラッパ。

らりり [rari] [接尾]～られる。動詞の受身形及び可能形を形成する。【例】みーらりり (見える。見られる)。くらりり (来れる)。【同】「らいり」。

らん [ran] [名] [植] [ら<sup>1</sup>んまい...] 欄。

らんがしゃ [rangãçã] [名] [らんがしゃまい...] 欄傘。こうもりがさ。洋傘。

らんぷ [ranpu] [名] [らん<sup>1</sup>ぷまい...] ランプ。角ランプ。ほやランプ。【類】「とうり」。

らんぼー [ranbo:] [形] [らんぼーまい...] 乱暴。

り [] [接尾]～る。類動詞の語根に付き、終止連体形を形成する。【例】みーり (見る)。にーり (似る)。とうみり (探す)。

り [] [接尾]～る。形容詞の語根に付き「～くなる」という意味の動詞を派生させる。【例】よーり (弱くなる)。ちゅーり (強くなる)。

## — り —

り [ri] [助数] 里。距離の単位。1里は4キロメートル。

りー [ri:] [名] [り<sup>1</sup>ーまい...] 利。利子。利息。【類】「りす」。

りー [ri:] [名] [り<sup>1</sup>ーまい...] 例。先例。慣例。【例】なまがみぬ りーん なれー すどう ます (これまでの例に習ってやればよいのだ)。

りーき [ri:ki] [名] [りー<sup>1</sup>きまい...] 利益。もうけ。

りーぎ [ri:gi] [名] [りー<sup>1</sup>ぎまい...] 礼儀。

りーぎさほー [ri:gisaho:] [名] [りーぎさほ<sup>1</sup>ーまい...] 礼儀作法。

りーじん [ri:dzin] [名] [り<sup>1</sup>ーじんまい...] 利息付きの金。利息のついた借金。

りーん [ri:n] [名] [りー<sup>1</sup>んまい...] 吏員。役人。官吏。行政職員。

りか [rika] [名] [り<sup>1</sup>かまい...] 理科。

りくつ [rikutsɯ] [名] [りく<sup>1</sup>つまい...] 理屈。

りくつじゅーしゃーり [rikutsɯdzu:ɕa:] [形] [りく<sup>1</sup>つじゅーしゃまい...] 理屈が強い。理屈を並べる。

りす [risɯ] [名] [り<sup>1</sup>すまい...] 利子。【類】「りー」。

りつ [ritsɯ] [名] [り<sup>1</sup>つまい...] 列。行列。整列。

りっか [rikka] [名] [りっ<sup>1</sup>かまい...] 立夏。二十四節の一つ。太陽暦の5月6日頃。

りっしゅー [riççu:] [名] [りっしゅ<sup>1</sup>ーまい...] 立秋。二十四節の一つ。太陽暦の8月8日頃。

りっしゅん [riççun] [名] [りっしゅ<sup>1</sup>んまい...] 立春。二十四節の一つ。太陽暦の2月4日頃。

りっすん [rissɯn] [名] [りっす<sup>1</sup>んまい...] 立身。

りっとー [ritto:] [名] [りっ<sup>1</sup>とーまい...] 立冬。二十四節の一つ。太陽暦の11月8日頃。

りっぱ [rippa] [形] [りっ<sup>1</sup>ぱまい...] 立派。

りはつ [rihatsɯ] [名] [りは<sup>1</sup>つまい...] 理髪。散髪。

りゅーきゅー [rju:kju:] [名] [りゅーきゅーまい...] 琉球。琉球王国。1879年崩壊し、沖縄県となる。昔の古老たちはく<sup>1</sup>るーちゅーと発音していた。【同】「るーちゅー」。

りゅーぐー [rju:gu:] [名] [りゅーぐーまい...] 竜宮。

りゅーぐーにがイ [rju:gu:nigaɯ] [名] [りゅーぐーにが<sup>1</sup>イまい...] 竜宮祭。

りゅーぐーぬかム [rju:gu:nukam] [名] [りゅーぐーぬか<sup>1</sup>ムまい...] 竜宮の神。

りゅーこーか [rju:ko:ka] [名] [りゅーこー<sup>1</sup>かまい...] 流行歌。

りゅかん [rjukan] [名] [りゅか<sup>1</sup>んまい...] 旅館。

りゅこー [rju:ko:] [名] [りゅこーまい...] 旅行。

りら [lɾa] [助数] ~枚。枚数の単位。【例】むっすうぬ ピとうりら (むしろの一枚)。

りり [ri] [接尾] ~れる。受身接尾辞。【例】かかりり (書かれる)。ゆまりり (読まれる)。【同】「いり」。

りる [lɾu] [助数] ~尋。長さの単位。【例】ピとうりる (一尋)。ふたりる (二尋)。

りんが [ringa] [名] [りん<sup>1</sup>がまい...] 煉瓦。

りんぎ [rinkɯ] [名] [りん<sup>1</sup>ぎまい...] 怪気。男女関係における嫉妬。やきもち。短気。八月おどりの仲筋の「狂言」。【類】「りんちゃー」。

りんちゃー [rintɕa:] [名] [りんちゃ<sup>1</sup>ーまい...] やきもち。嫉妬。【類】「りんぎ」。

— る —

る [ru] [接尾] ~の。~こと。~人。〈しゅ〉(~の、~こと)の接尾辞が〈り〉に終わる語に付く時の異形態。【例】まきー ぶりるー っさだたム (負けていたのを知らなかった)。【同】「しゅ」。

る [ru] [助] ~を。〈り〉に終わる単語のときの形式。【例】まーりる きり (ボールを蹴りなさい)。とうりる みーる (鳥を見なさい)。【同】「う」。「ゆ」。

るー [ru:] [名] [る<sup>1</sup>ーまい...] 櫓。ろ。船を漕ぐ櫂。

るーちゅー [ru:tçu:] [名] [るーちゅーまい...] 琉球。琉球王国のこと。古い発音。【同】「りゅーきゅー」。

るきー [ruki:] [名] [るき<sup>1</sup>ーまい...] 流刑。島流しの刑。遠島。

るく [ruku] [名] [る<sup>1</sup>くまい...] 六。六つ。六歳。【類】「ムーつ」。

るくがつ [rukugats] [名] [る<sup>1</sup>くがつ<sup>1</sup>まい...] 六月。

るくがつべーり [rukugats]beri [名] [る<sup>1</sup>くがつべーりまい...] 六月の日照。晴天続き。【類】「べーり」。

るくしゃくばう [rukuçakubau] [名] [るくしゃくば<sup>1</sup>うまい...] 六尺棒。【同】「るくしゃくぼー」。

るくしゃくぼー [rukuçakubo:] [名] [るくしゃくば<sup>1</sup>ーまい...] 六尺棒。【同】「るくしゃくばう」。

るくじゅーいつ [rukudzu:its] [名] [るくじゅ<sup>1</sup>ーいつまい...] 六十一。六十一歳。還暦。

るくじゅーいつぬ よーイ [rukudzu:its]nu jo:] [名] [るくじゅーいつ<sup>1</sup>ぬよーイ<sup>1</sup>まい...] 六十一の祝い。六十一歳の祝い。還暦祝い。

るくまく [rukumaku] [名] [るくま<sup>1</sup>くまい...] 肋膜炎。

るっかく [rukkaku] [名] [るっか<sup>1</sup>くまい...] 六

角。六角形。

— れ —

れぐふん [regufun] [名] [れぐふ<sup>1</sup>んまい...] レグ  
ホン。鶏の品種。産卵用の白色の鶏。

れたす [retas] [名] [植] [れた<sup>1</sup>すまい...] レタ  
ス。野菜。最近の言い方。

れん [ren] [名] [植] [れ<sup>1</sup>んまい...] ほていおお  
い。浮き草。家の柱や壁に掛ける。【同】「でん」。

れん [ren] [名] [れ<sup>1</sup>んまい...] 縁起のいいこと  
を書いた飾り。

れんらく [renraku] [名] [れんら<sup>1</sup>くまい...] 連  
絡。

れんらくしん [renrakuşin] [名] [れんら<sup>1</sup>くしん  
まい...] 連絡船。運搬船。

## — ろ —

ろー [ro:] [名] [ろーまい...] ろうそく。

ろー [ro:] [連語] ~のは。【例】ぶげろー（いるのは）。あげろー（あるのは）。

ろーそく [ro:soku] [名] [ろーそくまい...] 蠟燭。

ろーや [ro:ja] [名] [ろーやまい...] 牢屋。監獄。刑務所。

ろーやぶり [ro:jaburi] [名] [ろーやぶりまい...] 牢破り。遊びの一つ。【同】「どーやぶり」。

ろーゆ まみり° [ro:ju mami] [連語] 蠟燭を塗る。滑りを良くする。

ろっぱくしゅ [roppakuçū] [名] 六白種。豚の品詞。足の四つ、鼻の先と尻尾が白いことから言う。

## — わ —

わー [va:] [名] [わーまい...] 輪。車輪。【例】ばしゃぬ わー (馬車の車輪)。かにわー (金属の輪)。

わー [va:] [名] 上。上方。【類】「わーかー」。「わーけー」。

わー [va:] [名] [わ<sup>1</sup>ーまい...] 豚。豚肉。豚骨。【類】「わーく」。

わーあぐ [va:agu] [名] [わーあぐまい...] 上あご。

わーいり<sup>9</sup> [vaii] [動 II 類 a 型] [わーいー、わーいん] 追われる。追いかけられる。

わーヴヴあい [va:vvai] [名] [わ<sup>1</sup>ーヴヴあいまい...] 豚小屋から出た肥料。

わーかー [va:ka:] [名] [わーかーんまい...] 上の方。上側。【例】わーかーにー (上に。上の方に)。わーかーにーぬーり (上の方に乗りなさい)。【同】「わーけー」。

わーがギ [va:gakɿ] [名] [わーがギまい...] 上書き。表書き。

わーがギ [va:gakɿ] [名] [わーがギまい...] 上書き。封筒の上書き。

わーがに [va:gani] [名] [わーがにまい...] 鉄製の車輪。

わーがにくるま [va:ganikuruma] [名] [わ<sup>1</sup>ーがにくるままい...] 鉄製の車輪の馬車。

わーがにまーす [va:ganima:sɿ] [名] [わ<sup>1</sup>ーがにまーすまい...] 遊びの一種。鉄の車輪をころがす。輪ころがし競争。

わーギ [va:kɿ] [名] [わーギまい...] うぬぼれ。

わーギ [va:gɿ] [名] [わーギまい...] 上着。

わーギ [va:gɿ] [名] [わーギまい...] 上等な着物。晴れ着。

わーぎ [va:gi] [名] [わーぎまい...] 上。上の方。【類】「うい」。「わーかー」。「わーけー」。「わー

び」。

わーギむぬ [va:kɿmunu] [名] [わーギむ<sup>1</sup>ぬまい...] うぬぼれ者。

わーぎり [va:gi] [動 II 類 a 型] [わーぎー、わーぎん] ひっくり返す。中味をこぼす。

わーく [va:ku] [名] [わー<sup>1</sup>くまい...] 豚。豚肉。豚骨。【類】「わー」。

わーくくるす [va:kukurusu] [名] [わー<sup>1</sup>くくるすまい...] 豚を屠殺すること。【類】「わーくるす」。

わーくるす [va:kurusɿ] [名] [わ<sup>1</sup>ーくるすまい...] 豚を屠殺すること。【類】「わーくくるす」。

わーけー [va:ke:] [名] [わーけーまい...] 上の方。上側。【同】「わーかー」。

わーしえー [va:ɕe:] [名] [わ<sup>1</sup>ーしえーまい...] 豚を屠殺する人。

わーす [va:sɿ] [動 I 類 c 型] [わーしー、わーしやん] 負わせる。運ぶ。運ばせる。【例】すっじゃわーす (さとうきび運搬)。にーう わーす (荷を負わせる)。【同】「うーす」。

わーす [va:sɿ] [動 I 類 c 型] [わーしー、わーしやん] 負わす。責任を負わす。

わーす [va:sɿ] [動 I 類 c 型] [わーしー、わーしやん] 生やす。育てる。動物・植物に言う。

わーす [va:sɿ] [動 I 類 c 型] [わーしー、わーしやん] 男根を勃起させる。【類】「ういっす」。

わーすでいまー [va:sɿdima:] [名] [わーすでいま<sup>1</sup>ーまい...] 運び手間賃。

わーすば [va:sɿba] [名] [わーすばまい...] 上唇。

わーずム [va:dzɿm] [名] [わーずムまい...] 上澄み。上澄み汁。固形物が沈殿した液体の上澄み液。

わーずム [va:dzɿm] [名] [わーずムまい...] 上積み。積んだものの上に更に積む。

わーずる [va:dzɿru] [名] [わ<sup>1</sup>ーずるまい...] 豚汁。

わーつかぬー [va:tsɿkanu:] [名] [わ<sup>1</sup>ーつかぬー「まい...」] 豚を飼う。養豚。家庭で飼う。

わーつギ [va:tsɿkɿ] [名] [わーつギまい...] 天気。天候。空模様。気象。

わーつギやヴヴい [va:tsɿkɿjavvi] [名] [わーつギ

- やヴヅいまい...] 天気にくずれ。
- わーてい [va:ti] [名] [わーていまい...] うらやましい。【例】へくてんゆ とうりー わーていなー (100点を取ってうらやましい)。
- わーてい [va:ti] [名] [わーていまい...] 上手(うわて)。他人より優れていること。競技会や競進会などに言う。【例】くりがどう わーてい(この人の方がうわてだ)。
- わーなげ [va:na] [名] [わーなりまい...] 妬み。嫉妬すること。女同士の嫉妬。そねみ。
- わーにく [va:niku] [名] [わーにくまい...] 豚肉。
- わーぬ あヴヅあ [va:nu avva] [名] [わーぬあヴヅあまい...] 豚の脂肪。油。
- わーぬ たぎかす [va:nu takikas] [名] [わーぬたぎかすまい...] 豚の脂肪を取った粕。炊き粕。
- わーぬ っふあ [va:nu ffa] [名] [わーぬっふあまい...] 豚の子。子豚。
- わーぬ なかみ [va:nu nakam] [名] [わーぬなかみまい...] 豚の中身。豚の内臓。
- わーぬ ばぎ [va:nu pag] [名] [わーぬばぎまい...] 豚足。
- わーぬ ばんまい [va:nu panmai] [名] [わーぬばんまいまい...] 豚の飼料。えさ。
- わーぬ ふぐり [va:nu fugu] [名] [わーぬふぐりまい... わーぬふぐりまい...] 豚の陰のう。「睾丸」は誤り。
- わーぬ ふぐりとうり [va:nu fugu[tu] [名] [わーぬふぐりとうりまい...] 豚の陰のうを取る。去勢すること。【類】「たにとうり」。
- わーぬ やー [va:nu ja:] [名] [わーぬやーまい...] 豚小屋。豚舎。
- わーぬげ [va:nu] [名] [わーぬりまい...] 上塗り。壁の上塗り。
- わーば [va:ba] [名] [わーばまい...] 上。上の方。上位。成績の上位のこと。
- わーばぐとう [va:bagutu] [名] [わーばぐとうまい...] 余計なこと。【類】「あまぎとう」。
- わーばむぬ [va:bamunu] [名] [わーばむぬまい...] 余り物。残り物。必要以上の物。
- わーび [va:bi] [名] [わーびまい...] 上。上の方。上位。上座。【類】「わーかー」「わーぎ」「わーけー」「わーぶ」。
- わーぶ [va:bu] [名] [わーぶまい...] 上の方。上部。【類】「わーかー」「わーぎ」「わーけー」「わーび」。
- わーぶに [va:buni] [名] [わーぶにまい...] 豚骨。豚の肉のついた骨。
- わーぶにだす [va:bunidas] [名] [わーぶにだすまい...] 豚骨のだし。
- わームぶす [va:mbus] [名] [わームぶすまい...] 豚肉の煮付け。
- わーむらす [va:muras] [動I類c型] [わーむらしー、わーむらしゃん] 上盛らせる。山盛。
- わーむりぺーし [va:mu[pe:çi] [名] [わーむりぺーしまい...] 山盛の音頭。豊かであることを祈る音頭。
- わーら [va:ra] [名] [わーらまい...] 上。上の方。風上。
- わーらがぎ [va:ragak] [名] [わーらがぎまい...] 風上の垣。風除けの垣。防風用の垣。
- わーらかた [va:rakata] [名] [わーらかたまい...] 上の方。上座。上役。上司。
- わーらす [va:ras] [動I類c型] [わーらしー、わーらしゃん] お送りする。上司の退場のときに言う。
- わーり [va:] [動I類c型] [わーりー、わーらん] <ギー> (来る) <いギ> (行く) <ぶり> (いる) の尊敬語。いらっしゃる。なお、本動詞の接続形に続いて尊敬語の補助動詞としても働く。お…になる。【例】わーりたムベーム (いらっしゃいましたか)。とうむー しらいー わーり (どうぞいらっしゃって下さい)。んかぎー わーり (召し上がって下さい)。わーりー とうずきー わーり (いらっしゃってご指導下さい)。わーらん びー わーり (上座にお座り下さい)。ゆけー わーり (お休み下さい)。
- わーり [va:ri] [連語] いらっしゃい。もてなしの言葉。島人たちの、目上の人、外来者、出張人、観光客に敬意を表す言葉。歓迎の意味がある。下さい。【例】くまんけー わーり (ここへいらっしゃい)。

わーりり [va:ri] [動 II 類 a 型] [わーりー、わーりん] 追われる。追いかけられる。

わい [vai] [感] がんばれ。励ますときの言葉。耐えるよう、我慢するよう、ねばるようなどを促す言葉。【例】わいていー ギばり (我慢して働け)。

わい [vai] [連語] 追え。追い払え。〈うー〉 (追う) の命令形。【例】ぱイう わい (蠅を追い払え)。

わいがわい [vaigavai] [感] 何くそ。これしきのことで負けるものか。苦しみに耐える。【例】わいがわいていー ぱたらギたり (苦しみに耐えて働いた)。

わいていー [vaitii:] [副] うんと。けんめいに。しっかりと。不屈の意。【例】わいていー する (うんと仕事をしなさい)。

わいどー [vaido:] [感] がんばれ。負けるな。競技者や労働者への声援。

わいどーわい [vaido:vai] [感] がんばれ。重複語。

わいる [vairu] [名] [わい<sup>1</sup>るまい...] 賄賂。

わかしゅ [vakaçu] [名] [わか<sup>1</sup>しゅまい...] 若衆踊りのこと。八月おどりの演目の一つ。

わかみ [vakami] [名] [わか<sup>1</sup>みまい...] わかめ。

わかり [vakari] [名] [わか<sup>1</sup>りまい...] 分かれ。別れ。離別。

わかれ [vakare] [名] [わか<sup>1</sup>れまい...] 別れ。八月おどりの三日目のこと。

わき [vaki] [名] [わ<sup>1</sup>きまい...] わけ。理由。事情。

わきてい [vakiti] [副] どうしても。【例】わきてい しゅだからー ならんな (どうしてもやらなければいけないのか)。

わきピだてい [vakipjdati] [名] [わきピだ<sup>1</sup>ていまい...] 分け隔て。差別。

わきピだていり [vakipjdati] [動 II 類 c 型] [わきピだていー、わきピだていん] 分け隔てる。差別する。

わきまい [vakimai] [名] [わきま<sup>1</sup>いまい...] 分け前。取り分。取り前。もらい分。

わきまい [vakimai] [名] [わきま<sup>1</sup>いまい...] 弁

え。区別。弁別。理解する。

わきまいり [vakimai] [動 II 類 c 型] [わきまいー、わきまいん] 弁える。理解する。

わく [vaku] [名] [わくまい...] 枠。予算内。

わごー [vago:] [名] [わごーまい...] 和合。仲良し。

わさび [vasabi] [名] [植] [わさ<sup>1</sup>びまい...] わさび。

わし [vaçi] [名] [鳥] [わしまい...] 鷺。かんむりわし。

わじゃ [vadza] [名] [わ<sup>1</sup>じゃまい...] 業。仕事。作業。技。技術。芸。

わじゃつとう [vadzattu] [副] わざと。ことさら。故意に。

わじゃわじゃ [vadzavadza] [副] わざわざ。

わずか [vadzka] [形] [わずかまい...] わずか。数の少ないこと。

わずらーすしゃーり [vadzrasça:] [形] [わずらーす<sup>1</sup>しゃまい...] 煩わしいこと。面倒。手数。

わずらーすむぬ [vadzrasjmunu] [名] [わずらーすむ<sup>1</sup>ぬまい...] 煩わしいもの。煩わしいこと。

わそー [vaso:] [名] [わそ<sup>1</sup>ーまい...] 和装。和服を着ること。

わそーぎん [vaso:gjn] [名] [わそ<sup>1</sup>ーぎんまい...] 和装着物。和服。

わた [vata] [名] [植] [わたまい...] 綿。【類】「むみんぎー」。

わたいり [vatairi] [名] [わたい<sup>1</sup>りまい...] 綿入れ。防寒用の着物。

わだち [vadatçi] [名] [わだちまい...] 轍。車輪の跡。

わちゃく [vatçaku] [名] [わちゃ<sup>1</sup>くまい...] いたずら。からかい。冷やかし。乱暴。子供が仕事の邪魔をする。【例】くぬ やらびぬ わちゃくてーん すー (この子が邪魔ばかりする)。

わっさーり [vassa:] [形] [わっ<sup>1</sup>さまい...] 悪い。【例】ばがどう わっさーり (私が悪い)。

わび [vabi] [名] [わびまい...] 詫び。詫びること。謝罪。あやまる。【類】「たんでい」。

わり [vari] [名] [わりまい...] 割。割合。程度。十分の一のこと。

わりあい [variai] [名] [わりあ<sup>1</sup>いまい...] 割合。  
わりあてい [variati] [名] [わりあていまい...] 割  
当て。仕事の分担。

わりいん [variin] [名] [わりい<sup>1</sup>んまい...] 割印。  
わりかん [varikan] [名] [わりかんまい...] 割勘。  
費用を各人が分担する。

わりきり<sup>ろ</sup> [variki] [動I類c型] [わりきり一、わ  
りきらん] 割り切る。納得する。

わりくム [varikum] [動I類a型] [わりくみ一、  
わりくまん] 割り込む。無理に入り込む。

わりとう [varitu] [副] わりと。わりに。思ったよ  
り。【例】わりとう かーしゃ ねーだたム (わ  
りと苦しくなかった)。

わりびき [varibiki] [名] [わりびきまい...] 割引。

わりふり<sup>ろ</sup> [varifu] [動I類a型] [わりふり一、わ  
りふらん] 割り振る。

わりん あう [varin au] [連語] 割に合う。引き  
合う。【例】わりん あう すぐとう (引き合う  
仕事)。

わるぎ [varugi] [名] [わるぎまい...] 悪気。悪  
意。

わるむぬ [varumunu] [名] [わるむ<sup>1</sup>ぬまい...] 悪  
者。

わるゆい [varujui] [名] [わるゆ<sup>1</sup>いまい...] 悪酔  
い。

わん [van] [名] [わんまい...] 湾。入り江。

わん [van] [擬] 犬の啼き声。

## — ん —

ん [n] [接尾]～ない。否定の接辞。【例】くん (来ない)。しゅん (しない)。うまーん (思わない)。ふあーん (食べない)。かかん (書かない)。ねーん (ない)。

ん [n] [助]～に。～で。【例】くまん びーる (ここに座りなさい)。るくじん くー (六時に来なさい)。あかん なり (赤になる)。わーびん ぬーしる (上に乗せなさい)。らくん なり (楽になる)。やーんどう ぱたらきーり (家で働いている)。

ん [n] [助数]～回。回数を数える。【例】ピとうん (一回)。ふたん (二回)。ミーん (三回)。ゆーん (四回)。いつん (五回)。むーん (六回)。ななん (七回)。やーん (八回)。くくぬん (九回)。とうーん (十回)。

んか [nka] [助]～中に。【例】くまんか (この中に)。ぱるんか (畑の中)。やーんか (家の中)。がっこーんか (学校の中)。ぱたんか ぱーぬあり むのーぬーが (腹の中に歯のあるものは何か。すりばちのこと。ニコライ・ネフスキーによる)。

んがーばま [nga:bama] [名] [地] [んがーばままい...] 前泊港の近くにある地名。多良間島の〈とうぶり〉の名前。村史参照。

んがーらす [nga:ras] [動I類c型] [んがーらしー、んがーらしゃん] 免れさせる。【例】ぴんだう んがーらす (山羊を放す)。【同】「ぬがーらす」。

んがーり [nga:ri] [名] [んがーりまい...] 免れ。【同】「ぬがーり」。

んがーりり [ngari] [動II類c型] [んがーりー、んがーりん] 免れる。許される。【同】「ぬがーりり」。

んがーんが [nga:nga] [重複] とても苦いこと。に

がい食べ物。

んがイー [nga:i] [名] [んがイーまい...] 胆のう。  
んがかまり [ngakama] [動I類c型] [んがかまりー、んがかまらん] ひどく飽きる。いやになる。【例】んがかまりすけ ふえーった (いやになるまで食べた)。

んかぎっす [nkagiss] [動I類a型] [んかぎっしー、んかぎっしゃん] 食べ物を差し上げる。目上の人に言う。【例】しゅーん んかぎっす (おじいさんに食べ物を差し上げる)。

んかぎり [nkagi] [動II類a型] [んかぎー、んかぎん] 〈ふー〉(食べる)〈ぬム〉(食べる)のの尊敬語。召し上がる。目上の人への食事。【例】んかぎー わーり (召し上がって下さい)。

んかじゃ [nkadza] [名] [虫] [んか<sup>1</sup>じゃまい...] むかで。百足。

んがしゃ [nga:ca] [名] [んが<sup>1</sup>しゃまい...] 苦さ。にがいこと。

んがしゃーり [nga:ca:i] [形] [んが<sup>1</sup>しゃまい...] 苦い。味の苦いこと。

んかじゃばた [nkadzabata] [名] [んかじゃば<sup>1</sup>たまい...] むかで旗。琉球王府の旗。八月おどりの最上段に掲げる。

んがす [ngas] [名] [んが<sup>1</sup>すまい...] にがり。

んがす [ngas] [動I類c型] [んがしー、んがししゃん] 抜かせる。抜き取らせる。【例】ぱーゆんがす (歯を抜く)。

んがだき [ngadaki] [名] [んがだ<sup>1</sup>きまい...] 島の在来竹。

んがな [ngana] [名] [植] [んが<sup>1</sup>なまい...] ほそばわだん。味の苦い野草。にが菜。

んがな [ngana] [感] はい。よろしい。承諾する。放免する。目下に言う。【例】んがな、ムめっすいった (よろしい、もうわかった)。【同】「いがな」。

んがなーらす [ngana:ras] [動I類c型] [んがなーらしー、んがなーらしゃん] 免れさせる。免除する。放免する。解放する。【同】「ぬがなーらす」。

んがなーり [ngana:i] [動I類c型] [んがなーりー、んがなーらん] 免れる。免除される。放免

される。解放される。【同】「ぬがなーり」。

んかにり [nkani] [動II類] [んかに一、んかにん]～しかねる。【例】うすんかにり(押しかねる)。ふーんかにり(食べかねる)。

んがぬし [nganuçi] [名][具][んがぬ<sup>1</sup>しまい...] れいしがい。わたがとても苦い味がする。

んがばつ [ngabats] [名][昆虫][んがばつまい...] くまばち。すずめばち。

んがペー [ngape:] [名][んがペー<sup>1</sup>まい...] 人名。伝説上の人物。

んがましやーり [ngamaça:] [形][んがま<sup>1</sup>しゃまい...] 騒がしい。騒々しい。うるさい。やかましい。

んがむぬ [ngamunu] [名][んがむ<sup>1</sup>ぬまい...] 苦い味。苦い食べ物。

んぎ [nk] [接尾] 動詞強調派生接辞。動詞に付きその意味を強める。【例】やらすんぎ(やっちゃまう)。うすんぎ(押し込む)。

んぎ [nk] [名][ん<sup>1</sup>ぎまい...] 神酒。女性が粟を噛んで造ったことが始まり(ニコライ・ネフスキー)。

んぎ [nk] [動I類c型][んぎ一、んかん] 貫く。通す。刺す。刺し通す。【例】みーゆ んぎ(穴を通す)。うすぬ ばなう んぎ(牛の鼻を貫く)。あうくー んきー かたみり(棒を貫いて担ぐ)。

んぎ [ng] [動I類c型][んぎ一、んがん] 抜く。除く。【例】んぎう んぎ(とげを抜く)。引き抜く。ふぎう んぎ(釘を抜く)。

んぎ [ngi] [名][植][んぎまい...] あだんの木。〈あだんぎ一〉の別称。【例】んぎぶり(あだんの葉を取る)。【類】「あだんぎ一」。

んぎ [ngi] [名][んぎまい...] のぎ。とげ。

んぎー [ngi:] [動I類c型][んぎすい一、んぎさん] 握る。握手。おにぎりを作る。すしを握る。餅を作る。

んぎぬ ぱー [nginu pa:] [名][んぎぬぱー<sup>1</sup>まい...] あだんの葉。

んぎぬ ぱーだむぬ [nginu pa:damunu] [名][んぎぬぱーだむぬまい...] あだんの葉の薪。あだんの枯れ葉のこと。

んきふ [nkifu] [名][海藻][んき<sup>1</sup>ふまい...] せんなりずた。うみぶどう。

んぎぶり [ngibu] [名][んぎぶ<sup>1</sup>りまい...] あだんの葉を取る。草履、むしろなどの原料となる。

んぎまぐ [nkimagu] [名][んぎまぐまい...] 小物入れ。【類】「まぐ」。

んぎやま [ngijama] [名][んぎやままい...] あだんの茂み。【類】「あだんやま」。

んぎり [ngi] [動II類c型][んぎ一、んぎん] 抜ける。とげが抜ける。歯が抜ける。桶の底が抜ける。

んくき [nkuki] [名][んくきま<sup>1</sup>い...] 重ね。

んくきり [nkuki] [動II類c型][んくき一、んくきん] 重ねる。

んぐとう [ngutu] [接尾]～せずに。～しないで。【例】あんしー しゅんぐとう(そうせずに)。

【類】「んぐとうな」。

んぐとうな [ngutuna] [接尾]～せずに。～しないで。【例】あんしー しゅんぐとうな(そうしないで)。ばらんぐとうな ありき(走らないで歩け)。【類】「んぐとう」。

んくム [nkum] [動I類c型][んくみ一、んくまん] 息む。力む。下腹に力を入れる。がんばる。【例】んくムばどう ふしよー んでいり(力めば大便は出る)。

んけ [nke] [接尾]～しないうちに。～する前に。【例】かりが くんけ ふあい(彼が来ないうちに食べなさい。彼が来る前に食べなさい)。

んけー [nke:] [助]～へ。【例】かまんけー とうび(向うへ行きなさい)。ぱるんけー(畑へ)。かーんけー みずムーが(井戸へ水汲みに)。

んげーり [nge:] [名][植][んげー<sup>1</sup>りまい...] ゆり。村史参照。

んけーん [nke:n] [名][んけーんまい...] 昔。以前。【例】んけーんぬ ぱなす(昔の話)。【類】「かながい」「むかす」。

んけーんから [nke:nkara] [連語] 昔から。以前から。

んけーんじゅく [nke:ndzuku] [名][んけーんじゅ<sup>1</sup>くまい...] 諺。金言。格言。村史参照。

んけーんぬ [nke:nnu] [連体] 昔の。昔のことは。  
【例】んけーんぬ ばなす (昔の話)。【類】「かながいぬ」。

んけーんぬ えーぐ [nke:nnu e:gu] [名] [んけーんぬえー<sup>1</sup>ぐまい...] 昔の歌。古謡。村史参照。

んけーんぬ くとう [nke:nnu kutu] [名] [んけーんぬく<sup>1</sup>とうまい...] 昔の事。昔の出来事。昔のことから。

んけーんばなす [nke:nbanasʝ] [名] [んけーんばなすまい...] 昔話。言い伝え。昔物語。

んけーんぴとう [nke:npi:tu] [名] [んけーんぴ<sup>1</sup>とうまい...] 昔の人。古人。

んけーんゆー [nke:nju:] [名] [んけーんゆー<sup>1</sup>まい...] 昔の世。昔の時代。

んじゃ [ndza] [名] [んじゃまい...] 奴。こやつ。  
【例】くぬ んじゃう まるき (こやつを縛れ)。

んじゅかしゃん [ndzukaʃan] [連語] 許さない。  
【例】きゅーや んじゅかしゃん (今日は許さない)。

んじゅかす [ndzukaʃ] [動I類c型] [んじゅかしー、んじゅかしゃん] 許す。【例】きゅーや んじゅかし (今日は許せ)。

んしり [nʃi:] [動II類c型] [んしー、んしん] 据える。固定する。準備する。料理する。【例】なびう んしり (鍋を据える)。

んず [ndzʝ] [感] おい。相手の考えと自分の考えが同じであることを示す。【例】んず あんしーしゃー (おいその通りだろう)。【同】「んどう」。

んだ [nda] [名] [疑] [んだんまい...] どこ。【例】んだが (どこか)。くまーんだが (ここはどこかなあ)。んだぬっふあが (どこの子どもか)。んだんけー (どこへ)。んだんけーが わーり (どこへいらっしゃいますか)。んだんけーまい (どこへでも)。んだんけーまい あらん (どこへも行かない)。んだたーしー (どこまでも)。んだたーしーが しむじ ありば (どこまでが下地地区か)。【同】「いだ」。

んだーとうム [nda:tum] [連語] どこも全く。【例】うやとう んだーとうム かーらん (親とどこも変っていないよ)。【同】「いだーとうム」。

んだがらー [ndagara:] [名] [んだがらーんけー

どう...] どこか。あるところ。【例】んだがらーぬ すまピとう (どこかの国の人)。【同】「いだがらー」。

んだくだ [ndakuda] [副] どこもかしこも。あっちこっち。【例】んだくだ とうみる (どこもかしこも探さない)。

んだくま [ndakuma] [副] どこもかしこも。あっちこっち。

んだす [ndasʝ] [動I類c型] [んだしー、んだしゃん] 出す。出航する。出演する。宿題を出す。模合金を出す。【同】「いだす」。

んだた [ndata] [名] [疑] [んだたんまい...] どころ。どころ辺。【例】んだたんが ありば (どこにあるか)。【同】「いだた」。

んだたなぎ [ndatanagi] [名] [疑] [んだ<sup>1</sup>たなぎんまい...] どころ。どころ辺。【同】「いだたなぎ」。

んだたばーき [ndataba:ki] [連語] [疑] どこまでも。【同】「いだたばーき」。

んだたまい [ndatamai] [連語] [疑] どこも。どこでも。【同】「いだたまん」。

んだたムーな [ndatammna] [名] [疑] [んだ<sup>1</sup>たムーなんまい...] どころへん。【同】「いだたムーな」。

んだなぎ [ndanagi] [名] [疑] [んだなぎ<sup>1</sup>んまい...。ん<sup>1</sup>だなぎんまい...] どこ辺。とちら辺。どこいら。【例】んだなぎんどう やーや ありば (どこ辺に家はあるのか)。【同】「いだなぎ」。

んだばーき [ndaba:ki] [連語] [疑] どこまでも。【例】んだばーきまい いかずー (どこまでも行くよ)。【同】「いだばーき」。

んだまい [ndamai] [連語] [疑] どこも。どこも皆。【例】んだまい あめー っふあん (どこも雨は降らない)。【同】「いだまい」。

んだムーな [ndammna] [名] [疑] [ん<sup>1</sup>だムーなまい...] どこ辺り。どころ辺。【例】んだムーなが ありば (どころ辺なの?)。【同】「いだムーな」。

んだやー [ndaja:] [連語] [疑] どこの家か。どこの家の子どもかと訪ねる。【同】「いだやー」。

んだやーぬ ピとう [ndaja:nu pɪtu] [連語] [疑]

どこの家の人か。【同】「いだやーぬピとう」。

んだらーしゃ [ndara:ɕa] [名] [んだらー<sup>1</sup>しゃまい...] かわいそう。みじめそう。

んだらしゃー<sup>1</sup> [ndaraɕa:] [形] [んだら<sup>1</sup>しゃまい...] かわいそうだ。あわれだ。みじめだ。【例】んだらしゃん ならん (かわいそうでならない)。

んだんだ [ndanda] [名] [ん<sup>1</sup>だんだんまい...] どこどこ。あちらこちら。どこもかも。【例】んだんだていー ならーし (どこどこと教えなさい)。

んちゃ [ntɕa] [感] そうだ。なるほど。【例】んちゃ あんしーどう あたり (なるほどそうだった)。

んちゃみ<sup>1</sup> [ntɕami] [動 II 類 a 型] [んちゃみー、んちゃみん] 取り押さえる。捕まえる。やつつける。

んったい [nttai] [副] [疑] どうして。なぜ。なんで。【例】んったい くんが (どうして来ないか)。

んてい [nti] [接尾] ~年。干支で年をいうときに使う。【例】にーんてい (鼠年)。うすんてい (丑年)。

んてい [ndi] [名] [疑] [んていまい...] どれ。どちら。どっち。【例】んていが (どれか)。んていがが ます (どっちがいいか)。んてい、うるー やらし (どれ、それをわたしなさい)。んていが うるー みしる (どれか、それを見せなさい)。【同】「いでい」。

んてい [ndi] [感] どれか。見せてご覧。【例】んてい うるー みしる (どれかそれを見せなさい)。

んていが [ndiga] [連語] [疑] どれか。

んていた [ndita] [名] [疑] [んてい<sup>1</sup>たまい...] どれら。どの人たち。観光客はどの人たちか。【同】「いでいた」。【類】「いでいたがムめ」。「んていたがムめ」。

んていたが ムめ [nditaga mme] [名] [疑] [んていた<sup>1</sup>がムめ<sup>1</sup>まい...] どれら。【同】「いでいたがムめ」。【類】「いでいた」。「んていた」。

んていぬ [ndinu] [連体] [疑] どれの。どちらの。

どっちの。【例】くれー んでいぬ にじが (これはどれのねじか。どちらに使うねじか)。

んていばイ<sup>1</sup> [ndipaɕdi] [名] [ん<sup>1</sup>ていばイ<sup>1</sup>でいまい...] 出入りすること。【同】「いでいばイ<sup>1</sup>でい」。

んていばん [ndiban] [名] [んていば<sup>1</sup>んまい...] 出番。【例】んていばんゆ まつ (出番を待つ)。

【同】「いでいばん」。

んていまい [ndimai] [連語] [疑] どれも。どちらも。どっちも。【例】んていまい ゆるむぬ (どれもよろしい。どちらもよろしい)。

んていり [ndi] [動 II 類 c 型] [んていー、んていん] 出る。出席する。外出する。出場する。出演する。

んどう [ndu] [感] そうだろう。そうだよなあ。事実を確かめるときに言う。【例】んどう あんしーしゃー (そうだろう、そうだよなあ)。

んどう [ndu] [連語] ~にぞ。【例】うま<sup>1</sup>んどう あり (そこにある)。

んな [nna] [名] [んなまい...] 綱。縄。【例】ばんな (手綱)。んなピギ (綱引き)。

んなー [nna:] [名] [んなーまい...] 縄。ロープ。【例】ふにぬ んなー (船のもやい綱・縄)。まるぎんなー (草や薪を縛る縄)。

んなーらー [nna:ra:] [感] あのね。【例】んなーらー、ヴヴあう みーずーていー (あのね、君を見たいそうだ)。んなーらー、かれー やまとうピとうどー (あのね、彼は本土の人だよ)。

んなう [nnau] [動 I 類 a 型] [んねー、んなーん] 似合う。【例】くぬ ふこー ゆーどう んなう (この服はよく似合うよ)。

んなかギ [nnakakɕ] [名] [んなか<sup>1</sup>ギまい...] 縄かき。縄綱い。縄をより合わせること。

んなギ [nnagɕ] [動 I 類 a 型] [んなぎー、んながん] つなぐ。牛や馬をつなぐ。【例】ばるー あらすば うすう んなぎ (畑の作物に害を与えるので、牛をつなげ)。【同】「つなギ」。

んなギさ [nnagɕsa] [名] [昆虫] [んなギ<sup>1</sup>さまい...] こうろぎ。邯鄲 (かんとん)。【例】ばるんなギさ (農業に夢中で世間知らず)。

んなギすい [nnagɕsi] [名] [んなギ<sup>1</sup>すいまい...]

縄の切れ端。

んなしゅぶぎ [nnacupugi] [名] [んなしゅぶ<sup>1</sup>ぎ  
まい...] 縄の帯。

んなす [nnasɯ] [動I類c型] [んなしー、んなし  
ゃん] どける。放す。除ける。【例】んなし(ど  
ける)。じゃまむぬー んなし(じゃまものをど  
ける)。【類】「んならす」。

んなつぎ [nnatsɯkɯ] [名] [んなつ<sup>1</sup>ぎまい...] 杵。  
きね。餅つきに使用する杵。【同】「んにつぎ」。

んななう [nnanau] [名] [みーピーきむ<sup>1</sup>ぬまい...]  
縄緬い。【同】「んなぬー」。

んなぬー [nnanu:] [名] [んなぬ<sup>1</sup>ーまい...] 縄緬  
い。【同】「んななう」。

んならす [nnarasɯ] [動I類c型] [んならしー、ん  
ならしゃん] 退かせる。退席させる。【類】「ん  
なす」。

んなり [nna:] [動I類c型] [んなりー、んなら  
ん] 退く。退席する。【例】んない(どけ)。く  
まから んない(ここからどけ)。

んにつぎ [nnitsɯkɯ] [名] [んにつ<sup>1</sup>ぎまい...] 杵。  
きね。餅つきに使用する杵。【同】「んなつぎ」。

んにつぎえーぐ [nnitsɯkɯ:gu] [名] [んにつぎえ  
ー<sup>1</sup>ぐまい...] 杵歌。歌謡の名。【類】「うちやに  
ーまぬまかなしゅ」。

んにつぎぶどうり [nnitsɯkɯbudu:] [名] [んにつ  
ぎぶどう<sup>1</sup>りまい...] 杵搗き踊り。八月おどりの  
演目。仲筋の婦人の踊り。

んぬ [nnu] [名] [んぬま<sup>1</sup>い...] 角。【例】うすぬ  
んぬ(牛の角)。【同】「つぬ」。

んねーまい [nne:mai] [接尾] ~しなくても。~し  
ないとしても。【例】いかんねーまい じゃうぶ  
ん(行かなくても結構だ)。あわていんねーま  
い ゆぬむぬ(急がなくてもいいのだ)。

んー [nn] [接尾] ~するよ。~しよう。意志接辞。  
【例】いかんー(行こう)。いかんーな(行こう  
か)。しゅーんー(するよ)。ぱらんー(走る  
よ)。

んー [nn] [名] [ん<sup>1</sup>ーまい...] いっぱい。満杯。  
【例】ふにぬ んー(船いっぱい)。ばしゃぬ ん  
ー(馬車のいっぱい)。

んー [nn] [名] [んーま<sup>1</sup>い...] 荷。荷物。【例】ん  
ーとうばーき(たくさんの荷)。【同】「にー」。

んー [nn] [感] はい。そう。承諾する。【例】ん  
ーよー(そうよー、分かったよ)。

んーがたみ [nngatami] [名] [んーがた<sup>1</sup>みまい...]  
たくさん担ぐこと。一度にたくさん担ぐこと。  
【例】イズうー んーがたみう しー ギー(魚を  
たくさん担いで来る)。

んーしー [nnɕi:] [連語] 似ている。同一。【例】ん  
ーしーぬ くつ(似ている靴)。

んーしーぬ むぬ [nnɕi:nu munu] [名] [んーし  
ーぬむ<sup>1</sup>ぬまい...] 似ているもの。同一もの。

んーしゃーり [nnɕa:] [形] [んーしゃまい...] 似  
ている。そっくりだ。【例】ふたがー んーしゃ  
ーり(双子は似ている)。

んーだかりー [nndakari:] [接尾] ~のような。~  
同じような。~似ている。~そっくり。【例】ん  
ーだかりーぬ むぬ(そっくりのもの・似た者  
同士)。んーだかりーぬ ちゃばん(そっくりの  
茶碗)。

んーだかりーぬ むぬ [nndakari:nu munu] [名]  
[んーだかりーぬむ<sup>1</sup>ぬまい...] 似ているもの。  
そっくりのもの。【例】んーだかりーぬ むぬー  
とうみる(似ているものを探さない)。

んーとうばーき [nntuba:ki] [連語] 満載。満杯。  
多量。【例】んーとうばーきぬ つつとう(持  
ち切れないほどのおみやげ)。んーとうばーき  
かたみー ギー(たくさん担いでくる)。

んーな [nnna] [連語] ~しようか。~しないか。  
【例】しゅーんーな(しないか)。すていんーな  
(捨てようか)。かかんーな(書こうか)。

んーよー [nnjo:] [感] そうだよ。【例】しゅーん  
ーよー(するよ)。ゆまんーよー(読むよ)。ぬ  
まんーよー(飲むよ)。

んーんー [nn.nn] [感] なになに。問答に不明の  
とき。語尾の音を上げる。【例】んーんー ぬー  
ぬ くとうが(なになに何のことか)。

んーんー [nn.nn] [感] はいはい。よしよし。了  
解の意。語尾の音を下げる。【例】んーんー あ  
んしーどー(はいはいその通りだよ)。

# 付録



雨ニモマケズ 宮澤賢治

雨ニモマケズ  
 風ニモマケズ  
 雪ニモ夏ノアツサニモ マケヌ  
 丈夫ナカラダヲモチ  
 慾ハナク  
 決シテ怒ラズ  
 イツモシズカニワラッテキル  
 一日ニ玄米四合ト  
 味噌ト少シノ野菜ヲタベ  
 アラユルコトヲ  
 ジブムヲカムジョウニ入レズニ  
 ヨクミキキシワカリ  
 ソシテワスレズ  
 野原ノ松ノ林ノ蔭ノ  
 小サナ萱ヅキノ小屋ニキテ  
 東ニ病人ノコドモアレバ  
 行ッテ看病シテヤリ  
 西ニ死ニサウナ人アレバ  
 行ッテコハガラナクテモイイトイヒ  
 北ニケムクワヤソショウガアレバ  
 ツマラナイカラヤメロトイヒ  
 ヒデリノトキハナミダヲナガシ  
 サムサノナツハオロオロアルキ  
 ミムナニデクノポートヨバレ  
 ホメラレモセズ  
 クニモサレズ  
 サウイフモノニ  
 ワタシハナリタイ

あみんまい まきんな  
 かでいんまい まきんな  
 ゆぎんまい あっちゃんまい まきん  
 がんじゅーぐたいゆ むていー  
 ゆこー ねーん  
 あかむっとう ギもー んでいん  
 いつまい とうくっとう すとうい ばれー ぶり  
 ピとういんまい まいゆ 四合とう  
 ムしゅとう いぴーちゃぬ やしやいゆ ふあい  
 ぬーばしーぬ くとうーまい  
 どうーゆばー かんがいんぐとう  
 ゆー みー、ギきー、 っすいー  
 あんていー ばっすいんな  
 ぬーぬ まつぎーぬ かぎぬ  
 けーやーがまん すめーっていー  
 あがりん やム っふあぬ ぶたかー  
 いきー みまいる  
 いりん すんがたぬ ピとうぬ わーりたかー  
 いきー<sup>あわ</sup>慌ていんねーまい ゆるむぬていー イズい  
 にすん あうやーとうか <sup>うった</sup>訴い<sup>ぐとう</sup>事ぬ あたかー  
 うむっしやー ねーんにば やみるていー イズい  
 ペーりぬ とうギエー なだう ながし  
 ぴーしゃぬ なつエー ゆてー つかん ありきー  
 ムーなから やく たたんていー っズあい  
 ぷみらいまい しゅん  
 んだらーしゃていーまい ねーん  
 あんしーぬ ピとうんどう  
 あんや なり°ぶっしやーり°



## あとがき

慶応生まれの祖父は一生において多良間島を離れたことは一度もなかった。祖父から宮古島のことや石垣島のこと聞いたことはなかった。祖父だけでなく、まわりの高齢者もそうであったようだ。慶応の終わりから明治の初めの生まれの皆さんにしてみれば、海上交通といえば、首里王府の役人のための帆船であったからであろう。

この世代の皆さんは1950年頃まで多良間島の最高齢者として、島の自然・文化・神事などを取り仕切りながら、後輩の指導に汗を流していらっしやったことを鮮明に覚えている。共通語は一切なかった。ふるさとの母語の環境の中で私は幼少期を過ごした。今はあの頃の母語が変化したり、消滅したりすることがとても残念である。

1997年に教職を定年退職して以来、方言の変わりゆく姿に憂い、郷友会や友人との会話などを通して方言の話題を提供するように心がけてきた。また、テレビに放映されることがらにも気を配り、メモを取るようにしている。車で走行中にラジオの言葉をメモするために、道路脇に一時停止をすることは毎日のことである。何よりも郷友以外の人たちから「多良間名訛り」の共通語と言われることには誇りにすら思っている。

2009年にユネスコは世界の言語の危機的な状況を発表したことは方言辞典への思いに拍車がかかった。さらに、沖縄県も9月18日を「しまくとぅばの日」に制定するなど、いよいよ辞典への執念は盛り上がった。

宮古島市文化協会が毎年マティダ市民劇場大ホールで開催している「方言大会」は超満員の盛況ぶりである。このことは島の人たちの方言への郷愁の念の現れである。そこで、2015年の第22回大会にはフランス人のセリック・ケナン氏が最優秀賞に輝き、宮古島の人々に感銘と希望を与えてくれた。異郷の人がこの宮古語を流暢な口調で、原稿なしで発表したのである。指導者の長間三夫氏には心から敬意を表したい。

当時はセリック・ケナン氏は当時京都大学大学院で言語学を学生であった。研究調査の対象を広げたいということで、多良間方言の指導者として私を紹介して下さったのは文化協会の大城裕子会長であった。言語学の専門とは言え、初めの頃は、多良間方言に戸惑いはあったセリック・ケナン氏は、140回もお付き合いをすれば「リ」「りら」「つえー」「ぎえー」「みえー」などの難しい発音もマスターされて、今は多良間方言で会話ができ、天性の才能は頼もしい。

本書の刊行にあたって激励をいただいた田窪行則氏、木部暢子氏、大城裕子氏に感謝を申し上げます。

2020年2月7日

渡久山春英



## 謝辞

この辞典は数多くの方々の助けなきには生まれなかったに相違ありません。特に、第一著者（渡久山春英）と第二著者（セリック・ケナン）の出会いの機会を作ってくださった宮古島市文化協会の大城裕子会長と、第二著者に宮古語の面白さを最初に伝えてくださった田窪行則先生と、辞典の編集に不可欠な応援を様々な形で提供してくださった木部暢子先生に心から感謝を申し上げたいと思います。

また、現地調査の間に第二著者の滞在をいつも助けてくれる長間三夫さん、長間栄子さん、濱川慶子さん、宮古島市文化協会の松谷初美さんに大変お世話になりました。いつもありがとうございます。心地の良い録音環境を提供してくれた「働く女性の家」の皆さんにも大変お世話になりました。

最後に、国立国語研究所において第二著者の同僚である中澤光平さんに感謝を申し上げます。本辞典を編集し始めたころ、アクセント情報を入れる予定はありませんでした。しかし、出勤の日々、日琉諸方言のアクセントに関する中澤さんの熱心な話を聞いて、編集の途中からアクセント情報も入れることを決めました。中澤さんはアクセントに関する第二著者の絶えまない質問に対して飽きることもなくいつも丁寧に答え、教えてくれました。彼のこのような助言がなかったら、本辞典でアクセント情報を収録することが不可能であったと思います。

この辞典は JSPS 科研費 19K13174、17H02333、国立国語研究所共同研究プロジェクト「消滅危機言語・方言の展示を通じた最先端研究の可視化・高度化」（代表：木部暢子教授）、国立国語研究所共同研究プロジェクト「日本の消滅危機言語・方言の記録とドキュメンテーションの作成」（代表：木部暢子教授）の助成を受けたものです。

## 渡久山春英（とくやましゅんえい）

1936年10月18日 沖縄県多良間村生まれ

経歴	表彰
1956年 宮古農林高等学校卒業	1978年 三段 全日本剣道連盟
1960年 名城大学学部卒業	1985年 表彰 優良教員 沖縄県教育委員会
1960 - 1961年 水納中学校教諭	1987年 褒状 日本鳥類保護連盟 山階芳麿会長
1961 - 1963年 多良間中学校教諭	1998年 佳作 歌会始 宮内庁長官
1963 - 1965年 久松中学校教諭	2006年 新人賞 琉球古典音楽三線 沖縄タイムス
1965 - 1968年 伊良部中学校教諭	2011年 表彰 交通安全 宮古島警察署長
1968 - 1973年 西辺中学校教諭	2011年 優秀賞 琉球古典音楽三線 沖縄タイムス
1973 - 1977年 西城中学校教諭	2013年 感謝状 交通安全 沖縄県警察本部長
1977 - 1982年 平良中学校教諭	2018年 表彰 交通栄誉彰緑十字彰 全日本交通安全協会
1982 - 1987年 伊良部中学校教諭	
1987 - 1988年 佐良浜中学校教諭	
1988 - 1991年 多良間中学校教諭	
1991 - 1993年 久部良中学校教頭	
1993 - 1995年 多良間中学校教頭	
1995 - 1997年 多良間小学校校長	

## セリック・ケナン

1987年 フランス生まれ

2011年 HEC (École des hautes études commerciales de Paris) 経営大学院修士号取得

2017年 京都大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学

2018年～ 国立国語研究所言語変異研究領域非常勤研究員

## 南琉球宮古語多良間方言辞典

2020年3月31日発行

著者 渡久山春英、セリック・ケナン

発行者 木部暢子

発行所 国立国語研究所 言語変異研究領域

〒190-0014 東京都立川市緑町10-2

TEL 0570-088-595 FAX 042-540-4333

印刷所 絢文社

ISBN ISBN 978-4-910257-01-3

C3581

© 2020, Shunei Tokuyama & Celik Kenan

Printed in Japan

正誤表 (2020 年 10 月 7 日版)

頁 v

「お二人は辞典刊行に向けて資力的に」 =>

「お二人は辞典刊行に向けて精力的的に」

頁 32 左欄

「あヴヴうり° ずー[avvu[dzɯ:] [名] [あヴヴうり° ずーまい...] べら釣り。」 =>

「あヴヴうり° ずー[avvu[dzɯ:] [名] [あヴヴうり° ずーまい...] べら釣り。」

頁 47 右欄

「あどう[adu] [名] [あどうまい...] かかと。」 =>

「あどう[adu] [名] [あどうまい...] かかと。」

頁 53 右欄

「あみ[ami] [名] [あみまい...] 雨。」 =>

「あみ[ami] [名] [あみまい...] 雨。」

頁 56 左欄

「あらいム[araim] [名] [あらいムまい...] 荒海。波浪の高い海。」 =>

「あらいム[araim] [名] [あらいムまい...] 荒海。波浪の高い海。」

頁 105 右欄

「うむっしピとう[umuccipɯtu] [名] [うむっしピとうまい...] おもしろい人。」 =>

「うむっしピとう[umuccipɯtu] [名] [うむっしピとうまい...] おもしろい人。」

頁 92 右欄

「うだいしゃーり° [udaiea:] [名] [うだいしゃーり° まい...] 危ない。」 =>

「うだいしゃーり° [udaiea:] [名] [うだいしゃまい...] 危ない。」

頁 121 右欄

「かぎしゃばな[kagicabana] [名]〔かぎしゃばなまい...〕美しい年頃。」=>

「かぎしゃばな[kagicabana] [名]〔かぎしゃばなまい...〕美しい年頃。」

頁 135 右欄

「がばumari [gabammari] [名]〔がばumまりまい...〕四月生れの子。」=>

「がばumari [gabammari] [名]〔がばumariまい...〕四月生れの子。」

頁 153 右欄

「ギビたむぬ[gɪbɪtamunu] [名]〔ギビたむぬまい...〕馬鹿者。」=>

「ギビたむぬ[gɪbɪtamunu] [名]〔ギビたむぬまい...〕馬鹿者。」

頁 218 右欄

「しらやヴヴい[cirajavvi] [名]〔しらやヴヴいまい...〕赤ちゃんが生まれて間もなく死ぬこと。」=>

「しらやヴヴい[cirajavvi] [名]〔しらやヴヴいまい...〕赤ちゃんが生まれて間もなく死ぬこと。」

頁 249 左欄

「たぐかたみ[tagukatami] [名]〔たぐかたみまい...〕桶担ぎ。」=>

「たぐかたみ[tagukatami] [名]〔たぐかたみまい...〕桶担ぎ。」

頁 253 右欄

「たていゆく[tatijuku] [名]〔た<sup>1</sup>ていゆくんまい...〕縦横。」=>

「たていゆく[tatijuku] [名]〔た<sup>1</sup>ていゆくんまい...〕縦横。」

頁 367 右欄

「ぱしゃムまーリ° [paɕamma:] [名]〔ぱしゃムまーリ° まい...〕食べ物を挟んで差し...」=>

「ぱしゃムまーリ° [paɕamma:] [名]〔ぱしゃムまーリ° まい...〕食べ物を挟んで差し...」

頁 398 左欄

「ピさふつ[pɪsɪfutsɪ] [名]〔ピさふつまい...〕平口。〕=>

「ピさふつ[pɪsɪfutsɪ] [名]〔ピさふつまい...〕平口。〕

頁 440 右欄

「ぶらふけ[burafuke] [名]〔ぶらふけまい...〕大げさに言う人。〕=>

「ぶらふけ[burafuke] [名]〔ぶらふけまい...〕大げさに言う人。〕

頁 453 右欄

「まい° くー[maɪku:] [名]〔まい° くーまい...〕米粉。〕=>

「まい° くー[maɪku:] [名]〔まい° くーまい...〕米粉。〕

頁 470 右欄

「みーゆすき° [mi:jusɪkɪ] [名] [植]〔みーゆすき° まい...〕すすきの一種。〕=>

「みーゆすき° [mi:jusɪkɪ] [名] [植]〔みーゆすき° まい...〕すすきの一種。〕

頁 496 左欄

「ムまうす[mmausɪ] [名]〔ムまうすまい...〕母牛。〕=>

「ムまうす[mmausɪ] [名]〔ムまうすまい...〕母牛。〕

頁 507 右欄

「やーまピとう[ja:mapɪtu] [名]〔やーまピとうまい...〕八重山の住人。〕=>

「やーまピとう[ja:mapɪtu] [名]〔やーまピとうまい...〕八重山の住人。〕